

バトルスピリッツ スタートアップ・ゼロ

謙虚なハペロット

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

とある少女が0（ゼロ）から始めるバトルスピリッツ。

笑いがあったり涙は少な目、ファンタジー成分は無しに等しい微々たるものでお送りいたします。

目次

ゼロからはじめよう	1
ゼロからダツシユ・Aパート	20
ゼロからダツシユ・Bパート	27
ダツシユしてみよう・Aパート	49
ダツシユしてみよう・Bパート	68
ダツシユしてイチへ・Aパート	85
ダツシユしてイチへ・Bパート	102
イチについたら・・・？ Aパート	131
イチについたら・・・？ Bパート	147
イチを足してみよう・Aパート	164
イチを足してみよう・Bパート	194
イチから二へなるために・Aパート	243
イチから二へなるために・Bパート	261
二：へ行く前に・Aパート	281
二：へ行く前に・Bパート	293
二への足掛かり・Aパート	311
二への足掛かり・Bパート	334
二への足掛かり・Cパート	369
2へ行くため	395
緋の0（ゼロ）と銀の0（レイ）・序	412
白と紫・1の楽譜	435
新しい風と新しい光	460
新しい光と一緒に	492
新しい風と第二の風	526

新しい星と怒りの炎？

新しい銀は守護の盾

新しい赤は……。Aパート

新しい赤は過激な黒・Bパート

白騎士と黒い赤

天使と詩姫の交響曲・一曲目

赤（ゼロ）によるはじめての初心者講習

進む緋色のゼロ

赤の初心者による無意識原作再現

振り翳す白銀の星

前哨戦・進化する0（ゼロ）と蒼雷

新たな緋と白銀の片鱗

落ち込み、バトル、復活のサン拍子・紫編

落ち込み、バトル、復活のサン拍子・黄色編

特訓とシ行錯誤・赤編

特訓とシ行錯誤・緑編

試行錯誤、のち臨機応変

臨機応変に、前へ進むように

初心者、芽吹く時

白と黒

応援してくれる人

祭の前・それぞれ次に向けて

『称号戦』開催。第一試合

『称号戦』第二試合

『称号戦』第三試合

後半戦。『称号戦』第四試合

『称号戦』第五試合

『称号戦』第六試合

『称号戦』第七試合

『称号戦』第八試合

『称号戦』第九試合

『称号戦』第十試合・準決勝

『称号戦』決勝戦

はじまりのゼロ

ゼロからはじめよう

バトルスピリッツ。

内外問わず人気を博しているカードゲーム。

「通称バトルスピ。6色のカードとコアを使って戦う、まったく新しいカードゲーム…か」

ルールブックに書かれていることを何の気無しに小さく声に出して読んでみた。

特に意味は無い。

「ギアてー！このアタックでラストー！」

「ぐっ…。ライフで、受けるしかない！」

「はい！あざっした〜♪」

どうやら決着が付いたようだ。

結果は『璃恵（りえ）』の勝ちのよう。

ルールブックによれば『相手のライフにあるコアを0にすれば勝利』と書かれているため、この場合、璃恵の勝ちだ。

「おまたせ悠姫（ゆき）〜♪ で、読み終わった？」

「一応は、ね」

「うんうん♪ ならもう始められるかな」

「…まだやるなんて言っていないんだけど」

「…ここまで来てそれは無いッしヨ悠姫〜」

カードショップの片隅で今まさにバトルスピリッツをやらされそうになっているのは紛れも無く、私。

以前、璃恵と一緒にやろうと誘ってきて、本格的にやらないけどルールくらいなら…と親友の頼みを安易に受けたのがアレだった。

「まあまあ、ルールを覚えるなら実際にやるのが一番だよ。悠姫は飲み込みが早いからすぐやれるッて〜」

「…まあ、いいけど。『デッキ』？とか持ってないぞ私は」

「うぷぷぷ…♪ そんなこと悠姫のこいびとであるリエチャンにはお見通しなのです！ えッとえッと…」

妙にムカつく言い回しでバッグを漁り始める璃恵。あとコイビトじゃない。誤解されるからやめんか。

「ジャジャーン！ 構築済みデツキ」♪」

大袈裟なアクションで取り出して見せてきたのは、構築済みデツキ」と呼ばれたもの3つだった。赤いのと白いのと大きいのだ。

「構築済みデツキ？」

「YES！ 所謂初心者向けに最初から組まれたデツキなのデス」

そう言うのとひとつずつ説明を始めた。

「まずこの赤いの。これは6色のうち最も使いやすい、赤デツキ」

《灼熱のゼロ》！攻撃に秀でた色のデツキだね」

「続いてこつちが、白デツキ」《白銀のゼロ》！赤とは逆に6色中最も守りに秀でた色のデツキだよ」

「そんで最後に、《はじめてのバトルセット・決めろ！アルティメットトリガー》！ 初心者に優しいティーチングDVDが付いて、初心者用（笑）デツキが2つ付いたお得なセットです！ …まア今回これは使わないけどね」

ふくん。通信販賣みたいな言い方だったのは気にしないとして、途中の（笑）ってなんだ？ …璃恵がツツコめって顔してないから気にしたら負けなんだろう。

そして、璃恵ははじめてセットとやらを仕舞い、赤と白のケースを開封しはじめる。

「は〜い。悠姫はどっち使いたいかかな？」

テーブルに丁寧置かれた2つのデツキ。

左の赤デツキには金縁で装飾された赤いモンスターが描かれていて、右の白デツキには同じく金縁で装飾された白いロボットが描かれている。

「……じゃあ」

「はい赤ね。ワタシは白使うから♪」

「おい」

「こういう場合、初心者は赤を使う」のがセオリーなんだよ♪」

「…そう」

ニコニコと屈託の無い笑みを浮かべながら白のデッキを手に取りデッキを纏めているビニールの帯を外：そうとした時――

「あゝっ！」

「…何しようしたの」

璃恵が女の子とは思えないような声を上げた。

「悠姫その帯外すのちヨツち待って！ ッスリーブ」 買い忘れたからさ！」

「ッスリーブ？」

「カードを傷や汚れから守る入れ物のこと。すぐ買ってくるから、取ツちヤダメだよ？」

「別に無くても…」

「カードが曲がったり汚れたりするのはヤクなの。カード達も可哀相でしょ？」

そう言うやいなやすぐさま立ち上がりそのスリーブを買いに走って行った。走ってといってもやや小走り程度。苦もなくスルスルと間を縫って抜ける様はあいつの身体能力が高いからか何なのか。

「すみませくん。アレとコレと、ソレ2つずつください」

そしてちゃっちゃか買い物を済ませて戻ってきた。

「お・ま・た・せ・♪ あのださア：ワタシの趣味のスリーブだったんだけど、いいかなア？」

「迷わず買ったやつが言う台詞じゃないよな…：うん？」

璃恵が買ってきたスリーブは、黒い宇宙に「星座」が大きく描かれているものだった。

しかも私の星座の「射手座」。

「ホントはこれ全部持つてるんだけど、悠姫専用につてね。ワタシはこツち」

もうひとつのは「獅子座」が描かれたスリーブ。璃恵は名前にも見た目にも似合わない獅子座の生まれという。

「じゃあサツと入れちゃうからしばらくお待ちを。あ、悠姫のも入れちゃうからね」

そういうと慣れた手つきで素早く開封と収納を熟し始めた。…？



無地の透なやつにカードを入れて、その上から星座のカードに入れている？

「二重二重♪ これはカードを更を守るタメプラス、サイズの合わないスリーブに合わせるやり方なの。公式の大会だと二重はダメだけれどね」

「ふくん…」

「普通のスリーブに、そのスリーブを守る『オーバースリーブ』とかあるんだけど…この話はまた別のときにね」

「用意できました♪」

「うむ」

しばらくして璃恵の準備が終わったようだ。

テーブルに広げられた『プレイシート』。真ん中の小さいケースにたんまりある『青い小さなもの』。そして『デッキ』。

「さて……」

悠姫。ようこそ！バトルスピリッツの世界へ！」

仰々しく両手を広げ拍手までし始める。

おい止める周りの視線が痛い。

「ビュービューー！ 進行アンドティーチングはワタクシ、【白鐘 璃恵（しろがね りえ）】が務めさせていただきます♪」

そしてエ！今日この瞬間、この群雄割拠のバトルスピ界に華々しくデビューを果たすのは！ワタシのコイビト、【緋立 悠姫（ひだち ゆき）】〜！」

「や、止めろつつつてんだろ！」

ただでさえ容姿や良く通る声も引つくるめて璃恵のせいで目立っているというのに、これ以上騒いだら追い出されるぞ…。

「早速説明！」

バトルスピリッツとは、それぞれ特徴を持った6色のカードと、この『コア』を使う画期的なカードゲームなのデス！宣伝乙！

「ぎっくり言うとそのコアをやりくりしながら戦うというね」

「何処かから取り出した6枚のカードと、青い粒、〃コア〃を一つ摘み私に見せる。これが〃コア〃なのか。」

「まずその6色というのが」

「赤・紫・緑・白・黄・青」

「この6色なのデス。今回使うのは赤と白だけなので、この二色について軽く説明しましょう」

「6枚を仕舞い、新たにカードを取り出して見せてきた。」

「悠姫が使うのは」

「燃え盛る主人公の色、《赤》！」

「バトルスピリッツにおいて〃万能色〃と言われていて、大概何でもできる初心者から上級者まで幅広く扱われる色デス。ドロ、破壊、トラッシュ回収にライフ回復何でも御座れ！ 特徴は何と言っても苛烈な攻めの姿勢！土壇場からの爆発力はトップクラス！」

「テンション高めに差し出された赤のカード。それを受け取り見てみる…。」

「…《雷皇龍ジークヴルム》、《輝龍シャイニング・ドラゴン》、《闇龍ダーク・テイラノザウラー》、《太陽龍ジーク・アポドラゴン》」

「そう！モチーフは龍や恐竜といったものが多いのも一つだね」

「次に紹介するのはワタシが使う」

「強敵（友）であり鉄壁にして無敵！《白》！」

「バトルスピリッツでは防御に特化した色で、相手の効果から身を守ったり、相手が使うマジックを封じたり、相手のスピリットを手札に戻したりとまったく厄介な色だよね！」

「…軽く私怨混じってないか？」

「気のせいだよ♪ はいコレ♪」

「…：…そうか。えっと、《鉄騎皇イグドラシル》、《鎧神機ヴァルハランス》、《月光龍ストライク・ジークヴルム》、《闇皇ニンテイル・ダーク》」

「モチーフは雪と氷に閉ざされた世界にロボットと機械の獣、そして」

《氷姫（ひょうき）》っていう氷の歌姫達が特徴かな。ロボット達の名前にどことなく聞き覚えあるでしょ?」

：たしかに。イグドラシルなんかは北欧神話に出てくる、世界を貫く大樹の名前だよな。ちよつとカツコイイのが多い。

「ぎっくりと二色の紹介は終わり。さてさて次はカードの種類について説明しよツかな」

「付いてこれてる?」

「まだ平気」

「Good! なら説明その2!」

璃恵が息巻くとカードを回収し、新たに5枚のカードを出してきた。

「左から《スピリットカード》《マジックカード》《ネクサスカード》《ブレイヴカード》。これが基本的に使用するカードなの。

そして重要なのがやつぱりコレ! コレが無きヤバトスピじゃない!

《スピリットカード》の説明!

満面の笑み（営業スマイル）で通信販売っぽく取り出したカード。それは赤のカード。

赤 スピリット

《雷皇龍ジークヴルム》

コスト〔6〕 軽減赤3

「まず全体の説明ね。」

左上にある大きい数字。これが《コスト》。このカードを使うために必要になるコアの数ね」

「ふむ」

左上の〔6〕って書かれてるやつか。

「それで、そのすぐ右にあるマークは《軽減シンボル》。このマークの数だけ支払うコストを安くできるの。

雷皇龍の場合は、赤のマークが3つあるから、最大3コストまで安くできるツてことね」

「なるほど」

とりあえず、そのままのコストを支払って出すより、少しでも軽くして出せってことだな。

色の意味は…後で説明がくるだろう。

「そして真ん中のが美麗なるイラスト。その下。左からカード種類、カード名、《系統》ね。《系統》ツてのは…他のカードゲームというなら《種族》ツて言えば伝わるかな?」

「大体分かる。そのカードで言えばドラゴンとか、だろ?」

「That's right!」

「重要?」

「モッチロン♪」

他のカードゲームでも種族で纏めたり、ある特徴で纏めたりとかしてるらしいから重要なフアクターなんだろうな。

このジークヴルムは……えと…。

赤 スピリット

《雷皇龍ジークヴルム》

コスト〔6〕 軽減赤3 <星竜・古龍>

「うぷぷ…♪ この読み方は《星竜(せいりゅう)・古竜(こりゅう)》ツて読むんだよ♪」

「あ、普通にそう読むんだ」

「てか振り仮名振ッてあるし♪」

「……」

「ア痛!?ゴメ、ゴメンナサイ!ほっぺ抓らないでエエ…!」

「はい…続き説明しまふ…」

「はよせい」

「はい…。では、下の部分の説明ね」

<1> LV1 BP4000

<3> LV2 BP6000

<5> LV3 BP9000

シンボル：赤

「まずはこの左側と右下のやつの説明。

これはステータスを現していて、左から「維持コア」「レベル」「BP」。そのままなんだけど、それは実際のバトルで詳しく説明するね」

「うむ」

「それで右下のが「シンボル」。これは色によつて形が違うんだけど、これは相手のライフにダメージを与えたり、他のカードの軽減に使ったりするの」

「さっき言った軽減シンボルに、か？」

「Good!ちゃんと覚えてるねエ♪ あ、ちなみにこのカードの外枠がカード自体の色を表してるから、シンボル自体が色ツて訳でもないの」

大体はまあ理解した。

赤 スピリット

《雷皇龍シークヴルム》

コスト6 軽減赤3 <星竜・古龍>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

<5> Lv3 BP9000

シンボル：赤

「スピリットが持つてる効果とかは後で説明するとして…さあバトルだア！」

「…は!? 他のは!？」

「後で後で♪ 重要なスピリットの説明したからもう大丈夫！」

・

「シャッフル完了♪ そしたらプレイシートの左上、「Deck」ツて書かれてるところにセエツト♪」

「…(っ)か」

「OK! それで、このいっぱいコアの置いてある場所が「ボイド(Void)」。このボイドから左の「ライフ(Life)」置場に5つ、

その下の「リザーブ (Reserve)」ってところに4つコアを置いて、準備万端！」

〈悠姫 ライフ5 リザーブ4〉

使用デッキ・【灼熱のゼロ】

〈璃恵 ライフ5 リザーブ4〉

使用デッキ・【白銀のゼロ?】

「そして最後に「デッキ」の上からカードを4枚手札に♪」

「4枚、と…」

「あそうだ。ワタシのデッキちヨツとだけイジツてあるからね」

「は?…まあいいか」

「ゴメンね♪ じゃあ悠姫、バトルを始める時の掛け声があるの。それを元気良く言ッてね♪」

は? 初耳だぞそんなの。必要なのかそれ。

「……言わなきやダメか?」

「ダメ♪ いくよ? せくの——」

「ゲートオープン! 界放ッ!!」

「……………」

「ほら〜悠姫も元気良く言わなきやく〜ノリ悪いなあ〜」

「……界放」

「やり直し!」

「さっさと始めろ!!」

「先攻後攻はジャンケンで決めるんだけど、ここは悠姫が先攻で良いよ」

「む、了解。…えつと」

「まず最初に「スタートステップ」!

ッて言うの。自分のターンを始めますッていう宣言みたいなもんね」

「わかった。スタートステップ。…次は」

「〃コアステップ〃。

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置くの。でも先攻1ター  
ン目にコアステップの権利はないの。だから飛ばしね」

「無いのか。んで次が…〃ドローステップ〃？」

「〃ドローステップ〃

デツキからカードを1枚ドローするの」

「ドローっと…」

(悠姫手札4↓5)

「次が…〃リフレッシュステップ〃？」

「それも先攻1ターン目には無いから飛ばしちャツていいよ」

「うむ。で…、〃メインステップ〃」

「〃メインステップ〃。

ここからが本番！ このステップでは

『スピリットの〃召喚〃』

『マジックの〃使用〃』

『ネクサスの〃配置〃』

以上のことができるの。」

ふむふむ、このメインステップで始めて行動を起こせる訳だな。

「まずは試しに〃スピリットの召喚〃をやってみよッか」

「手順は？」

「カードを出して、コストの計算、支払い、維持コアを乗せる。これで  
完了♪」

「…大体分かった。…じゃあ」

まずこいつからにしようか。

やり方を覚えるためならやった方が早いだろうし。

「えっと、《ムゲンドラ》を出す」

「OK 《ムゲンドラ》ね♪ 召喚をするときは『○○を召喚！』ツて言  
うんだよ♪」

「そう。…《ムゲンドラ》を召喚」

(悠姫手札5↓4)

赤 スピリット

《ムゲンドラ》

コスト1 軽減赤1白1 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP3000

シンボル：赤

Lv1・Lv2

このスピリットの色とシンボルは白としても扱う。

「こいつはコストが1だから…」

「リザーブからコア1個を右下のトラッシュに置いて」

(悠姫リザーブ4↓3)

(トラッシュ0↓1)

「必ずレベル1以上にしよう維持コアを置くの」

「なら1個だな」

(悠姫リザーブ3↓2)

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

「レベル1で召喚ね♪ うくんGood♪Good♪よくできました  
♪♪」

満面の笑みで拍手すな。

なるほどな、スピリットを出す際は大体1個は乗せなきゃならなくなるからやりくりが必要になるのか。

「さてさて、他に何かある？」

「うくん、まずはこれでいいだろ」

「ならそのまま“エンドステップ”ね。」

ターン終了の合図で、何も無ければターンエンドって言って自分のターンを終わらせるの」

「? ならこの“アタックステップ”ってのは……言わないってことはまだなんだな?」

「Exactly(その通りでございます)ー!」

「さアて、始めるよ悠姫♪」



——《白銀のターン》ツ!!スタートステップ!

「!?」

突然良い声で何を言ってるんだこいつは。

若干小さく決めポーズまでして、相手の私のことも考えろや…。視線が…。

「コアステップ!後攻2ターン目から初めて行える!」

(璃恵リザーブ4↓5)

「ドローステップ!」

(手札4↓5)

一々良い声で宣言しなくてよろしい。テンション上がってるのは分かるが落ち着け少しは。

それにしても、長年やってるだけあって手つきが鮮やかだ。

「メインステップ!こっちも《ムゲンドラ》をレベル1で召喚!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

白 スピリット

《ムゲンドラ》

コスト1 軽減白1赤1 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP3000

シンボル:白

Lv1・Lv2

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

同じムゲンドラか。…でもちよっと見た目が違うな。白のカードだし。

「更に、《ディフェンザード》をレベル2で召喚!」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トランプシユ1↓2)

「ライフエンザード コア2 レベル2」

白 スピリット

《ライフエンザード》

コスト2 軽減白2 <甲竜>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP4000

シンボル：白

Lv1・Lv2 『??』

???

「コスト計算は理解出来てるよね。なら今の場合はどうなッたでしヨウ?」

：えつと。たしか、フィールドにあるシンボルは色に合った軽減コストに使える”んだったよな。

璃恵の場には白のシンボルを持ったムゲンドラだけ。

ライフエンザード、だっけ?見たら軽減シンボルは白が2つ。ということは…

「(コスト) 2 - (軽減) 1だから、支払うコストは1」

「Yes!」

正解だったようだ。

：ならそこから維持コアを考えて式を立てると

「コスト - 軽減 || 支払うコスト + 維持コア +  $\alpha$ 」

って感じだろうか。

+  $\alpha$  っていうのは、今璃恵がやったみたいに最初からレベルを2で出したり、まだ私の知らない効果みたいのがありえるだろうから、+  $\alpha$ 。

「アタックステップ! :に入るけどここも流しで。ターンエンド!」

アタックステップを行わない…。ということは私にやらせる気だな。まあそっちの方がありがたくもあるけど。

「じゃあ、スタートステップ」

再び自分のターンを始める。

相手は二体。ライフにダメージを与えるには最低三体スピリットが必要になるな。

「ドローステップ」

(悠姫手札4↓5)

「コアステップ」

(リザーブ2↓3)

「リフレッシュステップ」…だっけ?」

「そうそう。リフレッシュステップは、疲労してるスピリットの回復とトラッシュにあるコアがまた使えるようになる手順なの。」

今は疲労：横になってるカードがないから良いとして、コアが置いてある右下のトラッシュからリザーブに戻して完了♪ あ、コアの戻し忘れに注意ね。たまくに1個忘れたくなんて人いるからさ」

「わかった」

(トラッシュ1↓0)

(リザーブ3↓4)

「よし、メインステップ」

さてと何を出すべきか。

……いや、初心者があれこれ悩むよかとかくやって覚えた方がいいか。

「《ファイザード》を…召喚、だよな」

「オツケーよ♪」

(悠姫手札5↓4)

赤 スピリット

《ファイザード》

コスト0 軽減0 <翼竜>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

<5> Lv3 BP4000

シンボル：赤

さてここでまた疑問だ。

コイツは〃コストが0〃だから支払わなくていいんだろうけど…。  
「あ、それはあんま深く考えなくて大丈夫だよ。一応厳密に言うとお  
0コスト支払った〃ツてことなんだけど、今はこれはそういうえば…程  
度に覚えとけばいいよ」

「なるほどな。…ならレベル1と」

(リザーブ4↓3)

「ファイザード コア1 レベル1」

これで二体目。赤のシンボルが2つで、次に出す赤のカードに軽減  
が入るから…これだろ。

「…ね、《ネオ・ダブルドロ》？」

「OK！〃マジックを使用〃するんだね♪ 良いChoiceだよ悠  
姫♪」

良かったのか。書いてあるのが手札を増やすことみたいだったか  
ら出してみたんだが。

マジックは〃使用する〃って言えばいいんだな。

「ここで『マジックカード』について説明！

マジックカードは一回きりの使い捨てカード。

使い終わったらトラッシュに。

コストの支払いはスピリットと同じ。カードを提示してコスト計  
算。

使えるタイミングは、下の効果欄の左側にある〃青い波みたいな  
マーク〃と〃黄色い稲妻みたいなマーク〃の二種類。

『青いマーク〃メイン：〃〃はメインステップ中のみ使えます』

『黄色い稲妻のマーク〃フラッシュ：〃〃は〃メインステップとフ  
ラッシュタイミング両方で使えます』。わかった？」

「とりあえずな。とにかく、この…ドロする効果を使いたい」

「了解♪」

赤 マジック

《ネオ・ダブルドロ》

コスト4 軽減赤2

メイン：

自分はデッキから2枚ドローする。

自分のアルティメットがいる、さらに自分はデッキから1枚ドローする。

フラッシュ:

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+1000する。

「まず支払いは…」

「ムゲンドラとファイザード。赤のシンボル2つが場に出てるから、赤の軽減が2つまでできるよ」「わかった。：軽減つてのは、必ずやらなきゃならないのか？」

「Yes. 初心者は間違い安いんだけど、軽減ができるなら必ずしなければならぬ」の。ルールブックの11ページ参照ね♪」

：あれ、見逃してたか？

流し読んでたし、覚えとこ。

「コストは4。そこから赤の軽減2つだから…2コスト、と。そんで、2枚引くと」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓2)

(手札3↓5)

引いたのは《エッジ・ウルフ》と《ドラゴナイト》。どちらもスピリットカードか。

「コアが1個余ったから…ムゲンドラに追加して、レベル2にしておこうかな」

(リザーブ1↓0)

「ムゲンドラ コア1↓2 レベル1↓2」

「えっと、ターンエンドしたいけど…」

「ちョット待った。終わるのもいいけど、次はアタックステップについて説明したいからアタックステップを始めてほしいな」

む…。たしかにいつまでも攻撃しなければダレるだけだし、ここは璃恵の指示を聞いておくか。

「分かった」

「ちなみに、アタックステップに何もしないでターンエンドはできるけど、原則《アタックしなくても必ずステップは行われる》から注意ネ♪」

「はいよ」

「ではお待ちかね♪ バトルスピリッツの華！《アタックステップ》の説明に入りマース♪」

「アタックステップ」

スピリット達がシノギをを削って戦う場面だよ♪」

また少し璃恵のテンションが上がった。そんなに楽しいのか。

「回復しているスピリット、つまり、縦になっているスピリットを横にすることで アタック」ができるの。実際にやってみてネ♪」

「じゃあ…ムゲンドラを」

ムゲンドラのカードを横にしてみる。

これが アタックする”ってことか。

「Yes Yes! この場合は、ムゲンドラでアタック！って宣言するんだよ♪」

「ふむ。ムゲンドラでアタック」

「追加の説明♪」

バトルするとき、スピリットと対決する際は”BPを比べて高い方が勝つ”。

プレイヤーにダメージを与える際は、”右下のシンボルの数だけライフを減らせる”んだよ♪」

なるほど、スピリットは本当に重要なんだな。

相手にダメージを与えたり、次に出すカードの手助けになったり、ライフを守ってくれたり。

「次はアタックされた側の説明♪」

アタックされた側の選択肢は2つ！

《スピリットで守る》か《ライフで受ける》か！

スピリットで守る”ブロックする”ならアタックする時と同じ、縦になってるスピリットが必要な。ワタシのフィールドにはBP1

000のムゲンドラとBP4000のデیفエンザードがいます。よって、このどちらかがブロックできます」

…てことは、デیفエンザードでブロックされたらBPが2000しかないムゲンドラが負けちゃうじゃん。

「なら、デیفエンザードに守られて終わりか」

「ノンノン悠姫♪選択肢は2つあるって言ッたでしょ♪ ワタシは《ライフで受ける》ことを選ぶー」

「璃恵ライフ5↓4」

「リザーブ0↓1」

「え!? 何で…」

「自分のスピリットを守る」ため、自分の命を盾にするって解釈で  
イイよ♪

減らされたライフはそのままリザーブに直行。すぐに使えるから、  
ライフで受けて使えるコアを増やすのもアリだね♪」

「スピリットを守る…」

「受けすぎるのも注意だよ。それだけ相手にアタックする要因を与え  
ちゃうから」

「なるほどな…。奥が深い」

スピリット達と一緒に戦ってるって思うと何だか…。

「これを交互に繰り返して、ライフが0になった方が負け。OK?」

「理解した。なかなか面白いな」

「そう思ってもらってワタシ嬉しい♪」

「なら璃恵」

「ん?」

「仕切り直して最初からやろう」

「ほう…♪ ワタシは望むトコロだけどいいの?説明してないモノ  
もあるのに」

たしかに一通り覚えなければならぬものもあるけど、言ってしまう  
ばぶっつけ本番でやってみようってこと。実践した方が早いって

言ったのは璃恵だし。

「やって覚える」

「うぷぷ…♪いいネいいネエ♪なら他のは後回し！カラダで覚えてネ  
！」



## ゼロからダツシユ・Aパート

再度デツキをシャツフル、コアをリセットして仕切り直し。大体あそこまで理解できれば流れで覚えるし…単純に、私が早くやりたいって思ってる。

「シアて悠姫、手加減してあげますから全力でかかッてきなさい！」

「そりやどーも。先攻はもうらうぞ」

「先攻は譲ッてあげましょう…」

ドヤ顔で先攻を譲られた。

何か一々誰かの真似をしているのか、声音を変える璃恵。まあ大体アニメのキャラクターだろうけど。

〈先攻・悠姫第一ターン〉

「スタートステップ」

(悠姫手札4↓5)

(リザーブ4)

「メイנסテップ。《ファイザード》をレベル2、《ムゲンドラ》をレベル1で召喚」

(手札5↓3)

(リザーブ4↓0)

「ファイザード コア3 レベル2 BP3000」

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

赤 スピリット

《ファイザード》

コスト0 軽減0 <翼竜>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

<5> Lv3 BP4000

シンボル：赤

【効果記述無し】

赤 スピリット

《ムゲンドラ》

コスト1 軽減赤1白1 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP3000

シンボル：赤

Lv1・Lv2

このスピリットの色とシンボルは白としても扱う。

「ターンエンド」

「ふむふむ♪じゃあ、ワタシの番!」

〈後攻・璃恵第二ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ!」

(璃恵リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ! 《ディフェンザード》をレベル2で召喚!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓2)

「ディフェンザード コア2 レベル2 BP4000」

白 スピリット

《ディフェンザード》

コスト2 軽減白2 <甲竜>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP4000

シンボル：白

Lv1・Lv2 『このスピリットのブロック時』

???

「更にイ♪ 白の 《ムゲンドラ》を0コストで召喚!」

(手札4↓5)

(リザーブ1↓0)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

白 スピリット

《ムゲンドラ》

コスト1 軽減白1赤1 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP3000

シンボル：白

Lv1・Lv2

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

「そしてエ、アタックステップ！ ムゲンドラでアタックウ♪」

アタックしてきた…！

ムゲンドラのBPは1000だから、ファイザードなら余裕でブロックできる…けど！

「ブロックはしない、ライフだ！」

「OK♪ じゃあライフ1つイタダキ♪」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「敢えてダメージを受けて次に繋げる、だろ？」

「Good! そのとおりだよ悠姫♪ ではターンエンド！」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

「メインステップ。ファイザードのコア2つをリザーブに戻して、レベルを下げ…」

「ファイザード コア3↓1 レベル2↓1」

(リザーブ2↓4)

「《エッジ・ウルフ》を召喚。レベル1だ」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓1)

「エッジ・ウルフ コア1 レベル1 BP3000」

赤 スピリット

《エッジ・ウルフ》

コスト3 軽減赤2 <皇獣(こうじゆう)>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『このスピリットのアタック時』

このスピリットをBP+3000する。

???

「このエッジ・ウルフが攻撃するとき、BPが3000も上がるぞ」

「オーケーオーケー♪」

これでディフェンザードのBPを上回ったから、ブロックされても突破できる。

「次に、《ルーキー・リユーマン》を召喚。こっちもレベル1」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ1↓2)

「ルーキー・リユーマン コア1 レベル1 BP2000」

赤 スピリット

《ルーキー・リユーマン》

コスト2 軽減赤1 <竜人(りゅうじん)>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：赤

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

このルーキー・リユーマンはレベル2から攻撃するたびにドローできらしいがエッジ・ウルフを召喚したからコアが足りない。次に期待だ。

「アタックステップ。エッジ・ウルフでアタック。レベル1からの効果でBPを3000プラスするから、BPは6000だ」

エッジ・ウルフのカードを横にして攻撃宣言をする。これでいいんだよな？

「うんうん♪ガンガンアタックしてくるねエ。攻撃こそ最大の防御！  
…でも手加減無しって言ったからね。ディフェンザードでブロックー」

「ブロックするのか？」

ディフェンザードのBPは4000。

エッジ・ウルフは6000だから太刀打ちできないのに…。

「教訓その1♪『知らないカードはちゃんと確認しよう！』」

ディフェンザードの「ブロック時効果」発揮♪

「なっ!？」

「ブロック時、BPをプラス3000する!よってディフェンザードのBPは7000になる!」

ま、マジか!?!?てことはエッジ・ウルフ負けちゃうじゃん。

「後々厄介なるエッジ・ウルフはディフェンザードで退場願います

♪」

A t t a c k!!

エッジ・ウルフ BP3000+3000=6000↓L o s

s...s

V S

D e f e n s e!!

ディフェンザード BP4000+3000=7000↓W i n

!

「しまった…」

「バトルはBP比べて高い方が勝ち!

バトルに負けて破壊されたスピリットはトラッシュに、乗っていたコアはリザーブに置かれるの♪あと、BPが同じ値だった場合は引き分けて両方破壊されるよ」

(悠姫リザーブ0→1)

マズったな、突撃隊長のエッジ・ウルフが真っ先に私のミスの犠牲者になってしまった…。

白は防御の色つてのは理解できた。次は慎重にして大胆に行こう。次の私のターンでこのネクサスを出した後、もう1枚のエッジ・ウルフで攻撃すればレベル3でBPが10000にもなる。そうすればディフェンザードも突破できるし、そうそうこのBPを越えられないだろう。

「ターンエンド」

「あい了解♪ 白銀のターン、スタートステップ！」

〈璃恵・第四ターン〉

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。 ……うぷぷ♪」

「…?」

璃恵が小さく笑った。

何か良いカードを引いたのか？

「悠姫、見せつけてあげよう！新たなカードの力を〜！」

「新たなカード？」

「白銀の鎧と黄金装甲に包まれし双砲を見よ！」

《アルティメットキャノン・ベル》！

レベル〃4〃で起動!!」

大仰な口上を述べて突き出してきたのは〃金縁に加工された白のカード〃。

(璃恵手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「レベルに足りない分はディフェンザードから拝借♪」

「ディフェンザード コア2↓1 レベル2↓1」

「Uキャノン・ベル コア2 レベル4 BP8000」

「あ、《アルティメット》!? 《レベル4》!?」

「そう！過去のカードが新たに生まれ変わり、スピリットを超え《究極》と呼ばれるようになった第6のカード！」

白 アルティメット

《アルティメットキャノン・ベル》

コスト4 軽減白2 <新生(しんせい)・武装(ぶそう)>

<1> Lv3 BP7000

<2> Lv4 BP8000

シンボル：金

【???

???

「さアさア、《究極(アルティメット)》の片鱗、刮目して見よ!!」

## ゼロからダツシユ・Bパート

ゼロからダツシユ・B パート

### 〈悠姫フィールド状況〉

ライフ4

リザーブ1 トラツシユ2

手札3

・ムゲンドラ(赤) コア1 レベル1

・ファイザード コア1 レベル1

・ルーキー・リユーマン コア1 レベル1

### 〈璃恵フィールド状況〉

ライフ5

リザーブ0 トラツシユ2

手札3

・ムゲンドラ(白) コア1 レベル1

・デイフェンザード コア1 レベル1

・アルティメットキャノン・ベル コア2 レベル4

璃恵が召喚した金縁に加工されたカード。他のカードとは格が違  
う雰囲気が出ている。

こつちのスピリットたちはレベル3でストップだけど、それを突っ  
切ってレベル4。その上BPも高い。∴焦るな、まだ突破できないほ  
どじゃないんだ。

「アタックステップ行くヨ♪アルティメットキャノン・ベルで、アタツ  
ク！」

攻めてきた！相手のBPは8000。今のスピリットたちじゃ到  
底太刀打ちできな——

「アルティメットキャノン・ベル、レベル4からの効果発揮イ♪

【U (アルティメット) トリガー】！ロック・オン！」

「《アルティメットトリガー》?!な、何だその能力…!？」

「悠姫のデツキの一番上をめくって見せて」

「お、おう。わかった」



「デツキの一番上をめくる効果、なのか？ とにかく言われた通りめくってみる。」

「えつと…。《バズ・リユーマン》」

「『トリガーヒット』！バッキューン♪」

右手を銃の形に真似て媚びるよう…。いや、可愛らしく撃つ仕種をした。

「アルティメットトリガー！」

それは、アルティメットだけが持つ能力！」

「マジか…」

「《バズ・リユーマン》のコストは2！よってトリガーがヒット！それにより効果発動♪」

アルティメットキャノン・ベルは悠姫のスピリットからブロックされなくなるヨ♪」

「はあ!？」

《アルティメットキャノン・ベル》

【Uトリガー】Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは相手のスピリットからブロックされない。

つ、強…。何だその効果は。

てことは、そのアルティメットトリガーがヒットすると私がスピリットたちで守ろうとしても無意味っていうのか!？」

「い、インチキ効果も大概にしるよ！」

「でもオその代わり色々デメリットがあるんだけどねエ」

「…デメリット？」

《アルティメットキャノン・ベル》

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

「これはワタシのフィールドに《白のスピリットが1体以上いないと召喚できない》っていう『召喚制約』。それで、強力なUトリガーも欠点はあるの」

【Uトリガー】

相手のデツキの1枚目をトラッシュユに置く。

そのカードのコストが、このアルティメットより低ければヒットとする。

「つまり、このUキャノン・ベルのコスト4より低い0から3までしかヒットしないの。同じ値もダメ」

「そうなるとそのトリガーを使うアルティメットのコストが高ければ高いほどヒットしやすくなるのか。…やっぱ強いな」

そんなぶっ飛び効果に対抗する術ってあるのか…？

「更に、《アルティメットはアルティメットを対象に、対象に含むした効果しか受け付けない》の」

「…うん？」

「例えばね、これとかなんだけど」

璃恵が他のところからカード1枚を私に見せてきた。

白 マジック

《アルティメットパワー》

コスト2 軽減白2

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+3000する。

「このの ッスピリット／アルティメット」って部分がそうなの。アルティメットって記述があるからアルティメットも効果の対象に選べるのね。逆にアルティメットの記述が無かったら、アルティメットを対象に選べないの」

「なるほど」

ちよつと理解しづらいけど、とにかく今は納得するしかない。

「はいイ！てなわけでUキャノン・ベルのアタックはどーする？」

「防御できないならライフで受けるしかないだろ…！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「Foooo ターンエンド♪」

〈悠姫・第五ターン〉

「むう…、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

：引いたのは《ネオ・フレイムテンペスト》。マジックカードだな。  
赤 マジック

《ネオ・フレイムテンペスト》

コスト7 軽減赤3

フラッシュユ：

BP8000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

または、BP4000以下のスピリットすべてを破壊する。

コストが7と大きいし、さつき璃恵が言ってた「アルティメットの一文が無い」。だからUキャノン・ベルはピツタリ8000でも破壊できないし、今使ってもこつちが不利なるだけだ。

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ」

：あれを倒せるとしたらエッジ・ウルフだけど、今Uキャノン・ベルは疲労だっけ？してるから防御できないんだっとな。けど防御できる状態でも、するかしないかは璃恵次第。となれば…。

「《ネオ・ダブルドロウ》を使うぞ」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓2)

赤 マジック

《ネオ・ダブルドロウ》

コスト4 軽減赤2

メイン：

自分はデッキから2枚ドロウする。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、自分はデッキから1枚ドロウする。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体のBPを+10

00する。

「デッキから2枚引く」

(手札3↓5)

私の場にアルティメットがいたらもう1枚引けるみたいだが生憎手札にもいないし贅沢は言わな……！

「…これか」

「ん？何か引いたかな？」

「私の場にはムゲンドラ、ルーキー・リユーマン、ファイザード。赤のスピリットが1体以上並んでいる。条件は満たして、コアもある」

「お♪ くるかい？ 『究極』が」

「ああ。出すのは『ドラグノ究極兵』だ！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ2↓4)

「ドラグノ究極兵 コア1 レベル3」

赤 アルティメット

《ドラグノ究極兵》

コスト5 軽減赤3 <新生・竜人>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP8000

<3> Lv4 BP12000

シンボル：金

【Uトリガー】Lv3・Lv4 『このアルティメットのアタック時』

???

アルティメットを初召喚。

やり方はさつき璃恵が出したように見てわかった。支払い方は同じで、出すのに条件があるだけだ。

「いくぞ、アタックステップ。ドラグノ究極兵でアタック！」

「オツケイトカモオン！」

「ドラグノ究極兵のアルティメットトリガーだ！そっちのデッキの一番上をめくれ！」

「めくるけど、掛け声はアルティメットトリガー・ロックオン!だから  
ネ♪ あ、バッキューン♪までだよ」

最後の部分は心底どうでもいい。  
とにかくめくられたカードを確認する。

「カードはコスト4の《ウイングソルジャー》。あちヤーヒットした  
かー」

「よし!ドラグノ究極の効果だ!...えっと、防御しなくてはならない  
?」

《ドラグノ究極兵》

【Uトリガー】Lv3・Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただ  
し、アルティメットはブロックしなくてもよい。

「OK♪ デイフェンザードでブロックするヨ。一応ブロック時効果  
が発揮されてBP+3000して5000になるけど敵わないね」

「ブロックしたのはスピリットだよな? ブロックされたときに璃恵  
のライフ1つをリザーブへ置く...みたいだ」

「リョーかい♪ もっと自信持つてダイジョブだよ悠姫♪」

《ドラグノ究極兵》

【Uトリガー】Lv3・Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただ  
し、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を  
相手のリザーブに置く。

「ヒャー!スピリットを持ってかれた挙げ句ライフまでく!」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

Attack!!

ドラグノ究極兵 BP8000↓win!

VS

デイフェンザード BP2000+3000=5000↓Loss

e...

(璃恵リザーブ1↓2)

これでひとつ厄介なスピリットを倒せた。

なら残ってるのはムゲンドラだけ！攻めるなら今だろう！

「アタックは攻撃できるスピリットがあるならしてもいいんだっ  
な。ルーキー・リユーマンでアタック！」

「Yes！そのとーり♪ルーキー・リユーマンのアタックはライフで  
…と、その前に、《フラッシュタイミング》！」  
「っ!？」

ふ、フラッシュタイミング…？

「説明！《フラッシュタイミング》とは！」

スピリットのバトルする間に挟む刹那的瞬間！

マジックやとスピリットの「フラッシュと書かれた部分の効果は  
このタイミングで使うことができる」のです！」

刹那的瞬間…？ ならこのネオ・フレームテンペストもこのタイミ  
ングで使えるのか…。

「ただフラッシュタイミングはちょっと初めてだと混乱しやすいから  
よく聞いてネ」

…ふむ。フラッシュタイミングは

《アタックしているとき、されたとき》と《ブロックするとき、された  
とき》に挟むステップのようなものらしい。

かなり説明が難しいが、何とか覚える。

例えば今みたいに

← アタック側・悠姫がアタック

← アタックorバトル時の効果解決

← ブロック側・璃恵のフラッシュタイミング

← パスor使用

← アタック側・悠姫フラッシュタイミング

← パスor使用

：と大体こんな感じ。

← ブロック側・璃恵のフラッシュタイミング

← パスor使用

← アタック側・悠姫フラッシュタイミング

これを交互に繰り返し、ブロック側、アタック側がお互い使うのを  
パスしたら

・ ブロック側・ブロック宣言orライフで受ける  
が発生。

アタックしたときと同じく

← ブロック側・フラッシュタイミング

← パスor使用

← アタック側・フラッシュタイミング

・

・ となるらしい。常にブロックする側に権利があるよう。

← そしてお互いが1回ずつパスしたら

← バトル。BP比べorライフダメージ

← 勝敗

← なんやかんや

←

バトル終了

「……ややこしいな」

「こればツかりは慣れるしかないかな。ワタシも始めた頃は混乱したから、まアヤツてるうちに慣れるツて♪」

ううむ…、とにかくやるしかないか。

「ワタシのフラッシュユだツたね。」

マジック《サイレントウォール》を使用♪」

(璃恵手札3↓2)

「足りないコストはフィールドのUキャノン・ベルから拝借♪」  
(リザーブ2↓0)

「アルティメットキャノン・ベル コア2↓1 レベル4↓3」  
(トラッシュユ2↓5)

ん…？ コストの計算がおかしくないか？

「どしたの？」

「コアの計算が違うんじゃないか？Uキャノン・ベルも白のカードだろう？」

「あくそれはね、ここ見て」

Uキャノン・ベルのカードを見やすいようこちらに向けて、右下の部分指差した。

そこには、白のシンボルではなく“金色のシンボル”があった。

「これは一応7色目のシンボルツて言ツてもいいんだけど、今のところコレでコスト軽減とかできないのよねコレ。だからこの場合、ムゲンドラの白1つでしか軽減できないの」

「ふ〜ん」

てことは後が続かないのか、アルティメットのシンボルツてのは。

ただ闇雲に出してオラア！すればいいツてわけでもないのか。

「てなわけでサイレントウォールの効果！ルーキー・リユーマンのアタックが終了したら悠姫のアタックステップを強制的に終わらせるよ！」

「何っ！」



白 マジック

《サイレントウォール》

コスト4 軽減白2

フラッシュ:

今行っているバトルが終了したとき、アタックステップを終了する。

「悠姫のフラッシュはある?」

「…いや、特にない」

「ならフラッシュ終了♪ アタックはライフで受けちゃう♪」

(璃恵ライフ4↓3)

「はいコレで悠姫のターンは終わり♪」

「くっ、ターンエンドしかないか」

「メインステップ2とかはないからね♪ あとデッキちヨッチ弄ったのはこれだけだからね」

〈璃恵・第六ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

璃恵のターンになった。今のところこちらが優勢か。

あとは押し切るようにしていけば勝てるはずだ。

ドラグノ究極兵もレベルを上げれば12000になるし、太刀打ちできるカードも少ない、はず。

「…ちヨい厳しめか。ならこうしよっか」

不意に、璃恵の声音と目つきが変わった。少し真剣味を帯びたって  
いうか。

「《ミサイルモービル》2体をコスト0でレベル1で召喚するね」

(手札3↓1)

(リザーブ6↓4)

「ミサイルモービル一号 コア1 レベル1」

「ミサイルモービル二号 コア1 レベル1」  
白 スピリット

《ミサイルモービル》

コスト1 軽減白1 <武装>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：白

【効果記述無し】

「さてと…、2体目投入といきまッショイ!!」

「2体目?!」

「黄金の鎧を纏いし鋼のヒトよ、新たな誓いと炎の剣と共に闇を払え  
!

《アルティメット・スルト》!!

レベル4で出撃!!」

璃恵が最後の1枚を切ってきた。

現れたのは2枚目のアルティメット。

(璃恵手札1↓0)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「レベルに足りない分はミサイルモービルから拝借して確保!それに  
よってミサイルモービルは消滅!…ゴメンね」

「ミサイルモービル一号 コア1↓0 消滅」

「アルティメット・スルト コア2 レベル4 BP14000」

白 アルティメット

《アルティメット・スルト》

コスト6 軽減白3 <新生・武装>

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP11000

<2> Lv4 BP14000

シンボル：金

【Uトリガー】Lv3・Lv4『このアルティメットのアタック時』  
Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは相手のスピ  
リットからブロックされない。

Lv4『???』

???

「2体目のアルティメット…」

アルティメットを出すときの普段から感じ取れない凜とした声を  
響かせる璃恵。…ちよつとドキッとした自分が恥ずかしい。

「…手札使い切っちゃった。とにかく、アタックステップ!」

攻めてくるか。何か璃恵のやる気に火を点けたしまったようで…。

「U・スルトでアタック!Uトリガー・ロックオン!」

「めくるぞ。《アルティメット・ゴラドン》:アルティメットのカード  
!?!」

「コストは4だネ♪ ヒット!バキューン♪」

「それはやるんだな」

「まアワタシのアイデンティティですから♪」

…そんなもんなのか?

そんなことより、私のアルティメットが!

アルティメット・アスクのコストは6だから大概がヒットしてしま  
う。

「これでU・スルトはスピリットからブロックされないよ!」

「…っ、ライフだ!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「続けてUキャノン・ベルでアタック!」

立て続けにきた…!あ、Uトリガーは…!

「Uキャノン・ベルのUトリガーはレベル4からだから発揮はしない  
ヨ。でもこのアタックを受けたら残りライフが1になっちゃうね」

「うっ……、ファイザードで守る!」

「そのまま破壊だヨ!」

(悠姫リザーブ1↓2)

「アタックはここで止めて、〃エンドステップ〃」

さすがに全部突っ込んでくるってことはなかったか。なら、次で何とかするんだ。BPの高いU・スルトが防御できない今がチャンスだ。

「終わりだな。スタート——」

「ちよい待ったー！」

「っ!？」

「エンドステップにU・スルト、レベル4の効果が発揮されるよ！」

「えっ!？」

「U・スルト、回復ッ！」

なっ、回復した!?!…てことは防御できるようになったのか?! 何だよそれ…!

《アルティメット・スルト》

Lv4 『自分のエンドステップ』

このアルティメットは回復する。

「これでターンエンド。さ、悠姫のターンだよ」

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ…」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ…」

これはヤバイ…。ドラグノ究極兵をレベル4にしてもU・スルトに越えるにはBPが1000足りないし、今の手札で璃恵のライフを0にできる手段は無い。

全部アタックしたとしても、璃恵のターンにスピリットやアルティメットを引かれたらアウトだ。

「……………」

考える、考えるんだ…。

このリザーブの7つのコアでできることを…。

「…《ファイザード》をレベル1で召喚」

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ7↓6)

「ファイザード コア1 レベル1」

まず数は並んだ。次に…。

「《アイゼンドラゴン》をレベル1で召喚する」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ0↓2)

「アイゼンドラゴン コア1 レベル1 BP3000」

赤 スピリット

《アイゼンドラゴン》

コスト5 軽減赤3 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、自分はデッキから1枚ドローする。

「ドラグノ究極兵をレベル4に」

(リザーブ3↓1)

「ドラグノ究極兵 コア1↓3 レベル3↓4 BP8000↓1  
2000」

…で、どうする？

アイゼンドラゴンとドラグノ究極だけでも攻撃させるか？ いや、もし向こうのトリガーがヒットしたらドラグノ究極兵以外守れない。…手札のカードをよく読め私！まだ返せるものがあるはずだ！  
今この状況でネオ・フレイムテンペストは使えない。

赤の軽減を3つ用意できてはいるけどそれでもこの状況で4は重

い。

アイゼンドラゴンを出さなければ使えたかも知れないが、向こうには無敵のアルティメットが2体並んでいる。他のを倒しても肝心のものが無傷なんじゃ意味が薄い。

「…次に賭けるしかない」

「…悠姫、どーするの?」

「アタックは……しない。ターンエンドだ」

「ふくん、エンドするんだ」

〈璃恵・第八ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札0↓1）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ1↓4）

「メインステップ。……Uキャノン・ベルをレベル4に。ミサイルモービルをレベル3に」

（リザーブ4↓0）

「アルティメットキャノン・ベル コア1↓2 レベル3↓4 B

P7000↓8000」

「ミサイルモービル コア1↓4 レベル1↓3 BP1000↓4000」

「アタックステップ。U・スルトでアタッカー！Uトリガー！ロックオン！」

そのまま攻めてきたか。

あの1枚の手札が気になるけど、今はどうするか…。

「…!? 《アルティメット・マギー》!?」

「ヒットはしなかったけど、大きいの落とせてラッキー♪」

なんてこった…!

このカード、U・スルトと同じコストでBPも上回ってるのに…! 「ギアどーする?」

「ヒットしなかったからブロックできるんだよな? アイゼンドラゴ

ンで守る！」

せつかく出したけど、ここは盾になってもらうしかない。

「アイゼンドラゴンの効果だ！BP3000以下のスピリット1体を破壊する！そっちのムゲンドラを破壊するぞ！」

「OK、いいヨ」

(璃恵リザーブ0↓1)

「さらに、私のドラグノ究極兵がいるから1枚、ドロー！」

(悠姫手札3↓4)

っ!? これは！

「ふ、フラッシュタイミング！」

「ッ！」

「こういう使い方でいいんだよな、今引いた《フレイムスパーク》を使う！」

「なるほど！」

「コストはリザーブから1つとアイゼンドラゴンから使う！できるよな?!」

「OKOK! Goodだよ悠姫♪」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「アイゼンドラゴン コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ2↓4)

赤 マジック

《フレイムスパーク》

コスト5 軽減赤3

フラッシュユ：

合計BP5000まで相手のスピリットを好きなだけ破壊する。

この効果でスピリットを破壊したとき、自分のトラッシュユにあるスピリットカード1枚を手札に戻す。

「5000まで好きなだけ破壊していいなら、ミサイルモービルを破壊する！」

「ミサイルモービルはBP4000。破壊されるヨ」

(璃恵リザーブ1↓5)

「それで、フレイムスパークで相手のスピリットを破壊したら、私のト  
ラッシュにあるアイゼンドラゴンを手札に戻すぞ!」

「うんうん♪Godな判断だよ♪」

(悠姫手札3↓4)

よし、これで1体アルティメットを止められた!後はヒットしても  
ドラグノ究極兵がいるからUキャノン・ベルも止められる!

「ふむウ、これはターンエンドかなア。でもU・スルトは回復するよ」

「よっし!凌いだ!」

「やるじゃん悠姫♪」

ターンは回って来たがまだ気は抜けない。

璃恵が出さなかった1枚が気になる。

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

「ドローステップ……っ!」

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…これがこのデッキの切り札か!」

「…引いたみたいだね♪」

これなら行ける!

締めるならコイツしかないだろ!

「『《アルティメット・ジークフリード》!! 召喚だ!!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ドラグノ究極兵から1つ借り受けてレベル4で行く!」

【アルティメット・ジークフリード コア3 レベル4 B P 1 4 0

0 0】

「ドラグノ究極兵 コア3↓2 レベル4↓3」



赤X アルティメット

《アルティメット・ジークフリード》

コスト6 軽減赤3 <新生・古竜>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP14000

<5> Lv5 BP20000

シンボル：金

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただし、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

Lv4・Lv5 ???

???

「ドラグノ究極兵のコア1つをルーキー・リユーマンへ移してレベル2に！」

「ドラグノ究極兵 コア2↓1」

「ルーキー・リユーマン コア1↓2 レベル1↓2」

これで決められるか！

「アタックステップ！まずはルーキー・リユーマンでアタック！こいつがレベル2でアタックしたとき1枚ドロウする！」

(手札4↓5)

「うくん、ライフで受ける！」

(璃恵ライフ3↓2)

(リザーブ5↓6)

「次はドラグノ究極兵でアタック！」

「それもライフだヨ！」

(璃恵ライフ2↓1)

(リザーブ6↓7)

防がない!? …あの手札はハツタリか？

「アルティメット・ジークフリードで、アタック!!Uトリガー!」

「落ちたのはスピリットカード《ホワイトジェットドラグーン》、コスト5!」

「さあ守ってみろ!」

「アルティメット・スルトでブロック!スルトのBPは14000。今のジークフリードじゃ倒せないね!」

——来た!

「フラッシュタイミング!」

アルティメット・ジークフリード、レベル4からの効果——《真・覚醒》だ!!」

「おおッ!」

《アルティメット・ジークフリード》

Lv4・Lv5：フラッシュ【真・覚醒】

『このアルティメットのアタック時』

自分のスピリットのコア1個をこのアルティメットに置くことで、このアルティメットをBP+3000する。

「ルーキー・リユーマンからコア1つを受けとって、BP+3000!17000!」

「ルーキー・リユーマン コア2↓1 レベル2↓1」

【Uジークフリード コア3↓4 BP10000↓17000】

「ワオ!越えられちゃったよ!」

「殴り抜ける!!」

(璃恵リザーブ7↓9)

「まだまだ、ファイザードでアタック!」

あれがハツタリなら、ファイザードをブロックしたら次のムゲンドラが通る!

「……アルティメットキャノン・ベルでブロックするよ」

よし、よし!

ファイザードは犠牲になっちゃうが、ムゲンドラの道が拓けた!

「悠姫」

「…な、なんだ？」

「…一手、惜しかったネ♪」

「え——」

「フラッシュユタイミング。

マジック、《ラストリベリオン》を使用」

「っ…!？」

は…ハツタリじゃなかった!？」

「悠姫があのとときに一斉アタックしなかったのが原因かな。躊躇ったのがマズかったね」

「そ、そんな…」

「ラストリベリオンの効果。悠姫のコスト3以下のスピリット全てを手札に戻すよ」

(璃恵手札1↓0)

(リザーブ9↓3)

(トラッシュユ0↓6)

白 マジック

《ラストリベリオン》

コスト6 軽減白4

フラッシュユ：

コスト3以下の相手スピリット全てを手札に戻す。

または、相手の合体していないスピリット1体を手札に戻す。

「なっ!？」

「コスト0ファイザード、コスト2ルーキー・リユーマン、そしてコスト1ムゲンドラは手札へ！」

(悠姫手札5↓8)

(リザーブ0↓3)

「マジか…」

〈璃恵・第十ターン〉

「アタックは終わりだね？ならワタシのターン」  
(リザーブ3↓4)

(手札0↓1)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ4↓10)

「メインステップ。悠姫はよく頑張った。初心者でワタシに手札を使い切らせて追い詰めたのは悠姫が初めてだよ」

「そうか…」

「落ち込まないですよ。胸張っていいからサ」

「次は負けないからな」

「そうそうその意気」

はあ…。ガラにもなく全力で璃恵とぶつかったのはいつ以来だろ。こんな熱くなつたのも。

「悠姫の健闘を讃えてワタシも切り札で決めよう…。」と思っただけど、ヤメた」

「…? なんで?」

「うぶぶ…♪ 出・き・せ・て♪」

「…今に見てろよ」

今ので分かった。

出させるようにもっと強くなれとき。

「《シールドモビル》をレベル2で召喚」

(手札1↓0)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュユ0↓3)

「シールドモビル コア2 レベル2 BP5000」

白 スピリット

《シールドモビル》

コスト3 軽減白1 <武装>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

このスピリットは疲労状態でブロックできる。

L v 2・L v 3 【重装甲：赤】

このスピリットは、相手の赤のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

「シールドモータービルでアタック」

「ライフだ」

（悠姫ライフ2↓1）

（リザーブ0↓1）

「ラスト。アルティメットキャノン・ベルで、アタック。Uトリガーは  
いらないネ」

「ああ。——ライフで、受けやるよ。…私の負けだ」

（悠姫ライフ1↓0）

〔winner 白鐘 璃恵〕

「悠姫」

「ん？」

「ありがとうございました。良いバトルだったよ♪」

## ダツシユしてみよう・Aパート

「このデッキってこんな中身だったのか…」

あれから璃恵<sup>りえ</sup>としばらく練習バトルをし、デッキの動きを大まかにだが理解した。

詰まるところ。スピリットで速攻をかけ、ライフをいいところまで削り、追い詰めたところでアルティメットで決める。大体こんな感じ。

で、だ。璃恵の提案で『灼熱のゼロ』デッキをもっとよく知るために並べてみようということになった。更にはカードの追加や入れ替えもしてみようという事も。

「こんなんでいいのか?」

「初心者なんだからこんなんでイイんだヨ。初心者のうちに激強カード持たせたら毒、性根を腐らせる原因にしかないからネ」

### 灼熱のゼロデッキ内容

#### ◆スピリットカード

コスト0 ファイザード×3

コスト1 ムゲンドラ×1

コスト2 ルーキー・リユーマン×3

バズ・リユーマン×3

コスト3 エツジ・ウルフ×3

コスト4 ドラゴナイト×3

コスト5 アイゼンドラゴン×3

#### ◆マジックカード

コスト4 ネオ・ダブルドロロー×1

ブレイジングバースト×3

コスト5 フレイムスパーク×2

コスト7 ネオ・フレイムテンペスト×3

#### ◆ネクサスカード

コスト3 狩る者の集落×2

コスト4 赤き黎明の空×2

◆アルティメットカード

コスト4 アルティメット・ゴラドン×3

コスト5 ドラグノ究極兵×2

コスト6 アルティメット・マ・グー×2

アルティメット・ジークフリード×1

「おいUジークフリードが1枚しか入ってないぞどうなってんだ」

「構築済みはみんなそうなの。だから基本は3箱買うのがGood♪」

3箱て…。しかもネオ・ダブルドロも1枚しか入ってないのも驚き。璃恵も「ドローマジックはあつて損は無い。むしろ何故1枚しか入ってないのか甚だ遺憾である」…とどこぞの政治家みたいな、変な怒り方をしていた。

「…てことは買い足さなきゃならんか」

「心配御無用！」

大袈裟な動作で璃恵が取り出してきたのは、同じ灼熱のゼロデッキだった。

「ジャジャーン♪こんなこともあろうかと！既に2つ購入済みだったのサ♪」

「えっ？ でもお前、お金…」

買ってきたって…、おいおいこれは以上はさすがに…。

「イイのイイの♪ そのデッキは奢り。この2つは、バトスピを始めた記念と、ワタシを追い詰めたご褒美ツてこと♪」

「……………」

「うぷぷ…♪」

…はあ、昔から璃恵はこうなると折れない。気持ちを汲んで有り難く受け取ろう。

「ありがとうな。大事に使うから」

「悠姫のタメならいくらでも使えるヨー！」

「馬鹿言ってるんじゃない」

「さてさて、悠姫はどう構築するのかナ？」

「うくん、どうするかな…」

ひとしきり他愛もないやり取りをした後本題に入る。このデッキをどういじるか…と。ふとお店の時計を見ればもう夕方過ぎ。もういい時間だ。

「あつと…。長居しすぎたか？」

「大丈夫だよ。ワタシ店長さんと知り合いだし、何ならこのスペース貸し切るヨ？」

「止めとけ。他の人に迷惑掛かるだろ」

「あーい♪」

返事だけは良いが本当に分かってるのか？ いやまあ常識は弁えてるから冗談なんだろうけど、私がそうしたいって言ったらやるつもり…なんだろうな、璃恵だし。

「じゃあ…」

「悠姫のおうちへGO♪」

「そうなるよな」

いつも私か璃恵の家で遊ぶのが多くて、ゲームセンターとかにも行くけど、大概はインドアだ。一緒に本読んでゆったりしたり、家族を巻き込んでパーティーゲーム（主にテレビゲーム）したりと、私が出歩くことが少ない。

実際こういうカードショップに来るのは初めてで、何だか落ち着いて考えができない。

「あ、先にお外で待ッて。ワタシちょい用事あるから」

「ん」

「すぐ戻ッてくるから、アヤシイお姉さんに着いて行ッちゃダメだよ？」

何でお姉さんなんだ…。流して黙々と片付ける。そういやさつきカードケースとコアケースまで貰ったんだっけ。カードケースは赤色でアルティメットの金のシンボルが描かれてるやつ。コアケースは璃恵のお手製らしい。

「じゃ先行くぞ」



「はっはっはっ。」

忘れ物は無いな。最終確認をして席を立つ。璃恵を見送ってお店の入口に向かう――

その時、入口が開きお客が入って……きた……。

「……………」

店が一瞬静まり返り、思わず足を止めた。何事だろうかと他のお客様の様子を見ると

――あいつが来た。

――次は勝ってみせる。

――今日はアレが見れるかな？

敵意ではなく…何だ？ファンか？

その人物、一言で言えば…真っ黒。端正な顔立ちは透き通るような白、腰下まである長い髪、ゴスロリ服に足元まで隠れるスカート。綺麗な瞳は左右色が違う。左目が金色…カラーコンタクトか？カチューシャは紫の薔薇を添えて、何だろう「凄く浮いている」。

「…失礼」

「っ！ あ、すみません…」

ぼーっとしてたらしく道を塞いでいたよう。慌てて横に退いて道を空ける。

「ありがとう」

「い、いえ…」

優雅な身のこなしで軽く礼をして通る謎のゴスロリ少女。そしてゆったり奥のスペースへ向かい着席する。すれ違うとき分かったが、彼女私より背が低い。大体私の目線に頭のとっぺんが来るぐらいだ。私自身は高くもなく低くもなく…。このゴスロリ少女は中学生ぐらいだろうか。 ……あれ？こつちを見てる？

「お待た〜♪ お話終わったよ〜♪」

「っ!？」

この静寂を全力でぶち壊したのは悲しいかな用事を終えて戻って

きた璃恵だった。

「悠姫待ッててくれたんだ？♪ワタシは嬉しいゾ？♪」

「おわ：！?ちよ、馬鹿！こんなところで抱き着くな！」

「照れるな照れるな♪」

「この馬鹿！視線が痛いわ！あのゴスロリ少女だつてこつち見て—

「——白鐘しろがね 璃恵ツ!!」

「っ!？」

「おヨ?」

けたたましい音を立て立ち上がり、店内に響き渡る怒声を発したゴスロリ少女。：超ビックリした。てか、璃恵の知り合いか？

「おやおや?あツれ? お店で大声を出すようなヤツは誰かと思っ

たらゴスロリ少女 みおげ 滯紫 あやね 彩音 あやね ちゃんじゃないですか♪」

「あなた一度私を認識したわよね!？」

「あー、見ないフリした♪」

「ふんっ、相も変わらず不愉快な女だこと」

あやね：?それがあの娘の名前なのか。

「それと、この場で私の真名まなを呼ぶなど言っているでしょう?」

「あれそーだっけー?」

かなり璃恵の態度が投げやりになった。それに：まなつて何だ。

「魂のぶつかり合いが詩を奏でるバトルスピリッツで、私のことは魂の銘…」

ソルマルタ・レーテル・トゥルーリーワース じやくり 蛇剣 じやくり と呼びなさいツ!!」

……………は?」

左目辺りに左手を翳しやたら決まったポーズを取るソルマ……ミオゲさん。

「はいはいソリ・マヌタ・レテール・トゥルルワスⅡしゃっくりちゃん」  
「ソル！マルタ！レーテル！トゥルーリーワース！蛇剣よ！。ちゃん  
と覚えなさい！」

「長いんだヨ」

「闘いの詩を紡ぐ者の魂の銘よ？ 長くて当然よ」  
いやそのりくつはおかしい。

大体何を話して何を何だったか色々分からんようになってきた。

「できア、何で来たの彩音ちゃんはサ」

「闘いと魂の声を聴きに来たのよ。当たり前でしょう」

…闘いはまあバトルしにきたってのはおおよそ理解できるが、魂の  
声ってなんだ。そう混乱していたら璃恵が耳打ちしてきた。

（魂の声ッてのは、単なるストレージ漁りやシングルカードを探しに  
来たッてことだヨ）

（…そうか…）

「何をこそこそ話しているのかしら」

「ベツつにく」

何とも、何とも変わった人だ。なんて言ったか…中二病？

「正しく(?)は厨二病って書くんだヨ」

「えっ」

「否定はしないわ」

「えっ?」

……帰りたい。

「それより、白鐘璃恵。私と出逢ってしまったからにはバトルしても  
らうわ」

「え?」

「白銀と紫乖との闘争。これはバトルスピリッツがこの現世に顕現し  
た時より定められた宿命。逃れる事は出来ない輪廻の楔」

何言ってるか分からんが、バトルスピリッツで因縁めいたものがある  
って部分だけは分かった。

「受けなさい、私の挑戦を！」

ビシリと擬音がするくらいかっこよくケースを突き出す。様になつてゐるのを見た感じ何度もやつてゐるのかな…。

「うーん、イイけどさア…」

ミオゲ：ジャクリさんの挑戦を受けた璃恵だが難色を示し、チラリと時計を見る。…あ、そういえば私ら帰るところだったんだよな。あまりの衝撃に忘れてたわ。

「ん…？ 時間が無いのかしら」

「うん。ゴメンネ♪」

「なら仕方ないわね。今回は止めておきましょう」

あつさり引き下がった！良識はあるみたいで安心したぞ。

「来週の金土日のどれかなんていかが？」

「ふむ……」

ジャクリさんが懐から黒いお洒落な手帖を取り出し、パラパラと数ページめくって何かを確認している。

「良いわ。空いているからそちらの都合の良い曜日を指定しなさい」

「ありがとうネ♪ 悠姫は？」

「えっ…あ、大丈夫、だけど」

「OK♪ なら金土日3日全部で♪」

「はあ!？」

馬鹿か！確かに金曜は休みになつてゐるが3日全部だと!？」

「…相変わらずね。分かつたわ、ならまず金曜の昼12時半辺りにここに集まるということでもいいわね」

「オツケオツケ♪ 悠姫もOK？」

…うなだれてオーケーを出した。別に嫌じゃないからいいんだけど、何なんだこの二人。仲が悪いのかと思つたら普通に仲良いじゃないか。ジャクリさんはアブナイ人かと思えば良識的な人だったし。

「じゃそゆことで♪ 今日サラダバ〜♪」

「ええ、〜きげんよう。また逢いましょう」

呆気に取られて挨拶できないまま手を引かれて店を後にした…。出る間際、何気なくジャクリさんの方に振り返つたら柔らかく微笑ま

れ軽く手を振られたので、ぎこちなくだが返した。

して、我が家に到着。…何か、ドツと疲れが襲ってきた。

家には誰もいなかった、が、書き置きが置かれていた。妹と母さんからだ。…買い物に行つてくるとのこと。

「なら帰られるまでデツキをイジろう♪」

「…そうだな」

疲れはした。疲れはしたが、不思議とやる気はあった。久々に楽しいと思えるような事があったから余計かもしれないが、私のデツキが強くなるかも…と思うと何か、ソワソワする。

「さアまずは悠姫が自由にやツてみて♪ デツキ枚数の目安は40から42枚程度だからネ」

「あいよ」

——進んで来週の金曜日。

あの人と璃恵が対戦するという約束の日だ。あれから時間があればデツキを弄り璃恵と対戦をするというハマリっぷりだ。…一度も勝てなかったけどな。

で、だ。早めにお店に到着した私達、約束の時間まで30分近くある。

「またやるかい?」

「来るまではいいだろう。とにかく負けてもいいからぶつかり稽古だ」

「良い心構えだヨ悠姫♪ さア、お姉さんの胸にぶつかってきなさい!高級クツション付きだヨ♪」

あ?おう何だ無い私に対しての嫌味か?あ?

・

「また負けた…」

「悪いネ♪」

「守りが硬すぎる…。修正が必要だ…」

「騙してないんだが、コレも白の仕事なんでネ」

「話が…違うツスよ…。アルティメットは…特別だって…」

色々やったが《トルーパーモービル》と《ホワイトジェットドラグーン》の守りが抜きずらい。手をこまねいているとアルティメットにすり抜けるし…。前は使ってなかったけどあの『ネクサスカード』も厄介だ。

「二人とも早いわね」

「おツ、きたネ♪」

「あ、どうも」

「ごきげんよう」

あれこれ悩んでいたらミオ…ここではジャクリさんだったっけ？  
噂の人物が到着した。

「えっと…」

「ソルマルタ・レーテル・トゥルーリーワースⅡじゃくり蛇剝。……あやね彩音で結構よ」

「はい。…アヤネさん」

「あー！ナンで悠姫には名前呼ばせてワタシはダメなのー!?」

「五月蠅いわよ」

「ぶーぶー！」

璃恵のブーイングを無視すると私な隣の席に座り…小さな黒い可愛らしいアタツシユケースをテーブルに置いた。

「ちョー！なんでそツち座んの！」

「あなたと対戦するのに隣同士でどう戦えと？」

「そーだけどー！」

どうでもいい。…なら対面してる私が退けよう。色々片してアヤネさんに席を譲る。

「どうぞ」

「あら、ごめんなさいね」

「いえいえ」

「……そういえば」

「はい？」

私のいた席に移動したアヤネさんが思い出したかのように呟いた。

「…ユキさん、でよかったかしら」

「はい」

「そう。あなた、初心者？」

「一応」

「ふむ…」

何か思案するよう俯いて軽く目を閉じ、数秒。

「ユキさん、私と戦わない？」

「……えっ?」

「え〜ッ!」

突然バトルしないかと持ち掛けられた。嫌ではないけど、突然すぎる。

「ワタシとのバトルは〜!」

「バトルスピリッツを始める奏者が増えて嬉しいのは私も同じ。それに、あなたばかりが相手では、知識も経験も偏ってしまうでしょう?」

「ぐぬぬ…」

「あなたとの闘争も愉しみだけど、序章を紡ぎ出した奏者”と共に  
『優雅な舞曲』を奏でるのも良いわ」

スイッチ入ったのかな。また難解な言葉を使い始めたアヤネさん。

…あれは熊本弁だとか璃恵に聞いたが、熊本の人が聞いたら怒るだろうに。

改めて…璃恵がいた席に私が移り、璃恵は私の左隣に。対面にアヤネさんがいる形になった。あ、それと準備している時にどんな名前なのかを教えてもらった。

「さんずいに零で、滯（みお）

紫（むらさき）と書いて紫（ず）

彩（いろどり）と音で彩音（あやね）」

「へえ…。綺麗な名前ですね」

「…そ、そう、ありがとう。…んんっ。それで、あなたの名前は?」

「緋色の緋（ひ）に立つで、緋立（ひだち）

悠々自適の悠と……姫で……悠姫（ゆき）です……」

下の名前だけ名乗るのはとても勇気がある。私が姫とか名前負けもいいところだ。母を恨みはしないが、姫の部分は機とか稀とか祈でも良かったんじゃないかと。

「では悠姫さん、よしなに」

「よ、よろしくお願いします」

「ふふつ、畏まらずとも大丈夫ですよ。さて、どの魔譜デツキが良いかしら……」

彩音さんがアタツシユケースを開けるとデツキケースが。紫色のが4つ、緑色のが1つ、黄色が1つ。計6つも納まっていた。……すげえ。

「本気では心を折ってしまう可能性があるから駄目として……これが妥当かしら」

取り出した紫色、というか青みがあった紫……藍紫色っていえばいいのかな。その色のデツキケースを取り出した。

「むく。言ツとくけど、悠姫を甘く見てると負けるヨ」

「そう」

〈緋立 悠姫〉

【灼熱のゼロ改めゼロ、（ダツシユ）】

VS

〈ソルマルタ・レーテル・トゥルーリーワースⅡ蛇剣〉

【???

「では始めましょう」

「……よし、了解です」

お互いに準備完了。……彩音さんのプレイシートとライフ置き場洒落てるなあ。あ、それより先攻後攻のジャンケン——

「これで決めましょう」

「……サイコロ、ですか?」



彩音さんが何処かから取り出してきたのはキレイな赤と紫のサイコロ。…へえ、出目で決めようってわけか、いいね。てなわけで私は赤のサイコロを受け取る。

「運m…」

「運命の、ダイスロール!♪」

「ちよ、何であなたが言うのよ」

驚いて思わずサイコロ手から滑らせてしまった。運良くテーブルには乗ったが……出目は2。

「まったく……。あら、5ね。先攻はもらうわ」

「了解。どうぞ」

「では——」

ゲートオープン・界放っ!

「ゲートオープン・界放ッ♪」

「…か、界放」

未だ慣れないバトルを始める掛け声。璃恵は元気いっぱい、彩音さんは前に見た左手を左目辺りに添えて決めポーズ。……見習わないようにしよう。

〈先攻 蛇割・第一ターン〉

「紫蓮しれんの第一ターン、スタートステップ」

(手札4↓5)

(リザーブ4)

…あの何々のターンって言うのは必ず言わなきゃならんものなのか？

「メインステップ。暗闇の夜空に妖しく聳えるは《旅団の摩天楼》。レベル1で配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓3)

紫!?! そんな予感はしてたが、いざ対峙すると緊張するな……。

…それより、よく見たら彩音さんの場が本当に紫一色だな。スリー

ブからコアからプレイシートまで。特にスリーブは特徴的で、黒を基調に、片膝を抱え、背中から羽のようなものが生えている妖精？に、不可思議な三角形のマークと文字がプリントされている。

紫 ネクサス

《りよだんのまてんろう旅団の摩天楼》

コスト3 軽減紫2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『このネクサスの配置時』

自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2 『???』

???

「摩天楼配置時、デッキから1枚ドロー」

(手札4↓5)

璃恵から、ネクサスは『スピリットたちが戦う背景、舞台のようなもの』だと説明を受けた。

スピリットが主役で、マジックが主役を引き立てる演出なら、ネクサスは舞台装置だってさ。

「さらに、バースト」をセット」

(手札5↓4)

ば、バースト？ 何だったか…。

「？ 白銀はくぎんのとやっていたなら知ってるものだと思ったけど…」

「ああ、いや、ど忘れを…」

「なら説明！」

「…突然割り込まないでくれる？」

「せめて説明させてヨ！ただでさえ悠姫があなたに釘付けなんだから〜！」

「で、バースト」ツてのは、『バトルスピリッツ・霸王編』から追加された新要素。

自分のターンに一度、《バースト効果》を持ったカードを裏向きでフィールドにセット、置くことができるの。置く場所は判りやすい場所なら何処でも良いんだけど、原則左上にセットゾーンツてのが設けてあるからそこに置いてネ♪」

「大雑把に言えば、ある行いに対して反応する《罠》とか《地雷》と言えればいいかしら。その行いを《バースト条件・発動条件》というの。条件は様々あるけど、条件を満たせばコストを支払わずして強力な効果を使えるのよ」

「ちョツとー説明はワタシがするんだから取らないでヨ！」

…で、これがバーストカード。マジックカードなんだけど、フラッシュ効果の上に太陽みたいなマークがあるでしょ？」

見せられたカードは《バーストシールド》。…たしかにマジックカードに分類されてるけど、コストのマークと、たしかに太陽みたいなマークがある。

白 マジック

《バーストシールド》

コスト4 軽減白1

【バースト：自分のライフ減少時】

ボイドからコア1個を自分の白のスピリットに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

このターンの間、コスト4以上のスピリットのアタックでは、自分のライフは減らない。

「この【バースト】って書かれてるところがバースト効果なの。普通にマジックとしても使えるからネ♪ あとはバーストがスピリットに付いているものもあるの」

「えっ、それって…」

「もちろんコストを支払わないで召喚できるんだヨ♪ ……あの時は、地獄だったなあ…」

「たしかに、ブレイヴが出た当初よりとんでもない環境だった。荒れ

に荒れたわね…」

なんだそれ、コスト払わないで召喚とか強いなおい。……突然璃恵と彩音さんが遠くをみて溜息をついた。二人に疲れたような顔させるとか何があったんだ。

「はあ…。とにかく、続行よ。私はこれでターンエンド」

〈後攻 悠姫・第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。…よし、《ルーキー・リユーマン》をレベル2で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓1)

「ルーキー・リユーマン コア2 レベル2」

「赤を使うのね」

「まあ。次に《ムゲンドラ》をレベル1で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

まずまずの出だしじゃないかな。

「アタックステップ。ルーキー・リユーマンでアタック。レベル2からの効果で、1枚ドロ」

(手札3↓4)

「ライフで受けるわ」

(蛇剣ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ターンエン——」

「私のライフ減少により、バースト発動」  
「っ!？」

「バーストマジック《妖華吸血爪》」

ライフが減ったことで発動…、これがバーストか。

紫 マジック

《妖華吸血爪》  
ようかきゅうけつそう

コスト5 軽減紫2

【バースト：自分のライフ減少後】

自分はデツキから2枚ドロウする。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

自分の手札を好きなだけ破棄する。

その破棄したカード1枚につき、相手のスピリット1体のコア1個を相手のトラッシュに置く。

「バースト効果によりデツキから2枚ドロウ。追加コストは支払わずそのまま」

(蛇剝手札4↓6)

「むう…、ここはターンエンド」

一気に2枚もドロウされたか。だがまだまだ序盤だ。気を抜かずに行こう。

〈蛇剝・第三ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札6↓7)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。2枚目の《旅団の摩天楼》を配置」

(手札7↓6)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ0↓2)

「配置時効果で1枚ドロウ」

(手札6↓7)

「そして…。死して尚振るわれる呪いの彫刻具、《魔具使いのカエル

ム」。レベル1で着手」

(手札7↓6)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ2↓3)

「魔具使いのカエルム コア1 レベル1」

紫 スピリット

《魔具使いのカエルム》

コスト3 軽減紫2 <無魔・星魂>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

???

Lv2・Lv3 『??』

???

て、手札が減ってる気がしない…。紫ってこんな、1を出したら3が返ってくるのか？

「更にバーストをセット」

(手札6↓5)

(バースト：セット中)

またバーストか。セットするって言うのはブラフでもいいのか？

「これがバーストだということに間違いは無いわ、安心して」

「は、はあ…」

何をどう安心していいのか分からんけど、相手に警戒させる意味合いもあるならバースト以外のカードも…。

「悠姫、バースト効果を持ったカード以外を伏せたら例え勝っても反則でジャッジキルされるからダメだよ」

「あ、そうなのか」

「いいわね？ 摩天楼をレベル2へ」

(リザーブ2↓0)

「旅団の摩天楼 コア0↓2 レベル1↓2」

「アタックステップ。カエルムでアタック」

アタックが来た。BPは2000と低いが生憎ムゲンドラはBP1000しかないし、ブロックする意義も薄いだろう。ここは――

「カエルム、レベル1からのアタック時効果発揮」

「っ!？」

「あなたのコスト5以下のスピリット1体のコアを1つになるようリザーブへシユート”するわ”

リザーブへシユートって…相手のコアを勝手に移動できるのか!？」

《魔具使いのカエルム》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

コスト5以下の相手のスピリット1体のコアを、1個だけになるように相手のリザーブに置く。

「説明しましょう!」

紫属性は6色の中で自他問わずコアに干渉できる色なのデス!コアをリザーブやトラッシュに飛ばすことを”コアシユート”と言います!

更にイ、赤に負けず劣らずドローしまくる色で、相手の場を破壊してのドロー、自分の場を破壊してのドローなど様々なドローのできる色なのデス!」

「幽明ゆうめいにして妖麗ようれい、驕おごらず、しかして凄絶せいぜつ。

それが”紫”。素晴らしき至高の色よ」

彩音さんが紫を語るときはいつも歌うように語り出す。そこまで自信を持って紫をプッシュするのは何か訳があるんだろうか。

「…おっと、闘争に戻るわ。当面いられると厄介なルーキー・リユーマンを選択。乗っているコアが1つになるようリザーブへ」

「ルーキー・リユーマン コア2↓1 レベル2↓1」

(悠姫リザーブ0↓1)

「そして更に旅団の摩天楼レベル2の効果を発揮」

「まだある…!？」

「私の系統…無魔を持つスピリットがアタックしたとき、コアを1つ

シユート」

「マジで!？」

《旅団の摩天楼》

L v 2 『自分のアタックステップ』

系統：＜無魔＞を持つ自分のスピリットがアタックしたとき、相手スピリットのコア1個を相手のリザーブに置く。

「勿論先程1つにしたルーキー・リユーマンを選択」

「てことは…」

「乗ってるコアが0になって、レベル1を維持できなくなつたから”消滅”だね。そのまま即座にトラッシュ行きだよ」

「なるほど…」

「ルーキー・リユーマン コア1↓0 消滅」

(悠姫リザーブ1↓2)

「消滅」…。なんかこれもルールブックで見た気がするが、今はこっちに集中しよう。

「メインのアタックよ」

「ライフで受けます」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

「ターンエンド」

一応アタックして1枚ドロウできたとは言え、あっさりルーキー・リユーマンがやられてしまった。これが紫…。

「まだまだ、紫は本領の一割も出してないわ。これはほんの基本的な動きだけ」

「……恐ろしいな」



## ダツシユしてみよう・Bパート

〈悠姫フィールド状況〉

ライフ4

リザーブ3 トラツシユ2

手札4

・ムゲンドラ(赤) コア1 レベル1

〈ソルマルタ・レーテル・トゥルーリーワースⅡ蛇<sup>じやくり</sup>割(滯紫 彩音)フィールド状況〉

ライフ4

リザーブ0 トラツシユ3

手札5

・魔具使いのカエルム コア1 レベル1

・旅団の摩天楼1 コア2 レベル2

・旅団の摩天楼2 コア0 レベル1

〔バースト：セット中〕

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札4↓5)

(トラツシユ2↓0)

(リザーブ4↓6)

「メインステップ。……うゝん」

これは迂闊にスピリットを出せなくなった。あのカエルムと摩天楼でコスト5以下は確実に1体やられる。…今このデッキにコスト6以上のスピリットカードは無い。何とかあれを突破しなくちゃジリ貧どころではなくなる。

次の彩音さんのターン、ムゲンドラは確実に倒される。そうなる軽減ができるカードが一切無くなってスピリット、アルティメットの召喚にも支障が出る。…ならば。

「今はこれが良いか…？ 《狩る者の集落》をレベル2で配置」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュ0↓2)

「狩る者の集落 コア2 レベル2」

赤 ネクサス

《かるものしゅうらく狩る者の集落》

コスト3 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックスステップ』

自分の赤のスピリット／アルティメットすべてをBP+2000する。

Lv2 『相手のアタックスステップ』

相手によつて自分のライフが減ったとき、BP4000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

自分のアルティメットがいるとき、かわりに、BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

これで牽制にはなるはずだ。彩音さんだつてスピリットを破壊されたくはないだろう。

「次に、《ネオ・ダブルドロ》を使います」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ2↓4)

「デッキから2枚ドロ」

(手札3↓5)

アルティメットが出れば更にもう1枚引けるんだが、ちよつと手元に無いという。だからこれで引ければ良かったんだが現実はそう甘くない。

「……アタックスステップ」

「ほう」

「うんうん♪」

なら一発でも多くダメージを与えて、アルティメットの射程圏内に入れるのが重要だれう、きつと。

「ムゲンドラでアタック！」

「ライフで受けましょう」

(蛇剝ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少によりバースト発動」

今度は何がくる…。

「《冥皇封滅呪》」

……どんな効果だ？ 聞いただけじゃ何かRPGゲームとかで出てくる技みたいな名前だけど、効果とか一切わからない。

「悠姫さんの場のコスト5以下の疲労状態のスピリット、則ちムゲンドラを破壊します」

「うえっ!？」

マジかよ…。す、すまんムゲンドラ。勇み足だったかも知れないがみすみすやられる訳にはいかんかったんだ。

(悠姫リザーブ0↓1)

紫 マジック

《冥皇封滅呪》  
めいおうふうめつじゆ

コスト4 軽減紫2

【バースト：自分のライフ減少後】

疲労状態のコスト5以下の相手のスピリット1体を破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

自分のスピリット1体を破壊することで、相手は、相手のスピリット1体を破壊する。

「…ターンエンド」

〈蛇剝・第五ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。星振り撒く白兔《ダンデラビット》をレベル1で召喚」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ↓3)

「ダンデラビット コア1 レベル1」

…緑のカード？

「召喚時効果発揮。ボイドからコア1つを私のリザーブへ」

(リザーブ1↓2)

緑はコアを増やせるのか。白のシールドモバイルと同じような感じだけど、あつちはブロックしたときで、こっちは召喚したときなんだな。

「さらに」

「えっ」

「今召喚したダンデラビット以外に系統：星魂を持つスピリットがいたならば、更にボイドからコア1つをその星魂を持つスピリットに置きます。私の場には星魂を持つカエルムがいるため、カエルムにコア1つを追加するわ」

「魔具使いのカエルム コア1↓2」

更に増えた…！ コアが増えるってことはそれだけ手が増えることだって教わったが…。

緑 スピリット

《ダンデラビット》

コスト3 軽減緑1 <遊精・星魂>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：緑

L v 1・L v 2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

さらに、ボイドからコア1個を、このスピリット以外の系統：＜星魂＞を持つ自分のスピリット1体に置く。

「バーストをセット」

(手札5↓4)

バーストが途切れない…。攻めづら過ぎる…。

「アタックステップ。ダンテラビットでアタック」

「…何っ」

せ、攻めてきた!?!しかもアタックするのはカエルムじゃなくてダンテラビット?どういうことだ…、狩る者の集落レベル2が見えない訳じゃないよな…?」

「フラッシュが無いならそのままライフよ」

「…ら、ライフで」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「何だかよく分からないけど、狩る者の集落レベル2の効果。相手によつて私のライフが減らされたらBP4000以下のスピリットを1体破壊」

…ここは次にアタックができるカエルムを選ぶべきか…。

「…ここはカエルムを選ぶ」

「分かったわ」

(蛇割りリザーブ2↓4)

よし。破壊はできたからこれ以上の追撃は無い。

「申し訳ないけど、相手によつて私のスピリットが破壊されたとき、バースト発動よ」

「っ!?!」

「バースト、《双光気弾》」

…ことごとく罫を踏みまくってるな私。地雷原野を全力疾走してるのか私は。

「悠姫面白いくらい踏み抜くねエ♪」

「…おお…もう…」

「初心者なら踏み抜いて当然よ。頭が回る方が珍しいくらい。で、バースト効果で2枚ドロロー」

(蛇割手札4↓6)

そして山ほどドロローされる始末。…これも経験だ。甘んじて踏み抜こう。そうとでも考えないと寺にお祓いに行きたくなる。

「追加コストは…支払わなくていいわね」

「1枚制限になっても相変わらず強いよねエ」

「…ピン」でも強いのは変わり無いもの」

赤 マジック

《そうこうきだん双光気弾》(1枚制限)

コスト3 軽減赤1

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分はデッキから2枚ドロローする。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

または、相手のネクサス1つを破壊する。

「1枚制限っていうと…デッキに1枚しか入れられないって解釈でいいんだよね？」

「Yes♪」

「コスト3にあるまじき効果なのよ。ターンエンドよ」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

アルティメット来たあ…けど行けるかこれ。

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ」

これであなるから…、でも次にコアシユートが来るとまた壊滅の危険が…。いや、迷うくらいならバシバシやってやろう。

「《ライト・ブレイドラ》、《ムゲンドラ》をそれぞれレベル1で出します！」

(手札5↓3)

(リザーブ7↓5)

「ライト・ブレイドラ コア1 レベル1」

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

「ライト・ブレイドラ!?灼熱のデッキには入ってな……白銀の、あなた入れ知恵したわね?」

「まあ〜ね〜♪」

赤 スピリット(光)

《ライト・ブレイドラ》

コスト0 軽減0 <星竜<sup>せいりゆう</sup>>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP2000

<5> Lv3 BP3000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 **【強化<sup>チャージ</sup>】**

自分の「BP破壊効果」の上限を+1000する。

このライト・ブレイドラ、今彩音さんがおっしゃった通り璃恵から言われてファイザードと入れ換えたカードだ。

このデッキの問題点でもある“破壊できる範囲が狭い”事をいからか解消してくれる良いカードだ。

「召喚条件は満たした…! 《アルティメット・マ・グー》、レベル4で召喚!」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「レベルに足りない分は狩る者の集落から受け取る!」

「狩る者の集落 コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・マ・グー コア3 レベル4 B P 13000」

「来たわね、アルティメット」

赤 アルティメット

《アルティメット・マ・グー》

コスト6 軽減赤3 <竜人・古竜>

りゅうじん  
こりゅう

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 B P 9000

<3> Lv4 B P 13000

シンボル：金

Lv3・Lv4『このアルティメットの召喚時』

B P 6000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【Uトリガー】Lv4『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただし、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「召喚時効果、彩音さんのB P 6000以下のスピリットを破壊する  
！」

「ふむ」

「そこに、ライト・ブレイドラの【強化】チャージ分が追加…」

「されないわよ」

「…あれ？」

「悠姫イ、前に教えたじゃ〜ん…」

《ライト・ブレイドラ》

Lv1・Lv2・Lv3【強化】チャージ

“(アルティメット以外の)” 自分の「B P 破壊効果」の上限を+1000する。

…いや、こ、これは！軽減確保と押し込むダメージ用に出したのであって、ど忘れしと凡ミスしたのは無関係！ そそそれに！強化されなくても十分ダンデラビットを破壊できる範囲だから大丈夫だよ！



「まあとりあえずダンデラビットは破壊されるわね」

(蛇割りザーブ4↓5)

「ここで説明しましヨウ♪【強化】とは！」

『バトルスピリッツ剣刃編』から登場した新効果！

スピリットツて書かれてる欄が白で、文字が黒字になっっているものがそうなの。

【強化】は輝く光の力！同じ【強化】を持つ仲間たちと力を束ねて効果を高めることができるのだ♪」

「ライト・ブレイドラの場合は、〃赤の【強化】〃。書かれている通り、BPを参照して破壊する効果の上限を引き上げる効果よ。」

〃BP〇〇以下〃と〃合計BP〇〇まで好きなだけ〃とかが対象になっているわ」

「効果の対象になるのは、スピリット、マジック、ネクサス、ブレイヴ、バーストのみで、アルティメットは対象にならないの。前に言ッたツしヨ〜」

ごめんなさいでした…。

二人の有り難い説明を頭に叩き込む。これを他人とやったら恥ずかしくていても立ってもいられなくなってしまう。

「き、気を取り直して…、アタックステップ！」

しよげるのは後だ。失敗したら反省して学んで改めれば良い。

「ライト・ブレイドラでアタック！」

とにかくがら空きになってる今がチャンスだ。1点でもいい、削り取るんだ！

「果敢ね。…でも、ちよつと蛮勇よ」

「えっ?」

「フラッシュタイミング。マジック《トーテンタンツ》を使用」

(蛇割り手札6↓5)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ3↓5)

「手札のスピリット、またはブレイヴカードを捨て、相手スピリットのコア2つをリザーブへシユート。対象はライト・ブレイドラとムゲン

ドラ」

「なっ…!?!」

(蛇割手札5↓4)

・破棄したカード

《ダーク・ソードール》(スピリット)

「ライト・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

(悠姫リザーブ0↓2)

紫 マジック

《トーテンタンツ》

コスト4 軽減紫2

フラッシュユ:

自分の手札にあるスピリットカード1枚かブレイヴカード1枚を破棄することで、相手のスピリットのコア2個を相手のリザーブに置く。

……なんてこつた、まるで場を維持できないなんて。私の油断も経験不足とか色々あるだろうけど、ここまでとは…。

「悠姫さん、留意しておいて。」

紫相手にコアをひとつだけ置いておくことは無用心極まりない行為に等しいの。

赤はただでさえコア運用がギリギリで、『速攻型』や『地竜』ならまだしもアルティメットを運用するなら留意を注意に変えて備えなさい。

『本気の紫は、こんなものでは済まされたいわ』

彩音さんの真剣な眼差しに思わず息を飲む。

「…ごめんなさい、熱くなってしまうたわね」

「…いいえ。為になります」

バトルスピリッツをやっていく上で避けては通れない各色とのバトル。彩音さんに教えてもらった、「紫」について身を持って知った。負けたら悔しい、だけど私が知らなすぎた。負けて糧にする、……でも。

「でも、黙って負けたりなんかしませんよ?」

「…ふふっ、威勢が良いわね」

「これ以上はアタクセせずターンエンドします」

——最後の最後までやらなきや分からない。

璃恵がそう言つてた。

〈蛇割・第七ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札4↓5)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ4↓9)

「メインステップ。摩天楼のコアをリザーブへ」

「旅団の摩天楼1 コア2↓0 レベル2↓1」

(リザーブ9↓11)

「《ボーン・トプス》を召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ11↓8)

(トラッシュユ0↓2)

「ボーン・トプス コア1 レベル1 BP2000」

紫 スピリット (闇)

《ボーン・トプス》

コスト3 軽減紫1 <無魔>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：紫

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

自分はデッキから1枚ドローする。

【???

???

「召喚時効果で1枚ドロー」

(手札4↓5)

「更に…。」

黒霧より遣わされし、冷酷にして無慈悲なる死の宣告者

《死神劍聖ダークネス・メア》

レベル3にて執行」

(蛇剝手札5↓4)

(リザーブ7↓1)

(トラッシュ2↓5)

「死神劍聖ダークネス・メア コア4 レベル3 B P 9 0 0 0」

紫 スピリット

《死神劍聖ダークネス・メア》

コスト6 軽減紫3 <無魔・劍使>

<1> Lv1 B P 5 0 0 0

<2> Lv2 B P 6 0 0 0

<4> Lv3 B P 9 0 0 0

シンボル：紫

L v 1 ・ L v 2 ・ L v 3 『??』

???

L v 1 ・ L v 2 ・ L v 3 『??』

???

『??』 L v 2 ・ L v 3 『??』

???

な、何か来た…！ 死神、劍聖!?

「ダークネス・メアの召喚時効果、【抜刀】!!」

「っ!？」

「私の手札にある、このダークネス・メアと『合体(ブレイヴ)』可能な、系統・劍刃つるぎを持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わず召喚できる!」

コストを支払わず召喚! さっきのバーストとは訳が違うのか…

!

「その咎すらも、命すらも裁くは罪深き闇の劍刃! 抜き放て!!

《咎人の骨劍エグゼキューションアース》!

死神剣聖ダークネス・メアに 《直接合体》!!  
(蛇割手札4↓3)

壮大な口上から出されたカードは、ダークネス・メアの上に重ねられるようにして召喚された。

スピリットカードにカードを重ねるのが…

《死神剣聖ダークネス・メア》

Lv1・Lv2・Lv3 【抜刀】『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるこのスピリットと合体可能な系統・<剣刃>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

「ぶ、ブレイブ…!」

「説明ッ！ブレイヴとは！」

『バトルスピリッツ星座編』から加わった第四のカード！

《合体条件》を満たしたスピリットと重ね、《合体》<sup>ブレイヴ</sup>することにより更なる力を与えられるカードなのだ！今言ったようにスピリットに合体し共に戦ったり、スピリット状態となって戦うこともできるのだ！

「大まかに言うなら

《スピリットが装備できる武具》と言ったところかしら」

「スピリットの武具…」

「このブレイヴカードと合体したスピリットは、合体するブレイヴカードの『色、コスト、シンボル、《合体時効果》、BP』を受け継ぎ、《合体スピリット》となるの」

咎人の骨剣エグゼキューションーズ

← 直接合体

死神剣聖ダークネス・メア (合体)

「コスト6+5=11」

「BP9000+5000=14000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：紫+紫=紫紫」

紫 ブレイヴ

《咎人の骨剣エグゼキューションーズ》

コスト5 軽減紫2 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：紫

【合体条件：コスト5以上】

【??】『??』

???

【合体時】『このスピリットのバトル時』

???

BP14000!? Uマ・グーを越えた!? それにシンボルを受け  
継ぐってことは……

「シンボルが増えた、つまりは砕くライフが2つになるということね」

「BPが増えただけじゃなくダメージも2倍ってか……!」

「さあ、アタックステップ。ボーン・トプスでアタック!」

「…っ、ライフで!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「ソードブレイヴダークネス・メア、剣刃合体アタック!!」

来た……ここはUマ・グーで守るしかない、これを受けたらライフ  
は0になってしまう!

「Uマ・グーで……」

「ダークネス・メア、レベル1からのアタック時効果発揮!」

「何っ!?!」

「私のトラッシュにあるコスト0、もしくは3の紫のスピリットカー  
ド1枚をコストを支払わずに召喚!」

「こ、今度はトラッシュから!?!」

《死神剣聖ダークネス・メア》

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットのアタック時』

自分のトラッシュにあるコスト0/3の紫のスピリットカード1  
枚をコストを支払わずに召喚できる。

「先程破棄した《ダーク・ソードール》を召喚」

(リザーブ1↓0)

「ダーク・ソードール コア1 レベル1 BP1000」

紫 スピリット(闇)

《ダーク・ソードール》

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<5> Lv3 BP5000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分はデツキから1枚ドロウする。

【??】

???

Lv3

このスピリットとシンボルは黄としても扱う。

「ダーク・ソードールの召喚時効果で1枚ドロウ」

「また手札が増えた…」

(蛇割手札3↓4)

マジで紫の手札は無限なのかよ!? 減ってないぞまったく!こっちは四苦八苦してるってのに…!

「あ、改めて、Uマ・グーでブロック!」

Attack!!

死に神剣聖ダークネス・メア(合体)

BP9000+5000=14000↓win!

VS

BP13000↓Lose…

アルティメット・マ・グー

Defense!!

「BPはこちらが上よ!」

「くそっ、アルティメットが…!」

(悠姫リザーブ3↓6)

「次!ダーク・ソードールでアタック!」

このアタック、このアタックを凌げば…!

「フラッシュタイミング! 《ネオ・フレイムテンペスト》を使って、B P4000以下のスピリットすべてを消し飛ばす!」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ3↓9)

「いいわ、ダーク・ソードールとボーン・トプスは破壊される」

(蛇割りリザーブ0↓2)

凌いだか…!

「こちらもフラッシュタイミング」

「っ!」

「マジック《リブートコード》を使用。不足コストはダークネス・メアから1つ借り受けるわ」

(蛇割手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

「死神剣聖ダークネス・メア (合体) コア4↓3 レベル3↓2」

(トラッシュ5↓8)

「し、白のマジックカード!」

「私の疲労状態のスピリットすべてを回復!」

しかも回復する!?!嘘だろ!?!

白 マジック

《リブートコード》

コスト3 軽減白1

フラッシュ:

疲労状態の自分のスピリットすべてを回復させる。

このターンの間、この効果で回復した、合体スピリット以外のスピリットはアタックできない。

「アタックしていたダーク・ソードールが破壊されたためこのアタックは終了。」

……最期ね。ダークネス・メアで、剣刃合体アタック! アタック時効果でダーク・ソードールは復活し、1枚ドロ―!」



「死神劍聖ダークネス・メア（合体） コア3↓2」

「ダーク・ソードール コア1 レベル1」

（手札3↓4）

「っ……………完敗です」

「あなたもなかなかだったわ。あなたはこれから伸びると思う」

「次は…食らい付いてみせます」

「ふふっ…、期待しているわね。 “見習いの究極使い” さん。」

……………ダークネス・メアはダブルシンボル！ライフを2ついただくわ  
！」

「ライフで…、受ける!!」

（悠姫ライフ2↓0）

Winner!!

〔ソルマルタ・レーテル・トゥルーリーワースⅡ蛇剝（瀟紫 彩音）〕

ダツシユしてイチへ・Aパート

「ありがとう、良いバトルだったわ」

「こちらこそ、ありがとうございます」

彩音<sup>あやね</sup>さんとのバトルを終えて一息着く。いやあ紫は強敵だったな…、まるで歯が立たなかった。スピリットを出せたと思っただら次の瞬間には更地にされてる。

「今見てもらった通り、私のひとつの紫デッキは、相手に打たせる型”。懐に潜り込ませたように見せ、一気に壊滅させる。紫に数押しはなかなか通用しないわ」

「厄介だよネ。紫に力で押し通ろうとすると逆に利用されちゃうし」

「……白を使うあなたがそれを言うとは嫌味にしか聞こえないんだけど」

ふむう…、赤と紫は相性が悪いのか。今の私のデッキじゃ並べてアルティメットを待ってる時点で分が悪い。スピリットを喚けても”破壊時”効果が後を引く。

「一応紫と赤は少し”友好色”ではあるのだけど、赤を基軸にするか紫を基軸にするかで大いにデッキに差が表れるわ」

「なるほど、赤紫ですか…」

となると”混色”になるわけだから、もっとカードのことを知らないといけなくなると。

「紫なら私が教えられるわよ。…どう？将来は”赤紫の究極使い”を目指さない？」

……それもあり、かなあ。いまひとつ定まってるから案としては

「ちよろろと待ったろろ!!」

「っ!？」

「五月蠅いわよ白銀の」

「何言ッてんの！悠姫は赤白アルティメット使いになってもらうんだ

から！」

突然璃恵りえが芝居がかったように割り込んできた。てかまだそんな何を使うか決めてないんだから…。

「あら、何の色を赤の『伴侶』とするかは悠姫さんの自由でしょう。私はただ提案しただけよ」

「ダメダメ！紫とか赤にまともに相手してもらってないじゃん！やっぱ白だヨ白！昔はお互いが最大のライバルであり、今では最強の友好色！紫なんて後から出てきた噛ませ犬でしヨ?!」

「なっ?! 剣刃つるぎ編で赤の『連鎖ラッシュ』を一つも出さなかつた白が『最強の友好色』とか何を偉そうに！緑も黄も利用するだけ利用して、挙げ句紫をボロ雑巾を扱うかの如く一方的に酷使して…、それが白のやること?!」

「白は何もしていないモン！【連鎖】元が強いだけじゃん！」

…突然言い争いに発展してしまった。おそらく察するにこのデツキが出る前の話をしてるんじゃないか？ 『ラッシュ』っていう聞き覚えのない名前もある。

たしか…：彩音さんの『ダーク・ソールドール』にそんな効果が付いてたような。…たまには自分で調べてみるか。向こうは言い争いに夢中みたいだし。

「えつと…。ラッシュ、って入れれば出てくるか？」

スマホを取り出して検索してみる…が、ダメ。おおよそ関係無いものがズラリと並んでいる。検索方法が悪いんだな。「バトルスピリッツ ラッシュ」で出てくるだろう。

「…構築済みデツキ『ダークネスファング』と『ダークラッシュ』?」

赤と白のデツキ…これで連鎖ラッシュって読むのか。白の方が連鎖の基本のデツキで、赤のダークネスファングって方が、赤の連鎖ラッシュアツキか。でも…。

「連鎖について詳しくは書かれてないな…」

「でしたらバトスピ、wikiで検索してみたらいいですよ」

「あ、なるほど……え？」

「ほらほら、検索検索なのですよ！」

「あ、え、はい……」

また突然背後から声を掛けられあれよあれよと急かされて、検索を始めた。えつと…、バトスピ…wikiつと。…あ、出てきた。バトスピリッツ情報wikiか。

「で、左にあるツリーの『データベース』を開いて、更にそこにある『キーワード能力』を開いて、『連鎖』のをタッチです」

「えつと…」

データベース、キーワード能力…連鎖。

「…ふむ。」

『一部の闇のカード、カードタイプ欄が黒で、名前が白のスピリットやブレイヴ、一部のマジックが所持しているキーワード能力。特定の色のシンボルを参照し、他の効果に追加して発揮される』…か」

「例えば、お姉さんは赤を使うみたいですね。赤だったら、ボクの使う『緑』の効果が大体付随してることがあるのですよ。更に例えば…サブで使ってるカードですが、こういうカードです」

「お…どうも」

…少女？眼鏡を掛けた髪の短い活発そうな子がカードを1枚渡して見せてくれた。

『闇龍ダーク・テイラノザウラー…』

「このレベル1から発揮される効果に続いて、BPを比べて相手を倒せば、ライフ1つを碎けるのですよ」

「へえ…。てか、緑ってそういう効果持つてるの？」

「勿論！…こういう相手のスピリットを倒すとライフにダメージが行くのを『ライフ貫通』と言いますですよ！ 赤の突進力と緑の鋭さが備わって最強に見える！ですよ！」

へえ、じゃあ赤と緑も相性良いのか。というか赤ってどの色とも相性良いんじゃないか？ …白と紫しか知らんけども。

…てかこのダーク・テイラノザウラー？強いな。赤ならちよつと欲

しいぞ。

「まったくこれだから白は……あら？　悠姫さん、そのカード……」

「ふエ？　あ、ダーティイラだ」

あ、調度二人が戻ってきた。さっきこの子が……

「……いない」

「悠姫、だれかと話してた？」

話してたよ。眼鏡掛けた髪の短い子。……まさか、この季節に幽霊……とかないよな？

詳しく話すと、二人とも微妙な表情。知ってるような知らないような。

「眼鏡、短髪といっても知り合いにそういう子は多いし……」

「悠姫、他になんか言ッてなかつた？」

他に？　他に……、ああ。

「〴〵緑を使う〴〵って言ッてた」

璃恵は首を捻るだけだったが、彩音さんは思い当たったのか、一人思案し始めた。……ほんと誰なんだあの子は。

「……まあ、いいわ。悠姫さん、今は〴〵シングルカード〴〵を見に行きましよう」

「あつ、はい……シングルカード？」

「あくッ！　だッたらワタシも行くッ！」

「あなたは〴〵新弾〴〵が出るまで買うものは無いでしょうに」

「悠姫が行くならワタシも行くのッ！」

で、しばらく三人で店内のカードを見て回った。……シングルカードってのは、普通にパックで売ってるものじゃなくて、カード単品で売ってるものを言うよう。二人が言うには、他のカードゲームと比べて単価が安いのが良い点らしい。それは嬉しいな。

「まずはこの〴〵ストレージボックス〴〵から魂を掬い上げることからよ」

「……魂を？」

「いいものを探し当てろってことだよ。」

プラスチックの箱に入っているカードの束。とんでもない数が入  
れられている。

「ここに入ってるのは1枚十円とかだから百円ワンコインで10枚買  
えるオトク品だよ。」

「ここにあるのはカードの右下に小さく書かれてるアルファベット、  
『C』や『U』が入っているわ。」

「Cはコモン、Uはアンコモンっていうんだヨ。そんなにレアじゃな  
いカードだね。」

なるほどな。…え？じゃあ私が必要になりそうなものを探し当て  
ろって…、この数を？

「ダイジョブ♪ダイジョブ♪ とりあえずワタシとしゃっくりちゃん  
が見繕うから♪。」

「しゃっくりじゃない！蛇剣よー！」

「はいはい♪ まあ悠姫はちヨい待っててね♪ はいこつちヨロシ  
ク♪。」

「ちよつと…、まあいいわ。何を探せばいいの？」

「うくん、CUならテキトーでいんじゃない？」

すると、二人がすごい速さでカードを漁りはじめた。…それでカー  
ド見えてるのか？

「あ、光る《砲竜バル・ガンナー》見つけ♪。」

「光る《テッドリイバランス》を売るとは、分かってない輩がいるよう  
ね。買いよ。」

「《双光気弾》も投げられてるねエ。」

「…はあ!? 《絶甲氷盾》ぜつこうひょうじゆんが入れられてる!? 白銀の、探しなさいー！」

……なんかヒートアップし始めた。暇になってしまったな……お  
？ お店の壁面とレジに大きくバトルスピリッツのポスターが貼ら  
れているのが目に留まった。

「…バトルスピリッツ最新弾、『アルティメットバトル01（ゼロワ  
ン）』。…26日発売」

へえ、26日に新しいのが出るのか。

「……26日？」

ちよつと…私の勘違いなのか、気になりレジ近くに近付き再度確認してみる。

「……………明日じゃん！」

変な声が出てしまった。何だよ知らなかったわ。この一面を飾ってるスピリットが何なのか分からんがとにかくどうするか。璃恵は3箱安定って言うてたが、私の財布がヤバイ…。

そして、ストレージから拾い上げたものが新たな山になりそうだったので二人を止め、今回は必要最低限のものを買うことにした。

「掘り出し物♪掘り出し物♪」

「悠姫さんはツイてるわ。まさか絶甲氷盾が3枚手に入ったのは幸運よ。このカードはあって絶対損はないわ」

「そんな良いんですか…」

二人ともご満悦だな。話からすると、余程じゃない限りデツキから外れることはないカード。最近はバーストの信用度が下がっているため採用率はやや落ちてはいるが、それでも2〜3枚は固い。このこと…重要なカードじゃん。

他にも《双光気弾》を1枚、マジックカード《ネクススコラプス》を3枚、《秘剣燕返（ひけんつばめがえし）》が3枚…これは青のマジックか…。さらにその他諸々を買った。

白 マジック

《絶甲氷盾》

コスト4 軽減白1

【バースト…自分のライフ減少後】

ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

このバトルが終了したとき、アタックステップを終了する。

赤 マジック

《ネクサスコラプス》

コスト3 軽減赤2

メイン：

ネクサス2つまでを破壊する。

フラッシュユ：

このターンの間、合体スピリット1体をBP+5000する。

青 マジック

《秘剣燕返》  
ひけんつばめがえし

コスト4 軽減青3

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】

相手の手札が5枚以上のとき、相手は、相手の手札を2枚になるように破棄する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

この効果発揮後、コスト3以下の相手のスピリット1体を破壊する。

うん、強いなこれ。はじめたばかりの私でもわかる。…入れた方が良いとは言われてる。どうするかは私の自由らしいが。

買い物を終えて、色々話をしていたら既にもう良い時間。荷物をまとめて今回は解散となった。

「そうだ…。悠姫さん、アドレス交換しない?」

「あ、いいですよ。交換しましょ」

「むむむ…」

彩音さんの提案で番号とアドレスを交換しあう。…彩音さんのスマホだがゴシックだなあ。

「はい、完了。ありがとう」

「(こちらいこそ)」



——その夜。

あの眼鏡つ子に教えてもらったサイトを閲覧中、メールが届いた。  
…璃恵と彩音さんからだ。

「送信者：白鐘しろがね 璃恵りえ」

「sub：愛しの姫様へ」

「……………」

件名見た瞬間中身を見ずに削除してやろうかと思ったがグツと堪えて本文を読む。

内容は…、今回彩音さんに負けたけど良い経験になってよかったと思う。お流れになったけど、璃恵と彩音さんがバトルするときは仇を取る！っていう内容だった。余計なことを。

…絵文字やら顔文字が多くて読みづらかったから要約。

「送信者：滯紫みおげ 彩音あやね」

「sub：はじめに」

彩音さんからは、いつでも気軽にメール、電話してきて良いということと、まだまだこれから。あのデツキで気分を害したのなら謝るしかし手加減しても失礼だと思ったから、という内容だった。いやお心遣い感謝です。

それにしても…あの眼鏡つ子は何だったんだろう。あれから店内を捜したが見当たらないし、二人が見てないか聞き込みをしても見えないと。…結局、この《閻龍ダーク・テイラノザウラー》も借りたままだし…。明日会えるといいな。

…：今日はいつもより早く目が覚めた。時間は朝の七時前後。私にしてはかなり珍しい方だ。

一階に降りたら妹に珍しいと言われる始末。私だっただまには早く起きることもある。

「……あれ、祐依<sup>ゆい</sup>どつか出掛けるの？」

「えっ？ あ、うん。ちよつとね」

よく見れば祐依がお出かけ用の服装に着替えていた。休日朝の七時だったのに。

「いつ出掛けるんだ？」

「えっと、大体八時くらいかな」

「早いな……」

祐依は特に部活はやってないし、母に何かしら頼まれてた訳でもないし……。まあこれ以上考えるのは無駄か。

「お姉ちゃん、朝ご飯いる？」

「いる」

「じゃあすぐ作っちゃうね」

我が家の飯は美味い。

時間は八時を回り、祐依が出掛ける時間となった。…私も出掛ける準備をして祐依と一緒に家を出ることにした。

「…ほんと珍しいね。私はこっちだから」

「あいよ。私はこっち。気をつけてな」

「うん。お姉ちゃんも気をつけて。戻ってくるの、お昼過ぎちやうかも」

「構わんよ」

「分かった。行つてきます」

……さて、早めに出たはいいが特に用事が無い。気分ですく出ただけで何もすることが無い。落ち着かなかっただけだ。

起きたとき、メールで璃恵と彩音さんが真夜中の三時半辺りに『明日（今日）が新弾発売なの伝え忘れてた、申し訳ない』という内容のが届いていた。これが落ち着かなかった訳でもある。

「あのカードショップって何時に開くんだっけ……」

カードショップに寄ろうかと思ったが開店時間を知らなかった。調べておけよとね。新弾の発売もそうだが、久々の小さなワクワクに

何ともむず痒くなった。

「開いてなかった」

ブラブラするのもあれだったからシヨップに足を延ばしたもののやはりやっつてはおらず、携帯の時計を確認してみたら璃恵と彩音さんとの約束の時間まで三時間近くある。

「……どうすつかな」

「いらつしやいませ、なのですよ」

「っ!？」

どうするか決めかねていたら突然背後から声を掛けられた。…前にもこんなことあったよな。

「つと…」

「あ、昨日のおねえさん」

「昨日の…」

現れたのは昨日突然現れて突然消えた眼鏡の少女?だった。

あなときは顔と髪までしか見れなかったが、今見るとボーイッシュな女の子…だと思う。

「お店はまだ開店前なのですよ」

「ああ、いや…その…」

深い事情がある訳じゃないからそのまま話す。うんうんと興味深く頷いてくれるのはいいんだが情けない話だからそんな目をキラキラさせながらされても…。

「なるほど。それで早く来てしまったということなのでしたか」

「まあ…。あ、そうだ。これを返さなきゃ」

「?…あー!」

そういえばと、今のうちに返すものを返さないとまたいつ消えられるか分からん。デツキケースを取り出し、中に入れておいたあのカードを返す。

「ダーク・テイラノザウラー…」

「昨日教わつてるとき見せてくれて、急に消えちゃったじゃない。返しそびれたからね」

「わあ……ごめんなさいです……」

……で。私は開店前のお店の中にいる。眼鏡っ子がお詫びにと言つて中に入れてくれたんだけど、そこまでしなくてもいいんじゃないかな。

「は……い。『真桜』ちゃん。デツキですよ」

「わーい！ありがとなのですよお姉ちゃん！」

……あの巨乳のほんわかした女性つてこのお店のレジにいた人、だよな？ てかお姉ちゃんつてことはこの子の姉？ ……銀色のおぼんに緑のデツキケースやコアケースやらを乗せて配膳するかのようにつけてこられたのに突っ込んではいけないのか。

「あ、あの……」

「ごめんなさいね。真桜ちゃんがどうしてもバトルしたいつて……」

「い、いいのかそれ……」

「真央ちゃん、滅多に人に顔を出そうとしないから。お姉さん嬉しくつて……」

「顔を出さないつて……」

「お姉さんお姉さん！それよりバトルしましょうなのですよ！」

ううむ……、半ば無理矢理押し切られるような形でバトルすることになつてしまった。断れば良かったんだろうけど、あんな純粋な眼差しに勝てるやつがいたら是非どういう心持ちなのか聞きたいところだ。

「さく行きますですよ。ボクの新しいデツキ！」

「……ふん、私はサンドバッグつて訳？」

「そんなこと無いのですよ！ボクは、お姉さんとバトルしたいだけなのですよ！」

ちよつと意地悪なことを言つたら必死になつて反論された。……嘘は言つてないみたいだけどなあ。私みたいな初心者と戦つて何がいいんだか。……とにかく、そう（サンドバッグに）ならないようまた

マイナーチェンジしたデッキで行ってみますか。

〈緋立 悠姫〉

【灼熱改め『灼光しやっこうのゼロ』】

V S

〈?? 真桜〉

【??】

何の因果かマオとかいう子とお店開店前にバトルすることになってしまった。：前の彩音さんとの事を考えると、デッキケース、使うコアの色、……独特のプレイシートとカードスリーブから察して『緑』を使うのだろう。前に緑を使うともチラリと言ってたし。

：しかし何だあのプレイシートは。なんか忍者っぽい男性が腕組んで仁王立ちしてて、後ろに筆で書いたような字でつかく『シヨツギヨ||ムツジヨ!』って書かれてる。スリーブには深い緑に同じ字の感じで『アイエエツ!』って書かれてる。：変な笑いが出そうになった。

「うくん、先攻は差し上げますですよ」

「なら遠慮なく。スタートステップ」

〈先攻悠姫・第一ターン〉

(悠姫手札4↓5)

(リザーブ4)

最初はまあまあ。ここから組み立てて行くか。教わったのは、今できることを最大限に。

《《ライト・ブレイドラ》、《ムゲンドラ》をそれぞれレベル1で召喚》

(手札5↓3)

(リザーブ4↓2)

「ライト・ブレイドラ コア1 レベル1 BP1000」

「ムゲンドラ (赤) コア1 レベル1 BP1000」

コスト0のライト・ブレイドラとコスト1のムゲンドラを3枚入れる意味……。アルティメットを呼ぶための足掛かり、かな。

「続けてマジック《ネオ・ダブルドロ》を使う。デッキから2枚ドロ」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

(手札2↓4)

よしよし、次に繋がった。調整した甲斐はあったな。

「これでターンエンド」

〈後攻真央・第二ターン〉

「はい！ボクの番なのですよ！“りよくしん緑迅”のターン、スタートステツプ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

…やっぱり二つ名みたいの言ってターン始めるのは通例なのか？

「メインステツプなのです。《ヨロイフクロウ》をレベル1で召喚しますのですよー！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「ヨロイフクロウ コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

やっぱり緑だったか。…でも、wikiのやつでも見たことないぞあのカード。

「このヨロイフクロウは、今日発売の新弾『アルティメットバトル01』のカードなのですよー！」

「えっ!? い、インチキだ!」

「いち早く新弾のカードを体験できますよー」

「それは良い体験会ですねえ!」

なんだよそれ、ちょっと理不尽じゃないか!? それなら私にも使わせてほしいぞー!

「ヨロイフクロウの召喚時効果なのです。ボイドからコア1つをヨロイフクロウに置きますですよー!」

「おお：コアブースト」

「そうなのですよ」

「ヨロイフクロウ コア1↓2」

緑 スピリット

《ヨロイフクロウ》

コスト3 軽減緑1 <爪鳥ネズミ>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を置く。

Lv2

相手によつてこのスピリットのコアが取り除かれるとき、自分の手札にあるアルティメットカード1枚を相手に見せることで、このスピリットのコアの数はLv1より少なくなならない。

「次に、ネクサス 《巻き上がるダンガロ山脈》を配置！なのですよ」

(手札4↓3)

「足りない分はヨロイフクロウから1つ頂戴するですよ」

(リザーブ1↓0)

「ヨロイフクロウ コア2↓1」

(トラッシュユ3↓5)

「これも新弾のネクサスか」

緑 ネクサス

《巻き上がるダンガロ山脈》

コスト3 緑2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2

???

Lv2 『??』

???

「緑待望のネクサスなのですよ♪ ターンエンドなのです」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「《ドラゴナイト》をレベル1で召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「ドラゴナイト コア1 レベル1 BP2000」

「召喚したときにアルティメットがいればネクサスを破壊できるが、今はいないから不発になる」

赤 スピリット

《ドラゴナイト》

コスト4 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

自分のアルティメットがいるとき、相手のネクサス1つを破壊する。

Lv1・Lv2『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

「アタックステップ。ドラゴナイトでアタック。アタックしたとき、効果で1枚ドロー」

(手札4↓5)

「ライフで受けますですよ！」

(真桜ライフ5↓4)



「ターンエンド」

「用心深いのですよ」

「まずは挨拶代わりってことで」

〈真桜・第四ターン〉

「緑迅のターンなのです。スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「まず《ゲニン・スズメ》を呼び出すのです!」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓6)

「ゲニン・スズメ コア1 レベル1 BP1000」

「次に、《ジョーニン・トンビ》! レベル2で忍び飛ぶのです!」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ジョーニン・トンビ コア3 レベル2 BP6000」

緑 スピリット(光)

《ジョーニン・トンビ》

コスト4 軽減緑2 <爪鳥>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 【強化】

???

Lv2 【??】『??』

???

「最後にネクサス《戦場に息づく命》を配置するのです」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

(トラツシユ2↓3)

緑 ネクサス

《戦場に息づく命》

コスト4 軽減緑3

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv2 『??』

???

「まずはこんな感じなのです。ターンエンドなのです」

## ダツシユしてイチへ・Bパート

### 〈悠姫・フィールド状況〉

ライフ5 リザーブ0 トラツシユ2  
手札5  
スピリット

- ・ムゲンドラ(赤) コア1 L V 1
- ・ライト・ブレイドラ コア1 L V 1
- ・ドラゴナイト コア1 L V 1

### 〈真桜・フィールド状況〉

ライフ4 リザーブ0 トラツシユ3  
手札1  
スピリット

- ・ヨロイフクロウ コア1 L V 1
  - ・ゲニン・スズメ コア1 L V 1
  - ・ジョーニン・トンビ コア3 L V 2
- ネクスス
- ・巻き上がるダンガロ山脈 L V 1
  - ・戦場に息づく命 L V 1

まず立ち上がりはお互いにまずまず。当面の問題は相手のデッキに新弾のカードが入っているということだ。こちらには入っていない。

### 〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラツシユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「《シルバー・ヴルム》、レベル1で召喚」

(リザーブ3↓0)

(手札6↓5)

(トラツシユ0↓2)

「シルバー・ヴルム コア1 レベル1 BP4000」

「あ！剣刃<sup>ソドステイニー</sup>神話のカードなのですよ！」

「昨日、白鐘さんと滯紫さんと一緒に買ってたわね」

その通りオススメのカードだということ、十円だから買ってみた。マジックの破壊できる範囲がやや狭いことから、この破壊範囲を広げられるようにと、こいつだけで【強化<sup>チャージ</sup>】を2つ持つてるからつてもある。ステータスもなかなか良いと思う。

赤 スピリット(光)

《シルバー・ヴルム》

コスト5 軽減赤3 <星竜>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<5> Lv3 BP9000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3【強化】

(アルティメット以外の)自分の「BP破壊効果」の上限を+1000とする。

Lv2・Lv3【強化】

(アルティメット以外の)自分の「BP破壊効果」の上限を+1000とする。

今だコア確保、増やす方法を模索中だからかなりカツカツになるがそこは押し切る形で何とかしよう。：更に、覚えてたのあれをやってみる。

「更に「バーストをセット」する」

(手札5↓4)

(バースト：セット中)

これみよがしに、しかしビクビクしながらプレイシートの左上にカードを裏向きで置く。初セットだ。

「むむむ。バーストなのですね」

「とりあえずのね。アタックステップ。ドラゴナイトでアタック。効果で1枚ドロー」

(手札4↓5)

「ライフで受けますのですよ!」

(真桜ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

2つ目。ここで攻めたてるべきか。だがあのジョーニン・トンビに打ち勝てるBP持ちが今はいない。ドローしただけ良いとしよう。

「ターンエンド」

〈真桜・第六ターン〉

「緑迅のターン、スタートステップ! コアステップなのですが、ここで《戦場に息づく命》レベル1の効果を発揮させるのです」

(手札1↓2)

「ほう」

「ボクのコアステップに、コアを増やさない代わりに1枚ドローに代えるのですよ」

「コアをドローに代えるネクサスか…」

《戦場に息づく命》

Lv1・Lv2 『自分のコアステップ』

ボイドからコアを自分のリザーブに置かないことで、自分はデッキから1枚ドローする。

コアを代償に手札を増やす…。緑ならではなのかは分からんけど、手札補強するには強いかも。

「では、ドローステップ」

「えっ、普通にドローもできるの?」

「はいなのです。コアステップに起きる効果なので、ドローステップとは別ものなのです」

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。ネクサス《光牙の忍び里》をレベル1で配置なので

す」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓2)

緑 ネクサス

《こうがのしのびぎと光牙の忍び里》

コスト4 軽減緑2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv2 『??』

???

「ジョーニン・トンビをレベル1にダウンさせて、ダンガロ山脈をレベル2にするのですよ」

「ジョーニン・トンビ コア3↓1 レベル2↓1」

「巻き上がるダンガロ山脈 コア0↓2 レベル1↓2」

「さらにバーストをセットするのです！」

(手札2↓1)

(バースト：セット中)

「さあ準備は万端なのです！アタックステップ：はしないでターンエンドなのです」

：攻めてこない？ あそこまでやっておいて、アタックしてこないのには訳があるのか？ いや、あるからこそだろうな。

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。《砲竜バル・ガンナー》をシルバー・ヴルムに直接合体させて召喚」

(手札6↓5)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓2)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

シルバー・ヴルム (合体)

「コスト5+4⇨9」

「BP4000+2000⇨6000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤⇨赤赤」

「あらく、ちゃんとデッキに入れたのね」

「まあ…。使い勝手が良いならこれだって言われたもんで」

『『バトルスピリッツ星座編』からずっとバル・ガンナーは優秀なブレイヴなのですよ』

赤 ブレイヴ

《砲竜バル・ガンナー》

コスト4 軽減赤2 <地竜・星竜>

<1> Lv1 BP2000

<0> 合体 +2000

シンボル：赤

「合体条件：コスト4以上」

「次にシルバーヴルムをレベル2に」

(リザーブ1↓0)

「シルバー・ヴルム (合体) コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓6000+2000↓8000」

「アタックステップ。シルバー・ヴルムでアタック！」

「<sup>ブレイヴ</sup>合体アタック、なのですよ！」

「…ぶ、合体アタック。バル・ガンナーの効果発揮。まずデッキから1枚ドロして、BP4000以下の相手スピリットを1体破壊する

が、ライト・ブレイドラとシルバー・ヴルムの効果【強化】<sup>チャージ</sup> 3つを乗せて、BP7000以下のを破壊させてもらう！」

(手札5↓6)

《砲竜バル・ガンナー》

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分はデッキから1枚ドローし、BP4000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

やっと【強化】をまともに使えた。もう前みたいな間違いはやらないぞ。しかもこれで真桜の場を掃討しつつ手札も稼げる。7000以下なら大体は破壊できるし、スピリット同士のバトルになってもそうそう当たり負けない。

「破壊するのは…ジョーニン・トンビ！」

「了解しましたのです。…あ、光牙の忍び里レベル1からの効果があったのですが、強化が乗ってるなら余り意味はないですね」

《光牙の忍び里》

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：＜爪鳥＞を持つ自分のスピリットすべてと、自分の〃分身スピリット〃すべてをBP+2000する。

「でも、ジョーニン・トンビが破壊されたとき、効果発揮なのです！」  
「おっ…」

「忍法・〃分身の術〃…！なのですよ〜」

〃分身〃!?!? 緑の効果か!?

「ボクのデッキトップのカード1枚を、裏向きのまま置いてコアを置くことで、それを〃分身スピリット〃として扱う能力なのです！」

《ジョーニン・トンビ》

Lv1・Lv2 【分身：1】<sup>ぶんしん</sup> 『相手によるこのスピリットの破壊時』

自分のデッキの上から1枚を裏向きで自分のフィールドに置き、自分のリザーブのコア1個以上置くことで、ゲーム終了時までそのカードを〃コスト0／系統：＜分身＞／＜1＞Lv1BP3000／シンボル：緑〃の緑の分身スピリットにする。

分身スピリットは、合体できず、手札／デッキに戻るとき破棄され



る。

「さらにここでダンガロ山脈レベル1からの効果も発揮なのです！分身スピリットが発生したとき、リザーブのコアの代わりにボイドからコアを使うことができますのです！」

「…ということとは？」

「ちよつとしたコアブーストになるのですよ」

《巻き上がるダンガロ山脈》

Lv1・Lv2

自分が分身スピリットを出すとき、リザーブからコアを置くかわりに、ボイドからコア1個をそのカードに置いて分身スピリットを出すことができる。

この効果は重複しない。

…なんてこつた、緑はどんなやり方でもコアを増やせるのかよ。いやそりゃ赤だってアタックやマジックでガンガン手札増やせるけどさ、緑は別次元の勢いでコアが増えてく。差がヤバい。

「分身 ボイドから↓コア1 レベル1 BP3000+2000  
||5000」

(真桜リザーブ2↓3)

「そしてそして！お姉さんがボクのスピリット破壊したのをキーンに、バースト発動なのですよ！」

「何っ!？」

「烈風招来！雅なる風纏いくさばいて戦場いろどを彩れ！

《風の霸王ドルクス・ウシワカ》!!

レベル2で参上なのです!!」

「バースト効果でお姉さんのスピリット2を疲労させるのです！ドラゴナイトとムゲンドラを選択するのですよ！」

「疲労効果か…！」

「更に！ボクのフィールド、リザーブ、トラッシュにあるコアが合計8個以上あるからノーコストで召喚できますのですよ！」

(真桜リザーブ3↓0)

「風の霸王ドルクス・ウシワカ コア3 レベル2 BP9000」  
これがバースト召喚か！効果付随でコスト支払い無しで出るとか  
やっぱ強いな…！

緑 スピリット

《風の霸王ドルクス・ウシワカ》

コスト5 軽減緑3 <覇皇・殻虫>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP9000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：緑

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

相手のスピリット2体を疲労させる。

その後、自分のフィールド／リザーブ／トラッシュのコアが合計8  
個以上のとき、このスピリットカードを召喚する。

フラッシュ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置  
くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv1・Lv2・Lv3 『???』

???

「そのままドルクス・ウシワカでブロックするのですよー！」

「マジかー！」

「すぐさまバトルにも参加できるのも強みなのですー！」

Attack!!

シルバー・ヴルム（合体） Lv2

「BP6000+2000=8000」↓Lose…

vs

「BP9000」↓win!!

風の霸王ドルクス・ウシワカ Lv2

Defense!!

「くそつ、シルバー・ヴルムが…」

「さすがに強化を2つ持つてるシルバー・ヴルムを野放しにはできな

いのですよ」

(悠姫リザーブ0↓1)

「砲竜バル・ガンナー 残留 コア1 レベル1 BP2000」  
残りアタックできるライト・ブレイドラのみか。緑って思ったより厄介な相手だな。……前にも彩音<sup>あやね</sup>さんとの対戦の時も同じこと言ってたような気がする。あと戦ってないのは「黄」と「青」か。……うん、同じことという自信がある。

「……ターンエンド」

〈真桜・第八ターン〉

「緑迅のターン、スタートステップ！」

(戦場に息づく命効果 手札1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ0↓2)

「メインステップ。マジック《ライフチャージ》！ボクのコスト3以上のスピリット1体を破壊して、ボイドからコア3つをリザーブに置きますのですよ！対象は、申し訳ないのですが、ヨロイフクロウなので」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ0↓2)

緑 マジック

《ライフチャージ》

コスト4 軽減緑2

フラッシュユ：

コスト3以上の自分のスピリット1体を破壊することで、ボイドからコア3個を自分のリザーブに置く。

「これもひとつの作戦なのです…」

(リザーブ0↓3↓4)

「次にブレイヴ《コノハガニン》をドルクス・ウシワカ<sup>ダイレクトブレイヴ</sup>に直接合体させるのですー！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ2↓5)

コノハガニン

← 直接合体

ドルクス・ウシワカ(合体)

[コスト5+4≡9]

[BP9000+3000≡12000]

[合体時効果：追加]

[シンボル：緑+青≡緑青]

青のブレイヴか！初めて見るが、緑と噛み合う効果なのか？

青 ブレイヴ(闇)

《コノハガニン》

コスト4 軽減青2緑1 <異合>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：青

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

???

「バーストもセットするのですー！」

(手札1↓0)

(バースト：セット中)

「アタックステップ！ドルクス・ウシワカで合体アタックブレイヴなので！」

「ようやく攻めてきたか。ダブルシンボルでBP12000、こっちに守る手段は無い。」

「ここでコノハガニンの合体アタック時効果発揮なのです！コノハガニンと合体しているドルクス・ウシワカのレベルを1つ上のものとして扱うのですー！」

「何っ!？」

「青の特徴として、”限定されたレベル上昇操作”があるのです。更

に、コノハガニンの【連鎖】<sup>ラッシュ</sup> 発揮なのです！」

【連鎖】：！昨日教えてもらったのを身を持って体験するとはね。

「ボクのフィールドに緑シンボルがあるとき、コノハガニンのレベル上昇効果に続いて発揮されるのです！ ボイドからコア1つをドルクス・ウシワカに置きますのです！」

「風の霸王ドルクス・ウシワカ（合体） コア3↓4」

《コノハガニン》

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットのレベルを1つ上のもので扱う。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

（自分の緑シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する。）

「緑」：ボイドからコア1個を自分のスピリットに置く。

青のカードが緑の効果を発揮する、これが連鎖ね…。赤にもあるらしいけど私はあのダーク・ティラノザウラー、だっけ？あれしか見えないから何とも言えないけど、これはデツキ作るのに頭捻りそうだ。

…と、あのアタックはどうするか。

「ライフで受ける」

（悠姫ライフ5↓3）

（リザーブ1↓3）

まあ今はこれしかない訳で。これからはコアを増やす手を何とかしないとイケないか。後手後手に回るのか、速攻を仕掛けるのかは赤の問題点なんだろうか。

だがタダでライフはやらんぞ！

「ライフが減ったからバースト！ 《救世神撃覇》（きゆうせいしんげきは）《！》」

真桜が攻めてこないからまさかこれ発動せずに終わるかと思ったけどやっと初バーストだ。

赤 マジック

《救世神撃覇》  
きゆうせいしんげきは

コスト4 軽減赤3

【バースト：自分のライフ減少後】

BP合計6000まで相手のスピリットを好きなだけ破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

自分はデッキから1枚ドローする。

その後、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットする。

「ライト・ブレイドラの【強化】が1つ乗って合計7000まで破壊できるから、ゲニン・スズメは貫って行くぞ！さらに追加でコストを支払ってフラッシュの効果を使う！」

(悠姫リザーブ3↓2)

(トラッシュ2↓3)

「デッキから1枚ドローして、バーストを……セット、しない」

(悠姫手札6↓7)

「仕方ないですよ。でも、こっちもタダじゃ倒されないですよ！ゲニン・スズメの破壊時効果発揮！お姉さんのスピリット2体疲労させるのです！と言っても対象はライト・ブレイドラくらいしかないのですよ」

(真桜リザーブ5↓6)

「

これで防御できるスピリットがいなくなったか…。

《ゲニン・スズメ》

Lv1・Lv2『このスピリットの破壊時』

相手は、相手のスピリット2体を疲労させる。

「そしてドルクス・ウシワカの効果発揮なのですよ！バトル終了時、手札に戻ることができるのです！」

なんとつ、手札に戻れるのか。バーストから出てきたと思えば手札にとんぼ返りとは器用なカードだ。

「ドルクス・ウシワカとコノハガニン両方を手札に戻すのです」

(手札0↓2)

(リザーブ1↓5)

「合体してるブレイヴは、合体元のスピリットが場から離れるとき、破壊されたらその場に残すか一緒にトラッシュかを。手札に戻すときは…」

「フィールドに残すか、一緒に手札に戻すか選べるのよ」

なるほどなあ。万が一ブレイヴを残して不利益が出ることを考えたらいつそ一緒に破壊してトラッシュ送りにした方が良かったりするのよ。

「そしてドルクス・ウシワカが手札に戻ったことで、このターンの間、ボクのスピリット1体のBPをプラス3000するのですよ！対象は分身スピリットです！」

「分身スピリット BP3000+2000+3000=8000」

「うおっ、跳ね上がった！」

「光牙の忍び里レベル1からの効果も追加されてこれなのですよ」

《風の霸王ドルクス・ウシワカ》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

バトル終了時、このスピリットを手札に戻すことで、このターンの間、自分のスピリット1体をBP+3000する。

《光牙の忍び里》

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：＜爪鳥＞を持つ自分のスピリットすべてと、自分の分身スピリットすべてをBP+2000する。

「次に分身スピリットでアタックなのです！」

「まだくるか…！ライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「ターンエンドなのです」

一気にライフ3つか…。まだ勝てる見込みはある。焦るなよ私。

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札7↓8)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ4↓7)

コアも手札も余裕が出た。向こうの手札2枚はドルクス・ウシワカとコノハガニンと透けているからマジックの心配は無い。……そうか。利点だらけのドルクス・ウシワカでも、手札が分かってしまうデメリットがあるのか。

「まずはこいつ。《ヤシウム》をレベル1で召喚」

(手札8↓7)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ0↓2)

「ヤシウム コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

赤 スピリット

《ヤシウム》『巨嘴鳥座』

コスト4 軽減赤2 <皇獣・星魂>

<1> Lv1 B P 1 0 0 0

<3> Lv2 B P 3 0 0 0

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

自分のトラッシュユにあるスピリットカードか、ブレイヴカード1枚を手札に戻す。

「…本当はアルティメットが欲しいのに運の悪さに辟易する。こんだけ引いて来ないのはどうなんだ」

「あはは…。入れたのに来ないのもよくあることなのですよ」

「…とにかく、さつき破壊されたシルバー・ヴルムを手札にと」

(手札7↓8)

「じゃあそのヤシウムの召喚時効果発揮にバースト発動なのですよ！」

「げっ」

また踏んだ…。もう、その、何だ。踏むのはデフォルトだな。

「マジック 《双翼乱舞》(そうよくらんぶ)《！」



「赤のバーストマジックか…」

「デツキから2枚ドロウするのですよ」

(真桜手札2↓4)

これはアカン、真桜の手札が増えた。2枚だからって安心してた私が馬鹿だったか。

「追加コストを支払って、更に2枚ドロウするのです！」

「よ、4枚ドロウ!？」

(真桜リザーブ6↓2)

(トラッシュユ5↓9)

(手札4↓6)

赤 マジック

《そらよくらんぶ双翼乱舞》

コスト4 軽減赤2

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】

自分はデツキから2枚ドロウする。

その後コストを支払うことで、このカードのメイン効果を発揮する。

メイン：

自分はデツキから2枚ドロウする。

「手札ウハウハなのですよ〜」

「ぐぬぬ。とにかく戻したシルバー・ヴルムをもう一度レベル2で召喚！んで、バル・ガンナーを再び合体させてレベル2へ！」

(悠姫手札8↓7)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「シルバー・ヴルム↓(合体) コア2↓3 レベル2」

「このままアタックステップ、シルバー・ヴルムで合体アタック！1枚ドロウして【強化】3つ乗せでBP7000以下の分身スピリットを撃ち抜く！」

(手札7↓8)

(真桜リザーブ2↓3)

このままの勢いで押して行けばアルティメットの出番無しで勝てるぞ…！ 昨日彩音さんのメールで「アルティメットに頼りすぎると仇になる。早出しも良いけど頼りすぎは息切れになりやすい」という助言も受けた。アルティメットが引けなかつたら、スピリットたちで押し切れれば問題は無い。

「むむっ、フラッシュユタイミング！ マジック《ソウルリッパー》！合体スピリットのブレイヴを破壊！そして破壊できたので1枚ドロ―できるのです！」

(真桜手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ9↓12)

「今度は紫のマジック!？」

「ブレイヴ破壊マジックはどのデッキにも入るのですよ！」

(手札5↓6)

紫 マジック

《ソウルリッパー》

コスト3 軽減紫1

フラッシュユ：

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊することで、自分はデッキから1枚ドロ―する。

【連鎖：条件《青シンボル》】

(自分の青シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する)

「青」：コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「バル・ガンナーを破壊するのです！」

「ちいっ！でもアタックは続いているぞ！」

「それはライフで受けるのです！」

(真桜ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「よしっ、あと2っ！」

「やりますのです…。だけど、切り札を呼び込んだのはボクが早かったみたいなのです！ ダンガ口山脈レベル2の効果が発揮されるの

です！」

「っ!？」

《巻き上がるダンガロ山脈》

Lv2 『相手のアタックステップ』

自分のライフが減って3/2/1になったとき、自分の手札にある【分身】を持つスピリットカード1枚を、コストを支払わず召喚できる。

「神・風・天・昇!!

輝きの牙、風の影を纏いて邪を斬り祓い給え!!

《光牙鳳凰レックウマル》!

罷り通り、舞い忍ぶのです!!」

緑 スピリット (光)

《光牙鳳凰レックウマル》

コスト7 軽減緑3 <爪鳥>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP9000

<4> Lv3 BP11000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 【分身：2】 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキの上から2枚までを裏向きで自分のフィールドに置き、自分のリザーブのコア1個以上を置くことで、ゲーム終了時まで、そのカードを

〃コスト0／系統:<分身><1>Lv1/BP3000/「緑」の緑の分身スピリットにする。

(分身スピリットは合体できず、手札/デッキに戻るとき破棄される。)

Lv2・Lv3 【強化】

自分の「相手への疲労効果」の体+1体する。

Lv3 『このスピリットのアタック時』

相手のスピリット1体を疲労させる。

「ボクの切り札、颯爽登場なのです！」

(手札6↓5)

(リザーブ1↓0)

「光牙鳳凰レックウマル コア1 レベル1 BP5000+2000=7000」

マジかよ…!? 先に大物が来たか!

「まだ終わってないですよお姉さん!レックウマルの分身発揮なのです!デッキトップから2枚を分身スピリットに!コアは勿論ボイドから!」

「分身1 コア1 レベル1 BP3000+2000=5000」

「分身2 コア1 レベル2 BP3000+2000=5000」

「くっ…」

「さあどうしますですか?」

蜂の巣叩いたみたいライフを叩いたらわんさか湧いてくるな…。となれば忍者に因めばライフは鳴子か何かか。スピリットを犠牲にしてライフを1つ砕いたところでまた【分身】持ちが飛び出してくるのは割に合わない過ぎる。…雌伏の時だ。

「…ターンエンドしかないか」

〈真桜・第十ターン〉

「緑迅のターン、スタートステップ!」

(戦場に息づく命 手札5↓6)

(手札6↓7)

(トラッシュ12↓0)

(リザーブ0↓12)

「メインステップ。夜の鷲、《ナイトイーグル》をレベル2で飛翔しますのです!」

(手札7↓6)

(リザーブ12↓7)

(トラッシュユ0↓2)

「ナイトイーグル コア3 レベル2 BP7000」

「ナイトイーグルレベル2からの効果、ボクの分身スピリットの元々のレベル1のBPを11000にするのですー!」

「っ!? い、11000!?!」

「光牙の忍び里の効果も合わせて13000なのですよ!」

緑 スピリット

《ナイトイーグル》

コスト5 軽減緑3 <爪鳥>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 【分身:i】 『このスピリットのアタック時』

自分のデッキの上から1枚を裏向きで自分のフィールドに置き、自分のリザーブのコア1個以上を置くことで、ゲーム終了時まで、そのカードを〃コスト0／系統<分身>／<1>Lv1／BP3000／「緑」〃緑の分身スピリットにする。

Lv2・Lv3

自分の分身スピリットすべてのLv1BPを11000として扱う。

「そして《翡翠の小太刀 日輪丸》をレックウマルに直接合体なのです!」

(手札6↓5)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ2↓4)

翡翠の小太刀 日輪丸

← 直接合体

レックウマル (合体)

「コスト7+4=11」

「BP9000+3000=12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：緑＋緑Ⅱ緑緑」

「レックウマルをレベル3にして、バーストもセットです!」

「巻き上がるダンガロ山脈 コア2↓0 レベル2↓1」

(リザーブ5↓4)

「光牙鳳凰レックウマル(合体) コア1↓4 レベル1↓3 B P

11000+3000+2000Ⅱ16000」

(手札5↓4)

(バースト：セット中)

「アタックステップ!レックウマルで剣刃<sup>ソードブレイヴ</sup>合体アタックなのです!」

決めに掛かってきたか…!さすがにダブルシンボルは通せないぞ。

「光牙鳳凰レックウマルレベル3からの効果、お姉さんのスピリット1体を疲労させるのです!更に1<sup>強</sup>チャージ<sup>化</sup>でプラス1体追加で疲労させますのです!」

「うおっ!」

「ドラゴナイトとムゲンドラを疲労させるのです!」

防御に穴が!?! だがまだ紫よりかマシか…! ブロックできるのがまたライト・ブレイドドラのみになったが…、どうする!?! 回復させてもどの道太刀打ちできないBPだ。…いや、待てよ? これか?! 「まだ続いていますですよ! 日輪丸の合体アタック時効果発揮なのです! このバトルの間、お姉さんのバーストは発動できません! セットされてませんけど」

「日輪丸第二の効果! 合体しているレックウマルの【分身】を、発揮条件を無視して発揮させるのです!」

「まだ増えるのかよ!?!」

「これぞ光牙流多重影分身なのです!」

緑 ブレイヴ

《翡翠の<sup>ひすい</sup>小太刀<sup>のこだち</sup> 日輪丸<sup>にちりんまる</sup>》

コスト4 軽減緑2白1 <剣刃>

<1> L v 1 B P 3 0 0 0

<0> 合体 + 3 0 0 0

シンボル：緑

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手はバーストを発動できない。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットが持つ【分身】を発揮させる。

「レックウマルの【分身・2】が発揮！ダンガロ山脈効果でボイドからコアを使うのです！」

【分身3 コア1 レベル1 BP11000+2000〓13000】

【分身4 コア1 レベル1 BP11000+2000〓13000】

「さあどうしますですか！」

「使うのはここしか無いだろ！」

思った以上に攻撃が苛烈でセットするタイミングが分からなかったのは秘密だ。

「マジック《ブレイジングバースト》だ！足りない分はシルバー・ヴルムとドラゴナイトから1つずつ受け取る！」

(悠姫手札8↓7)

【シルバー・ヴルム コア3↓2】

【ドラゴナイト コア1↓0 消滅】

(トラッシュユ4↓6)

赤 マジック

《ブレイジングバースト》

コスト4 軽減赤2

【バースト：自分のライフ減少後】

BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

自分の赤のスピリット1体を破壊することで、このターンの間、

相手のスピリットのアタックでは、自分のライフは1しか減らない。

「ライト・ブレイドラを破壊して、このターン中私のライフは1しか減らない！」

(悠姫リザーブ0↓1)

「でもライフ1つはもらうのです！」

「いいさ、ライフだ！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「ナイトイーグルでアタックなのです！」

「なっ、ライフは減らないぞ!?!」

「ナイトイーグルのアタック時効果、分身発生させるのです！」

「分身5 コア1 レベル1 BP11000+2000=13000」

…13000の壁が5体とか絶望的すぎるだろ。

「ターンエンドなのです」

〈悠姫・第十一ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札7↓8)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ3↓9)

「……………」

場にはムゲンドラ、シルバー・ヴルム、ヤシウムだけ。マジックで破壊しようにも私の場すら巻き込んでも破壊が難しい。…手札はあるが色々厳しい。アルティメット2体並べたくても今引いた「コイツ」。なんで来るタイミングが悪いんだお前は…!」

いや…待て…、これはある意味最高のタイミングじゃないか？ 突破口はまだおぼろげだが、あのバーストさえ踏まなければ…勝てるはずだ。



「…やってみるさ。これで負けたらどうしようもない」

「ボクの分身を越えられる算段は整ったですか？」

「『コレ』に賭けるさ！」

これにしくじったらもう勝機は無い。一発逆転、狙ってやるさ！

「まずはマジック《フレイムスパーク》！合計BP5000以内のスピリットを破壊するが、2つ【強化】を乗せて7000以内になる！よつてナイトイーグルを破壊するぞ！」

(手札8↓7)

(リザーブ9↓7)

(手札7↓効果でライト・ブレイドラを回収↓8)

「むう…！よくぞ見破ったのです！」

(真桜リザーブ4↓7)

あの光牙の忍び里のBPアップ効果はアタックステップ中だったな。あのままアタックステップに入っていたら9000まで上がって破壊が出来なくなる。なら、メインステップ中に破壊すればアップする効果は無い。それにバーストも発動しない、まだ大丈夫だ！

「これで分身のBPは元に戻った。ライト・ブレイドラ、また頼むぞ！」

(手札8↓7)

(リザーブ7↓6)

「ライト・ブレイドラ コア1 レベル1」

「状況は整った！まとめて行くぞ！」

マジック、《ジェネレートファイア》!!」

「ふあっ!？」

(悠姫手札7↓6)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュユ2↓4)

「BP3000以下の相手スピリットを全部破壊する！そこに3つ【強化】を乗せて、6000以下を全部破壊だ!!」

「分身1 BP3000 破壊」

「分身2 BP3000 破壊」  
「分身3 BP3000 破壊」  
「分身4 BP3000 破壊」  
「分身5 BP3000 破壊」

(真桜リザーブ7↓12)

「あわわ…！ボクの分身が焼き払われたのですよ…！」

「おっしやあ！更にジエネレートファイアの効果だ！」

くうく！一気に破壊できると爽快だな！でもこのジエネレートファイアの本領はこっからだ！

赤 マジック

《ジエネレートファイア》

コスト5 軽減赤3

メイン：

BP3000以下の相手のスピリットすべてを破壊する。

この効果発揮後、自分の手札にあるスピリットカード1枚を、この効果で破壊したスピリット1体につき、1コストを支払ったものとして召喚できる。

フラッシュ：

このターンの間、スピリット1体をBP+3000する。

「破壊した分、スピリットカードのコストを踏み倒してくれる！」

「で、でも…！アルティメットはスピリットじゃないです！」

「分かってる！だからコイツを出すんだ！気まぐれに買ったランダムパックから出たコイツを！」

「破壊した分身スピリットは5体、よって5コスト支払ったものとする！」

元のコストは9、残り4コストで赤の軽減は6つ！

ムゲンドラ、ライト・ブレイドラ、シルバー・ヴルム、ヤシウムで赤のシンボルは4つ！

よって『0コスト』!!」

「来い!!《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》ツツ!!」

(悠姫手札6↓5)

(リザーブ4↓1)

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス                    コア3    レベル2    BP120  
00」

赤    スピリット

《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》

コスト9    軽減赤6    <滅龍>

<1>    Lv1    BP9000

<3>    Lv2    BP12000

<5>    Lv3    BP16000

<8>    Lv4    BP20000

シンボル：赤赤

Lv1・Lv2・Lv3・Lv4

破壊された自分のスピリットのコアすべては、自分のリザーブではなく、このスピリットに置かれる。

Lv2・Lv3・Lv4 『??』

???

Lv3・Lv4 『??』

???

「2体目の《砲竜バル・ガンナー》をシルバー・ヴルムに合体！足りない分はヤシウムから受け取る！」

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ1↓0)

「ヤシウム    コア1↓0    消滅」

(トラッシュ4↓6)

「そしてジエンド・ドラゴニスでアタックだ！」

「…っ！」

「コイツは元からダブルシンボル！そのまま受けたら私の勝ちだ！」

「むううう…！    フラッシュユタイミング！《ソードピューマ》を【神速】するのですー！」

(真桜手札4↓3)

(リザーブ12↓8)

(トラッシュユ4↓5)

「ソードピューマ コア3 レベル2 BP4000」

緑 スピリット

《ソードピューマ》

コスト4 軽減緑3 <剣獣けんじゅう>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP4000

シンボル：緑

フラッシュ：【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv1・Lv2 【分身：1】『このスピリットの召喚時』

自分のデッキの上から1枚を裏向きで自分のフィールドに置き、自分のリザーブのコア1個以上を置くことで、ゲーム終了時まで、そのカードを「コスト0／系統：<分身><1>Lv1／BP3000／「緑」」の緑の分身スピリットにする。

「分身再び発生なのです！」

「分身1 コア1 レベル1 BP3000+2000=5000」

「それでどうする！」

「分身スピリットでブロックなのです！」

「ならそのまま破壊する！」

(真桜リザーブ8↓9)

「続けてシルバー・ヴルムで合体アタック！1枚ドロして、BP7000以下のソードピューマを破壊！」

「甘んじて破壊されますです…！」

(真桜リザーブ9↓12)

「こつちもダブルシンボルだ！」

「うぐぐ…！今度はドルクス・ウシワカをレベル3で【神速】召喚する

のですー!」

(真桜手札3↓2)

(リザーブ12↓5)

(トラツシユ5↓7)

「風の霸王ドルクス・ウシワカ コア5 レベル3 BP1000  
0」

「ドルクス・ウシワカでブロック——」

「まだだ!フラツシユタイミング!」

「っ!?!」

「コアが足りないならトラツシユから持って来ればいい!マジック  
《ネイチャーフォース》!!」

「み、緑のマジックですか!?!」

(悠姫手札4↓3)

「足りない分はジエンド・ドラゴニスから2つ、シルバー・ヴルムから  
1つずつ受け取るー!」

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア3↓1 レベル2↓1」

「シルバー・ヴルム(合体) コア2↓1 レベル2↓1 BP80  
00↓BP4000+20000=60000」

(トラツシユ6↓9)

「私のトラツシユにあるコアすべてをジエンド・ドラゴニスに置く!  
これで一気にレベル4だ!!」

(トラツシユ9↓0)

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア1↓10 レベル1↓4  
BP90000↓20000」

「な…、なんとっ!?!」

「これでどうだっ!!」

「…っ!ドルクス・ウシワカでブロックなのです!」

「ジエンド・ドラゴニスの効果は知ってるよな!ジエンド・ドラゴニス  
以外の私のスピリットがブロックされたら、ジエンド・ドラゴニスは  
回復するー!」

《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》

Lv2・Lv3・Lv4 『自分のアタックステップ』

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス」以外の自分のスピリットが相手のスピリットにブロックされたとき、このスピリットは回復する。

シルバー・ヴルムのBPは6000。ドルクス・ウシワカのBPは10000。今、ここであるの “牛若丸”<sup>ドルクス・ウシワカ</sup>を逃がす訳には行かない…!

「フラッシュタイミング！マジック 《ネクサスコラプス》！合体スピリットのシルバー・ヴルムのBPを5000アップさせる！」

「……つくー！」

(悠姫手札4↓3)

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス      コア10↓9」

(トラッシュユ0↓1)

赤   マジック

《ネクサスコラプス》

コスト3    軽減赤2

メイン：

ネクサス2つまでを破壊する。

フラッシュユ：

このターンの間、合体スピリット1体をBP+5000する。

A t t a c k !!

シルバー・ヴルム+砲竜バル・ガンナー

B P 4 0 0 0 + 2 0 0 0 + 5 0 0 0 || 1 1 0 0 0 ↓ w i n !!

v s

B P 1 0 0 0 0 ↓ L o s e . .

風の霸王ドルクス・ウシワカ

D e f e n s e !!

「討ち取ったあッ！」

「ウシワカまで…！」

(真桜リザーブ5↓10)

きた！後残る手札2枚は、1枚はコノハガニンだつてことは割れてる。残る1枚とバーストが不安だが、ここまでできて……

「怯んでられるか！

ジエンド・ドラゴニスで…アタック!!」

「……………」。

ライフで……

受けるです…ツ!!」

(真桜ライフ2↓0)

「……………、勝った…?」

〔winner!! 緋立 悠姫!!〕

イチについたら・・・？ Aパート

私はバトルスピリッツ初心者であり、周囲の練習相手は強い親友と強いゴスロリ娘の二人のみ。その二人を相手に胸を借りる勢いでぶつかり稽古ですよ。

そりやあもう負ける負ける。ただの一度も勝てた試しが無い。勿論負けから学んであの手この手をしかけるが案の定…ね。

その私だ。

「……………」

「うう…、まさかひっくり返されるとは思わなかったのですよお…！お姉ちゃん…！」

「あらあら、よしよし。惜しかったわね、真桜ちゃん」

……勝ったんだよ。嘘だと思うだろ？ 本当なんだマジなんだ。私が勝ったんだよ…！この眼鏡っ娘に！

「悠姫ちゃんも凄かったわ。素晴らしい逆転勝ちだったわ」

真桜のお姉さんからの言葉に……思わず目頭が熱くなった。

「……………」

「っ!? あわわっ、お姉さん泣いちゃったのですよ!」

「あ、あらあら…。ちよつと調子に乗りすぎたかしら、ご、ごめんなきいね?」

あつ、いやこれはその…嬉し涙であつて別に何かされたからという訳ではないですよ。やっと、やっと勝てた。やっと掴めた初勝利になんかもう色々。私ってこんな泣きやすかったか?」

「お姉さ——ひっ!」

「? あら」

目元を服の袖でぐしぐしやってたら真桜の悲鳴が。…視線は私の後ろを見ているが誰か来たのか? ちよつと滲む視界で振り向く。



「? ……うおっ!?!」

するとそこには、開かない自動ドアの前で半泣きベそかきながら額を密着させてドアをバンバン叩く璃恵りえの姿が。その隣には彩音あやねさんの姿も。こちらが見つけたのに気付いたのか軽く手を振ってくれた。しかし璃恵が怖い。

「あらあら〜」

「あいつ何やってんだ…」

「ゆゝゝゝきゝゝゝゝ!!」

「だあ!? 泣きながら抱き着いてくるなって!」

真桜のお姉さんが扉を開いて二人を招き入れた途端綺麗な顔がぐしやぐしやになるぐらい大泣きして抱き着いてきた璃恵。おい馬鹿やめろ服が、服が!

「ひとつ聞いていい?」

「あ、はい? ……だあもう璃恵はいい加減泣き止め!」

「だ…だつでえゝゝゝ…ぐずつゝ」

「……で、悠姫は何で開店前のお店に?」

「ああ、それはですね…」

説

明

中

「ソワソワしててジツとしてられず、気まぐれでお店に来たらバトルしていた、と」

「大体そんな感じですよ」

「できア、そのバトルしてた娘は?」

「え?そこに…」

……いない。今対面にいたのにいつの間にも。

「あらあら、真桜ちゃんつたら〜」

「……………」

「あつ、いた」

そんな捜さずともすぐ見つかった。真桜のお姉さんの背後に隠れ

ていた。どうしてんなところにいるんだ？

「真桜ちゃんはね、恥ずかしがり屋なのよね」  
「えっ」

「恥ずかしがり屋…？ あんな積極的に私をお店に入れてバトルまで申し込んできて、派手に召喚口上まで言っておいて今更恥ずかしがり屋、なのかな。どう反応したらいいものやら。」

「あ！そうだよ悠姫イ、何で泣かされてたのさ！」

「いや、まあ、その、何だ」

「悠姫ちゃんが初勝利して感極まったのよね」

「うエツ!? 勝ツたの!?!」

「何だその驚きようは。驚いてるのは私の方だよ。意外そうだったので、まだ片付けてなかった盤面を見せる。」

「滅龍帝…？ これいつ手に入れたの？」

「ランダムパックから出てきたんです」

「マオちゃん…だツけ？この感じからして【分身】デッキだよね…？一体何があツてこうなツたの？」

「見ただけじゃどう勝つたのか訳がわからないわね」

そんなことなくつちやべり初勝利の味を噛み締める余韻なぞ何処へやら。あつという間にお店の開店時刻となった。勿論お店は盛況。新弾を買い求めに多くのお客がお店に入ってきていた。

…璃恵と彩音さんはレジに並んではいない。何故か。既に予約して取り置きして貰っているかららしい。常連の余裕というようだが、じゃあ、私も並ばなきゃな。これで買い損ねたとか何の為に来たんだか意味が分からなくなる。

そう思い席を立とうとしたら、いつの間にかまた姿を消していた真桜が何かを持ってこちらにやってきた。

「ん？ どうした？」

「これ、どうぞなのです」

贈呈されたのは新弾・アルティメットバトル01、一箱。

「えつと…」

「はじめての白星と、ボクに勝った記念品なのです」

「…いいの?」

「はいなのです。…それとお願いもひとつ…」

箱を受け取り、もしもじしながら真桜にお願いをされる。何だろうか。可愛らしいからも少し見ていたいけど。

「……友達に、なつてほしいのです」

「…そんなんでいいのか?」

「そんなことでも、ボクには厳しくて難しい話なのですよ…」

まあ、人それぞれ難しいなり厳しい理由はあるだろう。だから私は簡単だとは言わない。私自身もなかなか友人が出来にくいタイプだし、作るのが難しいのは知っている。

「なら遠慮なんかいらさない。こちらこそ喜んで」

「…! ありがとうございますですよ!」

「そこはありがとうじゃなくて、これからよろしく。だろ?」

「はい! よろしくお願いますです! 悠姫お姉さん」

「こちらもよろしくな。…真桜でいいかな?」

「勿論なのです!」

ボクは「翠乃<sup>みどりの</sup> 真桜<sup>まお</sup>」。うちのお姉ちゃんともども、よろしくお願  
いしますのです♪」

して、しばらく四人で雑談しながらレジが落ち着くのを待った。真桜に貰ったのは別として、自分のお金で購入することに。そのために来たんだから。

「ふむふむ、ワタシらはそろそろかな?」

「そうね。やっと少なくなってきたし」

どうやら購入どきだそうだ。…そういえば、二人はいくつ買うつもりなんだろうか。

「ワタシは5箱予約したヨ♪」

「私は1ダース。12箱ね。知り合いに頼まれてる分もあるし、私個

人は、新弾1弾だから6箱かしら」

「……………は？」

え？5箱？6箱？ダース？規模が違うんだが。わ、私はどうするか…。だがあまり悩んではいられない。悩んでる間に売り切れてしまったら意味がない。手持ちとにらめっこして決めるしかない。

「……………真桜はどうするの？」

「ボクは4箱買ってるのですよ。あ、ちゃんとお金は払ってますですよ？いくらボクでもタダじゃダメなのです」

「そうか…」

すっかりしてるなあ。4箱も買ってるけど。てことはあの緑のデツキは買って当てたやつを組み込んだのか。いや、それよりどのぐらい買うか参考にならなかった。

「ハ〜イ♪買ってきたよ〜♪」

「お待たせ。悠姫さんはどうするの？」

「えっ、…う〜ん」

購入を済ませた二人が戻ってきた。彩音さんの1ダースのやつはダンボールに積み、後でその頼んだ人が取りに来るとか。

「とりあえずサ、真桜ちゃんから貰ったのに合わせて買うのは2箱でイイんじゃない？」

「…そうね。3箱でもいいけど、箱買いは初めてだろうし、2箱が妥当かしら」

「2箱か…」

真桜の方をちらりと見ると、二人に同意してコクコクと頷く。…なら上級者様方の意見を参考に、2箱にしますか。

「すみません」

「は〜い。いくつにするっ？」

「2箱で…」

「は〜い、2箱ね〜。2つで〜、これくらいね〜」

「はい。……………ん？」

…あれ、何か安くはないか？

そう疑問に思っていたら、お姉さんが耳打ちしてきた。…が、お姉さん妙に色っぽいからちよつとドキツとしてしまった。

「真桜ちゃんに勝った記念に、ね〜」

「…いい、いいんですか？ 夕ダで貰っちゃったのもあるのに」

「いいのよ。真桜ちゃん、すごく嬉しそうだったし〜」

おおぅ…、オマケまでして貰って申し訳ないです。

「はい、購入特典カードです」

「購入特典？」

「そうよ。千円以上買ってくれと、オマケの『プロモーションカード』が付いてくるの〜」

「へえ、お得なんですね。…しかもこれ、片方はアルティメットのカードか」

(…実は、そうでもなかったりするよネ)

(一々あつちこつちに買いに走らせるとかあつたり煩わしいつたらなかったわ…。ここは素晴らしいから鼻負させてもらってるけど)

「ただいま」

「オカエリ〜♪ さアシア♪お楽しみのお開封Timeですよ〜♪」

「はあ？帰ってからのしろ」

「いいじゃない。1箱だけよ」

「…彩音さんがそう言うなら」

「悠姫…、ワタシのときのリアクション、最近冷たくないデスカ…？」

そしてお客が少なくなってきたのを見計らい、隅のスペースで1箱限定の開封式をやることになった。勿論私も。開けるのは自分で買ったやつね。真桜に貰ったのは家に戻って丁寧に開封させてもらうとする。で、真桜は既に開封済みの為私の手伝いをするとのこと。一緒に開けるのではなく、カード効果の説明とか。

◇白鐘 璃恵の場合

「〜♪〜♪〜♪〜♪」

上機嫌でパツクを剥いていく璃恵。流石上級者、剥いて見て仕分けるのが早い早い。

「〜♪ ……………!?!? フウオアアアアアツツハアアアアアアツツ!!!」  
「っ!?!」

突然奇声を発し1枚のカードを天高く掲げて天を仰ぐような大袈裟な感じでガツツポーズした璃恵。奇行は今に始まった話じゃないが、周りの目が痛いから喜ぶ?にしてももう少しいい喜び方つてもんがあるだろ。女であることガン無視で奇声を上げるとか無いわ。

《究極巨神アルティメット・ツール》キタコレエツツ!!」

「…Xレアか?」

「今弾の白のアルティメットXレアなのですよ」

「…ふくん」

「イエス!イエス!!」

「ビールを飲んだときのような喜び方しないの五月蠅いわね!」

#### ◇濔紫 彩音の場合

「…ふむ。やっぱり紫は優秀ね。しかも今回は<呪鬼><sup>じゆき</sup>推し。ふふふつ、撈るわ」

「じゆき…、ですか?」

「バトルスピリッツ最初期からある系統のひとつよ。第7弾以降姿を消していたのだけど…これは素晴らしいわ」

へえ。彩音さんがこれだけニヤニヤしてるってことは相当なんだろうな。…この《ワンアイドデーモン》なんかはアルティメットのサポートするカードで、こつちの《メズデーモン》ってのは【連鎖】持つてるのか。

「それに赤の【連鎖】よ。やっぱり赤と一番相性が良いのは紫……………!?!

「…ホアアアアアアアアアア!!?!」

「っ!?!」

「…ふふふふふふつ!あつはははーッ!! これで、私も《紫苑の究極

使い”にいい!!”

突然彩音さんのテンションが振り切れた。あんな絶叫、見た目からは絶対聞けないだろうな。

「《アルティメット・デスペラード》様…! なんと荘厳なお姿に…!」  
何故こうも女性プレイヤーはテンションの落差が激しいのか。

さて、私はつと…。

「…お、《リューマン・フェニックス》? 光ってるしカッコイイなこれ」

赤 スピリット

《リューマン・フェニックス》

コスト3 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP5000

<6> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

自分のスピリットが2体以下の間、このスピリットはLv3として扱う。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

「良いのが出たのですよ」

「良いの?」

「このレベル3として扱うっていうのは、始めからBP6000のスピリットが居座るから除去されにくいし、ドローも出来て、このコスト帯で《ワン・ケンゴ》に次ぐ便利さなのですよ」

「へえ…」

「コストも3なので、赤としてじゃなくても他の色が赤をお供にするなら入れるのも一考ですよ」

「なるほど」

となるとデッキの入れ替えするのは決まったな。上手い扱い方は今だ興奮状態の璃恵や彩音さんに聞くより真桜に聞いた方が良さだろう。

「あ、いらつしやいませ〜」

「お久しぶり、<sup>すみれ</sup>“董”さん」

「ええお久しぶり。ご注文の品は取ってあるからね〜」

最後の1パック……っお！

「《リューマン・ブレイド》！」

「わあ！M（マスター）レアなですよ！今回の赤の筆頭株なですよ〜！」

「マジか。…うん、しかもアルティメットがいるとコストが軽くなるのか」

もうコイツは投入決定だろう！強い！カッコイイ！

「レベル3BPが10000なのがちよつとネックなのですが、そこはブレイヴと一緒にカバーするのですよ」

赤 スピリット

《リューマン・ブレイド》

コスト8 軽減赤4 <竜人・劍使>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：赤

自分のアルティメットがいる間、手札にあるこのスピリットカードをコスト5にする。

Lv1・Lv2・Lv3 『??』

???

Lv3 『??』

???

いやあ良い買い物した。また私のデッキが強化されたなこれは。さらに頂いたプロモーションカードもあるし、少しは勝率も上がるだろう。

「……あ」



「ん？ どうしました？」

全員開封が終わったので片付けしていたら、彩音さんが携帯を見て声を上げた。

「いえ、ちよつとね。……白銀しろがねの、ちよつと来なさい」

「ふエ？」

「いいから。あなたと私に依頼よ」

「えく？」

「いいから。来なさい」

「ほくい。あ、悠姫、真桜ちゃん。ちよくツと席外すネく♪」

そう言つて璃恵と彩音さんが席を離れ、真桜のお姉さんに一言二言断つてお店の奥に消えて行つた。…聞かれるとちよつとまずいことなんだろう。

「真桜ちやくん、ちよつと手伝つてく」

「はくい！ お姉さん、ボクもちよつとお姉ちゃんを手伝つてくるのですよ」

「あいよ」

次に真桜がお姉さんに呼ばれてレジ裏に引つ込んで行つた。残つた私は…そうだな、少しデツキを弄るとするか。入れ替え程度だからそんな時間はかからないだろうし、暇つぶしにはなる。

「はてさて、何処を入れ替えようかな？」

「ねえねえ、ちよつといいかな？」

「……？ は、はい？」

…突然見知らぬ男性に声を掛けられた。

見た感じ大学生っぽいような見た目だが、わ、私に何か用事だろうか。

「あのさ、君が当てたレア類と俺の持つてるやつ、トレードしない？」

「……え？」

「例えばこのリューマン・ブレイドと、俺の《烈の霸王セイリュービ》とかさ。Xレアだよ」

……何か胡散臭いな。いきなり話し掛けてきたと思ったら交換申し込んでくるなんて。相手にしないようにしよ。

「いえ、結構です……」

「あー、なら他にもいっぱいあげるからさ。いいだろう?」

「結構です」

「そこを何とかさあ」

「結構です」

なかなか引き下がらないな。…どうするか。

「……お前、初心者だろ?」

「え?」

「お前みたいなやつがそんなの持ってたって宝の持ち腐れだつて言つてんだよ」

「なっ……」

「だから寄越せよ。な? 俺が優しく言ってるうちによ」

な、何だよこの人……! いきなり態度変えやがったぞ!? 何か恐いし、周りに聞こえないぐらいの声で言ってるから周囲は気付かないし迫ってくるし、ど、どうする!?

「そこら辺で止めないか」

「……あ?」

今度は言い寄ってくる男の背後から声が。だ、誰だ? 璃恵か? 彩

音さんか?

「何だよあんた」

「見えてないとも思っていたのかな?」

「…俺この子にトレード申し込んでただけなんだけど?」

「その子の表情からしてとてもそうには見えないけど?」

その人は見知らぬ女性だった。一瞬とんでもないイケメンホストの男性かと思っただけ、あれだ。男装の麗人つてのがしっくりくる。黒いスーツに切れ長の目、凜とした声に思わず見取れる。

「とにかくその子から離れたまえ。下手して変質者として捕まりたくはないだろう?」

「…ふん」

「よしよし。キミ、大丈夫かい?」

「あ、はい…」

か、格好良い…。出来る大人の女性ってこんな格好良いのか。何か出来るのかは知らないけれど。

「あーあーどうしてくれんスカねえ。折角のトレード潰してくれちやつて」

「君のような人ならネットオークションでいくらでも確保できるだろう。ここまで来てやることじゃない」

「ふん、ならどーしてくれんだよ?あ? 俺がこんなところまで出向いた手間賃ぐらいはあんたがトレードしてくれんのか?」

何か険悪な雰囲気になってきた…。明らかに男の態度が最悪だ。質の悪いやつってのはどの世界にもいるんだな。

「ふむ、ではこうしよう。私とバトルしないか?」

「はあ?」

「君が勝ったら、この私の『デッキ』を差し上げよう。後は自由にしまえ」

「なつ、えつ!」

賭け事って…!何か大事おおいことになってきたぞ。

「へえ…。俺が負けたら?」

「トレードを諦め、二度と彼女に近付かないこと。そして、二度とこの店に來ないこと。いいね?」

「…まあいい、乗った」

「あ、あの…」

お互い準備している間小声でイケメン女性に話し掛ける。元はと言えば私が絡まれてしまったが故、こんなことになるなんて申し訳なくしてしょうがない。

「大丈夫だよ、安心したまえ」

「でも…」

「私は負けるつもりは無いよ」

「いえ、そうじゃなくて…」

「おや、私の勝利を信じてやまないか。そうかそうか。キミみたいな可愛い娘に信じてもらえるなら、私の勝利は更に揺るがないよ」

か、可愛いとか…！そういう問題でもなくてですね…！ああもう！

この人マジでどこのホストだよ！

「さて、準備はいいかな？」

「ああ」

ああ…、謝る前に準備が完了してしまった。…あの男の人、手札で何かパチパチパチパチやってるけどなんだアレ？ 見た目シャツフルしてるように見えるけど…やかましい。

「…『ジャカパチ』は止めないかい？」

「……………」

「…ふむ。仕方ないな」

「先攻はやるよ」

「それはどうも。では——」

ゲートオープン・界放だ」

《??》 先攻・第一ターン

「先攻かあ…。まあ悪くない手札だし、可愛い娘が見てる手前。張り切らせてもらおうよ」

「早くしろよ」

「辛抱が無いなあ君は。仕方ない。」

「蒼穹」のターン。スタートステップ」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

そ、そうきゆう？ また二つ名持ちの人だったのか。上級者ってだれもかれも二つ名持ってるんだろうか。

「メインステップ。まずバーストをセットしよう」

（手札5↓4）

〔バースト：セット中〕

「次にネクサス《忘れられし凱旋門》を配置するよ」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

っ！ 青のカードか！

「あ、キミは初心者だったっけ。見るかい？」

「あ、どうも…。えつと…」

差し出されたカードを受け取り確認させてもらう。なにになに…

青 ネクサス

《わす忘れられし凱旋門》

コスト4 軽減青2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：青

Lv1・Lv2

相手は、相手のフィールドにあるシンボルと同じ色のマジックカードしか使用できない。

Lv2

相手は、ボイドからライフにコアを置けない。

……妨害系のネクサスかな？ 読んだ感じは。レベル2からのボイドからライフにコアを置けないってのは、絶甲氷盾ぜつこうひょうじゆんを意識してるのか？

「……………」

おつと…、丁寧にイケメン女性にカードをそそくさと返す。それがありがとうと綺麗に一言加えて華麗にカードを配置し直す仕草はイケメンそのもの。なんだあこのイケメンはあ!?

「ターンエンド」

〈男 後攻・第二ターン〉

「……………」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「……………」

(リザーブ5↓0)

(手札5↓2)

(トラツシユ0↓5)

「颯風高原1 コア0 レベル1」

「颯風高原2 コア0 レベル1」

{バースト:セット}

「……………」

「エンドならちゃんと宣言してほしいなあ」

……………どうやらターンエンドらしい。手をフツと何か投げるような仕草しかしかなかったから分からなかった。しかも何かプレイの仕方が雑というかぶつきらぼうというか。何にも言わないから何が何だか余計混乱する。

「いいかいキミ。…ええっと」

「…あ、緋立ひたちです」

「うん、ヒダチ君。あれは悪いプレイの仕方だから真似しちやいけな

いよう?」

「は、はあ…」

「…ツチ。どうでもいいだろ早くしろよ」

何かキレられた上に舌打ちされた…。

「そう怯えなくていいよヒダチ君。そうそう、あの颯風高原くふうこうげんの効果はね…」

緑 ネクサス

《颯風高原くふうこうげん》

コスト3 軽減緑1

<0> Lv1

<4> Lv2

シンボル:緑

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

【暴風】を持つ自分のスピリットが召喚されたとき、その召喚されたス

スピリットの【暴風】の指定数1につき、ボイドからコア1個を召喚されたスピリットに置く。

L v 2

【暴風】を持つ自分のスピリットが、BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、【暴風】で疲労した相手のスピリットすべてを好きな順番でデツキの下に戻す。

「…という効果なんだ。緑のキーワード能力指定コアブーストネクサスだね」

「なるほど…」

「で、これで彼が何をしたいのか見抜いた訳だけど…」

見抜いたって…、どんなデツキかももう分かったんだろうか。

「なあに、よくある【颯風ガルド】だ。後攻を取る、高原を張る時点で大体分かってたけどさ。とは言え、型は色々あるけどね」

イチについたら・・・？ Bパート

〈男装の麗人・フィールド状況〉

ライフ5 リザーブ0 トラッシュユ4

手札3

〔バースト：セット中〕

ネクサス

・忘れられし凱旋門 Lv1 コア0

〈男・フィールド状況〉

ライフ5 リザーブ0 トラッシュユ5

手札2

〔バースト：セット中〕

ネクサス

・颶風高原1 Lv1 コア0

・颶風高原2 Lv1 コア0

「さあどうしようかな。そうきゆう蒼穹のターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ1↓5)

「メイנסテップ。まずは相棒の出番かな。《ドライアン》、ご指名だ」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

〔ドライアン レベル1 コア1 BP1000〕

青 スピリット

《ドライアン》

コスト0 軽減0 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP4000



シンボル：青

【効果記述無し】

「続けて…、あれが見えてるなら今はこの子が最適か。《ソードアイズ・スネーク》を召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「ソードアイズ・スネーク コア1 レベル1 BP2000」

あれ、紫のカード…？ てことは青と紫の混合デッキなのか…？ にしては…。

「…ツチ！」

「コアブしたければどうぞ？ 最後に《巨人航海士トロービー》をレベル1で召喚」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「巨人航海士トロービー コア1 レベル1 BP2000」

「ターンエンド」

アタックしなかった。数の有利はあるのにアタックしないのは青だからなのか、相手のライフからコアが増えるのを警戒してか…。

〈男・第三ターン〉

(手札3↓4)

(リザーブ0↓1)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「……………」

何か悩んでるのか貧乏揺すりとあのパチパチ…シヤカパチ？が強くなる。あのソードアイズ・スネークつてのが出てからだ。

「効果確認するかい？」

「あ、じゃあ…」

向こうはまだ悩んでそうなので今のうちに確認させてもらう。ついでにと巨人航海士の方も見せてもらった。

紫 スピリット

《サードアイズ・スネーク》

コスト2 軽減紫2 <妖蛇>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

シンボル：紫

Lv1・Lv2

相手が効果でボイドからコアを増やすとき、そのコアの置く場所を、このスピリットに変更する。

青 スピリット

《巨人航海士トビー》

コスト2 軽減青2 <闘神>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

シンボル：青

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

系統：<造兵>を持つコスト4以下の自分のスピリットが召喚されたとき、ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

この効果はターンに1回しか使えない。

……何だ、サードアイズ・スネークにおかしなこと書かれてないか？

「彼はこれがあるから苛立ってるのさ」

小さな声で耳打ちされる。

「この子がいる限り、彼がボイドからコアを引っ張ってくると、その引っ張ってきた分私に盗られてしまうのを恐れているのさ」

「……なるほど」

「紫のカードをデザインしてる人ってすごいよねえ。自分の色でコアができないなら相手のを利用すれば良いってすごい発想だね。私最初これ見て変な笑いが出たよ」

「……」

「おや、ターンエンドかい？」

相手が何もしなかった。凱旋門の効果でマジックカードが使えないのとサードアイズ・スネークでコアを増やせないので、引っ掛かっているのか。

《???・第四ターン》

「蒼穹のターン。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。《ライオット・ゴレム》をレベル2で召喚」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓1)

「ライオット・ゴレム コア1 レベル2 BP5000」

「巨人航海士トービーの効果発揮。コスト4以下の系統：〈造兵〉を持つライオット・ゴレムが召喚されたため、トービーにボイドからコア1つを追加する」

「巨人航海士トービー コア1↓2」

「ではアタックステップ。ライオット・ゴレムでアタック」

ホスト風イケメン女性が攻めた。青のカードは妨害系が多いみたのだが、バトルの方はどうなんだ？

「ライオット・ゴレムのアタック時効果。〃【<sup>ふんさい</sup>粉碎】〃 発揮」

「…ふんさい？」

「まあ見ててよヒダチ君。ライオット・ゴレムのレベル分、相手のデッキを破棄する。ライオット・ゴレムのレベルは2だ。2枚破棄してくれたまえ」

「…ツチ」

・破棄されたカード

《バルカン・アームズ》(ブレイヴ)

《鳥獣烈神ガールド》(スピリット)

「っ!？」

「おっと、これは良いのが落ちたねえ。ラツキーラツキー」

「クソが……これだから青つてのは……!」

「おいおい、その『青のカード』を使ってる君が言うかねえ?それを」  
「ウルセえよ……!」

男の苛つきが更に高まって暴言まで吐くようになった。余程重要なカードがトラッシュに落とされたらしい。…それより青のカードはデッキを直接破棄させる効果を持つてるのか。恐ろしい効果だなあ。

「ヒダチ君。これが青のキーワード能力のひとつ、『粉碎』だよ。効果を発揮するスピリットのレベルに応じてデッキを破壊する、豪快にして嫌がられる能力のひとつさ」

青 スピリット

《ライオット・ゴレム》

コスト3 軽減青2 <造兵>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

<4> Lv3 BP7000

シンボル：青

Lv1・Lv2・Lv3 【粉碎】『このスピリットのアタック時』

相手のデッキを上から、このスピリットのLvと同じ枚数破棄する。

Lv2・Lv3 『このスピリットの破壊時』

自分のネクサス1つを疲労させることで、このスピリットは回復状態でフィールドに残る。

「で、メインのアタックだがどうする?」

「……………」

(男ライフ5↓4)

(リザーブ6↓7)

「ライフか。バーストは?」

「……………」

「無いみたいだね。ならこのままサードアイズ・スネークもアタックだ」

「……ツチ」

(男ライフ4↓3)

(ライフ7↓8)

「バーストが無いならターンエンドだよ」

〈男・第五ターン〉

(手札4↓5)

(リザーブ8↓9)

「やっとかよクソっ……」

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ0↓3)

(手札5↓4)

「灼熱の谷 コア0 レベル1」

「谷か……。赤シンボル確保かな？」

「……」

(リザーブ6↓3)

(手札4↓3)

(トラッシュユ3↓6)

(手札3↓5)

「《双翼乱舞》、2枚ドロ……と。なるほどね」

もう何使ったか言わないから何してんだか分からない。

「今手札が5枚、ネクサスが3枚、トラッシュユが3枚だから、現在11枚。」

デッキが40枚前後と過程して欲しい29、30枚ってところかな

まあ……。 “一息” さ」

「ムカつく女だ……」

〈???・第六ターン〉

「蒼穹のタ……ああ、ヒダチ君。そういえば名乗ってなかったね」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ1↓2)

…え？突然ですね。まあ、ホスト風イケメン女性とか長ったらしいし…、いや聞かなかった私が悪いんだけどさ。

「カケル」っていうんだ。よろしくね」

「……はい？」

「あ、偽名だつて分かった？」

「まあ…。えっと、源氏名とかですか？」

「そうそうそれぞれ！あはは」

あつけらかんと笑ってるけど、自称カケルさんは本当にそういうお店に勤めてるのか…？ 実際接客されたら確かにコロツと行きそうな感じがするけどさ。

「まあ今はそう呼んでよ。ね？」

「はあ…」

とりあえず了承する。そんな小首傾げながらウインクまでされては領くしかないだろうよ。

「さて、と。相手が苦心してるうちにまずは《キャラベル・ゴレム》をレベル1で出そう」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

「レベル維持にはトロービーのコア1つを貰おうかな」

「巨人航海士トロービー コア2↓1」

「キャラベル・ゴレム コア1 レベル1 BP3000」

「更にトロービーの効果発揮で、トロービーにボイドからコア1つ追加つと」

「巨人航海士トロービー コア1↓2」

また造兵つてやつか。こいつは見たところ【粉碎】を持ってない。だけど【連鎖】は持つてるんだな。

青 スピリット

《キャラベル・ゴレム》

コスト4 軽減青2白1 <造兵>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：青

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv1・Lv2 『??』

???

【連鎖：条件《白シンボル》】

(自分の白シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する)

「白」：このスピリットは、相手のスピリットの効果を受けない。

「ヒダチ君。この子の凄いところはね……このカード達と一緒にいることで発揮されるんだ。

さあ、出番だ。

《アルティメット・アイアンゴレム》！

っ!? 《青のアルティメット》!?

「不足コストはトービー、ライオット・ゴレム、ドライアンから1つずつ、維持コストはトービーから貰う。そのためドライアンとトービーは消滅する。：場を温めてくれてありがとね、二人とも」

(手札1↓0)

「ライオット・ゴレム コア2↓1 レベル2↓1」

「巨人航海士トービー コア2↓0 消滅」

「ドライアン 1↓0 消滅」

「アルティメット・アイアンゴレム レベル3 BP9000」

(トラッシュユ2↓5)

青 アルティメット

《アルティメット・アイアンゴレム》

コスト5 軽減青2

<1> Lv3 BP9000

<2> Lv4 BP12000

<4> Lv5 BP15000

シンボル：金

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 【粉碎】『このアルティメットのアタック時』

相手のデツキを上から、このアルティメットのLvと同じ枚数破棄する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、相手のデツキを上から2枚破棄する。

「…クソツ、クソツ！」

「さて、アタックステップだ。ここでキャラベル・ゴレムの効果発揮。お互いのアタックステップ時、私の系統：<造兵>を持つアルティメットのレベルを1つ上のものとして扱う」

レベル操作効果…、真桜とのバトルで見た《コノハガニン》の効果と同じだ。なるほどな、少ないコアでレベルを弄れるってなれば、攻めの姿勢を崩さず押し込めるってことか。

「という理由で、Uアイアンゴレムはレベル4になった。そして…Uアイアンゴレムでアタック！」

まずは【粉碎】から発揮させてもらうとして、デツキから4枚破棄してもらおうよ！」

「そうかよ」

「それと、キャラベル・ゴレムもうひとつの効果。私の青、もしくは白のアルティメットがバトルしたからこの子にボイドからコア1つ追加ね」

「キャラベル・ゴレム コア1↓2」

・破棄されたカード

《放浪者ロロ》（スピリット）

《蜂王フォン・ニード》（スピリット）

《戦神乙女ヴェリエルジェ》（スピリット）

《放浪者ロロ》（スピリット）



「なっ!? クソがああ…!」

「あははは!面白いくらいキーになるのが落ちるねえ」

「うるせえぞ馬鹿!」

「はいはい。次に『アルティメットトリガー』、ロック・オン。デツキの1番上をトラッシュユに」

「ああムカつく…!」

「さあ落ちたカードのコストは?」

「…『ストロングドロー』だ」

「コスト3のマジックだね。上出来、ヒットだ!コスト1につき2枚、つまり6枚破棄してくれ」

・破棄されたカード

《ゴクラクチョー》(スピリット)

《巨人獵兵オライオン》(スピリット)

《メイパロット》(スピリット)

《白亜元帥レイ・ザウラー》(スピリット)

《サンク・シャイン》(スピリット)

《リバイヴドロー》(マジック)

《キャラベル・ゴレム》

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

自分の白/青のアルティメットがバトルしたとき、ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統:<造兵>を持つ自分のアルティメットすべてのLvを、1つ上のものとして扱う。

【連鎖:条件《白シンボル》】

(自分の白シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する)

「白」:このスピリットは、相手のスピリットの効果を受けない。

「粉砕分4枚、トリガー含めて7枚破棄して11枚破棄。

大体残り18、19枚くらいかな?

…ふむ、『射程圏内』だ」

す、すごい…、一回のアタックで3分の1消し飛んだぞ…。

「ああウゼエウゼエウゼエ…！」

「ほら、メインのアタック…」

(男ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

すると男が叩き付けるように伏せられていたバーストを発動させた。…何もそこまで怒らなくても。で、発動したバーストは絶甲氷盾だった。…あれ、これは…。

「さすがになりふり構ってられないよねえ。デツキが尽きる前にライフが尽きそうだもん」

「…ッ！」

「おっと危ない」

…なっ!?! アイツ、カケルさんに向かってコア投げたぞ!?! タイミング良くキャッチしたからよかったものの目にでも当たったらどうするつもりだったんだ！

「危ないなあ。…ここには彼女もいるんだから…」

「うるっせえよ、とっつとしろよ！」

「はいはい分かった分かった。ヒダチ君は大丈夫かい？」

「わ、私は大丈夫です…」

「良かった。キミの綺麗な顔に当たったりでもしたらどうしようかと」

ち、ちよ!?! 顔触らないでくださいって！顔も近付けないでくださいよもう！

「あはは、赤くなって可愛いなあヒダチ君は。…さてと、追加コストは…もう払ってるね」

(男リザーブ4↓0)

(トラッシュ6↓10)

「ならこのコアは謹んでサードアイズ・スネークに置かせてもらおうよ」

「サードアイズ・スネーク コア1↓2 レベル1↓2」

もう、からかったのかよ！…とにかく、絶甲氷盾の効果でボイドからライフに置かれるはずだったコアがサードアイズ・スネークに移った。…こう実際見るとサードアイズ・スネークってえげつないな。

「アタックは終了だ。ターンエンド。…バーストが行って後18枚は確定かな?」

「Uアイアンゴレム レベル4↓3」

〈男・第七ターン〉

(手札5↓7↓6)

・破棄したカード

《サンク・シャイン》(スピリット)

(リザーブ0↓1)

(トラッシュ0↓0)

(リザーブ10↓11)

……ん?何で2枚引いて1枚捨てたんだ?

「ああ、灼熱の谷の効果だよ。ドローステップの時、ドロ―枚数をプラス1して、そのあと1枚破棄するって効果なんだ」

「へえ…便利なカードなんですね。コストも軽いし」

「まあね。ただし残念だけどあれ1枚制限カードなんだよねえ」

赤 ネクサス

《灼熱の谷》『制限1カード』

コスト3 軽減赤1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2『自分のドローステップ』

ドロ―の枚数を+1枚する。

ドロ―後、手札1枚を破棄する。

Lv2『自分のアタックステップ』

自分のスピリットすべてをBP+1000する。

「残りおよそ…まあ15、6枚つてどこかな」

「……舐めテンじゃねえぞ」

「それ、凄んでるつもり? それよりターンを進めてくれないかな?」

「っ?! くっ…!」

(手札6↓5)

〔バースト：セット〕

〔リザーブ11↓6〕

〔トラッシュユ0↓5〕

〔手札5↓4〕

『ジェロニモンド コア1 レベル1』

「ジェロニモンドく？ …まあガルドとかを赤白から守って、ミラー」に当たった時のことを考えてるって意味なら何となくわかる、か」

「黙ってるよクソ女…！」

「これは失敬。…で？」

…手を振った。ターンエンドらしい。

「そうか。…なら宣言しよう。」

『君の負けだ』

「は、はあ!?!ふぎけんじゃ…！」

〈カケル？・第八ターン〉

「蒼穹のッファイナル」ターン。スタートステップ」

〔リザーブ0↓1〕

「…ほら来た♪」

〔手札0↓1〕

〔トラッシュユ5↓0〕

〔リザーブ1↓6〕

「メインステップ。さて、このバトルに幕を引く主役の登場だ」

「大空の如き蒼の鎧、太陽の如き黄金の魂！

鋼奮わせ眼前に立ちほだかるもの総てを消し飛ばせ!!

気高き蒼の城、《アルティメット・キャッスルゴレム》!!

レベル4にて、発進ツ!!」

「っ!？」

「この子が、究極へと昇華した私自慢の アルティメット 究極」さ。  
しっかりと目に焼き付けておきなよっ」

(手札1↓0)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓4)

「レベルに足りない分はサードアイズ・スネークとキャラクター・ゴレムから貰う」

「キャラクター・ゴレム コア2↓1」

「サードアイズ・スネーク コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・キャッスルゴレム コア4 レベル4 B P 1  
6000」

青X アルティメット

《アルティメット・キャッスルゴレム》

コスト7 軽減青3 <新生・造兵>

<1> L v 3 B P 12000

<4> L v 4 B P 16000

<6> L v 5 B P 26000

シンボル：金

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

【「トリガー」 L v 3・L v 4・L v 5 『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、相手のデッキを上から3枚破棄する。

L v 4・L v 5 『??』

???

あれがカケルさんの切り札、青のアルティメット…！ 最大BPが26000って、私のUジークフリードの最大BPを軽く超えてるじゃないか！それにトリガー効果も、Uアイアンゴレムよりもぶっ飛んでる…！

「ファイナレだ。アタックステップ。キャラクター・ゴレム効果によってUキャッスルゴレム、Uアイアンゴレムは1つ上のレベルへ」

「Uキャッスルゴレム レベル4↓5 B P 16000↓26000」

「Uアイアンゴレム レベル3↓4 BP9000↓12000」

「Uキヤツスルゴレム、進撃！」

(キヤラベル・ゴレム効果 コア1↓2)

「アルティメットトリガー、ロック・オン！」

「ぐっ…！」

「さて、コストは？」

「…く、6だ！」

・破棄されたカード

《戦神乙女ヴィエルジェ》

「最大ヒット！勝利の女神にもそっぽ向かれたようだねえ」

「馬鹿がつ！ジェロニモンドの効果忘れてんじやねえよ!!」

白 スピリット

《ジェロニモンド》

コスト4 軽減白2 <雄将・巨獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2

お互いのデツキは破棄されない。

Lv1・Lv2 【重装甲：赤／白】

このスピリットは、相手の赤／白のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv2

合体していない自分のスピリットすべてに【重装甲：赤／白】を与える。

「重々承知しているさ、その熊だか豚だか分からないインディアンの獣はね。…ただ」

「あゝ あっ!？」

「私のアルティメットを舐めるな」

「んだとおっ!？」

「Uキヤツスルゴレム、レベル4から効果。」

お互いのアタックステップ中、相手のコスト5以下のスピリット及びネクサスの

「『デッキ破棄無効効果を無効にする!』」

「……………は、はあっ!?!」

《アルティメット・キャッスルゴレム》

Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

コスト5以下の相手のスピリット／ネクサスの「デッキは破棄されない」効果すべてを無効にする。

「い、インチキも大概にしろよ!!」

「だからガルドを使って同じこと言えた義理かと……………まあ、《サイゴード・ゴレム》については釈明の余地は無いけどさ、青使いとして。さておき、ヒットしたコストは6!」

よつて3×6枚、合計18枚破棄だ!!」

「ツツ!?!」

「デッキブレイク。破棄したカードに《パイルドラコ》や《執事ペンタ》みたいなカードは無いみたいだね。

……………これで、『デッキアウト』だ」

「ちくしょう…、つくしょう…!」

「メインのアタックは?」

「……………クソ、クソ、クソ…!」

「…ライフだね」

(男ライフ2↓1)

(デッキ枚数16枚↓0枚)

「バーストも、発動させる気無いみたいだね。…『ゲームエンド』だ」

〈男・第九ターン〉

「ヒダチ君、ルールブックの一番最初にある《勝利条件》の部分を読んでくれないかい? はいルールブック」

「え? は、はあ…。えっと…」

『次のどちらかの条件を満たしたプレイヤーが勝利となり、その時点でゲームは終了となる。』

1、対戦相手のライフが0になった。

2、…対戦相手のスタートステップで、相手のデッキが0』…てこ  
とは」

「そう、私の勝利だ」

〔winner!! (自称)カケル!!〕

・



イチを足してみよう・Aパート

「……………」

「さて、〃シャークトレーダー〃君。私の勝ちなんだが」

「…………二度とこんな店に来るかッ!!」

手札のカードを叩き付けバッグを乱暴に掴んで席を立ち、周囲のお客を気にもせず一目散にお店を出て行った。…あ！ちよつと、デツキ…。

「ふう…、何とも後味の悪い勝利だねまったく」

いきなり始まったバトルは、ホスト風イケメン女性の（自称）カケルさんの圧勝で終わった。

〃デツキ破壊〃という青の能力と、〃青のアルティメット〃によって、あれよあれよと言う間にデツキが消し飛んでしまっていた。

「どうやらこのデツキ、彼のものじゃないみたいだね」

「え？」

「鮫トレーダーってのはね、まるでレートが合わないトレードを強要する輩のこと指すんだよ。主に初心者なんかに食らい付くもんで、始めて間もなく価値が十分に分からない人に価値を詐つて…まあぶつちやけ詐欺師つてことだね」

じゃあ、断つてはいたけど危うくその鮫トレードの餌食にされたつてことか…。

「単なる憶測だし手札が事故つてたのかも知れないけど、彼、このデツキの動かし方が分かってないんじゃないかな」

「それは、どういう？」

「見たところ…デツキレシピをネットで見て、目立つカードを片っ端から積んだようなデツキみたいだからね」

「そうなんですか？」

「まず〃サードアイズ・スネーク〃を退かさないと、退かせない時点でアレだよ。〃放浪者ロロ〃、〃戦神乙女ヴィエルジェ〃、〃白亜元帥レイ・ザウラー〃も一応入ってたりはするけど、出せばそれだけでアドバン

テージが取れるのに。勿体ない」

カケルさんがデッキのカードを確認していく。どれもこれも光っていて、私にはレアものなんだろうなということしか分からなかった。

「ちなみにさ、ヒダチ君はどんな鮫トレされそうになったの？」

「え？ えつとですぬ…」

たしか、私の《リユーマン・ブレイド》や《リユーマン・フェニックス》、その他当てた光りものを…

「何だったっけ… 〴〵りゆうびと効果」とか言ってたような…」

「それって《烈の霸王セイリユービ》のことじゃないかな」

ああ、何かそれっぽい名前だった気がする。見せられたときはXレアか？なんて思ったけど、そんな価値が釣り合わないものだったんだろうか。

「…セイリユービはね、過去の《大天使ミカファールの大寒波》に続く霸王編大恐慌時代の重罪人…いや、重罪カードのひとつなんだよ…」  
…突然カケルさんが遠くを見て疲れたような表情をした。…前にこの表情璃恵と彩音さんの時にも見たぞ。

「ミカファールの時よりは良いけど、あの時も酷かった…」

「は、はあ…」

「スマホで調べてみなよ。私はこのカード達を董すみれさんに渡してくるか  
ら」

「はい…」

てなわけで騒ぎは一段落？したので調べもの調べものど…。

「……？」

緑 スピリット

《烈の霸王セイリユービ》『禁止カード』

コスト7 軽減緑2 <覇皇はちおう・華兵かへい>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP10000

<6> Lv3 BP14000

シンボル：緑

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、このスピリットカードを召喚する。  
フラッシュ【烈神速】『お互いのアタックステップ』

自分のトラッシュのコアが5個以上のとき、自分のトラッシュのコアすべてを自分のフィールド／リザーブに好きなように置くことで、手札にあるこのスピリットカードを、コストを支払わずに召喚する。

…えくつと？　つまりは真桜が使ってた【神速】と違って、リザーブじゃなくてトラッシュのコアを参照にして召喚するのか。：私は実際に触ったこと無いし、使われてるところも見たことないからイマイチ実感が湧かない。

「お待たせ。どう？分かった？」

「…うん」

「まあ：知らなくていいさ。あれは終身刑になるべきカードだ。二度と世に出回ってはならないカードだ」

カケルさんにそこまで言わせるカードだったとか一体何をしたんだこのセイリユービは…。

「麗奈れなさくん、色々お待たせしました」

「ああ董さん。面倒掛けます」

「いいえ。あの彼には悪いんだけど、しばらく出禁にしたいし、他のお店の方たちにも連絡しておいたわ」

「流石董さん。おっとりしてるのに手際が良い」

そういう話していたら真桜のお姉さん：すみれさんって言うのか：がやってきた。

話は、あの男の事についてだった。店内でのトレード禁止という訳ではないが、いざこざを起こした、鮫トレを行ったという事で当面の入店禁止という処置となったようだ。

カードについては、しばらくお店側で預かり、鮫トレに遭った人に返すという話にまとまったようだ。

「ぎ。ジメつとした話はここまでにして、董さん。今夜お食事でもどうですか？」

「あら、どうしようかしら」

とその矢先いきなりナンパし始めるカケルさん。ホスト力をここで発揮しないでいただきたい。

「お姉さん」

「…ん？ あ、真桜。いついたんだ」

カケルさんに呆れていたらいつの間にか背後にいた真桜に話し掛けられた。まあスマレさんがこつちに來たつてことは真桜のお手伝いも一段落したんだよな。

「大丈夫なのです？」

「ああ、大丈夫大丈夫」

さっきのを一部始終…私が絡まれた辺りを見てしまったらしく、助けに入ろうにも接客が終わらずヤキモキしていたらしい。心配そうに腕に抱き着いてくる姿を見て、スマレさんには申し訳ないが新しい妹が出來たみたいでほっこりする。

「ただいま♪悠姫と真桜ちゃんお待ち…：…：…ッて!? レ、麗奈さん!?」

「お待たせ…：…：!? あなたは蒼の調律者!? いつ此処に!?」

用事で外れてた璃恵と彩音さんも戻つてきた。てか二人とも知り合ひだったのか。世間は狭いな。

「やあ璃恵君、彩音君…いや、ここでは蛇剝君と呼んだ方がいいかな？」

「ど、ドモドモ…。てか、何で悠姫が麗奈さんと一緒にいるの？」

「いや、その…。私の間抜けで迷惑掛けることになっちゃつて」

経緯説明……………。

「…ふん。でき、その鮫トレ野郎何処行ツたかな？ 璃恵ちゃんちょっつと話付けに行きたいんだ」

「座つてなさい白銀の。もう蒼の調律者が手を下したわ。悠姫さんも災難だったわね。危うく不運と舞踏《ダンス》してしまうところだつ

たじゃない」

「全くもって…」

璃恵が威圧の雰囲気を纏った笑顔であの男を潰そうとしたところを彩音さんに制止され、彩音さんには気を使っていた。…会ってまだ数日も経ってないが彩音さんの言ってることが徐々に解り始めてきた。

「…おっと、楽しい時間はすぐ過ぎてしまうね。名残惜しいけど戻らなきゃ」

「あ、お仕事ですか？」

あれやこれやと皆で雑談をしていたら、カケルさんが腕時計を見て残念そうに話した。

「まあね。本当は買い物しに來ただけだったからさ、あまり長居は出來ないんだ」

「すみません、(´)迷惑を…」

「ははっ、いいさ気にしない気にしない。良くいえば、彼がヒダチ君に絡まなければ、キミとはすれ違いになってたかも知れないんだ」

「な…」

「ヒュー、ヒュー♪臆面もなく口説いていく♪でも悠姫を口説いてるのに腹が立つ♪」

「蒼の調律者が口遊ぶ言の葉はあらゆる女性カードバトラー達を虜にする…」

「お姉ちゃん、あれは営業トークなのですか？」

「うーん、真桜ちゃんが将来麗奈さんとおんなじお仕事するなら分かるかもね」

あ、煽るな璃恵！彩音さんも董さんもちよつとは助けてくださいって！

「あははっ。まあ小意気な別れの挨拶はここまでにして、そろそろ行くよ」

「小意気…、まあ、ありがとうございました」

「良いって。…じゃあお近づきの証に悠姫君には“これ”をプレゼント

トしよう」

そう言つて麗奈さんから差し出されたのはバトスピのカードが2枚。…まさか自分自身のブロマイドとかじゃないよな?と訝しみながらも受け取る。

「……これは」

「キミの赤の中に蒼が共存出来る時が来たら、是非お供にね」

渡されたのは、私が買って付いてきた「白のプロモーションカードではなく「青のプロモーションカード」だった。

「それじゃあね、皆。それに悠姫君」

「……あ、ありがとうございます」

去り際に軽く手を振って行く姿は他の誰よりもイケメンの雰囲気をかもしだしていた。マジすげえ。

「あーじゃあボクもあげるのです! 緑と組むなら是非入れてほしいのですよ!」

「なら私も渡しておくわ。赤と円舞曲ワルツを踊れるのは紫をもって他に無いわ」

何を張り合つたのか真桜と彩音さんがカードを差し出してきた。それはあの白と青のと同じく、「緑と紫のカード」だった。あ、有り難く受け取るけど、いいのかな? これある意味限定品だろ?

「え〜!? 何サ皆して〜! うう、ならワタシは…ワタシは…白はもう貰ツてるし…あ! コレだ!」

何故か対抗心を燃やした璃恵から差し出され…突き出されたのは「赤のカード」。

「い、いいのか?」

「イイの!」

「じ、じゃあ…遠慮無く」

「どうせまたすぐ再録されるわよ。多分ね」

「……えっ、マジっすか?」

「…色々疲れた」

——夜。自宅の自室にて。

今日はちよつとはしやぎ過ぎたかな…。めつちや疲れた。

あのあと璃恵がサブで組んでいた青のデツキと対戦（もちろん惨敗）、彩音さんの青に対する指南、真桜の対青とのあるある話、董さんの販促コーナーなど…。とにかく頭がオーバーヒートしそうになるくらい楽しんだ。

こんなに楽しんだのはいつ以来だったかな。

そうそう、パツクの開封は家に帰ってから部屋ですぐ行ったから全部開封済み。一応結果は

緑の《アルティメット・カイザーアトラス》が2枚。

青の《アルティメット・キャツスルゴレム》2枚

紫の《アルティメット・デスペラード》1枚

白の《究極巨人アルティメット・ツール》1枚

という結果だった。それと…皆から貰ったこの2種のカード。

《魔龍帝アルティメット・ジークフリード》と《不滅龍エターナル・ドラゴニス》だ。

\* アルティメット

《まりゆうてい魔龍帝アルティメット・ジークフリード》

コスト7 軽減\*4 <新生・龍帝りゅうてい>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP15000

<4> Lv5 BP20000

シンボル：金

【召喚条件：自分の\*スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットが相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

このアルティメットのアタックによって相手のライフを減らした

とき、相手の合体スピリット1体を破壊する。

または、相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

\* スピリット

《不滅龍エターナル・ドラゴニス》

コスト7 軽減\*3 <滅龍>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP9000

シンボル：\*

???:

「悠姫、ちよつといいかしら?」

つと、カードを確認してたら母からお声が掛かった。

「はいよ〜」

のそのそとベッドから降りてドアを開ける。

「入るわね」

「言わなくても入っていいのに」

「お年頃なんだから、それくらい気を使わないと悠姫がぐれちゃうかもしれないじゃない」

「私がそんな繊細に見える?」

「そりやお母さんの娘だもの」

「ソウデスネー」

他愛もないやり取りをしたら部屋に母を招く。とりあえずベッドでいいか。

「悠姫、バトルスピリッツやってるみたいじゃない」

「あれ、母さんに話したっけ…?」

「璃恵ちゃんから聞いたのよ。すごいはいしゃいで惚気られたわよ。悠姫が遂にバトルスピリット始めましたーって」

あんのお喋りめ…。いや、隠すつもりは無かったんだ。深い意味も意図も無い。

母と璃恵はとても仲が良い。璃恵は四人目の家族、娘だ!と豪語す



るくらいに。その上両方の母公認で交際まで認めるまで。…交遊関係にはあるが交際なんてしてないからな？

…って誰に言い訳してんだか。

「それでね…。はいこれ」

「ん？ …パック？」

何やら手渡されたのは、アルティメットバトル01のパックひとつ。

「よく分からなかったから、運試し程度にひとつだけ。ね」

「…ありがとう、母さん」

なんかちよつと照れ臭い。

「早速開けちやいなさいな」

「いいの？」

「お母さんも見たいの〜」

「わかったわかったから抱き着かないの苦しいんだから…」

何だうちの周りには抱き着き癖のある人が多いのかまったく。悪い気はしないけど母さんと璃恵は私への当てつけが混じってる気がする。

「ほら開けるから少し離れてよ」

「は〜い」

母さんはいつまで経つても若いし子供なんだから…。まあいい、とにかく開封つと

・  
・  
・  
・  
。

「——あつ」

「あら？」

……………嘘だろ、コレ…。

「やったく！お母さんの運もなかなかねモンでしょ〜？」

「ああ…、凄いよ…マジで…」

——翌日、朝。

「……………」

「お姉ちゃん。起きて…ないか」

「……………」

「入りますよ」

「……………」

「お姉ちゃん、そろそろ起きる時間だよ」

「……………」

「…起きないとまた璃恵さんのラブラブアタックで起きるはめになるよ」

「起きた」

「はいおはよう」

私は朝にとつともなく弱い。低血圧とかじゃなく寝起きが凄く苦手なんだ。そのため祐依ゆいには面倒を掛ける。

たまに母さんが起こしに来るが、その時は蒸し風呂状態にされて目が覚めるという…。

璃恵に至っては大音量のおはように加え物凄い勢いでベッドにイーグルダイブして潜り込み、耳元で艶っぽい声を出して起こしにくる。最悪の目覚めなので枕でボコボコにして私が起きる。…これがたまにあるから穏やかじゃない。

「着替えて降りてきてね。ご飯もうすぐだから」

「…うい」

「もう…」

起きたはいいがまだ眠い。目が開かないし力が入らない。

「ほらお姉ちゃん、眠気覚ましの辛い」

「…あむ……………」

……辛ああい！スツとする!!今私が食わされたのは

私と祐依の部屋に私専用眠気覚ましとして常備されている激辛ミントのタブレットだとかく辛いのはコレ！でもこの辛さがクセになるというかああ辛い！

「ヒィー！（相変わらず辛い！）」

「先に行ってるからね」

「ヒュー！（あいよー）」

「おはよう」

「おはよう悠姫。今出来上がったところよ」

「うん」

制服に着替えて降りた頃調度朝食が出来たところだった。しばらくヒーヒー言いながら着替えてたのは言うまでもない。おかげで頭の中が変にスーツとする。

「あんがとね祐依」

「いつもの事だから」

「そだな」

私なんかよりも良く出来た妹です。

今まで呆れずよくやってくれてるよホント。普通の姉妹だったら「もう起こしてやるもんかか！面倒なんだから一人で起きろ！」とキレられるはずだが、辛抱強く付き合ってくれている事に感謝。

「そういえば璃恵ちゃん来ないわね」

「さすがに毎回は来ないって」

あいつは大体八割方我が家に乱入してくる。朝昼夜関係なく。別に迷惑ではない。

「日直とかじゃないかな？」

「ふうむ…」

「お姉ちゃん、やっぱり璃恵さんがいないと不安？」

「まさか」

薄く笑うなよ祐依。とか何とか言っつくみたいにさ。

「ぐちそうさま」

「ぐちそうさまでした」

朝食終了。結局璃恵が来ることはなかった。…珍しいこともあるもんだな。たとえば朝食に間に合わずともそろそろ大声で飛び込んできてもおかしくはないんだかな。…いや、本当に不安とか寂しいとかじゃないからな？

「じゃあ今日は私がお姉ちゃんと一緒に登校しようかな」

「そうしてあげて祐依」

「お姉ちゃんが寂しそうだしね、お母さん」

「……寂しくなーいー!」

「もう、剥れないでよお姉ちゃん」

「ふん」

「…そんなお姉ちゃんも可愛いんだけど」

「何か言ったか?」

「いい何も」

最近妹の私弄りが多くなった気がする。昔からだけどき。

まあ、祐依は母の遺伝子を私より強く受け継いでるからか私に対する悪戯が好きなのはそのせいかな。

「祐依さんおはよー」

「おはようございます先輩」

「祐依センパイ!おはようございまーす!」

「おはよう。そんなに走ると危ないよ」

「気をつけまーす!」

道すがら私らを追い抜いて行く生徒達が祐依に挨拶をし、それを祐依が返してゆく。同級生、先輩、後輩、誰からも受けが良いのも祐依の特徴だ。

「それより、璃恵さんからは連絡ないの? いつも謝罪メールみたいのが来るはずでしょ?」

ふむ…。確かに連絡の一つもないのは気掛かりだな。何か急な用事か? 璃恵には悪いがそんなことがあいつにあるとは思えない。私がそう思ってるだけで実際はどうだか分からんけども。

「教室にいるかな?」

「……うゝむ…」

程無くして、学校に到着…したのだが、何やら雰囲気がおかしい。あちらこちらからわらわらと生徒が一カ所に向けて集まっている。

見たところ察するに、野次馬って感じだが…

「…なんだ？」

「あっちの方って総合談話教室だよね…？」

総合談話教室。まあぎっくり言うただだっ広い娯楽室みたいなもん。体育館並に広く大きく、一学年が全員入っても余裕なくらいで、そこに集まって何やってるんだ？

「…桜さん！ 何があつたんですか？」

「あ、祐依さん…！それに『お姉様』も。おはようございます」

「…おはよう間燈さん」

彼女はクラスは違うが同級生の間燈さん。良いところのお嬢様らしく、祐依と仲が良い。…そして何故か私のことをお姉様と呼ぶ。

「それで、何があつたんだ？」

「ええ、それが——」

「…璃恵が喧嘩？」

「はい…。詳細は分からないのですが、怒鳴り声が聞こえた。伝聞ですけど」

…璃恵が喧嘩するなんてありえるのか？ いつも飄々としてるのに、何か逆鱗に触れられるようなことでもあつたんだろうか。

「…お姉ちゃん」

「行くぞ」

「うん」

「あ、私も…」

人だかりが出来ている娯楽教室へと向かう。放っておく理由にもいかないし、どんな理由であれ殴り合いに発展しそうなら止めなきやならんしな。腕っ節は強くないが、意地でも何とかしなければならなくなるのは避けたいし。

「フツザけんじゃないツての!!」

「ふざけているのはどちらでしょうね!!」

娯楽教室の出入口に着くとここまで響く怒鳴り声に思わずビクツとなる。今のは璃恵と、誰だ?とにかく騒ぎの中心へと向かう。

「ちよつとごめんよ。道開けて」

「ごめんなさい、通りますので」

「あ、あの、通ります」

私、祐依、間燈さんで人混み野次馬を除けて進む。何が原因であれ公共の場で親友が喧嘩してるのはマズい。下手したらしばらく出入り禁止になるかも知れん。進む度に「噂の本人が来た」だの何だの聞こえるが、何なんだ本当に。

何とか騒ぎの中心に着いてみれば、璃恵の後ろ姿に、璃恵より少し背の高い女性がいた。女性の方は金髪でどこと無く貴族っぽい雰囲気。

しかし璃恵の雰囲気は今にもド突き合いの取っ組み合いを始めそうな感じだったのですぐさま声を掛ける。

「璃恵」

「――あ、悠姫!」

「ん? …なるほど、貴女が」

声を掛けると二人がこちらを向く。璃恵は少し怒気が小さくなった気がする。

「何やってんだ璃恵」

鞆を祐依に預け、ここで待つよう軽く手で合図し二人に近付く。もう一人の貴族みたいな女性、近付いてよく見れば、制服の左胸にある校章。それに入っている線が三本ってことは三年生。しかも襟に金のピンが三本付けられている。…しかも生徒会委員とか、璃恵とんでもない

人と喧嘩してるな。

「悠姫聞いてヨ…この金髪ミノムシクサレ貴族女が!」

「お、おい…」

あちらさんムツとしてるぞ。この人の悪口聞くために来たんじや

ないんだから…。

「あ、あの…璃恵が何か…」

「…：貴女の名前は？」

「え？ 緋立ひだちですけど…」

「緋立…。ああ、妹さんが優秀な方でしたか」

妹のが優秀って…。まあ本当だから何にも言わないけどさ。

「ちヨツとアンタ——」

「姉を悪く言わないでください」

「—つと、祐依ちゃん」

すると祐依が割り込んできた。珍しく怒った様子だが、テキトーに流せば良いのに…。

「生徒会委員は生徒を侮辱しても許されるんですか？」

「そ—だそ—だ！何の権利があッて悠姫を馬鹿にするのサ！」

おい祐依まで熱くなってどうするんだ。てか口を挟む余地が無い。

「先程璃恵さんに言った通りですわ」

「だからそれがフザけてるッて言ッてんの！アンタに何が分かるのサ  
！」

「…璃恵落ち着け」

とにかく事情が分からん。一から聞かせてもらおうしかない。

「…：あのね、今朝早くのコトなんだけど——」

・  
・  
・

「…：私が璃恵を弱くしてる？」

「いかにも」

「馬鹿馬鹿しいでしょ!?!ンなもん根も葉も無い妄想だッてのにサ！」

まあ端的に言えば、これ以上初心者に構い過ぎては璃恵のバトスピの腕が落ちるからもう構うな。とのことらしい

。…：てかあなたもバトスピやってるのか。

「ワタシが弱くなッてるとかどういッた証拠だッての！」

「…では何故『銀嶺』の名を捨てたのです」

ぎ、ぎんれい…？ 名を捨てた？

「それは昔周りが勝手に付けたヤツツしヨ！ワタシはもうそんなのヤなのー！」

「牙を抜かれ腑抜けになりましたか…。嘆かわしい」

……つまり、この方が言うには璃恵が最強の名を持つてたのに捨てて私に構い始めたのが許せないらしい。そんなに璃恵は強いのか？

「ならばカードバトラーらしく、わたくしと勝負なさいー！」

「何でヨ！」

「わたくしが勝った暁には、『白銀』の名を棄て、もう一度『銀嶺』を名乗り、今後一切その初心者との関わりを断つてもらいますわ」

「はア!?」

何だよそれ、何でバトスピひとつでプライベートまで干渉されんだよ……！

「そんなのおかしいです…！どうしてプライベートにまで干渉するんですか！」

祐依が異議を唱える。確かにおかしい。

「…祐依さん。わたくしは許せないのです。あの『ハイランカー』銀嶺の璃恵が、初心者にうつつを抜かし骨抜きにされるなど、我慢ならないのです！」

「はー！骨抜きなのは昔からですー！ワタシは悠姫を愛してるんですー!!」

「なん…ですって…!?あ、愛してる、とは…！」

……………ん？

何か話がおかしな方になってきたぞ？

「ワタシが銀嶺とか言われても気にしなかつたのはチャンピオンシップで優勝したら一緒に風呂入ってくれるって約束したからそれで頭いッぱいだッたんだヨ!!」

「は!?ば、馬鹿…！」

それいつの話だよ！かなり昔だぞ!? しかもこんな公衆の面前で



暴露する話か!?

「で、では、あの全てを凍てつかせるような鋭い眼差しは……!」

「ンなもン悠姫の裸想像したらニヤけてヤバいからポーカーフェイスしたんだヨー!」

「そ、そんな……」

「璃恵テメエ馬鹿だろ?!」

これ、元を正したら両方悪いんじゃないか……? 確かにあの人が私を下に見たのはちよつと気分悪いけど、突っ掛かって大事にしたのはこの馬鹿二人だよな。

璃恵の話を聞いてあの人が俯いてワナワナし始めた。そりやそうもなる。

「……璃恵さん最っ低」

「えエツ!? そんな、祐依ちゃん!」

「もうお母さんに頼んで夜出入り禁止にしますから」

「そんな殺生な〜!」

……こんだけ大騒ぎしておいてオチがこれか。アホらしくなってきた。野次馬もアホらしくなったのか教室から出て行っているが、女子が多く残り小さくキヤイキヤイしてるのが目に入る。

「つ………!! 緋立 悠姫さん!」

「は、はい……!」

突然、俯いて震えていたあの人が顔を上げ大声で私の名前を叫んだ。

「あなただけは許しません! わたくしの純粋な憧れを踏みにじって!」

「え!? それただの八つ当たり……」

「問答無用! わたくし、ひえん絳焰の MARIA こと

かほういん 赫蓬院

MARIA が、墮落した銀嶺を再び甦らせるため、貴女に

「決闘」を申し込めます!!」

……えええ? ……

いやデツキケースをこちらに突き出してかつこよく名乗りを決め

てるところ申し訳ないんだが、あからさま私怨なんだよなあ…。熱狂的なファンが「こんなの彼女じゃない！」って怒ってるみたい。そんなの私じゃなくて直接璃恵を説得…しても意味ないか。勝手にカホウイン先輩が作り上げたイメージだし…。しかも決闘なんて時代錯誤もいいところだろ。

「明日の放課後、ここ娯楽教室にて勝負致しましょう」

…あれ？ バトルするって話で進んでるけど、私の意見は？

「悠姫！絶対負けないでね！」

「おい。元はと言えばお前がだな…」

「棄権するなら今のうちですわよ？ 今逃げ出しても誰も何も言いませんわ」

「……………は？」

「ただし、勝てない相手に逃げ出して友達を見捨てた不出来な姉を持つ妹がいると噂されるかも知れませんが」

——カチンときた。

私だけに言われるなら未だしも、璃恵や祐依にまでそう言うときさすのが私もキレざるを得ない。先輩だろうが生徒会だろうが私の親友を、家族を馬鹿にしていい訳がない。

「…誰が逃げるなんて言ったよ」

「では、勝負するのですね？」

「当たり前だ。そこまで言われて下がる私じゃない」

「いいでしょう。ですがまず無礼が過ぎた事を謝罪させてくださいまし。…申し訳ありません」

「お、おう…」

突然深々と頭を下げられどうしようもなくなった。ちよ、ちよつと。この凄もうとした勢いはどうすれば…。

「シヨックでわたくしも少々熱くなりすぎてしまいました」

「…気持ちは分からなくもないです」

「では先程申し上げた通り、勝負は明日放課後に。…ごきげんよう」

優雅に一礼して娯楽教室を去るカホウイン先輩。マジで上流階級なのか？ それを呆然と見送ることしかできなかった。

…その後騒ぎを聞き付けた先生方が到着し、蟻の子を散らすように各自教室へと戻って行った。で、祐依と間燈さんは帰され、騒ぎの中心だった璃恵と巻き込まれた私は職員室で事情聴取されたのは言うまでもない。

——時間をすっ飛ばして学校が終わり、時間は夜、自宅自室。

「今日は厄日だった…」

「ホントにネ〜」

「誰のせいだ誰の」

あのあと教室では生徒会長と三角関係だの璃恵とはどこまで進んでるだのとうるさくてしようがなかった。

あと一部クラスメイトは私がバトスピをやっていると知って、今度バトルしないかと誘われたのもある。これは素直に嬉しかった。

で、何故璃恵が私の部屋にいるのか。簡単。お泊りだ。夕飯も食べ終わりお風呂も済ませてベッドで今日の事と明日のバトルの事についてお話し中。

「明日絶対負けちゃダメだヨ悠姫！」

「分かってるよ。もう何のためのバトルかまったく分からんけどな」

「ワタシと悠姫の将来のためのバトルだヨ！」

「あーそーっすね」

「も〜！」

「…璃恵はさ、銀嶺、だっけ？その名前イヤなの？」

「イヤ！……でもネ」

「うん？」

「悠姫と一緒にいられなくなるのはもつとイヤ！」

…これは本気の目だ。余程私と一緒にいられなくなるのが嫌なんだろう。

「そうになったらワタシ、大好きなバトスピ辞める」

「……………」

「それぐらい本気だヨ」

……実は乗り気じゃなかったけど、負けられない理由が増えたな。

「……私だってな」

「……?」

「私だって璃恵と一緒にいられなくなるのは、正直言って寂しい」

「っ、悠姫……!」

「明日は妹の名誉と、璃恵の自由のために何とかするよ」

「おオオ、オ……!悠姫イイイー!!♪」

「だーっ!?!いきなり抱き着いてくるな暑苦しい!」

まったくコイツは……。まあとにかく、明日は負けないうようデッキを更に調整すると思いますか。

「うるさいですよ二人とも」

「はい」

…祐依にやんわり怒られた。このやんわり怒られるのはさすがの私と璃恵でも怖い。

「いちやつくのは…今回だけ許しますが、行き過ぎたら叩き出しますからね。璃恵さん」

「は、はいイー!」

「でさ、デッキどうするの?」

どうするもこうするも、昨日弄ったまま試運転させてないから何とも言えない。

「前に真桜とバトルしたデッキを01弾のカードを足して少し入れ換ええた程度だからなあ」

「ふくむ。決め手は滅龍帝?」

「ひとつとしてはそうだな」

「アルティメットは?」

「勿論入れてるよ」

「比率は?」

「たしか…7、8枚」

「ふむふむ。…ならさ、アルティメット寄り」にしちやえば?」

アルティメット寄りに？ でも、アルティメットがデツキに多くなると事故の要因になりやすいんじゃないか？

実際、弄る前の灼熱のゼロデツキで何度かアルティメットが初手に来過ぎて何もできなかったことがある。

「悠姫。01弾には、アルティメットをサポートするカード”があつたのを覚えてるかな？」

「アルティメットをサポート……あ！《ワンアイドデーモン》！」

「ピンポーン！正か〜い♪」

そうか、アルティメットの召喚を手助けするカードがあつたなそういえば。

「正解者には、コレを貸しちゃいま〜ス♪」

「ん？ ……お前、これ……」

璃恵がデツキケースから取り出し、貸すと差し出してきたのは……  
アルティメット”。

「ワタシの切り札1号♪ 悠姫に貸してあげる♪」

「…何で」

「…うぷぷ♪」

「……有り難く借りるよ」

こうなったら頑固なんだよな。

「じゃあ次は彩音<sup>あやね</sup>さんに電話を……」

「ええッ!?ワタシがいるのにシヤツクリちゃんに電話するとか何事ヨ!?」

「いやアドバイス貰うくらい良いだろ」

「ヤ〜なの〜!」

時間は進んで約束の放課後。

「来たようですね」

娯楽教室の中心で、赫蓬院<sup>かほういん</sup>先輩が待ち構えていた。

私と一緒に来たのは、璃恵<sup>りえ</sup>と祐依<sup>ゆい</sup>。…そういえば祐依はバトスピ分

かるのかな？ 私も行くって言って来てくれたけど。

「娯楽教室はわたくしが使用申請を通しておきました。故にここは！わたくしと緋立さんのバトルフィールドとなります！」

「お、おう……！」

訳が分からず思わず返事しちやつた…。

それより、何人か知らないギャラリーがいるな。見える限りでは…  
三年生が二人、一年生が…三人？

「所謂見届け人です。公正なバトルを見届けてもらうため呼びました」

「失礼ですが、息が掛かっているとかは？」

祐依が鋭い質問をした。たしかに、赫蓬院先輩が呼んだとなれば暗に不正が見逃されたり、後ろに回り込まれ手札をリークされたりとかあるかも知れない。

「それは断じて無いと宣言しましょう。わたくしのカードバトラーの名、絳焰<sup>ひえん</sup>。そして赫蓬院マリアの銘に賭けて」

「そうですか」

「祐依さんなら、あの三年生二人の誠実さはご存知でしょう」

「今は訳が違います」

「…ならば、わたくしが不正を行った場合、バトルスピリッツを引退し、この学園を去り、今後一切貴女方に接触しないことを誓います」

「……わかりました」

……話がとんでもなく大きくなっている。バトスピひとつでそこまでやらんでもいいんじゃないだろうか。祐依もそんな約束させなくてもいいだろう。

「わたくしは璃恵さんのプライベート、人生に関わる部分を引き合いに出したのです。そうなればわたくしの人生を天秤に賭けるのが道理」

「……ああもう!!」

「……？」

煩わしい！

「赫蓬院先輩って実はバカなんじゃないですか?!」  
「っ…!?」

赫蓬院先輩の後ろにいた一人の三年生が笑った。笑われても知らん。

「バトスピを真剣にやってる方にしたら失礼かも知れませんが、人生を賭けるとか馬鹿馬鹿し過ぎます」

「し、しかし…」

「バトスピって、皆で一喜一憂しながら楽しむもんじゃないのか？ 名前だ生き方だ何だって、そこまでして何がしたいんだよ！」

「……………」

「…先輩が勝ったら、璃恵に銀嶺ぎんれいとかいう名前を付けて構わない。

「ただど私が勝ったら、今後一切、こんな事で人生を賭けるだ何だって言うな」

いい加減私も怒っていいはずだ。一昨日の鮫トレの人もそうだけど、何で皆普通に楽しもうとしないんだ？ 簡単なジュース奢るとかならまだしも…、人生を賭けるだなんて間違いもいいとこだ。

「ははっ！ マリア、あんたの一敗だよ」

「天音あまね…」

「私もちよつと思うところがあるからさ、あんたのバカ真面目なのはわかるけど人生を賭けるのはどうかと思うよ」

「……………そう、ですわね」

三年生の一人が説得して何とか落ち着かせることができた。赫蓬院先輩は目を閉じて静かに深呼吸し、ゆっくりと目を開けた。

「悪いね緋立ひだちの姉。すぐ熱くなりやすくてさ」

「いえ…」

とにかく、色んなことは煩わしいことは捨てて、璃恵、彩音さん、真桜とバトルした時のワクワクを楽しむみたい。実際、昨日デッキを調整し終わって寝るとき、なかなか寝付けなかった。

それは璃恵が隣にいるのとかじゃなくて、純粹にバトルが楽しみだったからだ。

「先輩。バトルしましょう。純粹に、楽しみましょうよ」

「…緋立さん」

「とか…カッコつけて言う柄でも無いし、本当に初心者なんで強く言える立場じゃないんですけどね。捉え方によっちゃあ、私の逃げの口実にも聞こえますし…」

…むく、背中がむず痒い。こんな漫画みたいな台詞私の何処から出てきたんだか。

「……わたくしは、自分でもすぐ熱くなってしまふのは自覚しているつもりなのです」

「………」

「名に恥じぬ為、自らのプライドの為、自分の信じていた憧れの為…」

「そんなもの、どうしても良かったのですね」

「固執し過ぎていたって感じですね」

「そうですわね…。…緋立さん」

「…はい？」

「この度の非礼無礼、心からお詫び申し上げます…！」

突然、紫蓬院先輩が両手両膝を床に着き頭を下げた。つまり土下座に近い体勢だ。

「カードバトラーとして、一人間として、余りに浅はかで愚かでした…!!」

「え…いや…あの…」

「この赫蓬院マリア。今一度心を入れ換え、改めて、緋立悠姫さん。貴女にバトルを申し込ませていただきたい！」

「………」

…ポカンとするしかなかった。後ろのアマネ？先輩はお腹抱えて笑い堪えてるし、一年生も一人はあたふた、一人はまたかと呆れ、一人はこつちを睨んでいるように見える。三年生のもう一人はこめかみを押さえ溜息をついている。

璃恵はまったくもうと言った感じで頬を膨らませ、祐依は苦笑い。

「して、緋立さん！受けていただけますか!？」

「…あ…はい…」

「感謝いたします！さあ、〃雫〃さん！朱莉さん！洋子！場の設営を



お願いしますわ!」

「は、はい〜!」

「へ〜い」

「…わかりました」

私がギクシヤクと了承すると、ガバツと起き上がり私の手を取ってブンブンと上下に振る。そして指示された一年生三人がせつせと準備してくれた。…やはり一人こつちを見てたのが気になるけど、今は気にしないでおこごう。

「あの、彼女達は…?」

「我が生徒会の優秀な一年生ですわ」

「あ…そっすか…」

かくして、準備出来たようだ。テーブルに椅子にコアにプレイシートまで。

「で、できました〜」

「あとは会長のお好きにどうぞ」

「……………」

「ご苦勞様です。完璧ですわ!」

真四角のテーブルの中心に青コアが積まれ、対面に椅子が置かれ、ライフ、リザーブにもコアが置かれていてまさにいつでも始められるようになっている。

「公式で配信されている『バトスピやろうぜ!』のバトルする場所を再現しましたの!」

「…へえ…」

…分かん。今度探して見てみるか。

「さあ、どうぞ緋立さん!」

「あ、ど、どうも…」

エスコートされるよう席に案内される。案内される程距離は無いんだけど…。

「はいセンパイどうぞ」

「あ、ありがとう…。えつと…」

「どいたましてー。翼也朱莉たつみやあかりって言いますのでヨロシクっすー」  
一年生に椅子引かれて座れるようにしてもらうとかどうなんだ…。

〈緋立 悠姫〉

【はじまりの究極】

VS

【???

〈赫蓬院 マリア〉

「さあさあ！先攻後攻はいかがします？」

…何なんだあの子供みたいにキラキラした目は。昨日とは別人みたいだ。怒った私が馬鹿みたいじゃんもう…。

「マリアはああいうやつなんだよ」

「はあ…」

「祐依ちゃんは知ってたよね」

「さあ。なんのことでしょう」

…祐依、知ってたな？

「トにもかくにも悠姫頑張れー！」

「はいよ…」

先攻後攻はダイスで決めることとなった。じゃんけんでもいいが私的にはこつちが好きかな。

「運命のダイスロール！」

「だ、ダイスロール…」

勢い良く回転しとテーブルに着地したダイス。すげえな。

一方私のは手から滑り落とすようにする。さすがにあんなの出来ないって。

…コロコロと転がるダイスはそのままだ回転している先輩のダイスに…：当たった。

「むむっ！」

「あ、あれは！相手のダイスにダイスをぶつけて目を変える高等プレイング！悠姫、いつの間にそんな技を!？」

「し、したくてしたんじやないわい！」

結果、私が『5』、先輩が『2』。

よって私がどちらを取るかの権利を釈然としないが貰えた。なのでデッキから4枚引いてつと…。

「これは…後攻で」

「かしまりましたわ。では——」

「ゲートオープン、解放!!」

〈マリア 先攻・第一ターン〉

「絳焔の第一ターン！」

(手札4↓5)

(リザーブ4)

「メインステップ。ネクサス《英雄皇の神剣》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓3)

赤のネクサス…。見たこと無いやつだが、同じ赤とバトルするのは始めてだな。

「更にバーストをセット！」

(手札4↓3)

(バースト：セット中)

「そして英雄皇の神剣効果！1ターンに一度、わたくしがバーストをセットしたとき、デッキから1枚ドロウします！」

「っ!? ドロウ効果…!?!」

赤 ネクサス

《英雄皇の神剣》

コスト3 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2

自分のバーストをセットしたとき、自分はデッキから1枚ドロースる。

この効果はターンに1回しか使えない。

Lv2 『???』

???

「ターンエンド!」

〈悠姫 後攻・第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「おや?まだ緋立姉(あね)は二つ名がないのかい?」

「:それ持たなきやいけないんですか?」

「あははっ、いやいやそんなことないよ。周りがあれだからさ」

まあ、璃恵の他にも『紫蓮<sup>しれん</sup>』や『緑迅<sup>りよくじん</sup>』や『蒼穹<sup>そうきゆう</sup>』とか言ってるし

なあ…。でも大体そういうのを名乗ってる人つてかなりの腕前の人  
が大多数なんじゃないか?

「とにかくメインステップ。早速来たなら、《リ्यूマン・フェニックス》  
を召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「リ्यूマン・フェニックス コア1 レベル1 BP2000」

「リ्यूマン・フェニックスは、私の場のスピリットが2体以下の間、最  
大レベルとして扱われる」

「リ्यूマン・フェニックス レベル1↓3 BP2000↓600

0」

「ほう…。新弾のカード、しかも赤をお使いになるとは」

赤 スピリット

《リ्यूマン・フェニックス》

コスト3 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP5000

<6> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

自分のスピリットが2体以下の間、このスピリットはLv3として扱う。

Lv2・Lv3『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

「アタックステップ。リユーマン・フェニックスでアタック！アタック時効果で1枚ドロー！」

(手札4↓5)

手札は多いことに越したことは無い。最初のうちに手札を多くして選択肢を広げるに限る。アルティメットも引き込めれば尚良し。

「ライフで受けましょう！」

(マリア ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「そして、わたくしのライフ減少によりバースト発動！」

ライフ減少がキーか。多少は覚悟の上だ。どんな効果が来るのかは分からんけども。

「古き忍の烈火竜！《ハンゾウ・シノビ・ドラゴン》！」

「スピリットカードか…!?!」

「バースト時、悠姫さんのフィールドに存在する色1色につき、コアが1つしか置かれていないスピリット、則ちリユーマン・フェニックスを破壊しますわ」

「何っ!?!」

「その鳳凰、討ち取らせていただきます！」

(悠姫リザーブ1↓2)

赤 スピリット

《ハンゾウ・シノビ・ドラゴン》

コスト4 軽減赤2 <覇皇・戦竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

相手のフィールドのスピリット／ネクサスの色1色につき、コアが1個しか置かれていない相手のスピリット1体を破壊する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 『???』

???

「そして効果発揮後、ハンゾウを召喚！レベル2！」

(リザーブ2↓0)

「ハンゾウ・シノビ・ドラゴン コア2 レベル2 BP4000」

いきなり出鼻をくじかれたな…。バーストで、しかも効果を把握してないカードだったとは。あれは何弾のカードなんだ…？

「わたくしも『似たような』カードを使いますので居残られても厄介なのは理解しておりますわ。ですので早めに退場願いましたの」

「確かに、いきなりレベル3がいたら攻めにくいですがもんね…」

コアを参照するのは紫だけかと思っただが、そうでもないみたいだな。でもまだ始まったばかりだ、へこたれるには早い…！

イチを足してみよう・Bパート

〈悠姫・フィールド状況〉

ライフ5 リザーブ2 トラッシュ3

手札5

〈マリア・フィールド状況〉

ライフ4 リザーブ0 トラッシュ3

手札4

・ハンゾウ・シノビ・ドラゴン LV2 コア2

・英雄皇の神剣 LV1 コア0

〈マリア 第三ターン〉

「絳焰<sup>ひえん</sup>の第三ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。まずバーストをセットします！」

(手札5↓4)

〔バースト：セット中〕

「神剣効果で1枚ドロロー！」

(手札4↓5)

「そしてネクサス《太陰の宮廷》をレベル2で配置いたします！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

〔太陰の宮廷 コア1 レベル2〕

黄色のネクサス…？ 赤と黄の混色デッキなのか？

黄 ネクサス

《太陰<sup>たいいん</sup>の宮廷<sup>きゆうてい</sup>》

コスト3 軽減黄1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄

Lv1・Lv2

お互いのデッキは、相手のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果では、1ターンに3枚までしか破棄されない。

Lv2

???

「アタックステップ！ハンゾウでアタック！」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

「ターンエンド」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札5↓6)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ4↓7)

「メインステップ」

赫蓬院先輩の場合はスピリットが1体に黄のネクサスが1つ。バーストあり。して、こちらはリューマン・フェニックスが討たれ更地。：もう一度立て直すしかないか。

「ムゲンドラをレベル1で召喚」

(手札6↓5)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

「ムゲンドラ(赤) レベル1 コア1 BP1000」

まずはいつもの相方からだ。なんだかんだで頼りになるんだよねこいつ。

「続けて《ヤシウム》を召喚。レベル1」



(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ1↓4)

「ヤシウム コア1 レベル1 B P 1000」

「召喚時効果。トラッシュユにあるスピリットカード、リユーマン・フェニックを回収する」

(手札4↓5)

後は、ヤシウムのコアをフェニックに使って入れ代わる形にして、ドローとライフを狙う。ヤシウムには悪いと思うけど。

「:おや、この太陰の宮廷が見えているのに無警戒ですか?」

「えっ」

「ヤシウムの召喚時効果に反応し、バーストが発動しますわ!」

「げっ:!?」

「竜象りし第八の神の化身、《ドラグ・クシュリナー》!レベル1にて顕現!」

スピリットカードか:!?

赤 スピリット

《ドラグ・クシュリナー》

コスト5 軽減赤2 <覇皇・翼竜>

<1> Lv1 3000

<3> Lv2 5000

<5> Lv3 7000

【バースト:相手の『このスピリット/ブレイヴの召喚時』発揮後】  
このスピリットカードを召喚する。

その後、自分のバーストをセットしていないとき、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットできる。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

???

「ドラグ・クシュリナーを召喚したのち、わたくしのバーストがセットされていないければ、手札のバースト効果を持つカードをセットできます。よって、セット!更に神剣効果で1枚ドロー!」

「ハンゾウ・シノビ・ドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「ドラグ・クシユリナー コア1 レベル1 BP3000」

(手札4↓3)

{バースト：セット}

(手札3↓4)

「悠姫の二つ名は『地雷処理人』が良いカナ？」

「う…うっさい璃恵！」

前にもこんなことあったような…。いいさ、いいさ！踏むなら踏むで踏み抜いてそのまま勝つから！

「もう一度、『リューマン・フェニックス』を召喚！レベル維持にはヤシウムから受け取る！」

(手札5↓4)

(リザーブ1↓0)

「ヤシウム コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ4↓5)

「リューマン・フェニックス コア1 レベル3 BP6000」

「アタックステップ、リューマン・フェニックスでアタック！アタック時1枚ドロー！」

(手札4↓5)

「ライフで受けましょう！」

(マリア ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「そしてライフ減少によりバースト！」

「もう何も怖がる必要はない…」

「マジック『双翼乱舞』、発動！」

{バースト：発動}

「っ!？」

な、えっ?!たしか双翼乱舞って『召喚時効果に反応するバースト』じゃなかったか!?!どうしてライフ減少に反応するんだよ!?

「太陰の宮廷レベル2の効果ですわ」

《太陰の宮廷》

バースト条件が【相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】の自分のバーストは、【自分のライフ減少後】にも発動できる。「あれはネ、バースト発動条件を広げるネクサスなんだヨ」

「マジか…」

「ですので召喚時に反応する双翼乱舞は、ライフ減少時にも発動できます。よって、バースト効果により2枚ドロ―！更に追加コスト、リザーブより1つ、太陰の宮廷より確保！更に2枚ドロ―しますわ！」

「太陰の宮廷 コア1↓0 レベル2↓1」

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ3↓5)

(マリア手札4↓8)

…アカン。いや、前向きに考えよう。ライフを3つまで押した、アルティメットを通しやすくなった、などなど…。

「ターンエンド」

〈マリア・第五ターン〉

「絳焔の第五ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札8↓9)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ。まずはハンゾウをレベル2へ」

(リザーブ6↓5)

「ハンゾウ・シノビ・ドラゴン コア1↓2 レベル1↓2」

「続いてマジック《ライフチャージ》を使用！対象はハンゾウ。ハンゾウを破壊し、ボイドからコア3つをリザーブへ！」

(手札9↓8)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓4)

(リザーブ1↓4)

緑 マジック

《ライフチャージ》

コスト4 軽減緑2

フラッシュユ:

コスト3以上の自分のスピリット1体を破壊することで、ボイドからコア3個を自分のリザーブに置く。

「そして、レベル2から破壊されたハンゾウの効果発揮！」

「っ！」

「ハンゾウが破壊されたとき、わたくしのバーストがセットされてなければ、バーストとしてセットできます！」

「バーストに戻る!?!」

「ハンゾウをセット!更に神剣効果で1枚ドロー!」

(リザーブ4↓6)

(バースト:セット(ハンゾウ))

(手札8↓9)

《ハンゾウ・シノビ・ドラゴン》

Lv2・Lv3『このスピリットの破壊時』

自分のバーストをセットしていないとき、このスピリットをバーストとしてセットできる。

「ミ・ジ・ン!隠れの術♪」

「璃恵さんうるさいです汚い忍者はお呼びじゃありません」

「キタナイは、褒め言…」

「……………」

「…スンマセン」

「やっぱ祐依センパイ怒るとコワイっすね〜」

「…白鐘先輩はふざけすぎなのよ」

ハンゾウがバーストに戻ったってことは、数を並べてのライフが狙いにくくなったか…。フェニックやムゲンドラにコアを乗せれば解決なんだろうけど、そうになると次に繋げづらくなる。

「次にドラグ・クシユリナーをレベル3、英雄皇の神剣をレベル2へ  
!」

(リザーブ6↓0)

「ドラグ・クシユリナー コア1↓5 レベル1↓3 BP3000↓7000」

「英雄皇の神剣 コア0↓2 レベル1↓2」

「アタックステップ、英雄皇の神剣レベル2の効果！合体していない系統：＜覇皇＞を持つわたくしのスピリットすべてのBPをプラス3000！バーストセット中ならば更にプラス5000しますわ！」  
「えっと……合計プラス8000!？」

「ドラグ・クシユリナー BP7000+3000+5000＝15000」

またドカンとBP上がったなあおい……。確かに赤の得意技だけど上がりすぎだろ……。

### 《英雄皇の神剣》

Lv2 『自分のアタックステップ』

合体していない系統：＜覇皇＞を持つ自分のスピリットすべてをBP+3000する。

自分のバーストをセットしている間、さらに、合体していない系統：＜覇皇＞を持つ自分のスピリットすべてをBP+5000する。

「ドラグ・クシユリナーでアタック！そしてレベル2からの効果！アタックステップ中わたくしのバーストがセットされているとき、系統：＜覇皇＞、もしくは＜雄将＞ゆうしょうを持つスピリットがアタックしたとき1枚ドローします！」

(手札9↓10)

「手札が減るところか増える一方かよ……！」

「赤ならば当然のことですわ。増やす方法が異なるだけのこと。して、どうなさいます?」

フェニックスは疲労中、ムゲンドラはブロックできるがここで失う訳にはいかない……。なら悩む必要はない。

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「並びましたわね。ターンエンド！」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ」

…よし、やっとなんか分かるかも知れん。地雷を踏むならとことん踏み荒らしてやる!

《グロッシユリザード》、レベル1で召喚!

(手札6↓5)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

「グロッシユリザード コア1 レベル1 BP3000」

「私のムゲンドラは白のスピリットとしても扱われる。そしてフェニックは赤、よって1コスト!

次にそつちと同じくマジック《ライフチャージ》! 標的はグロッシユリザードだ!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ1↓5)

(リザーブ1↓4)

「洋子ちゃん…緋立先輩、い、今出したスピリットをすぐ破壊しちゃうの…?」

「違うわ。グロッシユリザードの効果知らないの?」

「え、えと…」

「グロッシユリザードを破壊してコア3つをリザーブに。そしてレベル1からの効果発揮! 回復状態のコイツが破壊されたら疲労状態で場に残る!」

白 スピリット

《グロッシユ・リザード》

コスト3 軽減白2赤1 <甲竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：白

Lv1・Lv2

このスピリットは、回復状態で破壊されたとき、疲労状態でフィールドに残る。

Lv2『このスピリットのブロック時』

このスピリットをBP+3000する。

「ほう。無駄が無い使い方ですわね」

「初心者なりに考えてるんですよ」

…正直に「wikiを見ました」とは言えない雰囲気…。だがそんなことはどうでも良い！次だ次！

「《アルティメット・フェンリル》！レベル3で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ5↓8)

「アルティメット・フェンリル コア1 レベル3 BP9000」

「来ましたわね、究極。白のアルティメットですか」

「あれっ？ 緋立センパイ、赤のデッキじゃなかったっけ？」

「赤と白の混色なんですよ。それぐらい察しなさいよ」

「キャハハ♪悠姫が白のアルティメット使ってくれてワタシ嬉しいヨ  
♪」

「……………」

「…アレ？どしたの祐依ちゃん」

「えっ、いいえ…別に…」

白 アルティメット

《アルティメット・フェンリル》

コスト5 軽減白2 <新生・機獣>

<1> Lv3 BP9000

<3> Lv4 BP13000

<4> Lv5 BP15000

シンボル：金

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のネクサス1つを手札に戻し、このアルティメットは相手のスピリットからブロックされない。

Lv4・Lv5『相手のアタックステップ』

自分のスピリット／アルティメットすべてをBP+3000する。

「ここはターンエンド」

「ほう…」

「見えてる地雷を踏むほどマヌケじゃないですから」

伏せられてるのがハンゾウなら、ライフを狙ったとしてもスピリット達が汚い忍者に根こそぎ闇討ちされてしまう。ここが堪える場所だ。

へマリア・第七ターン

「絳焔の第七ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札10↓11)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。バースト、ハンゾウ・シノビ・ドラゴンを破棄！」

(バースト：セット中↓破棄)

「：破棄？」

「悠姫悠姫。バーストは1ターンに一度だけ張替えることができんだヨ」

「：そうだったっけ？」

「ウン。伏せたそのターンには無理だけど、張った次のターンには張替え」ってことでできるヨ」

「なるほど…」

「では、新たにバーストをセット！更に1枚ドロ―！」



(手札11↓10)

(バースト：セット)

(手札10↓11)

「続けて《アルマジトカゲ》をレベル2で召喚！」

(手札11↓10)

(リザーブ5↓3)

「アルマジトカゲ コア2 レベル1 BP3000」

白 スピリット

《アルマジトカゲ》

コスト1 軽減白1赤1 <甲竜>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

「そして…。マジック《ヒロイックエントリー》!!」

(手札10↓9)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「マジック…?」

「わたくしの手札にある、系統：<覇皇>を持つスピリットカードすべてのコストを、現在のわたくしの手札と同じにします！」

「っ!?!」

「わたくしの手札は3! よって、コストが3となります！」

赤 マジック

《ヒロイックエントリー》

コスト4 軽減赤2

メイン：

このターンの間、自分の手札にある系統：<覇皇>を持つスピリットカードすべてのコストを、自分の手札と同じ数にする。

フラッシュ:

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「さあ、古の英雄よ！今こそその力を示す時！」

来るか…！赫蓬院先輩の切り札！

「神命荒ぶる天津の剣！」

天よ地よ人よ、照覧あれ！覇と共に神をも屠る御姿を！！

《天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード》！！

レベル3にて、降・臨ツ！！

赤 スピリット

《天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード》

コスト9 軽減赤3 <覇皇・古竜>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

<5> Lv3 BP15000

<7> Lv4 BP20000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、自分の赤のスピリット1体につき、BP6000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3・Lv4 『??』

???

Lv3・Lv4 『??』

???

「ヒロイックエントリーによりコスト9は3になり、軽減全てを満たしたため0コスト！」

レベルの不足分はドラグ・クシュリナーから2つ、英雄皇の神剣から2つ確保！」

(手札9↓8)

(リザーブ1↓0)

「ドラグ・クシュリナー コア5↓3 レベル3↓2」

「英雄皇の神剣 コア2↓0 レベル2↓1」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア5 レベル3 B P 15000」

あ、あんなド級のスピリットがノーコスト…!?しかもB P 15000って、普通にUフェンリルじゃ太刀打ちできないぞ!? …次で何とかしようとしたのが甘かったのか、見切られたか…。

「アタックステップ!ジーク・スサノ・フリードでアタック!!ドラグ・クシュリナー効果により1枚ドロ―!」

(手札8↓9)

来るか!今の私の場にあんなデカブツ止められるスピリットはない…!UフェンリルもB Pが上がる効果はレベル4からだし…。

「ジーク・スサノ・フリード、レベル2からのアタック時効果発揮!」  
「っ!」

「B P プラス10000!」

「は…はあ!」

「よってB P 25000!たとえ究極と言えども荒ぶる神の前には赤子同然ですわ!」

「Uジークフリードを軽く超えるのかよ…!?」

「更にレベル3からの効果!」

「まだあるっ!」

「わたくしのバーストがセットされている間、ジーク・スサノ・フリードに赤のシンボル1つを追加!」

「何っ!」

B Pを10000も足した上にシンボルまで足されるとか、アルティメット意識してるのかあのスサノオは!

《天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード》

L v 2・L v 3・L v 4 『このスピリットのアタック時』

このスピリットをB P +10000する。

L v 3・L v 4

自分のバーストをセットしている間、このスピリットに赤のシンボル1つを追加する。

「くっ……、ライフだ！」

「ジーク・スサノ・フリードはダブルシンボル！ライフ2つを砕かせてもらいますわ！」

（悠姫ライフ3↓1）

（リザーブ0↓2）

残り1つ、もう後が無い……！

「ターンエンド！」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ……！」

（リザーブ2↓3）

（手札3↓4）

（トラッシュユ8↓0）

（リザーブ3↓11）

ターンが回ってきた。だがここで何とかしないと押し切られる。あんなBP20000超のダブルシンボルスピリットなんか一々相手にしてたら全滅確定だ。場の数はこちらが少し優位だけどそんな悠長なこと言ってもらえん。

手札は圧倒的に向こうが優位。何が飛んで来てもおかしくはない。

「……………」

「うむ、かなり厳しいネ悠姫」

「…お姉ちゃん」

「やっぱ初心者じゃマリアの相手はキツかったかな？」

「はあ……。会長の切り札も出ないことですし、勝ちが決まりですね」

「へえ、本当にそう思うかい？ 碧<sup>へきる</sup>」

「当たり前でしょう」

UFエンリルのレベルを上げて堪える……いや、無駄死にするだけで状況は解決できない。次にまた大型が来る可能性を考えたら悪手だ。ただどレベル5に上げれば19000まで受け止められるが、あの神剣の効果で爆上げされたら意味が無い。……考えろ、今できる最善と、次に行くための手を！コアはある、スピリットもいる！

「…マジック、《ネオ・ダブルドロ》。デッキから2枚ドロして、ア

ルティメットのアルティメット・フェンリルがいるからもう1枚ドロ―」

(手札4↓3)

(リザーブ11↓9)

(トラッシュユ0↓2)

(手札3↓6)

っ！掴んだ！突破口ひとつ！しかしこっからどうする?!あのスサノオを退かせるのに成功してもあの手札、あのバースト。……どうすべきか考えて、あれを踏み抜く覚悟で行くべし！

「ネクサス《狩る者の集落》を配置」

(手札6↓5)

(リザーブ9↓8)

(トラッシュユ2↓3)

「次に《アルティメット・プテラトマホーク》、レベル3で召喚！

(手札5↓4)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ3↓5)

「アルティメット・プテラトマホーク コア1 レベル3 BP9000」

「今度は赤のアルティメットですか！」

「突破口が開ければ……！UPテラトマホークの召喚時効果、シンボルを2つ以上持つ相手のスピリット1体を破壊！」

赤 アルティメット

《アルティメット・プテラトマホーク》

コスト5 軽減赤3 <新生・空牙くうが>

<1> Lv3 BP9000

<3> Lv4 BP10000

<5> Lv5 BP15000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

シンボル2つ以上を持つ相手のスピリット1体を破壊する。

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただし、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「ジーク・スサノ・フリードはレベル3から、バーストをセットしてあるならば常にダブルシンボルとなります故、そこを上手く突いた訳ですわね。見事です!」

「お、おう……!」

「いいでしょう!ジーク・スサノ・フリードは破壊されます!」

(マリア リザーブ0↓5)

さっきアタック時効果って言ってなかったからもしかしたらって思ったが、成功したみたいだ。

「しかし!」

「っ!」

「この絳焰のマリアは二歩先を往きます!相手によってわたくしのスピリットが破壊されたとき、バースト発動!」

やっぱりバーストがきたか……!

「復活の炎! 《五輪転生炎》!」

… 《双光気弾》じゃない!? また見逃しカードか……!

「バースト発動時に、先程破壊されたジーク・スサノ・フリードを復活させます!」

「なっ、今倒したばっかなのに!」

(マリア リザーブ5↓0)

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア5 レベル3 B P 1  
5000」

赤 マジック

《五輪転生炎》

コスト4 軽減赤2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このバースト発動時に破壊された、自分のトラッシュユにある系統：<覇皇>を持つスピリットカード1枚を召喚する。

ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュユ効果を発揮する。

フラッシュユ：

系統1つを指定する。このターンの間、合体していない指定した系統を持つ自分のスピリットすべてをBP+4000する。

「フラッシュユ効果は使わずそのまま！」

「ぐっ…」

突破口どころか地雷が爆発して道が塞がれた…いやいや、まだ終わって無い。あの五輪転生炎だってセットされてなければ復活効果は無い。フラッシュユ効果でBPを上げようとしても、コストを支払えばスサノオのレベルダウンは必至。

攻めなきやどちらにしろこのまま押し潰される。ならやるしかない！

「ならもう1体！《ドラグノ究極兵》！レベル3だ！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ5↓7)

「ドラグノ究極兵 コア1 レベル3 BP8000」

「そしてUフェンリルをレベル4に！」

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・フェンリル コア1↓3 レベル3↓4 BP9000↓13000」

これはアルティメットが既存の効果の対象にならないならば…っていう賭けだ。たとえ当たり負けてもライフを持って行く捨て身のアタック。しかしヒットしなければならぬという制約付きだけど、あの場に風穴を空けられれば、控えのスピリット達がライフを打てる。

「アタックステップ、狩る者の集落の効果で私の赤のスピリットとアルティメットのBPを20000加算する！」

「ムゲンドラ BP1000↓3000」

「リューマン・フェニックス BP20005000」

「アルティメット・プテラトマホーク BP9000↓11000」

「ドラグノ究極兵 BP8000↓10000」

「Uフェンリルでアタック！…やっと撃てた！アルティメット・トリガー！デッキの1番上をトラッシュユヘ！そして送ったカードのコストはいくつだ！」

「いいでしょう。…スピリットカード《アサシン・ドラゴン》。コスト3ですわ！」

「コスト3、ヒットだ！」

よし！これでライフ1つはいただいた！

「英雄皇の神剣を手札に戻させて、Uフェンリルはブロックされない！」

(マリア手札9↓10)

「ではライフで受けましょう！」

(マリア ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「ドラグノ究極兵でアタック！Uトリガー！」

「——スピリットカード、《ガンナー・ドラゴン》！コストは5ですわ！」

「くっ、外した…！」

「ではジーク・スサノ・フリードでブロック！」

Attack!!

ドラグノ究極兵 BP8000+2000=10000↓Loss  
e…

VS

Defense!!

天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード BP15000↓win!  
返り討ち…！ だがまだだ！



(悠姫リザーブ0↓1)

「Uプテラトマホーク、アタック！Uトリガー！」

「——マジックカード、《爆覇炎神剣》！コストは4！」

「危ね…！ヒット！強制ブロックだ！」

ライフ2つ目！このままイケるか…?!

「フラッシュユタイミング！マジック《絶甲氷盾》を使用！そのアタックが終わり次第、アタックステップを強制終了させますわ！不足コストはジーク・スサノ・フリードから確保いたします！」

(手札10↓9)

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア5↓2 レベル3↓1」

(トラッシュユ2↓5)

「更にフラッシュユタイミング！マジック《ネイチャーフォース》を使用！」

「げっ、あれは…！」

「ご存知の通り、トラッシュユのコア全てをスピリット1体に置く効果！不足分はジーク・スサノ・フリードから1つ、アルマジトカゲから2つ確保！…アルマジトカゲ、ご苦勞様でした。見せ場を作れず申し訳ありません」

(手札9↓8)

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア2↓1」

「アルマジトカゲ コア2↓0 消滅」

(トラッシュユ5↓8)

緑 マジック

《ネイチャーフォース》

コスト3 軽減緑2

フラッシュユ：

自分のトラッシュユにあるコアすべてを、自分のスピリット1体に置く。

この効果は、メインステップで使えない。

「トラッシュユのコアは全てジーク・スサノ・フリードへ！よって、ジーク。」

ク・スサノ・フリードは最大レベル4へと上昇！」

(トラッシュユ8↓0)

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア1↓9 レベル1↓4  
BP6000↓20000」

「アルティメットじゃないのにレベル4とかどんだけ規格外なんだアレ……！」

「まだわたくしのフラッシュは終了しておりません！マジック《救世神撃覇》！1枚ドロしたのち、バースト効果を持つカードをセットできますー！」

(手札8↓7)

「ドラグ・クシュリナー コア3↓2 レベル2↓1」

(トラッシュユ0↓1)

(手札7↓8)

「そしてバーストセット！」

(バースト：セット)

(手札8↓7)

「お待たせ致しました。ドラグ・クシュリナーでブロック！」

「スピリットでブロックした瞬間、ライフ1つをもらう！」

(マリア ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「……悠姫さん。貴女の戦略、たどたどしいながらも見事です。この土壇場でのトリガーをヒットさせる強運、諦めない姿勢。素晴らし  
い」

「…はあ」

「好意に値するということですね！」

「は!?!:は、はあ」

つまり何が言いたいのでしょう…?」

「わたくしの最高の覇皇ヒーローが

貴女を討ち果たします」

「っ!?!」

「——ライフ減少により、バースト発動っ!!」

「炎神烈氷を束ねし英雄龍!

今ここに真なる覇を示し、続けてを救世せし皇となれ!!

超越せよ!!

《超霸王ロード・ドラゴン・セイバー》!!

戦場に堂々参上!!」

赤白 スピリット

《超霸王ロード・ドラゴン・セイバー》  
ちようはおう

コスト10 軽減赤3白3 <覇皇・戦竜>

<1> Lv1 B P 100000

<3> Lv2 B P 130000

<5> Lv3 B P 160000

シンボル：赤白

「これが赫蓬院先輩の、切り札……!」

「驚くのはこれからです!ドラグ・クシュリナーを対象に、〃【バースト転召】〃!! ドラグ・クシュリナーに乗っているコア全てをボイドへ!」

「バースト……【転召】〃!?!」

「ドラグ・クシュリナー コア2↓ボイド 消滅」

「条件に合うわたくしのスピリット1体の命を昇華し、新たなスピリット召喚の礎とする効果ですわ!」

「悠姫悠姫!簡単に言うといけにえ召喚だヨ!条件に合うスピリットをいけにえにする事で召喚できるツてやつ!」

「別のカードゲームのあれみたいなものか……!」

「レベル分にはジーク・スサノ・フリードから確保し、レベル2!」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア9↓4 レベル4↓  
2」

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア5 レベル3 B P 16  
000」

「そして超霸王ロード・ドラゴン・セイバーの更なる効果発揮！

わたくしのライフが5つになるまで、フィールドトリザーブから好きなだけコアを置くことができます!!」

「はあ!?む、無茶苦茶だろそんなの!」

「ジーク・スサノ・フリードのコア2つとリザーブのコア2をわたくしのライフへ!」

(リザーブ2↓0)

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア4↓2 レベル3↓1」

(マリア ライフ1↓5)

「完全回復!!」

「じよ…冗談だろ?!」

《超霸王ロード・ドラゴン・セイバー》

【バースト転召：自分のライフ減少後】

系統：＜霸王＞を持つ自分のスピリット1体のコアすべてをボイドに置くことで、このスピリットカードを召喚する。

この効果発揮後、自分のライフが5になるまで、自分のフィールド／リザーブから好きなだけコアを置く。

信じられない…。あれ程犠牲を出して1まで追い詰めたのに、あつという間にライフが元に戻ったとか、質の悪い冗談としか考えられない。そのくらい混乱している。

「ヤバい！悠姫の目が漫画みたいにぐるぐる渦巻いてる!」

「……お姉ちゃん、完全に追い詰められた」

「な?」

「…よもや会長がセイバーを出すとは。でもこれで今度こそ、あの二年生は終わりですね」

「終わらないさ。まだライフが残ってるじゃないか」

「うっひょー!会長のセイバー来たー!やっぱカッコイイよなー洋子!」

「そうね。…アルティメットと云えど、姉様が負ける訳ないのよ」

「……ターン、エンド」

へマリア・第九ターン

「絳焔の第九ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札7↓8)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ1↓2)

「メインステップ。バーストセット！」

(手札8↓7)

(バースト：セット中)

「一度セイバーのコア1つ、リザーブのコア2つをジーク・スサノ・フリードへ」

(リザーブ2↓0)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア5↓4 レベル3↓2」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア2↓5 レベル1↓3

シンボル赤↓赤赤」

「そして……。手札の赤のカードを破棄！」

「っ!？」

(手札7↓6)

「神をも裁くは破壊と創造、再誕の名を冠せし創世の剣！天地開闢の剣刃！」

《裁きの神剣リ・ジエネシス》!!

ロード・ドラゴン・セイバーへダイレクトフレイヴ直接合体!!」

裁きの神剣リ・ジエネシス

←

ロード・ドラゴン・セイバー(合体)

「コスト10+6≡16」

「BP10000+10000≡20000」

「合体時効果：無し」

「シンボル：赤白+赤赤≡赤赤赤白」

「……………っ」

「悠姫が完全に絶句してる…」

「……こんなの、オーバーキルもいいところなのに…」

「悠姫さん。貴女に敬意と敬愛を示すため、わたくしの全て。ぶつけさせていただきますわ」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア5↓2 レベル3↓1」

(手札6↓5)

(トラッシュ0↓3)

赤 ブレイヴ

《裁きの神剣リ・ジエネシス》

コスト6 軽減赤3 <剣刃つるぎ>

<1> Lv1 BP6000

<0> 合体 +10000

シンボル：赤赤

このブレイヴカードは、自分の手札にあるスピリットカード1枚を破棄しなければ召喚できない。

【合体条件：コスト8以上】

【合体時効果無し】

——無理だ。

あんなの、止められる訳が無い。

捨て身の攻撃が切り札をあんな形で出されるのに利用されて、あれこれやってもまるで見透かされてるように回避される。

…もしこのターンを抜けたとして、次の私に何ができる？

何もできなかったら、クアドラプルシンボルがまた迫ってくる。下手すれば、スサノオまでシンボルが増えて迫ってくるかも知れない。

……絶望的だ。

「ターンエンド」

「…え？」

「……………」

〈悠姫・第十ターン〉

「す、スタートステップ…」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メイン…ステップ…」

……駄目だ、打開策になるようなものが引けなかった…。考えても考えても返り討ちに遭う予感しかしない。もうライフも受ける余裕も無い、コアはあってもただ無惨に蹂躪されるだけ…。

「……………」

「……緋立 悠姫」

「っ……」

「そのまま俯くことは、わたくしが許しません」

「……………」

「このバトルで、わたくしは貴女に“光るもの”があると確信しました。それは先程わたくしのライフを1まで追い詰めたプレイングに表れています」

「そんな…」

「しかし貴女は、自身のそれを活かさきれていないのが現状。…だからこそ、俯くことは許しません」

「悠姫イ！」

「…璃恵」

「諦めんな！まだ、まだ勝てるッて！だから下向くな！」

…だからって、こんな状況どうしろってんだよ…！

あの手札にバースト、シンボル4つの化け物スピリットだぞ!?

「手札をよく見なさい」

「……………」

「貴女のライフは尽きていません。手札も尽きて無い、スピリットも、アルティメットも」

「……………」

「悠姫さん。言わばこのターンが貴女の“登竜門”です。“覚悟”を決めなさい」

「悠姫イ!!約束、忘れんなヨ!!」

「……約束」

…約束、してたな。

負けないって。

「——約束、破る訳にはいかないよな…」

「ツ!あたり前じゃん!」

「やるしか、無いんだよな」

「ホラ下向くなツて!手札は?!」

「…ある」

「スピリット達は?!」

「いる…!」

「ライフは?!」

「まだある!」

「よツし!」

「——バースト、セット!」

(悠姫手札4↓3)

(バースト:セット中)

ああ、もう!最近ヤケっぱちになるのが多いなホントに!吹っ切れるしかない…!璃恵との約束も、祐依の名誉回復だって忘れた訳じゃない、圧倒差に飲まれるな私!

「Uプレラトマホーク、Uフェンリルをレベル5に!」

(リザーブ9↓4)

「アルティメット・プレラトマホーク コア1↓5 レベル3↓5

BP9000↓15000」

「アルティメット・フェンリル コア3↓4 レベル4↓5 BP

13000↓15000」

「次!ネクサス《ローガルド北方司令部》を配置!」



(手札3↓2)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓2)

白 ネクサス

《ローガルド北方司令部》

コスト4 軽減白2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『相手のアタックステップ』

自分の白のスピリット／アルティメットすべてをBP+2000する。

Lv2 『相手のアタックステップ』

自分のライフが3以下の間、ターンごとに、相手のアルティメットの効果では、自分のライフは1しか減らない。

「：ターンエンド！」

「ほう」

「白は守る色だったよな。だから、耐える！」

〈マリア・第十一ターン〉

「絳焔の第十一ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。セイバー、スサノオ共々レベル3へ！」

(リザーブ4↓0)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア4↓5 レベル2↓5

BP130000↓16000+10000=26000」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード コア2↓5 レベル1↓3

BP60000↓15000」

「アタックステップ！セイバー、ソードブレイク 剣刃合体アタック!!」

来た…！マトモに受けても負けは必至、守るんだ。こっちの「切り札達」が来るまで耐えるんだ！

「セイバー、レベル2からの効果発揮！」

「っ！」

「わたくしのライフ1つを、セイバーへ！」

(マリア ライフ5↓4)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア5↓6」

自分のライフを減らして渡した…!?

「これにより、わたくし全てのスピリットのBPをプラス5000しますー！」

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー BP26000↓31000」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード BP15000↓20000」

「BPがまた上がった!？」

「更にライフ減少によってバースト発動！」

ライフ減少って、自分で減らしても発動するのか!?

「『相手によって…』の一文さえ無ければ自らライフを減らしても問題はありません！また賢くなりましたね悠姫さん！」

「馬鹿にしてー！」

「ふふっ。《ディクタドルレギオン》、発動！」

青 マジック

《ディクタドルレギオン》

コスト5 コスト3

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア2個を自分のネクサス1つに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のバースト1つをオープンする。そのカードがスピリットカードのとき破棄する。それ以外のときは元に戻す。

この効果は、メインステップで使えない。

「ボイドからコア2つを太陰の宮廷に！それによりレベル2へ！追加コストは支払わずこのまま！」

「太陰の宮廷 コア0↓2 レベル1↓2」

自分でバーストを発揮させるって、地雷を投げつけてるもんだよな。仕掛けて掛かるの待つより抱えて特攻ってか？

《超霸王ロード・ドラゴン・セイバー》

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

自分のライフのコア1個をこのスピリットに置くことで、このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+5000する。

「そして…セイバーレベル3の効果発揮！」

わたくしのバースト発動後、回復します!!」

「か、回復?!」

《超霸王ロード・ドラゴン・セイバー》

Lv3 『自分のバースト発動後』

このスピリットは回復する。

「単純明解！英雄龍から受け継がれる一族伝来の効果ですわ！」

「ぶっ飛び効果もいい加減にしてほしいな…！」

「フラッシュが無いのならこちらのフラッシュです！2枚目の《救世神撃覇》を使用！コストはセイバーから確保！」

(手札6↓5)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア6↓5」

(トラッシュ0↓1)

(手札5↓6)

「バーストセット！」

(手札6↓5)

(バースト：セット)

「して、このアタックは！」

「リューマン・フェニックスでブロック！」

「屠らせていただきます！」

(悠姫リザーブ2↓3)

「では二度目のセイバー、剣刃合体アタック！効果発動！」  
(マリア ライフ4↓3)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア5↓6」

「セイバー、スサノオのBPを更にプラス5000！」

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー BP31000↓36000」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード BP20000↓25000」

「なっ!？」

「このBP上昇効果は、このターンの間」です！更に更に、バースト発動！2枚目の《双翼乱舞》！」

(バースト：セット↓発動)

(マリア手札5↓7)

「追加コストを支払い、更に2枚ドロ！コストは太陰の宮廷から確保！」

「太陰の宮廷 コア2↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓3)

(手札7↓9)

「アタックは！」

「まだ！フラッシュタイミング！マジック《バーストシールド》！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ2↓5)

「このターンの間、コスト4以上のスピリットのアタックじゃライフは減らない！」

白 マジック

《バーストシールド》

コスト4 軽減白1

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア1個を自分の白のスピリットに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュユ効果を発揮

する。

フラッシュ:

このターンの間、コスト4以上のスピリットのアタックでは、自分のライフは減らない。

「ライフだ!」

「ではターンエンド!上昇したBPは元に戻ります!」

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー BP36000↓26000」

「天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード BP25000↓15000」

〈悠姫・第十二ターン〉

「スタートステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ。《ネオ・ダブルドロ》を使う!2枚ドロして、アルティメットがいるためもう1枚ドロ!」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュユ0↓2)

(手札1↓4)

「っ! : 《オートマチックガンナー》、来い!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓3)

「オートマチックガンナー コア1 レベル1 BP2000」

「待たせたな、璃恵!」

「おおウ!?きたきた♪!」

「オートマチックガンナーの効果、「スピリットソウル」!!」

白 スピリット

《オートマチックガンナー》

コスト1 軽減白1 <武装・動器どうぎ>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

シンボル：白

Lv1・Lv2 【スピリットソウル：白】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「白」（白のシンボル1つ）を追加する。

「私がアルティメットを召喚するとき、白のシンボル1つを追加する！」

「成る程…！」

「白銀の切り札…！最大軽減で召喚！」

《アルティメット・オーデイン》!!

白 アルティメット

《アルティメット・オーデイン》

コスト6 軽減白4 <新生・武装>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP15000

<4> Lv5 BP20000

シンボル：金

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『???'』

???

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは相手のスピリットからブロックされない。

「Uプレラトマホーク、Uフェンリルからレベル分を受け取る！よつて、レベル5だ！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ2↓4)

「アルティメット・プテラトマホーク コア5↓4 レベル5↓4」  
「アルティメット・フェンリル コア4↓3 レベル5↓4」  
「アルティメット・オーディーン コア4 レベル5 BP2000」

「来たアアー!!」

「(…昨日…)そこそ璃恵さんと何かやってたのって、こういうことだったんだ(…)」

「来ましたわね、本命の究極が!」

「Uオーディーンの召喚時、相手スピリット1体を手札に戻す!対象は…ジーク・スサノ・フリードだ!」

《アルティメット・オーディーン》

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

相手のスピリット1体を手札に戻す。

「ウェツ!? な、なんでヨ悠姫!」

「(…お姉ちゃんの癖かな)」

「ほほう、ではジーク・スサノ・フリードを手札に戻します」

(マリア手札7↓8)

(リザーブ0↓5)

「先輩に勝つてののなら、そのセイバーを討ち果たしから勝つ!!」

「っ!面白いっ!!」

「アタックステップ!Uオーディーン、アタック!Uトリガー!」

「その挑戦、受けて立ちましょう!」

「コストは!」

「マジック 《デルタバリア》、コスト4!」

「ヒット!ブロックされない!」

「フラッシュタイミング!最後の《救世神撃覇》!ドロージ、バーストをセットいたします!」

「

(マリア手札8↓7)

(リザーブ5↓4)

(トラッシュ3↓4)

(手札7↓8)

(手札8↓7)

〔バースト：無し↓セット〕

「ライフで受けましょう！」

(マリア ライフ3↓2)

(リザーブ4↓5)

「ライフ減少によりバースト！2枚目の《絶甲氷盾》！ボイドからコア1つをライフに、そして追加コストを支払いアタックステップを強制終了させますわ！」

(マリア ライフ2↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ4↓7)

白 マジック

《絶甲氷盾》

コスト4 軽減白1

〔バースト：自分のライフ減少後〕

ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

このバトルが終了したとき、アタックステップを終了する。

「ターンエンド！エンド時、Uオーデインは回復する！」

《アルティメット・オーデイン》

Lv4・5 『自分のエンドステップ』

このアルティメットは回復する。

〈マリア・第十三ターン〉

「絳焔の第十三ターン！」

(手札7↓8)

(リザーブ2↓3)

(トラッシュ7↓0)

(リザーブ3↓10)



「おーおー二人とも粘る粘る。ねえ碧」

「白と組んだ赤はしぶといどころの話じゃないじゃない」

「今の緋立姉のアタック。下手したらマリアのライフ全部持ってかれてたかもよ？」

「……………」

「メインステップ！ネクサス《暗雲射す鬼ヶ島》をレベル2で配置！」

（手札8↓7）

（リザーブ10↓7）

（トラッシュ0↓1）

赤 ネクサス

《あんらんさすおにがしま暗雲射す鬼ヶ島》

コスト3 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2

自分のスピリット／マジックの効果で相手のスピリットを破壊するとき、その効果で破壊できるBPを+1000する。

Lv2

???

「続けてバーストセット！」

（手札7↓6）

（バースト：無し↓セット）

「アタックステップ！セイバーで剣刃合体アタック!!バトル効果発揮！ライフ1つをセイバーへ！」

（マリア ライフ3↓2）

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア6↓7 BP26000  
↓31000」

「そしてライフ減少により、バースト！」

（バースト：セット↓発動）

「“世界”をその名に刻まれし英雄龍！」

世界の壁すら超え、続けてを束ねし王とならん!!

《霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド》!!

レベル3にて、堂々出陣!!」

ここに来て別のバーストスピリット!? スサノオじゃないのはどういうことだ…?

赤 スピリット

《霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド》

コスト9 軽減赤1紫1緑1白1黄1青 <覇皇・戦竜>

<1> Lv1 BP8000

<3> Lv2 BP12000

<6> Lv3 BP15000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分はデッキから1枚ドローする。

その後、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットできる。

Lv2・Lv3 『??』

???

「ザ・ワールドはわたくしのライフが3以下なら召喚が可能!更に召喚時、1枚ドローし、バーストをセットできます!バーストセット!」

(リザーブ7↓3)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア7↓5」

「霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド コア6 レベル3 BP16000↓21000」

(手札6↓7)

(バースト：無し↓セット)

(手札7↓6)

「セイバーは回復! 最後に…暗雲射す鬼ヶ島レベル2の効果により、オートマッチクガンナーを指定アタック!!」

「な…し、していアタック?!」

「悠姫イ!指定アタックつてのは強制的にバトルさせる効果だヨー!」

L v 2

系統:<戦竜>を持つ自分のスピリットすべては、アタックするとき相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

強制バトル!? …でも、オートマッチクガンナーを狙うってことと何か意味があるのか? 普通だとスピリットをマジックじゃなくても狙い撃ちに出て来てもBPを比べて破壊したら”とか……まさか!?

「ザ・ワールドレベル2からの効果!わたくしの”ロード・ドラゴン”の名を冠するスピリットが、相手のスピリットのみを討ち取ったとき、悠姫さんのライフ1つを砕き、トラッシュへ送ります!!」

「なっ…!?!」

前に真桜まおから聞いた”貫通効果”ってやつか…!場のスピリットを減らすだけじゃなくライフまでなんて!

《霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド》

L v 2・L v 3 『自分のアタックステップ』

カード名に「ロード・ドラゴン」と入っている自分のスピリットが、BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のトラッシュに置く。

「マジかよ…!?!」

「さあこのフラッシュタイムで何とかしなければ、貴女の敗北は確定的に明らかですわ!勿論、何とかできますわね?」

「当たり前だ!バースト発動!」

〔悠姫バースト:セット↓発動〕

《バトルキャンセル》!」

「黄色のマジック!良いタイミングだよ悠姫♪」

「…っ! (お、お姉ちゃんが…黄色使って…!)」

黄 マジック

《バトルキャンセル》

コスト3 軽減黄1

【バースト：相手のスピリットのアタック後】

自分のスピリットからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

バトル解決時、BPを比べずにバトルを終了させる。

「私のスピリットに乗ってるコア1つをライフに置く！対象は今バトルしてるオートマチックガンナーのコアをライフへ！」

「オートマチックガンナー コア1↓0 消滅」

(悠姫ライフ1↓2)

「追加コスト！ムゲンドラとグロッシュリザード、Uプレラトマホークから受け取って使う！」

「ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

「グロッシュリザード コア1↓0 消滅」

「アルティメット・プレラトマホーク コア4↓3」

(トラッシュユ4↓7)

「効果は不発でも構わないんだよな、璃恵！」

「OKOK♪ナイス判断だヨ悠姫〜！」

あのザ・ワールドが、スピリットとBPを比べて破壊したならば……  
“ っていう言うなら、アルティメットなら倒されても大丈夫なはずだ

……！

「……！」

「おー緋立センパイやるっすねー。今のは初心者とは思えないっすよ」

「す、すごい……。やっぱり、祐依先輩のお姉さんなんだ……」

「……（あんな人が黄色を使うなんて……）」

「やりますわね！ならばザ・ワールドでアタック！」

「Uプレラトマホークでブロック！」

「翼竜の斧刃、討ち取りますわ！」

Attack!!

霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド

BP21000↓win!

VS

Defense!!

Uプレラトマホーク

BP10000↓Lose...

(悠姫リザーブ0↓3)

「次！セイバーで剣刃合体アタック！ライフ1つをセイバーに渡し、BPプラス5000！」

(マリア ライフ2↓1)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー コア5↓6 BP31000  
↓36000」

「霸王ロード・ドラゴン・ザ・ワールド BP21000↓26000」

「そしてライフ減少によりバースト発動！

天使の囁きが再び力を呼び覚ます！

《マギアゲフリユスター》!!」

今度は黄色のバーストマジック…！もう何でもアリだな、つて言っても私もそうだけど！

「バースト効果、系統<覇皇>を指定！その系統を持つスピリット全てを回復させます！」

「また回復効果!？」

「この場合、余リアドバンテージを得られませんが、致し方ないでしょう！」

黄 マジック

《マギアゲフリユスター》

コスト6 軽減黄4

【バースト：自分のライフ減少後】

系統1つを指定する。指定した系統を持つ自分のスピリットすべてを回復させる。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

このターンの間、バトル解決時、BPのかわりにLvを比べ、Lvの低いスピリットが破壊される。Lvが同じとき、お互いのスピリットが破壊される。

「セイバーとザ・ワールドが回復!さあ、このアタックはどうします!」

「Uフェンリルでブロック! : フェンリルの効果とローガルド北方司令部の効果でBPは上がってるけど...!」

「アルティメット・フェンリル BP13000+3000+2000↓BP18000」

「神喰らう黄金の狼、討ち取ります!」

Attack!!

超霸王ロード・ドラゴン・セイバー

BP36000↓win!

VS

Defense!!

アルティメット・フェンリル

BP13000+3000+2000∥BP18000↓Loss

e..

(悠姫リザーブ3↓6)

「更にザ・ワールドでアタック!」

「ライフで受ける!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ6↓7)

「セイバー!!剣刃合体アタック!!」

「オーデインで、ブロック!」

すまん、璃恵...!

Attack!!

超霸王ロード・ドラゴン・セイバー

B P 3 6 0 0 0 ↓ w i n !

V S

D e f e n s e !!

アルティメット・オーデイン

B P 2 0 0 0 0 + 2 0 0 0 0 ≡ 2 2 0 0 0 0 ↓ L o s e . . .

「くっ…!」

「新たなる黄金の主神、討ち取りましたわ!」

(悠姫リザーブ7↓11)

「…ターンエンド!」

「何とか守り抜いた…!」

「キヤー♪悠姫イー!♪オーデインは気にすんなー!そのまま押し

切ッちゃえー!」

「…危なかった」

「…凄いだ…?!あの初心者か!」

「どうよ碧。バトルは終わるまで何があるか分からんדר?」

「ま、まぐれです!」

「運も実力の内さ」

〈悠姫・第十四ターン〉

「スタートステップ!」

(リザーブ11↓12)

(手札2↓3)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ12↓19)

「…っ!《リユーマン・クロウ》!」

(手札3↓2)

(リザーブ19↓18)

「リユーマン・クロウ コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「次、最後の《ネオ・ダブルドロ》に賭ける!」

(手札2↓1)

(リザーブ18↓16)

(トラッシュユ0↓2)

アルティメットが場にいないし、手札にも無い。ここで引かなければ絶対に負ける…。

「……負けるもんか……！」

引けなかったから負けましたなんて、カッコ悪い負け方はしたくないんでね……！」

「2枚、ドロー!!」

(悠姫手札1↓3)

「——っ、信じてたぞ “相棒” ! 《ムゲンドラ》!!」

(手札3↓2)

(リザーブ16↓15)

「ムゲンドラ (赤) コア1 レベル1 BP1000」

「引きましたか……！」

「そして……これが私の、切り札だ!!」

これは一か八かじゃない。運だろうと何だろうと、今引いたからにはこれが私の全力なんだ!

「ムゲンドラは赤のスピリットであると同時に、“白のスピリット”にもなる！」

よって条件は、完全に満たした!!

リユーマン・クロウ、赤のスピリットソウル!!」

赤 スピリット

《リユーマン・クロウ》

コスト0 軽減無し < 竜人 >

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<5> Lv3 BP4000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」(赤のシンボル1つ)を追加する。

「これが今の私最大の切り札！」



《アルティメット・ジークフリーデン》!!

レベル5で召喚だ!!」

赤白 アルティメット

《アルティメット・ジークフリーデン》

コスト7 軽減赤2白2 <新生・古竜・武装>

<1> Lv3 BP12000

<3> Lv4 BP20000

<6> Lv5 BP30000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上と白スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタツ

ク時』

???

Lv4・Lv5『??』

???

「これがジークフリーデン…！新たな姿となった聖皇ですか！」

「最後のバーストセット！これで勝負だ！」

(悠姫手札2↓0)

(リザーブ15↓6)

(トラッシュユ2↓5)

「アルティメット・ジークフリーデン コア6 レベル5 BP3

0000」

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ！リユーマン・クロウ、行けえ！」

「フラッシュタイミング！マジック《リブートコード》！不足分は鬼ヶ

島より確保！そしてわたくしのスピリット全ては回復します！」

(手札7↓6)

「暗雲射す鬼ヶ島 コア2↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓3)

白 マジック

《リブートコード》

コスト3 軽減赤1

フラッシュ:

疲労状態の自分のスピリットすべてを回復させる。

このターンの間、この効果で回復した、合体スピリット以外のスピリットはアタックできない。

「セイバーでブロックします!」

「これでいい! 相手による破壊で、バースト発動!」

(悠姫リザーブ6↓7)

(バースト:セット中↓発動)

「マジック《双光気弾》」

赤 マジック

《双光気弾》『1枚制限カード』

コスト3 軽減赤1

【バースト:相手による自分のスピリット破壊後】

自分はデッキから2枚ドローする。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

または、相手のネクサス1つを破壊する。

「まず2枚ドロー!」

(悠姫手札0↓2)

「更に追加コストで、そのブレイヴを破壊する!」

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ5↓7)

「セイバーの剣刃を破壊しますか...!」

【超霸王ロード・ドラゴン・セイバー BP26000↓16000

シンボル赤赤赤白↓赤白】

「ムゲンドラ、お前も行けえ!」

「ザ・ワールドで——」

「フラッシュユタイミング!」

「っ!？」

「マジック 《ブリッツオーダー》！」

(悠姫手札2↓1)

白 マジック

《ブリッツオーダー》

コスト7 軽減白4

フラッシュ:

相手のスピリット1体を手札に戻す。

その後、自分のスピリット1体を回復させる。

「そのザ・ワールドを手札に戻してもらおう！」

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ7↓12)

「なんと…！」

(マリア手札6↓7)

(リザーブ3↓9)

「そしてムゲンドラを回復だ！」

「お見事です！ですがしかし…！」

「…勿論何とかできる”んでしょ?”」

「っ！ふふっ…、勿論！マジック《タフネスリカバリー》！セイバーのBPをプラス2000し、その後BPが10000以上ならば回復させます！」

(手札7↓6)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ3↓6)

「超霸王ロード・ドラゴン・セイバー BP16000↓18000」

緑 マジック

《タフネスリカバリー》

コスト3 軽減緑2

フラッシュ:

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

その後、そのスピリットがBP10000以上するとき、そのスピリットを回復させる。

「回復したセイバーでブロック！更にマジック《ペガサスフラップ》を使用！比べずバトルを終了させ、セイバーを回復させます！」

「っ！」

(マリア手札6↓5)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ6↓9)

黄 マジック

《ペガサスフラップ》

コスト4 軽減黄1

フラッシュユ：

バトル解決時、BPを比べずにバトルを終了させる。

その後、自分のスピリット1体を回復させる。

「Uフリーデン！アタック！！Uトリガー！」

「——っ!? ネクサス《神焰の高天ヶ原》、コスト4です…！」

「ヒットっ！…でも破壊できるスピリットはいない！」

「惜しかったですわね」

「でも先輩の欲しがってたカードが落ちたみたいですね！」

「ふっ、その通りですわ！」

赤 ネクサス

《神焰の高天ヶ原》  
しんえんのたかまがはら

コスト4 軽減赤2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックスステップ』

系統：<覇皇>を持つ自分のスピリットが、ターンの最初にアタックするとき、相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックすることができる。

Lv2

系統：＜覇皇＞を持つ自分の赤のスピリットが相手によって破壊されたとき、自分のライフのコア1個をボイドに置くことで、そのスピリットを回復状態で自分のフィールドに残す。

「では…、セイバーでブロック!!」

Attack!!

アルティメット・ジークフリーデン

BP30000+20000=32000

VS

Defense!!

超霸王ロード・ドラゴン・セイバー

BP16000+20000=18000

「このフリーデンで…！討ち勝つ!!」

「よもや、押し負けるとは…！しかし、まだ！フラッシュタイミング！

《トライアングルトラップ》！相手のスピリット1体を疲労させます

！ムゲンドラを指定し、疲労！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ9↓12)

緑 マジック

《トライアングルトラップ》

フラッシュ：

相手のスピリット1体を疲労させる。

または、コスト4以下の相手のスピリット3体を疲労させる。

「——フラッシュタイミング！」

「っ!？」

「私の最後の手札…！マジック 《リゲイン》！」

「…っ！回復マジック、ですか…！」

白 マジック

《リゲイン》

コスト4 軽減白2

フラッシュ:

自分のスピリット1体を回復させる。

または、このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+3000する。

「ムゲンドラを回復させる! 不足分はUフリーデンから受け取る!!」

(悠姫手札1↓0)

「アルティメット・ジークフリーデン コア6↓4 レベル5↓4

BP30000↓20000+20000+20000=BP22000」

(トラッシュ12↓14)

「……はっはっはっはっはっ!!」

見事! 見事です!! 緋立 悠姫さん!!」

Attack!!

アルティメット・ジークフリーデン

BP20000+20000=22000↓win!!

VS

Defense!!

超霸王ロード・ドラゴン・セイバー

BP16000+20000=18000↓lose…

「討ち取ったあッ!!」

「わたくしはこれ以上マジックを使用すればセイバーのレベルが下がることは必至。その上、手札3枚が露呈しているこの状況。……ここまですわ」

(マリア リザーブ0↓6)

「ラスト……! ムゲンドラ、決めろ!!」

「最後のライフ! 貴女の勝利に捧げましょう!!!」

(マリア ライフ1↓0)

「っ……勝った…、勝ったぞおおおーっ!!!」

〔w  
i  
n  
n  
e  
r  
緋  
立  
悠  
姫  
!!〕

イチから二へなるために・Aパート

おそらく、バトルスピリッツ始めて一ヶ月もしない私が、一番精神を削りまくったバトルだった。疲労困憊、心身虚脱。

さつきあまりの衝撃に衝動的に立ち上がってとんでもない大声出してしまったが…今更だけど大丈夫か？

「ゆっつきいイイ〜〜!!お〜〜め〜〜で〜〜と〜〜!!!」

「ぐおあ!?う、うるせえ!!」

気が抜けて棒立ち状態だったところに璃恵りえが全力飛び込んで首に腕を回して抱き着いてきた。危うく前のめりに倒れ込みそうになるのを堪えるが、テーブルに両手をつけて土下座みたいな体勢になってしまった。

人の気も知らないで全身で喜んで顔をグリグリ押し付けてくる。止めんか暑苦しい…。

「悠姫さん」

「あ、赫蓬院先輩…邪魔だよ璃恵!」

「ふふつ、仲睦まじいことで何よりです」

仲睦まじいって…、まあ親友ですけど。

「良きバトルでした。久しぶりに熱く燃えるバトル、わたくしの英雄達も大変満足しています!」

オーバーなアクションで両腕を振り上げて満足げ。…よくよく冷静になって考えてみれば、私生徒会長をバトルで負かした…んだよね? 大丈夫なのかこれ。

「——そしてこの度は、誠に、誠に申し訳ありませんでしたツツ!!!」  
どうしようか考えていたら、謝罪の言葉と共に物凄い勢いで土下座された。…マジでどうしよう。

「か、会長!」

「止めないでくださいまし碧あき!この通りです!」

…ここまでされて許せないことはない。心から謝ってくれて頭ま



で下げられたんだ。

「…赫蓬院先輩、こちらすみませんでした」

「……」

「だからもう立ってください。お互い頭に血が上ってたことですし、水に流しましょうよ」

私もこんなことで遺恨なんか遺したくない。今だ土下座している先輩の手を取りを優しく立ち上がらせる。言えた立場じゃないが、案外頭に血が上り易いタイプなのかも知れん。

「悠姫さん…」

「私が言えた立場じゃないんですけど、会長が簡単に頭下げちゃダメですよ」

「しかし、誠心誠意を見せるなら土下座だろうと教わりましたもので」

「……誰に？」

先輩の目線の先、あのアマネ先輩がいる。…あ、顔背けた。あんたか！

「…とにかく、もう終わりにしましょ」

「ええ。…璃恵さんも、祐依さんも、失礼を致しました」

「悠姫が勝ったし！もう大満足ヨ！」

「お姉ちゃんが許すなら、私も大丈夫です」

璃恵と祐依の許しも出たことだし、赫蓬院先輩と仲直りの握手を交わす。とにかく丸く収まった、のか？わだかまりも無くなった…よな？

「——てなことがあったんですよ」

『へえ、悠姫さんもよくよく難儀な目に遭うのね』

「厄年ですかね」

『何言ってるのよ』

その夜、偶然彩音さんからの電話もあり事の顛末を話した。愚痴ではないのよ。話さずにはいられなかったのさ。

…余談だが、あのバトルの後、お互い色々騒がせたとの事で、私達

は生徒会の手伝いをする事になった。やったのは書類整理ぐらいだったが、昨日赫蓬院先輩がバトルに向けて書類そちのけでデッキを調整してたらしく溜まりに溜まってしまったらしい。

「…そういえば」

『何?』

「一年生の一人に物凄い睨まれて恨み言言われたんですよ」

たしか… ありすがわ 有栖川 ようこ 洋子さん、だっけ、中等部一年の。

『強い者に憧れる者、敬愛する者は必ずいるもの。自分が憧れる先輩が初心者に負けたとあれば、憤るに決まってるわ』

「…そうですね」

つまり、有栖川さんは赫蓬院先輩を敬愛していて、負かした私は憧れる先輩に対して泥を付けた敵。しかもあの恨み言からして不倶戴天の敵って訳だ。

『洋子…、相変わらずね』

「…あれ? 有栖川さんと知り合いなんですか?」

『ええ。最近はこちらと話せてないんだけど後輩よ』

「…後輩? バトスピの?」

『学校のよ』

「……………」

『因みに私は中等部三年だから』

「年下だったのか…」

『そうよ。セ・ン・パ・イ』

「おお…」

『そうだセンパイ』

「普通で、どうぞ」

『そう? なら悠姫さん、新しいブラスターパックが出るのは知ってるかしら』

「え? また出るの?」

『白銀のから聞いて…いえ、話を聞く限りそんな状態じゃなかったってことよね。ドリームブラスター【バーストインパクト】ってやつな

んだけど』

彩音：さんが言いには、過去に出た『霸王編』に出た有用なカードが再収録、一新して販売されるとのこと。：私の懐がバーストインパクトしそうなんだけど。

『ガバガバ買う必要はないわ。1、2箱で十分よ』

「その箱で買うのが大変でしてね：」

：とにかくそれを買うとして中身は何なんだろうか。今初めて知ったからどんな内容なのか気になる。興奮冷めやらぬといえばそうなんだけど、また自分のデッキが強くなるかも。そう考えるとワクワクしてくる。

『なら、次の休日に行きましよう。ちょうど土曜日で発売日だし』

「了解です」

『じゃあ、土曜日に。：それより敬語はどうにかならないの？』

「：善処してみ：る」

『期待できそうにないわね。それじゃあね、お休みなさい』

「お休みなさい」

通話を切り、軽く伸びをする。1番落ち着いて話が出るのが年下(厨二病) ってどうなんだか。私自身あんま社交的ではないタイプだから何が普通かは分からん。

とにかく、そのバーストインパクトを楽しむに今日はずっと休むとしよう。：明日も生徒会の手伝いだ。

——すっ飛ばして土曜日。

「おツはよ〜悠姫〜♪」

「おはよう」

私人家で待ち合わせ、璃恵と一緒に翠乃姉妹が営むカードショップ「縁」に行くとする。

あの彩音さんと話した次の日、璃恵にバーストインパクトの件を話したら教室で奇声を上げながら転げ回り始めた。勿論蹴り飛ばして

止めさせたが。

「お、アレしヤツくりちやんだよネ？」

「ん？ ああ、そうだな」

しばらく歩くと、シヨップの近くに一際目立つ人物がいた。頭の方から爪先まで黒のゴスロリ服で着飾った彩音さんだ。似合うからいいんだが、目立つな。

「ヤツホ〜♪おッ待たせ〜♪」

「ちゃんと挨拶なさい。おはよう」

「おはよう彩音さ…」

「……」

「彩、音…」

「ふふっ。おはようございますセンパイ」

イタズラっぽく微笑まれ、丁寧に軽くお辞儀までされる。…慣れないなやっぱ。敬語で固定したのがいけなかった。だって立ち振る舞いからして年上かと思っただからしようがないだろう。

「うわキモッ。どしたのしヤツくりちゃん」

「吃逆じゃなくて蛇剝じやくり！もとい彩音！先輩を敬ったんじゃないキモいとか言われる筋合い無いわ！」

「えッ、今更？」

「煩い！あなたは絶対敬わないから！」

またいつものやり取りが始まりそうだったので二人を諫めてお店に入るよう仰ぐ。こんなところで喧嘩したらいい迷惑だからな。

「あ、いらっしやいませなのですよー！」

お店に入れば真桜まおの元気な声で迎えられる。家族は別として知り合いの中では一番の癒し系だ。前のバトルで荒んだ心が癒されて回復していくぞ。

「こんにちは真桜」

「悠姫お姉さん！いらっしやいなのです！」

「やほ〜♪真桜ちゃ〜ん♪」

「こんにちは。いつもお手伝いお疲れ様」

「璃恵さん、彩音さんもいらつしやいませなのです！」

思わず頬が緩みそうになるが我慢。

「今日はバーストインパクトの発売日なのです。買っていつてくださ  
いなのです！」

「勿論買いますヨク♪」

「私と白銀のは3箱で。…悠姫さんは？」

…どうするか。実は母に相談したところとりあえず1箱分慈悲に  
より頂けた。有り難い限りです。

てな訳で1箱を購入することに決定…、つてもう既に<sup>すみれ</sup>菫さんと真桜  
が用意しておいてくれてたようで。

「は〜い、璃恵ちゃんと彩音ちゃんの予約分はそこにあるからね〜。  
悠姫ちゃんは1箱でいいのよね〜？」

「はい、お願いします」

「は〜い。お買い上げありがとうございます」

購入完了。パッケージにいる竜みたいなのやつか、左側にいる虎み  
たのが赤のカードっぽいし、欲しいのはそこら辺かな。…あ、真桜も  
一緒に買うのか。

「うぷぷ♪ 新バラガン、イケメンでイイねエ〜♪」

「セイメイ様も全面イラストになって荘厳さが加速して良かったわ」

「ウシワカもかつこよくなってるのですよー！」

皆思い思いのカードが当たったらしく、表情が綻んでいる。

さて私は…っと。

「…：…《鉄の霸王サイゴード・ゴレム》？ 青のカードか」

「あ、サイゴードさんなのです」

「おオ、霸王編で5弾を丸々メタカードだらけにした原因カードだね」

「えっ、マジで？」

「悪化したのは《血塗られた魔具》でも《闇騎士アグラヴェイン》でも  
ないのよ…。そりゃ遅延するようなカードだけどそうでもしなきゃ

止められないカードがあつた星座編のカードを恨みなさいよ……」

彩音がテーブルを軽く叩いて悔しそうにしている。……璃恵や真桜に聞いたところ、バトスピの大会「チャンピオンシップ」で、さつきのサイゴード・ゴレム、血塗られた魔具、闇騎士アグラヴェインのコンボデッキ、名前を「不死サイゴード」が思わぬ結果を残したことに、魔具が1枚制限カードとなつてしまったとか。

紫 ネクサス

《血塗られた魔具》『制限1カード』

コスト3 軽減紫1

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

コアが2個以下しか置かれていないスピリットがアタックしたとき、そのスピリットを破壊する。

Lv2 『自分のドローステップ』

ステップ開始時、自分の手札にある【呪撃】／【不死】を持つスピリットカード1枚を破棄することで、ドローの枚数を+2枚する。

青 スピリット

《鉄の霸王サイゴード・ゴレム》

コスト8 軽減青4 <霸王・造兵>

<1> Lv1 BP5000

<4> Lv2 BP10000

<8> Lv3 BP13000

シンボル：青

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】

相手のデッキを上から、召喚時効果を発揮したスピリットのコストと同じ枚数破棄し、バースト効果を持つカードが破棄されたとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3 【大粉碎】『このスピリットのアタック時』

相手のデッキを上から、このスピリットのLv1につき5枚破棄

し、バースト効果を持つカードが破棄されたとき、相手のスピリット1体を破壊する。

紫 スピリット

《闇騎士アグラヴェイン》

コスト5 軽減紫2赤2 <魔影>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP7000

シンボル：紫

【不死：妖蛇】『お互いのアタックステップ』

トラツシュにあるこのスピリットカードは、系統：<妖蛇>を持つ自分のスピリットが破壊されたとき召喚できる。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

【不死】の効果で召喚されたとき、自分のトラツシュにあるコスト7以上のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

ただし、この効果で召喚されたスピリットの『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

…と、この3枚の効果が合わさり「ループ」という現象が起こるよ  
うで、これが制限カードになった原因らしい。

さておき…、璃恵の話じゃ入ってるXレアは3枚らしいけど…：お  
?! これか？

「《刀の霸王ムサシード・アシュライガー》…」

「Oh！悠姫ラツキーじゃん♪どのデッキに入れても大体仕事するア  
シュライガーさんだヨ♪」

赤 スピリット

《刀の霸王ムサシード・アシュライガー》

コスト7 軽減赤3 <霸王・皇獣>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：赤

〔バースト：相手のスピリットのアタック後〕

このバースト発動時にアタックしたスピリットがBP5000以上なら、このスピリットカードを召喚する。

その後、このターンの間、このスピリットをBP+3000する。

Lv2・Lv3『このスピリットのバトル時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手の合体スピリットのブレイヴ1つか、相手のネクサス1つを破壊する。

Lv3『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

おお、これは強いな。バースト効果で召喚できたらBPがプラスされて、最高13000まで返り討ちに来るのはいいな。レベル3からはアタックでライフを減らしたら更にもう1つ打てるのは強い。

「……伝言兄の次元アシユライガー」

「ぶふオ……」

「汚ねえな、何噴き出してんだ璃恵」

「い……いやネ……むふふ……」

分からん。まあいいや。最後のXレベル1枚は……出た。これか。

「《リユーマン・ゴッドブレイカー》」

「あ！新規Xレアなのですよ」

「強いバースト効果持ち良いカードよ。まあ若干デッキ構成が偏るけど」

良いカードだ。イラストも私好みのカッコイイカードだ。……効果から見てこのまま私のデッキに入れても良さそうだな。早速入れて見よう。

そして、しばらくするとお店でフリーバトルの小さいイベント会が開かれた。総当たり戦の簡単なものらしい。

……力試しに良いな。あの生徒会長とのバトル後でいくらか自信は付いた。少し、見知らぬ相手とのバトルで試してみたい。なので参加することにした。多分璃恵や彩音や真桜とも当たるかも知れないけど、どこまで通用するか試してみたい。真桜の場合は真桜からのリベ



ンジ戦になるか。

「《アルティメット・ジークフリード》でアタック。Uトリガー。コストは？」

「…!? 《ストームアタック》、コスト4だ…」

「ヒット。スピリットは必ずブロックしてくれ」

「《ジーク・ヤマト・フリード》でブロックするしかないか…」

「スピリットでブロックしたためライフ1つをリザーブへ」

「くう、ライフ0だ。ありがとうございます」

「よしっ、ありがとうございます」

よし、勝てた。まずは1勝。危なかったが良い滑り出した。前だったらあたふたしてまともに進められなかったと思う。…短い期間で多少なり強くなれたのは璃恵達のスパルタぶつかり稽古のおかげだろうか。

「さて、次の相手は…」

「…あ、あの…」

「ん？」

「お相手の、見習いさん、ですよね…？」

「あ、はい」

大会では登録シートに名前を書き込むのだが、ペンネームやハンドルネームとか分かりやすいものなら何だっていいらしいので、私は安直に「見習い」にした。

璃恵は「白銀」、真桜は「緑迅」、彩音は「ソルマルタ・レーテル・トウルリーリースII蛇剝」。…長いので蛇剝で登録されたが。で、この帽子を深く被って長い黒髪の三つ編み二つの方は…

「えっと…」

「ほ…「ホムホム」…です」

「ホム…？」

シートには…あ、ホムホムで登録されてる。…ホムホムって何なんだ？

「よろしく、お願いします…」

「よろしくお願いします」

ちよつとオドオドしてて、目深に被ってるから表情はよく見えないが、眼鏡をしているのはわかる。……それにしても…

「……………」

「? あ、あの、何か…」

「あ、いやそのね。声がさ」

「声…?」

「うん、何となく妹にね」

「っ!」

こう、声音がさ。何となくだけど似てる気がするのさ。

「あ、あのあの…!ここ声が似てるっていうのはあの、稀によくますから!」

「えっ、あ、そうですね…」

何故か慌てふためかれた。…あがり症なのか人付き合いが苦手なのか、それとも声にコンプレックスがあるのか。そうなら深く聞かないようにしよう。

「と、ともかく、バトル始めましょう、ね?」

「あ、はい…」

〈緋立 悠姫 (エントリーネーム：見習い)〉

【灼熱のアルティメット】 (ダッシュ)

vs

〈エントリーネーム：ホムホム〉

【??】

ジャンケンポン! 負けた!

先攻後攻はどうするんでしょうか。

「…では、後攻で」

「お、了解です」

〈悠姫 先攻・第一ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札 4 ↓ 5)

ふむ、悪くはない。…ホムホムさんは…おおう慣れていらつしやる  
ようで。

「メインステップ。まずバーストをセット」

(手札 5 ↓ 4)

〔バースト：無し ↓ セット中〕

「次に《リユーマン・フェニックス》を召喚。レベル1」

(手札 4 ↓ 3)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 3)

「リユーマン・フェニックス コア1 レベル1 BP2000」

「リユーマン・フェニックスは、私の場のスピリットの数に2体以下なら  
レベルは3になる」

「リユーマン・フェニックス レベル1 ↓ 3 BP2000 ↓ 600

0」

「ターンエンド」

〈ホムホム 後攻・第二ターン〉

「では、スタートステップ」

(リザーブ 4 ↓ 5)

(手札 4 ↓ 5)

「メインステップ。…? なに、か?」

「あ、いやいや」

オドオドしてるからだどどしいのかと思ったが、スラスラとこな  
していくし。…二つ名を言わないし。

「気にせずに」

「は、はい…。では、《冥土の魔女ヘレン》をレベル1で召喚しま  
す」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 5 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 4)

「冥土の魔女ヘレン コア1 レベル1 BP2000」

黄色か！黄色のカードを使ったことは前にあるが、使われるのは初めてだな。

「ヘレンの召喚時効果。私の手札にあるマジックカード3枚を〴〵オープン〴〵して、オープンしたカード1枚につき1枚ドロウします」

黄 スピリット

《冥土の魔女ヘレン》

コスト4 軽減黄1 <導魔>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるマジックカード3枚までをオープンして手元に置くことで、オープンしたカード1枚につき、自分はデッキから1枚ドロウする。

オープンしたマジックカードは、ゲーム終了時まで、手札にあるときと同様に使用できる。

《ライフチャージ》、《ライトニングデリバリー》、《バトルキャンセル》をオープンします」

●オープンカード

・ライフチャージ

・ライトニングデリバリー

・バトルキャンセル

(手札4↓1)

「オープン…か…」

「…えっと、えっと、オープンというのは、こんな風に手札のカード手元に表向きで置くことを指すんです。オープンして手元に置いたカードは、相手や自分からの影響を受けなくなります」

「ほうほう」

「でも、普通に使用することはできません。たださっき言った、手札を対象にした効果は受け付けません」

例えば、「手札にある○○をコストを支払わず使用（召喚）できる」などの対象になれないんです。：例外もあるにはありますが」

「へえ、なるほど…」

つまり手札のカードを見せることをアドバンテージにする効果か。黄色ならでは、なのかな。

「では、3枚オープンしたので、3枚ドロウします」

（手札1↓4）

「そして、バーストをセットします」

（手札4↓3）

（バースト：無し↓セット中）

「ターンエンドします」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札4↓5）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ1↓4）

「さて：。《ルーキー・リユーマン》をレベル2で召喚」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュユ0↓1）

「ルーキー・リユーマン コア1 レベル2 BP3000」

「このままアタックステップ。リユーマン・フェニックスでアタック。効果で1枚ドロウ」

（手札4↓5）

「ライフで受けます」

（ホムホム ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「ライフを減少によりバースト発動します。《絶甲氷盾》です」  
「ふむ」

（ホムホム バースト：セット↓発動）

「ボイドからコア1つをライフに置きますね」

(ホムホム ライフ4↓5)

(バースト：無し)

「なら続けてルーキー・リユーマンでアタック。同じくレベル2からのアタック時効果で1枚ドロ」

(悠姫手札5↓6)

「そちらもライフで受けます」

(ホムホム ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「これでターンエンド」

〈ホムホム・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ。ネクサス《ほしぞら星空の冠》を配置します」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ0↓3)

黄 ネクサス

《ほしぞら星空の冠》

コスト4 軽減黄2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄

Lv1・Lv2

自分のライフが減ったとき、自分のデッキを上から1枚オープンできる。そのカードがコスト2以下のスピリットカードのとき、コストを支払わずに召喚できる。

召喚しない、または、他のカードのときは手札に加える。

Lv2 『相手のターン』

スピリット／マジックの効果で回復した赤／緑／青のスピリットすべてを破壊する。

「更に《天使サラティ》をレベル2で召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ3↓5)

「天使サラティ コア2 レベル2 BP4000」

黄 スピリット

《天使サラティ》

コスト4 軽減黄2 <天霊>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 [??] [??] [??]

???

Lv3 [??] [??] [??]

???

「ふむ…」

黄色のカードって女の子や可愛いのが描かれてることが多いよな。赤や紫みたいに厳ついカードって見たことないし。

「アタックステップ。サラティでアタックです」

来たか。と言っても自由にできるカードも無いし、ここは…

「ライフで受ける」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「では、サラティレベル1からの効果、【聖命】発揮です。サラティのアタックで相手のライフを減らしたとき、ボイドからコアをライフに1つ置きます」

(ホムホム ライフ4↓5)

「ライフが元に戻った…」

「黄色のキーワード効果ですよ」

《天使サラティ》

Lv1・Lv2・Lv3 【聖命】『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

「これは悠長に構えてたらヤバいな。てなわけでライフが減ってバースト発動！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「《エクリップス・ドラゴン》！バースト召喚だ！」

(リザーブ2↓1)

「エクリップス・ドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

赤 スピリット

《エクリップス・ドラゴン》

コスト6 軽減赤3 <星竜>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP9000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3 【強化】

アルティメット以外の自分の「BP破壊効果」の上限を+1000する。

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

コスト3以下のスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

「効果が自分の足引っ張ってるように思えるがそうでもない」

「……………」

…苦笑いされた。いいさ、良いのさ！これは戦略…なんだよ、きつと。強化持つてるし、赤の苦手な速攻タイプ、コスト3以下を抑えら



れるんだから。

イチから二へなるために・Bパート

〈悠姫・フィールド状況〉

ライフ4 リザーブ1 トラッシュユ1

手札6

・リユーマン・フェニックス コア1 Lv1

・ルーキー・リユーマン コア2 Lv2

・エクリプス・ドラゴン コア1 Lv1

〈ホムホム・フィールド状況〉

ライフ5 リザーブ0 トラッシュユ5

手札2

・冥土の魔女ヘレン コア1 Lv1

・天使サラティ コア2 Lv2

・星空の冠 コア0 Lv1

オープンしているカード

・ライフチャージ

・ライトニングデリバリー

・バトルキャンセル

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ2↓3)

はてさて、あの見えている手札…オープンカードはいつ使われるんだろうか。直接あれに干渉できそうなカードを持ってない以上、どうこうできる訳でもないから今は無視しよう。バトルキャンセルが見えてるなら、アタックする順番は考えないといけないか。

「ネクサス《狩る者の集落》を配置」

(手札7↓6)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュ0↓1)

さてここでレベル2にしておくべきか？ 一応強化が乗るらしいから、2にしておけば破壊できる範囲がBP4000以下破壊が5000以下に、アルティメットがいたらBP5000以下破壊が6000以下になる。

今見た感じ黄のカードは元々のBPがかなり低いからまとめて破壊しやすいと察した。なら赤の独壇場じゃね？ 勝ちもらったかな？

「集落をレベル2にしよう」

(リザーブ2↓0)

「狩る者の集落 コア0↓2 レベル1↓2」

「アタックステップ。エクリプス・ドラゴンでアタック」

「ライフで受けます」

(ホムホム ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフが減ったので、星空の冠の効果が発揮されます」

黄色ってバトルをしない効果が多いんだよな、たしか。赫蓬院先輩とのバトルでみた《ペガサスフラップ》ってのもBP比べさせないでバトルが終わったりしてるし。

あとは系統を指定しての回復だけ？ま、マギ：マギア：なんとか。

「デッキトップをオープンして、それがコスト2以下のスピリットカードなら、コスト支払わず召喚できます。召喚しない、または違ったら手札に加えます」

●オープンされたカード

《アルティメット・エンジユ》

「っ!? “黄のアルティメット”…!」

「では違ったので手札に加わります」

(ホムホム手札2↓3)

今見えたのは黄のアルティメット…。このホムホムさんもアル

ティメット使うのか。

「：ターンエンド」

〈ホームホーム・第六ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札3↓4）

（トラッシュユ5↓0）

（リザーブ2↓7）

「メインステップ。オープンしている《ライフチャージ》を使います。対象はヘレンに」

（リザーブ7↓3）

（トラッシュユ0↓4）

（リザーブ3↓6↓7）

「私の場には黄のスピリット、サラティが。よって、条件は満たしました。」

《アルティメット・エンジユ》。

ステージこの場に舞い降ります。レベル3です」

（手札4↓3）

（リザーブ7↓4）

（トラッシュユ4↓6）

「アルティメット・エンジユ コア1 レベル3 BP8000」

来たか黄のアルティメット。実は買ったアルティメットバトル01にあっただがちやんと見てなかった。

黄 アルティメット

《アルティメット・エンジユ》

コスト4 軽減黄2 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP8000

<3> Lv4 BP10000

シンボル：金

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4『このアルティメットのアタック時』

???

「サラテイのレベルを3に」

(リザーブ4↓2)

「天使サラテイ コア2↓4 レベル2↓3 BP4000↓6000」

「バーストをセットします」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

…攻勢に出るのか？

「アタックステップに入ります。天使サラテイでアタックします」

さてこのアタックはどうするか。破壊できるカードが手元にならないからフェニックスかルーキー・リユーマンでブロックするのが良さそうだが…。コアもほしい。

「フラッシュはありますか？」

「…ない」

「では、こちらのフラッシュで、オープンしている《ライトニングデリバリー》を使います。黄色2軽減で1コストです」

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ6↓7)

黄 マジック

《ライトニングデリバリー》

コスト3 軽減黄2

フラッシュ：

自分はデッキから1枚ドローする。

このターンの間、【光芒】／【聖命】を持つ自分のスピリットすべてをBP+1000する。

「ドローできてBPを上げるマジックか…。黄って面白い効果多いんだなあ…」

「っ！ き、興味ありますか!?黄色に!」

「え? ま、まあ、多少は…」

「じ、じゃあ…!」

「あの…今はバトルを…」

「あっはい…」

熱い黄色使い、なのかな。まあ、使うかどうかは終わってから考えてみよう。

「で、では…1枚ドロウして、サラテイのBPをプラス1000します」

(手札2↓3)

「天使サラテイ BP6000↓7000」

「…メインのアタックはどうしますか？」

「う〜ん…、通すかな。ライフで」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「サラテイの【聖命】発揮。ライフ1つ回復です」

(ライフ4↓5)

「そちらのアタックによってライフが減ったから狩る者の集落の効果が発揮するけど…」

「強化込みの5000以下はいませんね」

不発か…。集落よりもフェニックにコア置いた方がよかったか…。

「そしてバトル終了時、サラテイレベル3の【光芒】発揮です」

「どういう効果だっけ？」

「今このバトルで私が使ったマジックすべてが手札に戻ります」

「フアツ!？」

「使ったライトニングデリバリーを手札に戻しますね」

(手札3↓4)

《天使サラテイ》

Lv3 【光芒】『このスピリットのアタック時』

バトル終了時、自分がこのバトルで使用したマジックカードすべては手札に戻る。

「なにそれつよい」

「これも黄色のキーワード能力なんですよ」

「へえ…」

「謳い文句にも『マジックを巧みに操る黄属性』なんて言われてるんですよ」

「そうなのか…」

「……実際はそうでもないんですけどね」

「えっ」

…とにかく、テクニカルな色だって事なんだな。

「と、とにかく、次はUアンジュでアタック。アルティメット・トリガー、ロック・オン」

可愛らしく指で銃を作ってこちらのデッキに向けるホムホムさん。  
…璃恵とはやり方が違うんだな。

「可愛い」

「えっ…!?!」

「落ちたのは…《エッジ・ウルフ》。コスト3」

「ヒットです。効果発揮します」

「黄色のUトリガーはどんな効果だろうか」

「では。Uエンジュは今ヒットしたカードのコスト以下のスピリットからブロックされません」

「おう…」

「更に、私のトラッシュのマジックカード1枚を手札に戻します」

「つよい」

《アルティメット・エンジュ》

【Uトリガー】Lv3・Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは、トラッシュに置いたカードのコスト以下の相手のスピリットにブロックされず、自分のトラッシュにあるマジックカード1枚を手札に戻す。

「それでは、ライフチャージを手札に戻します」

(ホムホム手札4↓5)

「メインのアタックはどうしますか?」

「フェニックスもルーキーもブロックできないならライフしかないな  
…」

(悠姫3↓2)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンドです」

〈悠姫・第七ターン〉

「色々マズいなあ…。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札6↓7)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ3↓4)

「メインステップ。…《ムゲンドラ》をレベル1で召喚」

(手札7↓6)

(リザーブ4↓3)

「ムゲンドラ(赤) コア1レベル1 BP1000」

「アルティメットが来るならこつちも…! 《究極龍王リヴァイア》、レベル4で召喚だ!」

(手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「レベルに足りない分は集落から2つ、ルーキー・リユーマンから1つ受け取る」

「狩る者の集落 コア2↓0 レベル2↓1」

「ルーキー・リユーマン コア2↓1 レベル2↓1」

「究極龍王リヴァイア コア3 レベル4 BP17000」

「アルティメット化した《水龍王リヴァイア》ですね…」

「コスト7、BPも高いからそうそう抜けないぞ」

相手がライフ回復をしてくるなら、それを上回る回数アタックしなきゃならん。否でも応でもアタックしなくちゃドンドンじり貧になつて行くのはどの色でも共通か。

「エクリップス・ドラゴンには悪いがここは退いてもらつて…。次にバーストをセットして、アタックステップ」

「エクリップス・ドラゴン コア1↓0 消滅」

(リザーブ0↓1)



(手札5↓4)

(バースト：無し↓セット)  
アタックする順番は……

「ムゲンドラ、行け！」

「ライフで受けます」

(ホムホム ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「星空の冠効果です」

●オープンしたカード

《ライフレボリユーション》

「手札に加わります」

(手札5↓6)

「次、フェニックス！」

「そちらもライフで受けます。冠の効果発揮です」

(ホムホム ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

●オープンしたカード

《ニジノコ》

「コスト3以下、コストを支払わず召喚します。レベル1」  
(リザーブ3↓2)

「ニジノコ コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「ニジノコ？」

「あ、見ますか？」

黄 スピリット

《ニジノコ》

コスト1 軽減無し <戯狩ししし>

<1> L v 1 B P 1 0 0 0

<2> L v 2 B P 2 0 0 0

<3> L v 3 B P 3 0 0 0

シンボル：黄

L v 1

このスピリットの色とシンボルは赤のとしても扱う。

L v 2

このスピリットの色とシンボルは紫のとしても扱う。

L v 3

このスピリットの色とシンボルは白のとしても扱う。

「すげえ、自分の色と合わせて4色になれるのか!」

「良い子でしょう。黄色のデッキを作る際、一考してみてくださいね。

そして、最後にライフ減少でバースト発揮。2枚目の《絶甲氷盾》で  
す」

〔バースト：セット中↓発動〕

(ホムホム ライフ3↓4)

「追加の4コストを支払って、アタックステップを強制終了させます。  
足りない分はサラティから」

「むう、追い詰められんかったか…」

(ホムホム リザーブ2↓0)

〔天使サラティ コア4↓2 レベル3↓2〕

(トラッシュユ7↓11)

「ターンエンド」

〈ホムホム・第八ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札6↓7)

(トラッシュユ11↓0)

(リザーブ1↓12)

「メインステップ」

それはそれとして現実問題、追い詰められたのはこっちなんだよな  
…。あのUエンジユを止められるのはUリヴァイア。サラティとニ  
ジノコ：後続が来るのを考えるとそこらを止められるのはルーキー・  
リニューマンのみ。

「…では、私の切り札、『新しいアルティメット』をお見せしちやいま  
しょう」

…何かヤバいのが来そうだな。

「麗美なる大天使の新たな姿。」

《アルティメット・ミカファール》

《アルティメット・ヴァリエル》

「この劇場に華々しく降臨です」

…っ！大型のアルティメットが2体一気に並ぶのか！

「レベルに足りない分はサラティから。これで2人の大天使はレベル5で現れます」

(手札7↓5)

(リザーブ12↓0)

(トラッシュ0↓7)

「天使サラティ コア2↓0 消滅」

「アルティメット・ミカファール コア4 レベル5 BP2000」

「アルティメット・ヴァリエル コア3 レベル5 BP1700」

黄 アルティメット

《アルティメット・ミカファール》

コスト6 軽減黄3 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP14000

<4> Lv5 BP20000

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

黄 アルティメット

《アルティメット・ヴァリエル》

コスト7 軽減黄3 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP14000

<3> Lv5 BP17000

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

「アタックステップ。Uミカファールで、アタック。Uトリガー、ロック・オン」

「…っ、《アルティメット・プテラトマホーク》。コスト5」

「ヒットです」

「……………」

「…………フラッシュはありますか?」

「えっ?」

「…ヒットしたのに何もしない、のか?」

「あ、いや、無い」

「では、私のフラッシュで《アルティメットプラズマ》を『ノーコストで』使います」

「ノーコスト…!?!」

《アルティメット・ミカファール》

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

自分の手札にある／手元に置いてあるマジックカード1枚を、フラッシュタイミングでコストを支払わず使用できる。

「インチキ効果も大概に…」

「それは白に言ってください。アルティメットプラズマの効果炸裂です」

「ど、どういう効果で?」

「おね…見習いさんのスピリット2体までを好きな順番でデッキの1番下に戻します」

「ファツ!？」

「ムゲンドラとルーキー・リユーマンを選んで、1番下がムゲンドラ、2番目がルーキー・リユーマンでお願いします」

「ムゲンドラ デッキボトムへ」

「ルーキー・リユーマン デッキボトムへ」

(悠姫リザーブ1↓3)

ノオーツ!?!マイフレインズ!!

「そして、戻した数1につき、私は1枚ドロウします。2体戻したので2枚ドロウ」

(ホムホム手札5↓7)

黄 マジック

《アルティメットプラズマ》

コスト12 軽減黄2

トラッシュにあるこのマジックカードは、一切の効果を受けない。

フラッシュ:

相手のスピリット2体までを好きな順番でデッキの下に戻す。

デッキの下に戻したスピリット1体につき、自分はデッキから1枚ドロウする。

このマジックカードは自分のアルティメットがアタックしている間しか使えない。

「なんてピーキーすぎるマジック…。コスト12で…」

「Uミカファール専用のマジックみたいなものですからね…。そしてここでUミカファールのUトリガー効果が発揮されますよ」

「そうなのか。案外手間だな」

「自己完結できないUミカファール…。でも、私は黄を使います!」

そ、ソウデスカ…。それより今やつと起きるUトリガー効果って何だ? やたら発揮するのが遠回りだが…。

「トリガーがヒットして、私マジック効果でお…見習いさんのスピリットを1体以上戻したら、ライフ1つをリザーブへ置きます」

「うおつ、マジか!?!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ3↓4)

ヤバいやばい！これじゃバースト発動できないって！

「か、返しのフラッシュュ！」

「はい、どうぞ」

「《ホーリーエリクサー》！足りない分はUリヴァイアから受けとつて、リザーブのコア1つを私のライフに！」

(リザーブ4↓1)

「究極龍王リヴァイア コア3↓2 レベル4↓3」

(トラッシュユ3↓7)

(リザーブ1↓0)

(悠姫ライフ1↓2)

ランダムパックで当たった緊急措置の回復カード入れておいてよかったです。

白 マジック

《ホーリーエリクサー》

コスト4 軽減白3

フラッシュュ：

リザーブから、自分のライフにコア1個を置く。

「これでフラッシュュは終わりです。メインのアタックは」

「ライフで受けるしかない」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

「危ねえ…。ライフが減ってバースト！《アルティメットウォール》！」

白 マジック

《アルティメットウォール》

コスト4 軽減白2

【バースト：自分のライフ減少後】

このバトルが終了したとき、アタックステップを終了する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

コスト3以下の相手のスピリット3体を手札に戻す。

「バトルが終了したらアタックステップ強制終了だ！」

「ではターンエンドします」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ：！」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

首の皮一枚繋がったつてところか…。あのUヴァリエルのアタックは何とか防げたが…、次は無いと思った方が良いか。

「メインステップ。《ドラゴ・ナイト》をレベル1で召喚！」

(手札6↓5)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ0↓2)

「ドラゴ・ナイト コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果、私のUリヴァイアがいるため、星空の冠を破壊するぞ！」

「分かりました」

コイツはもうちょっと早く来てくれればなあ…。

赤 スピリット

《ドラゴ・ナイト》

コスト4 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

自分のアルティメットがいるとき、相手のネクサス1つを破壊する。

Lv1・Lv2『このスピリットのアタック時』

自分はデツキから1枚ドロ―する。

「……………」

……しまったあ!? ムーコア足りない!!

コイツを召喚してもウリヴァアがレベル4になれないし、しようにもリユーマン・フェニツクか今出したばかりのドラゴ・ナイトを犠牲にする必要がある。

相手のライフは4つ。ブロックできるのはUヴァリエルとニジノコ。赤のトリガー効果はヒットしてもスピリットがブロックしなければライフは削れない。

全員でアタックしても2体は防がれて1体はバトルキャンセルが挟まるかも知れない。

「…………… (詰み?)」

「……………」

絶体絶命の危機に陥った私。…どうなる?

? 素晴らしいアイデアが閃き窮地を脱出する。

? 不意に璃恵がテレパシーで助言をくれる。

? 助からない。現実是非情である。

圧倒的?なんだよなあ…。

…ん? でも確かコイツ、雑誌の付録で付いてたやつだけ?

ちよつと光明が見えた気がする。

「究極龍王リヴァアをレベル5へ」

(リザーブ6↓3)

「究極龍王リヴァア コア2↓5 レベル3↓5」

「次に《アルティメット・ジークフリード・ベビー》を召喚だ!」

「っ!」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ2↓4)

「アルティメット・ジークフリード・ベビー コア1 レベル3 B



P6000」

赤 アルティメット

《アルティメット・ジークフリード・ベビー》

コスト4 軽減赤2 <新生・古竜>

<1> Lv3 BP6000

<2> Lv4 BP7000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

【トリガー】Lv4 『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただし、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「アタックステップ、レベル3になっているリューマン・フェニックスでアタック！アタック時1枚ドロー！」

(手札4↓5)

「ライフで受けます」

(ホムホム ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「次に究極龍王リヴァイアでアタック！トリガー！」

「…スピリットカード《タワーミンゴ》、コスト5です」

「ヒット！スピリットは強制ブロックだ！」

「……………ニジノコでブロックします」

「スピリットでブロックしたならばライフ1つをリザーブへ置くぞ！」

(ホムホム ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

「フラッシュタイミング。オープンしているバトルキャンセルを使います。これにより、BPを比ばずにバトルは終了します」

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ7↓9)

「ドラゴ・ナイトでアタック！」

「……………ライフで受けます」

(ホムホム ライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

あと1つ…！上手く決まってくればいいが…！

「Uジークフリード・ベビーでアタック！」

「Uヴァリエルでブロックします」

よし…！これで…！

「フラッシュユタイミング」

「っ!？」

「最後の《絶甲氷盾》です。フラッシュユ効果によって、バトルが終了したらアタックステップは終了します。足りない分はUミカファールから」

「…握ってたか…」

(手札7↓6)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ミカファール コア4↓1 レベル5↓3」

(トラッシュユ9↓13)

賭けは負けか…。だが、一応の悪あがきはさせてもらおうか！

「相手によって私の『ジークフリード』と名の付くベビーが破壊されたとき、『ゴイツ』はコストを支払わず召喚できる！」

「やはりそつちも握って…」

「《アルティメット・ジークフリード・ネオ》！

最期の意地を見せてやれ！」

赤 アルティメット

《アルティメット・ジークフリード・ネオ》

コスト7 軽減赤3 <新生・古竜>

<1> Lv3 BP11000

<3> Lv4 BP15000

<5> Lv5 BP21000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

手札にあるこのアルティメットカードは、カード名に「ジークフリード」と入っている自分のスピリット／アルティメットが相手によって破壊されたとき、コストを支払わずに召喚できる。

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならブロックする。ただし、アルティメットはブロックしなくてもよい。

相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「コアはベビーとUリヴァイアから受け取って、レベル5だ！」

(悠姫手札4↓3)

「アルティメット・ジークフリード・ベビー コア1↓0 消滅」

「究極龍王リヴァイア コア5↓1 レベル5↓3」

「アルティメット・ジークフリード・ネオ コア5 レベル5 B P 21000」

「危なかった…。でも、これ以上のアタックはできませんよ」

「分かっている。ターンエンド」

〈ホームホーム・第十ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札6↓7)

(トラッシュ13↓0)

(リザーブ1↓14)

「：アタックステップ。Uヴァリエルで、アタック」

決めに来られるよなそりや。でも、その見たことないアルティメットだけでも連れて行く！

「Uトリガー、ロック・オン」

「：《バトルキャンセル》、コスト3だ」

「ヒット」

さて、あのアルティメットのヒットで何がくるか…。

「さらに」

「っ!？」

「ヒットしたカードがマジックカードだったため」

【クリティカルヒット】！」

く、クリティカル…ヒット!?!また新しい効果かよ…!」

「私のトラッシュにある1つの色のマジックカードすべてを手札に戻します」

「なんだそりや…」

「白を選択。絶甲氷盾3枚が手札に戻ります」

(ホムホム手札7↓10)

《アルティメット・ヴァリエル》

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは、このアルティメットより低いLvの相手のスピリット／アルティメットからブロックされない。

【クリティカルヒット】…ヒットしたカードがマジックカードなら、さらに、自分のトラッシュにあるマジックカード1色すべてを手札に戻す。

「ジークフリード・ネオで…!」

「フラッシュタイミング」

「っ!？」

「マジック《バインディングスケイル》を使います」

(手札10↓9)

(リザーブ14↓7)

(トラッシュ0↓7)

「バインディングスケイル…? 緑のカードか?」

「そうです。アルティメット1体を疲労させます!」

「なっ!?!」

緑 マジック

《バインディングスケイル》

コスト7 軽減緑4

フラッシュ:

相手のスピリット／アルティメット1体を疲労させる。

または、このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP  
+10000する。

「これでジークフリード・ネオは疲労します」

「あちゃあ…、終わったか」

「…ごめんなさい」

「謝る必要なんてないよ。」

「潔く、ライフで受けるさ！」

(悠姫ライフ1↓0)

[winner ホムホム!!]

## 二…へ行く前に・Aパート

「負けたかく。…ありがとうございます」

「ありがとうございます」

うくん。黄色との戦い方が分からなかったと言えれば言い訳になるけど、強かった。結構翻弄されたな。

「あれ？ ……えっ!？」

「? どうかした?」

「そ、そんな…」

お互いにデツキを片付けていたら、ホムホムさんのスマホが震えたらしく、メールとのこと。その中身を見て驚きの声を発した。

「……じ、時間だなんて…」

「時間?」

「あ、えっと…」

言い淀むってことは言いにくいことなんだろうか。あたふたしてどうしようか悩んでるみたいだが…。

「…へ」

「へ?」

「へ、へ…変身、時間…?」

「……」

普通に言いにくいことだと言えれば言いのにこういう時の言い訳微妙に下手なものも祐依ゆいに似てるんだよなあ。

「ご、ごめんなさい! 私、行かなくちゃなくなってます…」

「あ、うん」

さっきの感じから考えるに、予定が無かったんだけど、どうしても行かなければならない用事ができたか。

「で、ですので、〆悠姫さん〆が進んでください!」

「お、おう…」

「すみません、すみません!失礼します!」

慌ただしく身支度を済ませ、菫すみれさんに駆け寄って話をし、こちらを見て一礼し足早にお店を出て行…こうとするとところに一声掛ける。

「次は勝つからな！」

「…っ！ はいっ！ 待ってます！」

ホームホムさんが行った後、董さんによれば大会に影響は無いから大丈夫とのこと。これはせめて準優勝まで行かないとホームホムさんに失礼だな。

しかし本当祐依に似てたな。考える仕草やクセも似てた。世界には自分と同じ人間は最低三人はいるみたいなきことを聞いたが、まさにそれだったんだろうか。

まあそれは置いといて次の対戦相手は誰だんべ。…このテーブルで待つてていいのかな？

「あつ、もしかして見習いさん？」

「？ あ、そうですよ」

「良かった。次ね対戦相手の「ロック・りいな」です。よろしくどうぞ！」

とりあえず待つてたら向こうから来てくれた。有り難い。…女の子か。見た目的に中学生かな？ ヘッドフォンを首に掛けて、「I LOVE ROCK!!」って描かれた内服に革ジャンを着た活発そう…いや、活発な娘だ。

「こちらこそよろしく」

「よろしく！ ロックなバトルしようね！」

「え？ あ、ああ…」

…ろ、ロックなバトルって何だ？ 何だかよく分からんがとにかくバトルを始めるとしよう。

「ロックなアタックステップ！ 《蒼穹の霸王カーン・ウルフ》でソードブレイヴ  
剣刃合体アタック！ 《黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ》の合体時効果でバーストは発動できないよ！」

「なるほど。ピンチなんじゃねえの？」

飛ばしてバトル終盤。

最後の最後でデカイ地雷、バーストを踏んでしまったことで窮地に

立たされている。

《究極龍王リヴァイア》のUトリガーを外し、普通にブロックされ通らず。次に《アルティメット・プテラトマホーク》のUトリガーは成功したがそれがまずかった。緑にライフ回復手段は無いだろうと踏んでたが、豊富なコアで《ハイエリクサー》というかなりコストの重い白の回復マジックで凌ぎ、《翔烈降臨》のバースト効果によって、あの蒼い狼を呼び覚ますしてしまったという。

緑 スピリット

《蒼穹の霸王カーン・ウルフ》

コスト7 軽減3 <覇皇・剣獣>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：緑

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分のライフが3以下のとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

系統：<剣獣>を持つ自分のスピリット1体を回復させる。

Lv3『このスピリットのアタック時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置き、このスピリットは回復する。

緑 マジック

《翔烈降臨》

コスト4 軽減緑2

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが2以下のとき、自分の手札にある緑のスピリットカード1枚を召喚する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+2000する。



「さあさあどうする？　ライフで受けてもスピリットでブロックしてもライフはロックに貫つていくよ？」

「むむむ…」

調子に乗ってアルティメットをアタックさせすぎたためアルティメットがブロックに回れない。今ブロックできるのは《ムゲンドラ》《リューマン・クロウ》《ガーネットドラゴン》《リューマン・ハンマー》の4体。《シルバー・ヴルム》は疲労中。

ブロックして自壊させようにも、すぐ横にいる《ダーク・スノパルド》の持つ【連鎖<sup>ラッシュ</sup>】のおかげでそれもできない。

白　スピリット（闇）

《ダーク・スノパルド》

コスト4　軽減白3　＜機獣<sup>キジュウ</sup>＞

<1>　Lv1　BP3000

<2>　Lv2　BP5000

シンボル：白

Lv1・Lv2

BP4000以下のスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

（自分の緑シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する）

【緑】：スピリットすべてのコアの数はLv1コストより少なくならない。

ライフで受ければ2点ダメージ、スピリットでブロックして破壊されればウスバカゲロウの効果で1点、カーン・ウルフの効果で1点、計2点。

こちらのライフは2。結構ヤバイ。

「…う〜ん」

「ふっふーん。すごいコンボでしょ。私のロックな友達から教えてもらった必殺コンボなんだ！」

「お、おう」

「……………待てよ、まだ悲観するのは早い。」

相手も2点だよな？ これを使って……お!? イケるか!?

「おお！私勝っちゃう?!」

「まだだ。フラッシュタイミングで《ネオ・フレイムテンペスト》だ。足りない分はUriヴァイア、Upテラトマホークから受け取る。

“スピリットは自壊できないが、アルティメットなら自壊はできる

“ だろ? ”

「ふえっ!?!」

「Uriヴァイアは消滅、Upテラトマホークはレベル3にダウン。そして【強化<sup>チャージ</sup>】が乗ってBP5000以下の全てのスピリットを破壊するぞ」

悠姫フィールド

「ムゲンドラ 破壊」

「リユーマン・クロウ 破壊」

「シルバー・ヴルム 破壊」

「リユーマン・ハンマー 破壊」

ロック・りいなフィールド

「ダーク・スノパルド 破壊」

「駿将ムカリ 破壊」

「ソードピユーマ 破壊」

「分身スピリット 破壊」

「ひゃあ!?! で、でもそっちも後が無いのに!」

「まだだ！レベル2で破壊した《リユーマン・ハンマー》の効果発揮！相手の合体スピリットのブレイヴ1つを打ち砕く!」

「な、なんだってえ!?!」

赤 スピリット

《リユーマン・ハンマー》

コスト4 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP7000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

BP4000以下の相手のスピリット3体を破壊する。

この効果発揮後、自分の赤のアルティメットがいるとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3『このスピリットの破壊時』

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

「ウスバカゲロウを破壊だ！」

「ああっ!？」

「そのアタックはライフで受ける！」

(悠姫ライフ2↓1)

「ううっ…ターンエンド…」

色々危うかったが何とか勝利することが出来た。「これは負けたか?」と思ってしまう癖が出てしまうのはまだまだまだ初心者だっていうことなんだろう。バーストインパクトで当たったカードが咄嗟に役立つとは。

しかし当たる人皆強いな。小規模の大会なのにこんなつわものがあるようよしてるとか。

「ロツクなバトルありがとね！」

「こちらこそありがとう。良い勉強になった」

「ロツクな部分で!？」

「…いや、戦術的な部分で」

「あう…」

次のバトルだが、どうやらお互いの相手がまだのようなので軽く雑談。バトスピはいつ始めたのか、好きな色は何か、学生なのかなどなど。

「えへへ。…あ、終わったみたい。じゃあ行くね」

「ああ。またな、李衣菜<sup>りいな</sup>」

「おう！またロツクに語り合おうね！」

最後まで李衣菜の言うロツクについて分からず終いだっただがまあ

いいだろ。…で？次の対戦相手は…

「お待たせ」

「あつ、彩音さ…」

「……………」

「…彩音」

「ごめんなさいね。ちよつと手間が掛かったわ」

次の対戦相手は、ソルマルタ・レーテル・トゥルーリースⅡじゃくり 蛇劔

“ことみおげ 濔紫 彩音だった。

「順調かしら？」

「ギリギリ」

「ふふつ。なら今回は私への再挑戦リベンジエね」

「今回は勝ちに行くから」

「いいわ。あなたが何処まで “赤の詩の紡ぎ手”レーヴァテイル として成長したか見

てあげるわ。新しく調律チューニングしたこの魔譜デッキでね」

おお、今日も熊本弁絶好調だな。

〈緋立 悠姫〉

VS

〈濔紫 彩音〉

【??】

「ところで遅くなった訳は？」

「《白き楯の長城》と《獣の氷窟》を張られて延々バトルさせてもらえなかつたわ…」

「へえ…」

「スピリットは根こそぎ屠つただけれど、大量にコアを増やされたあげく耐え忍ばれて危うくこつちが引き過ぎてデッキアウトしそうだったわ。まったく、これだから白は…」

ダイスロック！…いやロール！りいなの口癖が感染した！おのれ

にわかロックめ！

「3ッ！」

「14」

「フアツ!？」

「私がいつ6面ダイスを投げたと錯覚したのかしら？」

「なん：だと：？」

「悔しいでしょうねえ」

「どういうことだ説明しろいな！」

「えっ!？知らないよそんなの!？」

〈彩音・先攻第一ターン〉

「先攻はもらったわ。紫蓮しれんの第一ターン」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。極寒地獄の第一階層《地獄都市カイーナ》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

紫 ネクサス

《地獄都市カイーナ》

〈0〉 Lv1

〈2〉 Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv2 『??』

???

「そしてバーストをセット」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「ターンエンド」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「屈辱の後攻スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。《ライト・ブレイドラ》と《リューマン・フェニックス》を召喚」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓2)

「ライト・ブレイドラ コア2 レベル1 BP1000」

「リューマン・フェニックス コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「アタックステップ。リューマン・フェニックスでアタック。アタック時効果で1枚ドロー」

(手札3↓4)

「少しの間で見違えるような動きね。ライフで受けるわ」

(彩音ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少によりバースト発動。《デスバースト》」

「バースト：セット↓発動」

「《吸血爪》じゃない!?!」

「早速仕込んで正解だったみたいね。バースト効果、疲労している相手スピリットを1体破壊するわ」

紫 マジック

《デスバースト》

コスト3 軽減紫2

【バースト：自分のライフ減少後】

疲労状態の相手のスピリット1体を破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+200

0する。

「対象はリユーマン・フェニック。あまり居座られても厄介」

「フェニック嫌われすぎ」

「赤のクソ犬：失礼。駄犬が色々厄介だったから良いイメージが無いのよ」

（悠姫リザーブ0↓1）

「クソも駄も変わり無いような」

「一時期の犬ペンドラ許すまじ」

最近フェニックが1枚ドロしたら即退場が良い弾避けぐらいしか役目が無いような気がしなくもない。

「ターンエンド」

〈彩音・第三ターン〉

「紫蓮の第三ターン。スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札3↓4）

（トラッシュユ4↓0）

（リザーブ2↓6）

「メインステップ。紫魂の1ツ鬼、《ワンアイドデーモン》を召喚」

（手札4↓3）

（リザーブ6↓5）

「ワンアイドデーモン コア1 レベル1 BP1000」

「ではまずお先に、新たなる黄金の鎧を纏う闇の騎士の出陣よ。」

《アルティメット・ズ・ガイン》、召喚！

先に紫のアルティメットが来たか。これはこっちも召喚を急がないと、前みたいになまた何も出来ずに制圧されてしまう。

「私のアルティメットを召喚する際、ワンアイドデーモンのシンボルを紫1つ追加する。スピリットソウル発揮！」

（手札3↓2）

（リザーブ5↓1）

（トラッシュユ0↓3）

「アルティメット・ズ・ガイン コア1 レベル3 BP1000  
0」

紫 スピリット

《ワンアイドデーモン》

コスト0 軽減無し <呪鬼<sup>じゆき</sup>>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP2000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 【スピリットソウル：紫】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに  
「紫」（紫のシンボル1つ）を追加する。

「アルティメット、召喚時効果発揮。あなたの手札が3枚以上あるな  
ら、1枚破棄なさい」

「手札を捨てさせる効果か…。《ガーネットドラゴン》を捨てる」

（悠姫手札4↓3）

●破棄したカード

・《ガーネットドラゴン》

「更に《ツチグデーモン》を召喚」

（彩音手札2↓1）

（リザーブ1↓0）

「ツチグデーモン コア1 レベル1 BP2000」

紫 スピリット

《ツチグデーモン》

コスト2 軽減紫2 <呪鬼>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP2000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 【呪撃】『このスピリットのアタック時』

バトル解決時にブロックしていた相手のスピリット1体を、バトル  
終了時に破壊する。

Lv1・Lv2 『??』



???

「ちよつと飛ばし過ぎたかしら。バーストをセット」

(手札1↓0)

(バースト：無し↓セット)

「アタックスステップ。ツチグデーモンでアタック。地獄都市カイーナ、レベル1の効果発揮。【呪撃】を持つツチグデーモンが疲労したため1枚ドロロー」

(彩音手札0↓1)

紫お得意のドロロー効果か。

「：疲労つてことは、そっちがブロックしても？」

「ドロローするわ」

「ずるい」

「こちらのスピリットを一切焼かないと約束するなら考えなくもな  
い」

《地獄都市カイーナ》

Lv1・Lv2 『お互いのアタックスステップ』

【呪撃】／【呪滅撃】を持つ自分のスピリットが疲労したとき、自分はデッキから1枚ドロローする。

「ライフだ」

(悠姫ライフ4↓5)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンド」

前よりお互いの関係が良く?なった気がするから軽口叩きながらのバトル。これも良いな。色々緊張しながらだったから余計に。

今度は喰らい付くだけじゃなく、勝ってみせる…!

## 二：へ行く前に・Bパート

〈悠姫・フィールド状況〉

ライフ4

リザーブ2 トラッシュユ2

手札3

・ライト・ブレイドラ コア1 Lv1

〈彩音・フィールド状況〉

ライフ4

リザーブ0 トラッシュユ3

手札1

・ワンアイドデーモン コア1 Lv1

・ツチグデーモン コア1 Lv1

・アルティメット・ズ・ガイン コア1 Lv3

・地獄都市カイーナ コア0 Lv1

〈悠姫・第四ターン〉

「こっから……。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ。《リューマン・クロウ》を召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓6)

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 Bp1000」

「来たわね、あなたも」

「まあね。リューマン・クロウのレベル1からの効果、赤のスピリットソウル発揮！ 《アルティメット・プテラトマホーク》をレベル4で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・プテラトマホーク コア3 レベル4 BP10000」

「召喚時効果は空振り。で、リューマン・クロウにコアを1つ追加してレベルアップ」

(リザーブ1↓0)

「リューマン・クロウ コア1↓2 レベル1↓2 BP1000↓2000」

「アタックステップ。Uプテラトマホークでアタック！Uトリガー！」

とにかく臆せず行くか…！

「：スピリットカード《メズデーモン》。コスト4よ」

「ヒット。：したのはいいけど」

「Uズ・ガインもBPは10000。振り返ちにはできるけど…、ここはタッチグデーモンでブロックするわ」

「じゃあスピリットでブロックしたからライフ1つを砕くぞ」

「フラッシュも無いからそのまま破壊で」

(彩音ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1↓2)

「そして自分のスピリット破壊を弾爪にバースト発動。

亡者苛みし獄卒の鬼、《ゴズデーモン》！」

(バースト：セット↓発動)

「バーストスピリット、しかも新しいカードか」

「その通り。ではバースト効果発揮。私のトラッシュにある、系統…く呪鬼のタッチグデーモンを回収し、レベル1で召喚」

(手札1↓2)

(リザーブ2↓1)

「ゴズデーモン コア1 レベル1 BP2000」

紫 スピリット

《ゴズデーモン》

コスト4 軽減紫2 <呪鬼>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分のトラッシュにある系統:<呪鬼>を持つスピリットカード1枚を手札に戻すことで、このスピリットカードを召喚する。

Lv2 【呪撃】『このスピリットのアタック時』

バトル解決時にブロックしていた相手のスピリット1体を、バトル終了時に破壊する。

「ターンエンド」

<彩音・第五ターン>

「紫蓮の第五ターン。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。ツチグデーモンを再度召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓4)

「ツチグデーモン コア1 レベル1」

「更に《カースガール》をレベル2で召喚」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓2)

「カースガール コア2 レベル2 BP5000」

紫 スピリット

《カースガール》

コスト4 軽減紫2 <呪鬼>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP8000

L v 1・L v 2・L v 3 【呪撃】『このスピリットのアタック時』  
バトル解決時にブロックしていた相手のスピリット1体を、バトル  
終了時に破壊する。

L v 2・L v 3 『???』

???

「今回は手札の消耗が激しいわね…。バーストをセット。紫が手札を  
空にするなんて言語道断なんだけど」

「そうなの?」

「紫は相手にプレッシャーを与えてなんぼなの。それによって相手が  
スピリットを展開するのを躊躇わせたり、ね」

〔バースト：無し↓セット〕

確かに、前のバトルの時は減らない手札にビクビクしてたな。そう  
なると手札が切れてるのは、他の色にも言えるがよろしくない状況な  
のな。

「じゃあ、アタックステップ。ツチグデーモンでアタック。カイーナ  
の効果で1枚ドロ」

(手札0↓1)

早速手札が増えたか。また切り返すのを考えさせられるな…。  
リニューマン・クロウなら相打ちを取れるが、残りがどう来るか。

「……ライフで」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「地味だけどここまで。ターンエンド」

お互いいつ大きく動くのか、様子見が続くな。

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ。マジック《ネオ・ダブルドロ》。2枚ドロして、

アルティメットであるUプレラトマホークがいるから更に1枚ドロ―」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓2)

(手札2↓5)

早速コア2つを消費した訳だが。どうするかね。Uプレラトマホークを最大にしてアタックしてエンド…。ジリジリと追い詰めていけば、こっちのアルティメットのが貫通効果があるから優位になれる、が、油断大敵。あの紫で彩音だ。何をするか分からない。…ならこいつはまだ温存しておこう。

「Uプレラトマホークをレベル5に」

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・プレラトマホーク コア3↓5 レベル4↓5

BP10000↓15000」

「…なるほどね」

「アタックステップ。UプレラトマホークでアタックしてUトリガーだ」

「落ちたのは《アルティメット・ダークウィッチ》。コスト5よ」

「また外したがアルティメットが落ちたのなら良しとするか」

「カースガーゴイルでブロック。カイーナの効果。【呪撃】を持つカースガーゴイルが疲労したので1枚ドロ―」

(彩音手札1↓2)

「そのまま破壊だ」

「ならカースガーゴイルレベル2からの効果発揮よ。相手によってカースガーゴイルが破壊されたなら、相手スピリットのコア2つをリザーブへ」

「何っ」

「リユーマン・クロウ、ライト・ブレイドラのコアを1つずつをシュート」

「カースガーゴイル 破壊」

「ライト・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「リユーマン・クロウ コア2↓1 レベル2↓1」

(悠姫リザーブ0↓2)

(彩音リザーブ0↓2)

「更に私のフィールドにUズ・ガインが存在するため、追加で2枚ドローするわ」

「手札があつという間に4枚に増えた…」

(彩音手札2↓4)

《カースガーゴイル》

Lv2・Lv3 『相手によるこのスピリットの破壊時』

相手のスピリットのコア2個を相手のリザーブに置く。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、自分はデッキから2枚ドローする。

「…ターンエンド」

〈彩音・第七ターン〉

「紫蓮のターン。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「…メインステップ」

…一瞬、彩音の口元が笑ったように見えた。てことは、大物が来たか？

「私が待ち望んだ “究極” を魅せてあげるわ」

「来るか…!」

「死の旋風巻き起こすは究極に到りし魔界の七将が1つ!

《アルティメット・デスペラード》!!」

アルティメット・デスペラード…!

紫のXアルティメットだな。

「ワンアイドデーモン、スピリットソウル!これによりシンボル1つを追加しフル軽減。よって4コスト、レベル3」

(彩音手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

「アルティメット・デスペラード コア1 レベル3 B P 1 1 0  
0 0」

「さて、このままアタックステップ。Uデスペラード、アタック！」  
攻めてきた。さてヒットするようになるか…。

「アルティメットトリガー、ロックオン！」

「…っ!? 《アルティメット・ドラグサウルス》、コスト4！」

「ヒット! 相スピリット手のコアをリザーブへ! 外す対象は悠姫さん  
が決めなさい」

「き、決めろって言ったって…」

「リューマン・クロウしかないわよね」

「リューマン・クロウ コア1↓0 消滅」

(悠姫リザーブ2↓3)

紫 アルティメット

《アルティメット・デスペラード》

コスト7 軽減紫3 <新生・呪鬼>

<1> L v 3 B P 1 1 0 0 0

<3> L v 4 B P 1 6 0 0 0

<5> L v 5 B P 1 9 0 0 0

シンボル：金

【召喚条件：自分の紫スピリット1体以上】

【Uトリガー】 L v 3・L v 4・L v 5 『このアルティメットのアタッ  
ク時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト  
1につき、相手は、相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに  
置く。

L v 4・L v 5 『???』

???

これで場はがら空き。仕方ない…!



「ライフ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

「続けてツチグデーモンでアタック。カイーナの効果によって1枚ドロ―！」

(彩音手札4↓5)

「フラッシュユタイミング、マジック《フレイムスパーク》！合計BP5000まで破壊する！」

「そう。良いタイミングよ」

「どうも。足りない分はUプレラトマホークから受け取る！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

「アルティメット・プレラトマホーク コア5↓4 レベル5↓4」  
(トラッシュユ2↓7)

「ワンアイドデーモンの1000、ツチグデーモンの2000、ゴズデーモンの2000でぴったし5000だ！」

「ワンアイドデーモン 破壊」

「ツチグデーモン 破壊」

「ゴズデーモン 破壊」

(彩音リザーブ0↓3)

「んで、破壊出来たから、トラッシュユの《リューマン・クロウ》を回収つと」

「ふふっ、ほんとあの時とは大違いね」

(悠姫手札1↓2)

私だつて進化、強くなりまっさね。ハイランカーだっけ？それに名を連ねる方々が相手して下さってたんだから、強くならなきゃ逆に失礼だ。

「仕方ないわね、私のスピリット破壊に反応してバースト発動。《夢幻祈禱》よ」

「お、黄色のバーストマジック」

「バースト効果。ボイドからコア1つをライフに置く」

(彩音ライフ3↓4)

「回復効果か」

「追加支払いは無し。このままターンエンドよ」

黄 マジック

《夢幻祈禱》  
むげんきとう

コスト3 軽減黄1

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

アタックしている回復状態の相手のスピリット1体を破壊する。

Uプレラトマホークで奪った分を取り戻されたか…。手札も場も不利だが、まだまだここから。

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓7)

「メインステップ。いいタイミングだ。《リューマン・クロウ》、《ムゲンドラ》を召喚」

(手札3↓1)

(リザーブ7↓5)

「リューマン・クロウ コア1 レベル1」

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

「次にマジック、2枚目の《ネオ・ダブルドロ》だ」

(手札1↓0)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓2)

(手札0↓3)

「こつちも、行くぞ…！」

「そちらもやつと来たわね」

「《アルティメット・ジークフリーデン》!!

レベル4で召喚だ！」

まだ運は尽きてないしまだまだ勝つ目はある。

「レベルに足りない分はUプテラトマホークから受け取る！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ2↓6)

「アルティメット・プテラトマホーク コア4↓0 消滅」

「アルティメット・ジークフリーデン コア3 レベル4 B P 2

0000」

「次にバーストセット！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ、Uフリーデンでアタックだ！そしてUトリガー  
！」

「ライフを打つつもりかしら」

「さあね。コストは？」

「7よ。《アルティメット・クツアルカトル》」

「良いのが落ちた。ヒットはしない」

「：ライフよ」

(彩音ライフ4↓3)

(リザーブ3↓4)

〈彩音・第九ターン〉

「紫蓮の第九ターン、スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札5↓6)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ5↓9)

「メインステップ。2体目の《ワンアイドデーモン》、《ツチグデーモ

ン』をそれぞれレベル1で召喚！」

(手札6↓4)

(リザーブ9↓7)

「ワンアイドデーモン コア1 レベル1」

「ツチグデーモン コア1 レベル1」

「Uデスペラードをレベル5、Uズ・ガインをレベル4へ！」  
(リザーブ7↓1)

「アルティメット・デスペラード コア1↓5 レベル3↓5 B  
P11000↓19000」

「アルティメット・ズ・ガイン コア1↓3 レベル3↓4 B P 1  
0000↓16000」

「さあ、どう受け止める？ アタックステップ。Uデスペラード、ア  
タック！アルティメットトリガー、ロックオン！」

「…っ！《リニューマン・クロウ》！コスト0だ！」

ラッキー！これならイケるぞ！

「くっ、コスト0じゃヒットしても意味が無いわ…」

「これで…！」

「安心するのは早い！Uデスペラード、レベル4からの効果よ！」  
「っ!？」

「悠姫さんのリザーブ、トラッシュにあるコア1につきUデスペ  
ラードのBPをプラス10000するわ！」

な、何っ!?!じゃあ、BPは……。

「トラッシュにある命の源の数は6つ！よって60000上昇！」

「アルティメット・デスペラード B P 19000↓25000」

L v 4・L v 5 『自分のアタックステップ』

相手のリザーブ／トラッシュのコア1個につき、このアルティメッ  
トをBP+10000する。

マジかよUジークフリーデンのBP越えたぞ…。てことは最大で  
19000にUトリガーに加えてリザーブかトラッシュに10個以  
上あると30000越えはたやすいのか…。こっちのコアが増える  
度不利になりやすいとかやっぱアルティメットは規格外だな。

「……ライフだ！」

「へえ」

「今ここでムゲンドラ達を失う訳にはいかないからな」

（悠姫ライフ2↓1）

（リザーブ0↓1）

「んでもって、ライフが減ってバースト！《アルティメットウォール》  
！アタックステップを強制終了だ！」

「…ターンエンド」

「チャンス到来！」

〈悠姫・第十ターン〉

「やればわかる。スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札1↓2）

（トラッシュユ6↓0）

（リザーブ2↓8）

「メインステップ。白のムゲンドラ、召喚だ！」

（手札2↓1）

（リザーブ8↓7）

「ムゲンドラ（白） コア1 レベル1」

「次、ブレイヴ《プテルファイター》をスピリット状態で召喚！コストは4だが、ムゲンドラの赤と白、更にリユーマン・クロウ、よってコスト1だ！」

（手札1↓0）

（リザーブ7↓5）

（トラッシュユ0↓1）

「プテルファイター コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果発揮！私のトラッシュユにある系統〈竜人〉、または〈甲竜〉を持つスピリットカード1枚を手札に戻す！」

赤 ブレイヴ

《プテルファイター》

コスト4 軽減赤2白1 〈空牙〉

<1> Lv1 BP2000

<0> 合体 +4000

シンボル：なし

【合体条件：コスト3以上】

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分のトラッシュにある系統：<竜人>/<甲竜>を持つスピリットカード1枚を手札に戻す。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

BP6000以下の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

「戻すのは《ガーネットドラゴン》！」

(手札0↓1)

「そこでそのまま召喚！レベル2！」

(手札1↓0)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ1↓2)

「ガーネットドラゴン コア2 レベル2 BP4000」

白 スピリット

《ガーネットドラゴン》

コスト4 軽減白2赤2 <甲竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

系統：<甲竜>/<竜人>を持つ自分のスピリットすべては疲労状態でブロックできる。

Lv2・Lv3 【重装甲：赤/紫/白/青】

このスピリットは、相手の赤/紫/白/青のスピリット/ブレイヴ

／ネクスス／マジックの効果を受けない。

「成る程、なかなかよ」

「まだまだ。プテルファイターをガーネットドラゴンへ合体ブレイク！」  
プテルファイター

← 合体

ガーネットドラゴン (合体)

「コスト4+4＝8」

「BP4000+4000＝8000」

「合体時効果＝追加」

「シンボル：追加無し」

「プテルファイター コア↓譲渡」

「ガーネットドラゴン (合体) コア2↓3」

「そしてガーネットドラゴンのコア1つとリザーブのコア2つをU  
ジークフリーデンに渡してレベル5に！」  
(リザーブ2↓0)

「ガーネットドラゴン (合体) コア3↓2」

「アルティメット・ジークフリーデン コア3↓6 レベル4↓5

BP20000↓30000」

まだやれる。Uデスペラードは疲労中。問題はあの手札だ。ガー  
ネットドラゴンは自身を守る【重装甲】を持つてるから守れるが、  
《絶甲氷盾》とか握られてたらアウトに近いアウトだ。防御手段が無  
いんだからな。

「英断には程遠いと思うけど？」

「アタックステップ！」

守っててもじり貧どころか負け一直線だ。立ち上がりから崩され  
ていたから尚の事だろう。

「Uジークフリーデン、アタック！Uトリガー！さあ、コストを言え  
！」

「……っ！ コスト6 《死に神劍聖ダークネス・メア》……！」

「おっしやあ！最大ヒットお!!」

《アルティメット・ジークフリーデン》

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「ワンアイドデーモンとツチグデーモンを破壊だ！」

「ワンアイドデーモン 破壊」

「ツチグデーモン 破壊」

(彩音リザーブ1↓3)

「メインのアタック！」

「……ライフに通すわ」

(彩音ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

「ガーネットドラゴンで合体アタック！」

「フラッシュタイミング、マジック《マーク・オブ・ゾロ》！」

「まあ抱えてるわなそりゃ……」

紫 マジック

《マーク・オブ・ゾロ》

コスト5 軽減紫2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分はデッキから1枚ドローし、相手のスピリットのコア2個を相手のトラッシュに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

コスト5以下の相手のスピリットすべてのコア1個ずつを相手のリザーブに置く。

「ムゲンドラ2体、リューマン・クロウからコア1つつをリザーブにシユートするわ」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)



「やっべえ…」

「ムゲンドラ（赤） コア1↓0 消滅」

「ムゲンドラ（白） コア1↓0 消滅」

「リユーマン・クロウ コア1↓0 消滅」

（悠姫リザーブ0↓3）

「お互いスピリットの潰し合い。…あまり美しくないわ。アルティメットに手が出せないんだから仕方ないといえそうなんだけど…」  
「ふむ…」

…ん？そういえば、〃アルティメットを疲労させるマジック〃をホムホムさんが使ってたが、彩音が知らないとするとあのマジックは何だったんだ？

「愚痴っついてても、後々出るし…。で、〃ガーネットドラゴン紅水晶の竜〃のアタックはライフで受けるわ」

（彩音ライフ2↓1）

（リザーブ0↓1）

…突破ならず、か。ここで何とかしたかったがこりやどうしようもないな。

「ターンエンド」

〈彩音・第十一ターン〉

「紫蓮のターン。スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札3↓4）

（トラッシュユ4↓0）

（リザーブ2↓6）

「くっそー、手札が…」

「メインステップ。リユーマン・フェニックスに序盤のテンポを任せつきりにするとこうなりやすいわよ」

「なるほど…」

「…これが来ないとスタート出来ない。〃みたいなカードは極力控えた方が良いわ。特に序盤の要である低コスト帯はね」

ふうむ…。そこら辺は紫を見習った方が良いかな。引けば何とか

なると考えていたが、確かに皆「リューマン・フェニックスは厄介」って言うて潰されるのが多いかったし。

「カイーナをレベル2へ」

(リザーブ6↓4)

「地獄都市カイーナ コア0↓2 レベル1↓2」

「次にUズ・ガインをレベル5へ」

(リザーブ4↓2)

「アルティメット・ズ・ガイン コア3↓5 レベル4↓5 B P 1

6000↓20000」

「B P 高え」

「…不思議な高さよね」

「彩音が何でそう思うの」

「白を相手取るにしてもちよつと高すぎない？つて私もやや疑問が浮かんだのよ。紫が強くなるのは結構なんだけど、それに応じて風当たりが…」

「なるほど…。どういふことだりいな！」

「えー!?そんなの私に聞かないでよー!」

「…あの娘気に入ったの？」

「うん」

りいなの方はいいとして、紫には紫の悩みがあるってことだな。

「アタックステップ。ラストかしら。Uズペラードでアタック。アルティメットトリガー、ロックオン！」

「…あつ、《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》。コスト9」

「…まあいいわ。どうするの？」

「ガーネットドラゴンでブロックせざるを得ない」

「一応B P 上がるけどどうでもいいわね」

「致し方無し。プテルファイターは残留で」

(リザーブ3↓4)

「プテルファイター 残留 コア1 レベル1」

「更にUズ・ガインでアタック。アルティメットトリガー、ロックオン！」

「…《シルバー・ヴルム》。コスト5」

「ヒット。効果発揮よ。プテルファイターのコア1つをボイドへ！」

「ボイド!？」

《アルティメット・ズ・ガイン》

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は、相手のスピリットのコア1個をボイドに置く。

「うわっちやーそこまでやるかい」

「プテルファイター コア1↓0 ボイドへ 消滅」

「敵の艦載機を逃がす訳無いわよね」

「潜水艦は…」

「駄目よ！ 酸素魚雷ぶつけられたいの?!」

「ら、ライフで受けます…」

(悠姫ライフ1↓0)

〔winner!! 滯紫 彩音〕

黒星2つ目…。リベンジならずか。

## 二への足掛かり・Aパート

「くやしい」

「あまり悔しそうじゃないみたいだけど？」

「良い勉強になったってこと。対アルティメット戦とか、あんま考えてなかったから」

小規模シヨップバトル3戦目は黒星。これで3戦1勝2敗と、まあこんなもんか。

「『究極に相對するのは究極』。

創造主公がそう唱えている以上、今後扱う者が増えつづけるわ。究極を駆使したいのなら、スピリットの重要性をもっとよく知ることね」

「ふむ」

「なかなか厳しい道程でしょうけど」

「なるほど」

スピリットがいなければアルティメットは召喚できない。

究極には究極を。

扱う以上は更に知識や経験を深めていくしかない。

「まあ要は、勝つまでぶつかり稽古ね」

「納得した。次は勝つ」

「捨て台詞どうも。期待してるわ」

——さて、4戦目だけど相手はどなただ？トキか？ラオウか？

できれば勝ちたいので強さが同じくらいの方がいいです。

「あつ、センパイ。どうもっス」

「ん？ …あ、生徒会の」

「そそっ。生徒会雑務担当中等部1年のたつみや翼也 あかり朱莉っス」

おお…。出てたのか。

「センパイ、首尾はどうっスか？」

「2敗しとる」

「でも1勝してるんすね。ならもうひとつ黒星増やしてもらおうっす」  
「そうはいかんざき。連敗はここで止める」

はてさてどんなデッキを使うんだ？…取り出したデッキ、スリーブには何やらロボットらしきものが描かれている。大体…身内だがスリーブ、もしくははデッキケースでデッキ内容が大体解る。しかしこれは何だろうか。

V S 〈巽也 朱莉〉

【??】

「さくって、始めるっすよ」

「最初は…グーだッ！」

「センパイにはセーフティロックを掛けさせてもらおうっすよ。次にセンパイは、パーを出すっす！」

「パー！……はッ!？」

こ、こいつ…、私の思考を！おかげで負けてしまった！

「うんじゃあく、先攻いただくっすね」

「あいよどうぞ」

〈朱莉・先攻第一ターン〉

「スタートステップっす」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップで、《ニジノコ》を召喚するっす」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓1)

「ニジノコ コア1 レベル1 BP1000」

ニジノコ…。黄色、なのか？

「次に《ダーク・ディノニクス》を召喚っす」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ1↓2)

「ダーク・デイノニクソー コア1 レベル1 BP2000」

今度は赤？ 赤と黄の混色なのか？

「最後にバーストをセットして、ターンエンドっス」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。…ふむ、《ルーキー・リユーマン》をレベル2で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ルーキー・リユーマン コア2 レベル2 BP3000」

はて。出したは良いがアタックするべきか。…まだ低コストでの速攻タイプなのか判断するのは早いか。

「バーストをセット」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ。ルーキー・リユーマンでアタック。アタック時効果で1枚ドロー」

(手札3↓4)

「ふむふむ。ライフで受けるっス」

(朱莉ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド」

〈朱莉・第三ターン〉

「スタートステップっス」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインっス。《ハーピーガール》をレベル2で召喚っスよ〜」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「ハーピーガール コア2 レベル2 BP4000」

「光ってる…。しかもイラスト可愛い」

「へへ〜。しかも強いんスよ〜コレ」

黄 スピリット (闇)

《ハーピーガール》

コスト4 軽減黄2赤1 <想獣>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『???』

???

Lv2・Lv3 『???』

???

「アタックステップっス。ハーピーガールで、アタックう。んでハーピーガールレベル2からの効果発揮っス！」

「どんな効果だ？」

「ハーピーガールはセンパイのレベル2、3のスピリットからブロックされないっスよ〜。黄色特有の『アンブロッカブル』効果っス」

「なんと…」

「更にく、【連鎖】<sup>ラッシュ</sup>発揮〜」

「連鎖まで持つてるのか…！」

「【連鎖：赤】！センパイのBP3000のルーキー・リニューマンを破壊するっス！」

《ハーピーガール》

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタックの時』

このスピリットは、Lv2／Lv3の相手のスピリットからブロックされない。

【連鎖：条件《赤シンボル》】

(自分の赤シンボルがあるとき、下の効果が続けて発揮する)

【赤】：BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「ルーキー・リユーマンが…」

(リザーブ1↓3)

「これでテンポアドはいただきっス。でアタックは？」

「仕方ない、ライフで受ける」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ3↓4)

「ではハーピーガールの【聖命】発揮っス！ボイドからコア1つをライフに置くっス！」

「げっ!？」

(朱莉ライフ4↓5)

《ハーピーガール》

Lv1・Lv2・Lv3 【聖命】 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

「まいどありっス」

「厄介すぎる…。だがバースト！《アルティメットウォール》！アタックステップはここで終わりだ！」

(バースト：セット↓発動)

小型に攻め入れたら立て直す云々の前に押し切られてしまう。用心のため、ここは止めておく。

「更に追加コストを払ってフラッシュ効果を発揮、ダーク・デイノニクソーとニジノコには手札に帰ってもらう！」

「おおっ、了解っス」

(悠姫リザーブ4↓0)



(トラツシユ2↓6)

(朱莉リザーブ0↓2)

(手札2↓4)

「んじゃあこれでターンエンドっス」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラツシユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メイנסテップ。ネクサス《狩る者の集落》をレベル2で配置だ」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓2)

(トラツシユ0↓3)

「狩る者の集落 コア2 レベル2」

「そしてバーストをセット」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「このままターンエンド」

今の手札ではあのハーピーガールに付け込まれるだけだ。なんとかここは堪えてアルティメットを呼ぶしかない。

〈朱莉・第五ターン〉

「待ち構える気っスね？ スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラツシユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メイン。アルティメットは下地が肝心だっつて、洋子ようこも言ってたことだし、堪える姿勢はその準備っスよね。ならこっちはそれを利用させてもらおうっスよ。まずはニジノコとダーク・デイノニクスーを出してっつと」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ニジノコ コア1 レベル1」

「ダーク・デイノニクソー コア1 レベル1」

「マジック 《双翼乱舞》を使いまっス。不足分の1コストはハーピー  
ガールから出してもらっス」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「効果は知っての通り2枚ドロするっス。そんでターンエンド」

(手札2↓4)

「アタックしないのか」

「ライフ1つと場の損失を考えたらここは手を出さないのが吉っス  
ね」

「さすがに巽也も上級者だけあってそうそう突っ込んではこないか  
…。」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。《リューマン・フェニック》を召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓2)

「リューマン・フェニック コア1 レベル1↓3 BP6000」

「こいつは私の場のスピリットの数が2体以下のときレベル3にな  
る」

「《恐竜人ティラノイド》とかのレベル上昇効果っスね」

「お、おう。…次に、《プテルファイター》をフェニックに直接合体させるー。」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ2↓4)

プテルファイター

← 直接合体

リューマン・フェニック (合体)

「コスト3+4≡7」

「BP6000+4000≡10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「おおく！ プテラゴードン」とカミツキ合体っスね！」

「…?」

「あれ!? センパイ見てないんスか? 獣電戦隊キョウリュウジャ○

!あれチョー面白いっスよ！」

やけに興奮気味だが、戦隊モノ、特撮モノか…? それなら璃恵がよく見てるはずだけど、私は見てないな。あれって朝早くやるやつだし、日曜日とかにやるんだろ? 私としては惰眠を貪りたい…。

「じゃあ今度、白鐘しろがねセンパイも誘って鑑賞会やりましょうよ! アタシ全部録画してあるんで！」

「あゝ…、暇な時に、な?」

「約束っスよ！」

見るのは決定なのな…。まああいつも喜んで見そうだし、いつか。…祐依も見ろかな?

「…つと、プテルファイターの召喚時効果忘れてた。トラッシュユにあるルーキー・リューマンを回収するぞで」

(手札2↓3)

「アタックスステップ。狩る者の集落の効果でBPプラス2000。リューマン・フェニックで合体アタック。まずフェニックのアタック時効果で1枚ドロして、次にBP6000以下のハーピーガールを

指定アタックする！」

(手札3↓4)

「オツケーっス。そのままハーピーガールで強制ブロックするっス」

「何もなければ破壊だな」

「破壊されてしまっス」

(朱莉リザーブ0↓1)

「でもスピリット破壊でバースト発動！お馴染み《双光気弾》っス！」  
破壊時バーストだったか。ライフ回復を止めたはいいが、手札が更に増えたか…。フラッシュ効果で集落かプテルファイターを狙うのか？

「バースト効果で2枚ドロして、追加は使わないでそのままにするっス」

(手札4↓6)

使ってこなかった。まあ使うにしてもニジノコかダーク・デイノニクソアの犠牲が必要だったからいいのか。

「ターンエンドだ」

〈朱莉・第七ターン〉

「疲労ブロックカー。厄介っスね。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ。さあこつからちよい飛ばすっスよ。まずダーク・デイノニクソアをレベル2にするっス」

(リザーブ6↓5)

「ダーク・デイノニクソア コア1↓2 レベル1↓2 BP2000↓4000」

レベルを上げて来た…。何の狙いがあるのか気になるな。

「ダーク・デイノニクソア、レベル2からの効果。こいつは緑のスピリットとしても扱われるっス」

赤 スピリット (闇)

《ダーク・デイノニクソー》

コスト2 軽減赤2 <地竜>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv2・Lv3

このスピリットの色とシンボルは緑としても扱う。

「ニジノコもダーク・デイノニクソーも、いわゆる「ハイブリットシンボル」ってやつっスね。センパイの使ってるムゲンドラも仲間っスよ」

「なるほど…」

「こいつが出た当初は「先攻1ターン目でBP4000は強い」なんて言われてたんスよ。小型でハイブリットで場持ちも良くて系統プッシュもあつた。まさに優良スピリットっス」

確かにこれは魅力的なカードだ。赤と緑の潤滑油になれて仕事もこなせるとなれば評価が高いのも頷ける。

「ほい次に《ブロンソードザウルス》をレベル1で召喚するっス」

(手札7↓6)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「ブロンソードザウルス コア1 レベル1 BP2000」

「そいでもって、召喚時効果発揮！センパイのネクサス1つを破壊するっスよ！」

「何っ!？」

「狩る者の集落を破壊っス！」

(悠姫リザーブ1↓3)

集落が破壊された…!? あの余裕は破壊する手段を確保していたからだっただのか？

「更に更に、ついげきの【連鎖】発揮っす！」

【連鎖】…!」

「ブロンソードザウルスの【連鎖・緑】！ ボイドからコア1つをこいつに置くっス！」

「ブロンソードザウルス コア1↓2」

「あ、赤がコアブーストした…!？」

赤 スピリット（闇）

《ブロンソードザウルス》

コスト3 軽減赤2 <地竜>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

相手のネクサス1つを破壊する。

【連鎖：条件 《緑シンボル》】

「緑」：ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

「えへへへ。赤待望のコアブースト！ネクサスまで破壊出来てお得っスよ〜」

「なにそれうらやましい」

「赤と緑を組ませる時にオススメっス。さて続けてこっちもプテラゴードン…じゃなくて《プテラスラッシャー》を召喚するっス！」

（手札6↓5）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュユ1↓3）

「プテラスラッシャー コア1 レベル1 BP3000」

「ほいでブロンソードザウルスのコア1つをプテラスラッシャーに移動させてっ」と

「ブロンソードザウルス コア2↓1」

「プテラスラッシャー コア1↓2」

「そんでバーストをセットしてアタックステップ！プテラスラッシャーでアタックっス！」

（手札5↓4）

（バースト：無し↓セット）

「むっ」

「アタック時効果、BPをプラス3000！更に【連鎖】も発揮するっスよ〜！」

「また【連鎖】か！」

「プテラスラッシュャーの【連鎖・緑】！ボイドからコア1つをプテラスラッシュャーに置くっス！これでレベルが2にアップ、そいでBPが5000になるから、合計8000っス！」

「プテラスラッシュャー コア2↓3 レベル1↓2 BP3000  
↓5000+3000=8000」

「爆上げだなおい!!」

赤 スピリット

《プテラスラッシュャー》

コスト4 軽減赤2 <地竜・空牙>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『このスピリットのアタック時』

このスピリットをBP+3000する。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

【緑】：ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

「どうするっスか？」

「むむむ…」

「フラッシュユが無いからこっち使うっスよ！マジック《ネイチャーフォース》！トラッシュユのコアを全部プテラスラッシュャーに回収するっスよ！コストはプテラスラッシュャーからいただくっス！」

(手札4↓3)

「プテラスラッシュャー コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ3↓5↓0)

「プテラスラッシュャー コア1↓6 レベル1↓2」

「何と言う自給自足」

「まだ続くっス！《ライフチャージ》！コストはプテラスラッシュャーか

らで、破壊する対象はブロンソードザウルス！」

(手札3↓2)

「プテラスラツシャー コア6↓3」

(トラツシユ0↓3)

「ブロンソードザウルス 破壊」

(リザーブ0↓3↓4)

ど、どんどんコアが増えていく…。これはうかうかしてられなくなったな。次回つたらデカいのが来る。確実に。

「ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ3↓4)

「ターンエンドっス！」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

(トラツシユ4↓0)

(リザーブ5↓9)

「メイנסステップ。…ここは、《オートマッチクガンナー》を召喚だ」

(手札5↓4)

(リザーブ9↓7)

(トラツシユ0↓1)

「オートマッチクガンナー コア1 レベル1 BP2000」

「そして…、オートマッチクガンナーの「スピリットソウル」！白のシンボル1つを追加する！」

「おおっ、来るっスね？」

「まずはな。《アルティメット・フェンリル》、レベル5で召喚だ！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓0)

(トラツシユ1↓4)

「アルティメット・フェンリル コア4 レベル5 BP1500



0

「そしてバーストセット！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ、リユーマン・フェニックで合体アタック！アタック時効果で1枚ドロ、更にプテラスラッシュャーに指定アタック！」

(手札2↓3)

「あい。強制ブロックっス」

「何も無ければ破壊だ！」

(朱莉リザーブ4↓7)

「ほいで破壊されてバーストっス！《マーク・オブ・ゾロ》っス！」

(バースト：セット↓発動)

「なっ、紫の!？」

「入れちゃいけないくなんてルールは無いつスよセンパイ。センパイだって黄色のマジック入れてたじゃないっスか」

そりやそうだ。だがここでやられるのは痛手だ…。まだまだ読みが甘いな私。

「まず1枚ドロして、リユーマン・フェニックとオートマチックガンナーのコアをシュートっス！」

(朱莉手札2↓3)

「リユーマン・フェニック コア1↓0 消滅」

「オートマチックガンナー コア1↓0 消滅」

(リザーブ0↓2)

「プテルファイター 残留 コア2 レベル1」

(リザーブ2↓0)

「追加コストは払っても意味無いっぽいスね」

「Y(やつぱり)・Z(ゾロは)・H(ヒドイや)！」

「さあさあどうするっスか？フェンリルでアラガミ喰らっちゃうっスか？」

「ぐぬぬ…。ターンエンドだ」

〈朱莉・第九ターン〉

「ピヤツホゥ♪スタートステップっス♪」

(リザーブ7↓8)

(手札3↓4)

(トラツシユ3↓0)

(リザーブ8↓11)

「メイン！ ネクサス 《ボルカニックキャニオン》を配置っス！」

(手札4↓3)

(リザーブ11↓10)

(トラツシユ0↓1)

「さてセンパイ。アタシの切り札、行くっスよ！」

…っ！…ここに来るか！

「太古の眠りから蘇る最恐の龍！」

《闇龍<sup>やみりゆう</sup>ダーク・テイラノザウラー》!!

大地に響き轟く咆哮<sup>こえ</sup>を聞け!!

レベル3で、召・喚っス!!

「来たか…！」

「荒れるっスよ〜！」

(手札3↓2)

(リザーブ10↓3)

(トラツシユ1↓4)

「闇龍<sup>やみりゆう</sup>ダーク・テイラノザウラー コア3 レベル4 B P 1 0 0  
0 0」

赤 スピリット

《闇龍<sup>やみりゆう</sup>ダーク・テイラノザウラー》

コスト6 軽減赤3 <地竜>

<1> Lv1 B P 5 0 0 0

<3> Lv2 B P 7 0 0 0

<4> Lv3 B P 1 0 0 0 0

シンボル：赤

「次に《斬鎧竜ルゴプス》！ダーク・テイラノザウラーとカミツキ合  
体っス!!」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ4↓6)

斬鎧竜ルゴプス

← カミツキ合体

闇龍ダーク・テイラノザウラー (合体)

〔コスト6+6∥12〕

〔BP7000+5000∥12000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：赤+赤∥赤赤〕

赤 ブレイヴ

《斬鎧竜ルゴプス》

コスト6 軽減赤3緑1 <地竜>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：赤

〔合体条件：コスト5以上〕

〔合体時〕『??』

???

「更に更に！ネクサス 《黄昏の暗黒銀河》を配置！足りないのはダーク・ディノニクソーから1ついただくっス！」

(手札1↓0)

(リザーブ1↓0)

〔ダーク・ディノニクソー コア2↓1 レベル2↓1〕

(トラッシュ 6↓8)

「さあさあアタックスステップっス！」

「あ：Uフェンリルの効果！そっちのアタックスステップに私のスピリットとアルティメットのBPを3000プラスする！」

〔アルティメット・フェンリル BP15000↓18000〕

〔プテルファイター BP2000↓5000〕

「ならこっちも！」

「何っ!」

「ボルカニックキャニオン、レベル1からの効果!アタシの系統:<地竜>を持つスピリット1体につき、アタシのスピリット皆のBPをプラス1000するっス!

ダーク・デイノニクソー、ダーク・テイラノザウラーの2体がいるため、プラス2000!」

「闇龍ダーク・テイラノザウラー BP15000+2000=17000」

「ダーク・デイノニクソー BP2000+2000=4000」  
「ニジノコ BP1000+2000=3000」

…くっ!あそこでプレラスラッシャーを倒してなかったら越えられたってことか…!

「まだ終わって無いっスよ!」

「まだ?!」

「ダーク・テイラノザウラー、レベル2からの効果!アタシの系統:<地竜>を持つスピリット全員のBPをプラス3000するっス!」

「ファッ!」

「闇龍ダーク・テイラノザウラー BP17000+3000=20000」  
「ダーク・デイノニクソー BP4000+3000=7000」

越えられた!?

「更に暗黒銀河の効果!地竜のBPをプラス3000!!」

「……………」

「闇龍ダーク・テイラノザウラー BP20000+3000=23000」

「ダーク・デイノニクソー BP7000+3000=10000」  
赤 ネクサス

《ボルカニックキャニオン》

コスト3 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：＜地竜＞を持つ自分のスピリット1体につき、自分のスピリットすべてをBP+1000する。

赤 ネクサス

《黄昏の暗黒銀河》  
たそがれ あんこくぎんが

コスト5 軽減赤2緑1

＜0＞ Lv1

＜2＞ Lv2

シンボル：赤緑

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：＜地竜＞を持つ自分のスピリットすべてをBP+3000する。

「ダーク・ティラノザウラー！合体アタックく！アタック時効果発揮！」

「ここまでやってアタック時効果まであんなのかよ…！」

「ダーク・ティラノザウラーのBP以下のセンパイのスピリット1体を破壊するっス！」

「はあ!？」

「つまり、BP23000以下のプテルファイターを破壊するっスよ！」

「対抗できる訳がない…！」

(リザーブ0↓2)

《闇龍ダーク・ティラノザウラー》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのBP以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【???

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統：＜地竜＞を持つ自分のスピリットすべてをBP+3000する。  
る。

「さあどうするっスかあ？」

「うぐぐ…」

「どうしたらいい、どうしたらいい!? このままUフェンリルでぶつからなければライフ2つアウト。」

「しかし守ってUを犠牲にしても残りのダーク・デイノニクソーとニジノコを通してしまえば同じ。せつかく出したのにあつという間に駆逐される……。」

「……ライフだ!」

「ダーク・テイラノザウラーはダブルシンボルっス!」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ2↓4)

「ライフ減少で、バーストだ!」

肉斬骨断、ここで返してみせる!

《リユーマン・ゴッドブレイカー》!!」

「おおっ!」

「バースト効果、BP100000のダーク・デイノニクソーを破壊する!」

「くうく!破壊されるっス!」

(朱莉リザーブ0↓1)

「そして自分のアルティメット、Uフェンリルがいるため、1枚ドロ―して……」

(悠姫手札3↓4)

「こいつを召喚する!Uフェンリルからコア1つを受け取って、レベル3だ!」

(リザーブ4↓0)

「アルティメット・フェンリル コア4↓3 レベル5↓4」

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア5 レベル3 BP13000+30000=160000」

赤 スピリット

《リユーマン・ゴッドブレイカー》

コスト8 軽減赤4 <竜人>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

<5> Lv3 BP13000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

この効果発揮後、自分のアルティメットがいるとき、自分はデッキから1枚ドローし、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 『??』

???

「新しいカード、切り札っスね…！」

これが逆転の一手だ。バーストインパクトの新しいカードを入れたことで…博打性が増した気がするが、これもこれで楽しいからいいさ。

「くぬぐ、ターンエンドっス」

〈悠姫・第十ターン〉

「これが正念場だ…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…仕留められるか…？ マジック《ネオ・ダブルドロ》。2枚ドローし、Uフェンリルがいるため更に1枚ドロー」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓3)

(手札4↓6↓7)

「ブレイヴ《砲竜バル・ガンナー》をゴッドブレイカーに直接合体！  
不足分はUフェンリルから！」

(手札7↓6)

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・フェンリル コア3↓2 レベル4↓3」

(トラツシユ3↓6)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

リユーマン・ゴッドブレイカー (合体)

〔コスト8+4⇓12〕

〔BP13000+2000⇓15000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：赤+赤⇓赤赤〕

赤 ブレイヴ

《砲竜バル・ガンナー》

コスト4 軽減赤2 <地竜・星竜>

<1> Lv1 BP2000

<0> 合体 +2000

シンボル：赤

〔合体条件：コスト4以上〕

〔合体時〕『このスピリットの合体アタック時』

自分はデッキから1枚ドローし、BP4000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

分の悪い賭けだが乗るしかない。あと5点、一気に何とかする！

「アタックステップ、ゴッドブレイカーで合体アタック！合体アタック時効果でBP4000以下のニジノコを破壊し、1枚ドロー！」

〔ニジノコ 破壊〕

(朱莉リザーブ1↓2)

(悠姫手札6↓7)

「更にレベル2からの効果！」

手札の《アルティメット・プテラトマホーク》を捨てて、ゴッドブレイカーは回復する！

「なるほど！」

(悠姫手札7↓6)

《リユーマン・ゴッドブレイカー》

Lv2・Lv3『このスピリットのアタック時』



自分の手札にある、アルティメットカード1枚か、系統：＜竜人＞を持つスピリットカード2枚を破棄することで、このスピリットは回復する。

「……ライフつス！」

(朱莉ライフ5↓3)

(リザーブ2↓4)

「ゴッドブレイカー、2回目のアタック！1枚ドロ、手札の《アルティメット・ドラグサウルス》を捨てて回復！」

(手札6↓7↓6)

「むむむ……！」

「フラッシュが無いならこっちから行くぞ！フラッシュタイミングで《バーストブレイク》！足りない分はゴッドブレイカー、Uフェンリルから受け取る！」

(手札6↓5)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア5↓1 レベル3↓1 B  
P13000↓6000+2000=8000」

「アルティメット・フェンリル コア2↓1」

(トラッシュ6↓11)

「ふおっ!!」

「バーストを破棄させてもらうぞ！」

「げええ!!? 《絶甲氷盾》があゝ!!」

(バースト：セット↓破棄)

白 マジック

《バーストブレイク》

コスト5 軽減白2緑1

フラッシュ:

BP合計5000まで相手のスピリットを好きなだけ手札に戻す。

または、相手のバースト1つを破棄する。

この効果は、メインステップで使えない。

「アタックは！」

「ライフしかないっス！」

(朱莉ライフ3↓1)

(リザーブ4↓6)

「あと1つ!」

「むいゝ!バーストブレイクが来るなんて予想外っスよゝ!これを凌いでたら勝てたのにゝ!」

「さっき使っておけばよかつたんじや?」

「予想外って言ったじゃないっスかゝ。ゴッドブレイカーを回復させるマジック使われても、コアを使わせて絶甲で流せばイケるって思ってたんス。けど当てが外れたっスゝ。手札に持つときやよかつたっスゝ」

奇しくも、前の彩音さんとのバトルで手札が切れた私だな。バル・ガンナーの効果で引いてこれたのは幸運だった。

「賭けはこっちの勝ちみたいだったな!ゴッドブレイカー、合体アタック!!」

「ライフ、くれてやるっスよ!!」

(朱莉ライフ1↓0)

「よつつしやあ!!」

「あううゝ、負けたっスゝ」

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 二への足掛かり・Bパート

不肖、初心者の緋立 悠姫。やっこのこと白星が3つになりました。しかしながら辛くも勝利を納めているのが現実だが…。

「んにゃ〜！負けたく〜！」

「何とか勝った…！」

軽く頬を膨らませて悔しがる朱莉。可愛らしいが駄々こねて…はいないな。

「センパイが赤白だったならバーストブレイクの可能性を疑うべきだったっす〜」

「たまたまだよ」

とりあえず私の勝因はバーストブレイクをあとの2回のアタックで引けたことだ。

しかし偶然勝てただけ。構築はプレイングは向こうが断然上だ。

「アルティメットがルゴプスやダーク・テイラノザウラーの貫通に対応さえしてくれてたら確実に勝てたんすよ〜」

「ふむ…」

…あ、そうだ。同じ赤使ってるんだから何かアドバイス貰えないかな。

「なあ異也」

「朱莉でいいっすよセンパイ」

「そうか？ なら朱莉、何かアドバイスとか貰えないか？」

「ふえっ？ アドバイスっすか？」

朱莉は腕を組み少しうんうん唸りながら頭を傾げた。そんなに悩むことなのか。

「アドバイスしたいのは山々なんすけど、アタシのデッキじゃ参考にならないっすよ〜」

そうなのか？ すると、朱莉がデッキをまるでカジノとかのディーラーがトランプをサア〜と広げるように見せてくれた。…案外器用なんだな。

「このデッキは赤を主軸に黄を合わせた【地竜想獣連鎖】なんでスけ

ど」

【地竜】と【想獣】…」

「さつき見てももらったように、地竜の突破力と想獣のライフ回復とアンブロッカブル効果に合わせて、連鎖でのお互いを利用するっていう、ね」

「へえ、凄いな」

…なるほど、確かに参考になりにくいなこれは。私のアルティメットデッキじゃ方向性が違うし、何しろ入れてても《シルバー・ヴルム》や《ライト・ブレイドラ》の【強化】だ。

「まあ、赤としてのアドバースなんて「焼いて殴れ」ってぐらいっす」「凄い…シンプルです…」

「初心者から上級者まで使い易さを重視した色っすからね。大丈夫っす。必ずセンパイに合った戦術や戦略、構成が見つかるっすよ」

それから少し朱莉と話し込んだところで朱莉の次の対戦者が来たようで、また対戦しようということでも別れた。

…さて次はどなたかな。今のデッキでアドバースが活かせるか疑問だが、ここまできたんだから勝ちに行きたい。

「……あ」

「……どうも。緋立先輩」

——うおお、まさかとは思ったが、この私を突き刺す敵視する目の持ち主を忘れる訳が無い。

「き、来てたのか…」

「…ええ。朱莉の付き合いで、ですけど」

「そ、そうか…」

「………」

「………」

登録ネーム // 時計兎

ありすがわ // 有栖川 洋子

生徒会会長補佐役中等部1年で、会長に勝った私をあれからすごく冷たく当たられている。

「……………」

「……………」

……………めっちゃ気まずい。

「……………」

「……………始めましょうか」

「あ…、おう」

vs 《有栖川 洋子》

【??】

向こうが「お前なんか大っ嫌い」っていう感じが無言のプレッシャーとして襲い掛かってきて私は思わず身震い。…サツバツ。

「……………」

「……………先攻後攻はどうします?」

「えっ、あ、好きに…」

「…では、先攻をいただいても?」

「ど、どうぞ」

〈洋子・先攻第一ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ）

（手札4↓5）

「メインステップ。ネクサス《星空の冠》を配置」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュ0↓4）

…黄色を使うのか。

実は今まで有栖川がバトルしてるところを見たことが無いんだよな。朱莉やもう一人の…あのおどおどした娘が誘っても私がいると絶対やらなかった。本当に嫌われてるんだなと痛感した瞬間だった。

「バーストをセットし、ターンエンド」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。：バーストをセット」

(手札5↓4)

〔バースト：無し↓セット〕

「：ターンエンド」

〈洋子 第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。《冒険天使チャール》を召喚します。レベル1」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓2)

「冒険天使チャール コア1 レベル1 BP2000」

天使：。〈天霊〉ってやつだっけか。可愛いイラストとは裏腹に厄介な効果を持つてるんだよな：。

「冒険天使チャールの召喚時効果。」

私の手札にある黄のブレイヴカード3枚までをオープンできます。

そして、オープンした枚数分ドローします」

黄 スピリット

《冒険天使チャール》

コスト3 軽減黄1 〈天霊〉

〈1〉 Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある黄のブレイヴカード3枚までをオープンして手元に置くことで、オープンしたブレイヴカード1枚につき、自分はデッキから1枚ドローする。

オープンしたブレイヴカードは、ゲーム終了時まで、手札にあるときと同様に使用できる。この効果はターンに1回しか使えない。

Lv2・Lv3 『???』

???

「私は手札3枚〃全て〃をオープンします」

(手札3↓0)

バンツ！つと音がするほど手札を強く叩き付けオープンする有栖川。カードを投げてはいないが、掌で叩くといった感じ。：コワイ。

●オープンしたカード

・《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》

・《光翼の神剣エンジェリック・フェザー》

・《ハイドランディア》

「!?」

「……………何か」

「い、いや…」

じ、手札事故起こしてたのか。見る限りコストは5。なら合体条件が合わないのか…。

「では3枚新たにドローします」

(手札0↓3)

「《光楯の守護者イーデイス》を召喚。レベル1」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ2↓3)

「光楯の守護者イーデイス コア1 レベル1 BP1000」

「ターンエンドです」

…攻めてこない。動く気が無いのか何なのか、はたまた待つてるのか。

〈悠姫 第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札4↓5)

「メインステップ。《シルバー・ヴルム》をレベル1で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓5)

「シルバー・ヴルム コア1 レベル1 BP4000」

実を言えば私も手札事故が起きていたりする。待ち構えてくれて助かった。

「アタックステップ。シルバー・ヴルムでアタック！」

「ライフで受けます」

(洋子ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

躊躇いも無くライフで受けられた…。

「ライフが減った為、星空の冠の効果を発揮します。デッキトップをオープンして、コスト2以下のスピリットカードならばノーコストで召喚できます。」

召喚しない、又は違う場合は手札に加わります」

●オープンしたカード

・コスト2 《舞踏の魔女マイヤ》(スピリット)

「コスト2なのでそのまま召喚」

(リザーブ0↓1)

「舞踏の魔女マイヤ コア1 レベル1 BP1000」

「更にバースト発動。《絶甲氷盾》。ボイドからコア1つをライフに。追加コストは支払いません」

(洋子ライフ4↓5)



ちくしょう。スピリットを出させただけか。でも一応伏せてるのが伏せてるのだ。『召喚はできない』が何とかなるだろう。

「ターンエンド」

〈洋子 第五ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札2↓3）

（トラッシュユ2↓0）

（リザーブ1↓3）

「メインステップ。……………私は」

「…？」

「私は…、緋立先輩が大嫌いです」

真正面切って大嫌い宣言された。分かってはいたがショックがデカいなこれは…。

「……………」

「理由は言わなくても分かりますよね」

「…大体は」

「……………姉様”。マリア姉様に泥を塗ったからです」

まあ、そうだよな…。

「姉様は私の絶対なんです。強くて、気高くて、とても綺麗で…」

あの生徒会長、<sup>かほういん</sup>「赫蓬院マリア」を語る有栖川の言葉には熱があり、どれだけ心酔してるのかが解る。

「それをあなたは…っ！」

そして一転。私を睨む目は仇敵を見る目そのもの。

「負かしたどころか、侮辱した…！」

そりゃ怒らない方がおかしい。一番好きな人を馬鹿にされたら誰だって怒る。

「初心者の方があなたが姉様を馬鹿にするなんて、無礼にも程があります！」

「……………そうは言うが」

「聞きたくありません！姉様の仇は私が討ちます！」

「こつちの話を…」

「聞きたくないと言ってます！これ以上何か言うのなら……」

……何だ？言葉に詰まったみたいでどう言ったらいいのもか迷ったような感じだが。

「そ、それ以上、い、言うなら……た、叩きますよ?!」

——あ、ダメだ。可愛い。怖さが吹っ飛んだ。

「……………」

「…えっと、と、とにかく！姉様の仇、取らせてもらいます！

舞踏の魔女マイヤをレベル2にします！」

(リザーブ3↓2)

「舞踏の魔女マイヤ コア1↓2 レベル1↓2 B P 1 0 0 0 ↓  
2 0 0 0」

「マイヤレベル2からの効果で、マイヤは緑のスピリットとしても扱われます！」

黄 スピリット

《舞踏の魔女マイヤ》

コスト2 軽減黄1緑1 <導魔>

<1> L v 1 B P 1 0 0 0

<2> L v 2 B P 2 0 0 0

<3> L v 3 B P 3 0 0 0

シンボル：黄

L v 1・L v 2・L v 3 『???』

???

L v 2・L v 3

このスピリットの色とシンボルは緑としても扱う。

「更に《カナブーン》を召喚、レベル1！」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓1)

「カナブーン コア1 レベル1 BP2000」

「緑のカード…」

「軽減は黄が2つに緑が1つ、よって3軽減してコスト1です！そして召喚時効果、ボイドからコア1つをリザーブに置きます！」

(リザーブ0↓1)

緑 スピリット

《カナブーン》

コスト4 軽減緑1黄2 <殻虫>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

【連鎖：条件《黄シンボル》】

「黄」：相手のスピリット1体を指定する。このターンの間、そのスピリットはブロックできない。

黄色に合わせてきた緑のカードか…。

「【連鎖：黄】発揮。シルバー・ヴルムを指定。シルバー・ヴルムはこのターン回復しようとしてブロックできません」

「わかった」

「ですが、ここはバーストをセットしてターンエンドとします」

(バースト：無し↓セット)

なかなかアタックしてこないな。…ホムホムさんの黄色とは違うってことか。

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ。…今来たか。《ムゲンドラ》を召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓5)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

「続けて《砲竜バル・ガンナー》をシルバー・ヴルムに直接合体！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓2)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

シルバー・ヴルム(合体)

「コスト：5+4=9」

「BP4000+2000=6000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤=赤赤」

「そしてシルバー・ヴルムにコア1つ追加してレベル2に」

(リザーブ3↓2)

「シルバー・ヴルム(合体) コア1↓2 レベル1↓2 BP40

00↓6000+2000=8000」

「アタックステップ。シルバー・ヴルムで合体アタック！ バル・ガン

ナーの効果でBP4000以下の相手スピリット1体破壊して1枚

ドロロー！だがシルバー・ヴルムの【強化<sup>チャージ</sup>】が2つ乗って6000以下

を1体破壊する！」

(手札3↓4)

はて、どれを狙ったものか。状況的には変わらない気もするが…、

あのマイヤが気になる。

「舞踏の魔女マイヤを狙うぞ！」

「…分かりました。ですが…」

「ですか？」

「光楯の守護者イーデイスの効果が発揮されます。相手によって、私  
のコスト3以下のスピリットが破壊されたとき、疲労状態で場に残り

ます」

「何っ…!?!」

黄 スピリット (光)

《光楯の守護者イーデイス》  
こうじゆん しゅごしや

コスト3 軽減黄2 <天霊>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3

コスト3以下の自分のスピリットすべては、相手の効果で破壊されるとき、疲労状態でフィールドに残ることができる。

Lv1・Lv2・Lv3 【強化】

自分の「BP―効果」を―1000する。

「よって、コスト2であるマイヤは疲労状態で残ります」

「：カナブーンにしとけば良かったか。とにかくメインのアタックだ」

「ライフで受けます」

「シルバー・ヴルムはダブルシンボル。ライフ2つ撃たせてもらうぞ」

(洋子ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「星空の冠の効果発揮です」

●オープンされたカード

・《リバイヴドロ》(マジック)

「手札に加えます」

(洋子手札0↓1)

「更にライフ減少によってバースト発動！《妖華吸血爪》ようかきゆうけつそうです。2枚ドロしますが、追加コストは支払いません」

(バースト：セット↓発動)

(手札1↓3)

「：ターンエンドだ」

あのイーデイスに破壊から守る効果があつたなんて…。ならばバーストを換えなかつたのはミスつたか。

〈洋子・第七ターン〉

「スタートステップ」

(手札3↓4)

(リザーブ3↓4)

(トラッシュキュ1↓0)

(リザーブ4↓5)

「メインステップ。2体目の《舞踏の魔女マイヤ》を召喚、レベル1  
(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「舞踏の魔女マイヤ(2) コア1 レベル1 BP1000」

「…まずはこの子から見せてあげます」

切り札が来たか。しかし「この子」って事はまだこれは序ノ口つてことか？

「命を護り、命を育む千の時を生きた神の獣！

《千年獣ベヒモス・シダー》!!」

「ベヒモス・シダー…!?!」

「ベヒモス・シダーのコストは9!」

き、9つて…、今のリザーブのコアじゃ支払えないんじゃないや…。たとえ払えたとしても維持するためにスピリットを犠牲にする必要が…。

「舞踏の魔女マイヤ2体の効果発揮させます!」

「っ!?!」

「名称に“ベヒモス”と付くスピリットを召喚する際、このマイヤを疲労させることにより、コストを2減らすことができます!」

「コストを減らすだと!?!」

「マイヤを2体疲労させたことで、ベヒモス・シダーのコストをマイナス4!よって支払うコストは5になります!」

《舞踏の魔女マイヤ》

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のメインステップ』

自分がカード名に「ベヒモス」と入っているスピリットカードを召

喚するとき、このスピリットを疲労させることで、そのコストを—2  
する。

「チャール、イーデイス、レベル1のマイヤで黄シンボル3。カナブー  
ン、レベル2のマイヤで緑シンボル2。これで最大軽減!

ベヒモス・シダーはレベル3で召喚します!」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

「千年獣ベヒモス・シダー コア3 レベル3 B P 1 4 0 0 0」

緑黄 スピリット

《千年獣<sup>せんねんじゆう</sup>ベヒモス・シダー》

コスト9 軽減緑3黄3 <樹魔<sup>じゆま</sup>・想獣>

<1> Lv1 B P 8 0 0 0

<2> Lv2 B P 1 0 0 0 0

<3> Lv3 B P 1 4 0 0 0

シンボル：緑黄

「コア3つでB P 1 4 0 0 0!?!」

「黄色はこうでなくては戦えません。そしてベヒモス・シダーの召喚  
時効果発揮! 私の黄のスピリット1体につき、ボイドからコア1つ  
を私のリザーブに置きます!」

L v 1 ・ L v 2 ・ L v 3 『このスピリットの召喚時』

自分の黄のスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のリ  
ザーブに置く。

「場にはチャール、イーデイス、マイヤ2体、そしてベヒモス・シダー。  
よって5つリザーブに!」

(洋子リザーブ1↓6)

一気に入つも増やした…! 前バトルした黄もそうだが、黄ってこん  
な爆発力が高いのか…。こっちの爆発力が子供だましに思えてくる。  
「まだです。オープンしている」、《夢幻の天剣トワイライト・ファンタ  
ジア》をベヒモス・シダーに直接合体させます!」

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ0↓3)

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 直接合体

千年獣ベヒモス・シダー（合体）

〔コスト：9＋5＝14〕

〔BP14000＋5000＝19000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：緑黄＋黄＝緑黄黄〕

「夢幻の天剣、あなたに見切れますか？

召喚時効果発揮。トワイライト・ファンタジアが召喚されたときに

私のライフが5以下なら、リザーブのコア1つをライフに置けます」

「なっ、回復効果持ちなのか!？」

「：回復と言えば回復ですが、細かく言うようなら回復というより、元に戻したと言った方が良い気がしますけどね」

黄 ブレイヴ

《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》

コスト5 軽減黄2 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 ＋5000

シンボル：黄

〔合体条件：コスト5以上〕

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分のライフが5以下のとき、自分のリザーブのコア1個を自分のライフに置くことができる。

【合体時】『??』

???

「今の私のライフは3。よって、リザーブのコア1つをライフに置きますー」

(リザーブ3↓2)

(洋子ライフ3↓4)

くっ、これは厳しいな…。トリプルシンボルのベヒモス・シダーに回復が得意な黄色、コアを増やすのが得意な緑が合わさって最強に見



えるってか？

「最後に、バーストをセット！」

(手札2↓1)

〔バースト：無し↓セット〕

「アタックステップ。ベヒモス・シダー、ソードブレイザ 剣刃合体アタック！」

遂に動くか……！あのトリプルシンボルを受けたら一たまりもない

！この押し潰す戦い方は、会長を慕っているから似てるのか？

どうにかしたくても生憎双光気弾が手札に無い。どうしたものか

……

「ベヒモス・シダー、レベル2からの効果！」

「っ！」

「私のベヒモスを止めたければ、スピリットなら2体でブロックしてください！」

「な、何!? どういうことだ…!？」

《千年獣ベヒモス・シダー》

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

カード名に「ベヒモス」と入っている自分のスピリットがアタックしたとき、スピリットでブロックするなら、相手はスピリット2時でないとはブロックできない。

そのスピリットがブロックされたとき、どれか1体とだけバトルする。

「先輩がこのベヒモス・シダーをブロックしたいのなら、回復状態、ブロック出来るスピリット2体でなければブロックできません。」

つまり、今先輩がブロック可能なスピリットはムゲンドラのみ」

「…ということは」

「このベヒモス・シダーを止めることはできません」

「……なんてこった」

さっきアタックしたのは間違いだったか？ …いや、遅かれ早かれライフ3つは持って行かれたかも知れない。今はこの程度で済んだということにしよう。

「…ライフだ！」

「ではトワイライト・ファンタジアの効果発揮！」

「この期に及んでまだあるのか…」

「この夢幻の天剣を持ったスピリットを、相手がブロックしなかったとき、ボイドからコア一つをライフに置きます」

「っ!？」

(洋子ライフ4↓5)

「更に付け足せば、たとえベヒモス・シダーをブロックしても回復しませんがね」

「い、インチキ効果も大概に…」

「それは白に言ってください。黄色は自分のやれる事を精一杯やるだけです」

…皆同じこと言うよな。

「インチキ云々は白に言え」って。

初心者の私からしたら黄色も大概だと思うが、言うてはダメなのか。

《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットが相手のスピリットにブロックされたとき、このスピリットは回復する。

ブロックされなかったとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

「ベヒモス・シダーはトリプルシンボル！大人しくライフで受けなさい！」

「ら、ライフだ…!」

(悠姫ライフ5↓2)

(リザーブ2↓5)

ぐっ…!?! シャレにならんとこれはい!

「ライフ減少で、バースト！」

《リユーマン・ハマー》だ!」

(バースト：セット↓発動)

こいつはアルティメットがないと召喚できない。来るまで…と

か余裕ぶっこいてたのが仇になった。

「バースト効果。BP4000以下のスピリット3体を破壊するが、シルバー・ヴルムで【強化】2つを乗せてBP6000以下を破壊だ！」

赤 スピリット

《リューマン・ハンマー》

コスト4 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP7000

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

BP4000以下の相手のスピリット3体を破壊する。

この効果発揮後、自分の赤のアルティメットがいるとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3『このスピリットの破壊時』

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

「カナブーン、イーデイス、チャールを選ぶ！」

「カナブーンは破壊されます。が、イーデイスとチャールは効果により残ります」

「カナブーン 破壊」

「光楯の守護者イーデイス 破壊↓疲労状態で残留」

「冒険天使チャール 破壊↓疲労状態で残留」

(洋子リザーブ3↓1)

「リューマン・ハンマーはアルティメットがいないと召喚できないため、このままトラッシュユ行きだ」

「バースト：発動↓トラッシュユへ」

「ターンエンドです。命拾いしましたね」

追撃は防げたが状況は変わってない。あのイーデイスを何とかしなければ突破は難しい。たとえ突破出来ても背後にはベヒモス・シダーとまだ出ていない切り札が待ち構えている。…ここからは一歩

間違えたら即負け、か。

〈悠姫・第八ターン〉

「肉を斬らせて…とは言うが。スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札4↓5)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ6↓8)

「メインステップ。《リューマン・フェニックス》を召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュ0↓1)

「リューマン・フェニックス コア1 レベル1 BP2000」

「更に《究極龍王リヴァイア》をレベル3で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュ1↓4)

「究極龍王リヴァイア コア1 レベル4 BP17000」

まさかアルティメットをその場凌ぎの壁として立たせることになるとは思いもよらなかった。

「最後に《アイゼンドラゴン》を召喚。レベル維持にはシルバー・ヴルムから受け取る」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ4↓6)

「シルバー・ヴルム(合体) コア2↓1 レベル2↓1」

「アイゼンドラゴン コア1 レベル1 BP3000」

赤 スピリット

《アイゼンドラゴン》

コスト5 軽減赤3 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットのバトル時』  
BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、自分はデッキから1枚  
ドローする。

「それで砲竜バル・ガンナーをアイゼンドラゴンに換装！」

砲竜バル・ガンナー

← 換装

アイゼンドラゴン（合体）

「コスト：5+4≡9」

「BP3000+2000≡5000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤≡赤赤」

「アタックステップ！ アイゼンドラゴンで合体アタック！

バトル時効果発揮！BP3000以下を破壊、【強化】が1つ乗って  
BP4000以下を破壊！更にバル・ガンナーも【強化】が乗ってB  
P5000以下を破壊し、1枚ドロー！アイゼンドラゴンも、自分の  
アルティメットがいるため1枚ドローだ！」

（手札1↓3）

「いくら破壊しようと、イーデイスがいる限り無意味です！」

「承知の上だ！で、このアタックはどうする！」

「：受けます！」

「アイゼンドラゴンはダブルシンボル！」

（リザーブ3↓5）

（冠の効果発揮！）

「冠の効果発揮！」

●オーブンをしたカード

・《エターナルディフェンス》（マジック）

（手札1↓2）

「ターンエンドだ」

〈洋子・第九ターン〉

「スタートステップ…！」

(リザーブ5↓6)

(手札2↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ6↓9)

「コアは十分確保しています。メインステップで、マジック《双翼乱舞》を使用。2枚ドロウします」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュ0↓4)

(手札2↓4)

「アタックステップ。ベヒモス・シダー、剣刃合体アタック！」

仕留めに来たか…！

「リヴアイアでブロック！」

「アルティメットでならベヒモス・シダーの効果も天剣の効果も通用しませんものね…。しかし、その究極は討ち果たさせてもらいます…！」

「破壊か…！」

「まだです！フラッシュタイミングでマジック《セイントブリーズ》を使用します…！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

(トラッシュ4↓5)

「先輩のスピリット2体のBPを3000マイナスします、そこにイーデイスの【1強化】ワンチャージしてBPをマイナス4000します！」

「上げるんじゃなくて下げるマジックか…！」

「対象はシルバー・ヴルムとリユーマン・フェニックス！」

「シルバー・ヴルム BP4000↓0」

「リユーマン・フェニックス BP2000↓0」

BPが0になったってことは、絶対に当たり負けてしまうってことかよ。

「更に【連鎖：緑】！」

「っ!？」

「BP5000以下の先輩のスピリットすべてを疲労させます！」

「はあ!？」

「ムゲンドラ BP1000 疲労」

「シルバー・ヴルム BP0 疲労」

「リユーマン・フェニックBP0 疲労」

黄 マジック

《セイントブリーズ》

コスト5 軽減黄3緑1

フラッシュ：

このターンの間、相手のスピリット2体をBP-3000する。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

「緑」：BP5000以下の相手のスピリットすべてを疲労させる。

「これで残りのスピリット達のアタックは止められませんね！」

「くっ…、まだだ！マジック、《ネオ・フレイムテンペスト》！」

「えっ!？」

「コストはムゲンドラ、リユーマン・フェニック、シルバー・ヴルム、リヴァイアから確保！」

(手札3↓2)

「ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

「リユーマン・フェニック コア1↓0 消滅」

「シルバー・ヴルム コア1↓0 消滅」

「究極龍王リヴァイア コア1↓0 消滅」

(トラッシュ6↓10)

苦肉のやり方だが、相手は破壊されても疲労で残る。ならそれを利用して、疲労してもらおう！

「大胆なことを…！」

「舞踏の魔女マイヤ（1） 破壊↓疲労状態で残る」

「舞踏の魔女マイヤ（2） 破壊↓疲労状態で残る」

「光楯の守護者イーデイス 破壊↓疲労状態で残る」

「冒険天使チャール 破壊↓疲労状態で残る」

「くっ…！」

「ベヒモス・シダーはリヴァイアでブロックしたからダメージは無しだな」

「……ターンエンドです」

〈悠姫・第十ターン〉

「回った…！スタートステップ！」

（リザーブ0↓1）

（手札2↓3）

（トラッシュ10↓0）

（リザーブ1↓11）

「メインステップ。よし、《アルティメット・ドラグサウルス》を召喚！」

（手札3↓2）

（リザーブ11↓8）

（トラッシュ0↓2）

「アルティメット・ドラグサウルス コア1 レベル3 B P 6 0 0 0」

「Uドラグサウルスの召喚時効果、相手のネクサス1つを破壊する！  
星空の冠を破壊だ！」

赤 アルティメット

《アルティメット・ドラグサウルス》

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

コスト4 軽減赤2 <新生・爬獣はじゆう>

<1> Lv3 BP6000

<3> Lv4 BP10000

シンボル：金

Lv3・Lv4『このアルティメットの召喚時』



相手のネクサス1つを破壊する。

【Uトリガー】Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「アイゼンドラゴンとバル・ガンナーを分離させて…」

「アイゼンドラゴン（合体） 分離」

（リザーブ8↓7）

「砲竜バル・ガンナー コア1 レベル1 BP2000」

「次はこいつだ！こいつは、自分の場にアルティメットが存在しているとき、コストを5にする！」

「っ！」

「《リューマン・ブレイド》！」

レベル2で召喚だ!!」

赤 スピリット

《リューマン・ブレイド》

コスト8 軽減赤4 <竜人・剣使>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：赤

自分のアルティメットがいる間、手札にあるこのスピリットカードをコスト5にする。

「アイゼンドラゴンとバル・ガンナーで、コストは3！」

（手札2↓1）

（リザーブ7↓0）

（トラッシュ2↓5）

「リューマン・ブレイド コア4 レベル2 BP7000」

「竜剣使…！」

「リューマン・ブレイドの召喚時効果発揮！」

シンボルを2つ以上持つスピリットすべてを破壊する！」

「なっ!？」

「この場にシンボルを2つ以上持つてるのはそのベヒモス・シダーしかいないな！」

「やっつけてくれますね……！」

(洋子リザーブ4↓7↓6)

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア 残留 コア1 レベル

1 BP5000」

《リューマン・ブレイド》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

シンボル2つ以上を持つスピリットすべてを破壊する。

「バル・ガンナーをリューマン・ブレイドへ合体！」

砲竜バル・ガンナー

← 合体

リューマン・ブレイド (合体)

「コスト：8+4≡12」

「BP7000+2000≡9000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤≡赤赤」

「砲竜バル・ガンナー コア1↓譲渡」

「リューマン・ブレイド (合体) コア4↓5 レベル2↓3 BP  
7000↓10000+2000≡12000」

「アタックステップ、アイゼンドラゴンでアタック！バトル時効果でBP3000以下のスピリット、イーデイスを破壊して、Uドラグサウルスがいるため1枚ドロロー！」

(手札1↓2)

……っ！ この坊主めくり状態はいつか解消されんのかな！ これを引いたのは巡り合わせだと思う！

「イーデイスは場に残ります！」

「ならフラッシュタイミング、マジック《ネイチャーフォース》！コストはブレイドから受け取って、トラッシュユにあるコア全部をブレイドに戻すぞ！」

(手札2↓1)

「リューマン・ブレイド（合体） コア5↓2 レベル3↓1」  
（トラッシュユ5↓8↓0）

「リューマン・ブレイド（合体） コア2↓10 レベル1↓3」  
「っ！姉様と似たようなやり方を……！」

似たようなと言われても、前に私も滅龍帝で同じような事してたんだけどな……。

「アイゼンドラゴンのアタックはどうする！」

「……ライフです！」

（洋子ライフ3↓2）

（リザーブ5↓6）

「リューマン・ブレイド、合体アタック！バル・ガンナー効果で1枚ドロ……！」

そしてリューマン・ブレイド、レベル3のアタック時効果発揮！

赤のシンボル1つを追加！

（手札1↓2）

「っ!? トリプルシンボル!?!」

「更にブレイドのシンボル1つにつき、BPをプラス5000！ブレイドのシンボルは3つ、よってBPプラス15000だ！」

《リューマン・ブレイド》

Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットに赤のシンボル1つを追加し、このスピリットのシンボル1つにつき、このスピリットをBP+5000する。

「リューマン・ブレイド シンボル赤赤+赤⇐赤赤赤 BP12000+15000⇐27000」

「そっちのスピリットは皆疲労しているぞ?! さあどうする！」

「先程の状況とは逆になりましたね……！」

さつきは有栖川がシンボル3つを、今度はこちらがシンボル3つを叩き付ける番だ。

「……フラッシュタイミング！マジック《フェーズチェンジ》！これにより、コスト4以上のスピリットのアタックでは、私のライフは0になります！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ5↓9)

白 マジック

《フェーズチェンジ》

コスト4 軽減白2紫1

フラッシュユ：

このターンの間、自分のライフは、相手のスピリットの効果と、コスト4以上の相手のスピリットのアタックでは0にならない。

【連鎖：条件《紫シンボル》】

〔紫〕：自分のトラッシュユにあるコスト8以上のスピリットカード1枚を召喚できる。

「ライフで、受けます！」

「リューマン・ブレイドはトリプルシンボル…だが…！」

「私のライフは0にはなりません！」

(洋子ライフ2↓1)

(リザーブ2↓3)

「なら、Uドラグサウルスでアタックだ！こいつはアルティメットだ。フェーズチェンジじゃ止まらないぞ！」

「フラッシュユタイミング、マジック《エターナルデイフェンス》！

チャールを選択！これにより、チャールは疲労状態でブロックできませんー！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ9↓12)

白 マジック

《エターナルデイフェンス》

コスト3 軽減白3

フラッシュユ：

自分のスピリット1体を指定する。

このターンの間、指定されたスピリットは、疲労状態でブロック

る。

「チャールでブロックします！」

「仕留め損ねた…!？」

「イーデイスが護れるのは効果による破壊のみ。…チャール、ごめんなさい」

「…ターンエンドだ」

(洋子リザーブ0↓1)

〈洋子・第十一ターン〉

「…スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュ12↓0)

(リザーブ1↓13)

「…私が追い詰められるなんて…。初心者に、ここまで…」

「…璃恵が言うにはな」

「こんな…こんな…」

「バトルするのは、終わるその瞬間まで何が起こるか解らない」

「…っ！」

受け売りだがな。でも、確かにそうだ。

「確かに、あの会長とのバトルは運に助けられてもぎ取った勝利だ。…力が伴ってないとか、アルティメットに助けられただけって言われなくても仕方ない。だけどな…」

「……………」

「私だって、身内のために負けられなかったんだ」

「っ……！」

「今度はそんなこと言われないよう、強くなる」

「……………」

「…何を言ってるか解らんけども、とにかく、頑張るから」

「……………メインステップ」

…うくん、どうしたもんかな。俯かれました。

「……強くなるっていうんでしたら……」

「ん？」

「……強くなりたいなら、まず私を倒してからにしてください！」

「……言われずとも！」

気合とともに顔を上げた有栖川の表情は不敵に笑っていた。調子に乗るなってか？

「今の状況を確認しましょう。私の場にはイーデイス、マイヤが2体に夢幻の天剣が一振り」

「私はレベル3のブレイド、Uドラグサウルス。レベル1のアイゼンドラゴンと……」

状況的に見たらとんでもなく分が悪い場面。

「先輩には、この状況を打破していただきます。出来ないなんて戯言は聞きません」

「……また無茶振りを」

「では……。最大の切り札を喚びます！」

「神が創造せし大地を統べる獣！」

！  
世界が終わるその時まで、その力を轟かせよ！天地海三頭大地の獣

《陸獣神ベヒモス》!!

レベル3！吼えろ!!

「違うベヒモス……!?!」

「これが私の本当の切り札。

さあ先輩、この獣を喰らうことが出来ますか？

舞踏の女神マイヤ2体を疲労させ、コストマイナス4！よって軽減を入れて0コスト！」

(手札2↓1)

(リザーブ13↓6)

「陸獣神ベヒモス コア8 レベル3 BP20000」

黄 スピリット (闇)

《陸獣神ベヒモス》

コスト8 軽減黄5 <想獣>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP12000

<8> Lv3 BP20000

シンボル：黄黄

「そして夢幻の天剣トワイライト・ファンタジアを、陸獣神ベヒモスに合体！」

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 合体

陸獣神ベヒモス（合体）

「コスト：8+5≡13」

「BP20000+5000≡25000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄黄+黄≡黄黄黄」

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア コア1↓リザーブへ」

（リザーブ6↓7）

「またトリプルシンボルの化け者か…！」

「次にマジック《リバイヴドロ》を使用します。2枚ドロするか、トラッシュにあるスピリットカード1枚を手札に戻せます」

（手札1↓0）

（リザーブ7↓3）

（トラッシュ0↓4）

赤 マジック

《リバイヴドロ》

コスト4 軽減赤1

メイン：

自分はデッキから2枚ドロする。

または、自分のトラッシュにあるスピリットカード1枚を手札に戻す。

フラッシュ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「ここは…2枚ドロ―を選ばせてもらいます！」

(手札0↓2)

「アタックステップ！陸獣神ベヒモス、レベル1からの効果発揮！」

私のアタックステップの間、先輩のスピリットすべてをレベル1として扱います！」

「何っ!? こっちのレベル操作!？」

「青が自分のレベル操作を得意とするなら、黄色は相手のレベル操作が得意だったりするんですよ！」

「リユーマン・ブレイド（合体） レベル3↓1 B P 1 0 0 0 0 ↓  
5 0 0 0 + 2 0 0 0 = 7 0 0 0」

《陸獣神ベヒモス》

L v 1 ・ L v 2 ・ L v 3 『自分のアタックステップ』

相手のスピリットすべてをL v 1として扱う。

「更に！レベル2からのアタック時効果！」

陸獣神ベヒモスは、コアが1つしか乗っていないスピリットからはブロックされません！」

《陸獣神ベヒモス》

L v 2 ・ L v 3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットは、コアが1個の相手のスピリットからブロックされない。

【連鎖・条件 《緑シンボル》】

「緑」：コスト4以下の相手のスピリットすべてを疲労させる。

「例えリユーマン・ブレイド、アイゼンドラゴン、どちらを回復させても、両方を回復させてもベヒモスがスピリットをブロックすれば蹴散らされるのは必然！」

そもそも、コアが1つしか乗っていないアイゼンドラゴンにブロックは不可能！」

「……フラッシュタイミング！」

「っ！」

「マジック 《エターナルディフェンス》をリユーマン・ブレイドに！」



(悠姫手札2↓1)

「リユーマン・ブレイド(合体) コア10↓7」

(トラッシュユ0↓3)

白 マジック

《エターナルデイフェンス》

コスト3 軽減白3

フラッシュユ:

自分のスピリット1体を指定する。

このターンの間、指定されたスピリットは、疲労状態でブロックで  
きる。

「先輩もそれを…!」

「リユーマン・ブレイドでブロック!」

「ブロックされたためベヒモスは回復…。しかし!レベル1になつて  
いる竜剣使では——」

「もう1枚!」

「えっ…!?!」

「マジック、《アルターミラーージュ》!!」

「っっ…!!」

(悠姫手札1↓0)

「リユーマン・ブレイド(合体) コア7↓3」

(トラッシュユ3↓7)

「このターンの間、私のコスト3以上のスピリット。リユーマン・ブレ  
イドとアイゼンドラゴンはBPを比べて破壊されたら回復状態で場  
に残る!」

黄 マジック

《アルターミラーージュ》

コスト4 軽減黄3

フラッシュユ:

このターンの間、コスト3以上の自分のスピリットすべては、BP  
を比べ相手のスピリットに破壊されたとき、回復状態で自分のファイ  
ールドに残る。

この効果は、『自分のターン』で使えない。

「そ、そんな…!」

「フラッシュが無いならそのままバトルだ!」

Defense!!

リューマン・ブレイド (合体)

BP5000+2000≡7000↓Lose...?

vs

BP20000+5000≡25000↓win!!

陸獣神ベヒモス (合体)

Attack!!

「勿論リューマン・ブレイドは振伏せられる。だが!」

「くっ…!? 先輩が黄のカードを…、しかもこんな手を使ってくるなんて! ……ターン、エンドです…!」

〈悠姫・第十二ターン〉

「スタート、ステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札0↓1)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ。リューマン・ブレイドをレベル3、アイゼンドラゴンをレベル2、Uドラグサウルスをレベル4に!」

(リザーブ8↓2)

「リューマン・ブレイド (合体) コア3↓5 レベル2↓3」

「アイゼンドラゴン コア1↓3 レベル1↓2 BP3000↓5000」

「アルティメット・ドラグサウルス コア1↓3 レベル3↓4 BP6000↓10000」

「アタックステップ、アイゼンドラゴンでアタック!バトル時効果、BP3000以下のイーデイスを破壊し、1枚ドロ!」  
(手札1↓2)

「…レベル1のマイヤで、ブロックします!」

「舞踏の魔女マイヤ（2） 破壊」

（洋子リザーブ3↓4）

「Uドラグサウルスでアタック！Uトリガー！」

「…っ!? マジックカード《ステイルハート》。コスト3です…」

「最大ヒット！BP10000以下のイーデイス、マイヤを破壊する！」

「っ…、イーデイスとマイヤは疲労状態で残します…！」

「このアタックは、どうする！」

「ベヒモスでブロックします！」

「アルティメット・ドラグサウルス 破壊」

（悠姫リザーブ2↓5）

「リユーマン・ブレイド、合体アタック!!」

「舞踏の魔女マイヤ 破壊↓疲労状態で残る」

（悠姫手札2↓3）

「ブレイドのアタック時効果、赤のシンボルを1つ追加し、シンボル1つにつきBPプラス5000!」

「リユーマン・ブレイド BP12000+15000=27000

0 シンボル赤赤+赤=赤赤」

「フラッシュユタイミング！マジック《マジックブースト》！」

私の合体スピリット、陸獣神ベヒモスを回復させて、BP+2000!」

（洋子手札2↓1）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ0↓3）

「陸獣神ベヒモス BP25000+2000=27000」

白 マジック

《マジックブースト》

コスト3 軽減白1

フラッシュユ：

自分の合体スピリット1体を回復させ、このターンの間、そのスピリットをBP+2000する。

「ベヒモスでブロック!...これで相討ちですよ!」

「フラッシュユタイミング!」

「...っ!」

「マジック《オーバードライブ》!!」

青 マジック

《オーバードライブ》

コスト4 軽減青2白1

フラッシュユ:

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+5000する。

【連鎖:条件《白シンボル》】

「白」:自分の青のスピリット1体を回復させる。

「白」「白」:シンボル2つ以上を持つ相手のスピリットすべてを手札に戻す。

「リューマン・ブレイドのBPをプラス5000!」

(悠姫手札3↓2)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓4)

「リューマン・ブレイド BP27000+5000=32000」

「更にフラッシュユ!マジック《リゲイン》!足りない分はアイゼンドラゴンから受け取って、リューマン・ブレイドを回復させる!」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「アイゼンドラゴン コア3↓0 消滅」

(トラッシュユ4↓8)

白 マジック

《リゲイン》

コスト4 軽減白2

フラッシュユ:

自分のスピリット1体を回復させる。

または、このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+3000

0する。

「ブレイドのBPは32000だ！」

「……………破壊、されます…」

Attack!!

リユーマン・ブレイド（合体）

BP12000+15000=27000+5000=32000

0↓win!!

vs

BP25000+2000=27000↓Lose… 陸獣神ベ

ヒモス

Defense!!

「討ち果たした…ッ!!」

「……………」

（洋子リザーブ1↓9）

「…リユーマン・ブレイド、合体アタック!!」

（悠姫手札1↓2）

「……………ライフで…、受けます!!」

（洋子ライフ1↓0）

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 二への足掛かり・Cパート

对有栖川 洋子戦。お互いトリプルシンボルの叩き付けあいになり勝ったのは私の方だった。…とにかく、私の意思は伝わっ…てないよな。

「はあ…」

軽く落ち込まれた。

「先輩」

「は、はい」

「もつとしゃんとしてください。勝ったんですから」

「お、おう…」

…あの刺々しい、敵意に満ちた視線は無くなっていた。どちらかと言えば、手間の掛かる弟子を見るような視線。強気な表情が更にそんな感じに思える。まあ、小さくならずには済めるならいいんだけど…。「姉様にも私にも勝ったんですから、先輩にはもつと強くなってもらわないと困ります」

「…そう言われてもなあ」

…それから有栖川に事細かく、くどくどと、デッキのなんたるかを説かれた。…年下からお説教食らうのは初めてだ。

「——という訳です。分かりましたか？先輩。ごちゃごちゃカードを入れるよりよっぽど良いと思われまます」

「…はい」

「よろしい。では次にコスト帯について——」

えっ、まだ続くの？

「はいはいそこまでにするっス」

覚悟してたところに助け舟が。説明がヒートアップしそうになった有栖川を止めてくれたのは、さつき対戦した朱莉だった。いつの間に来たのか、有栖川の両肩に手を置いて軽く前後にガクガクさせている。

「あががが!?!」

「長つたらしいお説教は後にするっスよ洋子。次の対戦者がお待ちっスよ?」

「えっ、ちょ、わ、分かったから揺らすの止めなき…気持ち悪くな…!」

「スンマセンっスねえセンパイ。ウチの洋子が」

「い、いや、ためになつたから良いんだけど揺らすのそろそろ止めて差しあげなさいな。若干有栖川の顔色が悪くなつてきてるぞ…?」

「じゃあセンパイ、洋子に勝つたんスね?」

「まあ、一応」

「やるじゃないっスか〜!」

「お、おう…痛で!」

か、肩を思いつ切り叩くな!

「この調子で白星増やすっスよ〜」

「増やせればな…」

「…せ、先輩には、最低でも…さ、三位になっていただかないと…うぷ…」

完全に有栖川がダウン。今にもリバーズしそうな顔色だ。だから止めたれと言つたのに…。

「洋子もドンマイっス。んじゃセンパイ、アタシあっち行くっスね。あ、洋子も連れてくんで心配ご無用っス〜」

「せ、先ば…うぐっ…!? あ、朱莉…ゆ、揺らさないで…!」

…何かいいたげだったが、肩を担がれ董さんのところへと行つてしまった。…あれ大丈夫なのか?

有栖川の事も気になるが、こっちの対戦もすっぱかす訳にはいかんし…。

「……………あ、あの……………」

「……………まだ対戦相手が来てないみたいだし、ちよつと様子見に行くか」  
「……………あ、あの…!」

「っ!？」

「…あ、す、すみません…!」

「えっ? あ、いや、こちら、こそ…?」

突然声を掛けられて謝られた。何が何だか分からない。…えっと、さつき私声掛けられてた?」

「…あの」

「ひっ…」

…その反応はちよつとへこむわ。

「あつ、ご、ごめんなさい…! わ、私…失礼なことを…」

「あ、いや…。大丈夫大丈夫。…えっと、有栖川と朱莉と一緒にいる…」

「は…はい…。洋子ちゃんと朱莉ちゃんと同じ、中等部一年で、生徒会執行部総務補佐兼書記補佐の『静鳴 雫』です…」

そうそう、静鳴。おどおどした様子が印象的で、何かと謝るのが特徴だっけ。…この娘もバトスピやってたんだ。

「と、登録名…『テケリリ』です…」

「テケリリ…ああ、あつた。うん。こっちは『見習い』。よろしくね」

「は、はい…。よろしく、お願いします。緋立先輩…」

さつきまでいいな、朱莉、有栖川とキツイバトルが続いていたから、今回はゆつたりとまではいかないだろうけど落ち着いてバトルできそうだ。

## VS 《静鳴 雫》

【???】

「さて、先攻後攻はどうする?」

「あ…は、はい…。じ…じゃんけんで…」

「あいよ」

ジャンケンポン! 負けた! ジャンケン弱いな私!

「ああ…! ご、ごめんなさい…!」

「えっ? あ、いや良いよ大丈夫だよ」



「ごめんなさい…」

「大丈夫だって。…で、先攻後攻どっち？」

「は、はい…。で、では…せ、先攻を…」

〈雫・先攻第一ターン〉

「では、あの…先攻、始めさせていただきます…」

(雫リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ…」

ふむ、おどおどした感じとは裏腹に落ち着いた手つきだな。

「えっと…。ネクサスの《海底に眠りし古代都市》を配置します…」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓4)

青 ネクサス

《海底に眠りし古代都市》

コスト4 軽減青3

<0> Lv1

<3> Lv2

シンボル：青

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv2 『??』

???

青か…。あの自称カケルさんのデッキ破壊みたいなものかな

?

「それで…、バーストをセット…します…」

(手札4↓3)

〈バースト：無し↓セット〉

「…：ターンエンド、します…」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「よし、スタートステップ」

(悠姫リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

さて、あのネクサスが何なのかまた調査不足…てか覚えてられないのが現実でしてね。あれがどんな効果発揮するのか分からないのですゆ。

「まあまずは安定の《リユーマン・フェニック》。レベル1で召喚と」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「リユーマン・フェニック コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「フェニックはスピリットが2体以下のとき、こいつはレベル3として扱われる。次にバーストをセット」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ。リユーマン・フェニックでアタック。アタック時効果で1枚ドロ」

(手札3↓4)

先制パンチでどう動くかな。

「あ、えつと…ら、ライフで受け…ます…」

(零ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「で、では…ライフが減ったので…バースト発動、します…」

(バースト：セット↓発動)

《《デイクタドルレギオン》…です…》

「ん。会長とバトルしたときに見たような？」

「はい…。ライフが減ったとき発動して…ボイドから、コア2つをネクサスに置きます…」

「海底に眠りし古代都市 コア0↓2」

青 マジック

《《デイクタドルレギオン》》

コスト5 軽減青3

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア個を自分のネクサスつに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のバースト1つをオープンする。そのカードがスピリットカードのとき破棄する。

それ以外の場合は元に戻す。この効果は、メインステップで使えない。

「フラッシュ効果は、使わず、そのまままで……」

「むむつ、ターンエンドだな」

〈雫・第三ターン〉

「スタートステップ……」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ……。も、もう一枚……《海底に眠りし古代都市》を配置、します……」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「2枚目か……」

「そして……ネクサス配置に反応して……《ティンダロ・ハウンド》を、ノーコストで……召喚します……」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

「ティンダロ・ハウンド コア1 レベル1 BP2000」

「ノーコスト……?」

青 スピリット

《ティンダロ・ハウンド》

コスト3 軽減青2 <異合>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：青

手札にあるこのスピリットカードは、自分のネクサスを配置したとき、コストを支払わずに召喚できる。

Lv2 『自分のアタックステップ』

自分のスピリットがBPを比べコスト3以下の相手のスピリットだけを破壊したとき、このスピリットは回復する。

「造兵じゃないのか」

「ご、ごめんなさい…。い、異合は…青の系統の一つ、です…。造兵が、コツコツ場を建造する感じなら…異合は、突然…と言った…」

突然、ねえ。ここまででスピリットがノーコストで飛び出してくるのを考えるに、奇襲性が高いのかな？ …使ってる静鳴さんには悪いが、妙に生々しいイラストというか何と言うか…。

「あ、あの…あと、古代都市の効果が発揮、されます…」

「おっ」

「私の、系統<異合>を持つスピリットが召喚されたとき…ボイドから、コア1つをリザーブに、置きます…。こ、古代都市は2枚ありますので…ふ、2つ、置きます…」

(雫リザーブ2↓4)

「コアブーストか」

「い、異合は…これが無いと始まらないので…。すみません…」

《海底に眠りし古代都市》

Lv1・Lv2 『自分のメイנסテップ』

系統:<異合>を持つ自分のスピリットが召喚されたとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

これで更に2つコアで有利になった訳だ。青でコアブーストは難しいって璃恵に教わったが、一部例外があるってのも言ってたような。

「次に：マジック《ストロングドロー》を使います…」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓3)

(トラッシュ3↓4)

「で、デツキから3枚、ドローして…」

(手札1↓4)

「2枚、破棄します…。破棄するのは…《海魔巢食う海域》と《魔王蟲の根城》…です」

(手札4↓2)

青 マジック

《ストロングドロー》

コスト3 軽減青2

メイン：

自分はデツキから3枚ドローする。

その後、手札2枚を破棄する。

フラッシュ：

このターンの間、スピリット1体をBP+3000する。

ふむ、赤や紫と違って手札を増やすってよりは交換って言った方が正しいかな。ストロングドローを使ったときと手札の枚数変わってないし。

「あ、あの…」

「ん？」

「こ、こういう手札交換系のマジックは…ドロー枚数が多いのもあるんですが、捨てる手札によって、相手に無言の圧力を与える交換も…あったり、します…」

「見える情報で、つてことか」

「大抵、そういうのは…紫がやると交換絶大ですね…」

「まあトラッシュが手札みたいな色だしなあ。当たっててそう思ったよ。ボコボコにされた私が言うんだから」

「そうですね。ふふふ…」

あ、笑ってくれた。自然な笑い方。可愛いじゃないか。びくびくし

てる顔よりそっちの方が良い感じだ。

「さて、続けて続けて」

「あ、はい。…では、ブレイヴ《フォビッド・バルチャー》を、ティンダロ・ハウンドに直接、合体させます…」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ4↓7)

フォビッド・バルチャー

← 直接合体

ティンダロ・ハウンド (合体)

【コスト：3+5=8】

【BP2000+4000=6000】

【合体時効果：追加】

【シンボル：追加無し】

「フォビッド・バルチャーの…召喚時効果発揮、です…。わ、私のトラッシュにある紫、緑、青のネクサスカードすべてを…ノーコストで、配置します…」

「すべて!？」

青 ブレイヴ

《フォビッド・バルチャー》

コスト5 軽減青2 <戦獣<sup>せんじゅう</sup>・爪鳥>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：なし

【合体条件：コスト3以上】

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分のトラッシュにある紫／緑／青のネクサスカードすべてを、コストを支払わずに配置する。

【合体時】『???』

???

「ストロングドローで破棄した2枚を…トラッシュから配置、します」

「海魔巢食う海域 コア0 レベル1」

「魔王蟲の根城 コア0 レベル1」

「最後に…《猪人ボアボア》を、召喚します…。コストは、古代都市にあるコア2つを使います…」

(手札1↓0)

「海底に眠りし古代都市 (1) コア2↓0」

(トラツシユ7↓8)

「猪人ボアボア コア1 レベル1 BP2000」

「では…アタックステップに入ります…」

お、攻めてくるか。一体異合はどんな攻め方をしてくるのやら。…まさかライフ5ついただきますなんて荒業はやらない、よな？

「ボアボアで…アタック、します…」

「ふむ」

「そ、そこで…ボアボアと海魔巢食う海域の効果、発揮です…」

「何っ」

「まず…海魔巢食う海域の効果で…。わ、私の【連鎖】を持つ、スピリットがアタックしたとき、そのスピリットのレベルを1つ上のものとして、扱います」

「レベル操作か！」

「はい…。ぼ、ボアボアは、レベル1から【連鎖】を、持っています…。ですので、レベル2になります…」

「猪人ボアボア レベル1↓2 BP2000↓4000」

「更に…ボアボアも、アタック時効果で、自分のレベルを1つ上げます…。

そして、【連鎖・緑】です…。魔王蟲の根城がシンボル緑を持っています。よって、ボイドから、コア1つをボアボアに置きます…」

「猪人ボアボア コア1↓2 レベル2↓3 BP4000↓8000」

「いきなりBP8000の最大レベル!?しかもコアブーストまでやるなんて…」

青赤 ネクサス

《海魔巢食う海域》  
かいますく かいいき

コスト5 軽減青2赤1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：青赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

【連鎖】を持つ自分のスピリットがアタックしたとき、そのスピリットのレベルを1つ上のもので扱う。

Lv2 『??』

???

青 スピリット (闇)

《猪人ボアボア》  
いじん

コスト3 軽減青1緑1 <獣頭>  
じゅうとう

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

<7> Lv3 BP8000

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのレベルを1つ上のもので扱う。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

「緑」：ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

「ライフで受けるしかないか」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「あ…ご、ごめんなさい…。魔王蟲の根城の効果…発揮、です…」

「えっ!？」

「【連鎖】を持つボアボアのアタックで、先輩のライフを減らしたので…ボイドからコア1つを、リザーブに置きます…」

(零リザーブ0↓1)

緑青 ネクサス

《魔王蟲の根城》  
まわうちゅう ねじろ

コスト5 軽減緑2青1



<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：緑青

Lv1・Lv2『自分のアタックステップ』

【連鎖】を持つ自分のスピリットのアタックで相手のライフが減ったとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

Lv2『???』

???

「コアの差が序盤でとんでもなくついてしまった…」

「ご、ごめんなさい…。ターン、エンドです…」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。……これはどうしたもんかな。とにかく《ムゲンドラ》を召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓5)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 Bp1000」

「次に《ガーネットドラゴン》を召喚。レベル2だ」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ガーネットドラゴン コア2 レベル2 Bp4000」

「更に《プテルファイター》をガーネットドラゴンに直接合体。コストはリユーマン・フェニックスから受け取る」

(手札3↓2)

「リユーマン・フェニックス コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ2↓3)

プテルファイター

← 直接合体

ガーネットドラゴン (合体)

「コスト：4 + 4 ≡ 8」

「BP 4000 + 4000 ≡ 8000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「召喚時効果。今消滅した、系統：〈竜人〉を持つリユーマン・フェニックスを回収つと」

(手札2 ↓ 3)

「アタックステップ。ガーネットドラゴン、猪人ボアボアに指定アタック」

「はい…。ボアボアで、ブロックして、そのまま破壊まで…」

「猪人ボアボア 戦闘破壊」

(リザーブ1 ↓ 3)

「このままターンエンド、かな」

とりあえずアタックしてコアブーストするやつは残すどくとアレだから退かしといて、こっちのフェニックスは残しどくといつも真っ先に潰されちゃうから回収して次に繋げてと。

ガーネットドラゴンもプテルファイターと合体してるからBP 8000以内なら疲労状態で相手のアタックを止められる。…いい調子なんじゃないかな？

〈雫・第五ターン〉

「スタート、ステップ…」

(リザーブ3 ↓ 4)

(手札0 ↓ 1)

(トラッシュ8 ↓ 0)

(リザーブ4 ↓ 12)

「…マジック、《ハンドリバーズ》を使用、します…」

(手札1 ↓ 0)

(リザーブ12 ↓ 8)

(トラッシュユ0↓4)

「手札をすべて破棄して、先輩の今の手札と同じ枚数になるよう、ドローします…」

「ほほう。…でも破棄できる手札無くないか？」

「え、えつと、ですね…。これは、使った時点で手札が0でも、問題無く使えるのが…最大の利点、なんです…」

「へえ、ほんと便利なんだな。んじや、こっちの手札は3枚だ」

「はい…。で、では…3枚ドロ、します…」

(零手札0↓3)

「…うん」

「良いの引けた？」

「あ、はい…。ごめんなさい…」

「あはは。謝らないでいいって」

「はい…。続けて…《ミノタ・コルス》を召喚、します…」

(手札3↓2)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ4↓6)

「ミノタ・コルス コア1 レベル1 BP3000」

「い、＜異合＞を持つ、ミノタ・コルスが召喚されたので…古代都市の効果、ボイドからコア2つを、リザーブに置きます…」

(リザーブ5↓7)

「更に…《星海獣シー・サーペンダー》を、レベル2で召喚…します…」

(手札2↓1)

(リザーブ7↓1)

(トラッシュユ6↓8)

「星海獣シー・サーペンダー コア4 レベル2 BP7000」

「い、＜異合＞を持つので、ボイドからコア2つをリザーブに…。そして、シー・サーペンダーの召喚時効果発揮、です…」

(リザーブ1↓3)

「先輩の、コスト4以下のスピリット、ムゲンドラを破壊、します…」  
「なんと…」

「ムゲンドラ 破壊」

(リザーブ1↓2)

青 スピリット

《星海獣<sup>せいかいじゆう</sup>シー・サーペンダー》

コスト5 軽減青2赤2 <異合・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<4> Lv2 BP7000

シンボル：青

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

Lv1・Lv2 『??』

???

Lv2 『??』

???

「次に：バーストをセット、します…」

(手札1↓0)

「それと、古代都市をレベル2に、します…」

(リザーブ3↓0)

「海底に眠りし古代都市(1) コア0↓3 レベル1↓2」

「古代都市、レベル2の効果…。わ、私の<異合>を持つスピリット全員、ダブルシンボルにします」

「全員ダブルシンボル!？」

「星海獣シー・サーペンダー シンボル青↓青青」

「ミノタ・コルス シンボル青↓青青」

「ティンダロ・ハウンド(合体) シンボル青↓青青」

《海底に眠りし古代都市》

Lv2

系統:<異合>を持つ自分のスピリットすべてのシンボルを、そのスピリットが持つシンボルと同じ色のシンボル2つにする。

「な、なんつーデタラメな効果だ…」

「青の異合：シンボルを増やすのは、赤と同じくらい、得意なんです

…。それで、フオビッド・バルチャーを、シー・サーペンダーに付け  
なおします…」

「ティンダロ・ハウンド（合体）↓分離」

フオビッド・バルチャー

← 換装

星海獣シー・サーペンダー（合体）

「コスト：5+5=10」

「BP7000+4000=11000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「ティンダロ・ハウンドのコアを、海魔巢食う海域に移して、レベル2  
にします…」

「ティンダロ・ハウンド コア1↓0 消滅」

「海魔巢食う海域 コア0↓1 レベル1↓2」

「アタックステップに入ります…。シー・サーペンダーで、合体アタッ  
ク…」

むむむ…。BP11000のダブルシンボル、これは厳しいな…。

「し、シー・サーペンダーの、レベル1からのアタック時効果、発揮し  
ます…。【強襲】です…」

「げっ!？」

「か、海魔巢食う海域を疲労させて、シー・サーペンダーを回復させま  
す…」

《星海獣シー・サーペンダー》

Lv1・Lv2 【強襲：1】『このスピリットのアタック時』

このスピリットは、ターンに1回まで、自分のネクサス1つを疲労  
させることで回復できる。

「さ、更に…海魔巢食う海域レベル2の効果、です…。お互いのアタッ  
クステップで、先輩の赤、緑、白のバーストは発動、できません…」

「なっ!? マジかよ…!？」

「ひっ…!ご、ごめんなさい…!」

「あ、ああ、いやあごめんごめん」

《海魔巢食う海域》

Lv2 『お互いのアタックステップ』

相手は赤／緑／白のバーストを発動できない。

とんでもない効果に思わず伏せていたバーストを確認する。…赤だよ！どうすんだこれエ…。

「あ、あの…アタックは…」

「ちよ、ちよい考えさせてください…」

あの星海獣シー・サーペンダーのダブルシンボル、もしこれをライフで受けたとする。残りライフ2。…それでもあと2回ダブルシンボルが飛んでくるかもしれないんだよなあ。

「……ライフで受ける」

「シー・サーペンダーは、ダブルシンボル、です…」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ2↓4)

「これは痛い」

「次に、ミノタ・コルスで、アタックします…。ミノタ・コルスのアタック時効果、先輩の白のバーストは発動できません…。

更に、【連鎖・赤】発揮です…。1枚ドロ、します…。【連鎖】を持つてるので、ミノタ・コルスのレベルを2に…」

(零手札0↓1)

「ミノタ・コルス レベル1↓2 BP5000」

青 スピリット

《ミノタ・コルス》

コスト3 軽減青1 <異合>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：青

Lv1・Lv2 『このスピリットのアタック時』

相手は白のバーストを発動できない。

【連鎖・条件《赤シンボル》】

「赤」：自分はデッキから1枚ドロする。

BP5000のダブルシンボルなら止める他無い。これは通せないな…。

「ガーネットドラゴンは疲労状態でブロックできる。よって、BP8000のガーネットドラゴンでブロックする」

「はい…。ミノタ・コルスは、破壊されます…」

(リザーブ0↓1)

「ぶ、合体しているフォビッド・バルチャーの合体時効果、発揮です…。コスト4以下の、スピリットがアタックしているバトルが終了したとき、アタックステップを強制終了、します…」

《フォビッド・バルチャー》

【合体時】『お互いのアタックステップ』

コスト4以下のスピリットがアタックしているバトルが終了したとき、アタックステップを終了する。

「この、効果は…先輩のアタックステップにも、有効です…」

「うえ、マジかあ…」

てことはアタックする順番を考えなきゃならんか。

「改めて、ターンエンドです…」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ5↓8)

「メインステップ。リューマン・フェニックスをもう一度召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「リューマン・フェニックス コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「ガーネットドラゴンをレベル3にして、プテルファイターをリューマン・フェニックスに付け替える」

(リザーブ5↓3)

「ガーネットドラゴン コア2↓4 レベル2↓3 BP4000  
↓6000」

プテルファイター

← 換装

リューマン・フェニック (合体)

「コスト：3+4≡7」

「BP6000+4000≡10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「次にネクサス《狩る者の集落》を配置」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュ2↓3)

「次。《砲竜バル・ガンナー》をガーネットドラゴンに直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ3↓5)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

ガーネットドラゴン (合体)

「コスト：4+4≡8」

「BP6000+2000≡8000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+赤≡白赤」

この布陣ならどうだ。このまま押し切れるとは思えないが、追い詰めるには到れるはずだ。

「アタックステップ。狩る者の集落効果。赤のスピリット、アルティメットのBPをプラス2000するぞ」

「リューマン・フェニック (合体) BP10000+2000≡12000」



「ガーネットドラゴン(合体) BP8000+2000=10000」

「リューマン・フェニックス、合体アタックだ！アタック時効果で、1枚ドローー！」

(手札1↓2)

「あ、あの、フラッシュユ、タイミング…です…！」

「むむっ」

「マジック、《ソウルリッパ》を…使用します…！不足コストは古代都市から使い、ます…！」

(零手札1↓0)

「海底に眠りし古代都市(1) コア3↓0 レベル2↓1」

「トラッシュユ8↓11」

「リューマン・フェニックスに合体している、プテルファイターを破壊します…。破壊できたので、1枚、ドローします…」

(手札0↓1)

「ドローまでできるのか…。プテルファイターは破壊される」

「さ、更に、【連鎖・青】発揮です…。い、今ブレイヴを剥がされた、コスト4以下のリューマン・フェニックスを、破壊します…！」

「何っ!？」

「プテルファイター(合体中) 破壊」

「リューマン・フェニックス 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

紫 マジック

《ソウルリッパ》

コスト3 軽減紫1

フラッシュユ：

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊することで、自分はデッキから1枚ドローする。

【連鎖：条件《青シンボル》】

【青】：コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「ぐぬぬ…。ターンエンドするしかない…」

〈雫・第七ターン〉

「スタート、ステップです…」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュ11↓0)

(リザーブ2↓13)

「メインステップ…。《リバイヴドロウ》を使用、します…。効果は、2

枚ドロウを、選択します…」

(手札2↓1)

(リザーブ13↓10)

(トラッシュ0↓3)

(手札1↓3)

「次に、マジック《タイプシーリユージョン》を使用、します…」

(手札3↓2)

(リザーブ10↓9)

(トラッシュ3↓4)

「このターン、わ、私がスピリット、もしくは、ブレイヴを召喚するとき…ネクサスを疲労させた数だけコストを1支払ったことに、なります…」

踏み倒し系のマジックか。赤はライフを参照にして、青は…ネクサスの数か。

青 マジック

《タイプシーリユージョン》

コスト3 軽減青2

メイン：

このターンの間、自分がスピリットカード／ブレイヴカード1枚を召喚するとき、自分のネクサスを好きだけ疲労させることで、この効果で疲労させたネクサス1つにつき、1コストを支払ったものとして扱う。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+1000する。

「古代都市2枚、海域、根城…。この4枚全部を疲労させます…。  
…これは、デカいのがくる。」

「黒い風と共に颯れしは、名状しがたき旧支配者…。」

《異海双龍ハスターク》

詩声に導かれ、此処に飛来します…」

青 スピリット

《異海双龍ハスターク》

コスト9 軽減青4 <異合・海首>

<1> Lv1 BP8000

<2> Lv2 BP13000

<6> Lv3 BP23000

シンボル：青青

「コストは、ネクサスを4枚疲労させたので…4支払ったものとし  
ます…。そこに、元の軽減青4つ。コストは1、レベルは1で召喚です  
…」

(手札2↓1)

(リザーブ9↓7)

(トラッシュユ4↓5)

「異海双龍ハスターク コア1 BP8000」

また、前の二人よりも更にド級の切り札が来たもんだ…。BP23  
000のダブルシンボル、まず止めることは難しい。

「ハスタークが召喚されたため、古代都市効果でコア2つをリザーブ  
に…」

(リザーブ7↓9)

「次に…2枚目の《リバイヴドロ》を使用します…。2枚ドロ…」

(手札1↓0)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ5↓8)

(手札0↓2)

「…引きました。蒼き海の澱よじみより現れる黙示録の剣。

《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》

異海双龍ハスタークに直接合体させます…」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュユ8↓10)

深淵の巨剣アビス・アポカリプス

← 直接合体

異海双龍ハスターク(合体)

「コスト：9+5≡14」

「BP8000+5000≡12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：青青+青≡青青青」

「アビス・アポカリプスの召喚時効果…」

このターンの間、わ、私のスピリットすべてのレベルを最大にします…」

「異海双龍ハスターク レベル1↓3 BP8000↓23000  
+5000≡28000」

青 ブレイヴ

《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》

コスト5 軽減青3 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：青

【合体条件：コスト5以上】

Lv1『このブレイヴの召喚時』

このターンの間、自分のスピリットすべてを、そのスピリットが持つ最高レベルとして扱う。

【合体時】

???

「最後に、魔王蟲の根城をレベル2にして、アタックスステップです…。異海双龍ハスターク、レベル2からの効果、発揮します…。」

【連鎖】、もしくは系統＜異合＞を持つ、私のスピリットは全員ダブルシンボルとなります…」

(リザーブ4↓2)

「魔王蟲の根城 コア0↓2 レベル1↓2」

「古代都市の範囲が広がった効果…!？」

「で、でも…デメリットでも、あります…。ダブルシンボルに“する”というのは、シンボルが2つに固定されてしまう…ということでもあるんです…」

「異海双龍ハスターク (合体) シンボル青青青↓青青」

「星海獣シー・サーペンダー シンボル青↓青青」

《異海双龍ハスターク》

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

【連鎖】／系統＜異合＞を持つ自分のスピリットすべてのシンボルを、そのスピリットが持つシンボルと同じ色のシンボル2つにする。

「あ、改めて、異海双龍ハスターク…剣刃合体アタック…!」

「くっ…!」

「異海双龍ハスタークのレベル1からの、わ、私のアタックステップでの効果です…」

「まだある!？」

「先輩は、わ、私の＜異合＞を持つスピリットをブロックするなら、手札1枚を破棄しなければ、ブロックできません…」

更に、バーストを発動したいなら、そのバーストは…ノーコストではなく、コストを支払ってください…。さもないと、発動できません…。海魔巢食う海域の効果と合わせて…赤、緑、白以外のバーストは発動できず…紫、青、黄であっても、コストを支払わなければ…発動は許しません…」

「…!？」

《異海双龍ハスターク》

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統＜異合＞を持つ自分のスピリットがアタックしたとき、相手は、相手の手札1枚を破棄しなければブロックできない。

L v 1・L v 2・L v 3 『自分のアタックステップ』

相手がバーストを発動するとき、相手はそのカードのコストを支払わなければ発動できない。

「……ぐうの音も出ないほど圧倒されとる。…手札の《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》を捨てて、ガーネットドラゴンでブロックする。あ、これさつきリユーマン・フェニックで引いてしまった1枚ね」

(悠姫手札3↓2)

「で、では、そのまま破壊で…」

「ガーネットドラゴン (合体) 破壊」

「プテルファイター 残留 コア4」

「続けて、シー・サーペンダーで、合体アタックです…」

「フラッシュタイミング!マジック《エターナ―》」

「ま、待って…ください…!」

「えっ?」

「アビス・アポカリプスの、合体時効果が、あります…。先輩の、今場にあるシンボルの色以外のマジック、バーストは…使用できず、発動もできません…」

「…マジですかい」

《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》

【合体時】

相手は、相手のフィールドにあるシンボルと同じ色のバーストしか発動できず、相手のフィールドにあるシンボルと同じ色のマジックカードしか使用できない。

…手詰まりです。残った手札は《エターナルディフェンス》と《バトルキャンセル》だけ。白と黄じゃ使えるはずもなく、伏せたアルティメットウオールも不発のままと…。

「…フラッシュは無いな」

「では…」

「惨敗だな、ライフで受ける!」

(悠姫ライフ2↓0)

・〔winner!!  
静鳴  
雫〕

## 2 へ行くため

「だああ…。殆ど何も出来ず仕舞いか」

「す、すみません…」

後輩三人娘の一人、静鳴 雫とのバトルは私の惨敗となった。これが青の力なのか、制限に次ぐ制限で見事に搦め捕られ敢え無く沈められてしまうという。

「あ、青は、他の色よりも、相手の行動に制限を掛ける事に、特化しています…。さつきみたいに、バーストは勿論、スピリットの召喚、マジックの召喚、プレイヤーへの直接制限など…。です…」

「…えぐい色、なんだな」

「ご、ごめんなさい…」

それから少し、静鳴さんからデツキ構築についてのアドバイスを受けた。

私のデツキはアルティメットに頼る形になるため、ブレイヴが多いと事故の原因になるとのこと。

理由として『合体できない』のがそうだという。

アイゼンドラゴンやシルバー・ヴルムといった中堅を固めるスピリットがいて、アルティメットの総数が少ない場合はブレイヴが役立つ。しかしその逆だった場合。私のデツキのように、アルティメットが多数を占めているのなら、ブレイヴは多めには入れられないとなる。

「ひ、一つ前のシリーズの、『剣刃編』に、収録されている…。こういう『剣刃ブレイヴ』が、入れるとしたら、良いかと思えます…」

そう言つて静鳴さんがデツキから抜いて見せてくれたのは、そのソードブレイヴとかいう、あのトンデモ効果を持ったブレイヴだった。それも2枚も。片方はバトルで使ってた…アビスなんちゃらつて方と、こっちは…

「『蒼海の大剣メイルシウトロム』という、光の剣刃ブレイヴです…」



「へえ…。お、青の【強化】を持ってて、合体すると…【強襲】？つてのが使えるんだ」

「この、剣刃ブレイヴは、剣刃編の目玉で、収録されてたXだけで言うなら、14本あるんです…」

「14!? そんなにあるのか」

「ほ、本当は、もう少しあるんですけど、長くなっちゃいますので…マジか。より取り見取りだな。

「せ、先輩のデッキですと、光の赤と闇の赤ぐらいしか、相性が良いのが無いと、思います…」

「えっ、たった2つだけ？」

「ご、ごめんなさい…。で、でも、この、アルティメット環境になってからだと、BPを参照して破壊するのも、覚束ないので…」

…確かに一理ある。前の話だが、真桜とバトルしたときはアルティメットがいなかったから広範囲の破壊が出来て、勝利を掴んだ。だがアルティメットがいるとなると、スピリットの効果を受け付けなないため意味が薄くなる。

【強化】は数を束ねて底上げするが、悠長にしていたらアルティメットや大型スピリットが出てきて消し飛ばされてしまう。

…どうやら、私の今のデッキじゃあここまでが“限界”みたいだな。

(…一度デッキを崩すのもひとつ、か)

「—————ワアッ!!!」

「うおわあっつっつ!!!?」

「ひゃああ!?!」

「アツハハハ♪ 驚きすぎだヨ悠姫イ♪」

「り、璃恵お前なあ…!」

「っ…!っ…!」

「ほら見る静鳴さん泣きそうじゃないか馬鹿タレ!」

「ありゃ？」

「——フムフム。なるほどネ〜」

「先に謝れ。私じゃなく静鳴さんに」

「あ、ゴメンネ雫ちゃん♪悪気は全くなかったんだヨ〜♪」

「は、はい…」

悪気が無い奴が忍び寄って驚かすか普通…。あと抱き着いてわしゃわしゃしてやるな。どうしたら良いか困ってるぞ。

「でサ。悠姫はデツキに限界が来たと悟った訳だネ？」

「まあ、な」

「ならサ、悩むのはこのショップバトルが終わってからにしようヨ」

「それはまあそうだが…」

「それにネ。最後の最後までデツキを信じてあげなヨ」

「…最後まで…」

最後まで信じる、ね…。

いきなり精神論になるのはアレだが、私が始めて練ったデツキなんだ。最後まで付き合うのが筋か。

「まア最後を飾る前に真桜ちゃんとワタシが待ち構えてんの忘れずに〜♪」

「…そうだったな」

「んじゃあ♪また後でネ〜♪ 雫ちゃんもまた後で〜♪」

「は、はい…」

何しに来たんだあいつ。…でも、何となくだが、頭の何処かが晴れた感じになったな。

「あ、あの…緋立先輩…」

「ん？」

「…ふあ、フアイト…です…！」

「……ん。ありがとうね」

「は、はわわ…！」

可愛らしい応援に思わずニヤニヤしそうになったが我慢我慢。ここでニヤついたら気持ち悪い先輩に成り下がってしまう。だからこ

こはいい子いい子してあげることでも我慢しよう。

で、本の少ししてこちらに来た朱莉と有栖川。…有栖川の顔色は去り際よりは十分良くなってるみたいだがまだ調子は悪いらしい。しかし二人は勝ち星を付けたようだ。

んで、こちらの結果を話したら……

「まあ雫にはなかなか勝てないっすからね〜」

「今の緋立先輩で雫に勝てる見込みは限りなく低いです」

と散々。ちくしょう、いつか勝つからな。

そして有栖川からまた説教が始まりそうだったので朱莉に頼み早々に移動してもらった。それに静鳴さんも付いて行く形になったが、最後にこちらに一礼して行った。おどおどしてはいるが、最後まで礼儀正しくて可愛らしい娘だ。

「悠姫お姉さんも大変なのですね」

「うおっ!? ……つて真桜か。脅かさないでよ」

「えへへ〜。ごめんなさいなのです」

三人娘が行った後すかさず私の背後から声を掛けてきたのは噂の「翠乃 真桜」だった。相も変わらず後ろを取ってくるのはどうにかならんのかね？

「ニンジャはいつでもバックスタブなのですよ〜」

「…わからん」

とにかく、真桜が来たって事は、次の対戦相手は真桜なんだな？

「前回のリゾンベなのですよ!」

「…リゾンベ?」

VS 《みどりの翠乃 《まお真桜》

【あたらため疾風迅雷・改】

「お姉さん、調子はどうなのですか?」

「半々、かな。さつき負けた」

「なるほど。ならばボクの白星を返してもらおうのですよ！」

「こつちだつて更にいただくつもりさ」

「前みたいにはいかないのです！」

じゃんけんと言つてシャッフルのところを飛ばして、じゃんけんには勝つたが、手札がよろしくない。ここは…

「後攻をもらうぞ」

「了解なのです！」

〈真桜・先攻第一ターン〉

「緑迅りよくじんの第一ターンなのです！スタートステップ！」

（真桜リザーブ4）

（手札4↓5）

「ネクサス《巻き上がるダンガロ山脈》を配置するのです！更にバーストをセットしてターンエンドなのですよ」

（手札5↓3）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ0↓3）

（バースト：無し↓セット）

緑 ネクサス

《巻き上がるダンガロ山脈》

コスト3 軽減緑2

〈0〉 Lv1

〈2〉 Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2

自分が分身スピリットを出すとき、リザーブからコアを置くかわりに、ボイドからコア1個をそのカードに置いて分身スピリットを出すことができる。

この効果は重複しない。

Lv2 『相手のアタックステップ』

自分のライフが減って3/2/1になったとき、自分の手札にある【分身】を持つスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚でき

る。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「《エッジ・ウルフ》を召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「エッジ・ウルフ コア1 レベル1 BP3000」

「そしてバーストをセット」

(手札4↓3)

「バースト：無し↓セット」

「アタックステップ。すぐさまエッジ・ウルフでアタック！」

「ライフで受けますのですよ！」

(真桜ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少で、バースト発動なのです！」

花の鎌刃、《ハナノマンティス》をバースト召喚なのですよ！」

「バースト：セット中↓発動」

《ハナノマンティス》：。たしかバーストインパクトに入ってたカードだったか。

「バースト効果でお互いコスト3以下のスピリットすべて疲労させるのです。けど空振りなのです。でも召喚はできるのです！」

(リザーブ2↓0)

「ハナノマンティス コア2 レベル1 BP3000」

緑 スピリット

《ハナノマンティス》

コスト4 軽減緑2 <刃虫>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：緑

【バースト：自分のライフ減少後】

コスト3以下のスピリットすべてを疲労させる。この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

自分のアルティメットがいるとき、相手のスピリット1体を疲労させる。

「ほう」

「ホントは入れるかどうか迷ったのです。でも緑で小型の速攻を止められるのがこれぐらいだったのです」

「なるほどな。ターンエンド」

〈真桜・第三ターン〉

「緑迅の第三ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。《ヨロイフクロウ》を召喚しますのです！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ヨロイフクロウ コア1 レベル1 BP1000」

「召喚時効果でボイドからコア1つをヨロイフクロウに追加するのです！」

「ヨロイフクロウ コア1↓2」

「更に《ソードピューマ》を召喚するのです！レベル維持にはヨロイフクロウから拝借して、レベル1なのです」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ2↓3)

「ヨロイフクロウ コア2↓1」

「ソードピューマ コア1 レベル1 BP3000」

「召喚時効果で【分身】発生なのです！分身スピリットに乗せるコアはダンガロ山脈の効果でボイドから持ってくるのです！」

「分身スピリット コア1 BP3000」

一気に3体展開とコアブースト。相変わらず出てくる出てくる。

「ブーストもセットするのです！」

(手札2↓1)

(ブースト：無し↓セット)

「お姉さんが地雷処理の専門家というところに頼るのです」

「ひどいいわれようである」

「踏まないでくださいなのですよ？絶対に踏まないでくださいなのですよっ！」

「踏むんじゃない。わざと踏み抜くことで安全を確保するんだ」

「そんなお姉さんが大好きなのですよ」

《ブーストブレイク》を入れているとはいえ、踏みたくない場面で手札に必ず持っているとは限らない。なら恐れて後込みしても仕方ないという考えに到った。

「アタックステップ！ソードピューマでアタックなのです！」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少でブースト、《エクリプス・ドラゴン》！」

(リザーブ2↓1)

「エクリプス・ドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

「ブースト召喚レベル1！これでそっちのアタックは通らないぞ！」

(ブースト：セット↓発動)

赤 スピリット

《エクリプス・ドラゴン》

コスト6 軽減赤3 <星竜>

【ブースト：自分のライフ減少後】

このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3【強化】

アルティメット以外の自分の「BP破壊効果」の上限を+1000する。

Lv1・Lv2・Lv3『お互いのアタックステップ』

コスト3以下のスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

「むむむ…」。ここはターンエンドなのです」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

緑だけあって数が揃うのが早い早い。エクリップス・ドラゴンで留められたが、あと1体増えてたらどうなったことやら。

まだ序盤。ここからここから。

「先にバーストをセットしてと」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「次にブレイヴ、《ホットジュピター・ドラゴン》をエッジ・ウルフに直接合体させるー！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓3)

ホットジュピター・ドラゴン

← 直接合体

エッジ・ウルフ (合体)

「コスト：3+5=8」

「BP3000+3000=9000」

「合体時効果：追加」



「シンボル：追加無し」

「ホットジュピター・ドラゴンの召喚時効果、合計BP5000まで相手スピリットを好きなだけ破壊するが、エクリプス・ドラゴンの【強化】が1つ乗って、合計6000までを破壊する！」

赤 ブレイヴ

《ホットジュピター・ドラゴン》

コスト5 軽減赤3 <星竜・機竜>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

Lv1『このブレイヴの召喚時』

BP合計5000まで相手のスピリットを好きなだけ破壊する。

【合体条件：コスト3以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

「ハナノマンティスと分身スピリット、合わせて6000きっかりだ！」

「むむっ、了解なのです！」

「ハナノマンティス BP3000 破壊」

「分身スピリット BP3000 破壊（||シャドーリーフ）」

（真桜リザーブ0↓2）

「よし、これで…」

「おお おねえさん。バーストをふんでしまうとはなさない」

「!？」

「スピリットの破壊に反応して、バースト発動なのです！」

烈風招来！ 《風の霸王ドルクス・ウシワカ》、推参なのです！」

（バースト：セット↓発動）

「バースト効果でエクリプス・ドラゴンとエッジ・ウルフを疲労させますのです！」

「やってしもたがな」

「前もこんな感じだったのです。ではリザーブにコアが3つ、ファイ

ルドのコアが2つ、トラッシュユのコアが3つで調度8つなので召喚！  
レベルは2で召喚しますのです」

(リザーブ3↓0)

」

「風の霸王ドルクス・ウシワカ コア3 レベル2 B P 9 0 0 0」  
アタック出来なくなつてしもた。後はバーストが頼りだが…！」

「ターンエンド…！」

〈真桜・第五ターン〉

「緑迅の第五ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「むふふ。一気に追い詰めちゃうのですよ！」

「何っ」

「緑の新生賢樹！」

《アルティメット・トレントン》!!

レベル3で召喚なのです！」

(手札2↓1)

「レベルにはドルクス・ウシワカのコア1つを使わせてもらおうのです  
！」

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓4)

「風の霸王ドルクス・ウシワカ 3↓2 レベル2↓1」

「アルティメット・トレントン コア1 レベル3 B P 1 1 0 0  
0」

緑のアルティメット…！」

やはりというか、真桜が緑のを使ってきたか！見るのはこれが初めて  
だがどんな厄介効果を持ってるんだか。

「Uトレントンの召喚時効果！ボクの手札にある緑のスピリットカー  
ド1枚をノーコストで召喚するのです！」

「踏み倒しか!？」

「神風迅雷! 《光牙鳳凰レックウマル》!!

舞い忍び、華麗に参上なのです!」

(手札1↓0)

「レベル分にはドルクス・ウシワカからもらうのです!」

「風の霸王ドルクス・ウシワカ コア2↓1」

「光牙鳳凰レックウマル コア1 レベル1 BP5000」

「更にレックウマルⅡサンの【分身・2】発揮なのです!ダンガロ山脈の効果で乗せるコアはボイドから持つてくるのです!」

「分身スピリット1 コア1 BP3000」

「分身スピリット2 コア1 BP3000」

緑 アルティメット

《アルティメット・トレントン》

コスト7 軽減緑3 <新生・樹魔>

<1> Lv3 BP11000

<2> Lv4 BP14000

<5> Lv5 BP22000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

自分の手札にある緑のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットをスピリットでブロックするなら、相手はスピリット3体でないとブロックできない。

このアルティメットがブロックされたとき、どれか1体とだけバトルする。

「アタックステップ!レックウマルⅡサンでアタックなのです!」

「:ライフ、だな」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少でバースト! 《リユーマン・ハマー》!」

「うにゅ…!」

「私の場にアルティメットがないから召喚はできないが、バースト効果、【強化】1つ乗つけてBP5000以下のスピリット3体貰っていくぞ! 狙うのはレックウマルと今出た分身2体だ!」

「光牙鳳凰レックウマル BP5000↓破壊」

「分身スピリット1 BP3000↓破壊 (||リバイヴドロ―)」

「分身スピリット2 BP3000↓破壊 (||ヨロイフクロウ)」

(真桜リザーブ0↓3)

「レックウマル||サンはしめやかに爆発四散! オタツシャデーなのです!」

「前の時みたくこれ以上分身出されたら対処できなくなるからな」

「むむむ…。ならドルクス・ウシワカでアタックなのです!」

「フラッシュタイミング! マジック 《エターナルライフエンス》!」

(悠姫手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ3↓6)

「エッジ・ウルフを選択。このターンの間、疲労状態でブロックできる! そのままエッジ・ウルフでブロック!」

「うくんそのまま破壊なのです…。一気に崩されちゃったのですよ…。 ターンエンド」

(真桜リザーブ3↓4)

〈悠姫・第六ターン〉

「伊達に負けたり勝ったりしてないからね。 スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メインステップ。 《リユーマン・クロウ》を召喚」  
(手札3↓2)

(リザーブ7↓6)

「リユーマン・クロウ コア1 レベル1 B P 1000」

「更に久々登場だ。《アルティメット・ジークフリード》!!

レベル4で召喚だ!」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・ジークフリード コア3 レベル4 B P 14000」

「ガン攻めが裏目に出たな。バーストセットだ」

(手札1↓0)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ。Uジークフリードでアタック! Uトリガー!」

「——《シャイニングシャドウ》、コスト3なのです…!」

「ヒット! スピリットは強制ブロックだ!」

「ぬぬ…。ヨロイフクロウでブロックなのです」

「スピリットにブロックされたから、ライフ1つをリザーブに置く!

そして撃破だ!」

(真桜ライフ4↓3)

(リザーブ4↓5↓6)

「エッジ・ウルフで合体アタック! アタックしたときBPをプラス3000、Uジークフリードがいるから更に3000プラスして、BP12000! 更に1枚ドロ—!」

(手札1↓2)

「ライフで受けますなのです!」

(真桜ライフ3↓2)

(リザーブ6↓7)

「ここはターンエンド。落とし切れないからな」

〈真桜・第七ターン〉

「首の皮一枚繋がったのです…! 緑迅のターン!」

(リザーブ7↓8)

(手札0↓1)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ8↓12)

「メインステップ。…うんもうちよつと早く来てほしかったのですよ〜！」

切り札が来たのか、あの1枚でどうにかできるか？

「…こうなったら乾坤一擲しか無いのです！《戦場に息づく命》が早めに引けなかった時点でお察しなのです！」

「手札カツカツだもんなあ」

「緑と青は常にこんなものなのです！いきます！」

「逆巻く烈風の帝！黄金の鎧を纏い、何者をも断つ翡翠の剣を振り翳し、全てを薙ぎ払え!!」

生まれ変わりし究極の皇！

《アルティメット・カイザーアトラス》!!

レベル5で、出陣なのです!!」

「カイザーアトラスか…！」

「これで、死中に活路を見出だすのです！」

(真桜手札1↓0)

(リザーブ12↓2)

(トラッシュユ0↓4)

「アルティメット・カイザーアトラス    コア6    レベル5    BP23000」

緑    アルティメット

《アルティメット・カイザーアトラス》

コスト6    軽減緑3    <新生・殻人>

<1>    Lv3    BP11000

<3>    Lv4    BP15000

<6>    Lv5    BP23000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタツ

ク時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のスピリット3体を疲労させる。

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

BPを比べ相手のスピリット／アルティメットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個をボイドに置く。

リザーブのコア1つをUトレントンに置いてレベル4にしますのです！」

(リザーブ2↓1)

「アルティメット・トレントン コア1↓2 レベル3↓4 BP  
11000↓14000」

「アタックステップ！ Uカイザーアトラスでアタック！アルティメットトリガー、ロックオンなのです！コストはいくつなのです！」

「…コスト4、《ネオ・ダブルドロ》！」

「ヒットなのです！お姉さんのスピリット3体を疲労させるのです！」

っ！ リューマン・クロウとエクリップス・ドラゴンが…！

「……ライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「…バーストは?!」

「………ない」

「どちらにしろ退路は無いのです！Uトレントンでアタック！アルティメットトリガー、ロックオンなのです！コストは！」

「——っ！コスト7！《アルティメット・ジークフリード・ネオ》、ヒットしないが、ライフだ！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「これなら……！」

「ライフ減少でバースト発動！」

「っ!? このタイミングでなのですか!?!」

「ここしかないだろ！」

《リユーマン・ゴッドブレイカー》!!」

〔バースト：セット↓発動〕

二度目の登場、これで決まりだ！

〔強化〕が乗ってBP11000以下のソードピューマを破壊！んでUジークフリードがいるから1枚ドロして、レベル1で召喚！」

(悠姫手札2↓3)

(リザーブ2↓1)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア1 レベル1 BP6000」

〔ソードピューマ 破壊〕

(真桜リザーブ1↓2)

「む、無念なのです……」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップは何もせずこのままアタックスステップへ。ゴッドブレイカーでアタック！」

「ボクもカードバトラーの端くれ、投了はしないのです！ライフで受けるー！」

(真桜ライフ2↓1)

(リザーブ2↓3)

「ラスト！Uジークフリードでアタック！」

「ライフで受けるのです……！リベンジならず、なのですッ!!」

(真桜ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕



## 緋の0（ゼロ）と銀の0（レイ） ・ 序

「よっしー！」

「ぐぬぬ…なのです…」

真桜とのバトルはお互い一発は大きくなかったが、詰めバトルみたいな感じだった。真桜は疲労効果と手数による戦法、私は見計らったのカウンター…みたいな形になった。真桜の手札増強があったら、分身で翻弄されて負けてただろう。

「緑にも緑のドローマジックが欲しいのですよ。ネクサスだけじゃどうしようもないですよ」

「えっと、たしか…《ハンドリバス》だっけ？ あれじゃダメなのか？」

「それも良いのですが、あれは『相手に依存する』のと『手札を全て捨てるリスク』があるから一概に良いとは言えないのです。

そこで赤のドローマジックなのですが、軽減無しでコスト4マジックを使うのも、結局のところ『取り返すほどコアブーストしていること』が前提なのですよ」

「ふむ…」

「赤の緩衝役になってくれる『ハイブリットスピリット』も一つなのですが、そうなると活かすためにアレもコレもとなって、目指してたコンセプトが爆発四散しちゃうかもしれないのです」

「なるほどな…」

あらゆるタイミングでドローしやすい赤や紫とは違って、かなり限られた方法しか持たない緑にとっては死活問題なんだな。

「ふっふっふ…。どうやら四天王の緑迅を破ったようだな…」

「はっ！ …ふふふ、ボクは四天王のなかでも最弱。四天王の面汚しなのですよー！」

「……………」

「もくノリ悪いゾ悠姫イ。真桜ちゃんもノツてくれたのに」

「いつ打ち合わせしたか知らんが真桜に面汚しなんて言わせてんじや

ねえっての」

：前と同じく突然話題に入ってきたのは璃恵。気配を消して突然現れるのはカードバトルの嗜みなのか？

「ま〜イイとしてサ、真桜ちゃんに勝ったんだネ」

「一応な」

「フフ〜♪」

「何だよ気味悪いな」

何か勿体振るよう意味深にニヤリと笑う璃恵。すぐく頬を引つ張ってやりたい気分になる。

「何を隠そうなんと！悠姫の次の対戦者はワタシなのデース！♪」

「…なるほどな」

「どうどう？驚いた？」

「別に」

「何でヨ〜！愛しの璃恵サマが直々に宣戦布告してきたのに〜！」

「やかましい！お前さつきもきたろうが！」

いちいち引つ付けてくるな暑苦しいな！とにかく、次は璃恵なんだな？

「んも〜イケず〜！」

「誰がイケずだ」

「フンだ！ならすぐバトルしよう！ギャフンと言わせちゃうんだからネ！」

早速デツキを取り出してこっちに向けてくる璃恵。あの一緒に買った獅子座のスリーブに入れて。

「ここまで悠姫がどんだけ強くなツたか見てアゲちゃう♪」

「なら私に逆転負けしても文句言うなよ？」

「ワオ、強気だネ悠姫イ〜♪ あ、真桜ちゃんはどーする？」

「ボクは観戦したいのです！」

観戦？構わないけど、対戦はどうするんだ？

「そこは大丈夫なのです。心配ナツシングなのです」

「OKOK♪ ならこのバトルを存分に見てくとイイヨ〜♪」

【至高の白】

「お互いのデッキをくカット&シャツフル♪」

さて、今までの璃恵とのバトルは向こうが完全に手を抜いてたからな。こつからは手を抜かずに来るだろう。……ここでも本気じゃなかったら笑えるが。

「さッて……。ワタシはグーを出すヨ？」

「……私もグーだ」

「——ジャンケンはい！」

「バカめ悠姫！コイツはチヨキだ！」

「グーに負けたくせに何で勝った気になつとるんだお前は！」

「これは璃恵お姉さんの勝ったと思わせて相手に負けたのか？と思わせるカードバトラ、延いては他のTCGプレイヤーにも通じる高等プレイングなのですよ！」

「ドヤア……！」

「ウザつたい！真桜もノらなくていいから！」

〈璃恵・先攻第一ターン〉

「その隙に先攻イタダキ♪ 白銀の第一ターン♪」

「あつ！お前なあ！」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

「メインステツプ。 ……アップ♪《氷楯の守護者オーシン》をレベル1

で召喚ツと♪」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラツシユ0↓3）

「氷楯の守護者オーシン コア1 レベル1 BP2000」

「守護者……。イーデイスだったか、それと似たやつか？」

「YES♪ レベル1から自分を含むコスト3以下のスピリットを破壊から護つてくれるんだヨ♪」

「破壊耐性は厄介だな……」

「更に更にイ、悠姫のメインステップで、悠姫の手札が増えたらその分  
手札を破棄させる効果も持つてるからネ♪」

「何っ!?!」

白 スピリット

《氷こ楯ようじゆんの守護者しゆごしやオーシン》

コスト3 軽減白2 <武装>

<1> Lv BP2000

<2> Lv BP4000

シンボル：白

Lv1・Lv2

コスト3以下の自分のスピリットすべては、相手の効果で破壊され  
たとき、疲労状態でフィールドに残ることができる。

Lv1・Lv2 『相手のメインステップ』

相手の手札が増えたとき、増えたカード1枚につき、相手は、相手  
の手札1枚を破棄する。

「白は元々緑特有の“ハンデス効果”をさも元から自分のものだと言  
わんばかりに奪っていったのですよ…」

「ハンデス…?」

『Hand Destruction(ハンドデストラクション)の  
略称だネ♪』

つまりは相手の手札を減らして動き辛くさせるもんだって思えば  
イイヨ♪」

…厄介過ぎる。手札が減るってことはそれだけやれること減って、  
切り札すら棄てられる可能性があるかも知れないってことか。

「でわでわここで悠姫にQuestion♪」

『手札を減らす行為はなんでしょう?』

な、何だ急に…。減らす行為?

「え、えっと…。スピリット、ブレイヴ、アルティメットの召喚”だ  
ろ? マジックを使ったり”、バーストを伏せたり”…後は”ネ  
クサスを配置”したりか?」

「う〜んGOOD〜♪ では逆に

『手札を増やす行為は?』

「手札を増やす…。ドローステップのドローは当たり前だから、ドロ―するマジックの他に……………あつ、『トラッシュからのカードを戻す』効果…『プテルファイター』とか『フレイムスパーク』とかの!」  
「Nice Answer♪ Very GOOD!」

マジかよ…。だが、リューマン・フェニックスやバル・ガンナーは『アタックスステップに起きるドロー効果』だ。これならオーシンの効果には邪魔されない。要はメインステップでドロ―するなつてことだろ!

「あんま怯まないところを見ると、どうすれば良いか分かつてるみたいだね?」

「ああ」

「OKOK♪ イイよ悠姫イ♪ 最後にバースト張つてターンエンド♪」

(手札4↓3)

(バースト:無し↓セット)

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ」

効果による破壊をあのオーシンは持っている。となれば間接的な破壊ではなく直接バトルして破壊するか、コアを0にしての消滅、または手札に帰ってもらうバウンスが効果的と見た。…やるならコア外しだな。手札に戻すだけじゃ根本的な解決にはならない。

「…そいつは『効果での破壊』に耐性があるんだよな?」

「その通り♪」

「なら『こいつ』は打って付けだな。『リューマン・バルカ』を召喚!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

「リユーマン・バルカ コア1 レベル1 BP4000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札4↓3)

「バースト：無し↓セット」

赤 スピリット

《リユーマン・バルカ》

コスト4 軽減赤3 <竜人>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<6> Lv3 BP9000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統：<滅龍>を持つ自分のスピリットすべてのLvを、1つ上のものとして扱う。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分の赤のスピリットすべては、アタックするときコスト3以下の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

〈璃恵・第三ターン〉

「白銀のターン。良い着眼点だよ悠姫イ♪ スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。良い手だよ悠姫イ♪ これでワタシはコスト3以下のスピリットを展開しづらくなッた訳だネ♪」

「そうだな」

「だッたらこうしちやおう♪」

ネクサス 《要塞都市ナウマンシティ》を配置く♪

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓4)

「要塞都市ナウマンシティー コア0 レベル1」

ネクサス？ 4も支払って配置ほどなのか？

「ナウマンシティーの配置時効果発揮♪」

ワタシの手札にある白のスピリットカード1枚をコストを支払わず召喚するヨ♪」

「何っ!？」

白 ネクサス

《要塞都市ナウマンシティー》

コスト5 軽減白3

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『このネクサスの配置時』

自分の手札にある白のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

Lv2 『相手のターン』

相手のフィールドのスピリット/ネクサスの色が2色以上の間、色1色につき、相手の手札にあるマジックカードすべてをコスト+1する。

「白銀に包まれた世界を護るため今発進！

《機獣要塞ナウマンガルド》！

レベル1で、トランスフォーム♪」

ノーコスト、しかも…コスト8!？」

「レベルにはオーシンからコアを拝借♪」

(手札3↓2)

「氷楯の守護者オーシン コア1↓0 消滅」

「機獣要塞ナウマンガルド コア1 レベル1 BP7000」

「ナウマンガルドの見た目ツてサ、恐竜戦隊ジュウレンジャ○に出てくる守護獣ジュウマンモスに似てるよネ？」

「あ！璃恵お姉さんもそう思いますのです?!ボクもそう思ってたので

すよー!」

「だよネ〜! 大体ナウマンガルドが何に似てるかで世代分かるよネ  
〜♪」

「……………わ、わからん。」

白 スピリット

《機獣要塞ナウマンガルド》

コスト8 軽減白3 <機獣>

<1> Lv1 BP7000

<4> Lv2 BP12000

シンボル：白白

Lv1・Lv2 ???

???

Lv2 『??』

???

「ダブルシンボルスピリット…」

「リューマン・バルカはこれでも手出しできるかな〜? ターンエン

ド♪」

〈悠姫・第四ターン〉

「くつ、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…どうするか」

オーシンが自分からいなくなってくれたのは助かるが、代わりにダブルシンボルの大型が出てきた。その上ほつといたらロクなことにならないだろう。しかしながら対処出来るカードが手元に無い。

「《ガーネットドラゴン》、レベル2で召喚」

(手元4↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)



「ガーネットドラゴン コア2 レベル2 BP4000」

一応こいつなら、【重装甲・白】を持つてるし、防御の際にも疲労ブロックまでしてくれるから今はこれでどうにか…。

「アタックはするかい？」

「しない。ターンエンドだ」

〈璃恵・第五ターン〉

「白銀のターン。スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。ネクサス《水銀海に浮かぶ工場島》を配置♪」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「水銀海に浮かぶ工場島 コア0 レベル1」

「この『水銀島(すいぎんとう)』は白と紫のダブルシンボルネクサスなのサ♪」

「マジか」

「更に更にイ♪ 《ジャコウ・キャット》を召喚♪」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ3↓4)

「ジャコウ・キャット コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果発揮♪ リューマン・バルカは手札に戻ってもらおうヨ♪」

「手札に帰す効果か…！」

(悠姫手札3↓4)

(リザーブ0↓1)

「まだまだ♪【連鎖・紫】が発揮されちヤツて〜♪1枚ドロ〜♪」

(璃恵手札1↓2)

「で、出たのですー！紫の召喚ドロ〜を連鎖だからとか言ってる自分の

ものにしちゃうイヤな猫なのですよー!」

白 スピリット (闇)

《ジャコウ・キャット》

コスト4 軽減白2紫1 <機獣>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：白

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

相手のスピリット1体を手札に戻す。

【連鎖：条件《紫シンボル》】

【紫】：自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2

自分の手札は相手の効果を受けない。

「ちやっかり自分の手札は守るクソネコなのです!」

「真桜、口が悪くなってるぞ」

「ウププ♪ターンエンド♪」

<悠姫・第六ターン>

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ」

ガーネットドラゴンが赤にもなれるのが幸いした、が…。あのデカブツがいるから満足にアタックできるかと言われると辛い。

「…ここは《砲竜バル・ガンナー》をガーネットドラゴンに直接合体させる。んでガーネットドラゴンのレベルも3にしておく」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ガーネットドラゴン コア2↓4 レベル2↓3 BP4000

↓6000」

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

ガーネットドラゴン（合体）

「コスト：4＋4＝8」

「BP6000＋2000＝8000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白＋赤＝白赤」

「やるしかないか。アタックステップ、ガーネットドラゴンで合体アタック！」

「OK。イイヨイイヨ♪」

「合体アタック時効果、BP4000以下のジャコウ・キャットを破壊し、1枚ドロ―！」

（手札4↓5）

「あいヨ。た・だ・し、ワタシのネコちゃんを撃ったツケは払ってもらうからネ！水銀島の効果発揮！」

「っ!？」

（璃恵リザーブ0↓1）

白紫 ネクサス

《水銀海に浮かぶ工場島》

コスト5 軽減白2紫1

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：白紫

Lv1・Lv2 『相手のターン』

相手の効果によって相手の手札が増えたとき、増えたカード1枚につき、相手は、相手の手札1枚を破棄する。

Lv2

自分の紫／白のスピリットすべてに

” 【重装甲：紫／白】このスピリットは、相手の紫／白のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない”

を与える。

「手札増やした分破棄してもらおうヨ悠姫！」

「オーシンと同じ効果!？」

「その拡大版だヨ！ <竜人>やく<甲竜>を捨てて、プテルファイターで回収してもイイけど、先に水銀島を何とかしないとネ〜♪」  
「ちいっ。：《リユーマン・バルカ》を破棄する。だがガーネットドラゴンのダブルシンボルはどうする!？」

(悠姫手札5↓4)

「ライフで受けたげる!？」

(璃恵ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「どうだ!？」

「良いアタック♪ けどバースト発動だヨ!？」

(バースト：セット↓発動)

《《ラウンドテーブルナイト》!》

「紫のバースト!？」

「白だけだと思ッてた? 甘い甘い♪ バースト効果! ワタシのトラッシュにあるコスト5以下のスピリットカード1枚をノーコストで召喚♪ 対象はモチロン、ジャコウ・キャット♪」

紫 マジック

《《ラウンドテーブルナイト》》

コスト5 軽減紫2

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のトラッシュにあるコスト5以下のスピリットカード1枚を召喚する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

カード名に「闘騎士」と入っている自分のスピリット1体につき、相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに置く。

「ジャコウ・キャット、トラッシュから復活ウ♪召喚時効果も発揮」

♪」

「召喚時効果も発揮すんのか!？」

「ウププ♪ それが良いところなのネ♪ バウンス効果が発揮されるけど、空撃ちネ。でも連鎖は発揮するんだナ♪ てなわけで1枚ドロ♪」

(璃恵手札2↓3)

「スピリットまで戻ってきたか…」

「いや〜紫ってかなり便利だヨネ〜!マジ白のサイコロのトモダチ(嘲笑)だワ〜!」

「聞こえてるわよ白銀のー!!」

「聞こえるよ〜に言ッたんだヨ〜!♪」

「…あまり彩音を挑発するなよ」

「次は私が相手なんだから、首洗って待ってなさい!!」

…ほらな。

「…ターンエンドだよ」

〈璃恵・第七ターン〉

「ウププ♪白銀のターン、スタートステップ♪」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ4↓8)

「メインステップ。ナウマンガルドをレベル2にアアップ♪」

(リザーブ8↓5)

「機獣要塞ナウマンガルド コア1↓4 レベル1↓2 BP70  
00↓12000」

「次に、黄金の機人《アルティメット・エムブラ》、レベル4で出撃だヨー」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「アルティメット・エムブラ コア3 レベル4 BP9000」

「来たか白のアルティメット…」

「フフン♪ 先兵で十分になツチャウかな？ アタックステップ！  
Uエムブラでアタック！まずアタック時効果発揮！シンボル2つ以  
上のスピリットを手札に戻させてもらおうヨ！」

「っ！」

「白のUプテラトマホークツて感じかな。アルティメットなら重装甲  
も受けないし、ガーネットドラゴンは手札に戻ツてネ！」

「くっ…、バル・ガンナーは残させてもらう」

（悠姫手札4↓5）

「砲竜バル・ガンナー 残留 コア4」

「OK OK♪ 更にレベル4からのアルティメットトリガー♪ バ  
キュ〜ン♪」

「それまだやるのか。…コスト5、《アイゼンドラゴン》だ」

「Oh、ヒットならず。でも止められるかな？」

「ここはライフだ！」

（悠姫ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「次にナウマンガルドでアタック！ダブルシンボルだヨ！」

「フラッシュタイミング！マジック《フレイムスパーク》！ジャコウ・  
キヤットを破壊させてもらう！」

（悠姫手札5↓4）

（リザーブ1↓0）

「砲竜バル・ガンナー コア4↓1」

（トラッシュユ3↓7）

「なるほどなるほど♪」

（璃恵リザーブ0↓1）

「更に、トラッシュユにある今デッキから撃たれたアイゼンドラゴンを  
手札に戻す！」

（悠姫手札4↓5）

「でもライフはもらツてくヨ！」

「くれてやる！」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ0↓2)

「これで…」

「あゝツと…。これでツて勘違いしちヤダメだヨ悠姫イ♪」

「っ!?!」

「機獣要塞ナウマンガルド、レベル2の効果!アタックステップ終了時に

リフレッシュステップを行わせてもらう!!」

「な…!?!」

「アップププ…♪ リフレッシュステップウ!!」

(璃恵トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「機獣要塞ナウマンガルド 回復」

「アルティメット・エムブラ 回復」

「…マジかよ」

「フッフゝン♪ ターンエンドだヨゝ♪」

《機獣要塞ナウマンガルド》

Lv2

自分のアタックステップ終了後、ドローステップ/リフレッシュステップ/メインステップの内、どれか1つを行う。

この効果はターンに1回しか使えない。

〈悠姫・第八ターン〉

「ぐぬ…、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札5↓6)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ3↓10)

「…手をこまねいているよりはマシだ。《リューマン・クロウ》を召喚!

(手札6↓5)

(リザーブ10↓9)

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP2000」

「ん？ Uフリーデンかな？」

「いや、こいつだよ。リューマン・クロウのスピリットソウル、《アルティメット・ジークフリード》！レベル4で召喚だ！」

(手札5↓4)

(リザーブ9↓3)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・ジークフリード コア3 レベル4 BP14000」

「次はこいつだ！ 《アルティメット・ドラグサウルス》、レベル3で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ3↓5)

「アルティメット・ドラグサウルス コア1 レベル3 BP6000」

「Uドラグサウルスの召喚時効果！その厄介な工場島を破壊する！」

「水銀島だヨ水銀島！」

「どうでもいい！」

「あくワタシの水銀島がジャアンクになっちゃったア」

誰の真似してんだ一体…。とにかくドローを妨害してくるネクサスは破壊出来た。こっから巻き返す！

「アタックステップ。Uジークフリードでアタック！Uトリガー！」

「——コスト4、《絶甲氷盾》だヨ！」

「ヒット！スピリットは必ずブロックしろ！」

「イイよ♪ナウマンガルドでブロックしたげる！」

Attack!!

Uジークフリード BP14000

VS

機獣要塞ナウマンガルド BP12000

Defence!!



「ナウマンガルドでブロックしたならば、ライフを1ついただくぞ！」

(璃恵ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

「ならその要塞を破壊する！」

「ウププ…♪ この要塞はタダじゃあ陥落しない”ヨ！レベル1からの効果発揮イ！」

「死に際も…!? 往生際が悪い！」

「要塞の名は伊達じゃないんだヨ！相手によつてナウマンガルドが破壊されたとき、カード3枚と3コアを物資として残すんだヨ！」

「っ!？」

「3枚ドロロー！3コアブースト！」

(璃恵手札3↓6)

(リザーブ4↓7↓11)

ほ、本当に白のカードで効果なのか!?赤と緑が混ざったような効果だぞそれ…!

「お生憎様♪死ぬまでがめついのは白の性分なのサ♪」

「璃恵お姉さん、それは赤の分野なのですよ」

《機獣要塞ナウマンガルド》

Lv1・Lv2

相手によつてこのスピリットが破壊されたとき、自分はデッキから3枚ドロローし、ボイドからコア3個を自分のリザーブに置く。

「だが要塞陥落で道は開けた…!」

「——と思ッていたのかア？」

「っ!？」

「要塞の悲鳴で、ワタシの手に眠る”九尾”が眼を醒ましたみたいだ  
E…♪」

「闇に閉ざされし銀嶺より目覚めよ！」

その身を深淵なる黒に染めし歪みの天狐九尾！

《黒天狐ネガ・ナインテイル》!!

レベル3で、覚醒ツ!!」

ま、またノーコストで飛び出してきた…！　　ったく、真桜や彩音が恨み事言う気持ち少し分かってきたぞ。

「この子はね、ワタシのコスト6以上の白のスピリットが破壊されたとき、呼応して眼を醒ますんだヨ♪」

白 スピリット (闇)

《黒天狐ネガ・ナインテイル》

コスト7 軽減白3 <機獣>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP8000

<4> Lv3 BP12000

シンボル：白

手札にあるこのスピリットカードは、コスト6以上の自分の白のスピリットが相手によって破壊されたとき、コストを支払わずに召喚できる。

Lv2・Lv3 『???』

???

「ギア…♪ どうする悠姫イ♪」

(手札3 (6) ↓2 (5))

(リザーブ11↓6)

「くっ…。Uドラグサウルスで…」

「あくひとつ忠告♪ ネガ・ナインテイル、レベル2からの効果言ツとくヨ♪

バトル時！このネガ・ナインテイルのBP分まで好きなだけスピリットをバウンスできる！オマケの連鎖：緑と黄付き！」

《黒天狐ネガ・ナインテイル》

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

BP合計(このスピリットのBP)まで相手のスピリットを、好きなだけ手札に戻す。

【連鎖：条件《緑／黄シンボル》】

「緑」：相手はバーストを発動できない。

「黄」：このスピリットは相手のスピリットからブロックされない。  
「《月光神龍ルナテック・ストライクヴルム》より範囲が広がった質の悪い効果なのですよ…」

「ウプププ♪ B Pが低いやつ！バウンス耐性のないやつ！バーストに頼るやつ！アンブロッカブルに対応できないやつが悪いのヨ!!」  
「姑息な手を…。なのですよ」

このネガ・ナインテイルっての、相手が嫌がる部分を全部乗せたよ  
うな狐だな…!

こいつ自身に耐性がないのが救いだが、あいつの妖しげなニヤケ顔  
からしてまだあるぞ。

「……ターン、エンドだ」

〈璃恵・第九ターン〉

「白銀の、ファイナルターン！」

(リザーブ 6↓7)

(手札 5↓6)

「ファイナルだと…?!」

「メインステップ！バーストセット！」

(手札 6↓5)

〔バースト：無し↓セット〕

「次に。強靱なる銀の剣聖《機甲剣聖ミノタウロス》！レベル1で召喚  
！」

(手札 5↓4)

(リザーブ 7↓3)

(トラッシュ 0↓3)

〔召喚時効果、〔抜刀〕く♪〕

〔〔抜刀〕って、あの死神が使ってた…〕

〔ピンポンそゆこと♪〕

闇の霧氷に煌めくは白銀の剣刃！その眼に刻め!!

《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》！

剣刃(つるぎ)…!あの《エグゼキューションーズ》とか言うのと  
同じカードか!

「あれは12本のソードブレイヴのうちの1つ、闇の白の剣刃なのですよ」

「思わず身構えなくなるな…」

「ウププ♪ 剣刃の真価は合体にアリッてネ♪」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓2)

「白夜の宝剣ミッドナイト・サン コア1 レベル1 BP5000」

白 スピリット (闇)

《機甲劍聖きこうけんせいミノタウロス》

コスト5 軽減白2紫1 <剣使・機獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2 【抜刀】『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるこのスピリットと合体可能な系統：<剣刃>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

Lv1・Lv2

自分が【連鎖】でドローしたとき、自分はデッキから1枚ドロースる。

【合体時】Lv2 『このスピリットの合体アタック時』

BP6000以下の相手のスピリット1体を手札に戻す。

「ムッフッフ♪ 白夜の宝剣ミッドナイト・サンを黒天狐ネガ・ナインテイルに合体！」

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 合体

黒天狐ネガ・ナインテイル (合体)

「コスト：7+6≡13」

「BP：12000+5000≡17000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白≡白白」

「白夜の宝剣ミッドナイト・サン コア1↓リザーブへ」

(リザーブ2↓3)

「さア〜決めますヨ〜♪ アタックスステップ！ネガ・ナインテイル、  
ソードブレイヴ  
剣刃合体アタックウ!!」

「くっ…」

「バトル時効果発揮！BP合計17000までバウンス！リユーマン・クロウとバル・ガンナーにはお帰り願いましヨウ！」

(悠姫手札3↓5)

(リザーブ0↓2)

バル・ガンナーとリユーマン・クロウまでも…！これじゃ璃恵に手札がモロバレ状態じゃないか！

「悠姫の手札はガーネットドラゴン、バル・ガンナー、リユーマン・クロウ、アイゼンドラゴンに不明の1枚と。その見え見え手札でエ！どーするつもりだア悠姫イ！」

「璃恵お姉さん、えげつなき炸裂なのですよ…！」

「白の力はバリアンの力！」

バリアンって何だよ…。

「更にネガ・ナインテイル【連鎖・緑】と【黄】発揮！悠姫はバーストを発動できず、ネガ・ナインテイルはスピリットにはブロックされなくなるヨ！」

「連鎖発揮って…、お前の場に緑シンボルも黄シンボルも無いだろうが！」

「悠姫お姉さん、ミッドナイト・サンの合体時効果なのですよ！」

白 ブレイヴ (闇)

《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》

コスト6 軽減白6 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：白

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】【重装甲：緑／白／黄／青】

このスピリットは、相手の緑／白／黄／青のスピリット／ブレイヴ／ネクスス／マジックの効果を受けない。

【合体時】

このスピリットの【連鎖】は、条件を無視して発揮する。

「よ、4色の重装甲に【連鎖】を無視する効果…!?!」

「出た当初から連鎖を無視するなんて剣刃編全否定とかいい加減にするのですよー!」

「何とでも言っちゃいなさいナ〜♪ で、どーすんのかな悠姫イ!」

……どうするもこうするも、こうなってしまうては…。

「Uドラグサウルスでブロック!アルティメットなら止められる!」

「そんな貧弱なアルティメットじゃ黒天狐は止まらないヨ! …それにイ、いつ黒天狐のアタックが一回きりなんて言ッたかなア!?!」

「っ!?! …回復マジックか!?!」

「Exactly. (その通りでございます) マジック《ブリッツオーダー》を使ッちやうよ〜♪」

(璃恵手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ3↓6)

「戻すスピリットはいないけど、回復する効果は発揮されるからネガ・ナインテイルを回復!」

「くっ…。ミノタウロスとかで攻めればいいだけだろうに」

「悠姫のバーストが《アルティメットウォール》だったり《絶甲氷盾》や《リユーマン・ゴッドブレイカー》とかだったら、ファイナルターン!ッて言ッた手前カッコ悪いし〜♪」

っ…。念には念をって訳かよ。

「Uドラグサウルス撃破〜♪」

(悠姫リザーブ2↓3)

「くそっ…!」

「悠姫イ。こんなんじゃワタシ足りないよ。もツともツと強く強くなッて欲しいんだよ…♪」

「簡単に言ッてくれて…」

「大丈夫♪ ワタシが保障しちゃうからサ♪ …ネガ・ナインテイル、  
剣刃合体アタック!!」

こいつはまだ、まったくと言っていいほど本気じゃない。食らい付  
けたと思ったのも、わざと噛ませたんだ。噛んだ方がいいがこつちの歯  
が折れた結果だが…。

「ライフだ…!!」

(悠姫ライフ2↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕

## 白と紫・1の楽譜

圧倒的敗北。悔しいとは思いますが、トップクラスは化け物クラスというのを痛感したバトルだった。

「予は勝者ッ！白鐘なりイッ!!」

「むう…」

「気を落とさずになのですよお姉さん。相手があまりにも悪すぎたのです」

ドロー制約、ノーコストによる大型の即召喚と隙の無い分厚い守りから安全に召喚されるアルティメット。連鎖や相手利用による抜群の安定性。無条件に近い手札に帰す効果など…。赤でこれを突破できるのだろうか。強くなれと言われてもできる気がしない。

「悠姫もあの場面でUジークフリードを出したのは良い判断だったヨ♪ 知らなかつたとはいえ、ワタシの黒天狐を警戒しなかつたのはマインスポイントかな」

「あと、水銀島の破棄効果を怖がってドローしなかったのも痛手だったのですよ」

「ううむ…。しかし捨てるのはなあ」

「そーゆー時は、〃手札交換〃ツて割り切るのも手だヨ♪」

あの場だと…確かにそれも手だったかもな。手札に戻される効果を加味すると召喚時効果持ちのスピリットを増やすのもアリか？

「赤はドロー手段もネクサスを割るも豊富よ。万能色と謡うだけあるわ」

「ムムッ！出たなティディミッガトウルルシヤックリ！」

「誰がウィンブルドン8位の熱血日本人テニスプレイヤーよ！ソルマルター！レーテル！トウルリーリースじやくり蛇じやくり割よ！白銀の！わざと間違えてるでしよ貴女！」

「ワザとに決まッてんでしヨォーがヨォ!!」

「尚更悪いわ馬鹿!!」



向こうのバトルが終わったのか彩音がこちらにやってきた。まず始めに璃恵とのじゃれあいからスタートするのはいつも通りと。

「ふん！…で、負けたのね」

「その通り」

「仕方が無いわね。敵は取るわ、勝負よ白銀の」

自信満々に右手でデツキを持って突き出し、左手で決めポーズを取る彩音。うん、決まってる（嫌味ではない）。

「ウププ♪ 無魔軸でもない紫が今の白に敵うとでも〜？」

「それはどうかしらね。白の暴走を抑えるのが紫の役目と自負してるのよ。…周囲からの評価は向かい風だけどね」

璃恵vs彩音、か…。あの時見れなかった対決だが、どれ程のバトルになるのやら。

「あッ、悠姫観戦してく？」

「…見たい」

「ムフフ〜♪イイヨイヨ〜♪」

「じっくり見て行きなさい」

〈白鐘 璃恵〉

【銀嶺改め白銀】

VS

〈澪紫 彩音〉

【呪われた鬼の都】

「運命のダイスロール！♪」

「洗脳ダイス…！」

この二人サイコロ振るだけなのに異様な気迫を見せるのはいつもの事なんだが……

「っ!? ダイス3つですって…!?!」

「ワタシがいつ1つだけ振るなんて言ツたかな〜！」

「インチキも大概にするのですよ！」

「フフン♪ 目は2・1・4！合計は7だ！」

「汚い手使った割に出目はショボいな」

「おのれ白銀の…！ ならば…！」

すると突然彩音が台を叩いた。台を叩くのはお店の迷惑になるので止めよう。

「なツ!? 台に衝撃を与えてまだ回転が生きているダイスを1番目の大きい4にぶつけて目を変えるだとオツ!?」

「さすが彩音お姉さん…！高等プレイングなのですよ！」

「プレイングと言うには程遠いんじゃないか…？」

そして璃恵の反則ダイスにぶつけて変わった目は2となったことで5に、彩音の目は回転がやつと終わり出た目は3。

「おい」

「……………先攻イタダキマス」

「……………ドウゾ」

「おいこの腐れ上級者ども」

〈璃恵・先攻第一ターン〉

「白銀のターンドロ―！」

「勢いでごまかそうとしてんじゃねえよ」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

「やあく♪ ジョークジョークよウ♪」

「どちらにしろ私は後攻を取ろうと思ってたのよ」

「……………」

「ご、ごめんなさいでした…」

「え、え…、じゃあネクサス《ローガルド北方指令部》を配置しま〜ス…」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュ0↓4）

「バーストセットしてターンエンドデ〜ス」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

ちつと睨み効かせすぎたかな。いや、さっきのは騒ぎ過ぎたんだからこれで懲りただろう。

「…懲りた?」

「はい」

「……よし」

〈彩音・後攻第二ターン〉

「封印が解けられた!紫蓮のターン!スタートステップ!」

「ヒヤッハアー!」

「調子にのんな!」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

まったく…。

「一ツ目の悪鬼、《ワンアイドデーモン》を召喚!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓4)

「ワンアイドデーモン コア1 レベル1 B P 1000」

「更に、ここが地獄の第一階層。《地獄都市カイナ》を配置!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓3)

「最後にバーストをセットしてターンエンドよ」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「おんやア〜?それを配置していいの? ドローは強制効果だからワタシのイイ的だヨ?」

「そちらから 捨てさせてくれる」のだもの。有り難くもあるわ」

「フン♪」

「ふん…」

お互い、手の内を知っているからどちらかが切り込んだらそこから

どうなるか…。

〈璃恵・第三ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。じゃあお先に♪ 《ボーン・ダイル》を召喚♪」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓2)

「ボーン・ダイル コア1 レベル1 BP2000」

「更に《ジャコウ・キャット》召喚♪」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ2↓3)

「ジャコウ・キャット コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果でワンアイトデーモンをバウンス♪ ほいで【連鎖・紫】で1枚ドロー♪」

(彩音手札2↓3)

(リザーブ0↓1)

(璃恵手札2↓3)

「：ジャコウ・キャットの軽減が合わくないか？」

「あれはボーン・ダイルの効果なのですよ」

紫 スピリット

《ボーン・ダイル》

コスト2 軽減紫1 <無魔>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

このスピリットに白のシンボル2つを追加する。

「ターンエンド♪」

「お互い動かないな」

「二人とも下手に殴ったら相手に塩を送っちゃうから、動く時を狙っているですよ」

〈彩音・第四ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「もう一度ワンアイドデーモンを召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「ワンアイドデーモン コア1 レベル1」

「紫に一手遅らせるのは無意味に近いわ。

妖艶なる暗闇の魔女。

《アルティメット・ダークウィッチ》！レベル3で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・ダークウィッチ コア1 レベル3 B P 9 0 0」

「先手アルティメットはいただいたわ」

「ドゾドゾ♪ ……すぐにどうとでもなるしネ♪」

「ふん。自慢の耐性もアルティメットには無力！アタックスステップ、Uダークウィッチでアタック！」

「彩音が動いたか」

「2以上4以下がヒットすれば璃恵お姉さんの場は全滅なのです…！」

「アルティメットトリガー、ロックオン！」

「ツと…」

「さあ、言いなさい！コストは！」

「……フフン♪」

「…何が可笑しいの？」

「——コスト7、《獅機鎧神ヴァルハランス・レオ》でした♪ ざく  
ンね〜ンガードデース♪」

「なっ…!?!」

「ヒットしなかった!?!」

「あれは各色方面に響聲を食らって一時期あれを制限にしなければバ  
トスピ辞めるとまで言われた白の相手にすると嫌な部分が纏まった  
ようなカードなのです！」

紫 アルティメット

《アルティメット・ダークウィッチ》

コスト5 軽減紫2 <新生・呪鬼>

<1> Lv3 BP9000

<3> Lv4 BP13000

<6> Lv5 BP16000

シンボル：金

【召喚条件：自分の紫スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタツ  
ク時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト  
1につき、相手は、相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに  
置く。

白 スピリット

《獅機鎧神ヴァルハランス・レオ》

コスト7 軽減白4 <武装・機獣>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP10000

シンボル：白

L v 1・L v 2・L v 3 【重装甲：紫／緑／白／黄】

このスピリットは、相手の紫／緑／白／黄のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

L v 1・L v 2・L v 3 『相手のアタックステップ』

相手のスピリットがアタックしたとき、自分のスピリット1体を回復させる。

L v 2・L v 3 『このスピリットのバトル時』

自分の白のスピリット1体を疲労させることで、このスピリットをBP+（疲労させたスピリットのBP）する。

「4色重装甲…」

「しかもスピリットがアタックすれば自分を含めたスピリットを回復して、バトル時に白のスピリットを疲労させることで疲労させたスピリットのBP分プラスする効果持ちなのです。

アルティメットが出る前は《白亜元帥レイ・ザウラー》と並んだらほぼ突破不可能なんて言われてたのです」

出し易さ、ノーコストでの召喚に加え赤と青以外シャットアウト。最大BPが1万とは言え合体したら突破は容易でなくなると。

…そう考えると彩音はある意味助かったのか？ いや、2枚ぐらい入ってると思うとな…。

「アタックはライフで受けるヨん♪」

（璃恵ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「ほいでライフ減少でバースト！モチロン《絶甲氷盾》♪ ボイドからコア1つをライフに置くヨ♪ 追加は支払えないから何もナシ♪」

（バースト：セット↓発動）

（璃恵ライフ4↓5）

「：ターンエンド」

〈璃恵・第五ターン〉

「白銀のターン♪ スタートステップ♪」

（リザーブ1↓2）

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。…ウププ♪ こっちも、行こうかな!」  
「っ…」

「新たに生まれ変わるは天雷の神!

森羅万象穿つ神鎚と共に、迫り来る闇を打ち砕け!!

《究極巨神アルティメット・ツール》!!

レベル4にて来たれ!!」

「璃恵の白のアルティメット…!」

「このUツールがワタシの陣を護るヨ♪」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「究極巨神アルティメット・ツール コア2 レベル4 B P 1 5  
0 0 0」

「次にバーストセット!」

(手札3↓2)

「アタックステップ! ……は何もしないでターンエンド♪」

白 アルティメット

《究極巨神アルティメット・ツール》

コスト7 軽減白4 <新生・武装>

<1> L v 3 B P 1 2 0 0 0

<2> L v 4 B P 1 5 0 0 0

<4> L v 5 B P 2 0 0 0 0

シンボル：金

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

【Uトリガー】 L v 3・L v 4・L v 5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のネクサス1つを手札に戻し、このアルティメットは相手のスピリットからブロックされない。



Lv4・Lv5 『相手のアタックステップ』

Lv2以下の相手のスピリットがアタックしたとき、このアルティメットは回復する。

〈彩音・第六ターン〉

「紫蓮のターン。スタートステップ」

(手札2↓3)

(リザーブ0↓1)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。……………」

ん？ 彩音が長考に入った。…あのUツールが出てきてどうするか悩んでるのか？ Uダークウィッチのレベルを上げてアタックすれば1000は越えてるし、トリガーもヒットすれば…。

「……《バットナイト》をレベル1で召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「バットナイト コア1 レベル1 BP2000」

「バットナイト召喚時効果。1枚ドロウ、更に私のアルティメットがいるなら更に1枚ドロウ」

(手札2↓4)

「……………」

「……バットナイトをレベル2へ」

(リザーブ1↓0)

「バットナイト コア1↓2 レベル1↓2 BP2000↓30

00」

紫 スピリット

《バットナイト》

コスト3 軽減紫1 <無魔>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

自分はデッキから1枚ドローする。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2 【呪撃】『このスピリットのアタック時』

バトル解決時にブロックしていた相手のスピリット1体を、バトル終了時に破壊する。

「アタックステップ。…バットナイトでアタック！ 地獄都市カイナレベル1からの効果！【呪撃】を持っているバットナイトが疲労したため1枚ドロー！」

(手札4↓5)

「…何を躊躇いがちになってるんだ？彩音らしくない」

「きつとバーストとUツール警戒もあるのですが、動かせるコアが少な過ぎて手が進まないのですよ」

「なるほど…」

「そいつは通しかナ。ライフだヨ！」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト！」

「また絶甲かしら…？」

「違うんだナ〜コレが♪」

『希望』の銘を授かりし宝石竜！

《トルマリンドラグーン》！

レベル2でバースト召喚！」

(バースト：セット↓発動)

「バースト効果でそっちのバーストを手札にバウンス！Uツールがいるから召喚可能！レベルにはジャコウ・キャットから拝借して確保！…助かったよ。ありがとネ」

(彩音バースト：セット↓手札へ)

(彩音手札5↓6)

(璃恵リザーブ1↓0)

「ジャコウ・キャット コア1↓0 消滅」

「トルマリンドラグーン コア2 レベル2 BP7000」

「くっ、また厄介なのが…」

「フン♪ さア次はどうする?」

「…：ターン、エンド」

「あの彩音が攻めあぐねるなんて…」

「今Uダークウィッチでアタックしてトリガーがヒットしてもリターンが少ないですよ。トルマリンドラグーンには消滅と破壊耐性、UツールにはBPで負けてるので余計手が出しにくいのです…」

白 スピリット

《トルマリンドラグーン》

コスト6 軽減白3 <甲竜>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP7000

シンボル：白

【バースト：自分のライフ減少後】

相手のバースト1つを手札に戻す。

この効果発揮後、自分のアルティメットがいるとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2 『相手によるこのスピリットの消滅時』

ボイドからコア1個をこのスピリットに置くことで、このスピリットは疲労状態でフィールドに残る。

Lv2

このスピリットが相手の効果で破壊されたとき、このスピリットは疲労状態でフィールドに残る。

<璃恵・第七ターン>

「白銀のターン。スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。：そろそろコアが欲しくなってきたネ♪ それにはまず《ネガ・テュポーン》を召喚♪ 一旦Uツールとトルマリンドラグーンからコア1つずつを借りてレベル2♪」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「究極巨神アルティメット・ツール コア2↓1 レベル4↓3」

「トルマリンドラグーン コア2↓1 レベル2↓1」

「ネガ・テュポーン コア3 レベル2 BP6000」

「召喚時効果！ そっちのネクサス3枚を手札に戻すヨ！まアカイーナしか無いからそれだけ戻してネ♪」

「姑息な手を：」

(彩音手札6↓7)

「更に【連鎖：紫】でデッキから1枚ドロロー！」

(璃恵手札2↓3)

「お♪良いタイミングウ♪ 今引いた《ザグナ・オリックス》をネガ・テュポーンに直接合体！」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュ2↓3)

ザグナ・オリックス

← 直接合体

ネガ・テュポーン (合体)

「コスト：5+4=9」

「BP：6000+3000=9000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+紫=白紫」

「ネガ・テュポーンはレベル2から紫としても扱われるから、ザグナのコストは1♪ 借りてたコアをUツールとトルマリンドラグーンに返して、ポーン・ダイルからコアを拝借。お疲れ様、ポーン・ダイル」

「ネガ・テュポーン（合体） コア3↓1 レベル2↓1」

「究極巨神アルティメット・ツール コア1↓2 レベル3↓4」

「トルマリンドラグリーン コア1↓2 レベル1↓2」

「ポーン・ダイル コア1↓0 消滅」

「ネガ・テュポーン（合体） コア1↓2」

コアの動きが目まぐるしいな。：あれがコア運用の仕方って訳か。

白 スピリット（闇）

《ネガ・テュポーン》

コスト5 軽減白2紫1 <機獣・妖蛇>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP7000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

相手のネクサス3つを手札に戻す。

【連鎖：条件《紫シンボル》】

「紫」：自分はデッキから1枚ドローする。

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

相手のスピリットがアタックしたとき、ボイドからコア1個を自分の紫のスピリットに置き、このスピリットは回復する。

Lv2・Lv3

このスピリットは紫のスピリットとしても扱う。

「アタックステップ♪ ネガ・テュポーンで合体アタック！ 合体してるザグナ・オリックスの効果で疲労状態のバットナイトを指定アタック！ ほいで【連鎖：白】発揮！系統<機獣>を持つネガ・テュポーンにボイドからコア1つ追加♪」

「ネガ・テュポーン（合体） コア2↓3 レベル1↓2 BP5000↓6000+3000〓9000」

紫 ブレイヴ

《ザグナ・オリックス》

コスト4 軽減紫2白1 <無魔>

<1> Lv1 BPP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：紫

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

疲労状態の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

【連鎖：条件《白シンボル》】

「白」ボイドからコア1個を、系統<機獣>を持つ自分のスピリット1体に置く。

「あのザグナ・オリックスの連鎖効果って白の効果なのか？」

「：白は「ブロックしたら」とかが基本なのですが、どうひいき目に見ても白の効果には見えないのですよ」

「バットナイト強制ブロック！」

「何も無いなら撃破だヨ！」

「破壊されるわ！」

（彩音リザーブ0↓2）

「多分戻したバーストは《マーク・オブ・ゾロ》でしょうな。 ターンエンド♪」

〈彩音・第八ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

（リザーブ2↓3）

（手札7↓8）

（トラッシュ2↓0）

（リザーブ3↓5）

「メインステップ。」

黄金の髑髏騎士

《アルティメット・ズ・ガイン》！出陣！

（手札8↓7）

（リザーブ5↓0）

（トラッシュ0↓4）

「アルティメット・ズ・ガイン コア1 レベル3 BP1000  
0」

「召喚時効果は…」

「空振りだネ。ワタシの手札は2枚。Uズ・ガインの適用範囲は3枚  
からだもんネ♪」

「いいのよ。躊躇っていたら負けるわ。バーストをセットしてターン  
エンド」

(手札7↓6)

(バースト：無し↓セット)

「アルティメットを出すだけとは」

「またカイーナを配置し直してもUトールの効果でまた戻されて、ス  
ピリットを展開しようにもコアが無いのです。コアを増やしたくて  
も、璃恵お姉さんが一切ライフに手を出さないから貯まらないのです  
よ…」

〈璃恵・第九ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。ここでネクサス《水銀海に浮かぶ工場島》をレベル  
2で配置しちやうヨ♪」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「水銀海に浮かぶ工場島 コア2 レベル2」

「これでワタシの白と紫のスピリット全員に【重装甲・紫／白】が入ッ  
た！」

「っ…！」

「バーストセットでターンエンド♪」

(手札2↓1)

〔バースト：無し↓セット〕

「璃恵はまだ動かないのか…」

「彩音お姉さん大ピンチなのですよ…」

〈彩音・第十ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ」

〔リザーブ0↓1〕

〔手札6↓7〕

〔トラッシュユ4↓0〕

〔リザーブ1↓5〕

「メインステップ。《ワンアイドデーモン》2体目を召喚」

〔手札7↓6〕

〔リザーブ5↓4〕

「ワンアイドデーモン（2） コア1 レベル1」

「2体のスピリットソウルを發揮！」

「むむッ」

「創造の蛇、黄金の翼と共に再臨！」

《アルティメット・ケツアルカトル》!!

レベル5にて、飛翔！

「Uケツアルカトル…。これは動くしかないかな？」

「レベル分にはワンアイドデーモン2体とUダークウイッチから確保

！」

〔手札6↓5〕

〔リザーブ4↓0〕

〔トラッシュユ0↓3〕

「ワンアイドデーモン（1） コア1↓0 消滅」

「ワンアイドデーモン（2） コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ダークウイッチ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ケツアルカトル コア4 レベル5 B P 2 3

000」

「おおウ、思い切ったネエ…」

「ターンエンド」



スピリットを退かしてアルティメット2体を維持した…。生半可にスピリットを展開したら向こうの良い餌になるのが嫌ったのか、こうするしか無いのか。

〈璃恵・第十一ターン〉

「白銀のターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。神喰らう黄金の狼！〈アルティメット・フェンリル〉！レベル4で召喚ツと！ レベル分には水銀島とトルマリンドラグリーンから拝借！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「水銀海に浮かぶ工場島 コア2↓0 レベル2↓1」

「トルマリンドラグリーン コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・フェンリル コア3 レベル4 BP13000」

「次にネガ・テュポーンのコア2つをUツールに移動させてレベル5へ！」

「ネガ・テュポーン (合体) コア3↓1 レベル2↓1」

「究極巨神アルティメット・ツール コア2↓4 レベル4↓5  
BP15000↓20000」

「アタックステップ。ネガ・テュポーンで合体アタック！指定アタックは無理だけどコアは追加させてもらおうヨ！」

「ネガ・テュポーン (合体) コア1↓2」

「コアが欲しけりゃくれてやるゾツと！」

「仕方ないから受けとってやるわ！」

「ネガ・テュポーンはダブルシンボル！」

「ライフで受ける！」

(彩音ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「ライフ減少によりバースト!《妖華吸血爪》!デツキから2枚ドロ―するー私のターンでは無いから手札は捨てない!」

(バースト:セット↓発動)

(手札5↓7)

「なるほどなるほど♪ターンエンドだよ♪」

璃恵が仕掛けた。Uフェンリルを召喚するときのあいつの目、少し本気になり始めたのか。

〈彩音・第十二ターン〉

「紫蓮のターン、スタートステップ!」

(リザーブ2↓3)

(手札7↓8)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。最後の《ワンアイドデーモン》を召喚!」

(手札8↓7)

(リザーブ6↓5)

「ワンアイドデーモン(3) コア1 レベル1」

「更に2体目の《バットナイト》を召喚!」

(手札7↓6)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓2)

「バットナイト(2) コア1 レベル1」

「召喚時効果、1枚ドロ―に更にアルティメットがいるためもう1枚ドロ―!」

(手札6↓8)

「イイのかなア!水銀島レベル1の効果で増えた分捨ててもらっけど?!」

「構わないわ!《カースガーゴイル》と《地獄都市カイーナ》を破棄!」  
(手札8↓6)

「ウププ：♪ワタシも、それを待ってたんだよネエ！」  
「っ!？」

「その召喚時に反応してバースト! 《双翼乱舞》さ!」  
「し：しまった…!」

「焦ったな彩音エ! バースト効果で2枚ドロして、追加でネガ・テュポーン、Uツールからコアを拝借して更に2枚ドロ!」

「ネガ・テュポーン (合体) コア1↓0 消滅」

「ザグナ・オリックス 残さず消滅」

「究極巨神アルティメット・ツール コア4↓1 レベル5↓3」

(トラッシュユ3↓7)

(璃恵手札1↓5)

「私が：焦った：!？」

「どうする彩音エ? アタックする?」

「焦るなんて、そんなはず無いわ：! バットナイトのレベルを上げ、バーストをセットしてターンエンドよ!」

(手札6↓5)

(バースト：無し↓セット)

〈璃恵・第十三ターン〉

「白銀のターン。スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ♪ 《機甲剣聖ミノタウロス》を召喚!」

(手札6↓5)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「機甲剣聖ミノタウロス コア1 レベル1」

「そして召喚時効果! 【抜刀】!!」

「闇の白の剣刃が来る…!」

「チツチツチ♪違うんだなくコレが♪」

深淵なる暗闇の澱より、荒れ狂う大海を断ち割り頭れよ！叫べ闇の黙示録！！

《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》！！

「なっ!?闇の青の剣刃!?!」

「その通り♪!ミノタウロスに直接合体!」

(手札5↓4)

「召喚時効果でこのターンの間、ワタシのスピリットすべては最高レベルに!そして切り札その2、行きます!!」

「鋼鐵の翼、白夜の神獣!普く闇を束ね世界を統べる皇となれ!!

《黒皇機獣ダークネス・グリフォン》!!

今此処に、君臨!!」

「ダークネス・グリフォン…! あれが璃恵の別の切り札なのか?」

「そう、らしいのですけど…」

「けど?」

「どうしてこの場面で…」

(璃恵手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ2↓6)

「黒皇機獣ダークネス・グリフォン コア1 レベル1↓3 B P  
7000↓14000」

「召喚時効果発揮!バットナイトとワンアイドデーモンをバウンス!  
!」

「くっ…!」

(彩音リザーブ0↓3)

(手札5↓7)

「更に【連鎖・紫】発揮!デッキから2枚ドロロー!更に更にイ!ミノタウロスレベル1からの効果で、【連鎖】でドロローできたら更に1枚ドロローしちゃう!」

(璃恵手札3↓6)

手札に戻してドロー…。これで璃恵の手札が元に戻った。

白 スピリット (闇)

《黒皇機獣<sup>こくおうきじゅう</sup>ダークネス・グリフォン》

コスト8 軽減白4 <機獣>

<1> Lv1 BP7000

<2> Lv2 BP10000

<4> Lv3 BP14000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

相手のスピリット2体までを手札に戻す。

【連鎖：条件《紫シンボル》】

【紫】：自分はデッキから2枚ドロウする。

Lv2・Lv3『??』

???

「そして闇の白き剣刃、《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》をダークネス・グリフォンに直接合体ツ!! コストはUフェンリルから拝借！」

(手札6↓5)

「アルティメット・フェンリル コア3↓2 レベル4↓3」

(トラッシュユ6↓7)

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 直接合体

ダークネス・グリフォン (合体)

「コスト：8+6=14」

「BP：14000+5000=19000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白=白白」

「最後にUフェンリルのコア2時つ、トルマリンドラゴンのコア1つをUツールに! 二人とも最後までサンキュ♪」

「アルティメット・フェンリル コア2↓0 消滅」

「トルマリンドラゴン コア1↓0 消滅」

「究極巨神アルティメット・ツール コア1↓4 レベル3↓5」

「ファイナルアタックステップ！」

ファイナル!? 決めにかかる気か!?

「ダークネス・グリフォン、剣刃合体アタック!!」  
「っ!」

「ダークネス・グリフォン、合体時レベル2からのバトル時効果! ダークネス・グリフォンは1ターンに1度回復する!」

《黒皇機獣ダークネス・グリフォン》

【合体時】Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

ターンに1回、このスピリットは回復する。

【連鎖：条件《紫シンボル》】

【紫】：相手のスピリットのコア2個を相手のトラッシュに置く。

「回復すんのかよ!?!」

「しかも【連鎖：紫】でコアがトラッシュに行っちゃうのです。実質2回のアタックで、コアを4つもトラッシュ送りにする全く白らしくないカードなのです!」

「闇青剣の合体時効果でシンボルが無いならマジックもバースト使えないヨー! さア、どうする!」

「くうっ…っ! Uケツアルカトルでブロック!」

Attack!!

黒皇機獣ダークネス・グリフォン（+白夜の宝剣ミッドナイト・サン）

BP14000+5000=19000

vs

Defense!!

アルティメット・ケツアルカトル

BP23000

「BPはこちらが上! せめて一矢、その黒皇を討ち取らせ!」

「討ち取れる訳ネエでしょうがアツ!!」

「っ!?!」

「フラッシュ! マジック《キズナブレード》を使用! コストはUツールから拝借!」

(璃恵手札5↓4)

「究極巨神アルティメット・ツール コア4↓3 レベル5↓4」

(トラッシュユ7↓8)

「ミノタウロスを疲労させて、今のミノタウロスのBPをダークネス・グリフォンに加算させるヨ！ミノタウロスのBPは6000に闇青剣の5000を足して11000！」

「黒皇機獣ダークネス・グリフォン (合体) BP19000+11000=30000」

「BP30000!?!」

「いくら究極でも格が違うってネ…♪」

Attack!!

黒皇機獣ダークネス・グリフォン (+白夜の宝剣ミッドナイト・サン)

BP19000+11000=30000↓win!!

vs

Defense!!

アルティメット・ケツアルカトル

BP23000↓lose…

「蛇の翼、斬らせてもらったヨ！」

「Uケツアルカトルが…」

(彩音リザーブ3↓7)

「もう一度ダークネス・グリフォンで剣刃合体アタック！フラッシュ！《リブートコード》を使用！コストはさつきからコア持たせしかやらせてなくて活躍させてなかつたUツールから拝借！」

(璃恵手札4↓3)

「究極巨神アルティメット・ツール コア3↓1 レベル4↓1」

(璃恵トラッシュユ8↓10)

「ワタシのスピリットすべてを回復！ただしこの効果で回復した合体スピリット以外のスピリットはアタックできなくなっちゃうけど関係無いネ！」

白 マジック

《リブートコード》

コスト3 軽減白1

フラッシュ:

疲労状態の自分のスピリットすべてを回復させる。

このターンの間、この効果で回復した、合体スピリット以外のスピリットはアタックできない。

「ダークネス・グリフォンとミノタウロスは回復!」

「私が…翻弄されるなんて…! Uズ・ガインでブロック!」

「究極になった髑髏騎士も、皇の前には無力!」

(彩音リザーブ7↓8)

「三度目のダークネス・グリフォン、剣刃合体アタック!!」

「ライフよ!!」

「ダークネス・グリフォンはダブルシンボル!」

(彩音ライフ3↓1)

(リザーブ8↓10)

「ラスト。…お待たせUツール。アタック!! トリガーは、いらねえ」

「く……ッ!!」

最後の命、くれてやる!!」

(彩音ライフ1↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕



## 新しい風と新しい光

「く、悔しい…!」

「ヤツぱザンデやら入ってない紫は相手にならないネ♪ ちヨくツちギリギリだツたのは認めるけどネ」

「焦った…私が……」

「落ち込まずに次の弾でRevengeを待ってるヨ♪」

「つつつ…!今に見てなさい!!」

「えくではく。シヨップバトル優勝者はく、登録ネーム、シロゼロさんに決定しましたく」

「イエーイ! Congratulation♪ I, m No. 1ー!!」

「なんとくシロゼロさん、全勝でくす」

璃恵の全勝無敗に周囲がざわめき立つ。こんだけいて誰も傷を付けれなかったのかよ…。改めてあいつはとんでもない奴だったと再確認するバトルだった。

次に白星が多い人、準優勝は彩音。璃恵とのバトル以外に、唯一黒星を付けたのが、静鳴 雫。彩音曰く「アルティメットが出て来たらデツキアウトに動きがシフトされてデツキが溶けた」とか。

私はまあ…、中の中辺り。それ程悪くない成績だよなこれは。

「悠く姫♪」

「ん? お疲れ」

「お疲れ♪ で、どうだった?初めてのシヨップバトルは」

正直悪くなかった。色々な人の戦術やらデツキやら見れたし、自分のデツキの強み弱みも知れた。…これなら、まあね。

「ウププ♪それならワタシも嬉しいヨ♪ てなわけで、ハイ!悠姫には残念賞デくス♪」

「…残念賞?」

テヘペロみたいな表情されながら差し出されたカード。ひつぱたきたい衝動に駆られるが我慢して、カードを受け取る。……これ、アルティメットカードじゃないか。

「必要ならそれ入れてワタシを追い詰めてネ♪」

「《アルティメット・レオン・ハウル》……」

赤 アルティメット

《アルティメット・レオン・ハウル》

コスト7 軽減赤3 <新生・皇獣>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP15000

<5> Lv5 BP20000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊することで、自分のトラッシュにある赤のスピリットカード1枚を手札に戻す。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットをBP+10000する。

「使いこなすかは別として、強くなつてほしいからネ」

「…強くなれて言われてもな」

「単純なカードパワー、デッキパワーで強くなれてのじゃなくて、ワタシを驚かすくらいプレイングがイイな」

「プレイング、か…」

「期待してるからネ♪」

その後いつものメンバー。私、璃恵、彩音、真桜の四人に加え、洋子、朱莉、雫の後輩メンバーを交えた7人で反省会…もとい私のデッキはどうしたらいい相談会みたいな雑談をしている。

あーでもないこーでもない、ここがダメ、こうしたらどう？などなど。結論は根本的にカードが足りないってことになったのはいつも

通りか。

しばらくして、彩音、洋子、朱莉、雫らが抜けることに。理由は用事があるから。

「次は必ず勝つわ。首を洗って待っていなさい」

「ハイハイ待ッてますヨ〜♪」

「3人とも今日はバトルとアドバイスありがとうね」

「こちらこそ。次は負けませんからね。……ゆ、悠姫、先輩……」

「お！洋子がデレたツス！」

「ツ!? あ、朱莉い！」

「ひゃあこわいこわいツス！センパイ、アタシも次負けないツスから！雫、一緒に逃げるツスよ〜」

「えっ、あつ、あの…あ、ありがとうございま——あ、朱莉ちゃん、ひ、引っ張らないで……」

怒った洋子に雫の手を引いてすたこら逃げる朱莉。あの3人ほんと仲良いんだな。バランス取れてる。

「あれ？ まさか終わってる？」

すると入れ替わりに誰かが駆け足で入店してきた。今聞こえたのとそぶりからしてさつきやつたシヨツプバトルに参加する人だったのか？

「あら〜。麗奈<sup>れな</sup>さん、どうなされたんですか〜？ そんな息を切らして〜」

「ああ、董さん。バトルは？」

「さつき終わっちゃいましたよ〜」

「だああ…、遅かったかあ…」

がくりと肩を落とす長身の…って、自称女性ホストの“カケル”さんじゃないか。走ってきたんだらう、乱れた髪を軽く直して上着の胸元をパタパタしてる。今回はスーツじゃなくてスマートな普段着なんだ。…妙に色っぽい艶っぽいのが…。

「なんてことだ…。トラブルさえ無ければ…」

出れなくて本当に残念そうだ。効果音が見えそう、聴こえそうな程

の肩の落とし具合。

「なら〜……。あ、そうだ♪」

董さんが何かを思い付いたのか軽く手を叩いてルンルンで店裏に引っ込んで行った。

「董さん？ ……はあ、散々だ……。おや？ 悠姫君に璃恵君、真桜君」

「あ、どうも」

「ドモ〜♪」

「いらっしやいませなのですよ〜」

「なるほど、私も惜しいことをしたなあ。悠姫君とバトルできて成長を確認できるチャンスだったというのに」

「いやあ…そんなでも無いですよ。結果はまあまあでしたし」

「まあまあでも良いものさ。自信を持ちなよ」

カケルさん…もとい、麗奈さんに今回のショップバトルのことを話した。…こう話しているとやっぱ麗奈さんってめっちゃめっちゃ美人なんだよなあ。女の私でもちよつとした仕事にドキツとしそうになったり、こつちの話をしつかり聞いて相槌を打ってくれる。こういうのがデキる女性、大人の女性なんだろう。

「ツいでででっ!? な、何だよ璃恵?! 痛いつて! 手の甲抓んな!」

「浮気、浮気! デレデレしおツて〜!」

「何が浮気だよ!?!」

「ははっ、嫉妬させちゃったかな?」

「悠姫お姉さんめ罪作りなお姉さんなのですよ」

「実際悠姫君可愛いしね。欲しくなる気持ち、解るよ」

「ツ!? 悠姫はゼツツツタイ渡しませんからネ!!」

「だ、だから抱き着くなつての…!」

そんなこんなでわいわいしていたら、董さんが奥から何かを持って現れた。

「あら〜。悠姫ちゃんってば青春ね〜」

「董さんまで何言つてんですか!?!」

「それはともかく〜、麗奈さんには〜特別に、エキシビジョンマッチ

(非公式試合)をやってももらいます」

「ほう。それは有り難い」

……エキシビションとは、シヨップバトルとは違う、まあ記録に残らない試合とでも言えればいいのか。今さっき璃恵と真桜から教わった。

「して、何をするんで?」

「では……。ばんぱかぱくん♪」

董さんが妙なファンファーレ?と共に麗奈さんと「私に」差し出したのは――

「…し、《疾風しつぷうのゼロ》?」

「《明けの明星ほしのエリス》。…なるほど、これは良い」

――つまりだ。

「麗奈さん特別バトルとして、今度発売する構築済みデッキ《明けの明星のエリス》デッキで、悠姫ちゃんの《疾風のゼロ》デッキとバトルしてもらいます♪」

「良いねえ!俄然燃えてきたよ!悠姫君!早くやろう!」

麗奈さんが完全にバトルモードに入ってしまった。腕まくりまでして…。

てか私、緑のデッキとか触るのも初めてなんだけど! な、中身のカードの確認くらいは…。

「カードの確認なんてバトルしながらでもできるさ! さ! 早く早く!」

「ええっ!? てか何で私!?!」

「それは、麗奈さんがバトルしたがってたし…。『ゼロ』と言えば、悠姫ちゃんかな。つて、ね?」

ぐっ…! そんな美人の茶目っ気な心遣いに勝てる訳が無いじゃないですか! 分かりましたよ! やれば良いんでしょやれば!

◆エキシビション戦◆

〈緋立 悠姫〉

【疾風のゼロ】

VS

〈青凧 麗奈〉

【明の明星のエリス】

「いやあ黄を使うのは久し振りだなあ！」

めっちゃウキウキしてる麗奈さん。デツキをシャツフルする手も異様に張り切ってるように見える。

「悠姫は緑デツキを本格的に使うね初めてだツけ」

「ああ。…中に入ってた『指南乃書』とかいうのも読ませてもらえなかった…」

「お互い知らない状態でのバトルが面白いのですよ」

テキストはバトルしながら読めってか？ 初心者にはそれは酷なんじゃないっすかね…。

「では早速始めよう！今すぐ始めよう！」

「は、はい…」

「先攻後攻はどうする？」

「そちらからどうぞ…」

〈麗奈・先攻第一ターン〉

「ではありがたくいただきますよ！」

蒼穹そつぎゆうもとい、明星あけぼしのターン！スタートステップ！

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。ふむふむなるほど、そういう方向に手を出したか…」

「どれどれ拝見しますヨ。…ヘエ、また長続きしなさそうな効果ですネエ。あっちフラフラこっちフラフラしてる黄色らしいですけど」「でも優秀な方じゃないかな。とにかく、『ハネツポ』を召喚して、『エイレインの雲上要塞』を配置するよ」

(手札5↓3)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「ハネツポ コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「エイレインの雲上要塞 コア0 レベル1」

お、コスト0のスピリットにコスト3のネクサス。一体どんな効果があるんだろうか。

「確認するかい？」

「あ、いいですか？ では…」

黄 スピリット

《ハネツポ》

コスト0 軽減無し <小玩>

<1> L v 1 B P 1 0 0 0

<2> L v 2 B P 2 0 0 0

シンボル：黄

L v 1・L v 2 『相手によるこのスピリットの破壊時』

カード名に「妖精」と入っている自分のスピリットがいるとき、自分はデッキから2枚ドローする。

黄 ネクサス

《エイレインの雲上要塞》

コスト3 軽減黄2

<0> L v 1

<1> L v 2

シンボル：黄

L v 1・L v 2

系統：<天霊>を持つ自分のスピリットが相手のスピリット／マジックの効果で手札／デッキに戻ったとき、戻ったスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

L v 2 『お互いのアタックステップ』

バトルしている相手のスピリットがターンで初めてB P 0になったとき、自分はデッキから1枚ドローする。

「…なるほど」

「黄は『ゴンボ成立が前提』のカード群だからね。単体だとまともに機能しないのが難点だけど、それも持ち味じゃないかな。ターンエンド」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。えつと…?」

緑の基本的な動きは、『コアを増やす』『疲労させる』『フラッシュでの奇襲』…だったよな。

「《スピアント》を召喚。0コスト、レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓4)

「スピアント コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「次に《クローフオックス》を召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「クローフオックス コア1 レベル1 B P 3 0 0 0」

「クローフオックスの召喚時効果。ボイドからコア1つを系統：〈刃虫〉、もしくは〈新生〉を持つスピリットかアルティメットに置く……こいつアルティメットにもコア置けるのか」

「へえ、もうアルティメットに触れられるカードが出るのかい」

「アルティメットとは…。とりあえず、〈刃虫〉を持つスピアントに起きます」

「スピアント コア1↓2」

緑 スピリット

《スピアント》

コスト0 軽減無し <刃虫>

<1> L V 1 B P 1 0 0 0



<3> Lv2 BP3000

シンボル：緑

【効果記述無し】

緑 スピリット

《クローフオックス》

コスト3 軽減緑1 <剣獣けんじゆう>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を系統：<新生>/<刃虫>を持つ自分のスピリット／アルティメットに置く。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

「スピアントのコア1つとリザーブのコア1つをクローフオックスに乗せてレベル2に」

「スピアント コア2↓1」

(リザーブ1↓0)

「クローフオックス コア1↓3 レベル1↓2 BP3000↓5000」

「アタックステップ。クローフオックスでアタック。クローフオックス、レベル2の効果でボイドからコア1つをリザーブに置きます」

「なるほど良い流れだ。基本的な緑の流れをスターターで出来るとは良いデツキなんだね」

(悠姫リザーブ0↓1)

「ライフで受けよう」

(麗奈ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンドです」

〈麗奈・第三ターン〉

「明星のターン、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。では、『妖精モナ』をレベル1で召喚。妖精モナはコスト1の軽減が黄色1。よって0コストで召喚だ」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「妖精モナ コア1 レベル1 BP1000」

「更に『天使イヴェール』をレベル2で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓1)

「天使イヴェール コア2 レベル2 BP2000」

「アタックステップ。天使イヴェールでアタック！イヴェール、レベル2からのアタック時効果発揮！スピアントのBPをマイナス3000ダウンさせる！」

「っ!? BPを下げさせる効果…!」

「スピアント BP1000↓0」

「これでスピアントのBPが0になった。よって、1枚ドローさせてもらおうよ！」

(手札2↓3)

BPを0してドローする効果…。値が3000と少し高い気がするが、クローフォックスのレベルを上げておいて正解だったかもしれない。

「天使イヴェールツてき、赤の『サラマントル』の黄色版ツて感じだヨネ真桜ちゃん」

「ドロー条件が、相手のスピリットがこのターン中、初めてBPが0になったら」とやや難しいのですが、とても使いやすい良いカードなのですよ」

黄 スピリット

《妖精モナ》

コスト1 軽減黄1 <楽族>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：黄

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

バトル解決時、バトルしている相手のスピリットがBP3000以下  
のとき、自分のデッキを上から1枚オープンできる。

そのカードが黄のアルティメットカードのとき手札に加える。他  
のカードのときは破棄する。

黄 スピリット

《天使イヴェール》

コスト2 軽減黄1 <天霊>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このバトルの間、相手のスピリット1体をBP3000する。

その相手のスピリットがターンで初めてBP0になったとき、自分  
はデッキから1枚ドロウする。

赤 スピリット

《サラマントル》

コスト2 軽減赤1 <溶魚>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<5> Lv3 BP5000

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドロウする。

「アタックはライフで受けます」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンド」

「……ちよつといいですか?」

「ん? 何かな?」

「天使イヴェールのBPマイナス効果 “バトルの間” ってどこからどこまでのタイミングなんですか?」

「ハアイ!♪ そこはワタシ、璃恵ちゃんと真桜ちゃんが説明しちゃうヨ〜♪」

「“バトルの間” というのは、基本的に “そのスピリットがアタック／ブロックしてからバトル終了まで” を指しているのですよ」

「天使イヴェールのBPマイナス効果は見ての通り “このバトルの間” 。だから、BPマイナス3000されたスピアントのBPは、天使イヴェールのアタックが終了したら元の1000に戻っちゃうのネ♪」

「もう一つ。天使イヴェールのドロー効果なのですが、 “初めて0になつたら” とあるので、1回0にしちゃったら、天使イヴェールがもう1体いて、BPが元に戻ったスピアントをもう1回0にしてもこのターンでドローは出来ないのですよ」

「なるほど大体分かった」

「色々遠回りで面倒だよね黄はさ。まあ、 “作り手がトラウマ抱えてビクビクしてるんだから” しょうがないけどね」

「…大天使ミカファールの氷河期、でしたっけ」

「ああ。……あれのおかげでどうもね」

やはりミカファールの話題になると璃恵も真桜も麗奈さんも露骨に視線が泳ぎはじめるな。思い出したくないのか、何なのか。

「それは置いておこう。悠姫君のターンだよ」

〈悠姫・第四ターン〉

「では、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。……ふむ」

この【神速】は出すタイミングが重要なんだよな。相手にそれを悟らせないよう息を潜めて……。もしくはは一気呵成に畳み掛けるか。となると、【神速】持ちを普通に召喚するならなるべくフラッシュユニットの方が良いのか？

「うむ……」

「やっぱ緑の神速は初心者には難しいかな？」

「フルに活用しようと思わなくても大丈夫なのですよ」

「【神速】は〃持ってないと匂わせる〃という使い方があるんだ。【神速】持ちを普通に召喚することで、相手の手を鈍らせるってね」

「なるほど……」

てことは盤面を読んでどのタイミングで伏兵、【神速】を出すのか見極めるかが勝負の分かれ目か。

「：ならここはネクサス《大地茂る大樹》を配置しよう」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓2)

「悠姫逃げたな！」

「う、うっさい！ ……《スピアント》2体目をレベル2で召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

「スピアント(2) コア3 レベル2 BPP3000」

「アタックステップ。クローフオックスでアタックします。アタック時効果でボイドからコア1つをリザーブに」

(リザーブ0↓1)

「ではフラッシュだ！マジック《エンジェルストライク》！」  
「っ！」

「あ！新しい黄色のマジックだ♪」

「その通り！コストはリザーブとイヴェールから1つ貰って……」

(麗奈手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「天使イヴェール コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓3)

「クローフオックスのBPを5000ダウンさせるよ!」

「クローフオックス BP5000↓0」

「そしてこの効果でBPが0になったため、クローフオックスを破壊するー!」

「何っ!？」

「クローフオックス BP0 効果破壊」

(悠姫リザーブ1↓4)

黄 マジック

《エンジェルストライク》

コスト5 軽減黄3

フラッシュユ:

このターンの間、相手のスピリット／アルティメット1体をBP5000する。

この効果でBP0になったスピリット／アルティメットを破壊する。

「へえ」。黄色が最初にアルティメットを破壊できる効果出てきたのか。しかも5000は大きいし、【強化】も乗るから10000ダウンでアルティメット撃破も夢じゃないかもネ」

「最初……?」

……最初。何か引つ掛かる。

えっと……、あ。思い出した。『ホムホムさん』だ。《バインディングスケイル》っていうマジック。

「……………」

「悠姫君、キミのフラッシュユだよ?」

「え、あ…、何もありません」

「こちらもないよ。次のアタックはどうする?」

「じゃあ、レベル2のスピアントでアタック」

「ハネツポでブロックしよう」

ブロックか。ハネツポのドロロー効果を優先したのかな。

「バトル解決時、妖精モナの効果発揮！」

「っ！」

「バトルしている悠姫君のスピリットのBPが3000以下ならば私のデッキトップを1枚オープンできる。アタックしているスピアントのBPは3000。よってデッキトップをオープン！」

●オープンしたカード

《アルティメット・バーチュ》

「オープンしたカードはアルティメット・バーチュ！アルティメットだったため手札に加わる！」

(麗奈手札2↓3)

「ドロローになった…」

「そして改めてバトル解決。ハネツポは破壊されて、妖精モナがいるため2枚ドロローするよ！」

(手札3↓5)

(リザーブ0↓1)

「なら最後のスピアントでアタック！」

「ならフラッシュユ！《イエローアラート》！」

(手札5↓4)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ3↓4)

「何!？」

「アタックしているスピアントのBPをマイナス2000！」

「スピアント(1) BP1000↓0」

「スピアントが…!」

「更に!このイエローアラートを悠姫君のターン中にしたのなら、私の黄のスピリット1体を回復させる!よって天使イヴェールを回復!」

「天使イヴェール 疲労↓回復」

黄 マジック

《イエローアラート》

コスト2 軽減黄1

フラッシュ:

このターンの間、相手のスピリット1体をBP—2000する。

このマジックカードを相手のターンで使用したとき、さらに自分の黄のスピリット1体を回復させる。

「スピアントのアタックは天使イヴェールでブロックだ！」

「むう、そのまま続行どうぞ」

「ならバトル解決時に妖精モナの効果発揮しよう。デッキトップをオープン」

●オープンしたカード

《天使アエスタ》

「おっと、アルティメットじゃないから破棄だな。そしてスピアントを撃破だ」

「黄色は相手しにくいですね…」

(悠姫リザーブ4↓5)

「ははっ。黄色使いの人には悪いんだけど、最初のうちだけさ」

「ワタシにとっちャバウンスの良い的だよ♪ 召喚時効果使い回される？ デッキの一番下に逝ッてもらうだけだよ♪」

「緑はごり押す以外に道なんて無いのです」

「青だったら…、縛りに縛りあげて絞め落とす感じかな。青と黄は登場登場から関係最悪だったし」

「な、なるほど…」

黄色の風当たりは相当なものだな…。実際、ホムホムさんとのバトルだって《光楯の守護者イーデイス》がいなかったら全部破壊して押し勝てたはず…。

「とにかく、これ以上はスピリットを失えないからターンエンドです」

〈麗奈・第五ターン〉

「明星のターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュ4↓0)



(リザーブ1↓5)

「メインステップ。では新しいアルティメットの登場と行こう！」

「さつき加わったやつ…！」

「そう！新たな衣纏いし黄金の力天使！」

《アルティメット・バーチュ》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・バーチュ コア1 レベル3 BP8000」

「そしてイヴェールにコアを1つ、雲上要塞に1つ乗せて、アタックス  
テップ！」

(リザーブ2↓1)

「天使イヴェール コア1↓2 レベル1↓2」

「エイレインの雲上要塞 コア0↓1 レベル1↓2」

黄色のアルティメットと対峙するのは2回目。このUバーチュは  
どんな効果を持つてるんだ。

「Uバーチュでアタック！アルティメットトリガー、ロックオン！」

「さあ、カードを言いたまえ！」

「…《ムゲンドラゴン》、コスト4！」

「おととつと、危なかったね。とにかくヒット！スピアントのBPを  
マイナス10000するよ！」

「スピアント(2) BP3000↓0」

なっ…!?! い、10000!?!

「驚いたかい？ しかし、ダウンさせるだけで意味は無いんだけどね」

黄 アルティメット

《アルティメット・バーチュ》

コスト5 軽減黄3 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP8000

<3> Lv4 BP11000

シンボル：金

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

Lv3・Lv4『このアルティメットのバトル時』

自分の手札にあるマジックカードすべてのコストを―1する。

【Uトリガー】Lv3・Lv4『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このバトルの間、相手のスピリット1体をBP―10000する。

このアルティメットが相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「さあどうする悠姫君！」

おそらく、コイツを使うならここだろう…！

「フラッシュユタイミング！」

「むっ！」

《ヴァルト・イエーガー》を【神速】召喚します！レベル2！

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「ヴァルト・イエーガー コア3 レベル2 BP5000」

「新しい【神速】のスピリットなのですよ！」

「ヴァルト・イエーガーはアタックステップに召喚されたとき、ボイドからコア1つをリザーブに置ける！」

(リザーブ0↓1)

「ほう…。サイズの大きい<剣獣>の《マー・バチョウ》かな」

「系統が<剣獣>なのがPointですネ」

緑 スピリット

《ヴァルト・イエーガー》

コスト4 軽減緑3 <剣獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

フラッシュ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

『お互いのアタックステップ』で召喚されたとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

緑 スピリット

《マー・バチョウ》

コスト3 軽減緑2 <雄将・華兵>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP4000

シンボル：緑

フラッシュ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

『お互いのアタックステップ』で召喚されたとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

「ヴァルト・イエーガーでブロック！これ以上ドロローは……！」

「いいだろう！ただしUバーチュはスピリットにブロックされた場合ライフ1つをリザーブに送らせてもらおう!!」

「なっ!? 貫通効果!?!」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

赤のアルティメットに似た効果か……このブロックは早計だったか？

「だけど、大地茂る大樹の効果発揮！麗奈さんのスピリット、もしくはアルティメットによってライフが減らされたら1枚ドロローする!」

(悠姫手札1↓2)

「お〜♪ 《命の果实》に似たネクサスなんだネ〜♪」

「コアブースト効果は無くなってるのですが、ネクサスによる疲労効果を持つてるのですよ〜」

緑 ネクサス

《大地茂る大樹》

コスト4 軽減緑2

<0> Lv1

<3> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『相手のアタックステップ』

相手のスピリット／アルティメットによって自分のライフが減ったとき、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2

自分のアルティメットが召喚されたとき、相手のスピリット1体を疲労させる。

「ではこちらも！フラッシュユで2枚目の《エンジェルストライク》だ！

コストはイヴェールから1つ貰う！」

「コストが合わないんじゃない？」

「悠姫、Uバーチュの効果だよ」

「バトル中、麗奈さんのマジックカードのコストを1つ減らすのですよ」

「案外この1が馬鹿にならないんだよね。そういう訳で、ヴァルト・イエーガーのBPマイナス5000！」

(麗奈手札4↓3)

「天使イヴェール コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓3)

「ヴァルト・イエーガー BP5000↓0 効果破壊」

(悠姫リザーブ2↓5)

「更に雲上要塞の効果で1枚ドロー！」

(手札3↓4)

「ヴァルト・イエーガーが…」

「これにてターンエンド」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札2↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ6↓10)

「メインステップ。そちらがアルティメットを出してきたのなら、こっちだってー!」

「ほう。なら悠姫君の二つ名『見習いの究極使い』に相応しくやってみると良い!」

「いつの間にか二つ名が…。」

とにかく《アルティメット・モノケイロス》を召喚!」

(手札3↓2)

(リザーブ10↓6)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・モノケイロス コア1 レベル3 BP8000」

「緑のアルティメットなのです!」

「このままアタックステップ!Uモノケイロスでアタック!Uトリガー!」

「さて…。《アルティメット・クレイオ》、コスト2だよ」

「ヒット!私の手札にある【神速】を持つスピリット、もしくは『アルティメット』をコストを支払わず召喚できる!…マジか!?!」

「お姉さん自分で驚いてるのですよ」

緑 アルティメット

《アルティメット・モノケイロス》

コスト5 軽減緑3 <新生・殻人>

<1> Lv3 BP8000

<3> Lv4 BP12000

<4> Lv5 BP14000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5

『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分の手札にある【神速】を持つス

ピリットカード／アルティメットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

「アルティメットをノーコス召喚しだしたのは緑が最初か」

「呼び出すのは、《アルティメット・ティガルド》！レベル4！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓3)

「アルティメット・ティガルド コア3 レベル4 BP8000」

緑 アルティメット

《アルティメット・ティガルド》

コスト4 軽減緑2 <新生・殻人>

<1> Lv3 BP5000

<3> Lv4 BP8000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

フラッシュユ【神速】

手札にあるこのアルティメットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

【Uトリガー】Lv4 『このアルティメットのバトル時』

Uトリガーがヒットしたとき、BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したら、このアルティメットは回復する。

「アルティメットが一気に2体…。今の環境ではなかなか出来ない事だね」

「たしかに。Uモノケイロスのアタックはどうします」

「ライフで受けよう！」

(麗奈ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「スピアント、アタック！」

「フラッシュユ！マジック《シンフォニックバースト》！」

(麗奈手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ3↓4)

「ワオ！イラストがエロい！」

「璃恵うつさい！」

「はははっ！ライフで受けよう！」

（麗奈ライフ3↓2）

（リザーブ0↓1）

「シンフォニックバーストはバトルが終了したときに私のライフが2以下ならアタックステップを強制終了させる！」

「これ、《サンダーウォール》のバースト版なのですよ！イラストが…」

「真桜やめい。……ターンエンドします」

黄 マジック

《シンフォニックバースト》

コスト3 軽減黄2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】  
このバースト発動時に破壊された、自分のフラッシュにあるコスト5以下のスピリットカード1枚を手札に戻す。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

このバトルが終了したとき、自分のライフのコアが2個以下なら、アタックステップを終了する。

〈麗奈・第七ターン〉

「このシンフォニックバーストは無限回収しよう。明星のターン、スタートステップ！」

（リザーブ1↓2）

（手札3↓4）

（トラッシュ4↓0）

（リザーブ2↓6）

「メインステップ。…『主役の到着』かな」  
「っ！」

「神の光、神の炎にて闇を滅する煌めく四大天使が一人！」

《アルティメット・ヴァリエル》!!

レベル5にて、降臨!!」

アルティメット：ヴァリエル：!?

あれって確か、ホムホムさんが使ってなかったか？

「レベル分には雲上要塞から貰う！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓4)

「エイレインの雲上要塞 コア1↓0 レベル2↓1」

「アルティメット・ヴァリエル コア3 レベル5 BP1700」

「あのヴァリエルが美女になつて戻ってくるなんて誰が予想できただろうか」

「あの厳つい大天使からは想像できないのですよ」

「新しい大天使の力、見せてもらうとしよう！アタックスステップ、Uヴァリエルでアタック！アルティメットトリガー・ロックオン！」

Uヴァリエル…、ホムホムさんが使ったあのカード。今このデッキと私で何とかできるか!?

「コストを言ってくれ！」

「…っ！ コスト3、マジックの《トライアングルバースト》！」

「おっ！クリティ―」

「『クリティカルヒット』…ですね」

「っ!？」

「ヒットしたカードがマジックカードだった場合、トラッシュにあるマジックカード1色をすべて手札に戻す」

「知ってたのかい？」

「えっと…、まあ…」

「とにかく、その通りだよ。クリティカルヒット！私のトラッシュにある黄のマジック《エンジェルストライク》2枚、《イエローアラート》、《シンフォニックバースト》を回収！」

(麗奈手札3↓7)

「そして、Uヴァリエルよりレベルの低いスピリットとアルティメツ



トからブロックされない!」

「ウヒヤ〜♪ ヴァリエルの拡大版にアルティメットにすらブロックされないとかなかなか強いネ〜♪」

「コスト7なのでヒットしやすすいですし、あのクリティカルヒットっていうのも対象が『マジックカード』と広いので本当に強そうなのですよ!」

「…でも何で悠姫、Uヴァリエルの効果知ってんだろ?」

「更にUヴァリエル、レベル4、5のバトル時効果。…これも知ってるかな?」

「このターンの間スピリット、もしくはアルティメットのBPをマイナス3000する。でしたね」

「その通り。UティガルドのBPを3000ダウンさせる!」

「アルティメット・ティガルド BP8000↓5000」

「メインのアタック!Uヴァリエルよりレベルの低い相手からはブロックされない!」

「ライフで受けます!」

（悠姫ライフ3↓2）

（リザーブ3↓4）

「大地茂る大樹の効果で1枚ドロ!」

（手札1↓2）

まだ、苦しいか…!

「Uバーチュ、アタック!アルティメットトリガー・ロックオン!」

「…コスト1、《レディバド》!」

「ヒット!スピアンのBPを10000ダウン!」

「スピアント BP3000↓0」

「フラッシュは!」

「……つ、ないです」

「では《エンジェルストライク》だ!コストはUヴァリエルから1つ貰う!」

（麗奈手札7↓6）

「アルティメット・ヴァリエル コア3↓2 レベル5↓4」

(トラッシュユ4↓5)

「対象はUティガルド！BPを5000ダウンさせ、0になったため破壊だ！」

「アルティメット・ティガルド BP5000↓0 効果破壊」

(悠姫リザーブ4↓7)

1枚エンジェルストライクを使わせたけど、あと1枚残ってる…！

「ここは…！」

「ライフで、受ける！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ7↓8)

「大地茂る大樹の効果で、1枚ドロー！」

(手札2↓3)

「…ここからが勝負だね。」

天使イヴェールでアタック！」

「フラッシュタイミング！《ノコギールクワガタ》をレベル2で【神速】召喚！」

(悠姫手札3↓2)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ3↓4)

「ノコギールクワガタ コア2 レベル2 BP3000」

「どうします？」

「…………フラッシュユ！《バーストスナップ》！」

「っ!？」

「コストはUバーチュとUヴァリエルから1つずつ貰う！」

対象はノコギールクワガタ。ノコギールクワガタはアタック、ブロックできず、効果を全て失い新たに得ることもできない！」

(麗奈手札6↓5)

「アルティメット・バーチュ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ヴァリエル コア2↓1 レベル4↓3」

(トラッシュユ5↓7)

しまった、別のマジックを持ってたのか…!?

緑 スピリット

《ノコギールクワガタ》

コスト3 軽減緑2 <刃虫>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

シンボル：緑

フラッシュ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv2『このスピリットの破壊時』

自分のアルティメットがいるとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

黄 マジック

《バーストスナップ》

コスト4 軽減黄2

【バースト：自分のライフ減少後】

このターンの間、相手のコスト0/1/3/5/7/9/11のスピリットのアタックでは、自分のライフは減らない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のスピリット1体を指定する。

このターンの間、そのスピリットはアタック/ブロックできず、効果すべてを失い、新たに得ることもない。

そのスピリットは効果の記述を持たないスピリットとして扱う。

「チエックメイトかな！」

「まだ…！フラッシュタイミングで《ヴァルト・イエーガー》をレベル2で【神速】召喚！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ4↓5)

「ヴァルト・イエーガー(2) コア3 レベル2 B P 5000」

「召喚時効果でボイドからコア1つをリザーブに！」

(リザーブ1↓2)

「何と…！」

「無いならヴァルト・イエーガーでブロック！」

「いいだろう…！」

(麗奈リザーブ0↓1)

「凌がれた…。ターンエンドだ」

「凌いだ…！」

「はわわ…！お姉さん危なっかしいのですよ…！」

「あのヴァルト・イエーガーとノコギールクワガタ、今引きだろうネ。

……ウププ♪やっぱ凄いヨ悠姫イ♪」

〈悠姫・第八ターン〉

「これが、最後のターンか…。スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札1↓2)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ3↓8)

「切り札、コイツか！」

「そっちも『主役』の到着かな。随分と遅かったね！」

「まったくですよ！」

ヴァルト・イエーガー、ノコギールクワガタ、スピアントのレベルを下げます…！」

「ヴァルト・イエーガー(2) コア3↓1 レベル2↓1」

「ノコギールクワガタ コア2↓1 レベル2↓1」

「スピアント(2) コア3↓1 レベル2↓1」

(リザーブ8↓13)

「出番だ…！」

《アルティメット・キングタウロス》!!

レベル5で、召喚！」

遂に来たが余りにも遅すぎるだろうが！タイミングが良いんだか

悪いんだか分かりやしない！

「キングタウロス!? 随分様変わりしたもんだねえ」

「面影はあるけど召喚時効果無いッぽい？」

「凄いメカメカしくてカッコイイのですよ〜！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ13↓5)

(トラッシュ0↓4)

「アルティメット・キングタウロス コア4 レベル5 BP18000」

緑 アルティメット

《アルティメット・キングタウロス》

コスト7 軽減緑3 <新生・剣獣>

<1> Lv3 BP11000

<3> Lv4 BP14000

<4> Lv5 BP18000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

「リザーブに残ってるコア全てをUキングタウロスに移す！」

「何…?」

(リザーブ5↓0)

「アルティメット・キングタウロス コア4↓9」

「アタックステップ！Uキングタウロスでアタック！まずはレベル4からの効果！Uキングタウロスに乗ってるコア1つにつきBPを1000上昇させるー！」

「なんと…!?!」

「アルティメット・キングタウロス BP18000+9000」

27000」

「ワオ…、なんちユーパワー馬鹿」

「これこそ緑なのですよ！力こそすべてなのてす！！」

《アルティメット・キングタウロス》

Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

このアルティメットのコア1個につき、このアルティメットをBP  
+1000する。

「この値なら例えエンジェルストライクでも…！」

「しかし私の手札にはシンフォニックバーストがある！このアタック  
でライフを2つ落とさなければ勝機は無いぞ悠姫君！」

だからこそ！トリガーに賭ける！

「Uトリガー！」

「っ…。コスト0、《ハネツポ》！」

「…！！ 【クリティカルヒット】 オツ！！」

「っ馬鹿な!？」

「ヒットしたカードがコスト3以下のとき、ライフ1つをリザーブに  
吹き飛ばす！」

「スピリットを介さないライフブレイクだと!？」

(麗奈ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「更にヒット時効果でスピリット2体を疲労させる！疲労させるのは  
麗奈さんが選んでください！」

《アルティメット・キングタウロス》

【Uトリガー】 Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は、相手のスピリット2体を疲労  
させる。

【クリティカルヒット】

ヒットしたカードのコストが3以下なら、さらに、相手のライフの  
コア1個を相手のリザーブに置く。

「妖精モナしかないない。疲労させよう…！ しかし、フラッシュユ！《イ

エラーアラート』！スピアンのBPを2000ダウンさせ、妖精モナを回復させる！」

(麗奈手札6↓5)

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ7↓8)

「スピアンの(2) BP1000↓0」

「妖精モナ 疲労↓回復」

「返すならここだ…！」

フラッシュタイムニング、マジック《ネオ・バインディングゾーン》!!」

「何、ネオ：バインディングゾーン!？」

「コストはUキングタウロスからか受け取って、相手のスピリット、もしくはアルティメットを疲労させる！妖精モナを疲労！」

(悠姫手札1↓0)

「アルティメット・キングタウロス コア9↓5 BP27000  
↓23000」

(トラッシュ4↓8)

「妖精モナ 回復↓疲労」

緑 マジック

《ネオ・バインディングゾーン》

コスト7 軽減緑3

【バースト：自分のライフ減少後】

相手のスピリット1体を疲労させる。その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

相手のスピリット/アルティメット1体を疲労させる。

「どうだ！」

「くっ…！ シンフォニックバーストも、無意味か…！」

「最後のライフ、もらった!!」

「流石だ悠姫君…！ このライフ、捧げよう!!」

(麗奈ライフ1↓0)

・ [w  
i  
n  
n  
e  
r  
!!  
緋立  
悠姫  
]



## 新しい光と一緒に

「たっはあー！負けたー！」

「か、勝った…！」

疾風と明星の対決。制したのは私が受けとった疾風の方だった。  
…運が良かったと言ったら怒られるだろうか。

「はくい。エキシビジョン戦は、悠姫ちゃんの勝利です」

「いやあ強くなってるね悠姫君。恐れ入ったよ」

「そ、そんな…」

「謙遜しなくても良いよ。実力は確かに付いてきている。次は本デッキの青でお相手したいね」

麗奈さんからお褒めの言葉をいただいてちよつと照れ臭い。

「さて。エキシビジョンに勝った悠姫ちゃんには、ご褒美があります」

…ご褒美？

「ジャーン♪ さつき使った構築済みデッキ2つと、新プロモーションカード」の贈呈です」

「新プロモーションカード？」

何処から取り出したのか、新品の疾風と明星のデッキを2つずつに謎の新プロモーションカード3枚を受けとった。…こ、こんな大量に貰っていいのだろうか。

「麗奈さんの奢りだから、遠慮はいらないからね」

「…え、っ!？」

「あー！イイなア〜悠姫イ〜！ワタシもそのプロモカード欲しいー！」

「ボクも欲しいのですよお姉ちゃん！」

「なら、二人には悪いんだけど、関連商品を1000円以上買ってね。お安くしとくから〜♪」

…商売上手ですね、董さん。

「店長！ワタシ疾風と明星3つずつ買った！」

「ボクも3つずつなのです！」

「お買い上げありがとうございます♪」

「あ、あの董さん？ 私の奢りつてのは…」

「敗者必滅つてく、言うじゃない？」

「私はいつ獄龍隊式バトルをしていたのだろうか…」

「……………」

何と無く緑と黄のデッキを眺める。

今までは赤と白を主流にしてバトルしてきたが、ここからどうしようか。デッキを何とかしようと思つてた矢先、この構築済みデッキが舞い込んで来た。

「やれやれ、思わぬ出費だった…。しかしこのプロモを手に入れられたから良しとしようか」

「何か…、すみません…」

「ははっ。いいさいいさ。気にしないでくれよ」

あつけらかなと笑う麗奈さん。やはりできる大人は心の広さが違つた。

「ちよつと隣失礼。…で、どうするんだい？」

「…………正直迷つてます」

「それでいい。強くなるために迷うことは、自分にとって大きな糧になるからね」

迷うと言つても、1からデッキを崩してしまえば迷う以前の問題か分からない。崩して良いものか、疾風や明星、白銀のを混ぜてどうかするか…。

「悠姫君のは『灼熱』のを元に行っているんだよね」

「はい。璃恵が初心者ならこつちだつて」

「なるほど。璃恵君らしい」

この灼熱もほとんど原型を弄つただけだし、限界が来るのも当然。

これからどうにかしなきゃならん。

「…なら1つ、提案がある」

「提案、ですか？」

「うん。…悠姫君、〃青〃を混ぜてみる気はあるかい？」

「〃青〃を…？」

〃青〃。デツキ破壊やコストを見ての破壊、妨害を得意とする色。今の私にそれが使えるんだろうか。

「今の悠姫君だから提案したんだよ。今の君なら、赤の殲滅力と青の圧力を使えるさ」

「だと良いんですけど…」

——日付変わって次の日、日曜日の朝。

珍しく祐依が起こしにくる前に起きてしまった。…まだ6時だよ。

「早めに寝付いてこれか…。二度寝したいほどじゃないなあ」

万年寝坊助の私が本当に珍しく早起きしてしまった事には訳がある。

昨日のシヨップバトル後、璃恵、真桜、提案者の麗奈さん、董さんを巻き込んだの、大デツキ改築会になった。…ちよつと大袈裟だが。

私のデツキを解体して、赤をメインに置きつつ、今の青を混ぜ合わせるという内容。

しかしこれがまた大変なことになったんだっけ。

「悠姫。これはデツキを崩すよりも、いっそのこと〃新しいデツキ〃を組んじヤツた方が早いかもヨ？」

この璃恵の一言で私はもう一つデツキを持つようになってしまった。

しかもこの新デツキ、一緒に組んだ皆が「一瞬の油断が命取り」と口を揃えて言う。バランス崩壊手前のような片方いらないとまで言われそうなバランス。勿論試しのバトルはしていない。

…まあ、何だ。つまりはこのデツキを回したくて早起きしてしまっただけだ。

既にぶつかり稽古癖が付いているため負けるのは承知だ。いきなり組み上がってまともに戦える訳がない。

「早くバトルしたいな…」

…まさか私から催促の言葉が出るなんて、言った私も驚きだ。

と、そういえば璃恵のやつが日曜朝にバトルスピリッツのアニメがやってるとか言ってたな。時間は…、まだ余裕があるな。下に行つて何か摘んでるかな。

「…私が最初か」

出掛けはしないが最低限の身形を整えてリビングに降り、テキストにキツチンとか冷蔵庫を漁る。…お、冷凍ミニピザ発見。これでいいか。トースターでちちよいと解凍し、飲み物確保してテレビ前に移動。そしてミニピザを食う…！

「…世界一カッコイイポテチの食べ方とか璃恵やってたなそういえば」

『ラジオを聴きつつ参考書とノートを取り、左手でポテチを取って、ポテチを食う…！ ウヒャ〜♪カッコイイ〜♪！』

「……………」

「———お、お姉ちゃん…？」

「ん？」

あの馬鹿は何に感化されたんだろうと思っていたら、不意に後ろから声をかけられた。どうやら祐依が起きてきたようだ。

「おはよう」

「……………」

「…どうした？」

「……………お…お母さん!! お姉ちゃんが早起してるー!!」

「おい」

「びっくりするよ。お姉ちゃんがこんな朝早くにしっかり起きてるんだもん」

「そうよねえ。今日辺り雪でも降るのか心配だわ」

「……………」

酷い言われようである。

結局母も起きてきてこの言われようだ。泣くぞ私。

まあいい。拗ねても仕方ないので早めの軽い朝食。私は先にミニピザを食ったのでトースト1枚だけ。

「……………」

「えつと…、何チャンだったっけ…」

「テレ朝だよ」

「おう。…………あれ？祐依も見てるのか？」

「ま、まあ…。特に見たいのも無いから」

「ふくん」

まあ朝から政治だ事件だはもう少し後で良いわな。祐依に言われた通りテレビを点け、チャンネルを回す。調度始まるころだったか。

『皆、おはよう！ 今日紹介するおハガキは、これだ！』

「…へえ。最近のアニメってイラスト募集とかしてるのk」

「ぶっ…！ …っ!? けほっ、けほっ…」

突然祐依が咽せた。普段大和撫子のような妹が紅茶を嘔き出すところ初めて見た。

「だ、大丈夫か!?!」

「けほっ…。だ、大丈夫…えほっ…………よ…40歳…………けほっ…」

『答えが無いなら 積み重ねればいい。あと少し、少しだけ、忘れないように』

咽せた祐依を介抱していたらオープニングが始まっていた。誰が誰だか分からんが、とにかく今は祐依だ。

『流星のターン。…時は来た』

しばらく視聴してバトル後半。

「どうやらこの『流星のキリガ』ってキャラと『疾風のゼロ』っていうキャラとの対戦のよう。」

しかし最近のカードアニメのバトルは凄いなあ。迫力あるという

か、生き生きしてるといふか。

『天に聳える城塞、大地をも砕くその威容。降臨せよ！《アルティメツト・キャツスルゴレム》!!』

『Uキャツスルゴレム…。麗奈さんが使う切り札…』

「……………」

『アルティメツトトリガー、ロックオン!』

『っ!』

『コストは』

『…《グラディ・タイガー》、コスト5だ』

『ヒット。ヒットしたカードのコスト1につき、3枚破棄する』

…アニメではあんな派手にデツキ吹き飛ばされてるのか。

『え〜つと…?』

『5×3∥15。15枚破棄だ』

『うおおっ!?!』

「……………」

「最大Uトリガー分入れて19枚破棄って凄まじいよな…。青デツキと当たった、ああいうのを覚悟しないと…」

「お姉ちゃん、どうだった?」

「案外面白かったな」

「そう。…良かった——?」

バトルスピリッツのアニメも見終わったとき、不意に祐依のスマホが震え出した。通話着信のようだ…。…が、かけてきた相手を見た瞬間祐依の表情が眉をひそめて「げっ」という感じになった。

そんな顔初めて見たぞ。

「お姉ちゃん、ちよつとごめんね…」

「ああ」

「ほんとにごめんね。……………もしもし。……………うん、それは感謝するけどタイミング悪すぎ…。あとうるさいから…」

焦った様子で席を立つと、早足で二階に行ってしまった。聞かれた

くない話なのかな。

ともかく、今日はどうしようか。このデッキの試運転したいしなあ。璃恵か彩音辺り誘ってみるようかな。

「……………」

「…………あの、お姉ちゃん」

「ん？」

「…………その…………」

どうしたんだ？ 何か言おうかどうか迷ってるみたいだけど。

「…お姉ちゃん、今日何か予定ある？」

「いや、無いかな。どうしようか考えてたところだよ」

「…なら、えつと…」

——少しして昼前、現在位置は…………。

「(どこ)？」

「一つ駅を跨いだお隣だよ」

「ふくん…」

祐依に誘われここに来た理由は、祐依の電話の相手、その友人が私にお誘いしてきたのだ。…私が混ぜた方がいいのだろうか。

「ごめんねお姉ちゃん。無理矢理誘ったみたいで…」

「気にしないでいいって。逆に私が一緒に混ぜた方がいいのか気にしちゃうよ」

「そんな、(こ)ち(こ)そ…………」

やはり妹は謙虚だなー。

さて少々歩きたどり着いたのは小さなカフェっぽいところ。見た感じ落ち着いた良い雰囲気。ここが待ち合わせの場所かい？

「こんにちは」

「いらつしやいませ。…おう祐依ちゃんか。いらつしやい」

「どうも。…琥珀は？」

「いるよ。奥で待ってる」

「ありがとうございます」

「あいよ。(ご)ゆ(つ)くり」

あの女性マスターさん？と祐依はこの感じからすると長い付き合いなのかな。

「そちらは噂のお姉さんかい？」

「はい。姉です」

「ど、どうも。緋立 悠姫です」

「はいどうも。祐依ちゃんと一緒にご鼻肩にしてね。サービスするからやい」

「は、はあ……」

祐依に連れられ言われた小部屋に進む。祐依が扉をノックしたのち開くと、中にいたのは……

「あ！来た来た！ヤッホー！」

「こんにちは琥珀」

こつちに大きく手を振る活発そうな女の子。…見た目中学生に成り立てみたいな感じ。すると両手を広げこちらに走ってくる、これは抱き着くモーション。

「やーごめんねー！お姉さんも誘っちゃってー！」

「ほんとですよ。それと近いんですからもう少し声のボリューム絞ってくださいね」

ダツシユ…突進とも取れる抱き着きは祐依に直撃するが、意外にもこれを上手く捌いて受け流し、フワリと抱き込んだ。馴れてるな？

「はじめまして！こんにちはお姉さん！」

「……こんにちは」

第一印象は、声がでかい。身長は小さいが声が…。あとこの娘の特徴に「垂れた犬耳っぽいくせつ毛」がある。

「琥珀、自己紹介は？」

「あ！はーい！」

コハクは【月宮 琥珀（つきみや こはく）】です!!中学二年です！祐依さんには、色々お世話になってます！

「…お、おう」

「……………」



余りの大音量に耳が若干キーンってなった。これには祐依も苦笑い。

「…つまり、呼んだメンバーが都合で一人来れなくなったから、私を呼んでみた」と

「はい！いつも祐依さんからお話聞いてます！」

「ち、ちよ…」

「ですから、どんな人なんだろうーなーって！良い機会だから呼んでみよう！と思いました！」

お互い自己紹介を終えてちよいちよい世間話を。

祐依と琥珀が（呼び捨てでいいというので）知り合ったのは、他の友人とのツテらしい。やたらめつたら元気な上に懐かれたようで。

「てなわけで！お姉さん！コハクとバトルしてください！！」  
「えっ？」

意気込んで目の前に突き出されたデツキケース。デコレーションやら何やらで目一杯だが…。バトルって、やるのか？

「コアもあります！シートもあります！！やりましょう！！」

「琥珀」

「祐依さん！！いいですよね?!」

「ダメ」

「なんでですかー!!」

漫画みたいなオーバーリアクションで、全身で何故だー！と表す琥珀。

可愛いな、声デカいけど。

「祐依さんだってお姉さんとバトルしたいなー！って言ってたじゃないですかー!!」

「っ!?!」

「ん？」

一瞬風が吹いたかと思ったらしいの間にか琥珀の口元を抑え、身動きを封じられていた。まるで警察が犯人を取り押さえるみたいに。…うちの妹がこんなにも体術が得意だったとは知らなんだ。

「むー！むー!?」

「ちよつと静かにしようか、琥珀」

「やめたげろよー!? 話は後で聞くからバトルはするから!」

「……お姉ちゃんがそういうなら」

「ぷはー!」

渋々といった様子で拘束を解く祐依。聞かれなくなかったのか何なのか。

「では改めて！バトルしましょー!!」

「お、おう」

「……………」

一悶着あったが、改めてバトルすることになった。何か祐依が不服そうな顔してるが…。

【緋立 悠姫】

《??》

VS

【月宮 琥珀】

《??》

「……なあ、祐依」

「な、何…?」

「バトルスピリッツ、やってたんだな？」

「……………」

「隠してた理由は？」

「……………」

「お姉さん！祐依さんを責めないであげてください!」

「責める気なんか無いよ。ただ、ちよつと寂しかったな」

……理由としては、昔からバトスピにドツプリハマってやっている事で、私に引かれるかも知れない。もしそんなことになったら生きていけないと。

「んな大袈裟な」

「だって…」

「そんなことぐらいで私が祐依のこと見る目変わるわけ無いだろうに」

「でも、でも…」

「心配しすぎ」

祐依は確かに文武両道頭も切れるしとても良い子なんだけど、特に私の事になると臆病になるというか。

「もうグダグタ言い合うのは無し。…いいな祐依」

「…はい」

「改めてこれから一緒にバトスピ、やってくれるか？」

「っ！」

「私なんかまだまだ初心者だし、相手にするの面ど——」

「やります！お姉ちゃんと一緒にバトスピやります!!今まで隠してて本当にごめんなさい！」

「おわっ!？」

また見えない速度で祐依に抱き着かれた。危ない危ない、カード落としそうになるから。

「これにて一件落着ですな!!」

「何が一件落着ですか。誰のせいで死にたい衝動に駆られたと思うんです？・琥珀」

「ふにゅ!?ほ、ほっぺぐりぐりにやいでええ〜！」

「しばらく許しません。覚悟しておくこと」

「ふええ〜!？」

「せ、先攻はもらいますう…」

「どうぞ」

あれから十分程、ちよつとお怒り状態の祐依に琥珀が弄られまくり、髪がボサボサになって気が済んだのかバトル開始と相成った。その祐依は今琥珀の髪をセットし直している。

「呼び出した理由も、私とお姉ちゃんを思ってたことだったからそこは許します。でも一言の相談もなく行動に移すのは琥珀の悪い癖で

すよ」

「でも相談したら、祐依さん納得しましたか？」

「…………それは」

「ははっ。私より祐依の事良く解ってるんだな琥珀は」

「えへへー！」

「…………」

「痛たたたた!?か、髪!?髪いく!?」

「あ、ごめんなさい琥珀」

絶対わざとなんだろうな…。申し訳なさそうな表情してるが目が座ってる。

〈琥珀・先攻第一ターン〉

「ひい…。スタートステップですう…」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「…琥珀には二つ名みたいの持っていないの？」

「はい！琥珀はまだまだなので、祐依さんみたく持っていないで痛たたた!?!」

「琥珀〜？」

「は、はいい〜!?!」

…祐依も持つてるのか。何なのかはまた今度にして、琥珀もいつか〇〇のターン！」とか言うのかな。…もしかして私も？

「ふええ…。た、《宝の番人ズラトロック》を召喚しますう…」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「宝の番人ズラトロック コア1 レベル1 BP2000」

「バーストをセットしてターンエンドしますう…」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「よし。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

この新しいデッキ最初の手札。…うん、悪くない。

「はいできました。もう大丈夫だよ琥珀」

「直りましたー!」

「さすが祐依。メインステップ、《リューマン・フェニック》を召喚。レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・フェニック コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「こいつは…」

「スピリットが2体以下ならレベル3として扱われる!ですね!」

「そうだ。続けて…」

《戦竜エルギニアス》を0コストで召喚。レベル1だ」

「っ!」

(手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「戦竜エルギニアス コア1 レベル1 BP1000」

「ん?どうした祐依」

「…お姉ちゃん、いつ《青》を?」

「昨日だよ。麗奈さん…って知らないか。その人と、璃恵達と一緒に1から組んだんだ」

「一緒に…。1から…」

何か凄い複雑そうな表情してるが、どうしたんだ? …とにかく進めようか。

「バーストをセットして、アタックスステップ」

(手札3↓2)

(バースト:無し↓セット)

「リューマン・フェニックで——」

「ちよつと待つてください!!!」

「ま、待ちます」

「琥珀」

「はっー!ごめんなさい!つい!」

「い、いや、大丈夫大丈夫!」

驚いた…。大きい声で待つてくれなんて言うから…。本当に元気の塊だな琥珀は。

「ズラトロックの効果です!お姉さんのコスト3、4のスピリットはアタックできません!」

「何っ」

黄 スピリット

《宝の番人ズラトロック》

コスト3 軽減黄1 <想獣>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

コスト3／4の相手のスピリットはアタックできない。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

コスト7／8の相手のスピリットはアタックできない。

「黄色特有のコストによるアタック制限だよお姉ちゃん」

「ぬぬ…。エルギニアスでもアタックできるが…。ターンエンドだな」

〈琥珀・第三ターン〉

「スタートステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ! 《カナブーン》を召喚です!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「カナブーン コア1 レベル1 BP2000」

「カナブーンの召喚時効果！ボイドからコア1つをリザーブに置きま  
す！」

(リザーブ0↓1)

「更に黄の【連鎖】で、お姉さんのリユーマン・フェニックをブロック  
させなくします！…が！何もしないでターンエンドします！」

緑 スピリット

《カナブーン》

コスト4 軽減緑1黄2 <殻虫>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

【連鎖：条件《黄シンボル》】

「黄」：相手のスピリット1体を指定する。このターンの間、そのス  
ピリットはブロックできない。

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ1↓4)

おっと。祐依は琥珀の髪を整え終えた後は、私と琥珀が向かいあつ  
ているテーブルの横に場所を代え、ジャッジを務めるそうだ。

「メインステップ。…アタックできないのは厄介だな。ネクサス《忘  
れられし凱旋門》を配置しようか」

(手札3↓2)

(リザーブ 4 ↓ 1)

(トラッシュユ 0 ↓ 3)

「:ターンエンド」

〈琥珀・第五ターン〉

「ややっ！ちよつとゴメン願いたいネクサスが！スタートステップ！」

(リザーブ 1 ↓ 2)

(手札 3 ↓ 4)

(トラッシュユ 3 ↓ 0)

(リザーブ 2 ↓ 5)

「メインステップ！まだ大丈夫…。焦るなコハク！《カナブーン》をもう1体召喚します！」

(手札 4 ↓ 3)

(リザーブ 5 ↓ 2)

(トラッシュユ 0 ↓ 2)

「カナブーン (2) コア 1 レベル 1」

(召喚時効果 リザーブ 2 ↓ 3)

「次にマジック《ライフチャージ》を使います！対象は今召喚したカナブーン！破壊してコア 3 つをリザーブに入れます！」

(手札 3 ↓ 2)

(リザーブ 3 ↓ 1)

(トラッシュユ 2 ↓ 4)

「カナブーン (2) 破壊」

(リザーブ 1 ↓ 4 ↓ 5)

「大量です！」

「前にも同じの見たような」

「そしてネクサス 《朱に染まる薔薇園》を配置します！」

(手札 2 ↓ 1)

(リザーブ 5 ↓ 1)

(トラッシュユ 4 ↓ 8)

「むっ」



「残ったコアはカナブーンに乗せて、ターンエンドです！」

(リザーブ1↓0)

「カナブーン コア1↓2 レベル1↓2 BP2000↓3000」

次は本格的に動き出すか？ 備えたいがリユーマン・フェニックスが動けない状態ではな…。

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。これなら…、《アイゼンドラゴン》！レベル1！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「アイゼンドラゴン コア1 レベル1 BP3000」

「コスト5ならズラトロックには引っ掛からないな。凱旋門をレベル2にして、アタックステップ！」

(リザーブ1↓0)

「忘れられし凱旋門 コア0↓1 レベル1↓2」

「凱旋門レベル2、琥珀はボイドからコアをライフに置けなくなる」

「むむむー！」

「アイゼンドラゴンでアタック！アイゼンドラゴンのバトル時効果、BP3000以下のズラトロックを破壊する！」

「むー！ズラトロックがー！」

(琥珀リザーブ0↓1)

よし！厄介なズラトロックを撃破したからリユーマン・フェニックスもアタックに参加できるー！

「フラッシュが無いならメインのアタックだ！」

「ライフで受けます!!」

(琥珀ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ライフが減ったのでバースト発動します!!」

「絶甲氷盾ならライフには置けないが…」

「これです! 《バーストスナップ》!!」

「そのカードは…」

「新しい黄色のマジックカードです!」

「【明の明星のエリステッキ】に収録されてるカードだよお姉ちゃん」

「あれか」

「ではバースト効果です! このターンの間、お姉さんのコスト0、1、3、5、7、9、11のスピリットのアタックじゃライフは減りません! 更に! 追加のコストを支払って、リューマン・フェニックを選びます!」

(琥珀リザーブ2↓0)

「カナブーン コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュ8↓11)

「これでリューマン・フェニックはアタックできず、効果をすべて失います!」

「何っ!? 効果を失う!?!」

黄 マジック

《バーストスナップ》

コスト4 軽減黄2

【バースト：自分のライフ減少後】

このターンの間、相手のコスト0/1/3/5/7/9/11のスピリットのアタックでは、自分のライフは減らない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

相手のスピリット1体を指定する。

このターンの間、そのスピリットはアタック/ブロックできず、効果すべてを失い、新たに得ることもない。

そのスピリットは効果の記述を持たないスピリットとして扱う。  
「《フェアヴァイレ》と《メロディアスハープ》を合わせたようなバーストマジックだよ。コストも安くて良い使いやすさだね。【重装甲：黄】を持つスピリットはかなり限られてるから、厄介な効果を持つスピリットのテキストを白紙にできてアタックブロック制限までさせるのは強いと思うよ。…まあ、アルティメットには通用しないんだけど」

「それでも今の場面は驚異だな…。ターンエンド」

〈琥珀・第七ターン〉

「いよし！スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュ11↓0)

(リザーブ1↓12)

「メインステップ！いきます！」

《氷火の剣聖スフィエル》!! レベル1で召喚です!!」

(手札2↓1)

(リザーブ12↓6)

(トラッシュ0↓5)

「氷火の剣聖スフィエル コア1 レベル1 BP4000」

「そして召喚時効果、【抜刀】します!!」

「【抜刀】持ちか！」

「手札にある系統：〈剣刃〉、《暗黒の魔剣ダーク・ブレード》を直接合体させて召喚します!!」

(手札1↓0)

暗黒の魔剣ダーク・ブレード

← 直接合体

氷火の剣聖スフィエル (合体)

「コスト：6+6=12」

「BP：4000+5000=9000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄＋赤⇨黄赤」

「更にダーク・ブレードの召喚時効果発揮です！ネクサス1つ、忘れられし凱旋門を破壊します！」

「ネクサス破壊!?!」

「忘れられし凱旋門 破壊」

（悠姫リザーブ0↓1）

「よし！破壊できたので1枚ドロウします！」

（琥珀手札0↓1）

「幸先良いです！《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》をスピリット状態で召喚します!!」

（手札1↓0）

（リザーブ6↓2）

（トラッシュユ5↓8）

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア コア1 レベル1 B P5000」

「召喚時効果！ライフが5以下なので、リザーブのコア1つをライフに置きます！」

（リザーブ2↓1）

（琥珀ライフ4↓5）

「次に、ダーク・ブレードとトワイライト・ファンタジアを持ち替えま  
す！」

暗黒の魔剣ダーク・ブレード

← 分離

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 換装

氷火の剣聖スフィエル（合体）

「コスト：6＋5⇨11」

「BP：4000＋5000⇨9000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄＋黄⇨黄黄」

「最後リザーブのコアをスフィエルに乗せて…！」

(リザーブ1↓0)

「氷火の剣聖スファイエル(合体) コア1↓2 レベル1↓2 B P  
4000↓5000+5000=10000」

「アタックステップです！スファイエルで剣刃合体アタックー!!」

一気に固めてきた…！しかもたしかあのトワイライト・ファンタジアって、ブロックすると回復して、ブロックしないとライフが回復するんだったか…。しかも今はダブルシンボル。凱旋門も破壊されてライフ回復を阻止できない。ここは…

「…ブロックはしない！」

「ではトワイライト・ファンタジアの効果です！ボイドからコア1つをライフに置きますー！」

(琥珀ライフ5↓6)

「そこで薔薇園レベル1からの効果が発揮されます！」  
「っ！」

「コハクのアタックステップ中にコハクのライフが増えたら1枚ドローします!!」

(手札0↓1)

「ライフ回復がドローになるのか…」

「元々夢幻の天剣はこの薔薇園を意識して作られたようなソードブレイヴみたいだから、例えばドローできなくてもスピリットの回復とライフ2点をどちらが良いか相手に圧力を与えるんだよ」

「たしかに…。連続アタックを許すかライフ回復を許すか悩むわな」

黄赤 ネクサス

《朱に染まる薔薇園》  
あけ ぼらえん

コスト5 軽減黄2赤1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

自分のライフが増えたとき、自分はデッキから1枚ドロウする。

Lv2 『自分のメインステップ』

自分の手札にある赤のスピリットカード／ブレイヴカードすべての軽減シンボルすべてを黄としても扱う。

「ライフだ！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「続いてダーク・ブレードでリユーマン・フェニックスを〃指定アタック〃!!」

「っ!? ちょよ、ちょつと待った!」

「はい!なんでしよう!」

「その指定アタックって、見たところ合体してからの効果だろ?何で合体しないで使えるんだ?」

「:琥珀」

「あっ!? 効果を忘れてましたあ:」

「:はあ。お姉ちゃん、ダーク・ブレードが合体時効果を使える訳は、このスフィエルの合体時効果なんだよ」

黄 スピリット

《氷火の剣聖スフィエル》

ひょうか

コスト6 軽減黄3 <剣使・天霊>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP5000

<6> Lv3 BP10000

シンボル:黄

Lv1・Lv2・Lv3 【抜刀】『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるこのスピリットと合体可能な系統:<剣刃>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

自分のスピリット状態のブレイヴすべてをBP+5000する。

【合体時】Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統:<剣刃>を持つ自分のスピリット状態のブレイヴがアタックしたとき、そのブレイヴの『このスピリットの合体アタック時』効果すべてを発揮させる。

「なん…だと…」

「ブレイヴをよりサポートするスピリットなの」

【抜刀】を持つてるのはどいつもこいつも厄介だな本当に…！

「暗黒の魔剣ダーク・ブレード BP5000+5000=10000」

「リューマン・フェニックでブロック…！」

「何も無ければそのまま撃破です！」

「斬り捨てられる…！」

（悠姫リザーブ3↓4）

「ターンエンドです！」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ4↓5）

（手札2↓3）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ5↓8）

「メインステップ…」

まずい、アルティメットが引けない。枚数を絞ったのが裏目に出たか…。なら何とかして、引くしかない！

「マジック《ネオ・ダブルドロ》！2枚ドロする！」

（手札3↓2）

（リザーブ8↓6）

（トラッシュユ0↓2）

（手札2↓4）

「戦竜エルギニアスは、青のスピリットであり、赤のスピリットとしても扱われる！」

青 スピリット

《戦竜エルギニアス》

コスト1 軽減青1赤1 <戦獣>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

Lv1・Lv2

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

「…っ！2枚目の《戦竜エルギニアス》を召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓5)

「戦竜エルギニアス(2) コア1 レベル1」

「条件は満たした…。《アルティメット・アイアンゴレム》！」

「ふにゃ!？」

「っ!? Uアイアンゴレム…!？」

「レベル4で召喚だ！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ2↓5)

「アルティメット・アイアンゴレム コア2 レベル4 B P 1 2 0 0 0」

「アタックステップ、Uアイアンゴレムでアタック！Uトリガー！」

「ふえ!?! あ、え、えと…:コスト4、《カナブーン》です！」

「最大ヒット！」

青 アルティメット

《アルティメット・アイアンゴレム》

コスト5 軽減青2 <新生・造兵>

<1> Lv3 B P 9 0 0 0

<2> Lv4 B P 1 2 0 0 0

<4> Lv5 B P 1 5 0 0 0

シンボル：金

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 【粉碎】『このアルティメットのアタック時』

相手のデッキを上から、このアルティメットのLvと同じ枚数破棄する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト



1につき、相手のデッキを上から2枚破棄する。

「ヒットしたコスト1につき2枚破棄、合計8枚破棄！」

「ふええっ!!？」

●破棄されたカード

・《エンジェルストライク》

・《光翼の神剣エンジェリック・フェザー》

・《氷火の剣聖スフィエル(2)》

・《バーストスナップ(2)》

・《朱に染まる薔薇園(2)》

・《メイシユノサウルス》

・《絶甲氷盾》

・《ライフドリーム》

「あわわ：!？」

「更に【粉碎】の効果！レベル分破棄する！Uアイアンゴレムのレベルは4、4枚破棄だ！」

「ひええっ!？」

●破棄されたカード

・《流星の剣聖シューティングスター》

・《エンジェルストライク(2)》

・《エンジェルストライク(3)》

・《虚獣帝スフィン・クロス》

「あわわわわー!？」

「計14枚落ちた…。琥珀の手札1枚、フィールドのスフィエル、カナブーン、ダーク・ブレードで3枚、トラッシュにはカナブーン2枚にズラトロック、マジックのライフチャージ、バーストスナップを合わせて8枚…。合わせて21枚、残り23枚」

「琥珀のライフが無限に増えるなら、私のライフが尽きる前にそのデッキを削り取らせてもらう！」

メインのアタックはどうする!？」

「ら、ライフで受けます!？」

(琥珀ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド！」

〈琥珀・第九ターン〉

「あわわ…！す、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ2↓10)

『残りデッキ22枚』

「メインステップ…！こうなったら！

《月影の剣聖アマルティア》!!

レベル3で召喚です!!」

(手札2↓1)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「月影の剣聖アマルティア コア3 レベル3 BP7000」

「次に薔薇園をレベル2に！」

(リザーブ5↓4)

「朱に染まる薔薇園 コア0↓1 レベル1↓2」

「一旦スフィエルからトワイライト・ファンタジアを分離させます！」

氷火の剣聖スフィエル (合体)

← 分離

(リザーブ4↓3)

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア コア1 レベル1 B  
P5000」

「氷火の剣聖スフィエル コア2 レベル2 BP5000」

「更に《イリテバン》を、スフィエルに直接合体させて召喚です!!

薔薇園レベル2の効果で、赤のブレイヴであるイリテバンの軽減を  
黄色にします！よって、最大軽減で1コストです！」

(手札1↓0)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュユ2↓3)

イリテバン

← 直接合体

氷火の剣聖スフィエル (合体)

〔コスト：6+4≡10〕

〔BP：5000+2000≡7000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：黄+赤≡黄赤〕

「分離してたトワイライト・ファンタジアをアマルテシアに合体！」

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 合体

月影の剣聖スフィエル (合体)

〔コスト：5+5≡10〕

〔BP：7000+5000≡12000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：黄+黄≡黄黄〕

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア コア1↓リザーブへ」

(リザーブ2↓3)

「アタックステップです！アマルテシアで、剣刃合体アタック!!」

「：ブロックはしない！」

「捨て身ですか!?! と、とにかくコハクのライフが回復して、薔薇園効

果でドローです！」

(琥珀ライフ5↓6)

(手札0↓1)

『残りデツキ21枚』

「ライフだ！」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ0↓2)

「月影の剣聖アマルテシアの効果、〔聖命〕！アタックでライフを減らしたら、ボイドからコア1つをライフに置いて！更にドローします！」

(琥珀ライフ6↓7)

(手札1↓2)

『残りデツキ20枚』

黄 スピリット

《月影の剣聖アマルティア》

コスト5 軽減黄3 <剣使・想獣>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP5000

<3> Lv3 BP7000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットと、系統：<剣刃>を持つ自分のスピリット状態の  
ブレイヴすべてに

〃【聖命】『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、  
ボイドからコア1個を自分のライフに置く〃を与える。

【合体時】Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

自分のスピリット状態のブレイヴすべては、Lv1/Lv3の相手  
のスピリットからブロックされない。

「ライフが減ってバースト発動、《アルティメットウォール》！このバ  
トルが終わったら、アタックステップは強制終了だ！」

〔バースト：セット↓発動〕

「うにゅ…：ターンエンドします！」

残り20枚：。Uアイアンゴレムのトリガー最大ヒット+粉碎  
じゃ削り切れない。しかも切り札らしきカードも落ちたっぽいけど、1  
枚だけとは限らない。更には絶甲氷盾も落ちきってはいない。

〈悠姫・第十ターン〉

「これが最後…。スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ3↓8)

「……メインステップ」

教わった青の動きを思い出せ。青は常に最良の手札に代え続けること。…なら打つ手は！

「マジック、《ストロングドロ》！エルギニアス2体の青シンボルで、1コストで使う！

3枚ドロして、2枚破棄する！」

(手札3↓2)

(リザーブ8↓7)

(トラッシュ0↓1)

「3枚、ドロ！」

(手札2↓5)

「——っ！ 《ムゲンドラ》と《アルティメット・ジークフリーデン》を破棄！」

「Uフリーデンを捨てるんですか!？」

「今この状況で出しても意味が薄い。肝心のスフィエルとアマルティアが残られてしまう。お姉ちゃんにとっては、もう少し早く来てほしかったカードだよ」

「だから私は、こっちを選んだ。《ドライアン》を召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ7↓6)

「ドライアン コア1 レベル1 Bp1000」

「天に聳える城塞、大地をも砕くその威容……だったっけ？」

「っ！」

「《アルティメット・キャッスルゴレム》!!

レベル4で、召喚だ!!」

「ふええっ!?!こ、ここだ!?!」

「ライフが削れないなら、デッキを切り崩す」。

赤はライフを。青はデッキを。それをコンセプトにしたデッキだからな！調整なんてしてない！

レベル分には、エルギニアス2体から受け取る！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュユ1↓5)

「戦竜エルギニアス コア1↓0 消滅」

「戦竜エルギニアス(2) コア1↓0 消滅」

「アルティメット・キャッスルゴレム コア4 レベル4 B P 1  
2000」

正直、勝てるかどうかは琥珀に引かせたあの“2枚の手札”にか  
かっている。

絶甲氷盾を引かれていたら、その時点でアウト。

最大ヒット、もしくは10枚以上吹き飛ばせなくてもアウト。

デッキ破棄を止めるカードが落ちてもアウト。

「アタックステップ！Uキャッスルゴレム、アタック！Uトリガー！」

頼む…！

「っ!? 最後の《氷火の剣聖スファイエル》、コスト6です…！」

(コハク残りデッキ19枚)

「っ!! 最大ヒットオツ!!」

「ここでヒットさせる…。お姉ちゃん、凄い…」

「ヒットしたコスト1につき、デッキを3枚破棄！3×6で18枚破  
棄だ!!」

●破棄されたカード

・《虚獣帝スフィン・クロス(2)》

・《ライフドリーム(2)》

・《ライフレボリューション》

・《絶甲氷盾(2)》

・《月影の剣聖アマルティア(2)》

・《ライフチャージ(2)》

・《アルミラージ》

・《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア(2)》

・《イリテバン(2)》

・《アルミラージ(2)》

- ・《光翼の神剣エンジンリック・フェザー》(2)《
- ・《流星の剣聖シューティングスター》(2)《
- ・《朱に染まる薔薇園》(3)《
- ・《ライフレボリユーション》(2)《
- ・《月影の剣聖アマルティア》(3)《
- ・《宝の番人ズラトロック》(2)《
- ・《剣将クー・シー》(2)《
- ・《リバイヴドロ》

「残り1枚…!」

「ふ…フラッシュユタイミング!!」

「っ!?!」

「さ…最後の、《絶甲氷盾》…です!!」

た、足りない分は、カナブーンから使います!」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

「カナブーン コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ3↓7)

……やってしまったか…。

最後の最後で引かせてしまうとは、ツイてない。

「何てこった…!」

「アタックは、ライフで受けます!」

(琥珀ライフ7↓6)

(リザーブ0↓1)

「悔しいがここまでだな。ターンエンド」

〈琥珀・第十一ターン〉

「さ、最後のスタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓1)

『残りデッキ1↓0』

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「詰めは…慎重に…！マジック《リバイヴドロー》を使います！ドローはできませんので、トラッシュのスピリットカードを手札に戻す効果を使います！」

(手札1↓2)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュ0↓3)

「手札に戻すのは…」

《虚獣帝スフィン・クロス》です!!」

「っ!？」

(手札1↓虚獣帝スフィン・クロスを回収↓2)

赤 マジック

《リバイヴドロー》

コスト4 軽減赤1

メイン：

自分はデッキから2枚ドローする。

または、自分のトラッシュにあるスピリットカード1枚を手札に戻す。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「そして、バーストをセットします！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「この場面でセット…?」

「《虚獣帝スフィン・クロス》の、手札にあるときの効果です！」

コハクのパーストがセットされているなら、手札にあるスフィン・クロスのコストは7になります！」

「コストが変わる!？」

「コハクのアマルテアと同じくらい最大最高の切り札！」

《虚獣帝スフィン・クロス》!!

バーンと召喚します!!！」



最後の最期で最大級の切り札か…!

「スフィン・クロスのコストは元々11です!でも、バーストをセットしているのでコストは7に!軽減はスフィエル、アマルティア、薔薇園、トワイライト・ファンタジアで4!

よってコスト3で召喚です!!」

(手札1↓0)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ3↓6)

「虚獣帝スフィン・クロス コア3 レベル1 BP7000」

「スフィン・クロスにダーク・ブレードを合体!そしてレベル2にします!」

暗黒の魔剣ダーク・ブレード

← 合体

虚獣帝スフィン・クロス(合体)

「コスト:11+6=17」

「BP:7000+5000=12000」

「合体時効果:追加」

「シンボル:黄+赤=黄赤」

「虚獣帝スフィン・クロス コア3↓4 レベル1↓2 BP7000↓9000+5000=14000」

「アタックステップです…!」

虚獣帝スフィン・クロスで、剣刃合体アタック!!」

「そいつは…通さない! Uアイアンゴレムでブロック! Uアイアンゴレムは破壊されるが、これで…!」

「まだです!!」

「っ!?!」

「虚獣帝スフィン・クロスがBPを比べると、乗っているコア1つをボイドに送って、ブロックされなかったことにします!!」

「虚獣帝スフィン・クロス(合体) コア4↓3 レベル2↓1」

「な…っ!?!アルティメットを…!?!」

「お姉ちゃん。虚獣帝スフィン・クロスの効果は、自分自身と味方と

ルールに対する効果”。だから、例えばアルティメットでも飛び越えることができるの。

しかも使えるタイミングが「バトル解決時」。このタイミングで邪魔されることはまず無い。ほぼ確実にライフへと抜けることができるんだよ」

黄 スピリット

《虚獣帝スフィン・クロス》

コスト11 軽減黄6 <虚神・想獣>

<1> Lv1 BP7000

<4> Lv2 BP9000

<8> Lv3 BP14000

シンボル：黄

自分のバーストをセットしている間、手札にあるこのスピリットカードをコスト7にする。

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

このスピリットと【聖命】を持つ自分のスピリットがBPを比べるとき、アタックしているスピリットのコア1個をボイドに置くことで、BPを比べずにブロックされなかったものとして扱う。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のスピリットが相手のライフを減らしたとき、自分のトラッシュにある黄のカード1枚を手札に戻す。

「虚獣帝スフィン・クロスは、ダブルシンボルです!!」

「くっそお…っ!! ライフだ!!」

(悠姫ライフ1↓0)

[winner!! 月宮 琥珀]

## 新しい風と第二の風

「ちつくしよ、あと一手押せなかったかあ…」

「あ、危なかったです…!」

初の赤と青混合試作デッキの初戦は黒星。あとデッキ一枚にまで追い詰めたが、敢え無く返されてしまった。仕方ない、また見直しと行こう。まだまだ改良の余地はあるからな。

「惜しかったねお姉ちゃん」

「残念無念だ」

「でもさすがだね。いざって時に切り札を引く力」

「そりや偶然だよ」

「そうなか?」  
「カードバトラーのドロローはいつも必然」  
「って誰かから聞いたことあるんだけど」

「なんだ右手が光るのかそれ」

しかし琥珀のデッキ、使ってる本人には悪いが似合わないようなテクニク系?の面白いデッキだな。

ブレイヴをスピリットとしてぶつけてくるとは。

「コハクのデッキは祐依さんから教わって作りました!」

「へえ、祐依直伝なのか」

「《月影の剣聖アマルティア》を使いたって言われたから、無理の無い感じでね」

なるほど。祐依直伝となれば強いのも頷ける。祐依本人は「まだ甘い」と辛口だが、これが更に強くなるとしたらどうなるんだか。

「差し入れだよ。おっ、バトスピやってたのかい」

「あ!お母さん!ありがとうございます!」

すると、先程の女性マスターさんが飲み物やお菓子を持ってきてくれた。ありがとうございます。

…って、琥珀のお母さんだったのか。

「あいよ、ここ置いとくからね。悪いねえ悠姫ちゃん、娘に付き合わせちゃって」

「いいえ。とても参考になりました」

「琥珀のが参考に……。恐れ多くてこっちが申し訳なくなつてくるよ」  
ケラケラと笑い片手でポンポンと隣にいる琥珀の頭を叩く琥珀のお母さん。意外と豪快な人なのかな。

「もー！お母さんつたらー！」

「はははっ。まったく、その声のデカさは旦那の血かねえ」

「それはお母さんでしょー!!」

「この母ががさつだつてのかい！私ほどおしとやかな母はいないよねえ祐依ちゃん！」

「そうですね」

祐依、口元は笑ってるんだが目が笑ってない。これはうちの母が今みたいな冗談を言ったときにする生温い目だ。

「あははっ。まあ悠姫ちゃんも祐依ちゃんも、娘のことよろしく頼むよ。悪い子じゃないがちよつとうるさいけどね」

「お母さん一言余計だよー！」

その後、琥珀と3回程バトルした。その3回中1回だけ勝てた。勝因は《アルティメット・ジークフリード》と《アルティメット・キャツスルゴレム》が並んだ事。

《アルティメット・ジークフリード・ベビー》の自爆特攻から《アルティメット・ジークフリード》、《ライオット・ゴレム》の削りからの《アルティメット・キャツスルゴレム》と……。なかなか難しいな。

「——てな訳でした」

『ふむ……。噛み合わせがイマイチだったか。まあお互いやることがまるで違うから仕方ないと言えはそうなんだけど』

その日の夜、提案から作成まで力を貸してくれた麗奈さんに報告を兼ねて話をしている。あ、番号とアドレスは交換済みだ。

『となると……。デツキ破壊より、コスト参照破壊の方が良いね。』

「破壊、となると……」

『デツキ破壊を二の次として、スピリットの破壊を主とした感じだよ。』

「一番は〈異合〉、次に〈闘神〉、『次点で〈造兵〉、〈獸頭じゅうづつ〉かな』  
なるほど、それなら赤と噛み合いそうだな。

『しかしねえ…。それを合わせるとなるとデッキが数弾昔のデッキになりそうなんだよね』

「…どれくらい逆行しそうなんです？」

『えーっと…あ、ごめんよちよつとそこのカードケース取ってこないかな？ ……ありがと。……今の弾がBS24だから…、14弾前。《星座編》初弾【八星龍降臨】とその時に出たスターターデッキ【太陽の合体ドラゴン】ぐらいのを漁る必要が出てくるね』

「一旦プランは凍結でいいですか？」

『あつはつはっ！ まあそうなるよねえ』

…そんな前の弾のを探してデッキに…とか頭も財布もパンクしそうだ。調べて参考にならなりそうだけど。

『……ん？…はいはい。すまない悠姫君、仕事が来てしまったよ』

「あ、はい。長々と話して申し訳ないです」

『畏まる必要なんか無いよ。私と悠姫君の仲なんだから』

「恐れ入ります」

『ではまたね。次会うときは『新しいデッキ』を見せられると思うよ』

「楽しみにしてます」

『ふふっ。それじゃあね』

通話終了。次に会うときは麗奈さんの新デッキか…。私もその時にはどんなデッキで挑もうか。

「——お姉ちゃん、起きてる？」

「ん？ 祐依？ どうぞ」

麗奈さんとの話も終わり、試作のデッキをどうするか少し悩んでいたところ、祐依が来た。静かにドアを開けお邪魔しますと言い入室してきた。

今の祐依は長い髪をそのままにラフな格好をしている。部屋着つてやつだな。…それと何やら手に色々持ってきている。

「ちよつといいかな」

「どうした改まって」

「うん。……その……」

何だちよつと言いいくそうにもじもじして。そんな可愛い姿を見せて私をふやけさせに来たのかな？

「あ…あのね…？」

「？」

「お姉ちゃんと一緒に…、で、デツキ、作りたいなって……」

「……なるほど」

顔までほんのり赤くして、うちの妹は犯罪級の可愛さだな。

詳しく話を聞くと、私が麗奈さんや皆と一緒にデツキを作ったことに少しヤキモチを妬いたらしい。バレたのならもういい。私も一緒にデツキを作りたいと。

「ふふっ、分かった。一緒に作ろうか」

「…っ！ うん！」

祐依がこんな満面の笑みで頷く姿を見たな。今日は妹の事を良く知れた一日だ。

「で、どうする？」

「黄色デツキを作ろうかなって思ったんだけど…」

祐依が持ってきたカードケース（長方形のプラスチックケース。カードを沢山入れられるもの）には黄色のテープが貼ってあり、これには黄のカードが満載されているよう。

「お姉ちゃんは今までどんな黄色とバトルしたかな」

えっと、今日入れて3回だよな……。

後輩の『有栖川 洋子（ありすがわ ようこ）』の『ベヒモスデツキ』

今日バトルした『月宮 琥珀（つきみや こはく）』の『黄軸ブレイヴ』

「洋子ちゃんは『＜想獣＞』、琥珀は大まかに『黄の＜剣使＞』だね」  
「あと…」

「あと？」

「シヨップバトルで会った“ホムホム”って人の“<天霊>”っだったかな」

「っ!？」

「あの人めっちゃ強かったなあ…。何故かまだ出回ってないUヴァリエルとか使ってたし、何者なんだか…」

「あ、ま、まあ…<天霊>ね。なら主に黄色として挙げるなら

<導魔>、<戯狩>、<四道>、<歌鳥>、<楽族>、最後に<詩姫>  
>だね」

…？ 何かしどろもどろになってるがどうしたんだ？

「で、でね？ お姉ちゃんに何が良いかなって考えたんだけど、今オススメできるってなったらこの<天霊>と<想獣>かな。<詩姫>も…これはいいや」

「ふむ。じゃあこのどちらかがいいんだな？」

「うん」

「…<詩姫>ってたしか璃恵から『01から出た新系統でアルティメットのサポートが多い』とか聞いたけど」

それを聞いて祐依が何とも言えないような困った表情をした。そこに興味持ったか…みたいなの。

「あー…うん…。お姉ちゃん、残念だけどやっぱり黄色はまた今度にしよう」

「急だな」

「黄色を組むのはもう少し待とう。色々パーツが欠けてるから…」

「ふむ…。じゃあどうする？」

「それじゃあ…“緑”にしよっか。疾風のゼロデツキがあるんでしよっ…」

「ああ。…あれ？璃恵から聞いたのか？」

「お姉ちゃん、家に帰ってきたときリビングのテーブルに置きっぱなしにしてたじゃない」

「…そういえば」

「そそっかしいんだからお姉ちゃんは。」

じゃあ始めよう。お姉ちゃんに私の“とっておき”をあげるから

——次の日。月曜夕方のホームルーム後。

「悠姫イ〜♪祐依ちゃ〜ん♪寄り道してシヨップ行こうぜ〜♪」

「あ、ごめんなさい璃恵さん。私とおね……姉さん、生徒会のお手伝いすることになってるんです」

「げっ！マジで〜？」

「悪いな。彩音や真桜によろしく言っておいてくれ」

「ちエー。…ならさ、夜お宅にお邪魔してイイかな？」

「言わなくてもくるくせに。良いよな？祐依」

「ちゃんと正面から来ればいいですよ」

「ヤター♪」

家に来る許可を取るやいなやすつ飛んで教室を出て行った。私と祐依がいるなら付き合いたいが、余計な事になると厄介だから即逃げるんだとき。

「うふふ。相変わらず仲が良いんですね」

「あ、桜さん」

璃恵に若干呆れていたら、うちの教室に間燈まとうさんがやってきた。

「白鐘さんが先にお帰りになったということは、お姉様と祐依さんは生徒会のお手伝いですか？」

「そう。…でさ、今更何だがいい加減その“お姉様”って呼び方止めない？」

「イヤです♪」

「……………」

…ちやつかりしてんな相変わらず。

間燈さんは私達の同級生だったのは話したよな。それは小学生時代から一緒だったりする。私、祐依、璃恵、間燈さんはこの中等部一年までは一緒だったんだが、成績優秀でお嬢様のため二年のときに離れてしまった。

それでも一緒になって囲んで弁当突いたり、遊びに行ったりと、ちゃんと交遊はある。



個人的に間燈さんの欠点を上げるなら茶目っ気に頑固なところ。：言ってる意味はさっきのやりとりで何となく把握してくれるとありがたい。

「あ。そうでした。お二人に伝言を頼まれました」

「伝言？ 誰からだ？」

「生徒会長の『赫蓬院（かほういん）会長』からです」

会長自ら伝言…？ あの人なら教室に乗り込んでくるや良く通る声で「悠姫さん！ 祐依さん！ 璃恵さん！ 生徒会からの連絡です!!」とかやりそうだが…。前に2、3回それをやられたからな。

『所用が入ったため集会は無し。代わりに副会長の天音と会計の総務の『碧（へきる）』の手伝いをお願いします。悠姫さん結婚しよ』とのことですよ」

「最後絶対捏造ですよね」

「さあ…何の事でしょう。私は一語一句正確にお伝えしただけですよ？」

「伝言捏造止めーや」

「バレましたか♪」

「当たり前だつての…」

——伝言の内容は、『風空 天音（おおぞら あまね）』副会長と『佐々森 碧（ささもり へきる）』総務のお手伝い。本来は生徒会会長の『赫蓬院 マリア』会長が風空先輩と佐々森先輩と三人でやる仕事らしいが、生憎マリア会長が抜けてしまったため、私達が二人の補佐という事に。

そして、間燈さんと別れ、指定された場所へと向かった。

「間燈さんのあれは何とかならんもんかねえ」

「冗談でやってるんだし、可愛いからいいんじゃないかな」

「あの冗談か本気なのか判らない茶目っ気を？」

「あはは…」

「おっ、来た来た」

指定された場所は一階の渡り廊下付近。既に凰空先輩と佐々森先輩が待っていた。

「お疲れ様です」

「うん。お疲れ。すまないねえ呼びだしちゃって」

片手を軽く上げ挨拶を交わす凰空先輩、佐々森先輩は軽くお辞儀する。

「早速ですが今回の内容を説明します。始めにこれを付けてください」

「は、はい」

佐々森先輩から渡されたのは生徒会と書かれた腕章。これを左腕につと…。

「私達は今から不正に存在している部活を取り締まりに向かいます」

取り締まりって、手伝いとはいえ外部の私らがやってもいいのか？

「では行きましょう。時間が惜しいので」

「ごめんね碧せつかちでさ」

「…副会長」

「はいはい。んじゃ二人ともよろしく」

「はい」

「…はい」

そして四人で移動開始。…うちに不正規の部活なんかあったんだ。そういうのって漫画かアニメぐらいなもんかと思ってたけどなあ。この生徒会相手に申請を出さずにやるってなかなか肝が据わってるのか何なのか。

「……………」

「姉さん、『不正規の部活とか会長なら面白がりそう』って思ってる？」

「えっ!？」

「そう見えたから」

「はははっ！実はその通りなんだよ」

「マジだったんですか…」

しょうがないよねえまったくと言って笑いながら肩を竦める凰空先輩だが、佐々森先輩は溜息をついた。…あの人は。

「…会長にも困ったものです」

「それは昔からでしょ」

「最近は特に顕著です。今回のだって…」

「はいはい愚痴は後で聞くから」

「愚痴るほどなんすか」

「それはもう…!」

「その話は後だって。あー今から行くところなんだけど——」

「…その部活、茶道部を乗っ取って『優雅部（ゆうがぶ）』と名称を変えて何かと自由にやっているらしい。

「学校施設の私物化・占領、茶道部の部費の私的利用、注意勧告の無視。

「…会長への侮辱など」

「最後のは私怨だから気にしないで。まあとにかくその優雅部を説得して解散させるのが目的ってわけさ」

なるほど…。上手く行けば、あ、いや上手く行かせるのが目的か。しかし相手はあの会長をバカにするらしいし、一筋縄ではいかないよな。一筋縄で行くなら私ら必要無いだろう。

「はい現場到着」

着いた教室のプレートには

「茶「優■雅部」室」

と、紙とセロハンテープで雑に貼っつけてあった。しかも優雅の雅の字を間違えたらしくぐしやぐしやと潰してる。

「…優雅とは」

「優雅部の程度が知れますね」

とにかく入ろう。風空先輩がドアをノックし、返ってきた返事で改めて入室する。

「失礼。生徒会でーす」

「あら。風空先輩、佐々森先輩。どのようなご用件で？」

中にいたのは一人だけ。…高等二年生か。

「……『琴識（ことしき）さん』は」

「部長は只今留守にしています」

「あれー？ 事前に来るって通達してたんだけどなあ？ 〱鈴枝（すずえだ）さん〱？」

「申し訳ありません。その代わり副部長である私が用件を承りますよ」

「話になりません」

どうやら件の部長は留守らしく、対応したのは副部長だという人。

…私でも分かる。ちよつと小馬鹿にされてる感じがするんだ。

「もう一度聞きます。琴識さんは」

「おりません」

「……………」

「……………」

…沈黙が続く。相手方は笑顔を崩さない。つまりとつとと帰れと言うのか意地でもないと言うのか。

「埒が明きません。琴識さんに連絡を取ってください」

「いたしません」

「つ……！」

「碧、抑えて。…どうしたら琴識さんに会えるかな？」

「……………ふむ」

…帰りたい。まさかこんなギスギスした空間から解放されたい。口挟む空気じゃないし、祐依は表情こそ普通だが完全に興味を失った、こいつら面倒だなあって顔してる。…祐依がチラリとこちらを見て小さく微笑んだ。

「ではこうしましょう」

「教えてくれるの？」

「私に勝負で勝てましたらお教えします」

「時間稼ぎですか？」

「まさか。そんな無粋なことはしません！」

「生徒会を蔑ろにするのは無粋じゃないのか…」

「…つまらない人達の集まりなんですね」

「〱これ〱で私に勝てたら、部長の居場所を教えましょう」

スズエダという副部長がどこからか取り出したのは……

「あなた方生徒会は、これで決着を付けるのが流儀なんでしょう？」  
バトルスピリッツのデッキケースだった。

「……えええ……」

「この前のあれが広まっちゃったんだね……」

「アニメじゃないんだぞ……」

「銀河バトスピ法？」

つまり勝ったら部長の居場所を吐く。負けたら諦めろと。

「ふざけないで！」

「おつとつと、はいどーどー。バトスピね。それにこつちが勝ったら  
納得してくれんのね」

「もちろん」

今にもつかみ掛かりそうになる佐々森先輩を凰空先輩が抑える。  
そりや馬鹿にされてんのかと思いたくなるわな。

「対戦相手は……そうですね。緋立さんにお相手願います」

「えっ、私ら？」

「どつちですか？」

「は？ ……緋立は貴女じゃないでしょう」

スズエダ先輩がピシツと指差す先は……祐依か。やっぱ祐依は知名度が高いね。

「私も確かに緋立ですが、こちらの私の姉も緋立です」

「あら……。じゃあこちらの貴女が『会長に勝った』と噂の一年生ですか。なら貴女に挑みましょう」

あつれ……。こつちに飛び火した。

「拒めば部長の居所は言いませんよ……」

「なっ……」

くそっ、やり方が汚ねえぞ……。

「……こうなってしまったからには緋立さん、何としても勝ってください  
」

「は、はい」

責任重大だな。……しかしこれはある意味、祐依と作った3つ目の  
デッキを試す良い機会。とでも思わなきゃこんな……。とにかく、祐依

の手前しつかりやりますか。

鈴枝 弥生（すずえだ やよい）

【??】

V S

緋立 悠姫

【烈風のゼロ】

用意されたプレイマット（シートじゃなくラバー製の良いやつ）と  
コア。これは自前らしい。変なところで律儀だな。

「さあ始めましょう。生徒会長を倒した実力、見せてもらいます」

「……」

さて……。よし、まあまあ。後は祐依のレクチャーを思い出す。動きは素早く、攻める時は静か且つ一瞬に。

「ふふん、先攻は譲ります」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「そうですか。：なら、スタートステップ」

（リザーブ 4）

（手札 4 ↓ 5）

「メインステップ。ネクサス《翠牙草の実》を配置」

（手札 5 ↓ 4）

（リザーブ 4 ↓ 1）

（トラッシュ 0 ↓ 3）

「緑のネクサス？ しかも見たことないやつだね」

「緋立さん、姉の緋立さんは赤を使うのでは？」

「赤もそうですけど、初心者から一歩踏み出すという意味で、緑を使うことにしたんです」

「次にバーストをセットして、ターンエンド」

（手札 4 ↓ 3）

（バースト：無し ↓ セット）

〈鈴枝・後攻第二ターン〉

「では私のターン、スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップです」

…ドローするときやコアを持つてくるときの手つきが若干あやしい。たどたどしいのを隠してる的な意味で。

「ここはまず《氷盾の守護者オーシン》をレベル2で召喚を召喚しましょう」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「氷盾の守護者オーシン コア2 レベル2 BP4000」

「バーストもセットします」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ！オーシンでアタック！」

攻めてきた。璃恵と同じ白なのに、使い手が変わると一目目も違うのか。…口には出さないが、そのアタックは早計だったな！

「アタックしたとき、バースト発動だ！」

「なっ!？」

「バーストマジック、《トライアングルバースト》！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「バースト効果、私の手札にあるコスト4以下のスピリット、もしくはアルティメットをコストを支払わず召喚する！」

「スピリットはともかく、アルティメットをノーコストで!？」

「呼ぶのはこいつだ。コスト4、相棒の新しい姿、《ムゲンドラゴン》！」

(悠姫手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「ムゲンドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

緑 マジック

《トライアングルバースト》

コスト3 軽減緑1

【バースト：相手のスピリットのアタック後】

自分の手札にあるコスト4以下のスピリットカード／アルティメットカード1枚を召喚する。

ただし、『このスピリット／アルティメットの召喚時』効果は発揮されない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のスピリット1体を疲労させる。

または、コスト4以下の相手のスピリット3体を疲労させる。

「ノーコスト召喚なんて、ズルい！」

「ズルいって…。オーシンのアタックはムゲンドラゴンでブロックする」

「いいですよ。まったく、清廉潔白の色である白に傷を付けるなんて」

「(……他色の効果を盗んでバタバタ踏み倒しまくる白使ってるクセにどの口がお姉ちゃんに言ってるんだ……)」

…今、私にしか聞こえなかったのか私にだけ聞こえるように言ったのか分からんが、祐依がボソツと苛立ちの籠った愚痴が聞こえた。軽く舌打ちまでしたように聞こえたが気のせいだと思いたい。

チラッと祐依を見遣ると、にこやかにグツて小さくガッツポーズをする祐依。…うん。

「ですが、その《ムゲンドラゴン》とやらも見ればBPは4000。手札とバーストを使って相打ちですか」

「いいえ、《翠牙草の実》の効果を忘れてもらっちゃ困ります。『お互いのアタックステップ』に効果発揮！バトルしている私のムゲンドラゴンはBPプラス2000される！」

「な、なんですって!？」



緑 ネクサス

《翠<sup>すいがそう</sup>牙草の実》

コスト3 軽減緑1

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

バトルしている自分のスピリット／アルティメットすべてをBP  
+2000する。

Lv2 『お互いのアタックステップ』

???

「へえ。あのネクサス、アルティメットまでカバーできるんだ」

「緑らしい効果、ですね」

「あのネクサスの本領はこれからですよ」

「ムゲンドラゴンのBPはこれで6000、そのオーシンは厄介だつて教わったんで早々に退場させてもらいますよ先輩」

「くっ…！オーシンが…」

(鈴枝リザーブ0↓2)

オーシンは「効果破壊耐性」を持っている。ならぶん殴れば問題は無いな。…緑、良いなこれ。

「しかし破壊されたことでバーストを発動！《双光気弾》！2枚ドロ―  
しますー！」

(鈴枝手札3↓5)

「追加のコストは支払えないので、忌ま忌ましいですがターンを終了  
します…！」

〈悠姫・第三ターン〉

「よしっ。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。《ゴクラクチョー》を召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「ゴクラクチョー コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果、ボイドからコア1つをリザーブに置く」

(リザーブ1↓2)

緑 スピリット

《ゴクラクチョー》

コスト4 軽減緑2 <爪鳥・星魂>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

フラッシュ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

「アタックステップ。ムゲンドラゴンでアタック！」

「ライフで……」

「受ける前に！こっちのフラッシュタイミング！」

「っ!？」

「《ヴァルト・イエーガー》を【神速】召喚！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ2↓3)

「ヴァルト・イエーガー コア1 レベル1 BP3000」

「ヴァルト・イエーガーはアタックステップに召喚されるとボイドからコア1つをリザーブに置ける！」

(リザーブ0↓1)

「くっ…ライフで受けましょう！」

(鈴枝ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

「まだまだ！ヴァルト・イエーガーでアタック！」  
「ライフです！」

(鈴枝ライフ4↓3)

(リザーブ3↓4)

「：ターンエンド」

「よくも私のライフを…！」

「良いね。上手くカウンター入れて2つ取ったよ」

「今までのプレイングとやや違い、〃前に行く〃という気概が見えま  
す」

「姉さんだって、強い相手と対戦重ねてるんです。伊達に負けてない  
んですから」

「ふふっ、なるほどね。さすが祐依のお姉さんだ」

〈鈴枝・第四ターン〉

「こちらのターンです。スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札5↓6)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ5↓8)

「メインステップ！バーストをセット！」

(手札6↓5)

〔バースト：無し↓セット〕

「次！月の牙、白銀の龍！《月光神龍ルナテック・ストライクヴルム》  
を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓0)

(トラッシュユ0↓7)

「月光神龍ルナテック・ストライクヴルム コア1 レベル1 B  
P6000」

「アタックステップ！月光神龍でアタック！」

「：ゴクラクチョーでブロック。翠牙草の効果でBPプラス2000、よって4000」

「こちらは6000です！」

「そのまま破壊される」

（悠姫リザーブ1↓2）

「ターンエンド！」

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ2↓3）

（手札1↓2）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ3↓6）

「メインステップ」

さて大型が出てきた訳だが、今はBP6000。ムゲンドラゴンのBPを上げれば越えられなくは無。しかしただではやられないだろう。見たところXレアっぽいし。

「ネクサス《戦場に息づく命》を配置」

（手札2↓1）

（リザーブ6↓5）

（トラッシュユ0↓1）

「次にムゲンドラゴンのレベルを2へ」

（リザーブ5↓4）

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓5000」

「ムゲンドラゴン、レベル2の効果。こいつは緑であり、赤としても扱われる」

「ハイブリットスピリットだったんですか…」

緑 スピリット

《ムゲンドラゴン》

コスト4 軽減緑2紫2 <新生>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP5000

<3> Lv3 BP7000

シンボル：緑

Lv1

このスピリットの色とシンボルは紫としても扱う。

Lv2

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

Lv3

このスピリットの色とシンボルは白としても扱う。

「中型の《ニジノコ》、と言ったところですか」

「はい。《森林のセツコーキジ》と迷ったんですが、場持ちの良さを優先させました」

「まあ、コアが3つ4つないと赤になれないカードとかあるし、それに比べたらかなり良いスピリットなんじゃない？」

「…《ダーク・スクアール》ですね」

「そしてマジック《ネオ・ダブルドロー》を使います。赤でもあるムゲンドラゴンがいるため3コスト。2枚ドロー」

(手札1↓0)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ1↓4)

(手札0↓2)

「…よし。2枚目の《戦場に息づく命》を配置」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュ4↓5)

「アタックステップ。ムゲンドラゴンでアタック！」

「相手のスピリットがアタックしたとき！月光神龍の効果発揮！」  
「っ！」

「アタックに反応して、月光神龍は回復します！」

白 スピリット

《月光神龍ルナテック・ストライクヴルム》

コスト7 軽減白4 <神星・武装>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 【重装甲：可変】

このスピリットは、このスピリットの色の相手のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

相手のスピリットがアタックしたとき、このスピリットは回復する。

【合体時】 Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

このスピリットのBP以下の相手のスピリット1体を手札に戻す。

「しかしBPは負けています。…ライフで受けましょう!」

(鈴枝ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「そしてライフ減少時にバースト発動!」

「ライフ減少か…」

「北の果ての長《サンク・シャイン》をバースト召喚!」

「バースト：セット↓発動」

(リザーブ1↓0)

「サンク・シャイン コア1 レベル1 BP3000」

「バースト召喚時、私の場のスピリット全員のBPを3000プラスします!」

「月光神龍ルナテック・ストライクヴルム BP6000↓9000」

「サンク・シャイン BP3000↓BP6000」

ノーコスト召喚できてBPまで上げられるのか。

「アタックは続行します?」

「…ターンエンド」

「賢明ですよ」

白 スピリット

《サンク・シャイン》

コスト6 軽減白3 <覇皇・機人>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP9000

シンボル：白

【バースト：自分のライフ減少後】

このスピリットカードを召喚する。

その後、このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+3000する。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのブロック時』

ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

このスピリットは、このスピリットのコスト以下の相手のスピリットを疲労状態でブロックできる。

「ふむ、厄介なのが並んだね」

「両方とも実質疲労効果が効かないスピリット。緑にとっては何とか上から押し潰すしかないようですが」

「大丈夫です。今のお姉ちゃんなら、疎ましいあの2体だって何とかできます」

〈鈴枝・第六ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ。《要塞蟲ラルバ》を召喚！」

(手札6↓5)

(リザーブ8↓4)

(トラッシュユ0↓3)

「要塞蟲ラルバ コア1 レベル1 BP3000」

「召喚時効果。私の白のスピリット2体にコアを1つずつボイドから置きます。月光神龍とサンク・シャインにコアを追加」

「月光神龍ルナテック・ストライクヴルム コア1↓2」

「サンク・シャイン コア1↓2 レベル1↓2 BP3000↓  
BP7000」

「緑のカードなのに白にコアブーストさせるのか…」

「白は見境が無いと聞きますけど、見境が無いのは緑も一緒でしょう」

「…それは言い返せないね」

《ダンテラビット》や《ヤン・オーガ》、《蟹座》 《蜂王》 《烈の霸王

” 《闇緑剣》と、事欠かさないから」

「『森羅龍樹』を緑のカードだと勘違いさせるくらいですからね…」

「更に《コテツ・テイーガー》をサンク・シャインに直接合体！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ3↓5)

コテツ・テイーガー

← 直接合体

サンク・シャイン (合体)

「コスト：6+5=11」

「BP：7000+5000=12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

緑 スピリット

《要塞蟲ラルバ》

コスト4 軽減緑2白1 <怪虫>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個ずつを、自分の白のスピリット2体に置く。



L v 2

このスピリットの色とシンボルは白としても扱う。

「ラルバのコアを月光神龍へ、リザーブのコア2つをサンク・シャインに追加、バーストもセットしてアタックステップ！」

(リザーブ2↓0)

「要塞蟲ラルバ コア1↓0 消滅」

「月光神龍ルナテック・ストライクヴルム コア2↓3 レベル1

↓2 B P 6 0 0 0 ↓ B P 8 0 0 0」

「サンク・シャイン (合体) コア2↓4 レベル2↓3 B P 7 0

0 0 ↓ B P 9 0 0 0 + 5 0 0 0 || 1 4 0 0 0」

(手札3↓2)

「バースト：無し↓セット」

「サンク・シャインで合体アタック！」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「続いて月光神龍でアタック！」

「それもライフで！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンドです！」

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ。コアステップに戦場に息づく命の効果発揮。コアを追加せずにドローに換える。2枚配置されてるため、2枚ドロー」

(手札1↓3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ。…ここらが攻め時だよな。」

《アルティメット・モノケイロス》！レベル3で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・モノケイロス コア1 レベル3 BP8000」

「アルティメット…!」

「ムゲンドラゴンのコア1つとリザーブのコア2つをUモノケイロスに移す!」

(リザーブ4↓2)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・モノケイロス コア1↓4 レベル3↓5 B P8000↓BP14000」

「次に翠牙草の実をレベル2へ!」  
(リザーブ2↓0)

「翠牙草の実 コア0↓2 レベル1↓2」

「アタックステップ、Uモノケイロスでアタック!Uトリガー!」

「デッキトップを1枚送る、でしたね…」

「そしてカードとコストを言ってください」

「:コスト4、《ウインドウォール》」

「ヒット!」

「っ!」

「ヒットした効果を使う前に、翠牙草の実レベル2の効果発揮! 緑

のアルティメットのトリガーがヒットしたとき、私のトラッシュにある

【神速】を持つスピリット、もしくはアルティメットを手札に戻す

!

「緑の回収効果!」

《翠牙草の実》

Lv2 『お互いのアタックステップ』

自分の緑のアルティメットのUトリガーがヒットしたとき、自分のトラッシュにある【神速】を持つスピリットカード/アルティメットカード1枚を手札に戻す。

「《ゴクラクチョー》を回収!」

(悠姫手札3↓4)

「ある意味ネクサスのデメリットを消しているものですか…!」

「Uモノケイロスは翠牙草の実の効果でBPをプラス2000、今は16000になっている…!」

「くっ…!サンク・シャインで——」

「待つてください!!」

「っ!」

突然、祐依が大声でストップをかけて来た。い、一体何だ?

「鈴枝先輩のサンク・シャインは、Uモノケイロスをブロックできません!」

「何故です!サンク・シャインのコストは11、Uモノケイロスのコストはたったの5なんですよ?!」

「よくテキストを読んでください。疲労状態でブロックできる〃条件〃を—」

「え……?」

《サンク・シャイン》

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

このスピリットは、このスピリットのコスト以下の相手の「スピリットを」疲労状態でブロックできる。

「サンク・シャインが疲労状態でブロックできるのは、「スピリット」。

【アルティメット】であるUモノケイロスをブロックすることはできないんです!」

「な…なんですって…!?!」

…そうか。アルティメットを対象にしてないからUモノケイロスを防げないのか。

たしか、このスピリットは疲労状態でブロックできる〃っていう文ならアルティメットもブロックできるとか聞いたな。

「サンキュー祐依」

「本当はバトル中に口出しは厳禁なんだけど、プレイミスは指摘させてね。…それと姉さん、Uモノケイロス自体のヒット効果忘れてるよ」

「ん、おお…。改めてUモノケイロスのヒット効果発揮！手札にある【神速】を持つスピリット、もしくはアルティメットをノーコストで召喚できる！」

「ま、また踏み倒しですか!?しかもアルティメットを…！」

さて。ちよつと締まらなかったが、祐依から受けとった『最大の切り札』の登場だ…！」

《アルティメット・ビヤク・ガロウ》！

レベル5で、ノーコスト召喚!!」

「アルティメット・ビヤク・ガロウ…！」

「アルティメットになった剣王獣、ですか」

「お姉ちゃんのために駆け付けてくれたんだね、ビヤク・ガロウ…！」

「レベルにはUモノケイロスから4つすべて、翠牙草の実から1つを受け取る！よってUモノケイロスは消滅！」

(手札3↓2)

「翠牙草の実 コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・モノケイロス コア4↓0 レベル5↓0 消滅」

減」

「アルティメット・ビヤク・ガロウ コア5 レベル5 BP260

00」

緑 アルティメット

《アルティメット・ビヤク・ガロウ》

コスト7 軽減緑3 <新生・剣獣>

<1> Lv3 BP12000

<3> Lv4 BP16000

<5> Lv5 BP26000

シンボル：金

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

フラッシュ【神速】

手札にあるこのアルティメットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

「ビヤク・ガロウが【暴風】を捨てて【神速】持ちになったんですか」

「いいえ、新しい剣王は風を捨てた訳じゃありませんよ佐々森先輩」  
「Uモノケイロスが消滅したことでアタックは終わり、新たにUビヤク・ガロウでアタック！Uトリガー！」

「私のデツキが…：…っ!? コスト1、《イグア・バギー》…：！」

「コスト3以下、クリティカルヒット!!」

「く、クリティカル!?!」

「さあ、後はあのバーストが何なのかが問題だ。あれが《絶甲氷盾》や《アルティメットウォール》ではどうしようもない。

「げ、月光神龍の回復…：！」

「鈴枝先輩、月光神龍も【スピリットのアタック】による回復ですよ！」  
「つつつ…!?! ら、ライフ…」

「その前にクリティカルヒットの効果！」

「ひっ…!?!」

「バトル解決時、疲労状態の月光神龍とサンク・シャインを好きな順番でデツキの一番下に戻す！」

「ひえっ…!?!」

《アルティメット・ビヤク・ガロウ》

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、系統：＜剣獣＞を持つ自分のスピリット／アルティメット1体につき、相手のスピリット1体を疲労させる。

【クリティカルヒット】

ヒットしたカードのコストが3以下なら、さらに、バトル解決時に、疲労状態の相手のスピリットすべてを好きな順番でデツキの下に戻す。

「疲労させる上に邪魔の入りにくいタイミングでデツキボトムにバウンスだつて…!?!」

「まるで生きる《颯風高原》ね…」

「月光神龍ルナテック・ストライクヴルム デツキ下へ」

「サンク・シャイン（合体） デツキ下へ」

「コテツ・テイーガー 残留 コア1 レベル1」

(鈴枝リザーブ0↓6)

「…ら、ライフで…!」

(鈴枝ライフ2↓1)

(リザーブ6↓7)

「ライフ減少で、バースト! 《龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード》!!  
わ、私のライフ3以下なら召喚可能!バースト効果でBP1500  
0以下のヴァルト・イエーガーを破壊!」

(鈴枝バースト:セット↓発動)

「ヴァルト・イエーガー 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

(鈴枝リザーブ7↓0)

「コテツ・テイーガー コア1↓0 消滅」

「龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード コア8 レベル4 BP20  
000」

「ムゲンドラゴン、アタック!」

「ジーク・ヤマト・フリードで…!」

「フラッシュユタイミング! 《ネオ・バインディングゾーン》! コストは  
リザーブとUビヤク・ガロウから受け取る!」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ビヤク・ガロウ コア5↓3 レベル5↓4」

(トラッシュ2↓6)

「ジーク・ヤマト・フリードを、疲労させる!」

「っ…!?!」

「ムゲンドラゴンのアタックは!」

「私が…:負けるなんて…:…:部長、申し訳ありません…:」

ライフで受けます!!」

(鈴枝ライフ1↓0)

〔w  
i  
n  
n  
e  
r  
!!

緋立

悠姫

新しい星と怒りの炎？

「そ、そんな、馬鹿な…！」

「よっし！」

不正規に活動？を続けている部活をどうにかすべく交渉に行つた先、どうにかしたければバトスピに勝てと、何がどうしてそうなるのか分からん状況だが、何とか勝つことができた。

生徒会としてはメンツを保てたし、まだ解決してはいないが、まず目的の「部長」に会えるのは確定した。

「キィー！悔しいい！！」

個人的には、祐依と一緒に組んだこのデッキが上手く動いたのが嬉しいかな。

「やるねえ緋立姉（あね）」

「さすがおね…姉さん！」

「よくやりました。…では鈴枝さん、琴識部長の居場所を——」

「お待ちになりなさい！！」

部屋中から廊下中まで響き渡るクツソうるさい怒鳴り声。あまりのうるささに反射的に耳を塞いだ。周囲の物がビリビリと震動してしまうほど。

「う、うるさ…!?!」

「その噂の優雅部総轄部長!!」

「琴識 沙織（ことしき さおり）とは!!」

「この!!わたくしの事ですわあ!!!」

ち、超うるせえ!?!

どこから現れたのか、何かその大きなクローゼットから飛び出し



てきたように見えたが、とにかくうるせえ！ 昨日会った琥珀とは違う騒音のうるささだ。

飛び出してきた噂のコトシキ部長は…、背が小さい。私より低いとは何事だこれ。一見中学生に上がりたての小学生ぐらいかそこらぐらい小さい。

「さ、さおり様あく…」

「まったく、優雅部副部長として初心者に敗北するとは情けないっただけありませんわあ!!」

「も、申し訳ありません！」

な、何だこいつらは…。先輩に対して失礼だとは思うが、マジで何だこいつら。

「まさか、生徒会の下っ端初心者一年生がここまでやるとは思いもありませんで…」

「どんな下っ端！初心者！一年坊だろうと優雅にが我々のモットー！これでは名折れですわあ！」

言いたい放題だな…。まあ、確かに初心者だけどな、デツキを馬鹿にされないだけマシかな。

「琴識、ずっと隠れてたのかい？」

「ふふふつ。優雅部たるもの優雅に気配を消し隠れるのはお手の物ですわあ。勿論、話はすべて聞かせていただきましたわあ」

「…面倒なことを」

佐々森先輩のこめかみがビキビキし始めている。

「…では、琴識さん。不規則に活動が続けているこの部を」

「お断りします!!」

「……………」

この高飛車というか、貴族っぽさは赫蓬院先輩とは全く違う人種なんだと今この瞬間理解した。我が儘なお姫様って感じだ。てかあの小さな身体の何処に音量が入ってたんだ…。

「断られても困るんだけどなあ」

「不規則なのが悪いのでしょうか？ならば正式な部として認めなさい!!」

「無理です。事前申請も何もなく好き勝手に活動していて、今更何を言ってるんですか」

「佐々森さん！あの赫蓬院なら何て言うかしらあ？」  
「…は？」

「乙女なら！！」

正々堂々！！

バトルで！！

決着を付けろと！！」

み、耳が…頭が……。

「……………」

「相変わらずうるさいねえ…。鈴枝さんもそうだったけど、それで納得すんだね？」

「乙女に！！」

二言は！！

ありませんわあ！！」

マジで耳がおかしくなりそうでヤバイ。ぶん殴ってでも止めさせないと私の耳が死ぬ。

「うるさいっての…。じゃあ相手は…」

「先程弥生とバトルした貴女！」

「っ!？」

「貴女で結構ですわあ」

「ま、また私か…」

「沙織様！あの初心者、かなりやりますよ！」

沙織先輩（祐依からどんな字を書くのか教えてもらった）に縋り付く鈴枝先輩。この学校には変わったやつしかいないのか。マトモなのは祐依や祥子、朱莉、雫、佐々森先輩、凰空先輩辺りか…。彩音は……ちよつと怪しい。

「さあ!!一年生!!わたくしと!!仕合なさい!!!」

「っ…………!？」

「琴識うるさいっての。……すまないけど緋立姉、また頼める?」

「は、はい…。み、耳が…」

とにかく引き受けはしたが、まだ耳がキンキンする…。

その琴識先輩は既に席に座って、いつの間にか取り出したデツキをセツトし、コアも用意…って鈴枝先輩がやったのかよ。

「準備万端です! 沙織様!」

「相手のデツキは判っています! わたくしが遅れを取るはずもありませんわあ!!」

私も席に座る。距離が近くなると一層うるさい。

それにしても、デツキが割れてるということは勝ち筋を潰される率が上がるってこと。…このデツキの弱点の一つに『効果破壊・コアシユートに弱い』がある。

小手先の守りを薄くして、肉斬骨断の勢いで進む。そんな突撃思考型のデツキだ。赤のBP参照破壊、紫のコア外しに全くの無力。出鼻を挫かれると立て直すのに苦労する。

おそらく琴識先輩も手練れだろうし、さっきのバトルでそれが見抜かれているかも知れない。…さて、どう手を進めるか——

「ちよつと待ってください」

すると突然、祐依が私の隣に立ちプレイマットに何かを力強く置いた。…置いたのはデツキケースだ。

「…あらあ? 妹の祐依さんはあ、お呼びではなくってよお?」

「最上級生、優雅を主とする優雅部部长が対戦相手のデツキを盗み見て勝ちを確信するのは、優雅と言えるんでしょうか」

割って入った祐依の表情は…恐い程の無表情。これ相当怒ってんな。

「……………」

「まさかとは思いますが、私の姉を甘く見ていらっしやるので?」

「初心者が勝つのも時の運です。知った知らないは関係無いかと」

「ほう。では、私が代わりにバトルしても問題は無いですね」

「言っている意味が分かりかねますわあ」

「先輩方が下と見ている初心者姉に勝って優雅と言えるなら好きに」

…チラツと祐依がこちらを見た。小さく謝ってる。気にするな。私は気にしてないから。

「祐依さんはあ、実力者なのですかあ？ 失礼ですが、聞いたこともありませんけどお」

「そうですね。それなりです」

「ふんっ！そこまで言うのでしたら良いでしょう！運では無い実力を見せてもらいましょう!!」

「…祐依」

「ごめんねお姉ちゃん。でももう我慢できないの。お姉ちゃんを馬鹿にされるのは」

「気にしないでいいってのに」

「お姉ちゃんが気にしなくても、私がするの。璃恵さんも、それに会長さんだって気にするよっ」

「…すまんね」

「安心してて。この『新しいデツキ』でボコボコにしてくるから」

緋立 祐依

【??】

VS

琴識 沙織（ことしき さおり）

【天上射抜く赤い星】

「さてえ…。先攻後攻はどうしましょう？」

「お好きなように」

「では優雅に！そちらに先攻を譲って差し上げますわあ！」

「さすが沙織様！優雅たる者の余裕ですね！」

「…では、先攻をいただきます」

〈祐依・先攻第一ターン〉

「先攻、スタートステップ」

(リザーブ 4)

(手札 4 ↓ 5)

「メインステップ。《リユーマン・フェニック》をレベル1で召喚します」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 3)

「リユーマン・フェニック コア1 レベル1 ↓ 3」

「リユーマン・フェニックは、私のスピリットの数に2体以下のとき、レベル3として扱われます。次にバーストをセットしてターンエンドです」

(手札 4 ↓ 3)

(バースト：無し ↓ セット)

「…赤？」

「緋立姉、妹は赤を使うのかい？」

「…さあ。祐依が赤を使うところ…てか、こうして祐依がバトルするところを見るの自体初めてですから」

〈沙織・後攻第二ターン〉

「優雅なるスタートステップ！」

(リザーブ 4 ↓ 5)

(手札 4 ↓ 5)

さて、あの優雅部部長のデッキはどんなんだ。あれ程余裕かましてるんだ、かなり自信のあるデッキなんだろう。

「メインステップ！ 《ブレイドラ》を召喚！」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 5 ↓ 4)

「ブレイドラ コア1 レベル1 BP1000」

「続けて《アクウイラム》をレベル2で召喚！」

(手札 4 ↓ 3)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラツシユ0↓2)

「アクウイラム コア2 レベル2 BP3000」

「バーストをセットし、優雅な余裕を持ってターンエンドですわあ!!」  
(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

赤 スピリット

《ブレイドラ》

コスト0 軽減無し <翼竜>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：赤

【効果の記述無し】

赤 スピリット

《アクウイラム》

コスト3 軽減赤1 <空牙・星魂> 『鷲座』

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<5> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットをBP+2000する。

Lv2・Lv3 【激突】『このスピリットのアタック時』

相手は可能ならば必ずブロックする。

「むこうも赤か…」

「碧、琴識がバトスピやってるって知ってた？」

「いえ、今初めて目にしたわ。でも十中八九、会長がああ騒ぎをこの方法で決着を付けてから対抗意識を燃やしたんでしょうね」

「ああ、納得。…で、碧はあのデッキ、どう見る？」

「<星魂>持ちのアクウイラムが出た時点であなとも判っているでしょ。…それより、祐依さんのデッキが判らないわ」

〈祐依・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップは何もせずアタックステップ。リユーマン・フェニックスでアタック。アタック時効果により1枚ドロウします」

(手札4↓5)

「ふんっ、ライフで受けますわあ!!」

(沙織ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド」

「:怒らないのか」

「おや? 緋立姉、何を思ったのかな?」

「い、いや、あの先輩のことだから『よくもわたくしのライフに傷を!!』とか怒るかと思っただんですが」

「余裕、なんでしよう」

〈沙織・第四ターン〉

「優雅なるわたくしのターン! スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ! 《ダンデラビット》を召喚!」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ダンデラビット コア1 レベル1 BP1000」

「ダンデラビット召喚時効果あ! ボイドからコア1つをリザーブにい! 更に系統:〈星魂〉をお持ちのアクウイラムに更にボイドからコア

1つをアクウイラムに置きますわあ！」

(リザーブ0↓1)

「アクウイラム コア2↓3」

「次にい！マジック《スターリードロー》を使いますわあ！コストはあ、アクウイラムから1つ、リザーブから1つ取ります！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「アクウイラム コア3↓2」

(トラッシュ3↓5)

「わたくしのデッキトップを3枚お見せします！」

●オープンしたカード

・《ダンデラビット》(スピリット)

・《輝竜シャイン・ブレイザー》(ブレイヴ)

・《麒麟星獣リーン》(スピリット)

「っ……！」

「おーっほっほっほおっ!! このカード全てを手札に加えますわあ!! まあ？『目的のカード』は出ませんでした、良しとしましょうかあ」

(手札1↓4)

「なっ?!全部!」

「:碧、大体判ったよ。琴識のデッキ」

「『赤』の『光導』:ね」

赤 マジック

《スターリードロー》

コスト4 軽減赤3

メイン:

自分のデッキを上から3枚オープンする。

その中の系統: <光導> / <星魂> / <星竜> を持つスピリットカード / ブレイヴカードすべてを手札に加える。

残ったカードは破棄する。

フラッシュ:



このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「アタックステップ！アクウイラムでアタック！アタック時効果でBPプラス2000し、【激突】ですわあ！」

「アクウイラム BP3000+2000=5000」

「フラッシュタイミング、マジック《ライフチャージ》を使用します。対象はリユーマン・フェニック。破壊してボイドからコア3つをリザーブに置きます」

（祐依手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュ0↓4）

「リユーマン・フェニック 破壊」

（リザーブ0↓3↓4）

「アクウイラムのアタックはライフで受けます」

（祐依ライフ5↓4）

（リザーブ4↓5）

「でこぴん一回分はお返ししましたわあ」

「ですが、ライフ減少によりバースト発動！」

「んなっ!？」

「《救世神撃覇》！バースト効果によって合計BP6000まで自由に破壊できます！ 破壊するのはアクウイラムとダンデラビットです」

（祐依バースト：セット↓発動）

「ダンデラビット 破壊」

「アクウイラム 破壊」

（沙織リザーブ0↓3）

「きいい！ブレイドラを残したのは情けですのお!？」

「どうでしょうね。追加コストを支払ってフラッシュ効果。1枚ドロウして、…バーストをセットします」

（祐依リザーブ5↓1）

（トラッシュ4↓8）

（手札4↓5↓4）

（バースト：無し↓セット）

「くぬう…！ターンエンドですわあ！」

「上手いこと蹴散らしたね」

「琴識さんの手札に2枚目のダンテラビットが。アクウイラムかダンテラビットをほって置けばまたコアブーストされてしまう。一応リーンはいるけど、一手遅らせることは出来そうね」

「でも妹の場にスピリットがない。シンボルの状況をどうすんのか見物だよ」

…やっぱ祐依強いな。私なんかより冷静だし、次を見越して動いてる。行き当たりばつたりの私じゃ到底出来ない。

〈祐依・第五ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札4↓5）

（トラッシュユ8↓0）

（リザーブ2↓10）

「メインステップ。…：琴識先輩」

「？　なんでしよう？」

「私は今、少々怒っています」

「…はあ？」

「何が原因か、理解していますか？」

「さあ？皆目も付きませんわあ」

「私の姉を、見下したことです」

「っ…!？」

一瞬、祐依の周りの温度が下がった気がした。

私は斜め後ろから見ているから表情は判らんが、対面している琴識先輩と鈴枝先輩の表情が引き攣ったのを見ると…：相当怖い顔してんだろうなあ。怒ってくれるのは有り難いが、恐がらせちゃアカンよ祐依。

「…：私のことや生徒会のことをどれだけ悪く言っても構いません」

「妹、生徒会は抜いてもらいたかったな」

「ですが、姉の事を下に見るのは止めていただきたいんです」  
「無視かい妹」

「…ふ、ふんっ。初心者を下に見て何がいけないんですのお？」  
「姉はあなた方が思っている以上に強いです」

「…：知ったことでは無いですわあ」

「…：続けます。」

赤の護將、《サブバイバー生還者ネオ・アーク》、レベル1で呼びます

(手札5↓4)

(リザーブ10↓6)

(トラッシュ0↓3)

「生還者ネオ・アーク コア1 レベル1 BP3000」

「ご、ごしよう…？ さばいばあ？」

「続けて《デブリ・ザード》を召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓5)

「デブリ・ザード コア1 レベル1 BP1000」

「更にデブリ・ザードのスピリットソウル発揮！」

「あのカード、スピリットソウル持つてんのか…」

「スピリットソウル…。アルティメットを召喚する際、自身のシンボルを1つ増やす効果ですね」

「黄金の斧翼竜、《アルティメット・プテラトマホーク》！レベル3で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ3↓5)

「アルティメット・プテラトマホーク コア1 レベル3 BP9000」

「出ましたわねえ…！アルティメット！」

「そしてネオ・アークをレベル2へ」

(リザーブ2↓1)

「生還者ネオ・アーク コア1↓2 レベル1↓2 BP3000」

↓4000」

赤 スピリット

《《デブリ・ザード》》

コスト1 軽減赤1 <星竜>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：赤

Lv1・Lv2 【スピリットソウル：赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」（赤のシンボル1つ）を追加する。

Lv1・Lv2

お互いの効果で、このスピリットのコアは0個にならない。

「アタックステップ。ネオ・アーク、アタック！ レベル2アタック時効果。私の場にアルティメットがいるとき、ネオ・アークのBPを5000プラスし、1枚ドロウします！」

「生還者ネオ・アーク BP4000+5000=9000」

（手札2↓3）

「な、何だかわかりませんが、ライフで受けて差し上げますわあ！」

（沙織ライフ4↓3）

（リザーブ3↓4）

「でもお、タダでこのライフは落とさせませんわあ！ バースト発動!! 《《デスバースト》》！これで疲労状態のそのさばいばーとやらを破壊——」

「できません」

「——は？」

「“生還者”の名は伊達ではありません。レベル1からの効果により、相手からの効果では破壊されません！」

赤 スピリット

《《生還者ネオ・アーク》》

コスト3 軽減赤1 <護将・星竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<5> Lv3 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、相手の効果で破壊されない。

Lv1・Lv2・Lv3

お互いの効果で、このスピリットのコアは0個にならない。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分のアルティメットがいるとき、このスピリットをBP+5000し、自分はデッキから1枚ドローする。

「な…!? 効果破壊耐性と消滅耐性を最初から持っている…ですつてえ!」

「これによりそちらのデスバーストは無意味になりました。フラッシュ効果は使いますか?」

「くうう…! 使いませんわあ!」

「ではこのままターンエンド」

「『ネオ・アーク』……。アークってことは、あの『天槍の勇者アーク』か?」

「…おそろく」

「随分とまあ強くなって帰ってきたもんだ」

〈沙織・第六ターン〉

「耐性を持つてるくらいでえ、いい気にならないでくださいまし! スタートステップ!」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ5↓10)

「メインステップ! 『麒麟星獣リオン』! レベル1で召喚しますわあ!」

(手札5↓4)

(リザーブ10↓7)  
(トラッシュユ0↓2)

「麒麟星獣リーン コア1 レベル1 BP3000」  
「更に2枚目の《ダンデラビット》を召喚ですわあ！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュユ2↓5)

「ダンデラビット(2) コア1 レベル1」

「召喚時効果！コア1つをリザーブに、更にボイドからコア1つをリーンに乗せますわあ！」

(リザーブ3↓4)

「麒麟星獣リーン コア1↓2 レベル1↓2 BP3000↓4000」

黄 スピリット

《麒麟星獣リーン》

コスト2 軽減黄1 <戯狩・想獣・星魂> 『麒麟座』

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP5000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、合体条件を無視して合体できる。

Lv2・Lv3 『このスピリットの破壊時』

このスピリットと同じ系統を持つ自分のスピリット1体を疲労させることで、このスピリットは回復状態で自分のフィールドに残る。

【合体時】Lv3

このスピリットに、自分のスピリットすべてが持つ系統すべてを与える。

「ふふふっ…！ではマジック《ゾディアックコンダクト》!!」

「っ…！」

「デッキトップを4枚オープン！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ5↓9)

「オープンした中にある系統：〈光導〉を持つスピリットカード1枚を、ノーコストで召喚！残りは破棄します！」

赤 マジック

《ゾディアックコンダクト》

コスト5 軽減赤4

メイン：

自分のデッキを上から4枚オープンする。

その中の系統：〈光導〉を持つスピリットカード1枚を、コストを支払わず召喚する。

残ったカードは破棄する。

フラッシュ：

このターンの間、スピリット1体をBP+3000する。

「デッキトップ、オープン!!」

● オープンしたカード

・ 《イリテバン》(ブレイヴ)

・ 《剣馬グラニム》(スピリット)

・ 《北斗七星龍ジーク・アポドラゴン(赤)》(スピリット)

「くぬう…！イリテバンはブレイヴ、剣馬グラニムは違い、北斗まで落ちてしまうとは…」

「……………」

「当たらない…」

「さて、どうかな」

「最後の1枚…！」

・ 《光龍騎神サジツト・アポドラゴン》

「っ!？」

「おーっほっほっほおっ!!」

「来ましたわあ!! 系統：〈光導〉を持つわたくしの『切り札』!!」  
「『射手座』のカード…！」

「やはり…」

「そ、そんな強いんですか…?」

「黄道連ねる十二の星々がひとつ!」

赤き紅蓮の光にて、わたくしに栄光なる勝利を齎す天馬龍!!

《光龍騎神サジツト・アポロドラゴン》!!

レベル2にて…召オツ喚ツツ!!」

赤 スピリット

《光龍騎神サジツト・アポロドラゴン》

コスト8 軽減赤4 <光導・神星> 『射手座』

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

<5> Lv3 BP13000

シンボル：赤

???

「サジツト・アポロドラゴン…」

「レベルにはリーン、ダンテラビット、そしてブレイドラから確保いたしますわあ!」

「麒麟星獣リーン コア2↓1 レベル2↓1」

「ダンテラビット コア1↓0 消滅」

「ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア3 レベル2 BP10000」

「バーストをセットし、アタックステップ!」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「光龍騎神、ネオ・アークに指定アタックです!!」

「指定アタック…!」

「アポロドラゴンの系譜だね」

「ネオ・アークでブロックします」

「効果破壊もダメ、消滅もダメならば!叩き伏せれば良いだけのことですわあ!」



「っ…」

(祐依リザーブ1↓3)

「ターンエンド!」

〈祐依・第七ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ4↓9)

「:メインステップ。ネクサス《惑星十字直列》を配置」

(手札4↓3)

(リザーブ9↓7)

(トラッシュユ0↓2)

「マジック、《ネオ・ダブルドロウ》を使用します。デッキから2枚ドロウ。アルティメットであるUPテラトマホークがいるため、更に1枚ドロウ」

(手札3↓2)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ2↓4)

(手札2↓5)

「…:UPテラトマホークをレベル5にしてターンエンドします」

(リザーブ5↓1)

「アルティメット・テラトマホーク コア1↓5 レベル3↓5  
BP9000↓15000」

…祐依の手が止まった。UPテラトマホークのBPはレベル5で15000だが、ブレイヴ込みだとあの光龍騎神に太刀打ちが難しい。

「あああ〜? 意気込んでバトルをしたのは良いですが、手詰まりとはごおしたのですかあ〜?」

「動く時じゃない、と言ったところですか」

「下手にスピリットを展開すれば射手座に薙ぎ払われてしまうから妹は辛い状況だね」

「しかも大型を出せたとしても手札にはシャイン・ブレイザー。破壊されれば余計なダメージを受けてしまう。やや厳しい状況よ」

「……祐依」

〈沙織・第八ターン〉

「おーっほっほっほっ！やはりわたくしの射手座の前にはたとえ究極さえ敵いませんわねえ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ9↓0)

(リザーブ1↓10)

「メインステップ！《輝竜シャイン・ブレイザー》を光龍騎神に直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュユ0↓3)

輝竜シャイン・ブレイザー

← 直接合体

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (合体)

「コスト：8+5=13」

「BP：10000+5000=15000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤=赤赤」

「更にマジック《リバイヴドロ》！効果は2枚ドロを選択しますわあー！」

(手札1↓0)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ3↓6)

(手札0↓2)

「そして光龍騎神をレベル3に！」

(リザーブ4↓2)

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン(合体) コア3↓5 レベル2↓3 BP10000↓13000+5000≡18000」

「アタックステップ!光龍騎神、合体アタックですわあ!!」

「っ!」

「レベル3合体アタック時効果によりデブリ・ガードを破壊!そして光龍騎神はダブルシンボル!!」

(祐依リザーブ1↓2)

「ライフで——」

「ああ!フラッシュ放棄ですかあ?」

「っ!」

「ならばわたくしのマジック《バーニングサン》を使わせていただきます!!」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ6↓7)

「アポロの名を持つスピリットに、手札よりブレイヴを合体させるようノーコストで召喚します!!」

「またノーコスト!」

「…このタイミングでバーニングサンを切った、ということとは」

「あの1枚は間違いなく…」

「《トレス・ベルーガ》を直接合体ツ!!」

っ?! な、いや、待て!

普通、スピリットに合体できるブレイヴは1つだけだろ?!何でもう1つ合体できるんだ?

「初心者…ゆき、さん?のために特別にこの!わたくしが!光龍騎神の効果をお教えしますわあ!この光龍騎s」

「姉さん、この光龍騎神は、ブレイヴを2つ合体できる”特殊なスピリットなんだよ”」

「ちよ、ちよつと祐依さん!」

ブレイヴ2つと合体できるって…!? それ反則だろ!?

「姉さんへの説明は私が出します。妹の役目ですので」  
「むきーっ!!」

(沙織手札1↓0)

トレス・ベルーガ

← 直接合体

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (双合体)

「コスト：8+5+5=18」

「BP：13000+5000+6000=24000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤+青=赤赤青」

《光龍騎神サジツト・アポロドラゴン》

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットはブレイヴ2つまでと合体できる。

Lv1・Lv2・Lv3

系統：＜光導＞／＜星魂＞を持つ自分のスピリットすべては、アタックするとき相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

【合体時】Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットのブレイヴ1つにつき、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「更にい！合体後、光龍騎神は回復!!」

合体して回復だ?! じゃあ、今のアタック含めてもう1回トリプルシンボルのアタックが飛んでくるのか…!?

赤 マジック

《バーニングサン》

コスト3 軽減赤2

フラッシュ:

自分の手札にあるブレイヴカード1枚を、カード名に「アポロ」と入っている自分のスピリット1体に直接合体するように、コストを支払わずに召喚し、そのスピリットを回復させる。

「……………」

「この光龍騎神の猛撃！ アルティメットであろうと止めるのは不可能に近いですわぁ!!」

「それは、どうでしょうね…」

「生意気…ッ!!」

赤 ブレイヴ

《輝竜シャイン・ブレイザー》

コスト5 軽減赤2青2 <星竜・機竜>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：赤

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

BP8000以上の相手のスピリットを破壊したとき、破壊したスピリット1体につき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「ライフで受けます!」

(祐依ライフ4↓1)

(リザーブ2↓5)

「っ…!」

「命拾いしましたわねえ。もしBP8000以上のスピリットが1体でも立っていたら祐依さんの敗北でしたのにい」

…!?バーストを使わない?! まさか発動条件が違うのか!? ブラ

フ…なのか…?

「ターンエンド! 見逃して!あげますわぁ!」

「…ふう」

〈祐依・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札5↓6)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ6↓10)

「メインステップ。…よし」

…? 祐依、何か引いたのか?

「では、『反撃の狼煙』を上げます」

「…っ」

「暗闇に映る見えない星。《ダークマタードラゴン》をレベル1で召喚します」

(手札6↓5)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュ0↓2)

「ダークマタードラゴン コア1 レベル1 BP3000」

「ちよつとお! 支払うコストが違うじゃない!」

「合ってますよ」

「嘘おつしやい! アルティメットのシンボルは軽減にならない——」

「ダークマタードラゴンの軽減を良くご覧になってください」

「失礼! ……!?! 金の軽減シンボル!?!」

赤 スピリット

《ダークマタードラゴン》

コスト4 軽減赤2金1 <星竜>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP7000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分のトラッシュにあるコスト5以下の赤のスピリットカード／アルティメットカード1枚を手札に戻す。

Lv1・Lv2・Lv3

お互いの効果で、このスピリットのコアは0個にならない。

Lv1・Lv2・Lv3 『???』

???

「ダークマタードラゴンの召喚時効果。私のトラッシュにあるコスト5以下の赤のスピリット、もしくはアルティメット1枚を手札に戻し

ます。…戻すのは《デブリ・ザード》

(手札5↓6)

「そして《デブリ・ザード》を召喚」

(手札6↓5)

(リザーブ7↓6)

「デブリ・ザード コア1 レベル1」

「デブリ・ザードのスピリットソウル発揮…！」

来るか…！ 祐依の赤のアルティメット！ Uプレラトマホーク  
だけじゃ終わらないとは思ったが、これは…！

「命喰らう修羅の星。」

絶対の生命は、究極へと到りし災厄の龍…！

《アルティメット・ガイ・アスラ》！

レベル3で、降誕!!」

「アルティメット…『ガイ・アスラ』だって…！」

「あの幻羅星龍も究極に…」

「このデツキの切り札、切ります」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ2↓6)

「アルティメット・ガイ・アスラ コア1 レベル3 BP1500  
0」

「が、『ガイ・アスラ』…ですってえ?!」

「Uプレラトマホークのコア2つをUガイ・アスラに、残ったりリザーブ  
のコアをダークマタードラゴンに」

「アルティメット・プレラトマホーク コア5↓3 レベル5↓4」

「アルティメット・ガイ・アスラ コア1↓3 レベル3↓4 BP  
15000↓25000」

(リザーブ1↓0)

「ダークマタードラゴン コア1↓2」

「アタックステップ」

「来ますわね…！」

「そこにダークマタードラゴン、レベル1から、Uガイ・アスラに対する効果発揮します！」

「な…!?!」

Uガイ・アスラに効果を及ぼす効果…? こっちの緑のデッキもアルティメットに効果を及ぼすのも入ってるが、一体……。

「Uガイ・アスラのレベルを最大の“6”まで引き上げます！」

「…!?! ろ、ろ…6です…てえ!?!?!」

「アルティメット・ガイ・アスラ レベル4↓6 BP25000↓50000」

《ダークマタードラゴン》

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

カード名に「ガイ・アスラ」と入っている自分のアルティメットすべてをレベル6として扱う。

赤 アルティメット

《アルティメット・ガイ・アスラ》

コスト8 軽減赤4 <新生・神星・星竜>

<1> Lv3 BP15000

<3> Lv4 BP25000

<5> Lv5 BP35000

<10> Lv6 BP50000

シンボル：金

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

???

び、BP5万!?!レベル“6”!?! …太刀打ちとかそういう次元飛び越えてないか!?!

「馬鹿げてる…」

「元祖の幻羅星龍も初めて出た時は唯一レベル4を持っていたからね。驚くのも無理はないよ緋立姉」

「……………」

「おや。碧は早速あれをどう攻略するか分析し始めてるな?」

「Uガイ・アスラ、アタック！」



「っ！」

「アルティメットトリガー、ロックオン！ ……さあ、デッキトップをオープンし、カードとコストを宣言してください」

「……っ!? コスト6 《太陽龍ジーク・アポドラゴン》…！」

ヒットした！ だが問題はヒット効果だ。私のUジークフリーデンより1つコストが高い上にとんでもないBPとレベルだ——

「『クリティカルヒット』」

「っ!?!?」

「クリティカル!? コスト6なのに!?!」

「緋立姉の使ったUビヤクガロウは、クリティカルヒットだっけ？  
その条件は何だったけ」

「えっと…、コスト3以下です」

「……見立てとして、『スピリットカードなら』、と言ったところで  
しょうか」

「佐々森先輩、その通りです。このUガイ・アスラよりコストが低いスピリットカードなら全てクリティカルヒットになります。そしてクリティカルヒット効果を解決します」

「ど、どんな…」

「私のトラッシュのスピリットカード1枚を手札に戻します。戻すのは《生還者ネオ・アーク》」

(手札4↓5)

「ふ、ふん！スピリットを回収したぐらいで…」

「ヒット時効果を忘れていませんか？」

「っ!?!」

「私の全スピリットのコアすべてをUガイ・アスラへ！」

「『ダークマタードラゴン コア2↓1』」

「『アルティメット・ガイ・アスラ コア3↓4』」

「【超覚醒】か!」

「…でも回復しないみたいよ」

「な、え…?」

【超覚醒】…って何だ？ と、とにかく、あのダークマタードラゴン

もコアが0にならないってことは、自分からの効果からも大丈夫なのか。…でも、コア集めるだけして、何がしたいんだ？

「このヒット効果でコアが1つ以上移った場合、琴識先輩のライフ1つをリザーブへ落とします！」

「はあ!? こ、こちらのフィールド状況関係無しにライフブレイクって…インチキ効果も大概にしなさい!!」

(沙織ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

《アルティメット・ガイ・アスラ》

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5・Lv6 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分のスピリットすべてのコアすべてをこのアルティメットに置き、コアが1個以上置かれたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードがスピリットカードなら、さらに、自分のトラッシュにあるスピリットカード1枚を手札に戻す。

「さあ、メインのアタックです。BP50000のUガイ・アスラに立ち向かうのは誰ですか？」

「ぐ…っ！ リーンでブロックしますわあ！」

「比べるまでもありません。そしてUガイ・アスラ、レベル4からの効果発揮！」

「な、ま、まさか…!?!」

「破壊したスピリットのコアすべてをボイドへ送ります！」

「麒麟星獣リーン 破壊 コア↓ボイドへ」

…もう目茶苦茶だろ。相手の場お構いなしのライフ破壊に、スピリットを破壊したら乗ってるコア全部ボイド行きなんて…。

《アルティメット・ガイ・アスラ》

Lv4・Lv5・Lv6 『このアルティメットのアタック時』

破壊された相手のスピリットのコアすべてはボイドに置かれる。

「まさにガイ・アスラそのものか…」

「このまま琴識さんが対抗できなければ、あと2ターンで終わりますよ。」

先程手札に入った生還者ネオ・アークは効果破壊、消滅効果に耐性を持っている。次の琴識さんのターンでダークマタードラゴンとデブリ・ザードが破壊されても、リカバリーが既にある。…琴識さん、この場面をどうするかしらね」

「ターンエンド」

〈沙織・第十ターン〉

「す、スタートステップ…！」

(リザーブ2↓3)

(手札0↓1)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ3↓10)

「こ、このわたくしが…極限に追い詰められている…?」

「手札は1枚。場にはダブルブレイヴスピリットのみです」

「…くう…!! で、ですが、まだ終わりではありませんわよお！」

「そうですか」

「わたくしは、優雅部部长…！」

部員数30人を束ねる責任者…!!

退きません!!

媚びへつらいません!!!

反省しません!!!

「いや反省はしてくれな」

「…窓硝子に亀裂が」

「あががが…み、耳があ…」

「優雅部部长に、逃走はありませんわあ!!」

「……………」

「ちよ、ちよつと、聞いてますの?」

「……………?」

……あ、祐依間近であの大音量が直撃したから耳がキーンってなつてよく聞こえないのか。

手でちよつと待つてと制して目を閉じた。

「……はい。なんでしよう」

「…あ、あの…ですわねえ…」

あの真剣な場面が自分の声で台なしになるとはなんとも締まらない優雅部だ。

「……………《ハンドリバース》使用よろしくて?」

「? どうぞ」

「どうも。では今現在の祐依さんの手札と同じ枚数になるようドローいたしますわあ」

(手札1↓0)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュ0↓5)

(手札0↓5)

「ではアタックステップ!ダブルブレイヴスピリットでアタック!!」

佐々森先輩が何処かに電話を掛けている…つてちよつと目を離れた際に琴識先輩が臆せずアタックを仕掛けた。

「光龍騎神の合体アタック時効果発揮! 光龍騎神に合体しているブレイヴ1つにつき、そちらのBP10000以下のスピリット1体を破壊します!合体しているのは《輝竜シャイン・ブレイザー》と《トレス・ベルーガ》。よつて《ダークマタードラゴン》と《デブリ・ザード》を破壊しますわあ!!」

「ダークマタードラゴン 破壊」

「デブリ・ザード 破壊」

(祐依リザーブ0↓2)

「迂闊に破壊してよかつたんですか?」

「合体を解けば良いと? ふつ…、知れたこと。ですわあ」

「…そうですか。ならばスピリット破壊をトリガーにバースト発動、《双光気弾》! デッキから2枚ドロし、追加コストを支払い光龍騎神のブレイヴ1つ、トレス・ベルーガを破壊させてもらいます!」

(バースト:セット↓発動)

(祐依手札5↓7)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ6↓8)

「トレス・ベルーガ(合体中) 破壊」

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン(合体) BP24000↓1  
8000」

「フラッシュ前にトレス・ベルーガを破壊出来たつもりですが、そうは行きませんわぁ!!」

「っ!」

「フラッシュタイミング! 《バーニングサン》! 2枚目!」

(沙織手札5↓4)

(リザーブ5↓4)

(トラッシュユ5↓6)

「呼び出すのは2枚目の《トレス・ベルーガ》!!」  
(手札4↓3)

2枚目…!

「直接合体させ、回復!」

「2枚目…:Uプラトマホークでブロック」

「叩つ斬つてくれます!!」

(祐依リザーブ0↓3)

「さぁ!再び合体アタックですわぁ!! その手札でも使えるコア、使えるマジックは限られています! ご自慢の切り札Uガイ・アスラを自壊させたくなくば何とかしてみせなさいな!!」

「……………」

「トレス・ベルーガの合体アタック時効果発揮!わたくしのデッキを上から6枚破棄!」

●破棄されたカード

・《サジットタフレイム》(マジック)

・《光り輝く大銀河》(ネクサス)

・《光り輝く大銀河》(ネクサス)

・《光龍騎神サジット・アポロドラゴン》(スピリット)

・《ホーク・ブレイカー》(ブレイヴ)

・《金牛龍神ドラゴニック・タウラス》(スピリット)

「むっ、金牛が無駄落ちしてしまいましたか。しかし、この破棄した中に系統：＜光導＞を持つスピリットカード、サジット・アポロドラゴンが落ちたため、アタックしている光龍騎神はBPを+6000し、回復します!!」

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン(双合体) BP24000↓  
30000 疲労↓回復」

青 ブレイヴ

《トレス・ベルーガ》

コスト5 軽減青2赤2 <異合>

<1> Lv1 BP6000

<0> 合体 +6000

シンボル：青

【合体条件：光導】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分のデッキを上から6枚破棄することで、このスピリットをBP+6000する。

この効果で自分のトラッシュに系統：＜光導＞を持つスピリットカードが1枚以上置かれたとき、このスピリットは回復する。

「：フラッシュユタイミング」

「どんな手を切るのかしらあ?」

「マジック、《デルタバリア》を使用。不足コストはUガイ・アスラから確保します」

(手札7↓6)

(リザーブ3↓0)

「アルティメット・ガイ・アスラ コア4↓3」

(トラッシュ8↓12)

「これによりコスト4以上のスピリットのアタック、効果、マジックの効果では私のライフは0にはなりません」

「まあ妥当と言ったところでしよう。ターンエンド」

「バリアや、ウォールを一度打てるコアならなんて事はありません」

白 マジック

《《デルタバリア》》

コスト4 軽減白2

フラッシュ:

このターンの間、相手のスピリット/マジックの効果と、コスト4以上のスピリットのアタックでは、自分のライフは0にならない。

〈祐依・第十一ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札6↓7)

(トラッシュユ12↓0)

(リザーブ1↓13)

「:メインステップ。さて、ここで終わらせましょうか」

「:なんですってえ?」

「《生還者ネオ・アーク》を召喚」

(手札7↓6)

(リザーブ13↓10)

(トラッシュユ0↓2)

「生還者ネオ・アーク コア1 レベル1」

赤 ネクサス

《《惑星十字直列》》  
わくせいじゅうじちよくれつ

コスト3 軽減赤2

Lv1・Lv2

自分の手札にある赤のスピリットカードすべての軽減シンボル「赤」1つを軽減シンボル「金」としても扱う。

Lv2 『自分のアタックステップ』

系統:〈星竜〉を持つ自分のスピリットが相手のスピリットにブロックされたとき、

その自分のスピリットをBP+5000する。

「更に《リ्यूマン・ティーガー》をレベル1で召喚」  
(手札6↓5)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュユ2↓4)

「リューマン・ティージャー コア1 レベル1 BP1000」

「そして――。」

雷よ、新たな輝きをその身に纏い天を裂け！

《アルティメット・ジークヴルム》！

レベル5で召喚!!」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓0)

(トラッシュユ4↓7)

「アルティメット・ジークヴルム コア4 レベル5 BP17000」

「アルティメット：ジークヴルム!? まさか、あの“雷皇龍”まで究極化していたなんて…。勝負の最中ですが、少し感動してしまいましたわあ…」

「私も、その気持ちは同じです。：アタックスステップに入ります。」

リューマン・ティージャー、レベル1からの効果発揮。私の場の系統<竜人>と<星竜>を持つスピリットとアルティメットすべてのBPをプラス5000します」

「リューマン・ティージャー BP1000+5000=6000」

「生還者ネオ・アーク BP3000+5000=8000」

「アルティメット：ガイ・アスラ BP25000+5000=30000」

「アルティメット・ジークヴルム BP17000+5000=22000」

赤 スピリット

《リューマン・ティージャー》

コスト4 軽減赤2 <竜人>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：赤



Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：＜竜人＞／＜星竜＞を持つ自分のスピリットすべてをBP＋3000する。

自分のアルティメットがいる間、かわりに、系統：＜竜人＞／＜星竜＞を持つ自分のスピリット／アルティメットすべてをBP＋5000する。

Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：＜竜人＞を持つ自分のアルティメットがアタックしたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

この効果は重複しない。

「Uジークヴルム、アタック!!」

「っ!」

「アルティメットトリガー、ロックオン!」

「——コスト4、《デルタバリア》ですわあ…!」

「ヒット! UジークヴルムのBPを更に10000プラス!」

「なっ…!?!」

「アルティメット・ジークヴルム BP22000+10000＝32000」

「おいおい元祖ガイ・アスラの最大BP越えたぞ」

「…やはり、ジークの系譜はこうでなくては」

「し、しかし!光龍騎神のBPをいくら上回ろうとも、バトルしなければ無意味ですわあ!」

「それはどうでしょうね」

「っ!?!」

「Uジークヴルム、レベル3からの効果!」

〃 【真・激突】 〃 !!」

【真・激突】…!?!

あのアクウイラムが持ってた【激突】の強化版か!?

「真…激突…!?!」

「この【真・激突】は、アルティメットをも対象に入れられる進化した激突!」

赤 アルティメット

《アルティメット・ジークヴルム》

コスト6 軽減赤3 <新生・星竜・竜人>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP13000

<4> Lv5 BP17000

シンボル：金

Lv3・Lv4・Lv5

系統：<星竜>を持つ自分のスピリット／アルティメットすべてに

〃 【真・激突】『このスピリット／アルティメットのアタック時』

相手は可能ならスピリット／アルティメットでブロックする〃

を与える。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットをBP+10000する。

【真・激突】を与える効果も、まさにジークヴルムそのもの…!」

「さあ!光龍騎神でブロックしてください!!」

「お望み通り、光龍騎神がお相手致しましょう!!」

A t t a c k !!

アルティメット・ジークヴルム

BP17000+5000+10000=32000

v s

D e f e n s e !!

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン+輝竜シャイン・ブレイザー+トレス・ベルーガ

BP13000+5000+6000=24000

「Uジークヴルムが勝っています!」

「そうは行きません!! フラッシュユタイミングでマジック《ネクサスコラプス》! 合体スピリットである光龍騎神のBPをプラス5000します!!」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓3)

(トラッシュユ6↓7)

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン (双合体) BP24000+

50000≡29000」

赤 マジック

《ネクサスコラプス》

コスト3 軽減赤2

メイン:

ネクサス2つまでを破壊する。

フラッシュ:

このターンの間、合体スピリット1体をBP+5000する。

「更にもう1枚《ネクサスコラプス》を使用!! 更にBPプラス500

0!!」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュユ7↓8)

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン (双合体) BP29000+

50000≡34000」

「並んだか…!」

「しかし、祐依さんの手札にパンプアップするのマジックがあったら  
すぐにでも越えられる数値…」

「:フラッシュユタイミング!」

「く…っ」

「マジック《フレイムバースト》! 不足分コストはネオ・アークから  
!」

(手札4↓3)

「生還者ネオ・アーク コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ7↓8)

「UジークヴルムのBPをプラス2000!」

「アルティメット・ジークヴルム BP32000+2000≡3

4000]

赤 マジック

《フレイルムバースト》

コスト3 軽減赤2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

BP3000以下のスピリットすべてを破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+2000する。

「…何故です？」

「…何でしょう」

「何故Uガイ・アスラのレベルを上げアタックしなかったのですか？」

「…個人的な我侷、でしょうか」

「ほう…」

「勿論バトルには勝ちたいです。勝ちます。…でも、自分勝手に我が儘で、相手を侮辱しているとは思いません。けど……」

「けど？」

「“ガイ・アスラ”に“光龍騎神”が“負けてほしくなかった”んです」

「………はあ……。本当に、自分勝手ですわねえ。わたくしも舐められたものですわあ」

「…ごめんなさい」

「しかし」

「………」

「その気持ち、理解出来ます」

「…本当に、ごめんなさい」

「ふっ……！ ならば、究極となった雷皇龍と相討ちとなるのも、また運命!!」

「光龍騎神、破壊します……！」

「シャイン・ブレイザーとトレス・ベルーガは場に残します！」

Attack!! ↓ Draw!!

アルティメット・ジークヴルム

BP17000+5000+10000+20000=34000

vs

Defense!! ↓ Draw!!

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン+輝竜シャイン・ブレイザー+

トレス・ベルーガ

BP13000+5000+6000+5000+5000=3

4000

「アルティメット・ジークヴルム 破壊」

(祐依リザーブ0↓4)

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン 破壊」

「輝竜シャイン・ブレイザー 残留 コア1 レベル1 BP50

00」

「トレス・ベルーガ 残留 コア1 レベル1 BP6000」

(沙織リザーブ2↓5)

「相打ち、ですわね」

「やっぱり、サジツト・アポロドラゴンはこうでなくちゃ」

「次は完璧に倒してさしあげますわあ」

「ふふっ。…リユーマン・ティーガーでアタック！」

「ライフで受けます！」

(沙織ライフ2↓1)

「Uガイ・アスラ、アタック！アルティメットトリガー、ロックオン！」

「……………っ」

「コストは…！」

「…コスト5、ブレイヴ《牙皇ケルベロード》」

「ヒット！スピリットすべてのコアをUガイ・アスラへ！」

「リユーマン・ティーガー コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ガイ・アスラ コア3↓4」

「そしてコアが1つ以上Uガイ・アスラに移ったため、ライフ1つをリ

ザーブに！」

「……ふふっ！ この敗北、このバトル!! 忘れませんわあ!!」  
(沙織ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 祐依〕

## 新しい銀は守護の盾

「……………」

ここは巷のカードバトラーが集うカードショップ『縁（えにし）』。そしてその店内の隅にあるテーブルに、本来年頃女性、いや、女性ならしてはならないような、今にも病院送りにされる株で有り金溶かしたような顔して虚ろな目で宙空をただボンヤリと見ている少女。

彼女こそ、白鐘 璃恵（しろがね りえ）“本人である。”

「だらし無き過ぎて怒る気にもなれないわ」

「悠姫お姉さんが来れなかった事がそんなにショックだったのですか？」

「いいえ。おそらく今さっきやったバトスピくじで5枚《暴双龍ディラノス》が当たったのがショックなんでしょうね」

「あつ…」

その白鐘璃恵が座る向かいには彼女の心配なぞするだけ無駄と、デッキを調整している全身黒と紫のゴスロリファッションで固めている少女、名を『瀟紫 彩音（みおげ）』。魂の名を『ゾルマルタ・レーテル・トゥルーリース・蛇剝（じやくり）』。

そしてもう一人、哀れみの視線を送る眼鏡を掛けているボーイッシュな少女。このカードショップ『縁』の看板娘、『翠乃 真桜（みどりの まお）』。

この三人は何をやっているのか。

簡単に言えば、『新弾カードの品評会』だ。しかし、驚かせようと思つた当人、『緋立 悠姫（ひだち ゆき）』が生徒会の用事にて来れなくなつたため敢え無くお流れ。仕方ないので先に三人で悠姫にオススメできるように把握しておいてプレゼンする、といった感じだ。

「あ……大きな星が点いたり消えたりしてる…。彗星かナ…？」

「いつまで刻の涙を見てるつもりよ。とつと戻ってきなさい」

「……はッ!? ……あれ、母さんです…」

「…彩音さん、どうしましょう?」

「こうするのよ」

いつまでも向こう側から戻らない璃恵に苛々が有頂天となった彩音が、本人と同じくゴシック調にカスタマイズされたヘッドフォンを取り出し璃恵に装着させた。

「秘奥義、魔導兎十七音波（マジカルウサミンパワー）」

「……………?!?!?!  
!??!?! うわアアアアッ?! う、ウサミン星人の意識がアああ…?!」

つまりは、ボリウム全開大音量で電波曲を流しただけ。

「ウ…………ウサミイイイン…!!」

「戻った？」

「ら、ラブリー17歳には、勝てなかつたヨ…………」

「でサ、二人ともデツキ組み終わつたのかな？」

「さつきとまるで別人なのですよ」

意識を取り戻し落ち着いた璃恵は今まで何もなかったように普通の少女の姿を取り戻していた。：嫌な出来事だったと闇に葬ろう。

「私はまだ掛かりそう」

「ボクは終わったのですよ。【分身】と【神速】が強くなって万々歳なのですよー」

「オツケオツケ♪」

「あんたはどうなのよ」

「ワタシ？ いや〜ほら？ 白ツて最強じゃん？ ちヨちヨいと弄れば済んじやうから大丈夫なのヨ♪」

わざと鼻につくような態度でデツキは大丈夫と自慢する璃恵。現在『最強』へと近い白を扱う彼女だ。

「腹立つわ」

「新しく青が貢いでくれたからネ〜♪ そこそそ役に立つからサ♪」

「青には恩恵がなさすぎるのですよ」

「青は何をトチ狂ったのかしらね…。霸王編でも【バライオン】や【巨人港キャッスルバラガン】で暴れたの忘れたのかしら」



「あれも酷かったのですよ」

噂の新弾カード『アルティメットバトル02』。

アルティメットをサポートするカードを封入し、アルティメットの更なる能力「クリティカルヒット」を内蔵したXレアが登場した弾だ。「彩音さんは何を悩んでいるのですか？」

「この紫のアルティメットのこと、ちよつとね」

「《アルティメット・ベルゼビート》なのですね」

「ええ。あの魔界七将の一角、呪撃の覇者である《魔界七将ベルゼビート》よ」

「それサ、ぶツ壊れもいいとこなんじゃない？ 白のことも言えないヨ」

「…ちよつと言いつ返しえないのが悔しいわ」

《アルティメット・ベルゼビート》。

02の紫Xレア。璃恵と彩音がやや手厳しい事を言っているが、たしかに少々効果が穏やかではない。

「これのおかげでやれる事が爆発的に増えたのは良いことよ」

「増えたアー!!」

「さ、魚ア…!?! なのですよ」

「世紀末ワニムは帰りなさい。…こんなストレートに強力なカード。

《虚皇帝ネザード・バアラル》、《騎士の霸王ソーディアス・アーサー》、

《冥府三巨頭ザンデ・ミリオンの》、《冥府三巨頭クイン・メドワーク》に並ぶ強さよ」

彩音が挙げたカードはどれも紫なら保々と言って良い程入っている可能性があるカードばかり。

特にザンデ・ミリオンはまるで「アンチ白」としてデザインされたかのような強さを誇る。デッキによるが紫を使う者なら必須に近い。

「とにかく、もう少し悩ませてちょうだい」

「アイアイサ。……お？」

彩音にまだ掛かると言われどうしようか悩む璃恵。真桜とスパーリングしようか考えた矢先、視界の隅に何かを捉えた。

気になってそちらに目をやると、こちらと離れた席で何やら揉め事が起こったらしい。

「ありヤ、何トラブル？」

「…最近多いわね」

「ルールや裁定で揉めることが多くなってちよつとウンザリなのですよ」

璃恵が記憶する限り、ルール場での騒ぎは『森羅龍樹リーフ・シードラ』のマジック封じの範囲についてとか『アルティメット]に対するフィールド指定コアシユート』ぐらいだったとぼんやり思い出す。…ここからでは何を揉めているのか判らないが、少し体格の大きい少年が、小さい子相手に何かを強く言っているみたいに見える。

「止めてくるのですよ」

「あーならワタシも行くヨ。暇だしネ」

真桜が仲裁に入るため動き出す。しかし相手は少年のようかもしれないが男だ。真桜一人じゃ何かあつた時に対応できるのは璃恵ぐらいだろう。

「だから！お前もうちよつと耐えろよ！」

「そ、そんなこと、わたしに言われても…」

「お前がヘタクソなのが悪いんだろう?!」

「ハイハイ、ちヨツといいカナ〜♪」

「喧嘩はダメなのですよー」

近付いてみれば、涙目になっている子は女の子だった。——その時璃恵に電流走る。

「なんだよあんたら」

「ボクはお店の人なのですよ。周りの人の迷惑になるから喧嘩は止めてほしいのですよ」

「喧嘩なんかしてねえよ！こいつがヘタクソすぎるからムカついただけだー！」

聞いてみればなんてことは無いただの言い掛かりだった。

対戦している女の子はまだ初心者らしく、しかもまだ始めて間もないよう。そして怒鳴っている相手はまあ、璃恵と真桜からしたら偏った知識を付けた下の中級者。

(タチの悪いのに捕まっちゃッてるナ)

つまり簡単に言っと

「ム力つくぜ…！何でオレに気持ち良くファンサービスさせねえんだ  
!!」

という事。…自分が気持ち良く勝てるくらい抵抗しろと無茶を  
言っているらしい。

「キミ、それマジで言ってるの？」

「悪いかよ！」

「いや悪いも何もサ…」

かつて銀嶺、現在は白銀と呼ばれた流石の璃恵もこれには苦笑い。  
無茶苦茶である。

「……………」

「こいつが弱いのが悪い！」

「あ?…」

「璃恵お姉さん落ち着くのですよ」

「…………ちヨいこの女の子とお話ししてくるからサ、真桜ちゃんヨロシ  
ク〜♪」

「えっ…、あの…」

「仕方ないですよ」

璃恵は涙目になっている女の子を引き連れ、お店の裏に來た。真桜  
の姉で店長の「翠乃 董(みどりの すみれ)」に許可は取ってある。  
事情は後でまとめて何とかするとか。

「さてはて、お嬢ちゃんお名前は？」

「…理絵(りえ)」

「リエー！ Oh〜♪運命感じちゃうヨ〜♪」

「え…?…」

「お姉さんも、璃恵ツてんだ♪」

「同じ、名前…」

女の子に少しだけ笑顔が見えた。

「まったく、小学生は最高だぜ！(まったく、小学生は最高だぜ!)」

「…?」

フムフム〜ン? つまりだ、始めてデツキを買って友達を待ツてるときに、ティーチングしてやると言われ無理矢理やらされたそうなんだ。

おいおいあのKG(クソガキ) 〓サンこんな可愛い子を捕まえてお……ン……ッ! とにかく、これはケジメ案件ですナア。

「とにかくサ、ここはお姉さんにまツかせなさい」

「ほんと…?」

「ホントホント」それが終わツたら、お姉さん達と一緒にバトスピやろうネ」

「…! うん…!」

「OK〜♪ Good Smileヨ」それじゃあお姉さんと指切りしヨッ」

「う、うん…。ゆーびきーりげんまん…」

「うツそつーいたら禁止制限無視したミカファールセイリユービライフチエインイビルオーラ表彰台喰ーらわーせる」指切ツた」

「…みか?」

へーイ真桜ちゃん! 璃恵お姉さんとりツちゃんが手を繋いで戻ったヨー!

…ツとと、戻れば真桜ちゃん苦笑いで隠してるけどウンザリしたよ  
うな顔してるネ。余程くだらない話聞かされたんだろうナ。

「おまたせ〜」

「あ、お帰りなさいなのですよ」

「ゴメンネ〜待たせて〜」

とりあえずりツちゃんを真桜ちゃんに預け、真桜ちゃんが座ツてた席に代わりに座る。KG 〓サンと対面する感じだネ。

「キミさ、初心者に対してアレは無いんじゃない?」

「オレが悪いのかよ」

「悪くないとでも?」

「悪くねえ」

「あそう？ お姉さんもちヨツとはやるんだヨ？」

「んじやあバトルしようぜ。勝ったらオレの手下になってもらうかな」

「おうおう今の時代にガキ大将かい？ 手下ツてのはノンセンスだヨ。」

「じゃあお姉さんが勝ツたら、どうする？」

「何でも言うこと聞いてやるよ。負けねえけどな」

「お？ 言うネ。銀河バトスピ法に乗ツ取ツちャう？」

「は？何言ッてんの？」

「……………」

うーッわ：冗談すら最近の子供には通じないかー。これは一度徹底的に叩きのめさなきやダメなタイプかな。まあ本命デツキじゃないけど本気で行ッて構わないよネ。

白鐘 璃恵

【??】

vs

KG || サン (名前知らないしイイよネ♪)

【??】

〈璃恵・先攻第一ターン〉

「先攻イタダキ♪ ワタシのターン♪」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステッ——」

「……………ん？」

パチパチとうるさいなア…。下手な手札シヤカパチだからただうるさいだけだし…。マナー悪いなー。バトスピから人を遠ざけないでほしいヨ。近くで観戦してるリツちゃんもまた不安そうな顔になッてるし。

「なんでもないヨ♪ …リツちゃん、心配しなくて大丈夫だからネ♪  
改めてメインステップ。…んじゃあここは、ネクサス《甲竜の狩り  
場》を配置しよっかな♪」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「更にバース——」

「……………ふーん」

「あ、ちヨ!?勝手にカード触るなヨ!あと投げて返すな!」

「態度最悪なのです…」

「…お姉さん、大丈夫かな」

白青 ネクサス

《甲竜の狩り場》

コスト4 軽減白2青1

<0> Lv1

<3> Lv2

シンボル：白青

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：<甲竜>を持つ自分のスピリット／アルティメットすべてを  
BP+2000する。

Lv2 『相手のメインステップ』

相手のスピリット／ブレイヴすべての『このスピリット／ブレイヴ  
の召喚時』効果は発揮されない。

「もく。…バーストセットしてターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

急にネクサス持つてくからびっくらこいたヨ。良かったく別デッ  
キで。これが本命デッキだッたらキレてたかもしれんネ。

〈KGⅡサン・後攻第二ターン〉

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

(リザーブ5↓1)

(手札5↓4)

(トラッシュ0↓3)

「メイパロット コア1↓2 レベル1↓2」

…無言な上にプレイ目茶苦茶デスカ。……ん？ いきなりメイパロット疲労させたけど、何さ。あと貧乏揺すりもうるさい。

「……………」

「……何？」

「早くしろよ」

「何してんのかわかんないの」

「アタックしてんだよ。見て分かれよ。……ったく」

「……ふーん。ライフで受けるヨ」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「……………」

……終わりかな。まアできることないし、てか……気分最悪。こんな奴に可愛い子の笑顔が奪われたと思うとこの白銀の璃恵、胸が痛くてしよぅがないヨ！

「スタ——」

「あ、伏せ忘れ。伏せるわ」

(KG手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「は、ちよ…、何してんのサ」

「いいだろ別に。いちいちうるせえな」

……決めた。コイツ、ブツ潰す。

「こっちのターンでいいね？」

「……………」

〈璃恵・第三ターン〉

「……スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ」

……「勝ち筋が視えた」。

「まず《ゲッコ・ゴレム》を0コスト召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓5)

「ゲッコ・ゴレム コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「……」

「おツと。だから、勝手に触るなツての」

また勝手にカード触られそうだったからすかさずガード。

「ゲッコ・ゴレム、レベル1からの効果。メインステップの間白のシンボル2つ追加ネ」

「…?」

「あ、このカードなのですよ。ゲッコ・ゴレムは、ここにある青のシンボルに加えて、白のシンボル2つ、璃恵お姉さんのメインステップの間増えるのですよ」

「…ありがとう。…でも、かわいくない」

「そればかりはどうしようもないのですよ…」

青 スピリット

《ゲッコ・ゴレム》

コスト1 軽減青1 <甲竜・造兵>

<1> Lv1 B P 1 0 0 0

<2> Lv2 B P 2 0 0 0

シンボル：青

L v 1 ・ L v 2 『自分のメインステップ』

このスピリットに白のシンボル2つを追加する。

「《ボーン・ダイル》の青版作らせるなんて白はやっぱりえげつないのですよ」

「真桜ちゃん？ 驚くのは まだ 早い！」

ワタシこそ最強の銀河<sup>ギャラクシーアイズ</sup>眼使いの決めポーズを取り、リツちゃん



の眼差しを釘付けにする。何かカツコイイみたいな視線感じてイイゾ〜♪

「調和と生命の銘を受けし双砲翡翠の竜！」

《ヒスイ・キャノン・ドラゴン》！レベル1で召喚♪」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓2)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア1 レベル1 BPP5000」

「…は？」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴンの召喚時効果発揮♪ ワタシの手札にある系統：＜甲竜＞を持つスピリット、または『アルティメットをノーコストで召喚』できる！」

「汚い白さすが白きたないのですよ。遂にアルティメットまで踏み倒すなんて！」

「Uモノケイロスも同じようなもんじゃん真桜ちゃん」

とにかく！これで叩き伏せる準備は完了♪ 喚ぶのはモチロン：

♪

「大いなる海原に燦然と輝くは、星を頂く第七の栄光！」

誇りを胸に、世界を護るためにいざ出航!!

《甲竜戦艦エンタープライズ》!!

レベル1にて、抜錨ツ!!」

白 スピリット

《甲竜戦艦エンタープライズ》

コスト10 軽減白5青1 <甲竜>

<1> Lv1 BPP10000

<2> Lv2 BPP12000

<3> Lv3 BPP15000

シンボル：白白

???

「コスト10…もうやばそうな臭いがプンプンするのですよ…」

「ウププ…♪ テンション持ち直してきたヨ♪ 真桜ちゃん、リッ

ちゃん！Cheer-ingヨロシク♪」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓1)

「甲竜戦艦エンタープライズ コア1 レベル1 B P 1000  
0」

「ち…?」

「応援してっことなのですよ」

「あ、そうなんだ…。うん、応援、する…!」

「TURN END!そちらの番だヨ。クソガキ!!サン♪」  
「なっ…!?!」

〈KG・第四ターン〉

「バカにしやがって…!」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「ちっ…!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「ダンデラビット コア1 レベル1」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「メイパロット コア2↓1 レベル2↓1」

「ダンデラビット (2) コア1 レベル1」

(リザーブ0↓1)

「ダンデラビット (1) コア1↓2」

フムフム。ダンデラビットを召喚、コアブ、2体目召喚、レベル分はメイパロットからツと。

こりヤアレかな？ 『蜂蟹』とか『蜂シードラ』の流れかな？ それとも『赤緑ステロイド』か。

「……………」

何にもしないんならターンエンドッぽいね。

〈璃恵・第五ターン〉

「スタートステップ♪」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ♪」

まあ「蟹」が来ない限りはエンタープライズが止められるからいいとして、まずどうしてやろうかな♪ 手札が足りないけどどうとでもなるしく。…今来たこの子かな♪

「《サンストーン・ドラグーン》をレベル1で召喚ツと♪」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓1)

「サンストーン・ドラグーン コア1 レベル1 BP3000」

「残ったコアはヒスイ・キャノンに乗せて、ゲッコ・ゴレムには悪いけどコアをサンストーン・ドラグーンに移して、ターンエンド♪」

(リザーブ2↓0)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア1↓3 レベル1↓2 BP5

000↓7000」

「ゲッコ・ゴレム コア1↓0 消滅」

「サンストーン・ドラグーン コア1↓2 レベル1↓2」

〈KG・第六ターン〉

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「…きたぜ」

「あそう?」

「《巨蟹武神キャンソード》だ!」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「巨蟹武神キャンソード コア1 レベル1 B P 6 0 0 0」

親父殿愛用の蟹が出てきたか。となると蜂とシードラ両方入つてると掛かった方がいいかな? …どちらにしる関係無いけど♪

「……」

「あー!無言でアタックする前にサンストーン・ドラグーンの効果発揮だヨー!」

「…なんだよ」

「そのダンデラビット(2)を指定するネ。そいつはこのターン必ずアタックすること」

「……」

「あーあーまだまだ!もう気が早いなア。そんなんじゃ女の子に嫌われるゾ♪ とにかく【連鎖:青】発揮♪ キャンソードを指定。キャンソードはこのターンアタックできないからそのつもりで♪」

「んだよ……!」

白 スピリット

《サンストーン・ドラグーン》

コスト4 軽減白2青1 <甲竜>

<1> Lv1 B P 3 0 0 0

<2> Lv2 B P 4 0 0 0

<6> Lv3 B P 8 0 0 0

シンボル:白

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

ステップ開始時、相手のスピリット1体を指定できる。

そのスピリットは、可能ならば必ずアタックする。

【連鎖:条件《青シンボル》】

「青」：ステップ開始時、相手のスピリット1体を指定できる。

このターンの間、そのスピリットはアタックできない。

「ほらほら♪アタックしてきなヨ♪強制だけど♪」

「ちっ……」

「そつち（2）のアタックネ♪ ジャあヒスイ・キャノン・ドラゴンとサンストーン・ドラグリーンでブロック♪」

「……？ 何で？」

「璃恵お姉さんがスピリット2体でブロックするのは巨蟹武神キャンサードの効果なのですよ」

緑 スピリット

《巨蟹武神キャンサード》

コスト6 軽減緑3 <光導・殻人> 『蟹座』

<1> Lv1 BP6000

<4> Lv2 BP10000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：<光導>/<星魂>を持つ自分のスピリットがアタックしたとき、相手はスピリット2体でないとブロックできない。

そのスピリットがブロックされたとき、どちらか1体とだけバトルする。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

自分の合体スピリットがいる間、このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「……？」

「ちよつと難しかったのですよ」

「さアどっちとバトルしたい？ 言わなくても振り返りだけどね♪」

「……」

KGⅡサンが指差したのはサンストーン・ドラグリーンの方。

「OK♪じゃあダンデラビットには悪いけど、BP9000のサンストーン・ドラグリーンに敢え無くやられてもらおうかな♪」

「は？4000だろ？」

「アレ？ ヒスイ・キャノンと甲竜の狩り場の効果言い忘れてたかなア？」

白 スピリット

《ヒスイ・キャノン・ドラゴン》

コスト6 軽減白3青1 <甲竜>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

<6> Lv3 BP10000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<甲竜>を持つスピリットカード／アルティメットカード1枚をコストを支払わずに召喚できる。

ただし、『このスピリット／アルティメットの召喚時』効果は発揮されない。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

系統：<甲竜>を持つ自分のスピリット／アルティメットすべてをBP+3000する。

「狩り場と合わせてドンとBPアップ効果なのですよ！」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン BP7000+3000+2000

＝12000」

「サンストーン・ドラゴン BP4000+3000+2000

＝9000」

「甲竜戦艦エンタープライズ BP10000+3000+2000

0＝15000」

「くっそ……！」

(KGリザーブ2↓3)

「だけどなあー！」

「破壊時バースト、ね……♪」

乱暴に開かれたバーストは《風の霸王ドルクス・ウシワカ》。まあ妥当かな。

(リザーブ3↓0)

「風の霸王ドルクス・ウシワカ コア3 レベル2」

「言わないからこっちでエンタープライズは疲労するヨ」

「あのドルクス・ウシワカっていうのは、バースト効果で璃恵お姉さんのスピリット2体を疲労させて、フィールド、リザーブ、トラッシュユにあるコアが8つ以上あると召喚もできるようになるのですよ」

「へえ…」

「まだアタックする？」

「…」

「Oh♪メイパロットが来るネ♪ ライフだヨ♪」

(璃恵ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少でバーストオー！と意気込んでも《絶甲氷盾》なんだけどネ♪ ボイドからコア1つをライフに置くヨ♪」

(璃恵ライフ3↓4)

〈璃恵・第七ターン〉

「はいターンエンドね♪ならワタシのターンね♪」

(リザーブ2↓3)

(手札1↓2)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ3↓4)

♪ もうカツツカツだね。そこに「コレ」の登場…♪ 行ツちヤウ？

「…♪」

「璃恵お姉さん、来たのですよ！」

「ヤツちやいますか！♪」

「新たなる天濫の渦より来たれ！

大いなる勇姿、黄金の牙狼！

究極の翼と共に闇を斬り裂け！

《アルティメット・グラン・ウォーデン》!!

レベル4で、機神飛翔ツ!!」

うーん♪このイラストメツチャカックイイヨね〜♪

「レベル分にはヒスイ・キャノン・ドラゴンから借り受けるヨ！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア3↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・グラン・ウオーデン コア2 レベル4 BP2

0000」

白 アルティメット

《アルティメット・グラン・ウオーデン》

コスト8 軽減白4 <新生・武装>

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

<1> LV3 BP15000

<2> LV4 BP20000

<5> LV5 BP30000

シンボル：金

???

「うわぁ…キレイ…」

「『白のコアの光主』の切り札がアルティメットになって帰ってきたのですよー！」

「アタックステップ行ツチャウヨ！ Uグラン・ウオーデン、アタック

！ アルティメットトリガー、ロックオ〜ン♪」

●破棄されたカード

・《森林のセツコーキジ》(コスト1)

「ヒットオー！ それじゃあ♪ ♪メイパロット以外デツキの一番下”  
に行ッてもらおうヨー！」

「なっ…はあ!？」

「ダンテラビット デツキボトムへ」

「風の霸王ドルクス・ウシワカ デツキボトムへ」

「巨蟹武神キャンサード デツキボトムへ」

(リザーブ0↓5)



《アルティメット・グラン・ウォーデン》

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコストと同じ体数の相手のスピリットを残し、他の相手のスピリットすべてをデッキの下に戻す。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードのコストが3以上なら、さらに、相手のスピリット3体を手札に戻す。

「わあ……！」

「まとめて完全除去したのですよ！」

「なんだよそれ!? 反則じゃねえかよ!!」

「知らないア〜♪ んでエ! アタックはどうするの!」

「ライフだ!」

(KGライフ5↓4)

(リザーブ5↓6)

「ターンエンド♪」

〈KG・第八ターン〉

「なんだよ……、どうなってんだよ……!?!」

(リザーブ6↓7)

(手札2↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ7↓10)

「くそっ……何なんだよ……!」

「キミさア〜、ちヨツとイケてないんじゃない?」

「は?」

「自分の気持ち優先させてサ、女の子泣かせてマナーも悪い。イケてなさすぎだヨ。カードバトラーの名が泣くヨ?」

カードバトラーってのはサ、カッコヨくて、熱くて、もつと最高の存在だと思っただヨ。

それが誰かを泣かせたり、自分のつまらない愉悦のために振りかざしているもんじゃない。

「だからさ…、くだらない真似して、ワタシの大好きなバトルスピリッツを穢すんじゃないやねえよ」

「ひっ…!?!」

「…と、まア興が削がれる無駄話はここまで。ほらキミのターンだよ」

「っ…くっ!」

(手札3↓2)

(リザーブ10↓3)

(トラッシュ0↓4)

「角武神ネプチューン・カイシン コア3 レベル2 BP9000」

緑 スピリット

《角武神<sup>かくぶしん</sup>ネプチューン・カイシン》

コスト5 軽減緑3 <殻人・殻虫>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP9000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

「ブロックされない」効果を持つスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

Lv1・Lv2

このスピリットは、相手の効果で手札かデッキに戻るとき、回復状態でフィールドに残る。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

BP10000以下の相手のスピリット1体を疲労させる。

「Oh♪ エライエライ♪ 一応のバウンス対策は取ったネ♪」

「うるせえ、うるせえ!」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ4↓7)

黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ

← 直接合体

角武神ネプチューン・カイシン (合体)

〔コスト：5+5≡10〕

〔BP：9000+5000≡14000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：緑+緑≡緑緑〕

「死ね！」

「サンストーン・ドラグーンの効果と【連鎖】発揮！メイパロットは強制アタック！ネプチューン・カイシンは動くな！ 品が無くて程度の低い罵倒、恥ずかしくないの？」

「黙れクソアマ！」

「クソガキに言われてもネ〜♪ メイパロットのアタックは、この『ビッグE』ことエンタープライズが迎撃するヨ！ 砲雷撃戦、ヨーイ♪！」

「遂にあの戦艦が動くのですよー！」

「カメさん、強いのか？」

「っ！ リツチャ〜ん♪ もう一回カメさんツて言ツてくれないかな〜？」

「……あ、悠姫お姉さん？ 真桜なのですよ。今璃恵お姉さんが……「ちヨ、ごめんなさいイ！」」

危ない危ない、悠姫に通報されるとこだった。……あー、やつぱ青と組ませたのはちヨツと間違いかなー？ どうもコアと手札がカツカツになるね。白も青も元々、ドロもコアブも苦手中の苦手。

今は好き勝手暴れさせてもらってるとけどサ、白は星座編になつてやつとまともなコアブースト、ドロは剣刃で紫のを奪ツて。青はアルティメットバトル01になつて条件はあるけど、良いコアブースト手段得たみたいだし？

でもなー、白が求めているのは『赤や紫のようなドロ』なのよネ。青には悪いけど、白に『今の最高を選ぶ』必要は無いの。『全部が

最高〃で〃全部が必要〃だからネ…♪

「メイパロット、撃墜したヨー♪」

「くそが…!」

「それで！甲竜戦艦エンタープライズ、レベル1からのブロック時効果発揮イ！ BPを比べて相手を撃沈させたとき、エンタープライズは回復し、相手のライフ2つを砕く!!」

「な…:はああ!?!」

《甲竜戦艦エンタープライズ》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのブロック時』

BPを比べ相手のスピリット／アルティメットだけを破壊したとき、このスピリットを回復し、相手のライフのコア2個を相手のリザーブに置く。

「ライフ2つ、いただくヨ！」

「ふ、ふざけんなよ!」

「甲竜戦艦エンタープライズ 疲労↓回復」

(KGライフ4↓2)

(リザーブ1↓2↓4)

「ターンエンドならワタシの〃Final Turn〃に移行するか  
らネー!」

〈璃恵・第十ターン〉

「〃白銀〃の〃Final Turn〃!!」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ! 《スタードライアン》、来い!」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓1)

「スタードライアン コア2 レベル2 BP4000」

「スタードライアン、レベル2からの効果! この子は赤のスピリツ

トとしても扱われちゃう♪」

白 スピリット

《スタードライアン》

コスト3 軽減白1青1 <新生>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1

このスピリットの色とシンボルは青としても扱う。

Lv2・Lv3

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

「次に真桜ちゃんは…」お前赤軽減がほしかっただけやろ！」と言うツ  
！

「お前赤軽減がほしかっただけやろ！……はっ!？」

「ウププ♪そこに双刃の星狼、ブレイヴ《刃狼ベオ・ウルフ》をエン  
タープライズに直接合体♪ 足りない分はサンストーン・ドラグー  
ンとスタードライアンから貰っちゃうヨ♪」

(手札1↓0)

(リザーブ2↓0)

「サンストーン・ドラグーン コア2↓1 レベル2↓1」

「スタードライアン コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュ1↓5)

刃狼ベオ・ウルフ

← 直接合体

甲竜戦艦エンタープライズ (合体)

「コスト：10+5≡15」

「BP：10000+3000≡13000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白白+緑≡白白緑」

「緑のブレイヴ…!？」

「ギアシアア！ここが決めどころ！アタックスステップに入って、エンタープライズの『連鎖：青青』発揮イ!!」

「な、何だ：!?!」

「エンタープライズをレベル3として、ワタシのスピリット全員の『ブロック時効果』を『アタック時』にも発揮させるヨ！」

《甲竜戦艦エンタープライズ》

???

【連鎖：条件《青シンボル》】

「青」「青」：このスピリットをLv3として扱い、自分のスピリットすべての『このスピリットのブロック時』効果は、『このスピリットのアタック時』にも発揮される。

「スタードライアンの青と、甲竜の狩り場の青で条件は満たしてるからネ♪」

「っ：!?!」

「エンタープライズ、全速前進！目標、敵カードバトラー本体!!」

「ふ、フラッシュユ！これでくたばれ!!」

(KG手札1↓0)

(リザーブ4↓0)

「角武神ネプチューン・カイシン（合体） コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ7↓13)

「《霸王爆炎撃》なのですよ！」

「ど、どういう効果：?！」

「璃恵お姉さんの合体しているスピリットを破壊する効果なのですよ！」

赤 マジック

《霸王爆炎撃》  
はおうばくえんげき

コスト6 軽減赤3

【バースト：自分のライフ減少後】

BP4000以下の相手のスピリット3体を破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュユ効果を発揮

する。

フラッシュ:

相手の合体スピリット1体を破壊する。

「♪」

「おい！何で破壊しねえんだよ！」

「ウププ：♪ ビッグEはそんな柔な爆撃じゃあ沈まないヨ！密かに発揮し続けてたレベル1の効果!!」

〃4色【超装甲】〃!!」

《甲竜戦艦エンタープライズ》

Lv1・Lv2・Lv3 【超装甲：赤／紫／白／黄】

このスピリットは、相手の赤／紫／白／黄のスピリット／アルティメット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

【連鎖：条件《青シンボル》】

【青】「青」：このスピリットをLv3として扱い、自分のスピリットすべての『このスピリットのブロック時』効果は、『このスピリットのアタック時』にも発揮される。

「超装甲は常時発揮されてるから、【連鎖・青】も常に発揮し続けられてるんだヨネー♪！」

「つまり、エンタープライズはシンボル青が2つある限り常時最大レベルなのですよ！」

「ウププ♪ さアどうすんのサ！ライフで受ける？それとも武神の首を差し出す？」

「つつつ……!!」

「カードバトラーならア!!潔く最後までバトルを続けろオツ!!」

「か………カイシンで………ブロック……！」

「バトル、解決!!」

A t t a c k !! ↓ w i n !!

甲竜戦艦エンタープライズ＋刃狼ベオ・ウルフ

B P 1 5 0 0 0 + 3 0 0 0 〓 1 8 0 0 0

v s

D e f e n s e !! ↓ L o s e . . .

角武神ネプチューン・カイシン＋黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ

BP5000＋5000＝10000

「ブロック効果はアタック時効果に！ エンタープライズのブロック時兼アタック時効果、そしてベオ・ウルフの合体アタック時効果！

BPを比べ相手スピリットを撃滅したとき、エンタープライズを回復させ、ライフ2つをリザーブに！更にベオ・ウルフも相手を撃滅したとき、ライフ2つをリザーブに！計ライフ4つブレイク!!!」

緑 ブレイヴ

《刃狼<sup>じんろう</sup>ベオ・ウルフ》

コスト5 軽減緑2赤2 <剣獣・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 ＋3000

シンボル：緑

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア2個を相手のリザーブに置く。

「…あ…………う、嘘…だろ…………？」

「…♪ THE END♪」

(KGライフ2↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕



新しい赤は……。Aパート

夕日が差し込む一室。

優雅部とのバトルの結果、祐依が部長である琴識 沙織（ことしき さおり）を降した。

「優雅部部长として、…いいえ。琴識 沙織として、有意義なバトルでしたわあ」

「…琴識先輩」

すると祐依が席を立ち、手を差し出した。

「ありがとうございます。良いバトルでした」

「っ！……こちらこそ、感謝致します」

お互い晴れやかな表情で握手を交わす。…うん。変な因縁が残らなくてよかった。

「…それで、綺麗に締めたとお思いでしょうが…」

「忘れてはいませんわあ佐々森さん。約束通り、教室を明け渡します。そして……」

ああ、約束はちゃんと守ってくれるのか。…そして琴識先輩が目を閉じ、何かを決めたように再び目を開く。

「沙織様…」

「名残惜しいですが、本日をもって！我等が優雅部は

解散！

とさせていただきます!!!」

「さ、沙織様あー!!」

うるせえ…。何か芝居がかった大仰なやりとり。琴識先輩は左手を腰に、右手を大きく突き出して「控えおろう！」みたいなポーズを。鈴枝先輩は膝を付いて手を組み継るように涙目で琴識先輩を見ている。…何だこれ。

「ううう…、私達の優雅部がああ…」

「泣かないの弥生。部員の皆も、理由をしつかり話せば納得しますわあ」

「納得するしないの問題以前じゃないのか…」

「基本琴識スキーの集まりだからね。琴識が言えば嫌々だろうと納得するだろうさ。生徒会は目の仇にされるだろうけど」

「祐依さん、またバトルしていただけます？ 今度は正式なバトルとして」

「こちらこそ」

「ありがとうございます。その時はあ、祐依さんのお姉さんの実力も見せてもらいますわあ」

「は、はあ…」

不敵な笑み、というやつだろうか。握手を求められたのでとりあえずこちらにも握手に応じる。……思ったよりも手え小さいな。

「ではあ！皆様方あ！負けた悪役はお決まりの台詞を良い残し、わたし達は颯爽と去りましょう!!」

バツ！とかっこよくポーズを決める琴識先輩。…何だ、何をするんだ今度は。

「では!!」

覚えてらっしゃああくしい!!

おーっほっほっほっほーっ!!!」

「さ、沙織さまあ！足早過ぎますう〜!?!」

「……………」

「……………」

「小さいからか凄い足早いねえ」

「…まだ笑ってますよ。ここまで聞こえる」

なんか、高笑いしながら捨て台詞残して凄いスピードで教室を出て行った。遅れて鈴枝先輩も慌てて退出。一礼を忘れないのは高飛車でも上級生なのか。

「…何だかな」

「まあ、とにかく。時間はかかったけど目的を果たせたんだから良しとしよう」

「はあ…。会長に何と報告するか――」

「皆さん、よくやってくれました」

「おわっ!？」

「っ!？」

突然背後から良く通る凜とした声。突然のことだったから私と祐依は驚いてしまった。

「ん？ マリア。あんたいつ戻ってきたのさ」

「会長…！ 今日はお戻りにならないのでは…？」

振り向き、教室の扉に手を付き、凜々しく立っていたのは我らが生徒会のリーダー、〃赫蓬院（かほういん） マリア〃 会長だった。

「ついさつき戻りました」

「さつき？ あそこからここまで結構距離あるだろう」

「問題ありませんわ。〃チャリ〃で来ましたから！」

「〃チャリ〃……自転車、ですか？」

「ええ。ちよつと出費しましたが問題は無いでしょう」

「…は？出費?! か、会ちよ…マリア!!また無駄使いたの!？」

「ふふふつ。碧、私（わたくし）のポケットマネーですので安心なさい」

「そういう事じゃ…、ああもう！いくら使ったの!？ 領収書はあるの!？」

あのクールで冷静な佐々森先輩が珍しく取り乱してる…。マリア会長は涼しい顔で気にするなどどこ吹く風と流している。

「だけどチャリでつて…、相変わらず規格外の人だな。」

「マリア、中一組は？」

「すぐに着きますわ」

「すぐ着く？」

……何と無く嫌な予感がしたからマリア会長の横を通り廊下に出る。…すると遅れて奥の階段から一年組の様子（ようこ）、雫（しずく）をおんぶしている朱莉（あかり）が息を上げながら姿を現した。

「ちよ、大丈夫か!？」

あまりの様子に三人に駆け寄る。洋子はその場にへたり込み、雫を

背負って来た朱莉は雫を優しく降ろすと仰向けに倒れ込んだ。  
「……………」

息も絶え絶えの状態で、洋子が蚊の鳴くような声で大丈夫と聞こえたがまるで大丈夫に見えない。

「あ、朱莉ちゃん…」

「ぜえ…ぜえ…つだいじよぶ…ス…」

「大丈夫に見えないんだがなあ…。祐依！」

「すぐに！」

ちよ、まだ何も言っていないのに教室を飛び出して行ったぞ。さすがと言っているのか…。あつという間に見えなくなった。

頼もうと思ったのは冷たい飲み物、スポーツドリンク類とテキストに。そうしなきゃ二人がくたばる。雫も息切れをしているが二人ほどではない。来る途中、朱莉に背負われたんだろうな。

「お待ちせしました！」

「早っ！」

「さすが祐依さん。3分経たずにこれは流石ですわ」

「マリア」

祐依が超スピードで物資を調達して戻ってきた。やるな。

「はい、洋子ちゃん。立てる？」

「…な…んと…か…」

「朱莉、起きれるか？」

「……………」

「あ、朱莉ちゃん…！」

「へ…へ…きツス…」

祐依は洋子を、私と比較的状态の良い雫で朱莉を介抱する。完全にグロッキー状態。一体どうしたらこうなるんだ。

「助かりました…」

「いやあ、助かったツス先ぱくい」

「ご、ごめんなさい、あ、ありがとう、ごごいます…」

少しして何とか持ち直した三人。  
どうしてそうなったか聞いてみたら、何ともまあ、よく会長に付き合ったなど。

端的に言うとうと、祐依と琴識先輩のバトル中に佐々森先輩が何処かに電話しただろ？ その時にマリア会長に電話したらしく、硝子はどうにでもなるがバトル気になったから、車で戻るのを捨ててマジでチャリ速力最大で帰ってきた。

洋子、朱莉、雫の三人はさすがに会長のそれはできないため、学校が近くなったところで降り、走ってきたとか。

…お疲れ様だな。

「ああ…。バトルが見れず無念ですわ。しかし悠姫さん、祐依さん。誠に感謝致します」

「いえ…」

三人が持ち直したため、生徒会室に戻り報告会となった。報告会と言っても、そこに行ったらバトルで何とかしてみろと言われてたからバトルして教室を取り戻した。と、簡単な説明で終了した。…でも驚いたのは――

「――Uビヤク・ガロウのトリガー効果、クリティカル効果により月光神龍とサンク・シャインはアツキボトムへ。鈴枝さんはアタックをライフで受け、ヤマトをバースト召喚。ヴァルト・イエーガーを破壊しますが、フラッシュに悠姫さんのネオ・バインディングゾーンにより疲労し、ムゲンドラゴンのラストアタックにより悠姫さんが勝利。」

――光龍騎神とUジークヴルムの相打ち、最後にUガイ・アスラのアタックにて祐依さんの勝利となりました」

「ほう…。究極の剣王獣、会究極の雷皇と光龍騎神の対峙。そこにいなかったことが悔やまれますわ」

「……はい、佐々森先輩…。き、記録、終わりました…」

佐々森先輩、バトル内容を『正確に覚えていた。』

コアの動き、手札枚数、フィールド状況…。スゲエな…。

それをPCには言え書き留めた雫も凄い。

「Uビヤク・ガロウにUジークヴルムとUガイ・アスラツスかく。ねえねえ悠姫センパイ！祐依センパイ！後でバトルしてもらっていいツスカ？」

「ちよつと朱莉。時間考えなさいよ」

朱莉のバトルの誘いに祐依も私も乗りたい……ところだが時間が時間だ。またの機会だな。

「ふふつ、私もバトルはしたいところ。ですが楽しみは次回にしましょう。皆さんお疲れでしょう。ご苦労様でした」

——その夜。我が家の自室。

「……あ、璃恵からメール来てた」

「え？　どんなの？」

夕食に風呂にと色々終え、ゆったりしながら祐依と今日の事を話していたら、スマフォにメールが来てたのに気付いた。……内容は、シヨップで新しい初心者の救助に成功……と一見したら何が何やら判らない題名だったが、添付されてた写真と本文で理解できた。

「この璃恵さんと真桜ちゃんの真ん中にいる子かな？　可愛いね」

「そうらしいな。……その子の肩抱いてるバカは何なんだ」

「あれ、お姉ちゃん嫉妬？」

「違う」

この、助けた新たにバトルスピ仲間となった子の名前が「リエ」と、あいつと同じ名前だということに気に入ったらしい。それから、色々教授して近々私と対戦させたいと。

「……勝てる気がしない」

「バトルする前から弱気になってどうするのお姉ちゃん」

——しばらくした後、『アルティメットバトル02』が発売となり、アルティメットに触れられるカードが増えた。これにより、『アルティメットという優位性』が徐々にだが失われてきた。

「究極使い」なんて言われているが、元々若輩者の私が更にキ

ツくなつたのは言うまでもない。勝ちを得ていたのも「アルティメット」があつたからだ。それが失われたら勝率はガクンと落ち込むだろう。

…まあ、危惧してたのはほぼ当たつた。

璃恵は勿論の事、彩音、真桜のデッキも更にパワーアップしたためここのところ負けが込んでいる。

そして現在、カードショップ縁にて麗奈さんとのバトルだって……

「《巨人銃士クリフォード》の【招雷：コスト7／8】を發揮しよう。手札から、荒ぶる雷の海賊皇！ 《海皇巨神デュラン・キッド》を喚び寄せる!!」

「っ!?!」

「デュラン・キッドはコスト8、レベル3だ!」

(麗奈手札2↓3)

(リザーブ6↓2)

「海皇巨神デュラン・キッド コア4 レベル3 BPI4000」

「そして召喚時効果! 私のトラッシュにある【招雷】持ちのスピリットを全て回収する!」

「全部!?!」

(麗奈手札3↓7)

「アタックステップ! デュラン・キッド、アタック! アタック時効果、私の手札にある【招雷】を持つスピリットをノーコストで召喚する!」

「やばっ…!?!」

「来い、クリフォード!」

(手札7↓6)

(リザーブ2↓0)

「巨人銃士クリフォード コア2 レベル2」

青 スピリット

《海皇巨神<sup>かいおうきよしん</sup>デュラン・キッド》

コスト8 軽減青4 <闘神>

<1> Lv1 BP8000

<2> Lv2 BP10000

<4> Lv3 BP14000

シンボル：青

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分のトラッシュにある【招雷】を持つスピリットカードすべてを手札に戻す。

Lv2・Lv3『お互いのアタックステップ』

【招雷】で自分のスピリットが召喚されたとき、このスピリットは回復する。

Lv3『このスピリットのアタック時』

自分の手札にある【招雷】を持つスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

「このアタックは?」

「ら、ライフで!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「クリフォード、更にアタック!」

「Uドラグサウルスでブロック! BPは6000、相打ちです。相

打ちなら【招雷】は…」

「ネクサス《三つ首竜の海賊旗》を忘れたかな?」

「っ!」

「これによって【招雷】持ちがバトルで負けても発揮できるのさ!

【招雷】発揮!」

青の新しいキーワード能力【招雷】。

バトルに生き残った【招雷】持ちを破壊することで、【招雷】を発揮させたやつと同じ系統、指定されたコストのスピリットカードを召喚する効果。

これがかなり厄介で、緑の【神速】とはまた違った速攻型になっている。

青 ネクサス



《三つ首竜の海賊旗》

コスト3 軽減青2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：青

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

BPを比べ【招雷】を持つ自分のスピリットが破壊されたとき、そのスピリットの【招雷】の効果を発揮できる。

Lv2 『自分のアタックステップ』

【招雷】を持つ自分のスピリットがブロックされたとき、自分はデッキから1枚ドローできる。

この効果でドローしたとき、自分は手札1枚を破棄する。

「手札のコスト8！ 《英雄巨人タイタス》をノーコスト召喚！」

「た、タイタス…!?!」

「レベル分にはクリフォードとデュラン・キッドから借りてレベル2！ 更に召喚時効果でデッキを10枚吹き飛ばす！」

「くっ…!」

「巨人銃士クリフォード 破壊↓招雷発揮」

(麗奈手札6↓5)

「英雄巨人タイタス コア4 レベル2 BP8000」

「巨人銃士クリフォード コア2↓0」

「海皇巨神デュラン・キッド コア4↓2 レベル3↓2」

(悠姫デッキ残り20↓10)

「タイタス、アタック！」

「む、ムゲンドラゴンでブロック！フラッシュユタイミングで《ネオ・アグレッシブレイジ》を使ってBPをプラス3000します！」

(悠姫手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「デブリ・ザード コア2↓1」

(トラッシュユ6↓8)

「ムゲンドラゴン レベル3 BP7000↓10000」

「ならこつちもフラッシュユ！《フィニッシュブロー》！コストはデュラン・キッドから！タイタスのBPに3000加算！」

(麗奈手札5↓4)

「海皇巨神デュラン・キッド コア2↓0 消滅」

「英雄巨人タイタス BP8000↓11000」

「げっ!？」

「バトルはいただいた！ タイタスレベル2の効果！BPを比べ相手のスピリットのみを破壊した場合、デッキ10枚！吹き飛ばす！」

(悠姫残りデッキ10↓0)

「ぐえ…」

「あ、《フィニッシュブロー》の効果で更に7枚もらうけど無いなら仕方ないね」

「……………」

(悠姫残りデッキ0↓0)

青 スピリット

《英雄巨人タイタス》

コスト8 軽減青4 <闘神>

<1> Lv1 BP6000

<4> Lv2 BP8000

シンボル：青

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

相手のデッキを上から10枚破棄する。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のデッキを上から10枚破棄する。

青 マジック

《フィニッシュブロー》

コスト4 軽減青2

フラッシュユ：

このバトルの間、自分のスピリット1体をBP+3000する。

そのスピリットがBPを比べ相手のスピリットだけを破壊したと

き、相手のデッキを上から7枚破棄する。

「ターンエンド」

「……負けました」

「どうだい悠姫君。私の新しいデッキの切れ味は」

「とんでもない回り方するんですね……」

考えが狂わされるとかじゃなく、デメリットが無しに近い状態で沸いて来るから【神速】よりやりにくい。

「り、リベンジ！」

「いいよ。だけど董さんの話が始まるみたいだよ」

麗奈さんに促され、ショップの特設ステージっぽいところに董さんが登壇した。それにより、ショップにいる大半の人物が董さんに注目する。

「えく、皆さくん。今日はくカードショップ縁えにしにご来店いただき、誠にありがとうございますぐさいます」

相変わらずののんびりとした口調。

一応今日は土曜日だが、ショップバトルはない。理由は、董さんが何かイベントを催すらしい。私らは何も聞かされてないから何をやるかはまったく判らない。

「何やるんですかね」

「いずれ判るさ、いずれな……」

「……璃恵、いつからそこに？」

「今さつき♪ ほら、前教えた娘を捜してたんだヨ」

「ああ、噂の璃恵君と同じ名前の子だね」

「そーなんデスヨく♪」

「で、見つかったのか？」

「ウン♪ 今祐依ちゃんと真桜ちゃんと彩音が相手してるから大丈夫♪」

ちなみに今ショップには私、祐依、璃恵、麗奈さん、彩音、真桜と揃い踏み。

「今回行わせていただくイベントはく、ちよつとしたプロモーション

カード争奪戦特別バトルをやりたいと思いまゝす」

「おおー、と周囲から小さい拍手と歓声が沸く。エキシビジョンとかそういうのかな？ エキシビジョンモドキみたいな形で麗奈さんとバトルしたことあったなあ。」

「さつき、皆さんにナンバーが書かれたカードを渡したと思いまゝす。抽選で、当たった数名に限定プロモーションカードをプレゼントしまゝす」

と、堇が掲げたフリップにはデカデカと印刷されたカード数枚が載せられていた。

「あれがプロモーションカード？」

「おおー、アレ、チャンピオンシッポとかに行かないと貰えないカードだヨ悠姫イ♪」

「へえ…」

「なかなか大盤振る舞いするねえ堇さん」

「対戦できるのは、〃6名〃。その内の勝者、3名に差し上げたいと思いまゝす」

そこかしこで意気込む声が聞こえる。チャンピオンに行けなかった実力者達が「性能云々では無く欲しい」との声もちらほら。

「悠姫も記念にGetしてもいんじゃない？」

「ふむ…」

「まあ、向こう（本場のガンスリンガー）みたく殺伐とはしてないから気楽に行くといいさ」

まあ…。璃恵も麗奈さんも言ってくれてることだし、当たれば勝ち狙いに行っても損は無いよな。

「さつき麗奈サンに負けてたヨネ〜♪」

「はははっ。もし当たったらまたよろしくね悠姫君」

「っ、次は負けないですし」

「悠姫イ♪ ワタシ達も忘れてもらっちゃあ困るヨ♪」

……赤の祐依、白の璃恵、紫の彩音、緑の真桜、青の麗奈さんがいる。アカン。アカンぞこれは。当たらないことを祈るしか…！

「では、抽選を開始しまゝす。手元の番号を呼ばれた人は、前に出て

来てくださいね〜」

董さん本人は涼しいほんわかした笑顔だがそのカードを入れている箱をガツサガツサと中身が漏れるんじゃないかと心配するほど掻き回している。董さんすげえ。

「は〜い。では一人目で〜す。……番号〜、10の方〜」

10……私では無いな。と、少し後ろから「はいっ」と返事が返ってきた。そちらに目を向けると、女性だった。同い年くらいか、嬉々とした感じで友達らしき子に激励され前に出る。

「ナンバーズNo.10、白騎士イルミネーター」

「ぶふっ……り、璃恵君……笑わせないでくれよ……」

小声で璃恵がボソリと何か言った。そしたら麗奈さんが吹き出した。笑いを堪えてるみたいだが、何を笑ってるんだ？

「次で〜す。……番号、73番の方〜」

外れた。返事は私らから右側奥から聞こえた。男性、大人かな？

「No.73、激瀧神アビス・スプラッシュ」

「くふふ……！ “激安神”か……！ふふふ……！」

「……？」

「3人目で〜す。……番号、15番の方〜」

「これも違うか……。」

「私ね」

聞こえてきたのは知り合いの声。手を上げ立ち上がったのは彩音だった。うう……。彩音には悪いんだが、当たりたくない。

「ツ！ No.15!!」

「誰が地獄からの使者、運命を操る人形よ白銀の！」

「悔しいでしヨウネエ……♪ セツかく肅々と出ようと思ツたのにネタにされて♪」

「は〜い。ファンサービスごっこは後にしてくださいね〜」

璃恵が立ち上がったって何をするのかと思つたら煽りかよ。今のやり取りを聞いたからなのか、参加者も自分の番号を見てあれこれ言い始めた。

「はいは〜い。次抽選しますよ〜。……番号、7番の方〜」

……声が上がらない。誰だ？

見渡してみる、と……怖ず怖ずと手を上げる人が。

「あー悠姫！あの娘、あの娘だヨ！」

手を上げ立ち上がる不安げな小さい女の子。……あれが噂の子なのか。

傍にいた祐依と真桜が激励して送り出す。何か今にも泣き出しそうな不安顔だが、大丈夫なのだろうか。

「大丈夫だヨ悠姫。No. 7 ラッキーストライブだからネ♪」

「幸運が付いてるってことさ」

「……ならいい、のかな？」

これで4人。残り2人。身内は彩音とあのリエって子も含んでいいのか？ とにかく2人出た。

当たる望みは薄くなつたかなあ……。

「5人目でくす。……番号、102番の方」

……あ、私だ。

「やったじゃん悠姫イ！これもブックス!!の加護！No. 102

ホーリー・ライトニング

光 天使 グローリアス・ヘイロー！」

「は？ ま、まあ、行ってくるけど……」

「ふふふつ。頑張つてね悠姫君」

席を立ち前へと移動す——

「うわっ……と!？」

「オット……」

やばい、誰かにぶつかった弾みでデッキケースを落としてしまった。しかも相手のまで。

「あ、ご、ごめんなさいー！」

「ダイジョブダイジョブ。こつちコソゴメンね」

ぶつかったのは……女の子？ 黒いフードみたいのを目深に被っているから判断できない。女の子か？って思ったのは声から。何か妙なところでカタコトなのが気になったが、とにかくデッキケースを拾い渡す。

「頑張ッテね」

「あ、うん。ありがとう」

少し早足で前に出る。左横に彩音が並ぶ。

「やっぱり出たわね」

「やっぱり…?」

「やっぱりはやっぱりよ」

「…?」

「では、最後の一人、六人目でくす。…………番号、74番の方く」

「No. 74 マジカル・クラウン・ミッシング・ソードね」

「何のことだ」

彩音の呟きに何か返そうとした矢先、当たった女性が返事と一緒に手を上げた。これで全員か。

「はくい。これで6名が決まりましたく。外れた皆さんにも参加賞がありますからく、6人のバトル、見てあげてくださいいねく」

6名選出後、更に相手決めとなった。…………私の相手は、最後に出てきた74番の人だった。彩音の相手はあの子、リエつて子。よかった。もし他の人、男性に当たったらどうなることやら。

バトルは1組ずつ行う。失礼だけど、6人同時に席に着けるほどそこまで広くない。

「では、まず1組目く。15番と7番の子からどうぞく」

「お、お願い…します…」

「こちらこそ。遠慮せずかかってらっしゃい」

「は…はい…!」

「勝者く、15番の蛇刳ちやくん」

「なかなか筋が良いわ。これならすぐにでも強くなれるわね。…癩だけど、あの白銀が見付けただけあるわ」

「あ、ありがとう…ございました…!」

まず一戦目は彩音の勝利。あの子も善戦したが、やはりと言った感

じ。彩音が賞品を貰った…が、それを全てあの子に渡した。聞いた  
ら、先行投資だとさ。

次に二戦目。73番と10番のバトル。10番の女性のデツキは、  
彩音に聞いたが「赤青ガンデイ」とかいふもの。73番のデツキは  
紫緑。

結果は10番の勝利。あの《凶龍爆神ガンディノス》というのに紫  
の処理が追い付かず押し込み勝利、といった感じ。

…で、最後に私の番となった。

「よろしくお願いしますー!」

「こちらこそ、お願いします」

活発そうな女性。私より1つ2つ年上かな?

「では。最後の三組目、皆さくん、元気良く、お願いします。」

「ゲートオープン!」

「「「界放ー!!」」」

…ここに集まってくる人達は皆終始元気だなまったく。誰一人こ  
こから移動してないってのが驚きだ。

「うへへ…。七海ななみにいいトコ見せるぞ」

対戦者は連れがいるようだが、どうにも璃恵と似たような類だろう  
か。うへへとか変な笑いしてるし。

「あ。あたし、桐島 霧乃っていうの。よろしくね、グローリアス・ヘ  
イローさん♪」

「え!? い、いや、あの…。私、緋立ですから、そのグロなんかとか  
じゃないです」

「あははっ! 気にしない気にしない!」

さすがに気にするわ…。

緋立 悠姫

【??】

V S

桐島 霧乃



【詩姫アイドルk t k r!】

さして……………ん?

「さあーて。先攻後攻どうしよっか」

「……………」

「? どうしたの?」

「え? あ、えと…」

ケースからデッキを取り出し、シャッフルして4枚手札に……………まで  
はいい。

だが、これは……………何だ。

〃これは私のデッキじゃない〃。

≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡

「:アレ? あレボクのデッキだ。:クヒヒ、マあいイヤ。あイツの  
ライバルっポいし、使いこなしててくれルデシヨ」

≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡

「:あれ悠姫のデッキじゃない」

「え?」

「スリーブが違う」

「マジかい? ……さつき誰かとぶつかったのが原因かな」

「探す」

「おいおい璃恵君、どうしたんだい君らしくない。私が探してくるか  
ら君はここにいな」

「……………」

「それじゃあ緋立……………下の名前何?」

「悠姫です」

「じゃあユキちゃんからの先攻でどーぞ」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「じゃあ、スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

始まってしまった…。今更取りやめてデッキを探す訳にもいかな  
いし…。どうする!?

「……………」

「おやあ？ いきなり手札事故？」

「ま、まさか」

くそつ、引いたカードもスピリットカードなのは判るが、どう使え  
ばいいんだ!?

「…ネクサス《オリンスピア競技場》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓3)

「お、青かな」

「…：レベル2にしておいた方が良さそうだな」

(リザーブ1↓0)

「オリンスピア競技場 コア0↓1 レベル1↓2」

「…バーストをセットしてターンエンド」

「…お姉ちゃんがオリンスピアを使うはずがないよ」

「え？ 入れた訳じゃないのです？」

「…麗奈さんが行動してる。始まってしまった以上、見守るしかない  
わ」

「…大丈夫かな…」

## 新しい赤は過激な黒・Bパート

一大事。

使ってるのが私のデッキじゃない。

〈霧乃・後攻第二ターン〉

「あたしのターン！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「まずお互いステージ造りよね。ネクサス《星空の冠》をレベル2で配置っと」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

「星空の冠 コア1 レベル2」

「バーストセットしてターンエンド！」

(バースト：無し↓セット)

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ」

∴《戦竜エルギニアス》。赤青のデッキなのか？とにかく、何とか場を繋がないと。

「《戦竜エルギニアス》、レベル1で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓3)

「戦竜エルギニアス コア1 レベル1 BP1000」

まず、私が「判る」カードを引かないことには始まらない。この2枚を捨てることから…。

「マジック、《ストロングドロー》。3枚ドローして、2枚破棄する」  
(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュユ0↓1)

「まずは3枚ドロー」

(手札2↓5)

《灼熱の谷》と《ブロンズ・ヴルム》。…そして見たことない “スピ  
リットカード”。

「…… “《獣竜アルドウム》” を2枚破棄」

(手札5↓3)

「獣竜…？ 聞いたことないのですよ」

「…………お姉ちゃん」

「…エルギニアスをレベル2にしてターンエンド」

(リザーブ2↓0)

「戦竜エルギニアス コア1↓3 レベル1↓2 BP1000↓  
3000」

〈霧乃・第四ターン〉

「エルギニアス、赤青かな…。とにかくスタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。まずは、この娘から！ 《フォンニーナ》ちゃん登  
場！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「フォンニーナ コア1 レベル1 BP4000」

「アイドルチーム【アブソリユーツ】 “キター！”

「!?」

何かやたら可愛いカードが出てきた。：フォンニーナ？ アイドルチームって何だ？

「出したは良いけど：アタックは次の機会かな。ターンエンド！」

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ1↓2)

「メインステップ」

ちなみに今この場、フィールド状況は私達のいるテーブルの、私から見て右側に定点カメラが設置され、それがそのカメラの後ろの大型モニターに映し出されている。調度真上に近い、斜め上からの撮影となっている。勿論お互いの手札状況は見えない。

「ネクサス、《灼熱の谷》を配置」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ0↓2)

赤 ネクサス

《灼熱の谷》

コスト3 軽減赤1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『自分のドローステップ』

ドロ어의枚数を+1枚する。ドロー後、手札1枚を破棄する。

Lv2 『自分のアタックステップ』

自分のスピリットすべてをBP+1000する。

：出すのはまだ早い。出すならこっちか。

「《小火竜ヒノコ》をレベル1で召喚。コストとレベル分はエルギニア

スから受け取る」

(手札3↓2)

「戦竜エルギニアス コア3↓0 消滅」

(トラッシュユ2↓4)

「小火竜ヒノコ コア1 レベル1 BP3000」

「召喚時効果は使わない」

赤 スピリット

《小火竜ヒノコ》

コスト3 軽減赤1 <次代・星竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から4枚オープンできる。その中のアルティメットカード1枚を手札に加える。残ったカードは好きな順番でデッキの下に戻す。

Lv1・Lv2・Lv3 「スピリットソウル：赤」

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」(赤のシンボル1つ)を追加する。

「ターンエンド」

次は相手が確実に動く。：他人のデッキで戦うことになったとはいえ、一応の勝負だ。気を抜く訳にはいかない。

〈霧乃・第六ターン〉

「ドロー加速してきたかー。ならそっちの手が揃う前に…。スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。眼鏡委員長タイプの《デリス・ペルティオ》ちゃ

ん登場！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「デリス・ペルティオ コア1 レベル1 B P 1000」

「この娘も可愛いよね♪ うへへえ…♪」

「そ、そっすね…」

内心動揺しまくりの私を余所に新たに召喚した…デリス・ペルティオ？というカードにうつとりしている。…私が今やってるのバトルスピリッツだよな？

「よし！アタックステップ！ フォンニーナちゃん！」

来るか！

「…は！アタックする代わりに【オンステージ】効果発揮！ …と先にオリンスパピア競技場の効果でリザーブのコア1つトラッシュにと」

(リザーブ3↓2)

(トラッシュ1↓2)

青 ネクサス

《オリンスパピア競技場》  
きょうぎじょう

コスト3 軽減青2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：青

Lv1・Lv2 『お互いのメインステップ』

スピリット／ネクサス／マジックの効果でスピリットを召喚できない。

Lv2 『相手のアタックステップ』

合体していない相手のスピリットがアタックするとき、相手は、相手のリザーブのコア1個を相手のトラッシュに置かなければアタックできない。

「フォンニーナちゃん！ “【オンステージ】”！」

「お、オンステージ…？」

「私の手札にある《「情熱ダンサー」フォンニーナ》へと コスチューム・チェンジ 衣装変身

“!”

「っ!？」

「フォンニーナちゃんをデツキの一番したに戻して、衣装変身した  
フォンニーナちゃんをノーコスト召喚!」 オンステージ

「フォンニーナ デツキボトムへ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

「情熱ダンサー」フォンニーナ コア1 レベル1 BP500  
0

※「情熱ダンサー」フォンニーナを提示。

←

フォンニーナをデツキボトムへ。

←

「情熱ダンサー」フォンニーナのレベル決定。

←

オンステージ成功のためドロ。

※手順が曖昧(面倒)で複雑なため判りやすくするためこの手法を取らせていただきます。

「そして、「オンステージ」で登場できたから1枚ドロー!」

(手札2↓3)

これは本当にバトルスピリッツなのだろうか。何か違う次元の  
カードゲームをしているのではと錯覚と眩暈が…。

「更に更に 衣装(ステージスタイル)“フォンニーナちゃんの召喚時  
効果発揮!」

「まだある!?!」

「“【チーム・アップソリユーツ】”のメンバーがいるだけボイドからコ  
ア1つを衣装フォンニーナちゃんに追加するよ!」

「コアブーストだと…!?!」

「今いるメンバーは自分、衣装フォンニーナちゃんとデリス・ペルティ



オちゃん。よって2つコアを追加！レベル2にランクアップ！」

【「情熱ダンサー」フォンニーナ コア1↓3 レベル1↓2 B P  
5000↓7000】

黄 スピリット

《フォンニーナ》

コスト4 軽減黄4 <詩姫・私服（プライベートウェア）>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2 【オンステージ】『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「フォンニーナ」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドロウする。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

黄 スピリット

《「情熱ダンサー」フォンニーナ》

コスト7 軽減黄4 <詩姫・衣装（ステージスタイル）>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

【アブソリューツ】を持つ自分のスピリット1体につき、ボイドからコア1個をこのスピリットに置く（最大3個）。

Lv2 『このスピリットのバトル時』

バトル終了時、このスピリットのコア1個を自分のトラッシュに置くことで、このスピリットは回復する。

この効果はターンに1回しか使えない。

黄 スピリット

《《デリス・ペルティオ》》

コスト1 軽減無し <詩姫・私服（プライベートウェア）>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<4> Lv3 BP4000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2・Lv3 【オンステージ】『自分のアタックスステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統:<衣装>を持つ「デリス・ペルティオ」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドローする。

∴【転召】と似たようなものか？

しかしデメリットが見受けられないのはアイドルだからなのか。

「ターンエンド♪」

「え？ ライフは？」

「アタックしてた私服フォンニーちゃんがなくなったから、アタックし直しだよ。だから、ライフ減少とかは無い無い」

「なるほど…」

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

「灼熱の谷効果で2枚ドローして、1枚破棄。 …… 《鳥獣エルドウム》を破棄」

(手札2↓4↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。小火竜ヒノコのスピリットソウル発揮。私のアルティメットを召喚する際、赤のシンボルを1つ自身に追加。召喚するのは《アルティメット・ドラグサウルス》、レベル4」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・ドラグサウルス コア3 レベル4 B P 1 0 0 0」

「おお！アルティメット！」

「召喚時効果、相手のネクサス1つ、星空の冠を破壊！」

「うぬぬ…。やっぱ狙ってくるよねこれ…」

(霧乃リザーブ2↓3)

前に黄色使いのホムホムさんが使ってたのを覚えてるからな。迂闊に仕掛けたらまずいってね。

「アタックステップ。Uドラグサウルスでアタック！Uトリガー！」

「デッキトップをトラッシュに置くんだよね。つと…ああ。っ!? 私の《ヒルダ・マーガレット》ちゃんがあ!!」

「ヒ…コスト0!?!」

げえっ!? ここで外すとか無いぞ私!

黄 スピリット

《ヒルダ・マーガレット》

コスト0 軽減無し <詩姫・私服>

<1> L V 1 B P 1 0 0 0

<2> L V 2 B P 2 0 0 0

<3> L V 3 B P 3 0 0 0

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

L V 3 【オンステージ】『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「ヒルダ・マーガレット」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドローする。

「む、むう…」

「当たらなかったのはよかったけどヒルダちゃんが落ちたのはイヤあ

く！ アタックはライフで受ける！」

(霧乃ライフ5↓4)

(リザーブ3↓4)

「た、ターンエンド…」

頭を抱えなくなったが、切り替えていこう。つ、次は当たるさ…。

〈霧乃・第八ターン〉

「ヒルダちゃんは残念だったけど、フォンニーナちゃんとデリスちゃんが残ったのはラッキー！スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ5↓7)

「メインステップ。次に登場するのは“アーシア”ちゃん、“マリカ

“ちゃん、“ココ”ちゃん、“ミレファ”ちゃん達四人のアイドル《プ

リム・アンジュ》！オンステージ 召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

「プリム・アンジュ コア1 レベル1 B P 2000」

召喚されたのはキャラクターが四人絵描かれたスピリットカード。

…ブロマイドとかそういう類じゃない、よな…？

「次にアイドル達のプロデューサー、登場！ 《アルティメット・ソ

フィア》プロデューサー！お願いします！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ1↓4)

「アルティメット・ソフィア コア1 レベル3 B P 1000」

「Uソフィア…。バトル01に出た黄のアルティメットだったな…」

「そう！そしてプロデューサーするのはこの娘！2人目の《情熱ダン

サー》フォンニーナ》ちゃん！ノーコスト、レベル1でプロデューサー

開始！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「情熱ダンサー」フォンニーナ(2) コア1 レベル1 BP5000」

黄 アルティメット

《アルティメット・ソフィア》

コスト6 軽減黄3 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP13000

<4> Lv5 BP16000

シンボル：金

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

自分の手札にある系統：<詩姫>を持つスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットはトラッシュに置いたカードのコスト以下の相手のスピリットからブロックされず、自分のトラッシュにあるマジックカード1枚を手札に戻す。

「召喚時効果で【チーム：アブソリュート】のメンバーの数だけコアブースト！デリスちゃんとフォンニーナちゃん2人で3つブースト！」

「情熱ダンサー」フォンニーナ(2) コア1↓4 レベル1↓2」

「フォンニーナちゃん(2)のコア1つをリザーブに置いてっ」と

「情熱ダンサー」フォンニーナ(2) コア4↓3」

(リザーブ0↓1)

「並べてきたか…」

「アタックステップ！デリスちゃん、【オンステージ】！」

(リザーブ1↓0)

(トラッシュ4↓5)

「デリス・ペルティオちゃん！」

《「アイドル七将」デリス・ペルティオ》へ、衣装変身！

(手札1↓0)

「デリス・ペルティオ デツキボトムへ コアはアイドル七将の方へ」

「[「アイドル七将」デリス・ペルティオ コア1 レベル1 BP3000]

「オンステージ成功で1枚ドロー！更にプリム・アンジュの応援、効果によって、[「オンステージ」で召喚に成功したら1枚ドロー！

(手札0↓2)

黄 スピリット

《「アイドル七将」デリス・ペルティオ》

コスト4 軽減黄1 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

【「アブソリューツ」を持つ自分のスピリットが3体以上いるとき、相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに置く。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

【「アブソリューツ」を持つ自分のスピリットが相手によって破壊されたとき、自分はデツキから1枚ドローする。

黄 スピリット

《プリム・アンジュ》

コスト3 軽減黄2 <詩姫>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のスピリットが【「オンステージ」で召喚されたとき、自分のデツ

キから1枚ドロウする。

この効果は重複しない。

「うぬぬ…。やっぱ競技場厄介だなあ…。黄色にもネクサスどうにか  
できるカードが欲しいよう。ターンエンド」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓4)

「…っ！ ……2枚目の《鳥獣エルドウム》を破棄」

(手札4↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メイנסステップ」

…“これ”が“切り札”か。

やるとなれば次だ。次に召喚だ。

「《ブロンズ・ヴルム》を召喚。レベル1」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ0↓1)

「ブロンズ・ヴルム コア1 レベル1 BP3000」

「マジック、《ライフチャージ》を使用。足りない分はUドラグサウル  
スと競技場から受けとって、ブロンズ・ヴルムを選んで破壊。ボイド  
からコア3つをリザーブに」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ドラグサウルス コア3↓1 レベル4↓3」

「オリンスピーア競技場 コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓5)

(リザーブ0↓3↓4)

「Uドラグサウルスと競技場を再びレベル4、レベル2に。ヒノコを  
レベル2にしてアタックスステップ」

(リザーブ4↓0)

「アルティメット・ドラグサウルス コア1↓3 レベル3↓4」

「小火竜ヒノコ コア1↓2 レベル1↓2 B P 3 0 0 0 ↓ 4 0  
0 0」

「オリンスピーア競技場 コア0↓1 れべる1↓2」

「Uドラグサウルス、アタック！今度こそ、Uトリガー！」

「また外れて…！——マジック《スイートハート》、コスト3！」

「危ね…!? 最大ヒット！ B P 1 0 0 0 0 以下のスピリット3体破壊する！」

「ぎゃあああー!?」

「フォンニーナ2体、デリス・ペルティオには退場していただくぞ！」

「私のアイドル達がああー!?」

(リザーブ0↓7)

よし！ 妙な罪悪感があるが、厄介な事なる前に蹴散らせてよかった。

「このアタックは！」

「くう…！ライフで受ける！」

(霧乃ライフ4↓3)

(リザーブ7↓8)

「でも、ライフ減少でバースト発動！」

「っ！」

「最大最高！天使の中の天使！」

《世界を救う詩姫 ほちやー》！

レベル2！ 世界に響く歌を聴けえ!!」

バーストスピリットか！

「ほちやー!!キターー!!!」

（バースト：セット↓発動）

(リザーブ8↓4)

「世界を救う詩姫 ほちやー コア4 レベル2 B P 1 0 0 0  
0」

「「ほちやー！ほ、ほーっ！ホアアーツ!!ホアアーツ!!」」



「外野超うるせえ!？」

「さあさあ! ヒノコのアタックはどうする?!」

「や、止めてターンエンド…!」

璃恵に聞いたことがある。

バトスピのアニメで、あるキャラクターを演じている声優さんがかとんでもない人気なんだとか。…まさかこれなのか？

黄 スピリット

《世界を救う詩姫<sup>ディバ</sup> ほちやー》

コスト7 軽減黄3 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP5000

<4> Lv2 BP10000

<17> Lv3 BP20000

シンボル：黄

【バースト：自分のライフ減少後】

自分の黄のスピリットすべてを回復させる。その後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 『??』

???

Lv2・Lv3

???

〈霧乃・第十ターン〉

「よっしゃ! スタートステップ!」

(リザーブ4↓5)

(手札2↓3)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ5↓10)

「メインステップ! こうなれば《リーファ・シアーズ》ちゃん、登場!

(手札3↓2)

(リザーブ10↓6)

(トラッシュ0↓3)

「リーファ・シアーズ コア1 レベル1 B P 3000」

「次に《天聖弓セイクリッド・ボウ》を詩姫ほちやーに直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓5)

(トラッシュ3↓4)

天聖弓セイクリッド・ボウ

← 直接合体

世界を救う詩姫 ほちやー (合体)

「コスト：7+4||11」

「B P：10000+3000||13000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄+黄||黄黄」

「アイドルなのに武器持つのか?!」

「戦いながら歌って踊るのはアイドルとして常識だもん！」

「最近のアイドルは随分と武闘派なんだな!？」

「アタックステップ！リーファ・シアーズちゃん、【オンステージ】！」

(リザーブ5↓4)

(トラッシュ4↓5)

「手札ぬある《森羅の歌い手》リーファ・シアーズ》ちゃんに、レベル3で衣装変身！」

(手札1↓0)

「リーファ・シアーズ デッキボトムへ」

(リザーブ4↓5)

「【森羅の歌い手】リーファ・シアーズ コア3 レベル3 B P 1000」

(リザーブ5↓2)

「ダブルシンボル…！」

「オンステージ成功で1枚、プリム・アンジュの効果で1枚、合計2枚ドロ…！」

(手札0↓2)

手札が戻った…。立て直しが早いのもアイドルならではののかも

知れない。

「リザーブのコアをトラッシュに送って、衣装リーファちゃん、アタック！」

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ5↓6)

「ダブルシンボルはさすがに…！」

「その前に衣装リーファちゃんのアタック時効果！デッキトップを1枚オープン！」

●オープンされたカード

・《「アイドル三巨頭」ミリア・サンデー》

「おっしやk t k r え!! コスト6ぴったし！更に「チーム：アブソリューツ」のメンバーだからノーコストで登場！ レベルにはプリム・アンジュから受け取るよ！」

「プリム・アンジュ コア1↓0 消滅」

「「アイドル三巨頭」ミリア・サンデー コア1 レベル1 BP4000」

「一気に大型が2体…！」

「まだまだ！衣装ミリアちゃんの召喚時効果！デッキトップを3枚オープン！」

●オープンされたカード

・《ソロウイング》(ブレイヴ)

・《バーストスナップ》(マジック)

・《リユース・マト》(スピリット)

「来てる、来てるよこれえ！ 系統：＜私服＞を持ってるリユース・マトちゃん、ノーコストで登場！ レベルにはUソファイアプロデューサーから受け取る！」

「アルティメット・ソファイア コア1↓0 消滅」

「リユース・マト コア1 レベル1 BP3000」

一気に3体…！ 競技場が無かったら即死コースだった…。

黄 スピリット

《「リーファ・シアーズ」》

コスト5 軽減黄5 <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2・Lv3 【オンステージ】『自分のアタックステップ』  
このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すこと  
で、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「リーファ・シアーズ」  
1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドロース  
る。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

相手によつて自分のライフが減ったとき、自分の手札にある系統：  
<私服>を持つスピリットカード1枚をコストを支払わずに召喚で  
きる。

黄 スピリット

《「森羅しんらの歌い手」リーファ・シアーズ》

コスト9 軽減黄5 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP7000

<2> Lv2 BP9000

<3> Lv3 BP11000

シンボル：黄黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分のデッキを上から1枚オープンする。

そのカードが【アブソリューツ】を持つコスト6以下のスピリット  
カードのとき、コストを支払わずに召喚できる。  
召喚しない、または、他のカードのときはデッキの下に戻す。

Lv3 『???』

???

黄 スピリット

《「アイドル三巨頭」さんきょどう ミリア・サンデー》

コスト6 軽減黄3 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP5000

<3> Lv3 BP7000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から3枚オープンする。その中の系統：<私服>を持つスピリットカード1枚をコストを支払わずに召喚できる。

残ったカードはデッキの下に好きな順番で戻す。

Lv3 『自分のアタックステップ』

【アブソリューツ】を持つ自分のスピリットがアタックしたとき、相手は、相手のフィールドのコア1個を相手のトラッシュに置かなければブロックできない。

黄 スピリット

《リユース・マト》

コスト5 軽減黄3 <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

<5> Lv4 BP7000

シンボル：黄

【チーム：アブソリューツ】

Lv1・Lv2・Lv3・Lv4 【オンステージ】 『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「リユース・マト」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2・Lv3・Lv4 『自分のアタックステップ』

【アブソリューツ】を持つ自分のスピリットすべてをBP+2000

する。

「リーファちゃんのアタックは止まらないよ！」

「ら、ライフ…！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「更に詩姫ほちやーで剣刃合体アタック！ まずほちやーのバトル時効果ー・ヒノコのBPをマイナス3000！」

「小火竜ヒノコ BP4000→3000＝1000」

「更にセイクリッド・ボウの合体アタック時効果でマイナス2000！」

「小火竜ヒノコ BP1000→2000＝0」

「これでヒノコのBPが0になったから1枚ドロー！」  
(手札2↓3)

黄 ブレイヴ

《天聖弓<sup>てんせいきゅう</sup>セイクリッド・ボウ》

コスト4 軽減黄3 <剣刃>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：黄

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このターンの間、相手のスピリット1体をBP→2000する。

その相手のスピリットがターンで初めてBP0になったとき、自分はデッキから1枚ドローする。

「くっ…！」

「ほちやーを焼こうとしても、衣装リーファちゃんの効果でBP爆上げしてるから、《シャイニングフレイム》でも破壊できないよ！ しかも！ほちやーが破壊されても他の詩姫を疲労させれば回復状態で残るから無駄無駄あー！」

「何っ!?!」

《世界を救う詩姫 ほちやー》

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

このターンの間、相手のスピリット1体をBP―3000する。

Lv2・Lv3

このスピリットが相手によって破壊されたとき、系統：＜詩姫＞を持つ自分のスピリット1体を疲労させることで、このスピリットは回復状態でフィールドに残る。

《「森羅の歌い手」リーファ・シアーズ》

Lv3 『自分のアタックステップ』

【アブソリューツ】を持つ自分のスピリットが3体以上いる間、自分のスピリットすべてをBP+5000する。

「つまり！ 【チーム：アブソリューツ】の《リユネ・マト》ちゃん、《ミリア・サンデー》ちゃん、《リーファ・シアーズ》ちゃんで3人！条件満たしてみんなBPプラス5000！」

「【森羅の歌い手】リーファ・シアーズ BP11000+5000  
＝16000」

「【アイドル三巨頭】ミリア・サンデー 4000+5000＝9000」

「リユネ・マト 3000+5000＝8000」

「世界を救う詩姫ほちゃー 13000+5000＝18000」

破壊も駄目、ブロックもほぼ駄目なら……！

「ライフ！」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ2↓4)

「我慢した甲斐があった！バースト発動！」

「ここで発動ってことは……！」

「《絶甲氷盾》！ ボイドからコア1つをライフに置いて、追加でコストを支払い、これ以上のアタックを止める！」

（バースト：セット↓発動）

(悠姫ライフ1↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ5↓9)

「くぬぬ…！仕留めきれなかった…！」

〈悠姫・第十一ターン〉

「スタートステップ！」

（リザーブ0↓1）

（手札1↓3）

「3枚目の《鳥竜エルドゥーム》を破棄！」

（手札3↓2）

（トラッシュ9↓0）

（リザー1↓10）

「メインステップ…」

凌ぎきつた…。出すなら、きつとここなんだろう！

「Uドラグサウルス、ヒノコ、オリンスピーア競技場を全て最低レベルにダウン！」

「オリンスピーア競技場 コア1↓0 レベル2↓1」

「小火竜ヒノコ コア2↓1」

「アルティメット・ドラグサウルス コア3↓1 レベル4↓3」

（リザーブ10↓14）

「3枚目の《獣竜アルドゥーム》、レベル2で召喚！」

（手札2↓1）

（リザーブ14↓9）

（トラッシュ0↓2）

「獣竜アルドゥーム コア3 レベル2 BP5000」

「さつきから捨ててたやつがやつとお出ましつつて訳ね…！」

「召喚時効果でBP3000以下のリユース・マトを破壊！」

「なっ!? リユースちゃんが…」

（霧乃リザーブ0↓1）

「そして、ヒノコのスピリットソウル！ジョーカー、ここで切らせてもらおう！」

《邪神龍ドゥーム・ドラゴン》、召喚!!」

「ウソ…あれッて…！」



「クヒヒ…。マあ、及第点つテとこかな。磨けバもつト強くなるナる…♪」

「うわ…っ!?! 何そのカード!? アルティメットなの?!」

「多分、ね」

「多分?」

(悠姫手札1↓0)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュ2↓5)

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア1 レベル3 BP11000」

「召喚時効果! 私のトラッシュにある《獣竜アルドウム》、《鳥獣エルドウム》1枚ずつをコストを支払わず復活させる! 2体ともレベル2!」

(リザーブ5↓0)

「獣竜アルドウム(2) コア3 レベル2」

「鳥竜エルドウム コア2 レベル2 BP4000」

「うそ!?!」

「更に復活した獣竜アルドウムの召喚時効果! BP3000以下のスピリットを破壊するが、《邪神龍ドウム・ドラゴン》がいるとき、さらにBP10000以下のスピリット1体を破壊する! 破壊するのはミリア・サンデー!」

「み、ミリアちゃんまで…!」

(霧乃リザーブ2↓3)

「ここで決める! Uドラグサウルスとヒノコのコアを邪神龍ドウム・ドラゴンへ!」

「アルティメット・ドラグサウルス コア1↓0 消滅」

「小火竜ヒノコ コア1↓0 消滅」

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア1↓3 レベル3↓4 BP11000↓18000」

「アタックステップ! 2体の獣竜アルドウム、レベル2からの効果

発揮！

《邪神龍ドゥーム・ドラゴン》に《赤のシンボル1つを追加する》  
！」

「な、え、はあっ!？」

「邪神龍ドゥーム・ドラゴン シンボル金＋赤＋赤＝金赤赤」

「究極にシンボルを追加するですって:!?」

「冗談じゃないのですよ:~!」

「アルティメットが、トリプルシンボル。お姉ちゃんのトラッシュにはあと1体あの獣竜アルドゥームつていうのがある:~」

「:~:アルティメットのクアドラルシンボル:~」

「まだまだ！鳥竜エルドゥーム、レベル2効果！《邪神龍ドゥーム・ドラゴン》がいる間、私のアタックステップ中、BPプラス10000!」

「鳥竜エルドゥーム BP4000+10000＝14000」

赤 アルティメット

《邪神龍ドゥーム・ドラゴン》

コスト7 軽減赤4 <次代・古竜>

<1> Lv3 BP11000

<3> Lv4 BP18000

<4> Lv5 BP23000

シンボル：金

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

自分の手札かトラッシュにある《獣竜アルドゥーム》と《鳥竜エルドゥーム》1枚ずつを、コストを支払わずに召喚できる。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

???

赤 スピリット

《獣竜アルドゥーム》

コスト4 軽減赤2 <皇獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP7000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』  
BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

自分の《邪神龍ドウム・ドラゴン》がいるとき、さらに、BP1000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

自分の《邪神龍ドウム・ドラゴン》すべてに赤のシンボル1つを追加する。

《鳥竜エルドウム》

コスト4 軽減赤2 <皇獣>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

???

Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

自分の《邪神龍ドウム・ドラゴン》がいる間、このスピリットをBP+10000する。

「邪神龍ドウム・ドラゴン、アタック！」

「っ……！」

「Uトリガー！」

「……コスト4、《オルティーナ・クラン》さん！」

「ヒット！ 私の場にいるアルドウム、エルドウムのBPをプラス15000!!」

「はあ!?! い、15000!?!」

「獣竜アルドウム BP5000+15000=20000」

「獣竜アルドウム BP5000+15000=20000」

「鳥竜エルドウム BP14000+15000=29000」

《邪神龍ドウム・ドラゴン》

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このターンの間、自分の《獣竜アルドウム》と《鳥竜エルドウム》すべてをBP+15000する。

「更に鳥竜エルドウム、レベル1からの効果。エルドウムか邪神龍がアタックしたとき、1枚ドロロー！」

(手札0↓1)

《鳥竜エルドウム》

Lv1・Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

このスピリットか自分の「邪神龍ドウム・ドラゴン」がアタックしたとき、自分はデッキから1枚ドロローする。

「馬鹿みたいな超シナジーとか……！」

「フラッシュがないならライフ3つ砕くぞ！」

「あ、ある！あるから……もう仕方ない！マジック《ハードビート》！不足分はリーファちゃんから借りる！」

(霧乃手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

「[森羅の歌い手]リーファ・シアーズ コア3↓2 レベル3↓2」

(トラッシュユ6↓10)

「<詩姫>を持つてるリーファちゃんとほちやーをデッキボトムに戻して、戻した分デッキトップをオープン！」

「[森羅の歌い手]リーファ・シアーズ デッキボトムへ」

「世界を救う詩姫ほちやー デッキボトムへ」

「天聖弓セイクリッド・ボウ 残留 コア1 レベル1 BP30

00」

(リザーブ0↓5)

●オープンされたカード

・《ヒルダ・マーガレット (詩姫・私服)》

・《オルティーナ・克蘭 (詩姫・私服)》

「出ないよかマシだけど……<詩姫>を持つてる2人をノーコストで登場させるよー！」

(リザーブ5↓1)

「ヒルダ・マーガレット コア2 レベル2 BP2000」

「オルティーナ・クラン コア2 BP4000」

黄 マジック

《ハードビート》

コスト8 軽減黄4

フラッシュ:

系統:<詩姫>を持つ自分のスピリットを好きなだけデッキの下に戻すことで、戻したスピリット1体につき、自分のデッキを上から1枚オープンする。

その中の系統:<詩姫>を持つスピリットカードを、コストを支払わずに好きなだけ召喚する。

ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮しない。

残ったカードは破棄する。

「こちらのフラッシュだ!」

「っ!? 引かれた!」

「マジック、《ネオ・フレイムテンペスト》!!

コストは邪神龍、エルドウームから取る!!」

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア3↓1 レベル4↓3」

「鳥竜エルドウム コア2↓0 消滅」

(トラッシュユ5↓9)

「BP4000以下のスピリット全てを破壊する!」

「や…焼き払われた…」

「ヒルダ・マーガレット BP2000 破壊」

「オルティーナ・クラン BP4000 破壊」

「天聖弓セイクリッド・ボウ BP3000 破壊」

(霧乃リザーブ0↓6)

(悠姫リザーブ0↓1)

「邪神龍ドウム・ドラゴンは、トリプルシンボルだ!!」

「悔しい…! ライフで、受けてやるわよ!!」

(霧乃ライフ3↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

・

## 白騎士と黒い赤

「勝者、103番の悠姫ちゃん」

「うわ、悔しい！」

「……ふう」

「悔しいけど、良いバトルだったわ。またやりましょ！」

「あ……うん……」

勝った。いや、勝ったは勝ったが、勝ったという感覚が薄い。私のデッキじゃないってのもあるが……。すると握手を求められたので、おずおずと握手をする。

「はい。悠姫ちゃん、賞品のカードよ」

すると、董さんが賞品であるカードを渡しに来てくれた。差し出されたカードを受け取るが、自分のデッキで戦った訳じゃないのに良いのだろうか。

…董さんに伝えて、これは桐島さんに譲ろう。その方が良い。

「あ、あの……董さ——」

「たしかに、自分のデッキじゃないのに賞品を受け取るのはいかがとは思うけど」

「っ！」

「今回だけ、特別ね。次あったら問答無用で失格だからね？」

「…は、はい」

「それに、勝ったのにそれを譲るっていうのは、あの子たちならまだしも、中級者、上級者にしてみれば“情け”と取られちゃうわ」

……情け、か。

「だから。これを受け取って、次は悠姫ちゃんの本当のデッキで、しっかり勝てばいいの。ね？」

「っ！ ……はい！」

次は私のデッキで勝つ…。前向きに捉えればいいのか。…いつも後ろ向きな考えしかなかった私が、バトルスピリッツをやるようになって考え方が変わったな、まったく…。

「ユーキちゃん！」

「うおっ!？」

突然背後から両肩を叩かれた。誰かと驚いて振り向けば、先程の対戦相手の桐島さんだった。

「なあに暗い顔してんの?」

「えつと…その…」

「あたしに勝ったんだから、そんな泣きそうな顔してないでもっとシャキッと笑いなさいよ!」

「シャキッと笑うってどんな笑い方なんすか…」

元気だな…。困り顔の私と比べて勝ち気な笑顔が眩しい。

「何だか判らないけどさ、あのカードのコンボ超すごいじゃん!」

「…あはは」

「たしかにアルティメットの召喚時効果を止められるカードは今ところ無いし、しかもアルティメットにシンボル追加するとか予想外過ぎだし!」

あの邪神龍のことを力説する桐島さん。言う通り、アルティメットにシンボルを追加するカードは、今のところさっきの獣竜アルドウムくらいだ。アルティメットに作用を及ぼすと言ったら精々BPアップか、誓約付きの回復くらいか。

…このデッキの中身を全部見てはいないが、邪神龍が3枚入っているとすると。

「あれを3積みしてるとして、3体並んだら最大シンボル4つのアルティメットが3体とか、考えただけでも寒気がするわね!」

「対処出来ないっばいですよね」

「うんにゃ、それでも無いよ」

「え?」

「邪神龍…だっけ?そいつ自体に相手の場をどうこうする効果は無いじゃん? だから落ち着いて周りの取り巻き達を何とかすればいいのよ!簡単簡単!」

…すぐさま邪神龍の突破方法を考えつくとは。

「…すごいですね」



「ふっふーん♪一応あたしも？上級者だし？」

ドヤ顔しながら長い髪をパサツと弾く仕種をする。自信満々なんだな。さすが上級者。

「…あ、七海待たせてるんだった。またバトルしましょうね！」

「…また、よろしく」

「ええ。それまでに辛気臭い顔すんの止めときなさいよ！可愛い顔が台なしになるから！じゃね♪」

い、言いたい放題だなまったく…。待機してた堇さんに賞品を貰って待っている友人のところへ行ってしまった。

と…、そうだ私もあの人捜さなきゃ。デツキ持ってかれてしまう。

一応堇さんには麗奈さんから聞いたらしく、麗奈さんは私のバトルが始まってすぐ。祐依、璃恵、彩音、真桜はバトルが終わってすぐ捜索を始めてくれたようだが…。

「お姉ちゃん！」

「お、祐依」

「あの人見つけたよ。デツキ持ってるから、お姉ちゃんと会いたいわって」

…この店内で会いたいわって、どういうことだ？ とにかく会ってこのデツキも返さないよ。

「来たね」

「悠姫お姉さん！こっちなのですよ！」

祐依に連れられ、人混みを避けたデュエルスペースの端っこ辺りに、皆がいた。

その内璃恵と彩音が明らかに険悪、祐依はピリピリしていた。その視線の先には、あの時ぶつかり、偶然にもデツキを取り違えた相手が席に座り肩肘を付きながら待っていた。

「ヤあ」

「あ、どうも。デツキのことで…」

「ウン。判ってル」

こうやって全身を見ると、真ついレインコートのようなものん着ていた。見える部分は両手、太股辺りからの両足。陰っついて見えづらい顔ぐらい。黒い膝下までのブーツ、重い病気なのかと疑いたくなるような白すぎる肌とフードから少し見える白髪。瞳は外国の生まれなのか金色に「光っているようにも見える」。

「すみません、勝手に使ってしまった」

「気にしナイで良いヨ。ちゃんと使えテたシ、負けナかったからネ♪」  
ニコツと笑う顔にちよつと安堵した。自分のデツキ使ったんだから賞品寄越せ〜とか言われんじやないかと内心ヒヤヒヤもんだつたが、丸く収まりそう、か？

「デツキ、返しますね」

「アリガト♪ はい、キミのデツキ」

この人のデツキを返し、差し出された私のデツキを受け取――

「ヲ、タダで返しタクはナイな〜」

「っ!？」

受け取る寸前、サツと取り上げられてしまった。空振りさせるような感じで。

「ちヨ……! アンタ悠姫がデツキ返したんだから、さっさと返せヨー!」

「『璃恵』は黙っテナよ」

…何だ？璃恵の知り合いだったのか？

「え、えと……」

「普通ニ返すのはちよつと面白クナイんだよネ〜」

やはり賞品寄越せと言われるのか？ …言われたら差し出すしかないだろう。

「ボクとバトルシヨウよ」

「……え？」

「クヒヒ……♪ ダカラ、バトル♪ 勝ち負け関係ナくて、してくれたら返すカラ♪」

「…そ、そんなに良いなら」

「悠姫!」

この人璃恵の事を無視し始めた。…璃恵が頭から喧嘩腰になるほ

どって、私が知らない因縁なのか？

「あ、そうだ。 “ごっち” のデッキ使っテほしいナ」

「え……？」

差し出されたのは白と金で装飾されたデッキケースを受け取る。

…えっと、これを使えってこと？

「大丈夫大丈夫♪ 紙束ジャナイカラ安心シテよ♪」

「は、はあ……」

相手さんは既にデッキを取り出し慣れた手つきでシャッフルしている。…とにかく、バトルするだけなら問題は無いはずだ。

私も貸されたデッキを取り出し、慎重に混ぜる。

身内を見回すと、麗奈さん、真桜は「仕方ないから相手の要求に応えよう」

祐依、璃恵、彩音は難しい表情を崩さない。

この人、一体何者なんだ……？

緋立 悠姫

【??】

vs

【??】  
【??】  
【??】  
【??】  
【??】

「先攻は譲っテあげルよ」

「お、おう」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

初期手札4枚にドロー1枚。……これは “白のデッキ” か。

白を本格的に使うのは初めてだな。どちらかと言えば、補助の役割でデッキに投入したものだからな。…どうするか。私が対戦、観た白では璃恵の『防御なぞ相手を倒してしまえば必要あるまいの白紫』

と鈴枝先輩の『あえて言うなら普通の白緑』の二つ。

「…ネクサス《ファイアナ空母都市》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓3)

「次に《ザニーガン》を召喚、レベル1。…えっと、ザニーガンはコスト1に白の軽減1つだから、0コストで召喚する」

(手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「ザニーガン コア1 レベル1 BP」

「ターンエンド」

「空母都市にザニーガンってことは、悠姫君の使ってるデッキは〈武装〉になるかな」

「ここまでは普通の白っぽいのですよ。…またあの赤デッキみたく、知らないカードが入ってるかも知れないですよ」

《???・後攻第二ターン》

「クヒヒ♪ スタートステップ」

(リザーブ5↓4)

(手札4↓5)

「ジャア、まずはネクサス《灼熱の谷》を配置すルよ」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓3)

「次に《デブリ・ザード》。レベル1で召喚すルよ」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓1)

「デブリ・ザード コア1 レベル1 BP1000」

「バーストも付けターンエンド♪」

(手札3↓2)

「バースト：無し↓セット」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ…。そういえば、まだ名前聞いてなかったけど…」

「ン？ イイじゃん別に名前なんて」

「いや、それは色々とアレだし…」

「ン。しょうがなイナあ♪ ムキ」の頼ミじゃ断れないネえ♪」

「ツ!? ちょっと！アンタが気安く悠姫の名前呼ぶんじゃないよ!!」

「そんなの知らないネえ♪」

「ぎけんなツ!!」

璃恵がここまで邪険にするとは…。

「璃恵落ち着け。…とにかく、教えてもらえないかな？」

「うん、イイよ♪」

レキ。レキッテの」

レキ。…。下の名前かな。…璃恵が何も言わないってことは本当の名前なのかな？ もし偽名とか言ったら璃恵やらが怒りだすだろうし。

「じゃあ…レキ、さん？」

「さん付けなんてしなくてイイよ♪ レキって呼び捨てでいいから

♪」

「ギギギギギ…!」

「齒軋りとハンカチ噛むの止めなさい白銀の。見苦しい」

嫉妬か！ …とにかく、バトルを続けよう。

「《スタードライアン》、レベル2で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「スタードライアン コア2 レベル2 BP4000」

「アタックステップ、スタートライアンでアタック！」  
「へえ…、果敢だね。ライフで受けよウか」

(レキライフ5↓4)  
(リザーブ1↓2)

「ターンエンド」

〈レキ・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

「灼熱の谷効果で2枚ドロして、1枚破棄。《獣竜アルドウム》を破棄すルよ♪」

(手札2↓4↓3)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。…才目見エだ♪ 《鳥竜エルドウム》召喚！」  
(手札3↓2)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ0↓2)

「鳥竜エルドウム コア1 レベル1 BP3000」

「来たか。悪趣味なスピリット」

「まだまだ♪ 《砲竜バル・ガンナー》を直接合体♪」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ2↓4)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

鳥竜エルドウム (合体)

「コスト：4+4=8」

「BP：3000+2000=5000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤=赤赤」

「余ったコアデエルドウムをレベル2にシテ、アタックステップ！」

(リザーブ1↓0)

「鳥竜エルドゥーム(合体) コア1↓2 レベル1↓2 B P 3000↓4000+2000=6000」

「その前に、ファイアナ空母都市の効果! 私の白のスピリット達全員のBPをプラス3000する!」

「ザニーガン 1000+3000=4000」

「スタードライアン B P 4000+3000=7000」

白 ネクサス

《ファイアナ空母都市》

コスト3 軽減白1

<0> L v 1

<2> L v 2

シンボル：白

L v 1・L v 2 『相手のアタックステップ』

自分の白のスピリットすべてをB P +3000する。

L v 2 『相手のアタックステップ』

系統：<武装>を持つ自分のスピリットがB P を比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

この効果は重複しない。

「クヒヒ：了解了解♪ エルドゥーム、合体アタック!」

私はあの時エルドゥームをアタックには使わなかったが、やはりシンボルで圧してくる感じになるのか…?

「バル・ガンナーの合体アタック時効果ハ知ってるよネ。1枚ドロ―して、B P 4000以下…ピッタシ4000のザニーガンはもらってくよ♪」

「場の数を優先したのが仇になったかな…」

(レキ手札1↓2)

(悠姫リザーブ0↓1)

「更にエルドゥームの効果ニよりもウ1枚ドロ―させテもらウからネ♪」

(レキ手札2↓3)

手札が戻った…。そういうやり方もあるのか。

「アタックはどうすル？」

「ライフで受けるしかない！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「才返しの2点、削らせテもらっタヨ」

「何の、まだまだ…！」

とは言つたものの、あの邪神龍のことを考えるといくらライフがあつても大丈夫とは言い難いんだよなあ。

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ4↓6)

「メインステップ。《要塞蟲ラルバ》をレベル2で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「要塞蟲ラルバ コア2 レベル2 BP5000」

「召喚時効果、私の白のスピリット2体にボイドからコア1つずつを追加する。ラルバはレベル2から白になるから、スタードライアンとラルバに追加するぞ」

「スタードライアン コア2↓3 レベル2↓3 BP4000↓6000」

「要塞蟲ラルバ コア2↓3」

「ラルバのコアを1つリザーブに戻し、アタックステップ…に入るが、何もせずこのままターンエンドだ」

「要塞蟲ラルバ コア3↓2」

(リザーブ1↓2)



へレキ・第六ターン

「デは、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓5)

「：《戦竜エルギニアス》を破棄しちゃおうカ」

(手札5↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。……クヒヒ♪ デブリ・ザードのスピリットソウル、行クよ♪」

「アルティメットが来る……！」

「究極へト到るは狂乱せし剣の龍。

破壊を振り撒ク朱き聖剣！

《アルティメット・エクス・キャリバス》！

邪魔する者、ことごと尽く屠れ！」

「アルティメット・エクス・キャリバス」!?

あのデツキ、そんなカード入ってたのか……!

「エクス・キャリバスの元ハ、かの有名ナ『星の聖剣エクスカリバー』らしいけど、その担い手が狂つちゃ護ルも何もナイよネえ♪」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・エクス・キャリバス コア1 レベル3 B P 1  
0000」

「まず……!?!」

「サあテ、ユキの運はドのぐらいかなあ? アタックスステップ！」

「ふ、ファイアナ空母都市の効果！」

「スタードライアン B P 6000↓9000」

「要塞蟲ラルバ B P 5000↓8000」

「どちらモ範囲内ダよ! Uエクス・キャリバス、アタック! アルティメットトリガー、ロックオン！」

「レベル3からか…。 …！コスト7、《獅機鎧神ヴァルハランス・レオ》！ 同じコストだからハズレだ！」

「ヴァルハランス・レオがお姉さんを守ったのですよ！」

「紫や緑にとつては害悪以外の何者でもなかったのだけど、ああやって悠姫を護ってくれたのなら感謝はしないとね」

「あらく運もナカナカ♪ ンでアタックはどうすル？ BPは10000！」

「…スタードライアンでブロック」

「へえ♪ でもBPハ微妙に負けてるよ？」

「ここでこのアルティメットを止めないと厄介なことになるかも知れん。鳥竜をほつとくのもアレだが、これを使うなら今だと思う！」

「フラッシュユタイミングで、《シールデイバグ》をスタードライアンに神速合体！」

(手札3↓2)

(リザーブ↓0)

(トラッシュユ3↓5)

シールデイバグ

← 神速合体

スタードライアン (合体)

「コスト：3+4=7」

「BP：6000+4000=10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「空母都市の効果も合わせてBP13000だ！」

「ホウ！やるネえ♪ そノままやられテあげルよ。倒しタのはスピリットじゃナイから回復はデキないけどネ」

(レキリザーブ1↓2)

緑 ブレイヴ

《シールデイバグ》

コスト4 軽減緑2白1 <殻虫・光虫>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +4000

シンボル：無し

フラッシュ【神速】

手札にあるこのブレイヴカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

【合体条件：コスト3以上】

【合体時】『このスピリットのバトル時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、このスピリットは回復する。

「Uエクス・キャリバスを倒せても、エルドウームのアタックはどうす  
るかナ！ エルドウームで合体アタック！」

(レキ手札3↓5)

「ボクのフラッシュタイミング！ マジック《ネオ・アグレッシブレイ  
ジ》！ BPプラス3000と【真・激突】をエルドウームに与えろ  
！」

(手札5↓4)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ3↓5)

「鳥竜エルドウーム(合体) BP7000+3000=10000」

「アルティメットだろうと何だろうとブロックしてもらわからね！」

「ラルバで、ブロック！ こっちもフラッシュタイミング！ マジック《ライフチャージ》を使用！ コストはラルバから1つ、スタード  
ライアンから2つを受け取る！」

(悠姫手札2↓1)

「要塞蟲ラルバ コア2↓1 レベル2↓1 BP5000↓3000」

「スタードライアン(合体) コア3↓1 レベル3↓1 BP6000↓3000」

(トラッシュユ5↓8)

「今ブロックしてるラルバ自身を対象にして破壊し、ボイドからリ

ザーブにコア3つを追加する！」

(リザーブ0↓3↓4)

「フムフム、良い回避だ♪ 仕方ないからアタックは終了しよう♪」

そのまま当たって負けても良かったが、ここでライフチャージを使わなければおそらくこれから使うタイミングが見つからなくなる。そう思ったから、悪いがラルバには退いてもらった。：本来の持ち主がこういう使い方する、のだろう。

〈悠姫・第七ターン〉

「こつから…。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札1↓2)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ5↓13)

「メインステップ。…こいつか！」

《月光龍ストライク・ジークヴルム》をレベル3で召喚！

(手札2↓1)

(リザーブ13↓5)

(トラッシュユ0↓4)

「月光龍ストライク・ジークヴルム コア4 レベル3 B P 1 0 0 0」

「月光龍…。あれが入ってるのかい」

「本来、系統：＜武装＞でパワーを求めるなら月光神龍の方ですけど、敢えて月光龍の方を採用してるってことは…」

「コンボ狙い。鋭いネ祐依ちゃん。：悠姫が“我が友”を使ってるのは嬉しいんだけど、それがワタシの手引きじゃなくてアイツなんかにいい…。」

「見苦しい嫉妬ね…」

「月光龍を引いたか…。クヒヒ♪ 良いヨ良いヨお…。」

やっぱり、何処なくというか、璃恵に似てるな。変な笑い癖とか…。

「…次にこのブレイヴだ」

「っ！ ソっちも引いたんだ…！」

「《聖盾セイクリッドシールド》！ ストライク・ジークヴルムに直接合体！」

(悠姫手札1↓0)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ4↓6)

聖盾セイクリッドシールド

← 直接合体

月光龍ストライク・ジークヴルム(合体)

「コスト：6+4≡10」

「BP：10000+4000≡14000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白≡白白」

「あれは、『盾』？」

「セイクリッド…。聖なる輝き…」

「クヒヒヒヒ…！ 素晴らしいイよ!! ヤっぱそれはキミを選ぶんだ！

クヒヒヒヤハハハハッ!!」

…ま、また随分テンションが違ってきたな。

目が大きく見開かれて、ようやく見えた瞳は妖しく光る金色だった。

「…次にスタードライアンをレベル2、ファイアナ空母都市をレベル2にしてアタックステップ！」

(リザーブ3↓0)

「スタードライアン(合体) コア1↓2 レベル1↓2 BP3000↓4000+4000≡8000」

「ファイアナ空母都市 コア0↓2 レベル1↓2」

「ストライク・ジークヴルムで合体アタック！」

「クヒヒ、デブリ・ザードでブロック！ 勿論太刀打ちなんてできないヨ」

(レキリザーブ0↓1)

「スタードライアン！」

「そうハ行かないンダ！スピリット破壊にヨるバーストおツ！《双光  
気弾》ツ!!」

《レキバースト：セット↓発動》  
「っ！」

「まず2枚ドロロー！追加コストを使つテ目障な虫を焼ク!!」

(手札4↓6)

(リザーブ1↓0)

「鳥竜エルドウム（合体） コア2↓1 レベル2↓1」

(トラツシユ5↓7)

「ちい…！」

「シールデイバグ（合体虫） 破壊」

「怯まずスタードライブアンでアタック！」

「ライフだよ!!」

(ラキライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド…」

《レキ・第八ターン》

「サあ、ボクのターンだ！」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓8)

「鳥竜エルドウムを破棄！」

(手札8↓7)

(トラツシユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メインステップ！まず2枚目の《デブリ・ザード》！」

(手札7↓6)

(リザーブ9↓8)

「『デブリ・ザード（2） コア1 レベル1』」

「クヒヒヒヒツ…！ 往クよ、ユキ…ツ!!」

「…っ」

「来タれ、<sup>あまた</sup>数多の光喰らう終滅の闇！

《邪神龍ドウム・ドラゴン》!!

レベル4、降臨ッ!!」

遂に来た、ヤバすぎる奴が…。

「クヒヒヒヒッ!! 手札がゼロの状態デえ、一体ドウ捌き切ルのかなあ〜?! 足掻いテ見せてよおッ!!」

(手札6↓5)

(リザーブ8↓2)

(トラッシュ0↓3)

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア3 レベル4 BP18000」

「更に更に召喚時効果ア! ボクのトラッシュにある獣竜アルドウム、鳥竜エルドウムを復活させルッ!!」

(リザーブ2↓0)

「獣竜アルドウム コア1 レベル1 BP3000」

「鳥竜エルドウム(2) コア1 レベル1 BP3000」

「更に更に更にイ! 獣竜アルドウムの召喚時効果でBP3000以下のスピリット1体、ソして邪神龍がイることデBP10000以下のスピリット1体を破壊ス! 消エろスタードライアン!」

「くっ…!」

「スタードライアン BP4000 破壊」

(リザーブ0↓2)

「デブリ・ザードのコアを合体シテイルエルドウムに喰わせてレベル2にー!」

「デブリ・ザード(2) コア1↓0 消滅」

「鳥竜エルドウム(合体) コア1↓2 レベル1↓2」

「アタックステップ! 鳥竜エルドウムレベル2の効果! 邪神龍ドウム・ドラゴンが場にいル間、BPプラス10000!!」

「鳥竜エルドウム(合体) BP6000+10000=16000」

0

「フィアナ空母都市の効果で、ストライク・ジークヴルムのBPを3000プラスする…!」

「月光龍ストライク・ジークヴルム(合体) BP14000+3000」

00||17000]

プラスしたとはいえ、あの鳥竜を越えてる値はたったの1000  
…。マジックで簡単に突破されてしまう。

……む？ 月光龍に合体時効果がある？

「…えっと、ストライク・ジークヴルム合体時レベル3の効果！」

「どうゾ〜」

「合体していない獣竜アルドゥームを選んで、このターン必ずアタックさせる！」

白 スピリット

《月光龍ストライク・ジークヴルム》

コスト6 軽減白3 <神星・武装>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

<4> Lv3 BP10000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

相手のスピリットがアタックしたとき、このスピリットは回復する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのブロック時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、そのスピリットよりBPの低い相手のスピリットすべてを手札に戻す。

【合体時】Lv3 『相手のアタックステップ』

ステップ開始時、合体していない相手のスピリット1体を指定する。

そのスピリットは可能ならば必ずアタックする。

強制アタック効果なのか…。前に対峙した月光神龍よりは防御寄りな感じなんだな。

「クヒヒヒ…いなら、まず邪神龍のアタックを受けなよ!! アルティメットトリガー、ロックオン！」

「トリガーがヒットしたら、お姉ちゃんの月光龍じゃ受け止められなくなっちゃう…！」



「…悠姫の悪運を信じるしかないわ」

「サあサあ！コールしナ！」

「——コスト……………」

「ここが勝敗の分かれ目！」

「コスト6以下だったら、私の負けは逃れられない。来い、来い…！」

「……………8″!!」

「ッ!!」

「マジックカード、《ネオ・ドリームリボン》だ!!」

白 マジック

《ネオ・ドリームリボン》

コスト8 軽減白4

【バースト：自分のライフ減少後】

自分の白のスピリットすべてを回復させる。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のスピリット／アルティメット1体を手札に戻す。

「やったのですよー！」

「あ、危なかった…！」

「はははっ、悠姫君のこういうときの勝負運には頭が下がるねえ」

よし…よっし…い！ やってやったぞ！

「やるネえ…、やるネえ!! でもアタックはどうすル！」

「ライフだ！ まだシンボル1つなら受けられる！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「クヒヒ…ッ！指定された獣竜アルドウムでアタック！」

「ストライク・ジークヴルム、レベル1からの効果発揮！相手のスピ

リットがアタックしたとき回復する！ そのままブロック！」

「聖なる盾を持った月の龍の前にハ、眷属程度じゃ相手にならないか…♪」

(レキリザーブ0↓1)

これでシンボルを追加される危機は一旦去った…！

「フィアナ空母都市レベル2の効果発揮！」

系統：＜武装＞を持つストライク・ジークヴルムが相手だけを破壊したとき、ライフ1つをリザーブに置いてもらう！」

(レキライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

「よっしゃ悠姫イ！あと2つだー！そのままブツ潰せー！ブツコロコロしちゃえー!!」

「煩い白銀の！」

「…：ターンエンド。ヒットしてればそノ首刎えられタのに…♪」

「物騒だなまったく…」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ3↓4)

(手札0↓1)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ6↓10)

「メインステップ。…マジック《ハンドリバーズ》！ 手札を全部捨てて、相手の手札と同じ枚数になるようドロウする！」

(手札1↓0)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュユ0↓5)

「レキの手札は5枚、よって5枚ドロウさせてもらう！」  
(手札0↓5)

よし、これで手札が復活した。…この手札ならやれる！

「ストライク・ジークヴルムと空母都市をレベル1に下げる！」

「月光龍ストライク・ジークヴルム(合体) コア4↓1 レベル3

↓1」

「フィアナ空母都市 コア2↓0 レベル2↓1」

(リザーブ5↓10)

「まずは『剣』を呼び出す！」

《聖剣セイクリッドソード》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュ5↓7)

「聖剣セイクリッドソード コア1 レベル1 BP3000」

「今度は『剣』？」

「剣と盾…ね」

「白のシンボル4つ確保。

…そのデッキの切り札が邪神龍なら、このデッキの切り札は『こいつ』なんだよな！」

「クヒヒ！イイよ！喚びなよ!!」

『聖騎士』ヲサあ!!」

「《聖騎士セイクリッド・ブレイダー》！

レベル2で、召喚!!」

白 スピリット

《<sup>せいぎし</sup>聖騎士セイクリッド・ブレイダー》

コスト7 軽減白4 <武装>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP12000

シンボル：白

手札にあるこのスピリットカードは、自分の「セイクリッド・ブラスター」が相手によって破壊されたとき、コストを支払わずに召喚でききる。

Lv1・Lv2・Lv3

???

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ7↓0)

(トラッシュユ7↓9)

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー コア4 レベル2 BP8000」

「破滅の龍に相対するは聖なる騎士…。絵になるわね」

「カッコイイのですよー!」

「切り札が出たのは良いけど、まだあの龍を倒すにはBPが遠いよ」

「あの聖騎士の真価はここからですヨ、麗奈さん」

「そしてセイクリッド・ブレイダーに、聖剣セイクリッドソードを合体させてレベル3にアップ!」

聖剣セイクリッドソード

← 合体

聖騎士セイクリッド・ブレイダー (合体)

「コスト：7+4||11」

「BP：8000↓12000+3000||15000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白||白白」

「聖盾セイクリッドソード コア↓譲渡」

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー コア4↓5 レベル2↓3

BP8000↓12000+3000||15000」

「剣と盾、これはこいつのためにあるようなもんなんだな!」

「ストライク・ジークヴルムのセイクリッドシールドを

「セイクリッド・ブレイダーに更に合体!!」

「ダブルブレイヴだっ!?」

「光龍騎神、〃龍輝神〃、〃神狼機獣〃の他に、2つのブレイヴを操る

騎士…」

月光龍ストライク・ジークヴルム

← 分離

聖盾セイクリッドシールド

← 換装合体

聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体)

「コスト：7+4+4＝15」

「BP：12000+3000+4000＝19000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白+白＝白白白」

《聖騎士セイクリッド・ブレイダー》

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、「聖剣セイクリッドソード」と「聖盾セイクリッドシールド」1つずつと合体できる。

「これで行くぞ！アタックステップ！」

セイクリッド・ブレイダーダブルブレイヴで双合体アタック!!」

「来い、聖騎士!!」

「聖剣セイクリッドソードの合体したときのバトル時効果！BPプラス2000!」

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー（双合体） BP19000+2000＝21000」

「クヒビ：。ブツ壊したイトこダけど、その盾が邪魔なんだよネえ」

「聖盾セイクリッドシールドは【超装甲・赤】を与える！赤のスピリットやマジックじゃ破壊されないぞ!」

白 ブレイヴ

《聖盾セイクリッドシールド》

コスト4 軽減白2 <剣刃>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：白

合体条件：コスト4以上

【合体時】【超装甲：赤】

このスピリットは、相手の赤のスピリット／アルティメット／ネクスス／マジックの効果を受けない。

「ホント、厄介厄介…♪」

「これが通れば、勝ちはもらうぞ!」

「待ちナよ、まだ終わらせたクないんだ。マジック《デルタバリア》さ

！」

「防御マジック…！」

(レキ手札5↓4)

「リザーブと邪神龍からコストを確保お！」

(リザーブ2↓0)

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア3↓1 レベル4↓3」

(トラッシュユ3↓7)

「これでライフは0にならない!! ライフだ!!」

(レキライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

白 マジック

《デルタバリア》

コスト4 軽減白2

フラッシュユ：

このターンの間、相手のスピリット／マジックの効果と、コスト4以上のスピリットのアタックでは、自分のライフは0にならない。

「ああん！防ぐとか何なんだマジックウ〜！」

「あなたの使う色のマジックでしように」

「まだ…、お姉ちゃんならまだ大丈夫です…」

仕留め損ねた…。次は邪神龍が本気でぶつかってくる。あとは、この手札でどうにかできるか…?!

〈レキ・第十ターン〉

「終わるのが惜しいなあ…！スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓6)

「3枚目ノ《デブリ・ザード》を破棄い！」

(手札6↓5)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メイン！《獣竜アルドウム》をレベル2で召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ9↓4)

(トラッシュ0↓2)

「獣竜アルドウム コア3 レベル2 BP5000」

「そして邪神龍へコアを追加ア、レベル5!!」

(リザーブ4↓0)

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア1↓5 レベル3↓5 BP1

1000↓23000」

「アタックステップ!!」

「フィアナ空母都市の効果!セイクリッド・ブレイダーとストライク・

ジークヴルムのBPをプラス3000!」

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー(双合体) BP19000+3

000=22000」

「月光龍ストライク・ジークヴルム BP5000+3000=8

000」

「邪神龍、ヤれえ!! トリガーロックオン!!」

「——っ! コスト4、《絶甲氷盾》!」

「ソウ何度もラッキーは続かないよ!ヒットだあッ!! 獣竜、鳥竜2

匹のBPプラス15000!!

レベル2、鳥竜エルドウムの効果でBPを更にプラス10000

!!

「獣竜アルドウム BP5000+15000=20000」

「鳥竜エルドウム(合体) BP4000+2000+10000

+15000=31000」

「鳥竜エルドウム(2) BP3000+15000=18000

0」

「2匹の鳥竜エルドウムレベル1からノ効果で、邪神龍がアタック

シタとき、1枚ドロ—!2匹だから2枚ドロ—!

サあて、此処からどうすルよお!」

(手札4↓6)

こっちの残り手札、3枚……!

「フラッシュユタイミング！ マジック《ネイチャーフォース》！ ト  
ラッシュユのコア全部をセイクリッド・ブレイダーに移す！」

(悠姫手札3↓2)

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体) コア5↓2 レベル  
3↓1」

(トラッシュユ10↓13↓0)

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体) コア2↓15 レベ  
ル1↓3」

残り2枚…！ レキの手札は6枚。使うにしてもあまり大きいマ  
ジックは使えないし、【神速】を使うにしたってリザーブにコアが無  
い。…行けるか!?

「更にマジック《セイクリッドスラッシュ》!!  
(手札2↓1)

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体) コア15↓12」  
(トラッシュユ0↓3)

「セイクリッド・ブレイダーを回復！ 回復したのが合体スピリット  
なら、ターン中BPプラス5000!」

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体) 疲労↓回復 BP 2  
2000+5000=27000」

白 マジック

《セイクリッドスラッシュ》

コスト5 軽減白2

フラッシュユ：

自分のスピリット1体を回復させる。

回復したスピリットが合体スピリットするとき、さらに、このター  
ンの間、そのスピリットをBP+5000する。

「邪神龍ドウム・ドラゴンは、このセイクリッド・ブレイダーでブ  
ロックする！ 更にバトル時効果、BPプラス2000！ もう1つ  
！相手のアルティメットとバトルしたとき、追加でBPプラス300  
0！」

「聖騎士セイクリッド・ブレイダー (双合体) BP 27000+2



000+3000=32000]

白 ブレイヴ

《聖剣セイクリッドソード》

コスト4 軽減白2 <剣刃>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：白

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットのバトル時』

このスピリットをBP+2000する。

相手のアルティメットとバトルしたとき、さらに、このスピリットをBP+3000する。

「合計BP32000！ UジークフリーデンやUグラン・ウォーデンを越えたのですよー！」

「対して邪神龍のBPは23000。…勝ったわね」

Defense!! ↓win!!

聖騎士セイクリッド・ブレイダー+聖剣セイクリッドソード+聖盾  
セイクリッドシールド

BP12000+3000+4000+3000+5000+2  
000+3000=32000

vs

Attack!! ↓Lose…

邪神龍ドウム・ドラゴン

BP23000

「邪神龍は討ち取らせてもらおうー！」

「ぐ…クヒヒ…！ イイよ！くれてやるよ!!」

「セイクリッド・ブレイダー、合体時レベル2からのバトル時効果！  
BP勝負に勝ったとき、ライフ1つをリザーブに叩き落とす!! 勝つ  
相手がアルティメットだろうとなー！」

「ッ…!!」

「これで…そっちのライフは、 “ゼロ” だ!!」

「ク…クヒ…！クヒヒヒヒ……ッ!!」

(レキライフ1↓0)

《聖騎士セイクリッド・ブレイダー》

【合体時】Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

BPを比べ相手のスピリット／アルティメットを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 天使と詩姫の交響曲・一曲目

「ツハーツーハツハツハー！ いやあ、負けちゃったよ」  
「…ふう…」

相手方のレキと、ひよんなことからデツキの取り違えたことから始まったバトルは、何とか私の勝ちとなった。

「ユキ、キミ強いじゃないか！ もっと自信持ちなよ」  
「そりやどうも…」

ケラケラと笑い称賛してくれるが、一歩間違えたらシンボル4つの直撃を食らうとこだったかも知れない。救われたのは月光龍と聖騎士のおかげだ。

——と、もし私とレキ以外がこの2つのデツキを弄ったらどうなたか、と考えそうになったとき横から衝撃が来た。

「ぐお」

「キヤーン!! やったよやっただやっただヨ悠姫イ〜！ うエ〜♪ どうヨ〜ワタシの悠姫の實力はヨ〜！」

「ちよ、馬鹿、抱き着くなうっとうしい！」

「クヒヒ〜♪ ソのバカに良く好かれてるネ」

璃恵も挑発は止める。嬉しいのは分かったから離れる恥ずかしい。

「璃恵さんは離れましょうね〜」

「あアん、悠姫イ〜」

「クヒヒ…。ハイ、約束のデツキだよ」

「ありがとう」

抱き着く璃恵を祐依が引きはがしてくれたので両腕が自由になり、デツキを返してもらえた。

「ソれじゃ、ボクはこれで」

「あ…おう」

デツキを返してもらうと、レキは片付けて席を立った。

「…あ、レキ」

「ん？」

「これ、貸してもらったデツキ忘れてるぞ」

帰るのはいいが貸したデッキを忘れていくのは感心しないな。私も慌てて、しかし丁寧にデッキをケースに戻してレキに渡す。

「おう、ゴメンね。：本当はユキに持っていテ欲しいけどネえ。仕方ない、預かるよ」

「預かるって、レキのでしょうに」

「それはソウだけど、これはキミが使う方が似合つてルよ」

「：：そう、か？」

「ソウソウ♪」

クヒヒと小さく笑うレキ。：よく分からん娘だけど、強いことは確かだ。最後に祐依、璃恵、彩音をチラツと見た後私を見て、じゃあねと手を振り、レキは縁を後にした。

「結局、あのレキは何だったんだ璃恵」

「フン！口に出すのもヤアなヤツだヨ！」

その後しばらく皆でバトルをし、後解散となった。

私、祐依、璃恵と三人で並んで、あのレキという少女？について聞いた。しかしそれを聞いたら璃恵が突然不機嫌になった。今まで完璧に忘れてたのに何で顔出しに来たのか判らない！と喚きながら。

「えっと、レキさん：は、璃恵さんの戦歴に唯一黒星を付けた人なんだよ」

「えっ、マジで」

「思い出させないでヨ祐依ちゃん！ あー！今思い出しただけでも悔しいー！」

：：璃恵がこんだけ荒れるなら相当こっぴどく負けたんだろうな。

祐依によれば、当時の環境で白は中の下ぐらいのところまで収まっていたのを、璃恵がトップの使い手として決勝戦にのし上がった。そこでの相手があのレキだったんだと。白の防御力、【装甲・赤】をものともしない力で圧倒し、璃恵の場にはスピリットが1体も残らず敗北したらしい。

「——焼き払われたフィールドで、璃恵さんにわざとスピリットを出させて蹂躪したのが原因かな。あとライフ1つなのに、砕かずに放置したんだよ」

「そりや璃恵も不機嫌になる訳だ」

所謂“弄び”もてあそび”状態。

決勝の舞台であんなことするなんて…、と祐依も表情を曇らせる。

「……とにかく、お姉ちゃんがそういう目に遭わなくて本当に良かった」

「一歩間違えてたら二の舞か…」

「あれを初心者にやられたら辞められちゃうから…」

まあ、勝ったんだから良しとしよう。祐依も璃恵もそれを危惧して不安がってたんだよな。

「……お姉ちゃん、話は変わるんだけど…」

「ん？」

「…私と、バトルしてないよね」

「…そう、だったっけ？」

「そうだよ！」

「うおっ!？」

突然、祐依がこちらにずっと寄ってきた。か、顔が近い近い…。

「この前だって生徒会のお仕事手伝わされてダメ、シヨップに行けばほぼ璃恵さんの独占…。せめて家ではって思えばクラスや部活の頼まれごとされてデッキを触る時間があってもバトルする時間が無いってこれ何の嫌がらせ!？」

「わ、分かった、分かったから…」

「お姉ちゃんの妹なんだから恥ずかしくないようにしてたらいつの間にか優等生キャラが付けられててちよつと困ってるんだよ!」

祐依の愚痴なんて初めて聞いた…。よほど鬱憤が溜まっていたのかなかなか終わらない。

「そうだよ。私も何か悪いことをして評価を下げればいいんだよね!」

「…例えば?」

「え? ……えと……………ろ、廊下に水を撒く!……………とか…」

「おお、悪いことだな」

「あ、朝早く行つて誰もいない時にだよ。その後はちゃんとモップ掛けとかして水を切らないと。誰か怪我したら大変だもん」

「……………」

それ単に廊下清掃してるだけや祐依…。

祐依は根本から良い娘だと判つたところで、祐依と次の休みにバトルする日程を決めた。頼まれ事全部終わらせて後は突っぱねるとやる気を漲らせて私の部屋を後にした。…祐依ってあんなパワフルだったか?

それはともかく、バトルするとして祐依からの約束がある。

『黄色のグッズを組むこと』

それが約束兼課題。祐依は全部の色を使うが、特に黄色には力を入れていよう。

「黄色のグッズねえ…」

余つたカードを保管しているケースをいくつか取り出す。…璃恵達に「レア類はコモンアンコモンとは別に、スリーブに入れて分けておけ」と言われたため、普通のカードとレアカードが入つたケース2つだ。

「…どう組めばいいんだ?」

とりあえず、主軸となるアルティメットを出す。

Uミカファール、Uヴァリエル。そして02で当たつた《アルティメット・イスフィール》。ここらがキーになるか。

「問題は下だよな…」

……………01と02、明の明星。見比べてみて初めて気付いた事があつた。

「…<詩姫>と<天霊>つてまるで噛み合つて無いんだな」

初心者の私がどう言つていいのか判らないが、

詩姫は『自分達はアルティメットを大いに盛り上げる』

天霊は『自分達もアルティメットと一緒に盛り上がる』

…やっぱり判らないな。だが、致命的に噛み合わないのは理解した。

「どうする……」

つまりアルティメットを扱うための軸、足場が定まらない。半々にしたらおそらく待っているのは空中分解。どっちつかずになってそのまま敗北一直線だろう。

これは難しい。璃恵から聞いた「黄と青は上級者の色」って言葉を今理解した。

そんなこんなな悩み、デツキ制作が難航して三日。約束のバトルまで日にちが無い。あれから一応縁で黄色のカードを見て回ったが、どれもこれも尖り過ぎてて意味不明状態。

「はあ……」

そして学校の昼休み。

祐依は中等部の子達にお昼を一緒にしてくれと頼まれ不在。

「何か悩んでいるの？」

「デツキのことであつと……」

「ならこの璃恵サマに頼ってくれてイイんだヨ悠姫イ♪」

「あらあら♪」

机を合わせ一緒に昼食を取るの私、璃恵、間藤さん、そして彩音。何故彩音が高等部の教室に来ているのかというと、間藤さんが連れてきたからだ。先に言っておくが、彩音はショップとかで着てたゴスロリ服を着てる訳じゃないからな？ ちゃんと制服着てるぞ。

「ゆ……悠姫先輩が黄色のデツキをね」

「ウーン……。1から作るとなッたら、悠姫にはまだちヨクツと早いんじゃないかな？」

「それって、ばとるすぴりっつ……というのですか？ お姉様がやってるっていう」

「そだヨ。あ、黄色のカードってこういうのネ」

「あら、綺麗で可愛いですね」

璃恵と彩音に渋い顔されてしまったてはどうしようも無いな。

「とりあえず、今組むとしたら悠姫…先輩の選択肢は3つある…ります」

「ありますだッて！ウププププ！」

「…いいよ彩音、無理しなくて」

「く…、ごめんなさい。あと白銀のは後で殴る…！」

コホンと咳ばらいをし、改めて私にその選択肢を挙げる。…まだ笑ってる璃恵には脇腹を抓ってやった。「ヒュリン!？」とか意味不明の言葉を発したが無視する。

「選択肢は3つ。」

1つ。＜詩姫＞を中心とした中速アルティメットデッキ。

2つ。＜天霊＞を中心とした攻撃型のアルティメットデッキ。

3つ。02で出た《歌姫ラクエル》と《聖騎士ペンタン》を使った超攻撃偏重特異型のデッキ。

以上3つよ」

「悠姫。補足すると今言ッた3つとも特殊な動き方をするからネ」

「特に3つ目のは特異中の特異。だから必然的に除外ね」

「えっと、恐縮なんですけど、3つ目の案がお姉様に向いてない理由って何でしょう?」

「それはネ桜ちゃん。『必須カードが多すぎる』、『事故ッたら負け

』だからだヨ。持ち直しが効かないからネ」

「なるほど…」

「あれ? 間藤さん解るの?」

「はい。お姉様達がやっているのを見て、興味がわきましたから」

そう言ッて間藤さんがバッグからデッキケースを取り出して見せてくれた。意外な人物がバトスピに参戦したな。

「今度バトルする?」

「ええ。こちらからお願いしようかと思ッてました」

「話はまとまった? なら1と2、どちらを選ぶの?」

「ううむ……」



——そして約束の日、カードショップ縁付近にて。

「…♪」

「嬉しそうだな祐依」

「それはもう」

端から見たら美少女が満面の笑みで歩いてくるんだから対面から歩いてすれ違う男性はみな惚けてしまっている。

「……………」

「…♪」

「ごきげんよう。…随分と機嫌が良いわね」

「ええ。おはようございます彩音さん」

「おはよう彩音。今朝からこんな調子で…」

「お姉ちゃんは私とバトルするのイヤなんですか？」

「いや、そうは言っていないって」

その縁前にて彩音と合流。…まあ祐依の笑顔を見ればそういう反応になるわな。

「…白銀のは？」

今回、璃恵は不参加。理由は昨日の夜に家の用事のため来れないと今にも泣き出しそうな声で連絡してきたっけ。そういうことだと彩音に伝えたら、それなら仕方ないと一言だけ。

そして三人揃って入店。いつも出迎えてくれる真桜の姿は…珍しいくない。代わりに董さんが出迎えてくれた。

「あら～いらっしや～い。真桜をなら～今日はお出かけして留守なの～。ごめんなさいね～」

「いえ、こちらこそ」

真桜は留守か…。アドバイスをもらいたかったが、いないなら仕方ない。とにかく三人座れる場所…と、董さんが奥のテーブルに案内してくれた。

「さて…………と、その前に予約しなくちや」

「あ、私も」

「予約？」

「次弾である〃03（ゼロスリー）〃の予約よ」

03って、また出る頻度早いんだな。まだ対応仕切れてない私にやとてともとても。

「姉さんの分も予約しとくね」

「買えるか判らんぞ？」

「大丈夫だよ」

何が大丈夫なのかは解らないが、荷物を置いてカウンターへと行つてしまった。…まあいいや、準備だけしとくかな。

「つと。上手く動いてくれるといいんだがなあ」

プレイマット（彩音の手作り品。スゲエ）、コアとデッキに、ライフカウンター（これも彩音の手作り品）と。…スゲエよな、古参カードバトラーになったらこういうアイテムも自作できるのか。

このマットもライフカウンターも私に合わせて製作してくれたんだ。マジでスゲエ。

「お？ ユキちゃん？」

「え……あ、桐島…、さん？」

セットし終えデッキを確認していたら背後から声を掛けられた。振り向くと、この前対戦した相手、きりしま桐島 きりの霧乃“さんだった。…眼鏡を掛けて髪型が少し変わっている。具体的には、前はそのままのストレートだったのに、今は後ろで一まとめに。ポニーテールの先をリボンで留めると、結構印象が違って見える。

「一瞬誰だか判りませんでしたよ」

「ふっふーん♪ 決まってるでしょ？」

イタズラっぽくニヤリと笑いウインクまでする。

「(´▽`?)」

「あ、どうぞ」

拒否する理由はまったくくない。隣の席の荷物を退かし、桐島さんが隣の席に座った。

「誰待ち？」

「えつと……あ、戻ってきた」

「お待たせ。……あら」

「あれ……？」

「待ってたのはあの二人です」

「あー。あの時一緒にいた」

予約を終えた祐依と彩音が調度戻ってきた。やはり桐島さんを見て少し驚いたみたいだ。

「ども。桐島霧乃です」

「はじめまして。姉の悠姫の妹、祐依です」

「ごきげんよう。……彩音よ」

桐島さんに対し祐依と彩音が挨拶を返す。さすが礼儀正しい二人だ。しかし彩音がどう名乗ろうか若干迷ったな？

「えつとー、二人ともユキちゃんのご家族かな？」

「祐依は私の妹ですけど、彩音は学校の後輩で……」

「えっ!? 違うの!?! てつきり三姉妹なのかと思った」

「ええ。姉さんの妹は私だけですから」

「お……おう」

こら祐依、笑顔で凄むなつて。……とにかく自己紹介も終えたから全員改めて席に着く。

私の対面に祐依、右隣に桐島さん。こちらから見て祐依の右側に彩音が座る形に。

……と、ちよつと気になることが。

私の左、二つ席を跨いだところにいる一人の女性がさつきからこちらを見てる気がする。自意識過剰かも知れないが……、まあ気にしない方向でいこう。

【緋立 悠姫】

《黄翼のゼロ》

VS

【緋立 祐依】

《??》

「さて姉さん。やっとバトルできるね」

「お手柔らかに頼むな」

「はい。柔らかく、手加減してあげますよ?」

「お、言ったな? 負けても知らんからな」

「ふふつ。じゃあ、先攻どうぞ」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「なら遠慮無く私から行くぞ。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「そういえばあなた、桐島さん」

「あく霧乃でいいよアヤネちゃん。ユキちゃんもユイちゃんも霧乃って呼んでいいからね」

「そう。なら霧乃、何処かで視た気がするのだけど」

「…そう?」

「……………あ、思い出した。ファッション誌か何かに載ってたわ」

「わつ。良く分かったねえ、少しは変装してたのに」

「ふつ…、私の左眼なら造作も無いわ」

「…『邪気眼』?」

単なるカラコンとは言えないよなあ。不思議そうな、興味津々な顔して見てる。彩音はいつもの左手での決めポーズを決めてる。さつき彩音自分で思い出したって言ってたのに…。

「…メインステップ」

ふむ、最初の手札はまあまあかな。

「まずはネクサス 《天使の舞い降りた場所》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

黄 ネクサス

《天使の舞い降りた場所》<sup>ステップ</sup>

コスト4 軽減黄2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄

Lv1・Lv2 『自分のスタートステップ』

ステップ開始時、自分の手札にあるマジックカード1枚をオープンして手元に置くことで、自分はデッキから1枚ドローする。

オープンしたマジックカードは、ゲーム終了時まで、手札にあるときと同様に使用できる。

Lv2 『自分のメインステップ』

自分のアルティメットカードを召喚するとき、系統：<詩姫>を持つ自分のスピリットすべてに、黄のシンボル1つを追加する。

「バーストをセットしてターンエンドかな」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

まずはこんなもん、かな…？

「うおっ！ユキちゃん黄色使うの!? やあくやっぱ黄色よね〜♪」

「黄色は色々と罪があるけど、組むとなれば楽しいものは無いわね」

「そーそー！ でも最近『黄色は《シユウ》《ライフドリーム》《夢幻

ファイナルアンサー

の天剣トワイライト・ファンタジア』でF A』とか言われてるけど

ねえ…」

「それをどうにかして永久機関の輪廻ルに頼らないのが真の黄色使いというものよ」

「…闇黄剣だけは許してほしいなあ」

「そうなのか？」

「さすがに闇黄剣まで取られたらまた《犬将クー・シー》とか『戯狩2 コスビート』とかに頼るしなくなっちゃうから…」

…黄色も複雑な悩み抱えてんだな。

〈祐依・後攻第二ターン〉

「とにかくスタートステップ、行くよ姉さん」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。じゃあ…《ラビイ・ダーリン》をレベル1でスカウトします」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「ラビイ・ダーリン コア1 レベル1 BP1000」

「うひゃー！ユイちゃん【シャイニーハーツ】デツキk t k r！」

「また随分尖ったのを使う気になったわね…」

「さらにもう一人、《ラビイ・ダーリン》をスカウトします」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ1↓2)

「ラビイ・ダーリン (2) コア1 レベル1 BP1000」

「バーストセット、そしてアタックステップ」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「ラビイ・ダーリン (1)、【オンステージ】！」

オンステージ：。前に霧乃さんが使ってた<詩姫>のキーワード能力だったか。あのときはアタックを留まらせる《オリンスピア競技場》があったからいいが、止める術が無いとなると辛いもんになるな。

黄 スピリット

《ラビイ・ダーリン》

コスト1 軽減無し <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2 【オンステージ】『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデツキの下に戻すこと

で、自分の手札／手元の系統：＜衣装＞を持つ「ラビィ・ダーリン」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドロウする。

Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：＜私服＞を持つ自分のスピリットすべてをBP+1000する。

「手札にある『プリティガール』ラビィ・ダーリンにコスト・チェンジ衣装変身！」

(手札2↓1)

「私服ラビィ・ダーリンはデッキボトムに。

衣装ラビィ・ダーリンはそのコアを使ってレベル1でデビューし、

【オンステージ】が成功したため1枚ドロウします」

「ラビィ・ダーリン デッキボトムに」

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン コア1 レベル1 BP3

000」

(手札1↓2)

「同じく二人目のラビィ・ダーリン(2)も【オンステージ】！

手札の衣装ラビィ・ダーリンへと衣装変身。同じくレベル1でデ

ビューー！【オンステージ】成功で1枚ドロウ！」

(手札2↓1)

「ラビィ・ダーリン(2) デッキボトムへ」

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン(2) コア1 レベル1 B

P3000」

(手札1↓2)

一気に2体も【オンステージ】したか…。しかも手札損失は悪くないし、ドロウも許してる。

「先に出ていた衣装ラビィ・ダーリンの効果発揮」

「むっ」

「『シャイニーハーツ』を持つ私のスピリットが【オンステージ】で召喚されたとき、ボイドからコア1つを、その召喚されたスピリットに乗せます」

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン コア1↓2」

おお…。【オンステージ】をサポートするのか。

「ラビイちゃんキター！」

「悠姫、因みにこの詩姫の元ネタは《ダンテラビット》なのよ」

「…ん？」

「あれ？ ユキちゃん 〃擬人化<sup>ぎじんか</sup>〃 って知らない？」

「ぎ、ぎじ…ん？」

黄 スピリット

《「プリティガール」ラビイ・ダーリン》

コスト4 軽減黄3 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

【シャイニーハーツ】を持つ自分のスピリットが【オンステージ】で召喚されたとき、ボイドからコア1個をそのスピリットに置く。

「この兎が、この娘になるのよ」

彩音から見せてもらったのは緑のスピリットカード《ダンテラビット》。そして指差されたのは《ラビイ・ダーリン》。

「…：日本ってすげえな」

「まったく、日本人のサブカルチャーは最高だぜ！ってね」

「ふふっ。正式なアタックはしないでこのままターンエンドだよ」

〈悠姫・第三ターン〉

「アタックしないか…。スタートステップ、のときにステージの効果を使うぞ。」

手札のマジックカード《パワーダウン》を手元に置いて、1枚ドロート

(手札3↓2)

● オープンしたカード

・ 《パワーダウン》

(手札2↓3)

(リザーブ0↓1)



「それで普通のドロートと」

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。ふむ…、よし。《天使ウイズエル》を召喚。コスト1で、軽減黄が1だから0コストで召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「天使ウイズエル コア1 レベル1 BP1000」

「スピリットソウル」持ちのスピリットだね」

「おおー！ユイちゃんが<詩姫>ならユキちゃんは<天霊>なんだ！」

「そちらを選んだのね。究極を操るあなたに相応しいわ」

そう。私が黄色のデッキを選んだのは<天霊>。それしか私がまともに扱えるのがなかったから、なのかも知れない。

彩音が言った、私がアルティメット使いだから…って訳じゃない。「相応しいってのもんでもないけど…」。《アルティメット・サラティ》、レベル3で召喚だ！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「アルティメット・サラティ コア1 レベル3 BP5000」

「アタックステップ。Uサラティでアタック！ Uトリガー！」

「——コスト3、《サヤ・シャイン》」

「危ね…!? とにかくヒット！ Uサラティのアタックが通ればボイドからコア1つをライフに置くぞ！」

黄 アルティメット

《アルティメット・サラティ》

コスト4 軽減黄2 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP5000

<2> Lv4 BP8000

<3> Lv5 BP10000

シンボル：金

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

Lv5【光芒】『このアルティメットのアタック時』

バトル終了時、自分がこのバトルで使用したマジックカードすべては手札に戻る。

「姉さんの狙いが見えるよ」

「むむ…」

「そのアタックはライフで受ける」

(祐依ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「よしっ。ボイドからライフにコア追加だ」

(悠姫ライフ5↓6)

「ならライフ減少でバースト発動、《絶甲氷盾》！ 姉さんだけ回復させないから」

「ぐぬぬ」

(祐依バースト：セット↓発動)

(祐依ライフ4↓5)

「ターンエンド」

「祐依が絶甲を入れてるなら本気かしら」

「どっちにしろ絶甲は必須じゃない？」

「それもそうだけど、忌ま忌ましいあの白のせいでバーストの信用率が下がってるのよね…」

「そりやあまあ、自業自得じゃない？どの色もさ」

〈祐依・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。：Uサラティをそのままにしておくど、ちよつと厄介だよね」

「祐依が言うんだからそうなんだろうな」

「だから：《エンジェルストライク》で下がってもらおうかな」

(手札3↓2)

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン (2) コア2↓1」

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「何っ!？」

「UサラティのBPを5000ダウン!これで0になったからUサラティを破壊!」

「せつかく出したのに!？」

「[アルティメット・サラティ BP5000—5000=0 破壊]

(リザーブ1↓2)

「げえー!? そりゃ私も《エンジェルストライク》を入れてるがアルティメットを出したところにストライクされるとへこむぞ…。」

「ユイちゃん、容赦無し!」

「星座編時代や霸王編時代なら出した瞬間溶けるなんて日常茶飯事だったわよ。じきに慣れるわ」

「一体どんな修羅の時代だったんだ…」

「うう…。とにかくアルティメットが破壊されたから優位をくじか  
れたな。」

「どんどん行くよ。次に《セイナ・リユーマン》をレベル1でスカウト  
!」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ3↓5)

「セイナ・リユーマン コア1 レベル1 BP2000」

「リユーマンちゃんキタキター！」

「あの『バトスピの汚点』がここまで綺麗になるなんてね…」

「それは言わないであげましょう…」

黄 スピリット

《セイナ・リユーマン》

コスト4 軽減黄3 <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2 【オンスステージ】『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「セイナ・リユーマン」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2 『自分のアタックステップ』

【シャイニーハーツ】を持つコスト7以上の自分のスピリットがBPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「このままアタックステップに入って、セイナ・リユーマン！【オンスステージ】！」

手札にある《『烈の女王』セイナ・リユーマン》に衣装変身！

(手札1↓0)

「セイナ・リユーマン デッキボトムに」

(リザーブ0↓1)

「『烈の女王』セイナ・リユーマン コア1 レベル1 BP5000」

「『オンスステージ』成功で1枚ドロー！さらに衣装ラビィ・ダーリン二人の効果で衣装セイナ・リユーマンにボイドからコア2つを追加！」  
(手札0↓1)

「[烈の女王] セイナ・リユーマン コア1↓3 レベル1↓3 B  
P5000↓6000」

「2体分カウントされんのか…!」

「そして更に衣装セイナ・リユーマンの召喚時効果発揮!」  
【シャイニーハーツ】を持つ私のスピリットが3体以上いるとき、ボイドから  
コア2つを衣装セイナ・リユーマンに追加!」

「[烈の女王] セイナ・リユーマン コア3↓5」

「合計4つも増えたのか…」

黄 スピリット

《[烈の女王] セイナ・リユーマン》

コスト7 軽減黄4 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

【シャイニーハーツ】を持つ自分のスピリットが3体以上いるとき、ボ  
イドからコア2個をこのスピリットに置く。

Lv2 『自分のアタックステップ』

???

「これでターンエンド」

「なかなか仕掛けてこないな」

「焦りは禁物。アイドルの本領はこれから、だよ姉さん」

〈悠姫・第五ターン〉

「ならほっておく訳にも行かんかな。スタートステップ。…ステージ  
の効果は使わない」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「天使の舞い降りた場所は、ドロ―追加を期待できるけど、逆にオーブ

ンしないと相手に「踏み込ませる隙」を見せることになっちゃうからね」

「そうなのか…。…あ、い、いや、マジックが無いからオープンしなかった訳じゃないからな！」

「ふふっ、姉さん嘘がヘタだね」

「そ、それは祐依もだろ！」

さすがだな私ら姉妹。お互いのことがよく解つとる。

「とにかく、ネクサス《エイレインの雲上要塞》を配置！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓4)

(トラッシュ0↓1)

「手札が心許ない。《天使イヴェール》をレベル2で召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ1↓2)

「天使イヴェール コア2 レベル2 BP2000」

「そいで雲上要塞をレベル2にする」

(リザーブ1↓0)

「エイレインの雲上要塞 コア0↓1 レベル1↓2」

「アタックステップ。イヴェールでアタック！」

「むっ」

「レベル2からのアタック時効果で衣装ラビィ・ダーリン(1)のBPをマイナス3000、ウイズエルの【強化1】ワンチャージ！最大4000ダウン！」

「【プリティガール】ラビィ・ダーリン BP3000→4000〓0」

「これでBPが0になったから、1枚ドローだ！」

(手札1↓2)

よし、手札の確保は出来た。これで祐依がブロックしてきてもオープンしてる《パワーダウン》がある。完璧だな。

黄 ネクサス

《エイレインの雲上要塞》

コスト3 軽減黄2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄

Lv1・Lv2

系統：<天霊>を持つ自分のスピリットが相手のスピリット／マジックの効果で手札／デッキに戻ったとき、戻ったスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

Lv2 『お互いのアタックステップ』

バトルしている相手のスピリットがターンで初めてBP0になつたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

「そのままライフで受けるよ」

(祐依ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド」

「これは長期戦かな？」

「コンボ狙いの黄色同士のバトルよ。長引くのも無理無いわ」

〈祐依・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ。…うん、良い引き」

「ん？」

「衣装セイナ・リユーマンのコアをリザーブに下げて、衣装ラビィ・ダーリン二人のレベルを2に」

「『烈の女王』セイナ・リユーマン コア5↓3」

(リザーブ7↓5)

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン(1) コア1↓3 レベル1

↓2 BP3000↓5000]

「『プリティガール』ラビィ・ダーリン(2) コア1↓3 レベル1

↓2 BP3000↓5000]

「悠姫、祐依の運命力うんめいりよくは強いわよ」

「う、うんめいりよく?」

「〃カードバトラーのドロローは常に必然〃!だよね♪」

「『グリーファイア・ダルク』、レベル3でスカウト!」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓2)

「グリーファイア・ダルク コア3 レベル3 BP8000」

「あつ!それショップバトルでの限定カード!」

「〃【シャイニーハーツ】は揃わない〃と言われてる原因のひとつね  
…」

「何だその〃なんちやらは碎けない〃みたいな言い方」

「まさかダルクのためにショップバトルを蹂躪するハメになるとは思  
いませんでした…。」

アタックステップに入ります。

グリーファイア・ダルク、【オンステージ】!

なっ!?! 衣装引いてたのか!?!

「『お嬢様アイドル』グリーファイア・ダルクに衣装変身!

レベル2で、デビュー!」

(手札1↓0)

(リザーブ0↓3)

「グリーファイア・ダルク デッキボトムへ」

(リザーブ3↓0)

「『お嬢様アイドル』グリーファイア・ダルク コア3 レベル2 B  
P9000」

「やはりそちらも持っていたわね…」

「あれアタシ1組しか入手出来てないんだよね。皆必死になりす  
ぎ」



「さすがに買うとなると出費がまずいので、目を血走らせて狙いにきた方々には申し訳ないんですが、刈らせてもらいました」

可愛さに冷静さを失ったやつを狙ったってか…。それでよくトラブルに巻き込まれなかったな祐依。

「オンステージ」成功で1枚ドロロー！

そして「オンステージ」によって召喚されたとき、デッキから2枚ドロローします！」

(手札0↓3)

「一気に3枚…！」

「シャイニーハーツ」の中核を担う1枚だからね。

そして衣装ラビィ・ダーリン二人の効果で衣装グリーンファイア・ダルクにコア2つ追加して、レベル3！」

「「お嬢様アイドル」グリーンファイア・ダルク コア3↓5 レベル2↓3 BP9000↓11000」

「改めて衣装グリーンファイア・ダルクでアタック！」

攻めて来たか…。

「レベル2からのアタック時効果。私のデッキトップ1枚をオープンします」

●オープンされたカード

・《ノア・フルール》

「それがく詩姫のスピリットなら手元に置きます」

あれ…。置くだけ、か？

「…？」

「悠姫、手元に置く」というのは情報アドバンテージを失う代わりに相手にプレッシャーとカード保護のアドバンテージを得るの。あなたの手元にオープンしてるパワーダウンもね」

なるほど。『こいつが見えないのか？』っていう無言の圧力で相手の手を鈍らせるのか。…となると、彩音と霧乃さんがあのオープンしたカードに要注意ってことだな。

黄 スピリット

《グリーンファイア・ダルク》

コスト5 軽減黄3 <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<3> Lv3 BP8000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2・Lv3 【オンステージ】『自分のアタックステップ』  
このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すこと  
で、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「グリーンファイア・ダ  
ルク」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドロー  
する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このターンの間、相手のスピリット1体をBP—3000する。

黄 スピリット

《「お嬢様アイドル」グリーンファイア・ダルク》

コスト8 軽減黄3 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP9000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

【オンステージ】で召喚されたとき、自分はデッキから2枚ドローす  
る。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

『このスピリットのアタック時』

自分のデッキを上から1枚オープンし、そのカードが系統：<衣装  
>を持つスピリットカードなら手元に置く。他のカードのときは手  
札にする。

オープンしたスピリットカードは、ゲーム終了時まで、手札にある  
ときと同様に使用できる。

「グリーンファイア・ダルクのアタックはライフで受ける！」

(悠姫ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

「衣装セイナ・リユーマンもアタック！」

「フラッシュユタイミング！手元の《パワーダウン》を使う！」

(リザーブ1↓0)

「天使イヴェール コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓4)

「セイナ・リユーマンのBPを3000ダウン、【強化】を1つを乗せて4000ダウン！それで1枚ドロ！更に雲上要塞レベル2の効果で1枚ドローだ！」

「[烈の女王] セイナ・リユーマン BP6000→4000=2000」

(悠姫手札2↓3)

黄 マジック

《パワーダウン》

コスト4 軽減黄2

このマジックカードは、相手のUトリガー／「デッキ破棄効果」によって自分のデッキからトラッシュユに置かれたとき、手札に戻る。

さらに、このターンの間、自分のデッキは破棄されない。

フラッシュユ：

相手のスピリット1体をBP→3000し、自分はデッキから1枚ドローする。

「次に《イエローアラート》！」

セイナ・リユーマンを【強化】1つでBPを3000ダウン！」

(手札3↓2)

「エイレインの雲上要塞 コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ4↓5)

「[烈の女王] セイナ・リユーマン BP2000→3000=1000」

「そして、祐依のターンに使ったから天使イヴェールを回復させる！そこにブロック！」

「ふーん、なかなか良い動きよ」

黄 マジック

《イエローアーク》

コスト2 軽減黄1

フラッシュ:

このターンの間、相手のスピリット1体をBP—2000する。

このマジックカードを相手のターンで使用したとき、さらに自分の黄のスピリット1体を回復させる。

マジックで手札を増やしつつ相手を撃退する。これ黄色っぽい良い動きなんじゃないか？

「良い手だけど姉さん、そのブロックは取り下げてもらいます」

「何？」

「衣装セイナ・リユーマン、レベル2の効果。【シャイニーハーツ】を持つコスト7以上のスピリットはレベル1、2のスピリットからブロックされません」

「ファッ!？」

《「烈の女王」セイナ・リユーマン》

Lv2 『自分のアタックステップ』

【シャイニーハーツ】を持つコスト7以上の自分のスピリットすべては、Lv1/Lv2の相手のスピリットからブロックされない。

「姉さんのイヴェールは現在レベル2。よってブロックすることができません」

「…良い動きだけど、それはしつかり相手のカードを確認しなさいね？」

「はい」

「アタックは？」

「大人しくライフで…」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンドです」

ぐぬぬ…、マジックを余計に使ってしまったか…。

〈悠姫・第七ターン〉

「ま、まだこれからだし。スタートステップ。ステージの効果は使わない」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「これなら…。《生還者天使メール》を召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ0↓2)

「生還者天使メール コア1 レベル1 BP2000」

「私に扱えるか分からんが、こいつの出番だ！

《アルティメット・イスフィール》！

レベル3で召喚だ！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ2↓5)

「アルティメット・イスフィール コア1 レベル3 BP11000」

「UISフィール！黄のコアの光主のアルティメットキター！」

「02の黄アルティメットだね…」

「ああそうだ。アタックステップ、天使メールの効果発揮！ 私の場にUISフィールがいるから、系統：〈天霊〉を持つスピリットとアルティメットのBPを4000アップさせる！」

「天使ウイズエル BP1000+4000∥5000」

「天使イヴェール BP1000+4000∥5000」

「生還者天使メール BP3000+4000∥7000」

「アルティメット・イスフィール BP11000+4000∥15000」

黄 スピリット

《<sup>サブバイバー</sup>生還者天使メール》

コスト3 軽減黄1 <護将・天霊>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：黄

Lv1・Lv2

このスピリットは、相手の効果で破壊されない。

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：<天霊>を持つ自分のスピリットすべてをBP+2000する。

自分のアルティメットがいるとき、かわりに系統：<天霊>を持つ自分のスピリット／アルティメットすべてをBP+4000する。

Lv2 『自分のアタックステップ』

カード名に「イスフィール」と入っている自分のアルティメットがアタックしたとき、自分はデッキから2枚ドロウする。

「UISフィールでアタック！Uトリガーだ！」

「：コスト3、マジックカード《シンフォニックバースト》」

「クリティカルヒット！」

「っ！」

「フラッシュユタイミングで私は2枚のマジックをコスト無しで使える！…が、生憎1枚しか手札は無い」

黄 アルティメット

《アルティメット・イスフィール》

コスト7 軽減黄4 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP11000

<3> Lv4 BP16000

<4> Lv5 BP20000

シンボル：黄

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分のマジックカード1枚を、フラッシュタイミングでコストを支払わずに使用できる。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードがマジックカードなら、さらに、自分のマジックカード1枚をフラッシュタイミングでコストを支払わずに使用できる。

Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

系統：＜天霊＞を持つ自分のアルティメットがBP3000以下の相手のスピリットにブロックされたとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「ならフラッシュタイミング」

「むっ」

「マジック、《ディーバメドレー》を使用します」

「あっ」

「……………」

「…何だ？」

「コストは衣装ラビィ・ダーリン二人から2つずつ確保します」

(祐依手札3↓2)

「【プリティガール】ラビィ・ダーリン(1)    コア3↓1    レベル2

↓1」

「【プリティガール】ラビィ・ダーリン(2)    コア3↓1    レベル2

↓1」

(トラッシュユ2↓6)

「そこに。トラッシュユのコア1つをボイドへ送って、レベル3のアルティメット”をデッキボトムへ送ります！」

「な、何いっ!?!」

(トラッシュユ6↓ボイドへ↓5)

黄    マジック

《《ディーバメドレー》》

コスト6    軽減黄2

フラッシュユ：

相手のスピリット1体をデッキの下に戻す。

自分のトラッシュユのコア1個をボイドに置くことで、かわりに、LV3の相手のアルティメット1体をデッキの下に戻す。

「対象は今アタックしているUISフィール。姉さんには悪いけど、そのままデッキの一番下に行ってもらうよ」

「ガンだな…」

「アルティメット・イスフィール デッキボトムへ」

(悠姫リザーブ0↓1)

あああ…UISフィールがああ…。

「これでアルティメットがいなくなったから、天使メイルの効果も弱体化するよ」

「ぐぬぬ…。で、でもまだ後続がいるー!」

正直守れる気がしなくもないが、耐え凌ぐしかない。

「ターンエンド…」

〈祐依・第八ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ。衣装グリーンファイア・ダルク、衣装セイナ・リユームのレベルをダウン」

「「お嬢様アイドル」グリーンファイア・ダルク コア5↓1 レベル3

↓1」

「「烈の女王」セイナ・リユーム コア3↓1 レベル2↓1」

(リザーブ6↓12)

「次に、《アルティメット・ソフィア》プロデューサー!お願いします  
!」

(手札3↓2)

(リザーブ12↓8)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・ソフィア コア1 レベル3 B P 1 0 0 0 0」



「召喚時効果は知ってるね？ 手札から最強最高、超時空 “超神星” アイドルがデビューします！」

「ち、超時空…？」

「《超神星アイドル》ノア・フルール》！

レベル1にて鮮烈デビュー！」

(手札2↓1)

(リザーブ8↓7)

「超神星アイドル」ノア・フルール コア1 レベル1 BP60  
00」

「キヤアアー!!ノアちゃん!!」

「な、何だ…、超神星…？」

「ユキちゃん!ご存知、ないのですか!？」

「彼女こそ、 “星々が誕生する彼の地” より生まれた超銀河系神星ア  
イドル、《ノア・フルール》よ。

その煌めく笑顔と心を震わす歌声は正に “神<sup>ヒツ</sup>なる星<sup>グ</sup>の産声<sup>バ</sup>” その  
もの！」

な、何かやけに二人の説明に熱が入ってるが、カードを見た感じX  
レアのようだが…。

「因みに、衣装ノア・フルールは封入操作をされているのが『5箱買っ  
ても出ない』『私服ノア・フルールだけとか紙屑か』なんて話題になっ  
たわ。これも『シャイニーハーツは揃わない』と言われる原因のひと  
つよ」

「アタックは殆ど衣装ノアちゃんと衣装ダルクちゃんに。コアブは衣  
装セイナちゃんと衣装ラビィちゃんに頼りきりだからね」

「シャイニーハーツのレアリティが軒並み高いのも原因ね。興味本位  
でこのパックだけでデッキを組もうとすると痛い目を見るわ」

「お、おう…」

今度は冷静になって説明し始めた…。この落差は一体何なんだ。

「ユキちゃんも普通に使うなら「アブソリユーツ」をオススメするよ」

「Xレアの衣装リユース・マトが出ないと思うけどいなくても普通に  
やれるわ」

「あそう…」

「じ、じやあ続けるね。」

衣装ノア・フルールの召喚時効果発揮。今の私のライフは4。5以下なのでボイドからコア1つをライフに置いて、姉さんのスピリット1体バウンス。

だから、天使メールには手札戻ってもらうよ！」

「何っ!？」

(祐依ライフ4↓5)

「生還者天使メール 手札へ」

(悠姫手札1↓2)

(リザーブ1↓2)

「だが、雲上要塞レベル1の効果で手札に戻ったからライフを回復させてもらう！」

(悠姫ライフ4↓5)

「そしてオープンしてる私服《ノア・フルール》をレベル1でスカウト」

(リザーブ7↓4)

(トラッシュ3↓5)

「ノア・フルール コア1 レベル1 BP3000」

「そして、私服ノア・フルール、衣装グリーンファイア・ダルクをレベル2、UソファイアPのコアをリザーブのコアを衣装セイナ・リユーマンに移します。お疲れ様、UソファイアP」

(リザーブ4↓0)

「ノア・フルール コア1↓2 レベル1↓2」

「アルティメット・ソファイア コア1↓0 消滅」

「「お嬢様アイドル」グリーンファイア・ダルク コア1↓3 レベル1↓2」

「「烈の女王」セイナ・リユーマン コア1↓3 レベル1↓2」

「アタックステップ。」

私服ノア・フルール、レベル2からの効果。衣装ノア・フルールに黄のシンボル1つを追加します」

「シンボル追加、だど!？」

「超神星アイドル」ノア・フルール シンボル黄＋黄＝黄黄  
黄 スピリット

《ノア・フルール》

コスト5 軽減黄3 <詩姫・私服>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2・Lv3【オンステージ】『自分のアタックステップ』

このスピリットを、アタックするかわりにデッキの下に戻すことで、自分の手札／手元の系統：<衣装>を持つ「ノア・フルール」1枚を、コストを支払わずに召喚し、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

このスピリット以外の系統：<衣装>を持つ自分の「ノア・フルール」すべてに黄のシンボル1つを追加する。

「まずグリーンファイア・ダルクでアタック！ BPは6000、衣装セイナ・リユーマンの効果でレベル1、2のスピリットからブロックされません！」

「むう…」

● オープンされたカード

・ 《ウイングブーツ》

(祐依手札1↓2)

ここが正念場か。手札はあるが……止めるためにはスピリットを犠牲にする必要がある。

「……ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

次に衣装セイナ・リユーマンでアタック！ こちらもレベル1、2のスピリットからブロックはされません！」

「それもライフだ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ3↓4)

「衣装ノア・フルールで、アタック！ 衣装ノア・フルールはコスト8。同じくブロックされませんよ！」

「ダブルシンボルはさすがにな…！ フラッシュタイミングでマジック《ゴールデンカウンター》を使う！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ5↓9)

「衣装ノア・フルールのBPを【強化】乗せて11000ダウン！ これで0になったから衣装ノア・フルールのシンボルを消させてもらおうぞ！」

「[超神星アイドル] ノア・フルール BP6000—11000 Ⅱ

0 シンボル黄黄↓無し」

黄 マジック

《ゴールデンカウンター》

コスト8 軽減黄5

フラッシュ:

このターンの間、相手のスピリット／アルティメット1体をBP—10000する。

その相手のスピリット／アルティメットがターンで初めてBP0になったとき、このターンの間、そのスピリット／アルティメットのシンボルすべてを無いものとして扱う。

「アタックはライフだ！」

「…:ターンエンドです」

よっし凌いだ！

ライフにはまだ余裕がある、手札もある。…が、決定打が…。

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(手札1↓2)

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ9↓0)

(リザーブ1↓10)

「メインステップ」

祐依の切り札であろう衣装ノア・フルール。私服ノア・フルールと一緒にあると、アタックスステップにシンボルが増える。だがそれは衣装ノア・フルールのみの話。…押し切れるか。

「生還者天使メールを再召喚、レベル1」

(手札2↓1)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュユ0↓2)

「生還者天使メール コア1 レベル1」

「んでもって…」

《アルティメット・ヴァリエル》、レベル4で召喚！

(手札1↓0)

(リザーブ7↓1)

「アルティメット・ヴァリエル コア2 レベル4 BP1400

0」

(トラッシュユ2↓6)

「おおっ！ “エリス様”の切り札キター♪」

「あの乳袋は朝のアニメには刺激が強すぎるわ」

ああ、そういえばパッケージに描かれてたあのキャラクターだっけ

? たしかにその…うん…。

「んんっ」

「の、残ったコアでイヴェールをレベル2にしてアタックスステップ。天使メールの効果。天霊のBPをプラス4000する！」

「生還者天使メール BP2000+4000=6000」

「天使ウィズエル BP1000+4000=5000」

「天使イヴェール コア1↓2 レベル1↓2 BP1000↓2

000+4000=6000」

「アルティメット・ヴァリエル BP14000+4000=18

000]

「Uヴァリエルでアタック！ Uトリガー！」

「——コスト5、『純白の乙女』サヤ・シャイン」

マジックじゃなかったか……！

「ヒット！Uヴァリエルよりレベルが低いスピリットとアルティメットからはブロックされない！」

「そのままライフで受けます！」

(祐依ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「お互いライフがなかなか減らないな」

「これが黄色の強みであり厄介なところだからね」

「ならイヴェールでアタックだ！アタック時に衣装ラビィ・ダーリンのBPを4000ダウン、0になったから1枚ドロ！」

(悠姫手札0↓1)

「それもライフで！」

(祐依ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「メールでアタック！」

「ライフです！」

(祐依ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「………ターンエンド」

〈祐依・第十ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ4↓9)

「メインステップ。ブレイヴ《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》を衣装ノア・フルールに直接合体。召喚時効果は使いません」  
(手札3↓2)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュ0↓3)

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 直接合体

「超神星アイドル」ノア・フルール (合体)

「コスト：8+5≡13」

「BP：6000+5000≡11000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄+黄≡黄黄」

「次に衣装ノア・フルール、衣装グリーンファイア・ダルクのレベルを3へアップ」

(リザーブ6↓1)

「超神星アイドル」ノア・フルール コア1↓4 レベル1↓3

BP6000↓10000+5000≡15000」

「お嬢様アイドル」グリーンファイア・ダルク コア3↓5 レベル1

↓3 BP9000↓11000」

「アタックステップ。私服ノア・フルールの効果、衣装ノア・フルールに黄シンボルを1つ追加！」

そして、衣装ノア・フルールでアタック！」

「超神星アイドル」ノア・フルール シンボル黄黄+黄≡黄黄黄」

本命がトリプルシンボルになって突っ込んできた…！ しかもたしかあのブレイヴ、ブロックしたら回復してくるんだったか。

「衣装ノア・フルール、レベル3のアタック時効果発揮！」

「っ！」

「名前の異なる系統：<衣装>を持つスピリットが三人以上いるとき、このノア・フルールに黄色シンボルを1つ追加します！」

「し、シンボル4つ!？」

「超神星アイドル」ノア・フルール シンボル黄黄黄+黄≡黄黄黄黄」

「遂にキター！クアドラルシンボル！」

「詩姫に似つかわしくない一撃必殺のコンボよね」

「しかもブロックなのにその黄色だからほぼ確実に3つ4つ叩きのめせる謎のパワー！衣装ノアちゃんが出てる時点でブロックカーが1体減ってるから更に通しやすい！」

黄 スピリット

《「超神星アイドル」ノア・フルール》

コスト8 軽減黄5 <詩姫・衣装>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP10000

シンボル：黄

【チーム：シャイニーハーツ】

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分のライフが5以下のとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置き、相手のスピリット1体を手札に戻す。

Lv3『このスピリットのアタック時』

カード名の異なる系統：<衣装>を持つ自分のスピリットが3体以上いるとき、このスピリットに黄のシンボル1つを追加する。

まずい、まずいぞ……！

「アタック、どうする姉さん？」

「……………」

「ブロックした時点で闇黄剣は回復し、後続のグリーファイア・ダルクとセイナ・リユーマインが待ってます。ブロックしたくてもセイナ・リユーマインの効果でレベル1、2のスピリットからブロックされないよ」

……………くっ……手詰まり、か……！

「…………ちくしょう、負けだ！ライフで受けてやる!!」

(悠姫ライフ3↓0)

〔winner!! 緋立 祐依〕



## 赤（ゼロ）によるはじめての初心者講習

「負けた…」

「やった♪」

「ウイナー！ユイちゃん！」

「弄ばれたわね」

駄目だった…。切り札のUイスフィールもUヴァリエルも上手く扱えなかった。

「圧倒的に経験と読みが足りないのもあるけど、カードプール英知の書館”が足りないのもあるわね”

「黄色はねー」

「”入れなきやならない”カードの多さはおそらくどの色でもトップじゃないかな”

「…例えば、何だ？」

三人の話では第一に《星座編第四弾：星空の王者》で出たブレイヴ《シユウ》。

出た当初は『犬将クー・シーとシユウが出たらほぼ負け確定』とか言われてたらしい…。このシユウは当時よりは少なくなったが、やはり強さは変わらず。投入されてないことも。

「あの犬とシユウ合わせてレベル4じゃなきやブロックできないとか何様と、当時の私も怒りに震えたわ」

「だってあの時は”射手座”とか”獅子座”とか”蟹座”のオンパレードだったじゃん。必然じゃない？」

「《氷雪の勇者皇ウル》と合体して、アンブロッカブルにトリプルシンボル、ライフも回復してお手上げ状態…なんて事態も多かったですね」

第二に《剣刃編第三弾：光輝剣武》で出た通称”ライドリ”ことマジック《ライフドリーム》。

自身のライフを減らして使用したターン中、自分の黄スピリットすべてをブロックされなくなるといいうマジック。

「構築にもよるけど”勝つのならほぼ必須レベル”よ」

「黄色は正面切ってバトルする色じゃないのはユキちゃんも分かったよね」

「ライフドリームが出るまで、勝つ方法、フィニッシャーになるものが少なかった、条件が厳しい割りに…とかが多かったの」

「黄色待望のマジックやブレイヴだったって訳か」

第三に、祐依も後輩の様子も使っている。剣刃編第四弾：暗黒刃翼  
“で出たソードブレイヴ《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》。身を持って味わっているが、召喚時にリザーブのコアをライフに置いて、ブロックされれば回復、されなければライフ回復と、至れり尽くせりなカードだ。

「黄色の代表格、《2コスビート》でも無い限り必須級の剣刃よ」

「出たときは『ブツ壊れてる』なんて大騒ぎだったよねー」

「コストも5とそれほど高くはないから、他の色のデッキにも出張することが多かったかな」

「出さない理由が無い強さだもんな…」

第四に、さつきのバトルで祐依が使ったマジック。《ディーバブースター【女神達の調べ】》に入ってるマジック《ディーバメドレー》。端的に言って黄色の《光速三段突》よ。アルティメット環境下で黄色最強のマジックね」

「棒立ちしてたり、出したはいいけどコアが足りなくてレベル3のアルティメットすらデッキボトムへ送る激強カードなんだよ」

「デッキボトムへ送るなら《アルティメットプラズマ》があるけど、あれはある意味アルティメット専用のマジックだから、汎用性ならディーバメドレーに軍配が上がるよ」

「とまあ、良く話題に挙がるカードは以上3枚よ」

「《黄色三つの依存症》とか《タマモクシーシユウライドリトワファン》とか見かけるからね」

「まるで病気扱いだな…」

「黄色のカードをデザインしてる人がもう少しあれなら、黄色使いもこんな謂れはしないんだけど…」

本当に苦勞が絶えないんだな黄色は…。

その後三、四戦祐依とバトルしたが一つも黒星を付けられなかった。追い詰めたりはするんだが、後一步及ばない。

「ディーバメドレーが見えてるとな…」

「そこに付け込むのが黄色のやり方よ。恐れずに自分のやるべき事を通すのよ」

「雲上要塞のバウンスをライフに変えるのはいいけどさ、レベル2効果のドロウ条件厳しすぎだよね〜ユイちゃん」

「何故《天翼の大観覧車》レベル1と同じにしなかったのか疑問ですよね…」

「Uイスフィールのトリガーがクリティカルしたのにマジック持っていない…」

「あーたまにあるなー」

「先にUヴァリエルでアタックした方が良かったね」

「運頼みにはなるけどやらないよりはマシよ」

「ぜ、全敗…」

「ふう。まだまだ姉さんには負けないよ」

「ユイちゃんすげー!」

「それに比べて姉の不甲斐無さよ」

「なんも言い返せん…」

バトルも全敗という形で決着したところで休憩。祐依は霧乃さん

と一緒にカードを見てくると。

私と彩音は黄色「デッキの見直しと今後の本デッキである『赤』をどうするか相談している。

「——として、赤のアルティメットを中心に組むなら……ちよつと失礼」

「ん」

今後出てくる赤のアルティメットに期待しつつ、アルティメット中心とした利点と弱点を教わっている最中、彩音の携帯が震える。電話のようで一且席を外すとのこと。

「……………」

ふと自分の赤のデッキを手にとってとりあえず一枚一枚ゆっくり見ていく。…Uジークフリード、Uジークフリーデンと、まともに活躍させてやれなくて申し訳無い気分になってくる。

もっと私が上手く扱えてやればいいんだが、如何せん経験値が足りない。

「…勝ちたい、よな」

カードのパワーが強くなって勝つのと、私が少しでも強くなって勝つのが多分後者の方が良い。個人的にね。…なら少しは本気で取り組んでみてもいいか。

「あのさ」

「うおわ!？」

「っ!？」

突然話し掛けられ驚いた拍子に持ってたデッキをテーブルに落としてしまった。幸いコアは片付けてあるためばらまく惨事は免れた。

「わわわ…」

「ご、ごめん」

「ああ、いや、大丈夫——?」

わたわたとデッキを回収し、ふと声を掛けてきた人を見た。その人は、さつきこちらを見てた?女性だった。

肩ぐらいのセミロングのストレート、ファッションなのか片目に軽

く掛かっている。

「ほんとごめん…」

「ああ、大丈夫ですよ。カードも無事ですし」

「そうなら、いいけど…」

まだ申し訳無さそうな表情をしてこちらを心配してくれている。心配性なのかな。とにかく何も大事無かったから、気にしないよう伝えて用件は何か聞こう。初対面の私に話し掛けるぐらいなんだし。

とりあえず隣に座ってもらおう。……しかし近場でよく見ると美人だ。知的でクールな印象を受ける。何と言うか、カードゲームとかに縁がなさそうに見える。

「ん。あのさ、失礼だとは思うんだけど」

「うん」

「バトスピ? って、面白いの?」

「え?」

「面白い?」

…面白いと思う。

璃恵に勧められてやりはじめたが、私なんか熱中するぐらいだし。

「面白い、か」

「まあ」

「…負け続けてたのに?」

「うゝっ…。あれは、いつかりベンジするし」

「勝たなきゃ面白くないんじゃないの?」

「うくん…。私が特殊なだけなのかも知れないけど…」

確かに勝ち負けが決まる勝負事だ。勝った方が良いだろう。けど、私はまだその「勝てるレベル」になってない。

勝つにはどうしたんだいとか、劣勢を返すプレイングやデッキ構築力が圧倒的に足りない。

「私初心者だから、上級者に偶然勝つことはあるよ。…ほんと稀に。でも普通はそうはいかない。」

だから今は「負けて学ぶ」感じかな」

赤のデツキだつてほぼ灼熱のゼロを弄っただけ。

だから私より長くやつている相手とバトルして、どうしたら良いかとかを盗む。…悪く聞こえるかも知れないが、口であーだこーだ説明させるより解りやすい感じはある。

「負けてもいいから、相手のすごいところを見て、自分に活かす。」

後は相手を負かす勢いでぶつかると感じかな」

「…ふーん。持論あるんだ」

「あはは…。偉そうに言ってるけど、身内じゃ二割も勝率無いからね」

「…周りが強すぎること？」

「そういうこと。でも、私じゃ考え付かないような動きを見せてくれるから、良い刺激になるよ」

「…あなた、強いんだね」

「…？」

「気持ち」

強い、か…。まあ、あれだけポコポコにされて折れないのも珍しいのか？ 少しは食いつけてる、なら次はもつと食いつく。みたいな気持ちが出てくるのは違うのかな。

「……………」

それを聞いて、しばし思案する謎の女性。…物思いする姿が絵になるってこの方霧乃さんと同じモデルか何かやってるのか？

「……………」

「？」

「あなた、名前は？」

「え？ ひ、緋立、です」

「そう。ヒダチさん、私と対戦してくれない？」

急に、だな…。別に構わないけど、何を決断したんだ？

「ありがとう。」

私は浜倉（はまくら）。浜倉 楓華（ふうか）」

「ハマクラ、さん」

「…こう書くの」

するとハマクラさんがバッグからペンとメモ帳を取り出し、名前を

書いてくれた。…字綺麗だな。

「浜に倉、楓（かえで）って書いて、音読みの楓（フウ）に華で楓華。…風流っぽいけど、私には似合わない名前でしょ」

「そんなこと。素敵な名前ですよ」

「…ありがとう。次はヒダチさんをお願い」

「あ、はい…。えっと…」

浜倉さんの書いた名前の下辺りに私の名前を書き込む。…自分では字普通だとは思いますが、汚いって思われたらどうしよう…。

「…緋色に立つ悠久の姫、ね」

「私の方が名前負けしてる例です…」

「ふふっ、そんなことない。良い名前じゃない」

「恐縮です…」

「自己紹介も終わったし、早速対戦してくれる？」

「勿論です」

そして対面席に楓華さん（名前呼びの許しが出た）が座る。…さて、楓華さんは何のデッキを使うのかな？ バッグからデッキを取り出す……だけ？

「……」

「…？ え、えっと」

「ごめんなさい。他に何か必要だった？」

っ!?! まさかデッキしか持ってきてない?!

「コアとか、プレイシートは？」

「コア？ コアって、その青いビーズみたいの？」

「そうです」

「…持っていないわね」

「えっ!?!」

ど、どういうことだ…。大体バトスピやってる人ってコアとかシートとか持ってるもんだと思っただが、持ってない人もいるのか…。

「私、友人に無理矢理やらされてるもんだから…」

「なんと…」

『すぐ良さが解る』って言われて、デッキだけ押し付けられたの」

楓華さん、初心者だったのか。私は無理矢理では無かったけど、デッキだけ押し付けるって随分強引なんだな…。悪く言うつもりはないけど、初心者にちよつとそれはどうなんだ。

「じゃあ、コアとシート貸しますよ」

「いいの？」

「余ってますんで。何なら一枚シートあげます」

構築済みデッキの灼熱と白銀のシートを出す。どちらも三枚ずつ持っててどうしたらいいか困ってたんだ。あげるならいいよな。

「どつちにします？赤と白」

「本当にいいの？」

「遠慮せずどうぞ」

「…なら、白の方を貰うね」

白の方を取った楓華さん。広げて見て、素敵と一言。プレイシートって結構凝ってるよな。

ああ、広げたばかりだから折り目が強いため手で表裏両方を伸ばす。…よし、これで大丈夫だろう多分。

「次はどうしたら？」

「…何も知らされてないんですか？」

「ええ。全部『アイツ』がやって、私は付き合わされるだけだったから。…手を煩わせてごめんなさい」

「い、いえいえ」

うーん、これは…。なら不肖私が準備から開始までを教えよう。

「まずそのデッキケースからデッキを取り出して、右上の『Deck (デッキ)』って書かれたところに置いてください」

「ん…。こうね」

「次にこの青い粒、コアを左の『Life (ライフ)』と書かれたところの円にこれを5つ、その下にある『Reserve (リザーブ)』と書かれてるところに4つ置いてください」

「…できた」

こつちも赤のデッキを置いてライフカウンターに5つ、リザーブに



4つセットする。…まさか私が教える立場になるなんて思いもしなかった。

「…それは?」

「あ、これはライフカウンターっていう…まあ備品みたいなもんです」「あつた方が良いの?」

「無くても大丈夫です。数え間違いや、何かの弾みでリザーブとごっちゃになってしまうのを予防するぐらいは趣味…ですかね、聞いた限り」

「へえ…。綺麗ねそれ」

置いてたコアを退かしてライフカウンターを楓華さんに渡す。…まじまじと見られると何となく照れ臭いのは何故だ。

「こういうの売ってるの?」

「普通のはここなら売ってます。私のは友達が自作してくれたやつです」

「自作!? …そういえばアイツのもやけに凝ってたし、あれ自分で作ってたんだ」

ありがとう、と返してもらい、再びコアをセット。

さて、改めてバトル開始と行こうか。

緋立 悠姫

【灼光のゼロ】

VS

はまくら ふうか  
浜倉 楓華

【おしつけデツキ】

「どこまで知ってます?」

「番が来たときのやり方なら…」

「なら大丈夫、かな?」

その都度何か言えば大丈夫か。

「先攻後攻は…」

「悠姫からでいい? やり方を見て何とかするから」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「では先攻貰います。スタートステップ」

(リザーブ4)

「ドローステップ」

(手札4↓5)

「……………」

「メインステツ……どうしました？」

「いえ、そのなんとかステツプって言うの必要なのかなって」

「ああ、相手に分かるよう言うのがマナーらしいんで。最初から言ってるうちに馴染みますよ」

身内でのバトルならともかくステツプ宣言をしないといつぞやのやなヤツと同じになっちゃうからな。マナーは大切だからね。

つと、手札は悪くないな。

「改めてメインステツプ。毎度先鋒を勤めるのは《リユーマン・フェニツク》。レベル1で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラツシユ0↓3)

「リユーマン・フェニツク コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「リユーマン・フェニツクは、私のフィールドのスピリットが2体以下のとき、レベル3として扱われます」

「へえ…」

「これでターンエンドです。楓華さんの番ですよ」

〈楓華・後攻第二ターン〉

「うん。…えつと、スタート、ステツプ？」

(リザーブ4)

(手札4)

「次にここのコア置き場、ボイドからコア1つをリザーブに置くコアステツプです」

「コアつと…」

(リザーブ4↓5)

「次が山札、デッキの一番上のカードを引くドローステップです」

「ドロロー…」

(手札4↓5)

「……ふむ」

楓華さんのデッキがどんなのか判らないから、安心安定のフェニックスを出したかもし紫とか白だとうしよう…。

「…もう少し待って。アイツがどうやらせたか思い出すから」

「了解です」

「うーん……。バーストっていうのは、ここ左上に置くんだっけ？」

「はい。カードの効果が書かれてる上に【バースト】って書かれてるやつがあると思うんですが、それを左上の『Burst(バースト)』置き場に裏向きで1枚置けます」

「ふむ…。なら、これを伏せる」

(手札5↓4)

(バースト：無し↓セット)

「あとは確か……。これを出すんだっけ？ 出し方は…」

「えっと、出したいカードを出して」

「ふむ」

(手札4↓3)

「…出したのは《ワン・ケンゴー》か。」

「次にカードの左上にある数字分、コアをトラッシュに移すんです」

「ふむ」

「えっと何て例えたらいいか…。召喚するコストが、召喚するカードを雇える金額で、こここのレベル部分が渡すお給料って言えば伝わりますかね…？」

「ああ、大体解った。ありがとう」

良い例えが思い浮かばなかったからとりあえず璃恵達から聞いた例を伝えたが、何とか伝わったようでよかった。

「なら…3だから、1、2、3個をこっちに置いて…」

「そのレベル1以上になるようコアを出したカードに乗せてください」

「こうね」

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「ワン・ケンゴー コア1 レベル1 BP2000」

「それで召喚成立ですね」

「へえ。大方理解できたわ」

「カードを出す、コストの計算、コアの支払い、レベル決定の流れです」

「うん。覚えた」

うむ、飲み込みが早いのは付き合わされたのもあるかな。

「あ、何かこのワンコに書いてあるけど」

「はい？ ちょっと失礼…」

書いてある？ 効果持ちなのかな。ワン・ケンゴーって名前は聞いたことあるけどどんなのは見たことないからなあ…。

赤 スピリット

《ワン・ケンゴー》

コスト3 軽減赤2 <皇獣>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

<5> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

自分のバーストをセットしている間、このスピリットをLv3として扱う。

Lv2・Lv3 【激突】『このスピリットのアタック時』

相手は可能ならば必ずブロックする。

「フェニックスと同じくレベル3になれて【激突】まである…だと…!?!」

「あ、今ワン・ケンゴーは、楓華さんがバーストをセットしている間、このレベル3として扱われますね」

「へえ…。強いのか？」

「強いですね…」

「たまに璃恵と彩音が犬将クー・シーを見たときに「黄色いクソ犬と赤いクソ犬」と罵るカードってこのワン・ケンゴーのことだったのか。「これで終わり、かな」

〈悠姫・第二ターン〉

「まだ1体だから何とかなるか…？ スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札4↓5）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ1↓4）

「メインステップ。：《リューマン・ティーガー》をレベル1で召喚しますか」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュユ0↓3）

「リューマン・ティーガー コア1 レベル1 BP1000」

「では攻撃、アタックステップに行きます。攻撃する際は、攻撃させたカードの名前を言って、横にします」

「ふむふむ」

「…と、その前にリューマン・ティーガーのアタックステップ時効果を発揮させますね。」

「私のアタックステップ中、系統…この名前の横にあるやつです。この系統：〈竜人〉と〈星竜〉のBPをプラス3000します」

「リューマン・フェニックス BP6000+3000=9000」

「リューマン・ティーガー BP1000+3000=4000」

「おお…」

「改めてリューマン・フェニックスでアタックします。レベル2からのアタック時効果で1枚ドロウしますね」

（手札4↓5）

「そして攻撃された楓華さんは、今縦になっている…回復状態のワン・

ケンゴーで防御するか、自分のライフで受けるかを選べます」

「ああ、アイツが大袈裟に『スピリットを守るからライフで受ける！』とか言ってたっけな…。なら受けよう」

「ライフですね。なら今アタックしてるリューマン・フェニックスの右下あるこのシンボルの数だけライフのコアをリザーブに移してください」

「えっと、赤いマークは1つだね。1つリザーブにと…」

(楓華ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「バーストは大丈夫ですか？」

「使うには条件が必要なんだよね。……大丈夫」

伏せたバーストを確認する楓華さん。…使わないのか、それとも発動条件が違うのか。

「ターンエンド」

〈楓華・第三ターン〉

「私の番ね。スタートステップに、コアと…」

(リザーブ2↓3)

「1枚引いて…」

(手札3↓4)

「リフレッシュステップは、トラッシュに置いたコアを全部リザーブに戻して、横になって疲労しているカードを縦にする、回復させます」  
「うん。カードは横になってないから、トラッシュ?のコアをリザーブにつと…」

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「…で、メインステップ、だっけ」

「そうです」

「……これをワンコに重ねて使うんだっけ…」

「？」

楓華さんが出した「紫」のカード。重ねるってことはブレイヴか？ ……うん。ブレイヴだ。

「下に【合体条件】って部分を満たしたスピリットに重ねて出すなら、出す時にフィールドにあったシンボルと左上のコストの右にあるマークを照らし合わせてコストを軽減します」

「コストを軽減？」

「出す時にフィールドにあるシンボルと一致した分、雇うお金が安く済むって感じですかね」

「なるほど」

「今はワン・ケンゴウの赤シンボルが1つ。なので、『5-1||4』で4コストですね」

「なるほど。…4つと」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュ0↓4)

重ねて出したブレイヴは見たこと無いやつだが、コスト3に合体できるとは昔のカードだよな。紫と赤で星座も描かれてたし。

「えっと、出した時の効果」

「召喚時効果ですね」

「うん。…えっと『相手のスピリット1体のコア2個を相手のリザーブに置く』だって」

「ふあっ!？」

紫 ブレイヴ

《騎士王蛇<sup>きしおうじや</sup>ペンドラゴン》(1枚制限カード)

コスト5 軽減紫2赤2 <妖蛇・星魂>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：無し

Lv1『このブレイヴの召喚時』

相手のスピリット1体のコア2個を相手のリザーブに置く。

この効果でそのスピリットのコアが0個になったとき、自分はデッキから1枚ドローする。

【合体条件：コスト3以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

合体していない相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに置く。

騎士王蛇ペンドラゴン

← 直接合体

ワン・ケンゴー（合体）

【コスト：3+5=8】

【BP：6000+4000=10000】

【合体時効果：追加】

【シンボル：追加無し】

「つ、強…」

「2つって、そっち2つも乗ってないよね」

「可能な限り外しますので好きな方をどうぞ…」

「そう？ ならそっちの…ティーガー？から」

「はい…」

【リユーマン・ティーガー コア1↓0 消滅】

（悠姫リザーブ0↓1）

「スピリットに乗っているコアが0になったら『消滅』、自滅ということになります」

「ふむふむ」

「そして0にして消滅させたので1枚引いてどうぞ」

「うん。1枚つと」

（楓華手札3↓4）

…これは、まずい。

「ここで、攻めるんだっけ…。ワンコで攻撃」

「むむ…。重ねてるペンドラゴンの【合体時】効果発揮ですね」

「下のだよね」

「合体していないリユーマン・フェニックスのコア1つがリザーブに置かれて、フェニックスは消滅します」

「やった」

【リユーマン・フェニックス コア1↓0 消滅】



(悠姫リザーブ1↓2)

ブレイヴ1枚に更地にさせられるとは思ってなかった…。しかも損失がほぼ無いってなあ。

「ワン・ケンゴーのアタックはライフで受けます…」

「おお、1つ減らした」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

〈悠姫・第四ターン〉

「立て直しか…。スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ4↓7)

「メインステップ。…ううむ」

たった2枚で場を抑えられるとは…。あの犬っころと蛇強いぞ。

目下あれを何とかしなきゃスピリット展開は正直無理。中途半端にだせば【激突】とコアシユートが合わさって1、2体ほぼ消される。

「ネクサス《狩る者の集落》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ0↓3)

「ネクサス？」

「うーん…。スピリット達が戦う舞台って言えばいいのか…」

「舞台、ね」

とりあえずネクサスを配置してシンボルを確保しなければ…。

「次にマジック《ブレイヴデストラクション》を使用します」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ3↓5)

「魔法カードだっけ？」

「大体そんな感じですね。原則一回こっきりの使い捨てです」

「なるほど」

「効果発揮。ブレイヴデストラクションは楓華さんの合体しているスピリットのブレイヴを破壊します!」

「てことは?」

「重なっている騎士王蛇ペンドラゴンをワン・ケンゴーから外して、トラッシュに置いてください」

「あー、なるほど」

「騎士王蛇ペンドラゴン 破壊↓ワン・ケンゴー」

赤 マジック

《ブレイヴデストラクション》

コスト3 軽減赤2

フラッシュ:

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

または、BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

これで剥がしたからこれ以上のコアシユートはさせない。あとは犬だ。

「バーストをセットしてターンエンド」

(手札3↓2)

「バースト:無し↓セット」

〈楓華・第五ターン〉

「私の番つと」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「うーん、どれもあまり可愛くないなあ」

「まあ、赤ですからね。どちらかと言えば勇ましいとかカッコイイとかが多いかと」

「なるほどね。…次はこれ出してみようか。か…《カグツチドラグー

ン》? ワンコのマークが1つあるから、4-1で3つと」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「カグツチドラグーン コア1 レベル1 BP3000」

「カグツチドラグーンか…」

「で、合体条件がコスト4以上だから…これを合体だっけ？できるよね」

「…あ、《砲竜バル・ガンナー》ですね。カグツチに合体させられますよ」

「よし。じゃあ合体つと。…えつと、今出したドラゴンとワンコの赤マークが2つあって、このカードのが2つあるから4―2で2つか」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ3↓5)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

カグツチドラグーン (合体)

「コスト：4+4=8」

「BP：3000+2000=5000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤=赤赤」

「…これやばいな」

「ヤバいの？ ならドラゴンで攻撃しちやおうかな。…で、攻撃したときの効果だっけ」

「ちよつとカード失礼しますね。…うん、カグツチとバル・ガンナーの効果で2枚引けますよ」

「おお、ラッキー」

(楓華手札3↓5)

赤 スピリット

《カグツチドラグーン》

コスト4 軽減赤2 <古竜>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BPP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットのアタック時』  
自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2【激突】『このスピリットのアタック時』  
相手は可能ならば必ずブロックする。

カグツチドラグーンとバル・ガンナーを召喚した分を補充された  
…。このデッキ作った人、かなりの上級者ってことだよな。かなりピ  
ンチのこの状況。さつきブレイヴデストラクションを使ったから今  
ブレイヴを剥がせるカードが手札に無い。

「ライフで受けます」

「また1ついただきましたね」

「ああいえ。合体しているスピリットは、ブレイヴのコスト、BP、合  
体時効果、シンボルを受け継ぎますから、この場合2つライフをリ  
ザーブに移します」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ2↓4)

「あと2つ。ワンコも…」

「ちよつと待った!」

「っ!」

「私のライフが減ったため、バーストを発動させてもらいます!」

「おお」

「《アルティメットウォール》!」

カグツチドラグーンのアタックが終わったら強制的に楓華さんの  
アタックステップを終了させます!」

{悠姫バースト：セット↓発動}

「…てことは?」

「アタックステップが終了したら後はターンエンドしかないですね」  
「惜しい」

〈悠姫・第六ターン〉

「ヤバいってこれ…。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ5↓10)

「厳しいなあ…、とにかくこいつで…。《デブリ・ザード》をレベル1で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ10↓9)

「デブリ・ザード コア1 レベル1 BP1000」

「更に《生還者ネオ・アーク》をレベル2で召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「生還者ネオ・アーク コア2 レベル2 BP4000」

「おお…」

「そして、《アルティメット・ジークフリード》を召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ2↓5)

「アルティメット・ジークフリード コア1 レベル3 BP1000」

「金色のカードだ…」

「アルティメットについて聞いてますか？」

「何か、苦手だとかチートだとか喚いてたことがあったような」

なるほど…。 やっぱ上級者、古参のプレイヤーだったんだな。

とりあえず楓華さんに説明。…あんまダラダラできないからな。

「——うん、アイツが喚く理由がちよつと理解できたよ」

「あはは…。最後にバーストをセットして、アタックステップ！」

(悠姫手札1↓0)

(バースト：無し↓セット)

「Uジークフリードでアタック！ Uトリガーです！」

「山札の1番上をめくって見せて、そのジークフリードっていうののコストより低ければアタリ、だっけ」

「そうです。ではカード名とコストを言ってください」

「…つと。…そ、《そうよくらんぶ双翼乱舞》？ コストは4だよ」

「Uジークフリードより低いのでヒット！ めくったカードはそのままトラッシュに置いてくださいね」

「わかった」

ヒット確認。…てかよくよく見ると楓華さんのカード、やけにキラキラしてるな。ワン・ケンゴーもカグツチドラグリーンも双翼乱舞も私がwikiで見た絵柄じゃないみたいだし、こっちの方がカッコイイぞ？

「…とと、Uジークフリードのヒット効果。楓華さんのスピリットがブロック可能ならば必ずこのUジークフリードの攻撃をブロックしてください」

「ということとは…」

「現在ワン・ケンゴーがブロック可能ですね」

「じゃあ、ワンコで」

「そしてスピリットでブロックされたとき、楓華さんのライフ1つをリザーブに置きます！」

「えっ！ ……こういうの『貫通（トランブル）』って言うんだっけ？」「と、とら…？？」

「アイツがたまに言ってるさ」

（楓華ライフ4↓3）

（リザーブ1↓2）

続いてブロックしたことでバトルが発生。簡単に今のUジークフリードとワン・ケンゴーの現在のBPを比べて高かった方の勝ちと説明。

今は私の狩る者の集落によるBP+2000でUジークフリードはBP12000。対するワン・ケンゴーはBP6000。倍違うので私ねUジークフリードの勝ちだ。

「これで破壊ですね」

「ああ、ワンコが…」

(リザーブ2↓3)

「続けてネオ・アークでアタック！ レベル2からのアタック時効果でBPプラス5000。更にアルティメットであるUジークフリードがいるため追加で1枚ドロー！」

「生還者ネオ・アーク BP4000+2000+5000=11000」

(悠姫手札0↓1)

「防御できるカードが無いから…、ライフで受ける」

(楓華ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

「攻め立てるか。デブリ・ザードで——」

「待った！」

「っ!？」

「えつとたしか…：【自分のライフ減少後】って書いてあるから使えるんだよね」

「使う場合は表にして確認します」

「じゃあ、これ使うよ」

「…っ!?! 《龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード》!?!」

(楓華バースト：セット↓発動)

な…!?! こんなカードがデッキに入ってたのか！ しかも最初から伏せてたって事は初手で引いてた!?!

「えつと、自分のライフが3以下のとき。…3以下だね。相手のBP15000以下のスピリット1体を破壊する。てことはそのトカゲかな」

「は、はいっす…」

「『デブリ・ザード 破壊』」

(悠姫リザーブ1↓2)

「よし。それで、この効果発揮後このスピリットカードを召喚する。…コストは払うの?」

「払わなくて大丈夫です…」

「ほんと？ よかった。ならレベル…2で出そうかな。3つの乗せてっ」と

（楓華リザーブ4↓1）

「龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード コア3 レベル2 B P 1 0 0 0」

ふ、楓華さんがUジークフリードに合わせて出してきていたら返り討ちに遭ってたかも…。

しかも絵柄が銀ピカで絵柄がマトモに見えないという。

赤 スピリット

《龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード》（1枚制限カード）

コスト8 軽減赤3 < 覇皇・古竜 >

< 1 > L v 1 B P 6 0 0 0

< 3 > L v 2 B P 1 0 0 0 0

< 5 > L v 3 B P 1 3 0 0 0

< 8 > L v 4 B P 2 0 0 0 0

シンボル：赤

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、B P 1 5 0 0 0以下の相手のスピリット1体を破壊する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

L v 2・L v 3・L v 4 『このスピリットのアタック時』

相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

L v 3・L v 4 『このスピリットのアタック時』

自分のバーストをセットしているとき、このスピリットのB P以下の相手のスピリット1体を破壊する。

あばばば…。やばいやばいって！

「た、ターンエンド…」

〈楓華・第七ターン〉

「おっ、もしかして行けるこれ？」



(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「よし、これ」

「：ネクスラスですね。：《千識の溪谷》？」

「うん。：あ、今ある赤マークが減らすマークより多くなってる時つて、もつとコスト減らせるの？」

「いいえ、その軽減シンボルの分だけしか軽減できませんね」

「解った。なら2つだね」

(手札6↓5)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ0↓2)

「《千識の溪谷》をもう1枚出そうかな」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ2↓4)

「うーん：」

「どうしました？」

「出したいカードがあるんだけど、リザーブのコアが足りなくて：」

「ああ、それなら場に出ているスピリットからも使えますよ」

「そうなの？」

「乗っているコアが0になるとトラッシュに行っちゃうんで、上手く払うのが良いですよ」

「なるほど。ならまずカードを出して：」

「：その前に悠姫、この千識の溪谷ってカードの効果ってどういう意味？」

「？ ちょっと失礼」

赤 ネクスラス

《千識の溪谷》

コスト4 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2『自分のメインステップ』

自分の手札にある系統：<覇皇>/<古竜>を持つスピリットカードすべてに、軽減シンボル「赤」を与える。

Lv2『自分のドローステップ』

ドロローの枚数を+1枚する。

「…その今出そうとしているマ・グーの軽減シンボルを増やせる効果と、レベル2からドローステップでの引ける枚数が増える効果みたいですね」

「へえ…。じゃあこの何か怖いマ・グーっていうのの減らすマークが増えるんだ」

「らしいですね。このマ・グーは赤の軽減が3から5になったから、2コストで出せますよ」

「おお、安上がり。じゃあ改めて出そう」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ4↓6)

「焰竜魔王マ・グー コア1 レベル1 BP5000」

「あ。このバル・ガンナーって、負けちやうまで動かせないの?」

「あ、それは合体条件さえ合っていれば自由に付け替えられますよ」

「へえ。ならこれをこの銀ピカのに重ねてつと」

砲竜バル・ガンナー

← 換装

龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード (合体)

「コスト：8+4=12」

「BP：10000+2000=12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤=赤赤」

「で、カードを伏せて…」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「攻撃に入ろう。…マ・グーの効果は…今アタックステップだっけ？」

「そうですね」

「ふむ…。『ステップ開始時、自分のトラッシュのコアを、好きなだけこのスピリットに置くことができる』？」

「ふあっ!？」

「好きなだけ、なら全部置いちゃえ」

(楓華トラッシュユ6↓0)

「焰竜魔皇マ・グー コア1↓7 レベル1↓3 BP5000↓10000」

トラッシュのコアを好きなだけ戻すって、何だよそれ!? アルティメットがチートとか霞むぐらい反則だろそっちの方が…。

「それで…『系統：＜竜人＞／＜古竜＞を持つ自分のスピリットすべてにBP+3000する。系統：＜古竜＞を持つ自分のスピリットすべてに赤のシンボル1つを追加する』…だって」

赤 スピリット

《焰竜魔皇マ・グー》

コスト7 軽減赤3 <竜人・古竜>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

ステップ開始時、自分のトラッシュのコアを、好きなだけこのスピリットに置くことができる。

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統：＜竜人＞／＜古竜＞を持つ自分のスピリットすべてにBP+

3000する。

Lv2・Lv3

系統：＜古竜＞を持つ自分のスピリットすべてに赤のシンボル1つを追加する

「カグツチドラグーン BP3000+3000∥6000 シンボル赤+赤∥赤赤」

「龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード 12000+3000∥15000 シンボル赤赤+赤∥赤赤赤」

「焰竜魔王マ・グー 10000+3000∥13000 シンボル赤+赤∥赤赤」

——あれ？ 負けしか見えない。

「銀ピカで攻撃！」

流石にヤマトのトリプルシンボルは受けられない。…しかし伏せたバーストでは迎撃もできない始末であって。

「…ヤマトのアタックに反応してバースト発動！」

「えっ!？」

「《刀の霸王ムサシード・アシユライガー》をバースト召喚！」

（バースト：セット↓発動）

「BP5000以上のスピリットがアタックしてきたとき発動して召喚できる！ レベルは2が限界か…」

（リザーブ2↓0）

「生還者ネオ・アーク コア2↓1 レベル2↓1」

「刀の霸王ムサシード・アシユライガー コア3 レベル2 BP8000」

「更にバースト召喚したターン中、BPプラス3000する。…だけどヤマトには届かない」

「刀の霸王ムサシード・アシユライガー BP8000+3000+11000」

「このままブロック！」

「たしかここの数値を比べるんだよね。こっちは…10000+20

00?」

「マ・グーの効果も入ってますから10000+2000+3000  
で15000ですね。対してこちらは8000+3000で110  
00。こっちの負けです」

(悠姫リザーブ0↓3)

「ならこっちのドラゴンで攻撃！」

「……ライフで受けます……」

(悠姫ライフ2↓0)

「やった、勝った！」

「ま、負けた……」

〔winner!! 浜倉 楓華〕

「わあ、初めて勝っちゃった」

「初白星おめでとうございます」

「…手加減してくれた？」

「恥ずかしながらしてないんですよ……」

## 進む緋色のゼロ

「うおお…」

「何か悪いことしちゃったかな」

「あ、いえ…。気にしないでください」

言い訳とか負け惜しみじゃないけど、ビギナーズラックとデツキが強かったのもあるよな…。一体どんなデツキなのか見てみたい。

「…デツキ、見せてもらってもいいですか？」

「いいよ。代わりに悠姫のも見せてもらっていい？」

「どうぞどうぞ」

てな訳でデツキの披露しあいとなった。

「……ふむ」

流し見てみると、ヤマトにマ・グー、ワンコにカグツチ。…たしか『霸王編』のカードだったっけ。バーストが初登場して環境を一変させたとか。

その霸王編の時代風に作ってあるのかバースト効果を持つものが多く採用されてるな。

…あとやけにキラツキラしとる。

「眩しい」

「それね。アイツなりのこだわりみたいで、『絵柄違いで光ってるなら採用するしかないじゃない！』って言ってたよ」

「…なるほど」

「悠姫のは…最近のをたくさん入れてるんだ」

「ええまあ。私も始めて間もなくで」

「そうだったんだ。…それで、これの狙いみたいのとかってあるの？」

…狙いかあ。

そういえば、あの赤青のデツキを組んで以来そういう“狙い”のあるデツキって作ってないな。赤も、あの時マリア先輩とのバトルから解体に近い形で元に戻ったからなあ…。

「…うん」

「無いの？」

「どう作ったらいいのか未だに悩んでて…」

「ならもう一度、1から創造するといいわ」

——おお、誰だと思ったら彩音が戻ってきた。

「おかえり。長かったな」

「向こうがごねたから少し、ね」

そう言っつて私の隣の席に座る。前にも相手が云々とか言っつてたよな。何か取引相手でもいるのだろうか。

「えっと…」

「ああ、この黒いのは…本名でいいのか？」

「そっちでいいわ」

「…そっち？」

「ペンネームみたいのがあって…。こっちは滯紫 彩音で、私のバトスピの師匠みたいなものです」

「よろしくどうぞ」

「よろしく」

・

・

・

「成る程。初心者（ビギナー）相手に負けたという訳ね」

「…その通りです」

事の顛末を話すと飛んできたのは情けないという叱責でしたとき。いやだつてマジで強かったんだもん。

「…楓華さん。デツキを見せていただいても？」

「ど、どうぞ」

まあ見た目ゴスロリで片目金色の娘が優雅？に言われたら気後れするのも当たり前か。

「ありがとう、ちよつと拝見させてもらうわ」

楓華さんから差し出されたデツキを受け取り、サラサラとデツキを

確認する。

「……………成る程」

「何がなるほどなんだ？」

「確かに強いデツキねこれは」

彩音がそういうなら強いデツキなんだろう。

「【赤緑ステロイド】に手を加えた感じね」

「赤緑…？」

「ステロイド…ってどういうの？」

「この通り、パワーカードをありったけ詰め込んだ一時期バトスピ界限を席卷したデツキタイプよ」

——— 彩音が話すには、『霸王編』から登場したカード類が著しくバランスが悪いものが多かったらしく、行き過ぎた一部のカードが集まりこうなったようだ。

あとカードの絵が違うのは『ウエハース版』という絵違いらしい。  
…しばらくウエハースは食べたくないって。

●ワン・ケンゴ

「まずこの『糞犬2号』こと『ワン・ケンゴ』。

バーストをセットさえしていれば3コストでレベル3になりBP6000、更には【激突】を持つ破格のステータス。その頃のBP4000ラインを軽く轢き殺す畜生よ」

「てことは当時は赤に当たったらネクサスを貼るのが安定だったのか」

「ワンコ酷い言われよう…」

●カグツチドラグーン

「次に『カグツチドラグーン』。

赤のコスト4帯で優秀なく古竜よ。こいつが優秀なせいで今まで、もしかしたらこれからもこいつと比べられるでしょうね」

「ふむ」

「へえ…」

「レベル1からのドロウ効果、コスト4だから大体のブレイヴと合体可能と申し分ないステータス。状況に応じてBP破壊の『砲竜バル』



ガンナー』、ネクサス破壊の『ガイミムス』と付け替えられるのも強み。特に理由が無いならこいつを入れておけと言われたりもするわ」

「…フェニツクより優秀なのか」

「万能なんだ」

「そして相手となる緑のカード。」

この『ダンデラビット』と『オウゴンオニクワガー』。…『大怪虫リオック』が入ってるのはデツキ破壊対策かしら」

「うわっ！何その虫キモい！」

「そのクワガタと気持ち悪い虫が相方なのか…」

●ダンデラビット

●オウゴンオニクワガー

「ダンデラビットはコスト3ですぐさまコアブでき、オウゴンオニクワガーとリオックは出てすぐアタック出来てコアブもする。オニクワガーはレベル2になれば1回回復してまたアタックできてコアブと。」

更にコスト4だからバル・ガンナー、今ならガイミムスとも合体できるとやたら優秀。系統も＜殻虫＞と＜怪虫＞と優秀なのが腹立つわ」

「コアブできて回復してバル・ガンナーも合体できると…」

「とんでもないんだ…」

●大怪虫リオック

「こいつは…」

「あ、いや、見せなくていいから」

「気持ち悪いからあまり見たくないかな…」

「そう。…こいつはオニクワガーと比べると軽減、コア効率が似たり寄ったりだからどちらを3枚にするかは自由よ。そもそも入れてないという人もいるだろうけれど。」

特徴はレベル1からのお互いのデツキ破棄・破壊を止める効果ね。後は召喚したターンにアタックすればレベル2BP5000になる辺りも優秀よ。…見た目はアレなのが難点かしらね」

●ブレイヴ

「ブレイヴは…これもほぼ典型的ね。」

《騎士王蛇ペンドラゴン》、《砲竜バル・ガンナー》、《ガイミムス》、《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》、《黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ》と。糞犬と呼ばれる由縁になったのがこのペンドラゴンとの合体よ。合体条件がコスト3以上だからワン・ケンゴーと合体できる。召喚したてのスピリットをほぼ確実に葬り去れるのが強み。…何度私の場を蹂躪されたことか」

「私も体験したから、まあ…」

「アイツが言つてた強カードつてこういう事も…？」

●中々重量級スピリット・マジック

「赤コスト6に《スレイヴ・ガイアスラ》とは珍しい。7に《焰竜魔皇マ・グー》と《絶甲氷盾》を3積み。決め手に《龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード》、《蜂王フォン・ニード》。…《森羅龍樹リーフ・シードラ》と《鉄の霸王サイゴード・ゴレム》に《ストームアタック》。完璧ね」

「…このリーフ・シードラつてのは緑のカードか？」

「よく間違われるけど右下のシンボルを見なさい」

「えっと…青だね。2つある」

「てか何なんだこのデッキは。赤緑と青の混色にしてはバランスが…」

「人によって多少形が違うけどこれでいいのよ。」

「このリーフ・シードラが出るまでに勝てないデッキは紙束とまで言われてたぐらいよ」

「マジか…」

「紙束…」

そして彩音が「動かす」と言い、楓華さんのデッキを借りて私と対戦。結果は……

「紫蓮の第八ターン。…《じかんぎれ運命の刻》よ悠姫」

「はっ…」

「異業の龍、光届かぬ海の澱より目醒め命を喰らえ。」

《森羅龍樹リーフ・シードラ》、レベル1で覚醒!

「げっ!」

「おお、出す時にそれ言うの?」

「黒蟲の妖刀ウスバカゲロウを森羅龍樹へと合体!

更に残りのコアを森羅龍樹へ移しレベル3へ。カグツチドラグーン、リオックは消滅。

BPは13000+5000で18000!」

「くっ…!、何だよあの強さ!」

「アタックステップ。森羅龍樹リーフ・シードラで剣刃合体アタック!」

「ふ、フラッシュユタ——」

「リーフ・シードラレベル2からとウスバカゲロウの合体アタック時効果!

悠姫、あなたはマジックもバーストも使えない!」

「はあ!」

青 スピリット (闇) 『1枚制限カード』

《森羅龍樹リーフ・シードラ》

コスト7 軽減青3 <異合>

<1> Lv1 BP6000

<4> Lv2 BP10000

<6> Lv3 BP13000

シンボル：青青

Lv1・Lv2・Lv3

相手は、相手のフィールドにあるシンボルと同じ色のバーストしか発動できない。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

相手はマジックカードを使用できない。

【連鎖・条件 《緑シンボル》】

「緑」：BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のライフのコア2個を相手のリザーブに置く。

「できるのは【神速】を持つスピリットかアルティメットを出すしか無

いわ

「……………」

「因みに、ブロックしなければライフ3つ。ブロックしてもライフ3つ頂くから」

「……………投了します」

「か、勝てるかあんなもん！」

「酷い対戦だったね…」

「だから言ったでしょ。でも数えて八ターンまで粘れたのは褒めてあげる」

まったく嬉しくないんだが…。カグツチドラグーンとワン・ケンゴー、オウゴンオニクワガーの猛攻凄まじく、こちらが迂闊にアタックすればオニクワガーだけでライフが残り1なんてのもあった。

それを凌げても増えたコアでのスレイヴ・ガイアスラと焰竜魔皇マ・グーが待ち構え、アルティメットが来るまで突破が難しい。しかし例え呼び出せても、02のカードまで入っていて《ネオ・ドリームリボン》で帰される始末と…。

赤 スピリット

《スレイヴ・ガイアスラ》

コスト6 軽減赤3 <滅龍・星竜>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

<5> Lv3 BP8000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

お互い、このスピリットのコアは取り除くことができない。

Lv1・Lv2・Lv3：フラッシュ【超覚醒】

自分のスピリットのコアを、好きなだけこのスピリットに置くことができる。

この効果でコアが置かれたとき、このスピリットは回復する。

白 マジック

《ネオ・ドリームリボン》

コスト8 軽減白4

【バースト：自分のライフ減少後】

自分の白のスピリットすべてを回復させる。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

相手のスピリット／アルティメット1体を手札に戻す。

「はくい、こんにちは〜」

「？ 董さん？」

「どうも…」

この絶望的な差に若干泣きが入りそうなところで、董さんが声を掛けてきた。何だろう、珍しい。

「あら〜？ これステロイド？」 「流石 魔符の司書長（店長）」。その通り、こちらの方のデッキだそうです」

「あらあら〜。この前お友達と来てたわね〜」

「えっ。ま、前って、たしか一回だけだったはず…」

「うふふっ。記憶力にはくちよ〜と自信があるの〜」

さ、さすが董さん…。璃恵や麗奈さんを軽くあしらう実力者。

「悠姫ちゃんは、連敗記録更新〜？」

「ぐっ……。おっしやる通りです…」

「あらあら〜♪」

最近は更に勝率が下がり始めている。身内への勝率は真桜と麗奈さんには前に一、二回勝った後は負け通し。他は限りなく0だという現状。…笑えるぐらい勝ててない。

勝った相手も、一度負けると二度と負けなくなるとかどんな裏技使ってたんだよ…。

「あら〜。…なら悠姫ちゃん、簡単に強くなる方法はあるわよ〜？」

「…え？」

簡単につて、それが出来れば誰も苦勞はしないんじゃないかあ…。

「このデツキみたいに、強いカードを放り込めば良いのよ」  
「!？」

…パワーカードを片っ端からつか。

「まあ、一つの解答ね。デツキレシピとかを見てバランスを取る必要があるけど、勝率は上がるわ」

「えつと、このデツキを真似するってこと？」

「それもあるわ。強者を真似ることで見えるものもあるけど、一種の劇薬とも言えるかしら」

「それは、しません」

「あらあら〜♪」

「まあ悠姫ならそうでしょうね」

「……………」

「これは私の自分勝手な括りというか、何と言うか…。

確かに、今の環境を彩るカードを入れれば強くなれると思います。

…捻くれた言い方ですけど、自分のやってきた事を捨てるみたいで抵抗があるんです。

入れなきゃならない。入れなきゃ勝てないってのも負け続けて解ってるつもり…なんだと思います。

それでも、祐依や璃恵、彩音、真桜、麗奈さんから教えて貰った事を糧に強くなりたいんです。勿論、色んな人からも」

そりゃあ情報も調べたりはするさ。一応ね。それでもやっぱり私なりのつてのがさ。舐めてるって言われてもしょうがない。

「…ようは自分で強くなりたいってわがままですな」

「甘いわね。…誉められたものじゃないけど、嫌いじゃないわ」

「自分で、か…」

「なら悠姫ちゃん、私とバトルしない？」  
「え？」

…どういふことだろう。どういふ話でバトルしようとする流れに？

「悠姫ちゃんが私に勝ったら、私も悠姫ちゃんに力を貸しちやおうかな〜って」

「は、はあ…。既に十分すぎるくらい頂いてる気はしますけど」

「遠慮しないの♪ 本音を言うところ、私も悠姫ちゃんとバトルしたいな〜ってね♪」

そつちが本音ですか。…でもまあ、なんだかんだ董さんがバトルしたところは見たこと無いし、勝てばご褒美？とからしいし。

「じゃあ、よろしくお願いします」

「良い経験になるわ。しつかり戦いなさい」

「頑張つてね悠姫」

緋立 悠姫

【灼光のゼロver. 02】

VS

翠乃 董

【ズルしちやう緑♪】

「悠姫ちゃんとのバトル初めてだし、久しぶりだから緊張しちやうわね〜♪」

「悠姫、気を引き締めて掛かりなさい。強いわよ」

「お、おう」

…さて勝負と相成った訳だが最初の手札はつと。……！ いつになく良い手札だ。

「さてさて、先攻後攻はどうする〜？」

「ならコインで決める？」

「彩音ちゃんナイスアイデア〜♪」

彩音が何処かから取り出した紫のコイン。小物類充実してんなあ。

「じゃあ、私は裏で〜」

「なら私が表か」

「よし。いくわ……はっ〜!」

彩音が勢いよくコインを指で弾く……が、それは上には飛ばず、あらゆる方向へと行ってしまった。

「あ……あ……。も、もう一回……! それっ! あっ……」

気を取り直してもう一回。だが虚しくも宙に舞うことなく空振りテーブルに落ちた。……いきなりドジっ娘アピールか?

「こ、こんなはずじゃ……」

「……代わる?」

「……お願い。私、これ苦手なの」

じゃあ何でやろうとしたんですかねえ……。

てな訳で代わりに楓華さんがコイントスを行う事に。

「いくよ。……ほっ」

ピンツと音を立て弾かれたコインは綺麗に上に飛び、華麗に楓華さんがキャッチ。

「おお」

「楓華ちゃんカツコイイ〜♪」

「悔しいくらい決めるわね……」

「べ、別に普通だし……。け、結果見るよ」

照れ臭そうにコインを開示する楓華さん。……結果は、裏。てことは  
董さんが先攻だな。

〈董・先攻第一ターン〉

「では、先攻第一ターン♪ スタートステップ〜♪」

(リザーブ 4)

(手札 4 ↓ 5)

「メインステップで、ネクサス《蟲招く妖花の塔》を配置しま〜す♪」  
(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 4)

「蟲招く妖花の塔 レベル1」



「：珍しいネクサスを使うのね」

「？ あれってコンニャクのおつきくて臭い花？」

「いやあれじゃないわ」

「バーストをセットして、ターンエンド♪」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「よし。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ」

あのネクサスは初めて見た。どういう効果は解らんけど、緑のことだ。下手に蜂の巣を突かなければ害は薄い。今はこの手札で万全にしよう。

「《リューマン・クロウ》、《ムゲンドラ》、《オートマチックガンナー》を召喚！」

(手札5↓2)

(リザーブ5↓2)

〔ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000〕

〔リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000〕

〔オートマチックガンナー コア1 レベル1 BP1000〕

「はっ!？」

「あら〜」

「おおっ。一気に3枚も出した。：あ。あのムゲンドラ？ っの可愛い」

「更にマジック《ネオ・ダブルドロ》！ デッキから2枚ドロする！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

(手札1↓3)

よしよしいいぞ。次でアルティメットを呼び出せそうだ。

「アタックステップ。ムゲンドラでアタック！」

バーストが気にならない訳じゃないが、まずは先制1つはいただきたい！

「悠姫が何を考えてるのか解らないわ…」

「うくん…。ライフで受けていいかしら〜?」

「どうぞどうぞ」

「じゃあ、ライフで受けるわね〜」

(董ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「あら〜。じゃあ蟲招く妖花の塔レベル1からの効果発揮よ〜」

「っ！」

「コスト7以下のムゲンドラちゃんのアタックで〜、私のライフが減ったから、ボイドからコア2つリザーブに置いちゃうわね〜」

「っ!? 2っ!?!」

(董リザーブ1↓3)

緑 ネクサス

《むしまね蟲招く妖花の塔》

コスト4 軽減緑2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『相手のアタックステップ』

コスト7以下の相手のスピリットのアタックによって自分のライフが減ったとき、ボイドからコア2個を自分のリザーブに置く。

Lv2

【神速】を持つ自分のスピリットが相手によって破壊されたとき、このネクサスを疲労させることで、破壊されたスピリット1体を手札に戻し、相手のスピリット1体を疲労させる。

「早速蜂の巣突いちゃったー!」

「初心者もやらないような馬鹿やってるんじゃないわよ!」

「あらあらく♪ じゃあライフ減少時バーストもオマケしちゃうわね  
〜♪」

「ヒエエ〜!?!」

「は〜い《絶甲氷盾》〜♪」

〔董バースト：セツト↓発動〕

(董ライフ4↓5)

「迂闊にも程があるでしょう!あれがもし《救世神撃覇》や《霸王爆炎  
撃》だったらどうするの!?!」

「み、緑だから破壊されるのはまず無いだろうと…」

「ウカツ!ウカツすぎる!」

「すみませんでした…」

対戦中に説教食らってしまった…。たしかにちよつと慢心してた  
かな。だけど次でもコイツが出せるとなれば…。

「改めてターンエンドです…」

〈董・第三ターン〉

「あらあらく。ならこっちのターン、始めるわね。スタートステッ  
プ〜」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ4↓8)

「メインステップに入ってく、《一番槍のシベルザ》をレベル1で召喚  
しま〜す」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「一番槍のシベルザ コア1 レベル1 BP3000」

「更にく、《ダンテラビット》も出しま〜す」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ2↓4)

「ダンデラビット コア1 レベル1 BP1000」

「召喚時効果で、ボイドからリザーブにコア1つと、系統：＜星魂＞を持つてるシベルザがいるから、もう1つシベルザに乗せるわね」

(リザーブ2↓3)

「一番槍のシベルザ コア1↓2」

「オマケで《風楯の守護者トビマル》も召喚しちゃうわね」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ4↓5)

「風楯の守護者トビマル コア1 レベル1 BP2000」

一気に3体…。しかもコアブーストしてるからどれかをレベル2にできる。手札では勝ってるけど、どうなるか…。

「シベルザをレベル2にして、アタックステップに入るわね」

(リザーブ1↓0)

「一番槍のシベルザ コア2↓3 レベル1↓2 BP3000↓5000」

「シベルザでアタック」

攻めてきた…！ 1発くらいならコアブ手段として受けられる！

「シベルザのレベル2からの効果発揮よ」

「っ！」

「この子がターン中に、一番最初にアタックしたら、回復するの」

♪

「回復効果!?!」

「2回も攻撃できるんだ」

「『一番槍』の名は伊達じゃないということね。速攻の緑ならではの効果よ」

緑 スピリット

《一番槍のシベルザ》

コスト3 軽減緑2 <剣獣・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2

シンボル2つを持つ合体スピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

自分のターンの最初のアタックのとき、このスピリットは回復する。

「くぬ…。ライフで受けます」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「もう一回シベルザでアタック〜♪」

「それもライフで受けます！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「は〜い。ターンエンド〜」

「もうライフが3つに…」

「赤と緑のバトルならこれぐらいは当たり前の部類かしら。平気で2つ3つ持つて行くこともあるわ」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。…ここは一気に行く！ リューマン・クロウ、オートマチックガンナーのスピリットソウル：赤と白を発揮！」

「成る程…。既に手札に来ていたから強気に展開したのね。無謀過ぎるけど」

「何が出てくるんだろう…」

「《アルティメット・ジークフリーデン》！」

レベル3で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・ジークフリーデン コア1 レベル3 BP1  
2000」

「こんだけ早く出せたんだ。流れを引き寄せるには十分だろうきつ  
と。」

「バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「Uジークフリーデンでアタック！Uトリガー！」

「——コスト4、ネクサス《蟲招く妖花の塔》ね〜」

「ヒット！ヒットしたコスト分、BP1000以下の董さんのスピ  
リットを破壊します！」

これでダンテラビット、シベルザ、トビマルを殲滅できる！

「でもでも、〃守護者〃の共通効果を忘れちゃダメよ〜♪」

「え？」

「確かに3体とも破壊されちゃうけど、トビマルの効果が発揮され  
ちやうわ〜」

「二番槍のシベルザ 破壊↓疲労状態で残る」

「ダンテラビット 破壊↓疲労状態で残る」

「風楯の守護者トビマル 破壊↓疲労状態で残る」

「げっ!？」

緑 スピリット

《風楯ふうじゆんの守護者トビマル》

コスト3 軽減緑2 <爪鳥>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：緑

Lv1・Lv2

コスト3以下の自分のスピリットすべては、相手の効果で破壊されたとき、疲労状態でフィールドに残ることができる。

Lv2 『このスピリットのバトル時』

相手は、相手のスピリット1体を疲労させる。

しまったそうか！ “守護者” つて前にホムホムさんが使ってたじゃないか何さらつとスルーしてんだ私！

「と、とにかく、Uジークフリーデンのアタックはどうしますか？」

「そのままライフで受けるわ」

(董ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「……ターンエンド」

「ここは警戒して流す。あの1枚が何なのか気になるし、あのネクサスでコアブを許せばどうなることか。」

〈董・第五ターン〉

「さてさて、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ。悠姫ちゃんがアルティメットを出したなら、私もアルティメット、見せちゃおこなく」

董さんのアルティメットカード…。この盤面を見ると緑のアルティメットだと思う。でも、次にはUジークフリーデンがレベル5になるからそうそうこれを抜かせるもんじゃ無し。

「これが新しく進化した獣槍の護り手よ」

《アルティメット・ギガ・ガルレイヴ》♪

レベル3で召か〜ん♪」

「知らない緑のアルティメット!？」

「“獣槍王ギガ・ガルレイヴ”がアルティメット化した姿ね…。 “獅

龍王”と “極甲王”に続いて究極に到った訳か…」

「犬の頭なのに何か見た目がちよつと…」

(董手札2↓1)

(リザーブ7↓2)

(トラッシュ0↓4)

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア1 レベル3 BP10000」

やはりとうかさすが店長やるのがこすいというか。

「うふふ♪ Uギガ・ガルレイヴの召喚時効果、発揮しちやいまくす♪」

「召喚時効果持ち…」

「ボイドからコアを、私の緑のスピリットとアルティメット全部に1つずつ追加するわね〜♪」

「な、何っ!?!」

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア1↓2」

「ダンデラビット コア1↓2」

「一番槍のシベルザ コア3↓4」

「風楯の守護者トビマル コア1↓2」

「盤石になったわね…」

「一気に4つも増えちゃった」

緑 アルティメット

《アルティメット・ギガ・ガルレイヴ》

コスト7 軽減緑3

【召喚条件：自分の緑スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP18000

<6> Lv5 BP26000

Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

ボイドからコア1個ずつを、自分の緑のスピリット／アルティメットすべてに置く。

???  
????

「次に、他の子たちに乗ってるコア1つずつをUガルレイヴに移して〜」



「ダンデラビット コア2↓1」

「一番槍のシベルザ コア4↓3」

「風楯の守護者トビマル コア2↓1」

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア2↓5 レベル3↓時  
BP10000↓18000」

「リザーブのコアはトビマルに移してレベル2にアップね〜♪」  
(リザーブ2↓0)

「風楯の守護者トビマル コア1↓3 レベル1↓2 BP200  
0↓3000」

「アタックステップに入って、Uガルレイヴでアタ〜ツク♪ アル  
ティメットトリガー、ロックオ〜ン♪」

勿論だがトリガー持ちか。一体どんな効果なのか…。

「——コスト3、スピリットカード《リユーマン・フェニツク》」

「あらく〜♪ クリテイカルヒット〜♪」

「何っ!？」

「ボイドからコアを私のアルティメット、Uガルレイヴに〜、コア2つ  
追加するわね〜」

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア5↓7 レベル4↓5  
BP18000↓26000」

召喚時に追加するだけじゃなくてトリガーでも追加するのか!

これはちよつとまずいかな…。

「更にヒット効果で〜、悠姫ちゃんはバーストを発動できませ〜ん♪」

「バースト封じも!？」

《アルティメット・ギガ・ガルレイヴ》

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手はバーストを発動できない。

【クリテイカルヒット】

ヒットしたカードがスピリットカードなら、さらに、ボイドからコ  
ア2個を自分のアルティメットに置く。

「あの究極獣槍王、バーストを封じれる上に自分でバーストもかけら  
れる。BPもそこそこある。軽減の少なさは元のままでけど緑7コ

スト帯アルティメットなら良い部類に入るわね」

「強いのか？」

「現状では、ね」

「バーストは封じられてコアまで増やされた……。手札が無いのが救いだけど、いつひっくり返されるか解ったもんじゃない。」

「アタックはライフで受けます！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

残りライフ2つ……。出来ることならここらで抑えにアルティメットが欲しいところだな……。

「うくん、ここはターンエンドからしね〜」

〈悠姫・第六ターン〉

「こつから……。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ」

……引いた。《アルティメット・ジークフリード》。しかし割けるコアも限られてる上に、董さんの場には守護者トビマルがいる。でも実質Uジークフリーデンのトリガーがヒットすれば、疲労状態で残りはするが防御に穴を空けられる。

「《アルティメット・ジークフリード》、レベル3で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・ジークフリード    コア1    レベル3    B P 1 0  
0 0 0」

「Uジークフリードね〜」

「次に2枚目の《ネオ・ダブルドロ〜》！ 今度はアルティメットがいるから3枚ドロ〜！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ3↓5)

(手札1↓4)

「:アタックステップ。Uジークフリードでアタック!Uトリガー!

ここで狙うのは小型の連中だ。たしか守護者系は相手の効果による破壊からは守るけど、力比べの破壊からは守れないんだったな。

ならブロック強要からのライフ貫通だ。

「——コスト4、スピリットカード《ゴクラクチョー》よ」

「ヒット!スピリットは必ずブロックしてください!」

「これで董さんのライフ一つとスピリット1体を奪えるわね」

「あのジークフリードとか言うのの効果なの?」

「そうよ。ヒットしたら董さんは必ずブロック可能なスピリットでのブロックを強要され、スピリットがブロックしたのならその瞬間、ライフ一つをリザーブへ送るの。」

……でも気になるのは董さんのあの手札。究極の獣槍王の他に、何か隠し玉があるかも知れないわ」

「彩音ちゃん、鋭いわね」

すると、董さんが持っていた手札1枚を私に見せてきた。正確には、人差し指と中指で綺麗にクルリとカードを裏から表にした感じだ。

「っ!」

「カードを提示した…?」

「…?」

「隠し玉その2

”【トリガーカウンター】”を使わせてもらおうわね」

カウンターブレイヴ、《地星鎧フォックスター》、召喚よ」

「トリガーカウンター」ですって!? しかもブレイヴで召喚までしてくるとか、何なのよあのカードは!」

「カウンター?」

「そうよ♪ “カウンター効果発揮”で、悠姫ちゃんのUジークフリーデンを“疲労させてもらう”わね。コストはシベルザから2つ、レベル維持にはUガルレイヴのコアを使わせてもらうわ♪」

「なっ…!?!」

(董手札1↓0)

「二番槍のシベルザ コア3↓1 レベル2↓1 BP5000↓3000」

(トラツシユ4↓6)

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア7↓6」

「地星鎧フォックスター コア1 レベル1 BP3000」

「アルティメット・ジークフリーデン カウンター効果により疲労」  
そ、そんな…! 何が起こつてんだこれ…!?

「更にく、ヒットしたカードがスピリットカードだったから、Uジークフリードのヒットは“ガードとする”わね♪」

「はあっ!?!」

「アルティメット・ジークフリード トリガーヒット↓ガードに」

「アルティメットのトリガーに干渉してくるブレイヴ…!?!」

「うわあ、狐さんだ」

が、ガードにするって…、つまり董さんはブロックしなくても良くなったってことか!? しかも向こうは数が増えた…!

「これが次の環境の一端。」

“アルティメットキラ”よ♪」

「アルティメット、キラ…!?!」

「究極の領域を完膚無きまでに侵してくる…。疾風や明星は前触れに過ぎなかったという事かしら」

緑 ブレイヴ

《地星鎧フォックスター》

コスト4 軽減緑2白1 <剣獣・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：緑

〔トリガーカウンター〕

手札にあるこのブレイヴカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に召喚できる。

召喚後次の効果を発揮する。

■相手のアルティメット1体を疲労させ、ヒットしたカードがスピリットカードならガードとする。

〔合体条件：コスト4以上〕

〔合体時〕『このスピリットの合体アタック時』

コスト3以下の相手のスピリット2体を疲労させる。

「そのアタックはダンテラビットでブロックさせてもらうわね。何もなければそのまま破壊されちゃうわ」

「……………」

(董リザーブ0↓1)

「……ターン、エンド」

これはまずい。かなりやばい。非常にやばい。予想外のカードが飛んできたから正常に考えられない。

何だよあの狐、ジークフリードのトリガーを外した事にするとかタダモンじゃないぞ。

<董・第七ターン>

「驚いてるわね」♪ スタートステップ」♪」

(リザーブ1↓2)

(手札0↓1)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ2↓8)

Uジークフリーデンは疲労させられた、残ったのは小型のみ。

「メインステップ」。良いの引いたからすぐ使うわね」♪ マジック  
《ハンドリバス》」♪」

「げっ!？」

(手札1↓0)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュ0↓3)

「手札を全部捨てて悠姫ちゃんの手札分ドローするわね〜♪」

(董手札0↓4)

手札を補充された…。結果論だが、前に私がネオ・ダブルドローを使わなければ董さんが手札を増やすことは無かったな…。

「じゃあ、董店長の切り札、いっちゃおうかしら〜♪」

「っ!」

「巨星の名と共に顕れるは〜、神仏すら平伏せん第六天となりし龍〜。

その名、自在天王。他化自在〜。

《木星魔龍ノブナガード・ゼクスト》!

レベル2で、顕現よ〜♪」

「の、信長…?!」

「うふふ〜♪ レベル分にはUガルレイヴから1つ使うわね〜」

(董手札4↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ3↓6)

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア6↓5 レベル5↓4」

「そして、第六天魔龍降臨のため〜、星の魂を持つシベルザには【転召】の礎になってもらうわね〜」

「一番槍のシベルザ 転召 コア1↓ボイドへ 消滅」

「木星魔龍ノブナガード・ゼクスト コア3 レベル2 B P 8 0 0 0」

緑 スピリット

《木星魔龍ノブナガード・ゼクスト》

コスト6 軽減緑3 <神星・剣獣>

<1> L v 1 B P 6 0 0 0

<3> L v 2 B P 8 0 0 0

<6> L v 3 B P 1 0 0 0 0

シンボル：緑緑

【転召：星魂／ボイド】

召喚コスト支払い後、系統：＜星魂＞を持つ自分のスピリット1体  
の上のコアすべてをボイドに置かなければならない。

???  
????

「ダブルシンボル!？」

「まだまだく♪　ここで董店長の『隠し玉その2』を投入しちゃうわ  
よ♪」

「っ!？」

「木星魔龍の召喚時効果く。」

手札の緑のスピリットカード1枚と、ブレイヴカード1枚をノーコ  
ストで召喚できちゃうの♪」

「えっ!?!それ凄く強くない!?!」

「あれが董さんの隠し玉付き切り札…。スピリットの方は色が指定さ  
れているけど、ノーコストに加えてスピリットとブレイヴの召喚時効  
果を発揮できるのが弱い理由が無いわ…」

《木星魔龍ノブナガード・ゼクスト》

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるブレイヴカード1枚と緑のスピリットカード1  
枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【合体時】Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

系統：＜神星＞／＜星魂＞を持つ自分のスピリットすべては、BP  
を比べ相手のスピリットだけを破壊したとき回復する。

「呼び出すのはく……

、神すら威なす神風の剣刃!

《疾風の双刃カムイ・ハヤテ》!

木星魔龍に直接合体く♪」

呼び出したのは、名前からしてあの『白夜』、『骨剣』、『巨剣』  
と同じソードブレイヴとかいう種類……!

「そして呼び出すスピリットはく……

星の加護を授かりし刃の将!

《殻刃将レギオス》！

レベル3で、参陣！なんてね♪」

っ!? また見た事の無いスピリット…。

「殻刃将レギオスのレベル分にはトビマルとUガルレイヴから使うわね♪」

(董手札3↓1)

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ コア5↓2 レベル4↓3」

「風楯の守護者トビマル コア3↓1 レベル2↓1」

「殻刃将レギオス コア5 レベル3 B P 1 0 0 0 0」

「まだまだ終わらないわよ♪」

殻刃将レギオスの召喚時効果発揮♪」

「まだ呼ぶ…!?」

「私の手札にある系統：《光導》《かく星魂》を持つブレイヴ1枚をノーコストで呼べちゃうの♪」

「っ!? 今、董さん…『系統：《光導》を持つブレイヴ』って言った…?!」

「えっ? 言ったねたしか。…何でそんな震えてるの?」

「…こ、『光導のブレイヴ』…」

「最後の《隠し玉その3》」。

星に導かれし武神！猛り起つ星の力を鎧へと宿し、万物尽くを屠れ！

《裏黄導十二宮、豪将の魂が一つ》。

《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》！

殻刃将レギオスに直接合体♪」

一気に合体スピリットが2体も並んだ…!ピンチどころか絶対絶命だこれ!?

「更に更に♪ レギオスが系統：《光導》を持つブレイヴキャンサーを呼び出す事ができたから、悠姫ちゃんのスピリット2体までを疲労させちゃうわ♪」

「疲労効果まで!？」

「そこにカムイ・ハヤテの【強化】が1つ乗って、3体まで疲労させ



られちやうのく♪ 勿論ムゲンドラ、リユーマン・クロウ、オートマチックガンナーの3体を疲労させてねく♪  
「……………」

(董手札1↓0)

「ムゲンドラ 回復↓疲労」

「リユーマン・クロウ 回復↓疲労」

「オートマチックガンナー 回復↓疲労」

緑 スピリット

《殻刃将<sup>かくしんしょう</sup>レギオス》

コスト6 軽減緑3 <星将<sup>せいしょう</sup>・殻人>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<光導><星魂>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統：<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、相手のスピリット2体までを疲労させる。

【合体時】 Lv2・Lv3

『このスピリットのバトル時』

BPを比べ相手のアルティメットだけを破壊したとき、このスピリットは回復する。

緑 ブレイヴ(光)

《疾風の双刃カムイ・ハヤテ》

コスト6 軽減緑3 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：緑

Lv1【強化】

自分の「相手への疲労効果」の体数を+1体する。

【合体条件：コスト6以上】

【合体時】【強化】

自分の「相手への疲労効果」の体数を+1体する。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のスピリット1体を疲労させる。

この効果で相手のスピリットが3体以上疲労したとき、このスピリットは回復する。

「巨蟹星鎧…！ あ の “ 巨蟹武神 ” がブレイヴになったというの…！？」

「こ、これ、どうなるの…？」

「… “ 絶望的 ” な盤面ね…」

疾風の双刃カムイ・ハヤテ

← 直接合体

木星魔龍ノブナガード・ゼクスト（合体）

【コスト：6+6＝12】

【BP：8000+5000＝13000】

【合体時効果：追加】

【シンボル：緑緑+緑＝緑緑緑】

巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー

← 直接合体

殻刃将レギオス（合体）

【コスト：6+6＝12】

【BP：10000+5000＝15000】

【合体時効果：追加】

【シンボル：緑+緑＝緑緑】

「悠姫ちゃん。…覚悟、良い？」

「っ…！」

「殻刃将レギオス、合体アタック」

来た…！

「ブレイヴキャンサーの合体アタック時効果。悠姫ちゃんはスピリット2体、もしくはアルティメット2体じゃないとブロックできない

わ

「なっ…!?!」

「でも全部疲労してるからブロックは無理ね〜」

「くっ…」

緑 ブレイヴ

《巨蟹星鎧きよかいせいがいブレイヴキャンサー》

コスト6 軽減緑3 <殻虫・光導> 『蟹座《裏》』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：緑

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手は、ブロックするならばスピリット2体／アルティメット2体でない  
ないとブロックできない。

この合体スピリットがブロックされたとき、どれか1体だけとバトルする。

「あのブレイヴ、元の巨蟹武神の範囲をアルティメットまで拡げるなんて…!」

「悠姫、負けちゃうの…?」

「…不用意に展開、手札を増やしたのが裏目裏目に出てる…。これを捌ききれても危険なことには変わり無いわ」

今、私のフィールドには

スピリットのムゲンドラ、リューマン・クロウ、オートマッチクガ  
ンナー。

アルティメットはUジークフリーデンとUジークフリードのみ。

手札4枚とバースト。

…ただ、ネオ・ダブルドローで引いただけじゃない!

「フラッシュタイミング!」

「っ!」

「マジック《ブレイジングバースト》!」

「っ! 握ってた!」

「え…、回避できるの!?!」

「コストはオートマチックガンナーとUジークフリーデンから受け取って、赤のスピリットであるリューマン・クロウを破壊する!」

(悠姫手札4↓3)

「オートマチックガンナー コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ジークフリーデン コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ5↓7)

「リューマン・クロウ 破壊」

(リザーブ0↓1)

「これでこのターン、私は董さんのスピリットからのアタックでは1しか減らされない!」

「あ、アルティメットを退かしちゃったよ悠姫」

「赤の《ブリザードウォール》。…さて、どう転ぶかしら」

「レギオスのアタックはライフで受ける!」

「レギオスはダブルシンボル…だけど」

「減らせるのは1つだけ!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

赤 マジック

《ブレイジングバースト》

コスト4 軽減赤2

【バースト：自分のライフ減少後】

BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

自分の赤のスピリット1体を破壊することで、このターンの間、相手のスピリットのアタックでは、自分のライフは1しか減らない。

「更にライフ減少でバースト発動!」

さつきは封じられて発動できなかったが、今度は発動できる!

「さあ出てこい! 《リューマン・ハンマー》!!」

〔バースト：セット↓発動〕

〔バースト効果でBP4000以下のスピリット3体、狐とトビマルを破壊！〕

「あら…」

〔風楯の守護者トビマル 破壊↓疲労状態で残す〕

〔地星鎧フォックスター 破壊〕

〔董リザーブ0↓1〕

「その後、アルティメットであるUジークフリードがいるため召喚！レベル1！」

〔悠姫手札3↓4〕

〔リザーブ2↓1〕

〔リューマン・ハンマー コア1 レベル1 BP〕

凌ぐ…！何が何でもこのターンを凌ぐ！

「……………ターンエンドよ〜」

〈悠姫・第八ターン〉

〔ラストチャンス、私の最後のターン…。…スタートステップ！〕

〔リザーブ1↓2〕

〔手札3↓4〕

〔トラツシユ7↓0〕

〔リザーブ7↓9〕

〔メインステップ。白い相棒《ムゲンドラ》！来い！〕

〔手札4↓3〕

〔リザーブ9↓8〕

〔ムゲンドラ（白） コア1 レベル1 BP1000〕

「そして、私の場にはUジークフリードがいるため、手札にあるこいつはコストを5にできる！」

「…なるほどね〜」

「来い、《リューマン・ブレイド》！」

コストは赤ムゲンと白ムゲン、ハンマーで赤3軽減！ よって2コスト

ト支払って、レベル1で召喚!!」

〔手札3↓2〕

(リザーブ8↓5)

(トラッシュ0↓2)

「リューマン・ブレイド コア1 レベル1 BP5000」

「召喚時効果！ お互いのシンボル2つ以上を持つスピリットすべてを破壊する！」

「っ…！」

「まとめてぶっ飛ばえっ!!」

「木星魔龍ノブナガード・ゼクスト(合体) シンボル：緑緑緑 破壊」

「殻刃将レギオス(合体) シンボル：緑緑 破壊」

「疾風の双刃カムイ・ハヤテ 残留 コア1 レベル1 BP5000」

「巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー 残留 コア1 レベル1 BP5000」

(リザーブ1↓7)

「更にブレイヴ《ネオ・ケルベロード》を、リューマン・ブレイドに直接合体！コストは赤と白のムゲンドラによって、3コスト！」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ3↓6)

ネオ・ケルベロード

← 直接合体

リューマン・ブレイド(合体)

「コスト：8+5=13」

「BP：5000+5000=10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+青=赤青」

「残りのコアをUジークフリードに追加して、レベル4に！」

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・ジークフリード コア1↓3 レベル3↓4  
BP10000↓14000」

「アタックステップ！ Uジークフリード、アタック！ Uトリガー！」  
「——っ！ コスト4、マジックカード《ストームアタック》ね……」  
「ヒット！」

「……カムイ・ハヤテでブロック」

「スピリットにブロックされたため、董さんのライフ1つをリザーブへ！」

「……………」

(董ライフ4↓3)

(リザーブ7↓8↓9)

「リユーマン・ブレイド、合体アタック!! ネオ・ケルベロードの合体アタック時効果で、Uジークフリードの今のBPをリユーマン・ブレイドに加算！」

「リユーマン・ブレイド BP10000+14000=24000」

「……………」

「更に、私のデッキの上から7枚を破棄して、1回だけ回復！」

●破棄したカード

《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》

《ネオ・ダブルドロロー(3)》

《ブレイヴデストラクション》

《リユーマン・フェニックス(2)》

《リユーマン・クロウ(2)》

《アルティメット・プテラトマホーク》

《アルティメット・エクス・キャリバス》

「リユーマン・ブレイド(合体) 疲労↓回復」

青 ブレイヴ

《ネオ・ケルベロード》

コスト5 軽減赤1紫1緑1白1黄1青1 <異合・皇獣>

<1> Lvl1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：青

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分のアルティメット1体を指定し、このスピリットをBP+(指定したアルティメットのBP) できる。

自分のアルティメットがいるとき、このスピリットは、ターンに1回、自分のデッキを上から7枚破棄することで回復する。

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴでブロック」

A t t a c k!!

リューマン・ブレイド+ネオ・ケルベロード

BP5000+5000+14000=24000↓Win!

V S

D e f e n s e!!

アルティメット・ギガ・ガルレイヴ

BP10000↓Lose...

「こちらのBPは24000!」

「敵わないわね…」

「アルティメット・ギガ・ガルレイヴ 破壊」

(董リザーブ9↓11)

「究極の獣槍王を討ち取った!!」

「これで悠姫は…!」

「リューマン・ブレイド、再び合体アタック!!」

「…これは、どうしようも無いわね…」

「リューマン・ブレイドはダブルシンボル!」

(董ライフ3↓1)

(リザーブ11↓13)

「ラスト、決めろ相棒! 赤ムゲンドラで、アタック!!」

「…ふふっ。潔く、ライフで受けます♪」

(董ライフ1↓0)



〔winner!!  
緋立  
悠姫〕

## 赤の初心者による無意識原作再現

「——か…、勝ったあッ?!?」

董さんとバトルに勝利した私は、無意識に勢いよく立ち上がった声を上げてしまった。いやマジで驚いている。

「あらあら、負けちゃったわね」

「やるじゃない。おめでどう」

「凄いじゃん悠姫!」

「お、おう…」

今の状況に気付いてちよつと恥ずかしくなりそそくさと座る。

「ね、姉さんどうしたの!?!」

「なんか雄叫びが聞こえたけど?」

私の叫びを聞いて祐依と霧乃さんが駆け付けてきた。い、いや特に何も無いんですが、ね…。

とにかく状況説明。楓華さんを紹介し、董さんとバトルして、勝つた。

「賞品が付くと強くなる悠姫の不思議」

「べ、別に欲張りじゃないし!」

「3枚か!ユキちゃんはXレア3枚欲しいのか!」

「いやしんぼね」

ち、違えし!いやしくねえし!

彩音、霧乃さん、董さんからかわれたのはちよつとアレだが、実際「何か貰える」となったときの勝率が…。き、気にしない事にする。

「それで董さん、姉さんに何をあげるつもりだったんですか?」

「あ、そうね。賞品賞品」

何やら董さんがテーブルの下に手を伸ばし「ごそごそし始めた。…いつ下にな?」

「はい。じゃんじゃじゃくん♪ 今明かされる、衝撃の賞品」

「凄まじく手刀を叩き込みたくなる出し方ね…」

「止めろアヤネル」

「き、霧乃さん、それは別人になってしまいましたから・・・」

何か言ってるのが軽く流し、董さんが取り出した両手のものに注目する。片方は2枚のカード、片方は…パック？

「はいどうぞ〜♪」

「ど、どうも…」

先に受け取ったパックには『Xレアパック・罪を裁く滅びの龍（非売品）』と書かれている。…見たことないパックなのは非売品だからかな？ カードの方はスリーブに厳重に入れられていて、裏面で渡された。

「…開けてみても？」

「どうぞ〜」

とりあえずパックを開けてみることに。周りも中身が気になるのか私の手元に視線が集まる。

「では。……おお、Xレ——」

「『ジャツジメント』!?」

「6色の…ふ、『不滅龍』？」

「…滅龍帝まで。董さん、大盤振る舞い過ぎませんか？」

「別に良いのよ〜。『上』にちよつと持ち掛けただけだから〜♪」

董さん本当に何者だよ…。

それにしても、こんだけXレアが入ってるなんて、かなり得したな。滅龍帝も…1枚オーバーしたが…手に入った。あとこの『断罪の滅龍』…つてのはいかにも強そうだ。

あとこの不滅龍…つてたしか、麗奈さんに助けてもらった後皆から貰ったんだっけか。

「またデツキが…つ作れそうね。しかもある意味特大級の」

「姉さん、どうする?」

「どうするって…」

「作りなよ〜♪ 『ラスボス』気分味わえちやうよろ♪」

ラスボス気分…つてなんぞや。…まあ、ここまで貰ったんだから作らない訳には行かなくなつたか。

…たしか、私のデッキに〈滅龍〉をどうにかするカードがあったよ  
うな。とりあえずそれを入れるとして残りは？

「おまちどおさまでした」

「おー、ユイちゃん早くいー！」

「凄まじい身体能力ね」

急遽行われた新デッキ作成。祐依は家に瞬速で戻り瞬速で帰って  
きた。手に持っているのは私のカードキャリアボックス（璃恵からの  
頂き物）。そこから必要なカードをピックアップし、作り上げること  
に。

デッキ作成とのことで、楓華さんの教授も兼ねて。

「まず基礎、頭になるのはこの『滅龍』たち」

「どれも大型だから、扱いは難しいけど、爆発力はピカイチよ  
♪」

彩音と董さんが並べた滅龍達。単純なパワーがケタ違いで、相手を  
押し潰すのが得意。私も真桜とのバトルで助けられたんだった。

「次に、それと活躍させるスピリットたち。姉さんのデッキに入っ  
た《リユーマン・バルカ》とかだね」

次に祐依が提示した数枚のカード。滅龍サポートらしい。

「んでんで、下地にこのネクサス！ 《破滅への序曲》！ 系統：〈滅龍  
〉を持つスピリットを召喚する際に、〈竜人〉と〈星竜〉にシンボル  
を追加しちゃうすぐれもの！ レベル2からは自分の場に〈竜人〉  
がいればドローステップで2枚ドロースキちゃうー！」

霧乃さんがまるで通信販売をするかの如く出してきたネクサス。  
なるほど、これはなかなか。

「〈竜人〉と〈星竜〉……。あ、これとか？」

「そうね。星竜の《シルバー・ヴルム》も相性は良いわね」

楓華さんが取り出したのは、お世話になったシルバー・ヴルム。で  
も【強化】が乗る滅龍がないけど…。

——しばらくして。

「完成ね」

「『でーきたー♪』」

「ふう…」

「とりあえず一段落だね姉さん」

「デツキ作るのって、楽しいんだね。皆とやったから余計かも」

「やっところさ完成（仮）まで到達。やっぱ皆であれこれ言いながら作るデツキは楽しいな。」

「まあ勝てるかどうかは別の問題よ悠姫」

「お、おう」

「ならば、試しにあたしとバトルしようぜ♪」

「お、霧乃さんからスパリングを持ち掛けられた。勿論受ける。：霧乃さんのデツキが気になるが、対戦すれば解ること。新たに組み上げたデツキでどこまでやれるか楽しみだ。」

緋立 悠姫

【みんなの竜です】

VS

桐島 霧乃

【??】

「誰だ変な名前付けたやつは」

「私よ」

「お前か彩音」

「教育テレビの『みんなのうた』みたいで良いでしょ？」  
「どういうことだ…。」

「あはははっ♪ まあ気にしない気にしない♪ ほらほら『ターゲッ

ト』ー！」

「え?。」

「ゲートオープン、界放！」

「か、界放」

「店長さん、祐依。あの掛け声何なの？　うちのもアレ言うんだけど」

「あ、あれは…よくある対戦開始の合図みたいなもねですかね」

「他のカードゲームならく『決<sup>デュ</sup>闘<sup>エル</sup>!!』とかく、『スタンドアップ・

THE・ヴァンガード!』とかく、『鎮魂!』とかあるわねく」

「へえ。……………え？　最後なんて？」

「先攻はあげるよ？」

「では遠慮無く先攻スタートステップ」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

(リザーブ4)

(手札4↓5)

…ふむふむ、まあ大体皆と想定した初手か。ならここは…。

「ネクサス《破滅への序曲》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「お！　早速来たねそれ！」

「そりゃ3枚入れてればまあ…。とにかく、バーストをセットして

ターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

〈霧乃・後攻第二ターン〉

「よっしゃ！　あたしのターン、スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「…むむむ」

「何がむむむなのかしら」

「そういえば、霧乃さんのデッキ内容は何なんだろう…」

「私も気になるな。それ」

霧乃さんの表情が若干困り顔。手札事故を起こしたんかな？ ならチャンスだが…。

「うくん、ネクサスの《獣の氷窟》をレベル2で配置かなここは」  
(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓4)

「獣の氷窟 コア1 レベル2」

白のネクサス…。霧乃さん、白も使うのか。

「いやあ、久々に白組んだから上手くいくかどうか」

「そうなんですか？」

「最後に<機獣>っぽいデッキを組んだだけだからなく。んで、バーストセットでターンエンドかな」

(手札4↓3)

(霧乃バースト：無し↓セット)

「お互いまずは様子見ですね」

「悠姫は中々低速だから序盤はまず動かないでしょうね。霧乃の方は、獣の氷窟だけでは何のデッキかは解らないわ」

「あの…ひょうくつ？ てのは色んなデッキに入るの？」

「ああ、あのネクサスは便利なんですよ。効果は——」

白 ネクサス

《獣の氷窟》  
けものひょうくつ

コスト4 軽減白2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

BP4000以下のスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

Lv2

相手のスピリット／マジックの効果で相手の手札が増えたとき、増えたカード1枚につき、自分はデッキから1枚ドロウできる。

「先攻後攻どちらで出してもデメリットが無い腹の立つネクサスよ。  
…まったくコモンのくせして、イラツとくるわ」

「あはは…。ですから、完全な速攻型でないのならどんなデッキにも  
入れやすいのが特徴なんですよ」

「へえ。なら私も入れてみようかな」

〈悠姫・第三ターン〉

「むう、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…よし、《ガーネットドラゴン》をレベル2で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ガーネットドラゴン コア2 レベル2 BP4000」

「うぬつ、厄介なのが出た」

「こいつは赤としても扱われて、レベル2から疲労ブロックと4色【重

装甲：赤／紫／白／青】を持つ」

赤にもなれて便利な壁だから入れない理由は無いとこのことで採用。

関係ないことだが彩音曰く「白は一番同族嫌悪が強い色。自分の  
作ったカードに苦しめ」とのこと。

「アタックする？ ライフ削れないけど」

「しません。ターンエンドです」

〈霧乃・第四ターン〉

「あたしのターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。ここは《機兵フルングニル》を召喚しちやおうかな



！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「機兵フルングニル コア1 レベル1 BP1000」

「それ入れてるんですか？」

「いやさ、何入れていいか解なくなっちゃって、《機人フィアラル》も良いかな〜って思ったんだけど、耐性あるしで良いかなってね」

白 スピリット

《機兵フルングニル》

コスト1 軽減白1 <武装>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3：フラッシュ 『相手のアタックステップ』  
このスピリットを疲労させることで、このターンの間、自分のスピリット／アルティメット1体をBP+(このスピリットのBP)する。

Lv2・Lv3

バトルしていない疲労状態のこのスピリットは、相手のスピリット／マジックの効果を受けない。

疲労状態だと効果を受けないのか…。でも落ち着いてよくみれば、ネクサスとアルティメットの抜け道と、疲労状態にするのにラグがある。そう難しい壁じゃない。

「次に、ユキちゃんがバル・ガンナーとか出されたら困るから早速やりますか！」

「っ！」

「振り翳すは無敵の一刀流！」

《ミブロック・ザ・ワン》！

レベル1で、推・参！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ミブロック・ザ・ワン コア1 レベル1 BP4000」

大袈裟なアクションで出そうとしているのはミブロック・ザ・ワンというスピリットらしい。霧乃さんはそのミブロック・ザ・ワンを左手に持ち肘を曲げ後ろに引き、右腕は前に伸ばしている。…まるで剣か何かを持つてるみたいだな。

「あれは、『牙突』の構え…!」

「あの、バトル中ですから、リアルダイレクトアタックは止めましょうね…」

「更に召喚時効果発揮! 手札にあるブレイヴカード1枚をノーコストで召喚できちゃう!」

「ブレイヴを呼び出す効果…!」

「呼び出すのは…」

暗闇照らす純白の光、蒼空貫く剣にて暗雲を切り裂け!

《天空の光剣クラウン・ソーラー》!!

ミブロック・ザ・ワンへ、直接合体!

(手札2↓1)

「コスト:5+5=10」

「BP:4000+7000=11000」

「合体時効果:追加」

「シンボル:白+白=白白」

「いきなり11000…!」

「高い…。ワンコを越えたよ」

「光の白き剣刃は唯一合体時BPが7000と高い。効果を抜きにしても、合体元のスピリットのレベルが上がれば更に分厚い壁になるわ」

「しかも、今合体している『壬生浪士、新撰組の三番隊長』はレベルが上がる【重装甲】を3色も得ます…。かなり厳しいスピリットです」

白 スピリット

《ミブロック・ザ・ワン》

コスト5 軽減白2 <雄将・機人>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP9000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【合体時】Lv2・Lv3【重装甲：赤／白／黄】

このスピリットは、相手の赤／白／黄のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

「アタックステップ：はしないでこのままターンエンド」

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

さてどうするか…。

決め手のあいつはまだ来ないし、あのBPじゃたとえ合体してもなかなか越えられるBPじゃない。

「メインステップ。…『リューマン・バルカ』をレベル2で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「リューマン・バルカ コア2 レベル2 BP6000」

あのバーストが気になる。『バル・ガンナーを警戒して…』って言うのに出したのは放置に近い機兵フルングニルと分厚い壁のミブロツク・ザ・ワン。

…考えられるとしたら『スピリットの破壊時バースト』か『ライフ減少時バースト』か。『召喚時バースト』もありそうだが、祐依からの助言には

『そうそう伏せるものじゃない。伏せるとしたら確信に近いものかブラフとしてか』

と聞いた。

「…アタックスステップ」

「っ！ 来るかい！」

「リユーマン・バルカで、コスト3以下の機兵フルングニルを指定アタック！」

「フルングニルで強制ブロックするよ！」

「何も無ければそのまま倒す！」

「仕方ないね！」

(リザーブ0↓1)

「悠姫が殴りかかったということは…」

「バーストを読んでのこと？」

「おそらく…」

私だっていつまでもやられっぱなしじゃない。ちゃんと読むことを覚えただからな。

「スピリットが破壊されたためバースト発動だよ！」

「やはりか…！」

(霧乃バースト：セット↓発動)

「見よ、これが志高き武士ものふの姿！」

閃け！ 魁の電光一刃、天然理心流！

《魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー》!!

レベル1で、見・参!!」

「白の大型スピリット!?!」

「バーストを暴いたつもりだろうけど、甘い甘いつてね！」

(霧乃バースト：発動↓召喚)

(リザーブ1↓0)

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー コア1 レベル1 B P 5  
000」

「しかもこのブレイヴァー、出し方がちよつと特殊でね」

「“龍の霸王”みたいなの？」

「それと同じくらいかなあ」

白 スピリット

《魁<sup>さきがけ</sup>の霸王ミブロック・ブレイヴァー》

コスト10 軽減白3 <覇皇・機人>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP9000

<5> Lv3 BP13000

シンボル：白

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このバースト発動時に白のスピリットが破壊されていたら、このスピリットカードを召喚する。

色を指定したバースト条件なのか。となると必然的にデッキが白に偏る形になるのか。手札に腐せたら元も子もないしな。

「…ここはターンエンド」

〈霧乃・第六ターン〉

「よっしゃ！スタートステップ♪」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。ザ・ワンのクラウン・ソーラーをブレイヴァーへ渡すよー」

ミブロック・ザ・ワン (合体)

← 分離

天空の光剣クラウン・ソーラー

← 換装

魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー (合体)

〔コスト：10+5≡15〕

〔BP：5000+7000≡12000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：白+白≡白白〕

「更にバーストセット！ そいでブレイヴアアをレベル3にアップ！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

(リザーブ4↓0)

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアア コア1↓5 レベル1↓3

BP5000↓13000+7000=20000」

「BP2万…。更に固くなったか」

「うくん、攻めるのは後にしてターンエンドしよう」

「二人ともなかなか動かないね」

「姉さんが動けないのは解るけど、霧乃さんが動かない理由は何なんだろう…」

「安易に仕掛けて滅龍帝の足場になられては困る、のかも知れないわね」

〈悠姫・第七ターン〉

「あの壁は…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ」

…むう、さすがに2万は厳しいな。あのネクサスをどうにかしなければ、霧乃さんも一緒になってドロアしてしまう。…でもここは賭ける！

「マジック、《ネオ・ダブルドロア》！」

「っ!？」

「デッキから2枚ドロア！」

「なら獣の氷窟レベル2の効果で、こっちも2枚ドロアさせてもらおうからね！」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラツシユ0↓2)

(手札3↓5)

(霧乃手札1↓3)

…よし！

「更に、《アルティメット・ドラグサウルス》を召喚！ 足りない分は、リューマン・バルカとガーネットドラゴンから1つ使う！」

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ1↓0)

「リューマン・バルカ コア2↓1 レベル2↓1」

「ガーネットドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

(トラツシユ2↓4)

「アルティメット・ドラグサウルス コア1 レベル3 B P 6 0 0」

「Uドラグサウルスの召喚時効果で、獣の氷窟を破壊！」

「っ、そうきたか…」

「獣の氷窟 破壊」

(霧乃リザーブ0↓1)

これでネクサスは破壊出来たけど、やっぱりあの壁を越えるのは難しいか…。コアも足りないものもある。お互いアタックしないってのもあるよなあ。

やっぱり、《ライフチャージ》入れれば良かったか？

「…ターンエンド」

「おっつと！アタックステップをスルーしちゃうんだね?!」

「っ!?!」

「ブレイヴアーの効果！ユキちゃんがアタックステップに一度もアタックしなかったら、ユキちゃんのライフ1つをリザーブに落とす！」

「何っ!?!」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

《ミブロック・ブレイヴアー》

L v 1・L v 2・L v 3 『相手のアタックステップ』

ステップ終了時、このターン相手が1回もアタックしていなかったら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

この効果によって相手のライフは0にはならない。

この効果はターンに1回しか使えない。

【合体時】 L v 2・L v 3 『相手のアタックステップ』

相手の手札が増えたとき、相手のバースト1つを破棄する。

「くっ……！」

「早くしないとじり貧になっちゃうよ〜♪」

落ち着け、焦るな……。まだライフは4つ。それに、相手がわざわざライフのコアを落としてくれたんだ。これを使わない手は無い。

〈霧乃・第八ターン〉

「そろそろ仕掛け時かな〜？ スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

「メインステップ。……ふっふ〜ん♪ ネクサス《フォートレスキューブ》を配置！」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

……見たこと無い白のネクサス。でも霧乃さんが使えるコアは少ない。もしかしてミブロック・ブレイヴァーのレベルを下げてまだ何か呼び出すのか？

「天駆けるは光放つ白き獣！煌めく星を纏い闇を貫け！」

神の名を頂く王の星が一つ！

《天王神獣スレイ・ウラノス》!!

レベル2で、光来いー!!」

「スレイ・ウラノス……！」

「白い、馬？」

「……召喚口上の株を奪われそうだわ」

「不足コストはブレイヴァーとザ・ワンからいただき！」



(手札3↓2)

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー(合体) コア5↓1 レベル3↓1 BP13000↓5000+7000=12000」

「ミブロック・ザ・ワン コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ2↓5)

「天王神獣スレイ・ウラノス コア2 レベル2 BP7000」

「アタックステップ!」

今度こそ攻めてくるか…!

「スレイ・ウラノスでアタックウ!」

そつちからアタックが来たか。ならここはライフで――

「スレイ・ウラノス、レベル2からのアタック時効果発揮!」

「っ!」

「ユキちゃんのリユーマン・バルカを手札に戻す!」

「バウンス効果か!」

「リユーマン・バルカ 手札へ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

「さあらいに! コスト4以下のスピリットをバウンスしたから、系統:<神星>を持つてるスレイ・ウラノスをターンに1回だけ回復う!」

なっ!? それじゃあコスト4以下は迂闊に出せないってことかよ…。となると魁の霸王もそうだが、あの馬をどうにかしないと足場を固めるのが難しくなる…!

白 スピリット

《天王神獣スレイ・ウラノス》

コスト6 軽減白3 <神星・機獣>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP9000

シンボル:白

Lv1・Lv2・Lv3【装甲:緑/白/黄】

このスピリットは、相手の緑／白／黄のスピリット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

相手のスピリット1体を手札に戻す。

この効果でコスト4以下のスピリットを手札に戻したとき、系統：<光導>/<神星>を持つ自分のスピリット1体を回復させる。

この効果はターンに1回しか使えない。

「天王星の名を持ち、北欧神話に登場する主神オーディンの愛馬“スレイプニール”と合わせたスピリットよ」

「へえ、カツコイイんだ。…でもあの手札に戻す効果って、何回でも使われちゃうんじゃない？」

「いいえ、あのバウンス効果と回復効果はまとめて1つなんです。回復したくない、バウンスしたくないに関わらず1回とカウントされるんですよ」

「よしよし♪ スレイ・ウラノスの回復に応じてフォートレスキューブの効果も発揮しちゃうからね！」

「ネクサスの効果も…」

「あたしの白のスピリットが回復したらボイドからコア1つをスピリットに追加♪ 乗せるのはブレイヴアー！ よってレベル2！」

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアー（合体） コア1↓2 レベル1↓2 BP5000↓9000+7000=15000」

「コアブーストするのか…！」

「へっへっ♪ 氷窟はオトリ…とは言わないけど、これも重要なネクサスなんだ♪」

白 ネクサス

《フォートレスキューブ》

コスト4 軽減白2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

自分の白のスピリットが回復したとき、ボイドからコア1個を自分のスピリットに置く。

Lv2 『相手のアタックステップ』

自分のライフが相手のスピリットのアタックで減ったとき、その相手のスピリット1体を手札に戻す。

「なら天王神獣とフォートレスキューブはなかなか良い相性ね」

「回復に制約があるとはいえ、バウンスしつつ回復できるのは強いですよね」

「…あ、コスト以下しか戻せないわけじゃないんだ」

「テキストが紛らわしいけど、バウンスに制限は無いわ。しかも強制効果だから、アタックする場合は注意が必要よ」

…しかも、魁の新撰組隊長は光の剣を持っている。後は解るわね？」

「アタックはどうする?」

「…ライフで受ける!」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少でバースト発動!」

〔悠姫バースト:セット↓発動〕

「《絶甲氷盾》! ボイドからコア1つをライフに置いて、追加のコストを払ってアタックステップを強制終了!」

(悠姫ライフ3↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ4↓7)

「むむむ…。しかたないターンエンドだよ」

〈悠姫・第九ターン〉

「さてあの馬をどうするか…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュ7↓0)

(リザーブ1↓8)

…お。お前が来たか。

「メインステップ。まずバーストをセット」

(手札6↓5)

「そして、《リ्यूマン・クロウ》召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓7)

「リ्यूマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

「それで、初めて買ったランダムパックに滅龍帝と一緒に入ってたやつ投入！」

《天星龍アポロドラゴン・スピカ》！

「アポロドラゴン・スピカ!？」

「姉さんいつの間に…」

「えっと、スピカって一等星のこと、だっけ？」

「ええ。乙女座の一等星、春の大三角形を構成する星の一つよ。…し

かし、また珍しいカードをこっそり入れたわね…」

「ユキちゃんそれいつ入れたの」

「始める前に目に付いて、つい。」

とにかく、レベル1で召喚しますよ」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュ0↓3)

「天星龍アポロドラゴン・スピカ コア1 レベル1 BP5000」

「更に《剣星竜スターダスト・キャリバーン》を天星龍に直接合体！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

「リ्यूマン・クロウ コア1↓0 消滅」

(トラッシュ3↓5)

剣星竜スターダスト・キャリバーン

← 直接合体

天星龍アポロドラゴン・スピカ(合体)

〔コスト：6＋5＝11〕

〔BP：5000＋4000＝9000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：赤＋赤＝赤赤〕

「こ、これはヤバいかな？」

「アタックステップ、天星龍で合体アタック！ 剣星竜の合体アタック時効果、霧乃さんの合体スピリットの合体時BPを0にする！」

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー（合体） BP16000―7000＝9000」

「更に天星龍、レベル1からの効果で先にスレイ・ウラノスに指定アタック！」

「スレイ・ウラノスの弱み、【装甲：赤】持っていないの痛すぎなんだよねえ…。ええい、スレイ・ウラノスで強制ブロック！ ミブロック・ブレイヴァーを狙わなかったこと後悔しないでよ！」

赤 スピリット

《天星龍アポロドラゴン・スピカ》

コスト6 軽減赤3 < 神星・星竜 >

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP6000

<5> Lv3 BP9000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

回復状態の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

【合体時】 Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

コア1個の相手のスピリット1体を破壊する。

赤 ブレイヴ

《剣星竜スターダスト・キャリバーン》

コスト5 軽減赤3 < 星竜 >

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 ＋4000

シンボル：赤

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手の合体スピリットすべての「合体時BP+」を0として扱う。

その後、BP4000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「あらく。あれもランダムパックのやつね〜」

「い、色んなの入ってるんですね…」

「私も買ってみようかな」

「買うのは悪くないと思うけど、ここだけにしておきなさい。他はどうか知らないけど、ここならほぼハズレは無いと見ていいわ。：お世話になってます」

「いいえ〜。いつもいっぱい買ってくれて恐縮です〜♪」

「何も無ければ破壊まで！」

「あー！回復が仇になったー！」

「天王神獣スレイ・ウラノス 破壊」

（霧乃リザーブ0↓2）

「よしっ！厄介なのを倒した！」

「しかーし！安心するのはまだ早〜い！」

「っ!？」

「スピリットの破壊に反応して、バースト発動！」

（霧乃バースト：セット↓発動）

また破壊時バースト…、今度は何が来る…！

「聖魔と交わせし命の契約！」

生命創るは愛故に！

さあ 《ドクトル・ファウスト》よ！

レベル2にて、戯曲を奏でよ!!」

こ、今度はコスト12のスピリットだと!？」

「ドクトル・ファウストの発動時に、あたしの白スピリットでコスト6以上のスレイ・ウラノスが破壊されたから、召喚条件達成！契約成立！」

（バースト：発動↓召喚）

(リザーブ2↓0)

「ドクトル・ファウスト コア2 レベル2 BP9000」

このドクトル・ファウストっての、たしか「バーストインパクト」に入ってたやつだったか。

バースト召喚時効果が厄介だつて真桜に聞いた記憶がある。

「いくよ！バースト召喚時効果発揮！」

あたしのデツキトップ5枚をオープン！」

●オープンされたカード

・《パーフェクトリペアー》(マジック)

・《爆氷の霸王ロード・ドラゴン・グレイザー》(スピリット)

・《ジェット・ガネット》(ブレイヴ)

・《黄金騎神フィン・マックラン》(スピリット)

・《双翼乱舞》(マジック)

「ただの【白重】じゃない！」

「あ、彩音さん落ち着いて…」

「ち、違うつて！【白強化(チャージ)&連鎖(ラッシュ)武装】なんだよ！こうなつちやうんだつて！」

彩音の白嫌いが発症するぐらい似てるのか…。しかしどれもこれもサイズがデカいのがほこじやか出てくる。

「何でもかんでもぽんぽん踏み倒すとか汚い白さすが白きたない！」

「まあまあ落ち着いて…」

「あれだけ大きいのはつかコスト払わずに出てくると、払ってるこつちが馬鹿みたいに思えてきちやう」

「とにかく！この中のフィン・マックランを選んでノーコストで召喚！レベルにはブレイヴアーからいたadaki！ 残りはデツキボトム

ヘシユウウーツ！」

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアー(合体) コア2↓1 レベル

2↓1」

「黄金騎神フィン・マックラン コア1 レベル1 BP6000」

黄白 スピリット

《ドクトル・ファウスト》

コスト12 軽減黄2白2 <覇皇・導魔>

<1> Lv1 BP7000

<2> Lv2 BP9000

<3> Lv3 BP11000

シンボル：黄白

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このバースト発動時にコスト5以上の白／黄のスピリットが破壊されていたら、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

バースト効果で召喚されたとき、自分のデッキを上から5枚オープンできる。

その中のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

召喚しない、または、残ったカードは好きな順番でデッキの下に戻す。

さて、次はどうするか。Uドラグサウルスで出てきたあの2体を破壊したいがコスト4だしそもそもレベルが足りない。

「ここはターンエンドしかないか…」

〈霧乃・第十ターン〉

「今がチャクンス♪ スタートステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メイנסテップ! 《ネガ・ケルベロス》を召喚!」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓2)

「ネガ・ケルベロス コア1 レベル1 BP4000」

「更にバーストセット! 残りのリザーブのコアとドクトル・ファウ



ストのコア1つをフィン・マックランへ移して…

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

(リザーブ3↓0)

「ドクトル・ファウスト コア2↓1 レベル2↓1」

「黄金騎神フィン・マックラン コア1↓5 レベル1↓3 B P

6000↓11000」

「アタックステップ！ フィン・マックランでアタック！」

あのライオンみたいのが来た。まだシンボルは1つ。クラウン・ソラーを付け替えなかったのには何か理由が――

「フィン・マックランのレベル2アタック時効果発揮い♪」

「っ！」

「フィン・マックランの白シンボルを2つにするよ！」

「なっ、ダブルシンボルになった!?!」

「しかも、レベル1から【重装甲・赤／紫／白】も持つてるから焼き効果は効かないよ♪」

《黄金騎神フィン・マックラン》

コスト7 軽減白3 <武装>

<1> Lv1 B P 6000

<3> Lv2 B P 8000

<5> Lv3 B P 11000

Lv1・Lv2・Lv3 【重装甲：赤／紫／白】

このスピリットは、相手の赤／紫／白のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのシンボルを白のシンボル2つにする。

Lv3 『お互いのアタックステップ』

???

「さあこのアタックはどうする?!」

「…ライフで受けます！」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ1↓3)

「ライフ減少でバースト発動! 《ブレイジングバースト》!」

「それだったか〜!」

「まずBP5000以下のネガ・ケルベロスを破壊!」

「活躍できずに散った〜!」

(霧乃リザーブ0↓1)

「更にコストを支払い、リユーマン・クロウを破壊して、これ以降のアタックでは私のライフは1しか削れない!」

(悠姫リザーブ3↓1)

(トラッシュユ5↓7)

「リユーマン・クロウ 破壊」

(リザーブ1↓2)

「でもこっちだってネガ・ケルベロスが破壊されてバースト発動!

《バーストタートル》!」

「そっちもバースト…!」

「バースト効果で、【重装甲】が無いガーネットドラゴンを手札へ戻してもらうよ!」

「くっ…」

(悠姫手札2↓3)

(リザーブ2↓3)

(霧乃リザーブ1↓0)

「バーストタートル コア1 レベル1 BP4000」

白 スピリット

《バーストタートル》

コスト5 軽減白2 <甲獣>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP7000

シンボル：白

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

相手のスピリット1体を手札に戻す。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

L v 1・L v 2

お互いのデツキは破棄されない。

自分のアルティメットがいる間、さらに、このスピリットは相手のスピリットの効果を受けない。

「安心するのは早いよユキちゃん？」

「何っ」

「フィン・マックラン、レベル3からの効果発揮！ユキちゃんのスピリットが手札に戻ったから、あたしのスピリット1体を回復！」

「なっ!？」

「回復するスピリットに制限は無いから、フィン・マックラン自身を回復させちやうからね！」

「黄金騎神フィン・マックラン 疲労↓回復」

《黄金騎神フィン・マックラン》

L v 3 『お互いのアタックステップ』

相手のスピリットが手札に戻ったとき、自分のスピリット1体を回復させる。

「そしてフォートレスキューブの効果も発揮してボイドからコアをブレイヴアーに追加♪」

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアー（合体） コア1↓2 レベル1↓2」

回復につけてコアブーストまで…、こりやコア差が出始めるか。しかしもうライフは0にならないから大丈夫か…？

「フィン・マックランでアタック！」

「えっ!？」

「どうする?..」

「ら、ライフで…」

（悠姫ライフ2↓1）

（リザーブ3↓4）

「次にドクトル・ファウストでアタック！」

「? ライフで…」

「次にミブロック・ブレイヴアーで剣刃合体アタック！」

「ライフ——」

「の前に！ クラウン・ソーラーの合体時効果発揮！ 合体してないあたしのスピリット回復させる！」

「回復する……ってことは?!」

「更にクラウン・ソーラーの【強化】1乗せで2体回復、よってフィン・マックランとドクトル・ファウストを回復♪」

「黄金騎神フィン・マックラン 疲労↓回復」

「ドクトル・ファウスト 疲労↓回復」

「それにそれにフォートレスキューブの効果発揮♪」

「2体回復したから2つか……」

「あ、ううん。増えるのは1つだけだよ。『○○したとき』って書かれてる効果は複数同時に起こっても、1回としかカウントされないだよ」

「あ、そうなのか……」

白 ブレイヴ（光）

《天空の光剣クラウン・ソーラー》

コスト5 軽減白2 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +7000

シンボル：白

Lv1月【強化】

自分の「スピリット回復効果」の体数を+1体する。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】【強化】

自分の「スピリット回復効果」の体数を+1体する。

【合体時】『このスピリットのバトル時』

合体していない自分のスピリット1体を回復させる。

「てな訳でコアをドクトル・ファウストに追加！」

「ドクトル・ファウスト コア1↓2 レベル1↓2」

「無駄なアタックは無いからね。ターンエンド♪」

「まずい、追い詰められた……。これは滅龍帝を召喚できるか怪しい

な。

〈悠姫・第十一ターン〉

「まだ負ける訳には…スタートステップ!」

(リザーブ4↓5)

(手札3↓4)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ5↓12)

「メインステップ」

まずいなあ…。天星龍の効果はコアが1つしか乗ってないスピリットに対して有効なスピリット。あのフォートレスキューブの効果で魁の霸王にもファウストにもコアが乗ってしまったから効果破壊が出来ない。アタックしてもいいが狙えるのがドクトル・ファウストとバーストタートルぐらい。

もしかしたら、あの手札1枚はバウンスマジックだったとしたらどうなるやら。

「マジック《ネオ・ダブルドロ》。デッキから2枚ドロするが、Uドラグサウルスがいるため3枚ドロ」

(手札4↓3)

(リザーブ12↓10)

(トラッシュユ0↓2)

(手札3↓6)

「…よし、これだ」

「何か引かれたっぽい?」

「こいつから行きます。」

《アルティメット・ジークヴルム》!

レベル4で召喚!」

(手札6↓5)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュユ2↓5)

「アルティメット・ジークヴルム コア2 レベル4 B P 1 3 0  
00」

「Uジークヴルムか！」

「次に《リユーマン・ティーガー》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ5↓7)

「リユーマン・ティーガー コア3 レベル2 BP3000」

「アタックステップ、リユーマン・ティーガーの効果で系統<竜人>と<星竜>のスピリット、アルティメットのBPをプラス3000するが、アルティメットがいるから代わりにBPをプラス5000！

更にUジークヴルムの効果で<星竜>に【真・激突】を与える！」

「天星龍アプロドラゴン・スピカ(合体) BP9000+5000

||14000|

「リユーマン・ティーガー BP3000+5000||8000|

「アルティメット・ジークヴルム BP13000+5000||8000|

「Uジークヴルムでアタック！ ティーガーレベル2の効果で、<竜人>を持つアルティメットがアタックしたから1枚ドロ！そしてUトリガー！」

(手札4↓5)

「——コスト4、ネクサス《フォートレスキューブ》！」

「ヒット！BPプラス10000！そして、【真・激突】！」

「アルティメット・ジークヴルム BP18000+10000

||28000|

「:フィン・マックランでブロック！」

ブロックしてきたのはフィン・マックランの方。…となると差し出したくないのはドクトル・ファウストの方なのか？

「仕方ないけど、そのまま破壊されるよ！」

(霧乃リザーブ0↓5)

「……………」

「次はどうするの？ 攻めてくる？」

「あの1枚を警戒して攻めあぐねたわね」

「手札に戻す効果って、いやらしいんだね…」

「そうね。『破壊しない、戻せる範囲がほぼ無制限』というほぼ隙が無いのがバウンス能力。…あの1枚が『ネオ・ドリームリボン』や『光速三段突』がだったら悠姫は詰むかも知れないわ」

「さあどうする?」

「:ターンエンド」

〈霧乃・第十二ターン〉

「ユキちゃん攻めが苛烈になったねえ」

「それでもしないと突破できそうになくて」

「そこが白のいやらしいところでもあり頼れるところだよね♪ スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札1↓2)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ6↓8)

「メインステップで、ドクトル・ファウストをレベル3にしてつと」

(リザーブ8↓7)

「ドクトル・ファウスト コア2↓3 レベル2↓3 BP900  
0↓11000」

「次にブレイヴ『神弓鳥ペリュトーン』をドクトル・ファウストに直接合体!」

(手札2↓1)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓2)

神弓鳥ペリュトーン

← 直接合体

ドクトル・ファウスト (合体)

「コスト:12+5≡17」

「BP:11000+4000≡15000」

「合体時効果:追加」

「シンボル:黄白+黄≡黄白黄」

「ファウストがトリプルシンボルになりましたね…」

「神弓鳥を合体させたことで光白剣の恩恵を受けられなくなったのは承知だろうけど、…もしかして手札にバウンスマジックが無いのかしら」

「ミブロック・ブレイヴアーとバーストタートルにコアを追加してアタックステップに行くしかないでしょ！」

(リザーブ5↓1)

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアー(合体) コア2↓5」

「バーストタートル コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓7000」

「ドクトル・ファウストで合体アタック！」

「オーバークイルもいいところでしように…！」

「念には念をつてね！ ペリュトーンの合体アタック時効果発揮！  
デッキトップを1枚オープン！」

●オープンされたカード

・《ブリッツオーダー》(マジック)

「やったラッキー♪ マジックだったからフラッシュ効果をノーコストで使わせてもらおうよ！」

「なっ!?!」

「スピカを手札に戻させて、ドクトル・ファウストを回復！」

…【強化】が乗るけど意味無いね。でもフォートレスキューブの効果でミブロック・ブレイヴアーにコア追加！」

(悠姫手札4↓5)

「剣星竜スターダスト・キャリバーン 残留 コア1 レベル1  
BP4000+5000≡9000」

「魁の霸王ミブロック・ブレイヴアー(合体) コア5↓6」

黄 ブレイヴ

《神弓鳥ペリュトーン》

コスト5 軽減黄2白2 <想獣>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000



シンボル：黄

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分のデッキを上から1枚オープンできる。

そのカードがマジックカードのとき、そのカードのフラッシュ効果を、コストを支払わずに即時に使用できる。

使用しない、または、他のカードのときは手札に加える。

「ふひひ〜♪ 怯えろ！つくねえ！滅龍帝を召喚できぬまま、負けてゆけえ！」

「まだ、負けた訳じゃない！ フラッシュでマジック《フェーズチェンジ》！ コストはリユーマン・ティーガー、Uドラグサウルス、ジークヴルムから受け取る！」

(悠姫手札5↓4)

「リユーマン・ティーガー コア3↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・ドラグサウルス コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ジークヴルム コア2↓1 レベル4↓3」

(トラッシュユ7↓11)

「このターン、コスト4以上のスピリットのアタックじゃ私のライフは0にならない！」

「ぐぬぬ…。ユキちゃんギリギリになると本当にガード固くなるよね…。ターンエンド」

危ねえ…。凌ぎはしたが逆転するには手が足りない。天星龍を召喚しても切り開くだけの力が無い。

…ここが勝負所だ。

〈悠姫・第十三ターン〉

「もうこれ以上は耐えられない、最後のターンになりそうだな…」

「あたしはこのまま、タイムアップでもいいんだが？」

「冗談。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ11↓0)

(リザーブ1↓12)

「メインステップ」

…これを使って引けなかった場合、足掻く以外方法が無くなる、か。  
……上等！いつもの事だ！

「最後の《ネオ・ダブルドロ》を使って3枚ドロ！」

(手札5↓4)

(リザーブ12↓10)

(トラッシュ0↓2)

(手札4↓7)

……悪運もここまでできたのなら、行けるか!?

「《ソウエン・ドラグーン》を召喚！」

(手札7↓6)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュ2↓4)

「ソウエン・ドラグーン コア1 レベル1 BP3000」

「更にもう1体《ソウエン・ドラグーン》！」

「げっ!?!2枚引くって何それ!?!」

(手札6↓5)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュ4↓6)

「ソウエン・ドラグーン (2) コア1 レベル1 BP3000」

「これは…!」

「悠姫は赤の光主に選ばれたごとく悪運に恵まれてるわね。…使って  
るカードはラスボスだけだ」

「主人公補正じゃなくて、ラスボス補正って感じ?」

「更に《リユーマン・バルカ》を再召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ6↓7)

「リユーマン・バルカ コア1 レベル1 BP4000」

「そして使えなかったネクサス破滅への序曲レベル1の効果とソウエン・ドラグーン2体の効果発揮！」

赤 ネクサス

### 《破滅への序曲》

コスト3 軽減赤2

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

自分が系統：<滅龍>を持つコスト7以上のスピリットカードを召喚するとき、系統：<竜人>/<星竜>を持つ自分のスピリットすべてに赤のシンボル1つを追加する。

Lv2 『自分のドローステップ』

系統：<竜人>を持つ自分のスピリットがいるとき、ドロの枚数を+1枚する。

「この『滅龍』を召喚するとき、<竜人>のリユーマン・バルカと、<星竜>のソウエン・ドラグーン2体と、スターダスト・キャリバーンに赤のシンボル1つを追加する！」

「リユーマン・バルカ シンボル赤+赤||赤赤」

「ソウエン・ドラグーン (1) シンボル赤+赤||赤赤」

「ソウエン・ドラグーン (2) シンボル赤+赤||赤赤」

「剣星竜スターダスト・キャリバーン シンボル赤+赤||赤赤」

「更にソウエン・ドラグーン2体を疲労させることで、『ごいつ』のコストを2下げる！2体疲労で4下げる！」

「悠姫手札の??? コスト10-4||6」

「これで、0コストで出せる！」

《断罪の滅龍ジャッジメント・ドラゴニス》！

レベル1で、召喚だ!!」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

「断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス コア2 レベル1 B P10000」

「裁きの刻、来たれり!!」

世界の終焉、咎人よ裁きを受けよ!!

断罪の滅龍 ジャツジメント・ドラゴニス!!

「来ませええい!!!」

「何で彩音が召喚したみたいに言ってるんだ。彩音も霧乃さんもテンション爆上がりだし…」

「まあ、ね…。それより、無理矢理呼び出したけど、さすが姉さんだね」  
「でも、ジャツジメントっていうの、BPが足りてないんじゃないや?」

「スターダスト・キャリバーンをジャツジメント・ドラゴニスに合体させてレベル2へ。」

アタックステップ。リューマン・バルカ、レベル1からの効果。系統:<滅龍>を持つジャツジメント・ドラゴニスのレベルを1つ上へ押し上げる。よってレベルは3にアップ!

剣星竜スターダスト・キャリバーン

← 合体

断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス (合体)

「剣星竜スターダスト・キャリバーン コアを譲渡」

「断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス (合体) コア2↓3 レベル1↓2 BP10000↓13000」

「コスト:10+5=15」

「BP:13000+4000=17000」

「合体時効果:追加」

「シンボル:赤+赤=赤赤」

「断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス (合体) レベル2↓3 BP13000↓16000+4000=20000」

「ジャツジメント・ドラゴニスの効果も発揮! 手札の天星龍アポロドラゴン・スピカを捨てて、このターン私のスピリット全員のBPプラス5000!」

更にティージャーの効果で<竜人>と<星竜>にBPプラス500

0!」

(天星龍アポロドラゴン・スピカを破棄 手札3↓2)

「断罪の滅龍ジャッジメント・ドラゴニス BP20000+50000=250000」

「リューマン・バルカ BP4000+5000+50000=140000」

「リューマン・ティージャー BP1000+5000+50000=110000」

「ソウエン・ドラグーン(1) BP3000+5000+50000=113000」

「ソウエン・ドラグーン(2) BP3000+5000+50000=113000」

「アルティメット・ジークヴルム BP10000+50000=150000」

「び、BP爆上げつすか…」

「前にもこんなことしたような…。とにかく、ジャッジメント・ドラゴニスでアタック! 更に【激突】!!」

スターダスト・キャリバーンの効果でミブロック・ブレイヴァーとファウストの合体時BPを0に!」

「:アタックした時点でレベル3の効果は発揮されちゃってるんだよねえ…」

「どれでブロックします?」

「バーストタートルしか無いよお…」

ATTACK!!

断罪の滅龍ジャッジメント・ドラゴニス

BP16000+4000+50000=250000↓Win!!  
vs

DEFENSE!!

バーストタートル

BP7000↓Lose…

「うっしやあ!まず亀撃破!」

(霧乃リザーブ1↓3)

「アタックステップを終了して、ジャッジメント・ドラゴニス、レベル3効果！」

もう一度、私のターンを始める!!」

赤 スピリット

《断罪の滅龍ジャッジメント・ドラゴニス》

コスト10 軽減赤6 <滅龍>

<1> Lv1 BP10000

<3> Lv2 BP13000

<4> Lv3 BP16000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

ステップ開始時、自分の手札にある赤のカード1枚を破棄すること  
で、このターンの間、自分のスピリットすべてをBP+5000する。

Lv2・Lv3 【激突】『このスピリットのアタック時』

相手は可能ならば必ずブロックする。

Lv3 『このスピリットのアタック時』

このターン終了後、『自分のターン』をもう1回行う。

この効果はゲーム中に1回しか使えない。

「再び悠姫のターンが廻<sup>めぐ</sup>って来る!!」

「インチキ効果もいい加減にしろ〜!」

〈悠姫・追加ターン〉

「スタートステップ!」

コアステップ!」

(リザーブ0↓1)

「ドローステップ!」

(手札2↓3)

「リフレッシュステップ!」

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ! …ソウエン・ドラグーン2体を疲労させる!」

「うええー!? そいつも来るのお!?!」

「コスト4つ下げ、最大軽減して0コストで

《滅龍帝ジエンド・ドラゴニス》召喚! レベル2!」

(手札3↓2)

(リザーブ8↓5)

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア3 レベル2 B P 1 2 0 0  
0」

「白き光よ、悠姫の暗闇を照らせるものなら、照らしてみろお!!

破滅を司りし、崇高なる龍!

来ませえええい!!」

「だから何で彩音が召喚したみたいなんだよ! てか何だそのポーズ  
は!」

「並んだ...!」

「なんか...悠姫の場、凄い迫力のある場になったね」

「リューマン・ティーガーをレベル2、Uジークヴルムをレベル5に  
!」

(リザーブ5↓0)

「リューマン・ティーガー コア1↓3 レベル1↓2 B P 1 0  
0 0 ↓ 3 0 0 0」

「アルティメット・ジークヴルム コア1↓4 レベル3↓5 B  
P 1 0 0 0 0 ↓ 1 7 0 0 0」

「アタックスステップ!リューマン・ティーガーの効果でBPアップ、  
リューマン・バルカの効果でジエンド・ドラゴニスとジャツジメント・  
ドラゴニスのレベルを1つ押し上げる!

更に手札の赤のムゲンドラを破棄してスピリットのBPをプラス  
5000だ!」

(手札 ムゲンドラ(赤)を破棄 2↓1)

「リューマン・ティーガー B P 3 0 0 0 + 5 0 0 0 + 5 0 0 0 ||  
1 3 0 0 0」

「リューマン・バルカ B P 4 0 0 0 + 5 0 0 0 + 5 0 0 0 || 1 4  
0 0 0」

「ソウエン・ドラグーン(1) BP3000+5000+5000  
||13000」

「ソウエン・ドラグーン(2) BP3000+5000+5000  
||13000」

「アルティメット・ジークヴルム BP17000+5000||2  
2000」

「断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス レベル2↓3 BP1  
3000↓16000+4000+5000||25000」

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス レベル2↓3 BP12000↓  
16000+5000||21000」

いやもう何か色々物凄いことに管理が大変過ぎる！

「Uジークヴルム、アタック！リユーマン・ティーガーレベル2の効果  
で1枚ドローして、Uトリガー！」

(手札1↓2)

「ひええ……あー！コスト5、マジック《バックアタック》！」

「ヒット！ BPプラス10000の【真・激突】！」

「もう、ドクトル・ファウストでブロック！」

「何も無ければ破壊だ！」

「ペリュトーンは残すよ！」

「神弓鳥ペリュトーン 残留 コア3 レベル1 BP4000」

「ジャツジメント・ドラゴニス、アタック！【激突】！そしてBP40  
00のペリュトーンを破壊！」

「くぬっ……ミブロック・ブレイヴァーでブロック！」

「神弓鳥ペリュトーン 破壊」

(霧乃リザーブ3↓6)

ATTACK!!

断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス+剣星竜スターダスト・  
キャリバーン

BP16000+4000+5000||25000↓win!!

vs

DEFENSE!!



魁の霸王ミブロック・ブレイヴァー＋天空の光剣クラウン・ソーラー

BP13000＋7000→7000＝13000↓Lose…

「ぬっがあー!? クラウン・ソーラーは残すー!」

「天空の光剣クラウン・ソーラー 残留 コア6 レベル1 BP  
5000」

「ジエンド・ドラゴニスでアタック!」

「こ、これブロックしたところで…」

「フラッシュタイミング! ジエンド・ドラゴニス、レベル3からの効果発揮!」

ソウエン・ドラグーン(1)を破壊して、回復!そして破壊された私のスピリットのコアは全てジエンド・ドラゴニスに移る!」

「ソウエン・ドラグーン(1) 破壊 1コアは滅龍帝へ」

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア3→4 疲労↓回復」

「この滅龍帝はあと2回復を残している!」

「うぬぬぬ…!ライフで受ける!」

(霧乃ライフ5→3)

(リザーブ6→8)

「滅龍帝二度目のアタック! アタック時フラッシュ効果でソウエン・ドラグーン(2)を破壊、回復!」

「ソウエン・ドラグーン(2) 破壊 1コアは滅龍帝へ」

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア4→5 レベル2→3 BP

12000→16000 疲労↓回復」

「ライフで受ける!」

(霧乃ライフ3→1)

(リザーブ8→10)

「滅龍帝三度目のアタック! リューマン・バルカを破壊して、三度目の回復!」

「リューマン・バルカ 破壊 1コアは滅龍帝へ」

「滅龍帝ジエンド・ドラゴニス コア5→6」

「ライフしかない!! マジック引けなかったとかそりゃ無いわあー

!!!

(霧乃ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 振り翳す白銀の星

「か、勝った…！」

「負けたあ…」

勝てた…！ このデッキの爆発力も相当だな。元の赤デッキより強いんじゃないかこれ。

「負けた霧乃からは魂をもらおう」

「物騒すぎんだろ」

彩音が何か念力みたいな動きをすると霧乃さんが首を絞められて苦しいみたいだなジエスチャーを始めた。

「祐依、あれは何やってるんだ？」

「あ、えと。アニメのバトルスピリッツソードアイズ激闘伝の、45話であった。『白夜王ヤイバ対ガルドス』のバトル最後のシーン、だね…」

「また解りづらいネタを…」

一通り茶番を終えた彩音と霧乃さんが一転真面目に私に向き直り「この【滅龍】デッキは発展途上。これから出るカードによって更に強くなれる」

と、大真面目な顔して言うもんだからどう返していいか解らず「お、おう…」としか生返事するしかなかった。何でこうオンオフの切替が極端なのか。カードゲームをやる人ってみんなああなのか…？

それはさておいて、この滅龍ともう片方、2枚のカードの話題になった。

「董さん、あの2枚も見ていいですか？」

「ダメ♪」

「はい…どうえ？」

思いもよらない董さんからの返答に素っ頓狂な声が出てしまった。これが間藤さんから「お姉様女子力低いですね〜」って煽られる原因なんだが今更どうこうしたい訳じゃない。

「ど、どうしてですか？」

「その2枚は、悠姫ちゃんだけが見て、自分のデッキと相談して  
“自力で”使ってみてね」

「は、はあ…」

どうやら中は私だけが見ていいものらしく、璃恵にもちろん、祐依、霧乃さん、楓華さん、真桜、麗奈さんなど他の誰にも見せたり相談したりしてはならないとのこと。

「私達の眼に触れてはならない、究極使いの悠姫だけが使えるカードね。…私達もいつか使えるよになるのかしら」

「いつか、ね〜♪」

——その日の夜。自宅の自室。

一人で見ると言われたカードを取り出し、確認することに。

今更だが、嚴重に仕舞われていたようなカードを、私なんかがい  
いのだろうか？

申し訳ないと思いつつ、丁寧に中身を取り出す。

「……ん？」

“【スピリットソウル：∞（むげん）】”、  
だつて……？」

光るこの2枚に共通する【スピリットソウル：∞】って、何だこの効果…。イラストもってか名前も“ムゲンドラゴン”と“スタードラリアン”の上位って感じだし……

「これは——」

——すると、ドアをノックする音につい驚いてしまう。いや効果に驚いてたのもあるが、気を取られてたんだよ。

「は、はい?!」

「お姉ちゃん、祐依だけど…大丈夫?」

なんだ祐依か。…おっと、部屋に入れる前にこれを仕舞わないと。

「…よし。どうぞ」

「お邪魔します。…あ、カード見てたならまた後で…」

「いやいや大丈夫。入っていいよ」

私が董さんから貰ったカードを見てたので気を遣い出直そうとする祐依を留め部屋に招き入れる。さすが気遣いのできる妹は違いなあ。

「隣いい?」

「どうぞ」

ということでもベッドに座らせる。

祐依が持ってきた話題は今日のバトルの事。皆で組み上げた滅龍デツキもそうだ。

「お姉ちゃん流石の運命力だったね。霧乃さんもりベンジするって言ってたし」

「運命力って…」

「ふふっ。彩音さんも言ってたけど、まだまだ強くなる余地があるから、最後まで使っていこう?」

「勿論」

そして話題は董さんが使った、”トリガーカウンター”と《殻刃将レギオス》に事になった。

アルティメットキラードと言われたあのスピリットと、こっちのウトリガーを防いでくる《地星鎧フォックスター》。なかなか強力で、アタックすることがメリットだったアルティメットに影を落としている。これに関して祐依もかなり警戒しているみたいだ。

「トリガーカウンター…。緑である効果だとしたら、赤や紫、青な効果が気になるね」

「たしか…ヒットしたのをガードにするんだったよな」

「うん。…黄色にとっても痛すぎる効果だよ。他の色もだけど、黄色は特にトリガーをヒットさせなきゃアドバンテージが取れないから…」

「逆に”あえて外す”ってことも考えなきゃならんか」

あえて外す…か。自分で言っておきながら無茶なこと言ってるなって思う。現状アルティメットのコストに干渉できるのは……恐竜空母?だったっけ? たしかそれぐらいしかなかった、ハズ。

「董さんの《殻刃将レギオス》と《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》も見

せてもらったけど、あの蟹座の効果が＜光導＞と＜星魂＞以外のスピリットに持たれるとなると、ちよつと頭痛くなっちゃう…」

祐依が軽くこめかみを指で押さえる。祐依をそんな困らせる効果…なんだよな。祐依は困り、と彩音と霧乃さんが「また蜂蟹の悪夢が…」と呻く程だ。

——しばらく二人で、相手がそのカウンターの対策について話している、部屋の窓を小さい叩く音が。

「……」

「無視していいと思うよ」

「そうも、いけない気がする」

誰かは解りきっているんだが、無視したらしたで面倒な事になるため渋々窓に行き、カーテンをそつと開ける。

「……………」

開けるとそこには満面の笑みの璃恵がいた。

……そつとカーテンを閉じる。

「なにもいなかった」

ガタガタと窓を叩いたり開けようとする音がする。…近所迷惑になるから仕方なく開ける。

「ちョツと!?! 無視しないでヨク!」

「前々から窓から来るなと言つとるだろうに」

「だあツてー! 早く悠姫に会いたかったんだもーん!」

解つた、解つたから抱き着こうとすんな馬鹿!

とにかくこのままにして騒がれても迷惑なのでとつとと玄関から入らせる。

「おツ邪魔しまゝす♪」

「最初からそうしろ。…で、どうしたんだ?」

「だから悠姫に会いに」

「どうでもいいですから要件は何でしょう」

「ゆ、祐依ちゃん怖い…」

祐依の目が笑ってない。まあ、度々前から祐依は璃恵に焼いてたから今更致し方ない。

「とにかく！悠姫に会いにきたのはホント！…それ・とー」

持参したバッグから取り出したデツキケース。…まあ、つまりは対戦しにきたってことか。

「おい、デュエルしろヨ」

「会話をしましょうよ。言葉のキャッチボールってやつを」

「おい、デュエルしろヨ」

「デュエルデュエルと…。他のTCGのネタを姑息に使ってバトスピカードバトラーとして恥ずかしくないんですか？」

また変な罵りあいが始まった…。二人とも遊びだし冗談だったのは最近解ったことだが、目がマジなのは何でだ。

「悠姫イ〜、バトルしよ〜よ〜！」

「…まあ、それは構わないが…」

実はあれからアレを混ぜるために軽く解体する予定だったから、受けていいものかどうか…。

「…？」

「えっと…」

「…んんっ。璃恵さん、僭越ながら、私が代わりにバトルしましょう」「ふエ？」

どうするか悩んでいたら、祐依が代理を名乗り出てくれた。

「お姉ちゃんは今デツキ調整中です」

「あら。なら祐依ちゃんて我慢しよツカナ？」

「…足元揃っちゃいますよ？」

「ウププ…♪ できるモノならドウゾ♪」

ああ…、二人ともデツキ突き出しあってもう。夜なのにテンション高いな。

「ウププ〜♪ このデツキの切れ味で祐依ちゃんを戦維喪失させてあげよう♪ ゲートオープン！」

「界放！」

緋立 祐依

【アサルト天使】

V S

白鐘 璃恵

【??】

「さて…。璃恵さんとのバトルも久しぶりですね」

「そだね。ワタシが『ブレイヴ軸天霊』を叩き潰して以来だっけ…

?♪」

「むっ」

「…アップ♪リベンジする?」

「そのニヤケ面、イラツときます!」

〈璃恵・先攻第一ターン〉

「先攻いただいて白銀のターン!」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

璃恵の先攻。…あいつ入れたらしい新カードが気になるが、祐依なら何とかなるだろう。…多分。

「メインステップ。…初動は遅いと見込んで、ネクサス《迷子水晶》を配置♪」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「迷子水晶 コア0 レベル1」

「…また厄介なネクサスを」

「アップ♪ こいつを壊すTimingを間違えちゃダメだよ♪」

祐依が璃恵の初手に配置したネクサスを見て表情が少し険しくなった。…そんないやらしいネクサスなのか?

「バーストセットでターンエンド♪」

(手札4↓3)



〔璃恵バースト：無し↓セット〕

〈祐依・後攻第二ターン〉

「後攻、始めます。スタートステップ」

〔リザーブ4↓5〕

〔手札4↓5〕

「メインステップ。……ん」

祐依が悩んでる。あのネクサス1枚でそこまで悩むのか。

「…《光楯の守護者イーディス》を召喚します」

〔手札5↓4〕

〔リザーブ5↓1〕

〔トラッシュ0↓3〕

「光楯の守護者イーディス コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「次に《天使ウイズエル》を召喚です」

〔手札4↓3〕

〔リザーブ1↓0〕

「天使ウイズエル コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「バーストをセットして、ターンエンドです」

〔手札3↓2〕

〔祐依バースト：無し↓セット〕

「おんやア？ アタックしないの？」

「コアを渡すのは癪ですから」

何故こうも二人は…。

「喧嘩すんなよ？」

「大丈夫だよお姉ちゃん。…璃恵さんが売らなければ」

「買う気があるのか…」

「ワタシも大丈夫だよ♪ …祐依ちゃんを買わなければ♪」

「お前ら…」

〈璃恵・第三ターン〉

「白銀の第三ターン♪ スタートステップ♪」

〔リザーブ0↓1〕

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。《イグア・バギー》を召かーん♪」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「イグア・バギー コア1 レベル1 BP1000」

「次にお馴染み《ダンデラビット》を召喚♪ コアブしちゃうよ♪」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ダンデラビット コア1 レベル1 BP1000」

(リザーブ0↓1)

「イグア・バギー コア1↓2 レベル1↓2 BP1000↓3

000」

「このままターンエンド♪」

着々とコアを貯めるな…。このまま行くと面倒なことになりそう  
だ。

〈祐依・第四ターン〉

「では…スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。《光の天使ダリエル》をレベル2で召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「光の天使ダリエル コア2 レベル2 BP4000」

「ほほう、ダリエルねエ。…てことはサ、祐依ちゃんは《ウイングア  
ロー》か 《天聖弓セイクリッド・ボウ》、どちらかを握っているとみた」

「……………」

「もしくは『大天使』を呼び出す為の前準備…とか?♪」

…祐依が無表情になる。

私は二人の間にいるから手札は見えないが、まさかあいつ第三の目みたいなものでも付いてるのか?　まるで手札が見えてるみたいなの言い方をする。

「…ターンエンドです」

〈璃恵・第五ターン〉

「白銀の第五ターン、スタートステップ♪」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「…ウププ♪　早速投入しちやいますかね♪」

「っ!」

「王の名を頂く神の星が1つ!」

黄金の星より受け継ぐは命生み出す神秘なる極光!

《天王神龍スレイ・カエルス》!!

レベル2、招・来!!」

…派手な召喚口上言うのは構わないんだが一室だということと夜だということを忘れるなよ?

しかし、スレイ・カエルス…。霧乃さんが使った『スレイ・ウラノス』と名前が似てるが、何か繋がりがあるのか?

『《氷雪の勇者皇ウル》ならまだしも、また扱い難いカードを…』

「今の環境だから輝いてきた。そう思わないかナ?」

「…まあ、そうですけど。よりによってそれですか」

「ウププ♪　【転召】の対象はダンデラビット、足りないレベル分にはイグア・バギーから借りるヨ♪」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓4)

「ダンデラビット 転召 コア1↓ボイドへ 消滅」

「イグア・バギー コア2↓1 レベル2↓1」

「天王神龍スレイ・カエルス コア2 レベル2 BP7000」

「さすがにこれ以上は何もできないからターンエンド♪」

白黄 スピリット

《天王神龍スレイ・カエルス》

コスト6 軽減白2黄2 <神星・戯狩>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：白黄

【転召：星魂／ボイド】

召喚コスト支払い後、系統：<星魂>を持つ自分のスピリット1体  
の上のコアすべてをボイドに置かなければならない。

???

白と黄色のダブルシンボル…。《ドクトル・ファウスト》に似てる  
が、この【転召】の<星魂>持ちスピリットのコアをボイドに置  
くつてのはキツイな…。

〈祐依・第六ターン〉

「：スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。：《天聖弓セイクリッド・ボウ》をダリエルに直接  
合体させます！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュユ0↓1)

天聖弓セイクリッド・ボウ

← 直接合体

光の天使ダリエル（合体）

「コスト：4+4=8」

「BP：4000+3000=7000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄+黄=黄黄」

「……」

「マジック使う？ スピリット1体と引き換えだけど♪」

「むう…」

「？ 何で引き換えなんだ？」

「フッフーン♪ それはこの天王神龍の効果だよ♪」

《天王神龍スレイ・カエルズ》

Lv1・Lv2・Lv3

相手がマジックの効果を使用したとき、相手のスピリット1体を手札に戻す。

げえっ!? またえげつない効果を…!

「マジックのコストの軽い黄色には調度良い条件だと思いますがア?♪」

「手軽どころかほぼ無条件でデッキボトムに落とすような白に言われたくないですう。」

…このままアタックステップ。ダリエルで合体アタック!

祐依が仕掛けたか。マジックに軽い?制限が掛けられた条件でどうするんだろう。

「天聖弓の合体アタック時効果、イグア・バギーを対象にBPマイナス2000。更にダリエル、イーデイス、ウイズエルの【スリー・チャージ3強化】で合計5000ダウン」

「ダウンさせすぎイ!イグア・バギー溶けちゃう!」

「イグア・バギー BP1000-5000=0」

「イグア・バギーのBPがターン中初めて0になったため、1枚ドロ―します」

(祐依手札2↓3)

「そしてダリエルのレベル2からの効果。同じくBPを0にしたた

め、ボイドからコア1つを私のライフに置きます」

(祐依ライフ5↓6)

黄 スピリット(光)

《光の天使ダリエル》

コスト4 軽減黄2 <天霊>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP5000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3【強化】

自分の「BP―効果」を―1000する。

Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

相手のスピリットがターンで初めてBP0になったとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

「アタックはどうします?」

「ライフで受けたげヨウ♪」

「ダリエルはダブルシンボルです!」

(璃恵ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「ライフ減少で、バーストオ!

《妖華吸血爪》!」

「っ…」

「バースト効果で2枚ドロ♪ 追加コストは払わないヨ♪」

(璃恵バースト：セット↓発動)

(璃恵手札2↓4)

「ターンエンド」

祐依のライフが増えて6点、璃恵は合体スピリットのアタックを受けて残り3点。倍の差ができたが璃恵は余裕を崩さない。…あの余裕はどこから来るんだ。

〈璃恵・第七ターン〉

「白銀の第七ターン、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ。手札が欲しいなら増やしてあげよツか？」

ブレイヴ《獣爆マナティ・マローダ》をスレイ・カエルスに直接合体！

(手札5↓4)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓2)

獣爆マナティ・マローダ

← 直接合体

天王神龍スレイ・カエルス(合体)

「コスト：6+4=10」

「BP：7000+4000=11000」

「合体時効果：発揮」

「シンボル：白黄+白=白黄白」

「っ！」

「召喚効果ア♪ ダリエルを手札にバウンス♪合体してるブレイヴごと手札に帰ってもらおうヨ♪」

「

「光の天使ダリエル(合体) ブレイヴごと手札へ」

(祐依リザーブ2↓4)

(手札3↓5)

「？ ブレイヴは手札に戻されても残せるんじゃない？」

「それはあのマナティ・マローダの効果だよお姉ちゃん」

白 ブレイヴ

《獣爆マナティ・マローダ》

コスト4 軽減白2 <機獣>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：白

Lv1『このブレイヴの召喚時』

相手のスピリット1体を手札に戻す。

この効果で合体スピリットが手札に戻るとき、ブレイヴはフィールドに残せない。

【合体条件：コスト4以上】

「残せないとかどうなってんだ」

「白はブレイヴも一緒にバウンスできなきゃ気に食わないみたいだよ」

「それはブレイヴ殺しの赤と紫に言ッてヨー。再利用できるだけマシじゃ〜ん」

…それにはまあ、何も言えないな。

「それはそれとしてスレイ・カエルス of 合体時効果発揮イ」

祐依ちゃんのスピリットが手札に戻ったから、ボイドからコア1つをライフに置くヨ」

(璃恵ライフ3↓4)

「ライフが回復した…！」

「あれが天王神龍の一番厄介な効果だよ。マジックを使えばバウンスされて、ライフまで回復される…。早いうちに何とかしなきゃならぬいの」

マジか…。合体しなきゃならないけどずいぶん条件の軽いライフ回復だな…。

「まだまだ！」

究極の鎧を身に纏いし新たなる白鉄の皇！

《アルティメット・イグドラシル》！

レベル3で、起動!!」

「鉄機皇…！」

「フ〜ン♪ やっぱイグドラシルはかくッコイイよネ〜♪」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ2↓5)



「アルティメット・イグドラシル コア1 レベル3 B P 1 0 0  
0 0」

「バーストをセットしてアタックステップ！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「Uイグドラシル、アタックウ！」

璃恵が動いた。祐依がかなり不利な状況だが…。

「アルティメットトリガー、ロックオン！ バ」

「コスト4、ブレイヴ《ウイングアロー》。ヒットですね」

「ちヨ、無視しないでヨク。…まアヒット！ イーデイスを手札にバ  
ウンスー！」

(祐依手札5↓6)

(リザーブ4↓5)

「アップ♪ スレイ・カエルスの効果発揮イ♪ またライフを回復さ  
せてもらうヨん♪」

(璃恵ライフ4↓5)

なっ、また回復して元に戻ったぞ!?

「1ターンに1回じゃないのか?」

「そんなことドコにも書いてませ〜ん♪ しかも戻す、戻る手段は問  
わないから、祐依ちゃんが自分で戻しても回復しちゃうんだ〜♪」

白 アルティメット

《アルティメット・イグドラシル》

コスト6 軽減白3 <新生・戦騎>

<1> L v 3 B P 1 0 0 0 0

<3> L v 4 B P 1 5 0 0 0

<5> L v 5 B P 2 0 0 0 0

シンボル：金

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

【Uトリガー】 L v 3・L v 4・L v 5 『このアルティメットのアタッ  
ク時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のスピリット1体を手札に戻

す。

Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

相手のスピリットが1体もない間、このアルティメットはブロックされない。

《天王神龍スレイ・カエルス》

【合体時】 Lv2・Lv3

相手のスピリットが手札に戻ったとき、戻ったスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

冗談じゃないぞ…。どれだけアドバンテージ取れば気が済むんだ。

「むう…」

「アタックはどうする?」

「そのまま受けましょう」

(祐依ライフ6↓5)

(リザーブ5↓6)

「では、ライフ減少バーストを発動します。《絶甲氷盾》。

ボイドからコア1つをライフに置き、追加コストを支払いアタックステップを強制終了させます」

(祐依バースト：セット↓発動)

(ライフ5↓6)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ1↓5)

「ふむふむ。ターンエンド♪」

〈祐依・第八ターン〉

「さすがにこれはキツイ…。スタートステップ」

(手札6↓7)

(リザーブ2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ3↓8)

「メインステップ。…こうなってしまったら後はじり貧ですね…」  
「降参する?」

「まさか。ウイズエルの『スピリットソウル』発揮!

魔を斬り伏す天使が一人、

《アルティメット・エクスシア》！

レベル3で、降臨！」

(手札7↓6)

(リザーブ8↓3)

(トラッシュ0↓4)

「アルティメット・バーチュ コア1 レベル3 BP8000」

「マジック《パワーダウン》を使用。スレイ・カエルのBPをウイズエルの【1強化】乗せて4000ダウン。1枚ドローします」

(手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ4↓7)

「天王神龍スレイ・カエルス(合体) BP11000→4000  
7000」

(手札5↓6)

「ほっほう。ドロロー目当てかな？ スレイ・カエルの効果発揮でウイズエルをバウンス、更にライフ回復ツツ」

(祐依手札6↓7)

(リザーブ0↓1)

(璃恵ライフ5↓6)

「天王神龍スレイ・カエルス(合体) BP7000→11000」

ライフが逆転した…。場もほぼがら空きな状況、祐依大丈夫か？

「バーストをセットして、Uエクスシアをレベル4にしてアタックステップに入ります」

(手札7↓6)

(祐依バースト：無し↓セット)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・エクスシア コア1↓2 レベル3↓4」

「Uエクスシア、目標を駆逐します！ アルティメットトリガー、ロツクオン！」

「ほいツと——コスト5、ネクサス《水銀海に浮かぶ工場島》だよ」

「ヒット！ スレイ・カエルのBPを——」

「よおくヒットさせたねエ！」

「褒美に新しいカードを見せたげよう！」

【トリガーカウンター】!!」

「っ！」

「お前もかよっ!？」

「…お前もツて、もう知ツてんの?」

ドヤ顔と共に出されたカード。璃恵が来る前にどう対処するか話し合つてた件のカードだ。…やつぱりというか、白のカウンター顔もあつたんだな。

「私が今日董さんにお見舞いされたんだよ。緑のな」

「え、なくんだ。セツかく退屈な用事を耐え抜いて手に入れたカードなのに。悠姫と祐依ちゃんの驚く顔が見たかつたのに」

たしかに、董さんに使われてなければ大慌てだったな。ある意味助かつた…。

「まあいいや。とにかくカウンターブレイヴ《剣星鎧ソードフィッシュ》をカウンター召喚！」

不足コストにはスレイ・カエルスから、レベル分にはイグア・バギーから貰うヨー！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「天王神龍スレイ・カエルス(合体) コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュ5↓7)

「イグア・バギー コア1↓0 レベル1↓0 消滅」

「剣星鎧ソードフィッシュ コア1 レベル1 BP3000」

「ソードフィッシュのカウンター効果！」

このターン中、ワタシのスピリットは祐依ちゃんのアルティメットの効果を受けないヨー！」

「なっ…!？」

白 ブレイヴ

《剣星鎧ソードフィッシュ》

コスト4 軽減白2紫1 <空魚・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +4000

シンボル：白

【トリガーカウンター】

手札にあるこのブレイヴカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に召喚できる。

召喚後次の効果を発揮する。

■このターンの間、自分のスピリットすべては、相手のアルティメットの効果を受けない。

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットのバトル時』

このスピリットをBP+3000する。

「てことは…」

「祐依ちゃんのUエクシアのGNプリキュアソードでは、このGNソードフィッシュのバリアは斬れぬ！」

「アンチGNコーティングですか…！」

「おいバトスピしろよ」

黄 アルティメット

《アルティメット・エクシア》

コスト6 軽減黄2 <新生・天霊>

<1> Lv3 BP9000

<2> Lv4 BP11000

<4> Lv5 BP16000

シンボル：金

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このバトルの間、相手のスピリット1体をBP-10000する。

その相手のスピリットがBP0になったとき、そのスピリットを破

壊する。

Lv5【光芒】『このアルティメットのアタック時』

バトル終了時、自分がこのバトルで使用したマジックカードすべては手札に戻る。

「賭けは失敗みたいですネ」

「残念デシター♪ アタックはライフで受けるヨ♪」

(璃恵ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

「：ターンエンドです」

〈璃恵・第九ターン〉

「これは決まったかな♪ スタートステップ♪」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メインステップ。：きて。

運命を司る三女神！

《運命女神ヴェルザンデイ》！

レベル2で召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュユ0↓2)

「運命女神ヴェルザンデイ コア2 レベル2 BP5000」

「剣星鎧ソードフィッシュをヴェルザンデイに合体！ ソードフィッシュのコアはそのままヴェルザンデイに乗せてレベル3にLevel Up♪」

剣星鎧ソードフィッシュ

← 合体

運命女神ヴェルザンデイ (合体)

「剣星鎧ソードフィッシュ コア1↓譲渡」

「運命女神ヴェルザンデイ コア2↓3 レベル2↓3 BP50

00↓6000]

「コスト：5+4⇓9」

「BP：6000+4000⇓10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白⇓白白」

「スレイ・カエルスからマナティ・マローダを分離。マナティ・マローダには悪いんだけど、そのままトラッシュに落ちてもらってと」

天王神龍スレイ・カエルス（合体）

← 分離

「獣爆マナティ・マローダ 分離 消滅」

「天王神龍スレイ・カエルス コア1」

「そしてブレイヴをもう1枚：♪ トリガーカウンターを知ってるならコレも知ってるよネ♪」

あの最後の手札か…。

「星へと導くは流麗なる水湖！無限を描く力を鎧へと新たに創造し、命の光を護れ！」

『裏黄道十二宮、神水の魂が一つ』！

《宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス》！

天王神龍スレイ・カエルスに直接合体!!」

「黄道十二宮…！ 蟹座に続いて水瓶座のブレイヴですか！」

「アップ♪ 勝ちを頂いたヨ祐依ちゃん♪」

（手札1↓0）

（リザーブ5↓2）

（トラッシュ2↓5）

宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

← 直接合体

天王神龍スレイ・カエルス（合体）

「コスト：6+5⇓11」

「BP：5000+7000⇓12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白⇓白白」

「合体時BPがクラウン・ソーラーと同じ値…」

「余ったコアでスレイ・カエルスをレベル2にして、アタックステップ！」

(リザーブ2↓1)

「天王神龍スレイ・カエルス (合体) コア1↓2 レベル1↓2

BP5000↓7000+7000=14000」

「スレイ・カエルス、合体アタック！さアこのアタックはどうする？」

「…ライフで受けます」

「スレイ・カエルスはトリプルシンボル！」

(祐依ライフ6↓3)

(リザーブ0↓3)

「バースト、発動します！《アルティメットウォール》！アタックス  
テップを強制終了させます！」

(祐依バースト：セット↓発動)

「ツとと、ターンエンド。この状況で祐依ちゃん逆転できるかな？」

「やってみなきや解りませんよ」

「ならブレイヴアクエリアスの効果発揮イ！」

「っ！」

「ワタシのエンドステップに、ヴェルザンデイに合体してる『召喚時』  
効果を持たないソードフィッシュを手札に戻す！」

「運命女神ヴェルザンデイ 分離」

「剣星鎧ソードフィッシュ 手札に」

(璃恵手札0↓1)

「そして、戻したことによってボイドからコア1つをスレイ・カエルス  
に置くヨ！」

「天王神龍スレイ・カエルス (合体) コア2↓3」

「トリガーカウンターがまた手札に…！」

「常識の消滅と観念の再構築。これが裏水瓶座の力だよ♪」

白 ブレイヴ

《宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス》

コスト5 軽減白2 <武装・光導>



<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +7000

シンボル：白

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】【超装甲：赤／白】

このスピリットは、相手の赤／白のスピリット／アルティメット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

【合体時】『自分のエンドステップ』

自分の合体スピリットの『このブレイヴの召喚時』効果を持たないブレイヴ1つを手札に戻すことで、ボイドからコア1個を自分のスピリットに置く。

【超装甲】まで備えてるとか、守り固すぎでどうしようもないな…。アルティメットウォールで何とか凌いだけど、これを返せるのか？

「スピリットはUイグドラシルでほぼ封殺、アルティメットは手札に戻った剣星鎧でそちらのスピリットは無敵と。…どうしようも無いですね」

「投了するなら許してやるヨ？♪」

「冗談。ライフが0になるまでやりますよ」

〈祐依・第十ターン〉

「最後のスタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札6↓7)

「……リフレッシュステップ」

「祐依ちゃんのリフレッシュステップ時、ヴェルザンデイのレベル3からの効果発揮イ！ ワタシもリフレッシュステップを行うヨ！」

(祐依トラッシュユ7↓0)

(リザーブ4↓11)

(璃恵トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「運命女神ヴェルザンデイ 疲労↓回復」

白 スピリット

《運命姫神ヴェルザンディ》

コスト5 軽減白2金2 <武装>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP5000

<3> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 【超装甲：赤／紫】

このスピリットは、相手の赤／紫のスピリット／アルティメット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

系統：<武装>を持つ自分のスピリットカード／アルティメットカードが、相手のUトリガーでトラッシュに置かれたとき、そのカードのコストを+1する。

Lv3 『相手のリフレッシュステップ』

自分もリフレッシュステップを行う。

「リフレッシュステップに干渉するなんてできるのか白は…」

「トラッシュのコアをリザーブに戻すのは昔から白がやってたけど、

これはその最大かな」

「赤も皇マ・グーで同じような事やってんじゃん」

「皇マ・グーを引き合いに出されたら何も言えませぬ…」

なんだそのやり取りは…。

「メインステップ。…来るのが遅すぎですね。ネクサス《エイレインの雲上要塞》を配置します」

(手札7↓6)

(リザーブ11↓8)

(トラッシュ0↓3)

「天使ウイズエルと守護者イーデイスを再召喚」

(手札6↓4)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュ3↓4)

「天使ウイズエル コア1 レベル1」

「光楯の守護者イーデイス コア1 レベル1」

「更に《冒険天使チャール》を召喚します」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ4↓6)

「冒険天使チャール コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果で、手札にある黄のブレイヴ3枚までを手元にオープンして、オープンした枚数分ドロウします。」

オープンするのは《天聖弓セイクリッド・ボウ》と持て余していた《光翼の神剣エンジェリッククフェザー》です」

(手札3↓1)

●オープンしたカード

・《天聖弓セイクリッド・ボウ》

・《光翼の神剣エンジェリッククフェザー》

「そして2枚ドロウします」

(手札1↓3)

「:♪」

「まあ召喚時バーストですよね…」

「解つて踏んだのか祐依」

「踏まざるを得なかったと言うか…」

「その通りです♪ 召喚時効果に反応してバースト！ 《双翼乱舞》！」

{璃恵バースト：セット↓発動}

「バースト効果で2枚。追加コストを支払って更に2枚ドロウ」

(璃恵リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓4)

(手札1↓5)

「Uエクシアをレベル5に、バーストをセットし、アタックステツ  
プ」

(リザーブ2↓0)

(手札3↓2)

〔バースト：無し↓セット〕

〔アルティメット・エクスシア コア2↓4 レベル4↓5 BP  
11000↓16000〕

〔Uエクスシア、アタック！ トリガー、ロックオン！〕

〔剣星鎧が手札にあるのが解ッてて仕掛けてくるんだネ！ コスト  
4、マジック《ドリームネビュラ》！〕

〔ヒット！ …カウンターは〕

〔ウププ…♪使わないヨ♪〕

〔っ!? …スレイ・カエルのBPを10000ダウンさせます！〕

〔天王神龍スレイ・カエルス（合体） BP14000→10000  
||4000〕

〔…♪〕

〔そちらのフラッシュが無いのなら、こちらのフラッシュで《エンジェ  
ルストライク》を使用します！ 不足コストはUエクスシア自身から  
使用します！〕

〔手札2↓1〕

〔アルティメット・エクスシア コア4↓2 レベル4↓3〕

〔トラッシュユ6↓8〕

〔【2強化】！ スレイ・カエルのBPを70000ダウンさせます！〕

〔天王神龍スレイ・カエルス（合体） BP4000→7000||0〕

〔これにより、スレイ・カエルのBPが0になったため破壊します  
！〕

〔Uエクスシアの特殊格闘ビューティブリザードを受けてスレイ・カ  
エルスは破壊されるけど、効果はまだ生きてるからネ！ イーデイス  
をバウンスしてライフ回復！〕

〔雲上要塞の効果で私もライフを回復させます！〕

〔天王神龍スレイ・カエルス（合体） 破壊〕

〔光楯の守護者イーデイス 手札へ〕

〔璃恵ライフ5↓6〕

〔祐依手札1↓2〕

〔リザーブ0↓1〕

(ライフ4↓5)

エンジェルストライクなのにビューティもブリザードも特殊格闘もどっから来たんだ…。

「二人ともライフがまったく減らないな…」

「フッフォン♪ ワタシの天王神龍が破壊されたことで、手札の“一角獣”が目覚めるヨ！」

「っ！」

「可能性の獣、真白の心に応えよ！」

《一角獣機ユニコーン》！

レベル1で、覚醒!!」

「“ネガ・ナインテイル”と似た条件で飛び出してきた…」

「ワタシの声に応えろ、ユニコーン！ なーんてネ♪」

(璃恵手札5↓4)

(リザーブ2↓1)

「一角獣機ユニコーン コア1 レベル1 BP4000」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 残留 コア3 レベル1 BP5000」

「まさかこのスピリット、フル・サイコフレイムだったりします?」

「そうなら良かった…。ユニコーンの名前を使うならワタシ的にMかXレアにしてほしかったなー」

会話について行けなくて私蚊帳の外なんだが…。

「Uエクスシアのアタックはライフで受けよう！」

(祐依ライフ6↓5)

(リザーブ1↓2)

「ここまでですか…。ターンエンド」

〈璃恵・第十一ターン〉

「さアさア、白銀のファイナルターン！」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「メインステップ。アクエリアスをユニコーンに合体！コアもユニコーンに渡すよ！」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 合体 コア3↓2つ譲渡 1つはリザーブへ」

← 合体

「二角獣機ユニコーン(合体) コア1↓3 レベル1↓2 BP4000↓8000」

「コスト：5+5≡10」

「BP：6000+4000≡10000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白≡白白」

(リザーブ7↓8)

「更に：マジック《ネクサスコラプス》！」

「っ！ このタイミングで!？」

「ワタシの迷子水晶と祐依ちゃんの雲上要塞をブツ壊す！」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュ0↓3)

「迷子水晶 破壊」

「エイレインの雲上要塞 破壊」

…自分からネクサスを破壊した？

「封じこめられし水晶より、戦の父たる『星の将』を呼ぶ！

《白騎将シグフェズル》！

レベル3で、開眼！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

「白騎将シグフェズル コア4 レベル3 BP8000」

白 ネクサス

《迷子水晶》  
まいごすいししょう

コスト4 軽減白2

<O> L v 1

<2> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2『このネクサスの破壊時』

自分の手札にある白のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

Lv2

系統：<機獣>を持つ自分のスピリットすべてに

〃【重装甲：赤】このスピリットは、相手の赤のスピリット／ブレイヴ／ネクサス／マジックの効果を受けない〃を与える。

「<星将>…。じゃあ、次に来るのは…」

「そう！ 2つ目の〃星座〃を喚ぶんだヨ！」

2つ目!?! 水瓶座だけじゃなくてまだ持つてんのか!?

「妖しく煌めく幽明の魚鱗！命攫う星の力を鎧へと宿し、光を星へ還せ！」

〃裏黄道十二級、双魚の魂が一つ〃！

《双魚星鎧ブレイヴピスケス》！

白騎将シグフェズルに直接合体!!」

まさか、あの殻刃将と同じく呼べるカードもある…。ますます璃恵が手に負えなくなつたな。

双魚星鎧ブレイヴピスケス

← 直接合体

白騎将シグフェズル（合体）

「コスト：6+7=13」

「BP：8000+4000=12000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「ブレイヴピスケス…。〃《双魚賊神ピスケガレオン》〃のブレイヴですか…」

「イエーッス♪ 先にブレイヴピスケスの召喚時効果を発揮させるからネ！」

祐依ちゃんのスピリットと、アルティメット全部の“コア1つずつをリザーブに置いてもらおうよ!”

(璃恵手札3↓2)

「っ!? そんな…!?」

「アルティメット・エクスシア コア2↓1 レベル4↓3」

「天使ウイズエル コア1↓0 消滅」

「冒険天使チャール コア1↓0 消滅」

(祐依リザーブ1↓4)

「は〜い壊滅〜♪」

「祐依の場が、更地に…」

「……………」

白 スピリット

《白騎将シグフェズル》

コスト6 軽減白3 <星将・武装>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP8000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<光導> / <星魂>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統：<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、相手は、相手のスピリット1体をデッキの下に戻す。

【合体時】 Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

ターンに1回、このスピリットが相手の効果の対象になるとき、自分の手札1枚を破棄することで、その効果を受けない。

「アタックステップ。シグフェズルで合体アタック！」

「…っ、ライフで、受けます！」

(祐依ライフ4↓3)

(リザーブ4↓5)

「ユニコーン、合体アタック！ ユニコーンのレベル2からの合体時



効果発揮！ ターンに1回回復！」

「…黒天狐と黒皇機獣を合わせた効果なんですね…」

白 スピリット

《一角獣機ユニコーン》

コスト5 軽減白2 <武装・星魂>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP8000

シンボル：白

手札にあるこのスピリットカードは、コスト5以上の自分の白のスピリットが相手によって破壊されたとき、コストを支払わずに召喚できる。

【合体時】Lv2 『このスピリットのバトル時』

ターンに1回、このスピリットは回復する。

「…ライフで受けます」

「フルアーマーユニコーンはダブルシンボル！」

(祐依ライフ3↓1)

(リザーブ5↓7)

「ユニコーン、行け！潰せ！」

「…完敗です。ライフで受けましょう」

(祐依ライフ1↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕

「…オーバーパワーにも程があるでしょう」

「まあ…、向こうにも強い人がいたからサ。…負けてられないツてネ」

# 前哨戦・進化する0（ゼロ）と蒼雷

青凧 麗奈

【星空の霹靂】

VS

緋立 悠姫

【??】

「……………」

〈麗奈・先攻第一ターン〉

「蒼穹の第一ターン。……上の空だね悠姫君」

「…えっ？」

「彼女のことを考えるもいいけど、今は私だけを見てほしいなあ」

「な、何言ってるんですか…」

「あははっ。まあ、上の空じゃあ私の青に勝つのは難しいぞ。」

メインステツプ。ネクサス《雷海域》を配置するよ」

（麗奈手札5↓4）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ0↓3）

「……」

「…ふむ。バーストセットでターンエンドだ」

（手札4↓3）

——数日経ち、現在カードショップ縁にて麗奈さんとバトル中…  
なのだが、私は麗奈さんの言っているように上の空だ。…何故かとい  
うと、このあとに「璃恵とのバトルを控えている」からだ。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステツプ…」

（リザーブ4↓5）

（手札4↓5）

どうして璃恵とバトルすることになったか。それは遡って前に璃

恵が家に来た夜の話に戻る。

「ヒヤッハー！完全勝利S〜♪」

「悔しいです」

はしやぐ璃恵にちよつとむくれて拳で床を叩いている。まあ、祐依が悔しがるのも解る。

「いや〜♪ 思ッたより楽勝だったかな〜♪」

「くう…。セイクリッド・ボウより先にウイングアローが来てれば…」  
「確かにテンポは五分になつてたかもネ。でも、スピリット相手なら、負ける気はしないヨ♪」

あのバトルの後、二人はバトル内容を話し合っている。あの戦況をひっくり返すには、何が引ければ良かったかなど…。：

…正直なところ、二人が高度な会話をしていると自分がどれだけ未熟か思い知らされる感じがした。そりゃあ璃恵にも祐依にもまともに太刀打ちできない私が口を出したところで、二人にとつちや解りきつてることだろう。

「Uグランは…」

「モチ入ッてるけどピンだよ。理由はこのデッキの目的とヒット効果が噛み合ッて無いからネ」

「クリティカルする確率の方が高いのでは？」

「なら確実にスピリットを手札に戻せるUイグドラシルの方がワタシ個人としては良いかな〜。ヒットしたけど戻せませんでしたーッてことは防ぎたいし」

…私は勝てるんだろうか。

今のバトルを見て、あの2枚から勝てる未来が見えない。

どうすればいい、どうしたらあいつに対抗できる。

(…スピリットなら、か…)

なら勝てる道筋となると、やっぱり「アルティメット」しか無いのか。

「ねエ、悠姫ならワタシのデッキにどう勝つ？」

「……」

「悠姫イ〜」

「……む?」

「…♪ 勝てる? 勝つ気、ある?」

「こいつ…ニヤニヤしやがって、誘ってやがる。つまりは挑発だ。」

「勝つ。…いつか必ず」

「ウププ♪いつになるかな〜♪」

「…お姉ちゃん」

「ならサ悠姫、バトルの約束しようヨ」

そんで取り付けたのが、《アルティメットバトル03の発売から一週間後》という約束。

そして今日がその約束の日。現在人が集まる前、お店の開店前に董さんに頼んで一足早く入れさせてもらった訳で。

「メインステップ。…《スターリー・リユーマン》を召喚します」

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「スターリー・リユーマン コア1 レベル1 BP3000」

「おっ、早速新しいのを入れたんだね。彩音君対策かな?」

「でもまあ、守れるのが<星竜>だけなのがアレですけどね…。バーストをセットして、ターンエンドです」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

それで、何故麗奈さんがお店にいて、バトルをしているのかというと…《女の勘》ってやつで来てくれたらしい。「話は祐依君から聞いた。緊張を解すのに「勝負と思ってね」とのこと。さすがイケメンの女性は格が違った。」

赤 スピリット

《スターリー・リユーマン》

コスト3 軽減赤1金1 <竜人・星竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2

お互いの効果で、系統「星竜」を持つ自分のスピリットすべてのコ  
アは0個にならない。

Lv1・Lv2 『このスピリットのブロック時』

BP6000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「何があっても、私は悠姫君を応援するよ」

「ありがとうございます」

「でもそれはそれ。これはこれだよ?」

「そりやそうですね」

〈麗奈・第三ターン〉

「蒼穹の第三ターン。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。《生還者バディ》をレベル1で雇おうか」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓2)

「生還者バディ コア1 レベル1 BP2000」

「むむ…」

「さて。基盤が来たけど、どう止める? 次に《三つ首竜の海賊旗》を  
レベル2で配置」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ2↓3)

「三つ首竜の海賊旗 コア1 レベル2」

「アタックステップ。雷海域の効果により【招雷】を持つバディのBPがプラス2000。そしてバディでアタック」

「生還者バディ BP2000+2000=4000」

【招雷】持ちの基盤になる効果破壊耐性持ちの生還者。スターリー！リューマンで守っても、海賊旗の効果でドローされた上に【招雷】まで発揮される。素直に受けるしかない……訳はない。

「そのスピリットのアタックで、バーストです！」

「ほう……」

「《トライアングルバースト》！手札からコスト4以下のスピリット、アルティメットを召喚時効果を発揮させずに召喚します！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

あの【招雷】の展開速度を上回るのは普通のデッキではまず無理。なら、こちらは白に習ってアタックしづらい場にしてやればいいと思う。

「出すのは《ムゲンドラゴン》、レベル1！」

（手札3↓2）

（リザーブ1↓0）

「ムゲンドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

「場を整える気か……。メインのアタックは？」

「そのままライフで受けます」

（悠姫ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「バディの【招雷】発揮。……ふむ。バディを破壊し、手札にある同じ系統でコスト5、もしくはコスト6のスピリットを喚ぶよ」

「生還者バディ 破壊」

青 スピリット

《<sup>サブバイバー</sup>生還者バディ》

コスト3 軽減青2 <護将・闘神>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP5000

シンボル：青

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、相手の効果で破壊されない。

Lv1・Lv2・Lv3 【招雷：コスト5／6】『このスピリットのバトル時』

バトル終了時、このスピリットを破壊することで、自分の手札にあるこのスピリットと同じ系統を持つコスト5／6のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚する。

「先導するのは空の海を往く星将！」

《星海の海賊・パールセース》！

レベル1で、"ゴーリングガンダー"！

(手札2↓1)

「生還者バディ コア1↓クリフオードへ」

「星海の海賊・パールセース コア1 レベル1 BP5000」

「これ以上のアタックは避けよう。恐ろしい竜が睨みを利かせてるからね。ターンエンドだ」

〈悠姫・第四ターン〉

「まず一息…。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。…よし、行くか。まずムゲンドラゴンをレベル2へ。これで、緑に加えて赤としても扱われます」

(リザーブ5↓4)

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓5

000」

「そして、《紅炎竜ヒノコ》を召喚！レベル4！

レベル分にはムゲンドラゴンから1つ受け取ります」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「出たねお手軽アルティメット」

「しかもそれなりに強いという。：案外私的には待ち望んだアルティメットって感じですよ」

「ふふっ、たしかに究極使いの君には素晴らしいカードだね」

この「次代」のアルティメット”。03で登場した、アルティメットの召喚条件縛りを解くとんでもないアルティメットだ。

02にいた「次代」スピリット達がアルティメット化した姿だとか。

「バーストをセットして、アタックステップ」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「紅炎竜ヒノコ、アタック！トリガー！」

「……コスト4、『副船長チエスター』」

「ヒット！ 2枚ドローしますー！」

(手札1↓3)

赤 アルティメット

《紅炎竜ヒノコ》

コスト5 軽減赤3 <次代・星竜>

<1> Lv3 BP9000

<2> Lv4 BP12000

<5> Lv5 BP15000

シンボル：金

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5

コスト7以下の自分のアルティメットカードの召喚条件を無視する。

自分の究極シンボルすべてを赤のシンボルとしても扱う。



【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』  
Uトリガーがヒットしたとき、自分はデッキから2枚ドローする。

「このアタックは？」

「無論ライフで受けよう」

(麗奈ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少のバースト、《ディクタートルレギオン》を発動させてもらおう」

(麗奈バースト：セット↓発動)

「バースト効果で私のネクサス1つにボイドからコア2つを置く。対象は雷海域」

〔雷海域 コア0↓2 レベル1↓2〕

「コアバースト：」

「それだけじゃないよ。追加コストを支払ってフラッシュ効果発揮。コストはリザーブと雷海域から1つずつ頂こう」

(リザーブ1↓0)

〔雷海域 コア2↓1〕

(トラッシュ3↓5)

「さて：悠姫君のバーストを覗かせてもらおうかな」  
「っ!？」

(悠姫バースト：《リユーマン・ゴッドブレイカー》(スピリット)  
「おやスピリットカードか。なら破棄していただくよ!」

「見た上に破棄だつて：!？」

青 マジック

《ディクタートルレギオン》

コスト5 軽減青3

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア2個を自分のネクサス1つに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

相手のバースト1つをオープンする。そのカードがスピリットカードのとき破棄する。

それ以外のときは元に戻す。この効果は、メインステップで使えない。

「なんてこった…」

〔悠姫バースト：セット↓破棄〕

「バーストを破棄するのは青のものだったんだけどねえ…。いつの間にか白は無条件破棄するようになってしまっただけだ」

「ああ、《バーストブレイク》とか…」

「《双銃機神デイルム・ダイナ》もそうだね。…青がやることといったら、コストを指定して当てたら封じたりデツキ破壊したりと。お株を奪うのは勘弁してもらいたいところだよ」

色んなところから颯唼食らってんのな…。

それよりゴッドブレイカーを破棄されたのは痛い。デカいのが降りて来る前に出させたかったがそうは行かなかったと。

「アタックステップを終了して、ターンエンド」

〈麗奈・第五ターン〉

「よしよし、蒼穹の第五ターン。スタートステップ」

〔リザーブ0↓1〕

〔手札1↓2〕

〔トラッシュユ5↓0〕

〔リザーブ1↓6〕

「メインステップ。ここはマジック《ストロングドロ―》を使用するよ」

〔手札2↓1〕

〔リザーブ6↓5〕

〔トラッシュユ0↓1〕

「3枚ドロ―したのち、2枚破棄する」

〔手札1↓4〕

「ふむ…。《巨神ジュニアス》と《巨人銃士クリフォード》を破棄」  
〔手札4↓2〕

「次にペルセースをレベル2へアップ」

(リザーブ5↓3)

「星海の海賊ペルセース コア1↓3 レベル1↓2 BP500  
0↓7000」

「そして、これの出番だ」

「っ！」

「星を渡る雷鳴の船！

《船星鎧ブレイヴアルゴ》！

ペルセースへ直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ1↓3)

「トリガーカウンター」持ちのブレイヴを出した…？」

「すぐに解るよ」

船星鎧ブレイヴアルゴ

←

星海の海賊ペルセース (合体)

「コスト：5+4=10」

「BP：7000+4000=11000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

何だ…、青のやつは初めて見たな。

「バーストセット」

(手札1↓0)

(バースト：無し↓セット)

手札を使い切った…。相変わらず消費がずば抜けてるな。

「さあアタックステップと行こう。まずは雷海域の効果でペルセース  
のBPが2000加算される」

「星海の海賊ペルセース (合体) BP11000+2000=13  
000」

「ペルセース、合体アタック」

来たか。あのBPじゃスターリー・リユーマンが出たところで勝ち目が無い。：【招雷】持ちがあそこまでBPが高いと止めようが無くなるのはどうにかできないものか。

「ペルセース、レベル2からの合体アタック時効果発揮」

「む…」

「私のトラッシュにある系統：＜闘神＞を持つスピリットカード1枚を回収」

「回収効果…。【招雷】と相性バツチりですね」

「ペルセース自身も【招雷】持ちだからね。回収するのは《巨神ジュニアス》！」

（手札0↓1）

「更にボイドからコア2つをペルセースに追加だ！」

「星海の海賊ペルセース（合体） コア3↓5」

コアブーストまで…。その上招雷まであるということは、デメリットを自分で補っているのか。

青 スピリット

《星海の海賊ペルセース》

コスト5 軽減青3 <星将・星魂・闘神>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

シンボル：青

Lv1・Lv2 【招雷：コスト6／8】『このスピリットのバトル時』

バトル終了時、このスピリットを破壊することで、自分の手札にあるこのスピリットと同じ系統を持つコスト6／8のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚する。

【合体時】Lv2 『このスピリットの合体アタック時』

ターンに1回、自分のトラッシュにある系統：＜闘神＞を持つスピリットカード1枚を手札に戻し、ボイドからコア2個をこのスピリットに置く。

「アタックは？」

「…ライフで受けます」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ではペルセースの【招雷】発揮……だが」

「…？」

「ブレイヴアルゴアの合体アタック時効果を発揮だ！」

カウンターを捨ててまで出したブレイヴに何の効果があるんだ…？

「【招雷】をペルセースを破壊せずに発揮させる…！」

「破壊しない!？」

「ブレイヴアルゴアは雷を運ぶ船！」

先程回収した手札のコスト8闘神、《巨神ジュニアス》をレベル3でコーリングサンダー！」

(手札1↓0)

「星海の海賊ペルセース(合体) コア5↓1 レベル2↓1」

「巨神ジュニアス コア4 レベル3 BP12000」

「ふふふつ。更にジュニアスの召喚時効果！悠姫君のコスト4以下のスピリット1体を破壊する…が、【招雷】によって呼び出されたため、スピリット1体を破壊とする！」

「っ!？」

青 ブレイヴ

《船星鎧ブレイヴアルゴア》

コスト4 軽減青2 <造兵・星魂>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +4000

シンボル：なし

【トリガーカウンター】

手札にあるこのブレイヴカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に召喚できる。

召喚後次の効果を発揮する。

■バトルしているコスト6／7の相手のアルティメット1体を破壊する。

【合体条件：【招雷】を持つ】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

バトル終了時、このスピリットを破壊せずに【招雷】を發揮できる。  
青 スピリット

《巨神ジュニアス》

コスト8 軽減青4 <闘神>

<1> Lv1 BP8000

<2> Lv2 BP9000

<4> Lv3 BP12000

シンボル：青

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【招雷】でこのスピリットが召喚されたとき、かわりに、相手のスピリット1体を破壊する。

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

系統：<闘神>を持つ自分のスピリットすべてをBP+5000する。

「破壊に制限がなくなった。よってスターリー・リヌーマンには退いてもらおう！」

「しまった…」

「スターリー・リヌーマン 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「ターンエンドだ」

<悠姫・第六ターン>

「まだ…。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。：《クローフオックス》を召喚」  
(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ0↓2)

「クローフオックス コア1 レベル1 BP3000」

「…緑のスピリット?」

「召喚時効果、系統:<新生>を持つムゲンドラゴンにボイドからコア1つを追加します」

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2」

緑 スピリット

《クローフオックス》

コスト3 軽減緑1 <剣獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個を系統:<新生>/<刃虫>を持つ自分のスピリット/アルティメットに置く。

Lv2 『このスピリットのアタック時』

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

「…まだ解らないがコアが欲しいみたいだね」

「かなりめっちゃくちゃなデッキですからね」

自分でも解ってる。このデッキはハッキリ言って紙束に近い。

色を揃えるとか、それぞれの特徴とかそんなの無視に近い。

でもこれが、今あいつに敵うと思うデッキなんだ。

「成る程。ならその召喚時効果に対しバーストを発動させてもらうよ！」

「やっぱりか…!」

「バーストマジック、《キングスコマンド》！」

（麗奈バースト：セット↓発動）

っ!?! 知らないカード!?あれは03のカードじゃない…!!

「おー。麗奈さん、早速使ってますんですね」

「うおわっ!?! 真桜、いつの間…」

「おお、真桜君。有り難く使わせてもらってるよ」

「ま、またシヨップの陰謀か…」

「悠姫お姉さんが強くなるには逆境！ってお姉ちゃんが言ってたのですよ。だから、麗奈さんに新しい構築済みデツキのカードを取り入れてもらったのですよ」

えへんって胸張ってるところ悪いが私、いい実験台ってことかそれ…？

「ははっ。まあ董さんも真桜君もいつものことだから笑って許してあげてくれ。悠姫君も私も良い経験になるだろう？」

「それを言われたら…まあ…」

「ありがとう。ではバトルに戻って《キングスコマンド》のバースト効果発揮だ」

…もうこれからは董さんと対戦するときは警戒してバトルしよう。いいよなあシヨップの店員、いや店長か。先に新しいカードに触れて。

「デツキから3枚ドロ―！」

(麗奈手札0↓3)

「そして1枚破棄！ 破棄するのは《海賊将エドワード》！」

(手札3↓2)

「ストロングドロ―と似た効果…？」

「でも捨てる枚数は1枚少ないのです。とても良いカードなのですよ」

「真桜君の言う通り。召喚時バーストだから使い方がキモだけど、いつも手札が不足する青にとっては有り難いカードだよ。

では追加コストを支払いフラッシュユ効果。悠姫君のコスト4以上のスピリットはアタックできない！」

「巨神ジュニアス コア4↓2 レベル3↓2」

(トラッシュユ3↓5)

青 マジック

《キングスコマンド》

コスト4 軽減青2



「バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後」  
自分はデッキから3枚ドローする。その後、自分は手札1枚を破棄する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このターンの間、コスト4以上の相手のスピリットはアタックできない。

「てことは、ムゲンドラゴンがアタックできない…」

「予防策としてね。悠姫君が中、大型を【神速】で出してこないとは言えないから」

「…なるほど」

手の内がバレてるのか？ だとしても、まだ大丈夫。狙いはまだある。

「クローフオックスをレベル2へ」

(リザーブ3↓1)

「クローフオックス コア1↓3 レベル1↓2 BP3000↓5000」

「次にマジック《ネオ・ダブルドロー》。足りない分はムゲンドラゴンから受け取ります」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓4)

「アルティメットであるUヒノコがいるため3枚ドローします」

(手札2↓5)

よし、これなら何とかなる。

「バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札5↓4)

(バースト：無し↓セット)

「おっと！アタックステップに巨神ジュニアスと雷海域の効果だ。」

ジュニアスの効果でこちらの<闘神>スピリットのBPをプラス5000、ペルセウスは雷海域の効果で更に20000する!」

「巨神ジュニアス 9000+5000=14000」

「星海の海賊ペルセウス(合体) 5000+4000+5000+2000=16000」

「14000:」

「更に雷海域レベル2の効果で、悠姫君のアルティメットがアタックする際、リザーブのコア2つをトラッシュに置かなければアタックできないよ」

「アタック抑制まで:」

「かみなりじゃないわ、いかづちよ!なのですよ!」

青 ネクサス

《雷海域》  
いかづちかいき

コスト3 軽減青2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル:青

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

【招雷】を持つ自分のスピリットすべてをBP+2000する。

Lv2 『相手のアタックステップ』

相手のアルティメットがアタックするとき、相手は、相手のリザーブのコア2個を相手のトラッシュに置かなければアタックできない。

「ならコスト3のクローフオックスでアタック! レベル2からのアタック時効果でボイドからリザーブにコアを追加します!」

(リザーブ0→1)

「なるほど、しかし:」

「そちらのフラッシュが無いのなら、こちらのフラッシュタイミング!」

「っ!」

「マジック《ライフチャージ》!今アタックしているクローフオックスを破壊して、ボイドからコア3つをリザーブに追加!」

(手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ4↓6)

「クローフオックス コア3↓2 破壊」

(リザーブ1↓4↓6)

「ターンエンドです」

〈麗奈・第七ターン〉

「思い切りが良くなったじゃない。蒼穹の第七ターン」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ。ではバーストをセット」

(手札3↓2)

〔バースト：無し↓セット〕

「そして…」

青の次代戦術士、《知将プロトレマイオス》！

レベル3で、召喚！

(手札2↓1)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「知将プロトレマイオス コア1 レベル3 BP9000」

「アルティメット…？ のようには見えにくいですね」

「あのアルティメットは、Uヒノコと同じ『次代』のアルティメットなのですよ」

〈次代〉のアルティメット、か…。

「では『トレミー』の召喚時効果発揮！」

「トレミー？」

「ああそれはね、プロトレマイオスの英称で『Ptolemy』って読めることから来てるんだよ」

「へえ…」

「トランザムもGN電池もちゃんと搭載しているのですよ！」  
「え？」

「あはははっ。さすがに紅蓮を纏ったりしないから大丈夫だよ」  
わ、解らん…。とにかく強そうとしか…。

「改めて、召喚時効果で悠姫君のデッキトップ3枚をオープンしても  
らうよ」

「なっ!？」

●オープンされたカード

・《ネクサスコラプス》

・《アルティメット・ジークフリーデン》

・《アルティメット・キングタウロス》

「うくん…どれも厄介だなあ。」

じゃあ、Uジークフリーデンを“破棄”してもらおうか」

「なっ、破棄!？」

青 アルティメット

《知将プロレマイオス》

コスト6 軽減青3金1 <次代・闘神>

<1> Lv3 BP9000

<3> Lv4 BP16000

シンボル：金

【召喚条件：自分のコスト1以上のスピリット1体以上】

Lv3・Lv4 『このアルティメットの召喚時』

相手のデッキを上から3枚オープンできる。その中のカード1枚  
を破棄する。

残ったカードは好きな順番でデッキの上に戻す。

【Uトリガー】Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のバースト1つを破棄する。そ  
のカードがマジックカードなら、相手のライフのコア1個を相手のリ  
ザーブに置く。

「残った2枚は、Uキングタウロス、ネクサスコラプスの順番に戻して  
いいよ」

「しかも中身の操作までする効果なのか…」

「確実にトリガーが狙われるのですよ！」

「しかし残念ながら次に続くアルティメットが無いと来たもんだ」

とりあえずは助かった。…となれば何でネクサスコラプスを上に置いたんだ？ Uキングタウロスを出させたくないのかな…。

「リザーブのコア2つをペルセースに移動つと」

(リザーブ3↓1)

「星海の海賊ペルセース(合体) コア1↓3 レベル1↓2」

「アタックステップ。ジュニアスと雷海域の効果でBPアップ」

「巨神ジュニアス BP9000+5000≡14000」

「星海の海賊ペルセース(合体) BP11000+5000+2000≡18000」

「ペルセース、合体アタック！ 合体アタック時効果により《巨人銃士クリフォード》を回収し、ボイドからコア2つを追加！」

(手札1↓2)

「星海の海賊ペルセース(合体) コア3↓5」

「くぬ…、ライフで受けます！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ6↓7)

「

「バースト発動！ 《絶甲氷盾》！」

ボイドからコア1つをライフに置いて、追加コストを支払いアタックステップを強制終了します！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

(ライフ2↓3)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュ6↓10)

「あー：マジックだったか。ならトレミーのレベル上げてアタックしておけばよかったなあ。これでターンエンド」

「結果論なのですよ麗奈さん。よくあることなのです」

〈悠姫・第八ターン〉

「これはキツイ……。スタートステップ」

(リザーブ 3 ↓ 4)

(手札 3 ↓ 4)

(トラッシュ 1 0 ↓ 0)

(リザーブ 4 ↓ 1 4)

「メインステップ」

「むむっ。今悠姫君が引いたカードはネクサスコラプスだね？」

「すごい！千年眼（ミレニアム・アイ）なのですよ！」

「さつき見たでしよが！」

預言者(っ)こはやめてください心臓に悪いから！

「ムゲンドラゴンをレベル2にして《ネクサスコラプス》をぶち込みます！」

(リザーブ 1 4 ↓ 1 3)

「ムゲンドラゴン コア1 ↓ 2 レベル1 ↓ 2」

(手札 4 ↓ 3)

(リザーブ 1 3 ↓ 1 2)

(トラッシュ 0 ↓ 1)

「雷海域、海賊旗を破壊！」

「ああ、私のネクサスが！」

(麗奈リザーブ 1 ↓ 3)

「更に2枚目の《ネオ・ダブルドロー》を使って、3枚ドローします！」

(手札 3 ↓ 2)

(リザーブ 1 2 ↓ 1 0)

(トラッシュ 1 ↓ 3)

(手札 2 ↓ 5)

「やはりドロー力では赤に敵わないな」

「ボクの緑もあれぐらいのドロー力が欲しいのですよー」

「いやいや、緑が赤のドローと合わせたらマズイでしょう。ただでさ

えもりもリコアが増えるんだから。昔は『ガンディノス』、最近は

【連鎖】と仲良いんだから青に是非欲しいね」

まあ、赤からしたら、防御が弱いから相手のアタックを阻害する青

も、コアを増やす緑も欲しいところだけでも。あまり欲張ると、ねえ…。

「《北風の狼ボレアースウルフ》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュ3↓5)

「北風の狼ボレアースウルフ コア1 レベル1 B P 3000」

「最後に召喚するのは

《アルティメット・キングタウロス》！

レベル5で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓0)

(トラッシュ5↓9)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・キングタウロス コア4 レベル5 B P 18

000」

「来たねえ！悠姫君に追い風来てるよ！」

「びゅおおおあー！なのですよー！」

「来てる来てる！ビュンビュン来てるよ！ビュンビュン！」

「ビュビュンなのですよー！」

「風だ！追い風だああー!!」なのですよー！」

「な、なんだこの果てしないウザさは…」

二人とも突然テンションが振り切れたんだが…。誰か助けて！

「ふう…。では悠姫君。続きを」

「できるか！」

「仕切り直して、バーストをセット」

(手札3↓2)

「アタックステップに入ります。そこでボレアースウルフの効果発揮！

麗奈さんのデッキの一番上を見させてもらいます！」

「むっ。いいだろう」

●麗奈デッキトップ

・《絶甲氷盾》(マジック)

緑 スピリット

《北風の狼ボレアースウルフ》

コスト4 軽減緑2金1 <護将・剣獣>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

ステップ開始時、相手のデッキの1番上のカードの内容を見ることが  
できる。

Lv1・Lv2

系統:<剣獣>を持つ自分のスピリットすべては、相手の効果では、  
フィールドから手札/デッキに戻らない。

「よし、Uヒノコでアタック！Uトリガー！」

「勿論コスト4の《絶甲氷盾》だよ」

「ヒット！デッキから——」

「待った！【トリガーカウンター】を使わせてもらうよ！」

「っ!？」

「カウンターマジック《インパクトロア》だ！」

(麗奈手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ3↓5)

カウンターか…！ でも、Uキングタウロスが狙われなかっただけ  
良しとしなければ。

「ヒットした絶甲氷盾のコストプラス3以下の、バトルしているアル  
ティメット、Uヒノコを破壊させていただく！」

「くっ…」

「紅炎竜ヒノコ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓2)



青 マジック

《インパクトロア》

コスト4 軽減青2

〔トリガーカウンター〕

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■バトルしている相手のアルティメットがコスト（ヒットしたカードのコスト+3）以下のとき、そのアルティメット1体を破壊する。

フラッシュユ：

コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「だけど本命が残ってる！Uキングタウロス、アタック！Uトリガー！」

「——っ!? 良い運を備えてきたじゃないか。コスト3、マジック《ストロングドロ》…!」

「クリティカルヒット！ 麗奈さんのライフ1つをリザーブに落とします！」

「いいだろう！」

（麗奈ライフ4↓3）

（リザーブ1↓2）

「そしてヒット効果でスピリット2体、ジュニアスを疲労させます！」

〔巨神ジュニアス 回復↓疲労〕

「更にレベル4からの効果で乗っているコア1につきBPを1000アップ。 乗っているコアは4つ、よってBP22000！」

〔アルティメット・キングタウロス コア4 BP18000+4000=22000〕

「このアタックは！」

「…ライフだ！」

（麗奈ライフ3↓2）

（リザーブ2↓3）

「よし、あと2つ！」

「しかしライフ2つを砕いた分はいただく！」

ライフ減少でバースト！《フラッドストリーム》！」

〔麗奈バースト：セット↓発動〕

「合計コスト5まで悠姫君のスピリットを破壊させてもらおう！」

「合計コスト…」

「今はお姉さんの《ムゲンドラゴン》と《北風の狼ボレアースウルフ》、どちらかが破壊されてしまうのですよ！」

「厄介なのは複数色を持っているムゲンドラゴンだけでも…。ここはデッキトップを覗き見てくる破廉恥狼に退場してもらおうとしよう！」

破廉恥狼て…。麗奈さんのアルティメットも同じことやつてたじゃないですか。

「コスト4のボレアースウルフを破壊！」

「ちい…」

（悠姫リザーブ2↓3）

「念のため追加コストを支払ってトレミーのBPを上げておくかな」

（麗奈リザーブ3↓1）

（トラッシュユ5↓7）

青 マジック

《フラッドストリーム》

コスト4 軽減青2

【バースト：自分のライフ減少後】

コスト合計5まで相手のスピリットを好きなだけ破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+4000する。

「スターバーストストリーム！なのですよ！」

「何処ぞの加速する世界みたいに似た大仰な名前だが、効果はBPを4000加算するだけなんだなこれが」

「ああ、たまに漫画とかでもありますよね。凄そうな名前の割に地味とか」

「知将プロレマイオス BP9000+4000=13000」

「：ターンエンドで」

〈麗奈・第九ターン〉

「これはピンチかな？ 蒼穹の第九ターン」

（リザーブ1↓2）

（手札1↓2）

（トラッシュユ7↓0）

（リザーブ2↓9）

「ふっ、ここに来るか。メインステップ」

：…何だ、何が来たんだ？

「まずトレミーをレベル4に上げよう」

（リザーブ9↓7）

「知将プロレマイオス コア1↓3 レベル3↓4 BP9000

↓16000」

「アタックステップ。ジュニアスの効果でBPプラス5000！」

「巨神ジュニアス BP9000+5000=14000」

「星海の海賊ペルセース（合体） BP11000+5000=16

000」

「ペルセース、合体アタック！ 効果でトラッシュの《海賊将エドワ

ド》を回収！コア2つを追加！」

（手札2↓3）

「星海の海賊ペルセース（合体） コア5↓7」

「：ライフで受けます！」

（悠姫ライフ3↓2）

（リザーブ3↓4）

「では【招雷】発揮！手札のコスト6、《海賊将エドワード》をレベル

3でコーリングサンダー！」

（手札3↓2）

（リザーブ7↓2）

「海賊将エドワード コア5 レベル3 BP10000」

「お姉さん！青の＜星将＞なのです！」

「星将か…!?!」

「その通り。召喚時効果発揮！ 手札の系統：＜星魂＞または＜光導＞を持つブレイヴをノーコストで召喚できる！」

…てことは、来るか?!

「星へ導かれし蒼蠅！」

神すら衰滅させし劇毒を鎧へと変え、あらゆる命を熔かし尽くせ！

『裏黄導十二宮、蠍神の魂が一つ』！

《天蠍星鎧ブレイヴスコーピオン》!!

海賊将エドワードへ、直接合体！」

「裏十二宮…!」

「《天蠍神騎スコルスピア》、蠍座のブレイヴ版なのですよ！」

「こいつも表と同じくまた効果が独特でね、扱い方に癖があるんだ」  
(手札2↓1)

天蠍星鎧ブレイヴスコーピオン

← 直接合体

海賊将エドワード (合体)

「コスト：6+6=12」

「BP：10000+5000=15000」

「合体時効果：発揮」

「シンボル：青+青=青青」

「裏蠍座の召喚時効果発揮！」

「っ！」

「悠姫君の『一番コストの低いアルティメット』1体を破壊する！」

「なっ!?!」

「さあて…。悠姫君の場に一番コストの低いアルティメットは誰かかなあ？」

い、一番コストが低いって…。私の場には『アルティメット・キングタウロス』しかないぞ!?!

「……」

「Uキングタウロスしかないねえ。よって！Uキングタウロスは熔け消えてもらう！」

「そんな馬鹿な…!?!」

「アルティメット・キングタウロス 破壊」

(リザーブ4↓7)

青 ブレイヴ

《てんかつせいがい天蠍星鎧ブレイヴスコピーオン》

コスト6 軽減青3 <異合・光導>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：青

Lv1『このブレイヴの召喚時』

相手は、最もコストの低い相手のアルティメット1体を破壊する。

???

【合体条件：コスト4以上】

【合体時効果無し】

青 スピリット

《海賊将エドワード》

コスト6 軽減青3 <星将・闘神>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP8000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：青

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、自分1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統：<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、自分はデッキから3枚ドローする。その後、自分は手札2枚を破棄する。

【合体時】???

「そこでエドワードの効果！系統：<光導>を持つブレイヴスコピーオンの召喚に成功したことで3枚ドローし、2枚破棄する！」

(手札1↓4)

「破棄するのは2枚目の《生還者バディ》と《雷海域》！」

(手札4↓2)

「これで悠姫君は無防備、丸裸！」

「なぜだかとても卑猥に聞こえるのですよ……！」

「ふふふつ……。あとはゆっくりりしつぽりムフフと——あだつ!?」

「ふぎや!?」

麗奈さんと真桜のセクハラ発言にどうしようと思ったところ、二人の頭に銀のトレーが良い音を立てて直撃した。

：有り難いことに董さんが制裁を加えてくれた。ありがとうございます！  
います！

「当店でのセクハラ発言は、禁止となっております♪」

「痛たた……。す、すみません……」

「あうう……。久々のおぼんアタックなのですよ……」

自業自得だなまつたく……。せつかく裏十二宮が出てきたのに色々  
と台なしなんだからもう。

「とにかく、エドワードで合体アタック！」

「ダブルシンボルか……！」

「安心するのは早いよ！エドワードの合体アタック時効果発揮だ！」

「っ!?!」

「悠姫君のデッキトップ1枚を破棄してもらおうよ！」

アルティメットトリガーか何かなのか……。いや、青のことだから  
何かしら制限を設ける効果なんだろうな。

●破棄されたカード

・《ガーネットドラゴン》(スピリット)

「白のカード確認！これで悠姫君は白のカードを使用することは  
きかない！」

「っ!?!」

《海賊将エドワード》

【合体時】Lv2・Lv3『このスピリットの合体アタック時』

相手のデッキを上から1枚破棄する。相手は、この効果で破棄した  
カードと同じ色の手札のカードを使えない。

「バトル終了系の白マジックは使わせないよ。仕留めに行かせて頂くからさ」

「くっ…」

「裁定がどうか微妙なのですが、多分使えなくなるのは何も表記が無いからおそらくバトル中だと思おうのですよ」

「そうなのか？」

「《雷神砲カノンアームズ》と同じ効果だから、私もバトル中効果だと思おうよ。…よくこうやってテキストが無いから判断に困るのがあるよねえ真桜君」

…確かに。効果を読ませてもらったなら、「ターンの間」なのか「バトルの間」なのか書かれていない。

「もう！それぐらい入るスペースがあるのに何で書かないのか不思議でしょうかないのですよ！」

「《森羅龍樹リーフ・シードラ》のやつもそうだったね…。一文が無いだけで一時期ショップが荒れたからねえ」

「そーなのですよ！ ボクのお姉ちゃんと麗奈さんが諫めてくれたから何とかなつたのですが…」

その言葉が足りないだけで惨事を起こすのか…。カードゲームは言葉が大切だと改めて実感した瞬間だった。

「さて、この合体アタックはどうする？ 通したら2つ削れて終わってしまおうよ」

ならば、通さなければいいだけの話！

「フラッシュユタイミング！ 白がダメなら、紫だ！」

マジック 《ブレイヴクリメイション》!!

ムゲンドラゴンはレベル1のとき、紫としても扱われるため、3コストで使えます！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュ9↓12)

「紫のマジックだって?!」

「疲労状態の合体スピリット、エドワードを破壊します！」

「成る程ね…、そうきたか。」

…ブレイヴスコアピオンはそのまま残す！」

〔海賊将エドワード（合体） 破壊〕

〔天蠍星鎧ブレイヴスコアピオン 残留 コア5 レベル1 BP  
5000〕

やっぱりこいつは残ったか。だけど…

「残すことは、解ってましたよ！」

「きゃー！悠姫お姉さんカッコイイですよー！」

…言つて後悔と羞恥で顔が熱くなつてきた。言うんじゃなかった。

「…う、裏蠍座が残されたので私は2枚ドロし、アタックはライフで受けます！」

（悠姫手札1↓3）

（ライフ2↓1）

（リザーブ4↓5）

紫 マジック

《ブレイヴクリメーション》

コスト4 軽減紫1

フラッシュ：

疲労状態の相手の合体スピリット1体を破壊する。

その後、相手はその合体スピリットのブレイヴをフィールドに残したとき、自分はデッキから2枚ドロする。

「照れた顔もまた可愛いね」

「ち、茶化さないでください」

それと、ライフ減少でバースト発動！

《救世神撃覇》！

（バースト：セット↓発動）

「ほほう、やるじゃないか！」

「バースト効果で、合計BP6000まで破壊。BP5000の裏蠍座を破壊します！」

裏蠍座を残したのはライフを削るのもあるだろうが、麗奈さんも狙いがあったの事だ。さっきのマジックは想定外だとしても、私の



バーストは織り込みみずみのはずだ。

「くっ…。ライフを取ったツケだね」

「追加コストを支払って、フラッシュ効果を使います。1枚ドロウ。  
…バーストをセットします」

〔リザーブ5↓1〕

〔トラッシュ12↓16〕

〔手札3↓4〕

〔手札4↓3〕

〔バースト：無し↓セット〕

「そうきたか。なら破壊された裏蠍座の効果発揮！

私のトラッシュにある青のネクサス3枚をノーコストで配置する  
！

《雷海域》2枚と《三つ首竜の海賊旗》を配置！雷海域2つはレベル  
2とする！」

〔天蠍星鎧ブレイヴスコーピオン コア5↓3〕

〔雷海域（1） コア1 レベル2〕

〔雷海域（2） コア1 レベル2〕

〔三つ首竜の海賊旗 コア0 レベル1〕

〔リザーブ2↓5〕

ネクサスの再配置…！ ネクサスを簡単に破壊させたのは誘い  
だったのか?!

《天蠍星鎧ブレイヴスコーピオン》

Lv1『このスピリットの破壊時』

自分のトラッシュにある青のネクサスカード3枚を、コストを支払  
わずに配置できる。

「……………」

「……………」

「…………知将プトレマイオス、アタック！ アルティメットトリガー、  
ロックオン！」

来た…！

「ここで当てられたらそこまで。…でも、私の悪運を…信じる!!

「——コスト……7!!」

「何いつ!?!」

「《アルティメット・キャッスルゴレム》! ガード!!」

「つつしやおらあッ!! 防いだぞッ!!」

「やったー!なのですよー!」

「マジか悠姫君……!そこで防いでくるなんていつもの悠姫君らしくないじゃないか!」

「誉めてるんですか貶してるんですか!?!」

「あははっ、誉めてるんだよ」

「賭けは私の勝ちだ!これで気兼ね無くバーストを発動させられる!」

「ムゲンドラゴン、ブロック!」

「フラッシュを使うのかい?」

「いいえ、そのまま破壊されます!」

「ムゲンドラゴン 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「相棒の破壊は無駄じゃありませんよ!スピリット破壊によるバースト発動!」

《夢幻祈祷》!」

(バースト:セット↓発動)

「今度は黄色のマジックなのですよ!」

「前に組んだ赤青のデッキより目茶苦茶だねそれ……!」

「褒め言葉として受け取つときます!」

黄 マジック

《夢幻祈祷》

コスト3 軽減黄1

【バースト:相手による自分のスピリット破壊後】

ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

アタックしている回復状態の相手のスピリット1体を破壊する。

「ボイドからコア1つをライフに置きます！これでライフが2つ！」

(悠姫ライフ1↓2)

「参ったねこりや…。巨神ジュニアスは残すしかない。くっそーターンエンド！」

回ってきたラストターン！

アルティメットのアタックは雷海域で止められている。…なら次に引くカードでこれを決める！

〈悠姫・第十ターン〉

「最後のスタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ16↓0)

(リザーブ3↓19)

「メインステップ。」

…来い！《炎竜将イフリート》、レベル1！」

(手札4↓3)

(リザーブ19↓12)

(トラッシュユ0↓6)

「炎竜将イフリート コア1 レベル1 BP4000」

「イフリートの召喚時効果！」

手札にある系統：〈星魂〉、〈光導〉を持つブレイヴをコストを支払わず召喚します！」

「これは…」

「もしかして…なのです…！」

「私も、〃裏十二宮〃を呼びます！」  
「っ！」

「牡牛座のブレイヴ

《金牛星鎧ブレイヴタウラス》!!

炎竜将イフリートに、直接合体ツ!!」

(手札3↓2)

「裏牡牛座ブレイヴ、キター!!なのですよー!」

「よりによって…。裏蠍座を残した事で引かせたと思うと頭が痛いよ」

「あいつと渡り合うなら、これぐらい強引にやらないと届かないと思  
いましてね」

「ふっ…。確かにね」

赤 スピリット

《炎竜将イフリート》

コスト6 軽減赤3 <星将・竜人>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

<6> Lv3 BP10000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<光導> / <星魂> を持つブレイヴカード  
1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統：<光導> を持つブレイヴが召喚されたとき、この  
ターンの間、系統：<星将> を持つ自分のスピリットすべてに赤のシ  
ンボル1つを追加する。

【合体時】 Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットのBP以下の相手のスピリット1体を破壊する。

金牛星鎧ブレイヴタウラス

← 直接合体

炎竜将イフリート (合体)

【コスト：6+6=12】

【BP：4000+3000=7000】

【合体時効果：追加】

【シンボル：赤+赤=赤赤】

「イフリートの召喚時効果で<光導>ブレイヴの召喚に成功したと  
き、このターン中、私の<星将>スピリットに赤のシンボル1つを追

加する！」

「炎竜将イフリート（合体） シンボル：赤赤＋赤＝赤赤赤」

——これは、確実に仕留める攻撃。

凌がれれば、次は無い。」

「アタックステップ…！」

「っ…、ジュニアスの効果で＜闘神＞スピリットのBPをプラス5000！」

「巨神ジュニアス BP9000＋5000＝14000」

「星海の海賊ペルセウス（合体） BP11000＋5000＋2000＋2000＝20000」

「イフリート、合体アタック!!」

裏牡牛座の合体アタック時効果…

【真・激突】 ツ!!」

「………ここまでか」

「っ！」

「いやあ、この短期間で驚くくらい強くなったね。デツキはビックリするぐらいブツ飛んでるけどね」

「…恐縮です」

「ふふっ。その謙虚さと大胆さと粘り強さで、彼女とのバトルも頑張るんだよ」

「はい…っ！」

「巨神ジュニアスで、ブロック」

「裏牡牛座の合体アタック時効果、発揮！」

ブロックしている巨神ジュニアスとシンボルの数を比べ、超えているシンボルの数だけ、麗奈さんのライフへ貫通します！」

《金牛星鏡<sup>きんぎゆうせいがい</sup>ブレイヴタウラス》

コスト6 軽減赤3 <皇獣・光導> 『牡牛座《裏》』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +3000

シンボル：赤

【合体条件：星将／コスト8】

【合体時】【真・激突】『このスピリットの合体アタック時』

相手は可能ならスピリット／アルティメットでブロックする。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

ブロックした相手のスピリット／アルティメットとシンボルの数を比べ、多かった自分のシンボル1つにつき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「こっちの巨神ジュニアスは青シンボルが1つ」

「こちらのイフリートは裏牡牛座と効果を合わせて赤シンボルが3つです」

Brave Attack!!

炎竜将イフリート＋金牛星鎧ブレイヴタウラス

BP4000＋3000＝7000

Symbol：赤赤赤 ↓2exceed!!

vs

Defense!!

巨神ジュニアス

BP9000＋5000＝14000

Symbol：青 ↓Penetration!! 2Damage

!!

「うん。久々に良い敗北をした」

「…ありがとうございます」

「こっちこそ、なかなか面白いバトルだったよ」

(麗奈ライフ2↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 新たな絆と白銀の片鱗

「よっし……」

「幸先の良いスタートなのですよ！」

麗奈さんのバトル、辛勝だが勝利することができた。しかしまあ何という綱渡りなデツキ、私が一人で組むところなるのか……。

「いやいやー、負けてしまったか」

「ありがとうございます」

麗奈さんと真桜の称賛を受け、改めて場を見直す。

…合体スピリット1体からの土壇場逆転。よくこれで勝てたと思う。

「しかしまあ今も昔も『牡牛座』に負けるとは思わなかったよ」

「…昔も？」

「裏十二宮ブレイヴの表、元の星座編『十二宮Xレア』達のことなのですよ。…ちよつと待ってほしいのですよ」

すると真桜が店奥にパタパタと行ってしまった。表の十二宮つても気になるが、戻ってくるまでに麗奈さんにデツキを見てもらうことに。

「これは…、想像してたより綱渡りが過ぎるんじゃないかな」

「そ、そうですね…」

「まあそれは後にしてと。」

赤、緑、黄のアルティメットは良い。けどやはり紫と青のアルティメットがやや不安定だね」

紫のアルティメットは《アルティメット・デスペラード》と《アルティメット・ベルゼビート》の2体。…Uデスペラードはまだしも、Uのベルゼビートは使い方がかなり限られている。

「青はまあ、この2体になるよね」

「麗奈さんには申し訳ないんですが、ちよつと重たすぎなのと紫以上に極端なのが…」

「あははっ、そりゃそうだ。使うなら《アルティメット・ロックゴレム》や《アルティメット・アイアンゴレム》を使った方がマシだよねえ」

上手くヒットすれば相手のデッキを根こそぎ吹き飛ばせるU  
キヤツスルゴレム。

トリガーカウンターの存在もあるが出したターンに迂闊に動く  
と手痛いしつぺ返しがある可能性がある。

Uオリハルコンゴレムは、Uキヤツスルゴレムよりも動かしやす  
い。カウンターを警戒するとすればレベル3でアタックさせれば良  
いんだけど、それでは合体スピリットやレベルの高いアルティメッ  
トにいつかは返り討ちに遭ってしまう。…所謂「相手のライフや  
スピリット、アルティメットなんか）知るかバカ！そんな事よりデッ  
キ破壊だ！」みたいな状態だ。

「流石に力不足って訳だ。…済まないね、足引っ張ってしまつて」

「い、いえいえ、そんな…麗奈さんが謝る必要なんか無いですよ」

「ふふっ、ありがとう。そんな君に…はいこれ」

「えっ」

すると麗奈さんが数枚のカードを差し出してきた。…青のカード  
だ。

「『新しい青のアルティメット』と、バトルのときに使った『キングス  
コマンド』だ。遠慮無く受け取ってほしい」

「いや、でも…」

「勝った御褒美だよ」

…：相変わらず私は貰うことばかりだなまったく。これは余計負  
けられなくなった。

とにかく、有り難く受け取り、早速投入して、外すものを検討しよ  
う。

「これじゃ足りないかい？」

「そんなことないですよ。一応防御マジックが増えたんで、大丈夫で  
す」

ふむ…。デッキの一番上を確認できるのは魅力だが、ここは生き残  
れそうにない北風の狼を外してキングスコマンドを入れて、Uキヤツ  
スルゴレムと新しいアルティメットを入れ換えてみるか。

「お待たせしましたのですよー」



「おお、お帰り真桜君」

「ただいまーなのですよ。」

はいお姉さん、元の十二宮Xレアなのですよ」

「ん、ありがとう」

戻ってきた真桜が見せてくれたのは、話に出た星座編の目玉Xレア。十二宮Xレア。：おお、たしかに全部Xレアだ。

「：すげえな」

「どれも当時はそのカードが軸になるようなデッキが数多くあったものさ」

「お姉さんが使った裏牡牛座も、麗奈さんが使った裏蠍座も、とても強力なカードなのですよ」

「へえ…。…。ん？」

赤の射手座、牡牛座。

紫の山羊座、魚座。

緑の蟹座、牡羊座。

白の獅子座、水瓶座。

黄の乙女座、双子座。

青の蠍座、天秤座。

うん、どれも強力…。あれ？ 10、11、12…。13枚？ 1

枚多いぞこれ。

「ああそれはね、”13番目の十二宮”と言われてるXレアだよ」

「”背徳の十二宮Xレア”なのですよ！」

「それが”蛇遣い座” 《蛇皇神帝アスクレピオーズ》さ」

コスト9と群を抜いて高い。だがかなり強そうだぞこれ。：今の私に扱うのは厳しそうだ。

「祐依君、璃恵君、彩音君辺りに頼めば楽しい楽しい十二宮デッキを作ってくれると思うよ」

「：妙な含みが」

「ロマンの塊なのですが、決まると絶望しか見えなくなるのですよ」  
「……………」

「……………」

「……………」

「…あのさア、祐依ちゃん」

「なんですか？」

「なくんでワタシはここで待たされてんのかな？」

「さつき来る前に言いましたか？」

「イヤまあ…。それよか、何でワタシの部屋で待たなきヤならんの？」

「お店じゃダメなん？」

「ダメだからお邪魔させていただいているんです」

「訳解らん…」

今日はワタシと悠姫がバトルする約束の日…なのに、何故か祐依ちゃんが「行くのは少し待て」と家に来たのサ。しかも祐依ちゃんがその待つ理由を言わないから仕方なく自室で暇潰し中。

「——失礼致します」

「…それ置いたらもういいヨ」

「畏まりました」

紅茶とお菓子を運んできたメイドへ簡潔に伝える。…あんまり家に居たくないんだけどなア。

「…早く悠姫に会いたい」

「お店が開いた一時間後に行きましょうね」

あ、焦らしプレイツてヤツかア。そう考えるとちヨツとテンションが上がって来た…♪

「ウププ…♪」

「今璃恵さんが何考えてるか言い当てたのちひっばたいてあげましようか？」

「人の思考読み取らないでヨ。祐依ちゃんはニュータイプじゃないでしヨ？」

「生の感情丸出しの璃恵さんに品性を求めるのは絶望的ですね」

「木星帰りだツたか…」

まあそんなこんなで優雅…優雅？　にお茶と雑談を楽しむ。これを楽しんでいるように見えるかどうかは別としてネ。

あとはデッキの調整ぐらいだけど…どうするかなア。悠姫のことだから奇策に出そうな感じではあるけど、さて……。

「……………」

「白紫ですか？」

「どうしようかナ…ツてネ。悠姫に得意な戦法は無いけど、それが一番恐かったりするんだよネ」

「『爆発力』…ですかね」

「ウン。…もしかしたら、もツと恐くなるかもネ」

「もつと恐く、ですか」

ワタシでも、祐依ちゃんも出来ない『何か』があると思うんだヨ、ワタシはさ。…だからそれを『折りたい』ツて思ツてる。

「…………とナると、色々本気出さないといけないかな」

「……………」

「ここらが今出来る最大限かな」

「ボクもお姉ちゃんも今はこれが限界かと思うのですよ」

「ありがとうございます。…一応の完成になった感じですかね」

麗奈さん、真桜、董さんの協力の元、とりあえずの完成となった私のデッキ。…バランスは最悪。最初の5枚で勝敗が決まると言っても過言じゃない。

試しのバトルでも、最初の5枚から5ターンまでの5枚を見ても最悪中の最悪。これを祐依に見せたら何て言われるか…。

「ここからは『悠姫ちゃん』の『運命力』次第ね」

「運命力、ですか…」

「このはちやめちやなデッキ、悠姫君の全力で初手を揃えないと確実に負けるよ」

決め手は己の運次第か…。

しばらくして店が開店した後、祐依が璃恵を引き連れて縁にやってきた。

「お久待たせ〜ッてネ〜♪」

「お待たせしました」

さて、これから璃恵との対戦に臨む訳だが。あの時は手も足も出ず惨敗したが、次は勝ってみせる。そこで気になるのは璃恵のデッキだ。前に見た白と紫のデッキなのか、白と黄のデッキなのか。

「さてさて悠姫イ。ワタシに勝てるデッキは用意できたのかナ♪」

「一応な。私なりに、今考えつく限りの手は考えてきたつもりだ」

「ウププ♪ そりゃ楽しみ♪」

牽制のしあいもそこそこに、お互い卓に着き、デッキをセットする。こうやって璃恵とバトルするのは3回目か。一度目は初心者講習、二度目はシヨップバトルと。間は開いたが三度目の正直ってやつだ。ここで一つ勝ちを取る。

緋立 悠姫

【「ッアルティメット」】

VS

白鐘 璃恵

【白銀の第一形態】

「先攻は悠姫からド〜ゾ♪」

「わかった。なら私の先攻だ」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「スタートステップ」

(手札4↓5)

(リザーブ4)

この手札か…。どうするかはまだ解らん。だから、まずはこうす

る。

「ネクサス、《赤き黎明の空》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「遅れたわ…！」

「あ、彩音さん」

「おや遅かったね」

「用事で出遅れたんです。…もう始まっているのね」

「まだ始まったばかりだ。慌てなくて大丈夫さ」

「ターンエンド」

〈璃恵・後攻第二ターン〉

「白銀の後攻第二ターン、スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「ふむふむ。じゃあネクサス、《水銀海に浮かぶ工場島》を配置ィ♪」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓5)

白紫のネクサス…。やっぱり最初の手札にあったか。

「これで悠姫はどくするかナ？ ターンエンド♪」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ」

マトモにやり合つては不利になるのは確實。白の手札に戻す効果

と紫のコア外し効果でこちらの場の展開を許さず、それでいて自分は潤うという万全ぶり。

…おそらくここから璃恵の場が固まり始めるだろう。ならやることは解った。

「……………」

「おく？ イキナリ悩んでるネエ♪ 良いヨ良いヨオ、もツと悩——」

「バーストをセットしてターンエンド」

（手札5↓4）

（悠姫バースト：無し↓セット）

「……………え？」

「…悠姫の考えが解らないわ」

「まあたしかに、あのデツキじや予測も着かないだろうね」

「ほら、璃恵の番だ」

〈璃恵・第四ターン〉

「…白銀の第四ターン。スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札4↓5）

（トラッシュユ5↓0）

（リザーブ1↓6）

「メインステップ。…何を考えてるか解らないけど、やらせてもらうからね！ 《ボーン・ダイル》を召喚！」

（手札5↓4）

（リザーブ6↓4）

（トラッシュユ0↓1）

「ボーン・ダイル コア1 BP2000」

「続けて猫！ 《ジャコウ・キャット》 ボーン・ダイルでフル軽減されてるからコストは1でレベル2で召喚！」

（手札4↓3）

（リザーブ4↓1）

(トラッシュユ1↓2)

「ジャコウ・キャット コア2 レベル2 BP5000」

「お決まりのチームか…」

「そゆこと♪ 召喚時効果のバウンスは空撃ちだけど、連鎖：紫のドロローはさせてもらおうヨ♪」

(手札3↓4)

「更に「その召喚時に反応してバースト!!」……は？」

「《爆烈十紋刃》！」

「ば、爆れ：はアツ!？」

「バースト効果で、工場島とジャコウ・キャットを破壊させてもらおう！」

{悠姫バースト：セット↓発動}

「水銀海に浮かぶ工場島 破壊」

「ジャコウ・キャット 破壊」

(璃恵リザーブ1↓3)

「何でそれ入れてんの?!」

「董さんからのヒントさ。『最近はやけに召喚時効果持ちが多く出る』ってな」

「それを信じて十紋刃を入れたの…」

赤 マジック

《爆烈十紋刃》  
ばくれつじゅうもんじん

コスト5 軽減赤3

【バースト：相手の『このスピリット/ブレイヴの召喚時』発揮後】

BP6000以下の相手のスピリット1体と、相手の合体スピリットのブレイヴ1つと、相手のネクサス1つを破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのメイン効果を発揮する。

メイン：

自分のトラッシュにあるバースト効果を持つカード1枚を手札に戻す。

「追加コストは支払わずそのまま」

「：バーストをセットして、ターンエンドだよ」

(手札4↓3)

(璃恵バースト：無し↓セット)

「最近良く刺さる十紋刃だね」

「悠姫お姉さん、一気にアドバンテージを取ったのですよ！」

「：まさかあの十紋刃、ピン挿しなの？」

「さあ。姉さんのデッキの中身までは見てませんから何とも」

〈悠姫・第五ターン〉

「よし、スタートステップ！」

(リザーブ5↓6)

(手札4↓5)

「メインステップ。まずはお前だ、相棒！」

《《エクス・ムゲンドラ》！レベル1！》

(手札5↓4)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1 B P 2 0 0 0」

「そのカード：まさか！」

「あのショップバトルで貰ったカードだ！」

更にエクス・ムゲンドラの「スピリットソウル：赤」を發揮！

「ッ!？」

「早速出番だ！」

《《アルティメット・ジークフリード》！

レベル3で召喚!!》

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ1↓4)

「アルティメット・ジークフリード コア1 レベル3 B P 1 0  
0 0 0」



「げエツ!? う、嘘でしょ…!?!」

「どうだ璃恵!」

「こんな早く召喚するとは」

「これで姉さんが流れに乗りました。これなら一気に行けます…!」

「白銀もあの場ではカウンターも打てないでしょう。…悠姫が急に強くなった気がするわね」

「このままアタックスステップ! Uジークフリード、アタック!

まず黎明の空の効果。一番始めに私のアルティメットがアタックしたため、1枚ドロロー!そしてUトリガー!」

(手札3↓4)

赤 ネクサス

《赤き黎明れいめいの空》

コスト4 軽減赤3

<0> Lv1

<1> Lv2

Lv1・Lv2 『自分のアタックスステップ』

ターンの最初にアタックしたのが自分のアルティメットするとき、自分はデッキから1枚ドロローする。

Lv2 『自分のアタックスステップ』

相手のスピリットがBPを比べ破壊されたとき、相手のネクサス1つを破壊する。

「ちイツ…!コスト4、《絶甲氷盾》!」

「ヒット!ボーン・ダイルは強制ブロックだ!」

「ああもう!ボーン・ダイルでブロック!」

「ヒット時効果でスピリットにブロックされたからライフ1つ、もらうぞー!」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ3↓4)

「ボーン・ダイル 破壊」

(リザーブ4↓5)

「ワタシの場が壊滅して、悪い冗談だヨ」

「ターンエンド」

これで璃恵の場が更地になった。このまま押し切れれば勝てる……！

…白紫について調べたとき、1つ解った事があつた。それは「動き方」だ。

祐依から聞いた事だが、白は中速く低速がほとんどで、速攻の場合はコスト踏み倒しと低コストが主立った行動。軽減が他の色に比べ比較的多くてもマトモに支払うと言えばマジックやネクサスくらい。

堅牢な守りにモノを言わせ、相手が攻めあぐねている内に力を蓄える……らしい。今ではそれも混色が増えたため、白の守り+緑のコアブーストによる支援、紫の強力な手札増強、黄色の飛び越え、青のレベル底上げなど…自分が苦手な所を他色で補い克服しているといった現状。

それに照らし合わせるとするならば、今の白紫ならば緑と組んだときのような過剰なコアブーストはしないはず。あくまで受け身だからだろうか。

〈璃恵・第六ターン〉

「思ったより悠姫の手が速い…。これじゃマトモに立ち上がれないか。…白銀の第六ターン！」

(リザーブ5↓6)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ6↓8)

「メインステップ。…下手にスピリットを出したらUジークフリードの餌食。出さなきゃ出さないでライフ持ッてかれちゃうとか何なのサ」

それで何が言いたいかというと、当たり前の事だ。

『立ち上がりを阻止すれば良い』それだけのこと。パワーだけなら赤のが上だ。状況を整えられる前にアルティメットで押し潰す！…考えに考えた結果がただのゴリ押しして、まるで考えてないな私。

「うヌヌ…」

璃恵の手が止まったな。何を出すか迷ってるんだ。…よし、流れを掴んだ。ここから上手く引き寄せて行けば勝てる！

「仕方ない…。ネクサス、《甲竜の狩り場》を配置するヨ！」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓4)

(トラッシュ0↓4)

「白と青のネクサスか…！」

「次に《アンバー・レオン》！レベル2でカモーン！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ4↓5)

「アンバー・レオン コア3 レベル2 BP3000」

「…スピリットを出してきたな」

「おっと、このアンバー・レオンをそんじょそこのスピリットじゃないヨ！」

「何っ」

白 スピリット

《アンバー・レオン》

コスト3 軽減白1紫1青1 <甲竜・星魂> 『カメレオン座』

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：白

Lv1・Lv2 『このスピリットのブロック時』

自分の合体スピリットの「トリガーカウンター」を持つブレイヴ1つを手札に戻すことで、このスピリットをBP+5000する。

Lv2

BP3000以下の自分のスピリットすべては、相手のアルティメットの効果を受けない。

「レベル2からBP3000以下のワタシのスピリットは、悠姫のアルティメットからの効果を受けない！」

「【超装甲】か？」

「それとは違うかナク。とにかくこれで小型スピリットはトリガーも怖くないツて訳ネ♪ このままターンエンド！」

ネクサスとスピリット1体を出したか。…そうそう都合良く今手札にネクサスを破壊するものは無い。

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

璃恵の場には白のシンボルが2つに青シンボルが1つ。…次はコスト6ぐらいのスピリットかアルティメットが出てくるか？ スピリットなら押し退けることはできる。だからこちらも数を揃える。

「メインステップ。《クローフオックス》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「クローフオックス コア1 レベル1 BP3000」

「…緑のスピリットねエ」

「召喚時効果、系統：〈新生〉を持つエクス・ムゲンドラにボイドからコア1つを置く。これでレベル2になる！」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓2 レベル1↓2 BP2000

↓3000」

「次に、赤き黎明の空をレベル2にする」

(リザーブ1↓0)

「赤き黎明の空 コア0↓1 レベル1↓2」

「バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「Uジークフリードでアタック！ 黎明の空レベル1の効果で1枚ド

ローして、Uトリガー！」

(手札3↓4)

「臆さないねエ悠姫イ。…コスト4、マジック《ドリームネビュラ》！  
「ヒット！」

「でもアンバー・レオンはBP3000だからUジークフリードの対  
象にやならないヨ！」

「それでもいいさー！」

「ライフ狙いッてことね…。ライフ！」

(璃恵ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバーストオツ!! 《絶甲氷盾》！」

ボイドからコア1つをライフにして、追加コストを支払ってこれ以  
上アタックはさせないヨ！」

(璃恵バースト：セット↓発動)

(璃恵ライフ3↓4)

(リザーブ1↓0)

「アンバー・レオン コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ5↓8)

エクス・ムゲンドラのアタックが止められたか…。さすが璃恵だ  
な。

「ターンエンド」

〈璃恵・第八ターン〉

「…ワタシが悠姫からプレシヤー掛けられるなんてねエ。白銀の第八  
ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ1↓9)

「メインステップ。…ツたくもく、悠姫のせいで予定が丸潰れだヨ」  
「…白紫ってさ、白緑みたくコアや防御にもものを言わせるんじゃないやなく  
て、相手の展開を牽制しつつ、いかに効率良く場を整えるかなんじや

ないのか?」

「……だツたら?」

璃恵の表情が少し固くなった。不敵な笑みを崩さないが、私には判る。よく調べたなみたいな顔してる。

「それぐらいの事を知った程度で、ちヨツと推してるぐらいでワタシに勝った気になるのは気が早いヨ?」

「…っ」

——あいつの目が鋭くなった。…何か仕掛けてくるか。

「《ヒスイ・キャノン・ドラゴン》、来てちヨウだい!」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュ0↓3)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア1 レベル1 BP5000」

「召喚時効果、手札の系統:<甲竜>を持つスピリット、アルティメット1体をノーコスト召喚できる!」

「デカいのが来るか…!」

「Yes!! 《甲竜戦艦エンタープライズ》!!

レベル3で、緊急抜錨!!」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓2)

「甲竜戦艦エンタープライズ コア3 レベル3 BP15000」

「噂のエンタープライズ…。攻めて来るか」

「いんや、ターンエンド♪」

ヒスイ・キャノン・ドラゴンもアンバー・レオンのレベルを上げずに召喚するだけしてターンエンド? …何か狙ってるのとみて間違いなさそうだな。

「これは何かあると見て間違い無いね」

「エンタープライズの召喚で場は均衡してます。…あれをどう切り抜けるか」

「赤紫白黄の4色【超装甲】。あれをどうするかで悠姫の先が決まるわね」

〈悠姫・第九ターン〉

「：スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ」

…甲竜戦艦。

【超装甲】を4つ持っていて、青シンボルが2つあれば常時最大レベルに加えて、ブロック時効果がアタック時にも発揮される。

今は合体していないから、璃恵が甲竜戦艦でブロックしてくるならレベル5のUジークフリードで何とかなるが…。

「マジック、《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるため3枚ドロする」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓2)

(手札4↓7)

…！ よし、来たか！

これで後はコアだ。伏せたバースト頼みになるが、ここは臆さない！

「クローフォックスをレベル2へ！」

(リザーブ2↓0)

「クローフォックス コア1↓3 レベル1↓2 BP3000↓

5000」

「アタックステップ！」

「その瞬間！甲竜の狩り場レベル1からの効果発揮！ 系統：＜甲竜＞を持つスピリットのBPをプラス2000アップ！」

「アンバー・レオン B P 1 0 0 0 + 2 0 0 0 〓 3 0 0 0 〓」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン B P 5 0 0 0 + 2 0 0 0 〓 7 0 0 〓」

「甲竜戦艦エンタープライズ B P 1 5 0 0 0 + 2 0 0 0 〓 1 7 0 〓」

「ならクローフオックスでアタック！」

「ドロシーしないでコアを欲しがってるってことは、手は調いつつあるって？」

「どうかな。レベル2からのアタック時、ボイドからコア1つをリザーブに」

(リザーブ0↓1)

さあどう出る。5000くらいなら甲竜戦艦の良的だぞ。

「……………」

…ブロックしないつもりか。ならこちらが先に動く。狙いはUジークフリードなのか何なのか。

「…何も無いならこちらのフラッシュユタイミング、マジック《ライフチャージ》！ コアはクローフオックスから2つ、黎明の空から1つ受け取る！」

そして今アタックしているクローフオックスを破壊して、ボイドからリザーブにコアを3つ追加する！」

(手札7↓6)

「クローフオックス コア3↓1 破壊」

「赤き黎明の空 コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓5)

(リザーブ0↓3↓4)

「…ターンエンド」

「まあ、そうなるネエ♪」

コアは増やした。後は揃えれば…。

〈璃恵・第十ターン〉

「白銀の第十ターン、スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)



(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「悠姫のUプテラトマホークが落ちたし、来たこの子も安全に出せるかね♪」

縞瑪瑙の竜騎士、《オニキスドラゴン・ライダー》！ カモ〜ン！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「オニキスドラゴン・ライダー コア1 レベル1 BP8000」

「この竜騎士は白と青のダブルシンボル♪」

「青のシンボルが2つになったか…！」

「まだまだ、召喚時効果！ 悠姫のBP5000以下のスピリット全部を手札にバウンス♪」

「戻るのはエクス・ムゲンドラだけだが…」

(悠姫リザーブ4↓6)

(手札6↓7)

「それでイイの♪ そいでバウンスしたスピリット1体につきボイドからコア1つをライダーに追加〜♪」

「オニキスドラゴン・ライダー コア1↓2」

白青 スピリット

《オニキスドラゴン・ライダー》

コスト8 軽減白4青2 <星将・甲竜・武装>

<1> Lv1 BP8000

<3> Lv2 BP12000

シンボル：白青

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

BP5000以下の相手のスピリットすべてを手札に戻す。

この効果で手札に戻したスピリット1体につき、ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

【合体時】 Lv2 『お互いのアタックステップ』

相手のアルティメットが疲労したとき、このスピリットは回復する。

「悠姫の手札が増えたからコレを最大限に活かせるんだ…♪

マジック《ハンドリバース》！

コストはリザーブ、甲竜戦艦、ライダーから確保！」

「っ！」

(手札1↓0)

(リザーブ2↓0)

「甲竜戦艦エンタープライズ コア3↓1」

「オニキスドラゴン・ライダー コア2↓1」

(トラッシュユ3↓8)

「マジかよ!?!」

「これでワタシは7枚ドローできるんだなアこれがッ!!」

(手札0↓7)

「更にイ！ワタシは白き闇の剣刃を喚ぶ！

《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》を、甲竜戦艦に直接合体!!

モチロン最大軽減で0コストオツ!!」

(手札7↓6)

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 直接合体

甲竜戦艦エンタープライズ (合体)

「コスト：10+6≡16」

「BP：15000+5000≡20000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白白+白≡白白白」

「来たのですよ！極悪トリプルシンボル！」

「超・重合わせて全色装甲。BPで超えるのも難しくなっただわ…」

「大丈夫さ。…今の悠姫君ならね」

「更に更にバーストセット！」

(手札6↓5)

(バースト：無し↓セット)

「超余裕！ターンエンド！」

〈悠姫・第十一ターン〉

「何だあの余裕は…。スタートステップ」

(リザーブ6↓7)

(手札7↓8)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ7↓12)

「メインステップ。…もう一度来い、相棒！《エクス・ムゲンドラ》！」

(手札8↓7)

(リザーブ12↓10)

(トラッシュユ0↓1)

「次に《リューマン・ライトニング》をレベル3で召喚！」

(手札7↓6)

(リザーブ10↓5)

(トラッシュユ1↓3)

「リューマン・ライトニング コア3 レベル3 BP10000」

「エクス・ムゲンドラをレベル2、Uジークフリードをレベル4、

リューマン・ライトニングに更にコアを2つ追加して、アタックス

テップ！」

(リザーブ5↓0)

「エクス・ムゲンドラ コア1↓2 レベル1↓2 BP2000

↓3000」

「リューマン・ライトニング コア3↓5」

「アルティメット・ジークフリード コア1↓3 レベル3↓4

BP10000↓14000」

「来るかい?!」

「攻めてみるさ」

「なら甲竜の狩り場の効果でBP2000！」

「アンバー・レオン BP1000+2000=3000」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン BP5000+2000=7000」

「オニキスドラゴン・ライダー BP8000+2000=10000」

「甲竜戦艦エンタープライズ(合体) BP20000+2000=22000」

「エクス・ムゲンドラでアタック！ レベル2からのアタック時効果で1枚ドロ―！」

(手札6↓7)

赤 スピリット

《エクス・ムゲンドラ》

コスト2 軽減赤1 <新生・古竜>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<5> Lv3 BP4000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」を追加する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドロ―する。

「さあどうする、相棒のBPはたったの3000だぞ！」

「おお：あの悠姫が白銀のに選択を迫るなんて」

「ちよつと大雑把ですけど、選択させるぐらい強気だっただけですよ  
ね」

「なるなる：♪ ならお望み通りエンタープライズでブロック！何も  
ないならそのまま消し炭だヨ―！」

「エクス・ムゲンドラ 破壊」

「すまん、相棒…。だが次に繋がる！」

「粹がるのも良いけど、光速の異名を持ちバーストを操る高貴なる竜人の効果はバースト発動タイミングと同じだからワタシのエンタープライズの効果が悠姫のライフを落とすヨ！」

「百も承知！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「甲竜戦艦エンタープライズ (合体) 疲労↓回復」

「エクス・ムゲンドラ 破壊」

(リザーブ2↓4)

「まずは伏せてあるバースト発動！」

出番だ 《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「ツ!? 《アルティメットウオール》とかじゃない!？」

「騙されたか? バースト効果で、ぴったりBP10000のオニキ

スドラゴン・ライダーを破壊する!」

「ちイツ…!」

「レベルを上げられなかったのが仇になったな!」

「オニキスドラゴン・ライダー 破壊」

(璃恵リザーブ0↓1)

「そしてUジークフリードがいるため、1枚ドロしてレベル2で召

喚!」

(悠姫リザーブ4↓1)

(手札7↓8)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP100

00」

「これで甲竜戦艦の【連鎖】は崩れた!」

「…っ、でもね! 闇白剣が合体してる限り連鎖は無視されてんだヨ!」

「狙いはそれじゃない! リユーマン・ライトニングの効果を忘れる

な!

系統：＜新生＞を持つ、私のエクス・ムゲンドラが璃恵に破壊されたとき、手札から赤のバースト効果を持つカードを発動条件を無視し

て発動できる！」

赤 スピリット

《リニューマン・ライトニング》

コスト5 軽減赤2極1 <竜人>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<3> Lv3 BP10000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

系統：<新生>/<竜人>を持つ自分のスピリットが相手によって破壊されたとき、自分の手札にあるバースト効果を持つ赤のカード1枚を、バースト条件を無視して発動できる。

Lv3 『このスピリットのアタック時』

相手のスピリットすべての『このスピリットの破壊時』/『相手によるこのスピリットの破壊時』効果は発揮されない。

「発動するのは…これだ！」

《救世神撃覇》！ 効果は勿論知ってるな！」

「BP6000以内を好きなだけ破壊して、追加コストで1ドロワーの1セット…」

「生憎ヒスイ・キャノン・ドラゴンが7000だから範囲外だが、そのカメレオンはもらっていく！」

「アンバー・レオン 破壊」

(璃恵リザーブ1↓2)

「更に追加コストを支払って1枚ドロワー！ …そしてバーストセット！」

(悠姫リザーブ1↓0)

(トラツシユ3↓4)

(手札8↓9↓8)

(バースト：無し↓セット)

「…やるようになったじゃん悠姫」

「行けるもんだろ？ Uジークフリード、アタック！ Uトリガー！」

「…コスト5、《ネガ・テュポーン》」

「ヒット！ ヒスイ・キャノン・ドラゴンを破壊されなくなったらその戦艦を差し出せ！」

とは言ったが、実のところヒスイ・キャノン・ドラゴンを破壊する手段はある。

狙いはあの戦艦。となりの翡翠の竜を蹴散らさない限り手を出せない。

「…ならネエ、カウンターやらせてもらおうヨ！ トリガーカウンター《剣星鎧ソードフィッシュ》！」

(璃恵手札5↓4)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ8↓10)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴンに直接合体！ これでワタシのスピリットはアルティメットの効果を受けない！」

剣星鎧ソードフィッシュ

← 直接合体

ヒスイ・キャノン・ドラゴン (合体)

「コスト：6+4=10」

「BP：5000+4000=9000 (+2000=11000)」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白+白=白白」

カウンター…！ 璃恵の事だから引いているとは思ったが、本当に引くとは。

「フラッシュは？」

「無いヨ。さすがにこれ以上払えるコアが無いしね」

「なら、そのカウンターブレイヴを出した事を後悔させてやる！」  
「ッ!?!」

「こちらのフラッシュタイミング、マジック《クリムゾンフレア》！  
コストはリューマン・ライトニングから受け取る！」

(悠姫手札8↓7)

「リューマン・ライトニング コア5↓3」

(トラツシユ4↓6)

「シンボル2つの合体スピリットを破壊する。甲竜戦艦は【超装甲：赤】があるから破壊はできない。だから破壊するのはヒスイ・キャノン・ドラゴンだ！」

「くぬ…ッ！ ソードフィツシユは残す！」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン（合体） 破壊」

「剣星鎧ソードフィツシユ 残留 コア1 レベル1 BP3000」

「更にマジック《フレイムスパーク》！ コストはゴッドブレイカーから受け取る！」

「マジック連発…ッ!?」

(手札7↓6)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア3↓1 レベル2↓1」

「BP5000以内のソードフィツシユを破壊！」

「剣星鎧ソードフィツシユ 破壊」

(璃恵リザーブ0↓1)

良い感じに回っている。ドローしまくった甲斐があったなこれは。ここで3体も破壊できれば、流れは確実に掴んだだろう。

「スピリットを破壊したから、トラツシユのスピリットカード、エクス・ムゲンドラを手札に戻す！」

(悠姫手札6↓7)

「悠姫君、ブン回ってるねえ」

「リューマン・ゴッドブレイカー、救世神撃覇、クリムゾンフレア、フレイムスパークと…。やるようになったわね」

「で、このUジークフリードのアタックはどうする！」

「……ライフ！」

(璃恵ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「調子に乗らない！ライフ減少でバースト、《妖華吸血爪》！」



バースト効果で2枚ドロ、追加コストは払わない！」

〔バースト：セット↓発動〕

(手札4↓6)

「——ッ！」

「：ターンエンド」

〈璃恵・第十二ターン〉

「ウププ…、良いねエ。面白くなってきたよ…！ 白銀の第十二ターン！」

(リザーブ2↓3)

(手札6↓7)

(トラッシュ10↓0)

(リザーブ3↓13)

「メインステップ。」

…「あと1枚」

…「1枚？」

「ネクサス、《迷子水晶》を2つ配置！」

(手札7↓5)

(リザーブ13↓9)

(トラッシュ0↓4)

「2枚？」

「バーストをセットして、ターンエンド」

「何っ!？」

(手札5↓4)

〔バースト：無し↓セット〕

「璃恵お姉さん、ターンエンドって…」

「確実に次のターンを絶対に凌ぐ自信があるんだろうね」

「…：嫌な予感がします」

〈悠姫・第十三ターン〉

「：スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札7↓8)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ1↓9)

「メインステップ。：切り札を出される前に、こっちも行くぞ！」

「切り札：？」

「相棒の新しい姿

《ムゲンドラゴン・ノヴァ》!!」

「ムゲンドラゴン：ノヴァですって?!」

「お姉さんの新しい切り札なのですよ！」

「遂に切ってきたね、悠姫君」

「ノヴァ：ツて、ワタシ知らないよそれ!」

「お前も同じようなことやっただろうに！」

(手札8↓7)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ0↓2)

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1 レベル1 BP4000」

「だけど、ムゲンが進化した程度じゃあワタシの甲竜戦艦は突破出来ないよ！」

「新しい相棒は、戦うだけじゃない！」

“【スピリットソウル：∞】“ 発揮!!」

「ふアツ!」

これが新しい相棒の力、 “無限のスピリットソウル”。

最初私もこれを見た時には驚いた。これを役立てるには私のデッキが完全にアルティメットに寄せなきゃならないし、こいつ一人ではどうしようもない。だが、今はアルティメットがいる。

「発揮するのは、【スピリットソウル：黄】！」

「黄色!? 赤だけじゃない!」

「そしてこのムゲンドラゴンは自身の赤に加えて、 “紫、緑、白、黄、青” としても扱われる！ 更にスピリットソウルで増えるシンボル

は「2つ!!」

「は…はアツ!？」

赤紫緑白黄青 スピリット

《ムゲンドラゴン・ノヴァ》

コスト5 軽減赤3 <新生>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP8000

シンボル：赤

このスピリットカードの軽減シンボルは紫／緑／白／黄／青としても扱う。

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットのシンボルは紫／緑／白／黄／青としても扱う。

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：∞】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに  
「赤」／「紫」／「緑」／「白」／「黄」／「青」（召喚するアルティ  
メットカードと同じ色のシンボル2つ）を追加する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

自分はデッキから1枚ドローする。

自分のアルティメットがいる間、さらに、このスピリットをBP＋  
4000する。

「黄色…姉さん…!」

「スピリットソウルを最大限にまで高めた無限の竜…。素晴らしい  
わ」

「黄色のアルティメット

《アルティメット・ヴァリエル》!

レベル5で召喚!!

レベル分にはUジークフリードから受け取る!」

(手札6↓5)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュユ2↓6)

「アルティメット・ジークフリード コア3↓2 レベル4↓3」

「アルティメット・ヴァリエル コア3 レベル5 B P 1700  
0」

「黄色のアルティメットまで……。これがあつたから悠姫、強気だつたんだね……」

「まだ終わらないぞ！」

「ッ!？」

「スピリットソウル：∞」、【青】!!」

さあ、麗奈さんから受け取ったこいつの出番だ!

「青のアルティメット

《アルティメット・アレクサンダー》!

レベル3で、召喚!!」

(手札5↓4)

「な……ッ、知らない青のアルティメット!？」

「不足分はUジークフリード、リューマン・ライトニングから受け取り、維持コアにはリューマン・ゴッドブレイカーから受け取る!」

「アルティメット・ジークフリード コア2↓1」

「リューマン・ライトニング コア3↓1 レベル3↓1」

(トラッシュユ6↓9)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア1↓0」

「アルティメット・アレクサンダー コア1 レベル3 B P 11  
000」

「あれは、巨人大帝!？」

「ふふっ。青の切り札、満を持して登場だね」

「アタックステップ! Uヴァリエルでアタック! Uトリガー!」

「……ッ!? コスト4、マジック《アルティメットイレイザー》!」

「よしっ、クリティカルヒット! 私のトラッシュユにある赤のマジッ

クカード全部を手札に戻す！

戻るのは《爆烈十紋刃》《ネオ・ダブルドロ》《救世神撃覇》《クリムゾンフレア》《フレイムスパーク》の計5枚！

(悠姫手札4↓9)

「更にUヴァリエルは自身よりレベルの低いスピリットとアルティメットからブロックされない。

たしかこの効果は、Uヴァリエル自身を対象とした効果だから【超装甲】とかは関係無いんだったな？」

「…そうだヨ」

「なら大人しくライフを差し出せ！」

「くれてやるヨ！」

(璃恵ライフ3↓2)

(リザーブ9↓10)

ライフ残り2つ…、勝負は大詰め。

不気味なのは璃恵に全く動揺、焦りが無いこと。…まだ隠し玉があるのか？

「次、Uアレクサンダーでアタック！ Uトリガー！」

「…コスト4、マジック《オーバードライブ》！」

「よし来た！ “クリティカルヒット”！」

「クリティカル持ち!？」

「ヒットのがマジックカードなら、1ターンに1度だけ回復する！」

「アルティメット・アレクサンダー 疲労↓回復」

「回復効果…。巨人大帝の【強襲】が元なのね」

「今のところ、ヒットさえすれば2回アタックできる唯一のアルティメットさ。…しかしまあ、“あのデッキ”には“闘神アルティメットに【強襲】を与えるネクサス”があったりするんだよね」

「回復した程度…！」

「まだまだ！ヒット時効果！」

「お前は自分のコスト5以上のスピリットを1体選んで破壊しろ！」  
「ッ!？」

青 アルティメット

《アルティメット・アレクサンダー》

コスト6 軽減青3 <新生・闘神>

<1> Lv3 BP11000

<4> Lv4 BP21000

シンボル：極

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は、コスト5以上の相手のスピリット1体を破壊する。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードがマジックカードなら、さらに、ターンに1回、このアルティメットは回復する。

Lv4 『自分のアタックステップ』

系統：<闘神>を持つ自分のスピリット／アルティメットすべては、相手のマジックの効果を受けない。

「Uアレクサンダーはまさに正当に究極化したアルティメットさ」  
「コスト指定破壊、回復効果と。元の面影を確かに残してますね」  
「あの効果、小型キラーだった大帝が大型キラーになったのは、黄色以外には脅威ね…」

「さあ、選んで破壊しろ！」

「選べてこっちにヤエンタープライズしかないってのもー！ミッドナイト・サンはスピリット状態で残す！」

【甲竜戦艦エンタープライズ（合体）破壊】

【白夜の宝剣ミッドナイト・サン 残留 コア1 レベル1 BP5000】

「このアタックはどうする?!」

「ライフツ!!」

（璃恵ライフ2↓1）

（リザーブ10↓11）

「ライフ減少でバースト！ 《絶甲氷盾》！」  
（バースト：セット↓発動）

ここで絶甲氷盾…、仕留め損ねたか！

「あツぶなく…。久々に冷や冷やしたよ。追加コストを支払ってアタックステップは終わり！」

（璃恵ライフ1↓2）

（リザーブ11↓8）

（トラッシュユ4↓7）

「ターンエンドだ」

———【璃恵視点】———

《璃恵フィールド状況》

ライフ2 リザーブ8

手札4 トラッシュユ7 バースト無し

〈フィールド〉

・白夜の宝剣ミッドナイト・サン コア1 LV1

・甲竜の狩り場 コア0 LV1

・迷子水晶（×2） コア0 LV1

《悠姫フィールド状況》

ライフ3 リザーブ0

手札9 トラッシュユ9 バースト無し

〈フィールド〉

・ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1 LV1

・リユーマン・ライトニング コア1 LV1

・Uジークフリード コア1 LV3

・Uヴァリエル コア3 LV5

・Uアレクサンダー コア1 LV3

・赤き黎明の空 コア0 LV1

いやア…圧倒的不利だねこれは。

あのUアレクサンダーに甲竜戦艦を薙ぎ倒されて場に闇白剣しか

無いし、手札はギリギリ。

「白銀の第十四ターン！」

(リザーブ8↓9)

「ッ！ ……♪」

(手札4↓5)

「こりヤツイてるウ♪」

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ9↓16)

「メインステップ」

悠姫が強く出てたのはあのムゲンがいたからなんだねエ。…スピリットソウル無限。アルティメットを中心にしてる悠姫のデッキには相性バツチなカードだね。

…多分、来る前に感じてた悪い予感はいったんだ。ワタシを倒しにくる、みたいなの？

「…それでも、足りない」なア

「…？」

「足りない。まア、ちょくつとビビりはしたよ？ ここまで悠姫がガンガンくるのは予想外だったしね♪」

今までの悠姫だつたら堅実に来るところだったんだろうけど、攻めにシフトしたことで「守り」が少しお留守になってる。と言っても、攻めも守りもカンペキなんて白以外に両立しろってのは難しいよね。

「忘れてる？ ワタシのデッキは「白と紫と青」なんだよ♪」

「……っ！ 「裏十二宮」?!」

「Yes!! その通り!!」

《双魚星鎧ブレイヴピスケス》！

暗き空より現れる!!」

(手札5↓4)

(リザーブ16↓8)

(トラッシュ0↓7)

「双魚星鎧ブレイヴピスケス コア1 レベル1 BP6000」



「召喚時効果ア！ 悠姫のスピリット、アルティメットすべてのコア  
1つずつをリザーブヘシユート！」

「しまった…!？」

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1↓0 消滅」

「リユーマン・ライトニング コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ジークフリード コア1↓0 消滅」

「アルティメット・アレクサンダー コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ヴァリエル コア3↓2 レベル5↓4」

(悠姫リザーブ0↓5)

「あッハハハハ!! 壊滅壊滅ウッ！」

「ムゲン…!」

「消滅したアルティメットは2体、よッて2枚ドロウさせてもらおうヨ  
！」

(璃恵手札4↓6)

「キアてきてエ…。次に悠姫のライフを狙うのはコイツ」

「…悠姫」

「何だ…」

「ここから、手加減無しよ♪」

「何だと?!」

「遥かなる宇宙そらに雄々しく輝くは！

誇り高き白銀しろがねの“獅子”!!」

「っ!？」

「ヤバい…!」

「白の切り札中の切り札が来るのですよ！」

「獅子座の、十二宮…」

「《獅機龍神ストライクヴルム・レオ》!!

黄金の星雲より来たれッ!!」

(手札6↓5)

(リザーブ8↓1)

(トラッシュユ7↓11)

「獅機龍神ストライクヴルム・レオ コア3 レベル2 B P 9 0  
00」

「獅子座のカード…!」

「ウププ…! 更に闇白剣を合体!」

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 合体

獅機龍神ストライクヴルム・レオ(合体)

(コアは譲渡)

「コスト:8+5=13」

「B P : 9 0 0 0 + 5 0 0 0 = 1 4 0 0 0」

「合体時効果:追加・発揮」

「シンボル:白+白=白白」

「獅機龍神ストライクヴルム・レオ(合体) コア3↓4 レベル2

↓3 B P 9 0 0 0 ↓ 1 2 0 0 0 + 5 0 0 0 = 1 7 0 0 0」

「合体した…。だけどシンボルは2つ、重・超装甲:赤を持ってない。  
クリムゾンフレアが私の手札に戻っているのを忘れたか?」

「悠姫こそ、いつからワタシのレオが、たかが重装甲4色だけ”だと  
錯覚してた?”」

「何っ」

「レオの【合体時】レベル3の効果!

ワタシの系統:〈星魂〉、〈光導〉を持つスピリット全員に”白シ  
ンボル1つを追加”する!!」

「っ!?!」

「獅機龍神ストライクヴルム・レオ(合体) シンボル白白+白=白白

白白」

「双魚星鎧ブレイヴピスケス シンボルなし↓白」

「と…トリプルシンボル…!?!」

「ウププ…!ターンエンド♪」

〈悠姫・第十五ターン〉

「スタートステップ…」

(リザーブ5↓6)

(手札9↓10)

(トラッシュユ9↓0)

(リザーブ6↓15)

「メインステップ」

「どーする悠姫イ？ 新しいアルティメットを召喚したくても場にさつきみみたいなスピリットは存在しないヨ〜♪」

でもワタシ的に怖いのはあの手札。

さすがにマジックを4枚も回収されちゃうとキツイ。ドロー、回収系、シンボル参照破壊、バーストと隙が無い。

レオを出したのはある意味様子見。獅子座の様子見に出させるとか何様と思うでしょ？ でもそうするしか無いのサ。悠姫の場を壊滅させられたのは偶然の幸運だし、下手に展開したり守勢に回ったらコワ〜イコワ〜イ貫通に飛び越え、まとめてドツカーンとかいくつソードフィッシュ積めばいいのヨ？

「ここまで来て…、終われるか！ マジック《ネオ・ダブルドロー》！」

(手札10↓9)

(リザーブ15↓12)

(トラッシュユ0↓3)

(手札9↓12)

「…よし！」

ふむ、ここでもまた引いたみたいだね。しかも手札12枚はさすがにビビる。

悠姫が使えるコアはUヴァリエルのも足して残り13個。こっから何を呼ぶのか楽しみ…♪

「相棒のムゲンと並ぶ2枚目の切り札！」

「ッ！」

「召喚、《メテオドライブ》!!」

(悠姫手札12↓11)

(リザーブ12↓7)

(トラッシュユ3↓7)

「メテオドライアン コア1 レベル1 BP4000」

「こいつはムゲンと同じく6色のカード。書かれているのは青の軽減だが、どの色でも軽減ができる！ よって赤1軽減で、4コスト支払う！」

「新しいドライアン、ま、まさか…」

「そのまさか。【スピリットソウル：∞】持ちだ！」

赤紫緑白黄青 スピリット

《メテオドライアン》

コスト5 軽減青3 <新生>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP8000

シンボル：青

このスピリットカードの軽減シンボルは赤／紫／緑／白／黄としても扱う。でも扱う。

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットのシンボルは赤／紫／緑／白／黄としても扱う。

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：∞】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」／「紫」／「緑」／「白」／「黄」／「青」（召喚するアルティメットカードと同じ色のシンボル2つ）を追加する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

自分はデッキから1枚ドローし、BP3000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

まさかの∞持ち2体目、しかもあのイアンがねエ…。そこまでは想定外だよ。問題は、何のアルティメットが出てくるかによってワタシの進退が決まっちゃう。

「いくぞ、【スピリットソウル：紫】！」

「紫…！」

「紫のアルティメット

召喚、《アルティメット・ベルゼビート》!!」

(手札11↓10)

(リザーブ7↓0)

(トラッシュ7↓12)

「アルティメット・ベルゼビート コア2 レベル3 BP13000」

「来たね、紫のアルティメット」

「Uヴァリエルのコア1つをUベルゼビートに渡し、レベルを4にする！」

「アルティメット・ヴァリエル コア2↓1 レベル4↓3」

「アルティメット・ベルゼビート コア2↓3 レベル3↓4 B

P13000↓24000」

「バーストをセットしてアタックステップ！」

(手札10↓9)

(バースト：無し↓セット)

「Uヴァリエルでアタック！ Uトリガー！」

「——ッ、コスト〃8〃。《機獣要塞ナウマンガルド》！」

「っ、外した：!?!」

「さっきまでの勢いはどうしたのさ悠姫ィ。フラッシュが無いならレオでブロックするヨ！」

「：返り討ちか」

「飛べない大天使なんざア獅子座の前じゃ有象無象の1つに過ぎないのさァー！」

(悠姫リザーブ0↓1)

よしよし、まずは目障りな大天使は墜とした。次はあの暴食の権化だけど、まア気にする程じゃ無し。モチロン、Uベルゼビートのコアシールド効果は知ってるけど、悠姫はコアを使い切った時点で〃負けは確実〃なんだよね…♪

「Uベルゼビート、アタック！ Uトリガー！」

「——コスト6、スピリット《白騎将シグフェズル》！」

「ヒット！ ワタシのトラッシュにある紫のスピリットカード1枚をノーコストで召喚する！」

「紫のカードっていうと…」

「対象は《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！」

こいつとメテオドライアンは、手札、場、トラッシュでも6色を持つカードとして扱われる。だからトラッシュから戻ってこい、相棒！」

(リザーブ1→0)

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1 レベル1 BP4000」

紫 アルティメット

《アルティメット・ベルゼビート》

コスト8 軽減紫4 <新生・冥主>

<1> Lv3 BP13000

<3> Lv4 BP24000

<5> Lv5 BP29000

【召喚条件：自分の紫スピリット1体以上】

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分のトラッシュにある紫のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードのコストが3以下なら、さらに、相手のスピリット1体のコアすべてを相手のトラッシュに置く。

Lv4・Lv5『自分のアタックステップ』

このアルティメット／自分のスピリットがアタックによって相手のライフを減らしたとき、疲労状態の相手のスピリット1体を破壊する。

「ふむふむ、これでムゲンは復活。Uベルゼビートのアタックを受けたらレオは爆発四散、たえUベルゼビートを凌いでも次のムゲンかイアンのアタックを受けても爆発四散と…」

「どうだ、追い詰めたぞ璃恵！」

「それはどうかな…?♪」

「何を！ このアタックはどうする！」

「裏魚座でブロック！」

「こっちのが遥かに上——」

甘い甘いよ悠姫ィ♪

これは追い詰められたのはどツちか教えてあげなきゃならんよう  
ですなア…♪

「獅機龍神ストライクヴルム・レオ、レベル1からの効果発揮!!」

「っ!?!」

「このレオ以外の系統：＜光導＞、＜星魂＞を持つワタシのスピリット  
が疲労したとき、回復する!!」

「な、なんだと!?!」

「獅機龍神ストライクヴルム・レオ（合体） 疲労↓回復」

白 スピリット

《獅機龍神しきりゆうじんストライクヴルム・レオ》

コスト8 軽減白4 ＜光導・神星＞『獅子座』

＜1＞ Lv1 BP6000

＜2＞ Lv2 BP9000

＜4＞ Lv3 BP12000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 【重装甲：紫／緑／白／黄】

このスピリットは、相手の紫／緑／白／黄のスピリット／ブレイヴ  
／ネクサス／マジックの効果を受けない。

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリット以外の系統＜光導＞／＜星魂＞を持つ自分のスピ  
リットが疲労したとき、このスピリットは回復する。

【合体時】 Lv3

系統：＜光導＞／＜星魂＞を持つ自分のスピリットすべてに白のシ  
ンボル1つを追加する。

「しかもタイミングは問わない！ワタシのどのターンでも、悠姫のど  
のターンでも、光導か星魂が疲労さえすれば回復するのさー！」

「双魚星鎧ブレイヴピスケス 破壊」

(璃恵リザーブ1↓2)

「シアシアどくする悠姫イ？」

ムゲンとイアンのアタックで決着付けるつもりだったみたいだけど…。追い詰められたのは悠姫みたいじゃん♪」

「くっ…：…また仕留め、切れない…！ ターン、エンドだ…」

〈璃恵・第十六ターン〉

「長かったバトルもここらが幕引き！

白銀のファイナルターン!!」

(リザーブ2↓3)

(手札5↓6)

(トラッシュユ11↓0)

(リザーブ3↓14)

「メインステップ！ シア、Last Danceだ！

マジック《ネクサスコラプス》！」

(手札6↓5)

(リザーブ14↓11)

(トラッシュ0↓3)

「満を持って破壊するのはワタシの迷子水晶2つ！」

「迷子水晶(1) 破壊」

「迷子水晶(2) 破壊」

「っ！」

「そして水晶から現れるのは

絶対なる戒めの刃、穢れた命を浄化する機神！

《天戒機神グロリアス・ソリユート》！

白夜に煌めく黒天九尾！

《黒天狐ネガ・ナインテイル》!!」

(手札5↓3)

(リザーブ11↓9)

「天戒機神グロリアス・ソリユート コア1 レベル1 BP60

00」

「黒天狐ネガ・ナインテイル コア1 レベル1 BP6000」



「驚くのはまだ、早い！」

グロリアス・ソリュートの召喚時効果発揮！ 悠姫のBP5000以下のスピリット全部手札へバウンス！」

「…っ!?」

「ムゲンドラゴン・ノヴァ BP4000 手札へ」

「メテオドライアン BP4000 手札へ」

(悠姫手札9↓11)

(リザーブ0↓2)

「そこでこの効果で戻ったスピリットの枚数分、ボイドからリザーブにコアを追加！ 戻したのは2体だから2コアブースト！」

(璃恵リザーブ9↓11)

白 スピリット

《てんかいきしん天戒機神グロリアス・ソリュート》

コスト7 軽減白2黄2 <武装>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

<4> Lv3 BP11000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

BP5000以下の相手のスピリットすべてを手札に戻す。

この効果で手札に戻したスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、相手のスピリットの効果を受けない。

Lv2・Lv3 【聖命】『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

『《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》をグロリアス・ソリュートに直接合体！』

(手札2↓1)

(リザーブ11↓7)

(トラッシュユ3↓7)

深淵の巨剣アビス・アポカリプス

← 直接合体

天戒機神グロリアス・ソリユート(合体)

〔コスト：7+5≡12〕

〔BP：6000+5000≡11000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：白+青≡白青〕

〔闇青剣召喚時効果でワタシの場のスピリット全員、このターンの中  
最大レベル!〕

〔天戒機神グロリアス・ソリユート(合体) レベル1↓3 BP6  
000↓11000+5000≡16000〕

〔黒天狐ネガ・ナインテイル レベル1↓3 BP6000↓12  
000〕

「……………」

〔闇青剣の合体時効果は悠姫のフィールドにあるシンボルと同じ色の  
マジック、バーストしか使えない。アルティメットのシンボルはU  
ヒノコとかがいない限り色は無いものだから、これで悠姫のマジック  
とバーストを完全封印!〕

ふくむ。黒天狐と天戒機神を出したけど、獅子座を2体並べる必  
要は無かったみたい♪

〔闇白剣を黒天狐に乗せ換えて、ブレイヴ《ハイドラ・アームズ》を  
レオに直接合体!〕

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 換装

黒天狐ネガ・ナインテイル(合体)

〔コスト：7+6≡13〕

〔BP：12000+5000≡17000〕

〔合体時効果：追加・発揮〕

〔シンボル：白+白≡白白〕

(手札1↓0)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ7↓10)

ハイドラ・アームズ

← 直接合体

獅機龍神ストライクヴルム・レオ (合体)

〔コスト：8+5∥13〕

〔BP：12000+4000∥16000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：なし〕

〔Last Attack.〕

ストライクヴルム・レオ、合体アタック!」

「…ここまで、やって…」

「ハイドラ・アームズの合体アタック時効果。ワタシの手札が3枚以下ならレオに更に青シンボル1つを追加するよ」

〔獅機龍神ストライクヴルム・レオ (合体) シンボル白白青+青∥

白白青青〕

青 ブレイヴ

《ハイドラ・アームズ》

コスト5 軽減青3 <海首>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：なし

Lv1『このブレイヴの召喚時』

相手のライフのコア1個につき、コスト3以下の相手のスピリット1体を破壊する。

〔合体条件：コスト3以上〕

〔合体時〕

自分の手札が3枚以下のとき、このスピリットに青のシンボル1つを追加する。

「これでトリプルシンボル、トドメだよ。悠姫」

「……………ライフ…」

(悠姫ライフ3↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕

## 落ち込み、バトル、復活のサン拍子・紫編

「素晴らしかった！悠姫の駆け引きも、思い切りのプレイングも、飛び抜けたデツキも！」

しかし！まるで全然！ワタシを満たすには、程遠く足りないんだよねエ!!」

「っ……！」

負けた……。ここまで来て負けた。

最初の手札も、過程も、使うタイミングも良かったはず。でも、負けてしまった……。どうして負けたのか……。解らない。

全身の力が抜けてうなだれる。……まともに頭が回らない。何故？何処でミスをした？という問い掛けが頭の中をぐちゃぐちゃにしているって、もう訳が解らない。

どうして、負けたんだ……。

何で、あれをひっくり返せるだ……。

|| || 祐依視点 || ||

あの日から、お姉ちゃんの落ち込み様は酷いものでした。

泣くことはありませんでしたが、やはりシヨックが大きすぎたのか、生返事か上の空か。ボーツとし過ぎて赤信号を渡りそうになったこともありました。

「……………」

「……………」

「お姉様と璃恵さん、どうかなされたんですか？　ここ数日あんな様子ですが……」

「うん、ちよつとあつて……」

「何か私に出来ることはありますか？」

「……大丈夫です。桜さんには必ず連絡入れますから、もうしばらくは、私が何とかします」

「…解りました。私も、あのように暗いお姉様は、見ていて辛いですから…」

学校でも落ち込み様は酷く、桜さんや他のクラスメイトの皆にも心配されました。特に、璃恵さんと破局したのかと聞かれましたが、断じて二人が付き合っている訳では無いと誠意を籠めて、一部ぼやかして説明したところ納得してくれたので良しとします。

「緋立妹恐っ!」

「緋立姉の事なんだからいつものことですよ怖くなるのは」

「だっていつも以上に笑顔でOHANASIするんだモン!」

「そりやアンタが破局だ白鐘の不倫だとかデリカシー0なこと言うからっしょ。自業自得」

数日経っても、お姉ちゃんの調子が余り戻りません。何度か部屋にお邪魔して、バトルを申し込んだんですが……

「どうやっても負けるからいい」

そう言われ、断られてしまいました。

その言葉を聞いたとき、ほんの一瞬だけ璃恵さんに殺意を抱いたのは言い訳できない事実です。…そして、やり過ぎだと璃恵さんに一言文句を言うため電話を掛けたところ……

『そりや、ちヨツとやり過ぎたな〜ツて反省はしてるよ』

「でも…」

『あのまま行ッて、ワタシよりもツとキツツい負け方したらどうする?』

「……………」

『上に行けば行くほど理不尽な負け方はいッぱいあるのは祐依ちゃんも言わなくても解るッしヨ?』

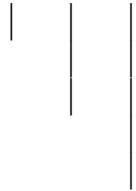
二つ名持ちハイランカー、《熾<sup>してん</sup>天》の祐依さん』

「それは姉さんの前では…」

『解ッてる。…とにかく、折れた魂を加熱させるのは任せた♪』

「……はあ」

『そいじゃ good Night♪』



更に数日。…根回しに根回しをして、色々準備万端。  
いざ、お姉ちゃんの心に火を点けに行きます。

「…お姉ちゃん」

…ノックしましたが反応無し。

軽くドアノブを捻ると、鍵は掛かってない模様。…入っていいと判断します。

「お邪魔するね」

部屋に入り、お姉ちゃんは……いつも通りベッドの掛け布団に包まっています。

部屋はいつも通り、ですね。あれから荒れて酷いことになってなくて本当に良かった。でも、ひとつだけ変わっていたところがあります。…机の上に散乱したバトルスピリッツのカードが目に入りました。

破ったりグシャグシャにはしてないみたいですが、そのカード群の真ん中にぽつんと置かれているデッキケースが。

「お姉ちゃん、あれからデッキ弄ったの…?」

「……………」

頭の方…だと思っ部分 MOZO 動きました。おそらく首を横を振ったんだと思います。

…お姉ちゃんに近付き、ベッドに腰掛けて話し掛けようと思ったんですが、なかなか言葉が出て来ません。

「……………」

「……………」

「…え？」

「デッキが…組み上がらないんだ…」

小さく、声も籠っていて聞き取りづらいますが、お姉ちゃんが話し始めてくれました。

「どのカードを入れても、勝てる未来が全く見えないんだ」

「…それは、皆同じだよ」

「…相手の手札が怖い。相手の一挙手一投足が怖い。いくら手札があっても、いくらコアがあってもたった一枚で返される。そう考えたら、デッキが組めなくなった…」

「……………」

「色んな手を教えてくれた彩音や真桜や董さんや麗奈さん達に申し訳無くて…皆の後押しを無意味にして…………期待に応えたくても、どうしていいかもわからなくなって…………」

「……………」

これは、本格的に治さなきゃならないみたいです。私や皆さんの期待が重荷に、足枷になってしまつて…。

「…………お姉ちゃん」

「……………」

「…………ふぬっ！」

「うおわっ!?!」

強制的にお姉ちゃんの掛け布団を引つpegがします。いつもお姉ちゃんを起こす要領で行けるので皆様も試してみてください。

「お姉ちゃん、出掛けるよ」

「はっ!?! いや…」

「言い訳は聞きません。30分したらまた迎えにくるから、ちゃんと準備しておいて。いいね?」

「あ…はい」

「お邪魔しました」



呆気に取られてるお姉ちゃんを置いて部屋を出てすぐさま彩音さんに連絡を入れます。

「私です」

『シヨップにいるわ』

「了解。：それと原因が解りました」

『：期待と言う重圧、かしら』

「そうです」

『：：謝らないといけないわね』

「：ええ。：またそちらで。一時間後到着予定です」

かなり簡素にやり取りをしたのち切ります。：：そうですね、謝らないといけないですよね。

30分して再びお姉ちゃんの部屋に：つと、お姉ちゃんが出てきました。表情はまだ暗いままですが、身なりは大丈夫そうですね。

「デツキはちゃんと持ってきた？」

「：ん」

よし、デツキは持ってますね。ならカードシヨップ縁に出発です。

「来たわね」

「お待たせしました」

「彩音：」

到着してすぐに彩音さんを見つけてることが出来ました。ちらつと董さんの方、会計場所にいらっしやいましたので軽く会釈。董さんにも頼んでいたので、パチンと綺麗なウイंकで返してくれました。：：大人の女性になるとあんな艶やかなウイंकが出来るようになるんでしょか。

「まずは謝らないといけないわね」

「え？」

「姉さん、私からも謝らせて」

「え：：えと：：？」

困惑するお姉ちゃんに二人揃って頭を下げます。それを見てお姉

ちゃんは当然戸惑う訳です。

「ど、どういう…?」

「あなたに無用なプレッシャーを掛けていたようで、本当に申し訳無かったわ。ごめんなさい」

「ちよ…頭上げてよ…」

困惑してあたふたするお姉ちゃんも可愛いと感じつつ頭を上げます。

「私と祐依さんだけじゃなく、真桜や董さん、麗奈さんも含めて謝らせて」

「そんな…。こんなの、皆の期待に応えられない私が不甲斐なさすぎるだけなんだ。勝手に折れたのもさ…」

少しずつお姉ちゃんの顔色が良くなってきます。…やっぱり、誰かと話した方が幾分楽になるみたいで良かった。

「さて、謝罪も済んだところで、バトルしましょうか」

「…え?」

「白銀のに負けたことで魂の火が消えてしまったのでしよう? ならその火を再び燈すのも、またバトル」

「ええ…」

「下手に甘やかしたのが一因ならば、もう手心は一切無しよ」

意気揚々といつも決めポーズを取りデッキを出す彩音さん。私も自分のデッキを取り出して、バトルの準備を調えます。

「ちよ、ちよつと待て! 私はバトルは…」

「言い訳は聞かない。ほら、デッキを出しなさい」

「人の話をだな…」

「このまま白銀のに負けたままでいいの?」

「良くは…ない」

「なら戦いの中で強くなりなさい。あなたは打てば打つほど強くなる、ドMみたいなものみたいだし?」

「ど、ドMだと!?!」

「さあ、ターゲット!!」

彩音さんがお姉ちゃんに向かってデッキを突き出します。……お姉ちゃんがDMか。

「少し本気で行かせてもらおうわ」

「こっちだって…、璃恵を追い詰めたデッキだ。簡単に負けるか!」

「ふふん。〃1弾遅れている〃デッキで、この紫に勝てるかしら?」

「何を…!」

「威勢は良いわね。」

「ゲートオープン、界放!!」

濤紫 彩音

【紫の片鱗・序章】

vs

緋立 悠姫

【アルティメット】

「先攻は頂いていくわ」

「どうぞ」

〈彩音・先攻第一ターン〉

「では紫蓮の第一ターン、スタートステップ!」

(リザーブ4)

「ドローステップ。この瞬間、手札の《冥猫蛇アイニ》の効果発揮!」

「何、もう!?!」

「この《冥猫蛇アイニ》を破棄し、2枚ドローとする!」

(手札4↓3↓5)

「姉さん、彩音さんはもう2枚も手札に新しいカードを引き込んだよ」

「そ、それぐらい、赤にだって…」

「〃紫は生きる場所を選ばない〃。例えばそれが墓場<sup>トランシュ</sup>であつてもよ」

紫 スピリット

《冥猫蛇アイニ》  
ヘルウィッチ

コスト9 軽減紫5極1 <冥主・妖蛇>

<1> Lv1 BP8000

<3> Lv2 BP10000  
<4> Lv3 BP15000

シンボル：紫紫

手札にあるこのスピリットカードを『自分のドローステップ』に破棄することで、ドローの枚数を+1枚する。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

『冥猫蛇アイニ』以外の自分のスピリットすべての持つ『このスピリットの破壊時』効果を、スピリットを破壊させずに発揮できる。

Lv2・Lv3 『このスピリットの破壊時』

相手のスピリットのコア1個をボイドに置く。

「メインステップ。

地獄の第二階層、ソロモンの悪魔が住まう都。

《冥都アンテノーラ》を配置

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「バーストをセットし、ターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

彩音さんの初手はアイニからの擬似手札交換からのスタート。これではほんの僅かですが彩音さんが優位になりました。

さて、お姉ちゃんの初回ターンが来ますけど…。

〈悠姫・後攻第二〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。…《エクス・ムゲンドラ》をレベル2で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア3 レベル2 BP3000」

「…ターンエンド」

「コアを余分に乗せるのは学んでいるのね」

「毎回エライ目になってるからな」

コアシチュート対策…とは言っても、バーストも無しでアタックもしないのは…。この感じ、手札事故を起こしている可能性があるかも…。それなら尚更アタックしてドローに賭けても良いと思うけど。

「しかしそれでも甘いわ。紫蓮の第三ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。」

ソロモン72柱が52。業火の騎獅。

《冥騎獅アロケイン》。レベル1で召喚

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「冥騎獅アロケイン コア1 レベル1 BP1000」

「…姉さんに一弾遅れとか言った割に、彩音さんが使ってるの02のカードですよね」

「まだ待ちなさい。〃04の紫〃はまだ力を溜めている最中よ。まあ見てなさい」

「…?」

「バトルに戻るわね。…先にこちらから〃究極〃を喚ばせてもらおうわ！」

「っ!」

「冥騎獅のスピリットソウル、紫!」

紫 スピリット

《冥騎獅アロケイン》

リオンナイト

コスト1 軽減紫1 <冥主>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 【スピリットソウル：紫】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「紫」（紫のシンボル1つ）を追加する。

Lv2 『相手によるこのスピリットの破壊時』

自分の手札にある紫のスピリットカード1枚を破棄することで、このスピリットは疲労状態でフィールドに残る。

「義賊の骸。煉獄の淵より蘇り、究極の名と供に我が使い魔と成れ！

《アルティメット・ドン・ディエゴッド》！

レベル3にて、召喚っ!!」

（手札3↓2）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ0↓2）

「アルティメット・ドン・ディエゴッド コア1 レベル3 BP5  
000」

「更に冥都アンテノーラ、レベル1からの効果発揮！ 私のコスト4以上のアルティメットが召喚されたとき、1枚ドロウする！」

（手札2↓3）

紫 ネクサス

《冥都アンテノーラ》

コスト4 軽減紫2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

コスト4以上の自分のアルティメットが召喚されたとき、自分はデッキから1枚ドロウする。

Lv2 ???

???  
……

「見たことないアルティメット……！」

「ふふん。大金叩いて“ぼったくりパック”を箱で買った甲斐が

あつたというもの」

「ぼつたくり…?」

「あそこにあるあのタワーだよ。あれ、中のカードが全部キラ仕様な代わりに1回2000円するんだよ」

「しかも1パック税込みで約400円。1箱で大体8000円よ」

「はっ…はっせ…!?!」

お姉ちゃんが絶句しています。

そりやそうです、私も流石にあの値段は1箱が限界でした。璃恵さんでさえ「ゴメン、コレはシングルで買わせて…」とお財布をチラチラ確認しながら青い顔で言っていました。

良いところのお嬢様でも限度がありますからね。

罪深きは《オールキラブースター【眩き究極の王者】》。

1箱買えばランダムとはいえ優秀なXレアが5枚必ず当たる辺り、私でさえ「磐梯め、姑息な手を…(シングル価格を確かめながら)」と言ってしまうほどです。

「……………」

「悠姫、絶句しているところ悪いけど続けるわよ」

「…お、おう」

「冥騎獅をレベル2へ昇格させ、アタックステップ」

(リザーブ1↓0)

「冥騎獅アロケイン コア1↓2 レベル1↓2 B P 1 0 0 0 ↓  
2000」

「Uドン・デイエゴッドで、アタック!」

「…ライフで受ける!」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

まずライフ1点を先制したのは彩音さん。Uドン・デイエゴッドにアタック時トリガーはありませんが、現在レベル3ならアタックして問題は無いでしょう。…それに、真価を發揮するのは『破壊された』ときですからね。

「まずひとつ。ターンエンドよ」

〈悠姫・第四ターン〉

「くっ…、まだ序盤だ。スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札4↓5）

（トラッシュユ2↓0）

（リザーブ2↓4）

「メインステップ。…っ」

…やはり手札事故でしょうか。スピリットソウル持ちですから、このコアならUジークフリードやUプテラトマホークなどが喚べるはずですが…。

「…：《クローフオックス》をレベル2で召喚」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュユ0↓3）

「エクス・ムゲンドラ コア3↓1 レベル2↓1」

「クローフオックス コア3 レベル2 BP5000」

「っ!？」

「……………」

「…えっ、何？ …：召喚時効果で、系統〈新生〉を持つエクス・ムゲンドラにコアを…」

「置けないわ」

「えっ」

「Uドン・デイエゴツドの効果」

紫 アルティメット

《アルティメット・ドン・デイエゴツド》

コスト4 軽減紫2極1 〈新生・無魔〉

【召喚条件：自分の紫のスピリット1体以上】

〈1〉 Lv3 BP5000

〈3〉 Lv4 BP8000

〈5〉 Lv5 BP10000

シンボル：極



Lv3・Lv4・Lv5

お互い、デッキは破棄されず、スピリットの効果でボイドからコアを増やすことができない。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『相手によるこのアルティメットの破壊時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、相手のスピリットのコア1個をボイドに置く。

…元の《ドン・ディエゴツド》よりコアブーストの縛りが優しくなりました。ドン・ディエゴツドというよりは、スピリット限定の“バッドエン”…《テッドエンドフィールド》のアルティメットと言った感じです。

もし元の性能そのままにアルティメットまで対応したらそれはXレア級。紫のカードをデザインしている“エージェントパープル”が作ったものでは無いでしょう。パープルの名を騙った“エージェントホワイト”かと。

「迂闊だったか…」

「魂の戦場よ！ 最悪の結末に染まれ!! 白紙の未来を黒く塗り潰すのだ!!」

「…我慢してたのに」

紫 スピリット

《ドン・ディエゴツド》

コスト3 軽減紫1赤1 <雄将・無魔>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3

お互いのデッキは破棄されない。

Lv1・Lv2・Lv3『お互いのメインステップ』

スピリットの効果でボイドからコアが増えたとき、増えたコアすべてをボイドに置く。

さらに、その効果を発揮したスピリットのコアすべてをボイドに置く。

紫 マジック

《テッドエンドフィールド》

コスト3 軽減紫2

メイン：

お互い、コアステップ以外でボイドからコアを増やせず、デッキを破棄することができない。

このマジックカードは、自分のスピリットが相手の効果によって破壊されるまで自分のフィールドに置いておき、その間、効果を発揮し続ける。この効果が無効になったとき破棄される。

フラッシュ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「これじゃコアが増やせないのか…?」

「さあ？　そこはテキストをしっかりと見なさい」

「ぐぬ…、お高いカードと知ったから迂闊に触れない…」

「大丈夫よ。曲げたり汚したり乱暴に扱わなければ平気だから」

「では…」

「…：恐る恐る触るのは変わらないんだ姉さん」

Uドン・デイエゴッドを受けとってテキストをじっくり読む姉さん。

「…ふむ、この『お互いのデッキ破棄』ってというのは、Uトリガーも入るのか?」

「いいえ、『置く』と『破棄する』は違うから、Uトリガーは有効よ。そこから辺を詳しく説明するとかなり長くなるから、今は省かせてね」

「わかった。…：コアを増やせなくなるのはスピリットによる効果だけなんだな…」

うんうん、それで大丈夫だよ。

「ありがとう」

「これでもう引っ掛かることはないわね」

「どうかな。…クローフォックスのコアをエクス・ムゲンドラに返し

て、レベル2に」

「クロフオックス コア3↓2 レベル2↓1」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓2 レベル1↓2」

「このままアタックステップ。ムゲンでアタック。アタック時効果で1枚ドロー」

(悠姫手札4↓5)

「そのアタックはライフで受ける！」

(彩音ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト発動。《妖華吸血爪》！ 説明不要の2枚ドロー！」

{彩音バースト：セット↓発動}

(手札3↓5)

「ターンエンド」

お姉ちゃんも1点奪い返します。でも、コアバーストが失敗してしまつたせいで少し苦しくなつたけど…、お姉ちゃん。くじけて無い。まだ不安げな様子はあるけど、ふつふつと火が燈つてきてるみたい。

〈彩音・第五ターン〉

「ふふっ。紫蓮の第五ターン、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ。…来てるわ。冥騎獅のスピリットソウル、紫！」

「っ!? また来る…！」

「現れたるは次代の魔姫！」

《悪魔姫バイザク》！

レベル3、謁見！」

(手札6↓5)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓1)

「悪魔姫バイザク コア1 レベル3 BP5000」

「＜次代＞のアルティメット…、ヒノコとかだけじゃなくなっただのか」  
「04の次代アルティメットよ。コストこそ低いけど、なかなか良い効果を持っているわ。アンテノーラの効果で1枚ドロ―」

(手札5↓6)

「更に、スピリットソウル：紫！」

「また!？」

「進化せしは次代の悪魔皇！」

《悪魔皇デビッド》！

レベル3、覚醒！」

(手札6↓5)

(リザーブ2↓0)

「冥騎獅アロケイン コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓3)

「悪魔皇デビッド コア1 レベル3 BP9000」

「こいつ、ヒノコと同じ…」

「そう。同じアルティメットへと進化した＜次代＞よ。アンテノーラの効果で1枚ドロ―！」

(手札5↓6)

彩音さんの手札が途切れませんね。紫お得意の連続ドロ―。しかもUデビッドが出てきたということは、ほぼ紫シンボルには困らなくなっただけということですよ。…これはお姉ちゃん、苦しくなってきましたよ。

紫 アルティメット

《悪魔皇デビッド》

コスト5 軽減紫3 <次代・冥主>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP9000

<3> Lv4 BP10000

シンボル：極

Lv3・Lv4

コスト7以下の自分のアルティメットカードの召喚条件を無視する。

自分の究極シンボルすべてを紫のシンボルとしても扱う。

【Uトリガー】Lv4『このアルティメットの破壊時』

UUトリガーがヒットしたとき、自分はデッキから1枚ドローし、このアルティメットは回復状態でフィールドに残る。

次に、冥騎獅のコアを悪魔姫へ献上」

「冥騎獅アロケイン コア1↓0 消滅」

「悪魔姫バイザク コア1↓2 レベル3↓4 BP5000↓7000」

「消滅させた…?」

「バーストをセットして、アタックステップ」

(手札6↓5)

(バースト：無し↓セット)

「悪魔姫バイザク、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「っ!? コスト4のUトリガーなんてそうそうヒットしないのに…」

「いいからコールなさい」

「えつと…。コスト7、《アルティメット・キングタウロス》。ガードだな」

「ふふっ…」

随分大きいカードが落ちました。

お姉ちゃんの言う通り、コスト4などの低コストアルティメットでは、ヒットさせるのは極めて難しいでしょう。…しかし、この04で登場した小型の<次代>アルティメットは――

「悪魔姫のトリガーがガードされた場合、私のトラッシュに眠るコスト3以下のスピリットを手札へと帰還させる！」

「何っ!?!」

「手札に帰還させるのは、先程消滅させた冥騎獅アロケイン！」

(彩音手札5↓6)

“ヒットしてもしなくてもメリットがあるトリガー”を持ってい

るという特徴があるんです。

紫 アルティメット

《悪魔姫バイザク》

コスト4 軽減紫2極1 <次代・冥主>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP5000

<2> Lv4 BP7000

<3> Lv5 BP9000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

自分のウトリガーがガードされたとき、自分のトラッシュにあるコスト3以下の紫のスピリットカード1枚を手札に戻す。

【ウトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

ウトリガーがヒットしたとき、自分のトラッシュにある紫のスピリットカード／アルティメットカード1枚を手札に戻す。

「なんつーアルティメットだ…」

「さあ、このアタックはどうするの?」

「…ライフだ!」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ふたつめ。一撃圏内に入ったわ」

「くぬ…っ」

「ふふふっ…! 踊らなければライフに風穴が空くわよ!」

<悠姫・第六ターン>

「まだ…。スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。…やっと来たな。

《ムゲンドラゴン・ノヴァ》!レベル2!」

(手札6↓5)

「こいつの軽減シンボルは6色全て。赤のムゲン、緑のクローフォックスがいるため、払うコストは3だ！」

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア2 レベル2 BP6000」

「そして、『ネオ・ケルベロード』をムゲンノヴァに直接合体！ 足りない分はエクスムゲンとクローフォックスから受け取る！」

ネオ・ケルベロードの軽減コストはそれぞれ1色ずつ。私の場には赤、緑、そして無限色があるため3コスト軽減！」

(手札5↓4)

「クローフォックス コア2↓1」

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル1↓2」

(トラッシュ3↓5)

ネオ・ケルベロード

← 直接合体

ムゲンドラゴン・ノヴァ (合体)

「コスト：5+5⇐10」

「BP：6000+5000⇐11000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+青⇐赤青」

お姉ちゃんがムゲンノヴァとネオ・ケルベを展開してきましたが、アルティメットがない状況なため、ネオ・ケルベの効果を発揮できません。：おそらく、お姉ちゃんはここを凌いで次のドロ：：ネオ・ダブルドロー辺りを使って：に賭けるのだと推測します。

「意気込んで喚び出したのは結構だけど、私を追い込むにはいささか役者が不足しているわよ？」

「百も承知だ。バーストをセットして、アタックステップ」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「ムゲンノヴァで合体アタック！ レベル2からのバトル時効果で1

枚ドロー!」

(手札3↓4)

「ブロックするまでもないわね。ライフよ!」

(彩音ライフ4↓2)

(リザーブ0↓2)

「そしてライフ減少によりバースト! 《絶甲氷盾》!

ライフは回復するけど、払えるコアは無いからそのままよ」

(彩音バースト:セット↓発動)

(彩音ライフ2↓3)

「:ターンエンドだ」

〈彩音・第七ターン〉

「紫蓮の第七ターン! スタートステップ!」

(リザーブ2↓3)

(手札6↓7)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ。…ふふふつ。どうやら冥府の旋律を奏でる時が来たようね」

「っ!」

「狂嵐と海戯を支配せし、ソロモン72柱の41!

《冥侯爵フォカロール》召喚!

我が望みを叶えよ!!」

(手札7↓6)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「冥侯爵フォカロール コア3 レベル2 BP5000」

「冥侯爵の召喚時効果!」

「っ!」

「私の手札1枚を代価に、2枚ドローとする! 代価に支払う魔符は

《骸塵将ムクロ》!」

(手札6↓5↓7)



「その召喚時効果で、バースト発動！」  
「っ！」

「バースト、《秘劍燕返》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「《アルティメットウォール》でも《爆烈十紋刃》でもない：!？」

「増えたなら減らすしかない！」

「……………」

…彩音さんが少し俯いて小刻みに震えています。気分が乗ってたところに水を差されたのが気に入らなかつたんでしょうか？

「ふふふふ…っ」

「っ!？」

「っ!？」

「今、確信したわ。」

あなたには、再教育が必要だということがね!!」

「さ、再教育!？」

「再教育！調教よ！」

「調教ってなんだよ!？」

彩音さんは別に機嫌を悪くはしていませんでした。何か吹っ切れたのか悪い笑顔をしています。

「さっき私が言ったことをもう忘れてるようね。ならもう一度宣告してあげるわ！」

【紫は生きる場所を選ばない】と!!

手札を捨てさせたければお望み通り捨ててあげるわ！」

「て、手札が5枚以上だから、2枚になるよう破棄だ…」

青 マジック

《秘劍燕返》  
ひけんつばめがえし

コスト4 軽減青3

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】

相手の手札が5枚以上のとき、相手は、相手の手札を2枚になるように破棄する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ:

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

この効果発揮後、コスト3以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「うふふふふ…っ！ アンテノーラをレベル2にする手間も、破棄する手間も省けてこっちは大助かりよ！」

「何!?!」

《冥都アンテノーラ》

Lv2 『自分のアタックステップ』

ステップ開始時、自分の手札1枚を破棄することで、このターンの間、系統:<冥主>を持つ自分のスピリット/アルティメットすべてをBP+2000する。

「私が破棄するのは、この5枚!」

(彩音手札7↓2)

破棄したカード

- ・《冥府三巨頭ザンデ・ミリオン》(スピリット)
- ・《白蛇帝アルデウス・ヴァイパー》(スピリット)
- ・《フォビドウングレイヴ》(マジック)
- ・《虚皇帝ネザード・バアラル》(スピリット)
- ・《冥騎獅アロケイン》(スピリット)

……こ、これは、アウト…ですね。

「ふ、フラッシュ効果は無しだ」

「ええ。ならその軀に本当の紫の使い方を刻んであげるわ!」

彩音さんの手札に残った2枚。1枚は確実に、あのアルティメットでしよう。…ならあと1枚は……。

「魔を統べる気高き主! 真なる恐怖を刻み付けろ!

究極へと到りし呪の七将がひとつ!

《アルティメット・ベルゼビート》!

レベル3にて、降・臨!!」

「Uベルゼビート…！」

「コストと維持コアはバイザク、Uデビッド、Uドン・デイエゴツドから全て捧げる！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「悪魔姫バイザク コア2↓0 消滅」

「悪魔皇デビッド コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ドン・デイエゴツド コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ベルゼビート コア1 レベル3 BP130  
00」

(トラッシュユ2↓6)

「アルティメット3体を躊躇い無く…」

「アンテノーラの効果で1枚ドロ。どちらにしろここで終幕よ。」

紫にとってアルティメットは、スピリット達が奏でる旋律を高める役者。神髄は、スピリットにこそあり！

アタックステップ!!」

(手札1↓2)

決めに来ましたね。

これはお姉ちゃん、手札に絶甲氷盾などのアタックステップ強制終了できるマジックとかが無いと…。でもそれは、自分で場を更地にしてしまうのと同義。

「Uベルゼビート、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「……っ!? コスト5、《メテオドライブ》…！」

「ヒット！」

「紫のスピリットを1体復活させる効果だったよな…」

「ええ。でも——」

警戒するお姉ちゃんを横目に、優雅な手つきでトラッシュユからカード2枚を取りました。 さながら指揮者でしょうか。

「復活させるスピリットは、2体よ」

「な…っ!?」

「冥侯爵フォカロール、レベル2からの効果発揮！」

Uベルゼビートのヒット時効果で復活させるスピリットを2体にできる!!」

紫 スピリット

《冥侯爵フォカロール》

コスト4 軽減紫2 <冥主>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札1枚を破棄することで、自分はデッキから2枚ドローする。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

カード名に「ベルゼビート」と入っている自分のアルティメットのトリガーがヒットしたとき、その効果で召喚するスピリットカードを2枚にできる。

「ただ手札を交換しただけじゃなかったのか」

「ふふふ…。私の本当の願いを叶えたのは、悠姫。あなただったみたいね。

この2体、《白蛇帝アルデウス・ヴァイパー》と《骸塵将ムクロ》をノーコストで復活!!」

「冥侯爵フォカロール コア3↓1 レベル2↓1」

「白蛇帝アルデウス・ヴァイパー コア1 レベル1 BP8000」

「骸塵将ムクロ コア1 レベル1 BP4000」

「これが、究極バアル・ゼアルの主本来の力の使い方よ！」

「こ、これは…」

「更に骸塵将ムクロの召喚時効果発揮！ 手札の系統<星魂>、<光導>を持つブレイヴを此処に！」

「まだ来る!?!」

「光蔑みし黒山羊の冥眼！邪法に染まりし星の力を鎧へ宿し、死の運命すら意のままに！」

「裏黄道十二宮、邪羯の魂が一つ！」

《磨羯星鎧ブレイヴカプリコーン》!!

白蛇帝アルデウス・ヴァイパーへと、直接合体!!」

(手札2↓1)

磨羯星鎧ブレイヴカプリコーン

← 直接合体

白蛇帝アルデウス・ヴァイパー (合体)

「コスト：10+6=16」

「BP：8000+5000=13000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：紫紫+紫=紫紫紫」

「紫の裏十二宮…の2枚目!？」

「このソルマルタ・レーテル・トゥルリーワース=蛇剝が使役するは、死すら超越せし至高なる色！ 紫!!」

テンション爆上げですね彩音さん。ここまで最高の状態を築けたならテンションが上がらざるを得ないですから仕方ないですよね。

「更に更に白蛇帝の召喚時効果！ 相手スピリットのコア3つをリザーブへと還す！」

「なっ…!?!」

「ムゲンドラゴン・ノヴァ (合体) コア2↓1 レベル2↓1」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

「クローフオックス コア1↓0 消滅」

(悠姫リザーブ0↓3)

「この効果で消滅したスピリット1体に付き、<sup>ヴォイド</sup>虚無から<sup>コア</sup>命を創りだしそして悠姫のスピリット、アルティメットが消滅したとき、裏山羊

座の【合体時】効果により1枚ドロー！」

(彩音リザーブ0↓2)

(手札2↓4)

紫 スピリット (光)

《白蛇帝アルデウス・ヴァイパー》  
はくじやてい

コスト10 軽減紫6 <妖蛇>

<1> Lv1 BP8000

<3> Lv2 BP9000

<5> Lv3 BP10000

シンボル：紫紫

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

相手のスピリットのコア3個を相手のリザーブに置く。

この効果でコアが0個になったスピリット1体につき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

相手のフィールドのコア1個を相手のリザーブに置く。

Lv3 【強化】

自分の「コア除去効果」でリザーブに置くコアを＋1個する。

紫 スピリット

《骸塵将ムクロ》  
がいじんしょう

コスト6 軽減紫3 <星将・無魔>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP9000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、相手1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統:<光導>を持つブレイヴが召喚されたとき、相手のアルティメットのコア1個をトラッシュに置くことができる。

【合体時】 Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

相手は、相手の手札にあるマジックカード1枚を破棄しなければ、このスピリットをブロックできない。

紫 ブレイヴ

《磨羯星鏡ブレイヴカプリコーン》

コスト6 軽減紫3 <魔影・光導> 『山羊座・裏』

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +5000

シンボル：紫

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】

相手のスピリット／アルティメットが消滅したとき、自分はデッキから1枚ドローする。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のアルティメット1体のコア1個を相手のリザーブに置く。

「さあ悠姫、このアタックはどうする！ どちらにしる次は無いわよ！」

「くっ…、ライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ3↓4)

「白蛇帝、合体アタック！ここで抵抗しなければ命は無いわ！ さあ、相棒を出してまで引いたカードで抵抗してみせなさい！」

「っ……い……情けない！引けなかった！」

ライフで受けるしかない…！」

「ふっ…。随分デッキに嫌われたわね。ならこれでファイナーレよ！白蛇帝はトリプルシンボル！」

「これでまだ、紫の一部なのか…！」

(悠姫ライフ2↓0)

〔winner!! 濤紫 彩音〕

## 落ち込み、バトル、復活のサン拍子・黄色編

「完全勝利、ね」

「久々に叩き伏せられた…」

お姉ちゃんの完敗です。少し本気を出した彩音さんもそうでしたが、お姉ちゃんがデツキに嫌われてしまったのも原因でしょうか。

「それで、自分のデツキは見えたかしら？」

「見えた…つて？」

「まだ見えてないなら…祐依」

「はい。では姉さん、次は私がお相手します」

「うえ!? 連戦!?!」

「そうです。姉さんの心の蠟燭に火が付くまでバーナーで燈し続けま  
すよ」

「蠟燭が蒸発するレベルなんだがそれは…」

それは置いてカカツと準備を始めます。お姉ちゃんもワタワタと準備を始めました。

…さて。未完成のデツキですが、どこまでやれますか。

緋立 祐依

【暁の園】

VS

緋立 悠姫

【アルティメット迷走中】

「こうやってあなたのバトルを見るのは久々ね」

「しばらく姉さんに隠れてやってみましたからね」

彩音さんとはかなり昔からのバトスピ仲間でしたが、しばらくはお互いにバトルするのも観戦するのもありませんでした。でも、連絡を取り合ったり、学校で良くお話もしますから、疎遠になった訳じゃないんです。

「では久々に『熾天』の天使の聖譚曲を聴かせてもらおうかしら」

エンゼル・オラトリオ



「そんな厳かなものじゃないです」

「あら。なら交響詩の方が良かった？」

「そういう意味でもないです」

「…？」

お姉ちゃんの頭にハテナが沢山浮かんでるのが見えます。可愛い。

いやいやそれはいいです。とにかくバトルを始めます。

「気にせず先後どちらにします？」

「え…あ、じゃあ…先攻で」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

「メインステップ。：マジック《キャノンボール》。メインステップの効果で、デッキから2枚ドロウするぞ」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュ0↓4）

（手札4↓6）

「ここでカウンターを切るのね」

「黄色のほとんどはBPが低いから、使っても大丈夫かなと」

一応良い判断だと思います。：でも、私の黄色を甘く見ちゃダメだよお姉ちゃん。

「バーストをセットしてターンエンド」

（手札6↓5）

（バースト：無し↓セット）

〈祐依・後攻第二ターン〉

「では、後攻d「熾天の」第二タ：横槍入れないでください」

「失礼」

「もうっ。——スタートステップ」

（リザーブ4↓5）

（手札4↓5）

「メインステップ。ネクサス《朱に染まる薔薇園》へ姉さんを御招待します」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓5)

「5コストのネクサス？」

「うん。バーストをセットしてターンエンドです」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

初動が遅いのは黄色故…。

さてと、お姉ちゃんはどう動きますか。

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…《ムゲンドラゴン》を召喚」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

「ムゲンドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

「…：ターンエンド」

やはり巡りが悪いみたい。あのときは「来てくれた」のに、今では極端なデツキに振り回されてしまっている感じです。

〈祐依・第四ターン〉

「第四ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ。では、《シヨコドラ》を召喚します」  
(手札4↓3)

(リザーブ6↓5)

「シヨコドラ コア1 レベル1 BP1000」

「ん？ こいつは…」

「多分、姉さんも持つてる《エクス・シヨコドラ》の元だよ。出た順番はエクス・シヨコドラの方が早かったんだけどね」

黄 スピリット

《シヨコドラ》

コスト1 軽減黄1赤1 <新生>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

「《イーズナ》の<新生>版、《ムゲンドラ》の黄色版ね」

「へえ…」

「では続いて

進化した次代の白馬、《聖天馬スカイ》をレベル4で召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「聖天馬スカイ コア2 レベル4 BP10000」

「黄色の次代か…！」

「そうですよ。このままアタックステップに入ります。 聖天馬スカ

イでアタック。アルティメットトリガー、ロックオン」

「——コスト3、スピリット《クローフォックス》」

「ヒット」

クローフォックスですか…。お姉ちゃんの手札に残りが入っているかは解りませんが、お姉ちゃんのデッキなら回収されることは無い

でしょう。

「聖天馬スカイ、ヒット時効果。ボイドからコア1つを私のライフに置きます」

「ライフ回復…」

「急がないと手が付けられないライフになってしまわよ」

(祐依ライフ5↓6)

「更に薔薇園レベル1からの効果が発揮。私のアタックステップ中にライフが増えたとき、1枚ドロします」

(手札2↓3)

「手札まで増えた!」

「黄色の相手はここが厄介なのよね。ライフが増えるというのは、間接的にコアブーストしているということ。更には余裕の出来たライフでスピリットやアルティメットを防御に回さず、積極的に攻撃へ回すことができるのよ」

黄 アルティメット

《聖天馬スカイ》

コスト5 軽減黄3 <次代・想獣>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5

コスト7以下の自分のアルティメットカードの召喚条件を無視する。

自分の究極シンボルすべてを黄のシンボルとしても扱う。

【「トリガー」Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

黄赤 ネクサス

《朱に染まる薔薇園》

コスト5 軽減黄2赤1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：黄赤

Lv1・Lv2 『自分のアタックステップ』

自分のライフが増えたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2 『???』

???:  
.....

「聖天馬スカイのアタックはどうしますか？」

「：そのままライフだ」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターンエンド」

〈悠姫・第五ターン〉

「く：。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

「ドローステップ：来い：！」

(手札5↓6)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「：よし、メインステップ。ムゲンドラゴンをレベル2に」

(リザーブ6↓5)

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2」

「《エクス・ムゲンドラ》を召喚！」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓1)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1 BP2000」

「更にスピリットソウル：赤を發揮！」

「来ますね：」

「《アルティメット・ジークフリード》だ！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ1↓4)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・ジークフリード コア1 レベル3 B P 1 0 0 0」

「アタックステップ。Uジークフリードでアタック！Uトリガー！」

「∴コスト4、マジック《絶甲氷盾》

「ヒット！」

「∴悠姫は絶甲をよく当てるわね」

言われてみれば、まあ確かに。古参カードバトラーみたく強い怨みみたいなのは無いんですけど∴。不思議です。

「それはともかく、スピリットはブロック強要だぞ」

「そこは【トリガーカウンター】を使うよ」

「何っ!？」

「トリガーカウンター。黄金こがねの縛鎖、《ライフエンスネビュラ》を使用します」

(祐依手札3↓2)

「新しいトリガーカウンターか∴」

「04で出たかなり有用なカウンターマジックですよ。では、バトルしているUジークフリードのBPを10000ダウンさせます」

「アルティメット・ジークフリード B P 1 0 0 0 0 0—1 0 0 0 0 0  
|| 0」

「なっ!？」

「いくらアルティメットでも、BPが0になっちゃ形無しだね。∴シヨコドラでブロック。スピリットでブロックしたため、私のライフ1つをリザーブに置きます」

(祐依ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

黄 マジック

《ライフエンスネビュラ》

コスト2 軽減黄2

【トリガーカウンター】

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■このバトルの間、バトルしている相手のアルティメット1体をBP-10000する。

フラッシュユ：

このターンの間、相手のスピリット1体をLv1として扱う。

「格安コスト、更に無条件で相手スピリットをターン中レベル1にできると。『あの黄色が!?!』と褒めてあげたくなるマジックよ」

「褒めてあげたいってなんだよ…」

ま、まあ…今までもそれなりのマジックは出してたとは思いますが、星座編一弾の《ハンドタイフーン》、二弾の《ウィックグバインド》と禁止カード化したのを省みると随分マトモになったと思えます。どちらも「ループ要因」で「一方的なパワーカード」で、レアリティがRとは考えられない性能です。

： 《トリックプランク》は冤罪だとを主張します。

黄 マジック『禁止カード』

《ハンドタイフーン》

コスト5 軽減黄3

メイン：

お互い、手札すべてを破棄する。

その後、お互い、デッキから4枚ドロウする。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+3000する。

黄 マジック『禁止カード』

《ウィックグバインド》

コスト8 軽減黄3

フラッシュユ：

このターンの間、効果の記述を持つ相手のスピリットすべてはアタックとブロックができず、相手は黄以外の手札のカードを使えな

い。

黄 マジック『禁止カード』

《トリックプランク》

コスト3 軽減黄2

メイン：

自分のトラッシュにあるスピリットカード5枚を選び、好きな順番でデッキの下に戻す。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「おほん。シヨコドラのBPは1000。フラッシュユが無いなら返り討ちです」

「くっ、せつかく出せたのに…」

「アルティメット・ジークフリード 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「：ターンエンドするしかない」

〈祐依・第六ターン〉

「はい。では第六ターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。ネクサス、《星見の観測所》を配置します」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓2)

「それも新しいネクサスか」

「はい。更に――」

《歌姫伯爵ココ》。レベル2でオンステージです」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)



「歌姫伯爵ココ コア2 レベル2 BP8000」

「0コスト召喚：!?!」

「伯爵ココは、私の場にアルティメットがいるとき、手札にある内はコスト4になります。」

現在、場にはスピリットの《シヨコドラ》とアルティメットの《聖天馬スカイ》。ネクサスの《朱に染まる薔薇園》に、先程配置した《星見の観測所》があります。

よって黄シンボル3つ、究極シンボル1つを満たし、0コストとなります」

この伯爵ココのおかげで黄アルティメットは飛躍的にパワーアップしたと行っても過言ではありません。黄色使いが待ち望んだカードの一つでもあり、アルティメットを中心にするのなら3積みでも構わない性能を持っています。

「悠姫、気を引き締めなさい」

「お、おう！」

「ふふつ。最後に星見の観測所をレベル2にします」

(リザーブ1↓0)

「星見の観測所 コア0↓1 レベル1↓2」

「アタックステップ。伯爵ココ、レベル2の効果が発揮」

そう。これこそ、黄色のアルティメットが劇的に使いやすくなる最高のサポートです。

「私の黄のアルティメット全てのコストを2つ上げます」

「コストが上がる…だと!?!」

黄 スピリット

《歌姫伯爵ココ》

コスト7 軽減黄3極1 <詩姫>

<1> Lv1 BP6000

<2> Lv2 BP8000

シンボル：黄

自分のアルティメットがいる間、手札にあるこのスピリットカードをコスト4にする。

L v 1・L v 2 『自分のアタックスステップ』

コスト8以上の自分のアルティメットのUトリガーがヒットしたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

L v 2 『自分のアタックスステップ』

自分の黄のアルティメットすべてをコスト+2する。

「よって、聖天馬スカイのコストは7にサイズアップします」

「聖天馬スカイ コスト5+2=7」

「やば……！」

「聖天馬スカイでアタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「くっ……コスト4、マジック《アルティメットウォール》」

「ヒット！ そこで星見の観測所レベル2の効果発揮！ 私の黄、もしくは赤のUトリガーのヒット1つにつき1枚ドローします」

(祐依手札1↓2)

「更にライフ回復！ 薔薇園の効果で1枚ドロー！」

(祐依ライフ5↓6)

(手札2↓3)

「ライフも手札も減った気がしないぞ……」

「これが黄色の戦術のひとつだよ姉さん」

黄 ネクサス

《星見の観測所》  
ほしみ かんそくじよ

コスト4 軽減黄2

<0> L v 1

<1> L v 2

シンボル：黄

L v 1・L v 2 『???』

???

L v 2 『自分のアタックスステップ』

自分の赤／黄のアルティメットのUトリガーがヒットするたび、自分はデッキから1枚ドローする。

「今ここで相棒を失う訳にはいかない……。ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンドです」

〈悠姫・第七ターン〉

「諦めるには、まだ早い…。スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ3↓7)

「そうよ悠姫。あなたの良さは、戦う事を諦めないという強さなのだから」

「メインステップ。」

《クローフオックス》を召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓4)

(トラッシュユ0↓2)

「クローフオックス コア1 レベル1 BP3000」

「召喚時効果で、系統<新生>を持つムゲンドラゴンにボイドからコア1つを乗せる！」

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2」

「更にマジック《ライフチャージ》！ クローフオックスを破壊してコア3つをリザーブに置く！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ2↓4)

(リザーブ2↓5↓6)

「そして《リューマン・ライトニング》、召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュユ4↓7)

「リューマン・ライトニング コア2 レベル2 BP7000」

「最後にエクス・ムゲンドラをレベル2にして、アタックステップ！」  
(リザーブ1↓0)

「エクス・ムゲンドラ コア1↓2 BP2000↓3000」

お姉ちゃんの熱さが少しずつ戻ってきました。この爆発力、さつきとは大違いです。：私も気を引き締めないと。

「エクス・ムゲンドラでアタック！ レベル2からのアタック時効果で1枚ドロ―！」

(手札2↓3)

これは何かある。おそらく返り討ちを想定してか、はたまたこちらのアタックにブロックしてくるのか。：とにかく今は――

「ライフで受けます」

(祐依ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

コアブースト手段が限られている状況です。ひとつでも多くライフを落としてくれたら御の字なんです。：そうそう贅沢は言えません。

「よし、ターンエンドだ」

〈祐依・第八ターン〉

「こちらの第八ターンです。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ」

コアが苦しくなってきました。：黄色とコア不足は一生付き合っ  
て行かなければならない頭痛の種です。紫は効率良くできるから良  
いものの、黄色はそうも行かないのが悩ましい。

「では、《小聖女ロメーダ》を召喚します」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓1)

「小聖女ロメーダ コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果。手札のマジックカード、2枚目の《ディフェンスネビュラ》を捨て、2枚ドロウします」

(手札3↓2↓4)

…うん、これなら大丈夫。次はまたお姉ちゃんのライフを脅かしつつ召喚まで繋げられれば……

「その召喚時効果に反応して、バースト発動！」

「っ！」

「《ネオ・コールオブロスト》だ！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「バースト効果、2枚ドロウ」

(手札3↓5)

「フラッシュの効果は使わない」

「…わかりました、続けます」

続けるとは言いましたが、やはりコアがキツくて動きが鈍りますね。

黄 スピリット

《小聖女ロメーダ》

コスト3 軽減黄2 <楽族・星魂> 『アンドロメダ座』

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<3> Lv3 BP4000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるマジックカード1枚を破棄することで、自分はデッキから2枚ドロウする。

この効果はターンに1回しか使えない。

Lv3 『お互いのアタックステップ』

自分の手札にある「トリガーカウンター」を持たないマジックカードすべてに

「トリガーカウンター」手札にあるこのマジックカードは、相手

のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■ヒットしたカードが黄のカードならガードとする〃を与える。

「ちよつと安心したよ姉さん」

「…?」

「姉さんが立ち直れて」

「…落ち込んでた私が馬鹿だったんだよ。まだ不安が拭えないけど」

「なら、そんな不安も吹き飛ばすくらい叩きのめしちゃうから」

「ええ…」

「ふふっ。観測所のコアを薔薇園に移してレベル2へ」

「星見の観測所 コア1↓0 レベル2↓1」

「朱に染まる薔薇園 コア0↓1 レベル1↓2」

「薔薇園、レベル2からの効果。私のメインステップ中、手札にある赤のスピリット、ブレイヴカードの持つ軽減シンボル全てを黄色としても扱います」

「っ!?! 軽減シンボルの色を変えた!?!」

《朱に染まる薔薇園》

Lv2 『自分のメインステップ』

自分の手札にある赤のスピリットカード／ブレイヴカードすべての軽減シンボルすべてを黄としても扱う。

「それにより喚び出すのは、黄金の冠を戴く龍の皇帝！

《皇帝龍カイゼルドラゴン》！

レベル2にて、君臨します！」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ1↓3)

「レベル分には薔薇園、シヨコドラ、ロメーダから確保します！」

「朱に染まる薔薇園 コア1↓0 レベル2↓1」

「シヨコドラコア 1↓0 消滅」

「小聖女ロメーダ コア1↓0 消滅」

「皇帝龍カイゼルドラゴン コア3 レベル2 BP13000」

「来たわね。『冠座の皇帝』が」

「コスト8の赤スピリットがフル軽減で…」

「シヨコドラ、ロメーダ、伯爵ココ、スカイ、観測所、薔薇園。これで最大軽減です。」

「そして更に召喚時効果発揮！」

「っ！」

「私のデツキトツプ6枚オープン」

●オープンされたカード

・《ネオ・ケルベロード》(ブレイヴ)

・《乙女星鎧ヴァルゴブレイブ》(ブレイヴ)

・《ディーバメドレー》(マジック)

・《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》(ブレイヴ)

・《幻獣神姫エキドウナ》(スピリット)

・《アルティメット・リーン》(アルティメット)

「良かった。このオープンした中にあるブレイヴカード『3枚』を手札に加えます」

「…ふあっ!？」

「《ネオ・ケルベロード》、《乙女星鎧ヴァルゴブレイブ》、《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》。以上のブレイヴを手札に加え、残りは好きな順番でトツプに戻しますね。」

「下から《アルティメット・リーン》、《ディーバメドレー》、《幻獣神姫エキドウナ》と戻します」

(祐依手札3↓6)

●戻した順番

1 番上 《幻獣神姫エキドウナ》

2 番中 《ディーバメドレー》

3 番下 《アルティメット・リーン》

「ぶ、ブレイヴが3枚も手札に…」

「…お疲れ様」

「か、肩ポンするな彩音！ まままだわかんないだろ!？」

「次どう凌いでくれるのか楽しみだねえ姉さん♪」

赤 スピリット

《皇帝龍カイゼルドラゴン》

コスト8 軽減赤6 <星将・星魂・古竜> 『冠座』

<1> Lv1 BP7000

<3> Lv2 BP13000

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から6枚オープンできる。その中のブレイヴカードを好きなだけ手札に加える。

残ったカードは好きな順番でデッキの上に戻す。

Lv2 『???』

???:

「まだシンボル1つなら…」

「そういえば先程のロメーダのドロイーで良いのを引いたんだ」

「…え?」

「これ。皇帝龍に直接合体させるね」

(手札6↓5)

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 直接合体

皇帝龍カイゼルドラゴン (合体)

「聖天馬スカイ コア2↓1 レベル4↓3」

「歌姫伯爵ココ コア2↓0 消滅」

(トラッシュ3↓6)

「コスト：8+5=13」

「BP：13000+5000=18000」

「合体時効果：追加・発揮可能」

「シンボル：赤+黄=赤黄」

「……」

「アタックステップ。皇帝龍、剣刃合体アタック！」

「き、来た…！」

「闇黄剣の効果は知ってるよね?」



「祐依と祥子から嫌ってぐらい教わったからな…」

「ならもう一つ、皇帝龍レベル2の合体時効果!」

「やっぱあるのか!」

「この皇帝龍より低いBPのスピリット、アルティメットがブロックしたとき、ライフ2つをリザーブに送ってもらおうよ!」

「なっ、貫通効果!?!」

《皇帝龍カイゼルドラゴン》

【合体時】Lv2 『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットよりBPの低い相手スピリット／アルティメットにブロックされたとき、相手のライフのコア2個を相手のリザーブに置く。

「皇帝の威光の前に、究極だろうと平伏す。そういう事よ」

「くっ、こっちは明らかBPが足りない…」

ブロックしなければ私のライフが増えてドロー+ライフ2点を飛ばし、ブロックしてもライフ2点飛ばし+回復し再度アタック。

手札にブレイヴを剥がせるカードがあれば…。

「リューマン・ライトニングでブロックだ!」

「ならまず回復効果から発揮させて、皇帝龍は回復。次に合体時効果により、姉さんのライフ2つをリザーブに置きます」

「守ってもライフを貫くのは、流星赤の効果だよな…!」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ0↓2)

「フラッシュタイミング!」

「っ!」

「マジック《ネイチャーフォース》! リザーブから2つと、足りないコアはエクス・ムゲンドラから1つ受け取る!」

(悠姫手札5↓4)

(リザーブ2↓0)

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ7↓10)

「トラッシュにあるコア全部をリューマン・ライトニングに移す!」

(トラッシュユ10↓0)

「リューマン・ライトニング コア2↓12 レベル2↓3 B P  
7000↓10000」

「更にフラッシュユタイミングでマジック《ブリッツオーダー》！」

「っ！ 白のマジック…」

「コストはリューマン・ライトニングから受け取る！」

カイゼルドラゴンを手札に戻させ、リューマン・ライトニングを回復させる！

(手札4↓3)

「リューマン・ライトニング コア12↓5」

(トラッシュユ0↓7)

「：闇黄剣ごと、手札に戻させてもらおうね」

「皇帝龍カイゼルドラゴン (合体) 手札へ」

(祐依手札5↓7)

(リザーブ0↓3)

リューマン・ライトニングを生き残らせた…。まさかほぼ囷にしたのかな？

「逃がしたか…」

「そう簡単に闇黄剣はやらせないよ」

「しかし上手いこと捌いたわね」

「相棒のドローで《ネイチャーフォース》を引かなかったらそのまま負けてたかもな」

…あの時手札に引き込んでいた。少しずつ調子が戻ってきてる証拠ですね。

「ターンエンドです」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ。：凌ぎ切ったものの、ここから逆転は厳しいか？」  
確かに厳しいは厳しいかも知れません。

私のライフ5つをこの1ターンで0にしなければ、次に待っているのは幻獣神姫とアルティメットです。私の手札7枚中5枚は割れているというなか、ここからお姉ちゃんはどう動くのか。

「祐依の手札のうち4枚がブレイヴ、内1枚が皇帝龍。：残りの2枚は何だ…?」

さて、何でしょう？

「……………」

大いに悩んでますね。

そうです。落ち込む暇や負けを想像するより、この状況を打開して、勝つ糸口を見つける方が良いに決まっています。

「いや、そんなことは無い。ここは頼むぞ、マジック《ネオ・ダブルドロ》！ 2枚のドロに賭ける！」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュ0↓2)

2枚ドロとはいえほぼ賭けですね…。でもお姉ちゃんがここで賭けに出るということは…………

「来てくれよ…っ！」

2枚…ドロだ!!」

(手札3↓5)

「……………っ！」

「…如何です？」

「……皆が自分の〃切り札を引いた〃気持ち少し理解できた気がするよ祐依」

「っ!？」

「ネクサス、《超新星の輝き》を配置!!」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュユ2↓4)

「…っ!? まさかそれ、入っていたというの!?!」

「璃恵とのバトルのときは引けなかったが、今回やっと引けた!」

ま、まさか…、お姉ちゃんが「あれ」を持ってたなんて知らなかった…。 しかもそれを出して来たってことは、今まさに引いてきたんだ…!」

「配置時効果。配置したターン、手札にある「こいつ」のコストを今の私のライフと同じにする! つまり、コスト1!

ただ「こいつ」を召喚する条件として、赤のスピリットが3体いないといけない!」

来ますね…: 「三龍神」が…!

「リューマン・ライトニング。そしてムゲンドラゴンとエクス・ムゲンドラの相棒2人! 召喚条件は満たした!

さんりゅうじん

三龍神アルティメット

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》!!

0コスト、レベル5で、召喚だ!!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5 レベル5 B P 30000」

「かつての『激突王』の切り札が、究極となって悠姫が使うことになるなんてね…」

「いくぞ! 召喚時Uトリガー!」

「っ、まさか皇帝龍の効果が裏目に出るなんて…。 コスト6《幻獣神姫エキドウナ》です」

「ヒット!!」

次にエキドウナと闇黄剣で最後かと思いましたが、勘が戻ってきたお姉ちゃんにそう上手く行かなくなりましたね。しかも、ヒットしたこと…

「ヒットしたコスト分、ボイドからコアをライフが5つになるまで置く！」

ヒットしたコストは6！ これでライフ、全回復だ!!」

(悠姫ライフ1↓5)

赤 アルティメット

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》

コスト8 軽減赤4 <三龍神・星龍>

【召喚条件：自分の赤スピリット3体以上】

<1> Lv3 BP15000

<3> Lv4 BP20000

<5> Lv5 BP30000

シンボル：極

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

Uトリガーがヒットしたとき、トラッシュに置いたカードのコスト1につき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。(ライフは最大5まで)

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手は可能ならスピリット／アルティメットでブロックする。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードがコスト4以下なら、さらに、BP12000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

赤 ネクサス

《超新星の輝き》

コスト4 軽減赤2極1

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このネクサスの配置時』

このターンの間、自分の手札にある系統：<三龍神>を持つアルティメットカードすべてのコストを、自分のライフと同じ数にする。

Lv2『自分のメインステップ』

系統：＜三龍神＞を持つ自分のアルティメットを召喚するとき、自分のアルティメットをスピリットとしても扱うことができる。

「最後にムゲンドラゴンとエクス・ムゲンドラをレベル2にして、バーストセット！」

「リューマン・ライトニング コア5↓3」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓2 レベル1↓2」

「ムゲンドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓5000」

（手札3↓2）

（バースト：無し↓セット）

「アタックステップ、Uジークヴルム・ノヴァでアタック！ もうひとつのアタック時Uトリガー！」

「コスト6、マジック《『ディーバメドレー』！」

「ヒット！ 可能なら必ずブロックだ！」

「：フラッシュはありません。聖天馬スカイでブロックします」

「何もなければ…！」

「そのまま破壊されます…！」

「聖天馬スカイ 破壊」

（祐依リザーブ3↓4）

「続けてエクス・ムゲンドラでアタック！ アタック時効果で1枚ドロ…！」

（悠姫手札2↓3）

「ライフで受けます！」

（祐依ライフ5↓4）

（リザーブ4↓5）

「リューマン・ライトニングもアタックだ！」

「そちらもライフで受けます！」

（祐依ライフ4↓3）

（リザーブ5↓6）

「これで逆転！ターンエンドだ！」

一気に形勢が傾きましたね…。あれを返されるとは思いもよりま

せんでした。

〈祐依・第十ターン〉

「スタート、ステツプ」

(リザーブ6↓7)

(手札7↓8)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ7↓13)

「メインステツプ。…ちよつと困りましたね」

「ドロ―したのはアルティメット・リーンとかいうアルティメットだろ？ 場にスピリットが存在しないのなら召喚は出来ないぞ」

「ええ。百も承知。でも…」

「…？」

お姉ちゃんの超新星の輝きのように、召喚条件を補うものは黄色にもあるってことです。

「では。《勇神将オウ・リユート》、レベル1で召喚します」

(手札8↓7)

(リザーブ13↓9)

(トラッシュユ0↓3)

「勇神将オウ・リユート コア1 レベル1 BP4000」

「知らないスピリットだ…」

「このスピリットは、私の手札にある『虚神』のコストを5にします」「っ!? そいつもコスト変えるのか!」

「慈悲深き、黄金の守護獣！

《アルティメット・スフィנקロス》！

レベル4にて、降臨！」

(手札7↓6)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュユ3↓5)

「アルティメット・スフィנקロス コア2 レベル4 BP19000」

「こ、コスト10のアルティメット!? Uノヴァよりデカイ…!」

「過去〃6つの世界〃を虚無に還し、〃六楯の世界〃で甦り、今究極となつて〃2つの世界〃を護る〃虚無の神〃よ」

感慨深いですよね…。今まで世界と敵対していたのが、今度は味方として一緒に戦ってくれるなんて。

…と、感傷に浸るのは後にして、続行します。

「Uスフィークロスの召喚時効果発揮！」

「っ！」

「私の手札にある系統：＜虚神＞、＜想獣＞を持つスピリット、またはアルティメットをノーコストで召喚します！」

「なっ、アルティメットをノーコスト召喚だど!？」

「召喚するのはもうお分かりですね！」

「黄金の魂、金色こんじきの四肢！」

黄昏の雲海を駆ける究極の聖獣！

《アルティメット・リーン》！

レベル5、招来!!」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓1)

「アルティメット・リーン コア4 レベル5 BP21000」

「そして…」

「ちよ、ちよと待て祐依！」

「? 何?」

「そのUリーン、召喚条件が〃黄スピリット2体以上〃って書かれてるじゃないか！ でもさっきまで祐依の場にはその黄スピリット1体しかないぞ！」

「ええ。そこはこの星見の観測所レベル1からの効果です」

《星見の観測所》

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このネクサスをコスト1の黄のスピリット2体として、召喚条件に数えることができる。

「つまりこのネクサスがUリーンの召喚条件を満たしてくれているんです」



「黄色にも便利なネクサスがあるんだな…」

「他の色だって好き勝手やってるんです。黄色だってこれぐらいやっただって良いんだよ」

いつもいつも「黄色は年中お花畑」なんて言われて悔しい思いしてるんですからこれぐらいは評価してほしいものです。

「：おほん。観測所をレベル2にしてアタックステップに入ります」  
(リザーブ1↓0)

「星見の観測所 コア0↓1 レベル1↓2」

「Uスフィנקロスで、アタック。アルティメットトリガー、ロックオン！」

「10とかカウンター以外どうしろってんだよ…。 コスト5、ブレ

イヴ《ネオ・ケルベロード》」

「ヒットですね。まず観測所の効果でドローします」

(祐依手札5↓6)

「ヒット時効果。私のトラッシュにある黄のカード、歌姫伯爵ココを手札に戻します」

(手札6↓7)

「回収効果!?!」

「しかも『黄のカード』と、色しか限定してないからマジックだろうとアルティメットだろうと回収できる優れた虚神よ」

黄 アルティメット

《アルティメット・スフィנקロス》

コスト10 軽減黄3極2 <新生・虚神>

<1> Lv3 BP13000

<2> Lv4 BP19000

<3> Lv5 BP25000

シンボル：極

【召喚条件：自分の黄スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

自分の手札にある系統：<虚神>/<想獣>を持つスピリットカード/アルティメットカード1枚をコストを支払わずに召喚できる。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分のトラッシュにある黄のカード1枚を手札に戻す。

「アタックは？」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「Uリーン、アタック！　　〴〵ダブル・アルティメットトリガー〴〵、ロツクオン！」

「だ、ダブル!？」

「悠姫、Uリーンが持つトリガーよ。2枚めぐりなさい」

「に、2枚か…。…コスト4《アルティメットウォール》とコスト5《爆裂十紋刃》

「〴〵ダブルヒット〴〵です！」

「普通のヒットと違うのか?!」

「クリティカルヒットみたいなものだよ。先に観測所の効果で2枚ドロウするね」

(手札7↓9)

「ヒット効果。ムゲンドラゴンとリユーマン・ライトニングを指定！

このバトルの間、その2体はブロックできません！」

「何っ!？」

「起き上がられても困るからね」

「でも、まだ1点なら…」

「Uリーン、レベル5の効果！」

「っ!」

「Uリーンに黄シンボルを1つ追加します！　　つまり…」

「黄と究極のダブルシンボル!？」

黄　アルティメット

《アルティメット・リーン》

コスト6　軽減黄3　＜新生・想獣＞

＜1＞　Lv3　BP11000

<2> Lv4 BP15000

<4> Lv5 BP21000

シンボル：極

【召喚条件：自分の黄スピリット2体以上】

【WUトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたUトリガー1回につき、相手のスピリット／アルティメット1体を指定する。

指定したスピリット／アルティメットはブロックできない。

【ダブルヒット】：Uトリガーが2回ヒットしたら、さらに、このターンの間、自分のアルティメットすべては、BPを比べ破壊されたとき、回復状態でフィールドに残る。

Lv5

このアルティメットに黄のシンボル1つを追加する。

「ま、まさかアルティメットがダブルシンボルになるなんて……ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ1↓3)

「ライフ減少でバースト！ 《救世神撃覇》！」

BP6000以内のオウ・リユートを破壊！」

「むう。いいですよ」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「勇神将オウ・リユート 破壊」

(祐依リザーブ0↓1)

「追加でコストを支払って、1枚ドローだ！」

(リザーブ3↓2)

(トラッシュユ4↓5)

(手札3↓4)

「バーストは…無い」

「成程。ならこれでターンエンドです」

〈悠姫・第十一ターン〉

「まだやれる…。スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ3↓8)

「これなら…！メインステップ。」

召喚、《リューマン・ファンタジスタ》！」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓3)

(トラッシュユ0↓4)

「リューマン・ファンタジスタ コア1 レベル1 BP5000」

うーん、ちよつとまずいのが来てしまいましたね…。

「更に召喚、《メテオドライアン》レベル2！ レベルにはムゲンドラゴンから受け取る！」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ4↓6)

「ムゲンドラゴン コア2↓1 レベル2↓1」

「メテオドライアン コア2 レベル2 BP6000」

「アタックステップ。開始時にリューマン・ファンタジスタの効果発揮！　トラッシュユのコア全部を系統：＜竜人＞を持つスピリット、アルティメットへ好きなように置かせてもらう！　置くのはリューマン・ファンタジスタに全部だ！」

(トラッシュユ6↓0)

「リューマン・ファンタジスタ コア1↓7 レベル1↓3 BP5000↓11000」

「更にレベル2からの効果、私の場のアルティメット1体につき、系統：＜竜人＞スピリットすべてのBPをプラス5000！」

こっちのアルティメットはUジークヴルム・ノヴァがいる。よってファンタジスタとライトニングは5000アップ！」

「リューマン・ファンタジスタ BP11000+5000=16

000]

「リューマン・ライトニング BP10000+5000=15000」

赤 スピリット

《リューマン・ファンタジスタ》

コスト7 軽減赤2極2 <護将・竜人>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：赤赤

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

ステップ開始時、自分のトラッシュのコアすべてを、系統：<竜人>を持つ自分のスピリット／アルティメットに好きなように置く。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のアルティメット1体につき、系統：<竜人>を持つ自分のスピリットすべてをBP+5000する。

「……」

「……どうやら誰からアタックするか迷っているみたいです。確かに、ここでアタックする順番を間違えると返してこちらが有利になります。」

要のUノヴァのブロック強要は、UリーンもUスフィンクロスも疲労しているためライフ1点以外は意味無し。

ファンタジスタでアタックするならライフ2点を狙えなくはない。しかし、私の手札に防御系のマジックが無ければの話です。

エクス・ムゲンドラ、メテオドライアンなら、ドロローを狙えます。

「……リューマン・ファンタジスタで、アタック！」

ライフを優先してきましたね。

「……でも……！」

「フラッシュタイミング！」

「っ！」

「マジック《シンフォニックバースト》を使用します！」

(祐依手札9↓8)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ5↓6)

黄 マジック

《シンフォニックバースト》

コスト3 軽減黄2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このバースト発動時に破壊された、自分のトラッシュユにあるコスト5以下のスピリットカード1枚を手札に戻す。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュユ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このバトルが終了したとき、自分のライフのコアが2個以下なら、アタックステップを終了する。

「このバトルが終了したとき、私のライフが2つ以下ならアタックステップを強制終了させてもらいます！」

「何!？」

「もちろんライフで受けます！」

(祐依ライフ3↓1)

(リザーブ0↓2)

「ライフ減少によりバースト発動！」

「こ、ここですか!？」

「バースト、《絶甲氷盾》です！」

「ずっと伏せてたのはそれだったのか…!」

「ライフ回復の目処が立ってたからなかなか使う機会がなかったただけだよ。ライフ1つ回復して、フラッシュユは使わないね」

〔祐依バースト：セット↓発動〕

(祐依ライフ1↓2)

「ライフが2つだから、アタックステップは強制終了だよ」

「くっ…ターンエンドだ…」

〈祐依・第十二ターン〉

「ラストターンになりそうだね。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札8↓9)

(トラッシュ6)

(リザーブ3↓9)

「メインステップ。まずは、さつき回収した《歌姫伯爵ココ》。0コスト、レベル2でアンコール！」

(手札9↓8)

(リザーブ9↓7)

「歌姫伯爵ココ コア2 レベル2 BP8000」

「更に、究極へと到りし大天使

《アルティメット・ミカファール》！

レベル4、降臨！」

(手札8↓7)

(リザーブ7↓2)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・ミカファール コア2 レベル4 BP1400」

「最後にUスフィנקロスをレベル5にして、アタックステップに入ります」

(リザーブ2↓1)

「アルティメット・スフィנקロス コア2↓3 レベル4↓5

BP19000↓25000」

「伯爵ココの効果。私の黄アルティメットのコストをプラス2します」

「アルティメット・リーン コスト6+2≡8」

「アルティメット・ミカファール コスト6+2≡8」

「アルティメット・スフィנקロス コスト10+2≡12」

「Uミカファール、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！  
！」(「)ちからのコストは8です！」

「くっ……」

「ヒットしたら間違いないくアレが来るわよ悠姫」

「解ってるさ。……っ！ コスト7、《アルティメット・ジークフリーデン》だど!?!」

「おっと危なかった…。とにかくヒット！ 伯爵ココと観測所の効果でドローー!」

(祐依手札7↓9)

ここでお姉ちゃんは、カウンターでミカファールをどうにかしない限り、ここで詰みます。

「……………フラッシュは、無い」

「ならこちらのフラッシュユタイミング。マジック《アルティメットプラズマ》をノーコストで使用します」

(祐依手札9↓8)

「姉さんのスピリット2体、エクス・ムゲンドラとリューマン・ライトニングをデツキボトムへ戻してもらいます」

「くそっ、すまない相棒達…」

「エクス・ムゲンドラ デツキボトムへ」

「リューマン・ライトニング デツキボトムへ」

(リザーブ0↓5)

「そして2体戻したので2枚ドロー。」

Uミカファールのヒット時効果。姉さんのスピリットをバウンスしたため、ライフ1つをリザーブへ置いてもらいます」

(祐依手札8↓10)

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ5↓6)

「アタックはどうしますか?」

「ムゲンドラゴンでブロックするしかない…!」

(悠姫リザーブ6↓7)

本当ならUリーンアタック、WヒットからのUミカファール特攻でも良いかと思っただんですが、Uプラズマのコスト上先に使ってしまったと腐る可能性極大ですからね。

「続いてUリーン、アタック! ダブルアルティメットトリガー、ロツ



クオン！ こちらもコストは8です！」

「——コスト4、マジック《ネオ・ダブルドロー》。コスト4、マジック《アルティメットイレイザー》……！」

「ダブルヒット！ 伯爵ココで1枚、観測所で2枚ドローします！」  
(手札10↓13)

「ヒット時効果により、Uノヴァとメテオドライアンには黙っていてもらいますー！」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ ブロック不能」

「メテオドライアン ブロック不能」

「ブロッカーが……！」

「終わりです。Uリーンは、ダブルシンボル！」

「くっそお……届かなかったかあ……！」

(悠姫ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 祐依〕

「お疲れ様姉さん。Uノヴァを出されたとき、ちよつとヒヤツとしたよ」

「お疲れ。はあ……、敵わなかったか……」

「悠姫も段々火が点いてきたじゃない。デッキの割にはなかなかだつたわ」

「……それは褒められてるのか？」

「半々ぐらいよ。さあ、まだ調教は始まったばかりよ！」

「だから調教って言うな！」

## 特訓とシ行錯誤・赤編

——戻って悠姫視点——

祐依と彩音の激励という名のスパルタ特訓の甲斐があった…だろうか。これ以上落ち込まず、気持ちをいくらか立て直すことができた。やり方はかなり前衛的だったが、下手に慰められるよりはマシなのかも、私の場合。

で…、二人との対戦の後だが…

「究極へ進化せし七将の三、《アルティメット・デスペラード》！」  
軒並みコアを吹き飛ばされるわ…。

「黄金の旋律奏でる究極の大天使、《アルティメット・イスフィール》！  
クリティカルヒットにより、マジック2枚をノーコストで使用できます。使用するのには、《アルティメットプラズマ》2枚です！」

マジックを連発されて軒並み更地にされて、おかしなくらいライフを増やされたりと、まあ手加減無しはキツイキツイ。1回も取れなかった。

「い、一旦休憩！」

「まだ5戦目よ」

「祐依と合わせたら10戦してるだろうが！」

「…そうですね、ちよつと休憩しましょうか」

さすがの私でも怒るぞ！ つ、疲れた…。コア計算やら何やらで頭ががが…。

「は…い。皆お疲れ様〜」

すると、間を見計らってたのか董さんが飲み物を持って来てくれた。本来飲食はダメなんだが、VIPルームみたいところだから大丈夫なのだから。で、お言葉に甘えて飲み物を受け取る。

「は…い。悠姫ちゃんはこっちね〜」

「？ ありがとうございます」

「こつち、と受けとつたのは…何だこれ？ 祐依と彩音がもらったのとは色が違う。良い香りがするけど…。」

「店長特製ハーブティーです♪」

「特製…。い、いただきます…」

「恐る恐る飲んでみる。…。あ、美味しい。」

「頭を使ったらスッキリするものが一番よね♪」

「これすごく美味しいです。ありがとうございます董さん」

「さて、美味しい紅茶もいただいたことだし、バトル再開と行きましよう」

「ちよい待った」

「何かしら」

「…私に04のカード使わせてください」

「さすがにもう限界が見えた。」

「てかいい加減私にも新しいカードを使わせろくださいと懇願。いつまでもこちらだけ後手なのも不満だし。」

「まあいいでしょう」

「じゃあ買ってくる。…買えるかな」

「買うの？ ならシングルで買った方がいいよ姉さん」

「シングル…単品か。いいの？」

「さっきも言ったけど、悠姫は1弾遅れてるの」

「うん」

「ハッキリ言うと、〃05発売間近〃なのよ」

「……マジで？」

「…彩音が1弾遅れてるって意味がようやく理解できた。てか、04と05を考えると2弾遅れてるってことになるのか？」

「………」

「……♪」

「…董さん」

「はっ♪」

「お、オススメの赤のカード教えてください…」

——その後、夜。自室にて。

「はああ……」

「そんな落ち込まないでよお姉ちゃん」

あの後、祐依、彩音、董さん三人に04のカードを教えてもらった、  
のはいいんだが…。

「赤単色じゃいけないってのはちよつとな」

「まあ、【赤緑】が大プッシュユされた弾だから仕方ないよ」

「アルティメットバトル04」。

各色が本気を出しはじめた弾であり、公式が『白紫に対抗させるため赤と緑の手を組ませた』弾でもあるらしく、それが私の…祐依と彩音も…頭を悩ませている。

「今までお姉ちゃんは赤単がメインだったから、抵抗があるのかもね」  
「む〜ん…」

試しに今バラして再構築しているメインのデッキとは別に、祐依の手を借りて噂の【赤緑】を組んでみた。

「これはもう私のデッキじゃなくなるな」

「なら、クローフオックスをこの《六分儀剣のルリ・オーサ》に換えて  
みたらどうかかな？」

赤軽減もあるし、召喚時に2コア増やして赤にもなれてついでに手  
札守れるよ」

緑 スピリット

《セクスタント六分儀剣のルリ・オーサ》

コスト4 軽減緑2赤1 <殻人・星魂> 『六分儀座』

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：緑

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア1個ずつを、自分の赤のスピリット2体に置く。

Lv2

このスピリットの色とシンボルは赤としても扱う。

L v 2

自分の手札は相手の効果を受けない。

「普通に強いな」

「赤緑に調整された《要塞蟲ラルバ》。」

コスト、コア効率、系統、効果。どれを取っても文句の付けようが無いスピリットだよ。…そのせいで彩音さんが頭抱えてたけど」

ああ、「何でついみたいに手札守ってんだこいつは！」って騒いだな。

手札を減らす効果がある紫にとつちや、コアを増やして手札も守ると厄介この上ないカードだろう。

「ふむ…」

「これなら、《ライフチャージ》も外せて他のカードを入れられるんじゃないかな」

確かに。クローフォックスもマトモな扱われ方してなかったしな…。じゃあ、クローフォックスはルリ・オーサに換えるとして、私気になったのはリューマンシリーズだ。

「…なんでリューマンたちは三龍神サポートになったんだ？」

04で出た《リューマン・スカイソード》、《リューマン・ランドアックス》、《リューマン・レイランサー》。

この3枚、系統は<竜人>なんだが、完全に三龍神アルティメットサポートになっていて、私のデッキにや入らない。入るわけがない。

赤 スピリット

《リューマン・スカイソード》

コスト1 軽減赤1 <竜人>

<1> L v 1 B P 1 0 0 0

<2> L v 2 B P 2 0 0 0

<3> L v 3 B P 3 0 0 0

シンボル：赤

L v 1・L v 2・L v 3 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から3枚オープンできる。その中の系統：<三龍

神〉を持つアルティメットカードすべてを手札に加える。

残ったカードは好きな順番でデッキの下に戻す。

L v 1・L v 2・L v 3 【スピリットソウル：赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」（赤のシンボル1つ）を追加する。

赤 スピリット

《リ्यूマン・ランドアックス》

コスト3 軽減赤1極2 <竜人>

<1> L v 1 B P 2 0 0 0

<2> L v 2 B P 4 0 0 0

<3> L v 3 B P 5 0 0 0

シンボル：赤

L v 1・L v 2・L v 3 『このスピリットの召喚時』

自分のトラッシュにある系統：<竜人>を持つスピリットカード1枚を手札に戻す。

L v 3

自分のアルティメットが系統：<三龍神>を持つアルティメットしかない間、自分のアルティメットすべてを、そのアルティメットが持つ最高L vとして扱う。

赤 スピリット

《リ्यूマン・レイランサー》

コスト5 軽減赤2極1 <竜人>

<1> L v 1 B P 4 0 0 0

<4> L v 2 B P 8 0 0 0

シンボル：赤

L v 1・L v 2 『自分のメインステップ』

系統：<三龍神>を持つ自分のアルティメットが召喚されたとき、自分のデッキを上から5枚オープンできる。

その中の系統：<三龍神>を持つアルティメットカード1枚を、コストを支払わずに召喚する。

ただし、すでに同じカード名の自分のアルティメットがいるときは

召喚できない。

残ったカードは破棄する。

：とまあ、現状私が唯一持っている三龍神アルティメットが《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》しかない今、入れてどうこうできるカードじゃない。：せっかくレイランサーはイラストがカッコイイのに。

次にアルティメットだが、彩音が使っていた《悪魔姫バイザク》と似た効果を持つ《フレイム・クーガー》と、祐依が使ってた《アルティメット・スフィンク로스》と同じ虚神アルティメット、《アルティメット・カタストロフドラゴン》。

赤 アルティメット

《フレイム・クーガー》

コスト4 赤2極1 <次代・皇獣>

<1> Lv3 BP6000

<2> Lv4 BP8000

<3> Lv5 BP10000

シンボル：極

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

自分のトリガーがガードされたとき、自分のトラッシュにあるコスト3以下の赤のスピリットカード1枚を手札に戻す。

【トリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、自分はデッキから2枚ドローする。

赤 アルティメット

《アルティメット・カタストロフドラゴン》

コスト10 軽減赤3極2 <新生・虚神>

<1> Lv3 BP15000

<2> Lv4 BP20000

<4> Lv5 BP30000

シンボル：極

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

系統：＜古竜＞を持つ自分のスピリット／アルティメット1体につき、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【トリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、相手のスピリット／アルティメットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

クーガーは採用として、Uカタストロフドラゴンをどうするかな。効果はUジークフリーデンとUジークフリードを合わせたような感じ。…トリガー効果を目当てで入れる、か？

「あまり現実的じゃないかな。お姉ちゃんがりユーマンに括るとなるとね」

「…なら見送るか」

まったく、どうしてこう…。とにかく、言われた通り赤を中心とするため…やむなく紫、緑、黄、青のカードを抜き、必要な一部の緑と黄のカードだけ残す。

……まあスッキリしたこと。

「はあ…。皆に申し訳ないな本当に」

「仕方ないよ。さあ、ここから次に向けて仕上げてこう」

・  
・  
・

「合法的に悠姫さんを調教できると聞いて!!」

「会長、生徒会の品位を損ねるような発言は非常に困ります」

次の日の放課後の生徒会室。

粛々と雑務を片付けていたところに、用事から戻ってきた生徒会長  
の豪快かつ誤解を生みまくる発言でぶち壊された。

なんつーことを大声で言うんだこの人は。

「碧！これは由々しき事態なのです！」



「会長の頭が由々しき事態なのでは？」

私と祐依はペンが止まってしまったが、他の生徒会メンバー、佐々森先輩、祥子、朱莉はいつものことだどこ吹く風。唯一雫が顔を赤くして小さくわたわたしてゐるぐらい。

「それより会長、天音はどうしたんですか？」

「天音には重要任務を頼みました」

「……またどうでもいいことを頼みましたね」

「どうでもいい訳ありません！ アルティメットバトル05の事前予約という重要任務です！」

大鳳先輩にお使いを頼むとは。先輩も断らないのかな…。

「…悠姫センパイ悠姫センパイ」

「ん？」

佐々森先輩がマリア会長に説教してるのを横目に、ヒソヒソと朱莉が話し掛けてきた。

「今日佐々森センパイ、ちよつとピリピリしてるじゃないっスか」

「まあ、少しな」

「あれ、凰空センパイがいないからんスよ」

「…へえ」

「寂しいんスね。ところで会長が言ってる調教って何なんスか？ 新手のプレイっスか？」

「何馬鹿なこと言ってるのよ」

すると更に朱莉の隣の祥子が会話に参戦してきた。

「…で、実際のところどうなんですか？」

「どうって…」

とにかく説明するために祐依と雫も呼んでかい摘まむ…程も無い事情を話す。

「なーんだつまんねッス」

「結局、悠姫先輩の怠慢が原因ってことですね情けない」

「ふ、二人とも…ちよ、ちよつと言い過ぎだよ…。せ、先輩だって…」

「いいよ雫、情けないのは事実なんだし。しかしつまんねえとはなんだ朱莉」

三者三様に苦笑。思ってたより罵倒が来なかったのが意外だった。祥子ならもう少しキツツイお小言が来てもおかしくない。

「…今失礼なこと考えました？」

「考えてない」

「そうですね。…まあ、そうなってしまいうのもまた試練です。一度自分を、デツキを見つめ直す良い機会だったんじゃないですか？」

「……………」

意外だ。祥子から励ましを貰うとは。…明日は雨か。

「祥子、今日調子悪いツスか？」

「なっ!? 失礼ね!」

「まままツンデレ祥子はほつといて。センパイ、アタシとバトルしましょうよ♪」

「ほつとくな!あとツンデレじゃない!」

いやまあバトルするのは構わないが、作業はどうするんだ。

「どーせ会長も佐々森センパイもあーなったら長いツス。後でまた皆でまとめてやるツスよ」

「いいのかそれ…」

「ですから会長…」

「はいはいお説教は後でまとめて聞きます。それより悠姫さんの相手はわたくしが勤めます!」

「えー!?会長ズルいツスよー!」

「会長権限です!」

「職権乱用ー!」

「……………はぁ」

「佐々森先輩、私もやりますから」

「ありがとう祐依さん。…後で会長と朱莉も一緒にお説教です」

「さあ!バトルフィールドの準備を!」

会長のその一声で素早く場を準備しだす祥子と朱莉。祐依と雫は僅かに残った雑務を片付けて。…私は、その…。

「緋立さん」

「は、はい」

「会長のお相手をお願いしてもいいですか？」

「はい…。分かりました」

「いつも面倒をかけて申し訳ありません」

とりあえず了承は得た。…私が生徒会に手伝いに來てる理由って大体会長絡みだよな。

「マリア姉様、準備ができました」

「いつでもオツケーっスよー」

「ご苦労様、二人とも。」

では悠姫さん！いざ、魂の戦いを！」

緋立 悠姫

【初心の赤】

VS

赫蓬院 マリア

【??】

「遅れを取り戻す、自らの心に喝を入れる。まさしく、お互い鎬を削り磨きを掛ける良い機会です」

「はい」

「あの『白銀の璃恵』に勝つのは容易ではありません」

「痛いくらい実感してます」

「ならばわたくし達を踏み台に、もっと磨きを掛けるのです」

前に初めてマリア先輩と対戦したときみたいに、まぐれ勝ちはできない。…氣を引き締めて掛かる。

〈マリア・先攻第一ターン〉

「では先攻はいただきます。絳焰ひえんの第一ターン！ スタートステップ！」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。まずお決まりのネクサス、《英雄皇の神剣》を配置！」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ0↓3）

「やっぱ【バースト】デツキですか…」

「わたくしと言えばこれですからね。更にバーストセット！」

（手札4↓3）

（バースト：無し↓セット）

「神剣の効果、ターン中に一度、バーストをセットしたとき1枚ドロ！」

（手札3↓4）

「ターンエンド！」

マリア先輩の初手は完璧だな。前と同じバーストデツキみたいだが、04になってどう変わったのか…。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ4↓5）

（手札4↓5）

「メインステップ」

さてと…、どうするか。

相手はあのバーストデツキ。下手に攻めれば痛いしつぺ返しを喰らってしまう。ならここは向こうのアタックを抑制させるのが良いか。

「ネクサス、《狩る者の集落》をレベル2で配置」

（手札5↓4）

（リザーブ5↓0）

「狩る者の集落 コア2 レベル2」

「バーストをセットして、ターンエンド」

（手札4↓3）

〈マリア・第三ターン〉

「成程慎重ですね。絳焔の第三ターン、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ！ 《カグツチドラグーン》をここに！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「カグツチドラグーン コア1 レベル1 BP3000」

「やっぱり迦具土かぐつちの竜が来たか…」

「なかなか有用なスピリットですからね。アタックはせずこのままターンエンドと致しますわ」

「お互い慎重つスね」

「悠姫先輩は殊更慎重になるわよね。マリア姉様に迂闊に攻めたら、あつという間に焦土になるから当然と言えば当然ね」

「でも悠姫センパイは、教訓もあつて一手抑えてきてるつス」

〈悠姫・第四ターン〉

「まずは良し。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。召喚、《エクス・ムゲンドラ》。レベル1」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓1)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1 BP2000」

「更に召喚、《フレイム・クーガー》レベル4。コストとレベルは集落から受け取る」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

「狩る者の集落 コア2↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ1↓3)

「フレイム・クーガー コア2 レベル4 BP8000」

「アタックステップは何もせず、ターンエンド」

「動かないっすねー」

「悠姫先輩もエクス・ムゲンドラをレベル2にしてアタックすればカグツチドラグーンを越えられたのに、慎重ね」

「：お？ 会長を心配しないなんて珍しいっすね」

「なっ!? ね、姉様は完璧よ!」

「あーはいはい」

〈マリア・第五ターン〉

「絳焔の第五ターン、スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。アルティメットは厄介ですね。悠姫さんの相棒も、居座られると危険極まりない。なれど、こちらも手筈というものがあります。」

《六分儀剣のルリ・オーサ》! レベル2でここに!」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル2 BP5000」

「あ、それ…」

「その様子では悠姫さんのデッキにも入っているようですね」

「ギクツ…」

「仕方ないと言えば仕方ありません。赤も喉から手が出る程コアが欲しいのですから。コア不足に悩まされるのは赤、紫、黄、青の尽きない課題です。…まあ、それも今後出るカードにもよりますが」

コアが足りないということは、行動も限られるということ。豊富にあるに越したことはない。

「召喚時効果！ わたくしの赤のスピリット2体にボイドからコアを1つずつ置きます！ 現在ルリ・オーサはレベル2、そして赤としても扱われているため、カグツチドラグーンとルリ・オーサにもコアを置きます！」

「カグツチドラグーン コア1↓2」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓3」

「そしてルリ・オーサのコア1つをカグツチドラグーンに移し…」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア3↓2」

「カグツチドラグーン コア2↓3 レベル1↓2 BP3000  
↓6000」

「ネクサス、《天空を貫くバリスタ》を配備！ コストはルリ・オーサから！」

(手札4↓3)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓1 レベル2↓1 BP5000↓3000」

(トラッシュ3↓4)

「赤と緑のダブルシンボルネクサスか…！」

「その通り！ ではアタックスステップ！ バリスタレベル1の効果により、わたくしの赤と緑のスピリット全員のBPを2000上昇させます！」

「カグツチドラグーン BP6000+2000=8000」

「六分儀剣のルリ・オーサ BP3000+2000=5000」

赤緑

《天空を貫くバリスタ》

コスト4 軽減赤2緑1

<0> Lv1

<2> Lv2

シンボル：赤緑

Lv1・Lv2 『自分のアタックスステップ』

自分の赤／緑のスピリットすべてをBP+2000する。

Lv2『自分のアタックステップ』

自分の合体スピリットがBPを比べ相手のアルティメットだけを破壊したとき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

この効果は重複しない。

「カグツチドラグーンでアタック！ レベル1からのアタック時効果により1枚ドロロー！更に【激突】！」

(手札3↓4)

攻めて来たか…！ フレイム・クーガールのBPを越えている上に【激突】ときたもんだ。

「…エクス・ムゲンドラでブロック！」

「何もなければ、相棒を討ち取らせてもらいましょう！」

「くっ、許せ相棒…！」

(リザーブ0↓1)

「でも、スピリット破壊でバースト発動！」

「むっ」

「バースト、《双光気弾》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「ほほう。1枚しか無い気弾を使っても？」

「大丈夫です。バースト効果で2枚ドロロー。追加コストは払わず」

(悠姫手札2↓4)

「ではターンエンド」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。…召喚、《生還者ネオ・アーク》。レベル2」  
(手札5↓4)



(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓2)

「生還者ネオ・アーク コア2 レベル2 BP4000」

「フレ임・クーガーをレベル5に、バーストをセットしてアタックス  
テップ」

(リザーブ1↓0)

「フレ임・クーガー コア2↓3 レベル4↓5 BP8000  
↓10000」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

カグツチドラグーンの【激突】でスピリットが狙われるなら、こつちもガンガン攻める。赤が苦手な防御でうだうだやるより、ライフを削って攻め立てた方が良い。

「狩る者の集落の効果で、こちらの赤のスピリット、アルティメットのBPをプラス2000」

「生還者ネオ・アーク BP4000↓6000」

「フレ임・クーガー BP10000↓12000」

「ネオ・アークでアタック！ レベル2からのアタック時効果、アルティメットであるフレ임・クーガーがいるためBPプラス5000、更に1枚ドロ―！」

「生還者ネオ・アーク BP6000+5000=11000」

(手札3↓4)

「そのアタックはライフで受けましょう！」

(マリアライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少により、バースト効果！」

「やっぱりか…！」

「解つてて飛び込んだのでしょう？」

「勿論！」

マリア先輩はライフ減少をスイッチにするバーストを多く採用している。なら肉斬骨断の覚悟でライフを狙う他無い。何せお互い」

赤”なんだから。

「ではお見せしましょう！」

究極へと昇りつめし『紅蓮の英雄龍』の姿を！

《アルティメット・ロード・ドラゴン》！

レベル4にて、爆熱召・喚!!」

「っ!? バーストからアルティメット”だど!?」

「これこそ『バーストアルティメット』! 召喚条件は無視できませんが、元々高いコストを要求されるアルティメットには調度良いのです!」

レベル分にはリザーブとカグツチドラグーンから!」

〔マリアバースト：セット↓発動〕

(リザーブ1↓0)

〔カグツチドラグーン コア3↓1 レベル2↓1〕

〔アルティメット・ロード・ドラゴン コア3 レベル4 B P 1 2 0 0 0〕

バーストからアルティメットが出てくるとは驚いた…。しかもクーガールのBPを越えられている。でも、怯んだら負けだ!

「フレイルム・クーガーでアタック!」

「ほう、果敢ですね」

「怯んだらクーガールのレベルを上げた意味が無いですからね。Uトリガー!」

このUトリガーはヒットしようとしまいとどちらでも良い。ヒットすれば2枚ドロウ、しなければ相棒を回収できる。…クーガーは迎撃されなければ御の字だ。

「——コスト3、スピリット《エクス・キジ・トリア》!」

「おお、ヒットした…。ヒット時効果で2枚ドロウ!」

(悠姫手札4↓6)

「ならばフラッシュユタイミング!」

「っ!」

「マジック《救世神撃覇》! コストはルリ・オーサから確保します!」  
(マリア手札4↓3)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ4↓5)

「まず1枚ドロロー！ …っ！…ふっ」

(手札3↓4)

何を引いた…。バーストのセットでのドロローも含めると2枚ドロローすることになるが、あの表情からしてキーカードを引いたのは間違い無いか。

「ここでこれを引くのもまた運命と言いましようか…。バーストセットッ!!」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「そしてセット時、神剣の効果により1枚ドロロー！」

(手札3↓4)

伏せた。…これは、来るな。

「そのアタックもライフで受けます！」

(マリアライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

(バースト、発動ッ!!)

「来るわよ、マリア姉様のキールティメットその2！」

「その2つつすか」

「バースト効果により、BP6000以下のネオ・アークを破壊…と行きたいところですが、破壊耐性がありましたね」

「そうですよ」

「ならばネクサスは破壊させていただきます！」

「何っ!？」

(マリアバースト：セット↓発動)

「狩る者の集落 破壊」

「そして！」

轟炎轟爆！ 天下に響き渡るは爆熱の咆哮！

《究極の爆炎 アルティメット・バゼル》！

レベル3にて、堂々見参!!」

〔バースト：発動↓召喚〕

(リザーブ1↓0)

〔究極の爆炎アルティメット・バゼル コア1 レベル3 BP10000〕

「こ、こいつは…」

「まずい。でもまだ返しは効く。…焦るな。」

「ターンエンド…」

〈マリア・第七ターン〉

「ふふふっ、さあお覚悟を！ 絳焔の第七ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ！ バーストセット！効果で1枚ドロロー！」

(手札5↓4)

〔バースト：無し↓セット〕

(手札4↓5)

「次に《アルティメット・セツコーキジ》、0コスト、レベル3でここへ！」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓5)

〔アルティメット・セツコーキジ コア1 レベル3 BP5000〕

「このUセツコーキジは、わたくしの究極シンボル全てを赤、もしくは緑としても扱います！」

「次代Uたちと同じ効果か…」

緑 アルティメット

コスト3 軽減緑2赤2 〈新生・爪鳥〉

〔召喚条件：自分の赤／緑のスピリット1体以上〕

〈1〉 Lv3 BP5000

<3> Lv4 BPP7000

シンボル：極

Lv3・Lv4『自分のメインステップ』

自分の究極シンボルすべてを赤／緑のシンボルとしても扱う。

【Uトリガー】Lv4『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、相手のスピリット2体を疲労させる。

更に2体目の《六分儀剣のルリ・オーサ》をレベル2でここへ！

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓1)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル2」

「召喚時効果、ルリ・オーサとカグツチドラグーンにコアを追加！」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓3」

「カグツチドラグーン コア1↓2」

「Uバゼル、Uロード・ドラゴン、Uセッコーキジをレベルアップ！  
(リザーブ2↓0)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア3↓1 レベル2↓1」

「カグツチドラグーン コア2↓1」

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア1↓3 レベル3↓4

BPP10000↓16000」

「アルティメット・セッコーキジ コア1↓3 レベル3↓4 B

P50000↓70000」

「アルティメット・ロード・ドラゴン コア3↓4 レベル4↓5

BPP120000↓180000」

「さあアタックステップに入ります！」

「六分儀剣のルリ・オーサ BPP30000+20000=50000」

「カグツチドラグーン BPP30000+20000=50000」

「Uバゼル、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「マリア姉様！ロックオンする姿も素敵です！」

「様子うるさいっス」

「Uバゼルのコストは7！」

「くっ……コスト5、《紅炎龍ヒノコ》！」

「ヒットオツ！」

ヒノコが落ちた……。回収したいところだが、今はここを切り抜けないければ……。切り抜けられるか？

「わたくしのバーストを発動条件を無視して発動させます！」

「なっ、無視!？」

「バースト発動! 《キングスコマンド》！」

「それは……！」

「マリアバースト：セット↓発動」

麗奈さんから貰った青のマジック……。自分だけのじやなかったのは解ってたけど、使われると厄介だな。しかし、あれを自力でひっくり返して（発動して）くるとは思わなんだ。

「おや、ご存知でしたか。3枚ドローし、1枚破棄します！」

破棄するのは《ドラグ・クシユリナー》！」

（手札3↓6↓5）

●破棄したカード

・《ドラグ・クリシユナー》

あれを捨てた？ ……あの時だったらドローの基盤になってたのに。

「更に効果発揮後、手札のバーストカードをセットできます！ バースト、セット!!」

「ま、またセットした!？」

（手札5↓4）

（マリアバースト：無し↓セット）

「これぞ爆炎の英雄龍が習得せし究極の力！」

赤 アルティメット

《究極の爆炎アルティメット・バゼル》

コスト7 軽減赤3極1 <新生・戦竜>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP16000

<5> Lv5 BP22000

シンボル：極

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

【バースト：自分のライフ減少後】

BP6000以下の相手のスピリット1体と相手のネクサス1つを破壊する。

この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【トリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、自分のバースト1つをバースト条件を無視して発動できる。

そのバースト発動後、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットできる。

「くそ、何で途切れない！」

「アタックはどうします！」

「：ライフ！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「次、Uロード・ドラゴンでアタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト4、マジック《救世神撃覇》……！」

「ヒット！」

「………？」

「ふふっ、アタックはどうします？」

な、何だ……いや、この感じ、《アルティメット・ビヤク・ガロウ》と「同じタイミング」か！

ならここでもうにかしなればならんけど、どうする……。 Uバゼルのヒットを通した時点でトリガーを持ってないのはバレてるし、どうにかしたいが……。

「どちらにしる堪え時か！ フラッシュもブロックも無い、ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少でバースト！ 《絶甲氷盾》！ ボイドからコア1つをライ

フに置いて、リザーブとクーガーからコアを受け取ってアタックス  
テップは終わりだ！」

(リザーブ2↓0)

「フレイム・クーガー コア3↓1 レベル5↓3」

(トラッシュ2↓6)

「ではバトル終了時、手札のバーストカードをセット！ 先にセット  
されていたカードは破棄！」

(マリアバースト：セット↓破棄)

●破棄したカード

・《エクス・ドス・モンキ》

(手札4↓3)

(バースト：破棄↓セット)

「そして、悠姫さんのライフ1つを砕かせてもらいます！」

「マジかよ……！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

赤 アルティメット

《アルティメット・ロード・ドラゴン》

コスト6 軽減赤3 <新生・戦竜>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP12000

<4> Lv5 BP18000

シンボル：極

【召喚条件：自分の赤／白スピリット1体以上】

【バースト：自分のライフ減少後】

このアルティメットカードを召喚する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、バトル終了時、自分の手札にある  
バースト効果を持つカード1枚をセットすることで、相手のライフの  
コア1個を相手のリザーブに置く。

本格的にやばい。前るときよりバーストが途切れなくなってるし、



何よりとんでもないくらい攻撃寄りになっている。攻防合わせた面より特化させてるとはな…。

「さて、ターンエンドです。…次はありませんよ?」  
「重々承知ですよ」

「会長が追い詰めたつよ。さつすが会長つスねー」  
「そうね。やっぱり姉様は…」

「の、割に喜んでないっスね」  
「な、ちが…う、うるさいうるさい!」

「あだだだ!? 耳引つ張らないでほしいっスー!」  
〈悠姫・第八ターン〉

「まだ何もしてないってんだ…。スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ2↓8)

…意気込んだは良いものの、今の手札ではどうしようもない。…正直に言うと、今引いたのは《アルティメット・ジーク・ヴルム・ノヴァ》。ライフ全回復のチャンスだ。しかし今出しても「だからどうした」感が否めない。アルティメットが疲労状態で守れるなら…ってそれは白のだ。

まだ慌てるな、諦めるな。勝機はまだある。

「メインステップ。…マジック《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットのフレイム・クーガーがいるため、3枚ドロ」

(手札7↓6)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ0↓3)

(手札6↓9)

…これなら繋がられるか?!

「…バーストをセット」

(手札9↓8)

(バースト：無し↓セット)

「ネオ・アークとフレイム・クーガールのレベルを上げて、アタックス  
テップ」

(リザーブ5↓2)

「生還者ネオ・アーク コア2↓3 レベル2↓3 BP4000  
↓5000」

「フレイム・クーガー コア1↓3 レベル3↓5 BP6000  
↓10000」

「ネオ・アークでアタック！ BPプラス5000と1枚ドロー！」

「生還者ネオ・アーク 5000+5000=10000」

(手札8↓9)

「ほう…。ここはルリ・オーサでブロックさせていただきます！」

守ってきた…。破壊時バーストなのか？

「…何も無ければそのまま破壊します」

(マリアリザーブ0↓1)

「ではスピリット破壊に反応してバースト！マジック《夢幻祈祷》！  
ライフを1つ回復させてもらいます！」

（マリアバースト：セット↓発動）

(マリアライフ3↓4)

「くぬ…フレイム・クーガーでアタック！ Uトリガー！」

「——っ！ コスト10、スピリット《超霸王ロード・ドラゴン・セイ  
バー》！」

「うえっ!? 予想外に大物落としちゃった…。とにかくガード！」

クーガールの効果によって、赤のコスト3以下スピリットを回収。回収  
するのは《エクス・ムゲンドラ》！」

(悠姫手札9↓10)

「…悠姫先輩、まさかムゲンドラを回収したいがために防御を投げ捨  
てた？」

「ん…。何か考えがあるんじゃないっすかねえ」

「フラッシュタイミング！ 2枚目の《救世神撃覇》！ 1枚ドローし  
て、バーストセット！ 神剣の効果で更に1枚ドロー！」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ1↓2)

(手札2↓3↓2)

(バースト：無し↓セット)

(手札3↓4)

「バーストデッキにバーストを切らす隙はありませんよ！」

「んなろうが…！」

「カグツチドラグーンでブロック！」

「まさかまた…」

「そのまさかですわ！ 2枚目の《夢幻祈祷》！」

「やっぱりかよお!?」

(マリアリザーブ0↓1)

(バースト：セット↓発動)

(マリアライフ4↓5)

「あちゃー全回復っスね」

「このタイミングで夢幻祈祷を2枚手元に引き寄せる姉様、流石過ぎますー！」

「悠姫センパイ、ここで踏ん張らないと負けちゃうっスよ…！」

「これは…ちよつと予想外だったな。逆に全回復させてしまった感。

「ターンエンド」

〈マリア・第九ターン〉

「その瞳、まだ勝利を目差す眼差しをしていますね」

「勿論ですよ」

「良い熱意です。わたくしも更に気を引き締めていかなければなりませんね。絳焔の第九ターン！」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ！ …悠姫さんの手札、防御を置かなかった理由。………ふむ」

マリア先輩が思考し始める。……ここが正念場と見た。

「……バーストセット!」

(手札3↓2)

(バースト:無し↓セット)

(手札2↓3)

「《エクス・ドス・モンキ》、ここへ!」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓1)

「エクス・ドス・モンキ コア1 レベル1 BP4000」

「それでもエクス……」

赤 スピリット

《エクス・ドス・モンキ》

コスト4 軽減赤2極1 <皇獣>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

シンボル:赤

【バースト:相手による自分のスピリット/アルティメット破壊後】

このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2 【スピリットソウル:赤赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに

「赤」「赤」(赤のシンボル2つ)を追加する。

「:Uバゼルのレベルを上げるのは躊躇われますね」

「……」

「カウンター警戒のため、ここはそのままにしておきましょう。

アタックステップ! Uバゼル、アタック! アルティメットトリ

ガー、ロックオン!」

「——コスト7、《アルティメット・ジークフリーデン》!」

「ガードですか……」

「おおつ、ガードっす!」

「マリア姉様が外すなんて……」

「そのアタック、ライフで受けます！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少で、バースト！」

蹴り碎け、《リユーマン・ゴッドブレイカー》!!」

(バースト：セット↓発動)

「ゴッドブレイカー、ですか…!」

「バースト効果により、BP10000以下のエクス・ドス・モンキを破壊！」

「エクス・ドス・モンキ 破壊」

(マリアリザーブ2↓3)

「その後、アルティメットであるフレイム・クーガーがいるため、1枚ドローして召喚！レベル2！」

(悠姫手札10↓11)

(リザーブ3↓0)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP10000」

「ならば、Uロード・ドラゴンでアタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト5、《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！」

「危ういところでした…。バーストを——」

「ヒットしてくれて助かりましたよ！」

「何っ!？」

「トリガーカウンター、マジック《インパクトロア》!!」

(悠姫手札11↓10)

「…しまった!？」

「コストはクーガーとネオ・アークから受け取る！」

「フレイム・クーガー コア3↓1 レベル5↓3」

「生還者ネオ・アーク コア3↓1 レベル3↓1」

(トラッシュ3↓7)

「バトルしている相手のアルティメットが、ヒットしたカードのコス

トにプラス3したコスト以下のとき、そのアルティメットを破壊する！

ヒットしたムゲンドラゴン・ノヴァのコストは5、そこに3を足して8！ よってコスト6のUロード・ドラゴンは破壊だ!!」

青 マジック

《インパクトロア》

コスト4 軽減青2

〔トリガーカウンター〕

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■バトルしている相手のアルティメットがコスト（ヒットしたカードのコスト+3）以下のとき、そのアルティメット1体を破壊する。

フラッシュユ：

コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「見事です…」

「アルティメット・ロード・ドラゴン 破壊」

(マリアリザーブ3↓7)

「ここは、ターンエンドするしかないようですね」

よし、凄いだ！ 厄介なUロード・ドラゴンも破壊できたし、何よりエクス・ムゲンドラを回収できたのは大きい。

反撃の機会を掴んだんだ！

〈悠姫・第十ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札10↓11)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ！ 相棒、来い！」

(手札11↓10)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュユ0↓1)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1」

「そしてここに、『赤のスピリットが3体』並んだ！ エクス・ムゲンドラの『スピリットソウル：赤』発揮!!」

「…っ！ やはり、それを持つのはあなた相応しい…!!」

「召喚条件は満たした、お前の出番だ！

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》!!

レベル4で、召喚だあッ!!」

待たせたなノヴァ。

ここからは、私達のターンだ！

「き…キターッツ!! 悠姫センパイ最高のタイミングっスよー!!」

「Uノヴァを引いた…?! でもそんな感じじゃなかった…」

「既に引いていた、と見るべきでしょう」

「おっ、佐々森センパイ」

「姉さん、使い所を見極めんだよ」

「祐依先輩…」

「Uノヴァのレベルには、ゴッドブレイカーから受け取る！」

(手札10↓9)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ1↓5)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア3↓2 レベル2↓1」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア3 レベル4 B P

20000」

「召喚時Uトリガー！」

「——っ、コスト4、マジック《キャノンボール》！」

「ヒットオッ！ ヒットしたコスト分、ボイドからコア3つをライフに！」

これでライフ、全回復だ!!」

(悠姫ライフ2↓5)

「ウツヒョアアー!! 大爆熱の大嵐！さすが灼熱祭の総大将っス！

悠姫センパイの熱さもギラギラ感じるっスー!!」

「朱莉うっさい！ …でも、もしヒットしたのが低かったり、ガードされたりでもしてたら…」

「それは様子ちゃんも解ってるんじゃないかな？」

「…『己の直感』と『カードを信じること』、ですか？ …姉様に似てます」

「…：緋立 悠姫。『見習いのアルティメット使い』…：ふむ…」

「見たか！ アルティメット三龍神の力！」

「あれから大分力を付けましたね！ どうやら、わたくしの出番は無いようですわね」

「そんなこと無いです！」

「ほう」

「先輩の強さ、学ばせてもらいます！」

「ふっ…。 案外、悠姫さんも熱血娘だったんですね」

そう、だったのかな…。 周りの熱が移っただけかも知れないし、あまり私に「熱血く！」みたいなのは似合わない、かも。

「真っ赤に燃える炎というよりは、静かに燃える青い炎というべきですか」

「そうですね」

「ふっ、じきに解ります。 さあ、終幕は間近！ 戦いに戻りましょう！」

「バーストセット、ネオ・アークをレベル2にしてアタックステップ！」

（手札9↓8）

（バースト：無し↓セット）

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア2↓1」

「生還者ネオ・アーク コア1↓2 レベル1↓2 BP3000  
↓4000」

「ネオ・アークでアタック！」

「生還者ネオ・アーク BP4000+5000=9000」  
（手札8↓9）

「ライフで受けましょう！」



〔マリアライフ5↓4〕

〔リザーブ7↓8〕

「ライフ減少によりバースト！ 《ハンゾウ・シノビ・ドラゴン》！レベル3でここへ！」

〔マリアバースト：セット↓発動↓召喚〕

〔リザーブ8↓4〕

〔ハンゾウ・シノビ・ドラゴン コア4 レベル3 BP6000〕

「バースト効果により、1色につきコアが1つだけしか乗っていないスピリットを1体破壊！ ここは神を砕く竜人を討たせていただきますー！」

「くそっ！」

〔リューマン・ゴッドブレイカー 破壊〕

〔リザーブ0↓1〕

「ならUノヴァ、行け！Uトリガー！」

「——コスト6、ブレイヴ《裁きの神剣リ・ジエネシス》！」

「ヒット！必ずブロックしてもらおう！」

「三龍神はUセッコーキジでブロック！ そのまま破壊されます……！」

〔リザーブ4↓7〕

〔ターンエンド！〕

さあ反撃開始だ！

……でも、何だ。妙な感じがする。

〈マリア・第十一ターン〉

「絳焰の第十一ターン！ スタートステップ！」

〔リザーブ7↓8〕

〔手札2↓3〕

〔トラッシュユ1↓0〕

〔リザーブ8↓9〕

「メインステップ！ …バーストセット！」

〔手札3↓2〕

〔バースト：無し↓セット〕

(手札2↓3)

「《リューマン・グランドバスター》！ 0コスト、レベル2でここへ！」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓6)

「リューマン・グランドバスター コア3 レベル2 BP4000」

「!? 知らないリューマン…!?」

「Uバゼルをレベル5へ！」

(リザーブ6↓4)

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア3↓5 レベル4↓5  
BP16000↓22000」

「アタックステップ！ Uバゼル、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「この状況でも攻めてくる…！」

「悠姫さん、ここが《別れ道》です」

「別れ道…？ 勝つか負けるかってことなんだろうけど、この凄まじい嫌な予感……」

「——コスト5、スピリット《メテオドライアン》！」

「ヒット！」

「……っ」

「…バースト発動！」

見逃した……見逃して良かったのか？

でも、私のライフは5だ。璃恵のときみたく、シンボルで《強引に  
来ることは無い》と信じたい。

「…この瞬間わたくしの勝利は揺るぎ無いものへとになりました」  
「っ!？」

「今こそ見せましょう」

わたくしの《『究極三龍神』》を!!」

「聖なる極光！ 邪悪を祓う神の炎！」

救世の龍よ、究極の魂と成りて銀河をも救え！

究極三龍神、救世の龍が一つ！

《聖龍皇アルティメット・セイバー》!!

レベル5にて、ここに光・臨ツ!!!」

せ、《聖龍皇》…!?!

「マリア姉様の真の切り札…!」

「三龍神アルティメットの1枚、会長さんはやはり切り札として使っているんですね」

「バースト召喚！ コアはハンゾウから1つ確保！」

(リザーブ4↓0)

「ハンゾウ・シノビ・ドラゴン コア4↓3 レベル3↓2」

「聖龍皇アルティメット・セイバー コア5 レベル5 B P 2 0 0 0」

「バーストセット！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「さあ、Uバゼルのアタックは！」

「…ら、ライフ！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「聖龍皇、アタック!!」

「っ！」

「アルティメットトリガー、ロックオン！」

「：コスト4、マジック《バレットファイア》」

「ヒット！」

一体どんな効果を持つてるんだ…。回復効果は、元の超霸王を狭めた感じだけど……

「先にグランドバスターの効果発揮！ 三龍神のUトリガーがヒットしたとき、わたくしのトラッシュにある赤のスピリットカードを手札へ戻します！ 戻すのは、《ドラグ・クリシュナー》！」

(マリア手札1↓2)

「そして、バーストセット！」

〔バースト：セット↓破棄〕

●破棄したカード

・《エクス・ワン・ケンゴ》

(手札2↓1)

〔バースト：破棄↓セット〕

「セットし直して、Uロード・ドラゴンみたいな…」

「セットしたことにより、聖龍皇は…“回復”します!!」

「っ!？」

か…回復!? 回復だと!?

じゃあ、さつき意味も無く張り換えていると思ってたあれは、これのため!?

しかもあのグラウンドバスターてのがいる限り、聖龍皇のトリガーがヒットする限り、無限にアタックができる…?!

「この聖龍皇のアタック、どうされますか!」

「……………」

「驚いている暇はありませんよ!」

「っ! ライフ…!」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

「ら、ライフ減少でバースト、《アルティメットウォール》! アタックは終わりだ!」

〔バースト：セット↓発動〕

「ターンエンド!」

赤 スピリット

《リニューマン・グラントバスター》

コスト3 軽減赤2極1 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

カード名に「リユーマン」と入っている自分のスピリットすべては、相手の効果では、フィールドから手札/デッキに戻らない。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

系統：〈三龍神〉を持つ自分のアルティメットのUトリガーがヒットしたとき、自分のトラッシュにある赤のスピリットカード1枚を手札に戻す。

〈悠姫・第十二ターン〉

「す、スタートステップ…」

(リザーブ3↓4)

(手札9↓10)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ4↓9)

「メインステップ…!」

狼狽えるな、まだ負けた訳じゃない! 手札も10枚ある、最善の手を考えろ…!

「:Uノヴァ、ネオ・アーク、エクス・ムゲンドラ、フレイム・クーガーを最大レベルへ!」

(リザーブ9↓0)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア3↓5 レベル4↓5 BP20000↓30000」

「生還者ネオ・アーク コア1↓3 レベル1↓3 BP3000↓5000」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓5 レベル1↓3 BP2000↓4000」

「アタックステップ! Uノヴァ、アタック! Uトリガー!」

「:コスト9、スピリット《天剣の霸王ジーク・スサノ・フリード》!」

「っ、外した!」

「っ!」

「マジック《ファイアーウォール》! 赤のスピリットであるハンゾウ

を破壊し、アタックステップを強制終了させます！ 不足コストはグラ  
ランドバスターから確保！」

(マリア手札1↓0)

「リユーマン・グランドバスター コア3↓1 レベル2↓1」

(トラツシユ0↓2)

「ハンゾウ・シノビ・ドラゴン 破壊」

(リザーブ0↓3)

「既にバーストがセットされているためハンゾウはそのままトラツ  
シユへ行きます。そしてバトル解決！」

「リユーマン・グランドバスター 破壊」

(リザーブ3↓4)

「破壊時バースト、《シンフォニックバースト》！ 今破壊されたグラ  
ンドバスターを回収します！」

(マリアバースト：セット↓発動)

(手札0↓1)

「二段構え…。ターン、エンド…」

迂闊だった…。まだ何か足りないのか…。

〈マリア・第十三ターン〉

「絳焰の第十三ターン、スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札1↓2)

(トラツシユ2↓0)

(リザーブ5↓7)

「メインステップ。再び《リユーマン・グランドバスター》をここに！」

(手札2↓1)

「リユーマン・グランドバスター コア3 レベル2」

(リザーブ7↓4)

「マジック《ネオ・ダブルドロ》！ アルティメットがいるため3枚  
ドロ―！」

(手札1↓0)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓2)

(手札0↓3)

「ネクサス《忘れられし凱旋門》を配置！」  
「っ!？」

「不足コストはUバゼルから2つ確保！」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア5↓3 レベル5↓4」  
(トラッシュユ2↓6)

「仕上げです。マジック《アルティメットウォール》！」

「な…っ!？」

「バースト効果だけが主な効果では無いということですね。不足コストは聖龍皇とUバゼルから確保！」

(手札2↓1)

「聖龍皇アルティメット・セイバー コア5↓3」

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア3↓1 レベル4↓3」

(トラッシュユ6↓10)

「コスト3以下のスピリット3体を手札に戻します！ 対象はエクス・ムゲンドラと、破壊消滅耐性のあるネオ・アークに手札へ戻ってもらいましょう！」

「っ…！」

「エクス・ムゲンドラ 手札へ」

「生還者ネオ・アーク 手札へ」

(悠姫手札9↓11)

(リザーブ0↓8)

「凱旋門の効果によって緋立さんのマジックは封じられました。…  
チエックメイトですね」

「おお、いつの間に…。てか佐々森センパイ、何とかならないんすか  
!？」

「なりません」

「そんなバツサリと…」

「アタックステップ。聖龍皇、アタック！アルティメットトリガー、ロックオン！」

「：コスト3、スピリット《リユーマン・フェニックス》：！」

「ヒット！ グランドバスター効果で《エクス・ドス・モンキ》を回収！バーストセット、そして回復！」

(マリア手札2↓3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復」

(手札2↓3)

赤 アルティメット

《聖龍皇アルティメット・セイバー》

コスト7 軽減赤3 <三龍神・戦竜>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP15000

<5> Lv5 BP20000

シンボル：極

【バースト：相手のスピリット／アルティメットのアタック後】

自分のライフが3以下のとき、自分のリザーブのコア1個を自分のライフに置く。

この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【トリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのバトル時』

トリガーがヒットしたとき、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットすることで、このアルティメットは回復する。

「くっ…、ライフで受ける！」

(悠姫ライフ3↓2)

(悠姫リザーブ8↓9)

これはまずい…！だが、そう何度もヒットが続く訳が無い、と信じたい！

「聖龍皇、再びアタック！トリガーロックオン！」

「外れてくれ…！ ——コスト4、スピリット《六分儀剣のルリ・オー



「サッ！」

「2連ヒット！ 《ハンゾウ・シノビ・ドラゴン》を回収し、セットされているバースト、《エクス・ドス・モンキ》を破棄からのセット！回復！」

（マリア手札3↓4↓3）

（バースト：セット↓破棄↓セット）

「聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復」

「…っ、フレイム・クーガーでブロック！」

A t t a c k !!

聖龍皇アルティメット・セイバー

B P 1 5 0 0 0 0 ↓ W i n !!

v s

D e f e n s e !!

フレイム・クーガー

B P 1 0 0 0 0 ↓ L o s e . . .

（悠姫リザーブ9↓12）

「三度目のアタック！トリガーロックオン！」

「——コスト、4！ マジック 《絶甲氷盾》…！」

「3連ヒット！ ドラグ・クリシュナーを回収し、ハンゾウ・シノビ・ドラゴンを破棄、セット！」

（マリア手札3↓4↓3）

（バースト：セット↓破棄↓セット）

「聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復」

「手詰まりだったのか…。ライフ！」

（悠姫ライフ2↓1）

（リザーブ12↓13）

「聖龍皇、四度目のアタック！トリガーロックオン！」

「——っ、コスト4、マジック 《ブレイジングバースト》！」

「4連、ヒットオツ!!」

「くそっ、何でヒットが続く?！」

「回収、破棄、セット、回復！」

(マリア手札3↓4↓3)

(バースト：セット↓破棄↓セット)

「聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復」

「これぞ三龍神の力ですわ!」

「ちくしょう!運の差だつてのかよ…! ライフだ!!」

(悠姫ライフ1↓0)

〔winner!! 赫蓬院マリア〕

「シャレならんくらいヒットしすぎだろ…!」

「今回はこの場が上手く決まりましたが、こんなの大概上手く行かないものです。わたくしの最高の場で調教できました」

「ちきしょーめえ…。あと調教ってやめてくださいマジで」

## 特訓とシ行錯誤・緑編

「やはりバトルスピリッツはお互いの相互理解を深める良いカードゲームですわね！」

「カードで…語り合う…?」

「よくある話っスよ悠姫センパイ」

「よくあつてたまるか」

突然にマリア先輩から挑まれた対戦は私の負けに終わったが、何か得るものがあった気がしないでもない。

「……緋立さん」

「あ、はい」

「会長の相手、ご苦労様でした」

「いえ…」

佐々森先輩に劳われてしまった。いつもクールな表情を崩さない先輩だけど、別に冷たい訳じゃないんだよな。生徒会に来てようやく解ったことだけど。

「それでもうひとつだけ、お願いしたいことがあります」

「…? 何でしょう?」

「…私と、バトルスピで対戦しませんか?」

「………意外な申し出が来た。」

佐々森先輩はバトルスピやらないと思ってたんだが、やるのか。

「駄目ですか?」

「い、いいえ。自分で良ければ…」

「ではお願いします」

朱莉や洋子、雫も少し驚いてるようで。祐依やマリア先輩はこれは珍しいといった感じで少し笑っている。

「碧、何か感じるものがありましたか?」

「ええ」

「…ふふっ、それは重畳」

「姉さん」

「祐依、どうしたそんな小声で」

「佐々森先輩のデッキに注意してね」  
「…何で？」

緋立 悠姫

【初心の赤】

VS

佐々森 碧

【??】

佐々森先輩が対戦しているところを一度も見たことの無い私には情報が無い分後手だ。でも祐依が警戒しろと言った以上、気を抜かずに行くしかない。

「……」

「……」

凄いい馴れた手つき、いや、手捌きでデッキシャッフルから初手4枚まで熟す。…あかん、これ熟練者、ハイランカーの動きだ。

「先後攻はどうしますか？」

「ならばわたくしから良い考えがあります！」

「……コイントスにします」

「悠姫さんが碧の今日の下着の色を当てたら悠姫が先攻！外したら一枚脱いで後攻としましょう！」

「会長、少し黙っていたくださいませんか？」

「ああん、イケずですわ」

あ…いや…まあ、何だ。マリア先輩の言うことはさておき、順当にコイントスにしておこう。

「どちらごっ？」

「…裏で」

「では……」

佐々森先輩が弾いたコインは綺麗に跳び上がり、綺麗に先輩の手に吸い込まれた。

「……裏ですね。どうぞ選んでください」

ふむ…。手札から見て、これは――

「後攻で行きます」

「分かりました。私の先攻で行かせてもらいます」

〈碧・先攻第一ターン〉

「第一ターン、スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。《ホームライタチ》。レベル1で召喚」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュ0↓2)

「ホームライタチ コア1 レベル1 BP1000」

「バーストをセットし、ターンエンド」

〈悠姫・第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。∴召喚、《リユーマン・フェニック》と《デブリ・ザード》。両方レベル1」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「リユーマン・フェニック コア1 レベル1↓3 BP2000  
↓6000」

「デブリ・ザード コア1 レベル1 BP1000」

「バーストをセットし、アタックステップ」

(手札3↓2)

「バースト：無し↓セット」

∴《ホームライタチ》。たしか確認したときは、自分のメインステップに緑のシンボルを1つ追加するとか何とか…。

赤 スピリット

《ホムライタチ》

コスト2 軽減赤1緑1 <皇獣・剣獣>

<1> Lv1 BP1000

<3> Lv2 BP3000

シンボル：赤

Lv1・Lv2

お互いの効果で、このスピリットのコアは0個にならない。

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

このスピリットに緑のシンボル1つを追加する。

祐依から聞いたところ、「赤緑用に調整された《ボーン・ダイル》と  
のことらしい。

「フェニックでアタック。アタック時効果により1枚ドロ」

(手札2↓3)

「アタツ…」

「ライフで受けます」

「あ、はい…」

(碧ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「た、ターンエンドです…」

サラリとライフで受けられてしまった…。淡々としてるなあ。  
まあ、無言でやられるよりマシだけど。

<碧・第三ターン>

「第三ターン、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。メイン中、ホムライタチに緑シンボルを1つを追  
加」

「ホムライタチ シンボル赤+緑||赤緑」

「そして《六分儀剣のルリ・オーサ》。レベル2で召喚」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓2)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル2 BP5000」

「召喚時効果発揮。赤のスピリットであるホムライタチとルリ・オーサにボイドからコアを1つずつ乗せます」

「ホムライタチ コア1↓2」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓3」

「次に《賢龍ケイローン》。レベル1で召喚。レベルにはリザーブから、コストはルリ・オーサから2つ確保」

(手札3↓2)

「賢龍ケイローンの軽減は赤2、緑1。よって最大軽減、2コスト」

(リザーブ1↓0)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュ2↓4)

「賢龍ケイローン コア1 レベル1 BP5000」

「ケイローンの召喚時効果。BP5000以下のデブリ・ザードを破壊」

「何っ」

「デブリ・ザード 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「破壊できたことにより、1枚ドロウします」

(碧手札2↓3)

「更に【連鎖：緑】と【連鎖：緑緑】を続けて発揮」

「【連鎖】まで持ってる?」

「ホムライタチの緑シンボルにより【連鎖：緑】を達成。

ルリ・オーサの緑シンボルにより【連鎖：緑緑】の条件も達成。ボイドからコア2つをケイローンに乗せます。よってレベル2にアツプ」

「賢龍ケイローン コア1↓3 レベル1↓2」

赤がこのターンで4つもコアを増やした!? …この速さ、話に聞い

た【赤緑】ってやつなのか…！

赤 スピリット

《賢龍<sup>けんりゆう</sup>ケイローン》

コスト5 軽減赤2緑1 <星将・古竜>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

シンボル：赤

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊することで、自分  
はデッキから1枚ドロウする。

【連鎖：条件《緑シンボル》】

【緑】：ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

【緑】：ボイドからコア1個をこのスピリットに置く。

【合体時】Lv2『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットをBP+3000する。

「更に…ここで『裏十二宮』の登場と行きましょう」

「な…もう!?!」

「生命の螺旋、森羅万象司る神の獣。

『裏黄道十二宮、白羊の魂が一つ』。

《牡羊星鎧アリエスブレイヴ》。

賢龍ケイローンへ直接合体」

(手札3↓2)

「コストはホムライタチから」

「ホムライタチ コア2↓1」

(トラッシュユ4↓5)

牡羊星鎧アリエスブレイヴ

← 直接合体

賢龍ケイローン (合体)

「コスト：5+4=9」

「BP：8000+3000=12000」

「合体時効果：追加・発揮」



「シンボル：赤＋緑＝赤緑」

「あ…悠姫センパイ…」

「この回り方、本当に極悪ですね姉様…」

「元々自分達の得意分野を【連鎖】で絡めたく地竜の発展型。ドロもコアブーストも一線を画します」

「あれに追い付くのはまず無理。…均衡できるのが今のところ【白単】か【白紫】か【赤青オステア】ぐらいですかね」

「なんという…。全部アタックしてくれば合わせて4点ダメージ、回復手段があればそれ以上のダメージとか洒落にならない。」

「さて、緋立さん」

「は、はい」

「上位ランカーにはこれ以上の強さ。理不尽な回り方する方々が大勢います」

「……………」

「身内以上に打ちのめされます。想像以上の悔しさを強いられます。目標は白鐘さんとはいえ、覚悟はあるんですか？」

「……頭では、解ってるつもりだ。こんな甘い作りのデッキじゃ璃恵に届く前に沈められてしまう。」

『勝つ為なら甘い考えは捨てろ』

それがカードゲームの、世の中の鉄則だ。

……………でも、それでも。

「…それでも、行きます」

「……………とんだロマンチスト、ですね」

「……………」

「なら、存分に負けてください」

「ただじゃ負けませんよ…!」

「聞いたところ、あなたは負ければ負けた分跳ね返りが強いドの付くマゾヒストらしいですね」

「それ絶対デマですし名誉毀損も甚だですよ…」

「ふっ、冗談です」

「そう言って小さく笑うけど、私にとっちゃいい迷惑なんですけどねえ…。」

「碧が冗談を言うとは…」

「珍しいものが見れましたね」

「話を戻して、私はそういうロマンにあまり共感はできません。…しかし、嫌いではありません」

「はあ…」

「協力しないこともありませんが、まあ…このバトル次第ですね」

「何だかんだで協力はしてくれる…のか？　ま、まあ上級者の胸を借りる勢いで行こうか。」

「バトルを続行します。アタックステップに入り、ケイローンで合体アタック」

「っ！」

「裏牡羊座の『バトル時効果』。緋立さんはバーストを発動できません」

「バースト封じか…！」

「更にケイローン、レベル2合体アタック時効果によりBPプラス3000。計15000」

「賢龍ケイローン（合体）　BP12000+3000＝15000」

「…ライフで受ける！」

「ケイローンはダブルシンボル。ライフ2つです」

（悠姫ライフ5↓3）

（リザーブ1↓3）

「アタックステップを終了。ターンエンドです」

「ライフ2つを砕かれた…。しかもこの感じからして返しはバッチリといったところ。攻防共に隙が少ないとか理想的なデッキタイプだな【赤緑】。…多分、まだ本領を見せてない辺りこれで小手調べレベルなんだろう。」

〈悠姫・第四ターン〉

「尋常じゃない展開速度をどうにかするべきか……。スタートステツプ」

(リザーブ3↓4)

(手札3↓4)

(トラツシユ3↓0)

(リザーブ4↓7)

「メインステツプ」

さあてどうしたものか……。デブリ・ザードが破壊されてからのいきなりピンチなんだが。：幸いアタック時にBP参照破壊してくるスピリットやアルティメットが出てないだけマシか。

「：召喚、《エクス・ムゲンドラ》。レベル1」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓5)

(トラツシユ0↓1)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1 BP2000」

「更に相棒の「スピリットソウル：赤」を発揮して、召喚、《紅炎龍ヒノコ》！レベ——」

「緋立さんがアルティメットを召喚する際、裏牡羊座の合体時効果」

「！っ!？」

「アルティメットを召喚するとき、〃疲労状態で召喚〃してもらいます」

「な…!？」

緑 ブレイヴ

《おひつじ牡羊星鎧アリエスブレイヴ》

コスト4 軽減緑2赤1 <遊精・光導> 『牡羊座・裏』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +3000

シンボル：緑

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】

相手はアルティメットカードを召喚するとき、疲労状態で召喚す

る。

【合体時】『このスピリットのバトル時』

相手はバーストを発動できない。

「出たツス、表の《白羊樹神セフィロ・アリエス》から受け継いだ極悪効果ー!」

「アルティメットを対象とした『召喚酔い』させる制約効果ですね。回復手段が無いに等しいアルティメットにはかなり厳しい効果…」

緑 スピリット

《白羊樹神セフィロ・アリエス》

はくようじゆしん

コスト6 軽減緑3 <光導・遊精> 『牡羊座』

<1> Lv1 BP7000

<3> Lv2 BP8000

<4> Lv3 BP10000

シンボル：緑

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのメインステップ』

お互い、系統：<遊精>を持たないスピリットカード／ブレイヴカードを召喚するとき、疲労状態で召喚する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのバトル時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、系統：<光導> / <星魂>を持つ自分のスピリット1体を回復させる。

Lv3

お互い、スピリットすべてのコアは、「転召」以外で取り除くことができない。

「…? 姉様、『召喚酔い』とは何ですか?」

「ああ、洋子は知らなかったんですか。…雫」

「ふえっ!」

「洋子に教えてもらっても?」

「は…はい…!」

「え、えっと、『召喚酔い』と言うのは…『マジック・ザ・ギャザリング』などからの用語で、『召喚したターンは攻撃できない』『そのター

ンは行動できず、次のターンから行動可能になる』っていう…攻撃する側の、制約の1つなんだよ…。

バトルスピリッツは、先攻1ターン目だけがそれで、後からは、召喚したターンにアタックできるから…」

「なるほど」

「ほ、他のカードゲーム…今言った、『マジック・ザ・ギャザリング』とか『デュエルマスターズ』なんかが、そうだよ…。召喚したターンに、行動できる効果を持っていれば、すぐ動けるよ」

「へえ、そうなのね。ありがとう雫」

「それを踏まえ、リアルタイムを召喚召喚する際、疲労状態で召喚する」。この意味を、星座編の一片を垣間見た洋子なら、それが如何に強力か理解できるでしょう」

「…恐ろしいですね。姉様」

「くっ…！レベル4で召喚！」

（手札3↓2）

（リザーブ5↓1）

（トラッシュユ1↓3）

「紅炎龍ヒノコ コア2 レベル4 BP12000 疲労状態」

くそっ、これじゃ攻めることも守ることもできない…！

早くあの裏十二宮を何とかしたいが、手札が少ない。

「間に合うか…。…バーストを張り替えます。新たにセット」

（バースト：セット↓破棄）

●破棄したカード

・《絶甲氷盾》

（手札2↓1）

（バースト：破棄↓セット）

「…：ターンエンド」

「ありや、悠姫センパイ絶甲捨てちゃったツスね」

「判断は間違っていないでしょ。バースト封じの裏牡羊座がアタックしてきたら発動は無理なもの。回復してまたアタックされたらそれこ

そ絶甲の発動機会が失われてしまうわ」

〈碧・第五ターン〉

「第五ターン、スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札2↓3）

（トラッシュユ5↓0）

（リザーブ1↓6）

「メインステップ。ネクサス《天空を貫くバリスタ》を配置」

（手札3↓2）

（リザーブ6↓5）

（トラッシュユ0↓1）

「そして…」

…何かデカいのが来るか。

「《金殻皇ローゼンベルグ》

レベル2にて、出陣します」

（手札2↓1）

「現在緑シンボルが3つ、赤シンボルが2つあるため最大軽減。3コストで召喚します。レベル分にはケイローンから確保」

（リザーブ5↓0）

（トラッシュユ1↓4）

「賢龍ケイローン（合体） コア3↓2 レベル2↓1」

「金殻皇ローゼンベルグ コア3 レベル2 BP9000」

「更に召喚時効果発揮。ボイドからコア3つを金殻皇へと乗せます」

「っ！ 召喚しただけで3つも!?!」

「金殻皇ローゼンベルグ コア3↓6 レベル2↓3 BP9000

0↓11000」

「で、出たー!?! 《蜂王フォンニード》並のぶっ飛びカード!」

「単純な効果しか持ってないけど、それゆえ恐ろしい…」

「さて、悠姫はどのように金殻皇をいなしますかね祐依さん？」

「……………」

「…相手スピリットの召喚時効果発揮後、バースト発動!」

「っ！」

「マジック《キングスコマンド》！バースト効果で3枚ドロワーして、1枚捨てます！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

(手札1↓4↓3)

●破棄したカード

・《スターリリユーマン》

「追加コストは支払わずそのまま」

「…ほう」

…上手く引けたみたいだ。後はここの凌がないと、本格的に詰みだ。

「……続けます。牡羊星鎧アリエスブレイヴを金殻皇ローゼンベルグへ換装」

牡羊星鎧アリエスブレイヴ

← 換装

金殻皇ローゼンベルグ (合体)

「コスト：8+4=12」

「BP：11000+3000=14000」

「合体時効果：追加・発揮」

「シンボル：緑緑+緑=緑緑緑」

「と、トリプルシンボル!？」

「ではアタックステップ。バリスタの効果により、赤と緑のスピリツトのBPをプラス2000」

「ホームライタチ BP1000+2000=3000」

「六分儀剣のルリ・オーサ BP3000+2000=5000」

「賢龍ケイローン BP5000+2000=7000」

「金殻皇ローゼンベルグ BP14000+2000=16000」

「金殻皇、合体アタック。バトル時効果によりバーストは発動不可。更に金殻皇レベル2からのアタック時効果により、BPプラス10000」

「金殻皇ローゼンベルグ(合体) BP16000+10000=26000」

「い、1万!?!」

「緋立さんはこの程度の上昇は熟せているでしょう。《リユーマン・ブレイド》しかり、《リユーマン・ファンタジスタ》しかり…」

いやまあ確かにやってはいるけど、アタックしただけで1万も上昇するなんてとんでもない。うちのはあらゆる要因が重なって爆上がりするだけだ。

「そして赤シンボルが2つ以上あるため【連鎖・赤赤】発揮。〃2枚ドロ〃します」

「っ!?!」

(碧手札1↓3)

緑 スピリット

《金殻皇<sup>きんかくおう</sup>ローゼンベルグ》

コスト8 軽減緑3赤2 <星将・殻人>

<1> Lv1 BP7000

<3> Lv2 BP9000

<5> Lv3 BP11000

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

ボイドからコア3個をこのスピリットに置く。

Lv2・Lv3『このスピリットのアタック時』

このスピリットをBP+10000する。

【連鎖・条件《赤シンボル》】

「赤」「赤」：自分はデッキから2枚ドロする。

…冗談だろ。こいつXレアじゃないのにこのステータスとか。

祐依や璃恵達に前聞いた話だが、『XレアよりMレアの方が強い』らしく、バトルスピリットでは当たり前前の事だとか。

ショップのシングルカードも、XレアよりMレアの方が値段が高かったりするしでもう…。

「実際、Mレアの能力がデッキの中核を担う事は不思議ではありません。この金殻皇やケイローンのように、〃単純に強い効果〃を備えて



いるのが、一部例外はありますが『マスターレア』たる証です」

「な、なるほど…」

「さて、このアタックはどうします？ 受けてしまうとライフが失く  
なりますよ」

「勿論ここは……」

「そちらのアタック時フラッシュが無いならこちらから」  
「っ!？」

「フラッシュタイミング。マジック《バードウインド》を使用。不足コ  
ストは金殻皇から確保」

(手札3↓2)

「金殻皇ローゼンベルグ(合体) コア6↓4 レベル3↓2 BP  
11000↓9000+3000+2000+10000||240  
00」

(トラッシュ4↓6)

「こちらの緑のスピリット、金殻皇を回復させます」

「金殻皇ローゼンベルグ(合体) 疲労↓回復」

「更に【連鎖・赤】発揮。BP4000以下のエクス・ムゲンドラを破  
壊します」

「なっ、破壊効果まで!？」

「エクス・ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「くっ、先に使っておくべきだったか…！ フラッシュで《ブレイジン  
グバースト》！ リューマン・フェニックスを破壊して、このターン、私  
のライフは1しか減らない！」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ3↓5)

「リューマン・フェニックス 破壊」

(リザーブ0↓1)

「ほう」

「このままライフで受ける！」

「金殻皇はトリプルシンボルですが…」

「ライフダメージは1だけです！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

「もう一度金殻皇で合体アタック」

「っ!？」

「【連鎖】発揮により2枚ドロ」

(手札2↓4)

「ダメージはありませんので、ターンエンドとします」

…そういうやり方もあるのか。無駄だと思うアタックも、意味を持たせれば良いのか。

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ3↓8)

っ… 来たけど色々足りない…。

「メインステップ。：召喚、《ムゲンドラ》。レベル1」

(手札3↓2)

(リザーブ8↓7)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 B P 1000」

「マジック《ネオ・ダブルドロ》。Uヒノコがいるため、3枚ドロ  
！」

(手札2↓1)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓2)

(手札1↓4)

…よし、まだ終わる訳には行かない!

「マジック《双光気弾》! ローゼンベルグに合体しているアリエスブ  
レイヴを破壊！」

「なるほど、良く引きましたね」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ2↓4)

「牡羊星鎧アリエスブレイヴ 破壊」

「金殻皇ローゼンベルグ BP12000↓9000」

「更にマジック《フレイムスパーク》！合計BP5000までまとめて破壊！」

「っ…」

「破壊するのはホムライタチとルリ・オーサを選択！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ4↓7)

「ホムライタチ BP1000 破壊」

「六分儀剣のルリ・オーサ BP3000 破壊」

(碧リザーブ0↓2)

「スピリットを破壊できたので、トラッシュユにある《エクス・ムゲンドラ》を手札に回収！」

(悠姫手札2↓3)

「バースト、セット！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ！ヒノコ、アタック！ Uトリガー！」

「——コスト4、マジック《双翼乱舞》」

「ヒット！」

「トリガーカウンターを使います」

「早っ!？」

「カウンターマジック、《バレットファイア》」

(碧手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ6↓8)

「今ヒットしたカード、双翼乱舞を手札に加え、そのカードが赤、または緑のカードならばそのヒットをガード扱いとします」

(手札3↓4)

「防がれた上にドロワーの手助けしたのか…」

「フラッシュユタイミング、マジック《ネイチャーフォース》。こちらのトラッシュにあるコア全てを金殻皇へと移動させます」

(手札4↓3)

「金殻皇ローゼンベルグ コア4↓3」

(トラッシュ8↓9↓0)

「金殻皇ローゼンベルグ コア3↓12 レベル2↓3」

「少し搦手と行きましようか」

「…?」

「更にフラッシュユタイミングでマジック、2枚目の《バードウインド》。金殻皇を回復させ、【連鎖】でBP4000以下のムゲンドラを破壊」

(手札3↓2)

「金殻皇ローゼンベルグ コア12↓10 疲労↓回復」

(トラッシュ0↓2)

「ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

しまった、これは予想外だった…！ これじゃ今さつき伏せたバーストが無駄になる…！

「そしてマジック《ブレイブチャージ》。対象は金殻皇を指定」

(手札2↓1)

「金殻皇ローゼンベルグ コア10↓8」

(トラッシュ2↓4)

「見たことないマジック…?」

「まあなかなか日の当たらないマジックですが、アタック時効果が多  
い赤や緑なら使うタイミング次第で大きなリターンを生み出せたり  
はします」

私が知らないカードで、ギャラリーをちらっと見てみると「なん  
つーカードを入れてるんだ」みたいな感じが。

「金殻皇でブロック。そして金殻皇のアタック時でもいい、  
「ブロック  
時効果」 発揮」

「ぶ、ブロック時!？」

「《ブレイブチャージ》はこちらのスピリット1体のアタック時効果を  
ブロック時にも発揮できるようになるのです」

緑 マジック

《ブレイブチャージ》

コスト5 軽減緑3

フラッシュ:

このターンの間、自分のスピリット1体の、『このスピリットのア  
タック時』と指定されている効果はすべて、『このスピリットのブロッ  
ク時』に発揮される。

「そんなマジックが…」

「片手で数える程無いマジックです。…緋立さんなら、これと似た  
カードが相性良いかも知れませんか」

似たカード、か…。確かに変則的なカードだからな、使いどころも  
限られてくる。何よりアルティメットが台頭してる今じゃそうそう  
使う場面も無いだろう。

「金殻皇のBPプラス10000。更に【連鎖】発揮で2枚ドロー」

「金殻皇ローゼンベルグ BP11000+10000||2100  
0」

(手札1↓3)

「返り討ちです」

「くそつ、何も出来ずに…」

「紅炎龍ヒノコ 破壊」

(悠姫リザーブ1↓3)

「悠姫先輩の場がから空きに…!」

「佐々森センパイ鬼畜すぎッスよく!？」

「…姉さん」

「ターン、エンド…」

〈碧・第七ターン〉

「第七ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ」。

裏黄道十二宮、豪将の魂。

《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》、金殻皇ローゼンベルグに直接合体

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓3)

巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー

← 直接合体

金殻皇ローゼンベルグ (合体)

「コスト：8+6≡14」

「BP：11000+5000≡16000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：緑緑+緑≡緑緑緑」

「佐々森センパイそこまでやるツスか!？」

「【神速】警戒ですが、何か?」

「な、何でも無いツス…」

裏蟹座つてたしか、スピリット2体かアルティメット2体じゃないとブロックできないってやつだよな…。つ、詰んだ…。

「アタックステップ。金殻皇、合体アタック。BPプラス10000、【連鎖】で2枚ドロ、裏蟹座の合体アタック時効果により、スピリット2体、もしくはアルティメット2体でないとブロックできません」

「金殻皇ローゼンベルグ (合体) BP16000+10000≡26000」

(手札3↓5)

「ライフで受けるしかない…！」

「金殻皇ローゼンベルグはトリプルシンボル」

「この類のデツキ相手にどう勝てば良いんだ…」

(悠姫ライフ2↓0)

〔winner!! 佐々森 碧〕

「強すぎる…」

「これを糧にして精進してください。…悠姫さん」

「はい……………え？」

## 試行錯ゴ、のち臨機応変

「対戦ありがとうございました」

「いえ、会長の相手をしていただいたお礼もあります」

生徒会総務である佐々森先輩とのバトルは圧倒され何も出来ぬまま敗北。しかし得るものがあった。

「これこそ青春！」

「はいはい、小言の続きですよ会長」

「……今日の仕事はここまで！片付けの後、皆さん帰りはお気をつけて！お疲れ様！」

「あ、会……待てこちらマリア！あと廊下は走るな！」

す、素早い……。小言と聞くやいなや速攻逃げ出したマリア先輩。生徒会の仕事を手伝っていて解ったことだが、佐々森先輩がマリア先輩を名前呼びするのはオフの時だったこと。仕事の終了を告げられたから遠慮無くなったんだと思う。

てか、マリア先輩を追って佐々森先輩も行ってしまったなあ……。取り敢えず片付けてっと。

「私らも帰るか」

「そうだね。皆、お疲れ様」

「お疲れ様ツス先輩。次はちやくんとアタシとバトルするっスよ！」

「お疲れ様でした。……私と雫とも、バトルしてくださいね」

「お、お疲れ様……でした……。また、お願いします……」

各々挨拶を交わし生徒会室を後にする。私と祐依も荷物をまとめて、部屋の鍵掛けてっと……。

今日はお疲れ様でした。

——夜、自室にて。

「佐々森先輩の言ってる事、気にしてる？」

「……そうだな」

一度デッキを広げみるが、やはりというかなんというか、パワー不



足感が否めない。

「単色の赤だから、かな」

「そう言われてもな…」

使っていて…、いや私のやり方使い方がなっていないだけなんだけど、〃肝心要の部分〃で押しが足りない。

「BPが上がるのは良いんだが、BP以下を破壊くとかが肝心な部分で役に立たなくてな…」

「まあ、それはね」

「しかも破壊したいアルティメットには通らないし」

赤のトリガーカウンター《キャノンボール》の対象はBP2万以上、ブレイヴの《砲星鎧バルド・リザード》はBP1万以下と。間の部分をすり抜けるアルティメットが最近多いのに…。

【強化<sup>チャージ</sup>】を使って底上げしても良いが、今のデッキをまた崩して1から組み上げる必要がある。

「赤は押し込まれたら最後、ズルズル行っちゃう可能性が高いのは身を持って知ってるよね」

「ああ」

次に賭ける！ってなるとやばくなるのも知ってる。

「…：…極端でなくても、やるだけやってみるか」

「何かあるの？」

「いや…」

ほぼ直感というか諦めに近い感覚だが、行けるような気がしなくも無い…。

「なら、05が発売したらまた組み直さなきゃね」

「おう」

…数日後、遂に【アルティメットバトル05】が発売された。

実を言うと、デッキに見えた何かを探ってたため何が収録されてるのか調べるのを疎かにしてた。…い、いつものことだからいいもん。

お店はいつも通り大繁盛。飛ぶように売れる売れる。

勿論私もその買って行くお客のうちの一人なんだが。いつもの身

内は既に取り置きしてもらっているから、時間をずらして取りに来るとのこと。…珍しいこともあるもんだ。

後で聞いた話だが、遅らせたのは05のカードがまた色々あつて調べてたとのこと。様変わりともまでは行かないが、〃白がまたやらかした〃と言つてたから…。

「は〜い、ありがとう〜ございませ〜す♪」

「どうも」

「それと〜、千円以上お買い上げ得点で〜す」

「あ、はい」

「Xレアだし〜、悠姫ちゃんのデッキにピッタリなんじゃないかしら〜」

「…だと良いんですけどね」

貰った3枚は同じのだが、バースト召喚ができて…!!?

〃BP2万以下のアルティメットを破壊〃!?

お、思わず叫びそうになったが何とか堪える。…とにかく早く帰つて色々考えねば――

「あらあ？…そこ行く貴女はあ…」

…このやや間延びして馬鹿みたいによく通る声、何処かで聞いたことがあるぞ。

「……あ」

「ああやはりそうでしたわあ。〜ぎげんよう、そしてお久しぶりですわあ」

「お、お久しぶりです」

私に声を掛けてきたのは、合法ロリ最上級生と言われている〃  
琴識<sup>ことしき</sup> 沙織<sup>さおり</sup>〃先輩だった。

前に空き教室を占拠してて、祐依とバトルした相手だ。

「まあお座りになってくださいまし」

「で、では…」

帰ってデツキ調整をしたいが、有無を言わさぬ謎の感覚により渋々座る。琴識先輩が座っていた場所は、言わずもがなお店の一角、フリースペース。…テーブルに積まれているのはアルティメットバトル05、6箱。か、金持ちめ…。

「この山が気になりますの？」

「え…いや…」

「これはわたくしの分もありますがあ、優雅部布教用に買い込みましたの」

「布教用、ですか」

「ええ！」

自信満々、目を輝かせながら話す姿は端から見れば

「ともだちにバトスピおしえるの！」

と意気込む小さな女の子にしか見えない。実際私もそんな風に見えるている。

「ああ、引き留めた理由なのですがあ」

「はい」

「噂で聞いたのですが、なかなか面白いご趣味をお持ちみたいですねえ…♪」

「何を聞いたか大体その反応で理解しましたが、それ絶対違いますから」

「あああ、やっぱり違いますのねえ」

どんな噂になってるか聞きたくも無いが、尾鰭背鰭付きすぎだろ…。てかそれどこから流れてきたんだ。

「特訓と称して自らの性癖を満たしていると…」

「振曲げたやつ絶対許さん…」

「大丈夫ですわあ。そんな噂を信じるのは考えの足りない『鵜』ぐらい愚かな輩です。軽うく受け流しなさいな」

おお、流石上級生。毅然とした余裕ある心構えだ…。見た目完全に小学生だけどやはり年上、最上級生。

「さてえ、それよりお悩みの相談に乗りますわあ。さあ！遠慮無く話してくださいな！」

「はあ…」

相談は強制なのか。…まあ、同じ赤を使っているので話して損は無  
いだろう。

「ほほう。パワー不足を感じると」

「05が来たんで、多少解決出来るかと思ったんですけど…」

「ふむふむ。たしかあ、悠姫さんが使っているのは『リユーマン』でし  
たわねえ」

「はい。初めてからずっと」

「それは良い心掛けですわあ。…しかし、わたくしも最近の赤には物  
足りなさを感じてましたの」

内容を話すと真剣に取り合ってくれた。それは先輩も感じている  
ようで、手を口に当てて考えこむ。

「しかし赤も緑のコアブーストは喉から『ドリームハンド』が出る程欲  
しいのは確か…」

「…?」

「しかし、しかし!そこに頼ってしまえば待っているのはコンセプト  
崩壊!」

一々大袈裟だな…。まあコンセプト崩壊は避けたい事実。他色を  
最小限に留めて、何とか赤を立たせたい。

「もう考えるのは面倒ですわあ!」

「考えてまだ三分も経ってないんですが…」

「細かいことはどうでもよろし! 悠姫さあん、バトルですわあ!」  
「……………」

「同じ赤の担い手ならば、【激突】あるのみ!!ですわあ!」  
突然挑まれるのはもう慣れた。

しかし思考放棄早過ぎだろ琴識先輩。アドバイスがあったら聴き  
たかったのに、いつもと同じ「バトスピで語れ!」ってか。

「わたくしも05のカードを追加する前に、新たなデッキでお相手し  
ますわあ!」

「…分かりましたよ」

「ふふつ。では、ゲートオオオープン!!!界ツツ放ツツ!!!」  
「っ!? う、うるせえ!」

あ、相変わらずドデカい声だ…。私も04最後のバトルだ。ここで琴識先輩のデツキを参考にして行こう。

緋立 悠姫

【試作型赤アルティメット】

VS

琴識 沙織

【黄金の龍騎神】

「そういえばあ、悠姫さんとのバトルは初めてでしたわねえ」  
「そうでしたね」

聞くと、祐依とは知らぬ間に一、二度バトルしたらしい。相変わらず強くて良いバトルをしていたらしい。

…で、だ。前に見たときは【射手座】デツキとかいうのだったっけ？ 注意しなけりやならんのは大体覚えてる…ハズ。

「先攻は差し上げますわあ!」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「じゃあ遠慮無く。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ」

手札はなかなか。これなら行けそうだ。

「召喚、《エクス・ムゲンドラ》。レベル2」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア2 レベル2 BP3000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

〈沙織・後攻第二ターン〉

「では始めますわあ！優雅なるスタートステップ！」

〔リザーブ4↓5〕

〔手札4↓5〕

「メインステップ！ いでよ！射手座の星！ 《ルクバート・ドラゴン》、レベル1！」

〔手札5↓4〕

〔リザーブ5↓3〕

〔トラッシュ0↓1〕

〔ルクバート・ドラゴン コア1 レベル1 BP1000〕

赤 スピリット

《ルクバート・ドラゴン》

コスト1 軽減赤1 <星竜>

<1>Lv1 1000

<2>Lv2 3000

<4>Lv3 4000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：赤】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「赤」（赤のシンボル1つ）を追加する。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のスピリットすべてをBP+1000する。

「：新しいカード？」

「おや？ “メガデツキ”をご存知ないの？」

メガデツキ？ 新しい構築済みか？

「赤使いなら是非入手しておくべきデツキですわあ」

「ほう…」

「では次に《アルティメット・ブレイドラ》を召喚！」

〔手札4↓3〕

〔リザーブ3↓2〕

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 B P 3 0 0 0」  
「ブレイドラも遂にアルティメット化。アルティメットリザーブへと進化したのですー!」

「アルティメットリザーブで…」

「更にマジック《ネオ・ダブルドロ》!」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ1↓3)

「アルティメットであるUブレイドラがいるため3枚ドロしますわあー!」

(手札2↓5)

「バーストをセットし、ここはターンエンドとしましょう!」

(手札5↓4)

(バースト:無し↓セット)

〈悠姫・第三ターン〉

「最近ぽこじやかアルティメット簡単に出過ぎだろ…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「ぽこじやか…。初めて聞きましたわあ。何処の言葉ですか?」

「何処でもいいでしょう。言語学者じゃないんですし」

「たしかこういうのを、*“てんぷれ”*と言うのではしたか?」

そう…なのか?」

「…め、メインステップ。相棒の【スピリットソウル・赤】発揮。召喚、

《紅炎龍ヒノコ》。レベル3」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「紅炎龍ヒノコ コア1 レベル3 B P 9 0 0 0」

「：ターンエンド」

「赤同士のバトルはワクワクしますわねえ。どちらが仕掛け、この静寂を破るか」

「個人的には気が気じゃないですよ」

〈沙織・第四ターン〉

「優雅なる第四ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ！ お先に仕掛けさせていただきますわあ！」  
「っ!？」

「Uブレイドラの効果！メインステップ中、わたくしの究極シンボルは赤シンボルとしても扱われますわあ！」

赤 アルティメット

《アルティメット・ブレイドラ》

コスト1 軽減赤1 <新生・翼竜>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP3000

<3> Lv4 BP5000

<5> Lv5 BP6000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のメインステップ』

自分の究極シンボルすべてを赤のシンボルとしても扱う。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

「ネクサス《光り輝く大銀河》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓2)



「もう手札に…！」

「大銀河の効果により、わたくしの手札にある〈光導〉スピリットのコストは5ととなります！」

「これは…来るか！」

「龍神の弓、天馬の矢！」

輝ける太陽の威光を示せ!!

《光龍騎神サジット・アポドラゴン》!!

レベル1にて、召オツ喚ツ!!」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「射手座…！」

「レベル分には、Uブレイドラから確保!!」

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「光龍騎神サジット・アポドラゴン コア1 レベル1 B P 6  
000」

「おーほっほっ！ わたくしのキースピリット、堂々見参！ですわあ  
!!」

くそっ、もう出て来られた…！まだレベル1なのが救いだが、それで収まる訳無いし…。

「アタックステップ！ 光龍騎神、エクス・ムゲンドラへ指定アタック  
!!」

「くっ、強制ブロック…！」

「悠姫さんの相棒、屠らせていただきますわあ！」

「エクス・ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「スピリットソウルを放置しては危険ですからねえ、ターンエンド！」  
〈悠姫・第五ターン〉

「これはヤバイ…。気合い入れ直して、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ」

射手座が出てしまった以上、小型のスピリットを下手に展開出来なくなつたのは痛い。アルテイメットを召喚したくても、呼ぶためのスピリットが居なければ意味が無い。

しかも琴識先輩のことだ、既にブレイヴは手札に入っているに決まってる。…なら、今はこうするか。

「ネクサス、《惑星十字直列》を配置」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓2)

「ほう」

「次にUヒノコをレベル4に」

(リザーブ3↓2)

「紅炎龍ヒノコ コア1↓2 レベル3↓4 B P 9 0 0 0 ↓ 1 2 0 0 0」

「最後にマジック《ネオ・ダブルドロウ》。Uヒノコがいるため3枚ドロウ」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ2↓4)

(手札2↓5)

…よし。まずまずだけど、かなり辛いな。だが向こうだってコアがカツカツなハズ、何とかこちらに流れを引き込まなければ。

「ターンエンド」

〈沙織・第六ターン〉

「優雅なる第六ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ！ コアが足りませんわねえ…。ならば増やすのが道理！ 《六分儀剣のルリ・オーサ》！レベル1で召喚！」

「やっぱりかあ…」

「有能過ぎるのが悩ましいですわあ。〈星魂〉まで持つてるとなれば、わたくしのデッキに採用しない選択肢がありませんものお」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル1 BP3000」

「召喚時効果！わたくしの赤のスピリット2体にボイドからコア1つずつ追加！ 追加するのは光龍騎神とルクバート・ドラゴン！」

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア1↓2」

「ルクバート・ドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP1000

0↓3000」

「更に《ダンデラビット》を召喚！ レベルはリザーブ、コストは光龍騎神とルクバートからいただきますわあ！」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア1↓2」

「ルクバート・ドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP1000

0↓3000」

(トラッシュ3↓5)

「ダンデラビット コア1 レベル1 BP1000」

「召喚時効果によりボイドからリザーブに1つ、〈星魂〉スピリットであるルリ・オーサにコア1つを追加！」

「一気に4つも増えた…」

(リザーブ0↓1)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア1↓2 レベル1↓2 BP3000

0↓5000」

「ほんの序ノ口に驚くのはまだ早過ぎますわあ！ 更にマジック《ブ

レイヴドロロー！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュ5↓7)

「デッキから2枚ドロロー！その後、デッキトップ3枚をオープンして、その中にレイヴカードがあれば手札に加えます！」

(手札1↓3)

●オープンされたカード

・《トレス・ベルーガ》(レイヴ)

・《エナジーバースト》(マジック)

・《鳥星鎧シソバード》(レイヴ)

「ここは：レイヴカード《空星鎧シソバード》を手札へ！

残った2枚は《エナジーバースト》を下、《トレス・ベルーガ》を上にして戻しますわあ」

(手札3↓4)

レイヴが手札に入った…！

しかもあのレイヴはアルティメットも破壊できるやつだったはず。

「Uヒノコがレベル4で命拾いしましたわねえ」

「本当にそう思いますよ」

「しかあし！これで安堵するのも甘いですわあ！」

「ですよねそりや…！」

「アタックステップ！ 光龍騎神、アタック!!」

レベル1の状態でアタックしてきたことは、確実に「抱えてるもの」があるってことだ。：私が琴識先輩なら、どういう手札だったらこのアタックをけしかけた？：考えろ。

(……………「トラッシュのコアを回収する手段」、レイヴを呼べる手段」、射手座を再度アタックさせる手段」を持っている……)「……………」

「フラッシュはありませんの？ でしたら、こちらの番ですわあ！」

マジック、《ネイチャーフォース》!!」

「トラッシュのコアを回収する手段」…。

「コストはダンデラビットからいただき、トラッシュのコア全てを光龍騎神へ! これにより、最大レベル!!」

(手札4↓3)

「ダンデラビット コア1↓0 消滅」

(トラッシュ7↓8↓0)

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア1↓9 レベル1↓3

BP6000↓13000」

「更にマジック《バーニングサン》!!」

(手札3↓2)

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア9↓8」

(トラッシュ0↓1)

「ブレイヴを呼べる手段」…。

「わたくしの手札にあるブレイヴ1つを、<sup>アポロ</sup>太陽の名を持つ光龍騎神に直接合体させるよう召喚! 喚ぶのは《鳥星鎧シソバード》!!」

(手札2↓1)

鳥星鎧シソバード

← 直接合体

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (合体)

「コスト:8+5=13」

「BP:13000+5000=18000」

「合体時効果:追加・発揮」

「シンボル:追加無し」

「鳥星鎧の召喚時効果! BP4000以下のスピリット2体を破壊しますが、これは空撃ち。本命はこちら! ルクバート・ドラゴンを疲労させ、悠姫さんのネクサス1つを破壊させてもらいます!」

「くっ、せつかくのネクサスを…!」

「ルクバート・ドラゴン 回復↓疲労」

「惑星十字直列 破壊」

「最後に光龍騎神は回復!!」

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン（合体） 疲労↓回復」

赤 ブレイヴ

《鳥星鎧シソバード》

コスト5 軽減赤3 <空牙・星魂> 『風鳥座』

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +5000

シンボル：なし

Lv1『このブレイヴの召喚時』

BP4000以下の相手のスピリット2体を破壊する。

自分のスピリット1体を疲労させることで、さらに、相手のネクサス1つを破壊する。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットの「BP破壊効果」の対象をスピリットからアルティメットに変更できる。

最後の「射手座を再度アタックさせる手段」。…やるなら、ここか

！

「ブレイヴの召喚時効果に反応して、バースト発動！」

「っ!？」

「マジック《爆烈十紋刃》！ BP6000以下のルリ・オーサ、ネクサスの大銀河、そして射手座に合体しているシソバードを纏めて破壊するー！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

〔六分儀剣のルリ・オーサ BP3000 破壊〕

〔光り輝く大銀河 破壊〕

〔鳥星鎧シソバード 破壊〕

（沙織リザーブ0↓1）

「ネクサスは犠牲になったが、攻勢は和らげさせてもらおう！」

「このタイミングでの発動…。まさか、ここまでの動きを、わたくしの手を読んでいたと!？」

「まさか。偶然噛み合っただけです」

「ほう…」

「琴識先輩がコアブーストをして、射手座のレベルを上げたり、ブレイヴを出さないのが気になりました。何かあるなって。」

トラッシュユに大量のコアがあるなら、私だったら《ネイチャーフォース》を使うだろうなど。…これには私も世話になってますし。そしてコアが戻ったなら、次は手札に引き込んだブレイヴの召喚前に祐依との対戦のときに見た、ブレイヴをノーコストで出すのは衝撃的でしたから今でも覚えてます。

最後に合体して回復からの連続アタック。これも覚えてます。シンバードにシンボルが無かったのが幸いしました、召喚時効果も怪我の功名です」

…偉そうに喋ってしまったが、大丈夫だろうか。連続アタックを防ぐ手段は無いが、ダメージを緩和するのは上手くいったハズだ。

「…悠姫さん、わたくしはあなたを侮っていたようです。心から謝罪致しますわあ」

「い、いえ。そんな大袈裟な…」

「まったく！あなた方姉妹には度肝を抜かされますわあ」

…ここまでの経験も、無駄じゃなかったって訳だ。…まあ、経験の後ろに（連敗）が付くんだが。

「アタックはライフで受ける！」

（悠姫ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「ここはターンエンドとしましょう！」

〈悠姫・第七ターン〉

「よし、スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札5↓6）

（トラッシュユ4↓0）

（リザーブ2↓6）

「召喚。《ムゲンドラ》、レベル1！」

（手札6↓5）

(リザーブ6↓5)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

「次に召喚、《リューマン・ライトニング》！レベル2」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・ライトニング コア2 レベル2 BP5000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

《沙織・第八ターン》

「成程そう来ましたか…。優雅なる第八ターン！スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュ1↓0)

(リザーブ2↓3)

「メインステップ！ 見える地雷が3つ。……《アスケラ・ドラゴン》

をレベル3で召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ0↓2)

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン コア8↓5」

「アスケラ・ドラゴン コア4 レベル3 BP5000」

赤 スピリット

《アスケラ・ドラゴン》

コスト3 軽減赤1 <星竜>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

<4> Lv3 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3



このスピリットの色とシンボルは白としても扱う。

L v 1・L v 2・L v 3 『相手のアタックステップ』

系統：〈星竜〉を持つ自分のスピリットすべては疲労状態でブロックできる。

L v 2・L v 3

このスピリットは、相手の効果で破壊されない。

「…むう、優雅ではありせわあ…。ターンエンドです」

「来ないんですか？」

「先程の事と今の状態で飛び込むほど愚かではありませんわあ。光龍騎神を失いたくはありませんからね。…はあ、まるで『霸王編環境代』に戻ったような感覚で何だかモヤモヤしますわあ」

よし、繋いだ！ やるじゃないかライトニング！牽制バッチリだ！

〈悠姫・第九ターン〉

「ならこっちのスタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メイנסテップ。…良いタイミングで来た！ 来い、《メテオドライブ》、レベル2！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「メテオドライブ コア2 レベル2 BP6000」

「更に《砲星鎧バルド・リザード》をメテオドライブに、直接合体！

コストはUヒノコとライトニングから受け取る！」

(手札3↓2)

「紅炎龍ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」

「リユーマン・ライトニング コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓4)

砲星鎧バルド・リザード

← 直接合体

メテオドライアン（合体）

〔コスト：5+4⇓9〕

〔BP：6000+3000⇓9000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：青（∞）+赤⇓青赤〕

「アタックステップ、メテオドライアンで合体アタック！ レベル2からのバトル時効果。1枚ドローして、BP3000以下のルクバート・ドラゴンを破壊！」

「くぬう…！」

（手札2⇓3）

〔ルクバート・ドラゴン BP1000 破壊〕

（沙織リザーブ0⇓1）

「バルド・リザードの合体アタック時効果、BPプラス5000！」

〔メテオドライアン（合体） BP9000+5000⇓14000〕

「このアタックは?!」

「くうう…!! ライフで受けますわあ！」

「メテオドライアンはダブルシンボル！」

（沙織ライフ5⇓3）

（リザーブ1⇓3）

「ターンエンド！」

ライフ2ついただき。油断せず、ここから場を抑えて行く。：リューマン・ライトニングの効果範囲は<新生>と<竜人>のスピリット。ムゲンドラとライトニング自身に、<新生>を持つメテオドライアンが増えたことで見えている、見せ付けている地雷は3つに増えた。

バレているのは「赤のバーストしか発動できない」ってことぐらいだ。

〈沙織・第十ターン〉

「光龍騎神の力を抑えこんで来るとは…想定外過ぎますわあ！ ス

ターゲットステップ！」

(リザーブ3↓4)

(手札1↓2)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ4↓6)

「ふっふっふ…！ メインステップ!!」

…何だ？ 今引いたのはトレス・ベルーガのハズだが。

「わたくしも、更に本気を出さねばならなくなりましたわあ!!」

「っ！」

「まずはブレイヴ《トレス・ベルーガ》を光龍騎神へ直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓3)

トレス・ベルーガ

← 直接合体

光龍騎神サジット・アポロドラゴン (合体)

「コスト：8+5=13」

「BP：13000+6000=19000」

「合体時効果：追加、発揮」

「シンボル：赤+青=赤青」

「さあお見せしましょう!!」

〃究極へと昇華せし光龍騎神〃の輝きを!!

〃究 極 三 龍 神 〃 の 威 光 を !!」

「三龍神…!?!」

究極三龍神、最後の1体か…!

「刮目せよ！」

銀河の輝きを秘めたる龍は今、究極の輝きを放つ神なる太陽となる

!!

究極三龍神、混迷切り開く光の龍が一つ!!

《アルティメット・サジット・アポロドラゴン》!!

レベル4、召・喚ツツ!!!」

「不足コストとレベルは光龍騎神とアスケラ・ドラゴンからいただきます!!」

(手札1↓0)

(リザーブ3↓0)

「アスケラ・ドラゴン コア4↓3 レベル3↓2」

(トラッシュユ3↓8)

「アスケラ・ドラゴン コア3↓1」

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン(合体) コア5↓3 レベル

3↓2 BP13000↓10000+6000=16000」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア3 レベル4

BP20000」

「さあ悠姫さん! 究極の天馬の矢、その身で味わっていただきますわあ!!」

「っ…」

「アタックステップ!!」

来る…! あの溢れ出る自身、こっちの小細工を撃ち破る気だ。

「Uサジット・アポロドラゴン、アタック!!」

《ダブルアルティメットトリガー》、ロックオン!!」

「ダブルトリガー持ち!!」

「さあコストを宣言しないさいまし! Uサジットのコストは7ですわあ!!」

「くっ…。コスト5、マジック《フレイムスパーク》。コスト3、スピ

リット《リューマン・フェニックス》!」

「ダブル! ヒットオツ!!」

コスト7帯のヒット率は高くて敵わんなまったく…!

「1ヒットにつき、相手のBP15000以下のスピリット1体を破壊」!

2ヒットのため2体! メテオドライアンとリューマン・ライトニングを指定!!」

「なっ…!?!」

「メテオドライアン(合体) 破壊」

「砲星鎧バルド・リザード 残留 コア2 レベル1 BP300  
0」

「リューマン・ライトニング 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「っ…だが、ライトニングの効果発揮！ 手札にある赤のバースト1枚のバースト条件を無視して発動できる！ 発動するのは《ネオ・コールオブロスト》！」

(悠姫手札4↓3)

「2枚ドロして、追加コストは支払わない！」

(手札3↓5)

「自慢の閃光の異名を持つ竜も、形無しですわねえ！」

「布陣が一発で…」

「更に、ダブルヒット効果！」

Uサジツトに《究極シンボルを1つ追加》!!」

「し、シンボルが増えた!？」

「アルティメット・サジツト・アポロドラゴン シンボル極+極||極  
極」

超広範囲の破壊に加えてシンボル追加まで…。これが最後の三龍神の力なのか…!

「更にレベル4からのアタック時効果！ 《効果対象》をムゲンドラ

に指定！」

「き、強制プロ…」

「いいえ。指定アタックはしませんわあ」

「…え？」

「レベル4のアタック時効果には、《効果対象指定効果》と《指定アタック》の2つが含まれているのです。

「……………」

「…詳しく説明するには少々お時間を頂きたく…」

…？ どういうことだ？

「ざっくり言いますと、《今指定したスピリットを破壊するとライフ1つ砕く》という効果ですわ」

「へえ……何っ!？」

赤 アルティメット

《アルティメット・サジット・アポロドラゴン》

コスト7 軽減赤3 <三龍神・光導>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP12000

<3> Lv4 BP20000

<5> Lv5 BP23000

シンボル：極

【Wトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたトリガー1回につき、BP15000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【ダブルヒット】：トリガーが2回ヒットしたら、さらに、このアルティメットに究極シンボル1つを追加する。

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

トリガーがヒットしていたとき、指定したスピリットを破壊したら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「……、効果対象指定効果？なんて何処にも書いてないような……指定したスピリットを破壊したら〜とは書いてありますけど」

「この『指定した』の一文にそれが含まれています」

「短い上に解り難いことこの上ない……」

つまり何だ、解りやすく一文を変えて書き出してみると

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

《更にトリガーがヒットしていたとき、相手のスピリット1体を指定することができる。》指定したスピリットを破壊したら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

《この効果は、それぞれを別々に指定することはできない。》

「こう書くと幾らか解り易くなりますかしらあ」

「ああ、少し納得しました」

「ですがこの効果、〃先に指定アタックすることを解決すると、下のライフ破壊効果も一緒に解決されてしまう〃という奇つ怪な効果なんですよ」

「∴指定アタックしないと、破壊によるライフ破壊を發揮させるための指定効果が残って、指定アタックすると、指定する効果が重なって効果が發揮されてしまう、と？」

「ええ。今は公式のQ&Aに書かれています。出た当初はそれともう混乱したものですわあ∴」

公式が説明しないと伝わらない効果って一体∴。

沙織先輩が言うには

Uサジツトの『指定』の意味が重なっていて、指定アタックすると〃『指定した』ことで効果指定まで引っ張ってしまう〃。

『Aを指定アタックして、Bを効果対象に指定する』

『Aを指定アタックする。効果対象を指定しない』

という別々に解決、指定をすることが出来ず

『指定アタックはせず、効果対象指定をAにする』

これが出来る意味が私はまだ良く解らない。∴日本語と言うのは難解である。

「まあ『Aを指定アタックして、Bを効果対象に指定する』というのが出来てしまうと、アルティメット専用の《ウイングブーツ》なりが出て来たとき、もしかしたら「ライフ4つ持っていく」なあって荒業さされてしまうかも知れませんか」

「それは∴恐ろしいですね」

「確かにわたくしは射手座が大好きです。しかし、疎まれてしまう強さでは話が違いますわあ」

「さてこの話は置いて、このUサジツトのアタックはどう受けまますのおっ。」

「そのまま受けます！」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ1↓3)

「こちらの光龍騎神のアタックを躲す算段はあるのでしょうか？」

「…どうでしょうね」

「ならば光龍騎神、合体アタック!! トレス・ベルーガの効果!、デツキトップ6枚を破棄して…その中にく光導>スピリット、《光龍騎神サジット・アポドラゴン》があつたため回復し、ムゲンドラを指定アタック!」

「強制ブロック! …そのまま破壊されるが、バースト発動!」

「ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ3↓4)

「バースト、《シンフォニックバースト》!」

〔バースト:セット↓発動〕

「今破壊されたムゲンドラを回収して、追加コスト! 私のライフが2なので、アタックステップを強制終了させる!」

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ4↓7)

「ターンエンド!」

あのUサジット…ややこしい効果よりもトリガーがヤバい。1ヒットで大型まで破壊する範囲、シンボルまで増えるのは脅威だ。

〈悠姫・第十一ターン〉

「スタートステップ…」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メインステップ」

究極三龍神も光龍騎神も厄介だが、何とか出来ない訳じゃない!

「もう一度来い、相棒! 召喚、《ムゲンドラ》!」

(手札6↓5)



(リザーブ9↓8)

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

「次に召喚、《六分儀剣のルリ・オーサ》！レベル2！」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓3)

(トラッシュ0↓3)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル2 BP5000」

「召喚時効果で、ボイドからコア1つつをムゲンドラとバルド・リザードに置く！」

「ムゲンドラ コア1↓2」

「砲星鎧バルド・リザード コア2↓3」

「更にネクサス、《超新星の輝き》を配置！」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュ3↓4)

「っ！ これは…！」

「配置時効果！ 私の手札にある究極<三龍神>のコストを今の私のライフと同じにする！ 現在ライフは2、よってコスト2になる！」

「これでムゲンドラ、バルド・リザード、ルリ・オーサにより、召喚条件は満たした！」

究極三龍神、《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》！！

レベル5で、召・喚！！

「究極三龍神のUノヴァ…！ やはりあなたを選びましたか！！」

「選ばれたとかは解らないですが、今は私の仲間…『マジダチ』つてやつなんですかね。」

レベルにはルリ・オーサとバルド・リザードから受け取る！」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓1」

「砲星鎧バルド・リザード コア3↓1」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5 レベル5 BP

30000」

良く来てくれたノヴァー！ これで逆転まで押し込む！

「召喚時Uトリガー！」

「——っ!? コスト6、ブレイヴ《金牛星鎧ブレイヴタウラス》！」

「引かれなくてよかった…！ ヒット！」

「これで私のライフ、全回復だ!!」

(悠姫ライフ2↓5)

「最後にバーストをセットして、アタックステップ！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「…：は行わずターンエンド」

「…：はい？」

〈沙織・第十二ターン〉

「くう…！ B P 3万の壁は厚過ぎますわぁ…！ スタートステップ

！」

「優雅って言わなくなりましたね」

「流石にこの状況では余裕が無くなってしまいましたわ！」

(手札0↓1)

(リザーブ0↓1)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ1↓9)

「メインステップ！ Uサジットと光龍騎神を最大レベルへ！」

(リザーブ9↓4)

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア3↓5 レベル

4↓5 B P 20000↓23000」

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン (合体) コア3↓5 レベル

2↓3 B P 10000↓13000+6000〓19000」

「そして今わたたくしの場には、赤、白、青が存在しているため、《ネオ・

ケルベロード》は2コストで召喚できます！」

光龍騎神へダブルブレイヴ!!」

(手札1↓0)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓2)

ネオ・ケルベロード

← 直接合体

光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (双合体)

「コスト：8+6+5≡19」

「BP：13000+6000+5000≡24000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤青+青≡赤青青」

しまった：!?! 安心しきってたがとんでもないもの引かれた！

「これによりトリプルシンボル！ 更にトレス・ベルーガとネオ・ケルベロードの効果により3回以上のアタックが可能!! 例え超新星により輝く命であろうと!!

アタックステップ!!」

「っ……!」

「光龍騎神！<sup>ダブルプレイ</sup>双合体アタック!!」

「……ここが、分かれ目だ……!」

「ネオ・ケルベロードの合体アタック時効果！ UサジツトのBP23000を光龍騎神へ加算！ これにより、BP47000!!」

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (双合体) BP24000+23000≡47000」

「更にデッキトップからカードを7枚破棄し、回復!!」

「光龍騎神サジツト・アポロドラゴン (双合体) 疲労↓回復」

「更に更に光龍騎神レベル3の合体アタック時効果！ 合体しているブレイヴ1つにつき、悠姫さんのBP10000以下のスピリット1体を破壊！ 2体合体しているため、ルリ・オーサとバルド・リザードを破壊!!」

「くっ……!」

「六分儀剣のルリ・オーサ 破壊」

「砲星鎧バルド・リザード 破壊」

(悠姫リザーブ0↓2)

「これで…!」

「スピリットの破壊により、バースト発動!」

「っ!」

「《双光気弾》! 2枚ドロの後、追加コストを支払って、合体しているトレス・ベルーガを破壊!」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

(悠姫手札1↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ4↓6)

「な、なんと!」

「ネオ・ケルベロードの回復効果は1ターンに1回。これでもう回復は出来ませんね!」

「トレス・ベルーガ 破壊」

「アタックはライフで受ける!」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「くううう…!! 光龍騎神、再度合体アタック!!」

「光龍騎神サジット・アポロドラゴン(合体) BP18000+2  
3000=41000」

「フラッシュタイミング! マジック《救世神撃覇》!」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ6↓7)

「1枚ドロし、バーストセット!」

(手札2↓3↓2)

〔バースト：無し↓セット〕

「ライフ減少を狙…」

「更にフラッシュ!」

「っ!」

「マジック《アンチブレイヴバリア》!!」

(手札2↓1)

「これにより、使用したターン中、合体スピリットからのダメージは無い！」

「な、何というカードを?! そんな対応力の劣るマジックを入れるくらいなら……!」

「いいんですよ。ダメージを受ける比率はスピリットからの方が多いいんですから!」

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5↓3 レベル5↓<sup>4</sup>」

(トラッシュユ7↓10)

白 マジック

《アンチブレイヴバリア》

コスト4 軽減白2極1

フラッシュユ:

このターンの間、相手の合体スピリットのアタックでは、自分のライフは減らない。

「ライフで受けませんが、ダメージは無し! これで、私のライフを0にできなくなっちゃ!」

「……詰みましたか」

私のライフは3。今の私の場の状態ではUサジツトは最大でも2点しかダメージを与えられない。アスケラ・ドラゴンのアタックも、Uヒノコがいるから防げる。加えて手札も0。

「ふっ……。ならば潔く突き進むのみ!!」

Uサジツト、アタック!! ダブルアルティメットトリガー、ロックオン!」

「——コスト4、《フレイム・クーガー》。コスト4、マジック《キャノンボール》!」

「ダブルヒット!! ムゲンドラを破壊して、究極シンボルを追加!!」

「ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓2)

「アルティメット・サジツト・アポロドラゴン シンボル極+極||極

「極」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ2↓4)

「ライフ減少でバースト！」

《リューマン・ゴッドブレイカー》！」

(バースト:セット↓発動)

「破壊できるスピリットはないが、1枚ドローして召喚！」

(手札1↓2)

(リザーブ4↓1)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP100

00」

「神撃の竜…。最期に相応しいスピリットですわあ！ ターンエンド  
！」

〈悠姫・第十三ターン〉

「最期の、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュ10↓0)

(リザーブ2↓12)

「メインステップ。召喚、《リューマン・ファンタジスタ》！レベル1  
！」

(手札3↓2)

(リザーブ12↓8)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・ファンタジスタ コア1 レベル1 BP5000」

「そして、射手座には射手座だ！」

「何っ!？」

「裏十二宮ブレイヴ、《射手星鎧ブレイヴサジタリアス》！

リューマン・ゴッドブレイカーに、直接合体!!」

(手札2↓1)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ3↓6)

射手星鎧ブレイヴサジタリアス

← 直接合体

リューマン・ゴッドブレイカー (合体)

〔コスト：8+6∥14〕

〔BP：10000+5000∥15000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：赤+赤∥赤赤〕

「う、裏射手座まで…!」

裏射手座は個人的に、周りから究極使いとか言われてるのに狙って撃ち破るのを使ってるのはどうなんだと思った次第で。

「最期にUノヴァ、Uヒノコ、ファンタジスタのレベルを上げ、アタックステップ!」

(リザーブ5↓0)

〔アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア3↓5 レベル4↓5〕

〔紅炎龍ヒノコ コア1↓2 レベル3↓4〕

〔リューマン・ファンタジスタ コア1↓3 レベル1↓2 BP 5000↓7000〕

「アタックステップ開始時、ファンタジスタの効果発揮! トラッシュにあるコアを系統:<竜人>を持つスピリット、アルティメットに好きなように振り分ける! コアはゴッドブレイカーとファンタジスタへ!」

(トラッシュユ6↓0)

〔リューマン・ゴッドブレイカー (合体) コア3↓6 レベル2↓3 BP 10000↓13000+5000∥18000〕

〔リューマン・ファンタジスタ コア3↓6 レベル2↓3 BP 7000↓11000〕

「更にファンタジスタレベル2からの効果! 私のアルティメット1体につき、<竜人>スピリット全員にBPプラス5000! アル

ティメットは2体。よって10000上昇！」

「リューマン・ゴッドブレイカー（合体） BP18000+10000=28000」

「リューマン・ファンタジスタ BP7000+10000=17000」

「ゴッドブレイカー、合体アタック!!」

「来なさいな!!」

「ゴッドブレイカー、レベル3のアタック時効果！ 手札のアルティメット、《アルティメット・ジークヴルム》を破棄し、回復!!」

「リューマン・ゴッドブレイカー（合体） 疲労↓回復」

「そして裏射手座の合体アタック時効果！ 相手のアルティメットに指定アタックできる！」

Uサジット・アポドラゴンに、指定アタック！」

赤 ブレイヴ

《射手座星鎧ブレイヴサジタリアス》

コスト6 軽減赤3緑1 <機竜・光導> 『射手座・裏』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：赤

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】

???

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のアルティメット1体を指定し、そのアルティメットにアタックできる。

Brave Attack!!

リューマン・ゴッドブレイカー+射手座星鎧ブレイヴサジタリアス

BP13000+5000+10000=28000 ↓Win

!!

vs

Defence!!



アルティメット・サジット・アポロドラゴン

BP23000 ↓ Lose…

「蹴り撃て!!」

「スピリットが、三龍神を撃ち破るとは…!」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン 破壊」

(沙織リザーブ3↓8)

「Uノヴァ、アタック!Uトリガー!」

「——コスト4、マジック《フェーズチェンジ》!」

「クリティカルヒット! BP12000以下のアスケラ・ドラゴンを破壊!」

「くっ! …よくここまで頑張ってくれましたわあ」

「アスケラ・ドラゴン 破壊」

(リザーブ8↓9)

「アタックはライフで受けます!」

(沙織ライフ3↓2)

(リザーブ9↓10)

「リユーマン・ゴッドブレイカー、ラストアタック!!」

「…ライフで、受けまます! ! !」

(沙織ライフ2↓0)

「——勝った…」

「お見事、ですわあ」

臨機応変に、前へ進むように

「調教の成果が出ていているようですねえ」

「調教じゃなくて特訓だと何度言えば」

…勝った。勝ってしまった。

夢中で戦ってたら、勝ててしまった。

「見事な引き、見事な采配に敬意を評します。しかし、まだ安定していないせいか綱渡りが過ぎるかしらあ」

「たしかに…」

今のバトルも、赤同士だったからかも知れないが、一手間違えたら逆転不可能になる状況だった。

「でもお、悠姫さんは究極使いなのでしょう？」

「え？ うくん、周りからそう言われてるだけで…」

「そうなんですの？ 『早出し』をしないのが少々不思議に思いました」

「…『早出し』？」

「ご存知無い？」

まさかこの期に及んでテクニックがあるのか。…いや、私の調べ不足なんだけども。

「『早出し』というのは

簡単に言ってしまうえば先程のわたくしですわあ。

中継ぎをせず一足飛びで大型を召喚し、圧倒する手段と言いましよ  
うか」

「ほう…」

「今回わたくしがやってみせたのは

《光り輝く大銀河》からの『コスト変更』した《光龍騎神サジツ・アポロドラゴン》の早出し。

これは説明不要ですわね？」

「ええ。最初に配置した大銀河と小型1体で、かなり少ないコストで召喚、でしたっけ」

「その通り」

本来なら、コスト8の射手座は最序盤に召喚するのは普通なら無理だ。だが、こういう手を加えることで、大型がすぐさま召喚できる手だ。…しかし

「踏み倒し」とは違うんですか？」

「違いますわねえ。天と地ほどの違いがあります」

「どんな？」

「『コストを払うか払わないか』。これだけで十分でしょう」

「…良く解りました」

琴識先輩が言うには、早出しを良くする色は軽減シンボルが多い『赤、紫、白』とのことだ。…紫は解るが白はどうなんだろう。璃恵や霧乃さんと対戦したときは、ちゃんとコストを支払ったのは小型、中型くらいか？

「——とまあ大体お分かりかしらあ？」

「なるほど…。解りました」

攻撃に重点を置いた速攻型。確かにこれはなかなか強そうだな。…代わりに赤中心になるためコアブーストを捨てているようで、少ないコアのやり繰りで怒涛の押し込みをするタイプだそう。

「使えるカードも限られます。こちらの息切れを悟らせず場を維持するのが大事ですわねえ」

「ふむ」

「パワー不足の解決策としては、パワーを上回る程のスピリット、アルティメットが出る前に場を蹂躪するのも一つですわあ」

「よく言う調えさせないってことですね」

「手堅く行くタイミング、攻め立てるタイミングも重要になります。白のように『大体何でもできるからガン攻めしても問題無し』とは行きませんから」

——しばらく琴識先輩の構築講義を受けたのち、軽くデッキを見

直すことになった。

赤ならば下手に待つより果敢に攻める事を重視して、ルリ・オーサなどを抜いて空いた枠に……

「ここに05のカードも入れてみては？」

「あ、これがあったか」

言われて思い出した。なら1箱だけ開けようか。：既に先輩が開ける気満々だが。

「さあさあ！早く開けましょう！」

「わかりましたから少し落ち着きましょう」

完全に小さい子状態だな……。そいえば、このパッケージ飾ってる“コイツ”はムゲンドラゴンなのかな？ なら出来れば当てたいところだ。

「♪」

「……………あ、Mレア」

「っ！ 赤ですか?！」

「えつと、《ジエネラル・ドラゴン》…」

「大当たりですわあ！」

「おお」

——飛ばして1箱開封完了。ふむふむ、良い当たりだったんじゃないかな。

「では早速組み替えタイムと参りましょう！」

「といっても数枚ですが…」

その数枚が大事なんだけど、さて……

「これは早出し、速攻型とは言い難いものになりましたわねえ」

「……………」

「目を逸らさない！」

「だ、だって入れたいカードが多くて…」

「もうくさつきまでの教えは何だったんですのお」

か、形にはなったが、ほぼ代わり映えしない形になってしまった……。じゃあこれただの赤デツキじゃないか！

「——悠姫」

「はい？ ……あ、楓華ふうかさん？」

二人してあーだこーだと話していたら不意に声を掛けられた。その人物は、前に私が初めてティーチングした浜倉楓華さんだった。お久しぶりですね。

「久しぶり。元気みたいだね」

「あはは…」

……話を聞くと、楓華さんも05を買いに来たのだとか。友人も一緒らしいが、他の席で対戦中のようで。

「暇になっちゃったからね。そしたら知ってる顔が見えたから声掛けてみたの。…お邪魔だった？」

「いいえ、そんなこと無いですよ」

「悠姫さんのご友人で？」

「ああ、紹介…といつても、名前くらいしか詳しく知らないんですが。浜倉楓華さんです」

「よろしく」

「はじめまして。わたくし、琴識 沙織と申します。以後お見知り置きを。…呼び方はお名前ですよろしいかしらあ？」

「うん、いいよ。その代わり私も名前で呼ばせてもらうね、沙織 “ちゃん”」

「……………ちゃん？」

「うん。悠姫より “年下” でしょ？ だから」

「……………」  
「ふ、楓華さん、琴識先輩は高校三年生なんです。私より年上なんですよ」

「えっ嘘、見た目小学中学ぐらいなのに？ 私の一個下なんて…」  
「つつっキィー！！ わたくしはオトナですわ！ ちゃんとした高校三年生ですううう！！」

コンプレックスを言われて涙目になり手をブンブン振り抗議の声

を上げる姿は完全に駄々っ子状態の子供である。 いやいや早く宥めないと…。

そして宥めすかすのに三十分程掛かってしまった。 まだ少し機嫌が直らないが、いくらか落ち着いてくれたみたいだ。 …本当に高等部三年なのか疑いたくなるのも判る。

「悠姫と沙織ちゃ」「……」：沙織も05を買いに？」

「え、ええ…。 さっきまで先輩の手ほどきを受けてデツキをちよつと変えてたんです」

「へえ。 ならさ、私と対戦してくれないかな？」

「勿論いいですよ。 前のリベンジも兼ねて」

「ふふっ、良かった。 断られたらどうしようと思った」

ああ、「初心者に負けてトラウマ！」みたいな感じかな。 それは前に大きくて小さい挫折みたいの味わったんで大丈夫。 それに、それくらいで落ち込むようならバトスピ続けてないですよ。

緋立 悠姫

【試製新赤アルティメット】

vs

浜倉 楓華

【???

「前に何かありましたの？」

「えつと…」

「ああ、私が楓華さんに負けたんですよ。 その時楓華さん初心者で…」「まあ！初心者にも負けたんですの？ これはもう少々教育・調教しないといけませんかしらあ？」

「……調教？」

「いえ何でもないので早くバトルしましょう！」

頼むから楓華さんに余計な事言わないでくださいよ先輩…。

「…コイントスで良い？」

「大丈夫です」

「なら、よつと…」

「おお流石」

「綺麗なトスですわねえ。……あら？」

「はい。裏表どっち？」

「…裏で」

「じゃあ私は表。……お、裏。当たりだね」

よつしや。じゃあこの手札なら……先攻もらおうかな。

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「先攻行きます。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。…？先輩どうしました？」

「……楓華さん、その左薬指の指輪…」

「え？…あ、これは…」

指輪？あ、あれか。隠して顔を赤らめたところを見ると…マジか。

「こ、これは…」

「いいえ、わたくしも女。むやみに騒ぎ立てる凡俗ではありません。

…でもちよつと気になっちゃいますわあ」

それは私も同感。琴識先輩の一つ上ってことは大学生辺りと考えて、結婚は未だしも婚約してると考えるのが妥当と野次馬が推測してみる。

「で？で？お相手はどなたで？」

小さい声で内緒話でもするかのように問う先輩。こういうところを見ると余計小さい子だなあって改めて思う。

「その……」

「む、無理に言わなくても大丈夫ですよ」

「うん、相手は、まあ…。悠姫には言ったけど、私にバトスピを推した  
「アイツ」だよ」

「ああ、件の」

「今あそこで対戦してるヤツだよ」

楓華さんが恥ずかしそうに小さく指差す方に、先輩と隠れるよう軽く顔を向ける。…あの人か？ 黒のカチューシャしてる、黒髪ポニーテールの。

「……女性ですよ!?!」

「たしかに性別に関して何も聞かなかったがまさか…」

「も、もうい、いいでしょ!?!対戦に戻ろ!」

「あっはい」

き、気を取り直そう。色々聞きたいし突っ込みたいが後回し。逃げられる可能性はあるがその時はその時だ。

「メインステップに戻って…。召喚、《リユーマン・ドシヤット》。レベル2」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓1)

「リユーマン・ドシヤット コア3 レベル2 BP2000」

「バーストをセットしてターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「早速新カード投入ですわねえ」

「リユーマン…。悠姫がよく使うカードだよね」

「効果破壊耐性持ちなんので、採用しない手は無いですからね」

赤 スピリット

《リユーマン・ドシヤット》

コスト1 軽減赤1 <護将・竜人>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<5> Lv3 BP4000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、相手の効果で破壊されない。

<楓華・後攻第二ターン>



「うん。じゃあこっちのターンを始めるよ。スタート、コア、ドロ」  
(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メイン。ここはネクサス《彷徨う天空寺院》を出すよ」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓5)

赤のネクサスか…。前に見たことあったような気がするが、微妙に  
思い出せない。

「バーストをセットして、ターン終了」

お互い出だしは静かに。ワン・ケンゴーを出してくるかと思った  
が、こちらのバースト警戒かな。

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ1↓0)

(リザーブ1↓2)

「メインステップ。召喚、《リユーマン・インフィニティ》。レベル1」  
(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

「リユーマン・ドシャット コア3↓2」

「リユーマン・インフィニティ コア1 レベル1 BP3000」  
(トラッシュ0↓2)

「かのライダーの最終フォームと同じ名を持つのにコスト3スピリッ  
トなのがわたくし的に少々不満所ですわあ」

「ま、まあそれなりに良いカードなんですからいいじゃないですか…」  
「そもそも！ ブレイム・ウォーター・ハリケーン」が出て何故「ラン  
ド」が無かったのか激しく疑問に思いますー！」

「…アイツも同じこと言ってたよ」

琴識先輩が言うには、モデルになりコラボした特撮ヒーローのカー

ドに不満があるらしい。

このインフィニティもそうみたいだが、コラボ品の手抜き感にご立腹のようで。

「あの『アイドルマスター』のカードだって…」

「はいはい愚痴は後で聞きますからターン進めますよ。アタックステップ」

愚痴が長くなりそうだから抑えてターンを進める。：バトルスピリッツもコラボカードみたいのがあるのか。しかし上級者の先輩が不満を漏らすつてことは、祐依や璃恵達も同じことを聞いたら不満を言うかも知れんな。

「インフィニティでアタック。レベル1からのアタック時効果で1枚ドロー」

(手札3↓4)

赤 スピリット

《リニューマン・インフィニティ》

コスト3 軽減赤1極1 <竜人>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

<5> Lv3 BP7000

シンボル：赤

???

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

自分はデッキから1枚ドローする。

「ライフで受けるよ」

(楓華ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフが減ったからバースト発動。バースト召喚、《エクリプス・ドラゴン》。レベル1で出るよ」

(楓華バースト：セット↓発動↓召喚)

(リザーブ1↓0)

「エクリプス・ドラゴン コア1 レベル1 BP4000」

「む、懐かしいカードが」

「小型を止めるならこれだよな」

私のデッキにはよく刺さりそうだな。：私も前にデッキに投入したが、自身も止めてしまうからあえなく外すことになったが、相手に回すと厄介だな。

「ターンエンド」

〈楓華・第四ターン〉

「よし、スタートつと」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メイン」

さて、エクリップス・ドラゴンが出てきて注意するのはブレイヴか。コスト6だから制限されてるもの以外合体できるからな。

「《流星の剣聖シューティングスター》を召喚」

「っ!？」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「流星の剣聖シューティングスター コア1 レベル1 B P 4 0 00」

「召喚時効果、【抜刀】。手札の〈剣刃〉ブレイヴカードをノーコストで出せるよ」

「……」

「出すのは《太陽剣カードイナル・サン》」

(手札3↓2)

太陽剣カードイナル・サン

← 直接合体

流星の剣聖シューティングスター

「コスト：5+4=9」

〔BP：4000+3000≡7000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：追加無し〕

「太陽剣!？」

「カーディナル・サンは、直接合体させるように召喚したとき、BP6000以下のスピリット1体破壊するよ」

「何っ」

「そこからエクリップス・ドラゴンの「強化」が1つ乗って、7000以下のリユーマン・インフィニティを破壊!」

〔リユーマン・インフィニティ 破壊〕

(悠姫リザーブ0↓1)

シューティングスター：、コイツも一時期デッキに入れてたカードだ。何だ外した私に恨み言を言いに来たか? …いや、私より上手く扱える人を見つけたのかな。

「更に《炎月剣スカーレット・ムーン》をシューティングスターに合体!」

「な、ダブルブレイヴ!」

「スカーレット・ムーンは、カーディナル・サンと合体してるスピリットに合体条件を無視して1枚だけ合体できる!」

(手札2↓1)

「コストはエクリップス・ドラゴンかり取るよ!」

(リザーブ2↓0)

〔エクリップス・ドラゴン コア1↓0 消滅〕

(トラッシュ3↓6)

炎月剣スカーレット・ムーン

← 直接合体

流星の剣聖シューティングスター (双合体)

〔コスト：5+4+6≡14〕

〔BP：4000+3000+4000≡11000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：赤+赤≡赤赤〕

サジット以外にブレイヴ2つと合体できるスピリットがいたのか!?

「悠姫さん、あれは合体しているブレイヴ、炎月剣の効果ですわあ」

赤 ブレイヴ

《太陽剣カード・ディナル・サン》

コスト4 軽減赤1 <剣刃>

<1> Lv1 BP3000

<0> 合体 +3000

シンボル：なし

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分のスピリットに直接合体するように召喚したとき、BP600  
0以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【合体条件：剣使】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分はデッキから1枚ドローし、自分のトラッシュにある「炎月剣  
スカーレット・ムーン」1枚を手札に戻す。

赤 ブレイヴ

《炎月剣スカーレット・ムーン》

コスト6 軽減赤3 <剣刃>

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +4000

シンボル：赤

このカードは、「太陽剣カード・ディナル・サン」と合体している自分の  
合体スピリットに、合体条件・ブレイヴ数を無視して1枚だけ追加で  
合体できる。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

このスピリットに「太陽剣カード・ディナル・サン」が合体していると  
き、さらに、相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

「バーストをセットしてアタックステップ。シューティングスターで

ダブルソードブレイヴアタック！」

(手札1↓0)

〔バースト：無し↓セット〕

トリプルシンボルじゃないのが救いだが、効果盛り沢山のコイツは早く処理したいところだ。

「合体アタック時効果発揮。カードイナル・サンの効果で1枚ドロー、スカーレット・ムーンの効果でBP5000以下のスピリットを破壊するけど、そのスピリットは破壊できないんだったね」

(手札0↓1)

ドシャットがムゲンドラとかだったら確実に更地にされてたな…。楓華さんもあれから随分上達してる、だけど、ここで素直にやらせる訳にはいかない！」

「相手のアタックに反応して、バースト発動！」

「っ！…アシユライガー？」

「いいえ、マジック《トライアングルバースト》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

緑 マジック

《トライアングルバースト》

コスト3 軽減緑1

【バースト：相手のスピリットのアタック後】

自分の手札にあるコスト4以下のスピリットカード／アルティメットカード1枚を召喚する。

ただし、『このスピリット／アルティメットの召喚時』効果は発揮されない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のスピリット1体を疲労させる。

または、コスト4以下の相手のスピリット3体を疲労させる。

「手札にあるコスト4以下のアルティメット、『炎極天リユーマン・

バースト』をノーコスト召喚！」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

「更にトラッシュにあるインフィニティの効果！ 私の系統：〈次代〉を持つアルティメットが召喚されたとき手札に戻る！」

「リユーマン・インフィニティ 回収」

(手札3↓4)

《リユーマン・インフィニティ》

トラッシュにあるこのスピリットカードは、系統：「極竜」／「次代」を持つ自分のアルティメットが召喚されたとき、手札に戻る。

「新しいアルティメット…！」

「アタックはライフで受けます！」

「：シユートイングスターはダブルシンボル！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「ライフ減少時、リユーマン・バーストの効果発揮！ 【Uハンド：赤】！」

「2つ目のバースト!?」

「赤のバースト効果を持ったカードを、ターンに1回発動を無効にさ  
れず発動できる！」

赤 アルティメット

《炎極天リユーマン・バースト》

コスト4 軽減赤2極1 〈次代・竜人〉

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

〈1〉 Lv3 BP6000

〈3〉 Lv4 BP9000

〈4〉 Lv5 BP12000

シンボル：極

【Uハンド：赤】 Lv3・Lv4・Lv5

自分の手札にある赤のカードがバースト条件を満たしたとき、その

バーストを手札から発動できる。

(Uハンドは相手の「バーストを発動できない」効果を受けず、ターンに1回しか使えない)

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

相手のネクサス1つを破壊する。

「マジック、《エナジーバースト》！」

BP7000以下のスピリット1体を破壊するが、対象は不在。追加コストはドシヤットから支払い、楓華さんの合体スピリット1体のブレイヴ1つを破壊する！ 破壊するのは、太陽剣！」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

「リユーマン・ドシヤット コア2↓0 消滅」

(トラッシュユ2↓6)

「太陽剣カーディナル・サン 破壊」

「流星の剣聖シユーティングスター(双合体)↓(合体)」

赤 マジック

《エナジーバースト》

コスト5 軽減赤3

【バースト：自分のライフ減少後】

BP合計7000まで相手のスピリットを好きだけ破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+3000する。

または、相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

「：ターンエンド」

〈悠姫・第五ターン〉

「ふう…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)



(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

まだ5ターン目なのに楓華さん、派手に動くなあ。：予想だが、これはまだ序の口だろう。

「メインステップ。召喚、《ルクバート・ドラゴン》、レベル1」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

「ルクバート・ドラゴン コア1 レベル1 BP1000」

「ルクバート・ドラゴンの【スピリットソウル：赤】！ 召喚、《アルティメット・ブレイドラ》！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓4)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「更に【スピリットソウル：赤】！」

「まだ出る!?!」

「ルクバート・ドラゴンのスピリットソウルにより赤2つ。

Uブレイドラの効果で、リユーマン・バーストとUブレイドラのシンボルが赤になって軽減赤4つ！

召喚、《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》！」

(手札2↓1)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ1↓4)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア1 レベル3 BP12000」

「良い調子ですわよ悠姫さあん！」

「前やった時より調子良さそうだね悠姫」

「いつまでもおんぶに抱っこじゃしょうがないですからね。ターンエンド」

言われた早出しってのはこんな感じでもいいのかな。私的にアルティメットが並んでちよつと気分良いけども。

〈楓華・第六ターン〉

「ちよつとまずいかな…。スタート」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メイン。…なら、私も一気に飛ばして行くよ！」

「っ！」

「場には赤シンボルが4つ、更に天空寺院の効果！ 私がコスト8以上のスピリットを召喚する際、リザーブから2コストまで支払ったものにする！」

よって支払うコストは3！」

あのネクサス、大型サポートだったのか!?

「召喚するのは、私の切り札。」

《剣星メサイア・ドラゴン》！

レベル2で召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ7↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「剣星メサイア・ドラゴン コア3 レベル2 BP13000」

赤 ネクサス

《彷徨<sup>さまよ</sup>う天空寺院》

コスト5 軽減赤3

〈0〉 Lv1

シンボル：赤赤

Lv1 『自分のメインステップ』

自分がコスト8以上のスピリットカードを召喚するとき、このネクサスを疲労させることで、自分のリザーブから2コストまでを支払ったものとして扱う。

この効果はターンに1回しか使えない。

「コスト9の大型…しかもダブルシンボル!？」

「次に、『砲竜バル・ガンナー』をメサイア・ドラゴンに直接合体。  
コストはシューティングスターから取って、スカーレット・ムーン  
と一緒に消滅」

(手札1↓0)

(リザーブ1↓0)

「流星の剣聖シューティングスター コア1↓0 消滅」

「炎月剣カードイナル・サン 消滅」

(トラッシュユ3↓5)

砲竜バル・ガンナー

← 直接合体

剣星メサイア・ドラゴン (合体)

「コスト：9+4≡13」

「BP：13000+2000≡15000」

「合体時効果：追加・発揮可能」

「シンボル：赤赤+赤≡赤赤赤」

「アタックステップ。メサイア・ドラゴンでブレイヴアタック！  
バル・ガンナーの合体アタック時効果。1枚ドローして、BP4000  
以下のルクバート・ドラゴンを破壊！」

「ルクバート・ドラゴン 破壊」

(手札0↓1)

(悠姫リザーブ0↓1)

「更にメサイア・ドラゴン、レベル2からの合体アタック時効果が  
発揮する！」

「っ!?!」

「メサイア・ドラゴンに合体してるブレイヴの合体アタック時効果が  
発揮したとき、その後にもう一度同じ効果を発揮する！」

「何!?!」

それって擬似ダブルブレイヴみたいなものか!?!

「もう1度バル・ガンナーの合体アタック時効果、1枚ドローして破壊  
効果！」

(手札1↓2)

赤 スピリット

《剣星メサイア・ドラゴン》

コスト9 軽減赤6 <剣使・戦竜>

<1> Lv1 BP8000

<3> Lv2 BP13000

<4> Lv3 BP16000

シンボル：赤赤

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

BP7000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【合体時】Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットのブレイヴが持つ『このスピリットの合体アタック時』効果が発揮したとき、その効果発揮後、同じ効果1つを、もう1度だけ発揮できる。

「メサイア・ドラゴンはトリプルシンボル！ 受けたら即死だよ悠姫！」

「いや、リユーマン・バーストの【Uハンド：赤】発揮！」

こんなシンボルの押し付け、前に同じことをやったような記憶があったような…。いやそれより今は目の前の驚異だ。

「赤マジック《双光気弾》を手札からバースト発動！」

(悠姫手札1↓0)

「2枚ドローして、追加コストを支払わずにそのまま。そしてリユーマン・バーストでブロック！」

(手札0↓2)

ここでUブレイドラを失うと、スピリットにもアルティメットにも繋がれなくなる。仕方がないが、リユーマン・バーストにここは守ってもらえない……！

「BPはメサイアの方が上だよ！」

「炎極天リユーマン・バースト 破壊」

(リザーブ1↓2)

「ターンエンド。さあ、次はどうする悠姫？」

〈悠姫・第七ターン〉

「楓華さんの方が一枚上手か…。スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ3↓7)

楓華さんがシューティングスターも炎月剣も残さなかったってことは、Uソードマスターの効果を知っててコアを取ったのか？

「そのソードマスター・ドラゴンは【真・激突】とダブルトリガー持ちで、ヒット1につきスピリットにブロックされたらライフを1つ。ダブルヒットで合体スピリットのブレイヴを1つ破壊…だったかな」

「ぬ…、その通りです」

赤 アルティメット

《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》

コスト7 軽減赤4極1 <新生・戦竜>

【召喚条件：自分のアルティメット1体以上】

<1> Lv3 BP12000

<3> Lv4 BP17000

<5> Lv5 BP27000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 【真・激突】『このアルティメットのアタック時』

相手は可能ならスピリット／アルティメットでブロックする。

【WUトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』  
ヒットしたUトリガー1回につき、このアルティメットが相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

【ダブルヒット】：Uトリガーが2回ヒットしたら、さらに、相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

やっぱり知ってたな。…ならどうするか。数圧しで行ければいいが、絶甲氷盾やアルティメットウォールだった場合無意味になる。

「召喚、2体目の《リニューマン・ドシャット》」

- (手札3↓2)
- (リザーブ7↓6)
- 「リューマン・ドシャット コア1 レベル1」
- 「次にマジック《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるため3枚ドロ」
- (手札2↓1)
- (リザーブ6↓4)
- (トラッシュ0↓2)
- (手札1↓4)
- 「バーストをセットして、Uソードマスターをレベル5に上げてターンエンド」
- (手札4↓3)
- 「バースト：無し↓セット」
- (リザーブ4↓0)
- 「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア1↓5 レベル3↓5 B P 12000↓27000」
- 焦るな、必ずチャンスは来る…。
- 〈楓華・第八ターン〉
- 「うーん、BP 2万7千かあ。スタート」
- (リザーブ0↓1)
- (手札2↓3)
- (トラッシュ5↓0)
- (リザーブ1↓6)
- 「メイン。マジック《双翼乱舞》。2枚ドロっと」
- (手札3↓2)
- (リザーブ6↓4)
- (トラッシュ0↓2)
- (手札2↓4)
- 「む。ネクサス《ガイナロック大渓谷》を配置」
- (手札4↓3)
- (リザーブ4↓2)

(トラッシュユ2↓4)

「メサイアをレベル3にしてターンエンドかな」

(リザーブ2↓1)

「剣聖メサイア・ドラゴン (合体) コア3↓4 レベル2↓3 1  
3000↓16000+2000=18000」

〈悠姫・第九ターン〉

「よし、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ」

Uソードマスターでアタックしたいが、怖いのは《キャノンボール》だ。双翼乱舞で引かれた可能性を考えると、レベルを1つ下げてアタックしたい。だけどBPが微妙に足りていない上に、こっちはBPを上げてでも軽く越えられてしまう値じや意味が無い。キャノンボールの範囲から逃れても、赤なら《バレットファイア》の可能性もある。……ウジウジするだけ無駄か。

「2枚目のマジック《ネオ・ダブルドロ》」

「ガンガン引くね」

「赤ならドローにかまけて引き込むしかないと思ひまして」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ0↓2)

(手札3↓6)

「アタックステップ。Uソードマスターでアタック！ ダブルトリガー！」

「来たね…。コスト5、ブレイヴ《剣星竜スターダスト・キャリバーン》、コスト8、スピリット《十剣聖スターブレード・ドラゴン》」  
「くつ、シングルヒット！」

片方外したがこっちは【真・激突】がある。救世主は討ち取らせて

もらうー！……この台詞だけ見ると私が悪役みたいじゃないか？

「メサイアでブロック！」

「トリガー効果で、スピリットでブロックされたらライフ1つをリザーブにー！」

(楓華ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「何も無ければそのまま破壊！」

「破壊されるけど、バル・ガンナーは残すよ」

「剣星メサイア・ドラゴン(合体) 破壊」

「砲竜バル・ガンナー 残留 コア1 レベル1 BP2000」

(リザーブ1↓2)

「スピリットの破壊でバースト、マジック《幻影氷結晶》！」

〔楓華バースト：セット↓発動〕

「今破壊されたメサイアを手札に戻すよ！」

「な…!？」

「剣星メサイア・ドラゴン トラッシュユ↓手札へ」

(楓華手札3↓4)

回収された…!?! だがあの天空寺院があっても次に支払う分がある。

「…ターンエンド」

〈楓華・第十ターン〉

「決めに掛かれるかな? スタート」

(リザーブ2↓3)

(手札4↓5)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ3↓10)

「まず大渓谷をレベル2にして」

(リザーブ10↓9)

「ガイナロック大渓谷 コア0↓1 レベル1↓2」

「大渓谷レベル2の効果は、私が【合体時】効果を持つスピリットを召喚するとき、赤シンボルを2つ増やすよ」



となれば、天空寺院と合わせて最大軽減でメサイア・ドラゴンが出てくるか…。

「呼び出すのはメサイアだけじゃないよ悠姫」  
「っ！」

「《皇帝龍カイゼルドラゴン》！」

天空寺院を疲労させて、大溪谷のシンボルを合わせて0コストで召喚！」

(手札5↓4)

(リザーブ9↓6)

「皇帝龍カイゼルドラゴン コア3 レベル2 BP13000」

「そいつは…！」

「召喚時効果！デッキの上から6枚オープン！」

●オープンされたカード

・《断罪の滅龍ジャツジメント・ドラゴニス》

・《永遠なる神都》

・《ブレイヴドロ》

・《太陽剣カードイナル・サン》

・《裁きの神剣リ・ジェネシス》

・《紫電の霊剣ライトニング・シオン》

「この中にあるブレイヴ、カードイナル・サン、リ・ジェネシス、ライトニング・シオンを手札に加える！」

(手札4↓7)

前に祐依が使ってたやつだ。そういえばあれも高コストだったっけか。

「残ったカードは上からジャツジメント・ドラゴニス、ブレイヴドロ、永遠なる神都の順番で戻すよ」

これでUソードマスターのダブルトリガーが1つ外れるのが確定した。：しかも手札にブレイヴが3枚も。

「次に手札のスピリットカード、剣星メサイア・ドラゴンを捨てて、《裁きの神剣リ・ジェネシス》をカイゼルドラゴンに直接合体！」

(手札7↓5)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ0↓3)

裁きの神剣リ・ジエネシス

← 直接合体

皇帝龍カイゼルドラゴン (合体)

〔コスト：8+6∥14〕

〔BP：13000+10000∥23000〕

〔合体時効果：発揮可能〕

〔シンボル：赤赤+赤赤∥赤赤赤〕

「これでカイゼルドラゴンのシンボルは4つ！」

「今度は4つか…！」

「バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札5↓4)

(バースト：無し↓セット)

「カイゼルドラゴンで、ソードブレイヴアタック！ どうする悠姫！」

「フラッシュタイミング、マジック《ミストバラッジ》！ コストはリ

ザーブとUソードマスターから受け取る！」

「っ！」

「皇帝龍を指定！これにより、皇帝龍はや私のライフを減らせない！」

(悠姫手札6↓5)

(リザーブ1↓0)

〔アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア5↓4 レベル

5↓4〕

(トラッシュ2↓4)

白 マジック

《ミストバラッジ》

コスト2 軽減白1

フラッシュ：

相手のスピリット1体を指定する。このターンの間、そのスピリットは自分のライフを減らせない。

自分のバーストをセットしているとき、かわりに、相手のスピリット

ト／アルティメット1体を指定する。

このターンの間、そのスピリット／アルティメットは自分のライフを減らせない。

「ドローしまくって正解でしたよ」

「しっかりと防御引いてたんだ」

「そのままライフで受けるが、ダメージは無い！」

このミストバラツジは琴識先輩の助言だ。とにかく軽くて、バーストをセットしていればアルティメットからのダメージも防げる。

「ターンエンドしかないかな」

〈悠姫・第十一ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

これは……また運任せになるな。

だけど、これで負けるのなら悔いは無い。

「…召喚、《アルティメット・アポロドラゴン》！レベル3！」

「っ!？」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・アポロドラゴン コア1 レベル3 B P 1 0  
0 0 0」

「ゆ、悠姫がアルティメットを召喚したからガイナロック大渓谷の効果で……あっ!？」

「ヒットしないカードが上にあるなら引かせるに限る。…でも次が恐ろしいんですがね。これが私の最後のターンになるかと」

(楓華手札4↓6)

「次にリザーブとUソードマスターのコアをUアポロに移動させて…」

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア4↓3」

「アルティメット・アポロドラゴン コア1↓3 レベル3↓4  
BP10000↓14000」

「召喚、《ホワイトホール・ドラゴン》！レベル1！ コストとレベルはUブレイドラとドシャットから受け取る！」

(手札5↓4)

「リユーマン・ドシャット コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「ホワイトホール・ドラゴン コア1 レベル1 BP3000」  
(トラッシュユ3↓4)

これでUアポロもUソードマスターもキャノンボールの範囲から外れたし、バウンスもされなくなった。あとは引いた2枚の他にカウンターが無いことを祈るだけだ！

「アタックステップ、Uソードマスターでアタック！ ダブルトリガー！」

「くっ…。コスト4、ネクサス《永遠なる神都》、コスト2、マジック《ミストバラッジ》…って嘘!？」

「ダブルヒット！ カウンターは?!」

「……無いよ」

「ならダブルヒット時効果で、皇帝龍に合体している裁きの神剣を破壊！」

「裁きの神剣リ・ジエネシス 破壊」

「更に【真・激突】！」

「うう…！ バル・ガンナーでブロック！」

「スピリットにブロックされたため、ヒット分ライフをリザーブに置く！ 2ヒットしているから2つリザーブへ！」

(楓華ライフ3↓1)

(リザーブ3↓5)

「ライフが減ってバースト発動！ マジック《ドリームボム》！」  
(楓華バースト：セット↓発動)

「私のスピリット、バル・ガンナーとカイゼルドラゴンを回復。それに私のライフが2以下ならトラッシュのコア1つをライフに置くよ!」

「砲竜バル・ガンナー 疲労↓回復」

「皇帝龍カイゼルドラゴン 疲労↓回復」

(トラッシュ3↓2)

(楓華ライフ1↓2)

「追加でコストを払いたいけど、ホワイトホール・ドラゴンがいるからバウンス出来ない…!」

白 マジック

《ドリームボム》

コスト5 軽減白2

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のスピリット3体を回復させる。さらに、自分のライフが2以下のとき、自分のトラッシュからコア1個を自分のライフに置く。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

相手のアルティメット1体を手札に戻す。

赤 スピリット

《ホワイトホール・ドラゴン》

コスト3 軽減赤2 <星竜>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP5000

シンボル：赤

Lv1・Lv2

自分の赤のスピリット／アルティメットすべては、相手の効果では、フィールドから手札／デッキに戻らない。

Lv2：フラッシュ『自分のアタックステップ』

自分のバースト1つを破棄することで、相手のネクサス1つを破壊する。

これは私が真っ先に採用したカードだ。白を意識してデッキを作

るとなると、これは破格のカードだ。スピリットもアルティメットも手札にデッキに戻されないのは強い。

「バトルは何も無ければ破壊する！」

「砲竜バル・ガンナー 破壊」

(楓華リザーブ5↓6)

「Uアポロ、アタック！ こいつもダブルトリガー！」

「ダブルヒットしたらまずい……って2枚とも《絶甲氷盾》!？」

「おおラッキー！ 両方コスト4でダブルヒット！ ライフ1つをリザーブへ！」

(楓華ライフ2↓1)

(リザーブ6↓7)

「最後に皇帝龍へ指定アタック！」

「強制ブロック……！」

赤 アルティメット

《アルティメット・アポロドラゴン》

コスト6 軽減赤3 <新生・星竜>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP14000

<5> Lv5 BP21000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

回復状態の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

【WUトリガー】 Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたUトリガー1回につき、BP9000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【ダブルヒット】：Uトリガーが2回ヒットしたら、さらに、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

Assignment Attack!!

アルティメット・アポロドラゴン

BP14000

vs

Compulsion Defense!!

皇帝龍カイゼルドラゴン

BP13000

「せめて…フラッシュ！マジック《ブレイヴドロ》！カイゼルドラゴンのBPを2000上げて返り討ちにするよ！」

(楓華手札6↓5)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ2↓4)

Assignment Attack!!

アルティメット・アポロドラゴン

BP14000 ↓ Lose…

vs

Compulsion Defense!!

皇帝龍カイゼルドラゴン

BP13000+2000=15000 ↓ Counter!!

(悠姫リザーブ0↓3)

「ラスト！ホワイトホール・ドラゴンでアタック!!」

「…ライフしかない！」

(楓華ライフ1↓0)

「勝った、勝てた…！」

「うわあ…最後で読み負けたあ…」

「お見事！…ですがまあ及第点ですかしらあ」

「これで及第点っすか…」

## 初心者、芽吹く時

「うおお…、2連勝…！」

「随分強くなったんだね悠姫」

「成果がしっかりと出ていて何よりですわあ」

久々の2連勝。前のシヨップバトルのときに、朱莉と祥子に続けて勝った以来の2連勝だ。…あ、霧乃さんとの対戦後のレキにも勝ったから、しばらくぶりか。

でもこの勝利は納得の行く勝利だ。

「楓華さんにリベンジ達成ということだ」

「次は負けないよ」

受けて立つ所存。…とところで気になったのは楓華さんのデッキだ。様変わりしたとかそんなレベルを越して完全に別物になってるじゃないか。

あの赤緑から一体何があったのか。

「私のデッキ、随分変わったでしょ」

「そうですね。こう…かなりごり押し感が増したというか」

「ふふつ、まあね。あいつのデッキを意識したのと、また悠姫と再戦したときのことを考えたらこうなったかな」

なるほど。コスト軽減と擬似ダブルブレイヴで多シンボル押し付けで、アルティメットにも力負けしにくくなるようにしたのか。

「…となると、相手さんのデッキは<剣刃>デッキなんですか？」

「それはあいつと対戦してみれば解るよ」

「はい楓華ー！お待たせー！」

「噂をすれば。お帰り」

「ただいま…つて楓華もバトルしてたんだ」

「まあね」

「…ということは、対面のお嬢さんが噂のユキちゃんって娘かな？」



「どうも」

「どうもね。私は『秋月 朔耶』って言うの。よろしくお二人さん  
♪」

颯爽と現れた噂のお方。

フレンドリイで気さくお姉さんって感じ。お互い、三人とも名前呼びOKってことに即承諾。：そして左手の薬指にキラリと光る指輪が。

「負けちゃったんだ」

「お！楓華を負かすかあ。いやさ、楓華の話聞いてうちもバトルしてみたかったんだよね」

そうなのか？ 前に楓華さんと対戦したときは惨敗したんだけどなあ…。一体どんな話したんだらうか。

「期待されるほどでは…」

「いやいや、あの楓華がこんなやる気出してくれんのが嬉しくてさ。その気にさせてくれた子ってどんな子だろうってね」

朔耶さん目が輝いてウキウキしてる。ちよつと期待されとるがな…。

「悠姫は強いよ」

「うんうん！なんか強そうなオーラが見えるもん！」

「…オーラ？」

「良かったですわね悠姫さん。聖戦士の素質があるようですわよ」

「うお！沙織ちゃんイケる口?!」

「大体はバツチリかと！」

琴識先輩は意気投合と来たもんだ。：しかし朔耶さんから璃恵みたいな気質が感じられたのは、似たような感じだったんだな。

「ととつ、盛り上がっちゃった。さあお姉さんとバトルしよう！ターゲット！」

「油断していると足元掬われるよ」

「大丈夫大丈夫♪ 楓華の手前、格好悪いところは見せられないからね」  
「まったく…」

楓華さんと席を交換し、すぐさま対戦の準備をする朔耶さん。：ス

スリーブが見たこと無いやつだ。金と黒のバトルスピリッツのロゴが入ってて、キラキラしてる。

「あ、楓華。シート…」

「気にしないで使っていいよ」

「ん。テンキュ♪」

…仲良いなあ。

「悠姫さん、朔耶さんが使っているスリーブは公式が販売している公式スリーブ」というものですわあ」

「ん？ 公式スリーブ？」

「公認戦、例えばシヨツプバトルなどでは、スリーブを付ける際はこれを付けなければなりませんの」

「へえ」

「厳密にやあ、公式スリーブ、もしくは、無地透明スリーブが規則。二重以上は禁止”ってことね」

ふむ。先輩と朔耶さんが言うには…

「バンデッド・キースみたい你真似されちゃあ堪ったもんじゃない！」

「初手エクゾディア！」

「そんな薄汚い真似なんかしたら…」

「も、もしかして、オラオラですのおツ!？」

「YES! YES! YES!」

「……………」

「…はあ」

「沙織ちゃん、楓華と悠姫ちゃんが養豚場の豚を見るような目で見てくるよ」

「おかしいですわ、優雅部ではバカウケですのに…」

そういうのは璃恵や祐依とかがいるときにやっってくださいよ…。私と楓華さんじゃこれが精一杯なんですから。

緋立 悠姫

【赤アルティメット】

V S

秋月 朔耶  
【??】

「ほい準備完了」

「……」

「ん？ 何かな？」

「あ、えつと……」

「あくもしかしてこの手袋のこと？」

朔耶さんが付けはじめた白黒の手袋。指の間接までが黒で、指先、第二間接から先のが白。なんかカッコイイけど理由があるんだろうか？

「ヨゴレ防止だよ。スリーブは指紋とか付いてるとカッコ悪いし、相手さんのカードも触れるしさ」

「なるほど……」

「カッコイイ？」

「少し」

「へへくん♪ マネしても良いのよ♪」

「真似しないでいいよ悠姫。ただのカッコつけなんだから」

カードの汚れ防止かぁ。彩音と霧乃さんが言ってた覚えがある。

極稀にその……ちよつと汚れてる人がいるとか。

「それにね、この公式スリーブ脆くってさ」

「そうですわぁ！」

「沙織ちゃんも解る?! 2、3回使うとすぐ角つこが剥がれてくるんだよね〜！」

「解りますわ! しかも縦のサイズが若干高いのも気になりますわよね!」

「そうそう! あれ何とかなんないのかねえ? しかも他のカードゲームのスリーブみたく数が出回ってないのがまたねえ!」

また愚痴りあいが始まった。

これもいつか真桜と董さんの翠乃姉妹に聞いたことがある。

仕入れ額がそれなりにするのに数が少ないし質がちよい……。コア

も青カラーは山ほどあるが、他の色の赤、白（透明）、黄色、緑、紫はまずなかなか出回らない。

シヨップバトルでは、貴重カラーであるピンクが景品にある。これは一般には出回らず、シヨップバトルもしくは公式で大々的にやるイベントのガンスリンガーの景品にしかないとのこと。

「…朔」

「あぁつとと、また逸れた…」

「わたくしもつい盛り上がってしまいましたわぁ」

「まぁ仕方ないですよ」

バトスピの小物関係であればほしいこれがほしい、あぁしてほしいこうしてほしいという話題は事欠かないって。…てか楓華さん、朔耶さんのこと「朔」って呼ぶんだ。

「さてさて、先攻後攻は…楓華のコイントスで決めよつか。てな訳でよろしく♪」

「はいはい。…表？裏？」

「表！」

「じゃあ裏で」

私が裏で朔耶さんが表。そして楓華さんの華麗なるコイントス。ほんと器用だな楓華さん。上げたコインが落ちてくる瞬間キャッチ…と見せ掛けて両手で取った。…取った？

「…？」

「裏表じゃなく、どっちに入ってると思う？」

「うえっ!？」

「見てないっすよ…」

「わ、わたくしも捉えられませんでしたわぁ…」

ま、マジかよ…。全っ然わかんないん…。

「私を手品得意なの忘れてたでしょ」

「ここで披露せんでもいいよぉ〜！」

「ほら朔、当ててみな。朔が当てたら選べて。外したら悠姫が選ぶってことだ」

完全に見てなかった上に手品が得意って、もしかしたら持ってないなんて可能性もあるってことか？ 朔耶さんがうくうく唸りながらどっちか探ってるってことは本気で解らないんだな…。

「うぬぬぬぬ……」

「……………」

「ぬぬぬ……今日の楓華の下着は黒のレース付き……」

「……………」

「あつ！右手！」

「…当たり前だけど、後でぶん殴ってやる」

…今のは私でも解った。楓華さんを挑発して力の入った方を確認したんだ。

随分前だが、璃恵に同じことされたからだ。

〈朔耶・先攻第一ターン〉

「わーい先攻いただきー！ 先攻ドロー！」

(リザーブ 4)

(手札 4 ↓ 5)

「メイン。ネクサス 《獣の氷窟》を配置つと」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 4)

「バーストセットでターンエンド♪」

(手札 4 ↓ 3)

(バースト：無し ↓ セット)

さて。朔耶さんのデッキの情報は＜剣刃＞デッキではないか？という曖昧な情報のみ。…あのネクサスから見るに宿敵の白中心か？しかしまだ判断するには早いか。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ 4 ↓ 5)

(手札 4 ↓ 5)

「メインステップ。…召喚、《リユーマン・インフィニティ》。レベル

1

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・インフィニティ コア1 レベル1 BP3000」

「おお、赤かあ」

「バーストをセットして、アタックステップ」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「インフィニティでアタック。アタック時効果で1枚ドロ」

(手札3↓4)

「氷窟が見えてるのにアタックしてくる…手札優先？ 獣の氷窟の効果で、BP4000以下のスピリットのアタックじゃライフは減らないよー。」

白 ネクサス

《獣の氷窟》

コスト4 軽減白2

<0> Lv1

<1> Lv2

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

BP4000以下のスピリットのアタックでは、お互いのライフは減らない。

Lv2

相手のスピリット／マジックの効果で相手の手札が増えたとき、増えたカード1枚につき、自分はデッキから1枚ドロできる。

シンボル：白

「ターンエンド」

朔耶さんはまだネクサスだけだからまだ何とも言えないが、ある程度アルティメット対策はされていると見ていいか。

あのネクサスのせいでうちの小型スピリットは封殺されそうだし、下手にドロすれば便乗される。…相変わらず白の相手はいつも以

上に気張る必要がある。

〈朔耶・第三ターン〉

「ではスタートステエップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メイン。《ダンデラビット》をレベル1で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「ダンデラビット コア1 レベル1 B P 1000」

「召喚時コアブースト！」

(リザーブ1↓2)

「氷窟をレベル2してターンエンド」

(リザーブ2↓1)

「獣の氷窟 コア0↓1 レベル1↓2」

〈悠姫・第四ターン〉

「待ちの姿勢か…。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。召喚、《リユーマン・ドシャット》。レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓4)

「リユーマン・ドシャット コア1 レベル1 B P 1000」

さてこっからどうする…。あのネクサスがある限り便乗ドロークされてしまう。強引に突破することと戦力増強も兼ねてドロークしてしまおうのも……。

「……………」

「…♪」

向こうはドロローしてしまえと待ち構えている。

「…召喚、《アルティメット・ブレイドラ》。レベル3」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓3)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「次にマジック、《ネオ・ダブルドロロー》。こちらの場にUブレイドラがいるため、3枚ドロロー」

「おお、度胸あるねえ。なら氷窟レベル2の効果で同じく3枚ドロローさせてもらおうよ」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

(悠姫手札2↓5)

(朔耶手札3↓6)

「ターンエンド」

とにかく引けるだけ引いてみた。次には何とかなるか？

〈朔耶・第五ターン〉

「手札ありがとさん♪ スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メイン。2体目の《ダンデラビット》を召喚！」

(手札7↓6)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュユ0↓2)

「ダンデラビット(2) コア1 レベル1 BP1000」

「召喚時効果でリザーブに1つ、1体目のダンデラビットにコア1つ追加！」

(リザーブ2↓3)

「ダンデラビット(1) コア1↓2」



「次に《氷楯の守護者オーシン》を召喚！」

(手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「氷楯の守護者オーシン コア1 レベル1 BP2000」

「そいでマジック《ライフチャージ》！ ダンデラビット(2)を破壊して3コアブースト！」

(手札5↓4)

「ダンデラビット(1) コア2↓1」

「獣の氷窟 コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ4↓6)

「ダンデラビット(2) 破壊」

(リザーブ0↓4)

「更に氷窟とオーシンをレベル2にしてターンエンド！」

(リザーブ4↓2)

「氷楯の守護者オーシン コア1↓2 レベル1↓2」

「獣の氷窟 コア0↓1 レベル1↓2」

オーシン…。また厄介なのが出てきた。コスト3以下を守って、こっちのドローを制限してくる。くそつ、さすがにアルティメットでも破壊耐性は突破しづらい…。

〈悠姫・第六ターン〉

「…スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ。召喚、《紅炎龍ヒノコ》。レベル4」

(手札6↓5)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「紅炎龍ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「おおなるほどね」

「そのネクサスが対応しているのはスピリットとマジックの効果だけですよね。アタックステップ」

正直なところ朔耶さんに場を操作されている感が拭えない。コアも心許ないしで、この動きは確かに楓華さんと通じる部分がある。

「Uヒノコでアタック。Uトリガー」

「ほい——コスト5、ネクサス《聖剣連山》ね」

「外したか…」

「ラッキー♪ アタックはライフで！」

（朔耶ライフ5↓4）

（リザーブ2↓3）

「ライフ減少でバースト！《妖華吸血爪》！ 2枚ドロ、追加コストは支払わないよ」

（朔耶手札4↓6）

「ターンエンド」

〈朔耶・第七ターン〉

「さあてエンジン掛かってきたきたよく。スタートステップ！」

（リザーブ3↓4）

（手札6↓7）

（トラッシュ6↓0）

（リザーブ4↓10）

「メイン！ 遂にこいつの出番！」

「っ！」

「永久の輝きを放つ楽園の剣刃！」

《真・裁きの神剣トウルース・エデン》！

レベル1で、抜剣!!」

「トウルース・エデンですって!?!」

「あれが朔の切り札。さて、今回は何が出てくるのかな」

「私の場には緑と白のシンボル。これで軽減して、コストは4！」

（手札7↓6）

（リザーブ10↓6）

(トラッシュユ0↓4)

「氷楯の守護者オーシン コア2↓1 レベル2↓1」

「真・裁きの神剣トウルース・エデン コア1 レベル1 B P 1 0 0 0 0」

「スピリット状態で1万もある!?!」

「驚くのはまだ早いよ? トウルース・エデンの召喚時効果!

私の手札にある系統:<剣使>を持つスピリットと、<剣刃>ブレイヴを好きなだけノーコスト召喚できちゃう!」

「な…、好きなだけノーコスト!?!」

赤 ブレイヴ

《真・裁きの神剣トウルース・エデン》

コスト6 軽減赤1紫1緑1白1黄1青1 <剣刃>

<1> Lv1 B P 1 0 0 0 0

<0> 合体 +6000

シンボル：赤

このブレイヴカードは、1コスト以上支払わなければ召喚できない。

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分の手札にある系統:<剣使>を持つスピリットカード/系統:<剣刃>を持つブレイヴカードを、コストを支払わずに好きなだけ召喚する。

ただし、『このスピリット/ブレイヴの召喚時』効果は発揮されない。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のバースト1つを破棄することで、相手のスピリット1体を破壊する。

「大盤振る舞い!まずはブレイヴ!

《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》!

《深淵の巨剣アビス・アポカリプス》!

《暗黒の魔剣ダーク・ブレード》!

《黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ》！

(手札6↓2)

(リザーブ6↓2)

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア コア1 レベル1 B  
P5000」

「深淵の巨剣アビス・アポカリプス コア1 レベル1 BP50  
00」

「暗黒の魔剣ダーク・ブレード コア1 レベル1 BP5000」

「黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ コア1 レベル1 BP5000」

「そしてスピリット！

神をも照らす輝きの龍！

《龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ》!!

銀河を震撼させる白銀の機神！

《真・守護神ダブルバーン》!!

(手札2↓0)

(リザーブ2↓0)

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ コア1 レベル1  
BP6000」

「真・守護神ダブルバーン コア1 レベル1 BP6000」

「……………」

「完っ壁…！」

「絶望的な盤面になりましたわ…」

「絶好調だね朔」

「さ、朔耶さんの場が埋め尽くされてる…。こんなの見たことないぞ  
!？」

「更に更に！」

「まだある!？」

「龍輝神の効果！ <剣使>を持つスピリットは、ブレイヴ2つまで  
合体できるー」

「だ、ダブルブレイヴだと!？」

「闇赤剣と闇黄剣は龍輝神へ、闇緑剣と闇青剣はダブルバーンへダブ

ルブレイヴ!!」

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

暗黒の魔剣ダーク・ブレード

← 合体

龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ (双合体)

「コア 譲渡」

「コスト：8+5+6 || 19」

「BP：6000+5000+5000 || 17000」

「合体時効果：追加、発揮可能」

「シンボル：赤+黄+赤 || 赤黄赤」

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ (双合体) コア1

↓3 レベル1↓2 BP6000↓11000+5000+5000  
00 || 21000」

深淵の巨剣アビス・アポカリプス

黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ

← 合体

真・守護神ダブルバーン (双合体)

「コア 譲渡」

「コスト：8+5+5 || 18」

「BP：6000+5000+5000 || 16000」

「合体時効果：追加、発揮」

「シンボル：白+青+緑 || 白青緑」

「真・守護神ダブルバーン (双合体) コア1↓3 レベル1↓2  
BP6000↓10000+5000+5000 || 20000」

赤 スピリット (光)

《龍輝神<sup>りゅうきしん</sup>シャイニング・ドラゴン・オーバ<sup>ー</sup>レイ》

コスト8 軽減赤4 < 剣使・星竜 >

< 1 > Lv1 BP6000

< 3 > Lv2 BP11000

< 4 > Lv3 BP14000

シンボル：赤

このスピリットカードは【強化】を持つものとして扱う。

Lv1・Lv2・Lv3

系統：＜剣使＞を持つ自分のスピリットすべては、ブレイヴ2つまでと合体できる。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットのシンボル1につき、BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

Lv3

自分の赤のスピリットすべてに

”【強化】アルティメット以外の自分の「BP破壊効果」の上限を+1000する”を与える。

白 スピリット

《真・守護神ダブルバーン》

コスト8 白3極1 ＜剣使・武装＞

＜1＞ Lv1 BP6000

＜3＞ Lv2 BP10000

＜6＞ Lv3 BP13000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 【抜刀】『このスピリットの召喚時』

自分の手札にあるこのスピリットと合体可能な系統：＜剣刃＞を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

【合体時】Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

系統：＜剣刃＞を持つブレイヴとの合体時、ターンに1回、このスピリットは回復する。

「最後にダンデラビットのコアを龍輝神に移して、最大レベルで準備万端！」

「ダンデラビット コア1↓0 消滅」

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバレイ（双合体） コア3

↓4 レベル2↓3 BP11000↓14000+5000+5

000||24000]

「アタックステップ！」

「トリプルシンボルが2体…！」

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイで、ダブルソードブレイク双剣刃合体アタック!!」

遂に来た…！ あのトリプルシンボルは防ぎ切れないか…!?

「龍輝神のアタック時効果！ BP10000以下の相手スピリット1体、龍輝神のシンボル1につきBP5000以下のスピリット1体、つまり3体破壊する！」

「一気に4体も!？」

「ドシャットとUブレイドラ、Uヒノコは破壊できないから、インフィニティを焼かせてもらうからね！」

「リユーマン・インフィニティ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「くっ…！」

「そしてえ…！ ダーク・ブレードの合体アタック時効果、リユーマン・ドシャットに指定アタック！」

赤 ブレイヴ (闇)

《暗黒の魔剣ダーク・ブレード》

コスト6 軽減赤3 <剣刃>

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：赤

Lv1『このブレイヴの召喚時』

相手のネクサス1つを破壊する。この効果でネクサスを破壊したとき、自分はデッキから1枚ドローする。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

「強制ブロック…！」

「闇黄剣、トワイライト・ファンタジアの効果！ 相手スピリットにブロックされたから回復！」

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ（双合体） 疲労↓回復」

「何も無ければそのままバツサリだ！」

「くっ…、フラッシュユタイミング！ マジック《双光気弾》！ 龍輝神の…トワイライト・ファンタジアを指定して破壊！ 足りないコストはドシヤットから受け取る！」

（悠姫手札5↓4）

（リザーブ1↓0）

「リユーマン・ドシヤット コア1↓0 消滅」

（トラッシュ2↓4）

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア 破壊」

「龍輝神シャイニング・ドラゴン・オーバーレイ（双合体）↓（合体）

BP24000↓19000」

「なるほど。ならもう一度龍輝神で剣刃合体アタック！」

「…：Uブレイドラでブロック！」

「そのまま斬り倒す！」

「アルティメット・ブレイドラ 破壊」

（悠姫リザーブ0↓1）

「次！ ヽタウバーン…：じゃなくて ヽダブルオー…：でもなくて…：ああもう、ダブル・タウ・オー・バーンで双剣刃合体アタック！」「何か更に長くなつてないですか!?!」

名前も何か違ってるし…：とにかくまたトリプルシンボルが来る！ しかもバースト使えないっていうオマケ付きで！

「ダブル・タウ・オー・バーンの合体アタック時効果発揮！ <剣刃>ブレイヴと合体しているなら、ターンに1回だけ回復！」

「真・守護神ダブルバーン（双合体） 疲労↓回復」

「…っ、ライフで受ける！」

「ダブル・タウ・オー・バーンはトリプルシンボル！」

（悠姫ライフ5↓2）



(リザーブ1↓4)

「もう一度双剣刃合体アタック!!」

「フラッシュユタイミング!」

「むむっ!」

「神速召喚、《ブレイド・ジュー》!」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ4↓3)

「ブレイド・ジュー コア1 レベル1 BP1000」

緑 スピリット

《ブレイド・ジュー》

コスト1 軽減極1 <刃虫>

<1> Lv1 BP1000

<7> Lv2 BP3000

シンボル：緑

フラッシュユ【神速】

手札にあるこのスピリットカードは、召喚コストの支払いと上に置くコアをリザーブから使用することで召喚できる。

「ブレイド・ジューでブロック!」

「剣使には剣で迎え撃つっていうね。だけど斬り裂く! 更に闇緑剣、ウスバカゲロウの合体アタック時効果で悠姫ちゃんのライフ1つをトラッシュユに置くよ!」

「ブレイド・ジュー 破壊」

(リザーブ3↓4)

(悠姫ライフ2↓1)

(トラッシュユ4↓5)

「…っと、これは仕留めきれないか。ターンエンド」

危なかった…。琴識先輩に言われて入れて置いたブレイド・ジューが紙一重で命を繋いでくれた。

〈悠姫・第八ターン〉

「最後のターンか…。スタートステップ!」

(リザーブ4↓5)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ5↓10)

「……………」

「悠姫…頑張つて…」

「何を手札に秘めているか、ここからどうするか。悠姫さんの底力の見せどころですわねえ」

またとんでもないタイミングで来てくれたもんだ。…だけど、最高のタイミングだ。『相棒』！

「召喚、《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！」

「っ!? ここかで!?!」

(手札4↓3)

(リザーブ10↓4)

(トラッシュユ0↓4)

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア2 レベル2 BP6000」

「そして相棒の【スピリットソウル：∞】、『黄』を發揮！」

「しかも黄色!?!」

「お前のデビュー戦だ！」

《アルティメット・シヨコドラ》！

レベル4で、召喚!!」

「アルティメット・シヨコドラ…?」

「前に出ていた《シヨコドラ》が、究極三龍神の力を受けて進化した姿ですわあ。…しかし、温存していたのか出し損ねていたのか解りかねますわね」

「黄シンボルが2つに究極シンボルが1つ、よって軽減3つ。支払うコストは3。召喚条件は、私の場にアルティメットが1体以上いること、これもクリアしている！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ4↓7)

「アルティメット・シヨコドラ コア2 レベル4 BP1200

0」

「系統：〃＜極竜＞〃」を持つアルティメットが召喚されたため、トラッシュのリユーマン・インフィニティを手札に回収して、アタックステップ！」

(手札2↓3)

あとは運だ。一気にやれるかどうかは、運しかない！

「Uシヨコドラ、アタック！Uトリガー！」

「これはマズい……！——コスト5、マジック《ブレイヴドロ》！」

「よし、ヒット！」

まずは第一関門突破！

「トリガーがヒットしたとき、手札にある系統：＜新生＞を持つアルティメット1体を、ノーコストで召喚できる！」

黄 アルティメット

《アルティメット・シヨコドラ》

コスト6 軽減黄2極2 <新生・極竜>

【召喚条件：自分のアルティメット1体以上】

<1> Lv3 BP9000

<2> Lv4 BP12000

<3> Lv5 BP14000

<4> Lv6 BP20000

シンボル：極

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このアルティメットカードを召喚する。

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5・Lv6 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分の手札にある系統：＜新生＞を持つ自分のアルティメットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

Lv4・Lv5・Lv6 『???』

???  
……

「召喚するのは、こいつだ！」

《アルティメット・ドライアン》！

レベル3、ノーコスト召喚!!」

(手札2↓1)

「アルティメット・シヨコドラ コア2↓1 レベル4↓3」

「アルティメット・ドライアン コア1 レベル3 BP1000  
0」

「Uドライアン…!」

「いつの間にデッキに…。構築するとき何かこそやっていると思っただけの2枚をデッキに入れていたのですわね」

「Uシヨコドラのアタックは?」

「…ライフしかないかな」

(朔耶ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「次!Uドライアン、アタック!Wトリガー! Uドライアンのコストは7!」

「くっそー、アルティメットが出揃う前にケリ付けたかったのに、まさか氷窟が悠姫ちゃんの助けになったなんてー!」

「朔、愚痴ってないでさっさとめくる」

「アツハイ…。——コスト6、ブレイヴ《紫電の霊剣ライトニング・シオン》とコスト4、ブレイヴ《海皇剣トライウエーブ》です…」

「ダブルヒット! 1ヒットにつきUドライアンのレベルが1つ上がる! 2ヒットしたためレベル5までレベルアップ!」

「アルティメット・ドライアン レベル3↓5 BP10000↓  
25000」

「更にWヒット効果で、Uドライアンは回復!」

「アルティメット・ドライアン 疲労↓回復」

青 アルティメット

《アルティメット・ドライアン》

コスト7 軽減青3極1 <新生・極竜>

【召喚条件：自分のアルティメット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP17000

<4> Lv5 BP25000

<6> Lv6 BP28000

シンボル：極

【Wトリガー】Lv3・Lv4・Lv5・Lv6『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたトリガー1回につき、このアルティメットのLvを1つ上のものとして扱う。

【ダブルヒット】：トリガーが2回ヒットしたら、さらに、このアルティメットは回復する。

Lv6『自分のアタックステップ』

「アルティメット：ドライアン」以外の自分のアルティメットすべてを、そのアルティメットが持つ最高Lvとして扱う。

「ライフで受けるよー!」

(朔耶ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

あとライフ2つ。ウドライアンで仕留めるとしたら、ここでダブルヒットさせないと相棒がああ剣に阻まれてしまいダメージが与えられなくなり勝ちの目が消える…。だが、とにかくやるしかない!

「2度目、ウドライアンでアタック!Wトリガー!」

「お願い外れて…! ——コスト2、スピリット《ホームライタチ》とコスト4、ネクサス《ガイナロック大渓谷》!」

「ダブルヒット!」

よし来た!これで勝ちはもらった!

「ウドライアン回復、レベルアップ!」

「アルティメット・ドライアン レベル3↓5 BP10000↓25000」

「くう…!これ詰んだっばくない?! オーシンでブロック!」

「そのまま突き崩す!」

「氷楯の守護者オーシン 破壊」

(朔耶リザーブ2↓3)

「3度目！Uドライブンのアタック！WUトリガー！」

「つ、詰んだ、確実に詰んだ…！ コスト8、スピリット《氷剣使モリガン》とコスト2、マジック《ミストバラッジ》！」

「よっしゃヒット！」

「うわ、4連続当てた」

「コンボデッキの弱点の1つですわね。当たりやすく、外しやすい。高コスト帯を活かすため低コスト帯が固まりやすくなる。Wトリガー持ちには格好の餌ですわあ。…まあどちらにしろ高コストアルティメットにはそんなの関係無いのですけれど」

「回復はしないが、レベル1アップ！」

「アルティメット・ドライブン レベル3↓4 BP10000↓17000」

「うぬぬ…！ トウルース・エデンでブロック！ あー！ヒットしなかったらエデンで相討ち取れたのにー！」

「Uドライブン、押し折れ！」

「真・裁きの神剣トウルース・エデン 破壊」

（朔耶リザーブ3↓4）

「Uヒノコ、アタック！」

「ライフ！」

（朔耶ライフ2↓1）

（リザーブ4↓5）

ラスト1！ ここだ、ここで決めなければ敗北は必至。あの便乗ドロで引かれない事だけ…！

「ラスト、決めるぞ相棒！」

「最後の砦、いや洞窟！氷窟レベル2効果で便乗ドロに賭ける！」

「お互い…！」

「1枚…！」

「ドロー！！」

「……………」

「ムゲンドラゴン・ノヴァ B P 6 0 0 0 + 4 0 0 0 = 1 0 0 0 0」

(悠姫手札 3 ↓ 4)

「……………」

(朔耶手札 0 ↓ 1)

「……………引いたのは

マジック、《キズナブレード》。賭けには負けちゃったか」

「そのカード…」

「やるねえ悠姫ちゃん。お姉さん完敗だわ。

…ライフで受けたげるー！」

(朔耶ライフ 1 ↓ 0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「朔、カッコ悪い」

「ぐ…、だってね楓華…」

「それに比べて悠姫の逆転劇、格好良かったよ」

「あはは…」

「悠姫に乗り換えちやおうかな」

「えっ…」

「嘘に決まってるでしょ。この世の終わりみたいな顔しないの」

## 白と黒

——少し前、悠姫と朔耶のバトル中。

——璃恵視点——

久しぶりに縁に寄ってみた。最近はちょいと用事、というか、悠姫にキツく当たったツたッてのがあって、顔出しづらくなッてたんだよね。そりヤね、ワタシだッてうら若い女ですヨ。好きな相手にあんなことすれば多少の自己嫌悪に陥りもしますッて。

だからこんな髪型変えて帽子被って伊達眼鏡掛けた変装（笑）までしてソロリソロリと来ている訳でして。

入口近くからコッソリ店内を覗いて見ると、いつもの定位置席に悠姫の後ろ姿を発見！……で、対戦してるのは何処で引ッ掛けた女だ  
い悠姫イ！

「いつの間にナンパのやり方を……」

「は〜い。嫉妬に駆られるのは良いけど〜お店の営業妨害はやめてね〜♪」

「うおッ!? す、董さん……」

「い、いつの間に背後に……。スマレッサン!? スミレッサンナンデ!?  
「中に入らないの?」

「…悠姫、元気ッぽいんで。今回は良いです」

「…そう」

「なんか、前向きになッてるみたいですし。…再戦が楽しみです。ン  
じゃまた」

「ええ。ちゃんと仲直りしなさいね〜」

色々見抜かれてる感じがするけど、このままじゃ悠姫にもバレるかも  
知れなかつたから退散退散。

「はアア……」

さて。逃げてきたのはいいんだけど、これからどうしよ? 行く当  
てもないのに出てきちゃツたからなア…。



そこら辺テキトーにぶらつくのも良いけど……祐依ちゃんのところか、麗奈さんとこ行くのもひとつかな。と、そこまで考えて急にダルクくなッてきたから路地裏に続く曲がり角でしゃがんで休憩……

「……悠姫にマトモに会えないから禁断症状出ちやいそうだよ」

「おヤア〜？ こんなトコでクツソ情けナイヤツのクツソ情けナイ弱音が聞こエたゾ」

「ッ!？」

この聞きたくもない耳障りな声は…。

声のした暗がりの方に顔を向けると、日が出ているツてのに影に溶け込む真ツ黒なロングコートを着た――

「……令<sup>レ</sup>毀<sup>キ</sup>」

「ア〜。何処のゴミかト思ツたら親愛なる『オネエサマ』じゃないでスか〜」

「…最悪な気分がもツと最悪になツた。目障りだから消えてもらえろ？てか消えろ」

「クヒヒ…。ボクが消えるのは『叔母様』の用事が終わツタらね」

「っ…、『お母様』から？」

お母様の使いツてことか…。行きたくはないけど、お母様直々に令毀を使わせて呼んできたのなら無視はできない。無視なんかしようものなら後がメチャメチャ怖い。いやマジで。

「……スンマセン来テ下さいお願いします」

あの令毀が冷汗かきながら頭下げて頼み込んできた。

「い、行きます、行かせていただきます…」

二人して早足で冷汗かきながら家に到着。

前に祐依ちゃんが来てたのがこっちの実家の方。ワタシが済んでる悠姫達のお隣りとは違う方で、あんま離れてないけど大きいお家なんですよ。

「ち、遅刻してないよネ…?」

「ダ、大丈夫、のハズ…」

ここはお母様の執務室兼自室。うちのお母様は時間厳守。10分以上の遅刻はお説教、それ以上掛かるようなら連絡を入れないと……そりゃあ、地獄ヨ。

お互い着衣の乱れを正して、息を調える。

「…？ ほレ、襟元正セ」

「え？ あ、サンキュ」

周囲のメイド達がワタワタしてツけど無視。

「あの、お嬢様方…」

「睦月、ワタシと令毀におかしなトコない？」

「は、はい。大丈夫です！」

よし。お母様は身嗜みにも厳しい。

二人揃って扉の前に立ち、メイド長の満月さんが扉をノックする。

「〃御当主様〃。璃恵様、令毀様が到着なされました」

「ありがとう。入れて頂戴」

返事があつた。ツてことは幸い怒ツてない。間に合ったようで。そして満月さんに扉を開けてもらい入室する。

「只今戻りマシタ」

「戻りました…」

「二人ともお帰りなさい。楽にして座りなさい」

「ハイ」

「…はい」

事務机にてお仕事中だったようで、ワタシらが入ると見ていた書類から顔をこちらに向け、ソファアに座るよう促される。

「…さて、璃恵。令毀に頼んであなたを呼んだ理由は解っているわね？」

テーブルを挟んで同じく反対側のソファアへ優雅に座るお母様。

「……………」

「悠姫ちゃんと喧嘩…違うわね。冷たく突き放したとか」

「それは…その…」

「いつもいつも悠姫悠姫と騒いでたあなたがねえ。嵐でも来る前触れかしら」

「ぬウ…」

「…クヒヒツ」

お母様は相変わらず辛辣でいらっしやる…。ンで令毀アンタは笑うな。

「理由を言つてごらんさい」

「……………」

「……………はあ。満月、ながつき長月」

向こうにいるメイドの二人を呼ぶお母様。満月さんは言わずもがな、長月はワタシより年下(小学生)でありながら満月さんの片腕だツたりするすんごい娘だ。

…言わなくても二人に偵察させてたんじゃないですか。

「失礼致します。長月」

「はい」

入ってきた二人、長月の手には書類が数枚…。

「数週間前、璃恵お嬢はカードゲームバトルスピリッツにて三度目の対戦を行いました。経過途中、後半突入までは完全に流れ悠姫さんにありました。」

しかし、第16ターン。Xレアの大群により悠姫さんを押し潰し、お嬢が逆転勝利しました。それにショックを受けた悠姫さんがしばらく再起不能に陥りました」

「全部見てたんじゃない?」

「当たり前だお嬢。何のための我々だと思ってるんだ」

「知るかアツ!!」

長月がテーブルに広げたのは写真。…これあん時のバトルしてる写真じゃん!? 真上からツて…どうやって撮ったんだこれ?!

「縁の店長、真桜のお姉さんである董さん全面協力の元撮影している。不可能は無い」

「そういう問題じゃねエツての!」

「あつ!ちなみにちなみにい!」

「睦月、勝手に入らない」

「す、すみません満月様…」

扉からコツソリこちらを見てたメイド達の一人、さっきの睦月が手を上げて何か言いたそう。正直聞きたくない…。

「その日のお嬢様が悠姫様に冷たく当たったことに後悔して、クツシヨンに顔埋めてパタパタしてたの睦月知ってまーす!」

「ぐあアツはアアアツツ!」

「良くやりました睦月。後でお菓子をあげます」

「わーい♪ありがとうございます御当主様♪」

い、一番見られたくないところを睦月に見られてたなんて、何たる不覚…!

「クヒヤアハツハツハ!! お前バツカじゃねエの?!」

「うツさいボケエ!!」

頭に手を当てて忌ま忌ましく笑う令毀に反撃はしてみたものの情けない姿を見られたためその場に倒れこんで「orz」こんな状態ですヨ…。

「ちなみに、令毀お嬢様」

「ツ!? …な、何かナ満月さん?」

「最近、新しい下着を買いに行かれましたね」

「ツ!」

「申し上げますと、昨年比と比べましても変化はありません」

「グハアツ!」

「一昨年と同じく、変化は皆無でした」

「……………」

「れ、令毀イイー!」

これは酷い…。令毀もワタシより酷く目のハイライトが消えてる。

「まったく…。璃恵も令毀も、姉妹揃って迂闊ね」

こ、これは迂闊に入るんですかお母様…。

とにかく。言いたい事は、璃恵は早く悠姫ちゃんと仲直りして…籍

を入れる」ということです」

「……………え？」

「この白鐘 瑠璃るりの娘であるのに奥手過ぎます。自室に連れ込んで押し倒すくらいの気概を見せなさい」

「…いや、あの」

「だから。令毀とそのバトルスピリッツで対戦なさい」

「フアツ!?!」

え!?! お母様はいつも突然何か言い出すけどワタシや令毀、満月さんなら理解できるけど今回はさすがのワタシでも意味が解らない。バトルする意味が解らない！ 理解不能！理解不能！

「あ、あノ…叔母様？」

「令毀はいい加減、母と呼べと言っているでしょう」

「……………」

「誰が何と言おうとあなたは私の娘。もう深黒みくろではなく、白鐘の娘なんですから」

「…はい」

…令毀の生い立ちは今は詳しく話さないけど、小さい頃にお母様がウチの分家である深黒から令毀を引き取ってきたのサ。その時のお母様の怒りツプりは今でも覚えてる…。

「さあ、二人とも。噂ではカードゲームでぶつかり合い心を通わせ、蟠りも解けるのは当たり前と聞きます」

「…お、叔母s」

「……………」

「…お母様、ソの噂は一体どこカラ？」

「？ 満月からですよ」

「恐縮です」

「嘘教えんなアツ!!」

思わず令毀とハモる。こ、このメイド長は…! こういうのをしれッとお母様に吹き込むから厄介この上ない。ワタシも令毀もち

びっこの時から洒落にならんくらいいぢられて涙目になったくらいだヨもう…。

「嘘ではありません。实例は悠姫様の対戦履歴を見れば一目瞭然です」

それはまア…否定できない。

だけれど納得が行かない！特に満月さんの入れ知恵だツてのが特に！

「満月、準備を」

「畏まりました」

白鐘 璃恵

【憂いの白】

VS

白鐘 令毀

【??】

「……………」

「……………」

「璃恵お嬢様ー！ 頑張れー！」

「令毀お嬢様も頑張つてー！」

こ、こんな…ワタシも令毀もお互い死んだような目と顔しながら向き合ってる。やる気がカケラも出ないバトルなんて初めて始めて始める前から絶望がハンパない。

周囲はメイド達でいっぱい。テーブルの右側にはお母様と解説係の満月さん。左側にはジャツジ役の長月。

「ほら二人ともシャキツとしろ」

「この状況でどうシャキツとしろツてのさ…」

「こんなどうでモイイ理由でバトルするとハ…」

「どうでもいいとは何だ令毀お嬢。御当主様直々にご覧になられるんだぞ？」

だからさア…。もうこんな事になるんだツたらうじうじしてない

で悠姫に会いに行けば良かった。

「…はア。仕方ない、やるか」

「ン。ホントは今バトルしたくなかったんだよネ」

「ホウ…」

「あん時の『借り』は次やる『称号戦』に取ツときたかったんだよ」

「…クヒヒ♪」

借り。昔のワタシに黒星を付けてくれたお礼をしてやらなきやならない。

「クヒヒ。負けル前の言イ訳にしちヤシヨボいなア…」

「あゝアッ？」

言うじやないか。令毀の方こそデツキが完成してないクセにさ。

「…♪」

「…クヒツ♪」

「またブツ潰してやるヨ、オネエサマよオツ!!」

「やッてみるや妹オツ!!」

「両者火が点いたみたいだな。ではいつもの掛け声でバトル開始だ  
!」

別に大した理由なんかない。

令毀がワタシを、ワタシが令毀を嫌ツていた理由なんて、お互い生意気で可愛くないからだ。

気に入らないならお互い変な気を使わずケンカすりゃ良い。

…そう思うと、お母様はそれを見越してわざわざ吹ツ掛けてくれたんだかな。

「メイド共!一緒に叫べー!」

「「「ゲートオープン 解放!!!」」」

「先攻はワタシがいただき!」

「クヒヒ、手間が省けれ。好きニしやガれ!」

〈璃恵・先攻第一ターン〉

「ふん、後悔すんなヨ？ 白銀の第一ターン！」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。ネクサス、《ジグザール鋼鉄草原》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「バーストをセットしてターンエンド！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「ワタシは悠姫より甘くないヨ？」

「クヒヒ。あん時の悠姫とのバトルで、アレで悠姫が勝てタのが偶然

だと思ってるノ？」

「まさか。：悠姫の実力ツシヨ」

「解ツテンじやないか」

〈令毀・後攻第二ターン〉

「禍黒かこくの第二ターン、スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。ナラボクもネクサス、《海魔巢食う海域》を配置：

♪

「ぐえツ」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓5)

「次のターンが愉しミだなア璃恵オネエサマよオ？♪ バーストセツ

トでターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

くあア…。厄介なネクサス張るじゃないの。



「出た！令毀お嬢様の赤青戦術の基本！」

「璃恵お嬢様も05で出たネクサスを早速お使いなさってる！さすが白銀！」

「ふむ…」

「お二人とも、先程の沈んだ顔が嘘のようですね瑠璃様」

「ええ。カードゲームで変わった…というより、悠姫ちゃんのおかげかしら」

「璃恵お嬢様はバトルスピリッツの面白さに出会い、悠姫様と共に笑い合うために努力を惜しみませんでした。

令毀お嬢様も、璃恵お嬢様と仲良くなりたいために始めたようで」

「ふふつ。まったく、この二人は…」

〈璃恵・第三ターン〉

「白銀の第三ターン！」

(リザーブ0↓1)

「鋼鉄草原の効果！ドローステップ時にワタシのデッキトップをオープン！」

●オープンしたカード

・《メカオコ・ジョー》

「おっしゃ♪それが系統：〈機獣〉を持つカードだったならボイドからリザーブにコア1つを追加！」

(リザーブ1↓2)

「ああ、オープンしたカードは〈機獣〉カードじゃあろうがなかろうが手札に加わるから♪」

(手札3↓4)

白 ネクサス

《シグザール鋼鉄草原》  
こうてつそうげん

コスト4 軽減白2

〈0〉 Lv1

〈1〉 Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『自分のドローステップ』

ドロ―するかわりに、自分のデッキを上から1枚オープンできる。そのカードが系統：＜機獣＞を持つカードのとき、ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

オープンしたカードは手札に加える。

Lv2 『自分のバースト発動後』

系統：＜機獣＞を持つ自分のアルティメット1体を回復させる。

「相変わらぬデメリットもクソも無いネ白は」

「デメリット？ 今手札に加えたカードの情報があるじゃ〜ん♪」

「んなモンデメリットになるかクソが！」

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「手の内を明かしても自身にデメリット無し。…ふむ、なかなかえげつないのね」

「バトルスピリッツ6色のうちの1つ、白にデメリットなどというのはほぼ皆無です。手の内、オープンカードなど相手にただただプレッシャーを与えるだけで、結果的にデメリットよりプレッシャーが上回るのです」

「メインステップ。《リーディング・オリックス》をレベル2で召喚！

(手札4↓3)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓2)

「リーディング・オリックス コア2 レベル2 BP4000」

「また面倒なカードを…」

「ん〜？ 聞こえんなア♪ 次に《メカオコ・ジョー》、レベル1で召喚！

「喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓1)

「メカオコ・ジョー コア1 レベル1 BP2000」

「コイツはワタシがバーストセット中なら完全破壊耐性を持つヨ♪」

白 スピリット

《メカオコ・ジョー》

コスト2 軽減白2 <機獣>

<1> Lv1 BP2000

<2> Lv2 BP3000

シンボル：白

Lv1・Lv2

自分のバーストをセットしている間、このスピリットは破壊されない。

「ギャー！璃恵お嬢様さすがえげつない！」

「令毀お嬢様、恥知らずな白に負けないでー！」

「アタックステップ：に入るけど何もやらないで終了♪ と、ここでリーディング・オリックスレベル2からの効果発揮！ ワタシの場に白しか無いならドローステップを再度行おう！」

白 スピリット

《リーディング・オリックス》

コスト3 軽減白2 <機獣>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 【スピリットソウル：白】

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「白」を追加する。

Lv2・Lv3

自分のアタックステップ終了後、自分のフィールドに白以外のスピリット／アルティメット／ネクサスがいないとき、ドローステップを行う。

この効果はターンに1回しか使えない。

「ワタシの場には白の鋼鉄草原、白のメカオコ・ジョー、そいで白のリーディング・オリックスしかないから成立♪ エクストラドローステップ：なんだけどお！ ドローステップに鋼鉄草原のオープン効果発揮！」

● オープンされたカード

・《ミストバラツジ》

「…と、外したか。でも手札に加えまくす♪」  
(手札2↓3)

「ここで調整不足がきたか…。入れ替えたのが小型やマジックぐらいで代わり映えしてないのがねエ。」

「はア…苛立たないア白は」

「赤とか青の手札効果とかトップめくってデッキボトム送りするとかバツカじゃ〜ん？ 破棄するカードもボトムに送るカードなんて白にはありません♪」

「ウツゼエなア！」

〈令毀・第四ターン〉

「禍黒の第四ターン！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メイン。《ツインネックハイドラ》召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュユ0↓1)

「ツインネックハイドラ コア1 レベル1 BP1000」

「更ニ、《アルティメット・エルギニアス》召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓3)

「アルティメット・エルギニアス コア1 レベル3 BP500」  
0

「アルティメット…」

「悠姫や才前がだけガアルティメットを使う訳じゃないんだヨ。ツインネックハイドラとUエルギニアスにコアを追加！」

(リザーブ3↓1)

「ツインネックハイドラ コア1↓2 レベル1↓2 B P 1 0 0  
0↓2 0 0 0」

「アルティメット・エルギニアス コア1↓2」

「最後に海域をレベル2にして、アタックステップ！」

(リザーブ1↓0)

「海魔巢食う海域 コア0↓1 レベル1↓2」

「ツインネックハイドラ、喰ラえ！」

「ふん、来るかい！」

「ツインネックハイドラ、レベル2からの効果！ ボイドからコア1つをアルティメットに置く！ これにより、Uエルギニアスがレベル3へ上がる！」

「アルティメット・エルギニアス コア2↓3 レベル3↓4 B P 5 0 0 0↓7 0 0 0」

青 スピリット

《ツインネックハイドラ》

コスト2 軽減青1 <海首>

<1> L v 1 B P 1 0 0 0

<2> L v 2 B P 2 0 0 0

<4> L v 3 B P 3 0 0 0

シンボル：青

トラッシュユにあるこのスピリットカードは、系統：<新生>を持つ自分のアルティメットが召喚されたとき、手札に戻る。

L v 2・L v 3 『このスピリットのアタック時』

ボイドからコア1個を自分のアルティメットに置く。

「ギアテ、このアタックはどうすルよ」

狙いは何だ？ 今の二頭の手蛇竜ならうちのオコジョさんが一方的に餌にできる。まア単純にコア差を埋めるためにアタックしてきた可能性もあるけど…さて…

「シカシ？ 何にしてモお前は赤緑白のバーストは發揮できないけどネエ」

「…ならライフで受けてやるヨ！」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「令毀お嬢様が1点取った！」

「令毀お嬢は璃恵お嬢のやり口を良く知っている。璃恵お嬢がこう出るのを理解していて後攻スタートを選んだんだろう」

「まして、令毀お嬢様が使う「赤青」は他の赤青とは違うかなり異質なデッキ。まだ未完成とお聞きしましたが、果たして」

「ふふふつ。璃恵も令毀も本当に楽しそう」

「続ケ、Uエルギニアス！ トリガーロックオン！」

「コスト3が…。ツ!? コスト2の《ミストバラツジ》!？」

「クヒヤアハハハッ！ お前の運で2枚目引くかモ知れナイなんてなア！想定範囲内なんだよオオツ!!」

「クツソがアア…！」

「コスト7以下のスピリット、リーディング・オリックスにヤ消えテもらウが、カウンターを使っても良いんだガ？」

ちくしヨがア…！ここで使ッて次に引けるかどうかッて話は令毀以外なら行けたけど、令毀が相手じゃ話が違ウ。ここで使ッたら次にいつ引けるか…。

「通すンだナ？ ナラ目障りな鹿モドキには消えテもらウ！」

「リーディング・オリックス 破壊」

(璃恵リザーブ2↓4)

「…ねえ長月」

「ん？ どうした睦月」

「オリックスって鹿さんじゃないの？」

「オリックスはウシ目ウシ科に分類されているんだ」

「え!?! 牛さん!？」

「鹿に似た見た目らしいぞ」

「へえー！長月物知りー！」

「ふん、まあな」

「…とところでさ、最近よくお店の真桜って子と一緒にいるよね？」

睦月のことほつといてさ」  
「えっ」

海域があるせいでバーストも發揮できないし、オリックスは破壊された。…まあ、立ち上がりが遅れるのは解ッてた。でも今回ばかりは遅れたら致命的になる。

「メカオコ・ジョーでブロック！」

「邪魔なネズミがア…！」

「完全破壊耐性さアいこおオオーウ！」

「まあいいダろ。ターンエンド」

〈璃恵・第五ターン〉

「白銀の第五ターン！」

（リザーブ4↓5）

●ジグザール鋼鉄草原効果

・《機獣要塞ナウマンガルド》

（リザーブ5↓6）

（手札3↓4）

（トラッシュユ2↓0）

（リザーブ6↓8）

「《メカオコ・ジョー》2体目！」

（手札4↓3）

（リザーブ8↓7）

「メカオコ・ジョー（2） コア1 レベル1」

「また壁か？」

「バーストがある限り強靱！無敵！」

まさに言葉通りの無敵（ただしバウンスやコアシユートは除く）破壊耐性。耐性が付く条件が緩すぎだけど、その分バーストを維持しなきゃならないっていう小さい枷が付く。それを差し引いても飛び越されない限り2回ライフを守ってくれる頼もしいイタチ！ これからは「オコジョさん」と呼ぼう。

「次に喚ぶのは

終焉予言せし鋼の六極天！

《鋼極天ゴールドデン・バッファロー》！

レベル4で、降臨！

(手札3↓2)

(リザーブ7↓0)

(トラッシュ0↓3)

「鋼極天ゴールドデン・バッファロー コア4 レベル5 B P 17  
000」

「これでバースト封じは関係無くなるネ♪」

「チツ：」

「バッファロー、GO！」

「何もナイ。ライフだ！」

(令毀ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト、《ディクタールレギオン》！ ボイドから  
コア2つを海域に置ク！」

「海魔巢食う海域 コア1↓3」

「追加コストを支払って、才前のバーストを覗き見ル！」

(リザーブ1↓0)

「海魔巢食う海域 コア3↓1」

(トラッシュ1↓4)

「他人のを覗き見るなんてスケベ！」

「問答無用で破棄してくる色が寝ぼけた事吐かすナ。…で、セットは  
？」

●璃恵のセットされているバースト

・《バーストタートル》

「クヒヒツ！スピリットか！なラ破棄だ！」

「ちイツ：！」

(璃恵バースト：破棄↓無し)

「まさか『黄のクソ天使』かト思ツたガ、まア良いサ。バーストが無  
くなつたからイタチの耐性が剥がれるからナア！」



「二人ともお互い1点ダメージ。そろそろ大きく動くか」

「ねえ長月。真桜ちゃんといつもどこ行ってるの？ねえ？この前満月さんにお休みもらって嬉しそうに出掛けるの弥生やよいが見てたんだよ？ねえ？どこ行ってたの？ねえ」

「……………」

(…睦月怖エ)

(令毀、睦月前あんなだったツツけ?)

(少なクとモ、店長の妹と知り合ウ前まデは違ツたな…)

だんだん睦月の目からハイライトが消えてきて長月も青い顔してる。…………ん？これは長月が悪いのか？後で聞いてみよう。

〈令毀・第七ターン〉

「か、禍黒の第七ターン…」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。…Uエルギニアス、ツインネックハイドラ、海域のレベルを下げル」

「アルティメット・エルギニアス コア3↓1 レベル4↓3」

「ツインネックハイドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「海魔巢食う海域 コア1↓0 レベル2↓1」

(リザーブ5↓9)

「クヒヒ…、喰らい時”ダツ!!”

「ツ!？」

「大地蹂躪セシ兇暴の化身！

慈悲失き顎に畏れ、平伏セツ！

《凶龍爆神ガンディノス》！

レベル2で、喰らい尽くセツ!!」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓3)

(トラツシユ0↓3)

「凶龍爆神ガンディノス コア3 レベル2 B P 1 0 0 0 0」

「キヤー！一時バトスピ界を席卷したガンディノスよー！」

「はう…」

「ガンディノス…：ケルベロード…：星座編初期…：うっ、頭が…」

「アイエエツ!? ガンディ!? ガンディナンデ!?」

「満月、メイド達が阿鼻叫喚なのだけれど」

「あれはバトルスピリッツでは『裏Xレア』と呼ばれる一部の強者がシヨップで開かれる大会や、公式で開催される大会などで手に入られる、市販のカードとは異質なカードであり強者の証でもあります」  
「ほう。それはさぞかし強いのでしょうね」

「はい。…しかし、当時その余りにもずば抜けた能力により、過去の大会出場者の大半、上位入賞者全員が専用デッキを組み、席卷したカードでもあります」

「…成程。璃恵が焦り出したのも、メイド達の慌てようも理解出来るわ」

この状況でガンディノス…！ これはまずい。非常にまずい！

「ただ、このままじゃ面白ク無いよナア？」

「…何だヨ」

「クヒヒヒヒッ…！」

「裏黄道十二宮、不揺ノ魂ふようが一つッ！」

「ッ!? 裏十二宮ブレイヴ!?」

「《天秤星鎧ブレイヴリブラ》！」

凶龍爆神ガンディノスへ、直接合体ッ!!」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラツシユ3↓5)

天秤星鎧ブレイヴリブラ

← 直接合体

凶龍爆神ガンディノス (合体)

「コスト：7+5=12」

「BP：10000+5000＝15000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：追加無し」

「召喚時効果ア！ ボクの手札、またはトラッシュユにアるネクサス1つをノーコストで配置デキル！」

「ガンデイに加えて裏天秤座まで…」

「トラッシュユにはディクタートルレギオンしかナイ。ボクは手札カラ、ネクサス《戦星燃ゆる溪谷》を配置スる！」

（手札1↓0）

「戦星燃ゆる溪谷 コア0 レベル1」

「最後にツインネックハイドラをレベル2にして、アタックステップ！」

（リザーブ1↓0）

「ツインネックハイドラ コア1↓2 レベル1↓2」

くツ、バツファローをアタックさせたのが裏目に出たかなこりヤ…でも例え戻せてもまた最大軽減で出てくるし、アタックを許している時点でこの状況ならドロウは確定。また新しいネクサスを引かれたらそれこそ厄介だ。

「ディナータイムだア！」

ガンデイノス、合体アタック!!」

「全速前進DA！」

「強靱！無敵！最強！」

「まずはガンデイノス、レベル2カラの効果ア！ BP5000以下のイタチを喰らウ！」

「令毀お嬢、効果説明は正確に」

「…BP5000以下のイタチを破壊！」

「メカオコ・ジョー 破壊」

（璃恵リザーブ0↓1）

「破壊シタことニより、1枚ドロウ！ 更に戦星の効果、オ互いのアタックステップにオ前のスピリットを破壊シタ数につき、1枚ドロウスル！ よッテ2枚ドロウだ！」

(手札0↓2)

赤 スピリット

《凶龍爆神ガンディノス》  
きょうりゅうばくしん

コスト7 軽減赤2青2 <地竜・皇獣>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

<5> Lv3 BP12000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 【強襲：2】『このスピリットのアタック時』

このスピリットは、ターンに2回まで、自分のネクサス1つを疲労させることで回復できる。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

BP5000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

この効果で相手のスピリットを破壊したとき、自分はデッキから1枚ドローする。

赤 ネクサス

《戦星燃ゆる溪谷》  
いくさほし

コスト5 軽減赤3

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

相手のスピリットを破壊したとき、その破壊したスピリット1体につき、自分はデッキから1枚ドローする。

Lv2

系統：<星竜>/<神星>を持つ自分のスピリットすべてに

〃 【覚醒】自分のスピリット上から、フラッシュタイミングで、コアを好きなだけこのスピリット上に置くことができる”  
という効果を与える。

「(手札が)増えたー!」

「魚っあー!?!」

「令毀お嬢様のが脈打ってガンデイとの移動は私に解かせました！  
謎」

「メイドが世紀末状態ね」

「世紀末ワニムが見受けられます。トラウマを刺激されたのでしよ  
う」

「すかさず裏天秤座の合体アタック時効果！ 才前のデッキトップ1  
枚を破棄！」

「ンなる…！」

●破棄されたカード

・《甲竜戦艦エンタープライズ》（スピリット）

「なツ…!?!」

「クヒヤアハツハツハアツ!! 叩き潰す手間が省けタ！ スピリット  
が破棄されたため、ガンデイノスは回復だアツ!!」

「凶龍爆神ガンデイノス（合体） 疲労↓回復」

青 ブレイヴ

《天秤星鎧ブレイヴリブラ》

コスト5 軽減青3 <造兵・光導> 『天秤座・裏』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：無し

Lv1『このブレイヴの召喚時』

自分の手札／トラッシュにあるネクサスカード1枚を、コストを支  
払わずに配置できる。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

相手のデッキを上から1枚破棄する。

この効果で相手のトラッシュにスピリットカード／アルティメツ  
トカードが1枚以上置かれたとき、このスピリットは回復する。

「これデ失敗するマで【強襲】を温存、失敗テも3回のアタックを残し  
ている。…クヒヒ♪ 手札にある《ミストバラッジ》でダメージを止  
めたラどうダ？」

チクシヨウが…！　ここでこれを切れッてか？！

「ふむ。随分規模の大きい“木馬”ね」

「…流石です御当主様」

「私は璃恵と令毀の母ですよ。まだ娘の手ぐらい読めます」

「恐れ入ります御当主様」

「クフフツ。…さて、あの“龍の内側”には何が隠れているのかしら」

「ほらほら、使ツちまえヨ！」

「ツ…！」

「令毀お嬢、過度な煽りは注意1だぞ」

「チツ…。はいはい、長月も二股注意ナ♪」

「ふ、二股じゃない!!絶対違うからな!!」

長月の二股はまた後で問い質すとして、今はこッちだ。

ワタシの手札には《機獣要塞ナウマンガルド》と《ミストバラツジ》のみときたもんだ。

「イかに白が他色におンぶに抱ツこダツたか理解したか？」

「うツさい！」

ここは仕方ない、使うしか無いか…。下手したら連続で当てられて

The END。なら使わずしていつ使うんだッての！

「フラツシユ、マジック《ミストバラツジ》！」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

(トラツシユ3↓4)

「璃恵様、苦戦してますね」

「璃恵が手の内を晒しすぎたのもあるでしょうが、令毀の恐竜が場を支配しているのが大きいわね」

「ガンディノスを指定！　このターン中ワタシにダメージは与えられない！　だからライフ！」

「クヒヒ、悪あがきだナア…♪」

本当は《絶甲氷盾》なり《シャットアウト》なり手札にあツたら万々歳だツただけど、無い物ねだりしたッてしヨウがない！

「二度目！合体アタック！　BP5000以下、2匹目のメカオコ・

「ジョーを破壊！」

「メカオコ・ジョー（2） 破壊」

（リザーブ0↓1）

「ソして1枚、戦星の効果で1枚。計2枚ドロ！」

（令毀手札2↓4）

「次に裏天秤座の効果！」

●破棄されたカード

・《アルティメット・グランウオーデン》（アルティメット）

「Uグランウオーデン!？」

「ハツハアツ！ヒットオ！なアンてねエ！」

「凶龍爆神ガンデイノス（合体） 疲労↓回復」

「ライフ！ダメージ無し！」

「このままデツキアウトを狙うのも手だな…。クヒヒ♪ 三度目エ！」

「まだ来るんデイスカ！」

「今ノ璃恵のデツキの特性上、白以外の色を入れるとしたらマジック以外有り得ない。まだ引いテ無い、または入れてないだろう。『重巡』で白の<機獣>多段召喚がキーツてとコか？」

痛い痛い。その通り、的中してるわコリヤ。

「クツヒヒヒヒッ！ さア落とせ！」

「……………」

……………でも、1つ検討ハズレな部分があるんだなこれが♪

「さアカードを宣言しナ！」

「……………」

……………

…ウププ♪」

「ッ!？」

●破棄されたカード

・《聖騎士ペンタン》

「な…ッ!!?」

「ウププププ〜♪ デツキの特性上マジック以外他の色を入れない？  
ウプヒヤハハハッ!!お生憎サマだブウアア〜カッ!!」

ウプ、ブフフ！笑いが止まりませんわア！ 見てヨあの令毀の顔！  
信じられないモノを見たて驚愕に歪む表情！ いや〜最ツ高だわア  
！ ウプヒヤハッハッハアッ!!

「まったく、璃恵も令毀も性格が歪んでるわ。何をどうやったらあなるのかしら」

「はい。御当主様に良く似ていらっしやいます」

「…どういう意味かしら?」

「言葉の通りです」

「馬鹿ナ……。まさか、悠姫や今の環境に合わせてそれを?」

「せいかいい♪ Wトリガーが増えたから劇的に活躍の場が増えた訳よ。ならピンで入れてても邪魔にはならんのヨ♪」

「リーディング・オリックスでめくれる可能性もあるツてのに…」

「そこは『運』サ♪ 引いたらそこまで。引かなかった祈る。それだけ」

「……………」

バトルスピリッツにおいてピン挿しは、1枚制限を除いて余りにも危険な賭けだ。『サーチカード』：デツキを見て指定されたカードを手札に、または場に出せるカードは無い。

それで万が一ピン挿ししているのがデツキの一番下に埋まッてしまつたら

『掘り返す（オープン系などで上のカードを下に送り、下にあるカードを押し上げる）』

または

『掘り出す（デツキ破棄、大量ドロウなどでデツキを削り、下にあげる目的のカードを目差す）』

くらいしか方法は無い。一番確実なのは3枚積むことだ。

しかしながら、こういう聖騎士ペンタンのように超重量コストでノーコスト召喚条件が限られているカードを3枚入れるのは相当勇



気がいる。デッキが黄色か専用デッキじゃなければ余程思い入れがあるのか。

「この賭けはワタシの大勝利♪ 欲張った令毀の歴史的な大敗北だよ！」

「……………ん？ 何で皆若干困った顔してんの？」

「……………洒落でしょうか」

「本人が気付いてないから本気なんですよ」

「……………??? 令毀は片手を顔に当てて苦虫噛み潰したような苦しい

表情しながらぶつぶつ言い出したし、長月も睦月もメイド達もどうしたらいいかわかんない顔してる。…なんかしたワタシ？」

「……………璃恵は」

「ん？」

「璃恵は、そんなこととして楽しめるの？」

「勿論♪」

「即答…」

「当ツたり前ヨ！」

「だツて『面白い』じゃん。」

「ガチガチにして有無を言わずに圧勝するのも楽しいけど、ピンで入ってたカードで大逆転！なんて面白くならない訳ないじゃん♪」

「面白い…」

「ま、自己流だけどネ。令毀も楽しんでる？」

「相手にしてみたらそんなの、腹立たしいくらいだよ…」

「そうだよネ。そこでお互いが満足できるバトル展開ができるようになれば一流のカードバトラーさ♪」

「……………よく、解らない」

「仕方ないネ。考え方ややり方は人それぞれ十人十色。押し付けは良くない。」

「璃恵は、何でそんな強いのか」

「強くないサ」

「……………」

「どちらかと言えば、 “変わった” ツてやつかな」

「変わった…？」

「そう。悠姫に逢えたのと… “令毀ツていう妹ができたから” かな」

「ツ…!!」

「……………はアア…」

令毀が今まで被っていたフードを外し、俯いていた顔を上げると、今まで暗く妖しい目の光り方をしてたけど表情も目も明るくなッた。

「ツ！ 良いネエ、良い瞳してるヨ令毀イ♪」

「憑き物が落ちたような、仕方ないという表情ですね。…良い笑顔です」

「…やはり、私の娘達ね」

「ツたくら、ホントに腹立つヤツだよなア…」

「ウププ♪ これでも令毀のお姉ちゃんですからネ♪」

「何がお姉ちゃんだ。同い年じゃん！」

「あアン？ ジャどちらが姉かケリ着けツか？あアン？」

「あアン？ やるか？あアン？」

良いネエ良いネエ！盛り上がってきたよおツ!!

「ふふっ。璃恵お嬢、令毀お嬢。打ち解け終わったのならバトルを続行してくれ。ギャラリーが待ってるぞ」

「「応さー！」」

「Uトリガー、またはデツキ破棄効果で落とされた《聖騎士ペンタン》はノーコスト召喚できる！ 更にこのターン中、もうデツキ破壊は効かない！

出てこい！ 《聖騎士ペンタン》、レベル3！

(リザーブ1↓0)

「鋼極天ゴールデン・バッファロー コア4↓2 レベル5↓4」

「聖騎士ペンタン コア3 レベル3 BP20000」

「更に今はアタックステップ中、しかもワタシの場にアルティメットの鋼極天がいる。そのため聖騎士ペンタンのBPにプラス1万！」

「聖騎士ペンタン BP20000+10000=30000」

「聖騎士ペンタンのご登場！さア詩えメイド達！」

「二でってこい♪でてこい♪ランランランラン♪ でって来た♪  
でって来たランランラン♪ ランランラン♪」

「んく♪ やっぱ「アレ」を知っているとこれがシツクリくるよネエ♪」

「∴それ「紫蓮の人」のパクリでしょ」

「失敬な令殿。 Respect！ そう言ッてほしいナア」

黄 スピリット

《<sup>パラディン</sup>聖騎士ペンタン》

コスト12 軽減黄6 <歌鳥・漂精>

<1> Lv1 BP12000

<2> Lv2 BP15000

<3> Lv3 BP20000

シンボル：黄黄

このスピリットカードは、相手のUトリガー／「デッキ破棄効果」によつて自分のデッキからトラッシュに置かれたとき、コストを支払わずに召喚できる。

さらに、このターンの間、自分のデッキは破棄されない。

Lv1・Lv2・Lv3

相手の効果で自分のデッキは破棄されない。

Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

自分のアルティメットがいる間、このスピリットをBP+10000する。

「ガンディノスは聖騎士が迎え撃つ！」

Brave Attack!!

凶龍爆神ガンディノス+天秤星鎧ブレイヴリブラ

BP10000+5000=15000 ↓win!!

vs

Defense!!

聖騎士ペンタン

BP20000+10000=30000 ↓ Lose...

「凶暴なモンスターを討つのは聖なる騎士ナイトのお役目ツてネ！」

「ガンディノスが沈む…。裏天秤座はその場に残す！」

「凶龍爆神ガンディノス 破壊」

「天秤星鎧ブレイヴリブラ 残留 コア3 レベル1」

「まだ攻める？」

「モチ。ツインネックハイドラでアタック！ Uエルギニアスに1コア追加！」

「アルティメット・エルギニアス コア1↓2」

「ライフで受けたげる！」

(璃恵ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「璃恵お嬢様が返した！」

「すつごーい！璃恵お嬢様素敵過ぎますう！」

「一転 攻 勢」

「ほう…。あの状況を打破しましたね」

「クツツツ…。さすが、あなたの言った事が正しかったわね満月」

「恐縮です」

「しかしまだ流れは令殿にあるよう。…さて、璃恵はこれをどうするのか楽しみね」

「ターンエンド！」

〈璃恵・第八ターン〉

「白銀の第八ターン！スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

●ジグザール鋼鉄草原効果

・《宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス》(ブレイヴ)

(手札1↓2)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ!」

意気込んだのは良いけど手札アドが完全に差を付けられてる。しかもアルティメットを出せても4枚ドロウのうちカウンターを握られてもおかしくないし。

ペンタンで押し切るのも手かな? コスト12でアルティメットがいればBP3万とスペック抜群。…でも令毀の手札にアレがあつたら、話は変わる。

「裏黄道十二宮、神水の魂が一つ!

《宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス》!

聖騎士の鎧となれ! 直接合体!」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュ0↓4)

宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

← 直接合体

聖騎士ペンタン (合体)

「コスト:12+5≡17」

「BP:20000700027000」

「合体時効果:追加」

「シンボル:黄黄+白≡黄黄白」

「鋼極天をレベル5にして、アタックステップ!」

(リザーブ2↓0)

「鋼極天ゴールデン・バッファロー コア2↓4 レベル4↓5」

「聖騎士ペンタン (合体) BP27000+10000≡37000

0」

「聖騎士ペンタン、合体アタック!」

「フラッシュユ!」

「ッ!」

「それを出されて見逃すボクじゃない! マジック 《ブレイヴクリメ

イション》!」

(令毀手札4↓3)

「天秤星鎧ブレイヴリブラ コア3↓1」

「ツインネックハイドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・エルギニアス コア2↓1」

(トラッシュユ5↓9)

「握ッてたか…!」

「合体スピリットになッてくれた聖騎士ペンタンを破壊!」

「聖騎士ペンタン 破壊」

「裏水瓶座を残したかッたらボクに2枚ドロ―させるのが条件だヨ璃恵エ…♪」

「小憎らしい…! 裏水瓶座は残す!」

「なら2枚ドロ―だ!」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 残留 コア3 レベル1 B P  
5000」

(令毀手札3↓5)

「更に戦星の効果! これはマジックで破壊してもドロ―できる!」

「知ッとるわ!」

(手札5↓6)

合体させたのはマズかッたかなア…。

「裏水瓶座のアタックはライフで受けてやるヨ!」

(令毀ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「…ターンエンド」

〈令毀・第九ターン〉

「禍黒の第九ターン、スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュユ9↓0)

(リザーブ2↓11)

「メイン! …クヒヒ♪ マジック《ストロングドロ―》!  
「にヤにイ!?!」

(手札7↓6)

(リザーブ11↓10)

(トラッシュ0↓1)

「ここでソレツてことは…。」

「3枚ドロ―!」

(手札6↓9)

「クヒヒヒッ!後2枚破棄! 破棄するのは

《獣竜アルドゥーム》、《鳥竜エルドゥーム》!この2枚ツ!

(手札9↓7)

「ギターツ!」

「令毀お嬢様の十八番、邪龍コンボ!」

「コレが来たらもう理解<sup>わか</sup>るヨナア?」

「……………」

「先に《ホワイトホール・ドラゴン》を召喚させてもらう!」

(手札7↓6)

(リザーブ10↓7)

(トラッシュ1↓2)

「ホワイトホール・ドラゴン コア2 レベル2 BP5000」

「バーストセット。ツインネックハイドラ、海域、Uエルギニアスを最大レベルにして…」

(手札6↓5)

「バースト:無し↓セット」

(リザーブ7↓1)

「ツインネックハイドラ コア1↓4 レベル1↓3 BP100

0↓3000」

「海魔巢食う海域 コア0↓1 レベル1↓2」

「アルティメット・エルギニアス コア1↓3 レベル3↓4 B

P5000↓7000」

「ターンエンド。…案外あのバツファローが邪魔だね」

「でしヨウ?♪」

危ツぶなア…。手札に無かつたのか? あの邪龍を召喚されてた  
ら確実に終わってたわ…。

〈璃恵・第十ターン〉

「白銀の第十ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

●ジグザール鋼鉄草原効果

・《重巡機ピーコックルーザー》

「ッ!？」

「ワオ入ッてた。…いつ入れたんだッけ？」

「知るかバカ！」

「とにかくコアブースト！」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ。ようやくお出まし！」

《機獣要塞ナウマンガルド》！

レベル1で発進ッ！

(手札2↓1)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュユ0↓6)

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス コア3↓2」

「機獣要塞ナウマンガルド コア1 レベル1 BP7000」

「更にナウマンガルドに裏水瓶座を合体させて、鋼極天からコア1つを移してレベル2へ！」

宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

← 合体

機獣要塞ナウマンガルド (合体)

「コスト：8+5≡13」

「BP：7000+7000≡14000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：白白+白≡白白白」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス コア2 譲渡」



「鋼極天ゴールデン・バッファアロー コア4↓3 レベル5↓4」

「機獣要塞ナウマンガルド(合体) コア1↓4 レベル1↓2 B  
P7000↓12000+7000=19000」

「アタックステップに入るけど即終了！ ナウマンガルドのレベル2  
効果発揮！ ワタシのアタックステップ終了後、ドロー、リフレッ  
シュ、メインのどれか1つをもう1回行おう！

∴ワタシはドローステップを選ばせてもらうヨ。エクストラド  
ローステップ！ 同時に鋼鉄草原の効果発揮！」

●ジグザール鋼鉄草原効果

・《シャットアウト》

「チツ、ホントムカつく悪運だヨ……！」

「ラッキーラッキー♪ コアブーストは出来なかったけど《シャット  
アウト》は手札に！」

(璃恵手札1↓2)

「改めてターンエンド！ さアいつでも喚んでみるッてんだ！」

〈令毀・第十一ターン〉

「∴一気に攻め辛くなつた。禍黒の第十一ターン、スタートステップ  
！」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ。∴ならお望み通り喚び出してやる！」  
「ッ！」

「数多の光喰らう、終滅の闇！」

《邪神龍ドウム・ドラゴン》！

レベル5、降臨ッ!!」

(手札6↓5)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓3)

「ツインネックハイドラ コア4↓2 レベル3↓2」

「ホワイトホール・ドラゴン コア2↓1」

「邪神龍ドウム・ドラゴン コア4 レベル4 BP23000」

「令毀お嬢様の切り札キターツ!!」

「邪神龍！降臨！」

遂に来た邪神龍！ でも受け止める準備はギリ間に合った。後は何とかするのみ！

「召喚時効果！ トラツシユにあるアルドウム、エルドウムを復活！ それぞれレベル2！」

「ツインネックハイドラ コア2↓0 消滅」

「アルティメット・エルギニアス コア3↓1 レベル4↓3」

「天秤星鎧ブレイヴリブラ コア1↓0 消滅」

「獣竜アルドウム コア3 レベル2 BP5000」

「鳥竜エルドウム コア2 レベル2 BP4000」

「アタックステップ、場に邪神龍がいるから鳥竜エルドウムのBPプラス10000！」

「鳥竜エルドウム BP4000+10000=14000」

「獣竜アルドウムの効果にヨリ、邪神龍に赤シンボル1つ追加！」

「邪神龍ドウム・ドラゴン シンボル極+赤=極赤」

「……………」

「……………」

どう考えてもワタシは残り1点で耐えられる仕組みになってるんだなコレが。

令毀がブレイヴクリメイションをもう1枚握っててもナウマンガルドの効果が発揮されて、手札のピーコックルザーも発動する。

アタックに対してワタシが気に入らなければシャットアウトで強制終了させられる。邪神龍のトリガーは防ぐ意味は無いんだヨネエ♪

「この状況で令毀様に攻撃を躊躇わせる。流石璃恵様」

「手札の情報が余計躊躇わせ、場の巨象の存在も無視できない。警戒して動かなければ璃恵に流れがズルズルと傾いて行ってしまう。

…クツフツフ、意地を見せますね璃恵♪」

「…………ドウム・ドラゴン、アタック！ エルドウムの効果、邪神龍

がアタックしたとき、1枚ドロー！」

(手札5↓6)

邪神龍で攻めてきたか！ コイツにカウンターは使わない！

「重巡機の可能性を少しでも潰す！ アルティメットトリガー、ロツクオン！」

「そうか、そういうのもアリか…。 コスト5、スピリット《ネガ・テュポーン》!? やっちまったー!」

「ツシャ！ ヒット！」

「ガツデエーツム！」

さすがにこれは予想外。 欲しかったヤツの1枚だったのにイ！

「ここで流してたら状況が悪くなッてたかもネエ」

「それはどうかなア？」

「ヒット時効果！ アルドウム、エルドウムのBPをプラス15000！」

「獣竜アルドウム BP5000+15000=20000」

「鳥竜エルドウム BP14000+15000=29000」

「邪龍の進撃を食い止めるナウマンガルド！」

「蹴散らせ、ドウム・ドラゴン！」

Attack!!

邪神龍ドウム・ドラゴン

BP23000 ↓Win!!

VS

Defense!!

機獣要塞ナウマンガルド+宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

BP12000+7000=19000 ↓Lose…

「破壊されたことによりナウマンガルドの効果発揮！ 3枚ドロと3コアブースト！ 裏水瓶座は残す！」

「こっちも戦星の効果で1枚ドロさせてもらう！」

(璃恵手札2↓5)

(リザーブ0↓3)

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 残留 コア4 レベル1」



「クフアツハツハツハツハ!! 今度は令殿が焦る番か!」  
「ミノタウロスはレベル1、Uレイ・ザウラーはレベル4、黒皇機獣はレベル3で発艦!」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス コア4↓1」

「鋼極天ゴールデン・バッファロー コア3↓2 レベル4↓3」

「機甲剣聖ミノタウロス コア1 レベル1 BP3000」

「黒皇機獣ダークネス・グリフォン コア4 レベル3 BP14000」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア2 レベル4 BP15000」

「バースト効果発揮後、《重巡機ピーコックルザー》!レベル1で発進!」

(手札5↓4)

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス コア1↓0 消滅」

「重巡機ピーコックルザー コア1 レベル1 BP6000」

白 スピリット

《重巡機ピーコックルザー》

コスト7 軽減白3極1 <機獣>

<1> Lv1 BP6000

<2> Lv2 BP10000

シンボル：白

【バースト：相手による自分のスピリット／アルティメット破壊後】

自分のデッキを上から3枚オープンできる。

その中の系統：<機獣>を持つスピリットカード／アルティメットカードすべてを召喚できる。

召喚しない、または、残ったカードは破棄する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2 『自分のアタックステップ』

系統：<機獣>を持つ自分のアルティメットは、相手のアルティメットにブロックされたとき回復する。

「ギア機甲剣聖ミノタウロスの召喚時効果発揮! 手札の<剣刃>ブ

レイヴ、《紫電の霊剣ライトニング・シオン》を【抜刀】！

「なツ：!？」

(手札4↓3)

「重巡機ピーコックルザー コア1↓0 消滅」

「紫電の霊剣ライトニング・シオン コア1 レベル1 B P 5 0  
00」

「光紫剣の召喚時効果！ ホワイトホール・ドラゴンのコア1つをリ  
ザーブへシユート！」

「クソが：ツ！」

「バウンスに強くてもコアシユートにヤ滅法弱くいんだよネエ♪」

「ホワイトホール・ドラゴン コア1↓0 消滅」

(令毀リザーブ0↓1)

「そいで1枚ドロロー♪」

(手札3↓4)

「はい効果発揮終了。さてアタックスステップはどうしますかナク  
？」

「：終了だ終了！」

〈璃恵・第十二ターン〉

「逆襲のお時間だ！白銀の第十二ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

●ジグザール鋼鉄草原効果

・《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》(ブレイヴ)

(手札4↓5)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「覚悟はいいかい令毀！」

《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》を黒皇機獣ダークネス・グリフォン  
へ直接合体！」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓2)

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 直接合体

黒皇機獣ダークネス・グリフォン（合体）

〔コスト：8+6≡14〕

〔BP：14000+5000≡19000〕

〔合体時効果：追加、発揮可能〕

〔シンボル：白+白≡白白〕

「それまで引いたとか…、どっちが悪魔なんだヨ！」

「他の色がいなければ…何だッて？令毀イ？♪」

「ウゼエ！クソウゼエー!!」

「はいはい次にUレイ・ザウラーをレベル5へ！」

（リザーブ5↓3）

〔究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア2↓4 レベル4

↓5 BP15000↓20000〕

「更に光紫剣をミノタウロスに合体させて、リザーブのコアも追加してレベル2に。鋼極天をレベル5へ！」

紫電の霊剣ライトニング・シオン

← 合体

機甲剣聖ミノタウロス（合体）

〔コスト：6+6≡12〕

〔BP：3000+5000≡8000〕

〔合体時効果：追加、発揮可能〕

〔シンボル：白+紫≡白紫〕

（リザーブ3↓0）

〔機甲剣聖ミノタウロス（合体） コア1↓3 レベル1↓2 BP

3000↓6000+5000≡11000〕

〔鋼極天ゴールドエン・バッファロー コア2↓4 レベル4↓5〕

「アタックスステップ！」

「くっ…！」

「黒皇機獣、剣刃合体アタック！」

合体バトル時効果で黒皇機獣は回復！ 更に【連鎖・紫】！ エル

ドゥームのコア2つをトラッシュユヘシュート！」

「黒皇機獣ダークネス・グリフォン（合体） 疲労↓回復」

「鳥竜エルドゥーム コア2↓0 消滅」

（令毀リザーブ1↓3）

「どうする令毀？ ブレイヴ割るなり何なり出来るツシヨ？」

「舐めるナ！フラッシュユ、マジック《アルティメットフレイム》！」

（令毀手札7↓6）

（リザーブ3↓1）

（トラッシュユ3↓5）

「合体スピリットは全部消し飛べ!!」

「あらまた全滅……」

「黒皇機獣ダークネス・グリフォン 破壊」

「機甲劍聖ミノタウロス 破壊」

「白夜の宝剣ミッドナイト・サン 残留 コア4 レベル1 B P

5000」

「紫電の霊剣ライトニング・シオン コア5 レベル1 B P 5 0

00」

「更にボクの本ーストがセットされているなら追加でシンボル1つの  
闇白剣を破壊する！砕けろ！」

「白夜の宝剣ミッドナイト・サン 破壊」

（璃恵リザーブ0↓4）

赤 マジック

《アルティメットフレイム》

コスト6 軽減赤2極4

フラッシュユ：

合体スピリットすべてを破壊する。

自分のバーストをセットしているとき、さらに、シンボル1つの相  
手のスピリット1体を破壊する。

「そして戦星の効果で3枚ドローさせてもらう！」

（令毀手札6↓9）

「……………令毀イ♪」



「あん？」

「今ア、ワタシのスピリットを破壊したなア…？」

「ッ!？」

「鋼極天の【Uハンド：白】発揮！」

手札から現れるのは、神々を幻惑せし壘惑なる神!!」

「……まさかッ!？」

「世界嘲笑うは《魔星機神ロキ》！」

己が愉悦の為、総てを惑わせ!!」

「ロキ、ですか」

「北欧神話でオーディン率いる神族を裏切り天界に刃向かった神族ね。その力は主神オーディンに並び立つまで言われてるとか」

「片や裏切りの神、片や終滅の邪神龍。…随分と禍々しい姉妹ですね」

「クツフツフ…。さしずめ光の勇者は悠姫ちゃんつてところかしら。

……名前にどちらが姫を奪うか争ってる感じかしら♪」

「ロキのバースト効果。」

ワタシのライフは3のため、合計コスト8までスピリット、アルティメットをデッキボトムにバウンスできる！」

「冗談キツイ…!」

「邪神龍にはご退場願おうか！」

「邪神龍ドウム・ドラゴン デッキボトムへ」

(令毀リザーブ1↓5)

「そして効果発揮後、レベル3で降臨!!」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

「紫電の霊剣ライトニング・シオン コア3↓2」

「魔星機神ロキ コア5 レベル3 BP14000」

白 スピリット

《魔星機神ロキ》

コスト7 軽減白3 <星将・武装>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP10000

〈5〉 Lv3 BP14000

シンボル：白白

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分のライフが3以下のとき、コスト合計8まで相手のスピリット／アルティメットを好きな順番でデッキの下に戻す。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 【超装甲：可変】

このスピリットは、このスピリットの色の相手のスピリット／アルティメット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

「さてきて、何処まで耐えられる？」

次にUレイ・ザウラー、アタック！ アルティメットトリガー、ロック・オン！」

「二 バッキュ〜ン♪」

「相変わらずメイドを上手く使う…。コスト4の《獣竜アルドウム》だヨー！」

「は〜いヒットー！ スピリットからブロックされないヨ〜♪」

白 アルティメット

《究極<sup>げんすい</sup>元帥アルティメット・レイ・ザウラー》

コスト7 軽減白3極1 〈新生・機獣〉

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

〈1〉 Lv3 BP10000

〈2〉 Lv4 BP15000

〈4〉 Lv5 BP20000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『相手のアタックステップ開始時』

相手のスピリット1体を指定できる。

このターンの間、指定されたスピリットはアタックできない。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このアルティメットは相手のスピリットからブロックされない。

【クリティカルヒット】：ヒットしたカードがコスト3以下なら、さら

に、このアルティメットに究極シンボル1つを追加する。

「……Uエルギニアスでブロック!」

「おう、噛み砕け!」

「アルティメット・エルギニアス 破壊」

(令毀リザーブ5↓6)

「……………」

バーストを発動しない、か……。ロキを受け止める気かい？ まあこっちもロキを通さないことには勝ちが見えなくなりそうだからネエ。

「ロキ、アタック!」

「ライフ!」

(令毀ライフ3↓1)

(リザーブ6↓8)

「ライフ減少でバースト、《ドリームボム》!」

(令毀バースト:セット↓発動)

「回復できるスピリットはない。だけどボクのライフが2以下だからトラッシュユからコア1つをライフに置く!」

(トラッシュユ5↓4)

(令毀ライフ1↓2)

「追加コストを支払って、アルティメット1体、鋼極天を手札へ!」

「Oh、ヤッてくれんジャン!」

(リザーブ8↓3)

(トラッシュユ4↓9)

「鋼極天ゴールデン・バッファロー 手札へ」

(璃恵リザーブ0↓4)

(手札3↓4)

「これで……」

「光紫剣アタック!」

「ツ……はア!?!」

「フラッシュが無いならこっち使うけど良いの?」

「な、無いけど……」

「ならフラッシュユ！マジック《ドリームネビュラ》！」  
「なッ!?」

「獣竜アルドウムを手札へバウンス！」

（璃惠手札4↓3）

（リザーブ4↓2）

（トラッシュユ2↓4）

「獣竜アルドウム 手札へ」

（令毀リザーブ3↓6）

後は……勝つも負けるも運任せッ！

「続けてマジック！《パーフェクトリペアー》！」

（手札3↓2）

（リザーブ2↓9）

（トラッシュユ4↓6）

「ロキを回復！ このターン中、ロキはスピリットの効果を受け付けない！」

「魔星機神ロキ 疲労↓回復」

「光紫剣のアタックは！」

「……ライフだ！」

（令毀ライフ2↓1）

（リザーブ6↓7）

「ロキ、ラストアタック!!」

「……いつ気付いた」

「……」

「手札に防御札が無いのに」

「ん？ そんなん解らないヨ」

「クヒッ……。あッそ」

「どちらにしろ、ここで決めなきヤ令毀が次に引くのは……。ネ♪」

「クヒッ……。敵わないア。」

「……ライフで受けてやるヨ!!」

(令毀ライフ1↓0)

〔winner!! 白鐘 璃恵〕

「長月イ」

「うむ。令毀お嬢、失礼するぞ」

長月が令毀に断りを入れてデッキトップをめくる。……うん、ホント防御を握ッてなくて心底安心した。

「……《邪神龍ドウム・ドラゴン》」

「ウププ……♪」

「ツたく、ホント腹立つ 姉だヨ……」

## 応援してくれる人

——戻ってカードショップ縁。

朔耶との対戦終了後……

「いやあ負けた負けた！悠姫ちゃん初心者ってホント？」

対戦を終え、お互い片付けをしてる最中、朔耶さんからそんなことを聞かれた。

「始めてまだそんなには……」

「へえ。なら悠姫ちゃんにはセンスがあるんだなきつと」

「そう、ですかね……」

「そうだよ。あるある♪」

朔耶さんが言うには、初心者や中級者の大体はカード知識が増えてきた頃、注意すべきカードの知識を入れはじめ。その解り易いカードとして《氷循の守護者オーシン》、《獣の氷窟》、青の《オリンズピア競技場》などが挙がる。これを見て消極的になり、追い込まれて行き……と言った具合。

それに物怖じせず突っ込んでくる私の行動を見て、初心者では無いんじゃない？と思っただらしい。……そりやまあ、物怖じする間も無いくらいボコボコにされましたから……。

「悠姫さんのスパルタ特訓は実を結んだということですかねえ」

「前、悠姫を初めて見た時は妹さん達にボロ負けしてたのにね」

「うぐ……」

ま、まあ……それだけ甲斐があつたって事。放置していたらマズいものに真正面からぶつかり合わされたんだ、覚えもするし対処方も学ぶさ。

「あはははっ♪ 悠姫ちゃんの実力なら『称号戦』に出ても大丈夫だね」

「……称号戦？」

称号戦……って何だ？ 祐依や彩音がよく言う『チャンピオンシツプ』とかとは違うんだろうか？

「あら、もうそんな時期でしたの」

「うん。今回はアルティメット環境になってることだし、私も気を引き締めて行かなきゃね」

「ならばわたくしもグッズの調整をしなくてはなりませんわねえ」

…話ぶりからしてチャンピオンシップに並ぶ有名な大会なのか？

祐依や彩音達は何も言っていなかったが。

「朔、沙織。称号戦って何？ 悠姫と私に解りやすく説明してほしいな」

「あや、まだ楓華に教えてなかったか」

「悠姫さんはマリアや祐依さんから聞いていらっしやるかと思っていたのですが…」

い、いや、その…。しばらく腐ってたから情報も何もあつたもんじゃなかったんです、はい…。

「ふむふむ。なら簡単に説明致しましょう！」

「ご説明致しますわ！ “称号戦”とは——」

「うちの真桜や璃恵ちゃんとかが持つてる “二つ名” をもらえる大会よ〜」

「うおっ、董さん…」

「「台詞取られたあ〜！」」

「…ありがとうございます店長さん」

董さんいつの間…。いつも通りのフワフワした笑顔で私の隣の席に座る。

…とにかく、“二つ名” って璃恵とか彩音が言ってる “白銀” とか “紫蓮” のことか。…正直なところいらないんだが、その二つ名を得る事で何か得するんだろうか？

「しよ、称号戦h「後のチャンピオンシップで、有利になれるのよ〜」また取られたあ〜！」

また説明を取られ朔耶さんが悶絶する。…董さん、笑顔で容赦無いな。

「ゆ、有利な点h「その称号を持つていると、チャンピオンシップでシード枠の優先キップが貰えるのよ〜」わたくしまでえ…」

今度は琴識先輩が説明を取られ悶絶。…もう全部董さんに言わせれば良いんじゃないかな。

「その大会はね、〃バトスピ界のカリスマ〃、〃ジャステイス立花〃さんが提唱した新要素でね。」

その大会で優勝すると、〃ハイランカーパス〃と銘が刻まれた〃称号パス〃が貰えるの。」

その称号は、チャンピオンシップのマスタークラスとスタンダードクラスの優勝と同じ価値があるのよ。」

チャンピオンシップは年一回だけど、称号戦は春と秋に一回ずつあるの。」

…チャンピオンと同じ価値って、うちの知り合いはどいつも化け物ってことかよ…。

称号、二つ名を持つてる人を整理してみよう。

白鐘 璃恵 『白銀・銀嶺』

滲紫 彩音 『紫蓮』

翠乃 真桜 『緑迅』

青風 麗奈 『蒼穹』

嚇蓬院 マリア 『絳焰』

…あとは…。

「言っちゃってもいいかしらね？」  
「？」

「祐依ちゃんも称号持つてるのよね。」

「…してん、とか？」

「あらく知ってたの？」

「なっ!! 祐依さんって称号持ちでしたの!?!」

「そうよ。熾<sup>してん</sup>天<sup>てん</sup>って言うのよ。」

ああ、あの時彩音が言ってたの本当だったのか。祐依が天霊を使うから勝手に付けたものだと思っただが…。

緋立 祐依 『熾天』

「私は夏のC Sより、欲しいんだよねえ。アニメのキャラみたいでカッコイイし!」



「わたくしも目指せ称号『射手座』ですわあ！」

「ええ、沙織ちゃんちよつとそれはキツ過ぎなんじゃないの？」

「そんなことありませんわあ！ ジャスティスやギャラクシー、マジカルスターにも認められる使い手として邁進し続けますわあ！」

…一部の称号は、その…カリスマ？とかいう人達に認められた人へ直々に付けてくれるとか。

特に琴識先輩が言った『射手座』とか特別なものがそうらしい。

「私ならやっぱ『劍聖』かなあ」

「…悠姫は出るとして何かある？」

「えっ？ うーん、特には…」

「え、勿体ない！ 悠姫ちゃんなら狙えるって！」

本音を言うと、称号に興味が無い。

私に気にかけるのは、その大会に「璃恵が出るかどうか」だ。

「……………」

「…♪ 悠姫ちゃんの目的は璃恵ちゃんかしら？」

「っ！」

董さんに見抜かれたか…。

「ん？ そのリエって娘、悠姫ちゃんの好きな娘？」

「す、好きって訳じゃあ…」

「ふむふむ、脈ありと」

「朔…」

と、とにかく、璃恵が出るとなれば出ない手は無い。普通に連載を重ねれば良いという訳じゃなく、何と言うか…。

——夕方、縁からの帰り道。

結局、その称号戦に出るか出ないかは保留という事に。

あの後、琴識先輩、楓華さん、朔耶さんと数度対戦。…結果は最初と比べりぎりりどころか負ける回数が増えた。

璃恵の話題が出されたから…と、言い訳してみる。

「……………はあ」

せつかく良い調子だったのが、璃恵の名前を出されただけでこれ

は、祐依や彩音に叱られそうで怖い。名前出されるだけで動揺するか何処の少女漫画だー！って

「あら、お帰りなさい。お姉様」

家の前まで着くと、誰かが立っていて……路肩にはリムジンが停まっている。

優雅に微笑みこつちに軽く会釈するその人物は――

「間燈さん？」

「はい。妹の間燈もとい緋立 桜ですよ♪」

「祐依が聞いたら激怒もんだぞ……」

間藤さんだった。……まさか今まで待つてたのか？

「いいえ、先程着いたんです。お母様にお伺いしたところ、縁に出かけているとのことでしたので。そこに戻ってこられたと」

「なるほどね」

「はい」

なら良かった。待ちぼうけさせる訳にはいかない。

リムジンって時点でいくらか察してもらえていると思う。前にも言ったと思う、間藤さんは良いところのお嬢様だって。

「んじゃ上がってく？」

「はい。ではちよっとお待ちを」

そう言っ、待たせているリムジンの運転席側に近付き、運転手に何か言っている。……そして、間藤さんに、次に私に軽く会釈するとゆっくりと走り出し、そのまま帰って行った。

「お待たせしました」

用が済んだみたいなので二人で我が家に入る。……そういえば間藤さんを家に招くのいつぶりだったかな。

「ただいま」

「お世話になります」

……ん？

「お帰り。あ、悠姫。桜ちゃん今日泊まるから」

「はっ!？」

「部屋は悠姫と相部屋ね」

「えっ!？」

「あ、祐依はまだ帰ってないからね」

祐依はまだ出掛けているのか。…いやいやそれより泊まるなんて聞いてないんだけど。今言った? 知らんがな!

「……………」

「ふつつか者ですが、よろしくお願いしますねお姉様♪」

「嫁入りかっつての」

今の祐依に聞かれたらどうなるか——

「嫁入り…?？」

「っ!？」

「あら祐依さん、お帰りなさい」

いつの間にか祐依が帰宅していて私たちの背後に。…しかも目が座ってて赤黒い血みたいなオーラを纏っているように見える。

「ただいまお母さん。…………で、桜さん。誰が嫁入りだっつて?」

「悠姫さんへ、私が♪」

「あゝ?？」

「お、落ち着け祐依。いつもの冗談だから…」

祐依の赤黒い怒りオーラが更にドス黒くなっていつてるように見える。いつも軽く受け流す祐依が今日は流さないな。どうしたんだ?

「珍しいですねえ。何かあったんですか?」

「……………」

「祐依…」

不意に視線を逸らす祐依。不機嫌な表情は変えない。度々少し機嫌を損ねることはあったが、こんな露骨に不機嫌を表したのは初めて見た。

「…………ごめんなさい。先にシャワー使わせてもらいます」

「祐依…」

「頭冷やしてきます」

「っ…」

そう言い残し、この場を後にする祐依。

「…ちよつとタイミングが悪かったみたいですね。申し訳ありません」

「いや、大丈夫。間燈さんは悪くないから…」

しばらくした後、祐依が戻り4人での夕食となった。まだ祐依は虫の居所が悪いかと思つたが、幾分良くはなったよう。

さっきの態度を私らに謝罪し、母さんに罰として濡れた髪をぐっしやぐしやにされた。

「か、髪が…」

「たくさんドリルにされなかつただけ有り難く思いなさいね」

「す、すみませんでした…」

「うむ。悠姫、梳かしてやりなさい」

「はいはい」

祐依の髪は長いから直すのにちよつと手間が掛かる。その間に間燈さんも母を手伝って配膳してくれる。本来はお客様にやらせるものじゃないんだが間燈さんが「妹として当然」と言う。

「お姉ちゃんの妹は私だけですから」

「私は頭に義が付きますから♪」

「んなもん認めません」

「あーその場合どっちが上でしようね？」

「場合など塵すら無いですけど私が上で、桜さんが下です」

「……」

「娘が何人増えるか楽しみね♪」

「母さん…」

間近で聞かされている私の気持ちになつてくれ…。

——そして夕食が終わり、風呂に入って自室でゆったり。

私の部屋には布団が二組。一つは母さんが間燈さんの為に用意してくれたもの。もう一つは……

「お姉ちゃんと桜さんを二人きりにさせるのを私が許すとも?」

「あらあら♪」

「……………」

まあ、何でもいいけれど…。

「でさ、間燈さん」

「はい?」

「ただうちに泊まりに来た訳じゃないんだろ?」

「はい。ちゃんと目的がありますよ」

だろうな。単に泊まりにくるぐらいなら前日になり何なり入れるのが間燈さんだ。…突発的なら何かしらの目的があつてやるのも間燈さんだから何とも言えんけど。

「実は…」

と言いつつ持ち込んだバッグを漁りはじめる間燈さん。そして取り出したのは……

「ぱんぱかぱくん♪」

「あ、それ…」

バトルスピリッツのロゴマークが入った、紫のデッキケース。…まさか本当にバトルスピ始めたのか。

「私もバトルスピを始めまして」

「おお」

「それでお姉様の手助けになればと」

「私の?」

「はい。落ち込まれているお姉様をただ見ているだけでは辛いものがありました。私も何か助けになればと思っただんです。

知り合いの方が、相手の事を知りたいと思っただのなら、まず同じ場所を立て、と。

お姉様…悠姫さんや祐依さんと同じ場所に立たなければ、悠姫さんの痛みも苦悩も理解出来ない」

間燈さんの目は真剣だ。…私なんかのために。

「だから私は、ただただ待つのは止めました。

他の誰でもない、悠姫さんが苦しんでいるんですから」

「……でも遅かったみたいですよ。余計なお世話になってしまいましたね」

「そう言って困ったような笑顔を見せる間燈さん。私の為になんて…。間燈さんにまでかなり心配かけてしまったな。

「そんな、余計な事なんて絶対ない」

「……………」

「こんな私のために間燈さんがそこまで考えてくれたんだ。正直…その、すごく嬉しい。…ありがとう、桜」

「っ！…はい！」

今の私が桜にどう恩返しすればいいか解らない。ただ、小さな事でへこたれてた私ごとでもなく恥ずかしくなってきた。…情けないなまったく。

「ご心配おかけしました。私は何とか立ち直ったからさ」

「そうみたいです。本当に良かった」

「祐依や彩音、桜も含めて皆に喝入れられたからね。やり方はまあ…」

「ああでもない、お姉ちゃんうじうじしっぱなしじゃない」

「…それは何も言い返せないな」

「ふふっ♪」

…私は良い友人と巡り逢えたな。

「ここ最近色々あって、わちゃわちゃしてた。変わった人が多いけど、知り合いも昔と比べてドツと増えた。ある意味激動って感じかな。」

「あ、桜」

「はい。何でしょうお姉様♪」

「…その呼び方続けんの？」

「はい、続けますよ♪ 祐依さんへのイヤミも含めてですけど♪」

「あ？」

「……………」

まったく、真剣味が吹き飛んでしまった。まあ私らがシリアスな話は似合わないわな。

「とにかく、お詫びにならないかもしれないが、私と対戦しないか?」「はい。喜んでお受けいたします」

よし。そうと決まれば準備だ。一旦敷いた布団を片してテーブルを出してつと…。

緋立 悠姫

【赤アルティメット】

VS

間燈 桜

【??】

「対戦していただくのは良いとして…」

「ん?」

「賭けるものが無くなってしまいましたね」

「賭けて」

「いえ、金銭や物ではなくて。私が勝ったら、お姉様に名前で呼んでもらおうかなと」

「ああ…」

「でも、もう叶ってしまいましたし、どうしましょう?」

いやまあ、無理して賭けなくても良いんじゃないか? お互い楽しむのが一番だし。

「あ!では賭けじゃなくてお願いを1つ聞いていただくのはどうでしょう?」

「ん? まあいいんじゃないかな。叶えられる範囲だけど」

「十分です♪」

「お姉ちゃんまた内容も聞かずに承諾して…」

〈桜・先攻第一ターン〉

「そうと決まれば先手はもらっちゃいますね♪ スタートステップ

♪」

(リザーブ 4)

(手札 4 ↓ 5)

「あ！桜さん勝手に…」

「まあそう怒るな祐依。璃恵達よか全然マシだから」

「…そうですね」

いつの間にかサイコロ3つ握ってたりするからなあいつら。

「ふふふ♪ ではメインステップに入ってますは…」

ニコニコして楽しそうだなあ…。

祐依はちよつと不機嫌顔だが。

「ではネクサスの《魂の古都ジュデツカ》を配置しますね」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 4 ↓ 1)

「っ！」

「…？ どうした祐依」

「いえ。…またえげつないというか、お似合いというか」

「このデツキアドバイスと対戦構築指導は彩音さんですから♪」

彩音監修ってまた、とんでもないな…。祐依の表情が変わったところを見ると一層注意が必要になるな。

「バーストをセットして、《リビング・ガーゴイル》を出しましょう」

(手札 4 ↓ 2)

(バースト：無し ↓ セット)

(リザーブ 1 ↓ 0)

「リビング・ガーゴイル コア1 レベル1 BP1000」

「0コストのスピリット…？」

「はい。これで終了しますね」

紫 スピリット

《リビング・ガーゴイル》

コスト0 軽減無し < 魔影 >

< 1 > Lv1 BP1000

< 2 > Lv2 BP2000



<4> Lv3 BP4000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3

カードが下にある相手のスピリットすべては合体できない。

Lv2・Lv3

【毒刃】を持つ自分のスピリットがいる間、このスピリットはアタックできず、相手の効果で破壊されず、手札／デッキに戻らない。

紫 ネクサス

《魂の古都ジユデツカ》

コスト3 軽減紫2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

バトルしている【毒刃】を持つ自分のスピリットは、色を無いものとして扱い、BPを比べ破壊されたとき疲労状態でフィールドに残る。

Lv2

相手が、相手のスピリット／アルティメットを消滅させたとき、

そのスピリット／アルティメットの下にあるカード1枚につき、相手は、相手の手札1枚を破棄する。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「紫のカード最近見てなかったからなあ…。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。召喚、《リューマン・インフィニティ》。レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・インフィニティ コア2 レベル1 BP3000」

「1つ余分に置いとかないとな」

「経験が活きましたね」

「バーストセットでアタックは：どうするか」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

はつきり言って紫相手に勝率が悪い。まあほぼ彩音なんだが、紫を使う人って手が読みにくいと言うか…。破壊だけじゃなく消滅にも気を使わなきゃならないし。

「：アタックはせずターンエンド」

「あら、しないんですか」

「彩音のトラウマがあるからな…」

〈桜・第三ターン〉

「ではスタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。ここで《墮天騎士タムズ》を出しますね」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「墮天騎士タムズ コア1 レベル1 BP3000」

「召喚したときに、1枚引かせてもらいます」

(手札2↓3)

「そして、コア1つをジュデツカに置いてレベル2にします」

(リザーブ1↓0)

「魂の古都ジュデツカ コア0↓1 レベル1↓2」

「ではアタックステップに入ります。タムズでアタックです」

来たか。『墮天騎士』っていかにも彩音が使いそうな名前のカードだが、彩音が使えって言ったのかな？

「ここでタムズの効果発揮です」

「むっ」

「ッ【毒刃：1】」です。お姉様のデッキの1番上のカード1枚を、裏向きでお姉様のスピリット、もしくはアルティメット1体の下に置きます」

「何っ」

「リユーマン・インフィニティ 毒1」

紫 スピリット

《堕天騎士タムズ》

コスト3 軽減紫1 <魔影>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

自分はデッキから1枚ドローする。

Lv1・Lv2 【毒刃：1】『このスピリットのバトル時』

相手のデッキの上からカード1枚を裏向きで相手のスピリット／アルティメットの下に置く。

下のカードはそのスピリット／アルティメットがフィールドを離れるとき破棄する。

「毒か…」

「今は特に何もありません。どうされますか？」

「：ライフで受けるか」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ターン終了です。まず1点ですね♪」

やはり紫の相手はどうもやりづらい。何を狙っているのかイマイチ掴みにくい。…と、それよりも

「祐依」

「はい」

「このインフィニティの下に置かれたカードって…」

「その内容を確認することはできませんよ」

「了解した」

てことはどうにかしないとずっと残り続けるってのか。

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札3↓4）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ2↓5）

「メインステップ。：召喚、《リユーマン・ドシャット》。レベル1」

（手札4↓3）

（リザーブ5↓4）

「リユーマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000」

：…どうする。アルティメットを出すか？ しかしあの毒がアルティメットにまで効くとなると下手に展開してどうなるか。

「：召喚、《紅炎竜ヒノコ》。レベル4」

（手札3↓2）

（リザーブ4↓0）

（トラッシュユ0↓3）

「リユーマン・インフィニティ コア2↓1」

「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「アタックスステップ」

悩んでいてもしょうがない。赤の本質は攻めにアリだ。

「Uヒノコでアタック。Uトリガー」

「はい。：《墮天騎士アリオク》、コスト4のスピリットカードです」

「ヒット。さて…」

「ではトリガーカウンターを使います」

「っ！」

「カウンターブレイヴ。稲妻の星馬、《護星鎧エク・レウス》をタムズに直接合体させるよう召喚します」

（桜手札3↓2）

「魂の古都ジュデッカ コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓3)

護星鎧エク・レウス

← 直接合体

墮天騎士タムズ (合体)

〔コスト：3+3≡6〕

〔BP：3000+5000≡8000〕

〔合体時効果：追加〕

〔シンボル：追加無し〕

「申し訳ありませんが、バトル中であるお姉様のコスト5以下アルティメット1体を破壊させていただきました」

「なんと…。ヒットが裏目になったな…」

〔紅炎竜ヒノコ 破壊〕

(悠姫リザーブ0↓2)

「彩音さんから、立ち上がりを崩せと助言を授かりましてね♪」

「余計な事を…。ならインフィニティでアタック。アタック時効果で1枚ドロ～」

(悠姫手札2↓3)

「そのアタックに、バーストを開きます!」

「なっ、アタック後バースト!?!」

〔墮天騎士オルクス〕、バースト召喚です!」

(桜バースト：セット↓発動)

「オルクスにはリビング・ガーゴイルからコアを貰い、レベル1とします」

〔リビング・ガーゴイル コア1↓0 消滅〕

〔墮天騎士オルクス コア1 レベル1 BP5000〕

「オルクス召喚後、私のスピリット3体の【毒刃】を發揮させます。【毒刃】を發揮させられるのはタムズのみです。なのでタムズの【毒刃】發揮!」

紫 スピリット

《墮天騎士オルクス》

コスト7 軽減紫4 <魔影>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP11000

シンボル：紫

【バースト：相手のスピリット／アルティメットのアタック後】

このスピリットカードを召喚する。

その後、自分のスピリット3体の【毒刃】を発揮させる。

Lv2・Lv3 【毒刃：1】『このスピリットのバトル時』

相手のデッキの上からカード1枚を裏向きで相手のスピリット／アルティメットの下に置く。

「タムズの毒刃は1ですが、エク・レウスの合体時効果が続きます」

「ここで…?」

「毒刃でカードを置く枚数を1枚増やします。よって2枚を…ど…吐瀉?」

「桜さん汚い。ドシヤットだから」

「あらごめんなさい。ドシヤットに2枚毒を仕込みます」

「リユーマン・ドシヤット 毒2」

紫 ブレイヴ

《護星<sup>ごせい</sup>鎧<sup>がい</sup>エク・レウス》

コスト3 軽減紫2 <魔影・星魂> 『子馬座』

<1> Lv1 BP2000

<0> 合体 +5000

シンボル：無し

【トリガーカウンター】

手札にあるこのブレイヴカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に召喚できる。

召喚後次の効果を発揮する。

■バトルしているコスト5以下の相手のアルティメット1体を破壊する。

【合体条件：【毒刃】を持つ】

【合体時】

このスピリットの【毒刃】で置くカードの枚数を＋1枚する。

「こいつ…合体条件が毒刃って緩すぎじゃないか？」

「合体時の効果が毒刃持ちにしかな意味が無いから妥当だと思うよ」

これが顰蹙食らうような性能だったらどうなるんだろうか？

まあ今考えることじゃないな。

「アタックはライフで受けます」

（桜ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

「ターンエンドだ」

（お姉ちゃんも桜さんもお互い1点。でもこの場合、桜さんに流れがある。…毒に蝕まれる前にお姉ちゃんが気付けるかどうか）

〈桜・第五ターン〉

「スタートステップです」

（リザーブ1↓2）

（手札2↓3）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ2↓5）

「メインステップ。まずはバーストをセットしまして…」

（手札3↓2）

（バースト：無し↓セット）

「《暗極天イブリース》をレベル3で出します」

（手札2↓1）

（リザーブ5↓2）

（トラッシュユ0↓2）

「暗極天イブリース コア1 レベル3 BP4000」

うちの炎極天と同じアルティメットか。…手札からのバーストを警戒しないとな。

「イブリースの召喚時に、1枚引かせてもらいますね」  
（手札1↓2）

紫 アルティメット

《暗極天イブリース》  
あんきよくてん

コスト4 軽減紫2極1 <次代・冥主>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP4000

<3> Lv4 BP7000

<5> Lv5 BP10000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

自分はデッキから1枚ドローする。

【Uハンド：紫】 Lv3・Lv4・Lv5

自分の手札にある紫のカードがバースト条件を満たしたとき、そのバーストを手札から発動できる。

「そしてタムズとジュデッカをレベル2にして、メインステップを終わります」

(リザーブ2↓0)

「墮天騎士タムズ コア1↓2 レベル1↓2」

「魂の古都ジュデッカ コア0↓1 レベル1↓2」

「次にアタックステップに入って、タムズで合体アタックです。バトル時、エク・レウスの効果を合わせて毒を2つインフィニティへ置きます」

「リューマン・インフィニティ 毒1↓3」

「毒が回る…」

「さて、アタックはどうしますか？」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少でバースト！ マジック《エナジーバースト》！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「合計BP7000まで桜のスピリットを好きなだけ破壊する！ ただ破壊できるのはオルクスだけだがな」



「墮天騎士オルクス 破壊」

(桜リザーブ0↓1)

「更に追加コストを支払って、タムズに合体しているエク・レウスを破壊するー!」

(悠姫リザーブ3↓0)

(トラッシュユ2↓5)

「護星鎧エク・レウス 破壊」

「それならばオルクスの破壊に、私のバースト発動です!」  
「っ!」

「闇へ染まりし黄金の騎士。」

《アルティメット・ランスロット》!」

(桜バースト:セット↓発動)

「まず私のトラッシュユにある系統:＜魔影＞のスピリット、《墮天騎士アリオク》をコストを支払わずに召喚します。リザーブとジュデツカから受けとって、レベル2とします」

(リザーブ1↓0)

「魂の古都ジュデツカ コア1↓0 レベル2↓1」

「墮天騎士アリオク コア2 レベル2 BP4000」

「この効果発揮の後、究極の黒へと染まりし『湖の騎士』は姿を現しますー!」

「墮天騎士タムズ コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・ランスロット コア1 レベル3 BP7000」

「ランスロット:。あのアーサー王を裏切った円卓の騎士最強の一人か」

「:お姉ちゃんってそういうの好きだよね」

「円卓の騎士だったりアーサー王つてのは良く耳にするだろ。気になつたら知りたくなるじゃないか」

「周りに:璃恵や友人数人が良く話すからな、アーサーだの何だのと。:それにたしかブレイヴにペンドラゴンつてのが気になつたらな。調べたくもなる。」

「ふふっ、アタックステップはまだ継続中ですよお姉様。Uランスロットでアタックです」

強く出たな……。だがこれはある意味チャンスでもある。ここをドシヤットに守ってもらって立て直しを……

「ドシヤットでブロ——」

「墮天騎士アリオク、レベル2からの効果が発揮中です」

「っ!？」

「毒に侵されている者はその命を削らない限り身を動かすことはできません」

「ここで毒か……!」

「アリオクは復讐に手を差し延べる黒い翼の魔神。魔神の松明が精神を蝕みますよ……♪

毒を持つスピリット、アルティメットはアタック・ブロックするならばコア1つをトラッシュに置かなければなりません」

紫 スピリット

《墮天騎士アリオク》

コスト4 軽減紫2 <護将・魔影>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<4> Lv3 BP6000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3

このスピリットは、相手の効果で破壊されず、手札に戻らない。

Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

カードが下にある相手のスピリット／アルティメットすべては、

そのスピリット／アルティメットのコア1個を相手のトラッシュに置かなければアタック／ブロックできない。

紫 アルティメット

《アルティメット・ランスロット》

【召喚条件：自分の紫スピリット1体以上】

コスト6 軽減紫3 <新生・魔影>

<1> Lv3 BP7000

<3> Lv4 BP10000

<5> Lv5 BP13000

シンボル：極

【バースト：相手による自分のスピリット／アルティメット破壊後】

自分のトラッシュにある系統：<魔影>を持つスピリットカード1枚を召喚できる。

この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『相手のアタックステップ開始時』

Uトリガーがヒットしたとき、このターンの間、カードが下にある相手のスピリットすべてはアタックできない。

「さあお姉様。ドシヤットでブロックしたいのですしたら、ドシヤットのコアをトラッシュに置かなければお姉様の身を守ってくれませんかよ？　ただ、消滅してしまうのでブロックすることは叶いませんけど」

「…なら悩むことは無い。ライフで受ける！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

私の力になる要はこのスピリット達だ。自分の我が身可愛さに犠牲にはできない。

「ターンを終了します。さすがですねお姉様」

「そんなこと無い」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ。…ただ、こういう厄介事に絡まれることが多いだけさ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ」

さて…。その厄介事は目下アリオクとUランスロットだ。

アリオクは効果で破壊されない上にバトルで破壊してもイブリースのUハンドが待ち構えている。

「召喚、《アルティメット・ブレイドラ》。レベル3」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓6)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「次に召喚、《アルティメット・アポロドラゴン》レベル4！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・アポロドラゴン コア3 レベル4 BP14000」

「たしか、ライバルでもあるガウエインの愛剣『ガラティーン』って太陽の銘が刻まれてるとか聞いたな。ランスロットには天敵なんじゃないか?」

「なんと…!」

(:たしかにガラティーンはガウエインの愛剣だけど資料とかがまるで見えないから、多分:璃恵さん辺りがゲームとかの内容をお姉ちゃんに吹き込んだのかな?)

「アタックステップ。Uアポロ、アタック! ダブルトリガー!」

「——《墮天騎士ラムリエル》と《墮天騎士タムズ》。どちらもコスト3のスピリットです」

「よし、ダブルヒット!」

「カウンターはありません…」

「ならまずダブルヒット効果でライフ1つをリザーブに落とす!」

(桜ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「そしてヒット効果。1ヒットにつきBP9000以下のスピリット1体を破壊、2ヒットしたため2体! この場合はタムズのみか」

「墮天騎士タムズ 破壊」

(桜リザーブ1↓2)

「では私のライフが減少したとき、暗極天の【Uハンド・紫】を發揮させます！」

「やっぱり来たか……！」

「マジック、《ライトニングポイズン》です！」

（桜手札2↓1）

「まず1枚引かせてもらい、追加のコストを払いまして、フラッシュの効果を使います」

（手札1↓2）

（リザーブ2↓1）

（トラッシュ2↓3）

「毒を3つ以上蓄積されているリューマン・インフィニティを破壊します！」

「何!?!」

「リューマン・インフィニティ 毒3 破壊」

「そしてリューマン・インフィニティに蓄積されていた毒はUアポロドラゴンへと伝染します！」

「毒が移った:!!」

「リューマン・インフィニティ 毒3↓伝染」

（悠姫リザーブ0↓1）

「アルティメット・アポロドラゴン 毒3」

紫 マジック

《ライトニングポイズン》

コスト3 軽減紫2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分はデッキから1枚ドローする。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を發揮する。

フラッシュ:

カードが3枚以上、下にある相手のスピリット／アルティメット1体を破壊し、そのスピリット／アルティメットの下にあるカードすべてを他の相手のスピリット／アルティメット1体の下に置く。

「くっ…、だが、既にアタックしているUアポロにはアリオクの効果は及ばない！ そのまま回復状態のアリオクに指定アタックだ！」

「強制ブロック…ですが、フラッシュユタイミング！」

「っ！」

「2枚目の《ライトニングポイズン》を使わせてもらいます！」

「に、2枚目!？」

（桜手札2↓1）

（リザーブ1↓0）

（トラッシュユ3↓4）

「毒を3つ蓄積しているUアポロドラゴンを破壊します！」

「アルティメット・アポロドラゴン 毒3 破壊」

「毒はリユーマン・ドシャットへ！」

「アルティメット・アポロドラゴン 毒3↓伝染」

（悠姫リザーブ1↓4）

「リユーマン・ドシャット 毒2↓5」

「Uアポロが…」

「いくら太陽とはいえ、命と肉体を持ってしまったのなら蝕まれるのは必然ですよ♪」

くそっ！Uアポロがこんな簡単に…。思ってる以上に毒刃つてのは厄介窮まりない。それにさつきから手札の巡りが悪い。ネオ・ダブルドローも引けないし、流れがこないな…。

「…ターンエンド」

〈桜・第七ターン〉

「スタートステップです」

（リザーブ0↓1）

（手札1↓2）

（トラッシュユ4↓0）

（リザーブ1↓5）

「メインステップに入り、まずバーストをセットします」

（手札2↓1）

（バースト：無し↓セット）

「次に：『裏十二宮星座』を出します」

「裏十二宮：ここですか！」

「『磨羯星鎧ブレイヴカプリコーン』！アリオクへ直接合体！」

（手札2↓1）

（リザーブ5↓2）

（トラッシュユ0↓3）

磨羯星鎧ブレイヴカプリコーン

← 直接合体

墮天騎士アリオク（合体）

「コスト：4+6＝10」

「BP：4000+5000＝9000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：紫+紫＝紫紫」

「これは…」

「Uランスロットをレベル2に上げてアタックステップに入ります」

（リザーブ2↓0）

「アルティメット・ランスロット コア1↓3 レベル3↓4

BP7000↓10000」

「アリオクで合体アタック。裏山羊座の合体アタック時効果でUブレイドラのコア1つをリザーブに送ります」

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

（悠姫リザーブ4↓5）

「お姉様のアルティメットが消滅しましたので、1枚引かせていただきますね」

（桜手札0↓1）

「くっ…」

「アタックはどうなされます？ ブロックしたくても毒に侵されてい  
てはドシヤットは守ってくれませんか？」

「解ってるさー！ フラッシュで『ブレイド・ジー』を神速召喚！」

（悠姫手札2↓1）

（リザーブ5↓0）

(トラッシュユ3↓4)

「ブレイド・ジー コア4 レベル1 B P 1000」

「ブレイド・ジーでブロックだ!」

「いいですよ。そのまま斬り払います」

「ブレイド・ジー 破壊」

(悠姫リザーブ0↓4)

「Uランスロット、アタックです!」

「:ライフだ!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ4↓5)

「ターン終了。さあお姉様、どうなされますか?」

〈悠姫・第八ターン〉

「毒のダメージが尾を引いてて:。スタートステップ」

(リザーブ5↓6)

(手札1↓2)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ6↓10)

「メインステップ」

しかし、これはほぼ手詰まり感が否めないな。

このターンで何とかしてアリオクを退かさないとどうにもならない。

「召喚、2枚目の《紅炎竜ヒノコ》。レベル4」

(手札2↓1)

(リザーブ10↓4)

(トラッシュユ0↓4)

「紅炎竜ヒノコ(2) コア2 レベル4 B P 12000」

「とりあえずドシヤットにコアを追加しておこう」

(リザーブ4↓0)

「リユーマン・ドシヤット コア1↓5 レベル1↓3 B P 40

00」

「アタックステップ——」



「お姉様がアタックスステップに入られたとき、Uランスロットのアルティメットトリガー発揮です！」

「つとと…。コスト4、マジック《ネオ・ダブルドロ》…って欲しいのが落ちた!?!」

「当たり前ですね♪ これで毒に侵されているスピリットはアタックできません」

「仕方なし。Uヒノコでアタック！Uトリガー！」

「——《バーストヴェノム》。コスト3のマジックカードです」

「ヒット！」

「カウンターはありませんよ」

「よかった…。なら2枚ドロ！」

（悠姫手札1↓3）

「アタックは？」

「ライフで受けましょう」

（桜ライフ3↓2）

（リザーブ0↓1）

「では、ライフが減りましたのでセットされているバーストと【Uハンド・紫】が発動します！」

「ダブルでか…」

「どちらから解決しますか？」

「これはどちらも良い事は無いだろう…。しかし選ばなければならぬ…。ちくしょう。」

「じゃあ…セット側からで」

「了解しました。ではバースト、《妖華吸血爪》です」

（桜バースト…セット↓発動）

「バースト効果により2枚引いて、追加のコストは支払いません」  
（手札1↓3）

「ドローマジックだったか…!」

「更に【Uハンド…紫】発動！」

《墮天姫エルシャ》！」

な…こっちはスピリットカード!?!

「バースト効果により、私の手札にある【毒刃】を持つスピリットカード1枚をコストを支払わず召喚します！」

(…これはお姉ちゃん終わった)

「喚び出すは憤怒と神罰を具現する闇の化身！」

《闇騎神ネメシス》！

(手札3↓2)

「墮天騎士アリオク(合体) コア2↓1 レベル2↓1」

「闇騎神ネメシス コア1 レベル1 BP7000」

「この効果が発揮されたのち、エルシャを召喚します。レベルにはUランスロットからいただきます」

(手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「墮天姫エルシャ コア1 レベル1 BP4000」

紫 スピリット

《墮天姫エルシャ》

コスト5 軽減紫3 <星将・夜族>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<5> Lv3 BP8000

シンボル：紫

【バースト：自分のライフ減少後】

自分の手札にある【毒刃】を持つスピリットカード1枚を召喚できる。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 『相手のアタックステップ』

カードが2枚以上、下にある相手のスピリット／アルティメットすべての効果は発揮されない。

「これはマジで詰んだか…」

「さて、どうしますか？」

「ターンエンドだ。紫の相手は本当に苦手だよもう…」

頭抱えなくなった。さすが彩音が『白の暴走を許さないのが紫』と

言うだけある。

〈桜・第九ターン〉

「ふふふっ♪どうですか？私もなかなかでしょう？ スタートステップです」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップに入り、ネメシス、エルシャ、アリオク、ジユデツカのレベルを上げます」

(リザーブ4↓0)

「闇騎神ネメシス コア1↓3 レベル1↓2 BP7000↓1  
1000」

「墮天姫エルシャ コア1↓2 レベル1↓2 BP4000↓6  
000」

「墮天騎士アリオク コア1↓2 レベル1↓2」

「アルティメット・ランスロット コア3↓2 レベル4↓3」

「魂の古都ジユデツカ コア1↓2 レベル1↓2」

「このままアタックステップへ。闇騎神ネメシス、終幕の一撃です」

「それがラストアタックか…」

「はい。ネメシスのレベル1からのバトル時効果、【毒刃・2】。Uヒノコへ2つ毒を与えます」

「紅炎竜ヒノコ 毒2」

「くっ…」

「そして、このアタックはどうされます？」

「…ドシャットのコア1つをトラッシュユに送り、ブロックする！」

「リューマン・ドシャット コア5↓4 レベル3↓2」

(悠姫トラッシュユ4↓5)

Attack!!

闇騎神ネメシス

BP11000

vs

Defense!!

リューマン・ドシヤット

BP2000

「ネメシスはブロックされました。

…それにより、お姉様に蓄積されていた毒が遂に命を喰らいます」  
「っ!？」

「ネメシスはブロックされたとき、お姉様のスピリットとアルティメットに蓄積されている毒3枚につきライフを1つ、リザーブに落とします」

「なん…だと…!？」

紫 スピリット

《闇騎神<sup>やみきしん</sup>ネメシス》

コスト8 軽減紫4 <魔影>

<1> Lv1 BP7000

<3> Lv2 BP11000

<4> Lv3 BP14000

シンボル：紫紫

Lv1・Lv2・Lv3 【毒刃：2】『このスピリットのバトル時』  
相手のデッキの上からカード2枚を裏向きで相手のスピリット／アルティメットの下に置く。

下のカードはそのスピリット／アルティメットがフィールドを離れるとき破棄する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

このスピリットがブロックされたとき、相手のスピリット／アルティメットすべての下にあるカード3枚につき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「……てことは」

「リューマン・ドシヤットには5つ、Uヒノコには2つ。計7つの毒が蓄積されています」

「紅炎竜ヒノコ 毒2」

「リューマン・ドシヤット 毒5」

「よっってお姉様のライフ2つ、毒の澱<sup>ふち</sup>へ沈めます！」

「ぐはあ……！」

(悠姫ライフ1↓→1)

[winner!! 間燈 桜]

「やりました〜♪」

「何故か息苦しくなるバトルだった……」

「：お姉ちゃん、ちよつと失礼」

「ん？ あ、毒になったカードの確認か」

●下に置かれたカード

リューマン・ドシヤット

《アルティメット・ドライアン》

《アルティメット・シヨコドラ》

《ネオ・ダブルドロ》

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》

《エクス・ムゲンドラ》

紅炎竜ヒノコ(2)

《ムゲンドラゴン・ノヴァ》

《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》

「……的確」

「あらあら♪」

「どおりで待っても来ねえ訳だよちきしょうめー！」

## 祭の前・それぞれ次に向けて

### ◆ 赤と黄の場合

「さてさて♪ 私の勝ちですねお姉様♪」

「これ彩音が知ったらまた再特訓だろうな…」

桜との対戦は私が毒刃を知らなかったのと、桜が意外と強いのもあって敗北となった。…こんなんで大丈夫だろうか、色々。

「では、約束のお願い事ですけど…」

「お、お手柔らかに…」

何をお願いするかニコニコ悩むのはいいが、祐依が笑ってないからなるべく大事にならないよう頼みたい。

「…決めました♪」

「……………」

「お姉様に関わることだと祐依さんがうるさいので…」

「あ？」

「まあまあ祐依」

「ふふっ♪ そこで、今日祐依さんが何故機嫌が悪かったのか。お姉様から聞き出してください♪」

ああ…、成る程な。たしかにそれは私も聞きたかった。

「ふむ…。いいか？祐依」

「…………あまり話すような内容じゃないです。それでよければ」

「私は構わない。桜もいいな？」

「はい♪」

「…………わかりました」

渋々とだが、帰宅したときに祐依の機嫌が悪かった理由を話し始めた。

### ——今朝・祐依視点——

今日は待ちに待ったアルティメットバトル05の発売日。

事前調査によって黄色が覚醒している事は既に確認済み。勿論、シヨップ縁にて箱で予約済みでもあります。今から楽しみで仕方あ

りません。

「……」

「はいおまちどおさま。アイステイーだよ」

「ありがとうございます」

現在朝の七時過ぎ。こんな朝早く私は家を出て電車に乗りお隣りの友人宅のカフェに来ています。

勿論早朝のためお客さんは疎ら。軽めの朝食を取りお店を出る方がちらほら。休日でもお疲れ様です。

さて、何故私がここに来ているのか。お姉ちゃんと一緒に買いに行くという何よりも大事な大事な用事を断ってまで。

それは、昨日琥珀から来た一本の電話のせいです。

「……………」

『祐依さん事件です!! 果たし状が届きました!!』

耳がおかしくなるのかと思うほどの声で琥珀が伝えてきたのは、時代錯誤もいいところだと笑えないものでした。…今時果たし状って。しかも何故琥珀に渡したんでしょう? 果たし状というんですから本人に叩き付けるなり何なりあると思うのですが。

「祐依ちゃん」

「あ、はい」

「琥珀叩き起こしてくるから、いつもの部屋で待つといてね」

「解りました」

「飲み物とかは後で新しく琥珀に持ってかせるからね」

…これは琥珀、許されませぬね。

そういう事でいつもの別室へ移動。私を呼んだ琥珀本人が早起きできないのに朝からくなんて言うから…。

「…果たし状、か」

すると上からズシン…ズドンという鈍い音がします。それ程大きい音ではありませんでしたが、あちらのお店の方に音はしません。そこは琥珀のお母様です。

「お……おまちどおさまでしたあ……」

「おはよう琥珀」

それから少しして、少々たびれた琥珀が飲み物を持って現れました。

「て、手厳しくてコハク……二つに畳まれちゃう……」

「それはそうでしょうね。はい、琥珀」

「っ！ わーい♪」

髪がぐしゃぐしゃなのでいつものように琥珀を呼び、髪を梳かす。

……琥珀と知り合ってからこれがクセになりつつありますね。

「——はい。完了です」

「ありがとうございます♪」

さて、琥珀の髪も整え終わりましたので本題。

「で、琥珀。話してた果たし状って？」

「あー！ そうそう。これ！」

……前世は子犬ですかねやはり。垂れた犬耳のような髪が例のものを渡すときにヒョコヒョコ動きます。

と、渡されたのはよくアニメや漫画とかでしか見たことがない『果たし状』そのもの。達筆で書かれた文字……

「……んふっ」

「？」

「失礼」

(この果たし状、状の犬の点が足りてない……)

とりあえず今は気にせず中身の確認が先。何が書かれているのやら……って長い。

「……はあ……」

「なんて？」

「称号戦で『熾天』の名を賭けて勝負だったさ」

「は？」

くだらなさすぎて途中で読む気が失せ流し読み。

「え？ え？ ど、どういうこと？」



「だらだら書かれていますけど、ようは私が熾天の名を取ったのが気に入らないから、私が勝つたら寄越せ。ですって」

「はあ…」

まさかこんな大袈裟なもののためにわざわざ…。許されませんがよ。

「どうやら読んだみたいだね！」

「っ!？」

「……………」

突然この部屋の扉をけたたましく開け侵入してきた誰か。…まあ今の発言でこれの送り主だというのは解りました。まさかとは思いますが扉の前でスタンバってたんですか？

「久しぶり！熾天の祐依！」

「……………」

薄い金のエクステとパンキツシユ色全開服装、彩音さんとはまた違ったベクトルであり見た目麗奈さんに近い女性。お洒落ではあるのですが、確実に面倒臭い部類の人です。

しかも私に久しぶりと言っていますが、私はまったく覚えがありません。それなりに記憶力はある方だと思えますが、誰かと勘違いを？

でも称号を知っているなら、称号戦を争った方…？

「ふっ…。覚えていないのも無理はない。私は、君が称号得た大会のとき1回戦で君と当たり負けたからだ！」

「先輩ださっ」

「う、うるさいよ月宮君」

「…知り合い？」

先輩ということは同じ学校なんでしょうか。変わり者が集まる学校？ …あ、それはうちも同じようなものでしたね。

「榛堂 明日歌<sup>あすか</sup>！ 以後お見知り置きを」

「はあ…」

で、その榛堂さんが何用でしょうか？

「読んでもらった通りさ。君と、熾天の名を賭けて私と勝負してもらいたい！」

「そんな大袈裟な」

「いいや！私は君に憧れている！」

「憧れ…？」

「あの時、他のカードバトラー達がこぞって強カードに流れ『暗黒時代』とまで言われたあの劣悪な環境に、君は颯爽と現れ『熾天』の名を頂いた」

「そうだったの？」

「あんなの、私もその流されたうちの一人ですよ」

あんな黄色とは名ばかりのデッキで勝ったところで嬉しくもなかったんです。それに、最大の壁になる璃恵さんも参加していませんでしたから余計…。

「そうだとすると…！」

「欲しければあげますよ」

「…何？」

「こんなことで絡まれるなら称号なんていりませんので」

「……」

それを聞いた榛堂さんは俯いて手を震わせています。…大勢のカードバトラーの方々にも申し訳ないのですが、私には熾天の称号は璃恵さん達とは違いマトモな勝ち方をして取ったものではありません。

…マリア先輩が憧れていた璃恵さんも多分、こんな気持ちだったんじゃないか。

「ならば正々堂々、君から熾天の名をバトルにいていただく！」

「お好きにどうぞ」

「そうさせてもらう！君に次ぐ強さを持つのは私だと自負しているからな！」

私に次ぐ強さって…、璃恵さんとかが聞いたら笑われるんじゃないや

………次ぐ？

(私に次ぐ強さ)

↓私の次に強い

↓姉より強い

↓姉さんを下に見ている

↓姉さん眼中に無い

|| 姉を馬鹿にされた)

「……………」

「祐依さん？」

「その傲慢な自信、打ち砕いてあげます」

「ああ！望むところさ！」

姉さんを下に見たこと、後悔させてあげます。機会は称号戦までお預けですが、首を洗って待っていることです。

それに満足したのか、お店のドーナツ2個とドリンクをテイクアウトし、その時はよろしくお願いしますと一礼して帰っていきました。

「まったく、無礼なのか礼儀正しいのか判りませんね」

「さつき祐依さんが何を曲解したのか言おうか？」

・  
・  
・

——回想終わり——

「てな訳です」

「……………」

「予想外にくっつそどうでもいい理由ですね。ペッ」

これには私も桜も苦笑い。桜はさすがに我慢出来なかったのか唾を吐き捨てるマネをした。

「何ですか桜さん！お姉ちゃんを馬鹿にされたんですよ!？」

「祐依さん学年成績トップのくせにことお姉様が絡むとドの付く阿保になりますね？」

「姉を大切に想って何が悪いんですか」

「お姉様、あんな腐れ妹より私の方が妹に相応しいのでは？」

「…ターゲット」

「勝った方が真のお姉様の妹ということだ」

いつの間にか罵りあいが過激になつとる。止めんか。

「止め止め。それ言い出すと絶対従うだろうが」

「でも…」

「いいから。桜も煽りすぎだ」

「頭を冷やします」

はあ…。まあとにかく、いつもの事だつたつてことだ。…祐依も一応称号戦に出るみたいだが。

「私が云々は置いといて、祐依はその称号の取り方が気に食わなかつたんだろ？」

「…まあ」

「なら文句とか言われなくらい、自分が納得する勝ち方をすれば良いんじゃないかな」

「…確かに、今の黄色なら不可能では無いです」

なら話は早い。しっかりと見せ付けてやればいいさ。

「でも優勝する前に、お姉様や私がそれを阻止するかも知れませんよ？♪」

「…ふっ」

祐依は切り替えが早い。私も頭が上がらないくらいしっかりとっている。

「お姉ちゃんならまだしも、桜さんが一応の称号持ちである『熾天』に敵うとでも？」

「あらあら♪」

「何であれ、称号戦では手加減しません。…お姉ちゃんも桜さんも、簡単に勝てるとは思わないでくださいね」

「ああ、解ってるさ。だから私も全力でぶつかりに行くからな」

#### ◆ 青と緑が張り切る

ここは悠姫達カードバトラーが日頃お世話になるカードショップ『縁』。…の、裏手。その縁を営む翠乃姉妹の実家のリビング。

「いやあ夕飯ご馳走様でした」

「いいえ。お粗末様です♪」

「お茶が入りましたのですよ〜」

そこにいるのは噂の麗人・青凧麗奈、縁の店長・翠乃 董、その妹・真桜の三人。

「ありがとうございます真桜君。…こうやって一緒に食事するのも久しぶりですね」

「最近はおご無沙汰ですしね〜」

麗奈が夕飯を一緒にしている理由は二つ。

ひとつ目は、来る理由が出来たから。

ふたつ目は、その理由とは、同室…居候している人物に追い出される形になってしまったということ。

「また喧嘩したのですか?」

「喧嘩はしてないよ真桜君。私はとぼつちり受けただけさ」

「いつもの癩癩ね〜」

「ははは…。従姉妹なのに、あの癩癩持ちは誰に似たんだか。

まあこちらの話は置いて。真桜君は称号戦、出るのかい?」

「はい! 悠姫お姉さんが出るとのことなので、ボクも張り切って行くのですよ!」

「そうか。なら私も出ない訳にはいかないな」

「一緒に悠姫お姉さんに立ちほだかる壁となるのですよ!」

「あつはつは!それは良いね。私の青も、真桜君の緑もうってつけだ」

#### ◆ 白と紫が立つ

璃恵の実家、璃恵の自室にて。

「〜♪このエクレア美味ア♪ 五月雨〜、これお母様と令殿、あと皆にあげといて〜♪」

「は、はい!」

「……」

「いや〜悪いね〜♪」

「いいわよ。…で、称号戦の話だけだ」

「出るヨ」

「あつそ」

「悠姫が出るってんでしょ？　なら出ない理由がないサ」

「……………」

「彩音は？」

「出るに決まっているでしょ。あなたとの決着と、見習い究極使いに立ちはだかる壁として」

「あッそ」

「まあ何にしても、次の称号戦は悠姫にとって転機だと思うヨ」

「ええ。色々な意味で良い大会になりそうね」

「ウププ…♪　悪いけど、決勝戦ラストステージに立つのはワタシと悠姫で決まりだからネ♪」

———  
後日、バトルスピリッツの公式サイトにとある動画がアップされた。

『 全国のカードバトラー達よ!! 』

そう高らかに呼びかけるのは噂のカリスマ、ジャステイス立花の  
声。

『迫る決戦の日、待ち望む者も多いだろう。』

そう。待ち望む決戦とは、【称号戦】の日だ!!

「称号」とは、強きカードバトラーの証。

並み居る猛者達を越えることにより、名誉ある二つ名を頂くことができる!!

さあ、全てのカードバトラー達よ!

己が最強たる証明、唯一無二の称号を求め決戦の地へ集え!!』

## 『称号戦』開催。第一試合

「お姉ちゃん、忘れ物ない？」

「ああ。大丈夫」

あの称号戦開催を予告する動画が上がってから数日、遂にその日がやってきた。

称号戦当日、私と祐依は朝早く出掛ける準備をしていた。…まあ何だ、意を決して称号戦に出ることを決めたという訳で。

「こんな朝早くから出るものなのか？」

「うん。物販コーナーもあるし、皆さんとも会わなきゃならないし」

現在朝の七時。正直眠…くない。意外と冴えてるといっつか、緊張といっつかね。

「えっと、場所は…」

「幕張メッセ。開場は八時だよ」

となれば移動と皆と会うのを考えて早く出るのは当然か。

「悠姫、祐依。気をつけて行ってらっしゃいね」

「はい」

「行ってくるよ」

「悠姫も晴れ舞台なんだから、気張って行きなさい！」

「お、おう…」

見送られるのはありがたいが朝から気合い全開では最後まで気力が持つかどうか…。

とにかく。会場には私と祐依、桜の三人で行き、他のメンバー達は各自現地集合と。

昨夜、皆で行かないか？と連絡を取ってみたところ

・真桜

『ごめんなさいなのですよ…。お姉ちゃんと麗奈お姉さんと一緒に向かうのですよ』

・彩音

『申し訳ないけど、今回は一人で向かうわ。あなたの為にもね』

・璃恵

『いぎぎったいぎげどオオ…。ワ「そうか。仕方ない。すまん」  
…え、ちヨ待ツ』

とまあ散々だったので、三人で行くという事に。璃恵は知らん。

「おはようございます。お姉様、祐依さん」

「おはよう、桜」

「おはようございます」

家を出ると、既に桜が待っていた。

…さすがにリムジンではなかったようだ。あれだったら歩いて駅まで行く覚悟があった。

桜が用意してくれたのは普通…よりは良い車。

「さあ、駅までお送りしますよ」

「すまないなわざわざ」

「いいえ、お姉様のためですから♪」

「む…」

祐依がむくれるが宥めておいてと、お言葉に甘え乗り込ませていた  
だけ。

「運転よろしくお願いしますね」

「はいはい。…しっかし桜、アタシを足に使うたあいい度胸じゃない」

「あら、買って出ていただいたのでは？」

「母さんの頼みなんだから断れる訳ないでしょ」

私達を送り届けてくれるのは桜の実のお姉さん。黒髪が綺麗な大  
学生で、ああは言ってるが仲の良い姉妹だ。

そして桜が助手席、後部座席に私と祐依が乗り込んだところでいざ  
発車。

「悠姫も祐依も桜に付き合わなくてもいいのよ？」

「いやそんなこと…」

「アタシと違って嫌味ったらしくてキツイでしょ」

「姉様。鏡見たことあります？」

「鏡には眉目麗しい絶世の美女が微笑んでいたけど何か？」

「その鏡も可哀相に。見るに堪えなかったでしょう…」



…ああやって言い合っているが本当に仲が良いんだ。ただ罵りあいがキツいだけなんだ。

「それにしても桜がカードの大会にねえ…。ハッキリ言って天変地異の前触れかと思ったわ」

たしかに、私達が出会った頃から考えると天変地異は言い過ぎだがかなり変わった。…笑顔が増えて何より。

「まあいいわ。駅まで送ったら…：…ん？」

するとお姉さんのスマホに着信。運転中のため手が話せないの…

「どうぞ。お母様からです」

「ん。…はい」

桜が取りお姉さんの耳元に当てる。…相手は二人のお母さんからだそう。

「今送ってる途中です。…はい。…：…え!？」

驚いているようだが、何かあったのか。

ルームミラーから見える目元からは「マジすか!？」みたいな感じだが…。

覚えがあるあの感じは、大方追加の用事を言い付けられたときの表情だ。

「…：…はい、了解しました。…：では」

「…お母様は何と？」

「あんたらに付いていけって」

「あら」

「何なのよもう…」

どうやら大会場所まで護衛しろとの御達示だったよう。

「つたかう…」

「な、なんかすみません…」

「ああ、ごめんなさいね。アタシが憤ってんのはそれならまとめて言わなかった身内になんだから」

まあ…一応桜もお嬢様だからな。誰かしら付けないとならんみただいだから仕方ないと言えは仕方ない。

当のお姉さんは「このまま行つて暇するのは癪だからルールとか覚えていく。それで桜をいびる」とのこと。：桜がそれを聞いて、後ろからは表情は見えないが「しばらく姉をいびれる」と楽しげな感じにするのがわかった。この姉にしてこの妹ありだ。

「：私達は普通だよ、姉さん」

「：多分」

程なくして駅に到着。降りた先に桜の家の使用人の方がおり、車を引き継ぐんだつて。

「お疲れ。ほい鍵」

「確かに。こちらは財布と、資金です」

「：財布は分かるけど資金つて……っ?! いらんわ! 持って帰れ!」

「しかし何かと物入りと聞いてます」

「なんで高校生の娘に札束入りの茶封筒寄越すのよ!?!」

「カードが使えないのですから仕方ありません。親心というやつですね」

「親馬鹿にも程がある! 買い占めさせる気か!」

「ここから会場までは一本で行けるね」

「……ちよつと緊張してきた」

「私も少し……」

今更だが会場に近付くにつれ妙に落ち着かなくなってきた。璃恵と対戦するとはいえ、大きな大会を決戦の舞台に選んだのに微妙に後悔したり…。

「大会と違って独特の雰囲気みたいのがあるから、それに吞まれないようにしようね」

「お、おう」

「さすがの余裕ですね祐依さん」

「慣れですね」

そして電車に乗り揺られること数十分、目的の会場近くの駅にたど

り着いた。

「妙に人が多いな」

駅を出てみれば休日だからか人が多い。…これまさか称号戦に出る人達なのか？

「物販やイベント目当ての人もいると思うから、一概に全員つて訳でもないよ」

「そうなのか」

「えつとね…」

会場へ移動中、祐依がバッグから一枚の用紙を取り出した。内容は今回やる称号戦のスケジュールで、公式ホームページに書かれていたのを祐依が簡潔にまとめたやつだ。

「大会前にやるこの『バトスピ大好き声優の生ステージ』に行つて、バトルは観戦つて感じなの」

「へえ」

ステージをやる時間は大体30分程度。…そういやこういうの見るの初めてかも。

「声優がカードゲームやってんの？珍しい」

「はい。通常…かどうかは判りませんが、相当入れ込んでやられているのか稀かと」

「その声優さんがカードデザインに携わる事があるんですつて」

「ふくん」

桜のお姉さんはそういうのもあるのかと興味ない様子。

さて、そんなこんな話して歩いていたら着きましたイベント会場前。早朝だということにかなり人だかりが出来ていて、異様な熱気が辺りを包んでいる…感じ。

この中であいつに当たるまで生き残れるのだろうか。

「まだ入場まで時間あるな」

「案外すんなり着きましたからね」

「何まだ入れないの？」

「おや、悠姫君かい？」

どう時間を潰すか迷っていると、突然声を掛けられた。

その相手は久しぶりに会う麗奈さん。前によく見たスーツ姿ではなく普段着だった。：何でも着こなせる大人の女性って凄い。

「麗奈さん、お久しぶりです」

「久しぶりだね。電話ではよく話すけど、顔を合わせるのは確かに久しぶりねえ」

たしかに、前に璃恵との対戦以降麗奈さんの用事が多々あったみたいでなかなか縁に顔を出せなかったみたいで。

「悠姫お姉さん♪」

「うおっ、真桜」

「お久しぶりなのですよ♪」

「久しぶりだな。：董さんは一緒じゃないのか？」

「お姉ちゃんは物販コーナーに行っただのですよ♪」

詳しく聞けば、運営側から直々に販売を手伝ってほしいと頼まれたらしく、物販コーナーの係員として出向いたようだ。：董さん、公式とどんなコネ持つてるんだ。

「それより、今日はボクも麗奈さんも手加減無しで行きますのですよ！」

「こちらこそ、全力でぶつかりに行くからよろしくな」

「望むところなのですよ！」

「おや？『稟』君じゃないか」

「……無視してたのに何で話し掛けてくるのよ」

「君がここにいるということは：妹さんと悠姫君祐依君の保護者だね？」

「だったら？」

「優しいお姉さんだなとね」

「う、うっさいタラシ！」

「あっはっは！」

さて、麗奈さんと真桜と合流できた。後は璃恵と彩音か……。

『ご連絡致します。開場十分前となりました。当イベントに御来場の

皆様は、お近くの係員の指示に従い入場して下さい』

すると、入場開始のアナウンスが流れた。…どっかで聞いたことある声だな。

「お姉ちゃんなのですよー!」

「…董さんって実は運営側の人なんじゃ…」

そ、それはともかく皆で入場する。それに合わせるように周囲の人の波も一斉に動く。…若干酔いそうだ。

遠くから見える会場内はバトルスピリッツ一色に装飾されていた。壁面にはカードを拡大した巨大なタペストリーに、ステージ側左右にはかなり精巧に出来ている空気で膨らませたビニールのアルティメット・ジークフリードとアルティメット・ジークフリーデンが。

中央を占めるのは対戦場がズラリと並んでいて、どれだけ参加者が多いかが伺える。

「…凄いな」

「まあお祭りみたいなものだからね」

周囲に圧倒されて並び待っていたところ受付に到達。ここで登録するのか。私ら…祐依、桜、真桜、麗奈さんが並ぶ列は称号戦に参加する人の列で、しないのなら隣のところから来場特典をいくつか貰って入るだけのようなのだ。

「称号戦に参加される方はこちらにご記入お願いします。『タイトルパス』をお持ちでしたら提示をお願いします。お持ちないのでしたら新規パスを発行させていただきます」

タイトルパス…? あ、祐依と真桜と麗奈さんが出してるやつか。意外としつかり作られていて、一瞬のIDカードになっている。受付の人がカードを受け取ると専用の読み取り登録完了。ハイテクっすね。

「認証完了です。『熾天』の緋立様、『緑迅』の翠乃様、『蒼穹』の青風様ですね。ようこそおいでくださいました」

顔パスってか…。

ととつ、私も早く書かないと。

私が書き込むのは新規部分。これは前にシヨップ縁で事前に参加をするという登録番号を渡される。それをここで書き込むと言うこと。面倒に思えるが大事なことだ。

……これでよしと。

「ありがとうございます。では、こちらが『ブランクパス』になります。ご健闘を！」

私と桜に渡された左上にNameと書かれた真っ白なカードと来場特典、更に『数字の書かれた番号札』を受け取り、改めて入場となった。…結構しつかりした作りで、本当のIDカードだった。

「名無し、ですね」

「無名の初心者が複数二つ名持ちに挑む。しかも道中は二つ名持ちばかり…。難易度ハードを飛び越してるな」

「ふふっ♪ いつもそうだったじゃいですか♪」

「…確かに。今更だったな」

桜の言う通り、今まで相手にしてたのが既に二つ名持ちか名持ち相当の強さしかいなかったな。

なら悩む必要は無い。油断慢心せずいい緊張を保ちつついつも通り全力でぶつかるだけだ。

ところで皆はどこ行っただ？

後に入ったからはぐれてしまった。しかも稟さんともはぐれたし。

「…大丈夫かな？」

「きつと向こうのどなたかが見つけてくださいますよ♪」

「えええ…」

どうするんだよ…。一応対戦時間になったらアナウンスが流れるみたいだし、渡されたパンフレットにも時間と場所も書かれているから自然と合流できるかもだけど、いいのか？

「ユキキちゃん！」

「っ！」

「やっぱユキキちゃん！ 久しぶり〜♪」

「…あつ、霧乃さん？」

「そうだよー!」

見知らぬ女性に声掛けられた…と思ったら前にもあったなこんなこと。身内ではなく大会に来ていた霧乃さんが私らを発見した。

前とは違う髪型に眼鏡と。モデルも大変なんだな。

「霧乃さんも大会に?」

「そだよ。ユキちゃんも出るなら決勝まで当たりたくないなあ」

「私もです」

「おー?強気だねえ。…とっ、もう少し話してたいけど七海待たせてるんだわ」

前にシヨップバトルで一緒だった人も来てるのか。

ちらつと見るとほんの少し離れたところにその七海さんらしき人がいて、私と視線が合うと会釈してくれた。なのでこちらも会釈を返す。

「ごめんね」

「いえいえ。…あ、うちの知り合い誰か見ませんでした?」

「ありや、迷子?」

「は、はぐれたと言っただけです」

「あははっ♪ こっちの彼女さんにカッコ悪いとこ見せられないもんね」

彼女さんって桜のことか? いやいや彼女じゃないです。一応言い訳をするが「うんうん分かってる分かってる♪」ってニヤニヤされただけだった。

「ならあたしらと一緒にステージ側に行く? 多分ユイちゃんとかアヤネちゃん辺りなら行ってるんじゃないかな?」

「ああ、なるほど」

「というか、祐依さんが鬼の形相で捜しているのでは?」

「あははっ♪それありそう♪」

「お姉ちゃん、お姉ちゃん何処!?!」

「まあまあ落ち着きなよ祐依君」

「落ち着いてられませんよ！ はぐれたのも問題ですが桜さんと二人きりだというのも問題なんです！」

祐依の方は麗奈さんと真桜がいるし、璃恵と彩音とかは…：どうだろうか？ 大丈夫だとは思いたい。

「——いた！ 桜！ 悠姫！」

「…？ あら、姉様」

「あらじゃないわよまったく…」

すると、稟さんが私らを見つけて駆け寄ってきてくれた。

「す、すみません…」

「悠姫が謝ることじゃないから大丈夫よ。…こっちの二人は友人？」

合流できた稟さんに事情説明。

後は対戦が始まれば自然と合流できるだろうということで、五人でステージ側へ移動することとなった。

たどり着いたステージ周りにはすごい人ばかり。…祐依達、いるのかな？

『只今より、特別ステージ・称号戦開会式が行われます』

董さんがイベント開始のアナウンスが聞こえた。…結局合流出来ずすまいか。

『歴戦のカードバトラー達よ！』

よくこの大会に集まってくれた！』

その声と共にステージ袖から現れたのは赤い改造サングラスをした…：誰？

「キヤー！ ジャステイス！」

「じゃ、ジャス…？」

『みんなー、今日は来てくれてありがとうー！』

次に現れたのは、頭に赤のでかいリボンにピンクのファンタジックな服。肩には熊の抱き着きぬいぐるみ。袖には…何あれ、爪？ てか



誰だ。

更に現れたのは

『みんなおはよー。ボンバーだよー』

赤いアフロに黒を基調にした変な格好をしたややぽっちゃりしている怪しげな人。…ボンバー？

『今日は皆が待ちに待った称号戦だ！俺達も楽しみにしていたぞ！』

『アルティメットバトル05も出たことだし、みんなちゃんとデッキの調整してきたかな？』

「何あの人達？」

「あれは、バトスピ界のカリスマ」と呼ばれるお三方ですよ姉様。左から…あ、自己紹介するみたいですよ」

『俺が未来から来た正義のカリスマ、《ジャスティス立花》だ！今日 はよろしく頼むぞー！』

『はーい。みんな友達？』

…と、マイクをこちら側、客席に向けてき――

「「「YES!!!」」」

「「「マジカアアール!!!」」」

「っ!?!」

「う、うっさ…!?!」

「皆様元気ですねえ」

爆発と間違う程の大声援。試合前に耳がおかしくなりそうだ…。てかこんな人気あるのあの人。

『ありがとー☆ 《マジカルスター咲》だよー』

『流石の人気だなマジカル』

『そりやみんなのアイドルですもんね』

あれがカリスマ…。なんて異様なコスプレ集団なんだ。

『ああ、そうそう。今ギヤラクシーは準備中だから登場はもう少し遅

くなる。その間に大会内容の説明をしようか』  
やつと本題か。

『まずは予選はランダムバトル。』

これは参加する皆が貰っているIDカード、ネームカードがあるはずだ。それに今からシャッフルし、この巨大モニターに結果を映す。

その後、対戦台へ向かい、IDカードをセット。対戦相手が揃い準備が整ったら開始の合図を待つてほしい』

結構本格的なんだな。

『そして試合のルールは簡単。』

正々堂々、一発勝負に勝つ！ それだけだ！

勝った方は残り、負けてしまった方は席を離れる勝ち抜き戦。それを繰り返して、最後に残った数名による決勝戦を行う！』

『後は自分の運と自力を信じるだけ。マジカルも応援してるから、みんな気合い入れて頑張れ！』

負けたら即終了。抽選で運を試され、バトルで自力を試される。…これは身内と当たったら覚悟するしかないな。

『ではボンバー、早速やってくれ！』

『了かしい。皆心とグッズの準備は良いかな？ シャッフル、スタート〜！』

ボンバーと呼ばれるアフロの人がよくテレビのバラエティとかで見かける謎のボタンスイッチを叩くと、巨大モニターに表示されている席の部分が慌ただしく回り始めた。

周囲の人達も固唾を飲んで注目している。

『ねえねえジャステイス、これボンバーが止めるの？』

『ん？ まあボンバーがスイッチ持ってるからな』

『これ人によって嫌な当たり方したらボンバー睨まれない？』

『ええっ!? ヤだそれ〜!? マジカル押してよく〜!』

『えー!? マジカルもヤだよー!』

何か誰がシャッフルを止めるかで妙な茶番が始まった。

周りは笑ってはいいるが私は緊張でちよつと笑えない。

『二人が嫌なら……お、ギョラクシー』

『あ！ギャラクシー！』

そこに、舞台袖からまた誰かが現れる。金髪グラサンの青いキラキラしたマントを羽織った男性だ。

『いやあ皆お待たせしました！ 銀河のカリスマ』 《ギャラクシー渡辺》だ!!』

『ギャラクシー自己紹介はいいからこれ押して！これ！』

『えええ…。いやまあいいけど…。シャツフルのでしょこれ？』

『早く、早く押してギャラクシー！』

『はいはいはい。はいギャラクシーストップ！』

ギャラクシーと呼ばれた人がほぼやけくそ気味にボタンを押してやっとなんか終わってしまった。

…私の場所は何処だ。

『さあ！これで一回目のシャツフルが終了だ！ まず自分の番号の場所を見付けてくれ。試合は10分後、スタート予定だ』

『みんなが一斉に動くから、小さい子や周りの人に注意して動いてねー』

『席に着いたらIDカードを入れるのを忘れないように。認証されればこっちのモニターにもその場所が点灯するからそれで見付けやすくなるだろう。見つからないようであれば近くのスタッフに聞いてほしい』

ギャラクシー、マジカル、ジャステイスの緒注意の後、人混みはゆつくりと対戦場所へと移動を開始した。私は…あ、見付けた。遠くは無いが端っここか。

「桜は見付けた？」

「はい。…どうやらお姉様と当たらずに済んだみたいです」

「んじや、アタシは観覧席に行くから。二人とも不様に負けんじやないわよ」

「はい♪」

「わかりました」

「ユキちゃんサクラちゃんも気合い、入れて、頑張つてこー！」  
「おー♪」

「空回りしないよう頑張ります」

ここで霧乃さんと桜と別れ、各自対戦席を探すことになった。

…こっからは一人だ。誰の助けも無いし、下手すれば予選敗退もあり得る。

軽く背後に振り向き、対戦会場を見渡す。…対戦する人は少ないけど、この猛者達相手に璃恵は、祐依達は勝ち抜いてきたんだな。

「……あつた」

私の対戦席を発見……と、既に対戦相手が待っていたようだ。私も席に着かないと。

「お待たせしました」

「…ん？ ああ、貴女が対戦相手だね？」

「はい。よろしくお願いします」

相手は薄い金のエクステに、パンキッシュな服装をした綺麗な女性。……あれ？ どっかで……。と考える前にIDカードを…

「これにカードを挿入するんだよ」

「あ、はい。…よっ」

テーブルの真ん中に設置されているリーダーみたいなのにカードを挿れる。すると、ディスプレイに「認証完了。対戦が終了するまで抜かないでください」と表示された。

「これで、バトルが終わると自動的に戦績が記録されるんだ」

「へえ、すごいハイテク」

「確かに。…さて、貴女のお名前を聞かせてもらっていいかな？」

「え？」

「対戦相手の名前は知っておきたいんだ」

「はあ」

「言いたくなかったら言わなくていい。私流の礼儀で自己満足なだけだから」

何だが彩音やマリア先輩、琴識先輩に近い感じがするな。カッコつけなのか律儀なのか。

「えつと…」

「ああ失礼、先に名乗らせていただくよ。私は榛堂 明日歌というんだ」

「しんどう…」

…ああ、前に祐依が話してた果たし状の人か。こんな人だったのか。モデルとかやっててもおかしくないのに祐依の話を聞く限り残念っぱいのかな。

てかこれ私名乗って大丈夫か？ 目の仇にされたりしないだろうか…。いきなり変な汗出てきた。

「……………」

「言いたくないか」

「え、いや…。ゆ、悠姫です。……ひ、緋立、悠姫」

「……………緋立？」

榛堂さんの表情が固まった。

やはりまずかったか…。

「ゆ、祐依の姉…です…」

「お姉さん…。成る程」

ああやつぱ名乗るのまずかったか…。

祐依の因縁の相手なのにその家族が当たるとかどんな漫画だよ！

「……………ふふっ」

「っ!？」

「会えて光栄です！お姉さん！」

「えっ!？」

「まさか彼女のお姉さんと戦えるとは！ これも運命か！」

「お、おう…」

…ここ、これはめんどくさい。祐依がいい顔しない訳だ。

しかし榛堂さんに気合が入ったようだが、私だって負ける訳にはいかない。

『どうやら全員着席できたようだな。』

カードバトラー達よ、遂に戦いの幕が上がる！

最後のその瞬間まで諦めず、全力を尽くして戦い貫いてほしい！

…では、いつもの掛け声でバトル開始だ！

ギョラクシー、マジカル、ボンバーも、会場の皆も元気良く叫ぼう

!!

『『『ゲートオープン!!!』』』

「!! 界放!!」

VS

榛堂 明日歌

【??】

「さあ先攻は私のようだ！」

「どうぞ」

〈明日歌・先攻第一ターン〉

「ではスタートステップ！」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。まずはネクサス、《星空の冠》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「そしてバーストをセットしてターンエンドだ」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

黄色か。思い出せ、注意しなきゃならないカードを……!

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ」

あの《星空の冠》はどのタイミングでもライフを減ればデッキの1番上をオープンして、コスト2以下のスピリットだったらノーコスト召喚ができて、しない、または違うなら手札に入れる…だったよな。普通に1点ずつだと、回復手段が豊富な黄色じやアドバンテージを与えるだけ。それを上回るダメージか冠自体を破壊しなければならん。

「召喚、《エクス・ムゲンドラ》と《リユーマン・ドシャット》。共にレベル1」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル2 BP3000」

「リユーマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000」

「：バーストをセットしてターンエンド」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「攻めないか」

「下手に手札増やされたり出て来られてもイヤですからね」

〈明日歌・第三ターン〉

「成る程。スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。まずは《麒麟星獣リオン》を召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「麒麟星獣リオン コア1 レベル1 BP3000」

「更に、《裏十二宮星座、双魔の鎧》に登場してもらう！

《双児星鎧ブレイヴジエミニ》をリオンに直接合体！」

「っ!？」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ1↓4)

双児星鎧ブレイヴジエミニ

← 直接合体

麒麟星獣リーン (合体)

「コスト：2+5≡7」

「BP：3000+5000≡8000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：黄+黄≡黄黄」

「ではアタックステップ！ リーンで合体アタック！」

「：ライフで受ける！」

「リーンはダブルシンボル！ライフ2ついただく！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「ターンエンド」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ4↓6)

あのリーンってのはたしか、前に琴識先輩が使ってた合体条件を無視できるスピリットだったか。

更にあの裏十二宮ブレイヴ。：効果何だったっけ？

「メインステップ。ムゲンの【スピリットソウル：赤】発揮！

召喚、《紅炎竜ヒノコ》！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュユ0↓2)



「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「更に《炎極天リユーマン・バースト》！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ2↓3)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

「このままアタックステップ！ Uヒノコでアタック、Uトリガー！」

「——む、コスト4、マジック《バブリーコンフューズ》」

「ヒット！ カウンターは？」

「無い。通すよ」

「なら2枚ドロ！」

(悠姫手札1↓3)

「そのアタックはライフで受ける！」

(明日歌ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「そしてライフが減った事により、星空の冠と裏双子座の効果が発揮される！」

「何っ」

「まず冠の効果、デッキトップ1枚オープン！」

●オープンされたカード

・《妖精学者サキア》(スピリット)

「これは手札に」

(明日歌手札2↓3)

「そして裏双子座の効果だ！」

自信たっぷりと言い放つが、何か凄い効果があったか…？

「相手アルティメットのアタックによりライフが減ったため2枚ドロ！」

(手札3↓5)

「以上！」

「……え？」

「それだけだよ。因みにスピリットによるアタックダメージなら1枚

ドローするだけなんだ」

「……………」

黄 ブレイヴ

《双児星鎧ブレイヴジエミニ》

コスト5 軽減黄2 <四道・光導> 『双子座・裏』

<1> Lv1 BP4000

<0> 合体 +5000

シンボル：黄

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『相手のアタックステップ』

相手のスピリットのアタックによって自分のライフが減ったとき、自分はデッキから1枚ドロウする。

【合体時】『相手のアタックステップ』

相手のアルティメットのアタックによって自分のライフが減ったとき、自分はデッキから2枚ドロウする。

「……………」

「率直にどうぞ」

「しよぼい」

ダブルシンボルだがさほど脅威と感しない。…何なんだこれは。緑だって同じようなことできるぞ。

「さて、次は？」

「ターンエンド」

〈明日歌・第五ターン〉

「確かにしよぼいが役に立たない訳じゃないさ。スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ！ ではこちらの切り札を投入しよう！」  
「来るか…！」

「万物を魅了せし古の霸王！」

《魅惑の霸王クレオパトラス》！

レベル1にて、謁見!!」

(手札6↓5)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ0↓4)

「魅惑の霸王クレオパトラス コア1 レベル1 BP5000」

「こいつは……!」

「かつて『熾天』が用いて『称号』を勝ち取ったカードさ!」

「祐依が……?」

「召喚時効果! 私のトラッシュにあるマジック1枚を手札に戻す!

戻すのはさつき落とされた《バブリーコンフューズ》!」

(手札5↓6)

黄 スピリット

《魅惑の霸王クレオパトラス》

コスト7 軽減黄3 < 覇皇・導魔 >

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP11000

シンボル：黄

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

自分のトラッシュにあるマジックカード1枚を手札に戻す。

Lv2・Lv3 【魔光芒】『このスピリットのアタック時』

自分がマジックカードを使用したとき、その効果発揮後、同じ効果をもう1度、コストを支払わずに発揮できる。

バトル終了時、自分がこのバトルで使用したマジックカードすべては手札に戻る。

「バースト召喚せずに普通に召喚したのは一体……」

「我慢出来なかった!」

「あそう…」

子供か！ いやまあ気持ちは理解出来なくもないが、危機的状况でもないのに…。

「…だが、その我慢足らずは少し勇み足だったな！」

「何だと…？」

「召喚時効果に反応して、セットされているバースト発動！《グラウンドブレイク》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「BP5000以下の相手スピリット2体と、ネクサス1つを破壊する！ 破壊するのは、今出てきたクレオパトラには冠共々退場してもらおう！」

「な、何てことを…！」

〔魅惑の霸王クレオパトラス BP5000 破壊〕

〔星空の冠 破壊〕

(明日歌リザーブ1↓2)

「追加コストを支払いフラッシュ効果！ 麒麟に付いてる双子座の鎧を破壊！」

「ふ、双子座まで…!？」

〔紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3〕

(トラッシュユ3↓4)

〔双児星鎧ブレイヴジュミニ 破壊〕

赤 マジック

《グラウンドブレイク》

コスト3 軽減赤2

セットしているこのカードは、相手によって破棄されたとき、バースト条件を無視して発動できる。

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】  
BP5000以下の相手のスピリット2体と、相手のネクサス1つを破壊する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

相手の合体スピリットのブレイヴ1つを破壊する。

「更にリユーマン・バーストの【Uハンド：赤】、発動！《ネオ・コー  
ルオブロス》！ バースト効果で2枚ドロして、追加コストは支  
払わずこのまま！」

(悠姫手札3↓2↓4)

「や、やるじゃないか…。ここここはターンエンド…」

…声が震えて表情が引き攣ってるが大丈夫かな？ だがこの好機  
を逃す訳には行かない。

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。召喚、《アルティメット・アポロドラゴン》！レベ  
ル3！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・アポロドラゴン コア1 レベル3 B P 1 0  
0 0 0」

「Uヒノコのレベルを上げて、バーストをセットし、アタックステッ  
プ！」

(リザーブ1↓0)

「紅炎竜ヒノコ コア1↓2 レベル3↓4」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「Uアポロドラゴンでアタック！トリガーは無いが、回復状態の麒麟  
を指定アタック！」

「むむむ…！」

あのコアならマトモなマジックは使えないはず。《デイフェンスネビュラ》だって、カウンタージャやなければ脅威じゃない。

「な、何も無い…」

「ならそのまま打ち倒す！」

「麒麟星獣リーン 破壊」

(明日歌リザーブ2↓3)

「更にUヒノコでアタック！Uトリガー！」

「——コスト6、マジック《デーバメドレー》！」

「ヒットせずか…」

「アタックはライフだ！」

(明日歌ライフ4↓3)

(リザーブ3↓4)

「ライフ減少、ライフが3以下のため、バースト発動！

《砲天使カノン》！」

(明日歌バースト：セット↓発動)

「っ！」

「バースト効果！そちらのスピリット、アルティメットのBPをターン中1万ダウン！」

「エクス・ムゲンドラ BP2000—10000=0」

「リユーマン・ドシャット BP1000—10000=0」

「炎極天リユーマン・バースト BP6000—10000=0」

「紅炎竜ヒノコ BP12000—10000=2000」

「アルティメット・アポロドラゴン BP10000—10000

=0」

「そしてこれにより0になった者を破壊する！」

「だが、ドシャットは効果による破壊は受け付けない！」

「だがしかし！Uアポロドラゴン、ムゲンドラ、炎極天はただかせてもらおうよ！」

「エクス・ムゲンドラ BP0破壊」

「炎極天リユーマン・バースト BP0破壊」

「アルティメット・アポロドラゴン BP0破壊」

(悠姫リザーブ0↓3)

「そしてレベル3で召喚！」

〔バースト：発動↓召喚〕

(リザーブ4↓1)

〔砲天使カノン コア3 レベル3 BP10000〕

黄 スピリット

《砲天使カノン》

コスト8 軽減黄4 <星将・天霊>

<1> Lv1 BP6000

<2> Lv2 BP7000

<3> Lv3 BP10000

シンボル：黄

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、このターンの間、相手のスピリット／アルティメットすべてをBP10000する。

この効果でBP0になったスピリット／アルティメットすべてを破壊する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3

相手のスピリット／アルティメットがBP0になったとき、そのスピリット／アルティメットすべてを破壊する。

「さあ…どうする！」

「…こちらのスピリットが破壊されたとき、バースト発動！」

「っ!？」

《アルティメット・シヨコドラ》!

レベル5で、バースト召喚!!」

〔悠姫バースト：セット↓発動↓召喚〕

(リザーブ3↓0)

〔アルティメット・シヨコドラ コア3 レベル5 BP1400

0—100000=100000〕

黄色で注意するのはさっきのあの《砲天使カノン》。これは散々ぱ

ら祐依から注意を受けた。：敵に塩とも取れるかも知れないが、これが最大限の譲歩なんだろう。「私も、周りも使うぞ」って。

「Uシヨコドラだと!? …だ、だが!BPマイナス効果はターン中持続され、レベル2からの効果で0になった者を破壊する!」

「解つてる!召喚条件、アルティメット1体はUヒノコによつて満たしている。それに、私のアタックステップは終わってない! Uシヨコドラ、アタック!Uトリガー!」

「くっ…、コスト5、マジック《エンジェルストライク》!」

「ヒット! カウンターが無いのなら手札から<新生>アルティメット1体を喚び出す!」

上手くいけばこれで押し切れるが、手札にはバブリーコンフューズの他にダメージを消すマジックを持っている可能性もある。だけど、あの砲天使を放っておく訳にもいかない。

BPを下げられている状況で、バトルを介せず破壊する…。なら出すのはコイツだ!

「召喚条件、赤のスピリット1体は満たしている!

召喚、《アルティメット・レオン・ハウル》!

レベル4で、ノーコスト召喚!

レベルにはUシヨコドラとUヒノコから受け取る!」

(手札3↓2)

「アルティメット・シヨコドラ コア3↓1 レベル5↓3」

「紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」

「アルティメット・レオン・ハウル コア3 レベル4 BP150

00—100000=50000」

この効果はダウンする瞬間さえ逃げ切れればあとは…!

「召喚時効果!BP1万ピッタシの砲天使カノンを破壊!」

「ば…馬鹿な…!?!」

「砲天使カノン BP10000 破壊」

(明日歌リザーブ1↓4)

「破壊できたことでトラッシュにある赤のスピリット、《エクス・ムゲンドラ》を手札に戻す!」



(手札2↓3)

赤 アルティメット

《アルティメット・レオン・ハウル》

コスト7 軽減赤3 <新生・皇獣>

<1> Lv3 BP10000

<3> Lv4 BP15000

<5> Lv5 BP20000

シンボル：極

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊することで、自分のトラッシュにある赤のスピリットカード1枚を手札に戻す。

【トリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、このアルティメットをBP+10000する。

「そんな…そんなカードに…！」

いつか役に立つ…。そんなことをアイツが言ってたっけな。本当に役立つ日が来るとは思わなかった。

「…Uシヨコドラのアタックは？」

「ら…ライフで受ける！」

(明日歌ライフ3↓2)

(リザーブ4↓5)

「Uレオン・ハウルでアタック！Uトリガー！」

「…コスト7、スピリット《魅惑の霸王クレオパトラス》…!?!」

「ガードだが、どうする！」

「フラッシュユ！マジック《絶甲氷盾》！アタックステップを…き、強制終了させるー！」

(明日歌手札6↓5)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ4↓8)

「ライフで受け、アタックステップは終了だ！」

(明日歌ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「ターンエンド」

〈明日歌・第八ターン〉

「こんな、こんなはずじゃ…！ スタートステップ…！」

(リザーブ2↓3)

(手札5↓6)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ3↓11)

「…バーストセット」

(手札6↓5)

〔バースト：無し↓セット〕

「マジック、《ライフレボリユーション》！ ボイドからコア1つをライフに置く…！」

(手札6↓5)

(リザーブ11↓6)

(トラッシュユ0↓5)

(明日歌ライフ1↓2)

ライフ回復にバースト…。ならあれは2枚目のカノンか？

レベルを上げれば何とか出来るが…。

「ターンエンド！」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

「ドローステップ。…っ！」

(手札3↓4)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。UシヨコドラとUヒノコのレベルを上げ、バーストセット。アタックスステップ！」

(リザーブ4↓1)

「アルティメット・シヨコドラ コア1↓3 レベル3↓5 B P  
9000↓14000」

「紅炎竜ヒノコ コア1↓2 レベル3↓4 B P 9000↓12  
000」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

「Uシヨコドラ、アタック！Uトリガー！」

「——コスト5、マジック《バレットファイア》！」

「ヒット！ ……初陣だな」

「っ!？」

「《アルティメット・ムゲンドラゴン》！」

レベル4で、手札からノーコスト召喚だツ!!」

(手札3↓2)

「2体目の極竜…!？」

「レベルには、Uレオン・ハウルから受け取る！」

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・レオン・ハウル コア3↓1 レベル4↓3」

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア3 レベル4 B P 19  
000」

行くぞ相棒！お前の力を見せてやれ！

「Uムゲン、レベル4からの効果！」アルティメット「U エナジー」!!

私のアタックステップ中、ムゲン以外の系統<新生>、<次代>を  
持つアルティメット全員に、赤のシンボル1つ追加する！」

「アルティメット・レオン・ハウル シンボル極+赤||極赤」

「紅炎竜ヒノコ シンボル極+赤||極赤」

「アルティメット・シヨコドラ シンボル極+赤||極赤」

赤 アルティメット

《アルティメット・ムゲンドラゴン》

コスト7 軽減赤3極1 <新生・極竜>

【召喚条件：自分のアルティメット1体以上】

<1> Lv3 B P 11000

<3> Lv4 BP19000  
<4> Lv5 BP27000  
<7> Lv6 BP30000

シンボル：極

【WUトリガー】 Lv3・Lv4・Lv5・Lv6 『このアルティメットのアタック時』

???

Lv4・Lv5・Lv6 【Uエナジー】 『自分のアタックステップ』

「アルティメット・ムゲンドラゴン」以外の系統：<新生><次代>を持つ自分のアルティメットすべてに、赤のシンボル1つを追加する。

「これでUシヨコドラ達はダブルシンボル！」

「そんな…私が、また予選落ち…!？」

「アタックは！」

「…ライフで、受ける!!」

(明日歌ライフ2↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「よっしー！」

「まさか…姉妹両方に負け越すなんて…。何かの間違いだ…!」

## 『称号戦』第二試合

「そんな馬鹿な……！」

「上手くいった！」

まず1回戦目は……ほぼ相手の自爆で勝ったようなものだが、上手くカードが噛み合ったのも良かった。

「くっ……」

「……あの」

「……？」

「……あ、ありがとうございます！ い、良いバトル……でした？」

「……ぷふっ、何で疑問形なんだい？」

「い、いや、その……。知り合いにこう言えば良いって」

「あははっ、良い友人だね。……こちらこそ、ありがとうございます」  
向こうから差し出された手を取り握手を交わす。……これで良いのだろうか。

「最後の決勝まで頑張ってたね。私を倒したんだから」

「は、はい」

何故ちよつと偉そうなんだ？

少しして、さつき挿したIDカードが吐き出されたのを取り、榛堂さんは席を立った。……私もデッキを片す。また移動するんだろうけど、勝った相手の分を考えるとプレッシャーがヤバいな……。

「………はあ」

「……はあああ……」

「っ？ ……李衣菜!？」

「ん？ あー！悠姫!」

思い切り落ち込んだ溜息を吐き肩を落として対戦場を後にする姿に見覚えがあった。

その人物は、私が初めてシヨップバトルに出たときに仲良くなった李衣菜だった。てかお前も参加してたのか。

「その様子だと……」

「負けちやったよお……」

「お、お疲れ」

「眼鏡掛けたクラス委員長っぽくて赤緑使ってたよ」

眼鏡、委員長、赤緑……。該当する人物が一人いらっしやる。正直、当たったら勝てる自信が無い。

待つてる時間に赤緑について対策を考えてみる。

しかし考えてみてもドロースピードもコアを増やす速度も負ける状況で何をどうやればいい。…何気なしに自分のデツキ内容をサラサラと眺めてみる。

「要は極竜達になるか。ほとんど防御を捨ててるもんだから攻めあぐねたらもう駄目だ。…運任せで早くムゲンとイアンを引き込むぐらいいしか無いって訳か」

今たどり着いた結論は『相手のみ防御ありのどつきあいには負けるな』って、無理ゲー過ぎてちよとシャレならんしよ…。

「よっ。お疲れ李衣菜」

「ただいま」

「惜しかったな」

「うん…。でもロック魂は友人に託してきたから大丈夫！」

「ほう。誰に？」

「えってね…ほらあそこ！ あの…：肩落としてる子」

「…大丈夫かあれ？」

「だ、大丈夫大丈夫！悠姫は本物のロック魂持ってるし！」

『さあ最後のバトルも終了したようだ！ このバトルで敗れてしまった皆、惜しかった！この悔しさをバネに、もっと強くなって再挑戦してほしい！』

『年に2回あるからね』

『じゃあ皆こっちに注目いいかな？』

…と、気落ちしてる場合じゃない。また運命の抽選が始まる。

参加している身内が多い分、当たらないのを祈る以外方法が無い。

——そして巨大モニターに映し出された数字が目まぐるしく混ざ

り合う。

『ストオオトップ!』

『ボンバーそれじゃボタン壊れちゃうよ』

謎の気合いと共にボンバーがシャッフルを止める。…ゆつくりと滑るように止まっていく数字。私の番号は…完全に止まった。あ、左のやや真ん中よりだ。

とりあえず荷物をまとめて指定された場所に移動する。

「うおっ、センパイ!」

「っ! 朱莉!」

移動してるところ、偶然後輩の巽也 朱莉と遭遇。朱莉が出てるってことは…。

「モチ風空センパイ以外の生徒会メンバーも出てるツスよ。アタシも雫も祥子もちやーんというツス♪」

マジか…。当たりたくない人が更に増えたとあっちゃハード越えでのスーパーハードだよほんと。

「あーそうだ」

「?」

「祐依センパイがヤバいくらいセンパイ搜してるツスよ?」

「:会ったら大丈夫って伝えといてくれ」

「了解。他にも会ったら伝えとくツス」

「すまない、頼むな」

祐依も心配性だなあ。…途中で負けると会えなくなる訳だが。

さて、辿り付いた席にはまだ対戦相手は到着してない模様。先にIDカードをセットし、着席して待つ。しかし移動中に会わなかったな…。紛れて姿が見えなかったのか?

「あ……」

「ん? …雫?」

「こ、こんには…、先輩…」

そんな時、現れたのは学校の後輩である生徒会メンバーの静鳴。…当たるとマズイ身内その1だ。

「せ、先輩が、お相手なんですね…」

「そうみたいだな。…いきなり鬼門かああ…」

「あ、あの、ごめんなさい…!」

ああいや、雫が悪い訳じゃない。しかし、逆にこれはピンチでもありチャンスだ。ここで越えなければ、この先やれるはずがない。

肩を落とす私に遠慮しつつ、雫もIDカードをする。…ちらっと見えた雫のカードは、深い青色をしていた。

そして、ディスプレイに映し出された情報には…

「……『神淵』!?」

「っ!」

まさかの雫が二つ名持ちだった。そりゃ強い訳だよ!

## 第二試合

VS 静鳴 雫

「せ、先輩」

「ん?」

「本気で、行きます」

「…望むところだ。今までの分は熨斗付けて返すからな」

嘘です。全然バツチリじゃないです。熨斗付けられるかも分からんです。

…で、でも対抗手段が無い訳じゃない。随分前のシヨップバトルで彩音が雫に敗北したのを覚えている。(負け続けた)経験が生きたな。

コスト破壊とデッキ破壊の両方に注意だ。

〈雫・先攻第一ターン〉

「先攻、いただきます…。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ…。ネクサス、《海帝国の秘宝》を配置します…」



(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「ダブルシンボルのネクサスカ」

「レベル1から、わ、私の手札に保護効果があります…」

青 ネクサス

《海帝国の秘宝》

コスト4 軽減青2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：青青

Lv1・Lv2

自分の手札は相手の効果を受けない。

Lv2 『自分のアタックステップ』

???

「バーストをセットして、ターンエンドです…」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

いつもと同じくネクサス配置からのスタート。しかもダブルシンボル。：生憎ネクサスを破壊出来るマジックが無いから後回しになるかも。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。召喚、《リューマン・インフィニティ》。レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「リューマン・インフィニティ コア1 レベル1 BP3000」

「バーストセット。それでアタックステップ」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

「インフィニティでアタック。アタック時効果で1枚ドロ―」

(手札3↓4)

「ら、ライフで受けます…」

(零ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少で、バーストを発動、します…。《ディクタートルレギオン》、です」

「ここまでではいつも通りか」

「あ、青は、手札もコアも、かなりひもじいので、こうでもしないと…。ボイドから、コア2つ海帝国の秘宝に、置きます」

〔零バースト：セット↓発動〕

〔海帝国の秘宝 コア0↓2 レベル1↓2〕

「追加のコストは支払って、先輩のバーストを、見させていただきます…」

「了解」

(零リザーブ1↓0)

〔海帝国の秘宝 コア2↓0 レベル2↓1〕

(トラッシュ4↓7)

〔悠姫バースト：セット↓確認〕

「…：《グラウンドブレイク》、ですね。了解しました」

「スピリットカードじゃないから、そのまま戻すぞ」

〔悠姫バースト：確認↓再セット〕

「危ない危ない…。『こいつ』を伏せてたら破棄されるところだった。」

「このままターンエンド」

〈零・第三ターン〉

「スタートステップ、です…」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラツシユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ…。《ツインネックハイドラ》を、レベル2で、召喚します…」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓5)

(トラツシユ0↓1)

「ツインネックハイドラ コア2 レベル2 B P 2 0 0 0」

「次に…。六天の青。」

《獣極天ユキヒヨードル》を召喚します…」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓1)

(トラツシユ1↓4)

「獣極天ユキヒヨードル コア1 レベル3 B P 1 0 0 0 0」

「『極天』…。青のUハンド持ちだな」

「はい…。さ、最後に、秘宝のレベルを上げて、バーストをセットして、アタックステップに入ります…」

(リザーブ1↓0)

「海帝国の秘宝 コア0↓1 レベル1↓2」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「ツインネックハイドラで、アタックします…。レベル2からのアタック時効果で、獣極天に、ボイドからコア1つを、追加します…」

「獣極天ユキヒヨードル コア1↓2 レベル3↓4 B P 1 0 0 0 0↓1 4 0 0 0」

さて、何かあると見るか…。

あの獣極天にUハンドがあるぐらいしか解らないのもあれだが、青の嫌らしさも考慮せんとな。

「ライフで受ける」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「つ、次に、獣極天でアタックします…。レベル4からのアタック時効果で、2枚ドロ―して、2枚捨てます」

青お得意の手札交換か。…だけど今その交換使ったら引くだけ引いて手札0にならないか？

「ここで、海帝国の秘宝レベル2の交換が発揮、です」  
「っ！」

「私の、青のスピリット、アルティメットの効果で、破棄する手札枚数を、1枚減らします」

「何っ」

「よって、2枚ドロ―して、1枚破棄しますね…」

(零手札1↓3↓2)

●破棄したカード

・《吊られた古城》(ネクサス)

…紫のネクサスだど？

青 アルティメット

《獣極天ユキヒョードル》

コスト6 軽減青3極1 <次代・獣頭>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP14000

<4> Lv5 BP16000

シンボル：極

【Uハンド：青】Lv3・Lv4・Lv5

自分の手札にある青のカードがバースト条件を満たしたとき、そのバーストを手札から発動できる。

Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

自分はデッキから2枚ドロ―する。その後、自分は手札2枚を破棄する。

《海帝国の秘宝》

Lv2『自分のアタックステップ』

自分の青のスピリット／アルティメットの効果で破棄する自分の

手札の枚数を――1枚する。

「アタックはライフで受ける」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ2↓3)

「ターン、エンドです…」

〈悠姫・第四ターン〉

「展開速度で負けてるな…。スタートステップ」

(リザーブ3↓4)

(手札4↓5)

(トラッシュ3↓0)

(リザーブ4↓7)

「メインステップ。召喚、《アルティメット・ブレイドラ》。レベル3」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓6)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「更に召喚、《メテオドライアン》レベル2！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ0↓3)

「メテオドライアン コア2 レベル2 BP6000」

「バーストを張替えて、アタックスステップ」

(手札3↓2)

〔バースト：セット↓破棄(グラウンドブレイク)↓再セット〕

「メテオドライアン、アタック！ レベル2からのバトル時効果。1

枚ドロ―して、BP3000以下のツインネックハイドラを破壊する

！」

(手札2↓3)

「ツインネックハイドラ 破壊」

(零リザーブ0↓2)

「…っ！ で、では、スピリット破壊でバースト発動、です…！ 《双

光気弾》！」

〔雫バースト：セット↓発動〕

「2枚ドローして、追加コストは支払いません…」

（雫手札2↓4）

「アタックは、ライフで受けます…！」

（雫ライフ4↓3）

（リザーブ2↓3）

「ライフ減少によって、【Uハンド：青】を、発動します…！」

「やっぱりか！」

「発動するのは、2枚目の《ディクタートルレギオン》です…！」

「なっ!? それは予想外だった…」

（雫手札4↓3）

「秘宝に、コアを2つ追加して、追加コストで、そのバーストを見させてもらいます…！」

「くっ…」

「伏せられたのは、〃本命〃ですね？」

「海帝国の秘宝 コア1↓3」

●セットされていたカード

・《極覇龍アルティメット・ヤマト》

「スピリットカードではありませんから、破棄できません

…でも、〃生き残れませんので〃」

「っ…！」

（雫リザーブ3↓0）

（トラッシュ4↓7）

いつも透き通るような雫の声が、一瞬低くなり異質な威圧を感じた。

これが雫の、称号持ちとしての貫禄なのか…。

「…ターンエンド」

〈雫・第五ターン〉

「スタートステップです…」

（リザーブ0↓1）

（手札3↓4）

(トラツシユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステツプ…。《防人ヌビア》を最大軽減、0コストで、召喚します…。」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓7)

「防人ヌビア コア1 レベル1 BP3000」

「更に、《アルティメット・ガラドルグ》をレベル3で、召喚します…。」

(手札3↓2)

(リザーブ7↓4)

(トラツシユ0↓2)

「アルティメット・ガラドルグ コア1 レベル3 BP6000」

「並べてきたか…。」

「Uガラドルグの、召喚時効果、です。私の手札、またはトラツシユにある、ネクサス1枚を、ノーコストで配置します…。」

「トラツシユからも…?」

「トラツシユの《吊られた古城》をノーコストで、配置します」

「っ!？」

「吊られた古城の配置時効果。先輩の、フィールドにあるスピリットとネクサスの色、1色につき、1枚ドローします…。」

1色につき…? ……………あっ!

「せ、先輩の場には、〃6色として扱われている〃メテオドライアンがいます…。なので、6枚ドローしますね…。」

(零手札2↓8)

1度で6枚ドローとか、緑とかの《ハンドリバス》くらいしか見たことないぞ…。

紫 ネクサス

《吊られた古城》

コスト4 軽減紫2

<0> Lv1

<1> Lv2

シンボル：紫

Lv1・Lv2 『このネクサスの配置時』

相手のフィールドのスピリット／ネクサスの色1色につき、自分はデッキから1枚ドロウする。

Lv2

系統：〈夜族〉／〈虚神〉を持つ自分のスピリットが破壊されたとき、自分の手札1枚を破棄することで、そのスピリットを疲労状態で自分のフィールドに残す。

青 ネクサス

《アルティメット・ガラドルグ》

コスト4 軽減青2 〈新生・造兵〉

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

〈1〉 Lv3 BP6000

〈2〉 Lv4 BP8000

〈5〉 Lv5 BP12000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

自分の手札／トラッシュにあるネクサスカード1枚をコストを支払わずに配置できる。

【Uトリガー】 Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のデッキを上から5枚破棄する。

「なんつーネクサス…！」

「そして、トラッシュにあるツインネックハイドラは、〈新生〉であるUガラドルグが召喚されたため、手札に戻ります…」

(手札8↓9)

「——切り札、行きます」

「っ…!?!」



「暗き海を揺らめくは醜悪なる邪悪の従者。

父なる者、母なる異業と伴に新しき世界を贄とし喰らえ。

大いなる神を迎えるために。

《アルティメット・ダ・ゴン》

深きものの呼び声に応えよ」

(手札9↓8)

特大のが来たか…！　ここが正念場だ。場も手札も向こうが上回っている。

「コストはリザーブ、レベルは秘宝からいただきます」

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ2↓6)

「海帝国の秘宝　コア3↓1」

「アルティメット・ダ・ゴン　コア2　レベル4　BP15000」

「次に、《ビームアラシ》を召喚します。コストとレベルには海帝国とUガラドルグからいただきます」

(手札8↓7)

「海帝国の秘宝　コア1↓0　レベル2↓1」

「獣極天ユキヒョードル　コア2↓1　レベル4↓3　BP140

00↓10000」

「ビームアラシ　コア1　レベル1　BP1000」

(トラッシュユ6↓7)

「…アタックステップに入ります。

Uダ・ゴン、アタック。アルティメットトリガー、ロックオン」

「——コスト7、《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》！  
ガードだ！」

「残念…。でも、ビームアラシの効果が発揮されますね」

「何っ」

「私のトリガーがガードされたとき、先輩のコストが1番低いスピリットを手札に戻します。…対象はリユーマン・インフィニティ」

「しまった…」

「リユーマン・インフィニティ　手札へ」

(悠姫手札3↓4)

(リザーブ1↓2)

白 スピリット

《ビームアラシ》

コスト1 軽減白1 <機獣>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<5> Lv3 BP6000

シンボル：白

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のUトリガーがガードされたとき、最もコストの低い相手のスピリット1体を手札に戻す。

「メテオドライアンの方は、命拾いしましたね…」

「…?」

「Uダ・ゴン、バトル時効果。

「デッキを10枚、トラッシュへ沈めてください」

「っ!？」

青 アルティメット

《アルティメット・ダ・ゴン》

コスト7 軽減青3 <新生・異合>

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP11000

<2> Lv4 BP15000

<4> Lv5 BP22000

シンボル：極

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、コスト5以下の相手のスピリットすべてを破壊する。

この効果で破壊したスピリット1体につき、相手のデッキを上から4枚破棄する。

Lv4・Lv5『このアルティメットのバトル時』  
相手のデッキを上から10枚破棄する。

「じ、10枚!？」

「人の手で葬られてしまうぐらいの『小物』ですが、曲がりなりにも  
神話生物ですから」

「どういう…」

●破棄されたカード

- ・《リユーマン・インフィニティ(2)》
- ・《ネオ・ダブルドロ》
- ・《リユーマン・クロウ》
- ・《エクス・ムゲンドラ》
- ・《双光気弾》
- ・《リユーマン・ドシャット》
- ・《ネオ・アグレッッシブレイジ》
- ・《絶甲氷盾》
- ・《アルティメット・ジークヴルム》
- ・《アルティメット・ドライアン》

「っ!?Uドライアン…!」

「頼みの切り札が落ちましたね」

「くっ…!」

「フラッシュが無いならこちらから。マジック《アビスブレイク》。コ  
ストは獣極天からいただき、先輩のコスト4以下のスピリット1体を  
破壊しますが、対象不在で空撃ちです」

(手札7↓6)

「獣極天ユキヒョードル コア2↓1 レベル4↓3」

(トラッシュ7↓8)

「しかし【連鎖：白】発揮。先輩のバースト1つを破棄します」  
「っ!？」

(悠姫バースト：セット↓破棄)

青 マジック

《アビスブレイク》

コスト4 軽減青3

フラッシュ:

コスト4以下の相手のスピリット1体を破壊する。

この効果は、メインステップで使えない。

【連鎖：条件《白シンボル》】

「白」：相手のバースト1つを破棄する。

「Uヤマトが生き残れないって、そういう意味か」

「はい。：アタックはどうしますか？」

「そ、その前にフラッシュユタイミング！ マジック《シンフォニックバースト》！」

「黄色のマジック…」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ3↓5)

「バトルが終わったとき、私のライフが2以下ならアタックステップを強制終了させる！ アタックはライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

「：ターンエンドです」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ！」

次にあのUダ・ゴンのデッキ破壊を許せば敗北は濃厚。たとえばアタックせずともブロックに回れば10枚破棄はおかしいとしか言いようが無い。その上コスト5以下は生存権すら許さない徹底ぶり。

「召喚、《リューマン・ドシャット》レベル1！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓6)

「リニューマン・ドシャット(2) コア1 レベル1」

これで赤シンボル3つに極シンボル1つ。…まだ足りない。コアも手札も。

「……マジック、2枚目の《ネオ・ダブルドロ》。Uブレイドラがいるため、3枚ドロする」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ0↓2)

何か……引け……!

「……っ!」

(手札2↓5)

「……」

「…引けましたか?」

「……ああ」

「っ!」

「召喚、《アルティメット・アサシン・ドラゴン》! レベル3!

「っ!? それは……!」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓3)

「アルティメット・アサシン・ドラゴン コア1 レベル3 B P 5

000」

「こいつの効果は『お互いのデッキは破棄されない』!」

「……」

「出てきたところ悪いが、しばらくは動かないでもらうとありがたいな!」

(………自業自得とはいえ、出てきた当初から青と黄色を殺しにかか  
る忌まわしい蜥蜴め……)

「……? 何か言ったか?」

「い、いえ、何も……」

赤 アルティメット

《アルティメット・アサシン・ドラゴン》

コスト3 軽減赤2極1 <新生・戦竜>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP5000

<3> Lv4 BP8000

シンボル：極

Lv3・Lv4

お互いのデッキは破棄されない。

【Uトリガー】Lv4 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、『このスピリットの召喚時』効果を持つ相手のスピリット1体を破壊する。

「そして来い！究極の相棒！」

《アルティメット・ムゲンドラゴン》！ レベル3！

レベルには、Uブレイドラから受け取る！」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ2↓5)

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア1 レベル3 BP11000」

「<極竜>であるウムゲンが召喚されたため、トラッシュのリユーマン・インフィニティ(2)を回収し、バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札3↓4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「ウムゲンでアタック！ ダブルUトリガー！」

「——コスト3のマジック《スワロウテイル》と、コスト4のマジック《インパクトロア》です…」

「よし！ ダブルヒット！」

逆転にはまだ足りないが、眼前の危機を薙ぎ払うのが先だ！

「ヒット時効果で、ウムゲンに赤シンボル2つ追加！」

更にダブルヒット時効果、雫のBP5000以下のスピリット全てを破壊する！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン シンボル極十赤赤Ⅱ極赤赤」  
「ビームアラシ、防人ヌビアを破壊！」

「：防人ヌビアには、破壊耐性効果がありますが、Uアサシンがいるため、発揮できません…」

「ビームアラシ 破壊」

「防人ヌビア 破壊」

(雫リザーブ0↓2)

青 スピリット

《防人ヌビア》  
さいきもり

コスト3 軽減青2極1 <護将・獣頭>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

シンボル：青

Lv1・Lv2

このスピリットが相手の効果で破壊されたとき、相手のデッキを上から5枚破棄することで、同じ状態でフィールドに残る。

Lv2

系統：<次代>を持つ自分のアルティメット1体につき、このスピリットをBP+3000する。

《アルティメット・ムゲンドラゴン》

【WUトリガー】Lv3・Lv4・Lv5・Lv6『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたUトリガー1回につき、このアルティメットに赤のシンボル1つを追加する。

【ダブルヒット】：Uトリガーが2回ヒットしたら、さらに、BP5000以下の相手のスピリットすべてを破壊する。

「このトリプルシンボルはどうする！」

「：フラッシュ、タイミング！ マジック《ミストバラッジ》、です…！」

(雫手札6↓5)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ8↓10)

「バーストセット中のため、ウムゲンドラゴンを、指定します…。これで、ターン中、ウムゲンドラゴンからは、ダメージを受けません…！アタックはライフで…！」

「くっ…」

「ターンエンド…」

頼みの綱はこのバーストだけ。

頼むからバーストを破棄するカードを持ってませんように…！

〈雫・第七ターン〉

「…スタート、ステップです」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ10↓0)

(リザーブ1↓11)

「…《海帝国の秘宝》、2枚目を、配置します…」

(手札6↓5)

(リザーブ11↓9)

(トラッシュユ0↓2)

「…2つの海帝国の秘宝をレベル2に。獣極天、ウダ・ゴンを、最大レベルへ上げます…」

(リザーブ9↓2)

「海帝国の秘宝 (1) コア0↓1 レベル1↓2」

「海帝国の秘宝 (2) コア0↓1 レベル1↓2」

「獣極天ユキヒョードル コア1↓4 レベル3↓5 B P 1 0 0  
0 0 ↓ 1 6 0 0 0」

「アルティメット・ダ・ゴン コア1↓4 レベル3↓5 B P 1 1  
0 0 0 ↓ 2 2 0 0 0」

「アタックステップです…。ウダ・ゴン、アタック…。アルティメット



トリガー、ロックオン……」

ヒットしたら負けは確実……でもコスト7のって何かあったっけか?!

「……………っ！ コスト10、《アルティメット・カタストロフドラゴン》！」

「えっ!?」

「ガードだ!」

「そんな……。<古竜>がまったく入ってなさそうなのに……」

「広い目で見れば、この高ステータスを見逃さない訳にはいかないだろう?」

まあ大体はUシヨコドラ頼みなのが玉に傷だが、そこはご愛嬌。レベル維持コストの安さやトリガー効果も魅力的で、一応ムゲンやドライアンで軽減が効く。

「アタックはライフだ!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

「:ライフ減少じゃ、ない?」

「さあ来い!」

「:獣極天、アタックです……! アタック時効果で、2枚ドロ。海帝国の効果で破棄枚数を減らすので、棄てずにこのまま手札に……」

(手札5↓7)

「……………そのアタック、もらった!」

「っ!」

「相手のアタックに反応して、バースト発動!

究極三龍神、《聖龍皇アルティメット・セイバー》!」

{悠姫バースト:セット↓発動}

「会長の……!」

「バースト効果! 私のライフが3以下のため、リザーブのコア1つをライフに戻す!」

(リザーブ1↓0)

(悠姫ライフ1↓2)

「そして、バースト召喚！ レベルにはドシヤットから受け取る！」  
〔バースト：発動↓召喚〕

〔リユーマン・ドシヤット(2) コア1↓0 消滅〕

〔聖龍皇アルティメット・セイバー コア1 レベル3 BP1000〕

「アタックはそのままライフで受ける！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

「：た、ターンエンドです：」

〈悠姫・第八ターン〉

「チャンス！ スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ！ メテオドライアンの〔スピリットソウル：∞赤！ 召喚、《炎極天リユーマン・バースト》！ レベル3！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

〔炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000〕

「Uムゲンをレベル5、Uセイバーをレベル4、メテオドライアンをレベル2に上げて、バーストセット！」

(リザーブ5↓0)

〔アルティメット・ムゲンドラゴン コア1↓4 レベル3↓5〕

BP11000↓27000〕

〔聖龍皇アルティメット・セイバー コア1↓3 レベル3↓4〕

BP10000↓13000〕

(手札3↓2)

〔バースト：無し↓セット〕

「アタックステップ！ UムゲンのUエナジー！ 私の〈新生〉、〈

次代〉アルティメットに赤シンボル1つ追加だ!」

「炎極天リユーマン・バースト シンボル極+赤||極赤」

「アルティメット・アサシン・ドラゴン シンボル極+赤||極赤」

「ウムゲン、アタック! WUトリガー!」

「:コスト5、スピリット《猫人剣士バーマン》。コスト8、スピリット《クリスタルハイドラ》です:」

「シングルヒット! ウムゲンに赤シンボル1つ追——」

「と、トリガー、カウンター!」

「っ!」

「マジック《インパクトロア》:!!」

(雫手札7↓6)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ2↓4)

「ヒットした猫人剣士バーマンの、コスト5+3の値、8以下のウムゲンドラゴンを、破壊します:~!」

「:っ!」

「アルティメット・ムゲンドラゴン コスト7 破壊」

(悠姫リザーブ0↓4)

「:ほっ」

「安心してるところ悪いが、バースト発動! リユーマン・バーストの

【Uハンド:赤】!」

「っ!」

「相手によつて、私の〈極竜〉アルティメットが破壊されたとき、《アルティメットリターン》が発動する!」

(悠姫手札2↓1)

「今破壊されたウムゲンをノーコスト、レベル5で復活させる!」

(リザーブ0↓4)

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア4 レベル5 B P 2 7  
000」

「〈極竜〉専用の、《五輪転生炎》:~」

「ウムゲンが戻ってきたから、Uエナジーの効果もまた発揮されるぞ

！」

赤 マジック

《アルティメットリターン》

コスト4 軽減赤1黄1青1極1

【バースト：相手による自分のアルティメット破壊後】

このバースト発動時に破壊された、自分のトラッシュにある系統：  
＜極竜＞を持つアルティメットカード1枚を召喚する。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット／アルティメット1体をBP+400  
0する。

赤 マジック

《五輪転生炎》  
ごりんてんせいえん

コスト4 軽減赤2

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

このバースト発動時に破壊された、自分のトラッシュにある系統：  
＜覇皇＞を持つスピリットカード1枚を召喚する。

ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュユ：

系統1つを指定する。このターンの間、合体していない指定した系統を持つ自分のスピリットすべてをBP+4000する。

「もう一度Uムゲンでアタック！ WUトリガー！」

「：コスト5、ブレイヴ《天秤星鎧ブレイヴリブラ》、コスト6、同じく《天蠍星鎧ブレイヴスコープイオン》です…」

「ダブルヒット！ 赤シンボル2つ追加！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン シンボル極+赤赤||極赤赤」

「このアタック、どうする！」

「……ここまで、ですか」

「リベンジ達成、かな」

「お強くなりましたね…」

「皆の、雫のおかげさ」

「…ふふっ。…アタックは、ライフで、受けます!」

「Uムゲンはトリプルシンボル! ライフ3つ砕かせてもらう!」

(雫ライフ3↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「ありがとうございます」

「こちらこそ。ありがとうございます」

「まだ、会長達や皆さん、手強い相手が残ってます。…お気をつけて」

「おう。ありがとな。あいつにたどり着くまで負けはしないさ」

## 『称号戦』第三試合

第二戦目にしてこのキツさ。

最初から楽に勝てるなんて思ってた無いが、二戦目でこれでは精神が擦り減るスピードがマツハだ。

…あいつにたどり着くまで後どれだけ勝てばいいんだか。

「あ、あの…。気をつけて、くださいね。こんな事しか、言えなくて、すみません…」

「大丈夫。それだけで心強いよ」

心配してくれる雫の頭を撫でてやる。

まだ二試合目だし、何かアドバイスをくれって言えるものでもない。

そして撫でるのを終え、照れる雫を送り出す。…これ雫を負かした事を様子や朱莉が知ったらどうなることやら。

「雫！」

「っ！ 様子ちゃん…」

そう思った矢先、件の様子が雫に走り寄って来た。…ああ、これまた思い切り睨まれるパターンだよ。

「…誰に負けたの？」

「え？ あ、えつと…」

申し訳なさそうにこちらを見る雫に、追って目の仇を討たんとばかりの視線をこちらに向ける様子。…心臓に悪い。

「まさか、悠姫先輩に!？」

「う、うん…」

「……そう」

するとそれを知った様子が何やら複雑な表情をした。色々な感情がまぜこぜになった、そんな感じ。

「進出、おめでとうございます」

「お、おう…」

「でも、雫を倒した分はキッチリしてもらいますからね」

下級生に睨まれて縮こまる私って…。

いやいや怯んではいられない。睨まれたからとはいえ、びくびくして凡ミスしてしまっただけは取り返しがつかなくなる。ここは一発強気に……。

「私だつてま「うわあーん!! 震〜! 祥子〜!」

「きゃ! あ、朱莉!」

「ど、どうしたの…?」

突然涙目で二人に突っ込んで抱き着いて来たのは朱莉。…おい私の行き場のないこの台詞をどうしてくれる。

「負けたツス〜!」

「はあ!? 誰に!」

「佐々森センパイにツスよ〜…」

「諦めなさい」

「祥子バツサリツス〜!」

話を聞いてみれば、どうやら朱莉は佐々森先輩と当たり負けたよう。…惜しいが朱莉と当たることはこれでなくなってしまったか。

「赤緑は【地竜】型の完全上位版なのはあなたも解ってたでしょうに」

「コアブ速度もドロ〜速度も展開速度も上回られちゃ焼く前にこっちが焼け野原ツスよ! 悠姫センパイ、仇取ってほしいツス!」

「いや正直当たりたくないんだが…」

これは本当。あのデツキタイプにワンチャン差し込める隙があるのなら私が教えてほしいくらいだ。

私が見た限りだと、ッライフッくらいしか見当たらない。しかしながらあの速度を越えられる展開力が無い。…行き着くところはアルティメット頼りか。

「朱莉ちゃん。げ、元気出して…?」

「うう…、震う…」

「ほらメソメソしてない! 他の人の邪魔になるから、行くわよ!」

「う〜い。…センパイ、祥子。後は任せたツス」

「任された」

「はいはい。…じゃあ悠姫先輩、私は二人を送ってきます」

「あいよ。またな雫、朱莉」

軽く手を上げ、三人を見送る。

任されたとはいえ、佐々森先輩とは全力で当たりたくない。悪い考えだが、璃恵か祐依辺りと当たってくれると有り難かったり。

『さあ今第二回戦最後のバトルが終わったようだ。』

これで大分人数が減ったようにも見えるな』

『半分の半分くらいかな？ ……これも何かあって人足りなくなったら私も飛び入りで出てもいい？』

『いやいやダメだよ！ マジカルが出て、もし最後まで残っちゃったらオレ様もジャステイスもギャラクシーもさすがにフォローできないから！』

『ええ〜ケチ〜』

会場からドツと笑いが起きる。…付近の人の表情をチラ見すると、笑ってはいるが「マジカルが参戦とか冗談じゃない」みたいな若干焦りが混じって見て取れる人と、「マジカルとバトル出来たらいいなあ」みたいな期待している感じの表情をしてる人もいる。

この両極端な感じは何なんだろうか。

『魅せ重視のバトルだというのにガチデツキで来たマジカルはとにかく、三回戦目の抽選を始めるぞー！』

『ジャステイスあの時のことまだ根に持ってるんだ…』

『未だに《星空の冠》を見ると思い出してしまっんだ…』

…一体何があったんだ？ 周囲はかなり笑ってるが、その当時の事情を知らない私としては何が何だか解らない。

『とにかくスイッチオオン！』

ジャステイスが何かを吹っ切るようにシャッフルボタンを押した。…こう見ると二戦でかなり減ったな。そうなれば身内と当たる確率もグンと上がる。

『ストオーツプ！』

『はい、この三回戦目が終わったら一旦休憩になりまーす。さすがにぶっ続けはキツイもんね』



『三回戦目が終わったら詳しく説明するから、バトルが終わったら勝った方はすぐには動かず、その場で待っていてくれよう?』

へえ。休憩挟んでくれるのか。

一応スパルタ特訓のおかげか、連戦には慣れてる。悲しいことにな…。

『さあ皆、決定した席に移動お願いしまーす』

と、移動の合図が掛かったから私も番号を見つけて移動せねば。

「ん〜つと…あつた」

発見した私の番号は右下の真ん中より下辺り。

相手方の番号が点灯してないってことは、相手さんも着いてないってこと。ならささつと行かないとな。

「…先輩」

「…? 祥子、どうした?」

「……………」

「…っ!？」

祥子が見せてきたIDカードの番号。

…それには、私に対戦する相手方の番号が書かれていた。

「よろしく、お願いします」

「…ああ」

### 第三試合

VS 有栖川 祥子

「あの時とは速さが違います。お覚悟をば」

「勿論。私だってあの時とは違う」

「では…。行きます!」

〈悠姫・先行第一ターン〉

「先行は私だな。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

さて……。祥子は黄色の〈想獣〉を扱うが、「速さが違う」と言う。一回戦で当たった榛堂さんが使った《砲天使カノン》を使う可能性がある。

しかしそれより、祥子がアルティメットを使うかどうか分からない。

あのベヒモスで意地でもアルティメットを踏み越えてくるか……？

「メインステップ。ネクサス、《ガイナロック大渓谷》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「バーストをセットしてターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

〈祥子・後攻第二ターン〉

「良い出だしですね。スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。一角兎の神獣、《アルミラーズ》を召喚。レベル1です」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

「レイキ コア1 レベル1 BP3000」

「バーストをセットし、アタックステップ！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「アルミラーズでアタック！」

「何も無い。ライフだ」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「アルミラーズ、レベル1からの【聖命】発揮！ ボイドからコア1つをライフへ！」

(祥子ライフ5↓6)

黄 スピリット

《アルミラーズ》

コスト4 軽減黄2 <想獣>

<1> Lv1 BP3000

<2> Lv2 BP4000

<3> Lv3 BP6000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 【聖命】『このスピリットのアタック時』

このスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

Lv2・Lv3

【聖命】を持つ自分のスピリットすべては、相手の効果で破壊されたとき、疲労状態でフィールドに残る。

「ふふん。ターンエンドです」

ちよつと得意げなところが可愛いが、ライフに差が出た。さあてどう切り崩すかな。

〈悠姫・第三ターン〉

「【聖命】か…。スタートステップ」

(手札3↓4)

(リザーブ1↓2)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ。召喚、《リューマン・ドシャット》と《エクス・ムゲンドラ》レベル2」

(手札4↓2)

(リザーブ6↓2)

(トラッシュ0↓1)

「リューマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000」

「エクス・ムゲンドラ コア2 レベル2 BP3000」

「アタックステップに入って、ムゲンでアタック。レベル2からのアタック時効果で1枚ドロ―だ」

(手札2↓3)

「勿論ライフで受けますよ」

(祥子ライフ6↓5)

(リザーブ0↓1)

「痛くも痒くもないです」

「そりゃ1つ増えてるしなあ」

「でも、ライフ減少でバースト発動！」

「っ！」

「仮想空間の扉、《イマジナリーゲート》！」

(祥子バースト：セット↓発動)

「私の手札にある黄のスピリット1体を、召喚時効果を発揮させずにノーコストで召喚します！」

ノーコスト召喚?! 05になって随分強化されたなあ。

「召喚するのは

古の花の都川に棲みし水竜!

《水竜神ガルグイオス》!

レベル1で、幻の扉より現れいでよ！」

(祥子手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「水竜神ガルグイオス コア1 レベル1 BP5000」

「ベヒモスじゃない…?」

「手札に無かったから仕方ないです」

「…それ言っ方がいいのか?」

黄 マジック

《イマジナリーゲート》

コスト4 軽減黄3

セットしているこのカードは、相手によって破棄されたとき、バースト条件を無視して発動できる。

【バースト：自分のライフ減少後】

自分の手札にある黄のスピリットカード1枚を召喚できる。  
ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

このバトルの間、相手のスピリット／アルティメット1体をBP  
5000する。

とにかく、厄介のが出てきたのに代わりない。ベヒモスがあれば。  
8コストから考えると、この水竜は早めに何とかしたいがどうするべきか。

「ターンエンドだ」

〈祥子・第四ターン〉

「ふふっ…。バースト頼りだけどここの速さ、黄色が求めたもの！  
スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ0↓4)

「メイנסテップ！ 竜宮の姫、六天の黄！《水極天プリンセス・オト》  
！ レベル3で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓2)

「水極天プリンセス・オト コア1 レベル3 BP5000」

「この乙姫も＜想獣＞なんですよ」

「極天ってことは、この乙姫も【Uハンド】持ちか。だが大溪谷を忘れて  
はいなよな。祥子がアルティメットを召喚したため2枚ドロウさ  
せてもらおう！」

「お好きにどうぞ」

(悠姫手札2↓4)

黄 アルティメット

《水極天プリンセス・オト》

コスト4 軽減黄2極1 <次代・想獣>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP5000

<2> Lv4 BP6000

<3> Lv5 BP10000

シンボル：極

【Uハンド：黄】 Lv3・Lv4・Lv5

自分の手札にある黄のカードがバースト条件を満たしたとき、そのバーストを手札から発動できる。

Lv4・Lv5 『相手によるこのアルティメットの破壊時』

自分の黄のスピリット1体を疲労させることで、このアルティメットは疲労状態でフィールドに残る。

「更にもアルミラージュとガルグイオスをレベル2へ！」

(リザーブ2↓0)

「アルミラージュ コア1↓2 レベル1↓2 BP3000↓4000」

「水竜神ガルグイオス コア1↓2 レベル1↓2 BP5000↓6000」

「アタックスステップ！ ガルグイオス、レベル2からの効果！私の全<想獣>のBPを5000アップ！」

「アルミラージュ BP4000+5000=9000」

「水竜神ガルグイオス BP6000+5000=11000」

黄 スピリット

《水竜神ガルグイオス》

コスト8 軽減黄3赤3 <想獣・地竜>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP6000

<3> Lv3 BP10000

シンボル：黄赤

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のアタックスステップ』

系統：〈想獣〉／〈地竜〉を持つ自分のスピリットがBPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

Lv2・Lv3『自分のアタックステップ』

系統：〈想獣〉／〈地竜〉を持つ自分のスピリットすべてをBP＋5000する。

「アタックステップ！ ガルガイオスでアタック！」

「押し寄せだな…」

「ガルガイオスは黄と赤のダブルシンボル。当たれば痛いですよ」

あの時みたくダブルシンボルの押し付けあいになるのか？ しかし状況が悪い。場が整ってないが、ここで守るとなると……

「…そのアタックに反応して、バースト発動！」

「っ！ アタック時バースト…！」

「マジック《トライアングルバースト》！ 手札からコスト4以下のアルティメット、《炎極天リユーマン・バースト》をノーコスト召喚！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

〔手札4↓3〕

〔リザーブ2↓1〕

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

「っ、しかし、六天の赤が出たところで……」

「アタックはライフだ！」

「っ!？」

〔悠姫ライフ4↓2〕

〔リザーブ1↓3〕

「炎極天の【Uハンド：赤】！ 蹴り穿て、《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

〔手札3↓2〕

「っ!？ ゴッドブレイカーを抱えていた!？」

「BP1000以下の兎には大人しくしてもらおう！」

「くっ…。レベル2からのアルミラーズの効果！ そちらによって効果破壊された場合、【聖命】を持つスピリット、すなわちアルミラーズ

は疲労状態で残ります！」

「アルミラージ BP9000 効果破壊↓疲労状態で残る」

「そして、アルティメットであるリューマン・バーストがいるため、1枚ドローしてレベル2で召喚！」

(手札3↓4)

(リザーブ3↓0)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP10000」

これでアルミラージのライフ回復は止めた。

ライフ2つ失ったのは必要経費だと割り切ろう。……1体止めるためだけに？と思うだろうが、こっちはアルティメット1体とスピリット1体、1枚ドローまで出来たとなれば上々過ぎるくらいだ。

「流石、肉斬骨断は赤の御家芸ですね……。ターンエンドです」

〈悠姫・第六ターン〉

「チャンスだ！ スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ1↓2)

「メインステップ。召喚、《リューマン・ファンタジスタ》！レベル1！

コストはリザーブとゴッドブレイカーから。レベルにはムゲンから受け取る！」

(手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ0↓4)

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「リューマン・ファンタジスタ コア1 レベル1 BP5000」

「ファンタジスタですか……」

「多シンボルの押し付けあいはその時と一緒だな」



「ふっ…。こういうのはお嫌いですか？」

「いいや、貫通とかじゃなければ望むところさ。バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「アタックステップ開始時、ファンタジスタの効果で私のトラッシュにあるコア全てを<竜人>に分け与える。

ゴッドブレイカーに2つ、ファンタジスタに2つ割り振る！」

(トラッシュ4↓0)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア1↓3 レベル1↓2 B  
P6000↓10000」

「リューマン・ファンタジスタ コア1↓3 レベル1↓2 B P  
5000↓7000」

「更にファンタジスタがレベル2になったことで、私のアルティメット1体につき、<竜人>スピリット全員にBPプラス5000！」

「リューマン・ドシャット BP1000+5000=6000」

「リューマン・ゴッドブレイカー BP10000+5000=1  
5000」

「リューマン・ファンタジスタ BP7000+5000=120  
00」

「《焰竜魔皇マ・グー》に似てるとはいえ、相変わらず馬鹿げた上昇値ですね！」

「ファンタジスタ、アタック！」

「無論ライフです！」

(様子ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「次、ゴッド……」

「そこまです！」

「っ!？」

「ライフ減少により、水極天の【Uハンド：黄】を発揮！

お見せしましょう、私の「アルティメット」を！」

Uハンドで出てくるアルティメット…!?

まさかマリア先輩と同じUセイバーか？

「夜天に輝きし黄金の望月！麗しきは天衣無縫なる月の姫君！

《アルティメット・カグヤ》！」

海の姫君の導きにて、ここに降臨!!」

「カグヤ……かぐや姫?!」

「その通り！」

まずバースト効果！ ボイドからコア1つをライフに置きます！」

(様子ライフ3↓4)

「更にこのターン中、先輩の全てのスピリットはアタックすることは許されません！」

「回復しただけじゃなくアタックまで止めるだと…!?!」

「月の姫の難題の1つ、とでも言えればいいですかね。最後に召喚！レベル4！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・カグヤ コア2 レベル4 BP12000」

「くっ…。ターンエンド」

〈祥子・第七ターン〉

「ふふっ！ 月の姫の難題、先輩に突破できますか？ スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓0)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メイנסテップ！ ……Uカグヤをレベル5に！」

(リザーブ3↓0)

「アルティメット・カグヤ コア2↓5 レベル4↓5 BP12

000↓20000」

「ではアタックステップ！」

「アルミラージュ BP4000+5000=9000」

「水竜神ガルグイオス BP6000+5000＝11000」

「ライフ1つで何処まで堪えられますか？ Uカグヤでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト5、《紅炎竜ヒノコ》！」

「ヒットです！」

Uヒノコが落ちたか……。だがまだ……！

「ヒット時効果！ 先輩のレベル2のスピリット全てを手札へ戻して  
もらいます！」

「何っ!？」

「レベル2なのはゴッドブレイカーとファンタジスタ。2体とも手札  
へ！」

「リユーマン・ゴッドブレイカー 手札へ」

「リユーマン・ファンタジスタ 手札へ」

(悠姫リザーブ0↓6)

(手札3↓5)

「くそ……！」

「更にこの効果で1体でもスピリットを戻したのならば、先輩のライ  
フ1つをリザーブへ落とします！」

「っ!？」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ6↓7)

黄 アルティメット

《アルティメット・カグヤ》

コスト6 軽減黄3 <新生・想獣>

【召喚条件：自分の黄スピリット／アルティメット1体以上】

<1> Lv3 BP8000

<2> Lv4 BP12000

<5> Lv5 BP20000

シンボル：極

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

このターンの間、相手のスピリットすべてはアタックできない。  
この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』  
Uトリガーがヒットしたとき、Lv2の相手のスピリットすべてを  
手札に戻す。

この効果でスピリットを手札に戻したら、相手のライフのコア1個  
を相手のリザーブに置く。

「さあ、このアタックはどうします！ ライフで受けるなどという選  
択肢はありませんよ！」

「…そいつは、どうかな！ ライフ減少でバースト！《救世神撃覇》！」  
「っ！ 悪あがきを…！」

「悪あがきは私の十八番さ。バースト効果は空撃ちだが、追加コスト  
を支払って、1枚ドロウする！」

〔悠姫バースト：セット→発動〕

(リザーブ7↓6)

(トラッシュ0↓1)

(手札5↓6)

…っ!? ……お前が来たか。

「そして炎極天の【Uハンド・赤】！ 《リューマン・ゴッドブレイカー》  
を再びバースト召喚！」

BP10000以下の兎を破壊して、召喚はできる！」

〔アルミラージュ 破壊→疲労状態で残る〕

(手札6↓5)

(リザーブ6↓1)

〔リューマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP100  
00〕

(手札5↓6)

「アタックはドシャットでブロック！ そしてフラッシュタイミング  
でマジック《絶甲氷盾》を使う！」

(手札6↓5)

「握っていたなんて…！」

「コストはリザーブとドシヤットから受け取り、バトルが終わり次第、アタックステップは強制終了だ！」

(リザーブ3↓0)

「リューマン・ドシヤット コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ1↓5)

「ターン、エンドです…！」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メインステップ！」

……と、意気込んだのは良いが状況が最悪だ。いつもの事のように。この返しが失敗に終われば次は無い。

「…ならば、ここが賭け所だ…！」

「っ!？」

「射手座の裏十二宮！《射手座鎧ブレイヴサジタリアス》！」

ゴッドブレイカーへ直接合体！」

(手札6↓5)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓3)

射手座鎧ブレイヴサジタリアス

← 直接合体

リューマン・ゴッドブレイカー (合体)

「コスト：8+6≡13」

「BP：10000+5000≡15000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤≡赤赤」

「アルティメットを殲滅させる気ですか…！」

「まだだ！」

「っ!？」

本当は「アイツへの隠し玉」として入れたんだが、来たって事は：そういう事なんだよな。きつと。

初心者ごときが出し惜しみなんかしてんじゃねえっていうメツセージなのかも…なんてな。

「『獅子座』の裏十二宮！《獅子星鎧レオブレイヴ》！

ゴッドブレイカーへ、ダブルブレイヴ!!

足りないコストはムゲンと炎極天から受け取る！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

「エクス・ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

「炎極天リユーマン・バースト コア1↓0 消滅」

(トラッシュユ3↓8)

獅子星鎧レオブレイヴ

← 直接合体

リユーマン・ゴッドブレイカー (双合体)

「コスト：8+6+5=18」

「BP：10000+5000+5000=20000」

「合体時効果：追加」

「シンボル：赤+赤+白=赤赤白」

「っ!?!?! 射手座と獅子座のダブルブレイヴ…!?!」

「そうだ！ 裏射手座と合体したスピリットは系統：＜光導＞のブレイヴをもう1つだけ合体することが可能になる！」

《射手星鎧ブレイヴサジタリアス》

【合体時】

このスピリットは、系統：＜光導＞を持つブレイヴ2つまでと合体できる。

「勝負だ様子！ その2枚の手札が強制終了系、手札・デッキへ戻る系、ダメージ防御系、行動不能系、コアシユート系とかだったら私の負けだ！」

「ば、馬鹿なんですか!?! 分が悪いとかそんな次元じゃないのに！」

お、追い詰められての神風特攻なんて見苦しいですよ！」

そりやそうだ。多分、祐依達も同じように言うだろう。……けど、アイツ：璃恵ならなんて言うだろうか。

この手札と場なら……、アイツは――

「――『面白くなってきた』とかかな」

「……この状況を愉しんでいるんですか？」

「多分な」

確かに分は最悪。

でも0（ゼロ）では無い。

……今、私はどんな表情をしてるんだろうか。

いつもみたくないな焦りや不安からくる緊張じゃなく、別の何かで心臓が高鳴る。……皆、こんな気持ちで対戦しているんだろうか。

「ゼロじゃない。分が最悪なだけだ」

「む、無茶苦茶です！」

「アタックステップ！」

「っ!？」

そうだったとするなら、悪くない。

「ゴッドブレイカー、ダブルブレイヴアタック!!」

「ほ、本当に来た……!？」

「裏射手座の合体アタック時効果でアルティメットの水極天へ指定アタック！」

「き、強制ブロック……!」

「更に裏獅子座の合体時効果！ レベル3以下のアルティメットにブロックされたため、ゴッドブレイカーは回復！」

「リユーマン・ゴッドブレイカー（双合体） 疲労↓回復」

白 ブレイヴ

《獅子星鎧レオブレイヴ》

コスト5 軽減白2 <機獣・光導> 『獅子座・裏』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

シンボル：白

このブレイヴカードは、1コスト以上支払わなければ召喚できず、合体条件を無視できない。

【合体条件：星将／コスト8以上】

【合体時】【超装甲：赤／緑】

このスピリットは、相手の赤／緑のスピリット／アルティメット／ネクサス／マジックの効果を受けない。

【合体時】『自分のアタックステップ』

Lv3以下の相手のスピリット／アルティメットが疲労したとき、このスピリットは回復する。

「さあ、どうだ！」

「……破壊です！」

「水極天プリンセス・オト 破壊」

(様子リザーブ0↓1)

「次！ゴッドブレイカー、二度目のダブルブレイヴアタック！」

そしてゴッドブレイカー、レベル2からのアタック時効果！ 手札の《アルティメット・ブレイドラ》を破棄して回復！」

(手札4↓3)

「リユーマン・ゴッドブレイカー（双合体） 疲労↓回復」

「このアタックは！」

「……が、ガルグイオスで、ブロック！」

「水の竜、砕かせてもらう！」

「水竜神ガルグイオス 破壊」

(様子リザーブ1↓3)

「三度目！ダブルブレイヴアタック！ 手札の＜竜人＞スピリットカード、《リユーマン・ファンタジスタ》と《リユーマン・クロウ》を破棄して回復！」

(手札3↓1)

「リユーマン・ゴッドブレイカー（双合体） 疲労↓回復」

「ライフで受けます……！」

「ゴッドブレイカーはトリプルシンボル！ライフ3つを砕くぞ！」  
(様子ライフ4↓1)



(リザーブ3↓6)

「ラスト…。ゴッドブレイカー、ダブルブレイヴアタック!!」

「……はあ…。まったく、何が強くなったですか。悪い影響受けまくってるじゃないですか」

「…まあ、周りが周りだからな」

「溜息しかでませんよ…」

……でも、その感じを大事にしてください。

…こんな熱い悠姫先輩は嫌いじゃないですよ」

「ありがとう。…ちよつと照れ臭いな」

「それはこっちのセリフです!」

…このライフ、差し上げます!」

(祥子ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「裏獅子座なんて、相変わらずどんなデツキ構築してるんですか」

「み、耳が痛いです…」

「…ま、まあ? それなりに出来上がっていて、邪魔しあわないぐらいなんですから、悪くは無いですよ」

## 後半戦。『称号戦』第四試合

「先輩、ありがとうございます」

「こちらこそありがとうございました」

第三試合目。祥子との対戦はあの時を彷彿とさせるような対戦となり、辛くも勝利を収める事が出来た。：前だったらジロツと睨まれもしたんだが、やっとまっすぐにこちらを見てくれるようになった。「これから先、私達以上に強い：強すぎる相手がいます。努努力油断しないでくださいね。ただでさえ先輩のデッキは爆発力に頼っているんですから」

「ああ。肝に銘じとくよ」

「：本当に大丈夫ですか？」

「：だ、大丈夫さ。：多分」

「……はあ」

溜息つかれた。私だつてこれから当たるであろう相手らを考えると胃が痛いんだからもうちよつと優しくしてもらえませんか？

「まあとにかく、応援はしています。：マリア姉様の次にですが」

「あはは……」

『第三回戦、そろそろ全員のバトルが終了しそうだ』

『はいじゃあ休憩タイムの説明です。休憩時間は1時間。その間は自由にしても大丈夫だけど注意してほしいのが、デッキのカードの入れ換えは禁止です』

「つまり触るなつてこと？」

「そうです。バトスピは某顔芸サティスフアクションカードゲームとは違い、〃サイドデッキ〃といった概念はありません」

「：サイドデッキ？」

「通常のデッキとは違い入れ換え調整用デッキのことです」

祥子によると

相手によってはデッキ相性が悪いときがある。それを調整したり

するためのデッキがそれらしい。

相手のデッキに対する対策のため、相手から付け入る隙を与えてしカードを抜いたり、噛み合わないものと交代させたりするもののようにだ。

「繰り返しますが、バトスピはそんなことはしません。あの注意事項は、今入れ換えてしまうと対策になつてしまうからでしょう」

「なるほど。…例えば、「赤緑」が多いから何かと《サードアイズスネーク》を入れ換えよう。みたいな？」

「その通りです。そんな姑息な真似はカードバトラーに非ず、です」

確かに、一発勝負のバトスピには無粋かも知れない。…しかし運営側はデッキ内容を把握してないだろうし、確認したいのってどうするんだ？

「それは安心してください。…ちよつと」

「ん？」

祥子が耳を貸せと催促してきた。

大きな声じゃ言えない事なのか？

（この称号戦大会にマリア姉様の近親者が出資していらつしやるんです）

（…マジ？）

（本当です。ここにいる一部のジャツジの方々見たことある人がいます。不正に関しては心配無いです）

…やることがまあデカイことで。

『ジャスティス、今最後の対戦が終わったよ』

『了解した。では皆、忘れ物に注意してまた後半戦でまた会おう！』

「先輩、私達も行きましょう」

「ああ」

すると係員にあちらから出ると指示されたため、忘れ物が無いよう荷物をまとめ対戦場の出口に向かう。

「さて…。祐依や桜は大丈夫だろうか」

「お二人なら大丈夫ですよ。…祐依先輩は逆に凄まじいくらい悠姫先輩のこと心配してましたよ?」

「……………」

「見イイつけたアアーツ!!」

「…? ———おわつ!」

対戦場の出口から出て誰かを捜そうしたとき、突然聞いた事のある声と背中からの衝突に思わず前のめりに倒れそうになった。

「悠姫イ♪悠姫イ♪ やアアツと逢えたヨ〜!」

「り、璃恵!? バカバカ倒れる、倒れるって!」

「久しぶりのハグは最高だナア! My wifeー!♪」

「誰が妻だ! 離れる! 他の人の迷惑だろ…が!」

「オウフ!」

は、背後から抱き着いて来たのは璃恵だった…。お前は人目も憚らずに堂々と抱き着くな。い、いやだからって人目が無ければ良い訳でもないからな?

何とか璃恵を振り落とす。璃恵はそのままペタンと尻持ちを付く。

「ウププ〜♪ 久しぶり〜♪」

「久しぶりなのはわかったから立て。邪魔になるから」

「ンじゃあ悠姫抱っこしてッて!」

「抱っこて…」

両手広げて駄々っ子すな! 恥ずかしい!

…こりやマジに抱き上げないと動かないか?

「は〜や〜く……………」

「はいはい邪魔になりますからゴミは隅に移動しましょうね」

「ヒョ? グエツ!」

マジで璃恵を抱き上げようかと思った矢先、祐依が璃恵の首根っこを掴んで引きずり出した。…容赦一切無しなのであれば完璧に首に入っている。しかしゴミで。

「ゆ、祐依ちゃ…首…首イイ…」

「姉さんを前に感情を処理出来ない者はゴミだと教えたはずですが

？」

「じ…自分だツて…ぐふう…！」

「アの馬鹿はホント懲りないな」

「っ！…レキ？」

祐依に無様に引きずられて行く璃恵を見てみると、横から見知らぬ、しかし知った声の女の子が現れた。こちらを向いて分かったが、あのレキだった。

前会った時はフードを目深に株つてたからよく判らなかつたが、今はフードを脱いでいるので分かる。

銀のショートヘアに金色の瞳。何かの病かと心配になるほどの白い肌。そして…何処となく璃恵に似ているような幼い顔立ち。

以前のような薄気味悪い雰囲気は無く、ちよつと口の悪い女の子がそこにいる。

「ヤア悠姫。久しぶり」

「久しぶりだけど…、雰囲気変わった？」

「判る？」

「まあ…。璃恵と何かあつたのか？」

「チヨビツとネ」

「…：…：そうか」

レキは何も話さなかつたが、何と無く察しは付く。この悪戯っぽく笑い、璃恵を見る目は何処か優しい。

話したくないなら、それでいいさ。私も無理に聞き出すほどなつちやいない訳じゃない。

「ホら追うヨ悠姫。他の邪魔だシ」

「っ、あ、ああ」

レキに…手を取られその場を後にして、祐依と璃恵の後を追う。まああの漫才を見失う訳が無く、ほんの少し離れた位置からでも発見できた。

「し、死ぬかと思ツた…」

「これで欠員が出てしまえばよかつたのに」

「それじゃワタシの出た意味も悠姫が出た意味にV a n i s i n g しちゃうじゃん！」

「それなら最後の壁は璃恵さん以外がなりますね」

「ムツキー！」

「煩いダろ？あの馬鹿『姉』」

「相変わらず……って、姉？」

「ソ。…姉」

「…そうか。良かったな」

「悔しくてムカつくけど、ま多少は？良かったツテ思えよう二はナツたかな」

「まあ、姉様のお知り合いでしたか」

「知り合いつていうか、…昔ちよつとお節介されたのよ」

「ほえく。麗奈さんの交遊関係はナゾなのですよ」

「あははっ、最近の悠姫君ほどじゃないさ」

祐依と璃恵がいた場所は所謂休息・休憩スペース。

既にスペースを確保して……たのは有り難いが、その取り方は迷惑にならないか？ 端からみたらお花見の席みたいな感じになってるぞ。しかも似つかわしくない（が、会場にちらほらコスプレしたような人を見掛けるから似つかわしくない訳じゃないが）姿をしたメイド服を纏った人が多数。しかも見たことある。

「悠姫様、令毀様。お疲れ様です」

「…どうも」

「ン。席は？」

「大丈夫です。奥からどうぞ」

礼儀正しく一礼するメイドさんは、璃恵の実家でたしかメイド長？をしている満月さんだった。他にも数名メイドさんがいるが、まさか引っ張ってきたのか？

やや遠慮がちに案内された祐依の隣で璃恵の前、向かい合うように座る。すると、すぐに小柄なメイドさんがティーカップ、紅茶と簡単なお菓子を差し入れてくれる。…ありがとうございます。

「あ！令毀テメエ！何悠姫の隣座ツてンだアアン！」

「クヒヒツ！悔しイでシヨウねエWWW」

ちやつかり私の隣に座るレキ。喧嘩すんなつての。祐依は我関せずと優雅に紅茶を飲んでるし…。

そしてそのあと、桜、稟さん、麗奈さん、真桜、霧乃さん、友人の七海さんと続々到着してくる。

ちよつとした集まりになってきたな。

「いやあ、あたしと七海まで一緒させてもらつてすみませんねえ」

「遠慮なさらず、ごゆつくり疲れを癒していつてくださいな」

「えつと、七海さん」

「あ、はい」

「七海さんは、出場しているんですか？」

前に初めて霧乃さんと二人でいるところを見たときから少し気になった事を聞いてみた。

霧乃さんと一緒にいるとすれば、やっているんじゃないかと。

「いえ、私は出てません。霧乃の付き添いです」

「そうなんですか」

「あたしが何度か誘つてるんだけど、七海の両親がこういうのを偏見しててさ〜」

ああ、たまにしている何かと二次元的なものを嫌う質なのか。

「だからあたしが七海を連れ出して、両親を攻略、説得するって寸法よ♪」

「ほぼ失敗に終わってるけどね」

「…こ、これだからだから！まあ見てな七海！」

ちよつと引き攣って胸を張るが、隣で祐依とレキが小さくボソツと（失敗フラグが立ちましたね）

（これはダメだ）

と言ったのが気になった。

…二人がそういうなら駄目なんだろうな。

「遅れたわ」

「お、彩音」

少しして、遅れて彩音が到着した。

相変わらずのゴスロリファッションだが、何処か気合いが入っているように見える。

「お帰りなさい彩音さん。どうでした？」

「全員分の確保完了よ」

「お使いご苦労《ジャッククリ》！」

「蛇剣じやくりだつってんでしようが白銀の！誰が使えない黄色ブレイヴよ！」

…：どうやら彩音は休憩中に何か買い付けを行っていたようだ。

「：ジャッククリ？」

「黄色のブレイヴだよ姉さん」

「どういうのなんだ？」

「あく別に覚えなくていいんじゃない？ ユキちゃんのデッキには絶対入らないし」

黄 ブレイヴ

《ジャッククリ》

コスト4 軽減黄2 <小玩>

<1> Lv1 BP2000

<0> 合体 +2000

シンボル：黄

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

自分がマジックカードを使用したとき、その効果発揮後、このターンの間、相手のスピリット1体をBP-2000する。

「マジックを使う度にBPダウンか…」

「今の環境だと、黄色でも連続で使用したとしても2回から4回が限界です。デッキにもよりますけどね」

「合体先もコスト4以上。黄色の4帯は生命線であり重要な所だから激戦区なの。ジャッククリを運用するなら合体先の効果に加え、マジックを2枚以上にコアも必要になる。…これを使うくらいなら《天聖弓セイクリッド・ボウ》をお勧めするわ」



「もつと言うと入れるくらいなら、これに割く枠があるなら《エンジン》  
ルストライク》や裏乙女座を入れる方がマシだよねえ。まあ出たのが  
剣刃編1弾だったし、探り探りだったんだよ」

祐依彩音霧乃さんと三人とも酷評だなあ…。

彩音は「評価が変わるかも知れないけどこんなのに間違われるとは  
心外」と憤る理由もまあ…。

「それより悠姫君。順調に勝ち進んでるみたいだね」

「ええ、まあ…」

「なら私達の誰が悠姫と当たって、悠姫を倒しても文句は無いわね。  
勿論白銀も」

「ウププ…♪ そいつア譲れないネェ♪」

そう、ここからもつと身内に当たる確率が高くなる。と言っても、  
既に雫と祥子と対戦している。

……後に当たるメンバーを考えると気が重い。誰と当たっても苦  
戦は必至。今のデツキを信じてはいるが、いつ食い違いが起きてその  
まま負けるか気が気じゃない。

「…不安なのですか？」

「真桜。そりゃあ…」

「弱気は敵、なのですよ。自分とデツキを信じてふあいと！なのです  
よー」

「…ああ」

「でもボクも麗奈さんも、一切手加減しないのですよ！」

「望むところだ」

1時間の休憩は緊張もあつてか早く感じられ、あつという間に時間  
となつてしまった。…疲れは取れたが緊張が取れない。

そして、ステージ側を見ると、あのカリスマ達が再び姿を現した。

『さて諸君！約束の時間の10分前となった！ 再びバトルへ赴く準  
備はできているか！』

『はい、勝ち残った皆はまたバトル会場へ移動お願いしまーす。因  
みに、負けた人が紛れ込むのはやめてねー』

立花さん「悠姫、ジャステイス。ジャステイスだよ」……ジャステイスとマジカル呼び掛けで、周囲が続々と移動を開始する。

私達も続いて移動をする。あの休憩場は……メイドさん達が素早く手早く片付けていた。流石のお仕事です。

「悠姫！」

「？ 李依菜？」

「最後までロックに頑張れ！」

「おう」

対戦場に入るとき、外野にいる李依菜からエールを貰う。相変わらずロックの意味が分からないが、元気を貰ったことは嬉しく思った。

『さあ皆、運命のルーレットの時間だ！ そして最初ルーレットを回すのは——』

すると突然、ステージの照明が落ち、会場自体の照明もやや暗くなり、カリスマ達の姿が見えなくなり辺りがざわつく。…アクションとか？

『ハーツハツハツハ！』

ハーツハツハツハツハアツ！』

『だ、誰だ誰だ！』

『わーきいたことないこえだー』

『えーい姿を現せ！』

ジャステイスの大袈裟なりアクションとマジカルの見事なまでの棒読み周囲がさらにざわつく。

「ウエツ!? まさか……！」

「…何だ？」

『流行り廃りはあるもので

強いデツキを求めて今日も今日とてコピー三昧』

意味の分からない事を言う誰かに会場から歓声上がる。

『誰が呼んだか “伝言兄” 』

そう！私こそ！！』

そして会場が明るくなりステージの大型モニターにその何者かが映る。

…映ったのは金で縁取りされた紫の目元を隠す、何処ぞの仮面舞踏会に着けるようなマスクに他のカリスマ達のようなド派手な紫の衣装を来た誰かが映し出された。

『人呼んで

”《マーク・オブ・マヌガス》”！！

只今参上！！』

その時一際大きな歓声が会場に響き渡る。

余程人気のカリスマなのだろうか。私は訳が分からずポカンとするしかない。

「キヤー！マヌガスー！」

「遂に公式になったんですね…」

「やはり新たなカリスマは彼しかないわね」

璃恵、祐依、彩音が絶賛。

「サイン！サインが欲しいのですよ！マヌガスー！」

「マオちゃん後で一緒に貰いにいこ！」

「それなら私も一緒に行こう」

…余計訳が分からない。

『で、菅沼さんは何しに来たの？』

『いやいやいや何をおっしゃいますか。わざわざ皆が後半に出た方が盛り上がるって言うから私はね？』

『そんなこと言ったっけ？』

『いやいや、マジカルが言い出したことでしょう！ まあそんなことより皆！強いデツキを持ってきたか！』

また大きな歓声上がる。

更に周囲の身内も皆一様にデツキケースを掲げてアピールする。

『うむ！皆ありがとう！どれもこれも良いデツキのようだが、私が求めるのは強いデツキ！ 是非とも勝ち進み、名実共に最強カードバトル

ラーとなってくれ！」

そしてそれをコピーし、私も最強になる！」

また会場からドツと笑いと歓声が溢れるが、全く知らない私には意味不明過ぎて笑うことができない。

『じゃあ菅沼…じゃなかった。マヌガスこれ押してー』

『ん！ルーレットボタンだな。よし行くぞ！スタート！…あれ？スタート！』

押し損ねたのか1回目はスタートせずに、2回目で回りだした。…これはデフォなのか？

『スタートプー！』

掛け声と共にルーレットを止める。さて私の番号は……あった。右側か。

『さあ皆！力の限り戦い抜き、栄光の二つ名目指して頑張ってくれ！』

「……さて」

座席に着くが、対戦はまだのよう。先にIDカードを挿し、デツキを出して待つ。

…正直、身内と当たるのは避けたい。しかしそれは後半になればなるほど叶わなくなるのは解っている。

「おや」

「…？ ——っ!？」

「あなたが相手、ですか」

後半戦、私の最初の相手は

“佐々森 碧”先輩だった。

#### 第四回戦

VS 佐々森 碧

私の焦りとは逆に、冷静にIDカードを挿入し着席する佐々森先輩。

「……………」

「……………」

き、気まずいです。

「悠姫さん」

「は、はい」

「こんなところで躓くようなことは無いよう」

「…はい」

「白鐘さんのところまで行くのでしょうか？」

「はい」

「…ならば」

「越えてみせます…！」

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「先攻はあなたですね」

「行きます。…あの時のリベンジ！」

「それは愉しみです」

「スタートステップ！」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

「メインステップ。召喚、《リューマン・クロウ》レベル1」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓3）

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

「リューマン・クロウの【スピリットソウル・赤】発揮！更に召喚。《炎極天リューマン・バースト》レベル3！」

（手札4↓3）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュ0↓2）

「炎極天リューマン・バースト コア1」

「ほう」

「バーストをセットして、ターンエンド」

（手札3↓2）

〔バースト：無し↓セット〕

出だしは好調。早いうちにアルティメットも出せてバーストもセット出来た。後は……

〈碧・後攻第二ターン〉

〔【Uハンド】持ちの早期召喚ですか。第二ターン、スタートステップ〕

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

〔メインステップ。《ホムライタチ》。ホムライタチに緑シンボル発生。赤緑を1つずつ軽減し、続けてネクサス《天空を貫くバリスタ》を配置〕

(手札5↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓4)

〔ホムライタチ コア1 レベル1 BP1000〕

〔バーストセット〕

(手札3↓2)

〔バースト：無し↓セット〕

〔ターンエンド〕

向こうも赤と緑の2つ出してきた。

ここからはスピード勝負。コアは確実に負けるだろうが、ドロローを加速させるならこっちだって負けはしない。

〈悠姫・第三ターン〉

〔スタートステップ〕

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ1↓3)

〔メインステップ。召喚、《リューマン・ドシャット》レベル1〕

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

〔リューマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000〕

「マジック《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットである炎極天がいるため、3枚ドロ」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

(手札1↓4)

「:ターンエンド」

「ほう、私に“飛び込んでこい”と。そういうのですね?」

「どうぞしよう」

〈碧・第四ターン〉

「第四ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。:ならお相手しましょう。《暴皇ティーズ・ドラゴン》レベル1」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「暴皇ティーズ・ドラゴン コア1 レベル1 BP3000」

「続けて《賢龍ケイローン》」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ1↓3)

「賢龍ケイローン コア1 レベル1 BP5000」

「召喚時効果。BP5000以下のリューマン・クロウを破壊し、1枚ドロ」

「リューマン・クロウ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

(碧手札1↓2)

「っ…」

「更に【連鎖：緑】と【連鎖：緑緑】。ボイドからコア2つをケイローンに乗せレベル2へ」

「賢龍ケイローン コア1↓3 レベル1↓2 BP5000↓8000」

「召喚時効果に反応して、バースト発動！ 《プテラヴァクセン》！」  
〔悠姫バースト：セット↓発動〕

解ってた上で踏んできた。…さすが冷静沈着な佐々森先輩。こっちも真正面から行く！

「合計BP6000以内のスピリットを破壊！ 破壊するのはその鼬と暴竜、計4000だ！」

「ホムライタチ BP1000 破壊」

「暴皇ティーズ・ドラゴン BP3000 破壊」

（碧リザーブ0↓2）

「…なるほど」

「更にバースト召喚。召喚時効果でネクサスのバリスタを破壊！」

〔悠姫バースト：発動↓召喚〕

（リザーブ1↓0）

「プテラヴァクセン コア1 レベル1 BP3000」

「ほぼ更地にされましたね」

「うちのクロウを持って行った分はね」

「なら相応の額を支払っていただきましょう。スピリット破壊によりバースト発動」

「っ!？」

「マジック 《フレイムブラスト》」

〔碧バースト：セット↓発動〕

「まず2枚ドロ。更に追加コストを支払いBP4000以下のプテラヴァクセンには退場願います」

（碧手札2↓4）

（リザーブ2↓0）

「賢龍ケイローン コア3↓2 レベル2↓1」



(トラッシュユ3↓6)

「プテラヴァクセン BP3000 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

赤 スピリット

《プテラヴァクセン》

コスト5 軽減赤2 <空牙>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

シンボル：赤

【バースト：相手の『このスピリット／ブレイヴの召喚時』発揮後】

BP合計6000まで相手のスピリットを好きなだけ破壊する。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』

相手のネクサス2つを破壊する。

「くっ…！」

「さて。お互い振り出しですね」

まさかお互い焼け野原になるとは思わなかった。…まったく、この自分がヒートアップしていく感覚はあまり好きになれない。

「バーストをセットし、ここは動かずターンエンド」

(碧手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

〈悠姫・第五ターン〉

「まだこれからですよ。…スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「召喚、《リューマン・インフィニティ》レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ0↓1)

- 「リューマン・インフィニティ コア1 レベル1 BP3000」  
「続けて召喚、《フレイム・クーガー》レベル3」  
（手札4↓3）  
（リザーブ2↓0）  
（トラッシュユ1↓2）  
「フレイム・クーガー コア1 レベル3 BP6000」  
「バーストをセットして、ターンエンド」  
（手札3↓2）  
（バースト：無し↓セット）  
〈碧・第六ターン〉  
「数を並べてきましたか…。第六ターン、スタートステップ」  
（リザーブ0↓1）  
（手札3↓4）  
（トラッシュユ6↓0）  
（リザーブ1↓7）  
「メインステップ。2体目の《ホムライタチ》をレベル1で」  
（手札4↓3）  
（リザーブ7↓5）  
（トラッシュユ0↓1）  
「ホムライタチ（2） コア1 レベル1」  
「更に2体目の《賢龍ケイローン》をレベル1」  
（手札3↓2）  
（リザーブ5↓2）  
（トラッシュユ1↓3）  
「賢龍ケイローン（2） コア1 レベル1」  
「召喚時効果によりBP5000以下のインフィニティを破壊し、1枚ドロー。更に【連鎖：緑】によりボイドからコア1つを乗せます」  
「リューマン・インフィニティ BP3000 破壊」  
（悠姫リザーブ0↓1）  
（碧手札2↓3）  
「賢龍ケイローン（2） コア1↓2」

「その召喚時効果にバースト、スピリット破壊に【Uハンド・赤】発揮！」

「っ、まだ仕込んでいたとは」

「まずは【Uハンド】でマジック《グラウンドブレイク》！」

（悠姫手札2↓1）

「バースト効果、BP5000ぴったりのケイローン2体を破壊する！」

「賢龍ケイローン（1） BP5000 破壊」

「賢龍ケイローン（2） BP5000 破壊」

（碧リザーブ2↓6）

「追加コストは支払わずそのまま。次に破壊時バースト発動！」

《アルティメット・シヨコドラ》をバースト召喚！」

（悠姫バースト：セット↓発動↓召喚）

（悠姫リザーブ1↓0）

「アルティメット・シヨコドラ コア1 レベル3 BP9000」

「少々勇み足でしたか」

「そして系統：＜極竜＞のUシヨコドラが召喚されたことにより、トラッシュのインフィニティを手札に！」

（悠姫手札1↓2）

よし。これで展開は十分防げた。

後は巻き返される前に押し切る！

「…ふむ。ならば《六分儀剣のルリ・オーサ》。レベル2」

（手札3↓2）

（リザーブ6↓2）

（トラッシュ3↓5）

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2 レベル2 BP5000」

「召喚時効果により赤のスピリットであるホムライタチとルリ・オーサにボイドからコアを1つずつ追加」

「ホムライタチ コア1↓2」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓3」

「マジック《双翼乱舞》。2枚ドロ」

(リザーブ2↓0)

(手札2↓1)

(トラッシュ5↓7)

(手札1↓3)

「あと1」

「…?」

「更に2枚目の《天空を貫くバリスタ》を配置」

(手札3↓2)

「六分儀剣のルリ・オーサ コア3↓2」

(トラッシュ7↓8)

「これで整いました」

…何をする気だろうか。

リザーブのコアを使い切ってまでやること? …思い付くのは《ネ

イチャーフオーサ》くらいだけど、他に何かあったか?

「悠姫さん、こういうカードはご存知ですか?」

「…?」

「マジック、《デイバインウィンド》。最大軽減0コスト」

「っ!」

(手札2↓1)

な、何だ…!? 知らないマジックカード!?

「このマジック使用時、私のトラッシュにあるコアの数以下のスピリット1体を、召喚時効果を発揮させずにノーコストで召喚します」

「な…!」

「私のトラッシュのコアは8つ。」

もうお判りですね。

《金殻皇ローゼンベルグ》を召喚

レベルにはルリ・オーサのコアを使いレベル2へ」

(手札1↓0)

「ホムライタチ (2) コア2↓1」

「六分儀剣のルリ・オーサ コア2↓0 消滅」

「金殻皇ローゼンベルグ コア3 レベル2 BP9000」

トラッシュユのコアを見てのノーコスト召喚、初めて見るカードだ。かなり強力だが、調整が難しいものと見る。

緑 マジック

《テイバインウィンド》

コスト2 軽減緑2

メイン：

手札にある、自分のトラッシュユに置かれたコアの数以下のコストを持つスピリットカード1枚を、コストを支払わずに自分のフィールドに召喚する。

ただし、この効果で召喚されたスピリットの『このスピリットの召喚時』効果は発揮されない。

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

「召喚時効果は発揮されませんが、どうでもよいでしょう。」

このままアタックステップに入り、バリスタの効果により私の赤、緑スピリットのBPを2000上昇

「金殻皇ローゼンベルグ BP9000+2000=11000」

「ホームライタチ BP1000+2000=3000」

あの時と同じような状況になったか…。

これが佐々森先輩の強さなのか？ どんな状況でもこの状態を作り上げられる冷静さとかさ。

「金殻皇、アタック。レベル2アタック時によりBP1万上昇。更に

【連鎖：赤赤】発揮。2枚ドロ」

「金殻皇ローゼンベルグ BP11000+10000=21000」

(手札0↓2)

「これは…」

「なら次に何が来るかも承知ですね？ フラッシュユタイミングにマジック《ネイチャーフォース》。コアは金殻皇から使い、トラッシュユのコア全てを金殻皇に」

(手札2↓1)

「金殻皇ローゼンベルグ コア3↓2 レベル2↓1 BP900  
0↓7000+20000=90000」

(トラッシュユ8↓9↓0)

「金殻皇ローゼンベルグ コア2↓11 レベル1↓3 BP70  
00↓11000+20000=130000」

「更にマジック《バードウインド》。緑スピリットである金殻皇を回復  
させ、【連鎖・赤】によりBP4000以下のスピリットを破壊します  
が不在により空撃ち」

(手札1↓0)

「金殻皇ローゼンベルグ コア11↓9 疲労↓回復」

(トラッシュユ0↓2)

「相変わらずデタラメもいいとこですね…!」

「否定しません。アタックはどうします?」

「ライフで受ける!」

「金殻皇はダブルシンボル」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

押し切るどころか捲られたとか、デタラメ通り越して理不尽だぞ  
まったたく! しかもまだ来る気だ。

「金殻皇、2度目のアタック」

「金殻皇ローゼンベルグ BP11000+20000+10000  
=230000」

(手札0↓2)

「良い引きです。フラッシュタイミング、マジック《タフネスリカバ  
リー》」

(手札2↓1)

「金殻皇ローゼンベルグ コア9↓8」

(トラッシュユ2↓3)

「金殻皇のBPを20000上昇。更にこの瞬間、金殻皇のBPが1万  
を超えているため回復」

「金殻皇ローゼンベルグ BP23000+20000=25000

疲労↓回復」

「こんなのありか…！」

「今更何を」

緑 マジック

《タフネスリカバリー》

コスト3 軽減緑2

フラッシュユ：

このターンの間、スピリット1体をBP+2000する。

その後、そのスピリットがBP10000以上のとき、そのスピリットを回復させる。

「どうします?」

「……ライフ!」

(悠姫ライフ3↓1)

(リザーブ2↓4)

「【Uハンド・赤】! マジック《救世神撃覇》! 合計BP6000まで破壊、対象はホムライタチ!」

(悠姫手札2↓1)

「ホムライタチ 破壊」

(碧リザーブ0↓1)

「追加コストを支払い、1枚ドロ―!」

(悠姫リザーブ4↓1)

(トラッシュユ2↓5)

(手札1↓2)

「……」

「引けましたか? ならば破壊されたことによりバースト発動。《双光気弾》。2枚ドロ―はしますが追加コストは支払わずそのまま」

(碧手札1↓3)

「金殻皇、3度目のアタック」

「金殻皇ローゼンベルグ BP13000+2000+10000

||25000|

「フラッシュユタイミング、マジック《ミストブラッジ》!足りないのは

：フレイム・クーガーから受け取る！」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ1↓0)

「フレイム・クーガー コア1↓0 消滅」

(トラッシュ5↓7)

完全に使わされた感がある。

ここで使わなかったら、引けなかった場合、最悪Uシヨコドラを倒すまでアタックしてくるまでであると思う…。

佐々森先輩が一番邪魔だと思っているのがUシヨコドラと炎極天。多少ゴリ押ししてでも押し切らないことには私が次々アルティメットを呼び出すかもしれないからな。

「ローゼンベルグを指定！ ローゼンベルグからダメージは受けない！」

「いいでしょう。ターンエンドです」

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ…！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ。《リューマン・インフィニティ》を再召喚」

(手札2↓1)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュ0↓1)

「リューマン・インフィニティ コア1 レベル1」

「マジック、2枚目の《ネオ・ダブルドロ》！」

「運も付いてきているようですね」

「3枚ドロ！」

(手札1↓0)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ1↓3)



(手札0↓3)

っ…！絶好のタイミングで来てくれた！後は決まるのをお祈りするしかない…！

「ネクサス、《超新星の輝き》をレベル2で配置！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ3↓4)

「超新星の輝き コア1 レベル2」

「…ここで引きましたか」

「配置したターン中、手札にある〈三龍神〉のコストを私のライフと同じにする！」

狙うはライフ全回復！

そのあとは肉を斬らせて骨を断つ作戦！

「私のライフは1！よってコストは1に！」

更に超新星レベル2の効果で、〈三龍神〉を召喚する際に私のアルティメットすべてをスピリットとしても扱える！それにより赤のスピリット3体の条件を満たした！

究極三龍神、《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》！

レベル3で、召喚!!」

「ほう…。その2枚を揃えるとは、正直驚いてます」

「そうはまったく見ええない感じですがね！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓1)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア1 レベル3 B P 15000」

「召喚時Uトリガー！」

「…コスト5、マジック《バレットファイア》」

「最大ヒット！」

「カウンターはありません」

…カウンターしなかった？ 何故だ…。

こんな不安だらけのトリガーも久々だ。カウンターを仕掛ければ

私のライフ回復は止まり、攻めるきつかけを失う。…それをしなかった理由は何だ。

「ヒットしたコスト分、ライフを回復する！ コストは5。よってライフ完全回復だ！」

(悠姫ライフ1↓5)

「……………」

何だこの、異様な感覚は…。

こんな回復など無意味、想定内の結果だって言うような。

「……Uノヴァをレベル4へ」

(リザーブ1↓0)

「超新星の輝き コア1↓0 レベル2↓1」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア1↓3 レベル3↓

4 BP15000↓20000」

「アタックステップ。……Uノヴァでアタック！ Uトリガー！」

「…コスト4、ブレイヴ 《牡羊星鎧アリエスブレイヴ》」

「クリティカルヒツ……」

「【トリガーカウンター】の使用を宣言」

「っ！」

このタイミングで!? …ローゼンベルグを守るのが目的か！

「カウンターマジック、《バレットファイア》。

…《そして《キャノンボール》》。

この2枚を提示します」

「なっ!？」

(碧手札3↓1)

に、2枚?! どういうことだ!？」

「Uトリガーに対してトリガーカウンターを使用するならば使用したいカードを好きなだけ提示することができるのをご存知ないのですか?」

「…初めて知りました」

「ならば覚えなさい。これも重要な《戦術》です」

戦術って…、まるで勝ち目が……いや、ここで弱気になってどうす

る。今の状況をよく見て考えるんだ。

「現在、悠姫さんのUノヴァのアタック時トリガーがヒットし、私はトリガーカウンターのカード2枚を提示しました。

「どちらを先に処理するかは現在のターンプレイヤーに決定権があります」

「……………」

キャノンボールは、バトルしているBP2万以上のアルティメットを破壊するカウンターマジック。

対してバレットファイアは、種類を問わずヒットしたカードを手札に加え、それが赤もしくは緑のカード場合ガードとするカウンターマジック。

「どちらも厄介なカードで、今の状況じゃ最悪以外の何者でも無い。

「Uノヴァの命を差し出し、裏牡羊座が私の手札に加わるのを阻止するか……」

「Uノヴァを守るため、裏牡羊座が先輩の手札に加わるの見逃すか、ですね」

「……なら、選ぶ答えは決まっている。

「バレットファイアを選択」

「……迷わずですか。ならばUノヴァのトリガーはガードとなり、裏牡羊座は手札に。選択されず残ったキャノンボールは手札に戻ります」

「金殻皇ローゼンベルグ コア8↓5」

(トラッシュユ3↓6)

(碧手札1↓3)

「アタックはライフで受けます」

(碧ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「佐々森先輩はこれも全部織り込みずみか……。どうしたらこんな、少ない手で先が読めるんだ。」

「……ターンエンド」

〈碧・第八ターン〉

「第八ターン、スタートステップ」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ3↓9)

「メインステップ。マジック《キャノンボール》のメイン効果を使用し、2枚ドロー」

(手札4↓3)

(リザーブ9↓6)

(トラッシュユ0↓3)

(手札3↓5)

「トリガーカウンターを切った…？」

「必要無くなりましたから。」

裏十二宮ブレイヴ、《牡羊星鎧アリエスブレイヴ》を金殻皇に直接合体

(手札5↓4)

(リザーブ6↓5)

(トラッシュユ3↓4)

牡羊星鎧アリエスブレイヴ

← 直接合体

金殻皇ローゼンベルグ (合体)

「コスト：8+4≡12」

「BP：9000+3000≡12000」

「合体時：追加」

「シンボル：緑緑+緑≡緑緑緑」

「バリストをレベル2へ」

(リザーブ5↓3)

「天空を貫くバリスト コア0↓2 レベル1↓2」

「アタックステップに入ります」

「金殻皇ローゼンベルグ (合体) BP14000+2000≡16000」

「金殻皇、合体アタック。裏牡羊座の合体アタック時効果により、セツ

トされているバーストは発動不可能となります」

「金殻皇ローゼンベルグ(合体) BP16000+10000=26000」

「フラッシュが無いのならこちらから。マジック2枚目の《バードウインド》。金殻皇を回復させ、【連鎖・赤】によりBP4000以下のインフィニティを破壊します」

「っ…!」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ4↓6)

「金殻皇ローゼンベルグ(合体) 疲労↓回復」

「リユーマン・インフィニティ 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「は「破壊時に【Uハンド・赤】。《双光気弾》…!?!」

「大方予想はつきます」

「ゆ、【Uハンド・赤】《双光気弾》! バースト効果で2枚ドロして追加コスト! 裏牡羊座を破壊!」

(悠姫手札1↓0↓2)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア3↓1 レベル4↓3」

(トラッシュ4↓6)

「牡羊星鎧アリエスブレイヴ 破壊」

「これで…!」

「フラッシュタイムिंग」

「っ!」

「マジック《クヴェルドウルヴ》」

「今度は白のマジック!?!」

(碧手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

「天空を貫くバリスタ コア2↓0 レベル2↓1」

(トラッシュ6↓9)

「手札に存在する赤、緑、白のブレイヴ1つをノーコストで召喚します」

「またノーコスト!？」

「手札より裏十二宮ブレイヴ

《巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー》を金殻皇へ直接合体」

(手札2↓1)

「コスト：8+6=14」

「BP：11000+5000=16000」

「合体時：追加」

「シンボル：緑緑+緑=緑緑緑」

また飛び出してきた…!

しかも今度は裏蟹座。端から私が双光気弾を持っていたのを見越して、裏牡羊座を囮にしたのか？

白 マジック

《クヴェルドウールヴ》

コスト4 軽減白1緑1

【バースト：相手による自分のスピリット破壊後】

自分のトラッシュにあるブレイヴカード1枚を手札に戻す。

その後コストを支払うことで、このカードのフラッシュ効果を発揮する。

フラッシュ：

自分の手札にある赤／緑／白のブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚する。

「アタックはどうされます？ もっとも、スピリット2体かアルティメット2体でないとブロックできません」

「くっ…。ライフ!」

「合体スピリットはトリプルシンボル。ライフ3つ碎かせていただきます」

(悠姫ライフ5↓2)

(悠姫リザーブ1↓4)

回復したのもう2つ…。しかもまだアタックをもう1回残して

いる……」

「金殻皇、2度目の合体アタック」

「2度目のアタックは、通さない！フラッシュタイミング、マジック  
《エナジーバースト》！」

（悠姫手札2↓1）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュユ6↓9）

「まさに捨て身のコアブースト。赤の十八番を猛進する姿勢は評価し  
ます」

「今更ですよ！ローゼンベルグに合体している裏蟹座を破壊！」

「巨蟹星鎧ブレイヴキャンサー 破壊」

「アタックはドシヤットでブロック！」

「何も無ければそのまま破壊します」

「リユーマン・ドシヤット 破壊」

（悠姫リザーブ1↓2）

「ターンエンド」

「すまないドシヤット。だが、ここが勝負の別れ道だと思う……！」

〈悠姫・第九ターン〉

「スタート、ステップ！」

（リザーブ2↓3）

（手札1↓2）

（トラッシュユ9↓0）

（リザーブ3↓12）

「メインステップ。…よく来てくれた “相棒”」

「……………」

「お前はいつもここぞって時に来てくれるな。」

「召喚、《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！ レベル1！」

（手札2↓1）

（リザーブ12↓7）

（トラッシュユ0↓4）

「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1 レベル1 BP4000」

「更に、ムゲンの【スピリットソウル：∞赤】！  
「っ！」

「究極三龍神！」

《アルティメット・サジツト・アポロドラゴン》!!」

「2体目の三龍神……」

「これが、最後のターンになりそうです」

「そのよう、ですね」

（手札1↓0）

（リザーブ7↓2）

（トラッシュ4↓8）

「アルティメット・サジツト・アポロドラゴン    コア1    レベル3

BP12000」

「Uノヴァをレベル4へ！」

（リザーブ2↓0）

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ    コア1↓3    レベル3↓

4」

「……ふむ」

「言いましたよね、『戦術』だって！」

「ええ。…来なさい！」

「Uノヴァ、アタック！    Uトリガー！」

「…コスト3、スピリット《ダンデラビット》」

「クリティカルヒット！」

「……」

ここで先輩は撃たなければ要の金殻皇を失う。もしこれがガード  
だったとしても、次にUサジツトが控えている。

そしてここから立て直すことはほぼ不可能だ。たとえば、あの1枚が  
アタックステップ強制終了系、絶甲氷盾のようなものだとしても金殻  
皇を守れなければ同じだ。

「………ふむ」

すると先輩が最後の手札を手元に裏向きで置いた。

「カウンターはありません」



「…なら、クリティカル効果でBP12000以下の金殻皇を破壊しますー!」

「金殻皇ローゼンベルグ BP11000 破壊」

(碧リザーブ0↓5)

「アタックはライフで受けます」

(碧ライフ4↓3)

(リザーブ5↓6)

「Uサジツトでアタック! ダブルトリガー!」

「…コスト6、《金牛星鎧ブレイヴタウラス》。コスト5、ブレイヴ《黒蟲の妖刀ウスバカゲロウ》」

「ダブルヒット!」

…このターンで仕留め損ねていたら、次で確実に負けていたのか。

「ダブルヒット効果で、Uサジツトに究極シンボル1つを追加! よってダブルシンボル!」

「アルティメット・サジツト・アポロドラゴン シンボル極+極||極極」

「ライフで受けます!」

(碧ライフ3↓1)

(リザーブ6↓8)

「ラスト!」

「…ここまで、ですか」

「ムゲン! ラストアタック!!」

「…お見事。」

最後ライフ、差し上げます!」

(碧ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「か…勝てた…」

「久々に、気持ちの良いバトルでした」

「佐々森先輩…」

「碧で結構ですよ。悠姫さん」

「…は、はい」

「……やれやれ。私もまだまだと言ったところですか」

## 『称号戦』第五試合

「碧先輩、ありがとうございます」

「ありがとうございます。私も良い経験になりました」

第四試合、碧先輩との苛烈な殴り合い…もとい対戦は紙一重で勝利を手にすることができた。

同時に、完全に叩き込みだが、戦術…ただカードを出し合うだけじゃない、相手の考えや心理を読み取ることも大切という事を、今更この場で身を持ってというものを教えてもらった。

「では」

「あ、はい」

特に何か言うでもなく、デッキとコアを片し、荷物をまとめて席を立つ碧先輩。

「…最後にひとつだけ。助言を」

「はい？」

「…怯まず、臆せず、思考を止めず」

「……はい」

「もう理解はしているようですね。余計なお世話でしたか」

「いいえ、ありがとうございます」

「…ふっ。最後までしっかりと戦い抜きなさい」

「……」

「お疲れ碧」

「ええ」

「やっぱ、緋立姉に光るものがあったか」

「そうね」

「嬉しそうじゃない」

「分かる？」

「まあね。あく私も出られればよかったんだけどなあ」

「ふふっ。…飲み物買ってくるから、マリア達のことよろしく。天音」

「はいよ」

『さあどうやら最後のバトルが終了したようだ！ ジャスティスと一緒に私もウロウロさせてもらったが、皆素晴らしいデツキとバトルだ！コピーのしがいがあるぜ！』

『コピー云々は置いておくが、素晴らしいバトルが各所で起きているのは確かなようだ。次も決勝に向け熱い戦いを見せてくれ！』

周囲の対戦もいつの間にか終わっていたようだ。

見渡してみるとまたかなり数が減ったのがわかる。…皆残っているんだろうな。

そしてまたすぐにシャッフルが始まるであろうから、デツキとコアを片し、移動の準備はしておく。

「悠姫」

「…？」

すると、片し終えたとき不意に声を掛けられた。

誰かと思いい振り向いてみれば――

「楓華さん、朔耶さん！」

「やつほ。お疲れ」

「お疲れ様悠姫」

あのかく剣刃＞デツキコンビの二人、浜倉 楓華さんと秋月 朔耶さんだった。

「その様子だと、悠姫は勝ち残ったみたいだね」

「はい。お二人は…」

「いや、遂に負けちゃってね」

なんてことだ、二人とも負けてしまったのか…。

「妹さんにこっぴどくやられちゃったよ」

「妹…祐依か」

「そう。キツかった」

「私はなんかこう、沙織ちゃんに似た金髪の女性に負けたんだ」

「沙織…琴識先輩ですか？」

「に、似た人。…言っちゃダメかもだけど、バーストデツキだったんだ」

よ」

…琴識先輩に似てて、バーストデッキを使う女性…。思い当たる人物が一人いるな。

「召喚時バースト踏みまくっちゃってさ。後は展開出来ずにボコボコ」

「こつちも。ライフが減らないから焦ったよ」

確かに、二人とも二つ名持ちでとてつもなく強い相手だ。しかも手加減無しの本気ときてる。

「とにかく私達はここまでだけど、応援してるからね悠姫」

「目指せ優勝！私らの分も頑張って！」

「ありがとうございます。頑張ります」

『さてー、そろそろ第五回戦を始めます。ルーレットスタートー！』

「おっと！さっさと退かなきゃ。じゃね、悠姫ちゃん」

「はい」

どうやら思ったより話し込んでいたらしく、もうシャツフルタイムが来てたようだ。…こうやってモニターで見ると、数が減ったのが実感できる。

『はいストップー！』

『うむ。では皆、各自テーブルに着き、早速バトルを開始してくれ！』

人数が少なくなったため対戦テーブルの範囲も狭くなる。四角の範囲が段々狭まる感じ。おかげか私の番号も…あつた。こうやって見つけやすくなる。

「……」

指定された席に着き、IDカードをセット。

…さつき楓華さんと朔耶さんに聞いた祐依とマリア先輩の事を考える。あの二人が悔しがるところかスカッとしたような負けた感じだった。

「……バーストに対してどうするか、か」

正直なところ明確な対策は一切無い。……また体当たりかあ。

「ほう、ここで当たりましたか」

「……らしいですね」

#### 第五試合

VS 赫蓬院 マリア

「これも運命ですか」

「かも、知れませんか。ちょうど先輩のこと考えてました。」

「光栄ですね。因みにどういうことを？」

「どうやって刺し違いようかなと」

「ふふふっ！なるほど、それは名誉なことですわ！」

……私もテンションがおかしくなってるのか、先輩に軽口言ってるよ。

「さて。……私との、決着の刻ですわ」

「勝負です」

マリア先輩のIDカードがセットされ、ディスプレイに映し出された『ひえん絳焰』の二つ名。

お互い言うまでもなく、本気の本気でぶつかる所存。後は、如何に相手を出し抜けるかだ。

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「先攻は私のです。スタートステップ」

（リザーブ4）

（手札4↓5）

マリア先輩の起点の大概はライフ減少バースト。前みたく迂闊に踏み込むのは駄目、勿論専守防衛も後手になるから駄目と。

手詰まり感も圧迫感もいつも通りと。

「メインステップ。召喚、《エクス・ムゲンドラ》レベル2」

（手札5↓4）

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア2 レベル2 BP2000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「…ふふっ」

大方見破られているだろう。私が何をしたいのかなんて。

〈マリア・後攻第二ターン〉

「絳焔の第二ターン！スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ！ ネクサス《煌炎の神剣》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓4)

「神剣…」

「フレバーバーテキストにある『上空大陸』版《英雄皇の神剣》ですわ。

更にバーストセット！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「煌炎の神剣レベル1からの効果により1ターンに一度、私のバース

トをセットしたとき1枚ドロウできます！」

(手札3↓4)

赤 ネクサス

《煌炎の神剣》

コスト4 軽減赤2

〈0〉 Lv1

〈2〉 Lv2

シンボル：赤

Lv1・Lv2

自分のバーストをセットしたとき、自分はデッキから1枚ドロース  
る。

この効果はターンに1回しか使えない。

Lv2

???

「その誘いには喜んでお受けしたいところですが、焦らすのもまたひ  
とつ。ここはターンエンドとしましょう」

「やっぱ判ってるか。だが、そんなことは気にするじゃない。怯まず  
次を考えるんだ。」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。召喚、《アルティメット・ブレイドラ》レベル3」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓2)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「次にマジック、《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるため3  
枚ドロ」

(手札3↓2)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ0↓2)

(手札3↓6)

「：ターンエンド」

「身持ちが固いですわ悠姫さん。もつと楽になさって構いませんわ」  
「かも知れませんが、ここをしくじる訳には行きませんので」

〈マリア・第四ターン〉

「絳焰の第四ターン！スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)



(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ！ 《ワン・ケンゴ》をここに！」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓2)

「ワン・ケンゴー コア1 レベル1↓3 B P 2000↓6000」

「煌炎の神剣をレベル2へ上げ、アプローチですわ！ アタックス テップ！ ワン・ケンゴー、行きなさい！」

(リザーブ3↓1)

「煌炎の神剣 コア0↓2 レベル1↓2」

「っ、来た……」

「【激突】の効果にてエクス・ムゲンドラにはお相手願いましょうか！」「そうは……！ アタックに反応してバースト、《トライアングルバースト》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「手札にあるコスト4以下のアルティメット、《炎極天リユーマン・バースト》レベル3！ レベルにはムゲンから受け取る！」

(悠姫手札6↓5)

「エクス・ムゲンドラ コア2↓0 消滅」

「炎極天リユーマン・バースト コア2 レベル3 B P 6000」

「ほう。エクス・ムゲンドラを逃がし、更にアルティメットにまで繋げますか」

「どうです！ このアタックはライフで受けます！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少で炎極天の【Uハンド・赤】！ 《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

(手札5↓4)

「ほほう。悠姫さんもさすがのバースト捌きですわ」

「まずバースト効果、BP1万以下のワン・ケンゴーを破壊！ 更に私の場にアルティメットがいるため、1枚ドロローしてバースト召喚！

「ワン・ケンゴー 破壊」

（マリアリザーブ1↓2）

（悠姫手札4↓5）

（リザーブ1↓0）

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア1 レベル1 BP600  
0」

「ここはターンエンド！」

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ0↓1）

（手札5↓6）

（トラッシュユ2↓0）

（リザーブ1↓3）

「メインステップ」

上手くゴッドブレイカーまで繋げることはできた。…しかしあの先輩が大人しいのが気にかかる。ワン・ケンゴーを特攻させるようなことをしたから、破壊時バーストでもあるのかと睨んだが、発動せず。怪しい。

「…Uブレイドラの効果により、私の場の究極シンボルは赤としても扱われる。よって赤3軽減。召喚、《紅炎極ヒノコ》レベル4！ レベル分にはUブレイドラから受け取る！」

（手札6↓5）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュユ0↓2）

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「……………」

「遠慮せずかかってきなさい！」

「…Uヒノコでアタック！Uトリガー！」

ネクサス1枚でまったく強気の姿勢を崩さないのは流石としか言いようがない。

「…コスト4、マジック《秘劍燕返》！」

「良いのが落ちた、ヒット！」

「カウンターはありません！」

「ならヒット効果で2枚ドロー！」

（悠姫手札5↓7）

「アタックは！」

「勿論ライフで受けましょう！」

（マリアライフ5↓4）

（リザーブ2↓3）

「そしてライフ減少により、バースト発動！」

さあ何が来る…。スピリットならUアポロ的、マジックなら大した被害な無し。アルティメットだとしても、マリア先輩の場にスピリットはいない。…！

「悠姫さんはひとつ、大きな勘違いをしておられるようで…」

「っ!？」

「ならば身を持って知っていただきましょう、新たなるバーストの力を！」

天地に轟くは霸王の爆熱！

《究極の爆炎アルティメット・バゼル》!!

（マリアバースト：セット↓発動）

なっ、アルティメット!？」

「まさか血迷ったのか?!？」

「ふふっ！ 私は何も血迷ってなどいませんよ悠姫さん！ バースト効果により、BP6000の神を穿つ竜人を破壊！」

「リユーマン・ゴッドブレイカー BP6000 破壊」

（悠姫リザーブ0↓1）

「そして、レベル4にてバースト召喚!!」

（マリアバースト：発動↓召喚）

(リザーブ3↓0)

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア3 レベル4 B P 1  
6000」

「あ…アルティメットの召喚条件は、バースト召喚と言えど無視できないはずだ！何で先輩の場にスピリットがないのに…」

「確かに！ Uヒノコなどの＜次代＞アルティメットによる支援が無くては不可能！ しかし、答えは焔炎の神剣レベル2の効果にありますわ！」

「何っ!？」

「この剣に焔めく炎は、バースト召喚によるアルティメットの制約を無くす効果があるのです！」

《焔炎の神剣》

L v 2

自分のアルティメットカードがバースト効果で召喚されるとき、召喚条件を無視する。

召喚条件を無視する…だと…!？」

「これにより、Uバゼルは召喚条件という制約が無くなり、通常のバースト召喚と変わりなく召喚できたということです！」

そんな…、まるでマリア先輩専用に使われたようなネクサスじゃないか…！

くそっ、考えが甘すぎたか…！

Uバゼルの召喚を許したどころか頼みのゴッドブレイカーまで持って行かれた。

「…ターンエンド」

〈マリア・第六ターン〉

「絳焰の第六ターン！ スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ！ ネクサス《英雄皇の神剣》を配置！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓2)

「更にバーストセット!」

(手札4↓3)

(バースト:無し↓セット)

「バーストセット時、煌炎と皇剣2つの効果により2枚ドロー!」

(手札3↓5)

「1枚伏せただけで2枚も…」

「悠姫さんにここで問題です」

「…問題?」

「この煌炎剣と英雄皇剣。

レベル1効果のテキストがまったく同じ」です。何故、私は2枚

ドローできるのでしょう?」

《煌炎の神剣》

Lv1・Lv2

自分のバーストをセットしたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

この効果はターンに1回しか使えない。

《英雄皇の神剣》

Lv1・Lv2

自分のバーストをセットしたとき、自分はデッキから1枚ドローする。

この効果はターンに1回しか使えない。

「……………えっと…」

「凄まじくバツサリ言ってしまうえば『カードが違うから』ですわ」

「……………」

「呆れるお気持ち御尤も。これは『ターンに1回』の効果はそれらをまとめて1回とカウントするのですが、そのままの意味で『カードが違う』のです」

……………バトルスピリッツは奥が深いな…。

「気を取り直し、アタックステップへと参ります！」  
「っ！」

「Uバゼル、アタック！ アルティメットトリガー・ロックオン！」  
つとと、気が抜けたがまだ対戦中だ。愚痴は終わってからにしよう。

「——コスト4、マジック《キャノンボール》」  
「ヒット！」

これが落ちたか……。だがあつちが落ちていなければまだ大丈夫だ  
と思う。

「私のセットされているバーストを、発動条件を無視して発動！」

《アルティメット・ロード・ドラゴン》！」

《マリアバースト：セット↓発動↓召喚》

「こちらも煌炎の神剣の効果により、召喚条件を無視してバースト召喚！」

（リザーブ1↓0）

「アルティメット・ロード・ドラゴン コア1 レベル3 B P 1 0  
0 0 0」

「くっ……！」

「そして効果発揮後、追撃のバーストセット！」

（手札5↓4）

《バースト：無し↓セット》

「アタックは、ライフで……！」

（悠姫ライフ4↓3）

（リザーブ1↓2）

「ターンエンド！」

一気に主力が、しかも先輩の巨頭が2体も出てきたのは完全に予想外。何とかしなければ……！

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ！」

（リザーブ2↓3）

（手札7↓8）

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メインステップ。……………」

どうする……………」

先輩の場にスピリットがないと、本領が発揮できない。その上、先輩はトリガーがヒットすればこちらのライフを1つ削り落としていく。しかし手を拱いていればその分追い詰められて好転することがなくなる。

動かざるを得ない…。でもまだだ、まだ反撃する時じゃない。

「大いに悩みなさい。それが悠姫さんを強くする糧となります」

「……………」

「この状況、悠姫さん以外の方々ならどう対象しますかね？」

私以外……………」

「召喚、《リユーマン・インフィニティ》レベル1！」

(手札8↓7)

(リザーブ5↓4)

「炎極天リユーマン・バースト コア2↓1」

「リユーマン・インフィニティ コア1 レベル1 BP3000」

「次に召喚、《アルティメット・アポロドラゴン》！」

(手札7↓6)

(リザーブ4↓1)

「アルティメット・アポロドラゴン コア1 レベル3 BP10000」

000」

「バーストをセットし、ターンエンド」

「ほう…」

(手札6↓5)

(バースト：無し↓セット)

「怯えるな」。これが次へ繋ぐ布石だ。

〈マリア・第八ターン〉

「絳焰の第八ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)  
(トラッシュユ2↓0)  
(リザーブ1↓3)  
「メイנסテップ！ Uバゼルをレベル5へ！」  
(リザーブ3↓1)  
「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア3↓5 レベル4↓5  
BP16000↓22000」  
「アタックステップ！ Uバゼル、アタック！ アルティメットトリ  
ガー、ロックオン！」  
「——コスト3、スピリット《リユーマン・インフィニティ(2)》！」  
「ヒット！ バースト発動！ 《双翼乱舞》！」  
(マリアバースト：セット↓発動)  
「バースト効果により2枚、追加コストを煌炎から支払い更に2枚、  
バーストセットにより、更に更に2枚！ 計6枚ドロージ！」  
(手札4↓6)  
「煌炎の神剣 コア2↓0 レベル2↓1」  
(トラッシュユ0↓2)  
(手札6↓8↓7)  
(バースト：無し↓セット)  
(手札7↓9)  
碧先輩もマリア先輩も、生徒会メンバーはバーストの鬼か！  
「アタックは！」  
「ライフで受ける！」  
(悠姫3↓2)  
(リザーブ0↓1)  
「ターンエンド！」  
〈悠姫・第九ターン〉  
「スタート、ステップ！」  
(リザーブ1↓2)  
(手札5↓6)  
(トラッシュユ4↓0)



(リザーブ2↓6)  
「メインステップ。：お前が来るのを待ってた！」  
「：ということは」  
「召喚、《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！」  
(手札6↓5)  
(リザーブ6↓3)  
(トラッシュ0↓2)  
「ムゲンドラゴン・ノヴァ コア1 レベル1 BP4000」  
「新たなアルティメットを召「Uアポロをレベル5にしてアタックス  
テップ！」：何ですと?」  
(リザーブ3↓0)  
「紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」  
「アルティメット・アポロドラゴン コア1↓5 レベル3↓5」  
「Uアポロ、アタック! ダブルUトリガー!」  
「：コスト4、マジック《絶甲氷盾》。コスト5、スピリット《ドラグ・  
クリシュナー》」  
「ダブルヒット! ダブルヒット効果でライフ1つを撃ち抜く!」  
(マリアライフ4↓3)  
(リザーブ1↓2)  
「アタックはどうします!」  
「：ライフで受けよう!」  
(マリアライフ3↓2)  
(リザーブ2↓3)  
「ライフ減少によりバースト発動! 先に伏せていた《絶甲氷盾(1)》  
!念のため追加コストを支払い、アタックステップを強制終了させま  
す!」  
(マリアバースト：セット↓発動)  
(ライフ2↓3)  
(リザーブ3↓0)  
「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア5↓4 レベル5↓4」  
(トラッシュ2↓6)

「ターンエンド！」

〈マリア・第十ターン〉

「悠姫さんの考えが読めない…？ ……スタートステップ！」

（リザーブ0↓1）

（手札9↓10）

（トラッシュユ6↓0）

（リザーブ1↓7）

「煌炎の神剣をレベル2へ！」

（リザーブ7↓5）

「煌炎の神剣 コア0↓2 レベル1↓2」

「《リユーマン・グランドバスター》、レベル2でここに！」

（手札10↓9）

（リザーブ5↓2）

「リユーマン・グランドバスター コア3 レベル2 B P 4 0

00」

「そしてバーストをセットし、2枚ドロー！」

（手札9↓8）

（バースト：無し↓セット）

（手札8↓10）

「……………」

「……………」

「私に心理戦を仕掛けてくるとは。さては碧の教えですか？」

「ご明察です」

「はっはっは!! 碧も随分柔らかくなったものです。感謝しますよ、

悠姫さん」

私は別に感謝されるようなことは何もてないと思うが…。

「ならばそれに全力で応えることがカードバトラーと言うもの！

アタックステップ！」

「来るか…！」

「Uバゼル、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト6、《アルティメット・ジークフリード》！」

「ヒット！」

私の読みは大概外れる。

だが、「流れ」ならば何となく読める。

あのグランドバスターが出てきた。ということは、先輩は確実に「アレ」を伏せている。…だからこそこのヒットを、このタイミングを待っていたんだ！

先輩の手を削ぐこの瞬間を！

「トリガーカウンター、発動！」

「っ！」

「カウンターマジック、《マッドオペレーション》！」

「なっ…、青のカウンター!? 《インパクトロア》じゃないとは…！」

(悠姫手札5↓4)

「青としても扱われているムゲンがいるためコストは4。コストはUアポロから受け取る！」

「アルティメット・アポロドラゴン コア5↓1 レベル5↓3」

(トラッシュ2↓6)

「先輩は手札が2枚になるよう破棄してもらいます！」

「しかし、トリガーは…」

「勿論ヒットしたのは赤のアルティメットのため、トリガーは通りません」

「…見透かされていますか」

(マリア手札10↓2)

●破棄された手札

・《双翼乱舞(2)》

・《エクス・ワン・ケンゴ》

・《リユーマン・グランドバスター(2)》

・《聖龍皇アルティメット・セイバー(2)》

・《爆烈十紋刃》

・《ネオ・ダブルドロ》

・《煌炎の神剣(2)》

・《究極の爆炎アルティメット・バゼル(2)》

青 マジック

《マッドオペレーション》

コスト5 軽減青3

〔トリガーカウンター〕

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■相手は、相手の手札を2枚になるように破棄する。さらに、ヒットしたカードが青のカードならガードとする。

フラッシュユ：

このターンの間、自分のスピリットすべてのLvを1つ上のものとして扱う。

《双翼乱舞》と《爆烈十紋刃》を落としたか。

これはこれでいい。…目的は引きずり出すことだ。

「…Uバゼルのヒット効果！ 発動条件を無視し、バースト発動！

目覚めよ、救世の三龍神！

《聖龍皇アルティメット・セイバー》！

レベル4にて、降臨!!」

〔マリアバースト：セット↓発動〕

やっぱりセットされてたのはUセイバーか！

「バースト効果によりリザーブのコア1つをライフへ！

その後バースト召喚!!」

〔バースト：発動↓召喚〕

(リザーブ2↓1)

(マリアライフ3↓4)

(リザーブ1↓0)

〔煌炎の神剣 コア2↓0 レベル2↓1〕

〔聖龍皇アルティメット・セイバー コア3 レベル4 B P 1 3

000〕

「アタックはどうされますか！」

「インフィニティでブロック！」

〔リニューマン・インフィニティ(1) 破壊〕

(リザーブ0↓1)

堪えろ……！　ここが勝負だ！

「聖龍皇、アタック！　アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト5、スピリット《メテオドライブン》！」

「ヒット！　グランドバスターの効果を先に解決し、トラッシュの《エクス・ワン・ケンゴ》を回収！」

(マリア手札2↓3)

「そしてバーストをセットし、回復！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「聖龍皇アルティメット・セイバー　疲労↓回復」

「アタックは！」

「受ける！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「っ……！」

「ここまでのお膳立て、一体どうしてくれるのか楽しみです！」

「ライフ減少により、セットされているバースト発動！　《絶甲氷盾》  
！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

(悠姫ライフ1↓2)

「追加コストは支払わずそのまま、続けて炎極天の【Uハンド・赤】発  
揮！」

「耐えに耐えて出す　“こいつ”が不発に終わったら、もう逆転する機  
会は回ってこない。」

頼むから邪魔は入らないでくれよ……！

「圧倒しろ！」

《極覇龍アルティメット・ヤマト》!!

(悠姫手札4↓3)

「私の目的は、Uセイバーを場におびき寄せること！」  
「何ですと……!?!」

「バースト効果！ ライフが3以下のため、BP2万以下のUセイバーを破壊する！」

「私の聖龍皇が…！」

「聖龍皇アルティメット・セイバー BP13000 破壊」

(マリアリザーブ0↓3)

「そしてレベル3で、バースト召喚！」

(リザーブ2↓1)

「極覇龍アルティメット・ヤマト コア1 レベル3 BP13000」

赤 アルティメット

《極覇龍アルティメット・ヤマト》

コスト8 軽減赤3 <新生・古竜>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP13000

<3> Lv4 BP17000

<5> Lv5 BP25000

<8> Lv6 BP40000

シンボル：極

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが3以下のとき、BP20000以下の相手のアルティメット1体を破壊する。

この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【Uトリガー】 Lv4・Lv5・Lv6 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、このターンの間、自分のアルティメットが相手のスピリットにブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「どうします、まだアタックしますか？」

「…ターンエンド」

よし、ここから畳み掛ける！

〈悠姫・第十一ターン〉

「スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ2↓8)

「メインステップ。ムゲンの【スピリットソウル：∞黄】！

《アルティメット・シヨコドラ》！レベル4！」

(手札4↓3)

(リザーブ8↓4)

(トラッシュユ0↓2)

「アルティメット・シヨコドラ コア2 レベル4 BP1200  
0」

「系統：＜極竜＞のUシヨコドラが召喚されたことで、トラッシュユの《リューマン・インフィニティ》2枚は手札に。そしてアタックスステップ！」

(手札3↓5)

「Uシヨコドラ、アタック！Uトリガー！」

「∴コスト4、スピリット《エクス・ドス・モンキ》！」

「ヒット！」

さあ出番だ！

今まで我慢した分、倍返しにしてやろうか！

「手札から、＜新生＞アルティメットである《アルティメット・ムゲンドラゴン》をレベル4でノーコスト召喚だ！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓1)

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア3 レベル4 BP19000」

「極竜が2体…。今までの雌伏はこのためだったのですね」

「先輩の無限アタックを止め、コンボを崩すなら、私の頭じゃこの方法しか思い付かなかったんですよ！」

「はっはっはっ！ 赤の使い手らしい良い判断ですわ!!」

「まったくですよ！」

「Uムゲンの【Uエナジー】！ 私の＜新生＞、＜次代＞アルティメット全員に赤シンボル1つ追加！」

「アルティメット・シヨコドラ シンボル極＋赤Ⅱ極赤」

「アルティメット・アポロドラゴン シンボル極＋赤Ⅱ極赤」

「極覇龍アルティメット・ヤマト シンボル極＋赤Ⅱ極赤」

「炎極天リユーマン・バースト シンボル極＋赤Ⅱ極赤」

「紅炎竜ヒノコ シンボル極＋赤Ⅱ極赤」

「素晴らしい！ 一気に5体のアルティメットがダブルシンボルに！」

「Uシヨコドラのアタックは！」

「の前にフラッシュ！」

「っ！」

「マジック《シンフォニックバースト》！」

（マリア手札2↓1）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュ0↓3）

「このバトル終了時に私のライフが2以下ならばアタックステップを強制終了させます！」

「今度はこつちが止められた…!?!」

「まだ甘い部分があるようですわね！ アタックはライフです！」

（マリアライフ4↓2）

（リザーブ0↓2）

「そして…、ライフ減少により、バースト発動！」

「っ！」

「先にUアポロで指定アタックをし、グラントバスターを倒しておくべきでしたわね！」

（マリアバースト：セット↓発動）

「逆に釣られたのは私の方ってか!?!」

「究極へと到りし天津國照らす覇皇！」

「天魔伏滅せし紅蓮の焰に悔悟せよ!!」

《極覇龍アルティメット・ヤマト》!! 覚醒ツ!!」



「Uヤマト……！」

「悠姫さんだけが持っていると思われたのですか？ 璃恵さんの言葉を借りるなら『トンだロマンチスト』だと言ってさしあげすわ！」

確かに何か言いそう……。

そんなことよりUヤマトだ。使った私だから解る。あのバースト効果は確実に危険だということを。

「バースト効果により、BP 2万以下の悠姫さんのUヤマトを破壊！」「くそっ……！」

「極覇龍アルティメット・ヤマト BP 13000 破壊」

（悠姫リザーブ1↓2）

「そしてレベル5にてバースト召喚!!」

（マリアリザーブ2↓0）

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア4↓1 レベル4↓3」

「極覇龍アルティメット・ヤマト コア5 レベル5 BP 25000」

「ターンエンド……」

〈マリア・第十二ターン〉

「この駆け引き、魂が燃え上がるようです！ スタートステップ！」

（リザーブ0↓1）

（手札1↓2）

（トラッシュユ3↓0）

（リザーブ1↓4）

「メインステップ！ 天は我に味方せり！ マジック《ネオ・コールオプロスト》を使用！」

「っ!？」

「回収するのは勿論！ 赤のコスト7アルティメット、《聖龍皇アルティメット・セイバー》！」

（手札2↓1）

（リザーブ4↓2）

（トラッシュユ0↓2）

（手札1↓2）

「バーストをセットし、Uバゼルをレベル4に上げアタックステップ！」

「極覇龍アルティメット・ヤマト コア5↓3 レベル5↓4」

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア1↓3」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

(手札1↓3)

「Uバゼル、アタック！ トリガーロックオン！」

今伏せたのは確実にUセイバー…。

今出されたら、止められるスピリットもアルティメットも――

「：コスト1、《リニューマン・ドシャット》！」

「ヒット！ 今再びの降臨！」

《聖龍皇アルティメット・セイバー》！レベル5！

(バースト：セット↓発動)

(リザーブ2↓1)

(マリアライフ2↓3)

(バースト発動↓召喚)

(リザーブ1↓0)

「究極の爆炎アルティメット・バゼル コア3↓1 レベル4↓3

B P 16000↓10000」

「極覇龍アルティメット・ヤマト コア3↓1 レベル4↓3」

「聖龍皇アルティメット・セイバー コア5 レベル5 B P 20

000」

「アタックは！」

「っ、Uアポロでブロック！」

「究極の太陽と相討つ究極の爆炎。なかなか絵になります！ …最後までご苦労様でした」

「アルティメット・アポロドラゴン B P 10000 相討ち」

「究極の爆炎アルティメット・バゼル B P 10000 相討ち」

(悠姫リザーブ2↓3)

(マリアリザーブ0↓1)

「聖龍皇、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——ああマジか！ コスト2、マジック《ミストバラッジ》！」

「ヒット！ トラッシュから《エクス・ドス・モンキ》を回収、そしてバーストをセットし回復！」

(手札3↓4↓3)

(バースト：無し↓セット)

「聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復」

守れるカードが落ちたか。となるとこれを凌ぐには…。

「フラッシュタイミング！」

「っ！」

そこにいるうちの同族には退場願うとする！

「マジック《フレイムスパーク》！ Uヒノコによって軽減は満たされている、最大軽減で使用する！」

(悠姫手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ2↓4)

「リユーマン・グランドバスターを指定！」

「元を狙ってきましたか。良いでしょう！」

「リユーマン・グランドバスター BP4000 破壊」

(マリアリザーブ1↓4)

「これでスピリットを破壊できたから、トラッシュにある《メテオドライアン》を手札に回収する！」

(悠姫手札3↓4)

これでイアンも回収できた。…あとは凌ぐのが問題か。

「アタックはライフで受ける！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「聖龍皇2度目のアタック！ トリガーロックオン！」

「…コスト5、スピリット《プテラヴァクセン》！」

「厄介なネクサス破壊が落ちて助かります。ヒット！ セットされている《エクス・ワン・ケンゴー》を破棄し、再セット！回復！」

〔マリアバースト：セット↓破棄↓再セット〕  
(手札3↓2)

〔聖龍皇アルティメット・セイバー 疲労↓回復〕  
〔炎極天でブロツク!〕

「さすがに極竜達は差し出しませんか。何もなければ炎極天を討ちます!」

〔炎極天リユーマン・バースト 破壊〕  
(悠姫リザーブ2↓3)

「…これは決めるのは無理ですわね。ターンエンド」  
〈悠姫・第十三ターン〉

「決めるのはこつちだ! スタートステップ!」

(リザーブ3↓4)

(手札4↓5)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ4↓8)

〔メインステップ〕

決めるには十分な状況だが、あの伏せたのが絶甲氷盾なり強制終了系「じゃないと」話が違ってくる。

聖龍皇の最大BPは2万だが、もしムゲンを越える、越えられるものを引かれたらこのライフを守ることができない。実質これが最後のターンだ。頼むぞ、相棒達…!

〔最大軽減で召喚! 裏十二宮の射手座!〕

《射手星鎧ブレイヴサジタリアス!》

ムゲンドラゴン・ノヴァへ直接合体!」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュユ0↓2)

射手星鎧ブレイヴサジタリアス

← 直接合体

ムゲンドラゴン・ノヴァ (合体)

〔コスト：5+6 || 11〕



「……破棄せずそのまま！」

Brave Attack!!

ムゲンドラゴン・ノヴァ+射手星鎧ブレイヴサジタリアス

BP8000+5000+4000=17000

VS

Defence!!

聖龍皇アルティメット・セイバー

BP20000

「フラッシュタイミング！」

「っ！」

「私の相棒は、三龍神相手だろうと！」

マジック《アルティメットリターン》！」

(悠姫手札5↓4)

「なんと……！」

「軽減は赤と究極、更にムゲンノヴァによる全色で3つ軽減！ よっ

て1コスト！」

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ2↓3)

「ムゲンノヴァのBPをプラス4000！これで10000上回った  
!!

「ムゲンドラゴン・ノヴァ(合体) BP17000+4000=2  
1000」

「聖龍皇を上回る…!?!」

「三龍神くらい、相棒に掛かれば軽いものさ！」

「一度ならず二度も討たれる…。これが感慨というものですか」

Brave Attack!!

ムゲンドラゴン・ノヴァ+射手星鎧ブレイヴサジタリアス

BP8000+5000+4000+4000+4000=21000 ↓

Win!!

VS

Defence!!

聖龍皇アルティメット・セイバー

BP20000 ↓ Lose...

「よしっ！」

「…お強くなりましたね」

「聖龍皇アルティメット・セイバー 破壊」

(マリアリザーブ4↓9)

「ウムゲンでアタック！ ダブルトリガー！」

「——コスト5のマジック《爆烈十紋刃(2)》とコスト4のネクサス  
《遙かなる月世界》！」

「ダブルヒット！ ヒット時効果でウムゲンに赤シンボル2つを追加  
！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン ショコドラ極+赤+赤||極赤  
赤」

「無限竜の攻勢はこの極覇龍が阻みます！」

「BPはこっちのが上だ！」

「極覇龍アルティメット・ヤマト BP17000 破壊」

(マリアリザーブ9↓10)

「Uショコドラ、アタック！ Uトリガー！」

「——っ、万策尽きましたか。コスト5、2枚目の《ネオ・コールオブ  
ロスト》」

「ヒット！ だが手札にアルティメットはいない！ アタックは！」

「ライフで受けます！」

「Uショコドラは、【Uエナジー】効果でダブルシンボル！」

(マリアライフ3↓1)

(リザーブ10↓12)

「ラストアタック！Uヒノコ、決めろ!!」

「お見事です…！」

見事、この絳焔を討ち果たしました!!」

「あの時のリベンジ、果たしましたからね」

「本当にお強くなった…。」

勝者の証としてこのライフ、持って行きなさい!!」

(マリアライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「ありがとう、ございました」

「ありがとうございます。この赫蓬院マリア、完敗ですわ」

「完敗って、何言ってるんですか。こっちは何度骨折ったと…」

「人間には215本も骨があるので10本、20本折ったくらいどうとでもなりますー!」

「無茶を言いなさる…」



## 『称号戦』第六試合

「敗北の悔しさよりも、遥かに勝るこの満たされた感覚……。これが、快ッ!!」

「大袈裟ですよ……」

第六試合、マリア先輩との対戦も綱渡りで勝利を収めることができたが：比喻とか無しに紐無しバンジージャンプみたいなのを毎回高さを増しつつやってる感じがする。着地点には通常の布団サイズのマットしか無い。

「悠姫さん、よくぞ生徒会メンバーを倒しました!」

「なんですかそのRPGによくありそうな台詞は……」

この人はまったく、最後までおおらかというかなんというか。

「私達はここまでです。我々一同、悠姫さんの勝利を祈ります」

「…ありがとうございます」

「姉様!」

「先輩!」

「皆、出迎えありがとう」

「お疲れ様。マリア」

「ありがとう碧。今、清々しい気分ですわ」

「マリアも碧も退ける。やるね緋立姉は。あーバトルできなかつたのが悔やまれるねえ」

「ふふっ。ならば、“次弾”からもっと当たりに行けばよろしいでしょう」

『会場の皆見ているか! 今この場に残っている人達が、今回の称号を手にするかもしれない者達だ!』

見渡せば顔見知りばかりと他の人が数名。それぐらい人数が少なくなつた。

…あの中に璃恵達が紛れていて、これから本格的に当たることになる。

「お姉様」

「…桜」

「お疲れ様です」

「桜も。勝ち残ったのか」

「いえ、残念ながら負けてしまいました」

「…そうか」

桜がここまで残ってたのは驚きだ。

さすがと言うべきか、彩音が師匠だからなのか。ほぼ私より初心者なのに、毒刃でここまでやるとは…。

「因みに負けた相手は？」

「師匠です」

「…彩音か」

「師匠に勝とうなんて2弾早いわよ。桜」

すると背後から噂の本人が現れた。

快勝できたからか機嫌が良さそうだ。

「お疲れ様悠姫」

「お疲れ。…さすがだな」

「あなたと当たるまで負ける気はないわ」

「さすが師匠ですね」

桜に毒刃の使い方を教えただけあって自信たっぷりだ。

「桜もここまでよく残ったわ。…はつきり言えば、【毒刃】は未だ本調子じゃないの」

「本調子じゃない？」

「ええ」

あれで本調子じゃないって、あれ以上にあげつなさが加速されると考えると頭痛くなる。

「足りないのよ。相手が怯む程の効果がね」

「あれ以上強くするのか」

「拘束力が足りないのよ」

「紫十八番にしてはパンチが無いってことですね」

「そうよ」

今まででも十分過ぎるぐらいある感じだが、あれでもダメなのか。  
「…と、あまり喋ると私のデッキ内容を漏らしかねないからここまで」  
「お姉様。私の敵討ち、お願いしますね」

「…ふう」

「あれ？ サクラちゃん…だっけ？」

「…？ あら、たしか桐島さん、でしたか？」

「そそ。さつきはどうもね〜」

「いいえ」

「もしかしてサクラちゃん、負けた？」

「はい。桐島さんですか？」

「たはは…。マオちゃんにボコされちゃってね」

「まあ」

「それにしてもユキちゃんとバトルできなかったのが心残りだなあ」

「ふつつ、私もです」

「ならあたしと一緒にユキちゃん応援すつか！」

『さあ六回戦を始めるぞ！ …あれスイッチは？』

『あるある、ここにあるよマヌガス』

『おおありがとうマジカル！ では、スタート！』はいストップ！…ええっ!？』

ランダム回転したと思ったらジャステイスが横からすぐさま止めるという暴挙に出た。…まあすぐ決まるからいいけども、あまり混ぜてない感じもするが。

『決まったところで移動開始だ！ ここまで残った強者達よ、最後まで全力でバトルだ！』

さて、6人目は誰になるやら…。

「……？」

指定された席に着いたはい…が、相手側のデッキがあるだけで誰

もない。まさか前の人の忘れ物か？

「どうしよう…」

届けるか？ いやでもすぐ気付いて取りに戻るかもしれないが…。

「——わっ！」

「ひぐつ!?! ……つて、真桜」

「えへへく♪ 引っ掛かったのですよ〜」

突如背後から何者かに驚かされた。…相手はさっき言った真桜だった。相変わらず気配を消すのが得意で困る。

「驚かすのは止してくれ…」

「良い反応だったのですよお姉さん♪」

「…で、このデッキは真桜のなのか?」

「そうなのですよ。…じゃあ、悠姫お姉さん」

対戦相手は、真桜。

ここで遂に身内と当たることになるか。

## 第六試合

V S 翠乃 真桜

「緑迅の真価、お見せしますのですよ!」

「行くぞ…!」

〈真桜・先攻第一ターン〉

「ボクの先攻で行きますのですよ! 緑迅の第一ターン! スタートステップ!」

(リザーブ 4)

(手札 4 ↓ 5)

「メイנסテップ。ネクサス《ガイナロック大渓谷》を配置するのですよ!」

(手札 5 ↓ 4)

(リザーブ 4 ↓ 0)

(トラッシュ 0 ↓ 4)

「赤のネクサス? …赤緑か?」

「ただの赤緑じゃないのですよ」

「だろうな。油断はしないさ」

「油断大敵！なのですよ。バーストをセットして、ターンエンドなのですー」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ」

さて…。真桜の第一手が赤のネクサスだとは予想外だった。

緑のカードでコアブーストを掛けてくるかと思ったが、どうやら違うようだ。それは私がアルティメットを使うことを予測してのデッキなのか。

「ちなみにボクは悠姫お姉さんとバトルすること以外眼中に無いのですよ」

「…てことは？」

「対悠姫お姉さんを意識したデッキなのですよ！」

そう来たか…。しかしそれに対峙した他の相手はどうだったんだろう。

対私を意識したとしても、白紫や赤緑、青と当たることだってある。

…それをどうにかしたのも真桜の実力あつてか。

となれば、メインステップにアルティメットを召喚するのは得策じゃないな。

「召喚、《エクス・ムゲンドラ》レベル2」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓2)

〔エクス・ムゲンドラ コア2 レベル2 BP3000〕

「バーストをセットして、アタックステップ」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

「ムゲンでアタック。レベル2からのアタック時効果で1枚ドロ―」  
(手札3↓4)

「ライフで受けますのですよ!」

(真桜ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト発動! 《チワワンコ》!」

「:ち、チワワ?」

「チワ ワンコ なのですよ!」

「お、おう:」

〔真桜バースト：セット↓発動〕

「バースト効果!ボイドからコア1つをリザーブに置いて、アルティメットがいれば追加で疲労効果もあるのですが、いないので無し!そして召喚なのですよ!」

(真桜リザーブ1↓2)

〔バースト：発動↓召喚〕

(リザーブ2↓1)

「チワワンコ コア1 レベル1 BP4000」

「ターンエンドだ」

緑 スピリット

《チワワンコ》

コスト6 軽減緑3極1 <剣獣>

<1> Lv1 BP4000

<3> Lv2 BP6000

シンボル：緑

【バースト：自分のライフ減少後】

ボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。

自分の緑のアルティメットがいるとき、さらに、相手のスピリット2体を疲労させる。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

〈真桜・第三ターン〉

「緑迅の第三ターン、スタートステップなのです！」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ！ ネクサス 《命の果実群生地》を配置なのですよ

！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「次に《アルティメット・セツコーキジ》をレベル3で召喚するのですよ！ 赤のシンボル1つと緑のシンボル2があるので0なのです！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

「アルティメット・セツコーキジ コア1 レベル3 BP500  
0」

赤と緑になれるアルティメット…。

真桜は私を意識してデッキを作ったと言ったが、どういう構築なのだろうか。今のところ緑赤にしか見えないが…。

「ここで群生地レベル1からの効果発揮なのです！ ボクのアルティメットが召喚されたらターンに1回1コア増えます！」

「なるほど、お得意のコアブーストか…」

(真桜リザーブ2↓3)

緑 ネクサス

《命の果実群生地》

コスト4 軽減緑3

<0> Lv1

<2> Lv2

Lv1・Lv2 『自分のメインステップ』

自分のアルティメットが召喚されたとき、ボイドからコア1個を自

分のリザーブに置く。

この効果はターンに1回しか使えない。

Lv2 『相手のアタックステップ』

自分のライフが減ったとき、減ったライフ1つにつき、自分はデッキから1枚ドローする。

「更にマジック《ネオ・ダブルドロー》を使用するのですよ！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ3↓5)

「Uセツコーキジがいるため、3枚ドローしますのですよ！」

(手札1↓4)

「最後にバーストをセットしてターンエンドなのです！」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

攻めてこないか…。

まるで打って来いと言わんばかりだがどうする。バーストがまたあのチワワだったら面倒だが…。

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ2↓4)

さて困った。私のメインステップでアルティメットを出せば真桜に2枚ドローを許してしまう。コアブーストも相まっているからそれはよろしくない。

「…メインステップ」

なら、2枚引かせたらどうなるか見てみるか。

「召喚、《リユーマン・ドシヤット》レベル1」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓3)



「リユーマン・ドシヤット コア1 レベル1 B P 1 0 0 0」

「次にムゲンの【スピリットソウル：赤】発揮！ 召喚、《紅炎竜ヒノ

コ》レベル4！」

（手札4↓3）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュ0↓2）

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 B P 1 2 0 0 0」

「お姉さんがアルティメットを召喚したから大溪谷の効果発揮なので  
す！・ 2枚ドローしますのですよ！」

（真桜手札3↓5）

「アタックステップ、Uヒノコでアタック！ Uトリガー！」

「むむむっ、怯まないのですね」

「今更怯むようなことじゃないだろう？」

「そういえばそうなのですよ♪ コスト3、スピリット《小鳳ニックス》  
なのですよ」

「ヒット！ 2枚ドローさせてもらう！ アタックは？」

（悠姫手札3↓5）

「チワワンコでブロックするのですよ！」

「ブロックするのか」

「チワワンコには申し訳無いのですが、バーストで出たらもう御役目  
終了なのですよ」

「…なるほど」

「バースト効果に可愛いだけじゃ生き残れない。バトスピはいつの環  
境も世知辛いのですよ…」

カードの間でも戦国時代なのか…。確かに私も「それだけじゃなあ  
…」と思える惜しいカード達がいくつか心当たりがある。

「バトル解決でチワワを退かすぞ」

「ではスピリットの破壊に反応してバースト発動なのですよ！」

「チワワンコ 破壊」

（リザーブ1↓2）

：私の勝手なイメージだが、Uヒノコが対峙して吠えているチワワ  
ンコの首辺りを甘噛みして優しく退かすところが見えた。：微笑ま  
しい。

「疾走れ電狼！《ライディーン・ウルフ》！」

〔真桜バースト：セット↓発動〕

「まずバースト効果なのです。お姉さんのエクス・ムゲンドラを疲労  
させます！」

「エクス・ムゲンドラ 回復↓疲労」

「更にボクの＜剣獣＞アルティメット1体を回復させるのですがこっ  
ちは空撃ちなのです。最後に、レベル1でバースト召喚なのですよ  
！」

(リザーブ2↓1)

「ライディーン・ウルフ コア1 レベル1 BP5000」

「ちなみにこのライディーン・ウルフは別に『フェードイン』しない  
ですし『超者降臨』もしなければ『ラアアアアイ！』なんて叫ん  
だりしないのです」

「…おう」

「でもこの狼さん、Mレアのくせにステータスが貧弱一般チワワなの  
ですよ」

相変わらず何を言ってるの全然分からん…。が、ステータスが低い  
ことには同感だ。

緑 スピリット

《ライディーン・ウルフ》

コスト7 軽減緑3極1 <剣獣>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP7000

<5> Lv3 BP10000

【バースト：相手による自分のスピリット／アルティメット破壊後】  
相手のスピリット1体を疲労させる。

さらに、系統：＜剣獣＞を持つ自分のアルティメット1体を回復さ  
せる。

この効果発揮後、このスピリットカードを召喚する。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

コスト4以下の相手のスピリット1体を疲労させることで、このスピリットは回復する。

「ターンエンドだ」

〈真桜・第五ターン〉

「緑迅の第五ターン、スタートステップなのですよ！」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュ5↓0)

(リザーブ2↓7)

「メインステップ！ さあ飛ばして行くのですよ〜！」

遂に本格的に動くか…。

「まずは次代の犬騎士、《シュバリアン・ハスキー》を召喚なのです！」

(手札6↓5)

「そいつは…」

「お姉さんが使ってる《フレイム・クーガー》と同じ次代サイクルなのですよー！」

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ0↓1)

「シュバリアン・ハスキー コア1 レベル3 BP6000」

「群生地効果で1コアブーストなのです！」

(リザーブ5↓6)

「更にもう1体《シュバリアン・ハスキー》を召喚なのです！」

(手札5↓4)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ1↓2)

「シュバリアン・ハスキー(2) コア1 レベル3 BP6000」

2体並べて来た…？

「ここでマジック《セブンスフォース》を使用するのですよ！」  
(手札4↓3)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュユ2↓4)

「それは白のマジック？」

「そうなのですよ。効果対象は1体目のハスキーを指定するのです！

それによりこのターン中、＜次代＞アルティメットであるシユバリ

アン・ハスキーはコスト7になるのですよ！」

「な…、コスト変更か!？」

「シユバリアン・ハスキー(1) コスト4↓7」

白 マジック

《セブンスフォース》

コスト3 軽減白1極1

メイン：

このターンの間、系統：＜次代＞を持つ自分のアルティメット1体をコスト7として扱う。

フラッシュユ：

このターンの間、自分のスピリット／アルティメット1体をBP＋3000する。

「バーストをセットして、ハスキー2体のレベルを上げてアタックス  
テップ！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

(リザーブ2↓0)

「シユバリアン・ハスキー(1) コア1↓2 レベル3↓4 BP

6000↓8000」

「シユバリアン・ハスキー(2) コア1↓2 レベル3↓4 BP

6000↓8000」

「ハスキー(1)、ゴー！ アルティメットトリガー、ロックオンなの  
ですよ！」

「——コスト6、マジック《アルティメットフレイム》」

「ヒットなのです！ ボイドからコア2つをハスキーに置くのですよ  
！」

「シユバリアン・ハスキー（1） コア2↓4」

緑 アルティメット

《シユバリアン・ハスキー》

コスト4 軽減緑2極1 <次代・剣獣>

【召喚条件：コスト1以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP6000

<2> Lv4 BP8000

<5> Lv5 BP12000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

自分のUトリガーがガードされたとき、自分のトラッシュにあるコスト3以下の緑のスピリットカード1枚を手札に戻す。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、ボイドからコア2個をこのアルティメットに置く。

トリガーでのコアブーストか…。しかもマジックでコストを上げたから当たりやすくなってる。

…そうか、2体並べたのは当てればよし外せば2枚回収。どっちでも良いのか。やっぱトリッキーパーナ戦い方は真桜達の方が何枚も上手だな。

「アタックはどうするのです?」

「…ライフで受ける!」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト! 《絶甲氷盾》だ!」

{悠姫バースト：セット↓発動}

(悠姫ライフ4↓5)

「むむっ。ここはターンエンドなのですよ」

〈悠姫・第六ターン〉

「やばいな…。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札5↓6)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ。召喚、《デブリ・ザード》レベル1」

(手札6↓5)

(リザーブ4↓3)

「デブリ・ザード コア1 レベル1 B P 1000」

「更にムゲンとデブリ・ザードの【スピリットソウル：赤】発揮！

召喚、《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》！」

(手札5↓4)

(リザーブ3↓0)

「引きたいのなら好きにだけ引かせてやる！ レベルにはUヒノコとドシャットから受け取って、レベル4だ！」

「紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」

「リユーマン・ドシャット コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア3 レベル4  
B P 17000」

「では甘えて2枚ドロウするのですよ！」

(真桜手札2↓4)

「バーストをセットしてアタックステップ！」

(悠姫手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

確かに搦手では私のやり方は陳腐であいつらの足元にも及ばない。

だが……！

「アルティメットを使った真っ正面からの殴り合いはどうだ！」

「そ、それはちよつと遠慮したいのですよ……」

「Uソードマスター、アタック！ 【真・激突】に加えてダブルトリガー  
！」

「ぬぬ……。コスト2のスピリット《西風の鳥ゼーファルコン》とコスト  
4のマジック《絶甲氷盾》！」

「ダブルヒット！」

…したはいいが、真桜のことだ。甘んじて受けるはずが無い。

「ヒットしたゼーファルコンの方にカウンタースターブレイヴ《地星鎧  
フォックスター》！」

〔真桜手札4↓3〕

〔シユバリアン・ハスキー（2） コア4↓2〕

（トラッシュユ4↓6）

「カウンタースターブレイヴ、やっぱりか…！」

「ヒットしたゼーファルコンはスピリット。よってフォックスターで  
ガード！ライディーン・ウルフに直接「ライド」させるようカウン  
ター召喚するのですよ！」

「…ライド？」

地星鎧フォックスター

← 直接合体

ライディーン・ウルフ（合体）

〔コスト：7+4＝11〕

〔BP：5000+3000＝8000〕

〔合体時：追加〕

〔シンボル：緑+緑＝緑緑〕

「ダブルトリガーをガードしたお詫びにこの合体した貧弱一般チワワ  
を差し出すのですよ。インターセプトなのですよ」

「せっかく合体できたのに、憐れだ…」

〔ライディーン・ウルフ 破壊〕

〔地星鎧フォックスター 残留 コア1 レベル1 BP300  
0〕

…どうも真桜との対戦はこう、真剣みという感じが出ない。いつも  
のように縁で対戦してるような感じだ。

まあ、私と真桜ならこれぐらいが調度良いのかもしれない。

「でもスピリットの破壊でバースト発動なのです！ マジック《夢幻  
祈祷》なのですよ！」

〔真桜バースト：セット↓発動〕

「それも仕込んでたのか…！」

「緑にはライフ回復なんてシャレたマネはできないのです。だから入られても全く問題無いのですよ。てな訳でライフ1つ回復!」

(真桜ライフ4↓5)

真桜のデッキにあれが3枚積みまれているにも驚かない。前に先行投入とかされてたからな。

「:ターンエンド」

〈真桜・第七ターン〉

「緑迅の第七ターン、スタートステップ!」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メインステップ。《北風の狼ボレアースウルフ》をレベル1で召喚なのです!」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュユ0↓1)

「北風の狼ボレアースウルフ コア1 レベル1 BP3000」

「これで緑シンボルが3つに究極シンボルが3つ!

ボクの切り札、堂々投入なのですよ!」

「何っ」

「神風纏いし聖なる白狼!」

純白の翼翻し次代駆け抜ける風を巻き起こせ!

吼えろ! 《神狼テンペスター》!!」

「それが真桜の新しい切り札か!」

「このテンペスターこそ、次代を担う神獣なのですよ! 最大軽減で

2コスト!よってレベル4で参上なのですよ!」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュユ1↓3)

「神狼テンペスター コア3 レベル4 BP19000」



(命の果実群生地効果 リザーブ0↓1)

「次にフォックスターをボレアースウルフに合体。リザーブのと浮いたコアをテンペスターに移動させてレベルを5へアップさせるのです！」

地星鎧フォックスター

← 合体

北風の狼ボレアースウルフ (合体)

「コスト：4+4=8」

「BP：3000+3000=6000」

「合体時：追加」

「シンボル：緑+緑=緑緑」

「北風の狼ボレアースウルフ (合体) コア2↓1」

(リザーブ1↓0)

「神狼テンペスター コア3↓5 レベル4↓5 BP19000

↓30000」

「BP3万!？」

「ぬふふ♪ アタックステップに入るのですよ！」

あの3万がどれだけ厚い壁かは私自身よく知っている。今の状況では止めることはできない。

「ここでボレアースウルフの効果なのです！ お姉さんのデッキトツプを覗き見ちゃうのですよ！」

「確認する効果だったな。…げっ、マジックの《ミストバラッジ》だ」

「お〜♪良いのを見たのですよ〜。ならここはテンペスターでアタックなのですよ〜！」

真桜にしてみればコアは十分に確保できたのかテンペスターでアタックしてきた。ハスキーで当てて更にと思ったが、それだけあの神風の狼のトリガーが強いのか？

「ダブルアルティメットトリガー、ロックオンなのですよ〜！」

「ダブル…！ コスト2の《ミストバラッジ》と、コスト4の《フレイム・クーガー》！」

「ダブルヒット！なのですよ〜！」

まずヒット時効果で、1ヒットにつきお姉さんのスピリット1体疲労させるのです！ 2ヒットなので、ムゲンとデブリ・ザードを指定するのですよー！」

「エクス・ムゲンドラ 回復↓疲労」

「デブリ・ザード 回復↓疲労」

「そしてお待ちかねのダブルヒット時効果！ …は、バトル終了時に起こるのですよ」

「Uビヤク・ガロウと似た感じか…」

「ビヤク・ガロウは『解決時』。

テンペスターは『終了時』。

なので確かにちよつと似ているのですが、これには凄まじい違いがあるのですよ」

前に祐依がUビヤク・ガロウのクリティカル効果の注意点で聞いたな。

『バトル解決時はBPを比べた後。バトル終了時は更にその後』

と簡単に教わったが、厳密には聞けなかった。

「ざっくり言いますと、バトル解決時はBP比べ後。バトル終了時はエンドステップ前と…ちよつと説明が難しいのですが、スピリット、アルティメットの行動が終わった後と考えるのも良いのですよ」

「なるほど…」

「して、アタックは！」

ととつ、守りたいところだが今動けるのはUヒノコだけ。…こいつを今失う訳にはいかない。

「…ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「だが、ライフ減少でバースト！ 蹴り穿て《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「バースト効果でBP1万以下の北風の狼を破壊！」

「ならフォックスターは残すのですよ！」

「北風の狼ボレアースウルフ 破壊」

「地星鎧フオックスター 残留 コア1 レベル1」

「アルティメットがいるから1枚ドロして、バースト召喚レベル2  
！」

(悠姫手札3↓4)

(バースト：発動↓召喚)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア3↓1 レベル  
4↓3」

「リューマン・ゴッドブレイカー コア3 レベル2 BP100  
00」

これであの犬騎士2体は止められる。4コストの<次代>アル  
ティメットはこういう場面でBPの低さがネックになるんだ。

「本当のお待ちかね！バトル終了時！

お姉さんの「ライフ1つをボイドに置く」ですよ！」

「な、何!? ボイド!?」

(悠姫ライフ4↓3)

「これが神風かみかぜの神狼の力なのですよ！」

緑 アルティメット

《神狼テンペスター》

コスト8 軽減緑3極3 <次代・剣獣>

【召喚条件：コスト3以上の自分のスピリット1体以上】

<1> Lv3 BP14000

<3> Lv4 BP19000

<5> Lv5 BP30000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

???

【Wトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

ヒットしたトリガー1回につき、相手のスピリット1体を疲労さ  
せる。

「ダブルヒット」：Uトリガーが2回ヒットしたら、さらに、バトル終了時、相手のライフのコア1個をボイドに置く。

「ライフのコアをボイドにとって…。これじゃ次に繋げられない…」

「シヨックを受けてる場合じゃ無いのですよお姉さん！ ハスキー

(1) 次郎、行くのですよ！」

「ロシアのハスキー犬っぽいのになんかの和名付けられてる?! しかもアタックしてきた…！」

「トリガーロックオンなのですよ！」

真桜のあの表情、あの神狼にまだ何かあるのか…？

「——コスト6、《アルティメット・アポドラゴン》。ガードだ！」

「ではハスキー(1)次郎とハスキー(2)三郎の効果効果発揮！ ボクトラツシユにあるコスト3以下の緑スピリット2体を回収するのです。回収するのは《小凰ニックス》と《西風の鳥ゼーフアルコン》！」

(真桜手札2↓4)

「そして更に神狼テンペスターの効果発揮！」

「っ！」

「ボクの＜次代＞アルティメットのUトリガーがガードされたとき、ターンに1回、お姉さんのライフ1つをリザーブに置くのですよ！」

「っ…!?!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

《神狼テンペスター》

Lv3・Lv4・Lv5 『自分のアタックステップ』

系統：＜次代＞を持つ自分のアルティメットのUトリガーがガードされたとき、ターンに1回、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

2段構えのライフ狙い撃ち、だと!?

「テンペスターが1体だけで良かったのですよ？ この効果は重複する効果ですから、2体いたら2つ、3体なら3ついただいていたのですよ」

「重ね掛けできるのか…」

「テンペスターはターンに1回なの重複するのですよ。こここの『ターンに1回』って部分が重要なのですよ」  
つまりだ。

前に対戦したマリア先輩が使った《英雄皇の神剣》の効果、バーストをセットしたら1枚ドロースるという効果がある。この効果は複数枚あってもドロースは1枚のみ。

これは『ターンに1回しか使えない』とあるからで、独立した効果では無いから…らしい。

“全体で1回”と言えば良いのか。…私もちよつと上手く説明ができないが。

「大まかに分けて

『ターンに〇回』はカードごとに発揮。

『ターンに1回しか使えない』は全体で1回

『ゲームに1回』は言わずもがな。

と、今はこれくらいなのですよ。とにかくテキストには注意なのですよ」

「なるほど…」

「ですのでテンペスターが3体並べば、『ターンに1回』と効果が独立してますので、＜次代＞アルティメットのUトリガーがガードとなつたらライフ3つ吹き飛ばせるのですよ」

…トリプルシンボルも顔負けだな。

「さあブロックしないとあの世行き決定なのですよ！」

「言われずとも…！Uヒノコでブロック！こっちのBPは9000だ！」

「何も無いので破壊されるのですよ！」

「シュバリアン・ハスキー（1） 破壊」

（真桜リザーブ0↓2）

「次郎おっく！」

「構わず突撃させておいて…」

「ごほん。ターンエンドなのです！」

〈悠姫・第八ターン〉

「お姉さんはここでどうかしないと次は無いですよ」

「分かってるさ…。スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ」

……引けなかった。

だがまだだ。今引いたのは《ネオ・ダブルドロ》。3枚のチャンスがある：が、圧倒的にコアが足りない。あのライフのコアがボイドに送られたのが致命傷になっている。

ネオ・ダブルドロを使う時点で2コア消費。更にUノヴァを引けたとしても現状で出しても真桜にドロを許し、あまつさえカウンター決められる可能性が高くなり、最悪ライフを回復出来なかった。などという絶望も見えている。

「……………」

ここで私が引かなければならないのはネクサス《超新星の輝き》か、またはネクサスを破壊出来るスピリットかマジック。

《双光気弾》はこの状況に限ってハズレになるだろう。何せ1コアも無駄に出来ないからな…。

カウンター系もハズレ。《キャノンボール》、《バレットファイア》、

《インパクトロア》。どれを引いても負け確定。

「……………」

「……………」

「…………つ、ええいくそつ…！」

敗北と諦めが頭をもたげて来たため軽く頭を振って追い払う。

負ける事は考えるな、今は状況を打破する事を考えろ…！

「…お姉さん」

「…………うだうだ悩んでも仕方ないよな」

「…はい」

「マジック、《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるため3枚ド

ローする」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ0↓2)

「ここで負けるようなら、私はあいつに顔向けできない。

「あいつなら…」

「…璃恵お姉さんのことですね?」

「ああ。こういう場合、なんて言うかな」

「そんなの決まってるのですよ!」

「引いてから考える!」

「なのですよ!」

「ふふっ、まあそうだろうな」

「さあお姉さん、運命の3ドローをするのですよ!」

どうせ破れかぶれだ!

璃恵と対戦するまでは、何だろうと…あ、いや、変なものや悪いものは遠慮したいが、とにかく味方に付けて、勝ち抜く!

「3枚ドロー!」

(手札4↓7)

「……………」

「…引けましたか?」

「…勝負だ、真桜!」

「応!なのですよ!」

「ネクサス、《超新星の輝き》を配置!」

(手札7↓6)

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ2↓3)

「引きましたのですか!?!」

「このターン中、手札の〈三龍神〉アルティメットのコストは私のライフと同じになる!」

召喚条件はムゲン、デブリ・ザード、ゴッドブレイカーにより満たしている！

召喚、《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》!!」

(手札6↓5)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア1 レベル3 B P 15000」

「Uノヴァまで…!」

「カードを引け真桜！ 私はこの召喚時トリガーを決める自信がある！」

「言ってくれるのですよ…! アルティメットが召喚されたため2枚ドロロー!」

(真桜手札4↓6)

「召喚時Uトリガー!」

「——っ!? コスト4のマジック《アルティメットイレイザー》なのですよ…!」

「この賭けは私の勝ちだな真桜！ ヒットだ!」

よっし…!!

期待したカードがヒットした!

「まさかピンポイントでこのカードを当ててくるなんて思いもしなかったのですよ…!」

「私もだよ」

「ここでもしスピリットカードだったり赤か緑のカードだったりしたら賭けは私の完全敗北確定だった。

「バレットファイアは言わずもがな、緑のトリガーカウンターがヒットをガードとするのは大概『ヒットしたカードがスピリットカードだったとき』だったはず。」

私が賭けに出たのは、真桜が《夢幻祈祷》を使ったからだ」

「…ボクのデッキは緑が大半を占めているのに、挿しているような色を狙い撃つなんて普通願わないしやらないのですよ」

「歴戦の称号持ちにぽつと出の初心者が挑むんだ。他の人と同じ事を



やったところで勝てないだろうよ」

「これは一本取られたのですよ。…でも祐依お姉さんや彩音お姉さんが聞いたら卒倒しそうなのですよ」

確かに。説教2時間コースといったところかな。

「続けるぞ。」

ヒットしたカードのコスト分ボイドからコアをライフに置く！

よってライフ全回復だ！」

(悠姫ライフ2↓5)

「次に…、召喚、《獅神将シールドドラゴン》！」

「ふあっ!？」

「コストとレベルにはゴッドブレイカーから受け取る！」

(手札5↓4)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ3↓4)

「獅神将シールドドラゴン コア1 レベル1 B P 5000」

「な…なんてカードを…」

「次に何が来るか、もう判ってるよな真桜！ このシールドドラゴンは、私の手札にある『虚神』アルティメット』を召喚する際、コストを5にする！」

「……………」

「召喚条件は満たし、最大軽減によって0コスト！」

召喚、《アルティメット・カタストロフドラゴン》!!」

(手札4↓3)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア1↓0 消滅」

「アルティメット・カタストロフドラゴン コア1 レベル3 B

P 15000」

(真桜手札6↓8)

「Uカタストロフの召喚時効果発揮！ 私の場の『古竜』スピリットとアルティメットの数だけ、真桜のB P 1万以下のスピリットを破壊する！」

Uカタストロフ自身に加え、シールドドラゴン、更に相棒のエクスム

ゲンも〈古竜〉を持つ。よって3体まで破壊だ！」

「フォックスターしかないのですよ！オーバークイルも大概なので  
よ〜！」

「地星鎧フォックスター 破壊」

(真桜リザーブ2↓3)

赤 アルティメット

《アルティメット・カタストロフドラゴン》

コスト10 軽減赤3極2 <新生・虚神>

【召喚条件：自分の赤スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP15000

<2> Lv4 BP20000

<4> Lv5 BP30000

シンボル：極

Lv3・Lv4・Lv5 『このアルティメットの召喚時』

系統：〈古竜〉を持つ自分のスピリット／アルティメット1体につ  
き、BP10000以下の相手のスピリット1体を破壊する。

【Uトリガー】Lv4・Lv5 『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、相手のスピリット／アルティメット  
にブロックされたら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置  
く。

「バーストをセットし、デブリ・ザードをコアをシールドドラゴンに渡し  
てレベルを上げ、アタックステップ！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

【デブリ・ザード コア1↓0 消滅】

【獅神将シールドドラゴン コア1↓2 レベル1↓2 BP500  
0↓6000】

「シールドドラゴン、レベル2からの効果発揮！ 私のアタックステッ  
プ中、私のアルティメット全てに【真・激突】を与える！」

【紅炎竜ヒノコ 【真・激突】付与】

【アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ 【真・激突】付与】

「アルティメット・カタストロフドラゴン 【真・激突】付与」

赤 スピリット

《獅神将ししんしょうシールドラゴン》

コスト5 軽減赤3極1 <古竜・神将>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP6000

<3> Lv3 BP7000

シンボル：赤

Lv1・Lv2・Lv3 『自分のメインステップ』

自分の手札にある系統：<虚神>を持つアルティメットカードを召喚するとき、コスト5として扱う。

Lv2・Lv3 『自分のアタックステップ』

自分のアルティメットすべてに

〃 【真・激突】『このアルティメットのアタック時』

相手は可能ならスピリット／アルティメットでブロックする〃  
を与える。

「ひえ：っ」

「Uカタストロス、アタック！【真・激突】発揮！ブロックするやつを  
選べ！」

「ゆ、Uセツコーキジでブロックなのですよ！」

「何も無ければ破壊だ！」

「アルティメット・セツコーキジ 破壊」

(真桜リザーブ3↓4)

「続けてUソードマスターでアタック！【真・激突】だ！」

「シュバリアン・ハスキー(2) 三郎でブロック！」

「犬の騎士でも剣豪には敵わなかったみたいだな！」

「シュバリアン・ハスキー(2) 破壊」

(真桜リザーブ4↓6)

「更にUヒノコでアタック！」

「ら、ライフで受けるのですよ！」

(真桜ライフ5↓4)

(リザーブ6↓7)

「シールドドラゴンでアタック！」

「ライフなのですよ！」

(真桜ライフ4↓3)

(リザーブ7↓8)

「Uノヴァでアタック！」

「ライフ！」

(真桜ライフ3↓2)

(リザーブ8↓9)

「ムゲン!!」

「フラッシュなのです！《ブレイド・ジ》、《プロキワン》、《西風の鳥  
ゼーファルコン》をまとめて【神速】召喚なのですよ！」

(真桜手札8↓5)

(リザーブ9↓1)

(トラッシュ3↓5)

「ブレイド・ジ　コア1　レベル1　BP1000」

「プロキワン　コア1　レベル1　BP1000」

「西風のゼーファルコン　コア4　レベル3　BP4000」

「意味は薄いのですがゼーファルコンの召喚時効果発揮なのですよ！」

「お姉さんのデッキトップ1枚を覗き見ますのです！」

「まためくる効果か…。——《リユーマン・インフィニティ》だ」

「わかりましたのですよ。次のターンお覚悟を——」

「だが覗いたツケは払ってもらうからな！」

「えっ」

「召喚時効果に反応してバースト効果！《プテラヴァクセン》！」

《悠姫バースト：セット↓発動》

「アイエエツ!?　アカンもの踏んじやったのですよー!?!」

「バースト効果、合計BP6000まで破壊する！今出たその3体が  
丁度6000ピッタリだー！」

「ブレイド・ジ　BP1000　破壊」

「プロキワン　BP1000　破壊」

「西風のゼーファルコン BP4000 破壊」

(真桜リザーブ1↓7)

「しめやかに爆発四散なのですよ…」

「最後にバースト召喚して召喚時効果発揮！ その大溪谷と群生地を破壊する！」

「動物虐待も自然破壊も反対なのです〜！」

{悠姫バースト：発動↓召喚}

「獅神将シールドラゴン コア2↓0 消滅」

「エクス・ムゲンドラ コア1↓0 消滅」

「プテラヴァクセン コア3 レベル2 BP5000」

「ガイナロック大溪谷 破壊」

「命の果实群生地 破壊」

「消滅させた!?!」

「プテラヴァクセンでアタック！」

「しかもフルアタック…!! ライフなのですよ！」

(真桜ライフ2↓1)

(リザーブ7↓8)

「…：ターンエンド」

〈真桜・第九ターン〉

「りよ、緑迅のファイナルターン！」

(リザーブ8↓9)

(手札5↓6)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ9↓14)

「お姉さん、これはどちらにとっても最後のターンなのですよ！」

「分かってる！来い！」

「メイנסテップ！ 《小凰ニックス》を召喚なのです！」

(手札6↓5)

(リザーブ14↓10)

(トラッシュ0↓3)

「小凰ニックス コア1 レベル1 BP3000」

「ニックス！」

「アルティメットになる前の次代か…」

「ニックス！の召喚時効果発揮！ ボクのデッキトップを4枚オープンして、その中にアルティメットカード1枚を手札に加えます！」

●オープンしたカード

・《バードウインド》

・《止まない風の森(2)》

・《バインディングスケイル》

・《翠鳳凰ニックス》

「ゲット！＜次代＞アルティメット！ 残りはテキトーにデッキボトムに送るのですよー！」

(手札5↓6)

緑 スピリット

《小鳳<sup>しょうほう</sup>ニックス》

コスト3 軽減緑1 <次代・爪鳥>

<1> Lv1 BP3000

<3> Lv2 BP5000

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から4枚オープンできる。その中のアルティメットカード1枚を手札に加える。

残ったカードは好きな順番でデッキの下に戻す。

Lv1・Lv2 「スピリットソウル：緑」

自分がアルティメットカードを召喚するとき、このスピリットに「緑」(緑のシンボル1つ)を追加する。

「次いで小ニックス！の「スピリットソウル：緑」発揮！《翠鳳凰ニックス》をレベルで召喚なのですよー！」

(手札6↓5)

(リザーブ10↓4)

(トラッシュ3↓6)

「翠鳳凰ニックス コア3 レベル4 BP14000」

「アタックステップ！小ニックス！でアタック！」

「ライフで受ける！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「次にUニックス！でアタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「さつきから妙なアクセントで言うのは何なんだ!？」

「いずれ分かるのですよ、いずれね…。コストを宣言するのですよ！」

「…こ、コスト7 《聖竜皇アルティメット・セイバー》！」

「ガードされたからテンペスターの効果発揮！お姉さんのライフルつを吹き飛ばすのですよ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「アタックはライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「ラスト！ テンペスター、アタック！ ダブルアルティメットトリガー、ロックオン!!」

「——コスト0、《リニューマン・クロウ》。コスト3、《グラウンドブレイク》！」

「残念なのですよ。でも、ここまでなのです！ダブルヒット効果で、お姉さんのライフルつをボイドに吹き飛ばすのですよ！」

「そいつはどうかね」

「っ!？」

「ライフを吹き飛ばされるのは、そっちだ！」

カウンターマジック、《イリリジョンミラー》!!

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

「プテラヴァクセン コア3↓2 レベル2↓1」

(トラッシュユ3↓7)

「ええええっ!?」

「これは祐依に入れておけて念を押されたカードだ!」

「祐依お姉さん余計なことをお〜!」

「こいつはトリガーの効果先を『相手』から『自分』に変更する効果なのは知っているよな!」

黄 マジック

《イリユージョンミラー》

コスト4 軽減黄2

【トリガーカウンター】

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■このバトルの間、バトルしている相手のアルティメットのヒット効果に書かれた「相手」を「自分」に変更する。

フラッシュユ:

相手のスピリット／アルティメット1体を指定する。

このターンの間、そのスピリット／アルティメットはアタック／ブロックできない。

「効果はダブルヒット効果まで伝わる。よって、スピリットを2体疲労させるのも、ライフ1つをボイドに置くのも、全て真桜が受けてもらう!」

「そんな…馬鹿な…なのですよ…」

「アタックはライフで受けてやる!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ0↓1)

「バトル終了時、テンペスターの効果を受けろ!!」

「こ、こんな負け方無いのですよおおおー!!」

(真桜ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「情けない負け方なのですよ〜」



「こっちは首の皮1枚で綱渡りしながらだぞ。……でも、楽しいバトルだった」

「それは勿論！ありがとうございます！なのですよ♪」

## 『称号戦』第七試合

「くああ。負けた負けたのですよ」

「神経が擦り切れる…」

辛くもどころか完全に致命傷で真桜に勝利を収めることが出来た。

「よくぞボクに勝ったのですよ！褒美に次に進む権利をあげるのですよ！」

「真桜は四天王か何かか」

「ボク、麗奈さん、彩音さんに祐依さんで四天王なのですよ！」

いつ決まったんだらうか…。

まあ多分璃恵が彩音辺りの入れ知恵だろう。

「まったく…」

「えへへ♪」

「……ん？」

「？ どうしたのです？」

…：IDカードが出てこない。何だ、故障か？

先に真桜のは出てきたのに何でだ？

「心配しなくて大丈夫なのですよ。ほら」

「？」

するとディスプレイに何かが表示された。…何だこれ！

「実績獲得！」「ネームド・キラー」

「何だこれ」

「おー！さすがお姉さんなのですよ！これはゲームで言うところのトロフィーなのですよ」

「…チャレンジ的なの？」

「大体その解釈でOKなのですよ。つまりこの実績は、この短期間でお姉さんは『称号持ち三人から勝利を収めた』証なのですよ」

「そうなのか」

「手に入れたこのサブタイトルは公式サイトから行ける『バトスピ部』ってところで確認できますのですよ」

実績…。そういえば雫の『神淵』、マリア先輩の『絳焔』に、そし

て真桜の『緑迅』で三人か。

……待てよ？　ここから先称号持ちの身内やらが当たるとすればこれは半強制的に取るかもしれないものじゃないか？

「ボク的には確かにネームド・キラーはピッタリだと思うのですよ♪」

「あんま嬉しくない…」

「これでお姉さんが優勝したら巷から」

『TK（タイトルキラー）の緋立だあっ!!』

「そんなもつと嫌だ！」

「いつお姉さんは3rdフォームになるのです？」

「ならん！てかフォームって何だ?！」

もうツツコミ切れん！この際彩音でも璃恵でもいい！助けてくれ！

「もうちよつと悪戯したいのですが、そろそろオタツシヤしなければならぬようなのですよ」

「まだ後があるんだから勘弁してくれ…」

「にやは♪　ではお姉さん、このまま優勝までショーメン突破なのですよー！」

「ああ。やってやるさ」

「では、オタツシヤデー！」

「つとと」

「お帰りなさ〜い真桜ちゃん」

「お姉ちゃん！　お仕事はどうしたのです？」

「休憩よく。…それで、どうだったかしら？」

「負けたのですよ。悔しいけど、楽しかったのですよ♪」

「そう。また次リベンジしましよ♪」

「うん！　あとは悠姫お姉さんを応援するのですよ！」

さて、残りを考えると『璃恵、祐依、彩音、麗奈さん、レキ』か  
「誰もかれもキツ過ぎてヤバイ」

と今更滅入ったところで絶対当たるんだ。

今のうちにどう戦うか考えとかなければ…。

「そんな究極使いさあん？」

「…？」

聞き覚えのある独特なイントネーションに声を掛けられた。

振り向くと…誰もいない

「そのボケはわたくしに脛を蹴りたいという意味の表れと見てよろしいかしらあ？」

「いえ、そんなことは…」

「ならちやんとわたくしを見なさいな！」

まあここまでくれば誰か解るわな。

少し下を向くと、中学生かと思われれる事必至の先輩。 琴識 沙織

先輩が腰に手を当て不機嫌な顔して立っていた。

「どうも」

「どうも。順調なようですわねえ」

「ええ。先輩は？」

…それを聞いた途端、沙織先輩の表情が曇る。

「…：負けましたわ」

「……」

「何で悠姫さんが暗い顔をなさるの」

「い、いや…」

聞けば負けた相手はホストっぽい女性。…麗奈さんか、あの人に負けたいらしい。

「負け方は相手方のデッキ内容に触れるので詳しく言えませんが、とにかく強者ですわ」

「やっぱり」

「お気をつけあそばせ。飲まれたら一瞬ですわよ」

「はい」

「敗者は遺言を残して去るのみ。では、ごきげんよう」

「……」

「お帰りなさい」

「っ！ マリア…」

「悠姫さんと当たらなかったのは悔やまれるところですね」

「ふん！先に敗退したくせに偉そうですね！」

「あら、私は「悠姫さん」に負けたのですよ？」

「ムキー！」

『遂に今回の称号戦も終盤！ この大会を制し、新たなカードバトルラーが称号を得るか。または称号を持つ者が更に箔を付けるのか！』

終盤第七戦、ルーレットスタートだ！』

『はいストップ』

『だあマジカル早いつてー！』

シャッフルされる番号が明らかに少なくなっていて、いつあいつと当たってもおかしくは無い。…でも、あいつとは最後まで当たらない。そう思える。

『さあでは各自番号のテーブルへ移ってくれ！ …数が少なくなってきたから見て回ってもいいかな？』

『いんじゃない？ マジカルもうろうろしよっかな』

さて…誰が相手になるのか。

出来れば前情報という程でもないが、麗奈さんが当たればいいな。

「…っ！」

「ヤッほ」

「レキ…！」

### 第七試合

vs 白鐘 令毀

「……」

「ふふん、この令毀様のごことが気になルご様子で？」

「気になると言えば気になるか」

「アイツより先に悠姫と当たれたことに感謝しないとナア」

初めて会ったときの妖しい光は無く、ちよつと目つきが妖しいくらいに落ち着いている。これを落ち着いていると言うかは各自の判断。

「さア悠姫、お互い死力を尽くそうカ！」

「尽くすが、あいつと当たるまでは倒れる訳にはいかない……！」

〈令毀・先攻第一ターン〉

「先攻はもらッタ！ 禍黒の先攻第一ターン、スタートステップ！」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「ボクの新しいデッキであいつに向けて肩慣らしッテ？ ソウは行くカナ？」

レキのデッキも新しくなっている。あの時はレキの片方のデッキを使って勝っている。あの時とは違って自分自身のデッキで対戦するんだ。

注意するのはやはり《邪龍》か……。

「メインステップ。まずバーストセット」

(手札5↓4)

〈バースト：無し↓セット〉

「次にネクサス、《忘れられし凱旋門》を配置！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「ターンエンド」

「いきなり凱旋門か……」

「まア悠姫ならこの程度足枷にすらならんだろうけどネ」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。召喚、《リユーマン・クロウ》レベル1。《アルティメット・ブレイドラ》レベル3」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓3)

「リユーマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

「アルティメット・ブレイドドラ コア1 レベル3 BP3000」

「次にマジック《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるから3枚ドロ」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓2)

(手札2↓5)

…よし。なかなかの引き。

「《リユーマン・ドシヤット》も召喚し、バーストをセットしてターンエンド」

(手札5↓3)

(リザーブ1↓0)

「リユーマン・ドシヤット コア1 レベル1 BP1000」

〈バースト：無し↓セット〉

「良い出だしじゃないか。…ヤツぱ悠姫には白騎士を使ッてほしかツタなア」

「私もあの白騎士は気になってたんだ」

「ならサ、ボクに勝ッたらあげようか？」

「遠慮する。それなら自分で探ささ」

「クヒヒツ…♪ そうなるナア♪」

〈令毀・第三ターン〉

「まア今の悠姫は赤が似合うしネ。禍黒の第三ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メイン。《ツインネックハイドラ》を召喚！」

(手札 4 ↓ 3)

(リザーブ 5 ↓ 3)

(トラッシュ 0 ↓ 1)

「ツインネックハイドラ コア1 レベル1 BP1000」

「次にマジック《ストロングドロ》。3枚ドロ、《ツインネックハイドラ (2)》と《獣竜アルドウム》を破棄！」

(手札 3 ↓ 2)

(リザーブ 3 ↓ 2)

(トラッシュ 1 ↓ 2)

(手札 2 ↓ 5 ↓ 3)

来た…あの獣竜、やっぱり邪神龍か！

「更に《アルティメット・エルギニアス》！」

(手札 3 ↓ 2)

(リザーブ 2 ↓ 0)

(トラッシュ 2 ↓ 3)

「アルティメット・エルギニアス コア1 レベル3 BP500」

「トラッシュのツインネックハイドラ (2) はこっちの＜新生＞アルティメットが召喚されタとき、手札に戻ル」

(手札 2 ↓ 3)

「ターンエンド。邪神降臨まデのカウントダウンだ…！」

あれが出るとなれば攻勢に出るべきか…？ 防御に構えれば、爆発的に上がるBPに太刀打ち出来なくなる。

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ 0 ↓ 1)

(手札 3 ↓ 4)

(トラッシュ 2 ↓ 0)

(リザーブ 1 ↓ 3)

「召喚、《炎極天リユーマン・バースト》レベル3」

(手札 4 ↓ 3)



(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓1)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」  
どうする…。ここで炎極天のレベルを上げてネクサスを破壊に掛かるか？ 破壊できれば後に来る被害も軽減できるかもしれない。

「：炎極天のレベルを4に」

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「炎極天リユーマン・バースト コア1↓3 レベル3↓4 BP  
6000↓9000」

「アタックステップ。炎極天でアタック。レベル4からのアタック時効果で、ネクサス1つを破壊する。対象はその凱旋門だ！」

「ほほう…。珍しく狙いに来たカ」

「忘れられし凱旋門 破壊」

これで縛られなくなりはなったが、余裕が出来た訳じゃない。

「アタックはライフ！」

(令毀ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「先に使っておくか。ライフ減少にヨリバースト！ 《絶甲氷盾》！」

〈令毀バースト：セット↓発動〉

「ライフ回復のミ！」

(令毀ライフ4↓5)

「略したなあ」

「今更事細かく言う必要ある？」

「いや、無いな」

「クヒヒツ♪ ソウいうことサ」

〈令毀・第五ターン〉

「禍黒の第五ターン、スタートステップ！」

(リザーブ2↓3)

(手札3↓4)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ3↓5)

「メイン。ネクサス《海帝国の秘宝》を配置！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓2)

「更にネクサス《鉄壁なる巨人要塞》を配置！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓2)

(トラッシュ2↓3)

「そのネクサスは…」

「次に2枚目の《ストロングドロ》！」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓1)

(トラッシュ3↓4)

「3枚ドロ、2枚破棄！ 破棄するのは《海魔巢食う海域》と《鳥竜

エルドウム》！」

(手札1↓4↓2)

もう1体のが落ちた…！

しかしレキの回り方が凄まじいな。

「最後にバーストをセットし、ツインネックハイドラをレベル2へ。

ンでアタックステップ！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

(リザーブ1↓0)

「ツインネックハイドラ コア1↓2 レベル1↓2 B P 1 0 0

0↓2 0 0 0」

「ハイドラ、ヤレ！ アタック時効果、Uエルギニアスにボイドからコ

ア1つ追加！」

「アルティメット・エルギニアス コア1↓2」

「ライフだ！」

「躊躇無シか。イイねエ…」

「皆のおかげさ」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少によりバースト！ 《救世神撃覇》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「バースト効果によりBP6000までレキのスピリットを破壊できる。でも破壊できるのはツインネックハイドラのみだが」

「ツインネックハイドラ BP2000 破壊」

(令毀リザーブ0↓2)

「追加コストは支払わずこのままだ」

「ふうむ…。ターンエンドだ」

〈悠姫・第六ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュ1↓0)

(リザーブ2↓3)

「メインステップ」

…レキが邪神龍を喚ぼうとしているのは判る。問題は、前のような妖しさが薄れたことで何を警戒していいのか分からなくなってしまうことだ。

「……レキ」

「ン？」

「………」

「……？ そんな熱く見つめられてモ手加減なんてしないヨ？」

「あ、いや……」

フードを取った方が顔がはつきり見えるし、あの変わった笑い方さえなければ可愛いんだがなあ…。

それはいいとして、何処かあいつの影が見えるせいで思考が揺らぐ。…余計な事は考えるな。軽く頭を振り、気を取り直してターンを進めるしかない。

「…ボクにアイツを見たんだロ？」

「…ごめん」

「いいサ、ムカつくけど従姉妹なんだシ。…それヨリサ♪」  
「えっ」

「璃恵から乗り換えて、ボクと一緒にならない？」  
「っ!？」

な、何急に言ってるんだレキは!?

「返事は？」

「へ、返事なんて…」

「分かッてるヨ。璃恵にゾツコンなのは」

「違…!」

「ハイハイほらターン進めんしヤイ」

「…ちくしょうレキはバカだ…」

「クヒヒ♪」

やっぱ余計な事なんか考えるんじやなかった!

この妙な気恥ずかしさを晴らすにはレキを殴り飛ばすしかない…

!

「いきなり行くぞ相棒!

《アルティメット・ムゲンドラゴン》!」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ0↓3)

「炎極天リユーマン・バースト コア3↓2 レベル4↓3」

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア1 レベル3 B P 1 1  
000」

「おお、いきなりカ」

「バーストをセットして、アタックステップだ!」  
(手札3↓2)

(バースト:無し↓セット)

「ウムゲン、アタック! ダブルUトリガー!」

「——コスト5、ネクサス《戦星燃ゆる溪谷》と…コスト7、《邪神龍

ドゥーム・ドラゴン』だ」

「っ…、シングルヒット！　Uムゲンに赤シンボルを1つ追加する！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン　シンボル極+赤||極赤」

「仕方ないなア。照れ隠シのアタックくらい受けてやるヨ♪」

「て、照れ隠しじゃない！」

「わーッたわーッたッて♪」

(令毀ライフ5↓3)

(リザーブ2↓4)

「しかアし！ライフ減少でバースト発動！」

「っ！」

「焦りは禁物ゼヨツてか？

《レボルシング・ゼヨン》！」

(令毀バースト：セット↓発動)

「バースト発動！　トラッシュにある赤、紫、緑、青のネクサス1枚ずつをノーコストで配置すル！　配置すんのは赤としテ《海魔巢食う海域》、青としテ《忘れられし凱旋門》を配置！」

「何っ!？」

「そシてボクの場合ネクサスが3つ以上あるため、バースト召喚レベル2！」

(令毀バースト：発動↓召喚)

(リザーブ4↓0)

「レボルシング・ゼヨン　コア4　レベル2　BP8000」

青　スピリット

《レボルシング・ゼヨン》

コスト6　軽減青3　<覇皇・獣頭>

<1>　Lv1　BP4000

<4>　Lv2　BP8000

シンボル：青

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のトラッシュにある赤／紫／緑／青のネクサスカード1枚ずつを配置できる。

その後、自分のフィールドにネクサスが3つ以上あるとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv2 『お互いのアタックステップ』

相手によって自分のスピリットが破壊されたとき、

自分のネクサス1つを疲労させることで、破壊されたスピリット1体を疲労状態で自分のフィールドに残す。

「くっ…」

「さアどうスる？」

「…ターンエンドだ」

〈令毀・第七ターン〉

「感情的に攻めルのは良くないナア…ッて、ボクも言えタモンじゃナイけど。禍黒の第七ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メイン。ゼオンをレベル1に」

「レボルシング・ゼオン コア4↓1 レベル2↓1」

(リザーブ5↓8)

レベルを下けた…。これは何か大きいのが来るな。

「マジック《ネオ・ダブルドロ》。Uエルギニアスがいるカラ3枚ドローだ」

(手札2↓1)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュユ0↓2)

(手札1↓4)

「…クヒヒッ。来たれ眷属！」

《獣竜アルドウム》、《鳥竜エルドウム》！

(手札4↓2)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュユ2↓6)

「獣竜アルドウム(2) コア1 レベル1 BP3000」

「鳥竜エルドウム(2) コア1 レベル1 BP3000」

「眷属が来たか!」

「アルドウム召喚時効果! BP3000以下のリユーマン・クロウを破壊イ!」

「リユーマン・クロウ BP1000 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「バーストをセットし、エルドウムをレベル2に上げアタックステップ!」

(手札2↓1)

〔バースト:無し↓セット〕

「アルティメット・エルギニアス コア2↓1」

「鳥竜エルドウム(2) コア1↓2 レベル1↓2 BP3000↓4000」

「エルドウム、喰い散らせ! レベル2からのアタック時効果で1枚ドロ!」

(手札1↓2)

ライフにはまだ余裕はあるが、邪神龍の召喚が近いとなれば話は違う。まとめて失う訳にはいかない…!

「ここはライフだ!」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少によりバースト! 《絶甲氷盾》! ライフを1つ回復させ、追加コストは支払わない!」

〔悠姫バースト:セット↓発動〕

(悠姫ライフ3↓4)

「:ならターンエンド」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ!」

(リザーブ2↓3)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ3↓6)

「メインステップ」

「まだ場はこつちが有利だ。まだレキの場を吹き飛ばせる力はある。」

「Uムゲンをレベル5へ!」

(リザーブ6↓3)

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア1↓4 レベル3↓5

BP11000↓27000」

「バーストをセットして、アタックステップ!」

(手札3↓2)

「バースト：無し↓セット」

「Uムゲン、アタック!ダブルUトリガー!」

「——コスト6、マジック《アルティメットフレイム》。…と、コスト

7、スピリット《凶龍爆神ガンディノス》だ!」

「またかつ!シングルヒット!」

「何かヤバそうなスピリットが落ちただけマシと思えば——

「令毀サマのトリガーカウンターを才忘れかい悠姫イ!」

「っ!?!」

「ヒットした《アルティメットフレイム》にカウンターマジック《イン

パクトロア》!」

(令毀手札2↓1)

「カウンター!? あのドローで引いたのか…!?!」

「最強カードバトラーのドローは常に必然ツテか? クヒヒット!コス

トにはUエルギニアスとエルドウムから奪い取ル!」

「アルティメット・エルギニアス コア1↓0 消滅」

「鳥竜エルドウム(2) コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ6↓8)

「ヒットしたコストに3上乗せした値、バトル中であるコスト9以下

のムゲンドラゴンには消えテもらウ!」

「ムゲン…!」

「消エろ極竜ツ!!」



「アルティメット・ムゲンドラゴン コスト7 破壊」

(悠姫リザーブ3↓7)

ムゲンが…やられた…。

「セツカ駆け付けてくれた相棒を自らノ不注意で破壊されテしまウ。悔しいでシヨウねエ…」

「くそっ…！すまないムゲン…！」

〈令毀・第九ターン〉

「ギアクライマックスも近いゾ悠姫！ 禍黒の第九ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ8↓0)

(リザーブ1↓9)

「メイン！ ——覚悟はいいカ、悠姫イ…！」  
「っ！」

「来たれ、終滅の神龍！ 無垢なる輝きを甘美なる極滅の世界へと墮トセ!!」

《邪神龍ドウム・ドラゴン》！

今、降臨の刻ツ!!」

き、来た…！ 最悪の状況で奴が現れた…！

「あーあ。出逢ツチまったナア悠姫イ」

(手札2↓1)

(リザーブ9↓4)

(トラッシュユ0↓4)

「邪神龍ドウム・ドラゴン (2) コア1 レベル3 BP11000」

「召喚時効果アツ！ トラッシュユに眠ル眷属を蘇らせる！」

(リザーブ4↓2)

「獣竜アルドウム (1) コア1 レベル1 BP3000」

「鳥竜エルドウム (1) コア1 レベル1 BP3000」

「更にアルドウム (1) の召喚時効果…！ダが悠姫の場に餌食にされ

るスピリットがいナイ」

「ドシャットが良い仕事をする…！」

「関係無いネ！ゼヨンは用済みダ！海域をレベル2、邪神龍をレベル4にしてアタックステップ！」

「レボルシング・ゼヨン コア1↓0 消滅」

「海魔巢食う海域 コア0↓1 レベル1↓2」

(リザーブ2↓0)

「邪神龍ドウム・ドラゴン (2) コア1↓3 レベル4↓5 B P11000↓18000」

「邪神龍、アタック！ 2匹のエルドウムの効果、邪神龍かエルドウムがアタックしタとき1枚ドロ。ソレガ2匹いるたメ2枚ドロ！」

(令毀手札1↓3)

「更にアルティメットトリガー、ロックオン！」

「——っ!? コスト7、《アルティメット・ドライアン》！」

「チツ、ガードか。アタックはどうスる悠姫イ」

「…ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ7↓8)

「海域の効果で赤、緑、白のバーストは発動出来ナイぞ悠姫！」

「解ってる！ライフ減少で、炎極天の【Uハンド：赤】発揮！」

《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

(悠姫手札2↓1)

「神砕きの竜カ！」

「バースト効果、BP1万以下の獣竜(1)を破壊！」

「獣竜アルドウム(1) 破壊」

(令毀リザーブ0↓1)

「そしてアルティメットがいるため、1枚ドロして手札からバースト召喚！」

(手札1↓2)

(リザーブ8↓3)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア5 レベル3 B P 13000」

「クヒヒツ、この邪神龍を蹴り砕けるかな？ ターンエンド」

〈悠姫・第十ターン〉

「：スタートステップ！」

(リザーブ3↓4)

(手札2↓3)

「メインステップ！」

…こちとらあの三龍神を穿った竜人だぞ！ 今更邪神がなんだ！

「裏十二宮の射手座！」

《射手星鎧ブレイヴサジタリアス》！

ゴッドブレイカーに直接合体！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

射手星鎧ブレイヴサジタリアス

←直接合体

リューマン・ゴッドブレイカー (合体)

「コスト：8+6≡14」

「B P：13000+5000≡18000」

「合体時：追加」

「シンボル：赤+赤≡赤赤」

あの巨人要塞がある以上、ネクサス破壊はほぼ絶望的だ。あれを1ターンに2回以上一斉に破壊できる余裕は無い。

「ゴッドブレイカー、合体アタック！ アタック時効果発揮！手札の

《フレーム・クーガー》を破棄して回復！」

(手札2↓1)

「リューマン・ゴッドブレイカー (合体) 疲労↓回復」

「そして邪神龍に指定アタック！」

「来るかい神砕き！」

今レキのトラッシュには邪神龍が1体。ここで倒すことができ

ば後は蹴散らすだけだ！

「だケどそうハ行かナインだよナア！」

「っ!？」

「フラツシユ！マジック《クリムゾンフレア》！」

（令毀手札3↓2）

「なっ…!？」

「コストはリザーブと海域から奪イ取る！」

（リザーブ1↓0）

「海魔巢食う海域 コア1↓0 レベル2↓1」

（トラツシユ4↓6）

「シンボル2つのスピリット、つまり射手座の鎧を纏う神砕き！ シ

ンボル2つのソいつを破壊すル!!」

「そんな…!？」

赤 マジック

《クリムゾンフレア》

コスト6 軽減赤3極2

フラツシユ：

シンボル1つの相手の合体スピリット2体を破壊する。

または、シンボル2つの相手のスピリット1体を破壊する。

「闇の焰に抱かれテ消エろ！」

「ちくしょうが…!？」

「裏射手座を残シたトころデ返り討ちは免れナイぞ！」

「…討たれるくらいなら一緒にトラツシユに落とす！」

「リユーマン・ゴッドブレイカー（合体） 両方トラツシユへ」

（悠姫リザーブ0↓5）

「クヒヤツハツハアツ!! 神砕きの竜人も邪神の前じゃアたダの蜥蜴

さア!!」

「——まだだ…!？」

「っ!？」

「邪龍と対になるのは、光の竜だ！」

スピリットの破壊によって、バースト発動！」

「何ッ!？」

「《アルティメット・シヨコドラ》!

レベル6で、バースト召喚!!」

{悠姫バースト：セット↓発動↓召喚}

(リザーブ5↓1)

「アルティメット・シヨコドラ コア4 レベル6 B P 2 0 0 0  
0」

「まだ潰えてないぞ、レキ!」

「粘るネエ…」

当たり前だ。ここまで来て終わるなんて、そんな終わり方したくは無い。

「Uシヨコドラでアタック!」

「っ!？」

「Uトリガー!」

「——コスト8 《極覇龍アルティメット・ヤマト》!」

っ、外した!?

「クヒヒッ!残念だネエ!ライフだ!」

(令毀ライフ3↓2)

(リザーブ0↓1)

出し損ねた…。次のターンは何としても生き残るしかない!

〈令毀・第十一ターン〉

「此処で夢潰エるかア悠姫イ!禍黒の第十一ターン、スタートステツプ!」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラツシユ6↓0)

(リザーブ2↓8)

「メイン! …クヒヒヒヒッ!

絶望シろ悠姫イ!

二体目の《邪神龍ドゥーム・ドラゴン》の才出ましダアッ!!」  
(手札3↓2)

(リザーブ 8 ↓ 4)

(トラッシュ 0 ↓ 3)

「邪神龍ドウム・ドラゴン (3)    コア 1    レベル 3    BP 110  
00」

「に…二体目…!」

「召喚時効果ア!    現れ蘇れ眷属共オツ!!」

(手札 2 ↓ 1)

(リザーブ 4 ↓ 2)

「獣竜アルドウム (1)    コア 1    レベル 1    BP 3000」

「鳥竜エルドウム (3)    コア 1    レベル 1    BP 3000」

「アルドウム (1) の召喚時効果破棄だガ対象がいナイ!」

——つ!    千載一遇のチャンス…!」

「たしかその効果、強制効果だったよな?!」

「ソうだケど…:あア、なるホド」

「召喚時に反応して、炎極天の【Uハンド:赤】!

《ネオ・コールオブロスト》!」

(手札 1 ↓ 0)

「2枚ドロして、更に追加コストを支払いトラッシュにあるコスト  
7以下で赤のアルティメット、《アルティメット・ムゲンドラゴン》を  
手札に戻す!」

(手札 0 ↓ 2)

(リザーブ 1 ↓ 0)

「アルティメット・シヨコドラ    コア 4 ↓ 1    レベル 6 ↓ 3」

(トラッシュ 4 ↓ 8)

(手札 2 ↓ 3)

「ターン1のUハンドを使ッテまで相棒ヲ拾いあげるか!」

「そりやそうさ!」

「ならソのまま墜ちロ!    邪神龍 (2)、飲ミ込メ!」

数押しか…!」

「エルドウム 3匹の効果ア!    3枚ドロ!」

(令毀手札 1 ↓ 4)

「手札が減らない……！」

「悠姫と同じ赤なんだ減らナイのハ当然サ。アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト4、マジック《キャノンボール》」

「ヒットオツ!! 眷属共のBPをターン中1万5千アップだ!!」

「獣竜アルドウム(1) BP3000+15000〓18000

0  
「獣竜アルドウム(2) BP3000+15000〓18000

0  
「鳥竜エルドウム(1) BP3000+15000〓18000

0  
「鳥竜エルドウム(2) BP3000+15000〓18000

0  
「鳥竜エルドウム(3) BP3000+15000〓18000

「更なる絶望も付けてやるヨ!!」

「っ！」

「フラッシュユ！」

マジック《ギヤラクシーエターナルレクイエム》!

このターン、ボクのスプリット全テは最大レベルとなル!!」

(令毀手札4↓3)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュユ3↓5)

「最大レベル!？」

「つまり、アルドウム2匹とエルドウム3匹のレベルは最大の3となり、それぞれの効果も発揮されル!!」

「獣竜アルドウム(1) レベル1↓3 BP3000↓7000  
+15000〓22000」

「獣竜アルドウム(2) レベル1↓3 BP3000↓7000  
+15000〓22000」

「鳥竜エルドウム(1) レベル1↓3 BP3000↓5000

+150000 || 200000]

「鳥竜エルドウム(2) レベル1↓3 BP3000↓5000

+150000 || 200000]

「鳥竜エルドウム(3) レベル1↓3 BP3000↓5000

+150000 || 200000]

「更ニエルドウム、レベル2カラの効果！ 場に邪神龍が存在スる間、アタックステップ中BPプラス1万!!」

「鳥竜エルドウム(1) BP200000+100000 || 30000

0]

「鳥竜エルドウム(2) BP200000+100000 || 30000

0]

「鳥竜エルドウム(3) BP200000+100000 || 30000

0]

「更ニ更ニアルドウムレベル2カラの効果！ 豪華特典として邪神龍全テに赤のシンボル2つ追加だアツ!!」

「邪神龍ドウム・ドラゴン(2) シンボル極+赤赤 || 極赤赤」

「邪神龍ドウム・ドラゴン(3) シンボル極+赤赤 || 極赤赤」

い、一気にトリプルシンボルが2体にBP3万が三体…!! しかもどちらもライフで受けきれない!

「ドウする悠姫イ? この邪神2柱カラ守れテも、眷属共が喉を鳴らシて待ッてるゾ…!!」

「……………」

「邪神に捧げル供物はドいつだい悠姫イ?」

「…リユーマン・バーストでブロック!」

「非力な極天が何スルものカ!」

「炎極天リユーマン・バースト 破壊」

(悠姫リザーブ0↓2)

「ホラニ体目のアタックだ!」

(令毀手札3↓6)

「フラッシュタイミング! 《ブレイド・ジ》を神速召喚! そのままブロックだ!」



(悠姫手札3↓2)

(リザーブ2↓1)

「ブレイド・ジー コア1 レベル1 BP1000」

「チツ、目障りナ虫が…!」

「ブレイド・ジー 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「エルドウーム(1)、啄メ!」

(令毀手札6↓7)

「ライフだ!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ2↓3)

「エルドウーム2匹目もヤれ!」

(令毀手札7↓8)

「フラッシュタイミング!」

「ッ、まだ…!」

「マジック《ブレイジングバースト》! ドシヤットを破壊して、このターン、レキのスピリットからのアタックでは1しか減らない」

「なッ…!?!」

(悠姫手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ8↓11)

「リユーマン・ドシヤット 破壊」

(リザーブ0↓1)

「アタックはライフで受けて、もうスピリットのアタックじやライフは減らないぞ!」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「:フン、ターンエンド」

〈悠姫・第十二ターン〉

「スタート、ステップ!」

(リザーブ2↓3)

(手札1↓2)

(トラツシユ11↓0)

(リザーブ3↓14)

「メインステップ!」

おそろくだが、ここで決められなければ…終わる。

あの群れがマジックの効果を使わずにレベルが上がり、邪神龍のトリガーでBPが爆上がり。止められる術は無い。

「ソの瞳(め)、死んでないな」

「諦めているように見えるか?」

「クヒヒ…。いいや、全く♪」

「だろ? 2枚目の《ネオ・ダブルドロ》で3枚ドロ!」

(手札2↓1)

(リザーブ14↓10)

(トラツシユ0↓4)

「:最高のタイミングだ相棒!

召喚! 《ムゲンドラ》、《エクス・ムゲンドラ》!

(手札4↓2)

(リザーブ10↓7)

(トラツシユ4↓6)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

「エクス・ムゲンドラ コア1 レベル1 BP2000」

「Uシヨコドラをレベル6に上げて、最後のアタックステップ!」

(リザーブ7↓4)

「アルティメット・シヨコドラ コア1↓4 レベル3↓6 BP

9000↓20000」

「Uシヨコドラ、アタック! Uトリガー!」

「——コスト3、《アルティメット・エルギニアス(2)》!

「ヒット!」

「出スのはどうせUムゲンだろ?」

「いいや、違う!」

「ッ!？」

「これが私の、ここでの最後の賭けだ！」

「手札から、〈新生〉アルティメット1体をノーコストで召喚！」

「召喚条件はムゲン達で満たしている！」

「邪悪なる龍は、灼熱の牙と鋼の魂を合わせ持つ龍皇が討つ！」

「召喚! 《アルティメット・ジークフリーデン》!!」

(手札2↓1)

「ココで…、ジークフリーデン!？」

「レベルにはUシヨコドラから受け取り、レベル5だ！」

(リザーブ4↓0)

「アルティメット・シヨコドラコア4↓2 レベル5↓4」

「アルティメット・ジークフリーデン コア6 レベル5 B P 3

0000」

「今更怯む程、萎えちやいない! Uシヨコドラのアタックはどうする!」

「…ライフだ!」

(令毀ライフ2↓1)

(リザーブ1↓2)

「この勝負、分かれ目は次のトリガーだ。」

「外せば勿論敗北。当たったコストが3以下、カウンターを握っている。それでも敗北。」

「レキだって、今ライフで受けたのだから私が外すが低いかを祈ってのことだろう。」

「Uジークフリーデン、アタック! Uトリガー!!」

「——ッ!？」

「言え、コストはいくつだ!」

「…コスト6、マジック《フォビドゥングレイヴ》…!」

「最大ヒット!!」

「…カウンターは無イ」

「ならヒットしたカードのコスト分、B P 1万以下のレキのスピリットを破壊!」

つまり、5体の眷属達を浄化する！」

「獣竜アルドウム（1） BP 3000 破壊」

「獣竜アルドウム（2） BP 3000 破壊」

「鳥竜エルドウム（1） BP 3000 破壊」

「鳥竜エルドウム（2） BP 3000 破壊」

「鳥竜エルドウム（3） BP 3000 破壊」

（令毀リザーブ2↓6）

「ク…まさか…ッ！」

「道は開けた、あとは最後のアタックだけだ！」

「邪龍が究極の聖皇に敗れるカ…。…やるじゃないか…！  
最後のライフ、クれてやるよオオッ!!!」

（令毀ライフ1↓0）

〔winner!! 緋立 悠姫〕

## 『称号戦』第八試合

「……………」

「クヒヤハツハツ！負けタ負けタ！」

「……………」

「…生きテるか？」

「胃が持たない…」

レキとの対戦。黒い龍との決戦を制したのは私の龍皇だった。が、この一戦毎に消費する私の精神は既に命まで削っている可能性がある。これが璃恵達上位ハイランカーが感じている重圧なのか。

カードとコアを片して、思わずテーブルに突っ伏してしまう。

「ソウ暗い顔すんなツテ。ボクに勝ったんだカラ嬉しそうにしなヨ」

「ああ…」

レキには悪いんだが、刺し違えが続くとさすがにきつい。少しクルダウンする時間が欲しい。

「氷嚢が欲しいい…」

「…しヨウがナイなア」

「…？」

「——ん」

「っ!？」

「クヒヒツ♪ 〃右頬〃 イただキ♪」

「お……おま……っ!？」

「優勝目指してせいせい気張りナよ♪ ソれじゃオサラバ♪」

「あー、疲れタ…」

「お疲れ様です令毀様」

「ン。出迎えドウも満月さん」

「随分大きな〃置き土産〃をされましたね」

「コウすりヤあの馬鹿姉も危機感の一ツも出るでシヨ」

「……隙あらば？」

「つまみ食いもインジャナいかな〜ツて♪ クヒヒツ♪」

『さあここまで勝ち残った諸君、そしてこの戦いを見届けている諸君も聞いてくれ、傾注だ!』

『人数が少なくなってきたため、ここからランダム方式じゃなく、トーナメント方式で進めまーす』

『そしてその準備をするためまた少しだけ休憩時間を取る。最後まで残った強者達は、係員に従って一旦ゲートの外側で待機してほしーい』

「身内で残ったのはこれだけ?」

「私、璃恵さん、彩音さん、麗奈さん…ですか」

「ちヨい。悠姫がないヨ?」

「さつき重い足取りでこつちに来てたはずなんだけど…あ、来た」

「……心此処に在らずって感じね」

——そしておよそ10分程度——

『準備は整った! 皆、待たせたな!』

遂に終盤戦となり、周囲の盛り上がりも最高潮。

少しの休憩時に何かあったのか祐依にめちやくちや心配されたが、プレッシャーがヤバいってことでごまかす、が…信じちゃいない目だったけど。

「悠姫がここまで残ツてて嬉しいヨ♪」

「お前と当たるまで、負ける訳にはいかないからな」

「だってよ祐依君、彩音君。私らは眼中に無いみたいだね」

「え!? い、いや、そういう訳じゃあ…」

「解つてるわ。慌てなくても大丈夫よ」

「ええ。…とりあえずさつき何があったかは璃恵さんのメイドさん取っ捕まえて聞き出しますから」

「熾天のは慌てるんじゃないやなくその射殺するような眼を止めなさい」

『それではここで、それぞれの対戦相手を決定しよう！ この…カ  
リスマー番くじ』でな！』

ジャステイスが掲げた謎の箱には封筒が入っていて…ああ、解つた。たまにニュースとか見るドラフト会議だっけ？ 多分そんな感じのをするんだらうきつと。

『このくじ引きは、席を決定するくじなんだ』

『この封筒に、それぞれ色が一組ずつ入っています。皆が一斉に引いて、色が合った人と用意された6色のテーブルに着いてバトルします』

なるほどな。誰に当たるも運勝負か。

『では引いていくとしよう！さあ前に集まってくれ！』

集まれとう指示に璃恵はいち早く前に出た。私らもそれに続いてステージ前に集合する。

「皆集まったな？」

私を含めて12名。

誰も彼もここまで残った強者。油断は一切許されない。

「ではこのカリスマ封筒をランダムに渡していく。渡したら中身を見ずに掴み、合図と共に一斉に出してくれ。いいかな？」

各々頷く。

そしてジャステイスとマヌガスが封筒を半分ずつ受け取り、左右端から順に渡していく。私は左から3番目。

麗奈さんが左端で、続いて祐依。私の右隣が璃恵、彩音の順で並んでいる。

「はいどうぞー」

「ありがとうございます」

マヌガスから封筒を受けとった。…この封筒意外と手が込んでい  
る。マヌガス以外それぞれデフォルメされたキャラが描かれており、  
バトルスピリッツのロゴまで入っている。

「行き渡ったかな。では皆、会場側を向いてくれ」

…改めてこの会場に来ていてる人の数に内心たじろぐ。皆が皆こち  
らを注目していると思うと緊張で寿命がマツハ。

(姉さん大丈夫?)

(だ、大丈夫じゃない…)

「あ！ユキちゃん映った！」

「緊張してるのが見て取れるのですよー」

「クヒヒツ。ありヤガチガチになッテンな」

「悠姫先輩だいじょぶツスカねえ」

「大丈夫よ。…多分」

「ふふっ。あんな緊張した面持ちの悠姫さんも可愛らしいですわね」

「今のうちに慣れてもらわなければ困ります」

「碧は既にスカウトする気満々だねえ」

「悠姫さんをスカウトするのは優雅部です！」

「…先輩、頑張ってください…！」

「ちよつとあれ大丈夫なの？」

「お姉様なら大丈夫ですよ、姉様。対戦が始まれば、緊張せず自分の戦い方をしますから」

「桜、悠姫を信じてるんだね」

「はい。勿論」

「楓華も私も悠姫ちゃんのこと、桜ちゃんに負けないくらい応援するからね！」

『では皆注目だ！ 行き渡った封筒の中は見ずに、中身を手に取り、そのまま待つてくれ！』

中身を見ずに…：…これか？

(…感触的にカードですね)

(バトスピのネ)

(よく解るな…)

『持てたかな？ じゃあ…ギャラクシーの合図でみんな一斉に出してねー』

『よしわかった！ 皆準備はいいか？ 俺の掛け声と言ったら、あれだからな！皆一緒に叫んでくれ！いくぞお！』



『ギャラクシードロー!!』

「ギャラクシードローー♪」

「ぎやら…な、何…?」

「ギャラクシードローですよ姉さん。……これは、《アルティメット・ドライアン》?」

会場が一体となって叫んだ謎の掛け声に一瞬怯んで私だけ遅れた…! 急いで引き抜いてみると、確かにバトスピのカードだった。私側から見たら背面。…表を見てみると――

「……おお、相棒」

封筒の中身は《アルティメット・ムゲンドラゴン》で、祐依のはUドライアン、璃恵のは白の《アルティメット・オーデイン》と。…色ってそういうことか。

『決まったな。では、それぞれの色の合う対戦者はその色のテーブルに着き、デツキをセットして合図を待ってくれ!』

「さて…」

運命か必然か、赤のテーブルに着くことになった。

その私の相手は誰になるのか……

「やあ。やはり君だったね」

「っ! 麗奈さん…」

#### 第八試合

V S 青風 麗奈

「私も、赤だったんだ」

「: 《アルティメット・ジークフリード》」

『席に着いたな? ではいくぞ!』

「白銀と戦うお膳立てだよ悠姫君。ここからは前以上にくせ者揃い、ただの力押しは通用しない。頭を捻り、経験を最大限に活用するんだ。ここで弱音を吐くのは許さないよ」

「……はい」

『ゲートオープン!』

「二」界放!!「二」

〈麗奈・先攻第一ターン〉

「先攻はいただいたよ。蒼穹の第一ターン、スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

青使いの麗奈さん。

縁で初めて会ったときは絡まれた時だったな。

青のカードの使い方を教えてもらい、色々と面倒をかけてしまった。

「何度か私と真桜君に勝ってここにいるんだ。復習戦と行こう」

「はい」

「うん。メインステップ。まずはバーストをセットだ」

(手札5↓4)

〔バースト：無し↓セット〕

「そして、見飽きただろうけどネクサス《海帝国の秘宝》を配置するよ」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「青を使う者にとってこのネクサスは本当にありがたいものなんだ。いくら選別するドロ―とはいえ、破棄するのはとてつもなくキツイんだ」

「はあ…」

「いやまあその分強力だったりするんだがね。ターンエンドだ」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

さすがの麗奈さんもあのネクサスを入れざるを得ないか。手札を

保護できて破棄する手札を減らせるなら入れない手は無い。…もし私が青を気に入って組んでいたのなら私も喜んで投入しただろう。

「メインステップ。…召喚、《エクス・ムゲンドラ》レベル2と、《リユーマン・ドシヤット》レベル1」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓2)

「エクス・ムゲンドラ コア2 レベル2 BP3000」

「リユーマン・ドシヤット コア1 レベル1 BP1000」

あのバースト、麗奈さんや雫との対戦経験からして《ディクタールレギオン》か？ 私が見て対戦した限りライフ減少で発動する青のカードでスピリットが出てくる印象が薄い。…でも嫌な予感がする。

「…バーストをセットして、アタックステップ」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「エクスムゲンでアタック。アタック時効果で1枚ドロ」

(手札2↓3)

「ライフで受けよう」

(麗奈ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「そして、ライフ減少によりバースト発動！」

「…っ」

「悠姫君は、おそらくこのバーストは《ディクタールレギオン》辺りだろうと当たりをつけているんだろう」

「し、思考を読むなんてずるいですよ」

「あははっ。…だが、それは確かだ」

「っ！」

「バーストは《ディクタールレギオン》！ ボイドからコア2つを海帝国の秘宝に置くー！」

(麗奈バースト：セット↓発動)

「海帝国の秘宝 コア0↓2 レベル1↓2」

やっぱりそうだったか。

赤以上にコアを増やすのが苦手な青だ。ネクサスさえあれば使えるコアを2つ増やせるのだから、ライフと合わせて次のターンで3つ増える。

「ターンエンドです」

〈麗奈・第三ターン〉

「蒼穹の第三ターン、スタートステップ」

(手札3↓4)

(リザーブ1↓2)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ。まずは2枚目の《海帝国の秘宝》を配置しよう」  
(手札4↓3)

「海帝国の秘宝 (1) コア2↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ0↓2)

「更に《軽業兵フォック》を召喚」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ2↓4)

「軽業兵フォック コア1 レベル1 BP4000」

「軽業兵フォックの召喚時効果。ボイドからコア1ずつを私のネクサス2つに置く」

「海帝国の秘宝 (1) コア0↓1 レベル1↓2」

「海帝国の秘宝 (2) コア0↓1 レベル1↓2」

「コアブースト!？」

「青だってそれなりに知恵は付けるさ。更に《獣士コヨーテ》を召喚  
！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ4↓6)

「獣士コヨーテ コア1 レベル1 BP3000」

「最後にバーストをセットして、アタックステップ」

(手札1↓0)

(バースト：無し↓セット)

「獣士コヨーテでアタック。アタック時効果。デッキから2枚ドロし、2枚破棄…だが」

「海帝国の秘宝の効果で破棄枚数を減らせるんでしたね」

「その通りだ悠姫君。私にはレベル2の海帝国の秘宝が2つある。よって破棄枚数を2減らせるから単純な2枚ドロとなる！」

(手札0↓2)

「さて、アタックはどうするかな？」

「ライフで受けます！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「何も無いのならターンエンドだ」

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メインステップ」

攻めも守りも隙無し。

雫みたいにデッキもライフも狙いに来るタイプだとしたら、落とされる前に引き込みのが吉か。

「ここは臆せず…。エクスムゲンの【スピリットソウル：赤】発揮！

召喚、《紅炎竜ヒノコ》レベル4！」

(手札4↓3)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「紅炎竜ヒノコ コア2 レベル4 BP12000」

「アタックステップ。…エクスムゲンでアタック！ アタック時効果

で1枚ドロー!」

(手札3↓4)

「ほう、そっちでアタックするか」

「Uヒノコでトリガーを狙おうかと思いましたが、ここは確実な1ドローをと」

「なるほどね。アタックはライフで受けさせてもらうよ」

(麗奈ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「だが悠姫君、ここまで来て安全策はないだろう?」

「:そうでしょうか」

「このバースト見ればそうも言ってもらえなくなるさ。ライフ減少によりバースト発動!」

絶甲氷盾か? だがあの口ぶりだとまた別の何かか…!

「蒼海の覇皇!怒濤なる力を世に示せ!

《アルティメット・シーザー》!」

(麗奈バースト:セット↓発動)

「青のアルティメット…!」

「バースト効果だが、悠姫の場に【連鎖】を持つスピリットがいないため空撃ちだ。しかし、召喚条件である青のスピリット2体は達成している。

よって、バースト召喚だ!」

(麗奈バースト:発動↓召喚)

「レベル分にはフォック、秘宝2つ、リザーブからもらい、レベル4!」

(リザーブ1↓0)

【軽業兵フォック コア1↓0 消滅】

【海帝国の秘宝 (1) コア1↓0 レベル2↓1】

【海帝国の秘宝 (2) コア1↓0 レベル2↓1】

【アルティメット・シーザー コア4 レベル4 BP21000】

「こいつを召喚するときはこう、目力を込めて《怒濤王シーザー》!つて言わなきゃいけないんだ」

「やってませんでしたよね?」

「私はやらないよ。そういうのは璃恵君や真桜君、彩音君に任せるさ」  
完全にあの三人が色物扱いにされとる…。

「…これ以上アタックはせずターンエンドします」  
〈麗奈・第五ターン〉

「彼女らは自らそういうのを買って出てるんだから仕方ないさ。蒼穹の第五ターンっと」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メインステップ。…さて、早速だけど試練だ」  
「っ！」

「究極へと到りし我が右腕！

唸れ！〈アルティメット・ドライアン〉！

レベル4にて、目醒めろ!!」

(手札3↓2)

(リザーブ7↓2)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・ドライアン    コア2    レベル4    BP1700  
0」

っ！ Uドライアン…！

麗奈さんも使う…いや、元々麗奈さんの相棒だと私が勝手思っているだけだ。

「バーストをセットし、秘法2つをレベル2にしてアタックステップに入ろう！」

(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

(リザーブ2↓0)

「海帝国の秘宝 (1)    コア0↓1    レベル1↓2」

「海帝国の秘宝 (2)    コア0↓1    レベル1↓2」

「まずはUリザーブでアタック！ トリガーロックオン！    コストは

7だ」

「——コスト6、《アルティメット・ジークフリード》！」

「ヒットだ！」

ヒットしたか……。カウンターしようにも手札に無いし、どんなものか……。

「さてと。覚悟は完了しているかな？」

「い、いつでも」

「ではヒット時効果。悠姫君、きみは次の『メインステップを行うことができない』！」

「っ!？」

青 アルティメット

《アルティメット・シーザー》

コスト7 軽減青3 <新生・闘神>

【召喚条件：自分の青スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<4> Lv4 BP21000

シンボル：極

【バースト：自分のライフ減少後】

【連鎖】を持つ相手のスピリット2体を破壊する。

この効果発揮後、このアルティメットカードを召喚する。

【トリガー】Lv4『このアルティメットのアタック時』

トリガーがヒットしたとき、相手は、次のターンの『相手のメインステップ』を行えない。

このヒット効果はゲーム中に1回しか発揮しない。

め、メインステップを行えない!？」

一体どういうことだ!？」

「次のターンにスタート、コア、ドロウ、リフレッシュは通常通り行える。しかしメインステップだけは何もせず強制的にアタックステップに入ってもらわんだよ」

「なんと……」

「きみは『メインステップは何もしなかった』という結果だけが残るの



さー！」

メインステップに何もできない…。

てことは召喚もレベルの上げ下げも出来ず、マジックを使うこともバーストをセットすることも出来ないって…何だそのアホみたいなぶっ飛び効果は…!?

「だが安心してくれ。Uシーザーのこの効果はゲーム中1回しか発揮できない。あの『断罪の滅龍』と同じさ」

「あ、そうなんですか…」

「でも『元になったシーザー』は条件さえクリアすれば何度でも『メインステップをぶっ飛ばす』ことができるからね」

「ふえっ!？」

青 スピリット

《ダイクタートル・シーザー》

コスト8 軽減青3 <覇皇・異合>

<1> Lv1 BP5000

<4> Lv2 BP9000

シンボル：青

【バースト：自分のライフ減少後】

自分のライフが2以下のとき、このスピリットカードを召喚する。

Lv1・Lv2 【強襲：1】『このスピリットのアタック時』

このスピリットは、ターンに1回まで、自分のネクサス1つを疲労させることで回復できる。

Lv2『このスピリットのアタック時』

BPを比べ相手のスピリットだけを破壊したとき、相手は、次のターンの『相手のメインステップ』を行えない。

「ふふっ。あれが出たとき、私年甲斐も無く喜んだもんだよ」

「そうなんですか？」

「手札やコア、アタックやマジックを制限するのはあつたけど、まさかステップを飛ばすなんて誰が考えついたと思う？ あれを考えた人は天才だね」

「手放して喜んだみたいですわね」

「うん。しばらくあれで無双してたのが懐かしいなあ。でもヤマトやらリコービに駆逐されて泣く泣くデツキ解体したんだ…」

「さいですか…」

「こうやって、一喜一憂してるところを見ると可愛いらしい大人の女性なんだよなあ。普段はキリツとしての格好良い大人の女性だけど、こういう一面が見れるのもバトスピのおか……げは言い過ぎか。」

「少々雑談が長引いたが、バトルに戻ってアタックはどうする?」

「…ライフで受けます」

(悠姫ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「バーストの発動は無しかい?」

「はい」

「なら続けてUIアンでアタックだ!」

Uドライブアンはレベル3からトリガーを撃てる。

撃たれたならば後は……どうする。やられるのは初めてだからどうすればいいか微妙に分からない。

「ダブルトリガー、ロックオン!」

「2枚——コスト5、スピリット《メテオドライブアン》。コスト1、《アルティメット・ブレイドラ》!」

「ダブルヒット! UIアンのレベルを2つ上げ、回復する!」

「アルティメット・ドライブアン レベル3↓5 疲労↓回復」

「シンボルは1つだがどうする」

「ライフで受けます!」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

「ライフ減少でバースト! 《救世神撃覇》!」

(悠姫バースト:セット↓発動)

「ここで発動させるか」

「バースト効果で、合計BP6000まで。よって獣士コヨーテを破壊します!」

「獣士コヨーテ 破壊」

(麗奈リザーブ0↓1)

「むむっ」

「更に追加コストを支払って、1枚ドロ。…そしてバーストをセツトします」

(悠姫リザーブ2↓1)

(トラッシュユ2↓3)

(手札4↓5↓4)

{バースト：無し↓セツト}

「もう一度UIアンでアタック！ダブルトリガーロックオン！」

「ダブルトリガー厄介過ぎる…」

「開発者が意図してないとは思うけど、間接的にデッキ破壊できているのは大きいと思うんだ」

「——コスト4、マジック《絶甲氷盾》とコスト3、マジック《グラウンドブレイク》…って欲しいのが落ちた!?!」

「こういうのがあるから対抗策が出てきても侮れないのさ。ダブルヒットだ！」

「アルティメット・ドライアン レベル3↓5 疲労↓回復」

「そのアタックはドシヤットでブロック！」

「何もなければそのまま破壊させてもらうよ！」

「リユーマン・ドシヤット 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「スピリットの破壊によりバースト！《シンフォニックバースト》！」

{悠姫バースト：セツト↓発動}

{ほう}

「今破壊されたドシヤットを手札に戻し、追加コストを支払いライフが2以下なのでアタックステップを強制終了させます！」

(手札4↓5)

(リザーブ2↓0)

「紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」

(トラッシュユ3↓6)

「ではターンエンド。しかし場のスピリットとバーストを使ってまで

止めていいのかな？」

〈悠姫・第六ターン〉

「どうだか解りません。でも、次に繋げられるかも知れません。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

「メインステップ…ですが…」

「Uシーザーのトリガー効果により、きみはこのターンのメインステップを行えない！」

「くっ…」

このターン飛ばし、麗奈さんが豪語するだけあってかなり厄介な効果だな。何もできないということは、今この状態でアタックステップに入らなければならないってこと。

場にはレベル2のエクスムゲンとレベル3のUヒノコのみ。アタックステップで出せるならブレイド・ジューもあるが、時間稼ぎも出来ない…。

「アタックステップに入りますが、そのままターンエンドします…」

〈麗奈・第七ターン〉

「では、蒼穹の第七ターン。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。2体目の《獣士コヨーテ》を召喚」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュユ0↓1)

「獣士コヨーテ(2) コア1 レベル1 BP3000」

「更に、青の極天《獣極天ユキヒョードル》をレベル5で召喚！ レベ

ルにはUシーザーから貰うよ！」

(手札1↓0)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ1↓3)

「獣極天ユキヒヨードル コア4 レベル5 B P 16000」

「アルティメット・シーザー コア4↓1 レベル4↓3」

「青の極天か…」

「アタックステップ！ 獣極天でアタック！ レベル4からのアタック時効果で2枚ドロして2枚破棄だが、秘宝の効果により破棄枚数が0になる！」

(麗奈手札0↓2)

頑なにUドライアンのレベルを上げないのはキャノンボールを警戒してからか…。

「さあ後が無いよ悠姫君」

「…………フラッシュユタイミング」

「むっ」

「マジック 《絶甲氷盾(2)》！ ここで止める！」

(悠姫手札6↓5)

(リザーブ7↓3)

(トラッシュユ0↓4)

「ライフで受けて、アタックステップを強制終了させます！」

(悠姫ライフ2↓1)

(リザーブ3↓4)

「握っていたのか、引いたのか。それはいい。さすが凄いだね」

「紙一重ですよ…」

〈悠姫・第八ターン〉

「ここでUドライアンを何とかしなくちゃ…。スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札5↓6)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ5↓9)

「メインステップ。…もう一度召喚、《リユーマン・ドシャット》レベル1」

(手札6↓5)

(リザーブ9↓8)

「リユーマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000」

「更に召喚、《炎極天リユーマン・バースト》レベル3！」

(手札5↓4)

(リザーブ8↓6)

(トラッシュ0↓1)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

一番の問題はUドライブアン。何も出来なければ、《バレットファイア》を引くまで我慢…できる訳が無い。デッキもライフも有限だ。

しかし今、キャノンボールを警戒してレベル3のままの今がチャンスだ。

「Uヒノコにより、私の究極シンボルは赤シンボルとしても扱われません。よって最大軽減！」

「ライフ減少も出来ない今、君が狙——」

「召喚、《ジェネラル・ドラゴン》!!」

「っ?!」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ1↓5)

「ジェネラル・ドラゴン コア1 レベル1 BP6000」

「それが入ってたのか…!」

「あいつ対策の一枚ですよ! 召喚時効果発揮! BP1万5千以下のアルティメット、Uドライブアンを破壊!」

「くっ、油断があったか…」

「アルティメット・ドライブアン BP10000 破壊」

(麗奈リザーブ0↓2)

赤 スピリット

《ジェネラル・ドラゴン》

コスト8 軽減赤4 <星将・戦竜>

<1> Lv1 BP6000

<3> Lv2 BP12000

<4> Lv3 BP15000

シンボル：赤赤

Lv1・Lv2・Lv3『このスピリットの召喚時』

BP15000以下の相手のスピリット／アルティメット1体を破壊する。

Lv2・Lv3『このスピリットのアタック時』

BP3000以下の相手のスピリットすべてを破壊する。

自分のバーストをセットしているとき、さらに、相手のネクサス1つを破壊する。

「よしっ！」

「…だが、その召喚時効果に獣極天の【Uハンド：青】発揮！《キングスコマンド》！」

(麗奈手札2↓1)

「バースト効果により3枚ドロし、1枚破棄。破棄するのは《軽業兵フォック(2)》！」

(手札1↓4↓3)

「そして追加コストでコスト4以上のスピリットのアタックを制限させてもらおう！」

「海帝国の秘宝(1) コア1↓0 レベル2↓1」

「海帝国の秘宝(2) コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュユ3↓5)

これでジェネラルがアタック出来なくなっちゃった。…だが！

「ネクサス、《超新星の輝き》を配置！」

(手札3↓2)

(リザーブ1↓0)

(トラッシュユ5↓6)

「なんと…!?!」

「このターン、<三龍神>アルティメットのコストは私のライフと同

じになる!」

スピリットがアタックできないのなら、こつちにはアルティメットがある!

「まずは究極三龍神の天馬!

召喚! 《アルティメット・サジット・アポロドラゴン》!」

(手札2↓1)

「エクス・ムゲンドラ コア2↓1 レベル2↓1」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア1 レベル3

BP12000」

「最後はお前だ! 究極三龍神の超新星!

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》!!」

(手札1↓0)

「リユーマン・ドシャット コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア1 レベル3 BP  
15000」

「将軍に加えて三龍神を2柱抱えていたのか…!」

「どうしようかと思いましたが、この瞬間が最高でしょう! Uノ

ヴァの召喚時Uトリガー!」

「——っ!? コスト7、2枚目の《アルティメット・ドライアン》!」

「最大ヒット!!」

よし! 青にはトラッシュからく極竜>アルティメットを回収カードは無い! これなら一気に押し切れる!

「カウンターは!」

「悔しいが、止める手が無い」

「ならばライフを全回復させてもらいます!」

(悠姫ライフ1↓5)

「手札を全て使い切って、あの状況をひっくり返すかい悠姫君…」

「これぐらいやらないと、あいつにも、ましてや麗奈さんにも追いつけない。そう、思います」

「嬉しいこと言ってくれるね」

麗奈さんは笑っているが、それを涼しい表情で皆はそれをやっての



けるんだ。追いつけるどころか、そこが境目になっている可能性がある。

「アタックステップ！」

「ジェネラル・ドラゴンはアタックを制限されているが…」

「アルティメットなら問題ないですよね！Uサジツトでアタック！

ダブルUトリガー！」

「——コスト1、スピリット《獣士オセロット》。コスト6、スピリット《獣士アムール》！」

「ダブルヒット！ B P 1万5千以下のコヨーテを破壊！」

「獣士コヨーテ 破壊」

（麗奈リザーブ2↓3）

「更にダブルヒット効果で、究極シンボルを1つ追加！」

「アルティメット・サジツト・アポロドラゴン シンボル極+極||極  
極」

「Uサジツトのレベルが4以上じゃなかっただけ儲け物か…。いいだろう、ライフで受けよう！」

「Uサジツトはダブルシンボル！」

（麗奈ライフ3↓1）

（リザーブ3↓5）

「ライフ減少によりバースト！《絶甲氷盾》！ 追加コストを支払えば  
タックは強制終了だ!!」

（麗奈バースト：セット↓発動）

（麗奈ライフ1↓2）

（リザーブ5↓1）

（トラッシュユ5↓9）

仕留め損ね…いや、麗奈さんが上手だったただけだ。スピリットのア  
タック抑制に、範囲外のアルティメットによるダメージ予測。

リカバリーもちゃんとしてる辺り凄いよな…。

「ターンエンド」

〈麗奈・第九ターン〉

「まったく、悠姫君の成長…運命力の上がり方は尋常じゃないね。蒼穹の第九ターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札3↓4)

(トラッシュユ9↓0)

(リザーブ2↓11)

「メインステップ。マジック《ストロングドロ》を使う。3枚ドロ―して2枚破棄する」

(手札4↓3)

(リザーブ11↓10)

(トラッシュユ0↓1)

「破棄するのは《マッドオペレーション》と《アルティメット・アレクサンダー》」

(手札3↓6↓4)

「Uアレクサンダーを破棄した？ 余程切羽詰まっているのか…。」

「ふっ…。これはまた、悠姫君じゃないが酷い綱渡りになりそうだね。さて…。」

「麗奈さんの目付きが鋭くなった。」

「…覚悟を決めに来たのか。」

「ここで私は君のライフを削り切らなければ敗北必至。しかもこれからのトリガーは全てダブルヒットしなければならぬ。いやはやいつ以来かなあ、こんな分の悪い賭けは」

「……………」

「…腕の見せ所だね。再び召喚！」

《アルティメット・ドライアン (3)》!!」

(手札4↓3)

(リザーブ10↓2)

(トラッシュユ1↓4)

「アルティメット・ドライアン (3) コア6 レベル6 B P 2 8  
000」

「3枚目!？」

「切り札は3積みが基本だよ悠姫君！」

アタックステップだ！　Uイアン、レベル6の効果により、イアン以外のアルティメットを最大レベルとする！」

「アルティメット・シーザー　レベル3↓4　BP10000↓21000」

「君の場にはコスト8であるUノヴァとジェネラル。あと君のデッキで考えられるカードは……4、5枚程度の高コストと、何とも無理ゲー臭が漂うねえ……。しかし私も蒼穹の称号を持つ身だ。君を見習い、最後まで全力で行くさ！」

「み、見習うだなんて……」

「そう謙遜しなくてもいいよ。さあイチバチの勝負だ！手札0を晒したことを後悔させてあげよう！　イアン、ダブルトリガー！」

「——2枚ともコスト3、スピリット《リューマン・インフィニティ》！」

「まず1度目のダブルヒットだ！」

「アルティメット・ドライアン　疲労↓回復」

「ライフで受けます！」

（悠姫ライフ5↓4）

（リザーブ0↓1）

まず1回目のヒット。

場にはスピリットもアルティメットもいるが、生憎私の手札は0。ヒットが続けば全てあつという間蹴散らされてしまう。

「2度目のアタック！ダブルトリガーロックオン！」

「——コスト5、マジック《バレットファイア》とスピリット《ムゲンドラゴン・ノヴァ》！」

「ダブルヒットだ！」

「アルティメット・ドライアン　疲労↓回復」

「ライフです！」

（悠姫ライフ4↓3）

（リザーブ1↓2）

「3度目！ダブルトリガー！」

「——コスト2、マジック《ミストバラッジ》とコスト4、《フレイム・クーガー》！」

「ダブルヒット！」

「アルティメット・ドライアン 疲労↓回復」

ライフが尽きるのが早いか、それともデッキが削ぎ落とされるのが早いか。

「ライフ！」

（悠姫ライフ3↓2）

（リザーブ2↓3）

「4度目！ダブルトリガー！」

「——コスト3、《アルティメット・アサシン・ドラゴン》。コスト4、マジック《イリユージュオンミラー》！」

「ミラーを入れていたのかい悠姫君！ とにかくダブルヒットだ！」

「アルティメット・ドライアン 疲労↓回復」

「ライフ!!」

（悠姫ライフ2↓1）

（リザーブ3↓4）

残りライフ1つ！

頼むからここからダブルヒットは無しになってくれ……！

「5度目！ダブルトリガー！」

「頼む……！ くっ……、コスト1、スピリット《デブリ・ザード》。コスト5、スピリット《リニューマン・ライトニング》！」

「ふふっ、ダブルヒットだ！」

「アルティメット・ドライアン 疲労↓回復」

またダブル……！

頼むから底に眠ってるなんてのはやめてくれよマジで……！

「デッキアウトを狙うのを待っていられない。早々にライフで受けてもらいたいね！」

「そういう訳には……！ ムゲンでブロック！」

「蹴散らさせてもらおう！」

「エクス・ムゲンドラ 破壊」

(悠姫リザーブ4↓5)

「残りのブロックカーがジェネラル、Uノヴァ、Uヒノコ、炎極天。ライフを狙うにはあと5回か…」

「っ…」

「6度目！ダブルトリガー！こんなにアタックしたのは『天秤座』や『ヒドラ』以来かな！」

「いい加減外れてくれ…！ コスト3、マジック《双光気弾》。コスト6、《アルティメット・アポドラゴン》！」

「ダブルヒット！」

「アルティメット・ドライアン 疲労↓回復」

「さて、誰を差し出すのかな？」

「っ…、リユーマン・バーストでブロック！」

「あと3体！」

「炎極天リユーマン・バースト 破壊」

(リザーブ5↓6)

くっ、もうホント来てくれ！どれだけ焦らせば気が済むんだうちのデツキは！

「七度目！ダブルトリガー！」

「——コスト6、《アルティメット・ジークヴルム》！」

「さあ、めくるんだ!!」

コスト……………

「……………7!!」

「っ!? ここでか！」

「《アルティメット・ムゲンドラゴン》!!」

「しかも君の相棒が護るのか…！」

「シングルヒットにより、回復は出来ませんよ！ アタックはUノヴァに任せます！」

「躊躇無く三龍神を差し出すか！」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ 破壊」

(悠姫リザーブ6↓7)

助かったぞ相棒！

でもちよつと来るのが遅かったんじゃないか？

「……ターンエンドだ」

〈悠姫・第十ターン〉

「回ってきた！ スタートステップ！」

(リザーブ7↓8)

ここが私の正念場。

麗奈さんのライフは2。だがこな2つが遠い。

私の手札は、ドローして1枚。

この1枚が私の進退を別ける。

「ドローステップ……！」

(手札0↓1)

(トラッシュ6↓0)

(リザーブ8↓14)

「メインステップ」

「泣いても笑っても君の最後のターンだ」

「……麗奈さん」

「何だい？」

ふと思いつ出した。

璃恵と対戦する前に、麗奈さんとテツキの最終チェックをする対戦を。

「ッあの時に似てますね」

「あの時？ ……」

「《金牛星鎧ブレイヴタウラス》！

ジェネラル・ドラゴンに、直接合体!!」

(手札1↓0)

(リザーブ14↓11)

(トラッシュ0↓3)

「ぐおっ!? またあの牛だと!？」

「裏牡牛座の合体条件。コスト8、もしくは〈星将〉は満たしていま

す！」

金牛星鎧ブレイヴタウラス

← 直接合体

ジエネラル・ドラゴン（合体）

〔コスト：8＋6＝14〕

〔BP：6000＋3000＝9000〕

〔合体時：追加〕

〔シンボル：赤赤＋赤＝赤赤赤〕

「悠姫君という乙女の危機に颯爽と駆け付ける牡牛座マジイケメン：とでも言うと思うかい牛畜生！」

「ジエネラル、Uヒノコ、Uサジツト全員最大レベルへ！」

（リザーブ11↓0）

〔ジエネラル・ドラゴン（合体） コア1↓4 レベル1↓3 BP  
6000↓15000＋3000＝18000〕

〔紅炎竜ヒノコ コア1↓5 レベル3↓5 BP9000↓15  
000〕

〔アルティメット・サジツト・アポロドラゴン コア1↓5 レベル  
3↓5 BP12000↓23000〕

これで決め：たいところだが、怖いのは麗奈さんの手札だ。

一番マズイのはダメージを防がれることだ。特に《ミストバラツ  
ジ》は。

ライフを減らせないということは、裏牡牛座による貫通効果すら通  
せず大事なアタックを無駄にし、後の手札がトリガーカウンターだつ  
たりしたら完全に詰みだ。

勿論ブレイヴを剥がされてもアウト。ブレイヴ剥がしが得意な青  
に剥がさないようお願いしても土台無理な話。

「アタックステップ！」

「〴〵お願いぶっぱ」とは、やはり赤はとんでもないな……！」

「ジエネラル・ドラゴン、合体アタック！ 裏牡牛座の【真・激突】！」

頼むからここで決まってくれ……！」

「フラッシュユ！」

「っ!？」

「……は無いよ。ハッターリが効かなかったか」

「……」

「獣極天でブロックだ！」

「う、裏牡牛座の合体アタック時効果で、互いのシンボルの数を比べ、こちらが越えた分麗奈さんのライフを碎きます！」

Brave Attack!!

ジエネラル・ドラゴン+金牛星鎧ブレイヴタウラス

BP15000+30000||18000

Symbol:赤赤赤 2exseed!!

vs

Defense!!

獣極天ユキヒョードル

BP14000

Symbol:極 penetration!! 2Damage!!

「うん、申し分ない。君は強くなった」

「麗奈さん……」

「その勢いで彼女にぶつかりに行け！」

「はい！」

(麗奈ライフ2↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕



## 『称号戦』第九試合

「よく私に勝った、悠姫君」

「麗奈さん…」

「バトスピで…皆に、笑顔を…」

「!？」

対戦は紙一重で勝利を収めることができた…が、突然麗奈さんが明日のなにかしよろしく白く燃え尽きた体勢に擬音つきで何処か満足したような表情。

「麗奈さん！」

「良い夢見させてもらったよ…」

「良い夢でたまりますか！」

「たははっ。付き合ってくれてありがとね」

「いきなりはやめてくださいよもう…」

「あっはっは！ その調子で頑張ってるね。敗者は軽いジョークをかましながら去るのみさ」

「黙らないんですか…」

「敗者に口有りってね。健闘を祈ってるよ」

まったく、この人も相変わらずだな…。

しかも色物と言われるよりちやつかりイケメンのお茶目という位置を確立してるんだから抜目ない。

『さあ今全ての卓のバトルが終了したぞ！ 勝利した皆、おめでとう！負けてしまった皆、よく頑張った！健闘を讃えよう！』

『勝った人はまたボンバー達のところ集まって、負けてしまった人はスタッフさんに参加賞をもらってから出てね』

『そして、トーナメント方式で進んで行くのだが、ここで運命のシャツフルだ！』

『はい。今勝ち残った色でシャツフルして、またバトルしあう相手を決定しまーす』

『それじゃあ早速…くじ引きで決めよう』

先程までの高度な技術をマジでかなぐり捨ててさったかのようなア  
ナログ方法。後ろのシャツフル装置は飾りなんですか。

『よし、誰が引く?』

『うーん、ギヤラクシーと菅沼さんでいんじゃない?』

『俺か!?!』

『僕も? はいはい』

『マヌガスは返事してんじゃないよ!』

『へ? あ! マーク・オブ・マヌガス!』

『遅えよ! もういいからはよ引け!』

またも会場からドツと笑いが起こる。

あの人も立ち位置は確立されてるのか…。

『でわでわでわ……これ!』

『じゃあ、せっかくだから、俺はこの封筒を選ぶぜ!』

ジャステイスによってテキトーにシャツフルされた封筒をギヤラク  
シーとマヌガスがこれもテキトーに選び取る。こんなので決まる  
のに周囲は文句どころかいつものことのように見守っているのがす  
ごい。

『ではマヌガスの方は…』

『ダララララララ……あ、なかなか出ない。…はい! “黄色”です  
!』

黄色…。誰だ?

すると静かに黄のカードを掲げる人物が一人。……彩音だ。

『お! 紫の称号 “紫蓮” の娘か!』

『では彼女とバトルする相手は……これだ! ギヤラクシードロー!!』  
今だに意味不明の掛け声と共に引き出したカードの色は……赤。  
私だ。おずおずと赤のカード、ウムゲンを掲げる。

『む! 君か! では選ばれた二人はそちらの赤の卓に着いて、バトル  
開始の合図を待っていてくれ!』

「遂にこの刻が来たわね。悠姫」

「ああ」

「私の紡ぐ詩全てを持って当たらせてもらおうわ」  
「こつちだつて負けられない」

そして残りの対戦カードも決まり、遂に開始を待つだけとなった。  
…彩音と面と向かつて対戦するのはいつぶりだろうか。

いつもは自覚厨二病だの璃恵に名前をイジられたり麗奈さんから  
は色物扱いされるだのイマイチパツとしなかったが、私がバトスピを  
始めた頃からの「紫の師匠」だ。

そして今対峙している彩音の纏う雰囲気がいつもと違う。…本気  
だ。

「…彩音」

「言葉は不要。あなたが今までに紡いできた、あなたの詩を私に聴か  
せなさい」

「私の詩…」

「そうよ。『詩は嘘をつかない』」。

あなたとの闘いは魂の名ではなく、真名である滲紫彩音の名を持っ  
て全身全霊を持って挑ませてもらうわ」

『さあ皆準備はいいな!』

対戦相手に関しては選んだマヌガスとギャラクシーを恨んでくれ  
!』

『『ええっ!?!』』

『ゲートオープン!!』

「二」界 放 !! 「二」

## 第九試合

V S 滲紫 彩音

〈彩音・先攻第一ターン〉

「先攻で行かせてもらおうわ。紫蓮の第一ターン、スタートステップ」  
(リザーブ4)

「ドローステップに手札の《冥猫蛇アイニ》を破棄して1枚追加のド

ローを行う」

(手札4↓3↓5)

「早速か！」

「言ったでしよ、全身全霊だつて。」

メインステップ。地獄の第二冥府、ネクサス《冥都アンテノーラ》を配置！

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「バーストをセットしてターンエンド」

(手札4↓3)

「バースト：無し↓セット」

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ。：召喚、《生還者ネオ・アーク》レベル1！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ0↓3)

「生還者ネオ・アーク コア1 レベル1 BP3000」

「生還者：。紫をメタる姿勢は嫌いではないわ」

「意図していない部分もあるけどな」

「まあいいけど。さて、どうするの？」

「続けて召喚、《アルティメット・ブレイドラ》レベル3！」

(手札4↓3)

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札3↓2)

「バースト：無し↓セット」

〈彩音・第三ターン〉

「紫蓮の第三ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。《冥騎獅アロケイン》をレベル2で召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓3)

「冥騎獅アロケイン コア2 レベル2 BP2000」

「更にアンテノーラをレベル2にしてアタックステップに入るわ」

(リザーブ3↓2)

「冥都アンテノーラ コア1↓0 レベル1↓2」

「アタックしてくるか…」

「アンテノーラ、レベル2の効果発揮。アタックステップ開始時に私の手札1枚を破棄し、私の〈冥主〉スピリットのBPを2000上昇させる」

トラッシュを増やすのか。しかし手札が2枚しかないのにそこま  
でしてトラッシュに置きたいものがあるのか…。

「私が破棄するのは、ブラック・ファントム “黒の幽鬼”」

《反逆者ベトレイヤー・デーモン》」

(手札3↓2)

「冥騎獅アロケイン BP2000+2000=4000」

「っ、何だあれ…」

「アタック…はせずこのままターンエンド」

「それを破棄したいだけだったのか」

「この真意を見抜けないならまだまだだよ」

〈悠姫・第四ターン〉

「真意…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ」

彩音が言う真意ってなんだ…。

手札2枚、場のスピリットは1体で回復状態。ブロックは可能だが受けの構えと見る。…ならバーストは紫のヨウカなんちやらだと思  
う。

増やした後にアロケインをブロッカーとして更に手札破棄を狙う  
のか？

「……………」

「よく思考なさい。今の私は『私はあなたを苛む茨』」

「その茨の棘に『毒』が無いだけマシかな？」

「毒…。桜のことね」

「随分厄介なものを教えてくれたな」

「褒めても負けてあげないわよ？」

「褒めてないって」

この師匠にしてあの弟子ありだな。色の特徴は扱う本人にも似る  
のか？

「とにかく。召喚、《炎極天リユーマン・バースト》レベル3」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

「ネオ・アークをレベル2にして、アタックステップ」

(リザーブ1↓0)

「生還者ネオ・アーク コア1↓2 レベル1↓2 BP3000  
↓4000」

「ネオ・アークでアタック。私の場にアルティメットがいるためBP  
プラス5000して、1枚ドロー」

「生還者ネオ・アーク BP4000+5000=9000」  
(手札2↓3)

「フラッシュタイミング！」

「っ!？」

「幽鬼操りし秘術、マジック《デモンズパペット》を使用！」

(彩音手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

(トラッシュ0↓2)

「私のトラッシュにあるコスト6以下の＜呪鬼＞スピリット1体を、召喚時効果を発揮させずに復活させる！対象は先程落とした《反逆者ベトレイヤー・デーモン》よ」

「やっぱりトラッシュ利用か…!」

「恐れよ、力強き者。冥府の淵より反逆の王が目を醒ます！」

《反逆者ベトレイヤー・デーモン》！

レベル2にて、復活！

「冥騎獅アロケイン コア2↓1 レベル2↓1」

「冥都アンテノーラ コア1↓0 レベル2↓1」

「反逆者ベトレイヤー・デーモン コア2 レベル2 BP8000」

こいつ、コスト6なのか。

しかも＜呪鬼＞、＜殻人＞、＜武装＞と系統を3つも持ってる時

紫 マジック

《デモンズパペット》

コスト4 軽減紫2

フラッシュ:

自分のトラッシュにある系統:＜呪鬼＞を持つコスト6以下のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚する。

ただし、『このスピリットの召喚時』効果は発揮しない。

「ベトレイヤー・デーモンでブロック！」

「何っ」

「そちらのBPは9000。こちらは8000よ」

「…そのまま破壊だ」

「ではベトレイヤー・デーモン、レベル2からの効果発揮！ 相手により破壊、または消滅させられたとき、私の手札を1枚破棄。破棄するのは、《ダークヴルム・ノヴァ・レムナント》！」  
(彩音手札1↓0)

「それにより、ボイドからコア1つをベトレイヤー・デーモンに置き、疲労状態で残る！」

「残るだど!?!」

「反逆者ベトレイヤー・デーモン コア2↓3」

紫 スピリット

《反逆者ベトレイヤー・デーモン》

コスト6 軽減紫2緑1白1 <呪鬼・殻人・武装>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP8000

<4> Lv3 BP10000

シンボル：紫

Lv1・Lv2・Lv3

自分の手札は相手の効果を受けない。

Lv2・Lv3 『相手によるこのスピリットの消滅／破壊時』

自分の手札1枚を破棄することで、ボイドからコア1個をこのスピリットに置き、このスピリットは疲労状態でフィールドに残る。

Lv3 『自分のアタックステップ』

自分が使用するマジックカードすべての色を無いものとして扱う。

「来るなら来なさい。手札がある限り反逆者は何度でも立ち塞がるわよ。…今は無いけど」

「くっ、ターンエンドだ」

〈彩音・第五ターン〉

「紫蓮の第五ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札0↓1)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ1↓3)



「メインステップ。…貴方も早く闘いたい訳ね」  
「っ…」

「魂を奮い立たせよ、冥騎獅！【スピリットソウル：紫】発揮！」  
スピリットソウル…アルティメットが来るか！

「究極の冥主、魔の七将が一柱！

《アルティメット・ベルゼビート》！

レベル3にて、降臨!!」

(手札1↓0)

(リザーブ3↓0)

「反逆者ベトレイヤー・デーモン コア3↓1」

(トラッシュ0↓4)

「アルティメット・ベルゼビート コア1 レベル3 B P 1 3 0  
00」

「Uベルゼビート…もう来たのか！」

「究極の主もあなたの成長を見たいそうよ。冥都アンテナローラの効  
果、コスト4以上のアルティメットが召喚されたため1枚ドロ。そ  
してアタックステップ！」

(手札0↓1)

「Uベルゼビート、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン  
！」

「——コスト4、マジック《キャノンボール》！」

「ヒット！ トラッシュにある紫のスピリット1体を復活させる！

対象は、黒き星の残滓。《ダークヴルム・ノヴァ・レムナント》！

レベルには冥騎獅から確保！」

「冥騎獅アロケイン コア1↓0 消滅」

「ダークヴルム・ノヴァ・レムナント コア1 レベル1 B P 7 0  
00」

「ダブルシンボル…！」

「Uベルゼビートのアタックはどうするの？」

「…ライフだ！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「レムナント、アタック！」

「くっ…」

「レムナントはダブルシンボル！」

「ライフだ！」

(悠姫ライフ4↓2)

(リザーブ1↓3)

「ライフ減少でバースト発動！《絶甲氷盾》！ライフを1つ回復して、追加コストを支払いアタックステップを強制終了させる！」

(悠姫ライフ2↓3)

(リザーブ3↓0)

「生還者ネオ・アーク コア2↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ2↓6)

「ターンエンド。これを覆すのを愉しみに待たせてもらおうわ」

〈悠姫・第六ターン〉

「：スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ6↓0)

(リザーブ1↓7)

まだ彩音のトラッシュユにはダブルシンボルの冥猫蛇アイニがいる。このまま放置してしまえば何も出来ず押し潰されてしまう。しかもまだ彩音は本気の三割も出してない。

「メインステップ。召喚、《デブリ・ザード》レベル1！」

(手札4↓3)

(リザーブ7↓6)

「デブリ・ザード コア1 レベル1 B P 1000」

「また耐性持ちね」

「更にデブリ・ザードの【スピリットソウル：赤】発揮！」

召喚、《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》！レベル4！  
(手札3↓2)

(リザーブ6↓1)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア3 レベル4  
BP17000」

「そいつがトマトね…」

「トマトじゃないソードマスターだ！ ネオ・アークのレベルを上げ、バーストをセットしてアタックステップ！」

(リザーブ1↓0)

「生還者ネオ・アーク コア1↓2 レベル1↓2」  
(手札2↓1)

(バースト：無し↓セット)

「Uソードマスター「ヤマト」：ヤマトじゃねえ！ アタックだ！ダブルUトリガー！」

「——コスト6、スピリット《骸塵将ムクロ》とコスト3、スピリット《バットナイト》」

「ダブルヒットだ！」

反逆者だか仮面の魔王だか知らないが、レベルが下がっている今なら生き残ることはできない。トラッシュからまた引っ張ってこられる可能性はある。

「【真・激突】に加え、スピリットでブロックしたらヒット分、ライフ2つを斬り飛ばすぞ！」

「ならばベトレイヤー・デーモンでブロックよ」

「：ライフ2つをリザーブへ！」

(彩音ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

ライフ2つを削ったが、ライフが減ったときのバーストなら大体予想は当た——

「反逆者そのまま破壊されるわ」

「反逆者ベトレイヤー・デーモン 破壊」

(リザーブ2↓3)

発動しない？ なら破壊と思ったけどそれでも無い。：誘ってる

のか。

「なら、ネオ・アークでアタック！」

「生還者ネオ・アーク BP4000+5000=9000」

（悠姫手札1↓2）

「ライフよ！」

（彩音ライフ3↓2）

（リザーブ3↓4）

「ライフ減少によりバースト発動」

「やっとなるか、何のバースト——」

「聖剣担いし究極の騎士王！」

「っ!？」

「星々の願い込められしその力、黄金の輝き放ち闇を討ち払え！」

我が命運、我が勝利は汝が剣刃と共にある！

招来、《アルティメット・アーサー》！

レベル4にて、召喚!!」

（彩音バースト：セット↓発動）

「バーストのアルティメット!？」

「バースト召喚できるアルティメットは、赤の聖龍皇だけじゃないのは知っているでしょう！」

（彩音バースト：発動↓召喚）

（リザーブ4↓1）

「アルティメット・アーサー コア3 レベル4 BP23000」

「くっ……！」

「召喚後にUアーサーの効果が発揮！」

私のライフが2以下だったならば、あなたのスピリットのコア2つを虚空へ<sup>ヴォイド</sup>と消し去る！」

「ボイド送りだど!？」

「対象は生還者ネオ・アーク。…しかし生還せし者<sup>サバイバー</sup>自身の効果によってコアを0にできない。よって1つを虚空へ！」

「生還者ネオ・アーク コア2↓1（ボイドへ） レベル2↓1」

「…た、ターンエンド」

「あなたには超新星ノヴァがいるでしょうが、1コアは1コアよ」  
〈彩音・第七ターン〉

「紫蓮の第七ターン、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ2↓6)

「メインステップ。六天の紫、《暗極天イブリース》を召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ0↓1)

「暗極天イブリース コア1 レベル3 BP4000」

「召喚時効果により1枚ドロ。更にアンテノラの効果により1枚ドロ！」

(手札1↓3)

「更にレムナントを最大レベルにしてバーストセット！そしてアタックステップ！」

(リザーブ4↓1)

「ダークヴルム・ノヴァ・レムナント コア1↓4 レベル1↓3  
BP7000↓13000」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「レムナント、アタック！」

「そいつからか！」

「レムナント、レベル2からのアタック時効果！ 疲労状態のスピリットに指定アタックができる！」

「何っ!？」

「小賢しい生還者にはそのまま骨になってもらうわ！」

「ぐっ、強制ブロック！」

「更に私の場にアルティメットがいるためレムナントのBPを+1万！ 捻り潰してくれ！」

「ダークヴルム・ノヴァ・レムナント BP13000+10000  
||23000|

「生還者ネオ・アーク 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

疲労してるスピリットに指定アタック!?

…これは下手にスピリットでアタックしたらその後確定で潰されるってことか。

「続けてUベルゼビート、アタック!アルティメットトリガー、ロックオン!」

「——コスト5、マジック《バレットファイア》!」

「ヒット! トラッシュの紫スピリット、《骸塵将ムクロ》を復活させる!」

(彩音リザーブ1↓0)

「骸塵将ムクロ コア1 レベル1 BP4000」

「そいつか…!」

「そして召喚時効果発揮! 手札に存在する光導十二宮の名を持つブレイヴをノーコストで召喚する!

来たれ裏光導十二宮、双魚の魂が一つ!

《双魚星鎧ブレイヴピスケス》!」

(手札2↓1)

「ダークヴルム・ノヴァ・レムナント コア4↓3 レベル3↓2」

「双魚星鎧ブレイヴピスケス コア1 レベル1 BP6000」

「スピリット状態が出てきた?!」

「それは“滅星<sup>レムナント</sup>の残滓”による効果。“合体ができない”からよ」

紫 スピリット

《ダークヴルム・ノヴァ・レムナント》

コスト8 軽減紫4 <星竜・夜族>

<1> Lv1 BP7000

<3> Lv2 BP10000

<4> Lv3 BP13000

シンボル：紫紫

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』  
合体スピリットのブレイヴすべてを破壊する。

Lv1・Lv2・Lv3  
スピリットすべては合体できない。

Lv2・Lv3 『このスピリットのアタック時』

疲労状態の相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる。

自分のアルティメットがいるとき、さらに、このスピリットをBP+10000する。

スピリットは合体できない：!?

てことはこのレムナントを何とかしないと、まともに太刀打ち出来なくなる。

動きから見る限り、彩音は骸塵将を合体させるためレムナントを退かすつてのは考えてないみたいだし、このままじゃマズイ…。

「まず裏魚座の召喚時効果！ あなたの場のスピリット、アルティメットのコア1つずつリザーブへ送らせてもらうわ！」

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「炎極天リユーマン・バースト コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア3↓2 レベル4↓3」

(悠姫リザーブ1↓4)

「そして消滅したアルティメットの魂は、我が手札となる！」

(彩音手札1↓3)

「更に骸塵将の効果により<光導>ブレイヴの召喚が成功したため、アルティメットのコア1つをトラッシュユヘ置くことができる！ トマトのコア1つをトラッシュユヘ！」

「だからトマトじゃねえつての!!」

「トマト コア2↓1」

(悠姫トラッシュユ2↓3)

「この程度でわちゃわちゃ言ってるんじゃあない！」

「人のカードの名前を姑息に間違えてるやつが言うことか！」

「ここで私に負けたらUソードマスターの名前をポテトに書き換えて悠姫には焼肉ソーダ飲ませるから覚悟しなさい！」

「無茶苦茶言ってるじゃねえ!!」

この期に及んでここまでボケ倒してくるのは精神攻撃なのか!? そうなのか!? 戦略なのか!?

「まったく、余裕が足りないわ」

「足りないって…もう決勝が近いんだぞ?」

「あら? もう私に勝ったつもりでいるのかしら」

「え? い、いや、そんなつもりは…」

「そんな今にもポカやらかしそうな表情しても説得力無いわ。もう少し肩の力を抜きなさいな」

…そんな気張ってるように見えるのか? 軽く頬に手を当ててみるが、よく分からない。

「あなたがそんな顔していたら、あのお馬鹿も面白く無いでしょう」

「……」

「たしかに、あなたにとっては負けられない闘い。でも、この闘いをどこまでも楽しむ余裕”を持ちなさい”

どこまでも楽しむ余裕…。

「どんな苦境もほんの少しだけ笑える余裕よ」

「…難しいな」

「難しいことは無いわ。軽く目を閉じて、小さく深呼吸するだけで大分違うわ」

軽く目を閉じて、深呼吸…。

「……」

「私を見なさい。今あなたと共にこの交響曲を奏でているのはあなたと私なのよ。他の誰かを気にするなんて許さないわ」

「…悪かった」

「ふふっ」

相手が相手だからな、余裕が無くなってかも知れない。目の前の彩音も見ないであいつの相手は難しいか。

……落ち着いて今の場の状況を見てみよう。



こちらはライフが2。

Uソードマスター(疲労)、デブリ・ザードのみ。

一方彩音はライフは同じく2。

レムナント(疲労)、Uベルゼビート(アタック中)、Uアーサー、暗極天、骸塵将ムクロ、裏魚座。

こう：絶望しか見えなかった。

「思案しているところ悪いけど、まだUベルゼビートのアタック中よ」

「……ライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ4↓5)

「ライフ減少でバースト！」

蹴り穿て、《リューマン・ゴッドブレイカー》！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

「バースト効果！ B P 1万以下の骸塵将を破壊する！」

「ほう。こつちを破壊するのね」

「骸塵将ムクロ 破壊」

(彩音リザーブ0↓1)

「そして、Uソードマ「ポテト！」しつこい！Uソードマスターがいるため1枚ドロして、バースト召喚レベル3！」

(手札2↓3)

(悠姫バースト：発動↓召喚)

(リザーブ5↓0)

「リューマン・ゴッドブレイカー コア5 レベル3 B P 13000」

「ライフを削ってまで得た神砕きの竜人。しかしこの究極の騎士王の進撃をどういなすかしら？ Uアーサー、アルティメットトリガー

ロックオン！」

「——コスト3、スピリット《リューマン・インフィニティ》！」

「ヒット！さあ、何とかしてみなさい！ Uアーサーのヒット効果は疲労状態のスピリット、アルティメット1体を破壊する効果よ！」

紫 アルティメット

《アルティメット・アーサー》

コスト8 軽減紫4 <新生・魔影>

【召喚条件：自分の紫スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP13000

<3> Lv4 BP23000

<5> Lv5 BP28000

シンボル：極

【バースト：自分のライフ減少後】

このアルティメットカードを召喚する。

その後、自分のライフが2以下のとき、相手のスピリットのコア2個をボイドに置く。

【Uトリガー】Lv4・Lv5『このアルティメットのアタック時』

Uトリガーがヒットしたとき、疲労状態の相手のスピリット／アルティメット1体を破壊する。

この効果でスピリットを破壊したら、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置く。

「破壊するのは——」

「トリガーカウンター！」

「っ!？」

「カウンターマジック、《イリユージョンミラー》！」

「な…っ!？」

「その聖剣、さぞかし凄まじい斬れ味なんだろうな！」

(悠姫手札3↓2)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア5↓1 レベル3↓1」

(トラッシュユ3↓7)

「ヴェルゲ・アヴェスター偽り写し示す万象”∴。いいえ、さしずめ フラ斬りラ扶ガるラッ戦神のク剣”

かしら」

「彩音、自分の疲労してるとどちらかを選べ！」

「っ…、Uベルゼビートを破壊するわ！」

「アルティメット・ベルゼビート 破壊」

(彩音リザーブ1↓2)

よしっ、Uベルゼビートは破壊出来た。安心は全くできないが、退かせただけマシだろう。

「まさかアルティメットになったうえにバトスピでもドジされるとは予想外だったわ…」

「アタックはライフで受ける！」

（悠姫リザーブ0↓1）

「どうする、来るか?！」

「ターンエンドよ！次、覚悟なさい！」

〈悠姫・第八ターン〉

「スタートステップ！」

（リザーブ1↓2）

（手札2↓3）

（トラッシュユ7↓0）

（リザーブ2↓9）

「メインステップ。マジック《ネオ・ダブルドロ》。アルティメットがいるため、3枚ドロ！」

（手札3↓2）

（リザーブ9↓7）

（トラッシュユ0↓2）

（手札2↓5）

「よし来た！」

「っ！ 何か引いたのね…！」

「ああ。ネクサス《超新星の輝き》をレベル2で配置！」

（手札5↓4）

（リザーブ7↓5）

（トラッシュユ2↓3）

「超新星の輝き コア1 レベル2」  
「っ！」

「超新星の輝きレベル1の効果で、このターン中私が召喚するく三龍神＞アルティメットは今のライフと同じコストになる！」

まずはお前だ！召喚！《アルティメット・サジット・アポロドラゴ

ン』！」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア1 レベル3  
BP12000」

「究極の射手座…！」

「更にレベル2の効果で＜三龍神＞アルティメットを召喚する際、私の場のアルティメットをスピリットとしても扱える。よって、召喚条件は満たした！」

召喚！《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》！！」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア3 レベル4 BP  
20000」

「三龍神の新星まで来たわね…！」

「召喚時Uトリガー！」

「——コスト5、マジック《コアドレイン》！」

「ヒット！カウンターを使いたいなら使え！」

「覚えているぞ。今の紫にヒットしたのをガードにするものが無いのを！」

「……無いわ！」

「ならヒットしたコスト分ボイドからコアをライフに置く！ よって  
全回復だ！」

(悠姫ライフ1↓5)

正直、回復できてもこれでやっと五分。後は、向こうの手札次第だ。  
「最後にバーストをセットして、アタックステップ！」

(手札2↓1)

(悠姫バースト：無し↓セット)

「Uサジットでアタック！ダブルUトリガー！」

「——コスト5、《悪魔皇デビッド》。コスト6、マジック《フォビドゥングレイヴ》！」

「ダブルヒットだ！」

「くっ、やるじゃないの…！」

「BP1万5千以下のレムナントと裏魚座はもらって行くぞ！」

「ダークヴルム・ノヴァ・レムナント 破壊」

「双魚星鎧ブレイヴピスケス 破壊」

(彩音リザーブ2↓6)

「でもその代償は高いわよ！」

スピリットの破壊により暗極天の【Uハンド・紫】発揮！《マーク・

オブ・ゾロ》！」

(彩音手札3↓2)

「1枚ドロローして、ゴッドブレイカーのコアをトラッシュに飛ばす！

追加コストは支払っても意味が無いからそのまま！」

(彩音手札2↓3)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア1↓0 消滅」

(悠姫トラッシュ3↓4)

「アタックは暗極天でブロック！そのまま破壊されるわ！」

「暗極天イブリース 破壊」

(彩音リザーブ6↓7)

「Uノヴァ、アタック！ Uトリガー！」

「——コスト8、スピリット《冥府三巨頭クイン・メドウーク》！」

「外したはしたがいい！」

「フラッシュ！マジック《ミストバラッジ》！対象をUノヴァとしダ

メージは無し！」

(彩音手札3↓2)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ1↓3)

「続けて2枚目！《絶甲氷盾》！Uノヴァのアタックの後強制終了させる！」

(彩音手札2↓1)

(リザーブ5↓1)

(トラッシュ3↓7)

「くっ…。ならターンエンドだ！」

これで少しだけ優位に立った。

手札は負けてるが、彩音がどう動くかで勝敗が決まる…！

〈彩音・第九ターン〉

「ライフを回復したくらいで調子に乗らないことよ！ 紫蓮の第九ターン、スタートステップ！」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メイנסテップ！ 揺らめく死神の鎌刃、《死神剣聖ダークネス・メア》をレベル2で召喚！ 紫シンボルがアンテノーラの1つしかないから5コストよ」

(手札2↓1)

(リザーブ9↓2)

(トラッシュユ0↓5)

「死神剣聖ダークネス・メア コア2 レベル2 BP6000」

「召喚時効果、【抜刀】！」

抜き放つは妖しく煌めく黄金の天剣！

《夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア》！

死神剣聖へ直接合体！」

「なっ!? 黄色のソードブレイヴ!？」

「言ったでしょう、全力だって！ ライフ回復が難しい紫に闇黄剣を仕込むのも手なのよ！ 前は【紫黄】のデッキだってあったのだから！」

(手札1↓0)

夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア

← 直接合体

死神剣聖ダークネス・メア (合体)

「コスト：6+5=11」

「BP：6000+5000=11000」

「合体時：追加・発揮可能」

「シンボル：紫＋黄Ⅱ紫黄」

「闇黄剣の召喚時効果！ 私のライフが5以下のとき、リザーブのコア1つをライフへ！ 焼肉ソーダに届かずともドッコイ定食並に回復できるのは紫としてはありがたい！」

(リザーブ2↓1)

(彩音ライフ2↓3)

「アタックステップ！ Uアーサー、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——っ！ コスト7、《アルティメット・ムゲンドラゴン》！」

「ヒット！ 疲労状態の三龍神を——」

「トリガーカウンター！」

「っ!? また!?!」

「相棒を引かせてくれてありがとうな！」

カウンターマジック《バレットファイア》！ コストにはUノヴァとネクスから受け取る！」

(悠姫手札1↓0)

「アルティメット：ジークヴルム・ノヴァ コア3↓1 レベル4↓3 BP20000↓15000」

「超新星の輝き コア1↓0 レベル2↓1」

(トラッシュ4↓7)

「ヒットしたカードを手札にして、Uムゲンは赤のカード。よってガードだ！」

(悠姫手札0↓1)

「くっ…、このアーサーを信用したのが間違いだったというの!?!」

「アタックはライフだ！」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ1↓2)

「ええい…！ 死神剣聖、剣刃合体アタック！ アタック時効果！ トラッシュのコスト3スピリット、《バットナイト》をレベル1で蘇生！」

(リザーブ1↓0)

「バットナイト コア1 レベル1 BP2000」

「更にバットナイト召喚時効果で1枚ドロージェットだけでも、アルティメットがいるため2枚ドロージェット！」

(彩音手札0↓2)

「さあどうする悠姫！スピリットで守れば回復して再度仕掛けるわ！」

……狙うならここか！

「デブリ・ザードでブロック！」

「っ!？」

「ブロックしたぞ！回復するならしろ！」

「や、闇黄剣の効果で死神剣聖は回復！」

「死神剣聖ダークネス・メア(合体) 疲労↓回復」

「何もなければそのまま破壊される！」

「スピリットを差し出した……まさか！」

「デブリ・ザード 破壊」

(悠姫リザーブ2↓3)

「スピリットの破壊で、バースト発動！」

出番だ！《アルティメット・ショコドラ》！」

(悠姫バースト：セット↓発動↓召喚)

(リザーブ3↓0)

「アルティメット・ショコドラ コア3 レベル5 BP1400

0」

「ここで極竜!？」

「<極竜>が召喚されたことにより、トラッシュのインフィニティは手札に戻る！アタックは続けるか！」

(悠姫手札1↓2)

「：ターンエンドよ」

<悠姫・第十ターン>

「スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)



(手札2↓3)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ！Uソードマスター、Uサジット、Uノヴァアのレベルを上げる！」

(リザーブ8↓0)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア1↓3 レベル

3↓4 B P 12000↓17000」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア1↓3 レベル

3↓4 B P 12000↓20000」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア1↓5 レベル3↓

5 B P 15000↓30000」

「最後のアタックステップだ！」

「来なさい！」

「Uソードマスター、アタック！ダブルUトリガー！」

「——コスト1、《冥騎獅アロケイン(2)》とコスト4、ネクサス《冥都アンテノーラ(2)》！」

「ダブルヒットヒット！ ダブルヒット効果で夢幻の天剣を破壊する！」

「ちいつ……！」

「夢幻の天剣トワイライト・ファンタジア 破壊」

「更に「真・激突」、ブロックしたらヒット分ライフを斬り落とす！」

「…そう、デブリ・ザードでブロックしたのはこれが狙いだっただのね。

…死神剣聖でブロック！」

「その瞬間、ライフ2つをリザーブへ！」

「死神剣聖はそのまま破壊されるわ」

(彩音ライフ3↓1)

(リザーブ1↓3)

「死神剣聖ダークネス・メア 破壊」

(リザーブ3↓5)

「決めるぞ！ Uサジットでアタック！ダブルUトリガー！」

「——ブレイヴ《魔星鎧フライビート》と《悪魔姫バイザク》。どちらもコスト4!」

「ダブルヒット! バットナイトを破壊! ダブルヒット効果で究極シンボルを1つ追加!」

「バットナイト 破壊」

(彩音リザーブ5↓6)

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン シンボル極+極||極極」

「…っ! ……これ以上は悪あがきのようね」

「これがラストだ!」

「してやられたわ。本当にやるようになったわね」

「彩音たちのおかげさ」

「感慨深いわ…。」

「たどり着きなさい。あいつのところまで」

「言われずとも…! Uサジットはダブルシンボル!」

「この『紫蓮の魂』! 持っていきなさい!!」

(彩音ライフ1↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

「…負けた、か」

「彩音…」

「悔しいけど、不思議と悔しくは無い。あなたが強くなったことの嬉しさが強いのかしらね」

「……ありがとな」

「お礼は今じゃないでしょ。…次負けたり、決勝で負けたら私の手料理フルコースを味わってもらおうからそのつもりでいなさい」

「き、胆に命じとくよ…。」

## 『称号戦』第十試合・準決勝

「彩音。ありがとう」

「こちらこそありがとう。良いバトル：旋律だったわ」

『赤卓のバトルも終了です！』

『よし！では勝った方は前に。負けてしまった方は』

彩音との勝負を終えた。

私も彩音も、お互い何処か満足げな感じだった。

「今回は健闘賞に甘んじてあげるけど、あなたは気を抜かないでね」

「ああ」

「……………」

「お帰り、彩音君」

「……………」

「…気持ちは解るよ」

「な、泣いてないですから」

「ふふっ、はいはい」

「ちよつと、カラコンがズレて痛いだけなんですから！ お、お手洗い

行つてきます！」

『さあこの場に集いしカードバトル達よ！ 今ここにいる三人が、

ここまで勝ち残ったカードバトルだ！』

前に集まった私、祐依、璃恵の三人。

璃恵は余裕の表情。祐依は表情を変えず柔らかく小さく笑い、私は

緊張でやや表情が固くなっている。

『この三人で優勝を争う訳だが…、一人余るな』

『てことはですよジャステイス。あれですか、"シード権"があるわ

けですね！』

『その通りだボンバー。この中の誰かは決勝で待てるということだ

な』

『はいやり方は簡単。くじを引いて、当たりを引いた子がシード権

獲得です』

大事なシード権だというのに凄まじくシンプルなやり方。まあ複雑になるよか後腐れが無い訳だが。…璃恵は何かを核心しているよ。うだ。まるで『シードは自分だ』と言うように。

『では三人とも、このカードを選び取ってくれ。取り方はじゃんけんにするか?』

ジャステイスから差し出されたバトスピのロゴ入りカード。このどれかに当たりがあるんだな。

「間怠ツこしい!せつかくだからワタシはこのカードを選ぶぜ!」

「させません」

「あ痛ー!? し、手刀!」

「はいどうぞ、姉さん」

「お、おう…」

「プレイヤーにダイレクトアタックするとか祐依ちゃんそれでもカードバトラーかヨー!」

「違います。姉さんの妹ですから。璃恵さんはあつちで一人寂しく待ってればいいんです」

…結局、璃恵が真っ先に取ったのを祐依がぶん取り私の手に。プリプリ怒って抗議する璃恵を尻目に余裕を持って祐依はカードを選び取った。

『一悶着あったが決まったな』

『力で奪い取るやり方マジカル良いと思うよー』

『んゝんゝっ! ではそれを皆の方に向けて頭の上に掲げてくれ。そこに究極シンボルが描かれていれば、その人が決勝シード枠だ!』

「いきますよ」

「あいヨ」

「ああ」

「せーの…」

祐依の合図で一斉にカードを掲げる。

すると、会場から「おおっ!」というどよめきが起きる。

『むむっ! おー!』

『シード権を獲得したのは…称号“白銀”を持つ彼女だ!!』

「イエーイ♪!」

「まあそうでしょね」

「ンじゃ悠姫、先で待ッてるよ♪」

「ああ」

『さあ決まった準決勝の対戦カード! 称号“熾天”を持つ緋立さん!』

『そして、対戦する彼女はなんと称号無しの初出場! しかも! なんと緋立さんの姉! 姉妹対決だー!!』

ギョラクシーとマヌガスの紹介に会場内に先程より大きなどよめきが起こる。てかどこからその情報を…。

「戻りました」

「お帰り。悠姫君と祐依君の姉妹対決が決まったところだよ」

「そうですか」

「驚かないんだね」

「ええ。そうだろうと思ってましたから」

「おー! ユキちゃんとユイちゃんか!」

「悠姫お姉さんリゾンベなのですよー!」

「ふん…。ヤッパあいつガ決勝か」

「メイド調査によると、今の今まで悠姫さんは祐依さんに一度も勝っていません。いいようです」

「ダメとしても、悠姫なラやるサ」

少し舞台が整えられ、私と祐依が対戦する場所ができる。璃恵はデッキ情報漏洩を防ぐために別室で待機となった。

しかし、こんな大舞台。さつきと違いステージで祐依と1vs1で対戦するとなると…。

## 第十試合・準決勝

V S 緋立 祐依

「祐依…」

「今姉さんに対峙しているのは妹の祐依ではなく、熾天の称号を持ついちカードバトラーです」

「…ああ」

「心苦しいですが、私に勝てないようでは璃恵さんに…白銀に近づけませんよ」

「分かってる。今は祐依だけを見る」

祐依の扱う色はマジックを巧みに操り、ブロックを無視する紫と違うトリッキーな黄色。

『称号戦準決勝！バトルする二人は準備ができたようだ。では皆いくぞ！ ゲートオープン!!』

「二」 界 放 !! 「三」

遂に始まった祐依との対戦。どうやら祐依を先攻に選んだよう。

「では先攻、行きます」

〈祐依・先攻第一ターン〉

「『熾天』の第一ターン、スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「祐依、それって…」

「普段は言わないんだけど、本気の証明として言います。」

メインステップ。ネクサス《遙かなる月世界》を配置します」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「そしてバーストをセットしてターンエンド」

(手札4↓3)

〔バースト：無し↓セット〕

祐依の出だしはここに来て情報の無いネクサス。…これはいきなりキツツイ予感がしてきた。

〈悠姫・後攻第二ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

「メインステップ」

：多分だが、祐依のバーストは祥子が使ったなんとかゲートつてやつじゃないだろうか？

しかし祐依が高コストのスピリットを使っていた記憶が少ない。あつたとしてもそのカードの効果や軽減の多さで0に近いコストで出てくる。

「：召喚、《リューマン・クロウ》、《リューマン・ドシャット》。両方レベル1」

(手札5↓3)

(リザーブ5↓3)

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

「リューマン・ドシャット コア1 レベル1 BP1000」

「リューマン・クロウの「スピリットソウル：赤」発揮！ 召喚、《紅炎竜ヒノコ》！レベル3！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ0↓2)

「紅炎竜ヒノコ コア1 レベル3 BP9000」

「バーストをセットして、ターンエンド」

(手札2↓1)

「バースト：無し↓セット」

お互い出だしは静か。私もこの状態でアタックする訳には行かない。

〈祐依・第三ターン〉

「熾天の第三ターン、スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。改めて月世界の効果です」

「どんな効果だ…?」

「私がバーストをセットしている間、メインステップ中このネクサスに黄色シンボルを1つ追加します」

「シンボルを増やすネクサスか…!」

「遥かなる月世界 シンボル黄+黄||黄黄」

「そして、『お掃除妖精マルチーズ』をレベル2で喚びます」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓1)

「お掃除妖精マルチーズ コア2 レベル2 BP3000」

「何だこの可愛らしいスピリットは…」

「このままターンエンドです」

「何っ」

召喚しただけでターンエンド?

…あのバーストが何とかゲートである可能性が高まったな。

〈悠姫・第四ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。マジック『ネオ・ダブルドロ』。アルティメットがいるため3枚ドロする」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュ0↓2)

(手札1↓4)

Uヒノコのレベルを上げて突いてみるか? でも前みたく『ディフェンスネビュラ』で振り返りに遭う可能性もある。…ならやってみ



るか。

「Uヒノコをレベル4にして、アタックステップ」

(リザーブ1↓0)

「紅炎竜ヒノコ コア1↓2 レベル3↓4 BP9000↓12

000」

「Uヒノコでアタック！ Uトリガー！」

「——コスト2、マジック《ディフェンスネビュラ》

「ヒット！ ……カウンターは？」

「ありません。2枚ドロウどうぞ」

「わかった」

(手札4↓6)

手札に無かったのか、或いは使わなかっただけか。…多分後者か。

「アタックはライフで受けます」

(祐依ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少によりバースト発動。幻想の扉、《イマジナリーゲート》

(祐依バースト：セット↓発動)

「やっぱりそれか…！」

「手札の黄色スピリット1体をノーコスト、召喚時効果を発揮させずに召喚します。召喚するのは

魔獣の母、《幻獣神姫エキドウナ》！ 幻想の扉より、レベル2にて参陣！」

(祐依手札3↓2)

(リザーブ3↓1)

「幻獣神姫エキドウナ コア2 レベル2 BP6000」

「そいつは…」

「あの時喚ぼうとして、姉さんのUノヴァのトリガーに落とされて使えなかったスピリットです」

「…ターンエンド」

コスト6のスピリット…。前に出なかったカードがどれだけ厄介なのか。

「ゲツ!? エキドウナかヨ!？」

「祐依君本気だねえ」

「〃エキドナ〃? ギリシャ神話の化け物が随分綺麗になったわね。あれそんな厄介なの? 桜」

「はい。彩音さんからバトルという形で直接教わりました。…とてつもなく厄介です」

〈祐依・第五ターン〉

「熾天の第五ターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ1↓0)

(リザーブ2↓3)

「メインステップ。《妖精学者サキア》を召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓2)

「妖精学者サキア コア1 レベル1 BP4000」

「サキアの召喚時効果。デッキトップを4枚オープン」

●オープンされたカード

・《コアドレイン》(マジック)

・《ライフチャージ》(マジック)

・《砲天使カノン》(スピリット)

・《乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ》(ブレイヴ)

「この中にあるマジックカード1枚、《ライフチャージ》を手札に加え、残りを好きな順番でデッキトップに戻します。順番は上から

1、《砲天使カノン》

2、《乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ》

3、《コアドレイン》

以上の順番で戻します」

(手札2↓3)

これは見せ付ける罫か？

あの凶悪な砲天使を一番上に持ってきたってことは、Uヒノコや他のトリガーとかで落とせる。だがそんなこと祐依は百も承知だろう。私にあえて行動させるよう仕向けているのか。

「最後にバーストをセットして、アタックステップに入ります」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「エキドウナでアタック。あの時お見せできなかったエキドウナのアタック時効果、『神聖命』を發揮！」

「し、『神聖命』!?!」

「ボイドからコア1つを私のライフに置きます！」

(祐依ライフ4↓5)

無条件でライフ回復!?

「この『神聖命』はアタックしただけでライフを1つ回復でき、回復した際にライフが3以下なら、ターンに1度エキドウナが回復します」  
「デメリット一切無しとは…」

黄 スピリット

《幻獣神姫エキドウナ》  
げんじゆうしんき

コスト6 軽減黄3 <星将・楽族・想獣>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

<4> Lv3 BP11000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 【神聖命】『このスピリットのアタック時』  
ボイドからコア1個を自分のライフに置く。

その後、自分のライフが3以下のとき、ターンに1回、このスピリットは回復する。

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

???

【合体時】Lv3 『お互いのアタックステップ』

系統：＜楽族＞／＜星将＞を持つ自分のスピリットすべては、相手の効果で破壊されたとき、疲労状態でフィールドに残ることができない。

まずいな……。そうだったら何とか力比べで破壊するしかない。でも今の状態は良くない。

「アタックはどうします?」

「ライフで受ける!」

(悠姫ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「ライフ減少でバースト!《絶甲氷盾》! ボイドからコア1つをライフに置く!」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

(悠姫ライフ4↓5)

「ターンエンドです」

〈悠姫・第六ターン〉

「長期戦は絶対的の不利か……。スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札6↓7)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「お前が来たか……。メインステップ。まずは召喚、《アルティメット・ブレイドドラ》レベル3!」

(手札7↓6)

(リザーブ4↓3)

〔アルティメット・ブレイドドラ コア1 レベル3 BP3000〕

「これで最大軽減! 召喚、《アルティメット・ソードマスター・ドラゴン》! レベル3!」

(手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ0↓2)

〔アルティメット・ソードマスター・ドラゴン コア1 レベル3〕

BP12000」

「バーストをセットして、アタックステップ」

(手札5↓4)

〔バースト：無し↓セット〕

「Uヒノコでアタック！ Uトリガー：は外れるな」

「はい。コスト8のスピリット、《砲天使カノン》です」

「ならアタックはどうする」

「勿論ライフです」

(祐依ライフ5↓4)

(リザーブ0↓1)

「：ターンエンド」

〈祐依・第七ターン〉

「熾天の第七ターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札2↓3)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ2↓4)

「メイנסテップ。《妖精傭兵ドルリー》をレベル1で召喚します」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓1)

(トラッシュユ0↓2)

「妖精傭兵ドルリー コア1 レベル1 BP5000」

「そのままアタックステップに入ります。エキドウナでアタック。

【神聖命】発揮。ライフを1つ回復します」

(祐依ライフ4↓5)

このライフ、無尽蔵なのがキツイ。

赤が取る方法とすれば、回復を上回るアタック。またはあの場を真つさらにするかか…？

「：Uソードマスターでブロック。BPはこちらが上だが…」

「破壊されますが、ここでドルリーの効果発揮です。系統＜楽族＞を持つ私のスピリットが、姉さんのアルティメットにBP比較で破壊さ

れたとき、疲労状態で残ります」

「何っ!?!」

黄 スピリット

《妖精傭兵ドルリー》

コスト5 軽減黄3 <星将・楽族>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP8000

シンボル：黄

Lv1・Lv2

相手は、自分の黄のスピリットすべてのコアを取り除くことができない。

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

系統：<楽族>を持つ自分のスピリットがBPを比べ相手のアルティメットに破壊されたとき、その自分のスピリットは疲労状態でフィールドに残る。

「殴り倒せないだと…!?!」

「ライフは奪えませんが、こちらのライフは増やさせてもらいますよ。ではターンエンドです」

赤の利点を潰してくるとか、黄色はどうなってるんだ…。となれば後は裏牡牛座とかを使って回復量を上回るダメージを与えるしかない。

<悠姫・第八ターン>

「くぬ…。スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ2↓0)

(リザーブ1↓3)

「メインステップ。Uソードマスターのレベル4に」  
(リザーブ3↓1)

「アルティメット：ソードマスター・ドラゴン コア1↓3 レベル3↓4 BP12000↓17000」

「アタックステップ。Uソードマスターでアタック！ ダブルUトリ

ガー！」

「コスト5のマジック《コアドレイン》。コスト6のマジック《デイベアメドレー》です」

「ダブルヒットだ！」

「ではマルチーズにブロックをお願いします」

「なら2ヒット分、ライフ2つをリザーブに落とす！」

(祐依ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「フラッシュタイミング！」

「っ！」

「サキアの効果。お互いのアタックステップ中、私の手札のマジックの軽減は黄としても扱えます。よってマジック《ライフチャージ》。軽減を黄に変え2コストで使用します」

(祐依手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ2↓4)

「対象は現在ブロックしているマルチーズ。破壊して、ボイドからコア3つをリザーブに置きます」

「お掃除妖精マルチーズ 破壊」

(祐依リザーブ1↓4)

「マルチーズレベル2からの効果。私のバーストがセットされている間、マルチーズはあらゆる破壊から耐性を持ち、疲労状態で残ります」  
「なっ!？」

「お掃除妖精マルチーズ 破壊↓疲労状態で残る」

黄 スピリット

《妖精学者サキア》

コスト5 軽減黄3 <星将・楽族>

<1> Lv1 BP4000

<2> Lv2 BP6000

シンボル：黄

Lv1・Lv2 『このスピリットの召喚時』

自分のデッキを上から4枚オープンする。その中のマジックカード1枚を手札に加える。

残ったカードは好きな順番でデッキの上に戻す。

Lv1・Lv2 『お互いのアタックステップ』

自分の手札にあるマジックカードすべての軽減シンボルすべてを「黄」としても扱う。

黄 スピリット

《お掃除妖精マルチーズ》

コスト3 軽減黄2 <楽族>

<1> Lv1 BP1000

<2> Lv2 BP2000

<3> Lv3 BP3000

シンボル：黄

Lv2・Lv3 『このスピリットの破壊時』

自分のバーストをセットしているとき、このスピリットは疲労状態で自分のフィールドに残る。

何だよそれ：!?

このアタックで私は祐依にコアを5つあげただけってことか!?

アタックステップだとあの妖精学者がマジックを、妖精傭兵が戦闘破壊耐性を、マルチーズが破壊耐性持ちと…。

赤の長所を尽く潰されてるな。

「マルチーズはバトルで破壊されますが自身の効果、ドルリーの効果で場に残ります」

「…ターンエンド」

Uヒノコは動かせない。ライフを回復されてライフまで取られちゃ堪らない。誰か一人守りに徹してもらえないかな。

「やはり熾天はああでなくちゃ」

「紫以上にゾンビなんて言われる所以だね」

「あんなの緑じゃ相手にしたくないのですよー」

「手間のかかる相手だヨ黄色は。ホント」



「うひゃー、祐依センパイ容赦無えツス！」

「まさか祐依先輩のデッキって【楽族】…?」

「初期からある系統ですが、03から突如頭角を現し、謎のプッシュを受けましたね」

「前から《華の女王カトレア》ありましたが、祐依さんの扱う<楽族>は愛らしい見た目と反して殺意MAXですわね！」

〈祐依・第九ターン〉

「熾天の第九ターン、スタートステップ」

(リザーブ4↓5)

(手札1↓2)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ5↓9)

「メインステップ。…では、行きますよ」

「っ！」

「星の軍勢率いるは麗しき妖精の将。

《妖精将グロリア》！

レベル1で、参陣！」

(手札2↓1)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュユ0↓3)

「妖精将グロリア コア1 レベル1 BP4000」

「そいつも<星将>か…！」

「その黄色です。召喚時効果発揮！ 手札の<光導>ブレイヴ1つをノーコストで召喚します！ 私の手札には裏乙女座がいるのはもうお分かりですね！」

「っ、ああ…！」

「命普く戦乙女の聖光。慈愛の心を鎧へと宿し、暗闇祓う輝きとなれ！」

《裏黄道十二宮、聖女の魂が一つ》。

《乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ》！

幻獣神姫エキドウナへ、直接合体！」

(手札1↓0)

乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ

← 直接合体

幻獣神姫エキドウナ(合体)

〔コスト：6+5||11〕

〔BP：6000+5000||11000〕

〔合体時：追加・発揮〕

〔シンボル：黄+黄||黄黄〕

「妖精将じやなく幻獣神姫の方に合体させた…」

「グロリアの効果により<光導>ブレイヴの召喚に成功しました。よってトラッシュのマジック2枚、《ライフチャージ》と《コアドレイン》を手札に回収します！」

(手札0↓2)

「リザーブのコアをエキドウナとグロリアに移し、アタックスステップ」  
(リザーブ5↓0)

〔幻獣神姫エキドウナ(合体) コア2↓4 レベル2↓3 BP6000↓11000+5000||16000〕

〔妖精将グロリア コア1↓4 レベル1↓3 BP4000↓8000〕

「エキドウナで合体アタック！ 【神聖命】によりライフ1つ回復します」

(祐依ライフ3↓4)

「ライフが減らない…！」

「どうしますか？ エキドウナのBP1万6千のダブルシンボルです」

「：ライフだ！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ1↓3)

「ライフ減少時でバースト発動！蹴り穿て《リユーマン・ゴッドブレイカー》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「バースト効果でB P 1万以下のドルリーを破壊する！」

「なるほど。戦闘破壊耐性を付加させるドルリーを狙いますか。…ですが、エキドウナレベル3の合体時効果が発揮されます」

「っ!？」

「お互いのアタックステップ中に私の系統・＜楽族＞、＜星将＞が相手の効果で破壊されたとき、疲労状態で場に残ります！」

「効果破壊耐性まで!？」

何てこった…。何とかして合体状態を解かないと何もできないぞ…。

「…私の場にアルティメットがいるため、1枚ドロし、ゴッドブレイカーはレベル3でバースト召喚する」

(手札5↓6)

〔悠姫バースト：発動↓召喚〕

(リザーブ3↓0)

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン    コア3↓1    レベル4↓3」

「リューマン・ゴッドブレイカー    コア5    レベル3    B P 13000」

「ターンエンドです」

〈悠姫・第十ターン〉

「…スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札6↓7)

「メインステップだが…」

マルチーズは祐依のバーストがセットされている限り破壊耐性を持ち、ドルリーは戦闘破壊、エキドウナは効果破壊耐性、サキアの効果でお互いのアタックステップ中はマジック軽減と、隙が無さすぎて辛い。

なら何が出来る…。タイミングを問わない破壊？そんなのが赤にあるか？

「……………」  
「……………」

『緋立さんのお姉さんが長考に入りましたねージャスティスー』  
『うむ。アタックスステップ中に破壊することが敵わない上、Uソード  
マスターでライフ削りたいがダブルヒットじゃなければ意味が薄い。  
苦しいところだろう』

考えろ考えろ…！赤は手札に戻すとか疲労させるとか器用な真似  
はできない。なら何ができる？アタックスステップはダメなん——

「……………つ、待てよ?」

「……………」

「…アタックスステップじゃなければいい”んだな?」

「……………」

「無言は肯定としてって誰かが言ってたな！先にUヒノコとゴッド  
ブレイカーのレベルを下げて…」

「紅炎竜ヒノコ コア2↓1 レベル4↓3」

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア5↓1 レベル3↓1」

(リザーブ1↓6)

「マジック、2枚目の《ネオ・ダブルドロ―(2)》！前と同じく3枚  
ドロ―！」

(手札7↓6)

(リザーブ6↓4)

(トラッシュ0↓2)

(手札6↓9)

「よし！ 召喚、《獅神将シールドドラゴン》レベル1！」

(手札9↓8)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ2↓3)

「獅神将シールドドラゴン コア1 BP5000」

「<神将>スピリット…!?!」

「祐依も同じの使ってたよな！ 獅神将によって手札の Coyts はコスト5になり、最大軽減0コスト！

召喚！《アルティメット・カタストロフドラゴン》!!」

(手札8↓7)

(リザーブ2↓1)

「アルティメット・カタストロフドラゴン コア1 レベル3 B P15000」

「虚神アルティメット…！」

「Uカタストロフの召喚時効果発揮！ 私の場の系統：<古竜>の数だけ、祐依のBP1万以下のスピリットを破壊するぞ！」

「そう来ますか…」

「場の<古竜>は獅神将1体だけだが十分だ！ ドルリーを指定して破壊！」

「妖精傭兵ドルリー BP5000 破壊」

(祐依リザーブ0↓1)

これであの場を崩した！

でも祐依のことだ。こんなの想定内でリカバリぐらいは用意されてるだろう。

「……」

「Uカタストロフをレベル4に。バーストをセットしてアタックステップだ！」

(リザーブ1↓0)

「アルティメット・カタストロフドラゴン コア1↓2 レベル3 ↓4 BP15000↓20000」

(手札7↓6)

(バースト：無し↓セット)

「では姉さんのアタックステップに合体している裏乙女座の効果です。姉さんのコスト2、3、5、7のアルティメットはアタックできません」

黄 ブレイヴ

《乙女星鏡ヴァルゴブレイヴ》

コスト5 軽減黄3 <天霊・光導> 『乙女座・裏』

<1> Lv1 BP5000

<0> 合体 +5000

【合体条件：コスト4以上】

【合体時】フラッシュ『自分のアタックステップ』

自分のスピリットのコア1個を自分のトラッシュに置くことで、このバトルの間、相手のスピリット／アルティメット1体をBP-3000する。

【合体時】『相手のアタックステップ』

コスト2／3／5／7の相手のアルティメットはアタックできない。

「アタック制限か…。だがUカタストロフなら意味は無い！ アタックでUトリガーだ！」

「…っ！ コスト4、スピリット《妖精姫パフューム》です」「ヒットだ！」

祐依の手札にディフェンスネビュラがあるのは知っている。だがたとえ1万落とされてもあの2体なら十分勝てる。しかもUカタストロフならブロックしようがしまいが1つライフを削れる。後は…何とかするさ！

「…パフュームを落とされ、これを切らされるとなったら“手”を変えざるを得ませんね」

「っ！」

「トリガーカウンター！ カウンターマジック《コアドレイン》を使用！」

(祐依手札2↓1)

「紫のマジック!? …コストは!?!」

「エキドウナの効果によりトリガーカウンターマジックをノーコストで使用できるんです」

「ノーコストだと!?!」

《幻獣神姫エキドウナ》

Lv1・Lv2・Lv3 『お互いのアタックステップ』

自分のマジックカードの【トリガーカウンター】を、コストを支払わずに使用できる。

「カウンター効果でUカタストロフのコア2つをトラッシュユヘシユート！ よって消滅！」

「アルティメット・カタストロフドラゴン コア2↓0 消滅」

(悠姫トラッシュユ3↓5)

紫 マジック

《コアドレイン》

コスト5 軽減紫3

【トリガーカウンター】

手札にあるこのマジックカードは、相手のUトリガーがヒットしたとき、ヒット効果発揮前に次の効果を使用できる。

■バトルしている相手のアルティメット1体のコア2個を相手のトラッシュユに置く。

フラッシュユ：

相手のスピリットのコア1個を相手のリザーブに置く。

この効果でコスト5以上のスピリットが消滅したとき、自分のトラッシュユのコア1個を自分のライフに置く。

「やられた……！」

「さあどうします？ 数で圧しますか？」

「……ターンエンドだ」

まさか、Uカタストロフがこんなあっさりとやられるなんて……。いや落ち込むな。祐依の場を崩して手札を切らせたんだ。…次を凌ぐことに集中しろ！

〈祐依・第十一ターン〉

「熾天の第十一ターン、スタートステップ」

(リザーブ1↓2)

(手札1↓2)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ2↓5)

「メインステップ。《小聖女ロメータ》を召喚します」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓3)

(トラッシュ0↓1)

「小聖女ロメーダ コア1 レベル1 BP2000」

「召喚時効果発揮。手札のライフチャージを破棄して、2枚ドローします」

(手札1↓0↓2)

「…来るのが遅いですよ」

「っ！」

「『アンドロメダ』に呼び寄せられるとは、これも因縁ですか。

《海獣ケートス》をレベル1で召喚！」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュ1↓3)

「海獣ケートス コア1 レベル1 BP4000」

「アンドロメダ……ケートス……。ギリシャ神話か」

「神話では女神たちのくだらないゴタゴタに巻き込まれケートスに食べられそうになってきましたが、まさかカードになってまで……という感じでしょう。ロメーダも。」

ケートスの召喚時効果発揮！ 私の場の〈楽族〉、〈星魂〉スピリットの数だけドローします！」

「何っ!？」

「現在場には〈楽族〉スピリットのエキドゥナ、グロリア、マルチーズ、ロメーダ。〈星魂〉スピリットであるケートスの合計5体。よって5枚ドロー！」

(手札1↓6)

黄 スピリット

《海獣ケートス》

コスト6 軽減黄4 〈想獣・星魂〉『鯨座』

〈1〉 Lv1 BP4000



<2> Lv2 BP5000

<4> Lv3 BP7000

シンボル：黄

Lv1・Lv2・Lv3 『このスピリットの召喚時』

系統：<楽族>/<星魂>を持つ自分のスピリット1体につき、自分分はデッキから1枚ドロウする。

【合体時】 Lv2・Lv3 『このスピリットの合体アタック時』

相手のアルティメットにブロックされたとき、この合体スピリットのブレイヴ1つを手札に戻すことで、BPを比ばずにブロックされなかったものとして扱う。

手札を補充された…！

祐依、決めに掛かる気か!?

「更に！抜き放て天使の剣刃！

《光翼の神剣エンジェリックフエザー》！

妖精将グロリアへ、直接合体!!」

(手札6↓5)

「妖精学者サキア コア1↓0 消滅」

「妖精将グロリア コア4↓2 レベル3↓2 BP8000↓6000」

(トラッシュ3↓6)

光翼の神剣エンジェリックフエザー

← 直接合体

妖精将グロリア (合体)

「コスト：6+5=11」

「BP：4000+5000=9000」

【合体時：追加】

「シンボル：黄+黄=黄黄」

「アタックステップ！グロリア、剣刃合体アタック！」

「そっちから来たか！」

「光黄剣の合体アタック時効果！ ドシャットのBPを3000ダウン！そこにワン・チャージ【1強化】して4000ダウン！」

「リューマン・ドシャット B P 1000—4000=0」

「これでB Pが0になったため、グロリアは回復します!」

「0にして回復するの…!」

「妖精将グロリア (合体) 疲労↓回復」

黄 ブレイヴ (光)

《光翼の神剣エンジェリックフェザー》

コスト5 軽減黄2 <剣刃>

<1> L v 1 B P 5000

<0> 合体 +5000

シンボル：黄

L v 1【強化】

自分の「B P—効果」を—1000する。

【合体条件：コスト5以上】

【合体時】【強化】

自分の「B P—効果」を—1000する。

【合体時】『このスピリットの合体アタック時』

このターンの間、相手のスピリット1体をB P—3000する。

その相手のスピリットがターンで初めてB P 0になったとき、このスピリットは回復する。

「更にグロリアのレベル2からの合体時効果により、姉さんのアルティメットからブロックされません!」

黄 スピリット

《妖精将グロリア》

コスト6 軽減黄3 <星将・楽族>

<1> L v 1 B P 4000

<2> L v 2 B P 6000

<4> L v 3 B P 8000

シンボル：黄

L v 1・L v 2・L v 3『このスピリットの召喚時』

自分の手札にある系統：<光導>/<星魂>を持つブレイヴカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

この効果で系統：＜光導＞を持つブレイヴが召喚されたとき、自分のトラッシュにあるマジックカード2枚を手札に戻す。

【合体時】Lv2・Lv3『このスピリットの合体アタック時』

このスピリットは相手のアルティメットからブロックされない。

「っ…！」

「さあ、どうします！」

「ここで何としても…！」

「フラッシュタイミング！」

「っ！」

「マジック《ブレイジングバースト》！ コストはドシャットとクロウから受け取る！」

(悠姫手札6↓5)

「リユーマン・ドシャット コア1↓0 消滅」

「リユーマン・クロウ コア1↓0 消滅」

(トラッシュ5↓7)

「赤のスピリット、シールドドラゴンを破壊することで、このターン私のライフはスピリットのアタックでは1しか減らされない！」

「獅神将シールドドラゴン 破壊」

(悠姫リザーブ0↓1)

「アタックはライフだ！」

(悠姫ライフ3↓2)

(リザーブ1↓2)

「ならライフ回復だけでもさせてもらいます！ エキドウナで合体アタック！ 【神聖命】 発揮！」

(祐依ライフ4↓5)

「アタックしたな、祐依！」

「っ!？」

「アタックに反応してバースト発動！ 《トライアングルバースト》！ 手札のコスト4アルティメット《炎極天リユーマン・バースト》をノーコスト召喚！」

(悠姫バースト：セット↓発動)

(手札5↓4)

(悠姫リザーブ2↓1)

「炎極天リユーマン・バースト コア1 レベル3 BP6000」

「ここで…? 一体何を…」

「アタックはブロックしないぞ!」

「:ならこのままターンエンドです」

〈悠姫・第十二ターン〉

「回った! スタートステップ!」

(リザーブ1↓2)

(手札4↓5)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ2↓9)

「メインステップ! 出番だ相棒!

召喚! 《アルティメット・ムゲンドラゴン》!」

(手札5↓4)

(リザーブ9↓5)

(トラッシュユ0↓3)

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア1 レベル3 BP11000」

「バーストをセットして、マジック《アルティメットフレイム》だ!!」  
(手札4↓2)

〈悠姫バースト:無し↓セット〉

「っ!?!」

「Uムゲン、Uヒノコ、Uソードマスター、炎極天、Uブレイドラで究極シンボル5つ。更に赤シンボルとしても扱えて、ゴッドブレイカーの赤シンボル1つで最大軽減! よって0コストで使える!」

私の場合も含めて合体スピリットすべてを破壊する! 更にバーストがセットされているならば、シンボル1つの相手スピリット1体を破壊! 対象はマルチーズだ!」

赤 マジック

《アルティメットフレイム》

コスト6 軽減赤2極4

フラッシュ:

合体スピリットすべてを破壊する。

自分のバーストをセットしているとき、さらに、シンボル1つの相手のスピリット1体を破壊する。

「姉さんの場に合体スピリットはいない。：エキドゥナとグロリアは破壊され、裏乙女座と光黄剣は場に残します」

「幻獣神姫エキドゥナ 破壊」

「妖精将グロリア 破壊」

「乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ 残留 コア1 レベル1 BP5000」

「光翼の神剣エンジェリックフェザー 残留 コア1 レベル1 BP5000」

「お掃除妖精マルチーズ 破壊↓疲労状態で残る」

(祐依リザーブ0↓4)

「次に召喚、《リューマン・ファンタジスタ》レベル1!」

(手札2↓1)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ3↓6)

「リューマン・ファンタジスタ コア2 レベル1 BP5000」

「これでアタックステップに入る! ファンタジスタの効果発揮!

トラッシュのコアをファンタジスタに2つ、ゴッドブレイカーに4つ移す!」

(トラッシュ6↓0)

「リューマン・ファンタジスタ コア2↓4 レベル1↓2 BP

5000↓7000」

「リューマン・ゴッドブレイカー コア1↓5 レベル1↓3 B

P6000↓13000」

「ファンタジスタレベル2からの効果! 私の場のアルティメット1体につきファンタジスタとゴッドブレイカーのBPをプラス5千!

今いるのは5体、よって2万5千の爆上げだ!!」

「リユーマン・ファンタジスタ BP7000+25000〓32000」

「リユーマン・ゴッドブレイカー BP13000+25000〓38000」

「：黄色にBP勝負を挑むのは不毛なだけですよ」

「そうかもな。ウムゲンでアタック！ダブルUトリガー！」

「——コスト2、マジック《ミストバラッジ》。コスト3、マジック《サドングエストロー》」

「ダブルヒット！ カウンターがなければBP5千以下の相手スピリットを全破壊だ！」

「っ…」

「乙女星鎧ヴァルゴブレイヴ BP5000 破壊」

「光翼の神剣エンジェリックフェザー BP5000 破壊」

「お掃除妖精マルチーズ BP2000 破壊↓疲労状態で残る」

「小聖女ロメーダ BP2000 破壊」

「海獣ケートス BP4000 破壊」

（祐依リザーブ4↓8）

「いよっしーこれで祐依の場を更地にできた！」

「更に赤のシンボル2つを追加してトリプルシンボルだ！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン シンボル極+赤赤〓極赤赤」

「そのアタックはライフで受けます！」

（祐依ライフ5↓2）

（祐依リザーブ8↓11）

「ライフ減少によりバースト発動！」

「殲滅の使徒《砲天使カノン（2）》！」

〔祐依バースト：セット↓発動〕

「バースト効果！姉さんの場合全てのスピリット、アルティメットのBPを1万ダウン！ それにより0になった者は破壊されます！」

「リユーマン・ゴッドブレイカー BP38000—10000〓28000」

「リユーマン・ファンタジスタ BP32000—10000〓2

2000]

「アルティメット・ブレイドラ BP3000—10000〓0  
破壊」

「紅炎竜ヒノコ BP9000—10000〓0 破壊」

「炎極天リユーマン・バースト BP6000—10000〓0  
破壊」

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン BP12000—1  
0000〓20000」

「アルティメット・ムゲンドラゴン BP11000—10000  
〓10000」

(悠姫リザーブ0↓3)

「そしてレベル3でバースト召喚！ アルティメットを破壊されたの  
で、ゴッドブレイカー達のBPもその分当然落ちます！」

(祐依リザーブ11↓0)

「砲天使カノン (2) コア11 レベル3 BP10000」

「リユーマン・ゴッドブレイカー」 BP28000—15000〓  
13000」

「リユーマン・ファンタジスタ BP22000—15000〓7  
000」

くっ…！ やっぱあの天使反則だろ！ 上げた分丸々帳消しにするな  
んて！

「まだまだ！ Uソードマスター、アタック！ 【真・激突】だ！」

「身を挺してスピリットのアタックを通そうとしますか…。 ですが、  
フラッシュユタイミング！」

「だろうよ！」

「マジック 《エンジェルストライク》！」

(祐依手札5↓4)

「砲天使カノン コア11↓9」

(トラッシュユ6↓7)

「UソードマスターのBPを5千ダウン！ これで0になったため破壊  
！ 更にスピリットたちのBPも下がります！」

「アルティメット・ソードマスター・ドラゴン 20000—5000  
||0 破壊」

(悠姫リザーブ3↓4)

「リューマン・ゴッドブレイカー」 BP13000—5000||8  
000」

「リューマン・ファンタジスタ BP7000—5000||200  
0」

「ソードマスターが…!」

「更にフラッシュユタイミング! マジック《ステイルハート》!  
(祐依手札4↓3)

「砲天使カノン コア9↓8」  
(トラッシュユ8↓9)

「対象はゴッドブレイカーを選択。このターン中、ゴッドブレイカー  
のシンボルは0になり、増えることはありません!」

「シンボルを消すマジック…!?!」

「これで回復からの連続アタックは無意味になりました」

黄 マジック

《ステイルハート》

コスト3 軽減黄2

フラッシュユ:

このターンの間、相手のスピリット1体のシンボルを0にする。  
この効果は、メインステップで使えない。

「更にフラッシュユ! マジック《エンジェルストライク(2)》! ファ  
ンタジスタのBPを5千ダウン! 押し潰します!」

(祐依手札3↓2)

「砲天使カノン コア8↓6」  
(トラッシュユ9↓11)

「リューマン・ファンタジスタ BP2000—5000||0 破  
壊」

(悠姫リザーブ3↓7)

「ファンタジスタまで…!」



「これで姉さんの場合はこちらと同じく壊滅。…これで終わりです」

「……まだだ!」

「っ!」

「終わりかどうかは、このバーストを見てから言うんだな! スピリットの破壊でバースト発動!

《アルティメット・シヨコドラ》!」

〔悠姫バースト:セット↓発動↓召喚〕

「Uシヨコドラ!」

「レベル6でバースト召喚! 砲天使の効果でBPが1万下がるが問題無い!」

(悠姫リザーブ8↓4)

「アルティメット・シヨコドラ コア4 レベル6 BP2000  
0—100000=100000」

「Uシヨコドラでアタック!Uトリガー!」

「——こ、コスト4、ブレイヴ 《兎星鎧ラビッタ》……!」

「ヒットだ! カウンターは!」

「……ありません」

「なら手札の<新生>アルティメット、《アルティメット・ドライアン》をレベル6でノーコスト召喚だ!」

(悠姫手札1↓0)

(リザーブ4↓0)

「リユーマン・ゴッドブレイカー コア5↓3 レベル3↓2 B  
P13000↓10000—10000=0」

「アルティメット・ドライアン コア6 レベル6 BP2800  
0—100000=180000」

「Uドライアン、レベル6の効果! Uドライアン以外の私のアルティメット全員のレベルを最大にする!」

「っ! まさかこれを狙って……!」

「Uムゲンのレベルもアタックステップ中最大になる。よって、Uムゲンの【Uエナジー】も発揮だ!」

「アルティメット・ムゲンドラゴン レベル3↓6 BP1100

0↓300000—100000=200000」

「アルティメット・シヨコドラ シンボル極+赤=極赤」

「アルティメット・ドライアン シンボル極+赤=極赤」

「……………」

「UシヨコドラとUドライアンはダブルシンボル!どちらからも守らないと後が無いぞー!」

「悔ったツケですか…。ここまでのようです」

「なら…!」

「私の負けです。」

「……………ライフで受けます!!」

(祐依ライフ2↓0)

〔winner!! 緋立 悠姫〕

・

## 『称号戦』 決勝戦

『勝負あり!! この姉妹対決を制したのは、緋立 悠姫さんだあツ!!』  
ジャスティスの言葉に、熱くなっていた思考が元に戻っていく。…  
静かに深呼吸して、息を整える。

『最終戦の白銀に挑むのは、名無しネームレスの彼女だあツ!!』

「姉さんの相棒から目を離れたのが運の尽き…というのは、言い訳です  
すね」

「祐依…」

「何も言わないでお姉ちゃん。…次は負けないから」

「…ああ」

「璃恵さん驚くよきつと。お姉ちゃんの成長ぶりに」

「多分、な」

「必ず勝つてよ」

「もちろん」

祐依と、感謝と約束の握手を交わす。観客から大きな拍手が送られる中、祐依はスタッフさんに従い舞台を降りた。

『さあ、カードバトラー達よ!』

遂に、遂に決勝戦を残すのみとなった!

そして優勝を争うのは、この二人!

一人は初出場であり、称号を持たない新星のカードバトラー!

そしてシードにより待ち構えるは、数々の猛者を降し、“銀嶺”と

“白銀”の称号を持つ最強のカードバトラーだ!』

向かいの舞台袖からスモークが上がり、派手に現れたのは…言うまでもなく璃恵。

不敵に笑うその目には、待ちくたびれたと見て取れる。

「やツと、ここまで来てくれたネ。悠姫」

「ようやく、ここまで来れたぞ。璃恵」

『二人が席に着いたらお互いデッキをシャッフルし、セットしてくれ！』  
…泣いても笑ってもこれが最後のバトルだ！会場の皆も見守っているー！』

『では…称号戦、ラスト決勝戦!!』

ゲートオープン!!』

『『『』 界 放 !! 』』』

この対戦に到るまで、長かったような短かったような。

今対峙している璃恵の表情は生き生きとしていて、初めて私がバトルスピリッツを触ったときと同じ顔をしていた。

対する私は、不思議と疲れが無い。頭もスッキリしている妙な感覚。

そして心が燃える…璃恵と対戦できたのに喜び、熱くなってる感覚。

決勝戦

V S 白鐘 璃恵

〈悠姫・先攻第一ターン〉

「先攻は私らしい。スタートステップ」

(リザーブ4)

(手札4↓5)

「メインステップ。ネクサス《ガイナロック大渓谷》を配置」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓4)

「ねえ悠姫。ワタシと悠姫が初めてバトルしたの、覚えてる?」

「…どうだったかな」

「え〜?」

「ムゲン達を手札に戻されて、Uキヤノンベルでトドメさされたぐら

いしか覚えてないな」

「ウププ♪しっかり覚えてンじゃん♪」

あの時は本当に初心者だったからな。璃恵が手加減していてくれなければああはならなかっただろう。

「バーストをセットしてターンエンドだ」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

〈璃恵・後攻第二ターン〉

「じゃあ見せてもらおっかな。悠姫が皆を倒してここまでたどり着いた力をサ！」

白銀の第一ターン！スタートステップ！」

(リザーブ4↓5)

(手札4↓5)

璃恵のデッキは：言わずもがな『白』だろう。

あいつの最強にして最高のデッキ。

「：フッフ♪ ネクサス！《常冬の街フィンプール》を配置イ！」

(手札5↓4)

(リザーブ5↓0)

(トラッシュ0↓5)

「バーストをセットしてターンエンド♪」

(手札4↓3)

(バースト：無し↓セット)

白 ネクサス

《常冬の街フィンプール》

コスト5 軽減白3

<0> Lv1

<3> Lv2

シンボル：白

Lv1・Lv2 『相手のアタックステップ』

自分の白のスピリットがブロックしたとき、ボイドからコア1個をそのスピリットに置き、このバトルの間、BP+3000する。

Lv2 『相手のアタックステップ』

ステップ開始時、相手のスピリット1体を指定できる。そのスピリットは、可能なら必ずアタックする。

「お互い初手はネクサスとバーストで様子見か」

「でも悠姫がやや不利かしら。あのフィンブルーは厄介よ」

「でもお姉さんならあんなのへっちゃらちやらのですよ！」

「お姉様：頑張って…」

〈悠姫・第三ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ。召喚、《ムゲンドラ》レベル1」

(手札4↓3)

(リザーブ5↓4)

「ムゲンドラ コア1 レベル1 BP1000」

「ムゲンドラ？」

「こいつは私の『相棒』さ。次に召喚、《アルティメット・ブレイドラ》レベル3」

(手札3↓2)

(リザーブ4↓3)

「アルティメット・ブレイドラ コア1 レベル3 BP3000」  
「更にマジック《ネオ・ダブルドロ》。Uブレイドラがいるため3枚

ドロースる」

(手札2↓1)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ0↓2)

(手札1↓4)

「手札を増やしてどうすんのかなア？ ワタシが水銀島やら配置する前にガッツリ持ッておきたいッてトコ？」

「さてな。ターンエンドだ」

璃恵の言ったことの一部当たりだ。だが、ちよつと違う。

〈璃恵・第四ターン〉

「何企ンでのかな？ 白銀の第四ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札3↓4)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メイנסテップ！ ならワタシもネクサス《ジグザール鋼鉄草原》を

配置ー」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュユ0↓3)

「更にイ、《リーディング・オリックス》をレベル2で召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ3↓4)

「リーディング・オリックス コア2 レベル2 BP4000」

「そいつは…」

「そら、動いてみるかい？ アタックスステップ…は何もせず終えてオリックスの効果発揮！ ワタシの場に白のカードしか無いとき、ドローステップをもいッかい行う！ 更にドロローの代わりにデッキトップをオープン！」

●オープンされたカード

・《ターコイズ・ドラゴン》(甲竜)

「おつと。〈機獣〉じゃなかつたからコアブは無し。手札に加えるツと」

(手札2↓3)

「アップ♪ 何かしないと手エ増やすヨ♪ ターンエンド♪」

これはあいつの挑発だ。

璃恵の場はこのまま放っておけばコアも手札も差が開く。そして私が動くのを誘っている。

……なら、飛び込んで、吹っ飛ばしてやればいい！

〈悠姫・第五ターン〉

「スタートステップ」

（リザーブ1↓2）

（手札4↓5）

（トラッシュユ2↓0）

（リザーブ2↓4）

「メインステップ」。

召喚、《リューマン・クロウ》レベル1」

（手札5↓4）

（リザーブ4↓3）

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

「更に召喚！ 《アルティメット・エクス・キャリバス》レベル3！ レベルにはUブレイドラから受け取る！」

（手札4↓3）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュユ0↓3）

「アルティメット・ブレイドラ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・エクス・キャリバス コア1 レベル3 BP1

0000」

「フム…」

「アタックステップ、Uエクス・キャリバスでアタック！ Uトリガー！」

「——コスト5、スピリット 《運命姫神ヴェルザンデイ》ツと」

「ヒット！ UエクスキャリバスのBP以下のスピリット1体、リーディング・オリックスを破壊する！」

「リーディング・オリックス BP4000 破壊」

（璃恵リザーブ0↓2）



「アタックはどうする！」

「ライフで受けたげるヨ！」

(璃恵ライフ5↓4)

(リザーブ2↓3)

「ライフ減少でバースト発動！」

掻き鳴らせ！《ノイジーレイヴン》！

レベル2で、Let's ROCK!!

(璃恵バースト：セット↓発動↓召喚)

(リザーブ3↓0)

「ノイジーレイヴン コア3 レベル2 BP9000」

「この鳥は【超装甲・赤】持ちのBP9千！ そう簡単にやられない

ヨ！」

「さすが固いな…！」

「更にはバースト効果で追撃のバーストセットもできちゃう！」

(璃恵手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「更におまけの召喚時効果発揮！ 悠姫のスピリット1体、ムゲンに

は手札へお帰り願うヨ！」

「バウンスまで備えてるのか！」

「ムゲンドラ 手札へ」

(悠姫手札3↓4)

(リザーブ0↓1)

白 スピリット

《ノイジーレイヴン》

コスト6 軽減白3 <機獣>

<1> Lv1 BP5000

<3> Lv2 BP9000

シンボル：白

【バースト：自分のライフ減少後】

このスピリットカードを召喚する。その後、自分の手札にあるバースト効果を持つカード1枚をセットできる。

Lv1・Lv2『このスピリットの召喚時』  
相手のスピリット1体を手札に戻す。

Lv2【超装甲：赤】

このスピリットは、相手の赤のスピリット／アルティメット／ネクスス／マジックの効果を受けない。

「フフン♪ これで——」

「その召喚時効果、待ってたぞ！」

「ッ…!？」

「召喚時効果に反応して、バースト発動！ 《プテラヴァクセン》！」

《悠姫バースト：セット↓発動》

璃恵の〈機獣〉には召喚時効果を持ったやつが多数いる。実際それを身を持って実感したからな。お前が最初に来てくれて助かったよ！

「バースト効果でBP6千まで破壊できるが、破壊できるやつはいない。だが、その後の召喚時効果で、お前のネクスス2つは破壊させてもらうぞ！」

「や…やツてくれンじゃない悠姫イ…！」

《悠姫バースト：発動↓召喚》

(リザーブ1↓0)

「プテラヴァクセン コア1 レベル1 BP3000」

「常冬の街フィンブル 破壊」

「ジグザール鋼鉄草原 破壊」

これで璃恵の足場が崩れた。待った甲斐があったと言うもの。

「悠長にしていると何だつて？ 璃恵」

「ぐぬウ…！言うようになつたじゃんか…！」

「おかげさまでな。ターンエンドだ」

〈璃恵・第六ターン〉

「立て直しかまツたく！ 白銀の第六ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「…《ターコイズ・ドラゴン》を召喚！」

(手札3↓2)

(リザーブ5↓2)

(トラッシュ0↓2)

「ターコイズ・ドラゴン コア1 レベル1 BP2000」

「次に召喚するのは

裏黄道十二宮、神水の魂が一つ！

《宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス》！

ノイジーレイヴンに直接合体!!」

(手札2↓1)

(リザーブ2↓0)

「ノイジーレイヴン コア3↓2 レベル2↓1」

(トラッシュ2↓5)

宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

← 直接合体

ノイジーレイヴン (合体)

「コスト：6+5||11」

「BP：5000+7000||12000」

「合体時：追加」

「シンボル：白+白||白白」

「無理矢理出した？ …いや、違うか」

「アタックステップ!…は何せず終了してエンドステップ! 裏水瓶座を手札に戻してノイジーレイヴンに1コアブースト!ほいでターンエンド!」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 手札に」

(手札1↓2)

「ノイジーレイヴン コア2↓3 レベル1↓2」

コアブーストするために出したのか。ノイジーレイヴンは超装甲を得るにはレベル2になる必要がある。裏水瓶座は調度よかったという感じか。

「こちらにコアを与えず自分はコアを増やす。アルティメットを出さなければ私の手札も増えることは無い。」

〈悠姫・第七ターン〉

「スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札4↓5)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ1↓4)

「メインステップ。……ムゲン、もう一度来い！」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓3)

「ムゲンドラ コア1 レベル1」

「更に召喚、《ホワイトホール・ドラゴン》レベル1！」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓1)

(トラッシュユ0↓1)

「ホワイトホール・ドラゴン コア1 レベル1 BP3000」

「うげっ!? バウンス耐性?!」

「プテラヴァクセンのコアとリザーブのコアをUエクス・キャリバスに移し、バーストをセットして、アタックスステップ！」

(リザーブ1↓0)

「プテラヴァクセン コア1↓0 消滅」

「アルティメット・エクス・キャリバス コア1↓3 レベル3↓4

BP10000↓15000」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「Uエクス・キャリバス、アタック！Uトリガー！」

「——コスト2、マジック《ミストバラッジ》！」

「クリティカルヒット！」

「おおっとソイツは通せないナア！ トリガーカウンターを使うヨ！」

「っ！」

「その龍の聖剣は、ウチの『星剣』が捌いてあげるヨ！ カウンターブレイヴ《剣星鎧ソードフィッシュ》をノイジーレイヴンに直接合体！」

(璃恵手札2↓1)

「ノイジーレイヴン コア3↓1 レベル2↓1」

(トラッシュユ5↓7)

剣星鎧ソードフィッシュ

← 直接合体

ノイジーレイヴン (合体)

「コスト：6+4≡10」

「BP：5000+4000≡9000」

「合体時：追加」

「シンボル：白+白≡白白」

「このターン、悠姫のアルティメットからの効果は受けない！」

「だが貫通効果はスピリットに及ぶ効果じゃない！アタックはどうする！」

「わーッてるヨ！ターコイズ・ドラゴンでブロック！」

「クリティカルヒット効果！BP6千以下のスピリットにブロックされたとき、ライフ1つをリザーブへ置く！」

(璃恵ライフ4↓3)

(リザーブ0↓1)

「ワタシを後手に回させたうえにライフを触らせないしバウンス耐性とか、ホントヤラしくなッたよ悠姫イ……！」

「そりやどうも！あんだだけ徹底的に負ければこうもなる！」

「だッたら……本気の本気を見せてあげようか!!」

本気の本気とは、璃恵らしいというか言い訳チックとか……。だが、それこそ本気になるくらいヤバいって認識でいいのか？

「ターコイズ・ドラゴンのブロック時効果！ ボイドからコア2つを置いて、レベル2になりBPを3千UP！」

「ターコイズ・ドラゴン コア1↓3 レベル1↓2 BP200

0↓4000+3000=7000]

白 スピリット

《ターコイズ・ドラゴン》

コスト3 軽減白1青1 <甲竜>

<1> Lv1 BP2000

<3> Lv2 BP4000

シンボル：白

Lv1・Lv2 『このスピリットのブロック時』

ボイドからコア2個をこのスピリットに置き、このスピリットをB  
P+3000する。

【連鎖：条件《青シンボル》】

「青」：ターンに1回、コスト10以上の自分のスピリットすべてを  
回復させる。

「勿論敵わず破壊されるけど役目は果たした！お疲れ！」

「ターコイズ・ドラゴン 破壊」

(璃恵リザーブ1↓4)

「スピリットの破壊で、バーストオツ！」

虹の翼、《重巡機ピーコックルーザー》!!」

(璃恵バースト：セット↓発動)

「っ、バーストスピリット…！」

「バースト効果！ワタシのデッキトップ3枚オープン！ そのオープ  
ンされたカードが<機獣>スピリット、アルティメットだったなら  
…」

●オープンされたカード

・《鋼極天ゴールデン・バッファロー》

・《機獣要塞ナウマンガルド》

・《究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー》

「ハッハアツ!! それらを全てノーコストで召喚できちゃうんだヨ  
ねエツ!!」

「全部召喚…!?!」

「当然全て召喚ツ!!何とかしてみせなヨ悠姫イ!!」

(リザーブ4↓0)

「鋼極天ゴルドン・バッファロー コア1 レベル1 BP8000」

「機獣要塞ナウマンガルド コア1 レベル1 BP7000」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア1 レベル1」

〔璃恵バースト：発動↓召喚〕

「重巡機ピーコックルーパー コア1 レベル1 BP6000」

「一気に大型4体ノーコスト召喚…。いつ見てもえげつない光景ね」

「あれが＜機獣＞だけでよかったよ。もし白のくとかだったと思うと、ね」

「お姉さん、ここが正念場なのですよ！」

「さアアタツクを続けるかい悠姫！」

「：ターンエンド」

〈璃恵・第八ターン〉

「白銀の第八ターン、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札1↓2)

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ！ そう決着を急がないでヨ悠姫イ、まだまだここからなんだからさア！」

「ここからか…。手札は無いがコアはある。ホワイトホール・ドラゴンがいるからって油断してたら一瞬だ。」

「裏水瓶座をナウマンガルドに直接合体！」

(手札2↓1)

(リザーブ8↓5)

(トラッシュユ0↓3)

宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

← 直接合体

機獣要塞ナウマンガルド（合体）

「コスト：8+5≡13」

「BP：7000+7000≡14000」

「合体時：追加」

「シンボル：白白+白≡白白白」

「次にナウマンガルド、Uザウラー、ピーコックルーザーのレベルを上げてツと」

（リザーブ5↓0）

「機獣要塞ナウマンガルド（合体） コア1↓4 レベル1↓2 B  
P7000↓12000+7000≡19000」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア1↓2 レベル3  
↓4 BP10000↓15000」

「重巡機<sup>ピーコックルーザー</sup> コア1↓2 レベル1↓2 BP6  
000↓10000」

「アタックステップ！ Uザウラーでアタックウ！ アルティメット  
トリガー、ロックオン！」

動いたか…！

「——コスト3、スピリット《リニューマン・インフィニティ》！」

「Yes! Critical Hit!!」

ヒット効果でUザウラーはスピリットからブロックされない！  
更にクリティカル効果で究極シンボル1つ追加！」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー シンボル極+極≡極  
極」

「ダブルシンボル…！」

「更にピーコックルーザーレベル2からの効果！ ワタシの<機獣>  
アルティメットを、悠姫のアルティメットがブロックしたら回復する  
ヨ！」

「っ!？」

スピリットでのブロックを許さないどころか、アルティメットでブ  
ロックすれば回復だと…!？」

「っ……ライフだ！」



「Uザウラーはダブルシンボル！」

(悠姫ライフ5↓3)

(リザーブ0↓2)

「くっ、ライフ減少時にバースト発動！《絶甲氷盾》！ライフを1つ回復して、追加コストを支払いアタックステップを強制終了させる！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

(悠姫ライフ3↓4)

(リザーブ2↓0)

「アルティメット・エクス・キャリバス コア3↓1 レベル4↓  
3」

(トラッシュユ1↓5)

「ウププ：♪ アタックステップ終了。そこでナウマンガルドの効果発揮！ドローステップをもう1回行うヨ！」

(璃恵手札1↓2)

「更に更にエンドステップに裏水瓶座の効果！ 召喚時効果を持たないブレイヴ、ソードフィッシュを手札に戻してノイジーレイヴンに1コアブースト！」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 手札に」

(手札2↓3)

「ノイジーレイヴン コア1↓2」

あの剣星鎧が手札に戻ったって事はほぼアルティメットの効果が通らなくなった。しかも裏水瓶座は【超装甲・赤】があるから破壊しなくてもできない。

〈悠姫・第九ターン〉

「：スタートステップ」

(リザーブ0↓1)

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ1↓6)

「メイנסテップ。

召喚、《アルティメット・レオン・ハウル》レベル4！ レベルにはリューマン・クロウから受け取る！」

(手札3↓2)

(リザーブ6↓0)

(トラッシュ0↓4)

「リューマン・クロウ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・レオン・ハウル コア3 レベル4 B P 15000」

「あッ、それ！」

「お前がくれたカードだ！ 召喚時効果、B P 1万以下のスピリット1体。ピーコックルーザーを破壊させてもらう！」

「…こツち狙ツて来たのネ」

「回復効果持ちは早めに潰させてもらう！ そして今消滅させた《リューマン・クロウ》を手札に戻す！」

「重巡機ピーコックルーザー B P 10000 破壊」

(悠姫手札2↓3)

(璃恵リザーブ0↓2)

「バーストをセットしてアタックステップ！」

(手札3↓2)

(バースト：無し↓セット)

「Uレオン・ハウル、アタック！Uトリガー！」

「自身に掛かる効果ならソードフィッシュは意味無しッて…。コスト4、スピリット《メカトリス》！」

「ヒット！ Uレオン・ハウルのB Pをプラス1万！」

「アルティメット・レオン・ハウル B P 15000 + 10000 = 25000」

「さあどうする！」

「…：ナウマンガードでブロック！」

「何もなければ破壊だ！」

「破壊はされてやるけど、3枚ドロートと3コアブーストの補給させてもらうけどネ！」

「機獣要塞ナウマンガルド 破壊」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 残留 コア1 レベル1 BP  
5000」

(璃恵手札3↓6)

(リザーブ2↓5↓8)

「ターンエンド」

お互い潰し潰されだが、差が開きつつある。

〈璃恵・第十ターン〉

「楽しい、楽しいよ悠姫イ！ 白銀の第十ターン、スタートステップ  
！」

(リザーブ8↓9)

(手札6↓7)

(トラッシュユ3↓0)

(リザーブ9↓12)

「メイン！今度はワタシが攻め立てる番！

白の北斗七星！その名は緑存！

《究極北斗アポロドラゴン・フェクダ》！

レベル3で降臨!!」

(手札7↓6)

(リザーブ12↓8)

(トラッシュユ0↓3)

「究極北斗アポロドラゴン・フェクダ コア1 レベル3 BP  
0000」

「召喚時アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト4、マジック《キャノンボール》！」

「ヒットオ♪ 手札のコスト6以下の白スピリット、《ヒスイ・キャノ  
ン・ドラゴン》をノーコスト召喚！」

(手札6↓5)

(リザーブ8↓7)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア1 レベル1 BP5000」

「更に豪華特典の召喚時効果ア！ 手札の系統：〈甲竜〉スピリット、

アルティメットをノーコストで召喚する！」

「召喚するのは…」

「That's right♪」

無敵の甲竜、《甲竜戦艦エンタープライズ》！ 抜錨ツ!!」

(手札5↓4)

(リザーブ7↓6)

「甲竜戦艦エンタープライズ コア1 レベル1 BP10000」

「また一気に3体…！ だがガイナロック大渓谷の効果で2枚ドロ―する！」

(悠姫手札2↓4)

「まだまだ！」

白の次代アルティメット、《電神皇トレイン》を召喚！」

(手札4↓3)

(リザーブ6↓3)

(トラッシュ3↓5)

「電神皇トレイン コア1 レベル3 BP9000」

「っ、2枚ドロ―！」

(悠姫手札4↓6)

「最後！」

白銀の剣刃その瞳に刻め!!

《白夜の宝剣ミッドナイト・サン》！

甲竜戦艦の「刃」となれ!!」

(手札3↓2)

白夜の宝剣ミッドナイト・サン

← 直接合体

甲竜戦艦エンタープライズ (合体)

「コスト：10+6≡16」

「BP：15000+5000≡20000」

「合体時：追加」

「シンボル：白白+白≡白白白」

「白闇剣の【連鎖】無視効果でエンタープライズの連鎖は常時レベル3！」

「っ!？」

「更にフェクダ、ヒスイ、トレインのレベルアップ！ 裏水瓶座をヒスイ・キャノン・ドラゴンに合体！ そしてアタックステップ！」

(リザーブ3↓0)

「ノイジーレイヴン コア2↓1」

「究極北斗アポドラゴン・フェクダ コア1↓2」

「電神皇トレイン コア1↓2」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン コア1↓2」

宝瓶星鎧ブレイヴアケリアス

← 合体

ヒスイ・キャノン・ドラゴン (合体)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン (合体) コア2↓3 レベル1↓2

BP5000↓7000」

「コスト：6+5=11」

「BP：7000+7000=14000」

「合体時：追加」

「シンボル：白+白=白白」

白 アルティメット

《究極北斗アポドラゴン・フェクダ》

コスト6 軽減白3 <新生・星竜>

【召喚条件：自分の白スピリット1体以上】

<1> Lv3 BP10000

<2> Lv4 BP13000

<4> Lv5 BP20000

シンボル：極

【Uトリガー】Lv3・Lv4・Lv5『このアルティメットの召喚時』

Uトリガーがヒットしたとき、自分の手札にある、コスト6以下の白のスピリットカード1枚を、コストを支払わずに召喚できる。

Lv4・Lv5『相手のアタックステップ』

系統：＜甲竜＞／＜武装＞を持つ自分のスピリットすべてをBP＋3000する。

「悠姫イ！大好きな悠姫イ！！」

バウンスとかコアシユートなんざ小細工はいらない！！

真正面から殴りあおうよッ！！」

「望むところだ…！来い、璃恵！！」

正面からのバトルなら望むところ…とは言ったが状況が悪い。

だが啖呵は切ったんだ。張り合うのは上等！

「エンタープライズ、出撃イツ！！」

「そいつからか！」

「ライフ3つ捧げるか！やられてライフ2つ抉られるか！」

「：ホワイトホール・ドラゴンでブロック！」

「何も無いならエンタープライズを回復させ、ライフ2つ頂きイ！」

「ホワイトホール・ドラゴン 破壊」

「甲竜戦艦エンタープライズ（合体） 疲労↓回復」

（悠姫ライフ4↓2）

（リザーブ1↓3）

「スピリット破壊でバースト発動！ 《シンフォニックバースト》！」

〔悠姫バースト：セット↓発動〕

「今破壊されたホワイトホール・ドラゴンを手札に戻し、追加コストを支払う。これで私のライフが2以下だからアタックステップは強制終了だ！」

「あー！ 望むところとか言ッといてそりゃ無いでしヨ！」

「攻める側が代わるだけだ！」

（悠姫手札6↓7）

（リザーブ3↓0）

（トラッシュ4↓7）

〈悠姫・第十一ターン〉

「私のターンだ！スタートステップ！」

（リザーブ0↓1）

（手札7↓8）

(トラッシュユ7↓0)

(リザーブ1↓8)

「メインステップ！召喚、《リューマン・クロウ》レベル1！」

(手札8↓7)

(リザーブ8↓7)

「リューマン・クロウ コア1 レベル1 BP1000」

…璃恵の布陣は完璧だ。

そしてあいつが大渓谷の効果を知っているながら私に引かせたこの  
“手札”。

今なら多分、理解できる。

応えろ。応えてみせろって言ってる。

ここまで押してくれた皆のため、私を待っていてくれた璃恵に報い  
るために――

――私の、全てを出し切る！

「…璃恵！」

「ン？ 愛の告白なら何時でもイイヨ！」

「真面目に聞け！」

「はいはい何でしようか？」

「……今の璃恵から見て、私はどう見える？」

「……まだ、かな」

「そうだろうな。」

私はまだまだ未熟だ。祐依や彩音のようなテクニクも、真桜や麗  
奈さん、レキのような豪快さには程遠い」

「“初心者”、だからネ」

「ああ。私はまだ、マイナスのままだ。」

皆の力を分けてもらっても、お前に触れられるかどうかも分からな  
い。…けど」

「けどっ」

「だからこそ、私はお前に追い付きたい。」

「ここまで来れたのは、私一人の力じゃない。皆が背中を押してくれたからこそここに来れた。…押すのがちよつと荒っぽかったけど」

「ウププ♪ ホントにちヨツとだツたのかナ？」

「ちよつと…いや、かなり荒っぽかったな」

「だろうネ♪」

「ああ。…追い付くためにも、私はお前に勝つ。」

お前に初めて勝てたとき、私は…

私はマイナスから初めて「ゼロ」になれるのかも知れない」

「マイナスからゼロ、か…」

「お前を『追い越す』のは、そのあとでいい。」

お前が私にバトルスピリッツを教えてくれた、それに報いるためにもだ！」

「嬉しいネエ悠姫イ！」

なら追い付いてみる!!

この白銀に届くほどの輝きをさ!!」

「ああ！見ていろ！」

お前に届く私の、龍達の輝きを!!

ネクサス《超新星の輝き》をレベル2で配置!!」

(手札7↓6)

(リザーブ7↓5)

(トラッシュ0↓1)

「超新星の輝き コア1 レベル2」

「このターン、私の手札にある〈三龍神〉アルティメットのコストは私のライフと同じになる！よってコストは2！ そしてレベル2の効果で、私のアルティメットをスピリットとしても数えられる！」

「来るかい、三龍神！」

「三龍神、『明け星の救世竜』！」

《聖龍皇アルティメット・セイバー》!!」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓4)



「聖龍皇アルティメット・セイバー コア1 レベル3 B P 1 0 0 0」

「三龍神、〃流星の天馬〃！」

《アルティメット・サジット・アポロドラゴン》!!」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓3)

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア1 レベル3 B P 1 2 0 0 0」

「そして、〃究極の超新星〃！」

《アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ》!!」

(手札4↓3)

(リザーブ3↓0)

「アルティメット・レオン・ハウル コア3↓1 レベル4↓3」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5 レベル5 B P 3 0 0 0 0」

「三龍神が雁首揃えてお出ましか！」

「Uノヴァの召喚時〃アルティメットトリガー、ロックオン〃！」

「——コスト5、マジック《ドリームボム》！」

「最大ヒット!! ヒットしたコスト分、ボイドからコアをライフに置く！」

「これでライフ、全回復だツ!!」

(悠姫ライフ2↓5)

私は、お前のライバルに相応しいだとか、追い抜いて最強になりた  
いだとか、そんなことはどうでもいい。

ただ、お前と一緒にいたいだけなんだと思う。

璃恵が見ているものを、私も見てみたい。

「璃恵。〃見える〃か？」

「……うん。見たヨ、悠姫」

「……行くぞ、アタックスステップだ!!」



## はじまりのゼロ

〈悠姫・フィールド状況〉

ライフ5

リザーブ0

トラッシュユ1

手札3

「ムゲンドラ コア1 Lv1」

「リユーマン・クロウ コア1 Lv1」

「アルティメット・エクス・キャリバス コア1 Lv3」

「アルティメット・レオン・ハウル コア1 Lv3」

「聖龍皇アルティメット・セイバー コア1 Lv3」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン コア1 Lv3」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5 Lv5」

「ガイナロック大渓谷 コア0 Lv1」

「超新星の輝き コア1 Lv2」

〈璃恵・フィールド状況〉

ライフ3 リザーブ0 トラッシュユ5

手札2 (内1枚剣星鎧ソードフィッシュユ)

「ノイジーレイヴン コア1 Lv1」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン+宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス コ

ア3 Lv2」

「甲竜戦艦エンタープライズ+白夜の宝剣ミッドナイト・サン コ

ア1 Lv3」

「電神皇トレイン コア2 Lv4」

「鋼極天ゴールデン・バッファロー コア1 Lv3」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア2 レベル4」

「究極北斗アポロドラゴン・フェクダ コア2 Lv4」

「行くぞ、アタックスステップ！」

「アタックスステップ開始にフェクダ、ヒスイ、Uザウラーの効果発揮！」

系統：＜甲竜＞スピリット、アルティメットのBPを3千アップ！  
Uザウラーの効果でムゲンドラはアタックできない！」

「甲竜戦艦エンタープライズ(合体) BP20000+3000+  
3000=26000」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン(合体) BP14000+3000  
+3000=20000」

「Uノヴァ、アタック！アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト4、マジック《絶甲氷盾》！」

「クリティカルヒット！ カウンターは！」

「……使わないヨ」

「ならばクリティカルヒット効果、BP1万2千以下のノイジーレイ  
ヴンを破壊！」

「ノイジーレイヴン BP5000 破壊」

(璃恵リザーブ0↓1)

「ヒット効果！必ずブロックしろ！」

「Uトレインでブロック！ ブロック時アルティメットトリガー、  
ロックオン！」

「——コスト5、《紅炎竜ヒノコ》！ ガードだ！」

「なッ、外した!?!」

「Uトレインは破壊だ!!」

「電神皇トレイン 破壊」

(リザーブ1↓3)

「ターンエンド！」

このターンはここまで。後は、あの甲竜戦艦がいつ動くか、トリ  
ガーがヒットするかどうかで勝負が決まる。

〈璃恵・第十二ターン〉

「白銀の、第十二ターン！スタートステップ！」

(リザーブ3↓4)

「ドローステツ……お前か」

(手札2↓3)

(トラッシュユ5↓0)

(リザーブ4↓9)

「メインステップ！」

アルティメット、実戦配備！　ワタシの場には白シンボルが5つあるため最大軽減！」

「っ！」

「白銀しろがねの守護神、銀嶺の咆哮！」

我が愛機 《アルティメット・オーディーン》！

レベル5で、起動ッ!!」

(手札3↓2)

(リザーブ9↓3)

(トラッシュ0↓2)

「アルティメット・オーディーン　コア4　レベル5　BP2000」

「アルティメット・オーディーン…」

「いつかは悠姫を助けてくれたけど、今回は違うヨ！　召喚時効果発揮！　相手スピリット1体、リューマン・クロウを手札に戻してもらおう！」

「お前も人の事言えないな！　手札に戻るが、大溪谷の効果で2枚ドローさせてもらおう！」

「リューマン・クロウ　手札に」

(悠姫リザーブ0↓1)

(手札3↓4↓6)

「ホワイトホール・ドラゴンツという鬼が居ぬ間にとってネ！　Uザウラーをレベル5、鋼極天をレベル4にして、アタックステップ！」

(璃恵リザーブ3↓0)

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー　コア2↓4　レベル4↓5　BP15000↓20000」

「鋼極天ゴールデン・バッファロー　コア1↓2　レベル3↓4　BP8000↓12000」

「Uオーディーン、アタック！　アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト4、マジック《救世神撃覇》！」

「ヒット！ Uオーティーンをスピリットは止められないヨ！」

「ならライフで受ける！」

（悠姫ライフ5↓4）

（リザーブ1↓2）

「次！ Uザウラーでアタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト3、ネクサス《狩る者の集落》！」

「クリティカルヒット！ Uザウラーもスピリットは止められない！  
更にダブルシンボル！」

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー シンボル極+極||極  
極」

「それもライフだ！」

「あくまで三龍神を守るツての？」

（悠姫ライフ4↓2）

（リザーブ2↓4）

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン、合体アタック！」

「フラッシュユタイミング！ 《ブレイド・ジーン》を【神速】召喚！」

（悠姫手札6↓5）

（リザーブ4↓3）

「ブレイド・ジーン コア1 レベル1 B P 1000」

「そのままブレイド・ジーンでブロックだ！」

「ちィ、邪魔だアツ！」

「ブレイド・ジーン 破壊」

（リザーブ3↓4）

「スピリットの破壊によりバースト発動！」

「ツ!？」

「〃煌めく黄金の極竜〃！」

《アルティメット・シヨコドラ》!!」

（悠姫バースト：セット↓発動↓召喚）

（リザーブ4↓3）

「アルティメット・シヨコドラ コア1 レベル3 BP9000」

「リニューマン・インフィニティ 回収」

(手札5↓6)

「わざわざ使うコアを減らしてまでソイツを召喚して壁を増やしたつもり?」

「いや、こいつはこの戦いを決める懸け橋だ!」

「ふん、なら理想と夢を抱いたまま沈めつつ!!」

エンタープライズ、発進!!」

「動いたか...!」

「誰で受け止めようが、ライフ2つ破壊だ!!」

「ここだ、この瞬間を待っていた!」

私が璃恵との勝負のために取っておいた「最後の隠し玉」!

「ムゲンドラでブロック!」

「お姉様...!」

「白銀のエンタープライズは赤紫白黄の【超装甲】に加えて闇白剣で緑白黄青の【重装甲】も得ている...。マジックで対象するのは不可能」

「悠姫君のムゲンドラじゃコアを外してエスケープする以外方法は無い...。けぞ」

「...お姉ちゃんは、逃げない」

Sword Brave Attack!!

甲竜戦艦エンタープライズ+白夜の宝剣ミッドナイト・サン

BP15000+5000=20000

vs

Defense!!

ムゲンドラ

BP1000

「相棒を最後に倒れるか!悠姫イ!!」

「最後じゃない!」

「何をッ!」

「私の相棒を、舐めるな！ フラッシュユタイミング！」

「ハッ！舐めるなッて割に逃げの一手じゃ——」

「マジック！《チェンジリング》!!」

(悠姫手札6↓5)

(リザーブ3↓0)

(トラッシュユ1↓4)

「ッ?!?」

「Uノヴァを指定！バトルしているムゲンドラのBPの代わりに現在のUノヴァのBPを使う！」

「そ…そんなマジック入れて…!?!」

「UノヴァのBPは現在3万！」

Sword Brave Attack!!

甲竜戦艦エンタープライズ+白夜の宝剣ミッドナイト・サン

BP15000+5000=20000

vs

Defense!!

ムゲンドラ

BP1000↓BP Change!!↓BP30000

黄 マジック

《チェンジリング》

コスト4 軽減黄2極1

フラッシュ:

バトルしている自分のスピリット／アルティメットがBPを比べるとき、自分のアルティメット1体を指定し、かわりに、そのアルティメットのBPを比べる。

これが私の最後の隠し玉！

0コストや1コストが並びやすい私のデッキで、このムゲンやリューマン・クロウ、リューマン・ドシャットが狙われた時、逃げる以外の選択肢。

ただし弱点として、最高でもUノヴァやUムゲンの3万までしか対処できなかったり、バトルしてるやつをどうにかされてしまったらア



ウトだ。

「やッて、やッてくれんじゃないか…！悠姫イ…!!」

「『無限』の名前を持つ私の相棒は、戦艦だつて打ち砕く！フラツシユがなければ…！返り討ちだ!!」

「く…ツツツそおオオオオーツツ!!」

Sword Brave Attack!!

甲竜戦艦エンタープライズ+白夜の宝剣ミッドナイト・サン

BP15000+5000=20000 ↓ Lose…

vs

Defense!!

ムゲンドラ

BP1000↓BP Change!! ↓BP30000 ↓Co

unter attack!! win!!

「いよっしやあ!!」

「ワタシの…甲竜戦艦が…コスト1のスピリットに負けた…!? …

闇白剣は残す！」

「甲竜戦艦エンタープライズ 破壊」

「白夜の宝剣ミッドナイト・サン 残留 コア1 レベル1 BP  
5000」

「…アタック終了。エンドステップにUオーデイーンは回復する  
ヨ」

「アルティメット・オーデイーン 疲労↓回復」

〈悠姫・第十三ターン〉

「行くぞ、スタートステップ！」

(リザーブ0↓1)

(手札5↓6)

(トラツシユ4↓0)

(リザーブ1↓5)

「メインステップ！ もう一度召喚、《リユーマン・クロウ》！」

(手札6↓5)

(リザーブ5↓4)

「リユーマン・クロウ コア1 レベル1」

「お前がUオーディーンを喚んだのなら、私も喚ばせてもらう！」

「やッぱ引いたのか…」

「灼熱の龍皇！召喚！」

《アルティメット・ジークフリード》!!」

(手札5↓4)

(リザーブ4↓0)

(トラッシュ0↓3)

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア5↓2 レベル5↓  
3」

「アルティメット・ジークフリード コア4 レベル4 BP14  
0000」

「次にマジック《ネオ・ダブルドロ》！」

(手札4↓3)

「超新星の輝き コア1↓0 レベル2↓1」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ コア2↓1」

(トラッシュ3↓5)

(手札3↓6)

「バーストをセットして、アタックステップ！」

(手札6↓5)

(バースト：無し↓セット)

「Uザウラーの効果はリユーマン・クロウを指定！フェクダとヒスイ  
の効果！」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン (合体) BP14000+3000  
+30000=20000」

「アルティメット・オーディーン BP20000+30000=2  
3000」

「Uジークフリード、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオ  
ン！」

「——コスト3、《アルティメット・イグア・バギー》！」  
「ヒット！」

「これも因縁かねエ…。ソイツはUオーディーンが相手するヨ！」

A t t a c k !!

アルティメット・ジークフリード

B P 1 4 0 0 0

v s

D e f e n s e !!

アルティメット・オーディーン

B P 2 0 0 0 0 + 3 0 0 0 0 = 2 3 0 0 0 0

「これじゃ返り討ちだけど！」

「分かってるさ！フラッシュユタイミング！ Uジークフリードの【真・覚醒】発揮！

リューマン・クロウからコア1つを移す！ これでレベル5のBP  
プラス3千！」

「リューマン・クロウ コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ジークフリード コア4↓5 レベル4↓5

B P 1 4 0 0 0 ↓ 2 0 0 0 0 + 3 0 0 0 0 = 2 3 0 0 0 0

「Uオーディーンと同値…！」

「相討ちだ!!」

A t t a c k !!

アルティメット・ジークフリード

B P 1 4 0 0 0 ↓ A w a k e n i n g !! ↓ L v 5 B P 2 0 0 0 0

0 + 3 0 0 0 0 = 2 3 0 0 0 0 ↓ D r a w !!

v s

D e f e n s e !!

アルティメット・オーディーン

B P 2 0 0 0 0 + 3 0 0 0 0 = 2 3 0 0 0 0 ↓ D r a w !!

「オーディーン…！」

「あの時の借りは返したぞ！」

「アルティメット・ジークフリード 相討ち」

「アルティメット・オーディーン 相討ち」

(悠姫リザーブ0↓5)

(璃恵リザーブ0↓4)

「Uシヨコドラ、アタック！アルティメットトリガーロックオン！」

「——コスト4、マジック《シャットアウト》！」

「ヒット！ 手札から喚ぶのは……！」

「さあ行くぞ相棒！最後の出番だ!!」

「〃輝ける無限の極竜〃！」

《アルティメット・ムゲンドラゴン》!!」

(手札5↓4)

「アルティメット・レオン・ハウル コア1↓0 消滅」

「アルティメット・ムゲンドラゴン コア1 レベル3 BP11000」

「出てきたかUムゲンドラゴン！」

「Uシヨコドラのアタックはどうする！」

「鋼極天でブロック！ これ以上好きにさせる訳にヤ行かないヨ！」

A t t a c k!!

アルティメット・シヨコドラ

BP9000 ↓L o s e.:

v s

D e f e n s e!!

鋼極天ゴールデン・バッファロー

BP12000 ↓w i n!!

「っ……！」

「最後まで抗うのがカードバトラーだからサ。死ぬまで抗うだけだ！」

「アルティメット・シヨコドラ 破壊」

(悠姫リザーブ5↓6)

「だがUシヨコドラが破壊されたことにより、バースト発動！」

「何ッ?」

「バーストはこれだ!《アルティメットリターン》! 今破壊されたUシヨコドラを回復状態で復活させる!」

(悠姫バースト:セット↓発動)

(リザーブ6↓0)

「アルティメット・シヨコドラ コア6 レベル6 BP2000  
0」

「もう一度Uシヨコドラでアタック！ アルティメットトリガー、  
ロックオン！」

「ま、まさか…。——コスト4、スピリット《運命姫神スクルド》！  
「ヒット！ そのまさかだ！」

《閃く蒼き極竜》！

《アルティメット・ドライアン》!!」

(手札4↓3)

「レベルにはUシヨコドラとUエクス・キャリバスから受け取って、レ  
ベル6！」

「……ッ！ そうか何でUシヨコドラのレベルを上げないかと思ッた  
ら！」

「アルティメット・エクス・キャリバス コア1↓0 消滅」

「アルティメット・シヨコドラ コア6↓1」

「アルティメット・ドライアン コア6 レベル6 BP2900  
0」

璃恵の思った通りだ。

ブロックするならあの鋼極天か白の究極北斗かどちらかだ。U  
シヨコドラの効果を知ってる嫌でも破壊しにかかるだろう。

レベルを上げなかったのは、アルティメットトリターンで呼び戻し、  
もう一回トリガーを使うためだ。

そしてUドライアンが最大レベルで出た！

「Uドライアン、レベル6の効果！」

私のアタックステップ中、Uドライアン以外のアルティメット達の  
レベルを、最大まで押し上げる!!」

「それが狙いか悠姫イ…!!」

「これが私の、今できる全力だ!!璃恵ッ!!」

「アルティメット・ムゲンドラゴン レベル3↓6 BP1100  
0↓30000」

「アルティメット・シヨコドラ レベル3↓6 BP9000↓2000」

「アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ レベル3↓5 BP15000↓30000」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン レベル3↓5 BP12000↓23000」

「聖龍皇アルティメット・セイバー レベル3↓5 BP10000↓20000」

「更にUムゲンの【Uエナジー】発揮！ UドライアンとUシヨコドラに赤シンボルを追加!!」

「アルティメット・ドライアン シンボル極+赤||極赤」

「アルティメット・シヨコドラ シンボル極+赤||極赤」

「これでUシヨコドラはダブルシンボル！防がなければ後が無くなるぞー！」

「くっ…！ フラッシュユ！マジック《パーフェクトリペア》！ ヒスイ・キャノン・ドラゴンを回復させる！」

(璃恵手札2↓1)

(リザーブ4↓2)

(トラッシュ2↓4)

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン (合体) 疲労↓回復」

「そのまま迎え撃つ！ブロックだ！」

Attack!!

アルティメット・シヨコドラ

BP20000 ↓Draw!!

vs

Defense!!

ヒスイ・キャノン・ドラゴン+宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス

BP7000+7000+3000+3000||20000 ↓

Draw!!

「裏水瓶座と翡翠竜を相討ちに持ち込むとかシャレなんないヨ！裏水瓶座は残す！」

「…シヨコドラ、ここまで無理させて済まなかったな」

「アルティメット・シヨコドラ 相討ち」

「ヒスイ・キャノン・ドラゴン 相討ち」

「宝瓶星鎧ブレイヴアクエリアス 残留 コア1 レベル1 BP  
5000」

（悠姫リザーブ0↓1）

（璃恵リザーブ2↓4）

「Uドライアン、アタック！ ダブルアルティメットトリガー、ロック  
オン！」

「——ッ！コスト8、《アルティメット・グラン・ウォーデン》とコス  
ト6、マジック《光速三段突》！」

「シングルヒット！」

「ヒットした方にカウンター！《剣星鎧ソードフィッシュ》をスピリッ  
ト状態で召喚！」

（璃恵手札1↓0）

（リザーブ4↓1）

（トラッシュ4↓6）

「剣星鎧ソードフィッシュ コア1 レベル1 BP3000」

「これでこのターン、悠姫のアルティメットからの効果は受けない！」

「それでも！アタックはダブルシンボルだ！」

「…フェクダでブロック！」

「白の北斗七星、打ち破らせてもらおう！」

A t t a c k!!

アルティメット・ドライアン

BP29000 ↓win!!

v s

D e f e n s e!!

究極北斗アポドラゴン・フェクダ

BP13000 ↓L o s e…

「究極北斗アポドラゴン・フェクダ 破壊」

（璃恵リザーブ1↓3）

「Uサジット、アタック！ダブルアルティメットトリガー、ロックオン！」

「——ッ！ アッハッハ!! ワタシの悪運も捨てたモンじゃないなア悠姫イ!!」

「っ!?!」

「っ何だ、この土壇場で何がヒットしたんだ…！」

「知りたいかい悠姫！」

コスト7、スピリット《不滅龍エターナル・ドラゴニス（白）》!

コスト12、スピリット《聖騎士ペンタン》!

どっちもハズレッてことさア!!」

「はあ!?!」

「ウプヒヤハハハハッ!! 更にこの2体は、相手のデツキ破棄かUトリガーでデツキから落ちたとき、ノーコストで召喚できるんだヨネエこれが!!」

聖騎士ペンタンと不滅龍、両方レベル3でノーコスト召喚!!」

(璃恵リザーブ3↓0)

「究極元帥アルティメット・レイ・ザウラー コア4↓2 レベル5  
↓4」

「鋼極天ゴールドデン・バッファロー コア2↓0 消滅」

「不滅龍エターナル・ドラゴニス コア4 レベル3 BP900  
0」

「聖騎士ペンタン コア3 レベル3 BP20000+1000  
0||30000」

あのペンタンはともかく、不滅龍は私も璃恵から受けとつたやつ…。ここにきて璃恵の踏ん張りが本気を出してきている。

\* スピリット

《不滅龍エターナル・ドラゴニス》

コスト7 軽減\*3 <滅龍>

<1> Lv1 BP5000

<2> Lv2 BP7000

<4> Lv3 BP9000



シンボル：\*

このスピリットカードは、相手のUトリガー／「デッキ破棄効果」によって自分のデッキからトラッシュに置かれたとき、コストを支払わずに召喚できる。

Lv3『このスピリットのアタック時』

自分か相手のアルティメットがいる間、このスピリットに\*のシンボル1つを追加する。

「剣星鎧の効果はターン中。よって不滅龍も聖騎士もアルティメットの効果は受けない！」

「くっ、アタックは！」

「ソイツは聖騎士でブロック！Uサジットには環境を散々荒らし回った報いを受けてもらおうか！」

Attack!!

アルティメット・サジット・アポロドラゴン

BP23000 ↓ Lose...

vs

Defense!!

聖騎士ペンタン

BP20000+10000=30000 ↓ Win!!

「Uサジット...！」

「ウプヒヤハハハハッ！ あースッキリした！」

「アルティメット・サジット・アポロドラゴン 破壊」

(悠姫リザーブ1↓2)

「まだだ！Uセイバー、アタック！ アルティメットトリガーロックオン！」

「——こツちも因縁か…。コスト7、《アルティメット・グレイザー》！ガード！」

「っ、何だ…カードが璃恵を守ってるのか!？」

「かもね！アタックはソードフィッシュでブロック！」

Attack!!

聖龍皇アルティメット・セイバー

BP20000 ↓win!!

vs

Defense!!

剣星鎧ソードフィッシュ

BP3000 ↓Lose...

「まだ負けるなとサ！」

「カードに愛されてるとでもいうのかよ...！」

「剣星鎧ソードフィッシュ 破壊」

(璃恵リザーブ0↓1)

「Uノヴァ、アタック！ アルティメットトリガー、ロックオン！」

「——やア、お前もか。」

コスト8、《アルティメット・ラグナ・ロック》！ガード！

「またガード...！」

「ホントはコイツもUノヴァと決着着けたかったんだらうけど、一歩遅かったかな。不滅龍でブロック！」

Attack!!

アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ

BP30000 ↓win!!

vs

Defense!!

不滅龍エターナル・ドラゴニス

BP9000 ↓Lose...

「不滅龍エターナル・ドラゴニス 破壊」

(璃恵リザーブ1↓5)

「Uムゲン、アタック！ ダブルアルティメットトリガー、ロックオン！」

「——コスト7、《究極巨神アルティメット・ツール》！

...コスト6、《アルティメット・ストライクヴルム》！」

「シングルヒット！ Uムゲンに赤シンボル1つ追加！」

「アルティメット・ムゲンドラゴン シンボル極+赤||極赤」

「そのアタックはライフで受ける!!」

(璃恵ライフ3↓1)

(リザーブ1↓2)

「……ラストだ」

「……あーあ、もう終わりか」

「……」

「……なアにしよげた顔してんのさ」

「……」

「胸張れヨー……ワタシに勝つんでしょ？」

「……ああ」

「なら前向いて！ワタシを見て！」

「最後のアタック、しッかり受け止めてやんヨ!!」

「……ありがとう、璃恵。」

「ムゲンドラ！最後のアタックだツ!!!」

「悠姫の情熱、受け止めるヨ!!」

「ライフで……受けるツ!!!」

(璃恵ライフ1↓0)

相棒の一撃は、璃恵の最後のライフを砕いた。  
バトルは終わり、静まり返る会場。

『……き……決まったあああーッッ!!!』

この死闘、激闘を制したのは、無名のカードバトラー！緋立悠姫さんだあああーッッ!!!』

呆然していたジャステイスが持ち直し、勝者を告げる掛け声に会場全体大歓声が上がった。

「……勝ったのか」

未だ実感が無く頭がハッキリしない。余程熱にやられたみたいだ。でも不思議と冷静でいる自分がいる。

「おめでと悠姫♪」

「…璃恵」

「いやアまさか返されるなんて思ってもみなくツてさア♪」

「璃恵」

「しかも三龍神に三極竜まで揃えるんだからやッぱ悠姫はワタシが見込んだ通り——」

「璃恵っ」

「…ん？」

「…ありがとうございます」

まだ熱が残る右手を差し出す。

カードバトラーとしての、最後の礼儀だ。

「…♪ ありがとうございます！」

良いバトルだったヨ♪」

「ああ！」

お互い璃恵と握手を交わす。

それにより拍手と歓声が更に大きくなる。

観客席側を見れば、皆が拍手と歓声を送ってくれている。何か言ってるみたいだが、よく聞き取れない。

『二人とも、素晴らしいバトルだった！カリスマ一同、二人の健闘を讃える！』

『悠姫さんも璃恵ちゃんもすごかったよー！マジカル超感動！』

『僕もね、息飲んじやうくらい凄いバトルだった！ボンバーなんか何でか震えちやつてるもん！』

『もうね…もう…言葉が出ないよ』

『では悠姫君で璃恵君ね表彰式だ！』

まだブーツとする頭であれよあれよと表彰式が執り行われた。

…勝った。璃恵に勝てた。ただそれだけしか考えられないくらい上の空だった。

『ではまず準優勝、白鐘 璃恵君！トロフィーと楯の授与だ。良いバトルだった！おめでどう！』

「あぎーっす♪」

『今回は惜しくも準優勝だったが、どうかな』

「今回は！準優勝に甘んじますけど、次は負けないです♪」

ギヤラクシーが最終順位を告げ、ボンバーから授与された物を受け取り、やや軽口を混ぜた璃恵のインタビュー。

あれが営業スマイルってやつか。

『そして…。優勝、緋立 悠姫君！』

トロフィーと楯。そして称号が送られるぞ！

初めての大会で初優勝おめでどう！並み居る強豪バトラーからよくぞ優勝まで勝ち抜いた!! おめでどう!!』

私はマジカルから楯を、ジャステイスから璃恵のトロフィーより大きなトロフィーを受け取…思ったより重いぞこれ。

『いや本当彼女は凄い。何が凄いつてマジカル』

『悠姫さんがここまで来るのに、称号持ちを6人に倒してるみたいですよー』

私の戦績に観客席がざわめく。

そりやそうだ、一級の称号持ちが名無しに負けたんだからそうもなる。…何だか申し訳ない気持ちだ。

『えつとですね。神淵、絳焰、緑迅、蒼穹、紫蓮、熾天、白銀と』

『聞けば誰もが知ってる称号持ちの人…あつ、あそこで肩車して両手振ってる人達かな?』

マヌガスが指差す先。

麗奈さんに肩車され、満面の笑みで真桜が両手を振っている。…凄まじく他人の振りしたい。

そこに皆まとまっているのだから余計気恥ずかしい。

『緋立君。今の気持ちをジャスティスに教えてくれ』

「え!? え、ええつと…」

突然のインタビューのしどろもどろになる。そりや急に言われたら詰まるに決まってる。

な、何を言うべきか……

「そ、その…。ここまですこれたのは私だけの力じゃないというか、ただがむしゃらにここまで来てしまったというか」

『なるほど。しかし璃恵君にかなり対抗心があつたように見えたが?』

「対抗心…というか…。約束と言うか」

『ほう約束』

「約束と言っても、ただ璃恵に勝つぐらいですけど…」

『しかし大事な約束だったのだろう?』

「…はい。今ではとても」

『うむ、ありがとう。君と璃恵君の笑顔が何よりの証拠だ』

『さてー称号授与なんです。何がいいかな?』

…え? 称号授与って後で裏で何かやるもんじゃないの? この場で決めるの?!

『ボンバー何かある?』

『うくん…、赤の<竜人>とか使ってたから、竜のお姫様でりゆうき 竜姫”っ  
ていかが?』

「あッ! それイイ! 悠姫、どうかナ!」

「どうかなくて、どうなんだ」

竜姫…。これ以上名前負けは避けたいところなんだが、名前にも姫、称号にも姫は少し恥ずかしい。

てか皆自然にある花や空とかなのに私だけ随分ストロングじゃないか?

『マヌガスは?』

『そうですねえ……赤使い……赤……紅……竜……“紅竜”こうりゆうか“無限”と  
かどうでしょう!』

『マヌガス安直ー』

『えー!? いやあマジカルは?』

『あたしもう考えてたよー。 “灼熱”しゃくねつ!』

『それ俺も考えてた!』

『えジャステイスもー?』

『ああ。究極のゼロばりに決めてくれるからそれかもしくは “  
究極”アルティメットか悩んだんだけどなあ』

究極と灼熱、か……。

『最後は緋立君が決めるんだが、何がいい?』

……少し目を閉じて、思い返す。

私の始まり。璃恵が最初にくれたもの。

「…… “灼熱”。それにします」

“灼熱のゼロ”。

璃恵から最初に貰ったデッキであり、 “私の始まり”。

『そうか!では諸君!緋立君の称号は “灼熱” に決まった!!  
“灼熱” と “白銀”。

アルティメット編を象徴するカードバトラーの誕生だ!!』

最終戦績： 優勝

称号： “灼熱”

——あの称号戦から。

現在、年を跨いだ春。

季節が代わり、私も晴れて進級。2年生だ。

「姉さん、準備できた？」

「ああ。…大丈夫か？」

「えつと。…うん、オツケー」

始業式に向かうため祐依と身嗜みチェック中。

変わったのは襟に付ける学年を示すピンバッジくらい。あとは…璃恵から貰った“赤と銀のヘアピン”を着けているくらい。

あの時の優勝祝いプラス…まあ…その……了解した訳なんだ。その証。

「さ、行きましょう」

「うん」

「あ、デツキも忘れないでね。忘れると璃恵さんがうるさいから」

「大丈夫。持ってるよ」

「や。Good Morning♪」

「おはよう璃恵」

「おはようございます死ね」

「…祐依ちゃんいい加減許してくれないかな？」

「絶対に許しません。絶対にだ」

「ヒーン悠姫イ！未来の義妹が冷たいヨー！」

「あなたに義妹と言われるとイラツときますからやめてください」

璃恵と祐依はいつもこんな感じ。

私が了解してから璃恵に対する風当たりが一層厳しくなったみたいで。

ああ、彩音達もひとつ上がって、彩音は高等部一年。祥子達三人は中等部二年。真桜は中等部一年となり、学校に知り合いが増えた。

マリア先輩達は卒業し大学生になったらしいが…兼任としてうち



の学校の生徒会後見人となったようで。…つまりちよくちよく遊びに来るらしい。

「あーそういうばさ。ウチの知り合いの開発部とマリア先輩の会社がバトスピのバトルフィールド開発に挑んでるらしいヨ?」

「は?」

「え?リアルでやってるんですか?」

「うん。将来はアクションバトルなんてのも目指してるツてさ」

「馬鹿も行き着くと凄いですね」

「それはさておき……ターゲット!」

「うおっ、なんだ」

「ウププ♪この新しいデツキver. 06の切れ味を試したくてサ  
♪」

もう一つ、ある事があった。

璃恵が言った06。…そう、『アルティメットバトル06』が発売した。

詳しくは省くが、称号戦の後、私含む知り合い全員が集められて、その06のテストバトルをしたんだ。…結果は聞かないでほしい。

「悠姫も祐依ちゃんも組み直したんでしょ?」

「まあ…」

「私は組み直しましたよ」

「ならバトルしようぜ!」

「始業式が済んだらお相手します」

「えー!そんなの待ッてられないー!悠姫!遊戯室へ今すぐG O D  
irect!!」

「は!?! え、ちよおい引ッ張るな!コケる、コケるから!」

「あ!待ちなさい!」

「待たぬ!退かぬウ!」

と、まあ…いつもと変わらない感じな訳で。

近々『アルティメットバトル07』も発売するとのことだ。  
璃恵には感謝してる。  
バトルスピリッツを覚えてくれたこと。  
私の始まり。ゼロからスタートする。  
…て、カッコ付けてるけど、最近また負けが嵩んでるんだけどな。  
まあ。気長にやって行こう。  
またゼロからのスタートだ。

— …… Next…?

『バトルスピリッツ！』

全国のカードバトルー達よ！

群雄割拠、戦国乱世の時代に己が名を、生き様を刻め!!』

「ふおお…：かっけえ！ アタシも一を目指してえ！  
目指せ一番星！なんてね！」